タイトル	著者	（頁数）総頁数	発行年・巻数・号数
@1954年(昭和29)-第01巻-01号-			
発刊の言葉	矢数道明	(3)3	1954年(昭和29)・第01巻・01号
実地臨床から見た　証の問題	長浜善夫	(4)4	1954年(昭和29)・第01巻・01号
証について	藤平健	(9)9	1954年(昭和29)・第01巻・01号
大柴胡湯について	大塚敬節	(13)13	1954年(昭和29)・第01巻・01号
山椒の臨床と薬理（1）	細野史郎	(19)19	1954年(昭和29)・第01巻・01号
漢方医学薬方解説（1）　＝古方、後世方の薬方解説＝　葦茎湯	奥田謙蔵	(21)21	1954年(昭和29)・第01巻・01号
胆石症の治療と食餌との関係	代田文誌	(23)23	1954年(昭和29)・第01巻・01号
ハイフェッツを聴いて	森田幸門	(25)25	1954年(昭和29)・第01巻・01号
半夏瀉心湯治験	和田正系	(29)29	1954年(昭和29)・第01巻・01号
古書うらばなし	石原明	(32)32	1954年(昭和29)・第01巻・01号
胆石症の治療	山田照胤	(36)36	1954年(昭和29)・第01巻・01号
肝炎性黄疸に就て	馬場辰二	(40)40	1954年(昭和29)・第01巻・01号
食物と証	伊藤清夫	(42)42	1954年(昭和29)・第01巻・01号
消閑論	嵯峨屈斎	(44)44	1954年(昭和29)・第01巻・01号
角膜実質炎の治験	多々良素	(45)45	1954年(昭和29)・第01巻・01号
誌上診療室　第1回　出題	出題）矢数道明	(46)46	1954年(昭和29)・第01巻・01号
新刊紹介／奥田謙蔵著『傷寒論梗概』	矢数道明	(48)48	1954年(昭和29)・第01巻・01号
「証」に就いての諸家の説	丸山昌郎・竹内達・相見三郎・舘野健	(49)49	1954年(昭和29)・第01巻・01号
座談会／証を語る　第1回	馬場辰二・細野史郎・大塚敬節・和田正系・矢数道明・坂口弘	(52)52	1954年(昭和29)・第01巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和29年1月・2月・3月・4月・5月・6月＞	協会本部／編集局	(59)59	1954年(昭和29)・第01巻・01号
編集雑話	気賀林一	(62)62	1954年(昭和29)・第01巻・01号
@1954年(昭和29)-第01巻-02号-			
木防已湯に木防已を用いる危険	藤平健	(3)65	1954年(昭和29)・第01巻・02号
高血圧に就て　－刺絡の臨床－	工藤訓正	(9)71	1954年(昭和29)・第01巻・02号
ホメオパティ・漢方	間中喜雄	(12)74	1954年(昭和29)・第01巻・02号
腸狭窄症に小建中湯を用いた経験	大塚敬節	(15)77	1954年(昭和29)・第01巻・02号
半夏瀉心湯治験（2）	和田正系	(18)80	1954年(昭和29)・第01巻・02号
ヒルシュスプルング氏病他1例　漢方的経験	相見惟行	(21)83	1954年(昭和29)・第01巻・02号
吟風堂治験録	舘野健	(22)84	1954年(昭和29)・第01巻・02号
眩暈を主として	小倉重成	(23)85	1954年(昭和29)・第01巻・02号
桃核承気湯証の鍼灸治験	岡部素道	(26)88	1954年(昭和29)・第01巻・02号
座談会／証を語る　－承前－	馬場辰二・細野史郎・大塚敬節・和田正系・矢数道明・坂口弘・気賀林一	(29)91	1954年(昭和29)・第01巻・02号
漢方医学薬方解説（2）　茵チン蒿湯	奥田謙蔵	(39)101	1954年(昭和29)・第01巻・02号
山椒の臨床と薬理（2）	細野史郎	(41)103	1954年(昭和29)・第01巻・02号
証に就ての諸家の説	石野信安・森田幸門・西澤道允	(46)108	1954年(昭和29)・第01巻・02号
古書うらばなし	石原明	(49)111	1954年(昭和29)・第01巻・02号
編集雑話	気賀林一	(53)115	1954年(昭和29)・第01巻・02号
誌上診療室　第2回　出題	出題）大塚敬節	(57)119	1954年(昭和29)・第01巻・02号
新刊紹介／矢数道明・矢数有道共述『漢方後世要方解説』	長浜善夫	(58)120	1954年(昭和29)・第01巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和29年7月・8月＞	協会本部／編集局	(59)121	1954年(昭和29)・第01巻・02号
ドイツ通信　香港便り（1）	坂口弘	(61)123	1954年(昭和29)・第01巻・02号
@1954年(昭和29)-第01巻-03号-			
傷寒論の禁忌の指示について	大塚敬節	(3)127	1954年(昭和29)・第01巻・03号
蓄膿症の薬	長浜善夫	(5)129	1954年(昭和29)・第01巻・03号
真武湯と大柴胡湯	山田照胤	(11)135	1954年(昭和29)・第01巻・03号
鍼治と灸治	代田文誌	(14)138	1954年(昭和29)・第01巻・03号
道聴途説	素寒苦老人	(17)141	1954年(昭和29)・第01巻・03号
上腹部貯溜嚢腫の治験例	相見惟行	(20)144	1954年(昭和29)・第01巻・03号
漢方医学薬方解説（3）　越婢加朮湯	奥田謙蔵	(22)146	1954年(昭和29)・第01巻・03号
刺絡余談	丸山昌郎	(23)147	1954年(昭和29)・第01巻・03号
あの頃　大阪に於ける漢法医界の黎明期	森田幸門	(26)150	1954年(昭和29)・第01巻・03号

膵臓炎に関する小経験	馬場辰二	(31)155	1954年(昭和29)・第01巻・03号
食方漫筆（1）胃潰瘍と酒	伊藤清夫	(34)158	1954年(昭和29)・第01巻・03号
刺絡治験3例	工藤訓正	(36)160	1954年(昭和29)・第01巻・03号
古書うらばなし	石原明	(38)162	1954年(昭和29)・第01巻・03号
苓桂朮甘湯に就て	竹内達	(40)164	1954年(昭和29)・第01巻・03号
紫根牡蠣湯とその治験例	高橋道史	(42)166	1954年(昭和29)・第01巻・03号
漢方医と肺病	舘野健	(46)170	1954年(昭和29)・第01巻・03号
神経痛3題	小倉重成	(50)174	1954年(昭和29)・第01巻・03号
証観論珍説	施子凡	(51)175	1954年(昭和29)・第01巻・03号
新刊紹介／待望の『古方薬嚢』をよむ	大塚敬節	(53)177	1954年(昭和29)・第01巻・03号
ドイツ通信　香港便り（2）	坂口弘	(54)178	1954年(昭和29)・第01巻・03号
誌上診療室　第1回　解答・解答読後感	出題・解答）矢数道明 回答）一醫生・林寿政	(58)182	1954年(昭和29)・第01巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和29年9月＞	協会本部／編集局	(61)185	1954年(昭和29)・第01巻・03号
編集雑話	気賀林一	(63)187	1954年(昭和29)・第01巻・03号
@1954年(昭和29)-第01巻-04号-			
梔子剤の応用	大塚敬節	(3)189	1954年(昭和29)・第01巻・04号
正鵠	藤平健	(8)194	1954年(昭和29)・第01巻・04号
座談会／神経症（ノイローゼ）を語る	大塚敬節・矢数道明・間中喜雄・細野史郎・和田正系・気賀林一	(14)200	1954年(昭和29)・第01巻・04号
鍼術に於ける反対側刺戟の意味	間中喜雄	(26)212	1954年(昭和29)・第01巻・04号
癲癇の治験	相見惟行	(30)216	1954年(昭和29)・第01巻・04号
速効と遅効	小倉重成	(32)218	1954年(昭和29)・第01巻・04号
腎臓癌を疑われた血尿が治った話	長浜善夫	(34)220	1954年(昭和29)・第01巻・04号
吟風堂治験録	舘野健	(40)226	1954年(昭和29)・第01巻・04号
食方漫筆（2）たばこ	伊藤清夫	(42)228	1954年(昭和29)・第01巻・04号
証観論珍説（続）	施子凡	(45)231	1954年(昭和29)・第01巻・04号
漢方医学薬方解説（4）　越婢加半夏湯	奥田謙蔵	(46)232	1954年(昭和29)・第01巻・04号
新刊紹介／大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著『漢方診療の実際』	長浜善夫	(48)234	1954年(昭和29)・第01巻・04号
道聴途説	素寒苦老人	(50)236	1954年(昭和29)・第01巻・04号
半夏瀉心湯治験（3）	和田正系	(53)239	1954年(昭和29)・第01巻・04号
誌上診療室　第2回　解答	出題・解答）大塚敬節	(54)240	1954年(昭和29)・第01巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和29年10月＞	協会本部／編集局	(55)241	1954年(昭和29)・第01巻・04号
ドイツ通信（3）	坂口弘	(57)243	1954年(昭和29)・第01巻・04号
@1955年(昭和30)-第02巻-01号-			
巻頭言／青磁と漢方	伊藤清夫	(3)1	1955年(昭和30)・第02巻・01号
苓甘姜味辛夏仁湯に就て（1）	矢数道明	(4)2	1955年(昭和30)・第02巻・01号
水毒解明への一示唆	藤平健	(9)7	1955年(昭和30)・第02巻・01号
道聴途説	素寒苦老人	(13)11	1955年(昭和30)・第02巻・01号
才血についての管見	大塚敬節	(16)14	1955年(昭和30)・第02巻・01号
座談会／診療余話	馬場辰二・大塚敬節・矢数道明・細野史郎・気賀林一	(19)17	1955年(昭和30)・第02巻・01号
久病と灸治	代田文誌	(25)23	1955年(昭和30)・第02巻・01号
精神病か、神経症か	山田照胤	(28)26	1955年(昭和30)・第02巻・01号
食方漫筆（3）水（1）	伊藤清夫	(30)28	1955年(昭和30)・第02巻・01号
手井穴の刺絡	工藤訓正	(33)31	1955年(昭和30)・第02巻・01号
松	奥田炊煙	(37)35	1955年(昭和30)・第02巻・01号
穴（ツボ）とひびきの概念	柳谷素霊	(39)37	1955年(昭和30)・第02巻・01号
腎臓癌を疑われた血尿が治った話（承前）	長浜善夫	(41)39	1955年(昭和30)・第02巻・01号
ドイツ通信（5）	坂口弘	(46)44	1955年(昭和30)・第02巻・01号
参苓白朮散の運用に就て	馬場辰二	(50)48	1955年(昭和30)・第02巻・01号
胃・内臓下垂症の鍼灸療法	西澤道允	(52)50	1955年(昭和30)・第02巻・01号
肩凝	小倉重成	(57)55	1955年(昭和30)・第02巻・01号
古方派の陣営より　－素寒苦老人を打つ－	名藤東斎	(58)56	1955年(昭和30)・第02巻・01号
シュミット博士に	橋本敬三	(59)57	1955年(昭和30)・第02巻・01号
ルイレキと九味柴胡湯	高橋道史	(63)61	1955年(昭和30)・第02巻・01号
横眼でにらんだ『漢方の臨床』	青龍刀生	(66)64	1955年(昭和30)・第02巻・01号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和29年11月＞	協会本部／編集局	(67)65	1955年(昭和30)・第02巻・01号
下痢の鍼灸治験	岡部素道	(69)67	1955年(昭和30)・第02巻・01号
@1955年(昭和30)-第02巻-02号-			
巻頭言／歌舞伎をみる	大塚敬節	(3)71	1955年(昭和30)・第02巻・02号
苓甘姜味辛夏仁湯に就て（2）	矢数道明	(4)72	1955年(昭和30)・第02巻・02号
苓桂朮甘草湯を中心とした蓄膿症の治験	長浜善夫	(11)79	1955年(昭和30)・第02巻・02号
座談会／診療余話	矢数道明・馬場辰二・和田正系・気賀林一・大塚敬節・細野史郎・間中喜雄	(17)85	1955年(昭和30)・第02巻・02号
鍼の診断的応用　－虫垂炎について－	工藤訓正	(23)91	1955年(昭和30)・第02巻・02号
漢方治療の限界	大塚敬節	(27)95	1955年(昭和30)・第02巻・02号
当帰芍薬散に就いて	竹内達	(30)98	1955年(昭和30)・第02巻・02号
漢方医学薬方解説（5）　黄ゴン湯	奥田謙蔵	(33)101	1955年(昭和30)・第02巻・02号
治験例　▽「てんかん」に黄土湯▽流感に白虎加桂枝湯▽肺結核兼感冒に黄連阿膠湯▽胃潰瘍に生姜瀉心湯▽マラリヤに柴胡桂枝湯	龍野一雄	(35)103	1955年(昭和30)・第02巻・02号
大喀血の1治験	舘野健	(37)105	1955年(昭和30)・第02巻・02号
所謂蓄膿症の治療に就て	馬場辰二	(40)108	1955年(昭和30)・第02巻・02号
下痢	小倉重成	(43)111	1955年(昭和30)・第02巻・02号
胃酸過多症の灸治法と食物	西澤道允	(46)114	1955年(昭和30)・第02巻・02号
食方漫筆（4）ミキサー	伊藤清夫	(52)120	1955年(昭和30)・第02巻・02号
道聴途説	すかんく老人	(54)122	1955年(昭和30)・第02巻・02号
誌上診療室　第3回　出題	出題）矢数道明	(55)123	1955年(昭和30)・第02巻・02号
漢方慎むべし	惟行生	(58)126	1955年(昭和30)・第02巻・02号
ドイツ通信	坂口弘	(60)128	1955年(昭和30)・第02巻・02号
編集子の日記	Ｏ生	(62)130	1955年(昭和30)・第02巻・02号
@1955年(昭和30)-第02巻-03号-			
巻頭言／外科手術と東洋医学	和田正系	(3)133	1955年(昭和30)・第02巻・03号
ジュウヤクの成分とその規格	木村雄四郎	(4)134	1955年(昭和30)・第02巻・03号
大建中湯について	大塚敬節	(8)138	1955年(昭和30)・第02巻・03号
蓄膿症と針灸	長浜善夫	(12)142	1955年(昭和30)・第02巻・03号
虚証の背椎カリエス	代田文誌	(20)150	1955年(昭和30)・第02巻・03号
小青竜湯証管見	舘野健	(23)153	1955年(昭和30)・第02巻・03号
関節リウマチ等の附子剤による治験	相見惟行	(27)157	1955年(昭和30)・第02巻・03号
五苓散の小経験	山田照胤	(29)159	1955年(昭和30)・第02巻・03号
座談会／漢薬を語る	栗原広三・武藤留吉・矢数道明・大塚敬節・気賀林一・浅野正義・土田茂雄・建林宰亮・今井達彌・深澤弧一	(32)162	1955年(昭和30)・第02巻・03号
肋間神経痛の臨床	木下晴都	(40)170	1955年(昭和30)・第02巻・03号
皮膚病3題	小倉重成	(45)175	1955年(昭和30)・第02巻・03号
治験例　▽気管支喘息に炙甘草湯▽気管支喘息に厚朴麻黄湯▽歯痛に苓桂味甘湯▽喘息に小柴胡湯▽腰痛に桂枝加黄耆湯	龍野一雄	(47)177	1955年(昭和30)・第02巻・03号
脱肛と直腸脱出の鍼灸療法	西澤道允	(49)179	1955年(昭和30)・第02巻・03号
刺絡について	岡部素道	(53)183	1955年(昭和30)・第02巻・03号
茵チン蒿湯で血清病を防止した話	馬場辰二	(54)184	1955年(昭和30)・第02巻・03号
温知荘雑筆　疣の話	矢数道明	(56)186	1955年(昭和30)・第02巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和29年12月・昭和30年1月・2月＞	協会本部／編集局	(61)191	1955年(昭和30)・第02巻・03号
@1955年(昭和30)-第02巻-04号-			
巻頭言／目的と手段	森田幸門	(3)195	1955年(昭和30)・第02巻・04号
私の傷寒論解説の2、3例	杉原徳行	(4)196	1955年(昭和30)・第02巻・04号
脈診の研究（第6報）	藤田六朗	(12)204	1955年(昭和30)・第02巻・04号
証についての私見	荒木正胤	(15)207	1955年(昭和30)・第02巻・04号
八膠穴の部位の検討	木下晴都	(20)212	1955年(昭和30)・第02巻・04号
空洞性肺結核が治癒した例	代田文誌	(25)217	1955年(昭和30)・第02巻・04号
続刺絡余談	丸山昌郎	(28)220	1955年(昭和30)・第02巻・04号
刺絡治験2例	工藤訓正	(31)223	1955年(昭和30)・第02巻・04号
治験例　▽流感に白虎加桂枝湯▽蕁麻疹に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽気管支喘息に小柴胡湯▽流感に黄苓湯	龍野一雄	(34)226	1955年(昭和30)・第02巻・04号
柴胡の手柄ばなし	馬場辰二	(37)229	1955年(昭和30)・第02巻・04号
道しるべ	小倉重成	(39)231	1955年(昭和30)・第02巻・04号

漫草	藤平健	(41)233	1955年(昭和30)・第02巻・04号
食方漫筆（5）水（2）水分の摂取量	伊藤清夫	(44)236	1955年(昭和30)・第02巻・04号
温知荘雑筆　＜奇病2題＞くさめをする病気▽声が出なくなる病	矢数道明	(46)238	1955年(昭和30)・第02巻・04号
読者の声／読後小戯言（1）	津田卓二	(49)241	1955年(昭和30)・第02巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年3月＞	協会本部／編集局	(50)242	1955年(昭和30)・第02巻・04号
新刊紹介／間中善雄著『医家のための鍼灸入門講座』	痩公変弱	(51)243	1955年(昭和30)・第02巻・04号
紫蘇子湯と神秘湯及びその治験例	高橋道史	(52)244	1955年(昭和30)・第02巻・04号
漢方研究諸団体総覧（1）日本東洋医学会	編集局	(56)248	1955年(昭和30)・第02巻・04号
青龍刀先生へ	随古堂主人	(57)249	1955年(昭和30)・第02巻・04号
韓国だより　韓国漢方医界の現況	朴憲在	(58)250	1955年(昭和30)・第02巻・04号
誌上診療室　第3回　解答・解答読後感	出題・解答）矢数道明 回答）前田安彦・浅野友美	(61)253	1955年(昭和30)・第02巻・04号
@1955年(昭和30)-第02巻-05号-			
巻頭言／生きている医学	和田正系	(3)257	1955年(昭和30)・第02巻・05号
真武湯について	大塚敬節	(4)258	1955年(昭和30)・第02巻・05号
中国医師　譚述渠氏を囲みて	譚述渠・陳秋霞・王忠厘・大塚敬節・土田茂雄・武正一・馬場辰二・大澤勝・矢数道明・気賀林一	(8)262	1955年(昭和30)・第02巻・05号
温知荘雑筆　禿頭の話	矢数道明	(14)268	1955年(昭和30)・第02巻・05号
結核性腹膜炎にヨク苡附子敗醤散料　ー虫垂炎と全く同じ症状の腸結核から来たー限局性腹膜炎	舘野健	(18)272	1955年(昭和30)・第02巻・05号
食方漫筆（6）味（1）	伊藤清夫	(21)275	1955年(昭和30)・第02巻・05号
漢方方剤の製剤に就いて	藤平健	(23)277	1955年(昭和30)・第02巻・05号
血圧に対する兪刺の作用	木下晴都	(26)280	1955年(昭和30)・第02巻・05号
漢方医学薬方解説（6）　黄土湯	奥田謙蔵	(31)285	1955年(昭和30)・第02巻・05号
刺絡治験　ー脳出血2例ー	工藤訓正	(33)287	1955年(昭和30)・第02巻・05号
一権道	小倉重成	(35)289	1955年(昭和30)・第02巻・05号
感冒の経験（1）	龍野一雄	(37)291	1955年(昭和30)・第02巻・05号
恋・鯉・鯰	栗原愛塔	(42)296	1955年(昭和30)・第02巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年3月・4月＞	協会本部／編集局	(45)299	1955年(昭和30)・第02巻・05号
誌上診療室　第4回　出題	出題）矢数道明	(48)302	1955年(昭和30)・第02巻・05号
譚述渠氏を迎う	矢数道明	(49)303	1955年(昭和30)・第02巻・05号
道聴途説	すかんく老人	(52)306	1955年(昭和30)・第02巻・05号
ドイツ通信（7）	坂口弘	(54)308	1955年(昭和30)・第02巻・05号
読者の声／読後小戯言（2）	津田卓二	(58)312	1955年(昭和30)・第02巻・05号
韓国だより　韓国漢方医界の現況	朴憲在	(59)313	1955年(昭和30)・第02巻・05号
漢方研究諸団体総覧（2）日本東洋医学会関東地方会	編集局	(61)315	1955年(昭和30)・第02巻・05号
漢方研究諸団体総覧（3）全漢医連特設漢方教室	編集局	(62)316	1955年(昭和30)・第02巻・05号
@1955年(昭和30)-第02巻-06号-			
巻頭言／東洞と等伯	舘野健	(3)319	1955年(昭和30)・第02巻・06号
巴豆剤（紫円）の臨床的応用について	間中喜雄	(4)320	1955年(昭和30)・第02巻・06号
皮膚の色と内臓	代田文誌	(10)326	1955年(昭和30)・第02巻・06号
座談会／便秘を語る	馬場辰二・和田正系・矢数道明・大塚敬節・気賀林一	(14)330	1955年(昭和30)・第02巻・06号
感冒の経験（2）	龍野一雄	(20)336	1955年(昭和30)・第02巻・06号
漢方医学薬方解説（7）　黄連阿膠湯	奥田謙蔵	(23)339	1955年(昭和30)・第02巻・06号
心臓神経症と陽陵泉	木下晴都	(25)341	1955年(昭和30)・第02巻・06号
本態性高血圧と低血圧	工藤訓正	(29)345	1955年(昭和30)・第02巻・06号
血下れば癒ゆ	小倉重成	(31)347	1955年(昭和30)・第02巻・06号
続刺絡余談	丸山昌郎	(33)349	1955年(昭和30)・第02巻・06号
痩型女性の頑固な咳嗽2例	細野史郎	(37)353	1955年(昭和30)・第02巻・06号
結核に対する薬方の私見と治験	高橋道史	(44)360	1955年(昭和30)・第02巻・06号
小説『春の憩』に出てくる漢方医先生	花咲落葉生	(49)365	1955年(昭和30)・第02巻・06号
道聴途説	すかんく老人	(50)366	1955年(昭和30)・第02巻・06号
誌上診療室　第4回　解答・解答読後感	出題・解答）矢数道明 回答）前田安彦・津田卓二・岩崎巖	(52)368	1955年(昭和30)・第02巻・06号
韓国だより	朴憲在	(55)371	1955年(昭和30)・第02巻・06号
食方漫筆（7）水（3）水の飲み方	伊藤清夫	(56)372	1955年(昭和30)・第02巻・06号

温知荘雑筆　疣の話への反響	矢数道明	(58)374	1955年(昭和30)・第02巻・06号
温故知新	藤平健	(60)376	1955年(昭和30)・第02巻・06号
漢方研究のプリミチブな問題	伊藤清夫	(61)377	1955年(昭和30)・第02巻・06号
漢方研究諸団体総覧（4）千葉大学東洋医学研究会	編集局	(63)379	1955年(昭和30)・第02巻・06号
@1955年(昭和30)-第02巻-07号-			
十全大補湯について	細野史郎	(3)381	1955年(昭和30)・第02巻・07号
附子の用量	清水藤太郎	(10)388	1955年(昭和30)・第02巻・07号
背部の「兪穴」の位置についての1考察（1）	間中喜雄	(12)390	1955年(昭和30)・第02巻・07号
瞑眩（めんけん）	相見三郎	(15)393	1955年(昭和30)・第02巻・07号
耳疾患の鍼灸治療に就て	岡部素道	(18)396	1955年(昭和30)・第02巻・07号
温知荘雑筆　痿ナエの話	矢数道明	(21)399	1955年(昭和30)・第02巻・07号
新刊紹介／柳谷素霊著『最新針灸医学摘要』・本間祥伯著『図解針灸実用経穴学』	編集局	(25)403	1955年(昭和30)・第02巻・07号
読者の声／第4回誌上診察室回答	浅野友美	(26)404	1955年(昭和30)・第02巻・07号
読者の声／読後小戯言（3）	津田卓二	(27)405	1955年(昭和30)・第02巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年5月・6月＞	協会本部／編集局	(28)406	1955年(昭和30)・第02巻・07号
鶏眼の灸法	木下晴都	(30)408	1955年(昭和30)・第02巻・07号
アサヒグラフに登場した漢方医　最近のジャーナリズムと漢方	Ｙ・Ｎ生	(33)411	1955年(昭和30)・第02巻・07号
座談会／診療余話	間中喜雄・細野史郎・矢数道明・大塚敬節・馬場辰二・気賀林一	(36)414	1955年(昭和30)・第02巻・07号
食方漫筆（8）味（2）	伊藤清夫	(45)423	1955年(昭和30)・第02巻・07号
学会日誌　ーその前後ー	矢数道明	(47)425	1955年(昭和30)・第02巻・07号
治験例　▽尿毒症に大烏頭煎▽胃ノイローゼに人参湯▽遊走腎に小建中湯▽急性関節リウマチに甘草附子湯▽風邪に甘草附子湯▽急性腎炎に柴胡加竜骨牡蠣湯	龍野一雄	(52)430	1955年(昭和30)・第02巻・07号
変装	小倉重成	(57)435	1955年(昭和30)・第02巻・07号
半明半陽の証	森乙松	(59)437	1955年(昭和30)・第02巻・07号
漢方研究諸団体総覧（5）社団法人東京生薬協会	編集局	(61)439	1955年(昭和30)・第02巻・07号
漢方研究諸団体総覧（6）日本東洋医学会関西地方会	編集局	(62)440	1955年(昭和30)・第02巻・07号
@1955年(昭和30)-第02巻-08号-			
脈診の研究（第7報）ー経絡から脈診へー	藤田六朗	(3)443	1955年(昭和30)・第02巻・08号
背部の「兪穴」の位置についての1考察（2）	間中喜雄	(11)451	1955年(昭和30)・第02巻・08号
古書店の主人と「蓄音機」	古医道生	(16)456	1955年(昭和30)・第02巻・08号
膵臓炎の圧痛点に関する補遺	馬場辰二	(17)457	1955年(昭和30)・第02巻・08号
医師の神手と病人の鉄心　ー慢性リウマチ頑症の治例ー	代田文誌	(24)464	1955年(昭和30)・第02巻・08号
十全大補湯の偉効について	大塚敬節	(28)468	1955年(昭和30)・第02巻・08号
読者の声／	津田卓二	(30)470	1955年(昭和30)・第02巻・08号
奇妙な経験2題（瞑眩？）	山田照胤	(31)471	1955年(昭和30)・第02巻・08号
診療ノート	長浜善夫	(33)473	1955年(昭和30)・第02巻・08号
夏の治験	細野史郎	(38)478	1955年(昭和30)・第02巻・08号
夏季の鍼灸治療	木下晴都	(40)480	1955年(昭和30)・第02巻・08号
夏の小治験	竹内達	(44)484	1955年(昭和30)・第02巻・08号
夏季に於ける下病の録と証	西澤道允	(45)485	1955年(昭和30)・第02巻・08号
編集雑話	気賀林一	(49)489	1955年(昭和30)・第02巻・08号
食方漫筆（9）夏ののみもの	伊藤清夫	(54)494	1955年(昭和30)・第02巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年7月＞	協会本部／編集局	(58)498	1955年(昭和30)・第02巻・08号
漢方研究諸団体総覧（7）東洋医学研究会	編集局	(63)503	1955年(昭和30)・第02巻・08号
@1955年(昭和30)-第02巻-09号-			
創刊1周年に際して	編集局	(3)505	1955年(昭和30)・第02巻・09号
『類聚方広義』とその応用上の注意	大塚敬節	(4)506	1955年(昭和30)・第02巻・09号
『古今方彙』とその応用に就て	矢数道明	(8)510	1955年(昭和30)・第02巻・09号
柴胡桂枝湯について	藤平健	(14)516	1955年(昭和30)・第02巻・09号
小柴胡湯を愛用する	相見三郎	(18)520	1955年(昭和30)・第02巻・09号
六物附子湯と腹水	七条晃正	(21)523	1955年(昭和30)・第02巻・09号
私の最も多く用いる薬方と経験	中谷義雄	(24)526	1955年(昭和30)・第02巻・09号
日頃私の最も多く用いている薬方	高橋道史	(28)530	1955年(昭和30)・第02巻・09号
八味丸	小倉重成	(31)533	1955年(昭和30)・第02巻・09号

桂枝茯苓丸と当帰芍薬散	竹内達	(33)535	1955年(昭和30)・第02巻・09号
坐骨神経痛の治療とその他の条件	木下晴都	(34)536	1955年(昭和30)・第02巻・09号
JOAK「東洋医術を語るタベ」放送の想い出	和田正系	(38)540	1955年(昭和30)・第02巻・09号
糖尿にタラ煎	藤田六朗	(42)544	1955年(昭和30)・第02巻・09号
附子私考　ー私の使用する附子ー	石原明	(43)545	1955年(昭和30)・第02巻・09号
刺絡余談	丸山昌郎	(46)548	1955年(昭和30)・第02巻・09号
祝創刊満1周年	板倉武	(49)551	1955年(昭和30)・第02巻・09号
フランス通信　ヨーロッパの鍼医の考える「要穴の意味」にちなんで	柳谷素霊	(51)553	1955年(昭和30)・第02巻・09号
張り合いのない治療	代田文誌	(54)556	1955年(昭和30)・第02巻・09号
本誌1周年に寄せるアンケート	編集局	(58)560	1955年(昭和30)・第02巻・09号
鍼灸不断語	津田卓二	(60)562	1955年(昭和30)・第02巻・09号
食方漫筆（10）薬と養生	伊藤清夫	(61)563	1955年(昭和30)・第02巻・09号
医師とその弟子（1）	谷栄三	(63)565	1955年(昭和30)・第02巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年8月＞	協会本部／編集局	(65)567	1955年(昭和30)・第02巻・09号
座談会／欧州に於ける「東洋医学事情」を語る　ー坂口弘氏の帰国に際してー	馬場辰二・坂口弘・和田正系・矢数道明・細野史郎・大塚敬節・気賀林一	(66)568	1955年(昭和30)・第02巻・09号
読者の声／平穏無事こそよけれ	Ｘ・Ｍ生	(79)581	1955年(昭和30)・第02巻・09号
@1955年(昭和30)-第02巻-10号-			
防已黄耆湯について	大塚敬節	(3)583	1955年(昭和30)・第02巻・10号
三陰三陽による立体図による説明の試み	藤平健	(8)588	1955年(昭和30)・第02巻・10号
背部含穴の位置を私はかく思う	木下晴都	(14)594	1955年(昭和30)・第02巻・10号
乗物酔に寄す	小倉重成	(19)599	1955年(昭和30)・第02巻・10号
乱視と老眼	代田文誌	(22)602	1955年(昭和30)・第02巻・10号
話題を追う新聞の漢方記事	矢数道明	(25)605	1955年(昭和30)・第02巻・10号
続ドイツ通信	坂口弘	(34)614	1955年(昭和30)・第02巻・10号
「証」についてのメモ	谷栄三	(39)619	1955年(昭和30)・第02巻・10号
食方漫筆（11）続　水の飲み方	伊藤清夫	(40)620	1955年(昭和30)・第02巻・10号
編集雑話	気賀林一	(42)622	1955年(昭和30)・第02巻・10号
平穏無事かならずしもよからず	眼高生	(52)632	1955年(昭和30)・第02巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年9月＞	協会本部／編集局	(53)633	1955年(昭和30)・第02巻・10号
新妻壮五郎先生とその医風	森喜久男	(54)634	1955年(昭和30)・第02巻・10号
本誌この1年を読みて	浅野友美・平吉広州・加藤勝美	(57)637	1955年(昭和30)・第02巻・10号
中国だより	葉橘泉・矢数道明	(59)639	1955年(昭和30)・第02巻・10号
漢方研究諸団体総覧（8）日本薬局協励会漢方専門研究会	編集局	(62)642	1955年(昭和30)・第02巻・08号
@1955年(昭和30)-第02巻-11号-			
秦ギョウ別甲湯の運用に就て	矢数道明	(3)645	1955年(昭和30)・第02巻・11号
交互置鍼について	木下晴都	(12)654	1955年(昭和30)・第02巻・11号
漢方用薬の選品（1）天麻	高橋真太郎	(16)658	1955年(昭和30)・第02巻・11号
苦い経験	高橋道史	(19)661	1955年(昭和30)・第02巻・11号
漢方医学薬方解説（8）　黄蓮湯	奥田謙蔵	(23)665	1955年(昭和30)・第02巻・11号
膵臓炎片々（1）	馬場辰二	(25)667	1955年(昭和30)・第02巻・11号
温鍼の研究と臨床	西澤道允	(27)669	1955年(昭和30)・第02巻・11号
高血圧と脳卒中　ー刺絡ー	工藤訓正	(36)678	1955年(昭和30)・第02巻・11号
鮎川先生の想い出	山崎広熊	(44)686	1955年(昭和30)・第02巻・11号
重曹、ロート根の証	七条晃正	(47)689	1955年(昭和30)・第02巻・11号
新聞はウソをかくか	大川秀吉	(50)692	1955年(昭和30)・第02巻・11号
誌上診療室　第5回　出題：不眠症	出題）矢数道明	(54)696	1955年(昭和30)・第02巻・11号
読者の声／読後小戯言（5）治験例な、余りに治験例的なー鍼灸治験例のポーズに就てー	津田卓二	(56)698	1955年(昭和30)・第02巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年10月＞	協会本部／編集局	(57)699	1955年(昭和30)・第02巻・11号
民間薬随想	栗原愛塔	(59)701	1955年(昭和30)・第02巻・11号
@1955年(昭和30)-第02巻-12号-			
五苓散と茵チン五苓散について	大塚敬節	(3)707	1955年(昭和30)・第02巻・12号
漢方的「治癒」について　ー肺結核症を中心にー	舘野健	(8)712	1955年(昭和30)・第02巻・12号
漢方用薬の選品（2）秦ギョウ	高橋真太郎	(12)716	1955年(昭和30)・第02巻・12号
膵臓炎片々（2）	馬場辰二	(16)720	1955年(昭和30)・第02巻・12号

背部兪穴の位置について	代田文誌	(19)723	1955年(昭和30)・第02巻・12号
前立腺肥大に伴う尿閉	木下晴都	(22)726	1955年(昭和30)・第02巻・12号
新到的中国版古医書的話	石原明	(27)731	1955年(昭和30)・第02巻・12号
呉茱萸湯の自己経験	藤平健	(31)735	1955年(昭和30)・第02巻・12号
座談会／漢薬を語る　－小林芳人教授を囲みて－	丸山昌郎・和田正系・清水藤太郎・小林芳人・矢数道明・馬場辰二・細野史郎・大塚敬節	(34)738	1955年(昭和30)・第02巻・12号
誌上診療室　第5回　解答・解答読後感	出題・解答）矢数道明 回答）前田安彦・岩崎巌・浅野友美	(42)746	1955年(昭和30)・第02巻・12号
食方漫筆（12）かぜの食方	伊藤清夫	(45)749	1955年(昭和30)・第02巻・12号
海外通信（メキシコ・韓国・中国）	岡本覺治・朴憲在・葉橋泉	(49)753	1955年(昭和30)・第02巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年11月＞	協会本部／編集局	(52)756	1955年(昭和30)・第02巻・12号
漢方研究諸団体総覧（9）大阪漢法集談会	編集局	(54)758	1955年(昭和30)・第02巻・12号
漢方研究諸団体総覧（10）広島漢方医薬研究会	編集局	(55)759	1955年(昭和30)・第02巻・12号
欧米だより（1）	藤田六朗	(57)761	1955年(昭和30)・第02巻・12号
読者の声／	掘越龍雄・加藤勝美	(58)762	1955年(昭和30)・第02巻・12号
@1956年(昭和31)-第03巻-01号-			
巻頭言／昭和30年を回顧し年頭に思う	矢数道明	(3)3	1956年(昭和31)・第03巻・01号
喘息の漢方的治療について	細野史郎	(4)4	1956年(昭和31)・第03巻・01号
喘息の漢方的治療に就て	相見三郎	(11)11	1956年(昭和31)・第03巻・01号
内経に於ける喘息の考察	丸山昌郎	(14)14	1956年(昭和31)・第03巻・01号
老人の所謂喘息と括楼枳実湯	山田照胤	(17)17	1956年(昭和31)・第03巻・01号
喘息について	代田文誌	(20)20	1956年(昭和31)・第03巻・01号
気管支喘息治験	小倉重成	(23)23	1956年(昭和31)・第03巻・01号
気管支喘息の食養	伊藤清夫	(25)25	1956年(昭和31)・第03巻・01号
気管支喘息に就て	竹内達	(28)28	1956年(昭和31)・第03巻・01号
気管支喘息小経験	馬場辰二	(28)28	1956年(昭和31)・第03巻・01号
喘息と民間療法	栗原愛塔	(30)30	1956年(昭和31)・第03巻・01号
座談会／喘息を語る	馬場辰二・細野史郎・大塚敬節・和田正系・矢数道明・気賀林一	(32)32	1956年(昭和31)・第03巻・01号
われらの先駆者　－佐藤応渠－	古医道人	(45)45	1956年(昭和31)・第03巻・01号
時代は廻る	矢数道明	(47)47	1956年(昭和31)・第03巻・01号
「人民日報」の漢方記事	矢数道明	(48)48	1956年(昭和31)・第03巻・01号
新刊紹介／陳居霖著『「現代中医内科学」第2冊・消化器病療法』	矢数道明	(49)49	1956年(昭和31)・第03巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和30年12月＞	協会本部／編集局	(49)49	1956年(昭和31)・第03巻・01号
海外通信（中国・ドイツ）	葉橋泉・オット・カロー	(52)52	1956年(昭和31)・第03巻・01号
食方漫筆（13）不老長生と食（1）	伊藤清夫	(55)55	1956年(昭和31)・第03巻・01号
ホメオパシー講座（1）総論	坂口弘	(57)57	1956年(昭和31)・第03巻・01号
@1956年(昭和31)-第03巻-02号-			
胃風湯について	細野史郎	(3)65	1956年(昭和31)・第03巻・02号
漢薬「防已」に就て	高橋真太郎	(15)77	1956年(昭和31)・第03巻・02号
座談会／漢薬「防已」と「天麻」の選品に就て	矢数道明・大塚敬節・深澤弧一・浅野正義・栗原広三・木村雄四郎・建林宰亮・土田茂雄	(20)82	1956年(昭和31)・第03巻・02号
妊娠・老眼・乱視　－二三の補遺的事項－	代田文誌	(25)87	1956年(昭和31)・第03巻・02号
ホメオパシー講座（2）	坂口弘	(28)90	1956年(昭和31)・第03巻・02号
追録（「漢薬防已について」の追加記事）	高橋真太郎	(34)96	1956年(昭和31)・第03巻・02号
眼疾3題	小倉重成	(36)98	1956年(昭和31)・第03巻・02号
漢方雑感	大村明	(38)100	1956年(昭和31)・第03巻・02号
食方漫筆（14）不老長生と食（2）	伊藤清夫	(42)104	1956年(昭和31)・第03巻・02号
続新到的中国版古医書的話	石原明	(45)107	1956年(昭和31)・第03巻・02号
われらの先駆者　－山田椿庭－	古医道人	(47)109	1956年(昭和31)・第03巻・02号
傷寒論医学漫談	断語子	(49)111	1956年(昭和31)・第03巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年1月＞	協会本部／編集局	(49)111	1956年(昭和31)・第03巻・02号
紫雲膏	久能放羊	(51)113	1956年(昭和31)・第03巻・02号
「木防已」鑑定のいきさつ	気賀林一	(55)117	1956年(昭和31)・第03巻・02号

質疑・応答　ー秦ギョウ別甲湯の適応症に関しー	矢数道明	(58)120	1956年(昭和31)・第03巻・02号
韓国「東方医学会」発足す	矢数道明	(60)122	1956年(昭和31)・第03巻・02号
漢方研究諸団体総覧（11）大阪漢法集談会	編集局	(61)123	1956年(昭和31)・第03巻・02号
橋田邦彦先生と漢法	舘野健	(62)124	1956年(昭和31)・第03巻・02号
@1956年(昭和31)-第03巻-03号-			
陰陽錯雑虚実混淆の証について	藤平健	(3)127	1956年(昭和31)・第03巻・03号
漢方医学をめぐる中国の理論闘争	矢数道明	(7)131	1956年(昭和31)・第03巻・03号
今後の鍼灸治療	中谷義雄	(14)138	1956年(昭和31)・第03巻・03号
ホメオパシーの治療薬について	坂口弘	(17)141	1956年(昭和31)・第03巻・03号
欧米より帰りて	藤田六朗	(21)145	1956年(昭和31)・第03巻・03号
大柴胡湯証と思われた小柴胡湯証	小倉重成	(23)147	1956年(昭和31)・第03巻・03号
座談会／喘息を語る（鍼灸座談会）	丸山昌郎・岡部素道・柳谷素霊・矢数道明・細野史郎・中村了介	(24)148	1956年(昭和31)・第03巻・03号
灸点電気探知器の臨床（1）	七条晃正	(37)161	1956年(昭和31)・第03巻・03号
益気湯去人参に就て	中井暎芳	(41)165	1956年(昭和31)・第03巻・03号
食方漫筆（15）不老長生と食（3）	伊藤清夫	(47)171	1956年(昭和31)・第03巻・03号
われらの先駆者　ー山田業精ー	古医道人	(51)175	1956年(昭和31)・第03巻・03号
温知荘雑筆　漢方薬の撰品をめぐる問題	矢数道明	(54)178	1956年(昭和31)・第03巻・03号
ホルモンに関係深き東洋医薬	馬場辰二	(59)183	1956年(昭和31)・第03巻・03号
読者の声／読後小戯言（4）	津田卓二	(61)185	1956年(昭和31)・第03巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年2月＞	協会本部／編集局	(61)185	1956年(昭和31)・第03巻・03号
@1956年(昭和31)-第03巻-04号-			
心臓機能不全と木防已湯適応症候群に就て	矢数道明	(4)190	1956年(昭和31)・第03巻・04号
外証未だ解せざる者	大塚敬節	(13)199	1956年(昭和31)・第03巻・04号
太極療法について　ー澤田健先生を偲んでー	中村了介	(16)202	1956年(昭和31)・第03巻・04号
三叉神経痛の鍼灸	木下晴都	(21)207	1956年(昭和31)・第03巻・04号
第109回生理学東京談話会　ー講演抄録ー　鍼の研究　第1報　疼痛について	高岡松雄・伊藤秀三郎・赤羽幸兵衛	(27)213	1956年(昭和31)・第03巻・04号
診療簿より（1）　気管支喘息	和田正系	(28)214	1956年(昭和31)・第03巻・04号
瀉心湯と眼疾3題	小倉重成	(32)218	1956年(昭和31)・第03巻・04号
鍼術の妙境　ー術の極致は不立文字なることー	代田文誌	(34)220	1956年(昭和31)・第03巻・04号
ホメオパシー講座（3）薬物学　1.牡蠣	坂口弘	(38)224	1956年(昭和31)・第03巻・04号
「木防已」に関するいきさつ	藤平健	(43)229	1956年(昭和31)・第03巻・04号
漢方雑感（2）	大村明	(46)232	1956年(昭和31)・第03巻・04号
われらの先駆者　ー森枳園ー	古医道人	(49)235	1956年(昭和31)・第03巻・04号
東亜医学協会の事業経過と国際交流の回顧	矢数道明	(52)238	1956年(昭和31)・第03巻・04号
傷寒論医学漫談（2）	断語子	(59)245	1956年(昭和31)・第03巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年3月＞	協会本部／編集局	(61)247	1956年(昭和31)・第03巻・04号
@1956年(昭和31)-第03巻-05号-			
座談会／喘息を語る（食養座談会）	河内省一・伊藤清夫・矢数道明・細野史郎・藤田正直・気賀林一	(3)251	1956年(昭和31)・第03巻・05号
自家中毒症の漢方的療法	相見三郎	(28)276	1956年(昭和31)・第03巻・05号
脳卒中窒息説	工藤訓正	(30)278	1956年(昭和31)・第03巻・05号
再び益気湯去人参とその他	高橋道史	(33)281	1956年(昭和31)・第03巻・05号
高血圧及心臓肥大症	竹内達	(36)284	1956年(昭和31)・第03巻・05号
成敗のあとを顧みて	大塚敬節	(37)285	1956年(昭和31)・第03巻・05号
温知荘雑筆　幼児ネフローゼ2題	矢数道明	(41)289	1956年(昭和31)・第03巻・05号
ホメオパシー講座（4）薬物学　2.硫黄	坂口弘	(45)293	1956年(昭和31)・第03巻・05号
灸点電気探知器の臨床（2）	七条晃正	(49)297	1956年(昭和31)・第03巻・05号
食方漫筆（16）美しくなるために（1）肌の美	伊藤清夫	(56)304	1956年(昭和31)・第03巻・05号
誌上診療室　第6回　出題：便秘	出題）矢数道明	(58)306	1956年(昭和31)・第03巻・05号
新刊紹介／石原明著『医史学概説』を読んで	矢数道明	(60)308	1956年(昭和31)・第03巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年4月＞	協会本部／編集局	(63)311	1956年(昭和31)・第03巻・05号
@1956年(昭和31)-第03巻-06号-			
防已問題と漢方	栗原愛塔	(3)313	1956年(昭和31)・第03巻・06号
刺鍼後の組織膨隆について	木下晴都	(7)317	1956年(昭和31)・第03巻・06号

小柴胡湯の人参	小倉重成	(13)323	1956年(昭和31)・第03巻・06号
左右血圧差の著明なる眩暈症の治療に就て　ー洞刺の応用ー	代田文誌	(16)326	1956年(昭和31)・第03巻・06号
便通をつける食物	藤田正直	(21)331	1956年(昭和31)・第03巻・06号
座談会／皮膚病を語る	和田正系・馬場辰二・大塚敬節・矢数道明・細野史郎	(25)335	1956年(昭和31)・第03巻・06号
われらの先駆者　ー清川梧陰ー	古医道人	(32)342	1956年(昭和31)・第03巻・06号
灸点電気探知器の臨床（3）	七条晃正	(37)347	1956年(昭和31)・第03巻・06号
膵臓炎問題の其後	馬場辰二	(41)351	1956年(昭和31)・第03巻・06号
ホメオパシー講座（5）薬物学　3.植物炭及び獣　4.石墨（黒鉛）	坂口弘	(43)353	1956年(昭和31)・第03巻・06号
中国新刊古医書的話後日談	石原明	(49)359	1956年(昭和31)・第03巻・06号
海外通信（南京・上海・韓国・フランス）	葉橋泉・承淡安・葉大衛・朴憲在・桜沢如一	(51)361	1956年(昭和31)・第03巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年5月＞	協会本部／編集局	(54)364	1956年(昭和31)・第03巻・06号
温知荘雑筆　潤腸湯と麻子仁丸	矢数道明	(56)366	1956年(昭和31)・第03巻・06号
誌上診療室　第6回　解答	出題）矢数道明 回答）浅野友美・島津秀雄・前田安彦	(59)369	1956年(昭和31)・第03巻・06号
漢方研究諸団体総覧（12）広島漢方医薬研究会	編集局	(61)371	1956年(昭和31)・第03巻・06号
@1956年(昭和31)-第03巻-07号-			
新中国における漢方医批判と反批の問題	高橋真太郎	(3)375	1956年(昭和31)・第03巻・07号
座談会／最近の治験を語る	伊藤清夫・丸山昌郎・間中喜雄・和田正系・長浜善夫・矢数道明・馬場辰二・大塚敬節・細野史郎・柳谷素霊・石原明	(10)382	1956年(昭和31)・第03巻・07号
肺結核と灸療	代田文誌	(17)389	1956年(昭和31)・第03巻・07号
臍の効用　「神闕の臨床とその理論」	丸山昌郎	(21)393	1956年(昭和31)・第03巻・07号
臨床日誌より　（脳溢血・大腸カタル・大腸カタル・虫垂炎・萎縮腎）	大塚敬節	(25)397	1956年(昭和31)・第03巻・07号
『古今方彙』	清水藤太郎	(29)401	1956年(昭和31)・第03巻・07号
小児麻痺治験	馬場辰二	(31)403	1956年(昭和31)・第03巻・07号
竹庵漫筆（1）証の決定を大局的に観て	藤平健	(36)408	1956年(昭和31)・第03巻・07号
ホメオパシー講座（6）薬物学　5.燐	坂口弘	(39)411	1956年(昭和31)・第03巻・07号
眼疾2題	小倉重成	(45)417	1956年(昭和31)・第03巻・07号
「腹診」ーはらの見方ー　その1	間中喜雄	(47)419	1956年(昭和31)・第03巻・07号
温知荘雑筆　中国諸研究班の業績	矢数道明	(50)422	1956年(昭和31)・第03巻・07号
良導絡研究の全貌	中谷義雄	(54)426	1956年(昭和31)・第03巻・07号
新刊紹介／長浜善夫著『針灸の医学』	気賀林一	(61)433	1956年(昭和31)・第03巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年6月＞	協会本部／編集局	(62)434	1956年(昭和31)・第03巻・07号
読者の声／	加藤勝美・小寺敏	(64)436	1956年(昭和31)・第03巻・07号
@1956年(昭和31)-第03巻-08号-			
漢方用薬の選品（3）草果と草豆蔻（附、小豆蔻、紅豆蔻、縮砂、益智）	高橋真太郎	(3)437	1956年(昭和31)・第03巻・08号
汎発性鞏皮症の経験	藤田正直	(7)441	1956年(昭和31)・第03巻・08号
座談会／夏の治験を語る	清水藤太郎・和田正系・間中喜雄・矢数道明・大塚敬節・気賀林一	(14)448	1956年(昭和31)・第03巻・08号
高血圧治験	小倉重成	(20)454	1956年(昭和31)・第03巻・08号
竹庵漫筆（2）八味丸礼讃	藤平健	(23)457	1956年(昭和31)・第03巻・08号
灸点電気探知器の臨床（4）	七条晃正	(27)461	1956年(昭和31)・第03巻・08号
温知荘雑筆　膵臓炎の1治験	矢数道明	(30)464	1956年(昭和31)・第03巻・08号
食方漫筆（17）強精食談義	伊藤清夫	(33)467	1956年(昭和31)・第03巻・08号
活況を呈した漢方界7月の出版	矢数道明	(35)469	1956年(昭和31)・第03巻・08号
防已論補遺	高橋真太郎	(39)473	1956年(昭和31)・第03巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年7月＞	協会本部／編集局	(42)476	1956年(昭和31)・第03巻・08号
「腹診」ーはらの見方ー　その2	間中喜雄	(43)477	1956年(昭和31)・第03巻・08号
われらの先駆者　ー清川菖軒ー	古医道人	(46)480	1956年(昭和31)・第03巻・08号
海外通信	葉橋泉	(50)484	1956年(昭和31)・第03巻・08号
忘れ得ぬ患者	大塚敬節	(52)486	1956年(昭和31)・第03巻・08号
誌上診療室　第6回　回答追加	回答）浦人	(55)489	1956年(昭和31)・第03巻・08号
@1956年(昭和31)-第03巻-09-11号合併号-＜現代漢方医学大観ー3周年記念号ー＞			

『現代漢方医学大観』発刊に際して	矢数道明	(9)491	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞東洋医学と近代医学の融合について	長浜善夫	(11)493	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞東洋医学の将来に望む	板倉武	(19)501	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞内経の真本、国宝「黄帝内経太素」に関する書誌学的考察	石原明	(24)506	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞素問の治療理念	森田幸門	(40)522	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞宋以前医籍考のことなど	岡西為人	(54)536	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞日中漢方医学交流の歴史	和田正系	(58)540	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞傷寒雑病論の薬方の応用について	大塚敬節	(63)545	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞芍薬甘草湯の臨床薬理について	細野史郎	(76)558	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞日中漢方薬局方制定の基準	清水藤太郎	(84)566	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞正倉院薬物とその東洋医学上の意義　－1200年前中国から渡来した漢薬について－	渡邊武	(87)569	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞八味丸証について　－証の統計的考察－	藤平健	(105)587	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞漢方薬の近代薬理学的研究総覧	矢数道明	(115)597	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞日中両国における漢方用薬の現況	高橋真太郎	(152)634	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞国際針（灸）医学の情勢並に日本於ける針灸医学の科学的研究業績	間中喜雄	(168)650	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞自律神経学説より見たる鍼灸治療について	代田文誌	(176)658	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞鍼と疼痛　－関連痛消去無痛分娩法－	高岡松雄	(192)674	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞九針の成立と経絡治療の本態	柳谷素霊	(203)683	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞刺絡の歴史とその術技応用について	丸山昌郎	(214)694	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞食養の目指すもの	伊藤清夫	(225)705	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞近代医学の栄養学批判と日本食養法について	河内省一	(231)711	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞鍼灸医術と食養	西澤道允	(247)727	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞ドイツ、フランスに於ける東洋医学研究状況を視察して	坂口弘	(260)740	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
＜創刊3周年記念＞満州、薬の旅、回顧	栗原愛塔	(267)747	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
編集を終って	大塚敬節	(278)758	1956年(昭和31)・第03巻・09-11号
@1956年(昭和31)-第03巻-12号-			
漢方用薬の選品（4）大黄	高橋真太郎	(3)761	1956年(昭和31)・第03巻・12号
漢方と精神病	山田照胤	(11)769	1956年(昭和31)・第03巻・12号
在米華僑の漢方について	張伯彦	(14)772	1956年(昭和31)・第03巻・12号
座談会／東洋医学の将来を語る	石原明・柳谷素霊・伊藤清夫・藤平健・気賀林一・丸山昌郎・木村雄四郎・細野史郎・大塚敬節・矢数道明・吉田一郎	(17)775	1956年(昭和31)・第03巻・12号
灸点電気探知器の臨床（5）	七条晃正	(29)787	1956年(昭和31)・第03巻・12号
若返りと鍼灸	代田文誌	(31)789	1956年(昭和31)・第03巻・12号
刺鍼による月経催進法	木下晴都	(36)794	1956年(昭和31)・第03巻・12号
腰腹神経痛と腸腰筋リウマチ	藤田正直	(40)798	1956年(昭和31)・第03巻・12号
「腹診」－はらの見方－　その3	間中喜雄	(44)802	1956年(昭和31)・第03巻・12号
温知荘雑筆　湿疹－皮膚アレルギー－	矢数道明	(47)805	1956年(昭和31)・第03巻・12号
方函類聚について	高橋道史	(50)808	1956年(昭和31)・第03巻・12号
夜間尿	小倉重成	(52)810	1956年(昭和31)・第03巻・12号
中国鍼灸沿革史（1）	陳存仁 訳者）岡西為人	(55)813	1956年(昭和31)・第03巻・12号
民間治療の実際	堰本円作	(62)820	1956年(昭和31)・第03巻・12号
@1957年(昭和32)-第04巻-01号-			
現段階に於て東洋医学は如何に進展せしむべきか	竹山晋一郎	(3)3	1957年(昭和32)・第04巻・01号
座談会／桂枝湯を語る	細野史郎・大塚敬節・和田正系・藤平健・矢数道明・気賀林一	(9)9	1957年(昭和32)・第04巻・01号
浅田家方『方函類聚』の翻刻に当って	矢数道明	(16)16	1957年(昭和32)・第04巻・01号
「腹診」－はらの見方－　その4	間中喜雄	(27)27	1957年(昭和32)・第04巻・01号
桂枝湯類治験2例	小倉重成	(30)30	1957年(昭和32)・第04巻・01号
刺絡治験　－脳卒中の1例－	工藤訓正	(32)32	1957年(昭和32)・第04巻・01号
竹庵漫筆（3）薬能中心か方意中心か	藤平健	(34)34	1957年(昭和32)・第04巻・01号
温知荘雑筆　再び木防已湯証について	矢数道明	(37)37	1957年(昭和32)・第04巻・01号
治験さまざま（1）肝臓ガン・カリエス	高橋道史	(40)40	1957年(昭和32)・第04巻・01号

食方漫筆（18）塩（1）	伊藤清夫	(44)44	1957年(昭和32)・第04巻・01号
読後小戯言　ー特集号感想ー	津田卓二	(46)46	1957年(昭和32)・第04巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和31年8月・9月・10月・11月・12月＞	協会本部／編集局	(48)48	1957年(昭和32)・第04巻・01号
ホメオパシー講座（7）炭酸ナトリウム・食塩・炭酸カリ	坂口弘	(52)52	1957年(昭和32)・第04巻・01号
中国鍼灸沿革史（2）	陳存仁 訳者）岡西為人	(58)58	1957年(昭和32)・第04巻・01号
@1957年(昭和32)-第04巻-02号-			
精神ー身体医学と鍼灸治療　ー特に神経症についてー	代田文誌	(3)65	1957年(昭和32)・第04巻・02号
治験さまざま（2）筋肉炎・脱疽・ヒョウ疽	高橋道史	(8)70	1957年(昭和32)・第04巻・02号
柴胡剤治験	竹内達	(11)73	1957年(昭和32)・第04巻・02号
頑固なる神経性眼精疲労と思われる患者の漢方薬に依る1治験例	神永好章	(13)75	1957年(昭和32)・第04巻・02号
医籍閑話	岡西為人	(15)77	1957年(昭和32)・第04巻・02号
「腹診」ーはらの見方ー　その5	間中喜雄	(19)81	1957年(昭和32)・第04巻・02号
長沢元夫氏の『漢方』を読んで	竹山晋一郎	(23)85	1957年(昭和32)・第04巻・02号
傷寒論医学漫談（3）	断語子	(28)90	1957年(昭和32)・第04巻・02号
痔画痔讃	舘野健	(29)91	1957年(昭和32)・第04巻・02号
特集号を読みて	平吉広州	(30)92	1957年(昭和32)・第04巻・02号
『漢方医学大観』を読んで	幹本恵一	(32)94	1957年(昭和32)・第04巻・02号
『現代漢方医学大観』読後感	陳存仁	(33)95	1957年(昭和32)・第04巻・02号
中国の漢医書刊行事業	編集局	(34)96	1957年(昭和32)・第04巻・02号
われらの先駆者　ー清川魁軒ー	古医道人	(35)97	1957年(昭和32)・第04巻・02号
中国鍼灸沿革史（3）	陳存仁 訳者）岡西為人	(37)99	1957年(昭和32)・第04巻・02号
浅田家方『方函類聚』註解（2）	矢数道明	(41)103	1957年(昭和32)・第04巻・02号
座談会／小建中湯を語る	大塚敬節・藤平健・矢数道明・気賀林一	(48)110	1957年(昭和32)・第04巻・02号
癌腫に対する治療方針と治験例	藤田正直	(56)118	1957年(昭和32)・第04巻・02号
@1957年(昭和32)-第04巻-03号-			
後陣痛、月経痛の皮内鍼療法　ー東京医科大学東洋医学研究会ー	高岡松雄・鈴木武徳・春山広輝・赤羽幸兵衛	(3)127	1957年(昭和32)・第04巻・03号
軽粉と皮膚疾患	高橋道史	(7)131	1957年(昭和32)・第04巻・03号
小柴胡湯の合方に就いて	竹内達	(11)135	1957年(昭和32)・第04巻・03号
中国鍼灸沿革史（4）	陳存仁 訳者）岡西為人	(13)137	1957年(昭和32)・第04巻・03号
ホメオパシー講座（8）Ferrum・鉄の薬理作用・倦怠感と衰弱感	坂口弘	(20)144	1957年(昭和32)・第04巻・03号
東亜医学の交流地点	橋本敬三	(24)148	1957年(昭和32)・第04巻・03号
漢法時言　ー体質論の展開をー	木村佐京	(27)151	1957年(昭和32)・第04巻・03号
新到中薬管見（1）	石原明	(30)154	1957年(昭和32)・第04巻・03号
食方漫筆（19）酒と肴（1）	伊藤清夫	(33)157	1957年(昭和32)・第04巻・03号
われらの先駆者　ー三浦宗春ー	古医道人	(37)161	1957年(昭和32)・第04巻・03号
「風邪」の領分は？	車山人	(40)164	1957年(昭和32)・第04巻・03号
傷寒論医学漫談（4）	断語子	(42)166	1957年(昭和32)・第04巻・03号
海外通信（中国）	葉橘泉	(44)168	1957年(昭和32)・第04巻・03号
読後小戯言　ー漢方という堅い殻の中でー	津田卓二	(45)169	1957年(昭和32)・第04巻・03号
『方函類聚』に対する書翰	高橋道史	(46)170	1957年(昭和32)・第04巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年1月・2月＞	協会本部／編集局	(47)171	1957年(昭和32)・第04巻・03号
標と本	小倉重成	(51)175	1957年(昭和32)・第04巻・03号
精神異常に卓効と言われる生薬の臨床実験と成績（抄録）	宋尚徳	(53)177	1957年(昭和32)・第04巻・03号
浅田家方『方函類聚』註解（3）	矢数道明	(56)180	1957年(昭和32)・第04巻・03号
@1957年(昭和32)-第04巻-04号-			
古代インドの五蘊説と経絡の流注について	荒木正胤	(3)189	1957年(昭和32)・第04巻・04号
中国漢方医学界の動向（1）	長沢元夫	(10)196	1957年(昭和32)・第04巻・04号
「鬼交」「夢交」の診療例	西山英雄	(15)201	1957年(昭和32)・第04巻・04号
小治小験　桂枝二越婢一湯証▽蛋白尿に炙甘草湯▽子宮筋腫に小建中湯	龍野一雄	(20)206	1957年(昭和32)・第04巻・04号
桂枝茯苓丸治験	小倉重成	(22)208	1957年(昭和32)・第04巻・04号
腹診に就いて	竹内達	(24)210	1957年(昭和32)・第04巻・04号
座談会／婦人科疾患を語る	細野史郎・吉村得二・大塚敬節・矢数道明	(26)212	1957年(昭和32)・第04巻・04号
温知荘雑筆　曖気頻発症ーおくびの出る病ー	矢数道明	(32)218	1957年(昭和32)・第04巻・04号

白米食について	工藤訓正	(34)220	1957年(昭和32)・第04巻・04号
老医のたわごと	随古堂主人	(36)222	1957年(昭和32)・第04巻・04号
漢方復興の機運に寄す	茂木厚作	(39)225	1957年(昭和32)・第04巻・04号
傷寒論医学漫談（5）	断語子	(40)226	1957年(昭和32)・第04巻・04号
ホメオパシー講座（9）水銀	坂口弘	(42)228	1957年(昭和32)・第04巻・04号
浅田家方『方函類聚』註解（4）	矢数道明	(45)231	1957年(昭和32)・第04巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年3月＞	協会本部／編集局	(62)248	1957年(昭和32)・第04巻・04号
@1957年(昭和32)-第04巻-05号-			
四つの瀉心湯	大塚敬節	(3)251	1957年(昭和32)・第04巻・05号
「腎兪」刺激によって速に治癒した頑固な嘔吐・及び下痢について	間中喜雄	(6)254	1957年(昭和32)・第04巻・05号
中国漢方医学界の動向（2）	長沢元夫	(10)258	1957年(昭和32)・第04巻・05号
刺絡治験－脳卒中3例　－疲労について－	工藤訓正	(14)262	1957年(昭和32)・第04巻・05号
眼疾臨床5題	神永好章	(16)264	1957年(昭和32)・第04巻・05号
夜尿症の漢方的治験	相見三郎	(21)269	1957年(昭和32)・第04巻・05号
灸点電気探知器の臨床（6）	七条晃正	(23)271	1957年(昭和32)・第04巻・05号
血狂	高橋道史	(26)274	1957年(昭和32)・第04巻・05号
当帰芍薬散に就いて	竹内達	(30)278	1957年(昭和32)・第04巻・05号
萎縮性鼻炎と前立腺肥大症による尿閉治験	小倉重成	(31)279	1957年(昭和32)・第04巻・05号
ホメオパシー講座（10）Aurum・Alumina・Jodum	坂口弘	(33)281	1957年(昭和32)・第04巻・05号
われらの先駆者　－県玄節－	古医道人	(37)285	1957年(昭和32)・第04巻・05号
食方漫筆（20）酒と肴（2）	伊藤清夫	(40)288	1957年(昭和32)・第04巻・05号
漢方研究団体紹介／日本鍼灸学会・鍼灸談話会	編集局	(43)291	1957年(昭和32)・第04巻・05号
甘粛大黄の加工とその規格　（中薬通報、3巻、1期（1957））	紀晋魁	(44)292	1957年(昭和32)・第04巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年4月＞	協会本部／編集局	(44)292	1957年(昭和32)・第04巻・05号
新刊紹介／大塚敬節著『診断と処方　漢方療法』（婦人倶楽部生活選書）	Ｙ・Ｎ	(46)294	1957年(昭和32)・第04巻・05号
日本東洋医学会印象記	舘野健	(48)296	1957年(昭和32)・第04巻・05号
温知荘雑筆　カリエス3題	矢数道明	(49)297	1957年(昭和32)・第04巻・05号
座談会／心臓性疾患を語る	大塚敬節・細野史郎・藤平健・矢数道明	(54)302	1957年(昭和32)・第04巻・05号
@1957年(昭和32)-第04巻-06号-			
胃癌又は胃潰瘍と小野寺氏臀部圧点について（1）	倉島宗二	(3)309	1957年(昭和32)・第04巻・06号
中国漢方医学界の動向（3）	長沢元夫	(9)315	1957年(昭和32)・第04巻・06号
頭部刺鍼応用治験	代田文誌	(13)319	1957年(昭和32)・第04巻・06号
ホメオパシー講座（11）Aconitum・Belladonna	坂口弘	(16)322	1957年(昭和32)・第04巻・06号
漢方用薬の選品（5）黄耆	高橋真太郎	(21)327	1957年(昭和32)・第04巻・06号
灸点電気探知器の臨床（7）	七条晃正	(25)331	1957年(昭和32)・第04巻・06号
治験さまざま（3）脊髄梅毒・卵巣嚢腫・尿道狭窄症	高橋道史	(28)334	1957年(昭和32)・第04巻・06号
体温と皮膚温について	工藤訓正	(33)339	1957年(昭和32)・第04巻・06号
新到中薬管見（2）	石原明	(37)343	1957年(昭和32)・第04巻・06号
温知荘雑筆　附子採取記	矢数道明	(39)345	1957年(昭和32)・第04巻・06号
座談会／続婦人科疾患を語る	石野信安・大塚敬節・吉村得二・山田照胤・矢数道明	(46)352	1957年(昭和32)・第04巻・06号
肩凝り3題	小倉重成	(51)357	1957年(昭和32)・第04巻・06号
浅田家方『方函類聚』註解（5）	矢数道明	(52)358	1957年(昭和32)・第04巻・06号
新刊紹介／荒木正胤著『漢方治療』読後感	石原明	(57)363	1957年(昭和32)・第04巻・06号
新刊紹介／長塩容伸・大塚敬節共著『民間薬療法と薬草の知識』	気賀林一	(59)365	1957年(昭和32)・第04巻・06号
漢方研究団体紹介／近畿漢法研究会・東京優良生薬商業協会・漢方研鑽会（薬局協励会愛媛県支部）・中国漢方医薬研究会	編集局	(61)367	1957年(昭和32)・第04巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年5月＞	協会本部／編集局	(62)368	1957年(昭和32)・第04巻・06号
津間駿輔氏訃報	編集局	(62)368	1957年(昭和32)・第04巻・06号
腹診秘訣	竹内達	(63)369	1957年(昭和32)・第04巻・06号
@1957年(昭和32)-第04巻-07号-			
常習性便秘に対する潤腸湯の指示について	矢数道明	(3)372	1957年(昭和32)・第04巻・07号
琴渓・良宅流の吐方　－江戸時代の精神病の治療法－	山田照胤	(12)380	1957年(昭和32)・第04巻・07号
漢方医学徒の進むべき道（遺稿）	大井辰	(16)384	1957年(昭和32)・第04巻・07号
中国漢方医学界の動向（4）	長沢元夫	(24)392	1957年(昭和32)・第04巻・07号
桃核承気湯の皮膚及び泌尿器疾患に於ける治験	高橋道史	(30)398	1957年(昭和32)・第04巻・07号

蓄膿症験不験	龍野一雄	(34)402	1957年(昭和32)・第04巻・07号
中医常用方剤解説（1）	石原明	(37)405	1957年(昭和32)・第04巻・07号
食方漫筆（21）塩（2）	伊藤清夫	(44)412	1957年(昭和32)・第04巻・07号
新刊紹介／シャイト著・磯辺文雄訳『針灸療法と神経制御装置論』	龍野一雄	(46)414	1957年(昭和32)・第04巻・07号
誌上診療室　第7回　出題：むねやけ	出題）矢数道明	(47)415	1957年(昭和32)・第04巻・07号
大井辰君の追憶	大塚敬節	(48)416	1957年(昭和32)・第04巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年6月＞	協会本部／編集局	(50)418	1957年(昭和32)・第04巻・07号
浅田家方『方函類聚』註解（6）	矢数道明	(51)419	1957年(昭和32)・第04巻・07号
漢方研究団体紹介／漢法研究神戸木曜会	編集局	(52)420	1957年(昭和32)・第04巻・07号
小青竜湯に関する諸家の説	編集局	(56)424	1957年(昭和32)・第04巻・07号
@1957年(昭和32)-第04巻-08号-			
玄武湯の腹証について	大塚敬節	(3)433	1957年(昭和32)・第04巻・08号
「補瀉」についての1考察	間中喜雄	(6)436	1957年(昭和32)・第04巻・08号
印度と西域医学について（1）－石原明先生へ－	荒木正胤	(9)439	1957年(昭和32)・第04巻・08号
科学的鍼灸治療私見	中谷義雄	(14)444	1957年(昭和32)・第04巻・08号
量子力学と漢方医学（遺稿）	大井辰	(17)447	1957年(昭和32)・第04巻・08号
大黄牡丹皮湯の腸癰に於ける私考	高橋道史	(22)452	1957年(昭和32)・第04巻・08号
子宮膣部癌治験例	石野信安	(25)455	1957年(昭和32)・第04巻・08号
肋骨カリエス、痔瘻等純外科的疾患の漢方的治療について	相見三郎	(27)457	1957年(昭和32)・第04巻・08号
吐方に就いて	竹内達	(29)459	1957年(昭和32)・第04巻・08号
頑固な耳鳴が2回の温鍼術で治った例	西澤道允	(31)461	1957年(昭和32)・第04巻・08号
麦粒腫に対する鍼の治療について	船津純彦・船津寿美	(33)463	1957年(昭和32)・第04巻・08号
犬の病気の漢方療法	舘野健	(35)465	1957年(昭和32)・第04巻・08号
便秘と指圧療法	坂本士之	(38)468	1957年(昭和32)・第04巻・08号
ちょっと一言／第8回拓大漢方医学講座／鮎川静君の死因	大塚敬節	(43)473	1957年(昭和32)・第04巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年7月＞	協会本部／編集局	(45)475	1957年(昭和32)・第04巻・08号
新刊紹介／西澤道允著　『東洋医学概論』を読んで	丸山昌郎	(46)476	1957年(昭和32)・第04巻・08号
温知荘雑筆　『中文医史論文索引』と満州国旅の思い出	矢数道明	(47)477	1957年(昭和32)・第04巻・08号
傷寒論医学漫談（6）	断語子	(54)484	1957年(昭和32)・第04巻・08号
浅田家方『方函類聚』註解（7）胸膈肝諸病	矢数道明	(55)485	1957年(昭和32)・第04巻・08号
われらの先駆者　－梶塚灌園－	古医道人	(60)490	1957年(昭和32)・第04巻・08号
@1957年(昭和32)-第04巻-09号-			
水戸烈公の医政と医・薬奨励	石島績	(3)493	1957年(昭和32)・第04巻・09号
『烈公の医政』編集の思い出	石島績	(20)510	1957年(昭和32)・第04巻・09号
『烈公の医政と医・薬奨励』の掲載について	矢数道明	(21)511	1957年(昭和32)・第04巻・09号
良導絡について	中谷義雄	(24)514	1957年(昭和32)・第04巻・09号
治験さまざま（4）注夏病外3篇	高橋道史	(28)518	1957年(昭和32)・第04巻・09号
梔子乾姜湯の自家体験	海老塚吉次	(32)522	1957年(昭和32)・第04巻・09号
舌診に就いて	竹内達	(34)524	1957年(昭和32)・第04巻・09号
誌上診療室　第7回　解答	出題）矢数道明 回答）武藤敏文	(35)525	1957年(昭和32)・第04巻・09号
中国漢方医学界の動向（5）	長沢元夫	(36)526	1957年(昭和32)・第04巻・09号
神経痛の治療と高位中枢	代田文誌	(41)531	1957年(昭和32)・第04巻・09号
坐骨神経痛の治療から子母の補瀉をみる	木下晴都	(45)535	1957年(昭和32)・第04巻・09号
龍野氏蓄膿症験不験を読みて	森喜久男	(50)540	1957年(昭和32)・第04巻・09号
ホメオパシー講座（12）Bryonia・Nux, Vomiea	坂口弘	(52)542	1957年(昭和32)・第04巻・09号
雪剤について　－紫雪・紅雪・碧雪－	矢数道明	(57)547	1957年(昭和32)・第04巻・09号
漢方研究団体紹介／東京漢方杏林会	編集局	(64)554	1957年(昭和32)・第04巻・09号
@1957年(昭和32)-第04巻-10-11号合併号-＜創刊4周年記念特集号＞			
創刊4周年を迎えて	矢数道明	(5)555	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
東洋医学よりみた眼科治療	小倉重成	(10)560	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
内臓体表部反射の諸問題	間中喜雄	(35)585	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
中国の医療状況	鈴木武徳	(43)593	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
良導絡臨床の概要	中谷義雄	(48)598	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
印度と西域医学について（2）－石原明先生へ－	荒木正胤	(54)604	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
肩こりの臨床	工藤訓正	(61)611	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
治験さまざま（5）荊桃承気湯外2篇	高橋道史	(68)618	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号

歯の疾患への伯州散の応用	舘野健	(72)622	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
奇異なる1肝疾患の治療例	藤平健	(74)624	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
灸点電気探知器の臨床（8）	七条晃正	(77)627	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
中国漢方医学界の動向（6）	長沢元夫	(81)631	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
流行性毒感と予防治法　ー漢医学の見地からー	ハイ元植	(86)636	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
傷寒論条文中に於ける三焦について	吉田一郎	(88)637	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
＜漢方今昔座談＞所謂盲腸炎に就いて	細迫陽三	(90)640	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
わたしにもよくわからない	大塚敬節	(94)644	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
ホメオパシー講座（13）水毒に就いて	坂口弘	(96)646	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
中医常用方剤解説（2）	石原明	(101)651	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
虫垂炎の治療を通して見た理論的諸問題（第13回関東地方会研究発表原稿）	木村佐京	(107)657	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
証の決定	矢数道明	(109)659	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
神戸木曜会5周年記念講演会要旨	中井暎芳	(110)660	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
新刊紹介／大沢勝著『長生きの科学』ー東洋医学はあなたを守るー／龍野一雄著『「漢方処方集』	矢数道明	(113)663	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
新刊紹介／西澤先生の『臨床東洋医学概論』に就て／『漢方大医典』を読んで	茂木厚作	(114)664	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
日本東洋医学会近畿支部例会	茂木厚作	(118)668	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年8月＞	協会本部／編集局	(121)671	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
浅田家方『方函類聚』註解（8）	矢数道明	(122)672	1957年(昭和32)・第04巻・10-11号
@1957年(昭和32)-第04巻-12号-			
五苓散による治験とその応用について	矢数道明	(3)679	1957年(昭和32)・第04巻・12号
柴胡桂枝乾姜湯に関する2、3のことども	坂口弘	(13)689	1957年(昭和32)・第04巻・12号
人参湯の1証例について	舘野健	(17)693	1957年(昭和32)・第04巻・12号
針灸による精神的陰萎の治療	代田文誌	(19)695	1957年(昭和32)・第04巻・12号
針灸西伝史稿	石原明	(26)702	1957年(昭和32)・第04巻・12号
灸点電気探知器の臨床（9）	七条晃正	(29)705	1957年(昭和32)・第04巻・12号
経絡随想	中谷義雄	(32)708	1957年(昭和32)・第04巻・12号
中国漢方医学界の動向（7）	長沢元夫	(37)713	1957年(昭和32)・第04巻・12号
治験例　▽急性胃腸炎	龍野一雄	(42)718	1957年(昭和32)・第04巻・12号
中医常用方剤解説（3）	石原明	(45)721	1957年(昭和32)・第04巻・12号
流行性感冒の漢方治験例	阪本正夫	(50)726	1957年(昭和32)・第04巻・12号
＜漢方今昔座談＞故山田多三郎先生を偲びて	細迫陽三	(51)727	1957年(昭和32)・第04巻・12号
薬の味　ー日本短波放送録音記録ー	矢数道明	(54)730	1957年(昭和32)・第04巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年9月・10月＞	協会本部／編集局	(57)733	1957年(昭和32)・第04巻・12号
丸山・工藤両君の新著『刺絡療法』を読んで感じたこと	間中喜雄	(60)736	1957年(昭和32)・第04巻・12号
@1958年(昭和33)-第05巻-01号-			
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	丸山昌郎	(3)3	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	工藤訓正	(3)3	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	龍野一雄	(3)3	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	間中喜雄	(3)3	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞百病は気より生ず・四時の気と五臓	竹内達	(3)3	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	高橋真太郎	(4)4	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	七条晃正	(4)4	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	西澤道允	(4)4	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	森喜久男	(5)5	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	中谷義雄	(5)5	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	木下晴都	(5)5	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	藤田六朗	(5)5	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	代田文誌	(6)6	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	山田照胤	(6)6	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	安西安周	(6)6	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	石原明	(7)7	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	坂口弘	(7)7	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	随古堂主人	(7)7	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	大塚敬節	(7)7	1958年(昭和33)・第05巻・01号

新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	小倉重成	(7)7	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	長浜善夫	(7)7	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	荒木正胤	(8)8	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	高岡松雄	(8)8	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	舘野健	(8)8	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	藤平健	(8)8	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	木村佐京	(9)9	1958年(昭和33)・第05巻・01号
新春に当り本誌ご寄稿家の所感　＜昭和33年（1958年）＞	矢数道明	(9)9	1958年(昭和33)・第05巻・01号
往く年・来る年の漢方対談　ー大塚・矢数両氏に訊くー	大塚敬節・矢数道明 司会）気賀林一	(10)10	1958年(昭和33)・第05巻・01号
桂枝加竜骨牡蠣湯について	大塚敬節	(22)22	1958年(昭和33)・第05巻・01号
治験さまざま（6）皮膚泌尿器疾患	高橋道史	(33)33	1958年(昭和33)・第05巻・01号
証に対する三つの疑問　ー最近の経験よりー	山田照胤	(37)37	1958年(昭和33)・第05巻・01号
乳癌の漢方的診断法について	相見三郎	(40)40	1958年(昭和33)・第05巻・01号
頑固なる尿意頻数の針灸による治験2例　ー膀胱炎と尿崩症ー	代田文誌	(42)42	1958年(昭和33)・第05巻・01号
太陽証の悪熱？	小倉重成	(46)46	1958年(昭和33)・第05巻・01号
眼底出血の1治験例	神永好章	(50)50	1958年(昭和33)・第05巻・01号
食方漫筆（22）いかもの	伊藤清夫	(52)52	1958年(昭和33)・第05巻・01号
薬の匂い　ー日本短波放送録音原稿全文ー	矢数道明	(54)54	1958年(昭和33)・第05巻・01号
『漢方の医学の新研究』の著者　中山忠直氏の逝去を悼む	矢数道明	(57)57	1958年(昭和33)・第05巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年11＞	協会本部／編集局	(58)58	1958年(昭和33)・第05巻・01号
日中漢方医学交流座談会開催さる	編集局	(60)60	1958年(昭和33)・第05巻・01号
われらの先駆者　ー塩田松園ー	古医道人	(61)61	1958年(昭和33)・第05巻・01号
@1958年(昭和33)-第05巻-02号-			
証に代る「漢方的診断」という用語の提唱	藤平健	(3)65	1958年(昭和33)・第05巻・02号
傷寒論の瀉心の意義と瀉心湯（1）	脇坂憲治	(6)68	1958年(昭和33)・第05巻・02号
五行説についての私見	中谷義雄	(14)76	1958年(昭和33)・第05巻・02号
先天易と後天易の関連に関する1考察　五行説の研究（第4報）	藤田六朗	(18)80	1958年(昭和33)・第05巻・02号
中国漢方医学界の動向（8）	長沢元夫	(23)85	1958年(昭和33)・第05巻・02号
中医常用方剤解説（4）	石原明	(31)93	1958年(昭和33)・第05巻・02号
低血圧症？治験	小倉重成	(38)100	1958年(昭和33)・第05巻・02号
暗中模索　▽肝硬変症▽急性腎盂炎▽急性虫垂炎手術後の後遺痛	武藤敏文	(40)102	1958年(昭和33)・第05巻・02号
＜漢方今昔座談＞浅田流の漢方を学ぶ	細迫陽三	(43)105	1958年(昭和33)・第05巻・02号
稀有なる高熱患者の1例	竹内達	(46)108	1958年(昭和33)・第05巻・02号
薬の色　ー日本短波放送録音記録ー	矢数道明	(48)110	1958年(昭和33)・第05巻・02号
中国医学総会代表の来日	中谷義雄	(51)113	1958年(昭和33)・第05巻・02号
中国鍼灸沿革史（別刷）を読んで	津田卓二	(52)114	1958年(昭和33)・第05巻・02号
日中漢方医学交流についての希望	編集局	(54)116	1958年(昭和33)・第05巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和32年12月＞	協会本部／編集局	(55)117	1958年(昭和33)・第05巻・02号
本誌第4巻第12号の編集後記を読んで	高橋道史	(61)123	1958年(昭和33)・第05巻・02号
@1958年(昭和33)-第05巻-03号-			
生態（病態）評価とハリ灸（1）	間中喜雄	(3)125	1958年(昭和33)・第05巻・03号
傷寒論の瀉心の意義と瀉心湯（2）	脇坂憲治	(8)130	1958年(昭和33)・第05巻・03号
脈診部位について	木下晴都	(17)139	1958年(昭和33)・第05巻・03号
刺激と反応	中谷義雄	(20)142	1958年(昭和33)・第05巻・03号
灸点電気探知器の臨床（10）よろめく心臓（筆者自験）	七条晃正	(25)147	1958年(昭和33)・第05巻・03号
＜漢方今昔座談＞伝染病前編	細迫陽三	(26)148	1958年(昭和33)・第05巻・03号
婦人に発生する血病の治病方法	西澤道允	(30)152	1958年(昭和33)・第05巻・03号
難なる哉心臓弁膜病	高橋道史	(40)162	1958年(昭和33)・第05巻・03号
顔面神経麻痺の治験例	安藤千代造	(44)166	1958年(昭和33)・第05巻・03号
行雲録	青蛙生	(48)170	1958年(昭和33)・第05巻・03号
食方漫筆（23）暗好品（1）	伊藤清夫	(49)171	1958年(昭和33)・第05巻・03号
流感の自家治験　▽麻黄湯▽葛根黄連黄ゴン湯	舘野健	(51)173	1958年(昭和33)・第05巻・03号
漢方対談を読んで感あり	高橋道史	(53)175	1958年(昭和33)・第05巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年1月＞	協会本部／編集局	(59)181	1958年(昭和33)・第05巻・03号
浅田家方『方函類聚』註解（9）	矢数道明	(59)181	1958年(昭和33)・第05巻・03号
質疑応答（キョ風辟毒湯に就いて）	回答）細迫陽三	(63)185	1958年(昭和33)・第05巻・03号

海外通信（ボン大学オット・カロー博士より）	オット・カロー	(64)186	1958年(昭和33)・第05巻・03号
@1958年(昭和33)-第05巻-04号-			
生態（病態）評価とハリ灸（2）	間中喜雄	(3)187	1958年(昭和33)・第05巻・04号
精神的ストレスと高血圧　ー鍼灸随想ー	代田文誌	(5)189	1958年(昭和33)・第05巻・04号
小青竜湯の腹証	小倉重成	(10)194	1958年(昭和33)・第05巻・04号
癌の漢方的診断法私見	相見三郎	(13)197	1958年(昭和33)・第05巻・04号
良導絡興奮性と不問診	中谷義雄	(15)199	1958年(昭和33)・第05巻・04号
腹部腫瘍2例の漢方治験について	阪本正夫	(21)205	1958年(昭和33)・第05巻・04号
胃酸過多症の治験例	安藤千代造	(23)207	1958年(昭和33)・第05巻・04号
脈のよろめき	武藤敏文	(25)209	1958年(昭和33)・第05巻・04号
中国漢方医学界の動向（9）	長沢元夫	(28)212	1958年(昭和33)・第05巻・04号
オグラ長寿脈について	小椋道益	(40)224	1958年(昭和33)・第05巻・04号
行雲録	青蛙生	(49)233	1958年(昭和33)・第05巻・04号
われらの先駆者　ー村山拙軒ー	古医道人	(49)233	1958年(昭和33)・第05巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年2月・3月＞	協会本部／編集局	(54)238	1958年(昭和33)・第05巻・04号
漢方研究団体紹介／日本東洋医学会	編集局	(55)239	1958年(昭和33)・第05巻・04号
漢方研究団体紹介／東亜医学協会	編集局	(56)240	1958年(昭和33)・第05巻・04号
漢方研究団体紹介／奥門会	編集局	(56)240	1958年(昭和33)・第05巻・04号
浅田家方『方函類聚』註解（10）	矢数道明	(57)241	1958年(昭和33)・第05巻・04号
新刊紹介／益富寿之助著『正倉院薬物を中心とする古代石薬の研究』	高橋真太郎	(63)247	1958年(昭和33)・第05巻・04号
巻頭言の復活を希望する	一路人	(64)248	1958年(昭和33)・第05巻・04号
@1958年(昭和33)-第05巻-05号-			
血の道症の意義と漢方療法	矢数道明	(3)249	1958年(昭和33)・第05巻・05号
参蘇飲と肺炎	細野史郎	(16)262	1958年(昭和33)・第05巻・05号
漢方による子宮脱の完全治癒2例	西山英雄	(21)267	1958年(昭和33)・第05巻・05号
生態（病態）評価とハリ灸（3）	間中喜雄	(29)275	1958年(昭和33)・第05巻・05号
証は東洋医学の特色ではなかろうか	小倉重成	(33)279	1958年(昭和33)・第05巻・05号
馬場辰二先生の冥福を祈る	大塚敬節	(36)282	1958年(昭和33)・第05巻・05号
馬場辰二氏逝去	編集局	(37)283	1958年(昭和33)・第05巻・05号
馬場辰二先生のことども	気賀林一	(38)284	1958年(昭和33)・第05巻・05号
治験録あれこれ　灸・針・咳嗽と食塩・腎炎と小柴胡湯	坂口弘	(42)288	1958年(昭和33)・第05巻・05号
三叉神経痛の頑症　ー眼球剔出によって治癒したものー	代田文誌	(48)294	1958年(昭和33)・第05巻・05号
行雲録	青蛙生	(51)297	1958年(昭和33)・第05巻・05号
良導絡発見までの随想	中谷義雄	(54)300	1958年(昭和33)・第05巻・05号
＜漢方今昔座談＞伝染病赤痢編	細迫陽三	(58)304	1958年(昭和33)・第05巻・05号
皮膚病3例	生呉生	(61)307	1958年(昭和33)・第05巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年4月＞	協会本部／編集局	(62)308	1958年(昭和33)・第05巻・05号
質疑応答（円形脱毛症）	回答）大塚敬節	(63)309	1958年(昭和33)・第05巻・05号
@1958年(昭和33)-第05巻-06号-			
半外半裏と半表半裏	大塚敬節	(3)311	1958年(昭和33)・第05巻・06号
生態（病態）評価とハリ灸（4）	間中喜雄	(5)313	1958年(昭和33)・第05巻・06号
刺激作用の価値	木下晴都	(9)317	1958年(昭和33)・第05巻・06号
吐方と吐方家の横顔（其の1）	山田照胤	(12)320	1958年(昭和33)・第05巻・06号
癲癇の治験	相見三郎	(15)323	1958年(昭和33)・第05巻・06号
涙骨カリエスの鍼灸治験	代田文誌	(20)328	1958年(昭和33)・第05巻・06号
柴胡桂枝乾姜湯にて熱侯を呈せし例	森喜久男	(22)330	1958年(昭和33)・第05巻・06号
中国漢方医学界の動向（10）	長沢元夫	(25)333	1958年(昭和33)・第05巻・06号
小治験報告　▽胆石症の治験▽妊娠中絶後のノイローゼ▽心悸亢進症▽脳軟化症▽其の他	林篤美	(30)338	1958年(昭和33)・第05巻・06号
頑固なる腎炎の1治験	舘野健	(33)341	1958年(昭和33)・第05巻・06号
明治天皇御物神農本像事略	新田興	(36)344	1958年(昭和33)・第05巻・06号
灸点電気探知器の臨床（11）魄戸の凝り	七条晃正	(38)346	1958年(昭和33)・第05巻・06号
眼科臨床治験	神永好章	(42)350	1958年(昭和33)・第05巻・06号
温知荘雑筆　幸運に恵まれた一家	矢数道明	(44)352	1958年(昭和33)・第05巻・06号
食方漫筆（24）嗜好品（2）	伊藤清夫	(46)354	1958年(昭和33)・第05巻・06号
第9回日本東洋医学会印象記（鍼灸）	高岡松雄	(49)357	1958年(昭和33)・第05巻・06号

御質問の兼用剤に答う　▽起廃丸▽滚痰丸▽竜硫丸▽苦荊丸▽大甘丸▽月々紅散▽竜騰飲（治血気衝逆）	高橋道史	(52)360	1958年(昭和33)・第05巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年5月＞	協会本部／編集局	(55)363	1958年(昭和33)・第05巻・06号
最新式良導絡興奮性記入法	中谷義雄	(57)365	1958年(昭和33)・第05巻・06号
よろめく漢方	施子凡	(60)368	1958年(昭和33)・第05巻・06号
@1958年(昭和33)-第05巻-07号-			
湿性胸膜炎と小青竜湯加石膏	細野史郎	(3)373	1958年(昭和33)・第05巻・07号
吐方と吐方家の横顔（其の2）	山田照胤	(8)378	1958年(昭和33)・第05巻・07号
漢方食養と経絡　ー病気治療に対する私の考え方ー	岸本亮一	(12)382	1958年(昭和33)・第05巻・07号
生態（病態）評価とハリ灸（5）	間中喜雄	(16)386	1958年(昭和33)・第05巻・07号
皮膚通電抵抗と良導点	中谷義雄	(20)390	1958年(昭和33)・第05巻・07号
胃痛始末記	藤平健	(26)396	1958年(昭和33)・第05巻・07号
気管支喘息漢方治験3例　▽小青竜湯の証▽神秘湯の証▽麻杏甘石湯加桑白皮の証	阪本正夫	(29)399	1958年(昭和33)・第05巻・07号
中医常用方剤解説（5）	石原明	(31)401	1958年(昭和33)・第05巻・07号
行雲録	青蛙生	(38)408	1958年(昭和33)・第05巻・07号
そばの味と漢方	伊藤清夫	(39)409	1958年(昭和33)・第05巻・07号
温知荘雑筆　夜尿症2題	矢数道明	(40)410	1958年(昭和33)・第05巻・07号
治験2題　▽腸狭窄▽蓄膿症	車山人	(43)413	1958年(昭和33)・第05巻・07号
漢方医書を読む心得	大塚敬節	(45)415	1958年(昭和33)・第05巻・07号
骨膜炎	生呉生	(48)418	1958年(昭和33)・第05巻・07号
浅田家方『方函類聚』註解（11）	矢数道明	(49)419	1958年(昭和33)・第05巻・07号
応接室　わかり易い「漢方の理論体系」をたてるには	回答）長浜善夫	(55)425	1958年(昭和33)・第05巻・07号
傷寒論、金匱要略の鍼灸について	佐藤省吾	(56)426	1958年(昭和33)・第05巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年6月＞	協会本部／編集局	(57)427	1958年(昭和33)・第05巻・07号
新刊紹介／日本学士院編纂『明治前日本薬物学史』	石原明	(58)428	1958年(昭和33)・第05巻・07号
@1958年(昭和33)-第05巻-08号-			
漢法治療の根本理念	森田幸門	(3)429	1958年(昭和33)・第05巻・08号
生態（病態）評価とハリ灸（6）	間中喜雄	(9)435	1958年(昭和33)・第05巻・08号
桂枝茯苓丸料治験	小倉重成	(12)438	1958年(昭和33)・第05巻・08号
吐方余録	山田照胤	(14)440	1958年(昭和33)・第05巻・08号
半と、間とを抹殺せよ	森田幸門	(18)444	1958年(昭和33)・第05巻・08号
私の鍼灸観（その1）	中谷義雄	(20)446	1958年(昭和33)・第05巻・08号
新刊紹介／西山英雄著『漢法医語辞典　第1巻』	矢数道明	(23)449	1958年(昭和33)・第05巻・08号
病証の相対性ー均衡	脇坂憲治	(24)450	1958年(昭和33)・第05巻・08号
続よろめく漢方	施子凡	(28)454	1958年(昭和33)・第05巻・08号
修琴堂閑記	大塚敬節	(32)458	1958年(昭和33)・第05巻・08号
故馬場辰二先生の50日祭に列席して	矢数道明	(35)461	1958年(昭和33)・第05巻・08号
旧帝国図書館の漢方医書	大塚敬節	(38)464	1958年(昭和33)・第05巻・08号
漢方と化学療法　ー日本短波放送録音記録ー	矢数道明	(41)467	1958年(昭和33)・第05巻・08号
メンケン（瞑眩）談義	中井暎芳	(47)473	1958年(昭和33)・第05巻・08号
苦熱の1日（疎開当時の旧稿）	奥田炊煙	(52)478	1958年(昭和33)・第05巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年7月＞	協会本部／編集局	(54)480	1958年(昭和33)・第05巻・08号
浅田家方『方函類聚』註解（12）	矢数道明	(55)481	1958年(昭和33)・第05巻・08号
漢方と心理的波長	幸田藤三郎	(62)488	1958年(昭和33)・第05巻・08号
@1958年(昭和33)-第05巻-09号-			
唐防已（瓜防已）の正体	高橋真太郎	(3)491	1958年(昭和33)・第05巻・09号
肺結核に合併した骨盤カリエスと腎結核を啓脾湯加黄柏に露蜂房を兼用して全治せしめた例	大塚敬節	(7)495	1958年(昭和33)・第05巻・09号
座談会／漢方診療	細野史郎・大塚敬節・多々良素・矢数道明・気賀林一	(10)498	1958年(昭和33)・第05巻・09号
中国漢方医学界の動向（11）	長沢元夫	(18)506	1958年(昭和33)・第05巻・09号
メンケン（瞑眩）談義（2）ー経験2例ー	中島大蘇・中井暎芳	(23)511	1958年(昭和33)・第05巻・09号
病証の相対性ー均衡（2）	脇坂憲治	(26)514	1958年(昭和33)・第05巻・09号
寸効録　▽つわりに梔子乾姜湯▽結膜炎に白朮附子湯	龍野一雄	(30)518	1958年(昭和33)・第05巻・09号
私の鍼灸観（その2）	中谷義雄	(32)520	1958年(昭和33)・第05巻・09号
渇3題	小倉重成	(35)523	1958年(昭和33)・第05巻・09号
腎臓結石症の治験例	武藤敏文	(37)525	1958年(昭和33)・第05巻・09号

脳軟化症2例　－刺絡治験－	工藤訓正	(39)527	1958年(昭和33)・第05巻・09号
医籍閑話	岡西為人	(41)529	1958年(昭和33)・第05巻・09号
食方漫筆（25）嗜好品（3）	伊藤清夫	(48)536	1958年(昭和33)・第05巻・09号
温知荘雑筆　神経性斜頸に抑肝散	矢数道明	(51)539	1958年(昭和33)・第05巻・09号
東洋医術方法論	阪本正夫	(53)541	1958年(昭和33)・第05巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年8月＞	協会本部／編集局	(55)543	1958年(昭和33)・第05巻・09号
浅田家方『方函類聚』註解（13）	矢数道明	(57)545	1958年(昭和33)・第05巻・09号
鍼灸治療で癌が治った話	高岡松雄	(59)547	1958年(昭和33)・第05巻・09号
神戸木曜会第六周年記念講演会記録（7月20日）	井上圭二郎	(60)549	1958年(昭和33)・第05巻・09号
@1958年(昭和33)-第05巻-10号-			
芍甘黄辛附湯と胆嚢疾患	細野史郎	(3)551	1958年(昭和33)・第05巻・10号
白井光太郎博士の附子中毒について	矢数道明	(12)560	1958年(昭和33)・第05巻・10号
全体治療の必要性　－強度なる肩凝りと胃下垂症の針灸治療による反省－	代田文誌	(20)568	1958年(昭和33)・第05巻・10号
中国漢方医学界の動向（12）	長沢元夫	(23)571	1958年(昭和33)・第05巻・10号
或る日の治験例	間中喜雄	(27)575	1958年(昭和33)・第05巻・10号
失敗2例	西山英雄	(30)578	1958年(昭和33)・第05巻・10号
好用する医王湯に就て	中井暎芳	(35)583	1958年(昭和33)・第05巻・10号
灸点電気探知器の臨床（12）	七条晃正	(42)590	1958年(昭和33)・第05巻・10号
＜漢方今昔座談＞白喉症に就いて	細迫陽三	(44)592	1958年(昭和33)・第05巻・10号
竹庵漫筆（4）糖尿病兼高血圧症▽産後の狂症▽吃逆	藤平健	(46)594	1958年(昭和33)・第05巻・10号
よろめく漢方（その3）	施子凡	(50)598	1958年(昭和33)・第05巻・10号
真空不空	風癇生	(52)600	1958年(昭和33)・第05巻・10号
電気低抗計による探索と測定	磯辺文雄	(53)601	1958年(昭和33)・第05巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年9月＞	協会本部／編集局	(56)604	1958年(昭和33)・第05巻・10号
明宮（大正天皇）医按	安西安周	(59)607	1958年(昭和33)・第05巻・10号
藤平先生の「胃痛始末記」を読みて	脇坂憲治	(62)610	1958年(昭和33)・第05巻・10号
@1958年(昭和33)-第05巻-11-12号合併号-＜5周年記念特集号（近代漢方医学文献索引集）＞			
5周年記念特集号発刊に際して	編集局	(1)614	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
日本漢方医界の現況	矢数道明	(1)615	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
＜創刊5周年記念・近代漢方医学文献索引集＞「漢方と漢薬」誌	編集局	(1)627	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
＜創刊5周年記念・近代漢方医学文献索引集＞「東洋医学」誌	編集局	(63)691	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
＜創刊5周年記念・近代漢方医学文献索引集＞「漢方」誌	編集局	(64)692	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
＜創刊5周年記念・近代漢方医学文献索引集＞「日本東洋医学会誌」	編集局	(69)697	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
＜創刊5周年記念・近代漢方医学文献索引集＞「漢方の臨床」誌	編集局	(83)713	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
（附）「漢方の臨床」寄稿家住所録	編集局	(2)736	1958年(昭和33)・第05巻・11-12号
@1959年(昭和34)-第06巻-01号-			
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	間中喜雄	(1)1	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	竹内達	(1)1	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	大澤勝	(1)1	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	西澤道允	(1)1	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	神永好章	(2)2	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	橋本敬三	(2)2	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	森喜久男	(2)2	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	藤田正直	(2)2	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	工藤訓正	(3)3	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	津田卓二	(3)3	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	七条晃正	(3)3	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	脇坂憲治	(3)3	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	寺師丈太郎	(4)4	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	代田文誌	(4)4	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	木下晴都	(4)4	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	中谷義雄	(5)5	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	大塚敬節	(5)5	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	矢数道明	(5)5	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	磯辺文雄	(5)5	1959年(昭和34)・第06巻・01号

年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	高岡松雄	(6)6	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	坂本正夫	(6)6	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞本の歌・酒の歌・友の歌	両全堂主人	(6)6	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	山田照胤	(7)7	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	丸山昌朗	(7)7	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	長浜善夫	(7)7	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	舘野健	(7)7	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	鈴木正夫	(8)8	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	中井暎芳	(8)8	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	小倉重成	(8)8	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	細野史郎	(8)8	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	相見三郎	(8)8	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	石原明	(9)9	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	木村佐京	(9)9	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	高橋真太郎	(9)9	1959年(昭和34)・第06巻・01号
年頭所感　＜昭和34年（1959年）＞	荒木正胤	(9)9	1959年(昭和34)・第06巻・01号
中国漢方医学界の動向（13）	長沢元夫	(11)11	1959年(昭和34)・第06巻・01号
大建中湯と小建中湯の小経験	山田照胤	(16)16	1959年(昭和34)・第06巻・01号
癌3例	一路人	(18)18	1959年(昭和34)・第06巻・01号
厚朴七物湯加半夏による頑固なる嘔吐の1治験例	武藤敏文	(24)24	1959年(昭和34)・第06巻・01号
私の鍼灸観（その3）	中谷義雄	(27)27	1959年(昭和34)・第06巻・01号
ピアニストのノイローゼと針灸治療　ー附、パンチャー病についてー	代田文誌	(30)30	1959年(昭和34)・第06巻・01号
漢方的表現方式の整理について	藤平健	(35)35	1959年(昭和34)・第06巻・01号
流行性肝炎の漢方治験例	阪本正夫	(39)39	1959年(昭和34)・第06巻・01号
汪昂の医方集解の研究（其1）	森喜久男	(41)41	1959年(昭和34)・第06巻・01号
生薬の規格設定問題と私	木村雄四郎	(48)48	1959年(昭和34)・第06巻・01号
われらの先駆者　ー斎藤恕堂ー	古医道人	(51)51	1959年(昭和34)・第06巻・01号
板倉武博士逝去	編集局	(53)53	1959年(昭和34)・第06巻・01号
美しき人々	大塚敬節	(54)54	1959年(昭和34)・第06巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年10月・11月＞	協会本部／編集局	(56)56	1959年(昭和34)・第06巻・01号
還暦に想う	高橋道史	(59)59	1959年(昭和34)・第06巻・01号
@1959年(昭和34)-第06巻-02号-			
薬酒考	矢数道明	(3)63	1959年(昭和34)・第06巻・02号
良性胃腸疾患の温灸	木下晴都	(8)68	1959年(昭和34)・第06巻・02号
汪昂の医方集解の研究（其2）	森喜久男	(12)72	1959年(昭和34)・第06巻・02号
中国漢方医学界の動向（14）	長沢元夫	(20)80	1959年(昭和34)・第06巻・02号
腹痛と千金当帰湯	高橋道史	(25)85	1959年(昭和34)・第06巻・02号
皮膚疾患の漢方治験4例	阪本正夫	(29)89	1959年(昭和34)・第06巻・02号
高血圧症治験	小倉重成	(31)91	1959年(昭和34)・第06巻・02号
灸点電気探知器の臨床（13）	七条晃正	(33)93	1959年(昭和34)・第06巻・02号
中谷義雄氏『良導絡による皮膚刺激療法』を読んで	間中喜雄	(35)95	1959年(昭和34)・第06巻・02号
温知荘雑筆　会費納入をめぐる諸問題	矢数道明	(36)96	1959年(昭和34)・第06巻・02号
経絡経筋図譜を拝見	間中喜雄	(41)101	1959年(昭和34)・第06巻・02号
＜漢方今昔座談＞伝染病編「傷寒」	細迫陽三	(44)104	1959年(昭和34)・第06巻・02号
中国・四川附子の栽培と加工	朱蔚華・朱兆儀 抄録者）高橋真太郎	(48)108	1959年(昭和34)・第06巻・02号
ああ、板倉武先生	大塚敬節	(52)112	1959年(昭和34)・第06巻・02号
最近の漢薬市況	土田茂雄	(57)117	1959年(昭和34)・第06巻・02号
温知社遺品について	矢数道明	(59)119	1959年(昭和34)・第06巻・02号
@1959年(昭和34)-第06巻-03号-			
術と学との統一　ー甘草湯を中心としてー	舘野健	(1)125	1959年(昭和34)・第06巻・03号
汪昂の医方集解の研究（其3）	森喜久男	(5)129	1959年(昭和34)・第06巻・03号
胃腸神経症の診断と治療	中山友記	(12)136	1959年(昭和34)・第06巻・03号
医者の眼	代田文誌	(14)138	1959年(昭和34)・第06巻・03号
雑録	小倉重成	(16)140	1959年(昭和34)・第06巻・03号
灸点電気探知器の臨床（14）電探的腎兪に就て	七条晃正	(19)143	1959年(昭和34)・第06巻・03号
柳谷素霊氏逝去	編集局	(21)145	1959年(昭和34)・第06巻・03号

老医の雑言と治験	高橋道史	(22)146	1959年(昭和34)・第06巻・03号
湯液家と皮内針	舘野健	(27)151	1959年(昭和34)・第06巻・03号
最近の診療を語る／橘黄座談会	山田照胤・相見三郎・大塚敬節・藤平健・気賀林一	(30)154	1959年(昭和34)・第06巻・03号
5周年記念特集号発行の経過　ー読者の反響と希望に答えてー	矢数道明	(40)164	1959年(昭和34)・第06巻・03号
漢方医学の名誉の為に敢て一言す	茂木厚作	(44)168	1959年(昭和34)・第06巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和33年12月・昭和34年1月・2月＞	協会本部／編集局	(51)175	1959年(昭和34)・第06巻・03号
昭和33年度協会学術奨励金贈呈者決定の経過	編集局	(53)177	1959年(昭和34)・第06巻・03号
昭和の漢方を代表する森田幸門著『傷寒論入門』	大塚敬節	(56)180	1959年(昭和34)・第06巻・03号
“年頭所感”に所感ありて　ー1959年の年頭所感を読んでー	津田卓二	(61)185	1959年(昭和34)・第06巻・03号
@1959年(昭和34)-第06巻-04号-			
張仲景五蔵論について	宮下三郎	(3)187	1959年(昭和34)・第06巻・04号
木村済世塾宝蔵　医聖張仲景画像について	矢数道明	(9)193	1959年(昭和34)・第06巻・04号
『宋以前医籍考』の刊本を手にして	岡西為人	(14)198	1959年(昭和34)・第06巻・04号
中国漢方医学界の動向（15）	長沢元夫	(16)200	1959年(昭和34)・第06巻・04号
経絡の虚実と干支及び良導絡	中谷義雄	(20)204	1959年(昭和34)・第06巻・04号
「胃潰瘍漢方治療」2例	阪本正夫	(23)207	1959年(昭和34)・第06巻・04号
所謂腹水と私の治療（1）	高橋道史	(25)209	1959年(昭和34)・第06巻・04号
日本漢方医界の現況（続）	矢数道明	(32)216	1959年(昭和34)・第06巻・04号
柳谷素霊さんの死をいたむ	間中喜雄	(38)222	1959年(昭和34)・第06巻・04号
故柳谷素霊氏の告別式	編集局	(38)222	1959年(昭和34)・第06巻・04号
弔辞（柳谷素霊先生）	大塚敬節	(39)223	1959年(昭和34)・第06巻・04号
弔辞（柳谷素霊先生）	安西安周	(40)224	1959年(昭和34)・第06巻・04号
弔詞（柳谷素霊先生）	山下洵	(40)224	1959年(昭和34)・第06巻・04号
中国・四川附子の栽培と加工（2）	朱蔚華・朱兆儀 抄録者）高橋真太郎	(43)227	1959年(昭和34)・第06巻・04号
伝統への模索　ー針灸治療の主体性ー	津田卓二	(48)232	1959年(昭和34)・第06巻・04号
良師を求めて	大塚敬節	(51)235	1959年(昭和34)・第06巻・04号
鈴木真海先生	気賀林一	(56)240	1959年(昭和34)・第06巻・04号
@1959年(昭和34)-第06巻-05号-			
スタイン敦煌文書と現伝「宋板傷寒論」弁脉法並に「金匱玉函経」弁脉との比較	三木栄	(3)249	1959年(昭和34)・第06巻・05号
風邪小経験	小倉重成	(29)275	1959年(昭和34)・第06巻・05号
所謂腹水と私の治療（2）	高橋道史	(31)277	1959年(昭和34)・第06巻・05号
座談会／肺結核・喘息を語る	細野史郎・大塚敬節・山田光胤・相見三郎・矢数道明・気賀林一	(36)282	1959年(昭和34)・第06巻・05号
漢方を滅すもの	中井暎芳	(44)290	1959年(昭和34)・第06巻・05号
藤平先生の「漢方的用語の整理について」を拝見して	断語子	(47)293	1959年(昭和34)・第06巻・05号
『医学と現代生活』とアル・マクネール・ウィルソン著・桐生政次訳『医療の未来と神経の無感覚』をよむ	大塚敬節	(54)300	1959年(昭和34)・第06巻・05号
「術と学との統一」（舘野）について	一読者	(56)302	1959年(昭和34)・第06巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年3月・4月＞	協会本部／編集局	(59)305	1959年(昭和34)・第06巻・05号
われらの先駆者　ー岑少翁ー	古医道人	(62)308	1959年(昭和34)・第06巻・05号
@1959年(昭和34)-第06巻-06号-			
直観の医術　ー湯液の科学哲学的考察ー	舘野健	(1)311	1959年(昭和34)・第06巻・06号
精神発作と針灸治療　ー特に精神ー身体医学的立場からー	代田文誌	(12)322	1959年(昭和34)・第06巻・06号
中国漢方医学界の動向（16）	長沢元夫	(18)328	1959年(昭和34)・第06巻・06号
精神と良導絡	中谷義雄	(21)331	1959年(昭和34)・第06巻・06号
所謂腹水と私の治療（3）	高橋道史	(25)335	1959年(昭和34)・第06巻・06号
子宮癌と漢方療法	竹内達	(29)339	1959年(昭和34)・第06巻・06号
傷寒論の心胃膀胱について	山元章平	(32)342	1959年(昭和34)・第06巻・06号
日本東洋医学会第10回総会印象記	山田光胤	(35)345	1959年(昭和34)・第06巻・06号
漢方製剤について（第1回）　ー日本短波放送録音記録ー	矢数道明	(40)350	1959年(昭和34)・第06巻・06号
漢方と錠剤	根本義雄	(43)353	1959年(昭和34)・第06巻・06号
悲しい追憶	石野信安	(44)354	1959年(昭和34)・第06巻・06号
漢方の「むほん気」について　ー漢方における弁証法的発想ー	津田卓二	(48)358	1959年(昭和34)・第06巻・06号
吉村得二先生を悼む	山田光胤	(49)359	1959年(昭和34)・第06巻・06号
名医有用論　ー人間の学としての医学ー	浦野順文	(51)361	1959年(昭和34)・第06巻・06号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年5月＞	協会本部／編集局	(53)363	1959年(昭和34)・第06巻・06号
@1959年(昭和34)-第06巻-07号-			
医聖張仲景画像考	矢数道明	(1)371	1959年(昭和34)・第06巻・07号
血の道症に相当する疾患の現代医学的解釈（私見）	山田光胤	(9)379	1959年(昭和34)・第06巻・07号
進行性指掌角皮症の漢方的治験及び附議	相見三郎	(13)383	1959年(昭和34)・第06巻・07号
慢性腎炎の証	舘野健	(15)385	1959年(昭和34)・第06巻・07号
黄連溶液の外科的応用　▽化膿性慢性中耳炎▽同じく慢性中耳炎の1例▽臍部化膿	阪本正夫	(17)387	1959年(昭和34)・第06巻・07号
治験　▽皮膚粘膜眼症候群▽白内障と眩暈	小倉重成	(18)388	1959年(昭和34)・第06巻・07号
座談会／これからの漢方を語る	藤平健・石原明・長浜善夫・坂口弘・山田光胤・気賀林一	(22)392	1959年(昭和34)・第06巻・07号
労復病症のもつもの	脇坂憲治	(36)406	1959年(昭和34)・第06巻・07号
最近号所感	大塚敬節	(48)418	1959年(昭和34)・第06巻・07号
漢方製剤について（第2回）　－日本短波放送録音記録－	矢数道明	(49)419	1959年(昭和34)・第06巻・07号
中国漢方医学界の動向（17）	長沢元夫	(58)428	1959年(昭和34)・第06巻・07号
@1959年(昭和34)-第06巻-08号-			
敦煌出土の医書がもつ意義について	石原明	(3)431	1959年(昭和34)・第06巻・08号
自汗の1考察	大塚敬節	(9)437	1959年(昭和34)・第06巻・08号
ヨク苡附子敗醤散による治験	藤平健	(12)440	1959年(昭和34)・第06巻・08号
眼疾3題　▽潰瘍性眼瞼縁炎▽白内障▽糖尿病・白内障	小倉重成	(15)443	1959年(昭和34)・第06巻・08号
漢方薬がよく効く一家	山田光胤	(19)447	1959年(昭和34)・第06巻・08号
精神感動と脳溢血	代田文誌	(21)449	1959年(昭和34)・第06巻・08号
温知荘雑筆　ベーセット症候群の治験	矢数道明	(24)452	1959年(昭和34)・第06巻・08号
漢法思想の高次元性	中井暎芳	(30)458	1959年(昭和34)・第06巻・08号
書評／長浜善夫著　木下晴都・中村了介共同執筆　『鍼灸治療の新研究』を読んで	津田卓二	(42)470	1959年(昭和34)・第06巻・08号
「直観の医術」についての寸観	山元章平	(43)471	1959年(昭和34)・第06巻・08号
癌に対する民間薬の研究	矢数道明	(45)473	1959年(昭和34)・第06巻・08号
故柳谷さんの少年時代	山崎治助	(47)475	1959年(昭和34)・第06巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年6月＞	協会本部／編集局	(48)476	1959年(昭和34)・第06巻・08号
新刊紹介／大塚敬節著『漢方診療三十年』	矢数道明	(49)477	1959年(昭和34)・第06巻・08号
陣痛微弱に当帰散	一路人	(50)478	1959年(昭和34)・第06巻・08号
間中喜雄博士の帰朝報告会	編集局	(51)479	1959年(昭和34)・第06巻・08号
木村博昭師の草稿	安西安周	(56)484	1959年(昭和34)・第06巻・08号
@1959年(昭和34)-第06巻-09号-			
桂枝の薬能	龍野一雄	(3)489	1959年(昭和34)・第06巻・09号
神農本草経所載の薬品に就て（1）	岡西為人	(9)495	1959年(昭和34)・第06巻・09号
経絡判定としての腹診	木下晴都	(21)507	1959年(昭和34)・第06巻・09号
診療ノート（2）－明暗・続命－	長浜善夫	(24)510	1959年(昭和34)・第06巻・09号
病症治験さまざま　喘鳴及び短気・小便不利・脾胃虚弱・血熱	高橋道史	(29)515	1959年(昭和34)・第06巻・09号
高血圧の漢薬使用経験例　▽大柴胡湯の著効例▽釣藤散証の1例▽黄連解毒湯証の1例	阪本正夫	(33)519	1959年(昭和34)・第06巻・09号
良導絡の相関々係（所謂十二行説）	中谷義雄	(35)521	1959年(昭和34)・第06巻・09号
五行論放談	中井暎芳	(38)524	1959年(昭和34)・第06巻・09号
フランス針術会議に出席して	間中喜雄	(50)536	1959年(昭和34)・第06巻・09号
温知荘雑筆　瞑眩の語義について	矢数道明	(54)540	1959年(昭和34)・第06巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年7月＞	協会本部／編集局	(59)545	1959年(昭和34)・第06巻・09号
古方と後世方	高橋道史	(63)549	1959年(昭和34)・第06巻・09号
@1959年(昭和34)-第06巻-10号-			
十味敗毒湯の運用について	矢数道明	(3)551	1959年(昭和34)・第06巻・10号
胃癌又は胃潰瘍と小野寺氏臀部圧点について（2）－胃癌は治らぬものか？	倉島宗二	(8)556	1959年(昭和34)・第06巻・10号
騒音ノイローゼの針灸治療	代田文誌	(16)564	1959年(昭和34)・第06巻・10号
治験2題	多々良素	(19)567	1959年(昭和34)・第06巻・10号
神農本草経所載の薬品に就て（2）	岡西為人	(20)568	1959年(昭和34)・第06巻・10号
傷寒論三陰三陽と鍼灸の三陰三陽とは同一のものである	森喜久男	(29)577	1959年(昭和34)・第06巻・10号
座談会／最近の診療を語る	細野史郎・大塚敬節・長浜善夫・伊藤清夫・藤平健・矢数道明・気賀林一	(34)562	1959年(昭和34)・第06巻・10号
高次の運動形態	木村佐京	(43)591	1959年(昭和34)・第06巻・10号

病症治療験不験さまざま	高橋道史	(48)596	1959年(昭和34)・第06巻・10号
傷寒論茶話（1）	大塚敬節	(54)602	1959年(昭和34)・第06巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年8月＞	協会本部／編集局	(58)606	1959年(昭和34)・第06巻・10号
新刊紹介／安西安周著『漢法の臨床と処方』を読んで	矢数道明	(59)608	1959年(昭和34)・第06巻・10号
「医者の眼」を読んで	舘野健	(61)609	1959年(昭和34)・第06巻・10号
針術に門戸を開いたフランスの病院	間中喜雄	(64)612	1959年(昭和34)・第06巻・10号
@1959年(昭和34)-第06巻-11号-			
陰陽大論	脇坂憲治	(1)611	1959年(昭和34)・第06巻・11号
チック症の柴胡剤による療法	相見三郎	(14)624	1959年(昭和34)・第06巻・11号
葛根湯による蕁麻疹及び水虫の治験	山田光胤	(16)626	1959年(昭和34)・第06巻・11号
温知荘雑筆　偏頭痛と神経症の治験	矢数道明	(19)629	1959年(昭和34)・第06巻・11号
片瀬学説（酸、アルカリ平衡学説）と漢方医学	岸本亮一	(22)632	1959年(昭和34)・第06巻・11号
土佐医談	語る人）北村静夫 聞く人）大塚敬節・気賀林一	(27)637	1959年(昭和34)・第06巻・11号
傷寒論茶話（2）	大塚敬節	(41)651	1959年(昭和34)・第06巻・11号
日本古医学派考　ー学派成立の真因とその分類についてー	安西安周	(44)654	1959年(昭和34)・第06巻・11号
金・銀磁気粒療法・創案	佐藤三郎	(48)658	1959年(昭和34)・第06巻・11号
経絡と電気麻痺（針術協会誌1959）	述者）ブルネ 訳者）間中喜雄	(51)661	1959年(昭和34)・第06巻・11号
沢瀉久敬著『医学概論』第三部「医学に就いて」を読む	石原明	(54)664	1959年(昭和34)・第06巻・11号
木下晴都氏の『治療学』を読んで	間中喜雄	(56)666	1959年(昭和34)・第06巻・11号
日本文化史の暗黒面への光明　石原明著『日本の医学』	大塚敬節	(57)667	1959年(昭和34)・第06巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年9月＞	協会本部／編集局	(62)672	1959年(昭和34)・第06巻・11号
@1959年(昭和34)-第06巻-12号-			
不妊症と流産癖及び避妊に関する漢方治療	矢数道明	(3)673	1959年(昭和34)・第06巻・12号
座談会／故人を語る	大塚敬節・細野史郎・安西安周・矢数道明・石原明・気賀林一	(9)679	1959年(昭和34)・第06巻・12号
当帰芍薬散メモ	小倉重成	(26)696	1959年(昭和34)・第06巻・12号
匙	高橋道史	(29)996	1959年(昭和34)・第06巻・12号
中医常用方剤解説（6）	石原明	(33)703	1959年(昭和34)・第06巻・12号
日本古医学派考（2）	安西安周	(38)708	1959年(昭和34)・第06巻・12号
傷寒論と五行論とは？	中井暎芳	(43)713	1959年(昭和34)・第06巻・12号
傷寒論茶話（3）	大塚敬節	(50)720	1959年(昭和34)・第06巻・12号
＜漢方今昔座談＞肥児丸に就いて	細迫陽三	(54)724	1959年(昭和34)・第06巻・12号
「傷寒論」を例とした漢方処方簡化の私見	陳居霖	(60)730	1959年(昭和34)・第06巻・12号
新刊紹介／矢数道明著『漢方後世要方解説』	長浜善夫	(63)733	1959年(昭和34)・第06巻・12号
@1960年(昭和35)-第07巻-01号-			
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	間中喜雄	(3)3	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	木下晴都	(3)3	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	加藤勝美	(3)3	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	龍野一雄	(3)3	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞漢方とパターン認識	津田卓二	(3)3	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	石原明	(4)4	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	竹内達	(4)4	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	橋本敬三	(4)4	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	矢数道明	(5)5	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞新年の歌・秩父の歌	古医道人	(5)5	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	高橋道史	(5)5	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	神永好章	(6)6	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	高橋真太郎	(6)6	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	脇坂憲治	(6)6	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	大塚敬節	(6)6	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	小椋道益	(7)7	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	森喜久男	(7)7	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	代田文誌	(7)7	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	舘野健	(7)7	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	丸山昌朗	(8)8	1960年(昭和35)・第07巻・01号

年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	小倉重成	(8)8	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	中井暎芳	(8)8	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	荒木正胤	(8)8	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	坂本正夫	(8)8	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	藤田六朗	(8)8	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	山田光胤	(9)9	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	相見三郎	(9)9	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	茂木厚作	(9)9	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	七条晃正	(9)9	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	長浜善夫	(10)10	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	林篤美	(10)10	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	中村了介	(10)10	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	木村雄四郎	(10)10	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	西澤道允	(11)11	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	中谷義雄	(11)11	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	藤田正直	(11)11	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	高岡松雄	(12)12	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	岡西為人	(12)12	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞名伯楽	安西安周	(12)12	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	藤平健	(13)13	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	細野史郎	(13)13	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	木村佐京	(13)13	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	鈴木昇	(13)13	1960年(昭和35)・第07巻・01号
年頭所感　＜昭和35年（1960年）＞	高木崇正	(14)14	1960年(昭和35)・第07巻・01号
天城紀行	気賀林一・藤平健・小倉重成・山田光胤・矢数道明	(15)15	1960年(昭和35)・第07巻・01号
2つの自家治験　▽家人のヨク苡附子敗醤散治験▽私の調胃承気湯治験	舘野健	(33)33	1960年(昭和35)・第07巻・01号
小児病治験2題　▽小児常習頭痛に小建中湯▽急性腸カタルに桂枝湯エキス	山田光胤	(35)35	1960年(昭和35)・第07巻・01号
ある角膜実質炎患者の治療　－精神医学的立場をも含めて－	代田文誌	(36)36	1960年(昭和35)・第07巻・01号
日本古医学派考（3）	安西安周	(38)38	1960年(昭和35)・第07巻・01号
傷寒論茶話（4）	大塚敬節	(42)42	1960年(昭和35)・第07巻・01号
＜漢方今昔座談＞漢方外用剤に就いて	細迫陽三	(46)46	1960年(昭和35)・第07巻・01号
新刊紹介／龍野一雄編著　新選『類聚方』を読む	矢数道明	(54)54	1960年(昭和35)・第07巻・01号
閑医閑話	閑々子	(55)55	1960年(昭和35)・第07巻・01号
薬用人参の栽培情況（長野県）	土田茂雄	(56)56	1960年(昭和35)・第07巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和34年10月・11月・12月＞	協会本部／編集局	(59)59	1960年(昭和35)・第07巻・01号
@1960年(昭和35)-第07巻-02号-			
私の脈診観	小椋道益	(3)63	1960年(昭和35)・第07巻・02号
医学の歴史的社会性	土屋喜志郎	(7)67	1960年(昭和35)・第07巻・02号
延経期方について	西山英雄	(10)70	1960年(昭和35)・第07巻・02号
中国漢方医学界の動向（18）	長沢元夫	(15)75	1960年(昭和35)・第07巻・02号
網膜色素変性症治験	小倉重成	(19)79	1960年(昭和35)・第07巻・02号
内耳炎の体験	太田早苗	(21)81	1960年(昭和35)・第07巻・02号
高血圧症による神経症状の治験例	中山友記	(22)82	1960年(昭和35)・第07巻・02号
扁桃腺炎と列欠、太谿痛	福西一美	(25)85	1960年(昭和35)・第07巻・02号
腎気丸の乾、熟地黄及び桂枝、附子に就て	中井暎芳	(27)87	1960年(昭和35)・第07巻・02号
雑題	高橋道史	(35)95	1960年(昭和35)・第07巻・02号
神経性斜頸の治験続報	矢数道明	(38)98	1960年(昭和35)・第07巻・02号
日本古医学派考（4）	安西安周	(39)99	1960年(昭和35)・第07巻・02号
新刊紹介／坂口弘編　聖光園叢書第1集『漢方の話』	矢数道明	(46)106	1960年(昭和35)・第07巻・02号
漢方針灸関係医書出版目録	矢数道明	(48)108	1960年(昭和35)・第07巻・02号
新刊紹介／長谷川卯三郎著『医学禅』	編集局	(52)112	1960年(昭和35)・第07巻・02号
傷寒論茶話（5）	大塚敬節	(53)113	1960年(昭和35)・第07巻・02号
反古の中から（1）▽桂枝加芍薬大黄湯▽当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽当帰四逆加呉茱萸生姜湯	銀魚老人撰	(55)115	1960年(昭和35)・第07巻・02号
診療カードより（1）▽桂枝茯苓丸（4例）▽桂枝茯苓丸から八味丸	大塚敬節	(56)116	1960年(昭和35)・第07巻・02号
@1960年(昭和35)-第07巻-03号-			

悪性高血圧症の予後について	倉島宗二	(3)125	1960年(昭和35)・第07巻・03号
皮電計を応用せる上直筋痙攣及び複視の針灸治験　ー急性脳炎後遺症ー	代田文誌	(13)135	1960年(昭和35)・第07巻・03号
中国漢方医学界の動向（19）	長沢元夫	(18)140	1960年(昭和35)・第07巻・03号
診療茶談　食物とくすり　▽開腹手術後の下痢症▽肺結核患者の下痢症	河内省一	(22)144	1960年(昭和35)・第07巻・03号
風邪と小青竜湯	阪本正夫	(28)150	1960年(昭和35)・第07巻・03号
人工妊娠中絶手術時の麻酔の代用に三陰交皮内留置針を用いる価値	西山英雄	(30)152	1960年(昭和35)・第07巻・03号
最近の1治験例と食養談義	神永好章	(36)158	1960年(昭和35)・第07巻・03号
仮説と臆測	舘野健	(39)161	1960年(昭和35)・第07巻・03号
故柳谷素霊氏1年祭に臨んで	編集局	(40)162	1960年(昭和35)・第07巻・03号
柳谷素霊先生を憶う	牛島太郎	(42)164	1960年(昭和35)・第07巻・03号
陳居霖氏の漢方処方簡化について	茂木厚作	(44)166	1960年(昭和35)・第07巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年1月＞	協会本部／編集局	(46)168	1960年(昭和35)・第07巻・03号
傷寒論茶話（6）	大塚敬節	(47)169	1960年(昭和35)・第07巻・03号
漢方雑記	高橋道史	(50)172	1960年(昭和35)・第07巻・03号
日本古医学派考（5）	安西安周	(53)175	1960年(昭和35)・第07巻・03号
新刊紹介／縮刷第二改正『国民医薬品集註解』南江堂の創業80周年記念出版	編集局	(57)179	1960年(昭和35)・第07巻・03号
反古の中から（2）▽桂枝加厚朴杏子湯柴胡加厚朴杏子湯▽苓桂甘棗湯	銀魚老人撰	(60)182	1960年(昭和35)・第07巻・03号
@1960年(昭和35)-第07巻-04号-			
座談会／最近の診療を語る	大塚敬節・細野史郎・矢数道明・石原明・藤平健・気賀林一	(3)185	1960年(昭和35)・第07巻・04号
リウマチ熱の治験	高橋道史	(11)193	1960年(昭和35)・第07巻・04号
大黄黄連瀉心湯の治験	山田光胤	(15)197	1960年(昭和35)・第07巻・04号
中国漢方医学界の動向（20）	長沢元夫	(17)199	1960年(昭和35)・第07巻・04号
日蔭のひと　ー診療手帖の中からー	代田文誌	(21)203	1960年(昭和35)・第07巻・04号
最近の治験例　▽慢性湿疹と腰痛▽ペニシリン軟膏によるかぶれ▽にきび（尋常性ザ瘡）▽苔癬様湿疹▽結節性紅斑を伴える関節リウマチ▽全身湿疹▽湿疹と肥満▽両下腿部慢性湿疹▽慢性蕁麻疹▽クインケ氏浮腫とビダール苔癬▽ビタール苔癬と慢性湿疹▽いぼ（尋常性疣贅）▽丘湿性湿疹▽老人性ソウ痒症	渡利一水	(25)207	1960年(昭和35)・第07巻・04号
臨床余談	知愚庵	(29)211	1960年(昭和35)・第07巻・04号
温知荘雑筆　放屁瞑眩	矢数道明	(32)214	1960年(昭和35)・第07巻・04号
沢瀉久敬先生の「直観の医術」に対する批評	舘野健	(35)217	1960年(昭和35)・第07巻・04号
漢方処方簡化について	中井暎芳	(37)219	1960年(昭和35)・第07巻・04号
フにおちない事	橋本敬三	(40)222	1960年(昭和35)・第07巻・04号
断想集	津田卓二	(41)223	1960年(昭和35)・第07巻・04号
日本古医学派考（6）	安西安周	(42)224	1960年(昭和35)・第07巻・04号
反古の中から（3）▽半夏瀉心湯・大柴胡湯・調胃承気湯▽正気天香湯・半夏厚朴湯▽分心気飲▽キュウ帰膠ガイ湯▽苓桂五味甘草湯▽麦門冬湯▽奔豚湯▽当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽呉茱萸湯	銀魚老人撰	(47)229	1960年(昭和35)・第07巻・04号
傷寒論茶話（7）	大塚敬節	(49)231	1960年(昭和35)・第07巻・04号
診療カードより（2）▽小青竜湯	大塚敬節	(51)233	1960年(昭和35)・第07巻・04号
告知板／「土佐医談」を読んだ高知だより	編集局	(53)235	1960年(昭和35)・第07巻・04号
告知板／西山先生の「延経期方」について	ハナムラ薬局	(53)235	1960年(昭和35)・第07巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年2月・3月＞	協会本部／編集局	(55)237	1960年(昭和35)・第07巻・04号
話の落穂	Ｋ生	(59)241	1960年(昭和35)・第07巻・04号
@1960年(昭和35)-第07巻-05号-			
再び脳卒中室息説について	工藤訓正	(3)243	1960年(昭和35)・第07巻・05号
しょうが（生姜）に就いて（第1報）	西山英雄	(6)246	1960年(昭和35)・第07巻・05号
舌診も亦難し　ー流感治験ー	小倉重成	(11)251	1960年(昭和35)・第07巻・05号
てんかんの人間病理的治療ついて	相見三郎	(17)257	1960年(昭和35)・第07巻・05号
麻黄湯（流感治療）体験	山田光胤	(21)261	1960年(昭和35)・第07巻・05号
麻疹の漢薬使用経験例	阪本正夫	(22)262	1960年(昭和35)・第07巻・05号
診療漫歩　急性虫垂炎・急性虫垂炎・左膝部骨髄炎・痔核発作とアスピリン・左下腿動脈エンボリー	渡利一水	(24)264	1960年(昭和35)・第07巻・05号
診療懐古　▽喀血死▽発疹チフス▽麻疹の内攻▽肉腫▽下顎骨の癌腫	高橋道史	(26)266	1960年(昭和35)・第07巻・05号
＜漢方今昔座談＞枳園先生の痔の処方に就いて	細迫陽三	(29)269	1960年(昭和35)・第07巻・05号
東洋医学と脈診	土屋喜志郎	(32)272	1960年(昭和35)・第07巻・05号
医学にもいま少し物理学的な考えを！	津田卓二	(34)274	1960年(昭和35)・第07巻・05号

日本古医学派考（7）	安西安周	(34)274	1960年(昭和35)・第07巻・05号
子供と漢方　－日本短波放送録音記録－	矢数道明	(38)278	1960年(昭和35)・第07巻・05号
経絡図について	間中喜雄	(41)281	1960年(昭和35)・第07巻・05号
診療茶談　食物とくすり　▽急性メチル中毒▽死と闘った5時間▽急性胃潰瘍？兼心ぞう弱？	河内省一	(43)283	1960年(昭和35)・第07巻・05号
新刊紹介／西澤道允著『からだを改造する食物』を読んで	茂木厚作	(49)289	1960年(昭和35)・第07巻・05号
診療カードより（3）	大塚敬節	(51)291	1960年(昭和35)・第07巻・05号
傷寒論茶話（8）	大塚敬節	(53)292	1960年(昭和35)・第07巻・05号
反古の中から（4）▽桂枝二越婢一湯▽還魂湯▽大柴胡湯▽呉茱萸湯▽カッ香正気散・不換金正気飲▽滋陰降火湯▽附子理中湯▽桂枝加竜骨牡蠣湯▽桃核承気湯▽四君子湯▽松のみどりを麻黄の代用とすること	銀魚老人撰	(54)294	1960年(昭和35)・第07巻・05号
告知板／日本漢方医学の交流近況	編集局	(56)296	1960年(昭和35)・第07巻・05号
浅田家方『方函類聚』註解（14）	矢数道明	(59)299	1960年(昭和35)・第07巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年4月＞	協会本部／編集局	(62)302	1960年(昭和35)・第07巻・05号
@1960年(昭和35)-第07巻-06号-			
中国における最近の漢薬の基源植物の調査研究の成果（1）	高橋真太郎	(3)305	1960年(昭和35)・第07巻・06号
「直観の医術」論争について　－論争のエチケット－	山本成一郎	(16)318	1960年(昭和35)・第07巻・06号
陰陽の弁証法的把握	土屋喜志郎	(22)324	1960年(昭和35)・第07巻・06号
告知板／夜尿症に対する小建中湯の効果	Y	(24)326	1960年(昭和35)・第07巻・06号
中国漢方医学界の動向（21）	長沢元夫	(25)327	1960年(昭和35)・第07巻・06号
重症坐骨神経痛の針灸治験　－皮電計及皮電点を応用せるもの－	代田文誌	(29)331	1960年(昭和35)・第07巻・06号
最近の治験例　▽バンチ氏病▽左肺臓癌▽緊張するとふるえる患者▽癲癇▽気病	渡利一水	(32)334	1960年(昭和35)・第07巻・06号
制癌随想	藤田正直	(34)336	1960年(昭和35)・第07巻・06号
診療茶談　食物とくすり　▽痔瘻とネフローゼ▽急性肛囲炎	河内省一	(41)343	1960年(昭和35)・第07巻・06号
不潔と有害　針の消毒について	間中喜雄	(44)346	1960年(昭和35)・第07巻・06号
傷寒論茶話（9）	大塚敬節	(50)352	1960年(昭和35)・第07巻・06号
日本古医学派考（8）	安西安周	(52)354	1960年(昭和35)・第07巻・06号
診療カードより（4）	大塚敬節	(56)358	1960年(昭和35)・第07巻・06号
浅田家方『方函類聚』註解（15）	矢数道明	(57)359	1960年(昭和35)・第07巻・06号
反古の中から（5）▽レン瘡▽蓄膿症▽きつねつき▽腹痛▽耳がふさがる▽逍遥散▽清心抑胆湯▽抑肝散▽当帰四逆湯▽沢瀉湯▽茯苓沢瀉湯▽茯苓沢瀉湯	銀魚老人撰	(59)361	1960年(昭和35)・第07巻・06号
温知荘雑筆　これも膵臓炎であったか	矢数道明	(62)364	1960年(昭和35)・第07巻・06号
@1960年(昭和35)-第07巻-07号-			
経絡説と陰陽五行説について	間中喜雄	(3)367	1960年(昭和35)・第07巻・07号
中国における最近の漢薬の基源植物の調査研究の成果（2）	高橋真太郎	(6)370	1960年(昭和35)・第07巻・07号
西洋医学的治療法の反省　－千葉大学医学部講座記録－	松下嘉一	(12)376	1960年(昭和35)・第07巻・07号
表証の下剤	小倉重成	(18)382	1960年(昭和35)・第07巻・07号
茵チン蒿湯の治験（合方と単方の経験）	山田光胤	(22)386	1960年(昭和35)・第07巻・07号
治療昨今	林篤美	(24)388	1960年(昭和35)・第07巻・07号
重症なる毛瘡性眼瞼縁炎の治験例	神永好章	(25)389	1960年(昭和35)・第07巻・07号
中風に見られる神経痛の1治験	高橋道史	(26)390	1960年(昭和35)・第07巻・07号
常陸紀行	気賀林一・矢数道斎・矢数道明・安西安周	(28)392	1960年(昭和35)・第07巻・07号
中山忠直氏の追憶	矢数道明	(49)413	1960年(昭和35)・第07巻・07号
転失気は放屁である	大塚敬節	(54)418	1960年(昭和35)・第07巻・07号
傷寒論茶話（10）太陽病上編総括	大塚敬節	(55)419	1960年(昭和35)・第07巻・07号
日本古医学派考（9）	安西安周	(55)419	1960年(昭和35)・第07巻・07号
反古の中から（6）▽半夏瀉心湯▽柴胡去半夏括楼湯	銀魚老人撰	(59)423	1960年(昭和35)・第07巻・07号
診療カードより（5）	大塚敬節	(60)424	1960年(昭和35)・第07巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年5月＞	協会本部／編集局	(61)425	1960年(昭和35)・第07巻・07号
@1960年(昭和35)-第07巻-08号-			
転失気についての考察	矢数道明	(3)429	1960年(昭和35)・第07巻・08号
頭部刺針が体部に及ぼす影響について　－治験2例－	代田文誌	(9)435	1960年(昭和35)・第07巻・08号
癇症の治験	高橋道史	(13)439	1960年(昭和35)・第07巻・08号
神秘湯異変	武藤敏文	(16)442	1960年(昭和35)・第07巻・08号
診療漫歩　▽顔面神経麻痺治験例▽顔面神経痙攣治験例	渡利一水	(18)444	1960年(昭和35)・第07巻・08号
小治験例	中山友記	(20)446	1960年(昭和35)・第07巻・08号
診療茶談　食物とくすり　▽胃潰瘍▽胃潰瘍	河内省一	(24)450	1960年(昭和35)・第07巻・08号

研究座談会／皮電と針灸の会（1）	石川太刀雄・小田島粛夫・代田文誌・高橋晄正・多留淳文・藤田紀盛・細野八郎・松崎陽ほか　誌上参加）細野史郎・坂口弘	(29)455	1960年(昭和35)・第07巻・08号
編集雑話	気賀林一	(42)468	1960年(昭和35)・第07巻・08号
診療カードより（6）	大塚敬節	(43)469	1960年(昭和35)・第07巻・08号
「延経期方」偶感	真下正一	(45)471	1960年(昭和35)・第07巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年6月＞	協会本部／編集局	(46)472	1960年(昭和35)・第07巻・08号
奇経について	間中喜雄	(47)473	1960年(昭和35)・第07巻・08号
座談会／診療夜話	伊藤清夫・大塚敬節・矢数道明・石原明・藤平健・気賀林一	(48)474	1960年(昭和35)・第07巻・08号
反古の中から（7）▽白虎湯▽梔子シ湯▽桂枝加厚朴杏子湯	銀魚老人撰	(57)483	1960年(昭和35)・第07巻・08号
日本古医学派考（10）	安西安周	(57)483	1960年(昭和35)・第07巻・08号
傷寒論茶話（11）	大塚敬節	(62)488	1960年(昭和35)・第07巻・08号
@1960年(昭和35)-第07巻-09号-			
発掘の方法論　ー吉益東洞によせてー	山本成一郎	(3)491	1960年(昭和35)・第07巻・09号
「“直感の医術”論争について」について	舘野健	(13)501	1960年(昭和35)・第07巻・09号
皮膚病にヨク苡仁と、荊芥・苦参加味	山田光胤	(21)509	1960年(昭和35)・第07巻・09号
中国漢方医学界の動向（22）	長沢元夫	(24)512	1960年(昭和35)・第07巻・09号
失気と失溲について	荒木正胤	(28)516	1960年(昭和35)・第07巻・09号
転失気談義	森田幸門	(30)518	1960年(昭和35)・第07巻・09号
初期の胃癌を治療した経験	藤田正直	(31)519	1960年(昭和35)・第07巻・09号
診療茶談　食物とくすり　▽慢性気管支喘息症▽胃下垂症兼ノイローゼ	河内省一	(35)523	1960年(昭和35)・第07巻・09号
気管枝拡張症漢薬使用2例	阪本正夫	(41)529	1960年(昭和35)・第07巻・09号
医聖張仲景画像考（続）	矢数道明	(42)530	1960年(昭和35)・第07巻・09号
「常陸紀行」を読んで	高橋道史	(45)533	1960年(昭和35)・第07巻・09号
最近の臨床例より	神永好章	(48)536	1960年(昭和35)・第07巻・09号
頓座療法	間中喜雄	(50)538	1960年(昭和35)・第07巻・09号
日本古医学派考（11）	安西安周	(50)538	1960年(昭和35)・第07巻・09号
温知荘雑筆　ベーセット病治験　その2	矢数道明	(54)542	1960年(昭和35)・第07巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年7月・8月＞	協会本部／編集局	(55)543	1960年(昭和35)・第07巻・09号
傷寒論茶話（12）	大塚敬節	(57)545	1960年(昭和35)・第07巻・09号
診療カードより（7）	大塚敬節	(58)546	1960年(昭和35)・第07巻・09号
反古の中から（8）▽黄耆芍薬桂枝苦酒湯▽梔子シ湯・梔子甘草シ湯▽烏薬順気散	銀魚老人撰	(59)547	1960年(昭和35)・第07巻・09号
浅田家方『方函類聚』註解（16）	矢数道明	(60)548	1960年(昭和35)・第07巻・09号
@1960年(昭和35)-第07巻-10号-			
岡本一抱の『医学三蔵弁解』について	中井暎芳	(3)553	1960年(昭和35)・第07巻・10号
緑内障治験	小倉重成	(15)565	1960年(昭和35)・第07巻・10号
玄米と胡麻塩だけが最高の食物？	河内省一	(19)569	1960年(昭和35)・第07巻・10号
診療漫歩　▽心臓喘息治験例▽気管支喘息治験例	渡利一水	(22)572	1960年(昭和35)・第07巻・10号
研究座談会／皮電と針灸の会（2）	石川太刀雄・代田文誌・多留淳文・中川定明・細野八郎　誌上参加）坂口弘	(24)574	1960年(昭和35)・第07巻・10号
中国漢方医学界の動向（23）	長沢元夫	(33)583	1960年(昭和35)・第07巻・10号
体操礼讃	橋本敬三	(36)586	1960年(昭和35)・第07巻・10号
日本古医学派考（12）	安西安周	(37)587	1960年(昭和35)・第07巻・10号
漢方医学の症候のとりあげ方について	大塚敬節	(41)591	1960年(昭和35)・第07巻・10号
再び転失気について	大塚敬節	(47)597	1960年(昭和35)・第07巻・10号
告知板／水解剤について	矢数道明	(52)602	1960年(昭和35)・第07巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年9月＞	協会本部／編集局	(53)603	1960年(昭和35)・第07巻・10号
鍼灸学術大会を終えて	杉浦重昂	(54)604	1960年(昭和35)・第07巻・10号
浅田家方『方函類聚』註解（17）	矢数道明	(63)613	1960年(昭和35)・第07巻・10号
@1960年(昭和35)-第07巻-11号-			
宮中出仕漢方医家の当直日誌について（1）	矢数道明	(3)615	1960年(昭和35)・第07巻・11号
黴毒の漢方療法について	竹内達	(9)621	1960年(昭和35)・第07巻・11号
治験例　▽副睾丸炎に四逆散▽胃下垂に厚朴生姜半夏甘草人参湯	龍野一雄	(13)625	1960年(昭和35)・第07巻・11号

＜漢方今昔座談＞関節リウマチについて	細迫陽三	(16)628	1960年(昭和35)・第07巻・11号
診療茶談　食物とくすり　▽続・玄米とゴマ塩	河内省一	(22)634	1960年(昭和35)・第07巻・11号
座談会／最近の診療を語る	藤平健・石原明・大塚敬節・矢数道明・山田光胤・気賀林一	(28)640	1960年(昭和35)・第07巻・11号
「話し合い」のテストケース　ー漢方の前進のためのー	舘野健	(39)651	1960年(昭和35)・第07巻・11号
「直感の医術論争」短信	山本成一郎	(39)651	1960年(昭和35)・第07巻・11号
癌の治療に失敗した経験	藤田正直	(41)653	1960年(昭和35)・第07巻・11号
漢方小験一夕話	高橋道史	(50)662	1960年(昭和35)・第07巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年10月＞	協会本部／編集局	(54)666	1960年(昭和35)・第07巻・11号
傷寒論茶話（13）	大塚敬節	(56)668	1960年(昭和35)・第07巻・11号
診療カードより（8）	大塚敬節	(58)670	1960年(昭和35)・第07巻・11号
告知板／「皮電と針灸の会」の座談会記事について	広島Ｔ生	(59)671	1960年(昭和35)・第07巻・11号
告知板／故三好修一氏の消息	編集局	(59)671	1960年(昭和35)・第07巻・11号
反古の中から（9）▽烏苓通気散▽桃核承気湯▽甘草乾姜湯	銀魚老人撰	(60)672	1960年(昭和35)・第07巻・11号
日本古医学派考（13）	安西安周	(60)672	1960年(昭和35)・第07巻・11号
@1960年(昭和35)-第07巻-12号-			
湯液治療から見た「胸脇苦満」について	山田光胤	(3)677	1960年(昭和35)・第07巻・12号
宮中出仕漢方医家の当直日誌について（2）	矢数道明	(8)682	1960年(昭和35)・第07巻・12号
治験例　▽貧血に四逆加人参湯▽気管支喘息に大承気湯▽腰痛に苓姜朮甘湯▽蕁麻疹に附子湯	龍野一雄	(14)688	1960年(昭和35)・第07巻・12号
皮電点の臨床（1）急性腺窩性扁桃炎	代田文誌	(17)691	1960年(昭和35)・第07巻・12号
電針治療法	ラインフォルド・フォル 訳者）間中喜雄	(19)693	1960年(昭和35)・第07巻・12号
研究座談会／皮電と針灸の会（3）	石川太刀雄・坂口弘・代田文誌・多留淳文・細野八郎・松崎陽	(26)700	1960年(昭和35)・第07巻・12号
診療茶談　食物とくすり　▽乳児の消化不良症▽消化不良症・肺門淋巴腺結核？▽消化不良症	河内省一	(35)709	1960年(昭和35)・第07巻・12号
傷寒論茶話（14）	大塚敬節	(41)715	1960年(昭和35)・第07巻・12号
反古の中から（10）▽柴胡桂枝乾姜湯▽十棗湯▽真武湯▽桂枝加附子湯	銀魚老人撰	(42)716	1960年(昭和35)・第07巻・12号
片言隻語	高橋道史	(43)717	1960年(昭和35)・第07巻・12号
茶色の下り物	西山英雄 記述）井上圭二郎	(47)721	1960年(昭和35)・第07巻・12号
二つの処方	森田幸門 記述）平吉広州・井上圭二郎	(52)726	1960年(昭和35)・第07巻・12号
大塚敬節先生還暦祝賀会代表挨拶	矢数道明	(53)728	1960年(昭和35)・第07巻・12号
大塚敬節先生の還暦をことほぎて	代田文誌	(55)729	1960年(昭和35)・第07巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年11月＞	協会本部／編集局	(57)731	1960年(昭和35)・第07巻・12号
三たび転失気について　ー戸田一盛に答うー	大塚敬節	(58)732	1960年(昭和35)・第07巻・12号
@1961年(昭和36)-第08巻-01号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（1）曲直瀬道三	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	間中喜雄	(5)3	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	脇坂憲治	(5)3	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞若返りて	大塚敬節	(5)3	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	津田卓二	(5)3	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	藤田正直	(6)4	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞電探針灸普及の年	七条晃正	(6)4	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	太田早苗	(7)5	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	神永好章	(7)5	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	中井暎芳	(7)5	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	中谷義雄	(8)6	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	岡西為人	(8)6	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	小椋道益	(8)6	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	坂口弘	(9)7	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	矢数道明	(9)7	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	茂木厚作	(9)7	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	山元章平	(10)8	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	堀越竜雄	(10)8	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	山崎巖	(10)8	1961年(昭和36)・第08巻・01号

年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞偶感	奥田炊煙	(11)9	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	舘野健	(11)9	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	工藤訓正	(11)9	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞宇宙時代の年頭にあたって	藤田六朗	(11)9	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	竹内達	(12)10	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞大禅師になった話	荒木正胤	(12)10	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	山田光胤	(12)10	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	西澤道允	(13)11	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	高橋道史	(13)11	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	浅野友美	(13)11	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞病院ストに対する管理者の心構え私はこう考える（（1961年）元旦）	鈴木武徳	(14)12	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞拙ない研究の30年の回顧	高橋真太郎	(14)12	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	加藤勝美	(15)13	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	渡利一水	(15)13	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞年頭雑感	石原明	(15)13	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	高岡松雄	(16)14	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	中村了介	(16)14	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	坂本正夫	(17)15	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞漸を以て進む	小倉重成	(17)15	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	木村佐京	(17)15	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	中島大蘇	(18)16	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	代田文誌	(18)16	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞年頭に際し医政への要望	相見三郎	(18)16	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞年頭随筆	井上圭二郎	(18)16	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	長浜善夫	(19)17	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	吉田一郎	(19)17	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	山本成一郎	(19)17	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭所感　＜昭和36年（1961年）＞	藤平健	(20)18	1961年(昭和36)・第08巻・01号
柴芍六君子湯の運用と治験について	山田光胤	(21)19	1961年(昭和36)・第08巻・01号
これは驚いた八味丸	寺師睦濟	(24)22	1961年(昭和36)・第08巻・01号
脈診と漢方（1）	坂口弘	(27)25	1961年(昭和36)・第08巻・01号
太陽証とその腹候	小倉重成	(30)28	1961年(昭和36)・第08巻・01号
治験例　▽メニエール症候群に小柴胡湯▽高血圧症に烏頭桂枝湯	龍野一雄	(34)32	1961年(昭和36)・第08巻・01号
駿河紀行	気賀林一・大塚敬節・矢数道明	(37)35	1961年(昭和36)・第08巻・01号
温知荘雑筆　肝硬変症といわれた患者	矢数道明	(54)52	1961年(昭和36)・第08巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和35年12月＞	協会本部／編集局	(56)54	1961年(昭和36)・第08巻・01号
数珠と聴診器	河内省一	(57)55	1961年(昭和36)・第08巻・01号
年頭にあたりて先覚者を偲ぶ	安西安周	(59)57	1961年(昭和36)・第08巻・01号
告知板／「皮電と針灸の会」の座談会記事についての回答	代田文誌	(60)58	1961年(昭和36)・第08巻・01号
告知板／乳汁欠乏症について	Ｙ生	(60)58	1961年(昭和36)・第08巻・01号
心臓弁膜症の漢方的治験と考察	相見三郎	(61)59	1961年(昭和36)・第08巻・01号
大塚敬節著『東洋医学とともに』を読んで	山本成一郎	(63)61	1961年(昭和36)・第08巻・01号
矢数道明著『臨床三十年漢方百話』を読んで	森田幸門	(65)63	1961年(昭和36)・第08巻・01号
@1961年(昭和36)-第08巻-02号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（2）香月牛山・（3）曲直瀬玄朔	石原明	-1	1961年(昭和36)・第08巻・02号
呉茱萸湯について	大塚敬節	(3)69	1961年(昭和36)・第08巻・02号
脈診と漢方（2）	坂口弘	(15)81	1961年(昭和36)・第08巻・02号
最近の治験2例　▽糖尿病に八味丸を用いた例▽自律神経失調症の1例	阪本正夫	(21)87	1961年(昭和36)・第08巻・02号
診療茶談　食物とくすり　▽バセドー病▽入試に成功したＹ君	河内省一	(23)89	1961年(昭和36)・第08巻・02号
治験例　▽血の道症に烏梅丸▽血の道症に烏梅丸	龍野一雄	(29)95	1961年(昭和36)・第08巻・02号
老医の贅言	高橋道史	(33)99	1961年(昭和36)・第08巻・02号
反古の中から（11）▽五苓散▽順気和中湯▽五積散・蘇子降気湯・分心気飲▽葛根湯・桂枝加芍薬湯・真武湯・四逆湯▽大黄甘草湯	銀魚老人撰	(37)103	1961年(昭和36)・第08巻・02号
われらの先駆者　－今村岨雲－	古医道人	(38)104	1961年(昭和36)・第08巻・02号
名士往診の思い出　－終戦直後に書いた『鍼灸随想』からの抜書き－	代田文誌	(43)109	1961年(昭和36)・第08巻・02号

証の掴み方について　－兵法書『戦争論』を読む－	寺師睦濟	(46)112	1961年(昭和36)・第08巻・02号
昭和時代の千葉大学医学部における東洋医学研究動向	高柳欽一	(49)115	1961年(昭和36)・第08巻・02号
「皮電と針灸の会」を読んで	津田卓二	(55)121	1961年(昭和36)・第08巻・02号
馬兜鈴（土青木香）の降圧作用について	矢数道明	(56)122	1961年(昭和36)・第08巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年1月＞	協会本部／編集局	(57)123	1961年(昭和36)・第08巻・02号
傷寒論茶話（15）	大塚敬節	(58)124	1961年(昭和36)・第08巻・02号
@1961年(昭和36)-第08巻-03号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（4）後藤艮山・（5）香川修庵	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・03号
聖光園臨床レポート（1）ニキビと延年半夏湯▽ミクリッツ症候群？と牛蒡コン連湯▽自律神経症と九味檳榔湯	細野史郎・坂口弘・細野八郎	(5)131	1961年(昭和36)・第08巻・03号
科学と陰陽五行説	丸山昌朗	(12)138	1961年(昭和36)・第08巻・03号
皮電点の臨床（2）上顎竇蓄膿症	代田文誌	(17)143	1961年(昭和36)・第08巻・03号
思いつき	龍野一雄	(20)146	1961年(昭和36)・第08巻・03号
漢方治験　▽題名について▽脾胃虚弱	高橋道史	(24)150	1961年(昭和36)・第08巻・03号
軟便で胃腸の弱い患者	寺師睦濟	(27)153	1961年(昭和36)・第08巻・03号
診療茶談　食物とくすり　▽慢性気管支喘息症▽気管支喘息症▽気管支喘息症▽気管支喘息症	河内省一	(29)155	1961年(昭和36)・第08巻・03号
一枚のカルテ	山田光胤	(35)161	1961年(昭和36)・第08巻・03号
傷寒論茶話（16）	大塚敬節	(39)165	1961年(昭和36)・第08巻・03号
奥田謙蔵氏逝去	編集局	(41)167	1961年(昭和36)・第08巻・03号
温知荘雑筆　凍傷談義	矢数道明	(42)168	1961年(昭和36)・第08巻・03号
反古の中から（12）▽不換金散加蜀椒烏梅▽四物湯加細辛▽四物湯加紅花麻子仁甘草▽四物湯加香附子貝母陳皮▽六味丸	銀魚老人撰	(46)172	1961年(昭和36)・第08巻・03号
癌に荊防敗毒散加減	中島大蘇	(47)173	1961年(昭和36)・第08巻・03号
伊勢湾台風経験記	海老原静峯	(48)174	1961年(昭和36)・第08巻・03号
中国漢方医学界の動向（24）	長沢元夫	(52)178	1961年(昭和36)・第08巻・03号
治験例　▽げっぷに生姜瀉心湯▽しゃっくりに橘皮竹茹湯	龍野一雄	(56)182	1961年(昭和36)・第08巻・03号
素問を読む会	安西安周	(59)185	1961年(昭和36)・第08巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年2月＞	協会本部／編集局	(60)186	1961年(昭和36)・第08巻・03号
@1961年(昭和36)-第08巻-04号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（6）吉益東洞・（7）山脇東洋	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・04号
桂枝の薬能（補遺1）	龍野一雄	(5)191	1961年(昭和36)・第08巻・04号
聖光園臨床レポート（2）肝臓と漢方	細野史郎・坂口弘・細野八郎	(10)196	1961年(昭和36)・第08巻・04号
鍼尖について	木下晴都	(17)203	1961年(昭和36)・第08巻・04号
ホルモン剤は乱用されていないであろうか	小倉重成	(20)206	1961年(昭和36)・第08巻・04号
附子湯証治験と少腹如扇に就て	朴盛洙	(23)209	1961年(昭和36)・第08巻・04号
道は近きにあり　▽葛根湯▽姜桂▽診療断片	高橋道史	(25)211	1961年(昭和36)・第08巻・04号
思いつき　胸脇苦満・解釈・五行	龍野一雄	(29)215	1961年(昭和36)・第08巻・04号
温知荘雑筆　胃痙攣に梁丘の鍼	矢数道明	(33)219	1961年(昭和36)・第08巻・04号
金磁気粒療法	佐藤三郎	(35)221	1961年(昭和36)・第08巻・04号
科学と陰陽五行説（2）	丸山昌朗	(37)223	1961年(昭和36)・第08巻・04号
座談会／最近の診療を語る	藤平健・大塚敬節・矢数道明・山田光胤・相見三郎・気賀林一	(40)226	1961年(昭和36)・第08巻・04号
弔詞　－奥田謙蔵先生の霊前に捧ぐ－	矢数道明	(51)237	1961年(昭和36)・第08巻・04号
嗚呼奥田先生	藤平健	(52)238	1961年(昭和36)・第08巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年3月＞	協会本部／編集局	(59)245	1961年(昭和36)・第08巻・04号
告知板／香月牛山の読み方について	矢数道明	(60)246	1961年(昭和36)・第08巻・04号
告知板／香月牛山の読み第二信	編集局	(60)246	1961年(昭和36)・第08巻・04号
告知板／柳谷素霊先生遺徳顕彰会	編集局	(61)247	1961年(昭和36)・第08巻・04号
@1961年(昭和36)-第08巻-05号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（8）浅井図南・（9）中西深斎	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・05号
証と象　－証探究の盲点－	山本成一郎	(5)251	1961年(昭和36)・第08巻・05号
聖光園臨床レポート（3）頭痛について	細野史郎・坂口弘・細野八郎	(13)259	1961年(昭和36)・第08巻・05号
桂枝の薬能（補遺2）	龍野一雄	(23)269	1961年(昭和36)・第08巻・05号
科学と陰陽五行説（3）	丸山昌朗	(29)275	1961年(昭和36)・第08巻・05号
診療中に見た病人心理の数々	高橋道史	(36)282	1961年(昭和36)・第08巻・05号
＜漢方今昔座談＞流行性感冒及感冒について	細迫陽三	(40)286	1961年(昭和36)・第08巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年4月＞	協会本部／編集局	(44)290	1961年(昭和36)・第08巻・05号

インフルエンザ後遺症（口内炎）	佐藤三郎	(46)292	1961年(昭和36)・第08巻・05号
宇宙時代と漢方	津田卓二	(47)293	1961年(昭和36)・第08巻・05号
書評／藤田六朗著『圧診点と丘診点』	多留淳文	(48)294	1961年(昭和36)・第08巻・05号
われらの先駆者　ー和田子真ー	古医道人	(49)295	1961年(昭和36)・第08巻・05号
鍼灸随想　終戦後間もなく書いたノートから	代田文誌	(55)301	1961年(昭和36)・第08巻・05号
傷寒論茶話（17）	大塚敬節	(60)306	1961年(昭和36)・第08巻・05号
@1961年(昭和36)-第08巻-06号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（10）村井琴山・（11）岑少翁	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・06号
栄衛	龍野一雄	(5)311	1961年(昭和36)・第08巻・06号
聖光園臨床レポート（4）頭痛の臨床	細野史郎・坂口弘・細野八郎	(11)317	1961年(昭和36)・第08巻・06号
皮電点の臨床（3）更年期性ノイローゼを伴う高血圧症	代田文誌	(21)327	1961年(昭和36)・第08巻・06号
流産癖と乳不足症の治験と考察	相見三郎	(24)330	1961年(昭和36)・第08巻・06号
真武湯合人参湯の治験　ーながすぎたかぜー	山田光胤	(26)332	1961年(昭和36)・第08巻・06号
治験例　▽指がかゆいー当帰芍薬丸▽期外収縮に桂枝去芍薬湯▽睾丸が腹中に入った児に桂枝加芍薬湯	龍野一雄	(27)333	1961年(昭和36)・第08巻・06号
診療茶談　食物とくすり　▽糖尿病・尿崩症▽糖尿病▽糖尿病兼白内障	河内省一	(31)337	1961年(昭和36)・第08巻・06号
素問　陰陽応象大論の訓註と其の研究（1）	丸山昌朗	(36)342	1961年(昭和36)・第08巻・06号
針灸随想	代田文誌	(39)345	1961年(昭和36)・第08巻・06号
不妊者の不可思議	中井暎芳	(45)351	1961年(昭和36)・第08巻・06号
医学観の種々相　ー疾病観についてー	津田卓二	(48)354	1961年(昭和36)・第08巻・06号
傷寒論茶話（18）	大塚敬節	(51)357	1961年(昭和36)・第08巻・06号
保険診療について	細迫陽三	(52)358	1961年(昭和36)・第08巻・06号
第12回日本東洋医学総会に列席して	ハイ元植	(53)359	1961年(昭和36)・第08巻・06号
どこまで効いたか？	中井暎芳	(55)361	1961年(昭和36)・第08巻・06号
昭和35年本誌優秀論文受賞者	編集局	(56)362	1961年(昭和36)・第08巻・06号
博昭会発会式の記	安西安周	(57)363	1961年(昭和36)・第08巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年5月＞	協会本部／編集局	(59)365	1961年(昭和36)・第08巻・06号
告知板／「薬酒考」について・「不仁」と「麻木」について	津田卓二	(60)366	1961年(昭和36)・第08巻・06号
告知板／「薬酒考」について回答・「不仁」と「麻木」について回答	矢数道明	(60)366	1961年(昭和36)・第08巻・06号
経絡否定論と東洋医学のあり方	秋元恵一	(61)367	1961年(昭和36)・第08巻・06号
@1961年(昭和36)-第08巻-07号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（12）荻野台州・（13）中神琴渓	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・07号
傷寒論の読み方	龍野一雄	(5)371	1961年(昭和36)・第08巻・07号
聖光園臨床レポート（5）	細野史郎・坂口弘・細野八郎・細野義郎	(12)378	1961年(昭和36)・第08巻・07号
名に囚われず実を診る　ー癌治験の数例についてー	中島大蘇	(20)386	1961年(昭和36)・第08巻・07号
素問　陰陽応象大論の訓註と其の研究（2）	丸山昌朗	(24)390	1961年(昭和36)・第08巻・07号
すらすら読める陰陽虚実のない傷寒論『傷寒論示旧原文百十七条の訳文草稿』	訳文）山元章平	(28)394	1961年(昭和36)・第08巻・07号
思いつき　葛根湯・原因の原因・陽虚陰虚・脇について・心臓はどこに在るか	龍野一雄	(35)401	1961年(昭和36)・第08巻・07号
漢方診療夜話	阪本正夫	(42)408	1961年(昭和36)・第08巻・07号
証明することの難しさ	間中喜雄	(44)410	1961年(昭和36)・第08巻・07号
日本東洋医学会総会印象記	坂口弘	(46)412	1961年(昭和36)・第08巻・07号
編集雑話	気賀林一	(49)415	1961年(昭和36)・第08巻・07号
長浜善夫博士の霊前に捧ぐ	矢数道明	(54)420	1961年(昭和36)・第08巻・07号
弔辞　（長浜善夫先生）	矢数道明	(54)420	1961年(昭和36)・第08巻・07号
温知荘雑筆　その頃を想う	矢数道明	(56)422	1961年(昭和36)・第08巻・07号
新刊書評／長浜善夫著『東洋医学概説』	矢数道明	(60)426	1961年(昭和36)・第08巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年6月＞	協会本部／編集局	(62)428	1961年(昭和36)・第08巻・07号
@1961年(昭和36)-第08巻-08号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（14）亀井南溟・（15）和田東郭	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・08号
弁脉法の研究（1）	龍野一雄	(5)431	1961年(昭和36)・第08巻・08号
緑内障治験	小倉重成	(9)435	1961年(昭和36)・第08巻・08号
聖光園臨床レポート（6）	坂口弘	(12)438	1961年(昭和36)・第08巻・08号
頑固な頭痛に五苓湯	矢数道明	(17)443	1961年(昭和36)・第08巻・08号
素問　陰陽応象大論の訓註と其の研究（3）	丸山昌朗	(20)446	1961年(昭和36)・第08巻・08号

思いつき　メモ	龍野一雄	(23)449	1961年(昭和36)・第08巻・08号
金磁気粒によるルイレキ治療	佐藤三郎	(26)452	1961年(昭和36)・第08巻・08号
すらすら読める陰陽虚実のない傷寒論『傷寒論示旧原文百十七条の訳文草稿』（2）	訳文）山元章平	(28)454	1961年(昭和36)・第08巻・08号
2題　オートメーション・那一点	間中喜雄	(34)460	1961年(昭和36)・第08巻・08号
催生の目的に五積散を使って	西山英雄	(38)464	1961年(昭和36)・第08巻・08号
類聚「証」の定義	津田卓二	(44)470	1961年(昭和36)・第08巻・08号
「求真医談」を読む	寺師睦濟	(54)480	1961年(昭和36)・第08巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年7月＞	協会本部／編集局	(60)486	1961年(昭和36)・第08巻・08号
@1961年(昭和36)-第08巻-09号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（16）西川国華・（17）吉益南涯	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・09号
才血について	間中喜雄	(5)491	1961年(昭和36)・第08巻・09号
弁脉法の研究（2）	龍野一雄	(13)499	1961年(昭和36)・第08巻・09号
皮電点の臨床（4）三叉神経痛・後頭神経痛・頸筋の強直	代田文誌	(18)504	1961年(昭和36)・第08巻・09号
座談会／腹証を語る（1）	大塚敬節・細野史郎・矢数道明・藤平健・木下晴都	(23)509	1961年(昭和36)・第08巻・09号
聖光園臨床レポート（7）顔面の浮腫	細野史郎・坂口弘・細野八郎	(42)528	1961年(昭和36)・第08巻・09号
亜急性虫垂炎と金磁気粒療法	佐藤三郎	(47)533	1961年(昭和36)・第08巻・09号
百日咳の漢方治験	阪本正夫	(49)535	1961年(昭和36)・第08巻・09号
類聚「胸脇苦満」の定義	津田卓二	(51)537	1961年(昭和36)・第08巻・09号
「枯木逢春」を観る　ー住血吸虫病の征服をテーマとしたー	矢数道明	(54)540	1961年(昭和36)・第08巻・09号
少腹如扇に就て	大塚敬節	(58)544	1961年(昭和36)・第08巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年8月＞	協会本部／編集局	(59)545	1961年(昭和36)・第08巻・09号
@1961年(昭和36)-第08巻-10号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（18）片倉鶴陵・（19）橘南谿	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・10号
座談会／腹証を語る（2）	大塚敬節・矢数道明・藤平健・木下晴都	(5)549	1961年(昭和36)・第08巻・10号
製剤漢薬による興味ある治験	山田光胤	(23)567	1961年(昭和36)・第08巻・10号
先天的・体質的　ー針灸治療メモからの抜萃ー	代田文誌	(27)571	1961年(昭和36)・第08巻・10号
小治験　ーアジソン氏病と慢性皮膚炎ー	龍野一雄	(31)575	1961年(昭和36)・第08巻・10号
治療断片　▽ある小便不利の人▽困った病気	高橋道史	(33)577	1961年(昭和36)・第08巻・10号
温知荘雑筆　頑固な偏頭痛が五苓湯で	矢数道明	(36)580	1961年(昭和36)・第08巻・10号
弁脉法の研究（3）	龍野一雄	(39)583	1961年(昭和36)・第08巻・10号
類聚「陰陽・五行」の定義	津田卓二	(42)586	1961年(昭和36)・第08巻・10号
北海・東北周遊記	安西安周	(49)593	1961年(昭和36)・第08巻・10号
ＮＨＫテレビ「漢方」の放送	編集局	(55)599	1961年(昭和36)・第08巻・10号
告知板／香月牛山のよみ方について	矢数道明	(62)606	1961年(昭和36)・第08巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年9月＞	協会本部／編集局	(63)607	1961年(昭和36)・第08巻・10号
@1961年(昭和36)-第08巻-11号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（20）原南陽・（21）多紀元簡	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・11号
小青竜湯について（1）	龍野一雄	(5)611	1961年(昭和36)・第08巻・11号
＜漢方今昔座談＞神経痛について	細迫陽三	(16)622	1961年(昭和36)・第08巻・11号
皮膚病治験の数々	高橋道史	(20)626	1961年(昭和36)・第08巻・11号
ある神経症の婦人の場合	矢数道明	(23)629	1961年(昭和36)・第08巻・11号
思いつき　五行の中に五行あり	龍野一雄	(25)631	1961年(昭和36)・第08巻・11号
高血圧と金磁気粒療法	佐藤三郎	(27)633	1961年(昭和36)・第08巻・11号
同行道交	高橋道史	(29)635	1961年(昭和36)・第08巻・11号
すらすら読める陰陽虚実のない傷寒論『傷寒論示旧原文百十七条の訳文草稿』（3）	訳文）山元章平	(34)640	1961年(昭和36)・第08巻・11号
小田原放談　▽読みの深さ▽コマーシャル	間中喜雄	(41)647	1961年(昭和36)・第08巻・11号
類聚「経絡」の定義　ー経穴観についてー	津田卓二	(44)650	1961年(昭和36)・第08巻・11号
房総記	気賀林一	(55)661	1961年(昭和36)・第08巻・11号
新刊書評／坂口弘著『ホメオパシー療法』を読んで／佐藤潤平著『家庭で使える薬になる植物』	矢数道明	(58)664	1961年(昭和36)・第08巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年10月＞	協会本部／編集局	(61)667	1961年(昭和36)・第08巻・11号
@1961年(昭和36)-第08巻-12号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（22）華岡青洲・（23）富田大鳳	石原明	-3	1961年(昭和36)・第08巻・12号
聖光園臨床レポート（8）胃潰瘍の治療と理気湯	細野史郎・坂口弘・細野八郎	(5)671	1961年(昭和36)・第08巻・12号

座談会／腹証を語る（3）	細野史郎・藤平健・矢数道明・大塚敬節・木下晴都・編集者	(17)683	1961年(昭和36)・第08巻・12号
紫斑病について	李殷八	(33)699	1961年(昭和36)・第08巻・12号
医学三蔵弁解、巻の中附方意について	中井暎芳	(37)703	1961年(昭和36)・第08巻・12号
打撲（交通事故）と金磁気粒療法	佐藤三郎	(43)709	1961年(昭和36)・第08巻・12号
小青竜湯について（2）	龍野一雄	(45)711	1961年(昭和36)・第08巻・12号
弁脉法の研究（4）	龍野一雄	(50)716	1961年(昭和36)・第08巻・12号
洛東墓参記	高橋真太郎	(52)718	1961年(昭和36)・第08巻・12号
藤平健氏のラジオ放送	編集局	(54)720	1961年(昭和36)・第08巻・12号
小田原放談　▽先入主▽あたりまえがあたりまえでない話	間中喜雄	(57)723	1961年(昭和36)・第08巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年11月＞	協会本部／編集局	(59)725	1961年(昭和36)・第08巻・12号
@1962年(昭和37)-第09巻-01号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（24）百々漢陰・（25）高階枳園	石原明	-3	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	間中喜雄	(5)5	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞走馬湯によす	山田光胤	(5)5	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	脇坂憲治	(5)5	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	山本成一郎	(6)6	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	太田早苗	(6)6	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	高橋真太郎	(6)6	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	丸山昌朗	(7)7	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	牛島庸恵	(7)7	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	木村雄四郎	(7)7	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞陰陽則五行	藤田六朗	(8)8	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	岡西為人	(8)8	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	渡邊武	(8)8	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	小椋道益	(8)8	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞学会の宿題報告	木下晴都	(9)9	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞年頭所感	橋本敬三	(9)9	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	木村佐京	(10)10	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞燦然たる不在者	津田卓二	(10)10	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞新年偶感	安西安周	(10)10	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	山元章平	(11)11	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	中谷義雄	(11)11	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	舘野健	(11)11	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	神永誠之	(12)12	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	荒木正胤	(12)12	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞本草学の定義	矢数道明	(12)12	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	大塚敬節	(13)13	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	石原明	(13)13	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	戸田秀実	(13)13	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	阪本正夫	(13)13	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	小沢慶三	(13)13	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	渡利一水	(14)14	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	日野厚	(14)14	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	代田文誌	(15)15	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	森喜久男	(15)15	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	竹内達	(15)15	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	鮎川濯三	(15)15	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	久能靖	(15)15	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞全世界の医師へのアピール	星忠雄	(16)16	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	岩佐礼一	(16)16	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	木村康一	(16)16	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	長倉吉宏	(16)16	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	中村了介	(17)17	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	七条晃正	(17)17	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞楽しい夢	平吉広州	(17)17	1962年(昭和37)・第09巻・01号

新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	堀越清三	(17)17	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	中島大蘇	(18)18	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	林篤美	(18)18	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	河内省一	(18)18	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	川瀬清	(18)18	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	佐藤三郎	(19)19	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	宮沢伸佳	(19)19	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	藤田正直	(19)19	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	百足しめ	(20)20	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	寺師睦濟	(20)20	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	浅野友美	(20)20	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞漢方医学の朝が来た	岸本亮一	(20)20	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	松本俊二	(20)20	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	鈴木武徳	(21)21	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	高岡松雄	(21)21	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	藤平健	(21)21	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	相見三郎	(22)22	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	加藤勝美	(22)22	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	高橋崇正	(22)22	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞「初夢」	小倉重成	(23)23	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新年のことば　＜昭和37年（1962年）＞	坂口弘	(23)23	1962年(昭和37)・第09巻・01号
緑内障2題	小倉重成	(24)24	1962年(昭和37)・第09巻・01号
皮電点の臨床（5）遺伝的体質と皮電点－肝臓機能障害・腰臀大腿症候群	代田文誌	(27)27	1962年(昭和37)・第09巻・01号
診療茶談　食物とくすり　▽前立腺肥大による尿閉と脱肛	河内省一	(33)33	1962年(昭和37)・第09巻・01号
小青竜湯について（3）	龍野一雄	(40)40	1962年(昭和37)・第09巻・01号
『医界之鉄椎』を巡って（1）はしがき	和田正系	(44)44	1962年(昭和37)・第09巻・01号
河童随筆　見て視ず聞いて聴かず	間中喜雄	(51)51	1962年(昭和37)・第09巻・01号
歳末雑詠	大塚敬節	(51)51	1962年(昭和37)・第09巻・01号
外国で見たこと聞いたこと（1）台北市	長倉吉宏	(52)52	1962年(昭和37)・第09巻・01号
昭和36年漢方医界の展望	矢数道明	(56)56	1962年(昭和37)・第09巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和36年12月＞	協会本部／編集局	(60)60	1962年(昭和37)・第09巻・01号
新刊紹介／石原明著『漢方の秘密』を読んで	山田光胤	(61)61	1962年(昭和37)・第09巻・01号
年頭所感	高橋道史	(62)62	1962年(昭和37)・第09巻・01号
谷中墓参記	気賀林一	(67)67	1962年(昭和37)・第09巻・01号
@1962年(昭和37)-第09巻-02号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（26）宇津木昆台・（27）奥劣斎	石原明	-3	1962年(昭和37)・第09巻・02号
清肺湯の運用について	矢数道明	(5)73	1962年(昭和37)・第09巻・02号
器質的変化と機能的変化	間中喜雄	(10)78	1962年(昭和37)・第09巻・02号
診療茶談　食物とくすり　▽十二指腸潰瘍兼亜急性胆嚢症▽急性肝炎・急性胆嚢炎	河内省一	(15)83	1962年(昭和37)・第09巻・02号
腎の作用	龍野一雄	(21)89	1962年(昭和37)・第09巻・02号
10年前の処方	西山英雄	(25)93	1962年(昭和37)・第09巻・02号
肺臓転移癌を治療して	藤田正直	(30)98	1962年(昭和37)・第09巻・02号
金磁気粒療法　坐骨神経痛（高血圧併発）	佐藤三郎	(33)101	1962年(昭和37)・第09巻・02号
『医界之鉄椎』を巡って（2）「鉄椎」附記・出版と世評・湯本求真（1）	和田正系	(35)103	1962年(昭和37)・第09巻・02号
素問　陰陽応象大論の訓註と其の研究（4）	丸山昌朗	(43)111	1962年(昭和37)・第09巻・02号
温知荘雑筆　原南陽先生贈位申請書	矢数道明	(48)116	1962年(昭和37)・第09巻・02号
外国で見たこと聞いたこと（2）ホンコン	長倉吉宏	(50)118	1962年(昭和37)・第09巻・02号
所謂蒲柳体質の漢方治験	阪本正夫	(53)121	1962年(昭和37)・第09巻・02号
河童随筆　素人はこわい	間中喜雄	(54)122	1962年(昭和37)・第09巻・02号
季肋・季肋下という言葉について	山田光胤	(55)123	1962年(昭和37)・第09巻・02号
漢方ブーム	大塚敬節	(56)124	1962年(昭和37)・第09巻・02号
故吉田武雄兄の1周忌に憶う	高橋道史	(59)127	1962年(昭和37)・第09巻・02号
@1962年(昭和37)-第09巻-03号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（28）水原三折・（29）多紀元堅	石原明	-3	1962年(昭和37)・第09巻・03号

聖堂安置の神農像記	安西安周	(5)133	1962年(昭和37)・第09巻・03号
予想外の効果を得た神経症の治験	山田光胤	(16)144	1962年(昭和37)・第09巻・03号
凍瘡状狼瘡に対する当帰四逆湯の治験	矢数道明	(20)148	1962年(昭和37)・第09巻・03号
かぜさまざま	藤平健	(22)150	1962年(昭和37)・第09巻・03号
感冒治験	小倉重成	(27)155	1962年(昭和37)・第09巻・03号
皮電点の臨床（6）胃下垂症に就て	代田文誌	(29)157	1962年(昭和37)・第09巻・03号
偏枯　偏枯（半身不遂）の患者	高橋道史	(35)163	1962年(昭和37)・第09巻・03号
小治験腰痛	龍野一雄	(37)165	1962年(昭和37)・第09巻・03号
針注療法	三田寛	(39)167	1962年(昭和37)・第09巻・03号
『医界之鉄椎』を巡って（3）湯本求真（2）	和田正系	(45)173	1962年(昭和37)・第09巻・03号
尾崎士朗氏の癌について	寺師睦濟	(52)180	1962年(昭和37)・第09巻・03号
外国で見たこと聞いたこと（3）アメリカ留学	長倉吉宏	(55)183	1962年(昭和37)・第09巻・03号
河童随筆　負の論理	間中喜雄	(59)187	1962年(昭和37)・第09巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年1月・2月＞	協会本部／編集局	(60)188	1962年(昭和37)・第09巻・03号
@1962年(昭和37)-第09巻-04号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（30）尾台榕堂・（31）本間棗軒	石原明	-3	1962年(昭和37)・第09巻・04号
座談会／腹証を語る（4）	大塚敬節・細野史郎・藤平健・矢数道明・木下晴都	(5)191	1962年(昭和37)・第09巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年3月＞	協会本部／編集局	(21)207	1962年(昭和37)・第09巻・04号
小児麻痺に於ける石膏剤の使用について	李殷八	(23)209	1962年(昭和37)・第09巻・04号
甘草内服による浮腫2例について	矢数道明	(27)213	1962年(昭和37)・第09巻・04号
重症関節リウマチの東洋医学的治験　ー殊に金磁気粒貼布による経絡治療の効果ー	阪本正夫	(29)215	1962年(昭和37)・第09巻・04号
治験2例　▽小児の疳症▽胸痺の方	高橋道史	(31)217	1962年(昭和37)・第09巻・04号
済々堂医譚	寺師睦濟	(33)219	1962年(昭和37)・第09巻・04号
思いつき　補瀉・血毒・本質と現象、本態と作用	龍野一雄	(36)222	1962年(昭和37)・第09巻・04号
『医界之鉄椎』を巡って（4）湯本求真（3）	和田正系	(41)227	1962年(昭和37)・第09巻・04号
素問　陰陽応象大論の訓註と其の研究（5）	丸山昌朗	(54)240	1962年(昭和37)・第09巻・04号
河童随筆　耳針点	間中喜雄	(58)244	1962年(昭和37)・第09巻・04号
金磁気粒療法　▽五十肩（寿命痛）▽膝関節痛（喘息様喘嗽併発）	佐藤三郎	(59)245	1962年(昭和37)・第09巻・04号
@1962年(昭和37)-第09巻-05号-			
＜口絵＞近世漢方名医遺墨展観目録　（32）今村了庵・（33）浅田宗伯	石原明	-3	1962年(昭和37)・第09巻・05号
肝の作用	龍野一雄	(5)249	1962年(昭和37)・第09巻・05号
岡本一抱の『医学三蔵弁解』其2	中井暎芳	(8)252	1962年(昭和37)・第09巻・05号
皮電点の臨床（7）胃潰瘍について	代田文誌	(15)259	1962年(昭和37)・第09巻・05号
＜漢方今昔座談＞心弁膜症について	細迫陽三	(21)265	1962年(昭和37)・第09巻・05号
前年度優秀論文賞決定（昭和36年度）	編集局	(25)269	1962年(昭和37)・第09巻・05号
血の道症・喘息・白崩症の治験	矢数道明	(26)270	1962年(昭和37)・第09巻・05号
最近の治療から　▽痔疾でなやむ人▽慢性腎炎でなやむ人	高橋道史	(29)273	1962年(昭和37)・第09巻・05号
胃潰瘍と金磁気粒療法	佐藤三郎	(32)276	1962年(昭和37)・第09巻・05号
風寒並感冒	秋元恵一	(33)277	1962年(昭和37)・第09巻・05号
『医界之鉄椎』を巡って（5）湯本求真（4）	和田正系	(36)280	1962年(昭和37)・第09巻・05号
診療茶談　食物とくすり　▽急性虫垂炎→イレウス→急性胆嚢炎→急性胆石症発作・胆嚢摘出→ゆ着による幽門狭窄と胃・十二指腸潰瘍	河内省一	(42)288	1962年(昭和37)・第09巻・05号
新刊書評／Ｗ・ペッパー著　間中喜雄・秦正共訳『カイロプラクテック（脊椎手技療法）』	丸山昌朗	(52)298	1962年(昭和37)・第09巻・05号
告知板／「随証治療」の反省	矢数道明	(53)298	1962年(昭和37)・第09巻・05号
熊笹の薬効について	矢数道明	(54)300	1962年(昭和37)・第09巻・05号
三田寛先生へ	津田卓二	(55)301	1962年(昭和37)・第09巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年4月＞	協会本部／編集局	(56)302	1962年(昭和37)・第09巻・05号
@1962年(昭和37)-第09巻-06号-			
尾州藩医浅井家の伝統とその事績	矢数道明	(3)311	1962年(昭和37)・第09巻・06号
神経痛と気象	木下晴都	(14)322	1962年(昭和37)・第09巻・06号
桂枝の薬能（補遺3）桂枝の経験と雑話	龍野一雄	(18)326	1962年(昭和37)・第09巻・06号
診療茶談　食物とくすり　▽血小板減少性紫斑病	河内省一	(20)328	1962年(昭和37)・第09巻・06号
視診法による腹部診断に就いて	田代順山	(24)332	1962年(昭和37)・第09巻・06号
金銀磁気（テイ針）テスター診断例と金磁気粒療法	佐藤三郎	(27)335	1962年(昭和37)・第09巻・06号
『医界之鉄椎』を巡って（6）湯本求真（5）	和田正系	(29)337	1962年(昭和37)・第09巻・06号

サバ礼賛	K	(39)347	1962年(昭和37)・第09巻・06号
外国で見たこと聞いたこと（4）アメリカでのエピソード	長倉吉宏	(40)348	1962年(昭和37)・第09巻・06号
河童随筆　七不思議	間中喜雄	(43)351	1962年(昭和37)・第09巻・06号
第13回日本東洋医学会総会傍聴記	竹茹生	(44)352	1962年(昭和37)・第09巻・06号
告知板／リハビリテーション	Y	(46)354	1962年(昭和37)・第09巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年5月＞	協会本部／編集局	(47)355	1962年(昭和37)・第09巻・06号
私は思う	高橋道史	(49)357	1962年(昭和37)・第09巻・06号
小青竜湯について（4）	龍野一雄	(51)359	1962年(昭和37)・第09巻・06号
傷寒論医学総論要綱（1）	山元章平	(54)362	1962年(昭和37)・第09巻・06号
@1962年(昭和37)-第09巻-07号-			
手掌角化症の治験	高橋道史	(3)371	1962年(昭和37)・第09巻・07号
高血圧の黄解散長期服用について	阪本正夫	(6)374	1962年(昭和37)・第09巻・07号
歯齦炎	佐藤三郎	(7)375	1962年(昭和37)・第09巻・07号
『医界之鉄椎』を巡って（7）湯本求真（6）	和田正系	(9)377	1962年(昭和37)・第09巻・07号
田辺元博士往診の思い出	代田文誌	(18)386	1962年(昭和37)・第09巻・07号
思いつき　空理空論の研究・中国医学の特質	龍野一雄	(22)390	1962年(昭和37)・第09巻・07号
温知荘雑筆　延経期方談義▽面白い処方名	矢数道明	(28)396	1962年(昭和37)・第09巻・07号
精進料理の体験	小倉重成	(33)401	1962年(昭和37)・第09巻・07号
漢方薬の貯蔵法について	矢数道明	(35)403	1962年(昭和37)・第09巻・07号
針注療法に関連して津田卓二氏に一言す	三田寛	(38)406	1962年(昭和37)・第09巻・07号
傷寒論医学総論要綱（2）	山元章平	(41)409	1962年(昭和37)・第09巻・07号
治験2例	多々良素	(46)414	1962年(昭和37)・第09巻・07号
「怠け者論」について	津田卓二	(47)415	1962年(昭和37)・第09巻・07号
河童随筆　再び負の論理について	間中喜雄	(49)417	1962年(昭和37)・第09巻・07号
薬局の漢方（1）腎臓病	西岡一夫	(50)418	1962年(昭和37)・第09巻・07号
金鳳漢の経絡発見説について	津田卓二	(53)420	1962年(昭和37)・第09巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年6月＞	協会本部／編集局	(55)423	1962年(昭和37)・第09巻・07号
脇坂憲治氏逝去	編集局	(56)424	1962年(昭和37)・第09巻・07号
脇坂憲治先生を悼む	龍野一雄	(56)424	1962年(昭和37)・第09巻・07号
告知板／和田東郭の墓について	代田文誌	(57)425	1962年(昭和37)・第09巻・07号
告知板／和田東郭の墓について	矢数道明	(57)425	1962年(昭和37)・第09巻・07号
@1962年(昭和37)-第09巻-08号-			
漢方に対する抱負・感想と近代医学との接触　ー「漢方医学研究家略歴記録」よりー	編集局	(3)431	1962年(昭和37)・第09巻・08号
黄連解毒湯の瞑眩？	山田光胤	(13)441	1962年(昭和37)・第09巻・08号
経絡小見	松岡伯菁	(15)443	1962年(昭和37)・第09巻・08号
肩凝りの東洋医学的治験	阪本正夫	(18)446	1962年(昭和37)・第09巻・08号
温知荘雑筆　原因不明の腰腹疼痛感覚	矢数道明	(20)448	1962年(昭和37)・第09巻・08号
治験2例　▽逍遥散と食道癌（噎膈症）▽桂皮油と抗生素	林仲昆	(22)450	1962年(昭和37)・第09巻・08号
『医界之鉄椎』を巡って（8）湯本求真（7）	和田正系	(24)452	1962年(昭和37)・第09巻・08号
会員　本間祥白氏逝去さる	編集局	(34)462	1962年(昭和37)・第09巻・08号
刺絡雑記	工藤訓正	(35)463	1962年(昭和37)・第09巻・08号
河童随筆　引経報使	間中喜雄	(37)465	1962年(昭和37)・第09巻・08号
傷寒論医学総論要綱（3）	山元章平	(38)466	1962年(昭和37)・第09巻・08号
薬局の漢方（2）下痢	西岡一夫	(44)472	1962年(昭和37)・第09巻・08号
千葉県の思い出ところどころ	高橋道史	(47)475	1962年(昭和37)・第09巻・08号
私も思う	寺師睦濟	(52)480	1962年(昭和37)・第09巻・08号
告知板／拠水綴方集より洋医出身の一青年医師へささげる	津田卓二	(53)481	1962年(昭和37)・第09巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年7月＞	協会本部／編集局	(54)482	1962年(昭和37)・第09巻・08号
@1962年(昭和37)-第09巻-09号-			
明治前後における医薬の変遷	石原明	(3)491	1962年(昭和37)・第09巻・09号
皮電点の臨床（8）心性症状があるのに心電図正常のもの	代田文誌	(6)494	1962年(昭和37)・第09巻・09号
私の平凡治療　▽平凡治療について▽ソウ雑胃痛▽嘔逆発熱▽粘液便▽皮膚ソウ痒痛▽妊娠腎	高橋道史	(10)498	1962年(昭和37)・第09巻・09号
唐柴胡の解熱作用2例について	矢数道明	(14)502	1962年(昭和37)・第09巻・09号
小柴胡湯による治験2例	関根邦之助	(16)504	1962年(昭和37)・第09巻・09号
『医界之鉄椎』を巡って（9）湯本求真（8）	和田正系	(18)506	1962年(昭和37)・第09巻・09号

皮膚通電量と自律神経緊張　－Ｏ氏への返事－	間中喜雄	(29)517	1962年(昭和37)・第09巻・09号
漢方小学生放談（かんぽういちねんせいのたわごと）	小早川晃徳	(32)520	1962年(昭和37)・第09巻・09号
吉田宰相と馬場先生	寺師睦濟	(39)527	1962年(昭和37)・第09巻・09号
漢方薬の近代薬理学的研究総覧（その2）	田村豊幸	(43)531	1962年(昭和37)・第09巻・09号
金磁気粒療法　▽肋間神経痛	佐藤三郎	(50)538	1962年(昭和37)・第09巻・09号
河童随筆　患者の不快指数	間中喜雄	(51)539	1962年(昭和37)・第09巻・09号
薬局の漢方（3）黄疸	西岡一夫	(52)540	1962年(昭和37)・第09巻・09号
新刊書評／和田正系著『漢方治療提要』を読んで	藤平健	(57)545	1962年(昭和37)・第09巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年8月＞	協会本部／編集局	(59)547	1962年(昭和37)・第09巻・09号
新刊紹介／杉原徳行著『漢方と鍼灸』／長沢元夫著『現代人の漢方』／間中喜雄著『ＰＷドクター・沖縄捕虜記』	矢数道明	(60)548	1962年(昭和37)・第09巻・09号
@1962年(昭和37)-第09巻-10号-			
大黄の薬能について	龍野一雄	(3)553	1962年(昭和37)・第09巻・10号
唐代の傷寒論その書誌学的考察	宮下三郎	(17)567	1962年(昭和37)・第09巻・10号
癲癇治療の中間報告	中山友記	(23)573	1962年(昭和37)・第09巻・10号
原子病を疑わしめる脱疽3症例の東洋医学的治療の私見	陳太義 訳者）石原明	(24)574	1962年(昭和37)・第09巻・10号
ストロフルスに五苓散の偉効	海老塚吉次	(26)576	1962年(昭和37)・第09巻・10号
温知荘雑筆　加工附子による治験	矢数道明	(27)577	1962年(昭和37)・第09巻・10号
金磁気粒療法　▽皮膚病（汗疹）小柴胡湯合当帰芍薬散証？	佐藤三郎	(30)580	1962年(昭和37)・第09巻・10号
漢方医学観への復興　－資料調査発表を読んで－	津田卓二	(32)582	1962年(昭和37)・第09巻・10号
漢方薬普及の現状について　－東京薬科大学漢方研究会調査から－	川瀬清	(33)583	1962年(昭和37)・第09巻・10号
河童随筆　効果の神秘	間中喜雄	(36)586	1962年(昭和37)・第09巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年9月＞	協会本部／編集局	(37)587	1962年(昭和37)・第09巻・10号
仁和寺本古医書景ボの経緯	宮下三郎	(39)589	1962年(昭和37)・第09巻・10号
＜漢方今昔座談＞婦人病	細迫陽三	(40)590	1962年(昭和37)・第09巻・10号
書評／松岡伯菁著の『腎症（腎虚）の現代医学的考察』	間中喜雄	(43)593	1962年(昭和37)・第09巻・10号
伊吹山採薬記	神戸木曜会	(44)594	1962年(昭和37)・第09巻・10号
傷寒論医学総論要綱（4）	山元章平	(48)598	1962年(昭和37)・第09巻・10号
再び三田寛氏へ	津田卓二	(58)608	1962年(昭和37)・第09巻・10号
告知板／脇坂憲治先生の想出	中根富士子	(59)609	1962年(昭和37)・第09巻・10号
@1962年(昭和37)-第09巻-11-12号合併号-＜（第100号記念特集）日本の漢方を築いた人々－その人と為りと臨床業績－＞			
発刊の言葉	大塚敬節	(1)611	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞本邦李朱学派の開祖田代三喜	矢数道明	(2)612	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞日本医学中興の祖曲直瀬道三	矢数道明	(16)626	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞杉山和一とその医業	木下晴都	(40)650	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞貝原益軒	伊藤清夫	(55)665	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞岡本一抱子	丸山昌朗	(67)677	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞革命の医傑吉益東洞	和田正系	(81)691	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞蘭山・小野職博	高橋真太郎	(98)708	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞若き情熱の国手永富独嘯庵	寺師睦濟	(104)714	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞自由の医人中神琴渓	山田光胤	(142)752	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞片倉鶴陵	森末新	(171)781	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞親試実験の医人原南陽	坂口弘	(184)794	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞石坂宗哲の時代と背景	間中喜雄	(193)803	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞儒医両道の仁医尾台榕堂先生伝	藤平健	(211)821	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞至誠の医人椿庭山田業広と業精	大塚敬節	(247)857	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞杏林詩人今村了庵とその医業	高橋道史	(282)892	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞良医にして良相浅田宗伯先生	森田幸門	(300)910	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞大久保適斎の人とその業績	代田文誌	(322)932	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞考証学派の医書校刊	岡西為人	(336)946	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞眼科関係名家	小倉重成	(358)968	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
＜第100号記念・日本の漢方を築いた人々＞刺絡名家	工藤訓正	(379)989	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
日本近世漢方人物史年表	気賀林一	(398)1008	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号

編集を終えて	矢数道明	(408)1018	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
特集号執筆者紹介	編集局	(410)1020	1962年(昭和37)・第09巻・11-12号
@1963年(昭和38)-第10巻-01号-			
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	間中喜雄	(3)3	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞白朮火（おけらび）	岩佐礼一	(3)3	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	神永誠之	(3)3	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	津田卓二	(4)4	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	太田早苗	(4)4	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	中井暎芳	(4)4	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	木下晴都	(5)5	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	秋元恵一	(5)5	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	高橋真太郎	(5)5	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	西岡一夫	(5)5	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	高橋道史	(6)6	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	松岡伯菁	(6)6	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	小早川晃徳	(6)6	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	関根邦之助	(7)7	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	和田正系	(7)7	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	戸部宗七郎	(7)7	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞声と歯	大塚敬節	(8)8	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	建林靜枝	(8)8	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	小沢慶三	(8)8	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	七条晃正	(9)9	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	日野厚	(9)9	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	中谷義雄	(9)9	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	小椋道益	(9)9	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	田村豊幸	(10)10	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	竹内達	(10)10	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	中村了介	(10)10	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	橋本敬三	(10)10	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	安西安周	(11)11	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	森喜久男	(11)11	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	矢数道明	(11)11	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	平吉広州	(11)11	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞継続は努力なり	神戸源蔵	(12)12	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞漢方医学をこばむものは誰か！	星忠雄	(12)12	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	山田光胤	(13)13	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	鈴木武徳	(13)13	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	西澤道允	(13)13	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	鮎川明昇	(14)14	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	川瀬清	(14)14	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	佐藤三郎	(14)14	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	山崎広熊	(15)15	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	高岡松雄	(15)15	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	牛島庸恵	(15)15	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞祝　創刊第100号	代田文誌	(15)15	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞兎の年の占	藤田六朗	(16)16	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	倉島宗二	(16)16	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	荒木正胤	(16)16	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	阪本正夫	(16)16	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	宮沢伸佳	(17)17	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	浅野友美	(17)17	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	中島大蘇	(17)17	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	小倉重成	(18)18	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	山元章平	(18)18	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	相見三郎	(18)18	1963年(昭和38)・第10巻・01号

新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	高木崇正	(18)18	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	松本俊二	(19)19	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	木村佐京	(19)19	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	渡利一水	(19)19	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞五十而立	堀越清三	(19)19	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	木村雄四郎	(20)20	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	山本成一郎	(20)20	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞昭和38年新年号年頭所感「私と地黄煎町」	伊藤三郎	(21)21	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	寺師睦濟	(21)21	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	長吉吉宏	(21)21	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	奚復一	(20)20	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	葉金城	(20)20	1963年(昭和38)・第10巻・01号
新年のことば　＜昭和38年（1963年）＞	陳太義	(21)21	1963年(昭和38)・第10巻・01号
＜第100号記念＞桂枝湯の構成	龍野一雄	(22)22	1963年(昭和38)・第10巻・01号
＜第100号記念＞今泉玄祐のこと	相見三郎	(35)35	1963年(昭和38)・第10巻・01号
『医界之鉄椎』を巡って（10）中村不折（1）	和田正系	(39)39	1963年(昭和38)・第10巻・01号
温知荘雑筆　100号記念号の発行にあたって	矢数道明	(46)46	1963年(昭和38)・第10巻・01号
編集雑話　「記念号」の話	気賀林一	(52)52	1963年(昭和38)・第10巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和37年10月・11月・12月＞	協会本部／編集局	(55)55	1963年(昭和38)・第10巻・01号
@1963年(昭和38)-第10巻-02号-			
＜第100号記念＞独尊の人中神琴渓	西岡一夫	(3)65	1963年(昭和38)・第10巻・02号
＜第100号記念＞先哲経験実用処方選集	石原明	(13)75	1963年(昭和38)・第10巻・02号
座談会／昭和37年度の漢方医界を顧る	大塚敬節・矢数道明・気賀林一	(22)84	1963年(昭和38)・第10巻・02号
心臓性喘息に清肺湯を用いた経験例	矢数道明	(38)100	1963年(昭和38)・第10巻・02号
『医界之鉄椎』を巡って（11）中村不折（2）	和田正系	(40)102	1963年(昭和38)・第10巻・02号
河童随筆　不問診の秘訣	間中喜雄	(46)108	1963年(昭和38)・第10巻・02号
漢方研究室　出題：問題1　ポロブシー：問題2　顔面神経麻痺：問題3 高血圧症に伴う肩凝りと便秘／解答：問題1	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・三浦	(47)109	1963年(昭和38)・第10巻・02号
漢方の保険診療について	高橋道史	(50)112	1963年(昭和38)・第10巻・02号
新刊紹介／山田光胤著『あなたの病気の漢方療方』	矢数道明	(52)114	1963年(昭和38)・第10巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年1月＞	協会本部／編集局	(53)115	1963年(昭和38)・第10巻・02号
漢方における脉診の正しい概念	陳居霖 訳者）石原明	(55)117	1963年(昭和38)・第10巻・02号
和田東郭の墓	矢数道明	(57)119	1963年(昭和38)・第10巻・02号
書評／寺田文次郎著『体質改善』を読んで	津田卓二	(61)123	1963年(昭和38)・第10巻・02号
漢方薬の威力	Y	(62)124	1963年(昭和38)・第10巻・02号
告知板／金鳳漢教授の経絡について	津田卓二	(62)124	1963年(昭和38)・第10巻・02号
@1963年(昭和38)-第10巻-03号-			
＜第100号記念＞運動系と生活機能との関連に就て	橋本敬三	(3)127	1963年(昭和38)・第10巻・03号
＜第100号記念＞益軒先生を偲びて	戸田秀実	(12)136	1963年(昭和38)・第10巻・03号
小児と婦人の漢方治療の実例	高橋道史	(16)140	1963年(昭和38)・第10巻・03号
座談会／漢方の診療を語る	大塚敬節・藤平健・矢数道明・山田光胤	(21)145	1963年(昭和38)・第10巻・03号
眼球結膜炎	小倉重成	(37)161	1963年(昭和38)・第10巻・03号
最近の治験例　▽子宮筋腫▽よだれ▽気管支喘息	寺師睦濟	(41)165	1963年(昭和38)・第10巻・03号
薬局の漢方（4）喘息	西岡一夫	(43)165	1963年(昭和38)・第10巻・03号
河童随筆　定義	間中喜雄	(48)172	1963年(昭和38)・第10巻・03号
『医界之鉄椎』を巡って（12）中村不折（3）	和田正系	(49)173	1963年(昭和38)・第10巻・03号
漢方研究室　出題：問題4　嘔気	出題）小倉重成	(54)178	1963年(昭和38)・第10巻・03号
化膿甚しき盲腸炎治験	多々良素	(55)179	1963年(昭和38)・第10巻・03号
漢方処方（葛根湯・麻黄湯を中心に）　ー日本短波放送よりー	山田光胤	(56)180	1963年(昭和38)・第10巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年2月＞	協会本部／編集局	(59)183	1963年(昭和38)・第10巻・03号
特集号「日本の漢方を築いた人々」正誤表	編集局	(60)184	1963年(昭和38)・第10巻・03号
@1963年(昭和38)-第10巻-04号-			
＜第100号記念＞古典における“脳”	堀越清三	(3)189	1963年(昭和38)・第10巻・04号
葡萄膜の炎症性疾患	小倉重成	(10)196	1963年(昭和38)・第10巻・04号
小半夏加茯苓湯による失敗例	阪本正夫	(14)200	1963年(昭和38)・第10巻・04号

胸脇苦満について	李殷八	(15)201	1963年(昭和38)・第10巻・04号
レイノー病の針灸療法について	代田文誌	(19)205	1963年(昭和38)・第10巻・04号
最近の治験例　▽胃アトニー▽肋間神経痛▽血の道症	寺師睦濟	(23)209	1963年(昭和38)・第10巻・04号
薬局の漢方（5）痔疾	西岡一夫	(25)211	1963年(昭和38)・第10巻・04号
甲斐駒冬山行と頭痛と	藤平健	(28)214	1963年(昭和38)・第10巻・04号
『医界之鉄椎』を巡って（13）中村不折（4）	和田正系	(32)218	1963年(昭和38)・第10巻・04号
漢方処方（小青竜湯を中心に）　－日本短波放送より－	山田光胤	(38)224	1963年(昭和38)・第10巻・04号
告知板／記念特集号に寄す	上田隨元	(40)226	1963年(昭和38)・第10巻・04号
河童随筆　嘘	間中喜雄	(41)227	1963年(昭和38)・第10巻・04号
本年年賀状に付記された手記を解説する	高橋道史	(42)228	1963年(昭和38)・第10巻・04号
漢方研究室　出題：問題4　眼瞼皮膚炎・慢性下痢／解答：問題2	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・H生	(45)231	1963年(昭和38)・第10巻・04号
温知荘雑筆　日本医学会分科会加入申請をめぐる問題	矢数道明	(47)233	1963年(昭和38)・第10巻・04号
性別妊娠は可能か	秋元恵一	(55)241	1963年(昭和38)・第10巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年3月＞	協会本部／編集局	(59)245	1963年(昭和38)・第10巻・04号
@1963年(昭和38)-第10巻-05号-			
人参の薬能	龍野一雄	(3)251	1963年(昭和38)・第10巻・05号
三陰三陽小見	松岡伯菁	(15)263	1963年(昭和38)・第10巻・05号
『医界之鉄椎』を巡って（14）中村不折（5）附、堀場一郎のこと	和田正系	(18)266	1963年(昭和38)・第10巻・05号
温知荘雑筆　戦前の漢方医学史実	矢数道明	(25)273	1963年(昭和38)・第10巻・05号
薬局の漢方（6）婦人病　妊娠篇・産後篇	西岡一夫	(28)276	1963年(昭和38)・第10巻・05号
漢方処方（小柴胡湯を中心に）　－日本短波放送より－	山田光胤	(31)279	1963年(昭和38)・第10巻・05号
河童随筆　秘伝	間中喜雄	(34)282	1963年(昭和38)・第10巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年4月＞	協会本部／編集局	(35)283	1963年(昭和38)・第10巻・05号
告知板／特集号書評について	矢数道明	(36)284	1963年(昭和38)・第10巻・05号
新刊紹介／坂口弘著『漢方医のヨーロッパ旅行』	矢数道明	(37)285	1963年(昭和38)・第10巻・05号
バセドー病と考えられる症例に対する漢方治験例	三谷和合	(38)286	1963年(昭和38)・第10巻・05号
代田文誌論	津田卓二	(40)288	1963年(昭和38)・第10巻・05号
健康を創る書物五種	大塚敬節	(42)290	1963年(昭和38)・第10巻・05号
柴胡加竜骨牡蠣湯を使って効果のあった1例	松本俊二	(44)292	1963年(昭和38)・第10巻・05号
現代物理学的自然観と漢方	寺師睦濟	(45)293	1963年(昭和38)・第10巻・05号
告知板／東洋物療について	拠水生	(49)297	1963年(昭和38)・第10巻・05号
金匱の「気分」について	相見三郎	(50)298	1963年(昭和38)・第10巻・05号
@1963年(昭和38)-第10巻-06号-			
人参の薬能（補遺）（1）	龍野一雄	(3)307	1963年(昭和38)・第10巻・06号
座談会／最近の診療を語る	石原明・大塚敬節・藤平健・山田光胤・矢数道明	(22)326	1963年(昭和38)・第10巻・06号
＜漢方今昔座談＞腎臓病	細迫陽三	(33)337	1963年(昭和38)・第10巻・06号
難聴と金磁気粒療法（1）	佐藤三郎	(36)340	1963年(昭和38)・第10巻・06号
温知荘雑筆　人名・書名の正誤のこと	矢数道明	(37)341	1963年(昭和38)・第10巻・06号
河童随筆　大量療法と微量療法	間中喜雄	(39)343	1963年(昭和38)・第10巻・06号
新刊紹介／工藤訓正著『刺絡法　－実技の指導書－』	大塚敬節	(40)344	1963年(昭和38)・第10巻・06号
続類聚証・経絡・陰陽五行の定義	収集・構成）津田卓二	(41)345	1963年(昭和38)・第10巻・06号
漢方研究室　出題：問題5　急性腎炎／解答：問題3	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・Ｈ生	(55)359	1963年(昭和38)・第10巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年5月＞	協会本部／編集局	(58)362	1963年(昭和38)・第10巻・06号
@1963年(昭和38)-第10巻-07号-			
＜第100号記念＞胃之気について	小椋道益	(3)365	1963年(昭和38)・第10巻・07号
人参の薬能（補遺）（2）	龍野一雄	(17)379	1963年(昭和38)・第10巻・07号
続・類聚「陰陽五行」の定義	構成）津田卓二	(27)389	1963年(昭和38)・第10巻・07号
座談会／台湾・日本の漢方事情とその将来を語る（杜聡明博士を囲みて）	杜聡明・清水藤太郎・大塚敬節・藤平健・土田茂雄・矢数道明・気賀林一	(29)391	1963年(昭和38)・第10巻・07号
初代曲直瀬道三翁の墓に詣でて	矢数道明	(41)403	1963年(昭和38)・第10巻・07号
急性乳腺炎の東洋医学的治験例	阪本正夫	(47)409	1963年(昭和38)・第10巻・07号
難聴と金磁気粒療法（2）	佐藤三郎	(48)410	1963年(昭和38)・第10巻・07号
古典における“脳”への疑問	上山茂	(49)411	1963年(昭和38)・第10巻・07号
河童随筆　東洋医学の範囲	間中喜雄	(51)413	1963年(昭和38)・第10巻・07号
『医界之鉄椎』を巡って（15）長谷川泰（1）	和田正系	(52)414	1963年(昭和38)・第10巻・07号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年6月＞	協会本部／編集局	(58)420	1963年(昭和38)・第10巻・07号
@1963年(昭和38)-第10巻-08号-			
石膏の薬能	龍野一雄	(3)427	1963年(昭和38)・第10巻・08号
キュウ帰調血飲の運用について	矢数道明	(9)433	1963年(昭和38)・第10巻・08号
夏の小治験　▽湿疹▽蕁麻疹	和田正系	(13)437	1963年(昭和38)・第10巻・08号
胃アトニー症の針灸療法	代田文誌	(17)441	1963年(昭和38)・第10巻・08号
五苓散証の興味ある2例	阪本正夫	(23)447	1963年(昭和38)・第10巻・08号
小陰系と低周波	松岡伯菁	(25)449	1963年(昭和38)・第10巻・08号
『医界之鉄椎』を巡って（16）長谷川泰（2）	和田正系	(28)452	1963年(昭和38)・第10巻・08号
＜漢方今昔座談＞腎盂炎	細迫陽三	(33)457	1963年(昭和38)・第10巻・08号
刀圭余話	高橋道史	(35)459	1963年(昭和38)・第10巻・08号
薬局の漢方（7）婦人病（続）　雑病篇	西岡一夫	(38)462	1963年(昭和38)・第10巻・08号
漢方処方（大柴胡湯・柴胡加竜骨牡蠣湯）　ー日本短波放送よりー	山田光胤	(41)465	1963年(昭和38)・第10巻・08号
類聚『補瀉』の定義	収集・構成）津田卓二	(44)468	1963年(昭和38)・第10巻・08号
河童随筆　主語の行方	間中喜雄	(52)476	1963年(昭和38)・第10巻・08号
漢方研究室　出題：問題7　鼻づまり／解答：問題4	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・Ｈ生・Ｋ生	(54)478	1963年(昭和38)・第10巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年7月＞	協会本部／編集局	(58)482	1963年(昭和38)・第10巻・08号
新刊紹介／校勘和訓『『黄帝素問』の刊行	編集局	(59)483	1963年(昭和38)・第10巻・08号
@1963年(昭和38)-第10巻-09-10号合併号-＜創刊10周年記念特集号＞			
10周年記念号発刊にあたりて	矢数道明	(3)489	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
＜創刊10周年記念＞和田東郭と漢方医学観	細野史郎	(5)491	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
＜創刊10周年記念＞華岡青洲　ー日本臨床外科の創始者ー（第16回日本医学総会を記念して）	石原明	(50)536	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
＜創刊10周年記念＞「京阪名医掃苔記」の一節	安西安周	(68)554	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
本誌100号記念「日本の漢方を築いた人々」に対する各誌の書評	気賀林一	(70)556	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
漢方の臨床　10周年総目次　第1巻1号ー第10巻9号	編集局	(83)569	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
本誌執筆関係者住所録	編集局	(122)608	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
漢方研究団体一覧	編集局	(127)613	1963年(昭和38)・第10巻・09-10号
@1963年(昭和38)-第10巻-11号-			
座談会／最近の診療を語る	大塚敬節・藤平健・山田光胤・矢数道明	(3)623	1963年(昭和38)・第10巻・11号
琴渓中神先生の墓に詣でて　ー琴渓翁130年忌にー	山田光胤	(18)638	1963年(昭和38)・第10巻・11号
「独尊の人」拾遺	西岡一夫	(22)642	1963年(昭和38)・第10巻・11号
嚢腫腎と子宮出血に帰脾湯	矢数道明	(26)646	1963年(昭和38)・第10巻・11号
八味丸の1治験例	関根邦之助	(27)947	1963年(昭和38)・第10巻・11号
激症の急性腹痛と金磁気粒	佐藤三郎	(29)649	1963年(昭和38)・第10巻・11号
成人病によせて	秋元恵一	(31)651	1963年(昭和38)・第10巻・11号
河童随筆　嘘（承前）	間中喜雄	(34)654	1963年(昭和38)・第10巻・11号
薬局の漢方（8）夜尿症	西岡一夫	(36)656	1963年(昭和38)・第10巻・11号
夏爐冬扇	丸山昌朗	(39)659	1963年(昭和38)・第10巻・11号
疹眼に題して	李殷八	(44)664	1963年(昭和38)・第10巻・11号
所謂科学派針灸理論について	津田卓二	(47)667	1963年(昭和38)・第10巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年8月・9月＞	協会本部／編集局	(47)667	1963年(昭和38)・第10巻・11号
新刊紹介／清水藤太郎著『薬局の漢方』	矢数道明	(54)674	1963年(昭和38)・第10巻・11号
類聚『気・血の定義』	収集・構成）津田卓二	(55)675	1963年(昭和38)・第10巻・11号
@1963年(昭和38)-第10巻-12号-			
脊柱の歪みと東洋医学	松岡伯菁	(3)685	1963年(昭和38)・第10巻・12号
東洋医学と相関病理学説	阪本正夫	(6)688	1963年(昭和38)・第10巻・12号
帰脾湯とノイローゼ治療	相見三郎	(8)690	1963年(昭和38)・第10巻・12号
麻疹治療の1考察（第1報）	関根邦之助	(12)694	1963年(昭和38)・第10巻・12号
慢性湿疹に白虎加桂枝湯を用いた経験	大塚敬節	(17)699	1963年(昭和38)・第10巻・12号
防風通聖散による皮膚炎の治験	矢数道明	(19)701	1963年(昭和38)・第10巻・12号
漢方新入生の治験	諏訪重雄	(22)704	1963年(昭和38)・第10巻・12号
ある老人の病気	高橋道史	(26)708	1963年(昭和38)・第10巻・12号
＜漢方今昔座談＞梅毒あれこれ	細迫陽三	(28)710	1963年(昭和38)・第10巻・12号
常習性頭痛に呉茱萸湯	矢数道明	(32)714	1963年(昭和38)・第10巻・12号
薬局の漢方（9）リウマチと神経痛	西岡一夫	(34)716	1963年(昭和38)・第10巻・12号

中神琴渓と喜多村良宅との師弟関係	山田光胤	(39)721	1963年(昭和38)・第10巻・12号
ＮＨＫテレビ「茶の間の科学」で矢数博士の放送　－ＮＨＫ総合テレビより－	編集局・矢数道明	(43)725	1963年(昭和38)・第10巻・12号
漢方研究室　出題：問題8　左足のしびれ、腹満／解答：問題5	出題・解答）小倉重成 回答）鈴木秀剰・島津秀雄・莞峰子・Ｈ生	(47)729	1963年(昭和38)・第10巻・12号
漢方処方（白虎湯・越婢湯その他について）　－日本短波放送より－	山田光胤	(50)732	1963年(昭和38)・第10巻・12号
河童随筆　融通無礙	間中喜雄	(53)735	1963年(昭和38)・第10巻・12号
類聚「胃気（胃脈）」の定義	収集・構成）津田卓二	(54)736	1963年(昭和38)・第10巻・12号
大正天皇御手沢本浅田宗伯著“牛ショ漫録”	編集局	(55)737	1963年(昭和38)・第10巻・12号
新刊紹介／東洋医大漢医学科編纂　韓国で画期的な漢方研究所『東医臨床処方集』発行される	編集局	(55)737	1963年(昭和38)・第10巻・12号
@1964年(昭和39)-第11巻-01号-			
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	原三郎	(3)3	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	岡西為人	(3)3	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	丸山昌朗	(4)4	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	小早川晃徳	(4)4	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞龍どしの占（題）	藤田六朗	(4)4	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	橋本敬三	(5)5	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	戸田秀実	(5)5	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	藤田正直	(5)5	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞謹賀新年	秋元恵一	(6)6	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	間中喜雄	(6)6	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	神永誠之	(6)6	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	大浦孝秋	(7)7	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	森乙松	(7)7	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	中谷義雄	(7)7	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	高橋真太郎	(7)7	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	太田早苗	(8)8	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞医跡訪問	矢数道明	(8)8	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	津田卓二	(8)8	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	阪本正夫	(9)9	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞賀春	宮下三郎	(9)9	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	山元章平	(9)9	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	松岡伯菁	(10)10	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	大塚敬節	(10)10	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	七条晃正	(10)10	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞東洋医学の至宝	代田文誌	(10)10	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	三田寛	(11)11	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞効用合戦	古川瑞昌	(11)11	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	木下晴都	(12)12	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞祝新春	小椋道益	(12)12	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	陳靖卿	(12)12	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	西岡一夫	(13)13	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	竹内達	(13)13	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	渡利一水	(13)13	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞瓶梅	佐久間洋行	(14)14	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	中井暎芳	(14)14	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞年頭所感	矢田良之	(14)14	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞年頭所感	高橋道史	(15)15	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞モッコス	鮎川明昇	(15)15	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	ハイ元植	(15)15	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	日野厚	(16)16	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	李殷八	(16)16	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	茂木厚作	(16)16	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	田村豊幸	(17)17	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞三焦	岩佐礼一	(18)18	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	戸部宗七郎	(18)18	1964年(昭和39)・第11巻・01号

新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	小沢慶三	(18)18	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	山田光胤	(19)19	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	脇坂哲子	(19)19	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	久能靖	(20)20	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	三谷和合	(20)20	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞癸卯二十八字抄	月江寺明	(21)21	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	井上圭二郎	(21)21	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	牛島庸恵	(21)21	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	舘野健	(22)22	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	荒木正胤	(22)22	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞不老長寿	中島大蘇	(23)23	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	倉島宗二	(23)23	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	川瀬清	(24)24	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	工藤訓正	(24)24	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	木村忠二郎	(24)24	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	堀越清三	(25)25	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	佐藤三郎	(25)25	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞思いつくまゝ	宮沢伸佳	(25)25	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	岸本亮一	(26)26	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	長倉吉宏	(26)26	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	木村佐京	(26)26	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	林篤美	(26)26	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	西澤道允	(27)27	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	大村明	(28)28	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	松本俊二	(28)28	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	吉田一郎	(28)28	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	関根邦之助	(29)29	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	寺師睦濟	(29)29	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	建林静枝	(29)29	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	和田正系	(30)30	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	陳居霖	(30)30	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	奚復一	(30)30	1964年(昭和39)・第11巻・01号
新年のことば　＜昭和39年（1964年）＞	陳太義	(30)30	1964年(昭和39)・第11巻・01号
消痞湯による心下痞の治験	山田光胤	(31)31	1964年(昭和39)・第11巻・01号
防風通聖散治験2例　▽頑固な頭痛▽慢性耳漏	矢数道明	(34)34	1964年(昭和39)・第11巻・01号
最近の治療から　＜癌腫について＞胃癌（1）（2）▽上顎骨の癌▽胃癌（3）▽胃潰瘍▽胆嚢炎	高橋道史	(36)36	1964年(昭和39)・第11巻・01号
和田東郭（昭和38年11月3日・東郭墓地修理完成記念講演）	寺師睦濟	(41)41	1964年(昭和39)・第11巻・01号
供養の日	気賀林一	(46)46	1964年(昭和39)・第11巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和38年10月・11月・12月＞	協会本部／編集局	(51)51	1964年(昭和39)・第11巻・01号
@1964年(昭和39)-第11巻-02号-			
座談会／昭和38年度の漢方医界を顧る	大塚敬節・矢数道明・気賀林一	(3)65	1964年(昭和39)・第11巻・02号
修琴堂治験録（1）＜治療一束＞気管支喘息に麦門冬湯▽ルードウィッチ氏アンギナに甘露飲▽進行性指掌角皮症に炙甘草湯▽腹膜炎（？）に黄耆建中湯	大塚敬節	(19)81	1964年(昭和39)・第11巻・02号
帯状疱疹に対する漢方治験例	関根邦之助	(21)83	1964年(昭和39)・第11巻・02号
皮膚疾患3例の漢薬使用について	阪本正夫	(22)84	1964年(昭和39)・第11巻・02号
温知堂経験録（1）＜短期間に体質が改善された諸証例＞小柴胡湯による体質改善の1例▽小建中湯による体質改善の1例▽六君子湯による体質改善の1例▽紅斑落屑性湿疹と複視が小柴胡湯加味方で	矢数道明	(24)86	1964年(昭和39)・第11巻・02号
急激な下血による甚しい貧血の治療例	山田光胤	(27)89	1964年(昭和39)・第11巻・02号
味の色々　（その1）大根の葉	小倉重成	(29)91	1964年(昭和39)・第11巻・02号
漢方研究室　出題：問題9　偏頭痛／解答：問題6	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・Ｈ生・莞峰子	(30)92	1964年(昭和39)・第11巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年1月＞	協会本部／編集局	(33)95	1964年(昭和39)・第11巻・02号
和田東郭翁墓域改修供養保存について	坂口弘	(36)98	1964年(昭和39)・第11巻・02号
告知板／腎臓結石に消石散の効果	矢数道明	(37)99	1964年(昭和39)・第11巻・02号
告知板／分量について	Ｋ・Ｎ生	(37)99	1964年(昭和39)・第11巻・02号

新刊紹介／大塚敬節著『漢方治療の実際』	藤平健	(38)100	1964年(昭和39)・第11巻・02号
新刊紹介／石原明著『漢方』／西山英雄著『漢方薬と民間薬』／清水藤太郎著『漢薬典』／間中喜雄著『むんてら』	林一基	(39)101	1964年(昭和39)・第11巻・02号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（1）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(42)104	1964年(昭和39)・第11巻・02号
@1964年(昭和39)-第11巻-03号-			
日本における漢方白書（1）	矢数道明	(3)127	1964年(昭和39)・第11巻・03号
修琴堂治験録（2）＜療診メモ＞苓桂朮甘湯▽黄連解毒湯▽黄連解毒湯▽温経湯	大塚敬節	(13)137	1964年(昭和39)・第11巻・03号
温知堂経験録（2）＜諸神経症に抑肝散加陳皮半夏＞頑固な不眠症に抑肝散加陳皮半夏の効果▽ノイローゼに抑肝散加陳皮半夏▽頑固な神経症に抑肝散加味方▽頑固な便秘と神経症	矢数道明	(15)139	1964年(昭和39)・第11巻・03号
延登葯室治験録（1）▽心臓神経症（？）▽常習頭痛に桂枝人参湯▽気管枝性喘息に四逆散合半夏厚朴湯	藤平健	(19)143	1964年(昭和39)・第11巻・03号
生体内における原子転換と漢方薬の方向転換	寺師睦濟	(23)147	1964年(昭和39)・第11巻・03号
六君子湯による起死回生例	阪本正夫	(24)148	1964年(昭和39)・第11巻・03号
下腿潰瘍治験例	関根邦之助	(25)149	1964年(昭和39)・第11巻・03号
風邪小治験	小倉重成	(27)151	1964年(昭和39)・第11巻・03号
関節リウマチの治験	高橋道史	(28)152	1964年(昭和39)・第11巻・03号
外国で見たこと聞いたこと（5）台湾中医界の現状	長倉吉宏	(32)156	1964年(昭和39)・第11巻・03号
上山氏に答える	堀越清三	(34)158	1964年(昭和39)・第11巻・03号
「生物学的時計」と鍼灸治療	津田卓二	(36)160	1964年(昭和39)・第11巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年2月＞	協会本部／編集局	(37)161	1964年(昭和39)・第11巻・03号
河童随筆　表彰状	間中喜雄	(38)162	1964年(昭和39)・第11巻・03号
初めて東亜医学協会を訪ねて	橋本敬三	(39)163	1964年(昭和39)・第11巻・03号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（2）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(40)164	1964年(昭和39)・第11巻・03号
告知板／漢方誤疾譜（ゴシップ）	萠耻庵	(57)181	1964年(昭和39)・第11巻・03号
@1964年(昭和39)-第11巻-04号-			
日本における漢方白書（2）	矢数道明	(3)189	1964年(昭和39)・第11巻・04号
延登葯室治験録（2）＜一時的虚証について＞呉茱萸湯証の例▽小建中湯証の例▽小青竜湯証の例▽桂枝人参湯証の例	藤平健	(12)198	1964年(昭和39)・第11巻・04号
修琴堂治験録（3）▽原因、病名とも不明の病気に桂枝茯苓丸料▽原因、病名とも不明の筋肉痛に葛根湯加ヨク苡仁▽原因、病名とも不明の舌の曲る病気に加味八仙湯	大塚敬節	(15)201	1964年(昭和39)・第11巻・04号
温知堂経験録（3）＜珍しい処方の使い方＞外傷後のいびきに当帰鬚散の偉効▽陰部湿疹に柴胡勝湿湯▽慢性多発性関節リウマチに舒筋立安散▽25年来の肋間神経痛に五積散▽口内炎に清熱補血湯の治験	矢数道明	(17)203	1964年(昭和39)・第11巻・04号
新中国における中葯研究の進歩（1）	高橋真太郎	(24)210	1964年(昭和39)・第11巻・04号
座談会／疝について	森田幸門・大塚敬節・細野史郎・長倉音蔵・藤平健・寺師睦濟・山田光胤・内炭精一・細野八郎・坂口弘　ほか	(27)213	1964年(昭和39)・第11巻・04号
河童随筆　根ほり葉ほり	間中喜雄	(42)228	1964年(昭和39)・第11巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年3月＞	協会本部／編集局	(43)229	1964年(昭和39)・第11巻・04号
呉茱萸湯による治験例	関根邦之助	(45)231	1964年(昭和39)・第11巻・04号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（3）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(46)232	1964年(昭和39)・第11巻・04号
@1964年(昭和39)-第11巻-05号-			
腎虚症の補助的診断法　ーとくに頚椎診についてー	松岡伯菁	(3)251	1964年(昭和39)・第11巻・05号
座談会／科学・非科学の問題　ー学会のあと、話のスナップー	森田幸門・伊藤清夫・矢数道明・細野史郎・藤平健・気賀林一	(7)255	1964年(昭和39)・第11巻・05号
修琴堂治験録（4）▽膣のポリープに当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽バセドー病に炙甘草湯▽血清肝炎に茵チン蒿湯▽十二指腸潰瘍に人参湯（15）血友病患者の腸閉塞に桂枝加芍薬湯▽のどのつまる患者に用いた私家製薬方	大塚敬節	(19)267	1964年(昭和39)・第11巻・05号
温知堂経験録（4）＜喘息患者の種々相（神秘湯の証）＞小児喘息に神秘湯の治験▽小児喘息に神秘湯の治験▽小児喘息に神秘湯の治験▽小児喘息に神秘湯▽気管支喘息に神秘湯の長期服用	矢数道明	(24)272	1964年(昭和39)・第11巻・05号
平凡な治験にも味がある	高橋道史	(28)276	1964年(昭和39)・第11巻・05号
河童随筆　匠気	間中喜雄	(35)283	1964年(昭和39)・第11巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年4月＞	協会本部／編集局	(36)284	1964年(昭和39)・第11巻・05号
山本成一郎氏逝去	編集局	(38)286	1964年(昭和39)・第11巻・05号
森喜久雄氏逝去	編集局	(38)286	1964年(昭和39)・第11巻・05号
薬局の漢方（10）胃腸病	西岡一夫	(39)287	1964年(昭和39)・第11巻・05号

吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（4）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(41)289	1964年(昭和39)・第11巻・05号
山本成一郎君の急逝をいたむ　ー義憤と悲嘆の涙ー	大塚敬節	(53)301	1964年(昭和39)・第11巻・05号
癌予防の私見	森乙松	(55)303	1964年(昭和39)・第11巻・05号
白虎加人参湯による慢性湿疹の治験	岡野正憲	(57)305	1964年(昭和39)・第11巻・05号
@1964年(昭和39)-第11巻-06号-			
和田東郭の灸治療について	代田文誌	(3)313	1964年(昭和39)・第11巻・06号
＜漢方今昔座談＞喘息について	細迫陽三	(13)323	1964年(昭和39)・第11巻・06号
温知堂経験録（5）＜喘息患者の種々相（2）＞小児喘息に五虎二陳湯▽小児喘息に五虎二陳湯▽小児喘息に小青竜湯エキス末▽小児喘息に小柴胡湯合半夏厚朴湯▽気管支喘息に小柴胡湯合半夏厚朴湯	矢数道明	(18)328	1964年(昭和39)・第11巻・06号
延登葯室治験録（3）▽進行性指掌角皮症に麻杏ヨク甘加附子▽バセドー病に桂枝加竜骨牡蠣湯	藤平健	(21)331	1964年(昭和39)・第11巻・06号
座談会／葛根湯を語る	大塚敬節・相見三郎・矢数道明・藤平健・山田光胤	(24)334	1964年(昭和39)・第11巻・06号
漢方研究室　出題：問題10　夜啼症／解答：問題7	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・H生	(34)344	1964年(昭和39)・第11巻・06号
漢方薬と民間薬（1）　ー日本深夜放送4月10日放送記録ー	山田光胤	(36)346	1964年(昭和39)・第11巻・06号
薬についての2つの答	間中喜雄	(38)348	1964年(昭和39)・第11巻・06号
味の色々　野の草	小倉重成	(39)349	1964年(昭和39)・第11巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年5月＞	協会本部／編集局	(41)351	1964年(昭和39)・第11巻・06号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（5）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(42)352	1964年(昭和39)・第11巻・06号
@1964年(昭和39)-第11巻-07号-			
座談会／最近の治験を語る	相見三郎・大塚敬節・山田光胤・石原明・矢数道明	(3)375	1964年(昭和39)・第11巻・07号
不妊症の漢方的治験	相見三郎	(14)386	1964年(昭和39)・第11巻・07号
平凡治験さまざま	高橋道史	(17)389	1964年(昭和39)・第11巻・07号
温知堂経験録（6）＜喘息患者の種々相（3）＞喘息と結核に麦門冬湯エキス末▽心臓性喘息が麦門冬湯加味方で▽心臓性喘息に変製心気飲▽気管支喘息に清肺湯▽漢薬の匂いで起こる喘息患者	矢数道明	(21)393	1964年(昭和39)・第11巻・07号
苓桂味甘湯治験・不験	諏訪重雄	(25)397	1964年(昭和39)・第11巻・07号
小児疾患漢方治療3題	阪本正夫	(28)400	1964年(昭和39)・第11巻・07号
分娩後にあらわれた頭痛に対する治験例	三谷和合	(30)402	1964年(昭和39)・第11巻・07号
修琴堂治験録（5）▽血友病患者後日譚▽ヂューリング氏疱疹状皮膚炎に当帰飲子▽寒性膿瘍に大柴胡湯合小承気湯	大塚敬節	(34)406	1964年(昭和39)・第11巻・07号
漢方研究室　出題：問題12　眼部帯状疱疹／解答：問題8	出題・解答）小倉重成 回答）莞峰子・H生・島津秀雄	(36)408	1964年(昭和39)・第11巻・07号
学会だより　ー日本東洋医学会ー　ＮＨＫ　ＦＭ放送より	和田正系	(38)410	1964年(昭和39)・第11巻・07号
河童随筆　文字と事実	間中喜雄	(43)415	1964年(昭和39)・第11巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年6月＞	協会本部／編集局	(44)416	1964年(昭和39)・第11巻・07号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（6）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(45)417	1964年(昭和39)・第11巻・07号
@1964年(昭和39)-第11巻-08号-			
附子の薬能（1）	龍野一雄	(3)437	1964年(昭和39)・第11巻・08号
修琴堂治験録（6）▽クインケ浮腫に五苓散▽特発性脱疽に当帰湯▽変形性膝関節症に越婢加朮湯▽慢性湿疹に桂枝茯苓丸料	大塚敬節	(10)444	1964年(昭和39)・第11巻・08号
温知堂経験録（7）＜四味膠ガイ湯治験＞子宮内膜炎による月経過多症▽子宮筋腫による不定期出血▽子宮筋腫による不定期出血▽卵巣機能不全性出血▽痔出血	矢数道明	(13)447	1964年(昭和39)・第11巻・08号
積聚の薬	高橋道史	(16)450	1964年(昭和39)・第11巻・08号
針注療法（Shin-injection Therapy）の周辺と神経痛の体験	三田寛	(18)452	1964年(昭和39)・第11巻・08号
『金匱要略』の針灸療法	陳居霖	(20)454	1964年(昭和39)・第11巻・08号
味のいろいろ　（その3）味噌汁	小倉重成	(24)458	1964年(昭和39)・第11巻・08号
麻黄細辛附子湯の偉効	岡野正憲	(26)460	1964年(昭和39)・第11巻・08号
麻黄剤と猪苓湯	花村訓充	(27)461	1964年(昭和39)・第11巻・08号
漢方薬と民間薬　ー日本深夜放送4月17日放送記録ー	山田光胤	(28)462	1964年(昭和39)・第11巻・08号
一点灸3題	矢数道明	(29)463	1964年(昭和39)・第11巻・08号
所謂「夏季熱」の清暑益気湯加銀柴胡に依る治験	陳厚銘	(31)465	1964年(昭和39)・第11巻・08号
河童随筆　完全な美	間中喜雄	(35)469	1964年(昭和39)・第11巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年7月＞	協会本部／編集局	(36)470	1964年(昭和39)・第11巻・08号
書評2題／矢数格著『漢方一貫堂医学』／間中喜雄著『灸とはりの効用』	寺師睦濟	(37)471	1964年(昭和39)・第11巻・08号
森道伯翁異聞	気賀林一	(39)473	1964年(昭和39)・第11巻・08号

吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（7）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(40)474	1964年(昭和39)・第11巻・08号
@1964年(昭和39)-第11巻-09号-			
附子の薬能（2）	龍野一雄	(3)499	1964年(昭和39)・第11巻・09号
修琴堂治験録（7）▽慢性腹膜炎に小建中湯	大塚敬節	(11)507	1964年(昭和39)・第11巻・09号
夜間に激痛の起るリウマチ	代田文誌	(15)511	1964年(昭和39)・第11巻・09号
虫垂炎の漢医学的考察	李殷八	(17)513	1964年(昭和39)・第11巻・09号
五積散の治験	細川喜代治	(21)517	1964年(昭和39)・第11巻・09号
温知堂経験録（8）＜ストロフルスに五苓散＞3歳の女児▽2歳の女児▽4歳の女児▽6歳の男児▽4歳の女児（水疣）	矢数道明	(23)519	1964年(昭和39)・第11巻・09号
疳疾の治験	高橋道史	(25)521	1964年(昭和39)・第11巻・09号
「二朮湯の追試例について」	阪本正夫	(29)525	1964年(昭和39)・第11巻・09号
脳血栓の験方、補陽還五湯について	陳太義	(30)526	1964年(昭和39)・第11巻・09号
漢方薬と民間薬　－日本深夜放送4月24日放送記録－	山田光胤	(32)528	1964年(昭和39)・第11巻・09号
河童随筆　暗示	間中喜雄	(34)530	1964年(昭和39)・第11巻・09号
味のいろいろ　（その4）夏の飲物	小倉重成	(35)531	1964年(昭和39)・第11巻・09号
漢方研究室　出題：問題13　風邪と下痢／解答：問題9	出題・解答）小倉重成 回答）H生・鈴木秀剰・島津秀雄・鍼灸子・S生	(36)532	1964年(昭和39)・第11巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年8月＞	協会本部／編集局	(40)536	1964年(昭和39)・第11巻・09号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（8）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(43)539	1964年(昭和39)・第11巻・09号
@1964年(昭和39)-第11巻-10号-			
三焦の生理と病理	龍野一雄	(3)561	1964年(昭和39)・第11巻・10号
温知堂経験録（9）＜大柴胡湯治験集＞胆石症に大柴胡湯▽慢性肝炎に大柴胡湯▽胆石症と結膜翼状片に大柴胡湯▽手術後の尿失禁が大柴胡湯で	矢数道明	(6)564	1964年(昭和39)・第11巻・10号
頑固な湿疹に針灸治験	代田文誌	(10)568	1964年(昭和39)・第11巻・10号
大承気湯による疫痢の治験例	鈴木秀剰	(12)570	1964年(昭和39)・第11巻・10号
小児喘息の治験	高橋道史	(13)571	1964年(昭和39)・第11巻・10号
温経湯治験　▽不正出血兼子宮筋腫▽慢性下痢症▽進行性指掌角皮症▽流産後遺症兼不妊症	諏訪重雄	(15)573	1964年(昭和39)・第11巻・10号
平胃散証と職業	阪本正夫	(18)576	1964年(昭和39)・第11巻・10号
肝・胆道疾患の漢方治療（その1）	三谷和合	(21)579	1964年(昭和39)・第11巻・10号
延登葯室治験録（4）▽吃逆に柿蒂湯▽仮性近視兼軽症慢性軸性視神経炎に五苓散▽蕁麻疹に大柴胡湯	藤平健	(23)581	1964年(昭和39)・第11巻・10号
出題と回答（1）（金匱会記録）	出題）大塚敬節 回答）伊藤清夫・山田光胤・寺師睦濟・藤平健・矢数道明・相見三郎	(26)584	1964年(昭和39)・第11巻・10号
神農像に題した曲直瀬道三の詩	内山孝一	(33)591	1964年(昭和39)・第11巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年9月＞	協会本部／編集局	(35)593	1964年(昭和39)・第11巻・10号
陳存仁氏来日歓迎会	編集局	(37)595	1964年(昭和39)・第11巻・10号
話のスナップ　関西のみなさんあらあらかしこ	気賀林一	(40)598	1964年(昭和39)・第11巻・10号
新刊紹介／北京人民衛生出版社出版『中華人民共和国薬典』（1963年版第1部）	岡西為人	(44)602	1964年(昭和39)・第11巻・10号
吉益南涯・華岡青洲・浅田宗伯　険証百問（9）	監修）矢数道明 訳注）西岡一夫	(44)602	1964年(昭和39)・第11巻・10号
@1964年(昭和39)-第11巻-11号-			
「必斉」について	柴崎保三	(3)623	1964年(昭和39)・第11巻・11号
温知堂経験録（10）＜メニエール病・肋骨カリエス・四肢萎弱症・指関節強直症＞メニエール症候群に柴胡加竜骨牡蠣湯▽肋骨カリエスに千金内托散▽四肢萎弱症に芍薬甘草附子湯の偉効▽指関節強直が柴胡桂枝湯で治る	矢数道明	(11)631	1964年(昭和39)・第11巻・11号
真武湯の思い出	大塚敬節	(14)634	1964年(昭和39)・第11巻・11号
癒着性結腸炎の1治験例	関根邦之助	(16)636	1964年(昭和39)・第11巻・11号
出題と回答（2）（金匱会記録）	出題）矢数道明 回答）大塚敬節・伊藤清夫・山田光胤	(18)638	1964年(昭和39)・第11巻・11号
明治医学に影響したる外国文化	伊東弥恵治 解説）高柳欽一	(25)645	1964年(昭和39)・第11巻・11号
矢数格先生著『漢方一貫堂医学』を読みて	細野史郎	(33)653	1964年(昭和39)・第11巻・11号
急性虫垂炎・臨床例（金磁気粒、鍼灸、漢方薬并用）	佐藤三郎	(39)659	1964年(昭和39)・第11巻・11号
漢方医学の病理観と治療原則　－日本深夜放送5月1日放送記録－	山田光胤	(41)661	1964年(昭和39)・第11巻・11号
公田連太郎先生と漢学	寺師睦濟	(43)663	1964年(昭和39)・第11巻・11号
証についての反省（逆に見た証）	間中喜雄	(46)666	1964年(昭和39)・第11巻・11号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年10月＞	協会本部／編集局	(48)668	1964年(昭和39)・第11巻・11号
河童随筆　暗示	間中喜雄	(49)669	1964年(昭和39)・第11巻・11号
日韓漢方医界の交流を望む	矢数道明	(50)670	1964年(昭和39)・第11巻・11号
告知板／漢方白書追加	矢数道明	(51)671	1964年(昭和39)・第11巻・11号
告知板／漢方専門科名認可請願書	矢数道明	(51)671	1964年(昭和39)・第11巻・11号
運動系と漢方湯薬の処方	橋本敬三	(51)671	1964年(昭和39)・第11巻・11号
編集雑話	気賀林一	(53)673	1964年(昭和39)・第11巻・11号
険証百問の「訳註」を終えて	西岡一夫	(55)675	1964年(昭和39)・第11巻・11号
@1964年(昭和39)-第11巻-12号-			
古典臨床脈の変遷に就て	小椋道益	(3)685	1964年(昭和39)・第11巻・12号
薬方の構成についての1考察	松下嘉一	(15)697	1964年(昭和39)・第11巻・12号
真性小児麻痺及び仮性小児麻専	李殷八	(21)703	1964年(昭和39)・第11巻・12号
延登葯室治験録（5）▽かぜに甘草附子湯	藤平健	(25)707	1964年(昭和39)・第11巻・12号
温知堂経験録（11）＜下肢無力症と眼疾患＞下肢無力症に痿症方▽多発性硬化症といわれた患者に痿症方▽緑内障に洗肝明目湯▽眼瞼縁炎に神効黄耆湯の治験	矢数道明	(28)710	1964年(昭和39)・第11巻・12号
治験2例　－皮電点の臨床－	代田文誌	(31)713	1964年(昭和39)・第11巻・12号
出題と回答（3）（金匱会記録）	出題）藤平健 回答）大塚敬節・山田光胤・寺師睦濟・伊藤清夫	(33)715	1964年(昭和39)・第11巻・12号
読『漢方一貫堂医学』	安西安周	(40)722	1964年(昭和39)・第11巻・12号
今大路家墓域改修保存と追薦祭	矢数道明	(43)725	1964年(昭和39)・第11巻・12号
ある治療日記より	車山人	(48)730	1964年(昭和39)・第11巻・12号
漢方医学の病理観と治療原則　－日本深夜放送5月15日放送記録－	山田光胤	(50)732	1964年(昭和39)・第11巻・12号
河童随筆　殺し屋登場	間中喜雄	(52)734	1964年(昭和39)・第11巻・12号
告知板／「漢方白書」へ寄す	山口広次	(53)735	1964年(昭和39)・第11巻・12号
告知板／関東のみなさんへ	西岡一夫	(53)735	1964年(昭和39)・第11巻・12号
ひとつのねがい	大村明	(54)736	1964年(昭和39)・第11巻・12号
英文毎日記事より	三谷和合	(56)738	1964年(昭和39)・第11巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年11月＞	協会本部／編集局	(57)739	1964年(昭和39)・第11巻・12号
@1965年(昭和40)-第12巻-01号-			
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	原三郎	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞画の場合	大塚敬節	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	丸山昌朗	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	中谷義雄	(4)4	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	間中喜雄	(4)4	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	橋本敬三	(4)4	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞巳年の占	藤田六朗	(4)4	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	小早川晃徳	(5)5	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞言葉の共通化	木下晴都	(6)6	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞漢方とパターン認識と伝統	津田卓二	(6)6	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞年頭所感	工藤訓正	(6)6	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞年頭随想	日野厚	(6)6	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	木村佐京	(7)7	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞病名療法と随証療法	矢数道明	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	神永誠之	(8)8	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞張仲景をめぐる謎	西岡一夫	(8)8	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	和田正系	(9)9	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞新春随想	高橋真太郎	(9)9	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	秋元恵一	(9)9	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	山元章平	(10)10	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	松岡武保	(10)10	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	竹内達	(10)10	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	木村康一	(11)11	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	七条晃正	(11)11	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	加藤勝美	(11)11	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	戸部宗七郎	(12)12	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	代田文誌	(12)12	1965年(昭和40)・第12巻・01号

新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞日本の伝統文化の不在	舘野健	(12)12	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞謹賀新年	渡利一水	(13)13	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	三谷和合	(13)13	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	岡西為人	(14)14	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞謹賀新年	宮下三郎	(14)14	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	三田寛	(14)14	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	松岡伯菁	(15)15	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	荒木正胤	(15)15	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	川瀬清	(15)15	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	山田光胤	(16)16	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞年頭所感	高橋道史	(16)16	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	木村忠二郎	(16)16	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞花鳥	岩佐礼一	(16)16	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	平吉広州	(17)17	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	建林静枝	(17)17	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞下戸・上戸	古川瑞昌	(18)18	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞賀正	西澤道允	(18)18	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞漢方ブーム	伊藤清夫	(19)19	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	鮎川明昇	(20)20	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	大村明	(20)20	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	小倉重成	(20)20	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞ニーダム教授の発言	岸本亮一	(20)20	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	戸田秀実	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	寺師睦濟	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	中村了介	(21)21	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	藤平健	(22)22	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	宮沢信佳	(22)22	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	松本俊二	(22)22	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	神戸源蔵	(22)22	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	安西安周	(23)23	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	田村豊幸	(23)23	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	相見三郎	(24)24	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞五柳居廿八字抄	月江寺明	(24)24	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	佐藤三郎	(25)25	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	長倉吉宏	(25)25	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	山崎広熊	(25)25	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞年頭所感	阪本正夫	(26)26	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	河内省一	(26)26	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞年頭随筆	細川喜代治	(26)26	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞古今東西	堀越清三	(27)27	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	浦野順文	(27)27	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	牛島庸恵	(27)27	1965年(昭和40)・第12巻・01号
新年のことば　＜昭和40年（1965年）＞	中島大蘇	(3)3	1965年(昭和40)・第12巻・01号
脳腫瘍といわれた患者の漢方治療経過ついて	矢数道明	(28)28	1965年(昭和40)・第12巻・01号
南涯気血水説・私考	西岡一夫	(37)37	1965年(昭和40)・第12巻・01号
出題と回答（4）（金匱会記録）	出題）山田光胤 回答）大塚敬節・相見三郎・伊藤清夫・藤平健・寺師睦濟	(44)44	1965年(昭和40)・第12巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和39年12月＞	協会本部／編集局	(54)54	1965年(昭和40)・第12巻・01号
武藤留吉氏逝去	編集局	(55)55	1965年(昭和40)・第12巻・01号
書評／石原明著『現代漢方』を読みて感あり	大塚敬節	(56)56	1965年(昭和40)・第12巻・01号
@1965年(昭和40)-第12巻-02号-			
腎は作強の官	柴崎保三	(3)65	1965年(昭和40)・第12巻・02号
＜漢方今昔座談＞老人病に就いて（1）	細迫陽三	(10)72	1965年(昭和40)・第12巻・02号
温知堂経験録（12）＜珍しくて重い病気の漢方治療経過（1）＞嚢腫腎（腎嚢腫、嚢胞腎）その1：帰脾湯・小建中湯・六君子湯▽嚢腫腎その2：帰脾湯を以て押し返す	矢数道明	(14)76	1965年(昭和40)・第12巻・02号
皮膚病治験の数々	高橋道史	(18)80	1965年(昭和40)・第12巻・02号

高齢者に見られた急性関節リウマチ	阪本正夫	(22)84	1965年(昭和40)・第12巻・02号
茯苓杏仁甘草湯治験	諏訪重雄	(23)85	1965年(昭和40)・第12巻・02号
出題と回答（5）（金匱会記録）	出題）伊藤清夫 回答）大塚敬節・山田光胤・矢数道明・寺師睦濟	(25)87	1965年(昭和40)・第12巻・02号
青年性扁平疣贅の1治験例	神山茂	(30)92	1965年(昭和40)・第12巻・02号
延登葯室治験録（6）＜慢性湿疹＞慢性湿疹にヨク苡附子敗醤散▽慢性湿疹に越婢加朮湯▽慢性湿疹に白虎加人参湯	藤平健	(31)93	1965年(昭和40)・第12巻・02号
肝・胆道疾患の漢方治療（その2）	三谷和合	(33)95	1965年(昭和40)・第12巻・02号
続・針注療法（Shin injection Therapy）	三田寛	(36)98	1965年(昭和40)・第12巻・02号
箕作阮甫と呉家	高橋道史	(39)101	1965年(昭和40)・第12巻・02号
小説／ハク製の虹（1）	西岡一夫	(42)104	1965年(昭和40)・第12巻・02号
味の色々　玄米赤飯と玄米餅	小倉重成	(51)113	1965年(昭和40)・第12巻・02号
告知板／「漢方専門科名認可請願趣意書」について	矢数道明	(52)114	1965年(昭和40)・第12巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年1月＞	協会本部／編集局	(53)115	1965年(昭和40)・第12巻・02号
漢方治療の特色と治験	山田光胤	(55)117	1965年(昭和40)・第12巻・02号
蕁麻疹に香蘇散	工藤訓正	(58)120	1965年(昭和40)・第12巻・02号
漢方研究室　解答：問題11	解答）小倉重成 回答）Ｈ生・島津秀雄・諏訪重雄・鍼灸子	(59)121	1965年(昭和40)・第12巻・02号
奥田謙蔵著『傷寒論講義』上梓にあたって	伊藤清夫	(61)123	1965年(昭和40)・第12巻・02号
@1965年(昭和40)-第12巻-03号-			
素問に示されている陰陽の生理的作用に就いて	柴崎保三	(3)127	1965年(昭和40)・第12巻・03号
沾光治験録（1）前言にかえて　【第1部】口内カンジタ症（口内潰瘍）－甘露飲経験－　【第2部】甘露飲についてあれこれ	細野史郎	(11)135	1965年(昭和40)・第12巻・03号
延登葯室治験録（7）▽肥厚性鼻炎兼鼻たけに桂枝湯▽蓄膿症に大柴胡湯・桃核承気湯合方▽腸疝痛に烏頭桂枝湯	藤平健	(18)142	1965年(昭和40)・第12巻・03号
温知堂経験録（13）＜珍しくて重い病気の漢方治療経過（2）＞急性白血病に十全大補湯と牛黄丸▽ウェーバー・クリスチャン病に十味敗毒湯	矢数道明	(21)145	1965年(昭和40)・第12巻・03号
座談会／昭和39年度の漢方医界を顧る	石原明・大塚敬節・矢数道明・気賀林一	(25)149	1965年(昭和40)・第12巻・03号
肝・胆道疾患の漢方治療（その3）	三谷和合	(39)163	1965年(昭和40)・第12巻・03号
むだばなし　高血圧症・百科大辞典	龍野一雄	(42)166	1965年(昭和40)・第12巻・03号
小説／ハク製の虹（2）	西岡一夫	(48)172	1965年(昭和40)・第12巻・03号
漢方研究室　解答：問題12：問題13	解答）小倉重成 問題12回答）島津秀雄・Ｈ生 問題13回答）諏訪重雄・夜久秀之・西脇平士・島津秀雄ほか	(54)178	1965年(昭和40)・第12巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年2月＞	協会本部／編集局	(58)182	1965年(昭和40)・第12巻・03号
告知板／「現代の漢方薬展」について	編集局	(59)183	1965年(昭和40)・第12巻・03号
乙字湯治験2例	石原明	(61)185	1965年(昭和40)・第12巻・03号
@1965年(昭和40)-第12巻-04号-			
「血」の生理　「血」についての考察（1）	龍野一雄	(3)189	1965年(昭和40)・第12巻・04号
延登葯室治験録（8）＜流感にいたぶられるの記－大青竜湯の自家経験－＞	藤平健	(7)193	1965年(昭和40)・第12巻・04号
温知堂経験録（14）＜前立腺肥大に八味丸合騰竜湯＞症例1：76才の男子▽症例2：81才の男子▽症例3：65才の男子	矢数道明	(10)196	1965年(昭和40)・第12巻・04号
流行性感冒	松本俊二	(11)197	1965年(昭和40)・第12巻・04号
続・南涯気血水説・私考	西岡一夫	(12)198	1965年(昭和40)・第12巻・04号
昭和初期における漢方医界の請願運動	矢数道明	(21)207	1965年(昭和40)・第12巻・04号
婦人科疾患の人々　▽竜胆瀉肝湯▽四物湯の加味の薬方▽折衝飲▽烏苓通気	高橋道史	(29)215	1965年(昭和40)・第12巻・04号
＜漢方今昔座談＞老人病に就いて（2）　半夏白朮天麻湯▽呉茱萸湯	細迫陽三	(32)218	1965年(昭和40)・第12巻・04号
会津紀行	気賀林一・飯田穰・矢数道明	(36)222	1965年(昭和40)・第12巻・04号
告知板／お願い	西岡一夫	(49)235	1965年(昭和40)・第12巻・04号
むだばなし（2）めずらしい病名	龍野一雄	(50)236	1965年(昭和40)・第12巻・04号
白井博士の附子の中毒体験	高橋道史	(52)238	1965年(昭和40)・第12巻・04号
奥田謙蔵著『傷寒論講義』の刊行にあたって	大塚敬節	(56)242	1965年(昭和40)・第12巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年3月＞	協会本部／編集局	(60)246	1965年(昭和40)・第12巻・04号
@1965年(昭和40)-第12巻-05号-			
『腹証奇覧を読む』を読んで（1）	矢数道明	(3)251	1965年(昭和40)・第12巻・05号
「血」の病理　「血」についての考察（2）	龍野一雄	(12)260	1965年(昭和40)・第12巻・05号

森田幸門博士訪問の記（1）	気賀林一・森田幸門・西岡一夫・西脇平士	(20)268	1965年(昭和40)・第12巻・05号
太陽病の病理とその臨床的応用（1）	鍾栄火	(31)279	1965年(昭和40)・第12巻・05号
今度の流感	小倉重成	(36)284	1965年(昭和40)・第12巻・05号
家族の風邪治験	島津秀雄	(38)286	1965年(昭和40)・第12巻・05号
ガイと喘について　－初学者の目から－	西脇平士	(42)290	1965年(昭和40)・第12巻・05号
或る治療日記より	車山人	(49)297	1965年(昭和40)・第12巻・05号
随想	重田学	(50)298	1965年(昭和40)・第12巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年4月＞	協会本部／編集局	(52)300	1965年(昭和40)・第12巻・05号
新刊紹介／丸山清康著『全訳傷寒論』	寺師睦濟	(54)302	1965年(昭和40)・第12巻・05号
テイ鍼の診断学的意義	阪本正夫	(55)303	1965年(昭和40)・第12巻・05号
告知板／「曲直瀬道三はと細川勝元、三好修理などに厚く遇せられ」について	矢数道明	(57)305	1965年(昭和40)・第12巻・05号
@1965年(昭和40)-第12巻-06号-			
古代病理　病は如何にして起るか（1）	柴崎保三	(3)313	1965年(昭和40)・第12巻・06号
『腹証奇覧を読む』を読んで（2）	矢数道明	(12)322	1965年(昭和40)・第12巻・06号
才血について　「血」についての考察（3）	龍野一雄	(19)329	1965年(昭和40)・第12巻・06号
太陽病の病理とその臨床的応用（2）	鍾栄火	(23)333	1965年(昭和40)・第12巻・06号
森田幸門博士訪問の記（2）	気賀林一・森田幸門・西岡一夫・西脇平士	(29)339	1965年(昭和40)・第12巻・06号
こんな治験もある　▽加味帰脾湯の例▽葛根キュウ石の例▽烏苓通気湯の例▽柴胡桂枝湯の例▽柴胡桂枝乾姜湯加黄耆茯苓▽金匱続命湯の例	高橋道史	(38)348	1965年(昭和40)・第12巻・06号
ある治験　▽半夏瀉心湯による関係被害妄想の治験▽キュウ帰膠ガイ湯による貧血の治験▽乳腺腫に桂枝茯苓丸料、乳腺炎に托裏消毒飲の治験	山田光胤	(41)351	1965年(昭和40)・第12巻・06号
産後の下痢に　白頭翁加甘草阿膠湯の治験例	鈴木秀剰	(44)354	1965年(昭和40)・第12巻・06号
漢方研究室　出題：問題14　水洟5題：問題15　慢性膀胱炎：問題16　感冒、鼻閉塞	出題）小倉重成	(45)355	1965年(昭和40)・第12巻・06号
永富独嘯庵追遠祭	寺師睦濟	(46)356	1965年(昭和40)・第12巻・06号
味の色々　和物と大豆料理	小倉重成	(48)358	1965年(昭和40)・第12巻・06号
匙加減	間中喜雄	(50)360	1965年(昭和40)・第12巻・06号
ある治療日記より（2）	車山人	(51)361	1965年(昭和40)・第12巻・06号
本能寺かベルリンか　－名人芸を要する診断の難しさ－	寺師睦濟	(53)363	1965年(昭和40)・第12巻・06号
紹介書／石原明校訂・丸山昌朗和訓・田口友康批訂　欠巻覆刻・解題・和訓『太素』（下）／大塚敬節・山田光胤著『漢方療法』	林一基	(55)365	1965年(昭和40)・第12巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年5月＞	協会本部／編集局	(61)371	1965年(昭和40)・第12巻・06号
@1965年(昭和40)-第12巻-07号-			
才血塊	間中喜雄	(3)375	1965年(昭和40)・第12巻・07号
古代病理　病は如何にして起るか（2）	柴崎保三	(7)379	1965年(昭和40)・第12巻・07号
野間玄琢先生年諸の紹介　－曲直瀬玄朔門下の四天王－	矢数道明	(16)388	1965年(昭和40)・第12巻・07号
食物とくすり　＜メンケンか禁断現象かアジソン氏病の発作に学ぶ＞	河内省一	(22)394	1965年(昭和40)・第12巻・07号
ノドの異常感	龍野一雄	(26)398	1965年(昭和40)・第12巻・07号
出題と回答（6）（金匱会記録）	出題）相見三郎 回答）大塚敬節・山田光胤・藤平健・寺師睦濟	(30)402	1965年(昭和40)・第12巻・07号
むだばなし（3）虫垂炎の経験から・精神身体医学・血について	龍野一雄	(37)409	1965年(昭和40)・第12巻・07号
傷寒論の十大定義について（1）	断語子	(41)413	1965年(昭和40)・第12巻・07号
栗園浅田宗伯先生と駕籠	高橋道史	(43)415	1965年(昭和40)・第12巻・07号
刀圭閑話（1）坪井信道先生の逸話	高橋道史	(46)418	1965年(昭和40)・第12巻・07号
河童随筆　難病	間中喜雄	(47)419	1965年(昭和40)・第12巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年6月＞	協会本部／編集局	(48)420	1965年(昭和40)・第12巻・07号
告知板／北大祭で〝東洋医学〟を取り上げる－経過報告－	Ｙ・松下昌雄	(49)421	1965年(昭和40)・第12巻・07号
告知板／日大でも漢方医学講義	林一基	(49)421	1965年(昭和40)・第12巻・07号
太陽病の病理とその臨床的応用（3）	鍾栄火	(51)423	1965年(昭和40)・第12巻・07号
噴血の症	木場宏	(59)431	1965年(昭和40)・第12巻・07号
@1965年(昭和40)-第12巻-08号-			
沾光治験録（2）＜感情失調症の1・2の治療＞【第1部】感情失調症（その1）－怒ってばかりいる人－▽感情失調症（その2）－幼児の憂鬱症－▽感情失調症（その3）－気にかかり始めると泣けてきてこまる人－【第2部】	細野史郎	(3)437	1965年(昭和40)・第12巻・08号
＜漢方今昔座談＞清中湯（枳園）に就いて	細迫陽三	(12)446	1965年(昭和40)・第12巻・08号
太陽病の病理とその臨床的応用（4）	鍾栄火	(18)452	1965年(昭和40)・第12巻・08号

温知堂経験録（15）▽頻尿・夜尿・ソウ痒が五苓散で▽偏頭痛が五苓湯で▽小児喘息に五虎二陳湯▽右半身のシビレ感が柴胡桂枝湯と茯苓飲で	矢数道明	(23)457	1965年(昭和40)・第12巻・08号
刺絡治験2例	工藤訓正	(25)459	1965年(昭和40)・第12巻・08号
肝・胆道疾患の漢方治療（その4）	三谷和合	(27)461	1965年(昭和40)・第12巻・08号
心臓病の漢方的治験2題	相見三郎	(30)464	1965年(昭和40)・第12巻・08号
興味ある2つの針灸治験　ー神経炎と憂鬱症ー	代田文誌	(32)466	1965年(昭和40)・第12巻・08号
強神湯による片麻痺の治療	阪本正夫	(35)469	1965年(昭和40)・第12巻・08号
紫雲膏の製法	海老塚吉次	(37)471	1965年(昭和40)・第12巻・08号
温知荘雑筆　芸備紀行	矢数道明	(39)473	1965年(昭和40)・第12巻・08号
漢方研究室　ー感冒2題ー　出題：問題17：問題18／解答：問題14	出題・解答）小倉重成 回答）中村生・島津秀雄・H生	(41)475	1965年(昭和40)・第12巻・08号
書評／丸山昌朗著『黄帝内経素問』と『黄帝鍼経』	間中喜雄	(44)478	1965年(昭和40)・第12巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年7月＞	協会本部／編集局	(45)479	1965年(昭和40)・第12巻・08号
むだばなし（4）下痢について	龍野一雄	(47)481	1965年(昭和40)・第12巻・08号
『腹証図彙』をめぐって	大塚敬節	(49)483	1965年(昭和40)・第12巻・08号
『険証百問』をよむ	大塚敬節	(50)484	1965年(昭和40)・第12巻・08号
日本での国際鍼灸学会について	木下晴都	(51)485	1965年(昭和40)・第12巻・08号
味のいろいろ　海藻料理	小倉重成	(53)487	1965年(昭和40)・第12巻・08号
虚証、実証	花村訓充	(54)488	1965年(昭和40)・第12巻・08号
古典二説	南天堂子	(55)489	1965年(昭和40)・第12巻・08号
傷寒論の十大定義について（2）	断語子	(56)490	1965年(昭和40)・第12巻・08号
鍼灸術の命運	間中喜雄	(63)497	1965年(昭和40)・第12巻・08号
@1965年(昭和40)-第12巻-09号-			
「漢方医界を顧る」の記事を読んで	柴崎保三	(3)499	1965年(昭和40)・第12巻・09号
変化する証	龍野一雄	(9)505	1965年(昭和40)・第12巻・09号
「めまい」に用いた薬方の治験	高橋道史	(12)508	1965年(昭和40)・第12巻・09号
温知堂経験録（16）＜ある不食病患者の治療経過＞	矢数道明	(16)512	1965年(昭和40)・第12巻・09号
メニエール病の針灸治験	代田文誌	(20)516	1965年(昭和40)・第12巻・09号
治療学としての漢方医学	石原明	(22)518	1965年(昭和40)・第12巻・09号
むだばなし（5）蔵府と経絡	龍野一雄	(24)520	1965年(昭和40)・第12巻・09号
石膏をめぐる気血水説私考	西脇平士	(26)522	1965年(昭和40)・第12巻・09号
帰脾湯のはなし	林仲昆	(33)529	1965年(昭和40)・第12巻・09号
出題と回答（7）（金匱会記録）	出題）寺師睦濟 回答）大塚敬節・相見三郎・山田光胤・藤平健・伊藤清夫	(35)531	1965年(昭和40)・第12巻・09号
再び「才血塊」について	間中喜雄	(42)538	1965年(昭和40)・第12巻・09号
かつぐ	間中喜雄	(45)541	1965年(昭和40)・第12巻・09号
落架風	高橋道史	(46)542	1965年(昭和40)・第12巻・09号
日韓東洋医学者懇親会	矢数道明	(48)544	1965年(昭和40)・第12巻・09号
日本閣で李鐘奎博士と矢数道明博士懇談	気賀林一	(48)544	1965年(昭和40)・第12巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年8月＞	協会本部／編集局	(49)545	1965年(昭和40)・第12巻・09号
鍼灸祭の祭儀について	石原明	(50)546	1965年(昭和40)・第12巻・09号
新刊紹介／本間祥白著『難経の研究』	間中喜雄	(51)547	1965年(昭和40)・第12巻・09号
南涯・八勿文	西岡一夫	(56)552	1965年(昭和40)・第12巻・09号
森道伯先生生誕百年祭	気賀林一	(57)553	1965年(昭和40)・第12巻・09号
或る治療日記より	車山人	(59)555	1965年(昭和40)・第12巻・09号
@1965年(昭和40)-第12巻-10号-			
沾光治験録（3）【第1部】症例1：盲腸手術後におこった“血の道”症候群と腹痛ー八味疝気方と騰竜湯ー▽症例2：移動性盲腸ー柴胡桂枝湯ー　【第2部】	細野史郎	(3)559	1965年(昭和40)・第12巻・10号
特発性脱疽とレイノー病の治験　ー動脈刺針を特に行ったものー	代田文誌	(9)565	1965年(昭和40)・第12巻・10号
膀胱炎に種々な猪苓湯加味・合方	山田光胤	(13)569	1965年(昭和40)・第12巻・10号
温知堂経験録（17）＜桂枝加芍薬湯治験5例＞骨盤腹膜炎癒着による腹痛に桂枝加芍薬湯▽慢性腸炎（腸疝痛）に桂枝加芍薬湯▽腸疝痛に桂枝加芍薬湯▽腹部不快症状に桂枝加芍薬湯▽慢性胃腸炎に中建中湯加減	矢数道明	(16)572	1965年(昭和40)・第12巻・10号
眼充血に合谷・曲池の偉効	重田学	(18)574	1965年(昭和40)・第12巻・10号
高橋道史氏訪問の記（1）	高橋道史・矢数道明・気賀林一	(20)576	1965年(昭和40)・第12巻・10号

燈下雑記（1）産科治験録	奥東林 写記）西岡一夫	(36)592	1965年(昭和40)・第12巻・10号
あまり使わない処方　▽ソウ莢丸▽大黄シャ虫丸▽土瓜根散▽烏梅円	龍野一雄	(44)600	1965年(昭和40)・第12巻・10号
刀圭閑話　望月三英の雅談	高橋道史	(45)601	1965年(昭和40)・第12巻・10号
ベッドの伏兵	松岡伯菁	(46)602	1965年(昭和40)・第12巻・10号
漢方研究室　出題：問題19　下痢／解答：問題15	出題・解答）小倉重成 回答）中村生・島津秀雄・Ｈ生	(48)604	1965年(昭和40)・第12巻・10号
むだばなし（6）素問の読み方	龍野一雄	(49)605	1965年(昭和40)・第12巻・10号
温知荘雑筆　思いがけない往診	矢数道明	(50)606	1965年(昭和40)・第12巻・10号
味の色々　料理の火加減	小倉重成	(52)608	1965年(昭和40)・第12巻・10号
河童随筆　腎経の定向	間中喜雄	(54)610	1965年(昭和40)・第12巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年9月＞	協会本部／編集局	(55)611	1965年(昭和40)・第12巻・10号
秋田紀行	高橋道史	(56)612	1965年(昭和40)・第12巻・10号
@1965年(昭和40)-第12巻-11号-			
東洋医学の補写について（1）	柴崎保三	(3)621	1965年(昭和40)・第12巻・11号
三たび「才血塊」について	間中喜雄	(18)636	1965年(昭和40)・第12巻・11号
最近の治験から　▽桂枝加芍薬湯の治験	高橋道史	(22)640	1965年(昭和40)・第12巻・11号
温知堂経験録（18）＜特異の型を呈している呼吸器疾患4例＞気管支喘息に麦門冬湯加三味▽肺気腫に神秘湯▽慢性気管支炎・気管支拡張症に清肺湯▽喘息・高血圧・眩暈に小青竜湯	矢数道明	(25)643	1965年(昭和40)・第12巻・11号
甲状腺疾患と柴胡について	阪本正夫	(27)645	1965年(昭和40)・第12巻・11号
当帰拈痛湯による脱疽の治験例	鈴木秀剰	(30)648	1965年(昭和40)・第12巻・11号
治験2例　▽感冒▽陰嚢水腫	工藤訓正	(31)649	1965年(昭和40)・第12巻・11号
燈下雑記（2）産科治験録	奥東林 写記）西岡一夫	(32)650	1965年(昭和40)・第12巻・11号
出題と回答（8）（金匱会記録）	出題）相見三郎 回答）大塚敬節・藤平健・山田光胤・寺師睦濟・矢数道明	(40)658	1965年(昭和40)・第12巻・11号
むだばなし（7）血の道症の治方	龍野一雄	(49)667	1965年(昭和40)・第12巻・11号
蘭疇　松本順のことども	高橋道史	(52)670	1965年(昭和40)・第12巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年10月＞	協会本部／編集局	(56)674	1965年(昭和40)・第12巻・11号
@1965年(昭和40)-第12巻-12号-			
東洋医学の補写について（2）	柴崎保三	(3)683	1965年(昭和40)・第12巻・12号
高橋道史氏訪問の記（2）	高橋道史・矢数道明・気賀林一	(20)700	1965年(昭和40)・第12巻・12号
喘息の針灸治験　－洞刺の即効をおさめた例－	代田文誌	(29)709	1965年(昭和40)・第12巻・12号
最近の治験　＜熱・湿疹・呼吸困難・関節腫痛＞長びいた風邪の熱は慎重に▽湿疹の治療はむずかしい▽うまくいった原因不明の呼吸浅表▽一で失敗二で成功、単純性足関節炎	山田光胤	(33)713	1965年(昭和40)・第12巻・12号
乳癌の漢方的治療及び考察	相見三郎	(36)716	1965年(昭和40)・第12巻・12号
温知堂経験録（19）＜柴胡剤治験数例＞顔面の静脈怒張と頭瘡に大柴胡湯▽自律神経失調症に柴胡加竜骨牡蠣湯▽胆嚢症に小柴胡湯加二陳湯▽腺病性体質に小柴胡湯エキス末▽陰部湿疹に柴胡勝湿湯の効果	矢数道明	(40)720	1965年(昭和40)・第12巻・12号
東洋医学会関西支部例会印象記	三谷和合	(42)722	1965年(昭和40)・第12巻・12号
期待の家譜	西岡一夫	(46)726	1965年(昭和40)・第12巻・12号
味のいろいろ　歯の悪い人の食物	小倉重成	(51)731	1965年(昭和40)・第12巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年11月＞	協会本部／編集局	(53)733	1965年(昭和40)・第12巻・12号
漢方研究室　出題：問題19　麻疹／解答：問題16	出題・解答）小倉重成 回答）中村生・島津秀雄・Ｈ生	(55)735	1965年(昭和40)・第12巻・12号
多紀家累代の墓に参る	気賀林一	(57)737	1965年(昭和40)・第12巻・12号
@1966年(昭和41)-第13巻-01号-			
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	間中喜雄	(3)3	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞ソロモン群島の蝉取法後日譚	矢数道明	(3)3	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	木下晴都	(4)4	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	杉原徳行	(4)4	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞心身統一	小倉重成	(4)4	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	山元章平	(4)4	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	木村康一	(5)5	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞馬年の占	藤田六朗	(5)5	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	岡西為人	(5)5	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	森末新	(5)5	1966年(昭和41)・第13巻・01号

新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞寒石廿八字抄	月江寺明	(6)6	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	津田卓二	(6)6	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	橋本敬三	(7)7	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞チャテルジ氏の薬	木村忠二郎	(7)7	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞奇蹟的な効果をのぞむ勿れ	代田文誌	(8)8	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	柴崎保三	(8)8	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	中谷義雄	(8)8	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	渡利一水	(9)9	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞会津にくらして	飯田穣	(9)9	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	神永誠之	(10)10	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	大塚敬節	(10)10	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	小椋道益	(10)10	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	高橋真太郎	(10)10	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞新しき年を迎えて	井上恵理	(11)11	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	阪本正夫	(11)11	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	坂口弘	(11)11	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞悪食と悪臭	舘野健	(11)11	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	秋元恵一	(12)12	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞千里の馬	古川瑞昌	(12)12	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞日本人の祖先	山田光胤	(12)12	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	三田寛	(13)13	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞去年今年	安西安周	(13)13	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	吉田一郎	(13)13	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	松本俊二	(14)14	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	戸部宗七郎	(14)14	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞山脇東洋を讃う	西岡一夫	(14)14	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞二歳になった随象	中島随象	(14)14	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	相見三郎	(15)15	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	岡野正憲	(15)15	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	石原明	(16)16	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	中井康雄	(16)16	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	板橋博史	(16)16	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	西澤道允	(17)17	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	室賀昭三	(17)17	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	矢数圭堂	(17)17	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	寺師睦濟	(17)17	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞年頭所感	高橋道史	(18)18	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	工藤訓正	(18)18	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	松岡武保	(18)18	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞新春「丙午」ひのえうま	栗原広三	(19)19	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	田中勇	(19)19	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	松岡伯菁	(19)19	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	木場宏	(19)19	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	竹内達	(20)20	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	藤本邦之輔	(20)20	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	木村佐京	(20)20	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞心躰安楽丸	岩佐礼一	(21)21	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	李殷八	(21)21	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞不思議なこと	倉島宗二	(21)21	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	佐藤三郎	(22)22	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞年頭随筆	細川喜代治	(22)22	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞傷寒論初学者の辞	野田喜代一	(23)23	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	川瀬清	(23)23	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	宮沢伸佳	(23)23	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	久能靖	(23)23	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	三谷和合	(24)24	1966年(昭和41)・第13巻・01号

新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	ハイ元植	(24)24	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	松島龍太郎	(24)24	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	小島喜久男	(24)24	1966年(昭和41)・第13巻・01号
新年のことば　＜昭和41年（1966年）＞	気賀林一	(24)24	1966年(昭和41)・第13巻・01号
康治本傷寒論について	龍野一雄	(26)26	1966年(昭和41)・第13巻・01号
東洋医学の補写について（3）	柴崎保三	(33)33	1966年(昭和41)・第13巻・01号
心悸亢進と頭重を主訴とした治験例	三谷和合	(38)38	1966年(昭和41)・第13巻・01号
ある婦人の複雑した病症の治験	高橋道史	(42)42	1966年(昭和41)・第13巻・01号
金銀磁気粒療法　臨床例（1）掌診点・耳療点応用	佐藤三郎	(46)46	1966年(昭和41)・第13巻・01号
慢性中耳炎その他	小倉重成	(50)50	1966年(昭和41)・第13巻・01号
思い出のアルバム（1）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（1）	矢数道明	(51)51	1966年(昭和41)・第13巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和40年12月＞	協会本部／編集局	(55)55	1966年(昭和41)・第13巻・01号
@1966年(昭和41)-第13巻-02号-			
康治本傷寒論に関する考察	長沢元夫	(3)65	1966年(昭和41)・第13巻・02号
東洋医学の補写について（4）	柴崎保三	(10)72	1966年(昭和41)・第13巻・02号
外国人を診て著効を奏した針と灸　－皮電計を用いたもの－	代田文彦	(15)77	1966年(昭和41)・第13巻・02号
虚弱児に対する柴胡清肝散の応用	細川喜代治	(18)80	1966年(昭和41)・第13巻・02号
刺絡治験（頸肩のこり）	工藤訓正	(22)84	1966年(昭和41)・第13巻・02号
保険診療と漢方　－最近の出会いごと－	木村佐京	(24)86	1966年(昭和41)・第13巻・02号
薬価基準に拠る漢方治療（1）	七条晃正	(29)91	1966年(昭和41)・第13巻・02号
思い出のアルバム（2）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（2）	矢数道明	(37)99	1966年(昭和41)・第13巻・02号
新刊紹介／寺師睦濟　（寺師睦宗）著　『漢方の診かた治し方』	矢数道明	(40)102	1966年(昭和41)・第13巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年1月＞	協会本部／編集局	(41)103	1966年(昭和41)・第13巻・02号
矢数格氏逝去	編集局	(42)104	1966年(昭和41)・第13巻・02号
弔辞　（矢数格先生）	菊池道隆	(42)104	1966年(昭和41)・第13巻・02号
故矢数道斎先生を偲んで	森忠行	(43)105	1966年(昭和41)・第13巻・02号
矢数格先生の御逝去を悼む	大塚敬節	(44)106	1966年(昭和41)・第13巻・02号
休憩室／『アルク』	藤平健	(45)107	1966年(昭和41)・第13巻・02号
休憩室／自戒	藤井美樹	(46)108	1966年(昭和41)・第13巻・02号
『森道伯生誕百年記念文集』	編集局	(46)108	1966年(昭和41)・第13巻・02号
漢方研究室　出題：問題20　胆石症／解答：問題17：問題18	出題・解答）小倉重成 問題17回答）H生・島津 問題18回答）H生・島津	(47)109	1966年(昭和41)・第13巻・02号
刀圭閑話　古林見宜の頓智盗癖を治す	高橋道史	(50)112	1966年(昭和41)・第13巻・02号
喘息と咳	花村訓充	(51)113	1966年(昭和41)・第13巻・02号
金銀磁気粒療法　臨床例（2）尿道炎	佐藤三郎	(53)115	1966年(昭和41)・第13巻・02号
本誌関係者住所録	編集局	(55)117	1966年(昭和41)・第13巻・02号
@1966年(昭和41)-第13巻-03号-			
薬能の追求　－古典医学の方法論－	龍野一雄	(3)127	1966年(昭和41)・第13巻・03号
東洋医学の補写について（5）	柴崎保三	(7)131	1966年(昭和41)・第13巻・03号
康治本『傷寒論』の陰陽虚実について	山元章平	(11)135	1966年(昭和41)・第13巻・03号
舌癌と疑われた疾患の治験	高橋道史	(14)138	1966年(昭和41)・第13巻・03号
麻黄含有処方の煎法と抽出エフェドリンの関係について	高橋良忠	(16)140	1966年(昭和41)・第13巻・03号
忘れ得ぬ「甘草附子湯」の治験例	鈴木秀剰	(19)143	1966年(昭和41)・第13巻・03号
薬価基準に拠る漢方治療（2）	七条晃正	(22)146	1966年(昭和41)・第13巻・03号
金銀磁気粒療法　臨床例（3）	佐藤三郎	(24)148	1966年(昭和41)・第13巻・03号
漢長沙守南陽張機	西岡一夫	(25)149	1966年(昭和41)・第13巻・03号
思い出のアルバム（3）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（3）	矢数道明	(34)158	1966年(昭和41)・第13巻・03号
噫々　矢数格先生	石野信安	(38)162	1966年(昭和41)・第13巻・03号
『森道伯先生生誕百年祭記念文集』を読んで	高橋道史	(39)163	1966年(昭和41)・第13巻・03号
書評／慶熙大学校医科大学『医方類聚』	三木栄	(44)168	1966年(昭和41)・第13巻・03号
書評／南京中医学院編著『中国漢方医学概論』を読んで	矢数道明	(45)169	1966年(昭和41)・第13巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年2月＞	協会本部／編集局	(47)171	1966年(昭和41)・第13巻・03号
自然と陰陽	秋元恵一	(48)172	1966年(昭和41)・第13巻・03号
味のいろいろ　植物性蛋白食品	小倉重成	(51)175	1966年(昭和41)・第13巻・03号
刀圭閑話　三輪徳寛の珍談百題から転載	高橋道史	(54)178	1966年(昭和41)・第13巻・03号
論争について	間中喜雄	(55)179	1966年(昭和41)・第13巻・03号

血の道について　－40年7月・日本短波放送記録より－	山田光胤	(56)180	1966年(昭和41)・第13巻・03号
@1966年(昭和41)-第13巻-04号-			
気味について　－古典医学の方法論－	龍野一雄	(3)189	1966年(昭和41)・第13巻・04号
東洋医学の補写について（6）	柴崎保三	(12)198	1966年(昭和41)・第13巻・04号
ガン征圧への漢方の役割	相見三郎	(18)204	1966年(昭和41)・第13巻・04号
最近診た胃をやむ人々	高橋道史	(25)211	1966年(昭和41)・第13巻・04号
疼痛の治療と高位中枢	代田文誌	(28)214	1966年(昭和41)・第13巻・04号
温知堂経験録（20）＜重症筋無力症の治療2例＞（麻黄剤の神秘）重症筋無力症の治験例　その1：滋腎明目湯と葛根湯▽重症筋無力症の治療例　その2：小青竜湯証	矢数道明	(32)218	1966年(昭和41)・第13巻・04号
ある治験　▽咳▽浮腫	山田光胤	(35)221	1966年(昭和41)・第13巻・04号
桃核承気湯と尿異常	花村訓充	(37)223	1966年(昭和41)・第13巻・04号
治験2例　▽胆嚢炎？▽右足関節捻挫傷	工藤訓正	(39)225	1966年(昭和41)・第13巻・04号
金銀磁気粒療法　臨床例（4）桂枝加竜骨牡蠣湯証－舞踏病・乳首炎	佐藤三郎	(40)226	1966年(昭和41)・第13巻・04号
思い出のアルバム（4）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（4）	矢数道明	(42)228	1966年(昭和41)・第13巻・04号
味の色々　糖質	小倉重成	(45)231	1966年(昭和41)・第13巻・04号
四象医学概要	ハイ元植	(48)234	1966年(昭和41)・第13巻・04号
瞼が閉じて開かない疾患の治験	吉原生	(50)236	1966年(昭和41)・第13巻・04号
忘れ得ぬ人々（1）黒沢峯之助先生▽新井石禅貫主▽佐伯という老女	高橋道史	(51)237	1966年(昭和41)・第13巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年3月＞	協会本部／編集局	(54)240	1966年(昭和41)・第13巻・04号
休憩室／多紀家の墓由来記の誤謬	矢数道明	(55)241	1966年(昭和41)・第13巻・04号
韓国からの贈り物	矢数道明	(56)242	1966年(昭和41)・第13巻・04号
@1966年(昭和41)-第13巻-05号-			
日本における漢方薬の薬理研究の新しい動向	高暁山	(3)247	1966年(昭和41)・第13巻・05号
傷寒、中風と悪寒、悪風をめぐるある試論	西脇平士	(11)255	1966年(昭和41)・第13巻・05号
東洋医学の補写について（完）	柴崎保三	(18)262	1966年(昭和41)・第13巻・05号
薬能各論のメモ（1）－古典医学の方法論の内－	龍野一雄	(24)268	1966年(昭和41)・第13巻・05号
リウマチ熱に対する漢方治験例	三谷和合	(31)275	1966年(昭和41)・第13巻・05号
温知堂経験録（21）＜頭痛・三叉神経痛に五苓湯＞頑固な頭痛（腎炎・高血圧）に五苓散▽30年来の頭痛に五苓湯▽頑固な三叉神経痛に五苓湯▽頑強な三叉神経痛が五苓湯で好転	矢数道明	(33)277	1966年(昭和41)・第13巻・05号
出題と回答（9）（金匱会記録）	出題）藤平健 回答）相見三郎・大塚敬節・寺師睦濟・山田光胤	(36)280	1966年(昭和41)・第13巻・05号
森田幸門博士逝去	編集局	(44)288	1966年(昭和41)・第13巻・05号
弔辞　（森田幸門先生）	相見三郎	(44)288	1966年(昭和41)・第13巻・05号
弔辞　（森田幸門先生）	細野史郎	(45)289	1966年(昭和41)・第13巻・05号
弔辞　（森田幸門先生）	余田忠吾	(46)290	1966年(昭和41)・第13巻・05号
弔辞　（森田幸門先生）	藤田彰久	(47)291	1966年(昭和41)・第13巻・05号
森田幸門先生のおもいで	気賀林一	(47)291	1966年(昭和41)・第13巻・05号
思い出のアルバム（5）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（5）　戦前日本の漢方と右翼▽都下大新聞を賑わした記事▽日本漢方医学研究所設立の企画	矢数道明	(51)295	1966年(昭和41)・第13巻・05号
書評／矢数道明著『続・漢方百話』	小倉重成	(56)300	1966年(昭和41)・第13巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年4月＞	協会本部／編集局	(57)301	1966年(昭和41)・第13巻・05号
告知板／（木村佐京氏の病院落成式）	矢数道明	(58)302	1966年(昭和41)・第13巻・05号
告知板／（木村佐京氏の病院落成式）	木村佐京	(58)302	1966年(昭和41)・第13巻・05号
@1966年(昭和41)-第13巻-06号-			
建国以来わが国の漢方薬薬理研究の概況	高暁山	(3)309	1966年(昭和41)・第13巻・06号
初代道三の書翰および九世道三自筆方函について	矢数道明	(13)319	1966年(昭和41)・第13巻・06号
東洋医学の補写について（補遺）	柴崎保三	(17)323	1966年(昭和41)・第13巻・06号
坐骨神経痛治験の数々	高橋道史	(20)326	1966年(昭和41)・第13巻・06号
漢方初歩の治験	岡野正憲	(23)329	1966年(昭和41)・第13巻・06号
黄ゴン湯の応用	花村訓充	(27)333	1966年(昭和41)・第13巻・06号
出題と回答（10）（金匱会記録）	出題）大塚敬節 回答）相見三郎・矢数道明・寺師睦濟・山田光胤・藤平健	(29)335	1966年(昭和41)・第13巻・06号
森田幸門先生の思い出	矢数道明	(38)344	1966年(昭和41)・第13巻・06号
－大阪大学東洋医学談話会として－ 森田幸門先生を偲ぶ	三谷和合	(40)346	1966年(昭和41)・第13巻・06号
－玄門の俊秀－　野間玄琢翁の墓に詣でて	矢数道明	(43)349	1966年(昭和41)・第13巻・06号

書評と紹介／矢数道明著『臨床応用　傷寒論解説』を読んで	矢数道明	(46)352	1966年(昭和41)・第13巻・06号
書評と紹介／代田文誌著『よく効く　灸とはりの療法』／高橋真太郎著『新中国の医学』	気賀林一	(47)353	1966年(昭和41)・第13巻・06号
漢方研究室　出題：問題22　嘔気・眩暈を伴う風邪／解答：問題19	出題・解答）小倉重成 回答）島津・中村生・Ｈ生	(48)354	1966年(昭和41)・第13巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年5月＞	協会本部／編集局	(51)357	1966年(昭和41)・第13巻・06号
名司会ぶり	気賀林一	(54)360	1966年(昭和41)・第13巻・06号
薬能各論のメモ（2）－古典医学の方法論の内－	龍野一雄	(55)361	1966年(昭和41)・第13巻・06号
@1966年(昭和41)-第13巻-07号-			
禁鍼穴、禁灸穴の意義について	柴崎保三	(3)371	1966年(昭和41)・第13巻・07号
急性緑内障の針灸治験	代田文誌	(9)377	1966年(昭和41)・第13巻・07号
日常小治験　▽通脈四逆湯▽麻黄細辛附子湯▽桂枝加附子湯▽小青竜湯▽小陥胸湯▽柴胡桂枝乾姜湯▽麦門冬湯▽小建中湯▽半夏厚朴湯▽小柴胡湯／口唇「シビレ」感・肩凝・吃逆・上膊痛・小児疳、毛孔性苔癬・夜驚症・扁桃腺肥大・妊娠咳・妊娠中毒症	諏訪重雄	(13)381	1966年(昭和41)・第13巻・07号
温知堂経験録（22）＜脈なし病と筋無力症＞脈なし病（その3）▽筋無力症（その3）	矢数道明	(19)387	1966年(昭和41)・第13巻・07号
補写に関する1考察（上）	増永静人	(21)389	1966年(昭和41)・第13巻・07号
金銀磁気粒療法　臨床例（5）打撲	佐藤三郎	(26)394	1966年(昭和41)・第13巻・07号
万病一風論（補遺）	三谷和合	(28)396	1966年(昭和41)・第13巻・07号
証の流れ（湯液経絡）	花村訓充	(32)400	1966年(昭和41)・第13巻・07号
証の二面性について	藤平健	(35)403	1966年(昭和41)・第13巻・07号
医原性疾患と東洋医学の応用	阪本正夫	(36)404	1966年(昭和41)・第13巻・07号
思い出のアルバム（6）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（6）	矢数道明	(38)406	1966年(昭和41)・第13巻・07号
河童随筆　木に竹をつぐ	間中喜雄	(42)410	1966年(昭和41)・第13巻・07号
書評／矢数道明著『臨床応用　漢方処方解説』	大塚敬節	(43)411	1966年(昭和41)・第13巻・07号
告知板／現代に生きる漢方薬展について	高橋真太郎	(44)412	1966年(昭和41)・第13巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年6月＞	協会本部／編集局	(45)413	1966年(昭和41)・第13巻・07号
津液	龍野一雄	(46)414	1966年(昭和41)・第13巻・07号
忘れ得ぬ人々（2）僧医▽往診の思い出／死亡診断書▽ある母親	高橋道史	(48)416	1966年(昭和41)・第13巻・07号
薬能各論のメモ（3）－古典医学の方法論の内－	龍野一雄	(52)420	1966年(昭和41)・第13巻・07号
@1966年(昭和41)-第13巻-08号-			
薬徴批判（1）	龍野一雄	(3)431	1966年(昭和41)・第13巻・08号
座談会／漢薬を語る（1）－道修町の今昔－	長倉音蔵・木村康一・高橋真太郎・坂口弘・西岡一夫・気賀林一	(9)437	1966年(昭和41)・第13巻・08号
但（アラワレル）の読みについて	花村訓充	(31)459	1966年(昭和41)・第13巻・08号
肝・胆道疾患の漢方治療（その5）	三谷和合	(37)465	1966年(昭和41)・第13巻・08号
補写に関する1考察（中）	増永静人	(41)469	1966年(昭和41)・第13巻・08号
温知堂経験録（23）＜不明の微熱・メニエール病＞不明の微熱と高血圧と手の荒れに大柴胡湯▽メニエール病に半夏白朮天麻湯	矢数道明	(47)475	1966年(昭和41)・第13巻・08号
河童随筆　天狗と河童	間中喜雄	(49)477	1966年(昭和41)・第13巻・08号
漢方研究室　出題：問題23　声音嘶嗄／解答：問題20	出題・解答）小倉重成 回答）中村生・Ｈ生・島津	(50)478	1966年(昭和41)・第13巻・08号
薬能各論のメモ（4）－古典医学の方法論の内－	龍野一雄	(52)480	1966年(昭和41)・第13巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年7月＞	協会本部／編集局	(53)481	1966年(昭和41)・第13巻・08号
思い出のアルバム（7）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（7）	矢数道明	(55)483	1966年(昭和41)・第13巻・08号
告知板／広島市福屋デパート漢方展	高橋真太郎	(59)487	1966年(昭和41)・第13巻・08号
@1966年(昭和41)-第13巻-09号-			
薬徴批判（2）	龍野一雄	(3)493	1966年(昭和41)・第13巻・09号
座談会／漢薬を語る（2）	長倉音蔵・木村康一・高橋真太郎・坂口弘・西岡一夫・気賀林一	(7)497	1966年(昭和41)・第13巻・09号
補写に関する1考察（下）	増永静人	(29)519	1966年(昭和41)・第13巻・09号
温知堂経験録（24）＜偏頭痛・黒皮症・黄連解毒湯・その他＞偏頭痛に呉茱萸湯▽黒皮症に加味逍遥散▽湿疹に黄連解毒湯加減▽桂枝茯苓丸料で顔に水泡が出た▽桂枝茯苓丸料による思わぬ反応	矢数道明	(34)524	1966年(昭和41)・第13巻・09号
ネフローゼに分消湯	鈴木秀剰	(36)526	1966年(昭和41)・第13巻・09号
汗出と無汗	花村訓充	(38)528	1966年(昭和41)・第13巻・09号
温知荘雑筆　「孫引き」　托裏消毒飲（散）の訂正	矢数道明	(40)530	1966年(昭和41)・第13巻・09号
河童随筆　予言者	ちぐあん	(43)523	1966年(昭和41)・第13巻・09号
薬能各論のメモ（5）－古典医学の方法論の内－	龍野一雄	(44)534	1966年(昭和41)・第13巻・09号
金銀磁気粒療法　臨床例（6）膝関節リウマチ・腰痛・歯痛	佐藤三郎	(46)536	1966年(昭和41)・第13巻・09号

思い出のアルバム（8）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（8）	矢数道明	(48)538	1966年(昭和41)・第13巻・09号
竜骨と牡蠣について　－犀川龍氏のご質問を縁として－	七条晃正	(52)542	1966年(昭和41)・第13巻・09号
盛岡往診と人物考	高橋道史	(54)544	1966年(昭和41)・第13巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年8月＞	協会本部／編集局	(58)548	1966年(昭和41)・第13巻・09号
@1966年(昭和41)-第13巻-10号-			
防已の原植物について	岡西為人	(3)555	1966年(昭和41)・第13巻・10号
鍼灸医術　要穴の意義と其の用法	柴崎保三	(12)564	1966年(昭和41)・第13巻・10号
薬徴批判（3）	龍野一雄	(18)570	1966年(昭和41)・第13巻・10号
切診と触診（上）	増永静人	(24)576	1966年(昭和41)・第13巻・10号
漢方治験のだいご味　▽リウマチ熱▽黒便▽留飲症▽肺気腫	高橋道史	(29)581	1966年(昭和41)・第13巻・10号
治験3例　▽ビールス肺炎と思われるものに小柴胡湯▽胃炎に防風通聖散▽反覆性耳下腺炎と思われる症例に小柴胡湯	細川喜代治	(33)585	1966年(昭和41)・第13巻・10号
温知堂経験録（25）▽禿髪症患者の経過	矢数道明	(36)589	1966年(昭和41)・第13巻・10号
発熱を主訴とする幼児に対し小建中湯の治験例	三谷和合	(37)589	1966年(昭和41)・第13巻・10号
小説／秋蝶（1）	西岡一夫	(41)593	1966年(昭和41)・第13巻・10号
河童随筆　分類	ちぐあん	(49)601	1966年(昭和41)・第13巻・10号
思い出のアルバム（9）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（9）	矢数道明	(50)602	1966年(昭和41)・第13巻・10号
漢方研究室　出題：問題24　胆石症／解答：問題21	出題・解答）小倉重成 回答）島津・Ｈ生・夜久生	(53)605	1966年(昭和41)・第13巻・10号
告知板／ＮＴＢの土曜コンサート	Ｙ	(54)606	1966年(昭和41)・第13巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年9月＞	協会本部／編集局	(55)607	1966年(昭和41)・第13巻・10号
修琴折り折りの記（1）	大塚敬節	(57)609	1966年(昭和41)・第13巻・10号
@1966年(昭和41)-第13巻-11号-			
内外表裏	龍野一雄	(3)617	1966年(昭和41)・第13巻・11号
鍼灸医術　要穴の意義と其の用法（2）	柴崎保三	(18)632	1966年(昭和41)・第13巻・11号
切診と触診（下）	増永静人	(28)642	1966年(昭和41)・第13巻・11号
てんかんと夜尿症	相見三郎	(33)647	1966年(昭和41)・第13巻・11号
温知堂経験録（26）＜婦人病4題＞トリコモナスに八味帯下方▽帯下に竜胆瀉肝湯▽膣乾燥症▽膣乾燥症に加味逍遥散	矢数道明	(36)650	1966年(昭和41)・第13巻・11号
中国のぞきみの記	間中喜雄	(38)652	1966年(昭和41)・第13巻・11号
小説／秋蝶（2）	西岡一夫	(42)656	1966年(昭和41)・第13巻・11号
思い出のアルバム（10）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（10）	矢数道明	(50)664	1966年(昭和41)・第13巻・11号
河童随筆　ふたたび分類について	ちぐあん	(53)667	1966年(昭和41)・第13巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年10月＞	協会本部／編集局	(54)668	1966年(昭和41)・第13巻・11号
生理前になると瞼に発疹する疾患	吉原浅吉	(56)670	1966年(昭和41)・第13巻・11号
修琴折り折りの記（2）	大塚敬節	(57)671	1966年(昭和41)・第13巻・11号
@1966年(昭和41)-第13巻-12号-			
内外表裏（承前）	龍野一雄	(3)679	1966年(昭和41)・第13巻・12号
鍼灸医術　要穴の意義と其の用法（3）	柴崎保三	(12)688	1966年(昭和41)・第13巻・12号
＜漢方今昔座談＞追憶編	細迫陽三	(18)694	1966年(昭和41)・第13巻・12号
漢方治験のいろいろ　▽蓄膿症の老婦人▽小児の脱肛▽腎炎▽血虚労倦	高橋道史	(23)699	1966年(昭和41)・第13巻・12号
洞刺は痛風にも効く　－痛風の治験－	代田文誌	(26)702	1966年(昭和41)・第13巻・12号
温知堂経験録（27）＜牛黄丸貼布併用による治験さまざま＞いぴきとノイローゼが柴胡加竜骨牡蠣湯と牛黄丸貼布で▽下肢疼痛倦怠不快感に牛黄丸貼布▽腰痛に芍薬甘草附子湯と牛黄丸貼布▽ぎっくり腰に芍薬甘草附子湯と牛黄丸貼布	矢数道明	(28)704	1966年(昭和41)・第13巻・12号
座談会／最近の治験を語る	大塚敬節・矢数道明・気賀林一・寺師睦濟・山田光胤	(31)707	1966年(昭和41)・第13巻・12号
金銀磁気粒療法　臨床例（7）肝炎その後	佐藤三郎	(37)713	1966年(昭和41)・第13巻・12号
修琴折り折りの記（3）	大塚敬節	(38)714	1966年(昭和41)・第13巻・12号
思い出のアルバム（11）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（11）	矢数道明	(40)716	1966年(昭和41)・第13巻・12号
京都学会の印象	気賀林一	(43)719	1966年(昭和41)・第13巻・12号
河童随筆　医者の不養生	ちぐあん	(47)723	1966年(昭和41)・第13巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年11月＞	協会本部／編集局	(48)724	1966年(昭和41)・第13巻・12号
小説／秋蝶（3）	西岡一夫	(51)727	1966年(昭和41)・第13巻・12号
@1967年(昭和42)-第14巻-01号-			
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	木下晴都	(3)3	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	間中喜雄	(3)3	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	七条晃正	(3)3	1967年(昭和42)・第14巻・01号

新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	津田卓二	(4)4	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	松岡武保	(4)4	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	丸山昌朗	(4)4	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	大塚敬節	(4)4	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	竹内達	(5)5	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	増永静人	(5)5	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞旧聞小録	安西安周	(5)5	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞新短歌　古都・海峡	伊藤清夫	(5)5	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	龍野一雄	(6)6	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	木村康一	(6)6	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞羊の年の占	藤田六朗	(6)6	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	高橋真太郎	(6)6	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞「万病一毒と気血水の激突」	西岡一夫	(7)7	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞浪華殿閑話と洛北の秋	矢数道明	(7)7	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞ヒマラヤ雪上の足跡	小椋道益	(8)8	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	中村了介	(8)8	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞山	舘野健	(8)8	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	工藤訓正	(9)9	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	秋元恵一	(9)9	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	代田文誌	(9)9	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	岡西為人	(9)9	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞春の夢	飯田穣	(10)10	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	柴崎保三	(10)10	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	西脇平士	(10)10	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	三谷和合	(11)11	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	三田寛	(11)11	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	山田光胤	(12)12	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	宮沢伸佳	(12)12	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	相見漁人	(12)12	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	阪本正夫	(12)12	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞15年前の正月	木村忠二郎	(13)13	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	小倉重成	(13)13	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	高橋道史	(13)13	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞天下餅	古川瑞昌	(14)14	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	長塩容伸	(15)15	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	岩佐礼一	(15)15	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞医療の限界と夢	山本勝見	(15)15	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	生駒憲彦	(16)16	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	戸部宗七郎	(16)16	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	川瀬清	(16)16	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞経度経緯と証	西澤道允	(16)16	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞初夢。	中島随象	(17)17	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	松本俊二	(18)18	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞金沢の暁天を想う	吉田一郎	(18)18	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	寺師睦濟	(18)18	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	倉島宗二	(19)19	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	木場宏	(19)19	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	岡野正憲	(19)19	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞五柳居廿八字鈔	月江寺明	(19)19	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	大塚恭男	(20)20	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	木村佐京	(20)20	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	藤本邦之輔	(20)20	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	藤平健	(21)21	1967年(昭和42)・第14巻・01号
新年のことば　＜昭和42年（1967年）＞	気賀林一	(21)21	1967年(昭和42)・第14巻・01号
「脈無し病」記載の漢方医書「橘黄医談」とその著者山本鹿州翁について	矢数道明	(22)22	1967年(昭和42)・第14巻・01号

蟇腫（ラヌラ）他二三の純外科的疾患の漢方的治験と現代医学への反省	相見三郎	(37)37	1967年(昭和42)・第14巻・01号
東洋医学会関西支部例会印象記	三谷和合	(40)40	1967年(昭和42)・第14巻・01号
日本東洋医学会関東支部例会の印象	丸山昌朗	(46)46	1967年(昭和42)・第14巻・01号
漢方研究室　出題：問題25　水洟／解答：問題22	出題・解答）小倉重成 回答）中村生・H生・島津	(47)47	1967年(昭和42)・第14巻・01号
小説／秋蝶（終回）	西岡一夫	(49)49	1967年(昭和42)・第14巻・01号
修琴折り折りの記（4）	大塚敬節	(54)54	1967年(昭和42)・第14巻・01号
河童随筆　キム・ボンハン学説	ちぐあん	(56)56	1967年(昭和42)・第14巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和41年12月＞	協会本部／編集局	(57)57	1967年(昭和42)・第14巻・01号
@1967年(昭和42)-第14巻-02-03号合併号-＜吉益南涯著作全集　『漢方の臨床』特集号＞			
＜口絵＞吉益南涯肖像とその書	所蔵）石原明	-1	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
南涯著作全集の発刊について	矢数道明	(3)65	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
吉益南涯略伝	矢数道明	(4)66	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
吉益家家系と南涯主要門人	矢数道明	(5)67	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
吉益家一門の墓	編集局	(6)68	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞吉益南涯について	和田正系	(8)70	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞医範	著者）吉益南涯 謹校正）大江広彦 謹写）佐久間秀夫	(19)81	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
中川修亭の南涯評　－真庵漫筆を通じて－	大塚敬節	(22)84	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞非村大年麻黄湯条弁気血水説（非方議）	著者）吉益南涯 謹校正）大江広彦 謹写）佐久間秀夫	(23)85	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞続医断	口述）吉益南涯 著者）賀屋恭安 訳者）夜久秀之	(31)93	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞観証弁疑	口述）吉益南涯 和訳）長戸康彦	(45)107	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞方庸・方極解	口述）吉益南涯 和訳）笠井修	(75)138	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞傷寒論精義	著者）吉益南涯 和訳）西岡一夫	(123)187	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞金匱要略精義	著者）吉益北洲 和訳）東根清	(241)304	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞気血水薬徴・薬徴辨	著者）吉益南涯 和訳）木場宏	(287)349	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞成蹟録	著者）賀屋恭安 和訳）藤田彰久	(307)367	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
＜吉益南涯著作全集＞晩成堂丸散方	口述）吉益南涯・吉益ラ斎 和訳）木場宏	(333)395	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
編集を終えて	矢数道明	(344)406	1967年(昭和42)・第14巻・02-03号
@1967年(昭和42)-第14巻-04号-			
医術から医学へ	出端昭男	(3)409	1967年(昭和42)・第14巻・04号
増永氏の補写に関する1考察を読みて	柴崎保三	(12)418	1967年(昭和42)・第14巻・04号
用薬に関する二三の原則（1）（古典医学方法論の内）	龍野一雄	(21)427	1967年(昭和42)・第14巻・04号
最近の治験　▽風邪と膵臓炎？と下痢▽無色素性網膜色素変性症	小倉重成	(27)433	1967年(昭和42)・第14巻・04号
修琴折り折りの記（5）	大塚敬節	(29)434	1967年(昭和42)・第14巻・04号
温知堂経験録（28）＜心臓病・小児喘息＞心臓弁膜症に現われた諸証の経過▽肺気腫・心臓喘息に茯苓杏仁甘草湯▽小児喘息が神秘湯エキス末で体質も改善	矢数道明	(31)437	1967年(昭和42)・第14巻・04号
東洋の麻酔と華岡青洲と華佗	高橋道史	(34)440	1967年(昭和42)・第14巻・04号
新刊紹介／代田文誌著『治験例を主とした針灸治療の実際』	間中喜雄	(38)444	1967年(昭和42)・第14巻・04号
河童随筆　この頃の若いもん	ちぐあん	(39)445	1967年(昭和42)・第14巻・04号
思い出のアルバム（12）＜昭和漢方医界＞東亜医学協会の巻（12）	矢数道明	(40)446	1967年(昭和42)・第14巻・04号
杜聡明博士の日本医学会総会来賓祝辞	口述）杜聡明	(42)448	1967年(昭和42)・第14巻・04号
自然性について	秋元恵一	(44)450	1967年(昭和42)・第14巻・04号
ラ斎について	龍野一雄	(48)454	1967年(昭和42)・第14巻・04号
無汗と自汗について	花村訓充	(50)456	1967年(昭和42)・第14巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年1月・2月・3月＞	協会本部／編集局	(55)460	1967年(昭和42)・第14巻・04号
編集後記にかえて	気賀林一	(57)463	1967年(昭和42)・第14巻・04号
@1967年(昭和42)-第14巻-05号-			
熊宗立について	岡西為人	(3)469	1967年(昭和42)・第14巻・05号
中医学による骨折の治療　（伝統医学の活用）	川瀬清	(11)477	1967年(昭和42)・第14巻・05号

腹壁裏面の抵抗物の治験例（1）　On the Kaampo Treatment o f Induration in the Abbominal wall.	西山英雄・山本巖	(15)481	1967年(昭和42)・第14巻・05号
用薬に関する二三の原則（2）（古典医学方法論の内）	龍野一雄	(24)490	1967年(昭和42)・第14巻・05号
癌治療に対する東洋医学的接近　（三つの治療例を中心として）	阪本正夫	(30)496	1967年(昭和42)・第14巻・05号
汗出と自汗出　（126条を主題として）	花村訓充	(34)500	1967年(昭和42)・第14巻・05号
刺絡治験	工藤訓正	(39)505	1967年(昭和42)・第14巻・05号
漢方治験の余香　▽口舌唇糜爛▽尿道痛▽胸痛▽瞑眩	高橋道史	(40)506	1967年(昭和42)・第14巻・05号
店頭における『南涯全集』活用法	西岡一夫	(44)510	1967年(昭和42)・第14巻・05号
思い出のアルバム（13）＜昭和漢方医界＞	矢数道明	(50)516	1967年(昭和42)・第14巻・05号
河童随筆　気狂いにも三分の理	ちぐあん	(53)519	1967年(昭和42)・第14巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年4月＞	協会本部／編集局	(54)520	1967年(昭和42)・第14巻・05号
@1967年(昭和42)-第14巻-06号-			
「未央」の意義と東洋医学の根本理念（1）	柴崎保三	(3)529	1967年(昭和42)・第14巻・06号
人参の効能に対する漢医学上の検討	ハイ元植	(13)539	1967年(昭和42)・第14巻・06号
＜漢方今昔座談＞精神安定剤及黄胖症について	細迫陽三	(25)551	1967年(昭和42)・第14巻・06号
桂枝加葛根湯案文の「反」について	西岡一夫	(31)557	1967年(昭和42)・第14巻・06号
腹壁裏面の抵抗物の治験例（2）	西山英雄・山本巖	(34)560	1967年(昭和42)・第14巻・06号
温知堂経験録（29）＜麦門冬湯5題＞咽痛と嗄声に麦門冬湯加味方▽慢性気管支炎に麦門冬湯加味方▽慢性気管支炎に麦門冬湯加味方▽アレルギー性鼻炎に麦門冬湯▽アレルギー性鼻炎に麦門冬湯エキス末	矢数道明	(44)570	1967年(昭和42)・第14巻・06号
キョウ活愈風湯の偉効	李明漢	(46)572	1967年(昭和42)・第14巻・06号
東洋医学と精神療法（1）	増永静人	(48)574	1967年(昭和42)・第14巻・06号
あれやこれやの記	高橋道史	(53)579	1967年(昭和42)・第14巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年5月＞	協会本部／編集局	(55)581	1967年(昭和42)・第14巻・06号
河童随筆　物知りの失敗	ちぐあん	(58)584	1967年(昭和42)・第14巻・06号
『吉益南涯著作全集』を読んで	木村雄四郎・岡野正憲・阪本正夫・関根邦之助・津田卓二・山田光胤	(59)585	1967年(昭和42)・第14巻・06号
@1967年(昭和42)-第14巻-07号-			
繁用漢薬の成分	柴田承二	(3)591	1967年(昭和42)・第14巻・07号
「未央」の意義と東洋医学の根本理念（2）	柴崎保三	(15)603	1967年(昭和42)・第14巻・07号
東洋医学と精神療法（2）	増永静人	(30)618	1967年(昭和42)・第14巻・07号
内臓の五行循環	藤田六朗	(34)622	1967年(昭和42)・第14巻・07号
温知堂経験録（30）＜小青竜湯と清肺湯＞アレルギー性鼻炎に小青竜湯▽肺気腫に小青竜湯▽気管支拡張症に清肺湯▽慢性気管支炎に清肺湯	矢数道明	(37)625	1967年(昭和42)・第14巻・07号
最近の治験　▽心下堅満、痃癖　癌の医談▽腹脹、臍傍痃癖▽心胸痞満（胸痺）	高橋道史	(39)627	1967年(昭和42)・第14巻・07号
河童随筆　アリバイ	ちぐあん	(44)632	1967年(昭和42)・第14巻・07号
修琴折り折りの記（6）	大塚敬節	(45)633	1967年(昭和42)・第14巻・07号
木更津の記	気賀林一・矢数道明・小倉重成	(49)637	1967年(昭和42)・第14巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年6月＞	協会本部／編集局	(55)643	1967年(昭和42)・第14巻・07号
@1967年(昭和42)-第14巻-08号-			
邪気の概念	柴崎保三	(3)651	1967年(昭和42)・第14巻・08号
漢方四診の検討（1）	増永静人	(14)662	1967年(昭和42)・第14巻・08号
臨床検査成績と証について	阪本正夫	(29)677	1967年(昭和42)・第14巻・08号
治験は軌道に乗って走る	高橋道史	(31)679	1967年(昭和42)・第14巻・08号
温知堂経験録（31）＜五苓散・烈しい咳嗽に麦門甘草湯＞原因不明の頭痛に五苓湯▽頭痛・視野狭窄・嘔吐に五苓湯▽陰嚢水腫に五苓湯加車前子▽陰嚢水腫に五苓散エキス末▽結核と喘息の62歳の男子▽結核の59歳婦人▽古い結核の70歳婦人	矢数道明	(35)683	1967年(昭和42)・第14巻・08号
河童随筆　うそから出たまこと	ちぐあん	(39)687	1967年(昭和42)・第14巻・08号
ネフローゼに柴苓湯その他	矢数道明・戸田秀実	(40)688	1967年(昭和42)・第14巻・08号
ある治験　▽再び証に対する疑問・胃炎▽胃潰瘍▽脳軟化症の息切れ	山田光胤	(43)691	1967年(昭和42)・第14巻・08号
新刊紹介／藤原知著『経絡の発見』－創元社医学新書－	間中喜雄	(45)693	1967年(昭和42)・第14巻・08号
修琴折り折りの記（7）　傷寒論の序文・森田幸門先生の「皇漢医学に還れ」	大塚敬節	(46)694	1967年(昭和42)・第14巻・08号
漢方研究室　出題：問題26　関節リウマチ／解答：問題23	出題・解答）小倉重成 回答）島津・Ｈ生	(48)696	1967年(昭和42)・第14巻・08号
修琴堂雑話（1）▽病名のない病気▽尋常性乾癬▽なんという病気でしょう▽潰瘍性大腸炎▽湿疹	大塚敬節	(50)698	1967年(昭和42)・第14巻・08号
味のいろいろ　堆肥と作物	小倉重成	(52)700	1967年(昭和42)・第14巻・08号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年7月＞	協会本部／編集局	(54)702	1967年(昭和42)・第14巻・08号
ベーチェット病の2例	間中喜雄	(56)704	1967年(昭和42)・第14巻・08号
所謂「冷暖房病」についての治験	関根邦之助	(57)705	1967年(昭和42)・第14巻・08号
白斑（しろナマズ）治験例	張重信	(59)707	1967年(昭和42)・第14巻・08号
@1967年(昭和42)-第14巻-09号-			
金元医書の書誌（1）	岡西為人	(3)713	1967年(昭和42)・第14巻・09号
漢方四診の検討（2）	増永静人	(10)720	1967年(昭和42)・第14巻・09号
頭痛症と五苓散	小川新	(16)726	1967年(昭和42)・第14巻・09号
糖尿病と現代医学と漢方と	相見三郎	(22)732	1967年(昭和42)・第14巻・09号
温知堂経験録（32）＜心臓性喘息に増損木防已湯＞心臓性喘息に増損木防已湯▽脈結滞の心下痞堅に増損木防已湯▽心臓性喘息に増損木防已湯▽心臓喘息に増損木防已湯	矢数道明	(27)737	1967年(昭和42)・第14巻・09号
進行性指掌角皮症の針灸治験	代田文誌	(30)740	1967年(昭和42)・第14巻・09号
西洋医学と併用している東洋医学	間中喜雄	(34)744	1967年(昭和42)・第14巻・09号
修琴堂雑話（2）▽円形脱毛症▽茯苓沢瀉湯とメニエール症候群▽甲状腺腫と十六味流気飲▽効く薬を用いない▽八味丸の効く遺尿症	大塚敬節	(36)746	1967年(昭和42)・第14巻・09号
秋日閑想	飯田穣	(39)749	1967年(昭和42)・第14巻・09号
温知荘雑筆　金沢の城下街	矢数道明	(43)753	1967年(昭和42)・第14巻・09号
修琴折り折りの記（8）　勝本清一郎氏の医学観・新村出先生の死・万病唯一毒	大塚敬節	(47)757	1967年(昭和42)・第14巻・09号
赤城山和漢薬研究所完成	編集局	(49)759	1967年(昭和42)・第14巻・09号
保険医の辞退と取消	木村佐京	(50)760	1967年(昭和42)・第14巻・09号
古書の医事医言	高橋道史	(53)763	1967年(昭和42)・第14巻・09号
五苓散運用に関する文献	編集局	(58)768	1967年(昭和42)・第14巻・09号
河童随筆　整党	ちぐあん	(59)769	1967年(昭和42)・第14巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年8月＞	協会本部／編集局	(60)770	1967年(昭和42)・第14巻・09号
@1967年(昭和42)-第14巻-10号-			
金元医書の書誌（2）	岡西為人	(3)775	1967年(昭和42)・第14巻・10号
漢方四診の検討（3）前号「切経について」つづき	増永静人	(10)782	1967年(昭和42)・第14巻・10号
漢方治療には規矩準縄がある	高橋道史	(14)786	1967年(昭和42)・第14巻・10号
治験のなかから　ー「癰」	船橋茂吉	(18)790	1967年(昭和42)・第14巻・10号
あらゆる化学療法剤に抵抗を示し且つ再発を繰返したアメーバ赤痢の1治験例	桑木崇秀	(22)794	1967年(昭和42)・第14巻・10号
難病の治験例と東西医学のよいところ足りないところ	岸本亮一	(26)798	1967年(昭和42)・第14巻・10号
糖尿病に仁斎直指方・加味銭氏白朮散料の使用例	宮坂輝正	(30)802	1967年(昭和42)・第14巻・10号
胃・心・肝の頭部圧診点	黒川三郎	(33)805	1967年(昭和42)・第14巻・10号
最近の治験（1）	中山友記	(37)809	1967年(昭和42)・第14巻・10号
温知堂経験録（33）＜過敏症・神経症＞新薬を止めて漢方にきりかえるときの反動症状▽桂枝による過敏症と皮膚発疹▽証が合っているようでしかもある薬がのめない▽原因不明の脇腹痛に平肝流気飲▽神経症の側脇腹痛に平肝流気飲	矢数道明	(39)811	1967年(昭和42)・第14巻・10号
患者あれこれ	大村明	(43)815	1967年(昭和42)・第14巻・10号
修琴堂雑話（3）▽当帰建中湯を虫垂炎手術後の癒着に用いた例▽肺気腫に苓甘姜味辛夏仁湯▽柴胡桂枝湯で月経が通じた▽当帰建中湯で蛋白尿が消えた▽開腹術後遺症に中建中湯▽面疔に真武湯	大塚敬節	(48)820	1967年(昭和42)・第14巻・10号
漢方研究室　出題：問題27　特発性脱疽？／解答：問題24	出題）解答）小倉重成 回答）島津秀雄	(51)823	1967年(昭和42)・第14巻・10号
河童随筆　わが道を行く	ちぐあん	(53)825	1967年(昭和42)・第14巻・10号
附子薬用量に関して	彭瑞麟	(54)826	1967年(昭和42)・第14巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年9月＞	協会本部／編集局	(57)829	1967年(昭和42)・第14巻・10号
治験　▽尿崩症▽ベーチェット氏病▽メニエール病▽紅斑性狼瘡▽胆嚢炎▽疣贅▽蟯虫症と夜尿症	小倉重成	(59)831	1967年(昭和42)・第14巻・10号
@1967年(昭和42)-第14巻-11号-			
生薬研究の一こま	原田正敏	(3)837	1967年(昭和42)・第14巻・11号
金元医書の書誌（3）	岡西為人	(9)843	1967年(昭和42)・第14巻・11号
漢方四診の検討（4）	増永静人	(13)847	1967年(昭和42)・第14巻・11号
小建中湯による経験	土本重	(18)852	1967年(昭和42)・第14巻・11号
循環障碍の2例	藤井美樹	(23)857	1967年(昭和42)・第14巻・11号
比較的難症とみられたリウマチ熱患者に対する漢方治療	三谷和合	(26)860	1967年(昭和42)・第14巻・11号
腎炎の治療について	阪本正夫	(29)863	1967年(昭和42)・第14巻・11号
脳軟化症の針灸治療について	代田文誌	(31)865	1967年(昭和42)・第14巻・11号
尿崩症に八味丸の治験例	鈴木秀剰	(37)871	1967年(昭和42)・第14巻・11号

診療余談（通経剤斑玄丸の効用）	張重信	(39)873	1967年(昭和42)・第14巻・11号
生薬の保存について	中井康雄	(42)876	1967年(昭和42)・第14巻・11号
竹林庵愚話　矢数有道先生・雨と竹・万物負陰而抱陽	曽竹林	(46)880	1967年(昭和42)・第14巻・11号
古書の医事医言（2）	高橋道史	(48)882	1967年(昭和42)・第14巻・11号
温知荘雑筆　第1回和漢薬シンポジウムに参加して	矢数道明	(50)884	1967年(昭和42)・第14巻・11号
修琴折り折りの記（9）　小柳賢一君のこと	大塚敬節	(54)888	1967年(昭和42)・第14巻・11号
河童随筆　見たこと・聞いたこと	ちぐあん	(56)890	1967年(昭和42)・第14巻・11号
母乳と栄養の問題	小倉重成	(57)891	1967年(昭和42)・第14巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年10月＞	協会本部／編集局	(58)892	1967年(昭和42)・第14巻・11号
@1967年(昭和42)-第14巻-12号-			
新しい東洋医学への考察	出端昭男	(3)899	1967年(昭和42)・第14巻・12号
鍼・灸と湯液と西洋医学	松下嘉一	(13)909	1967年(昭和42)・第14巻・12号
金元医書の書誌（4）	岡西為人	(19)915	1967年(昭和42)・第14巻・12号
金匱要略奔豚湯の1治験	岡野正憲	(32)928	1967年(昭和42)・第14巻・12号
温知堂経験録（34）＜六君子湯5題＞パスによる胃障害に六君子湯エキス末▽腺病質・神経質に六君子湯エキス末▽月経過多症に六君子湯▽ノイローゼに柴芍六君子湯▽鬱病に柴芍六君子湯	矢数道明	(34)930	1967年(昭和42)・第14巻・12号
修琴堂雑話（4）▽当帰湯と神経症▽原因、病名とも不明の患者に桂枝茯苓丸料▽神経症に桂枝茯苓丸料▽てんかんに小柴胡湯合桂枝加芍薬湯	大塚敬節	(37)933	1967年(昭和42)・第14巻・12号
興味津々たる漢方治療	三田寛	(39)935	1967年(昭和42)・第14巻・12号
長年の淋疾に竜胆瀉肝湯	陳東南	(42)938	1967年(昭和42)・第14巻・12号
竹林庵愚話　不知火・ケイ矢醴・第7改正日本薬局方括楼根	曽竹林	(44)940	1967年(昭和42)・第14巻・12号
古書の医事医言（3）	高橋道史	(48)944	1967年(昭和42)・第14巻・12号
『南涯全集』の店頭利用の方法	東根清	(50)946	1967年(昭和42)・第14巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年11月＞	協会本部／編集局	(52)948	1967年(昭和42)・第14巻・12号
最近の治験（2）	中山友記	(54)950	1967年(昭和42)・第14巻・12号
漢方研究室　出題：問題28　眼部ヘルペス4題／解答：問題25	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・中村	(56)952	1967年(昭和42)・第14巻・12号
味の色々　自然の味	小倉重成	(58)954	1967年(昭和42)・第14巻・12号
河童随筆　明治百年	ちぐあん	(60)956	1967年(昭和42)・第14巻・12号
@1968年(昭和43)-第15巻-01号-			
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞日の本くすしの道を歩みて	大塚敬節	(3)3	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	藤田正直	(3)3	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	津田卓二	(3)3	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞猿年の占	藤田六朗	(4)4	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	藤田彰久	(4)4	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	木下晴都	(4)4	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞戦地における漢方講演会の思い出	矢数道明	(5)5	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	土本重	(5)5	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	出端昭男	(5)5	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞三十八字詩抄	月江寺明	(6)6	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	間中喜雄	(6)6	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	西脇平士	(6)6	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	竹内達	(7)7	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	木場宏	(7)7	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞東洋医学講義の意義	原三郎	(7)7	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞年頭に思う	鈴木秀剰	(7)7	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	七条晃正	(8)8	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	三田寛	(8)8	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	戸部宗七郎	(9)9	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	山元章平	(9)9	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞偶成	高橋道史	(9)9	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞鍼灸界の旋風	小椋道益	(10)10	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	木村忠二郎	(10)10	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞年頭頌歌	代田文誌	(10)10	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	中村了介	(10)10	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	七堂利幸	(11)11	1968年(昭和43)・第15巻・01号

新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	花村訓充	(11)11	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	阪本正夫	(11)11	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	木村佐京	(12)12	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	秋元恵一	(12)12	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	安西安周	(12)12	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	桑木崇秀	(13)13	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	増永静人	(13)13	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	藤平健	(13)13	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	笠井修	(14)14	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞春の日の夢	飯田穰	(14)14	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	荒木正胤	(15)15	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞漢方・原典の正しい把握	舘野健	(15)15	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	大村明	(15)15	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	松本俊二	(16)16	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	長倉音蔵	(16)16	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	河内省一	(16)16	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	原田正敏	(17)17	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞新短歌　花の時間	伊藤清夫	(17)17	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞新春に思う	中井康雄	(18)18	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	中島随象	(18)18	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	戸田秀実	(18)18	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	神戸源蔵	(18)18	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	岡野正憲	(18)18	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	高橋真太郎	(19)19	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	寺師睦濟	(19)19	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	小川新	(19)19	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞正しいということ	小倉重成	(19)19	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	宮坂輝正	(20)20	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	柴崎保三	(20)20	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	生駒憲彦	(21)21	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	渡利一水	(21)21	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	板橋博史	(22)22	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	堀越清三	(22)22	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	西澤道允	(22)22	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	山田光胤	(23)23	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	大塚恭男	(23)23	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	細川喜代治	(23)23	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	相見漁人	(23)23	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	夜久秀之	(23)23	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	木村康一	(24)24	1968年(昭和43)・第15巻・01号
新年のことば　＜昭和43年（1968年）＞	川瀬清	(24)24	1968年(昭和43)・第15巻・01号
五苓散の「証」（適応指示）と水分代謝異常について	矢数道明	(25)25	1968年(昭和43)・第15巻・01号
三焦に就いて（1）	柴崎保三	(32)32	1968年(昭和43)・第15巻・01号
Iatrogenic　disease	土本重	(39)39	1968年(昭和43)・第15巻・01号
肝腫脹の長期治療	宮坂輝正	(44)44	1968年(昭和43)・第15巻・01号
治験のなかから　「急性乳腺炎」	船橋茂吉	(49)49	1968年(昭和43)・第15巻・01号
古書の医事医言（4）眸子・曽子疾あり	高橋道史	(53)53	1968年(昭和43)・第15巻・01号
河童随筆　誤訳	ちぐあん	(54)54	1968年(昭和43)・第15巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和42年12月＞	協会本部／編集局	(55)55	1968年(昭和43)・第15巻・01号
@1968年(昭和43)-第15巻-02号-			
新しい東洋医学への考察（2）情報客観化への接近	出端昭男	(3)65	1968年(昭和43)・第15巻・02号
温知堂経験録（35）＜胃風湯治験＞慢性腸炎と口内潰瘍に胃風湯▽腸内醗酵過多（放屁症）に胃風湯▽慢性腸炎に胃風湯▽慢性下痢症に胃風湯	矢数道明	(11)73	1968年(昭和43)・第15巻・02号
修琴堂雑話（5）▽麻杏甘石湯による遺尿治験▽仮性弾力性黄色腫に当帰芍薬散加ヨク苡仁を用いた経験	大塚敬節	(13)75	1968年(昭和43)・第15巻・02号
欝結	高橋道史	(15)77	1968年(昭和43)・第15巻・02号
治験のなかから　「面疔」	船橋茂吉	(18)80	1968年(昭和43)・第15巻・02号

修琴折り折りの記（10）	大塚敬節	(20)82	1968年(昭和43)・第15巻・02号
三焦に就いて（2）	柴崎保三	(22)84	1968年(昭和43)・第15巻・02号
柴胡清肝散の運用について	木村佐京	(28)90	1968年(昭和43)・第15巻・02号
明治天皇と漢方	寺師睦濟	(31)93	1968年(昭和43)・第15巻・02号
読史閑話	高橋道史	(33)95	1968年(昭和43)・第15巻・02号
日本東洋医学会関西支部例会印象記	三谷和合	(38)100	1968年(昭和43)・第15巻・02号
時間の問題　ーある日あるときー	飯田穣	(41)103	1968年(昭和43)・第15巻・02号
診療余談	張重信	(44)106	1968年(昭和43)・第15巻・02号
河童随筆　日本の政治	ちぐあん	(46)108	1968年(昭和43)・第15巻・02号
竹林庵愚話　魏伯陽・陰陽2題・捫と問	曽竹林	(47)109	1968年(昭和43)・第15巻・02号
思い出すまま	宮沢伸佳	(49)111	1968年(昭和43)・第15巻・02号
漢方研究室　出題：問題29　激しい頭痛／解答：問題25	出題・解答）小倉重成 回答）Ｈ生・中村生・島津秀雄	(52)114	1968年(昭和43)・第15巻・02号
かたくりの花	大塚敬節	(53)115	1968年(昭和43)・第15巻・02号
味の色々　脂肪	小倉重成	(54)116	1968年(昭和43)・第15巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年1月＞	協会本部／編集局	(56)118	1968年(昭和43)・第15巻・02号
@1968年(昭和43)-第15巻-03号-			
胃腸障害を主としたインフルエンザの黄ゴン湯治験	小川新	(3)123	1968年(昭和43)・第15巻・03号
新しい東洋医学への考察（3）診断の論理（その1）	出端昭男	(11)131	1968年(昭和43)・第15巻・03号
三焦に就いて（3）	柴崎保三	(18)138	1968年(昭和43)・第15巻・03号
筍庵経験録　＜腎炎・夜尿症・胃弱＞▽腎炎に六君子湯▽腎炎に猪苓湯合四物湯▽慢性腎炎の中学生▽夜尿症に小建中湯▽夜尿症に五苓散▽脂漏性湿疹に大キュウ黄湯・下痢に参苓白朮散料▽胃腸虚弱に小建中湯合人参湯	山田光胤	(22)142	1968年(昭和43)・第15巻・03号
虫垂炎と考えられる症例に対する治験	三谷和合	(27)147	1968年(昭和43)・第15巻・03号
皮膚疾患2例　▽三物黄ゴン湯による掌蹠膿疱症の治験▽温清飲による病名不明の手の皮膚病	藤井美樹	(29)149	1968年(昭和43)・第15巻・03号
今冬の風邪	小倉重成	(32)152	1968年(昭和43)・第15巻・03号
診療茶談（1）痛風2例	寺師睦濟	(34)154	1968年(昭和43)・第15巻・03号
漢方研究室　出題：問題30　冷えこみと動悸／解答：問題26	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・Ｈ生	(36)156	1968年(昭和43)・第15巻・03号
河童随筆　冷え症	ちぐあん	(39)159	1968年(昭和43)・第15巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年2月＞	協会本部／編集局	(40)160	1968年(昭和43)・第15巻・03号
明治百年漢方略史年表	矢数道明	(41)161	1968年(昭和43)・第15巻・03号
@1968年(昭和43)-第15巻-04号-			
東西古代の本草書にみられる薬物の分類法について	大塚恭男	(3)193	1968年(昭和43)・第15巻・04号
三焦に就いて（4）	柴崎保三	(12)202	1968年(昭和43)・第15巻・04号
感冒にいたぶられるの記	藤平健	(16)206	1968年(昭和43)・第15巻・04号
小治験例　▽メニエール症候群に五苓湯▽高血圧症と足のシビレに柴胡桂枝湯▽肩こりと心下部疼痛に柴芍六君子湯	矢数圭堂	(23)213	1968年(昭和43)・第15巻・04号
筍庵経験録（2）▽胃腸虚弱の主婦▽眼圧が高い老婦人▽身体が痛い老婦人▽亜急性虫垂炎▽20年来の胃痛▽頑固な便秘▽潜在性黄疸？	山田光胤	(25)215	1968年(昭和43)・第15巻・04号
治験録（1）当帰湯による胸痛の治例	大塚敬節	(29)219	1968年(昭和43)・第15巻・04号
最近の経験例　▽腎炎の3例▽感冒に黄柏エキスを応用した2例▽消化器症状を伴った感冒に小柴胡湯を応用した4例	細川喜代治	(30)220	1968年(昭和43)・第15巻・04号
診療茶談（2）糖尿病2例	寺師睦濟	(34)224	1968年(昭和43)・第15巻・04号
河童随筆　対照試験	ちぐあん	(35)225	1968年(昭和43)・第15巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年3月＞	協会本部／編集局	(36)226	1968年(昭和43)・第15巻・04号
食物とくすり　＜東西両学綜合への一つの試み＞和洋折衷の最新治療法ー急増する医原性疾患の治験をめぐってー	河内省一	(37)227	1968年(昭和43)・第15巻・04号
明治百年漢方略史年表（2）	矢数道明	(39)229	1968年(昭和43)・第15巻・04号
@1968年(昭和43)-第15巻-05号-			
十全大補湯についての経験　▽高血圧症▽神経炎▽肛門周囲炎▽寒性膿瘍▽じんましん▽肝硬変症	大塚敬節	(3)255	1968年(昭和43)・第15巻・05号
病気の体験	龍野一雄	(7)259	1968年(昭和43)・第15巻・05号
大青竜湯の傷寒治験	岡野勝憲	(12)264	1968年(昭和43)・第15巻・05号
てんかんその他	土本重	(14)266	1968年(昭和43)・第15巻・05号
印象に残っている二人の患者	岸本亮一	(19)271	1968年(昭和43)・第15巻・05号
ソウ莢丸治験例	諏訪重雄	(22)274	1968年(昭和43)・第15巻・05号
清湿化痰湯の治験	高橋道史	(24)276	1968年(昭和43)・第15巻・05号

温知堂経験録（36）＜葛根湯治験集＞重症筋無力症が葛根湯で（その2）▽夜尿症に葛根湯エキス末▽頑固な肩凝りに葛根湯と牛黄丸貼布▽頑固な肩こり症に葛根湯と牛黄丸の貼布	矢数道明	(27)279	1968年(昭和43)・第15巻・05号
食物とくすり　＜東西両学綜合への一つの試み＞ぎっくり腰の治験2・3ー砂糖と動物食の過剰でふえている脊椎症ー（1）椎間板ヘルニア（2）姉さんの腰痛（3）老婦人のぎっくり腰	河内省一	(29)281	1968年(昭和43)・第15巻・05号
明治天皇と漢方	木村雄四郎	(32)284	1968年(昭和43)・第15巻・05号
漢方研究室　出題：問題31　絞られる様な腹痛（胃痙攣？）／解答：問題27	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄	(34)286	1968年(昭和43)・第15巻・05号
味の色々　百万石と雪間の草	小倉重成	(36)288	1968年(昭和43)・第15巻・05号
河童随筆　パネルディスカッション	ちぐあん	(38)290	1968年(昭和43)・第15巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年4月＞	協会本部／編集局	(39)291	1968年(昭和43)・第15巻・05号
先天性心臓病の治験	彭瑞麟	(41)293	1968年(昭和43)・第15巻・05号
明治百年漢方略史年表（3）	矢数道明	(41)293	1968年(昭和43)・第15巻・05号
薬方の覚え方	高橋道史	(61)309	1968年(昭和43)・第15巻・05号
新刊紹介／藤田正直著『ガン治療に残された道』／Dr.P.Chancellor著『Japanese Acuquncture』by Mme.M.Hashimoto	気賀林一	(68)316	1968年(昭和43)・第15巻・05号
@1968年(昭和43)-第15巻-06号-			
治療学をめぐるもの　ー東洋医学への志向ー	橋本行生	(3)321	1968年(昭和43)・第15巻・06号
医家七部書について	岡西為人	(14)332	1968年(昭和43)・第15巻・06号
新しい東洋医学への考察（4）診断の論理（その2）	出端昭男	(18)336	1968年(昭和43)・第15巻・06号
口唇皮膚疾患2例に対する十味敗毒湯＜毒物の治験例＞	室賀昭三	(26)344	1968年(昭和43)・第15巻・06号
診療茶談（3）紫斑病2例	寺師睦濟	(28)346	1968年(昭和43)・第15巻・06号
脾弇曲症候群	龍野一雄	(30)348	1968年(昭和43)・第15巻・06号
明治百年漢方略史年表追記	矢数道明	(32)350	1968年(昭和43)・第15巻・06号
明治百年漢方略史年表追加訂正	矢数道明	(33)351	1968年(昭和43)・第15巻・06号
明治百年漢方医書及び雑誌出版の消長	矢数道明	(34)352	1968年(昭和43)・第15巻・06号
かつて企画提案された日本東洋医学振興協会設立の主旨	矢数道明	(40)358	1968年(昭和43)・第15巻・06号
企画保留になった財団法人日本東洋医学振興協会設立趣意書	矢数道明	(41)359	1968年(昭和43)・第15巻・06号
財団法人日本東洋医学振興協会事業計画案	矢数道明	(42)360	1968年(昭和43)・第15巻・06号
第1回西日本漢方交流会参加の記	気賀林一	(43)361	1968年(昭和43)・第15巻・06号
河童随筆　すがたとかたち	ちぐあん	(47)365	1968年(昭和43)・第15巻・06号
医学以外の医話　ー奇怪な話ー	高橋道史	(48)366	1968年(昭和43)・第15巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年5月＞	協会本部／編集局	(50)368	1968年(昭和43)・第15巻・06号
新刊紹介／大塚敬節著『漢方と民間薬百科』／山田光胤著『漢方処方応用の実際』／高橋良忠著『近代漢方薬ハンドブック』	編集局	(52)370	1968年(昭和43)・第15巻・06号
トピックス／日本東洋医学会／現代漢方薬展	編集局	(55)373	1968年(昭和43)・第15巻・06号
三陰三陽（第8報）　＜気血水病理から観た本態性高血圧症＞	藤田六朗	(56)374	1968年(昭和43)・第15巻・06号
@1968年(昭和43)-第15巻-07号-			
虚実論（1）	龍野一雄	(3)383	1968年(昭和43)・第15巻・07号
新しい東洋医学への考察（5）臨床効果の科学的評価（1）	出端昭男	(13)393	1968年(昭和43)・第15巻・07号
私の腹背診の実際　＜胃潰瘍、肝機能障害の症例について＞	小川新	(22)402	1968年(昭和43)・第15巻・07号
前号「明治百年漢方医書及び雑誌出版の消長」追加訂正	矢数道明	(30)410	1968年(昭和43)・第15巻・07号
＜漢方今昔座談＞糖尿病について　▽七味白朮散（直訣）▽ヒカイ分清飲▽白虎加人参湯▽八味丸	細迫陽三	(31)411	1968年(昭和43)・第15巻・07号
新刊紹介／長塩容伸・山田光胤共著『薬草小事典』	編集局	(38)418	1968年(昭和43)・第15巻・07号
トピックス／内田和漢薬同好会	編集局	(38)418	1968年(昭和43)・第15巻・07号
診療茶談（4）不妊症2例	寺師睦濟	(39)419	1968年(昭和43)・第15巻・07号
食物とくすり　＜万病は一元である＞ＰＰＣ療法を中心とする和洋折衷の新治療法▽陳久性難聴と慢性蓄膿症	河内省一	(41)421	1968年(昭和43)・第15巻・07号
医学以外の医話　ー眼疾と紅絹（もみ）ー	高橋道史	(44)424	1968年(昭和43)・第15巻・07号
薬方の覚え方（承前）	高橋道史	(47)427	1968年(昭和43)・第15巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年6月＞	協会本部／編集局	(51)431	1968年(昭和43)・第15巻・07号
恩賜神農像祭祀変遷年代表	矢数道明	(52)432	1968年(昭和43)・第15巻・07号
中年婦人に見られる頭痛について	関根邦之助	(59)439	1968年(昭和43)・第15巻・07号
@1968年(昭和43)-第15巻-08号-			
虚実論（2）	龍野一雄	(3)445	1968年(昭和43)・第15巻・08号
張明澄著「誤訳・愚訳」を読みて（1）	柴崎保三	(16)458	1968年(昭和43)・第15巻・08号
人参湯合真武湯の応用	山田光胤	(23)465	1968年(昭和43)・第15巻・08号
頑固な上腹部痛に対する治験例	三谷和合	(29)471	1968年(昭和43)・第15巻・08号
ベェチェット氏症候群に対する東洋医学的治験例	菊池三通男	(31)473	1968年(昭和43)・第15巻・08号

最近の治験　▽気管支喘息▽緑内障と気管支喘息▽抗生物質の効き難い匐行性角膜潰瘍	小倉重成	(34)476	1968年(昭和43)・第15巻・08号
豆ニュース／国際医事誌	阪本正夫	(35)477	1968年(昭和43)・第15巻・08号
明治以降漢方関係代表的雑誌一覧表について	矢数道明	(36)478	1968年(昭和43)・第15巻・08号
最近経験した慢性疾患の数々　▽半身不随になやむ社長▽心臓疾患で腹水に困ってる婦人▽骨髄骨膜炎で数回手術した小学校の教師	高橋道史	(42)484	1968年(昭和43)・第15巻・08号
漢方研究室　出題：問題32　虫垂炎／解答：問題28	出題・解答）小倉重成 回答）島津・時永	(45)487	1968年(昭和43)・第15巻・08号
漢方随想	木村佐京	(48)490	1968年(昭和43)・第15巻・08号
ある父子の対話から	飯田穣	(50)492	1968年(昭和43)・第15巻・08号
河童随筆　続・誤訳	ちぐあん	(53)495	1968年(昭和43)・第15巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年7月＞	協会本部／編集局	(54)496	1968年(昭和43)・第15巻・08号
温経湯により皮膚病治験の1例	岡野勝憲	(55)497	1968年(昭和43)・第15巻・08号
@1968年(昭和43)-第15巻-09号-			
牡蠣の薬能	龍野一雄	(3)507	1968年(昭和43)・第15巻・09号
一喘息患者の症例についての考察（1）	名大東洋医学研究会湯液班	(5)509	1968年(昭和43)・第15巻・09号
新しい東洋医学への考察（6）臨床効果の科学的評価（2）	出端昭男	(11)515	1968年(昭和43)・第15巻・09号
張明澄著「誤訳・愚訳」を読みて（2）	柴崎保三	(21)525	1968年(昭和43)・第15巻・09号
大黄黄連瀉心湯について	戸田一盛	(31)535	1968年(昭和43)・第15巻・09号
温知堂経験録（37）＜桂枝加芍薬湯と八味丸合騰竜湯＞遊走腎に桂枝加芍薬湯▽腸不穏症に桂枝加芍薬湯▽前立腺肥大症に八味丸料と騰竜湯▽前立腺肥大尿閉に八味丸合騰竜湯▽八味丸合騰竜湯の失敗例	矢数道明	(35)539	1968年(昭和43)・第15巻・09号
食物とくすり　＜頑固な皮膚病の治験2・3＞万病一毒・一毒去而無病▽尋常性乾癬▽遺伝性疾患といわれた親子3代の「鮫肌」	河内省一	(38)542	1968年(昭和43)・第15巻・09号
診療茶談（5）不眠症2例	寺師睦濟	(42)546	1968年(昭和43)・第15巻・09号
最近の治験　＜ネフローゼ3題＞	小倉重成	(43)547	1968年(昭和43)・第15巻・09号
腎炎とネフローゼ合併症と戦う（東邦大学薬学部生薬教室）	佐藤紀男	(45)549	1968年(昭和43)・第15巻・09号
再び医原性疾患と漢方について　▽血清肝炎の例▽ダンピング症候群の例	阪本正夫	(47)551	1968年(昭和43)・第15巻・09号
抑肝散加陳皮半夏についての所感	古川信一	(49)553	1968年(昭和43)・第15巻・09号
寒冷蕁麻疹治験	吉原浅吉	(50)554	1968年(昭和43)・第15巻・09号
医学以外の医話　－肺結核と霊天蓋－	高橋道史	(51)555	1968年(昭和43)・第15巻・09号
河童随筆　桃核承気湯	ちぐあん	(52)556	1968年(昭和43)・第15巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年8月＞	協会本部／編集局	(53)557	1968年(昭和43)・第15巻・09号
山豆根試飲の失敗	長塩容伸	(54)558	1968年(昭和43)・第15巻・09号
漢方略史年表追加	矢数道明	(59)563	1968年(昭和43)・第15巻・09号
@1968年(昭和43)-第15巻-10号-			
林静斎「経歴漫誌」抄　＜深川晨堂氏資料より＞	矢数道明	(3)569	1968年(昭和43)・第15巻・10号
文字考	龍野一雄	(12)578	1968年(昭和43)・第15巻・10号
十干十二支について	柴崎保三	(18)584	1968年(昭和43)・第15巻・10号
神経症	星野俊良	(30)596	1968年(昭和43)・第15巻・10号
一喘息患者の症例についての考察（2）	名大東洋医学研究会湯液班	(33)599	1968年(昭和43)・第15巻・10号
潰瘍性大腸炎に対する胃風湯の治験	渡利一水	(37)603	1968年(昭和43)・第15巻・10号
温知堂経験録（38）＜小柴胡湯による体質改善効果＞虚弱体質に小柴胡湯エキス末▽虚弱体質が小柴胡湯エキス末で▽腺病性体質が小柴胡湯加桔梗石膏で	矢数道明	(39)605	1968年(昭和43)・第15巻・10号
喘息性気管支炎	中山友記	(40)606	1968年(昭和43)・第15巻・10号
記憶に残る皮膚病の治験例　▽症例1：皮膚炎▽症例2：湿疹▽症例3：顔面湿疹▽症例4：湿疹▽症例5：湿疹▽症例6▽症例7：蛇皮性	鈴木秀剰	(42)608	1968年(昭和43)・第15巻・10号
食物とくすり　＜万病は一元である＞ＰＰＣ療法を中心とする和洋折衷の新治療法▽尿管結石の疝痛・急性虫垂炎	河内省一	(46)612	1968年(昭和43)・第15巻・10号
反省させられた治験例　－病気を治して叱られる－	道産子	(48)614	1968年(昭和43)・第15巻・10号
古典雑感（柴崎氏に答う）	増永静人	(49)615	1968年(昭和43)・第15巻・10号
河童随筆　理論だおれ・前提のまちがい	ちぐあん	(52)618	1968年(昭和43)・第15巻・10号
佐野惣蔵氏の逝去を悼む	矢数道明	(54)620	1968年(昭和43)・第15巻・10号
佐野惣蔵先生の思い出	船橋茂吉	(54)620	1968年(昭和43)・第15巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ追加	協会本部／編集局	(55)621	1968年(昭和43)・第15巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年9月＞	協会本部／編集局	(56)622	1968年(昭和43)・第15巻・10号
手術後の尿閉に八味丸	鈴木秀剰	(58)624	1968年(昭和43)・第15巻・10号
@1968年(昭和43)-第15巻-11-12号合併号-＜主要疾患・難症痼疾　漢方治療特集（創刊15周年記念　明治100年記念）＞			
発刊に際して	矢数道明	(1)631	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞気管支喘息	小島喜久男	(5)635	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号

＜創刊15周年（明治100年）記念＞高血圧症・動脈硬化症	伊藤清夫	(19)649	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞産婦人科とそれに連関しての治験	石野信安	(30)660	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞腎炎・ネフローゼ	藤平健	(38)668	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞坐骨神経痛に対する針灸治療	木下晴都	(61)691	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞いわゆる「鞭打ち損傷」の東洋医学的治療経験	小川新	(70)700	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞ベーチェット病	小倉重成	(83)713	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞肝・胆道疾患に対する漢方治療	三谷和合	(93)723	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞肝炎	寺師睦濟	(102)732	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞血の道の意義の治療経験	山田光胤	(108)738	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞医原性疾患の対策と漢方	相見三郎	(115)745	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞肝臓疾患	坂口弘	(120)750	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞リウマチおよび痛風の漢方治療	高橋道史	(132)762	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞東洋医学から見た医原性疾患について　＜万病一元の医学観に立って＞	河内省一	(145)775	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞痛風と思われる疾患の体験と治療	岡野勝憲	(157)787	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞慢性関節リウマチ論考	木村佐京	(165)795	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞糸球体腎炎に対する分消湯兼八味丸の使用例　＜蛋白尿を目標として＞	宮坂光洋	(172)802	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞ムチウチ症自験記	七条晃正	(179)809	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞てんかん	相見三郎	(189)819	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞痛風（尿酸性関節炎）	寺師睦濟	(193)823	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞私の行っている脳卒中後のリハビリテーション	土本重	(197)827	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞私の胃癌の漢方治療	高橋道史	(208)838	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞心臓弁膜症と心臓性喘息に対する漢方治療法　＜特に木防已湯の応用目標について＞	矢数道明	(215)845	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞紅斑性狼瘡	相見三郎	(231)861	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞小柴胡湯と連珠飲とによる細網内皮症の1治験	矢数道明	(233)863	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞心不全3題	土本重	(238)868	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞間代性横膈膜痙攣の針治	木下晴都	(242)872	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞パーキンソン病	七条晃正	(245)875	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞中年女性の頑固な偏頭痛の治験	関根邦之助	(247)877	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞奇効ある民間薬　▽蝸牛▽ミミズ	大浦孝秋	(250)880	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞再生不良性貧血	伊藤清夫	(253)883	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞嚢胞腎	坂口弘	(255)885	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞癌も含めた腫瘍に対する治療の可能性	小倉重成	(257)887	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞重症筋無力症の治験集	矢数道明	(260)890	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞腎疾患の漢方治療　▽糸球体腎炎5例▽ネフローゼ2例	宮坂光洋	(265)895	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞治験2例　▽癜風▽糖尿病	桑木崇秀	(270)900	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞脳卒中後遺症の漢方経験	阪本正夫	(272)902	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞針注療法　ーリウマチおよび神経痛への新療法ー	三田寛	(275)905	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞頭痛・偏頭痛・三叉神経痛およびメニエール病に対する五苓散の治験	矢数道明	(279)909	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞立効散による歯痛の治験	伊藤良	(284)914	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞常習頭痛または偏頭痛	藤平健	(286)916	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
＜創刊15周年（明治100年）記念＞どくだみによる慢性湿疹の快癒例	藤平健	(288)918	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
筆者の横顔	編集局	(290)920	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
編集を終えて	気賀林一	(296)926	1968年(昭和43)・第15巻・11-12号
@1969年(昭和44)-第16巻-01-02号合併号-＜創刊15周年　巻号別・著者別目次索引＞			
目次索引集の発刊にあたって	矢数道明	(3)3	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
『漢方の臨床』誌　巻・号別目次索引＜自第1巻第1号　至第15巻12号＞	編集局	(5)5	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
『漢方の臨床』誌　筆者別目次索引＜自第1巻第1号　至第15巻12号＞	編集局	(70)70	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
本誌創刊以降の執筆者・協会関係者・援助広告者名簿	編集局	(129)129	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
匿名と雅号とペンネーム談義	竹茹生	(140)140	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	荒木正胤	(143)143	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	日野厚	(143)143	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号

新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	難波恒雄	(144)144	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞学生の漢方観	矢数道明	(144)144	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	川瀬清	(145)145	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞井の頭療病小室雑詠	代田文誌	(145)145	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	津田進三	(146)146	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	室賀昭三	(146)146	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	相見三郎	(146)146	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	増永静人	(147)147	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	木村雄四郎	(147)147	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	木下晴都	(147)147	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞富田大鳳の書	舘野健	(148)148	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	出端昭男	(148)148	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	菊谷豊彦	(148)148	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	龍野一雄	(149)149	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	伊藤清夫	(149)149	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	三田寛	(149)149	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	高橋真太郎	(150)150	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	山田光胤	(150)150	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	岡西為人	(150)150	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	中村了介	(150)150	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞去年ー今年	安西安周	(151)151	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	原三郎	(151)151	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	長尾善治	(151)151	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	柴崎保三	(152)152	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	土本重	(152)152	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	戸部宗七郎	(152)152	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞全学連	久能靖	(153)153	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	小沢慶三	(153)153	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	大浦孝秋	(154)154	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	生駒憲彦	(154)154	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	宮沢伸佳	(154)154	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	木村佐京	(155)155	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞賀漢方臨床15年	高橋道史	(155)155	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	細迫陽三	(155)155	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	藤本邦之輔	(156)156	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞無題	倉島宗二	(156)156	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	木村忠二郎	(156)156	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	河内省一	(157)157	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	鈴木秀剰	(157)157	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	高橋良忠	(158)158	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	間中喜雄	(158)158	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	秋元恵一	(158)158	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	中山友記	(158)158	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	岩佐礼一	(159)159	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	松岡武保	(159)159	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	中井康雄	(159)159	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	阪本正夫	(160)160	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	橋本行生	(160)160	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	桑木崇秀	(160)160	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	犀川龍	(161)161	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	飯田穣	(161)161	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	伊藤良	(161)161	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	小川新	(162)162	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	大塚敬節	(162)162	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	藤平健	(162)162	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	竹内達	(163)163	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号

新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	渡利一水	(163)163	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	七条晃正	(163)163	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	小倉重成	(163)163	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	橋本敬三	(164)164	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	茂木厚作	(164)164	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	西澤道允	(165)165	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	藤田彰久	(165)165	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	ハイ元植	(165)165	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	小椋道益	(166)166	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	小川幸男	(166)166	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	中島随象	(166)166	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	戸田秀実	(167)167	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	吉原浅吉	(167)167	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	幸田藤三郎	(167)167	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	星野俊良	(168)168	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	長尾泰爾	(168)168	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	寺師睦濟	(168)168	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	津田卓二	(168)168	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	鉄村豪	(169)169	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	関根邦之助	(169)169	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	沖野與三郎	(169)169	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	藤田六朗	(170)170	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	西脇平士	(170)170	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	山口昭二郎	(170)170	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	道産子	(171)171	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	神戸源蔵	(171)171	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	長塩容伸	(171)171	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
新年のことば　＜昭和44年（1969年）＞	笠井修	(171)171	1969年(昭和44)・第16巻・01-02号
@1969年(昭和44)-第16巻-03号-			
小柴胡湯（1）	龍野一雄	(3)181	1969年(昭和44)・第16巻・03号
大建中湯2題	伊藤良	(12)190	1969年(昭和44)・第16巻・03号
最近経験した泌尿器疾患の治療　▽前立腺肥大▽尿道痛▽尿道に痒感▽膀胱炎▽慢性腎炎▽ネフローゼ	高橋道史	(16)194	1969年(昭和44)・第16巻・03号
筍庵経験録（3）＜腎膿腫・喘息＞▽腎膿腫？▽気管支喘息▽気管支喘息▽肺気腫？	山田光胤	(20)198	1969年(昭和44)・第16巻・03号
新刊紹介／間中喜雄著『肩こりと腰痛』・河内省一著『健康食と危険食』	編集局	(23)201	1969年(昭和44)・第16巻・03号
風邪治験　▽咽痛・胃痛・嘔気▽咳・盗汗▽咳と冷え▽頭痛・冷え・盗汗しもやけ▽風邪のこじれと虹彩炎▽一過性の近視と眼精疲労▽風邪と角膜ヘルペス▽外聴道の化膿	小倉重成	(24)202	1969年(昭和44)・第16巻・03号
血清肝炎の治験2例　▽小柴胡湯合桂枝茯苓丸料加味▽小柴胡湯加茵チン蒿梔子ヨク苡仁	岡野勝憲	(26)204	1969年(昭和44)・第16巻・03号
温知堂経験録（39）＜皮膚病3題　温清飲と消風散と＞温清飲で憎悪し消風散で快方に▽湿疹のソウ痒に温清飲加連翹▽湿疹に温清飲と消風散を	矢数道明	(28)206	1969年(昭和44)・第16巻・03号
食物とくすり　＜骨髄性白血病＞	河内省一	(31)209	1969年(昭和44)・第16巻・03号
1喘息患者の症例についての考察に対する所感	龍野一雄	(34)212	1969年(昭和44)・第16巻・03号
同名異方	伊藤良	(41)219	1969年(昭和44)・第16巻・03号
漢方研究室　出題：問題33　感冒に伴う「うちみ」の再熱？／解答：問題29	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・時永達巳	(44)222	1969年(昭和44)・第16巻・03号
ときの事・ところの事	木村佐京	(46)224	1969年(昭和44)・第16巻・03号
漢方の臨床15周年を憶う	高橋道史	(49)227	1969年(昭和44)・第16巻・03号
生薬水洗	金田義人	(50)228	1969年(昭和44)・第16巻・03号
河童随筆　未来学	ちぐあん	(51)229	1969年(昭和44)・第16巻・03号
多々良素氏の逝去を悼む	矢数道明	(52)230	1969年(昭和44)・第16巻・03号
第20回日本東洋医学会開催	編集局	(52)230	1969年(昭和44)・第16巻・03号
藻塩	土本重	(53)231	1969年(昭和44)・第16巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和43年10月・11月・12月・昭和44年1月・2月＞	協会本部／編集局	(54)232	1969年(昭和44)・第16巻・03号
@1969年(昭和44)-第16巻-04号-			
「胆嚢症の漢方治療」を語る（1）	細野史郎	(3)243	1969年(昭和44)・第16巻・04号
小柴胡湯（2）	龍野一雄	(29)269	1969年(昭和44)・第16巻・04号

漢方医学全書について＜1＞	岡西為人	(42)282	1969年(昭和44)・第16巻・04号
針灸取穴法のカリキュラムについての私見	間中喜雄	(49)289	1969年(昭和44)・第16巻・04号
香月牛山寿塔をめぐって	宮崎綾子	(54)294	1969年(昭和44)・第16巻・04号
温知堂経験録（40）＜続・皮膚病3題　温清飲と消風散と小青竜湯＞乾癬様湿疹に消風散効なく温清飲で▽皮膚ソウ痒症に消風散▽小青竜湯で皮膚が枯燥し甘草エキス末で蕁麻疹が出た	矢数道明	(59)299	1969年(昭和44)・第16巻・04号
@1969年(昭和44)-第16巻-05号-			
「胆嚢症の漢方治療」を語る（2）	細野史郎	(3)305	1969年(昭和44)・第16巻・05号
漢方医学全書について＜2＞千金要方	岡西為人	(18)320	1969年(昭和44)・第16巻・05号
間歇性跛行症の針灸治験	代田文誌	(25)327	1969年(昭和44)・第16巻・05号
最近の治験　＜病名のつかない病気＞四逆散▽五苓散▽大黄シャ虫丸	諏訪重雄	(29)331	1969年(昭和44)・第16巻・05号
抑肝散及び加陳皮半夏による治験	渡利一水	(31)333	1969年(昭和44)・第16巻・05号
蛋白尿（1）	宮坂光洋	(33)335	1969年(昭和44)・第16巻・05号
創立20周年記念　日本東洋医学会総会印象記	編集局・小島喜久男・原三郎・小川新	(34)336	1969年(昭和44)・第16巻・05号
安西安周氏の逝去を悼む	矢数道明	(47)349	1969年(昭和44)・第16巻・05号
弔辞　（安西安周先生）	新田興	(48)350	1969年(昭和44)・第16巻・05号
安西安周先生の逝去を弔す	高橋道史	(48)350	1969年(昭和44)・第16巻・05号
挽歌　（安西安周先生）	荒井憲太郎	(51)353	1969年(昭和44)・第16巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年3月・4月＞	協会本部／編集局	(51)353	1969年(昭和44)・第16巻・05号
新刊紹介／柴崎保三講述『黄帝内経素問新義解』	矢数道明	(56)358	1969年(昭和44)・第16巻・05号
@1969年(昭和44)-第16巻-06号-			
「鞭打ち損傷」治療上の問題点	小川新	(3)367	1969年(昭和44)・第16巻・06号
帰脾湯使用経験　▽バンチ氏症候群の疑い（実は腎臓癌）▽特発性血小板減少性紫斑病	藤井美樹	(8)372	1969年(昭和44)・第16巻・06号
最近の治療　▽肥満症▽喘鳴呀声▽心腹絞痛	高橋道史	(12)376	1969年(昭和44)・第16巻・06号
書痙と精神分裂症	土本重	(15)379	1969年(昭和44)・第16巻・06号
ネフローゼ症候群に対する加療　＜不幸な転帰例＞	三谷和合	(20)384	1969年(昭和44)・第16巻・06号
蛋白尿（2）	宮坂光洋	(23)387	1969年(昭和44)・第16巻・06号
漢方医学全書について＜3＞千金翼方	岡西為人	(25)389	1969年(昭和44)・第16巻・06号
温知荘雑筆　地黄剤をのみ大根を食べると白髪となるの説	矢数道明	(29)393	1969年(昭和44)・第16巻・06号
日本東洋医学会総会印象記＜2＞	大塚敬節・間中喜雄・阪本正夫・小倉重成・菊谷豊彦	(33)397	1969年(昭和44)・第16巻・06号
三焦について	龍野一雄	(50)414	1969年(昭和44)・第16巻・06号
漢方研究室　出題：問題34　小児時よりの気管支喘息／解答：問題30	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・時永達巳	(52)416	1969年(昭和44)・第16巻・06号
抑肝散加陳皮半夏の証	飯田穣	(54)418	1969年(昭和44)・第16巻・06号
温知堂経験録（41）▽貧血と血の道症に加味逍遥散▽癲癇か、ヒステリーか。柴胡桂枝湯よりも抑肝散▽眩暈、頭痛、耳鳴りに半夏白朮天麻湯▽桂枝加芍薬湯で嗅覚消失が治る	矢数道明	(56)420	1969年(昭和44)・第16巻・06号
河童随筆　サウナ風呂	ちぐあん	(58)422	1969年(昭和44)・第16巻・06号
新刊紹介／増永静人著『症状別家庭でできる指圧』／高橋良忠著『近代漢方薬ハンドブック』＜2＞	気賀林一	(59)423	1969年(昭和44)・第16巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年5月＞	協会本部／編集局	(59)423	1969年(昭和44)・第16巻・06号
@1969年(昭和44)-第16巻-07号-			
京都跡尋社長吉益鉄太郎伝　－深川晨堂氏資料の中から－	矢数道明	(3)429	1969年(昭和44)・第16巻・07号
漢方医学全書について＜4＞外台秘要方	岡西為人	(9)435	1969年(昭和44)・第16巻・07号
柴陥湯と肋膜炎	高橋道史	(15)441	1969年(昭和44)・第16巻・07号
慢性湿疹（全身性）の治験例	宮坂光洋	(19)445	1969年(昭和44)・第16巻・07号
日本東洋医学会総会印象記＜3＞	柴崎保三・寺師睦濟・松下嘉一・室賀昭三・橋本行生・永山薫造・木村雄四郎	(21)447	1969年(昭和44)・第16巻・07号
葛根の薬能	龍野一雄	(49)475	1969年(昭和44)・第16巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年6月＞	協会本部／編集局	(51)477	1969年(昭和44)・第16巻・07号
河童随筆　本場と岡場所	ちぐあん	(52)478	1969年(昭和44)・第16巻・07号
柴胡加竜骨牡蠣湯	戸田一盛	(53)479	1969年(昭和44)・第16巻・07号
@1969年(昭和44)-第16巻-08号-			
小建中湯（1）	龍野一雄	(3)491	1969年(昭和44)・第16巻・08号
「三帰廻翁医書」について　－田代三喜著作集の紹介－	矢数道明	(13)501	1969年(昭和44)・第16巻・08号
＜漢方今昔座談＞消化管の潰瘍	細迫陽三	(19)507	1969年(昭和44)・第16巻・08号
漢方医学全書について＜5＞神医普救方　太平聖恵方	岡西為人	(26)514	1969年(昭和44)・第16巻・08号
桂枝加葛根湯	戸田一盛	(32)520	1969年(昭和44)・第16巻・08号

神経症（鬱症）が消渇の「黄連地黄湯」で治った1症例	宮坂光洋	(37)525	1969年(昭和44)・第16巻・08号
小川博士の問題提起	橋本敬三	(39)527	1969年(昭和44)・第16巻・08号
芍薬の薬能	龍野一雄	(41)529	1969年(昭和44)・第16巻・08号
診療余談＜予防医学と漢方医学＞	張重信	(45)533	1969年(昭和44)・第16巻・08号
世界鍼灸視察団に参加して	矢数道明	(48)536	1969年(昭和44)・第16巻・08号
平人の脈の経験	渡辺亨	(50)538	1969年(昭和44)・第16巻・08号
河童随筆　手習い	ちぐあん	(52)540	1969年(昭和44)・第16巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年7月＞	協会本部／編集局	(53)541	1969年(昭和44)・第16巻・08号
@1969年(昭和44)-第16巻-09号-			
漢方診療検討録（1）▽第1例：熱と桂枝湯▽第2例：熱と桂枝湯▽第3例：発熱と麻黄湯▽第4例：急性咽頭炎と葛根湯▽第5例：腹満感と大承気湯▽第6例：往来寒熱鳴及び胸痛腹痛と小柴胡湯▽第7例：頻尿及びしびれ感と真武湯▽第8例：胃体部潰瘍と六君子湯	橋本行生	(3)549	1969年(昭和44)・第16巻・09号
北総の名医石原吾道伝　－深川晨堂氏資料の中から－	矢数道明	(17)563	1969年(昭和44)・第16巻・09号
小建中湯（2）	龍野一雄	(25)571	1969年(昭和44)・第16巻・09号
漢方医学全書について＜6＞聖済総録	岡西為人	(34)581	1969年(昭和44)・第16巻・09号
てんかん、書痙、五十肩	土本重	(39)585	1969年(昭和44)・第16巻・09号
最近用いた薬方の治験　▽丁香茯苓湯の例▽六君子合補血の治験▽参苓白朮散料の治験	高橋道史	(43)589	1969年(昭和44)・第16巻・09号
再生不良性貧血その他の治験と検査値　－漢方病院設立の緊急性－	相見三郎	(47)593	1969年(昭和44)・第16巻・09号
最近の生薬事情について	土田茂雄	(52)598	1969年(昭和44)・第16巻・09号
香港遊記（1）	高橋真太郎	(54)800	1969年(昭和44)・第16巻・09号
河童随筆　立たざれば立たせてみよう	ちぐあん	(57)803	1969年(昭和44)・第16巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年8月＞	協会本部／編集局	(58)804	1969年(昭和44)・第16巻・09号
新刊紹介／沢田健校訂・代田文誌著『鍼灸治療基礎学』／西山英雄著『漢方医学の基礎と診療』	気賀林一	(59)805	1969年(昭和44)・第16巻・09号
@1969年(昭和44)-第16巻-10号-			
東洋医学と現代医学との二つの立場からみた慢性肝炎（第1報）　慢性肝炎と左下腹部証	有地滋	(3)811	1969年(昭和44)・第16巻・10号
治験・不治験　▽黄斑部変性症▽ベーチェット病▽緑内障	小倉重成	(8)816	1969年(昭和44)・第16巻・10号
漢方診療検討録（2）▽第9例：軽度の感染症▽第10例：数日で治った冷え性▽第11例：ある尿路結石の治療	橋本行生	(12)820	1969年(昭和44)・第16巻・10号
漢方医学全書について＜7＞普済方・欽定古今図書集成医部・医宗金鑑	岡西為人	(17)825	1969年(昭和44)・第16巻・10号
小建中湯（3）	龍野一雄	(24)832	1969年(昭和44)・第16巻・10号
治療の要訣はソウ理にあり　▽ノイローゼの治験▽憂鬱症▽慢性腎炎	高橋道史	(34)842	1969年(昭和44)・第16巻・10号
香港遊記（2）	高橋真太郎	(36)844	1969年(昭和44)・第16巻・10号
陳存仁氏著『中国医学史』を読む	岡西為人	(39)847	1969年(昭和44)・第16巻・10号
新刊紹介／伊藤清夫著『とにかく痩せます』＜図表を使って科学的に痩せる法＞／木下繁太朗・鎌江真五共著『臨床医の漢方』＜西洋医学の立場で漢方を説いた書＞	気賀林一	(43)851	1969年(昭和44)・第16巻・10号
「日本医学史」曲直瀬道三伝中の細川勝元の誤りについて	矢数道明	(44)852	1969年(昭和44)・第16巻・10号
河童随筆　三たび分類について	ちぐあん	(46)854	1969年(昭和44)・第16巻・10号
温知堂経験録（42）＜頭痛・筋肉リウマチ　めまいと嘔気＞月経過少と頭痛に当帰四逆湯▽筋肉リウマチに当帰四逆湯▽めまいと嘔気に半夏白朮天麻湯▽眩暈と嘔吐の常習癖に半夏白朮天麻湯	矢数道明	(47)855	1969年(昭和44)・第16巻・10号
漢方研究室　出題：問題35　胃腸症状の強いベーチェット病／解答：問題31	出題・解答）小倉重成 回答）島津・時永	(49)857	1969年(昭和44)・第16巻・10号
乾姜の薬能	龍野一雄	(51)859	1969年(昭和44)・第16巻・10号
会津御薬園拝観記	代田文誌	(54)862	1969年(昭和44)・第16巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年9月＞	協会本部／編集局	(55)863	1969年(昭和44)・第16巻・10号
東亜治療研究所の設立年月日をめぐる回想	矢数道明	(57)865	1969年(昭和44)・第16巻・10号
@1969年(昭和44)-第16巻-11号-			
柴胡桂枝乾姜湯	龍野一雄	(3)873	1969年(昭和44)・第16巻・11号
安西安周先生の遺稿「日本医道論」の掲載について	矢数道明	(22)892	1969年(昭和44)・第16巻・11号
日本医道論＜遺稿＞	安西安周	(22)892	1969年(昭和44)・第16巻・11号
漢方医学全書について＜8＞　医方類聚・東医宝鑑	岡西為人	(30)900	1969年(昭和44)・第16巻・11号
漢方診療検討録（3）▽第12例：心不全と木防已湯▽第13例：月経困難症と駆オ血剤▽第14例：股関節亜脱臼と真武湯	橋本行生	(36)906	1969年(昭和44)・第16巻・11号
薬籠の味＜1＞	高橋道史	(42)912	1969年(昭和44)・第16巻・11号
生姜の薬能	龍野一雄	(48)918	1969年(昭和44)・第16巻・11号
最近の経験　▽寝汗・疲労感▽膀胱炎・残尿感▽口内炎▽椎間板ヘルニア	佐橋紀男	(51)921	1969年(昭和44)・第16巻・11号

公開質疑応答（慢性肝炎）	質問者）初心生 回答者）有地滋・坂口弘・橋本行生・原桃介	(52)922	1969年(昭和44)・第16巻・11号
「千葉大学医学部東洋医学研究会三十年史」を読んで	矢数道明	(54)924	1969年(昭和44)・第16巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年10月＞	協会本部／編集局	(56)926	1969年(昭和44)・第16巻・11号
河童随筆　水平的思考	ちぐあん	(58)928	1969年(昭和44)・第16巻・11号
新刊紹介／木下晴都著『坐骨神経痛と針灸』	矢数道明	(59)929	1969年(昭和44)・第16巻・11号
東洋医学研究会九州懇話会　第2回　学術集談会	梅田玄勝	(60)930	1969年(昭和44)・第16巻・11号
@1969年(昭和44)-第16巻-12号-			
項部の診察を疎にしてはいないか　＜項中隔石灰症（バルソニー氏病）の観方と治し方＞	小川新	(3)935	1969年(昭和44)・第16巻・12号
几几の弁	藤平健	(16)948	1969年(昭和44)・第16巻・12号
椎間板ヘルニアの針灸治療　▽症例1：椎間板ヘルニアに坐骨神経痛を伴うもの▽症例2：椎間板ヘルニア手術後遺症	代田文誌	(21)935	1969年(昭和44)・第16巻・12号
漢方診療検討録（4）▽第15例：廃薬出来ぬ八味丸	橋本行生	(26)958	1969年(昭和44)・第16巻・12号
日本医道論＜遺稿＞（2）	安西安周	(29)961	1969年(昭和44)・第16巻・12号
最近の治療例＜耳下腺炎・精神分裂症・胃癌？＞右耳下腺炎▽精神分裂症▽胃潰瘍（胃癌？）	土本重	(40)972	1969年(昭和44)・第16巻・12号
黄ゴンの薬能	龍野一雄	(45)977	1969年(昭和44)・第16巻・12号
薬籠の味＜2＞	高橋道史	(48)980	1969年(昭和44)・第16巻・12号
書評／高橋晄正著　ＮＨＫブックス『漢方の認識』を読んで	木下晴都	(51)983	1969年(昭和44)・第16巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年11月＞	協会本部／編集局	(52)984	1969年(昭和44)・第16巻・12号
温知荘雑筆　英国における東洋医学採用の状況	矢数道明	(55)987	1969年(昭和44)・第16巻・12号
@1970年(昭和45)-第17巻-01号-			
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	木村佐京	(3)3	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	小曽戸丈夫	(3)3	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	高橋良忠	(4)4	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	河内省一	(4)4	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	藤田六朗	(5)5	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	山田光胤	(6)6	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	木村雄四郎	(6)6	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	高橋道史	(6)6	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	小倉重成	(7)7	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞漢方生薬と語る心	矢数道明	(7)7	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	戸部宗七郎	(8)8	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞ご挨拶	小川新	(8)8	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	木下晴都	(9)9	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	白尾清明	(9)9	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	代田文誌	(9)9	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	吉原浅吉	(9)9	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	長尾泰爾	(10)10	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞洋医のたわごと	舘野健	(10)10	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	大塚敬節	(11)11	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞いま心ひかれること一つ二つ	飯田穣	(11)11	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞五柳居廿八字詩抄	月江寺明	(11)11	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	竹内達	(12)12	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	岡西為人	(12)12	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	木村康一	(12)12	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞瀬音たて師走を急ぐ筑後川	細迫陽三	(13)13	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	土田茂雄	(13)13	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	有地滋	(13)13	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	関根邦之助	(13)13	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	増永静人	(14)14	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	桑木崇秀	(14)14	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	松島龍太郎	(14)14	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	相見三郎	(15)15	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞新しい期待	原三郎	(15)15	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	戸田一盛	(15)15	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	高橋真太郎	(15)15	1970年(昭和45)・第17巻・01号

年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞“ゆえあればそんづることなし”	伊藤良	(16)16	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	阪本正夫	(16)16	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	橋本行生	(17)17	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	木村忠二郎	(17)17	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	宮沢伸佳	(18)18	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	小椋道益	(18)18	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	倉島宗二	(19)19	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞考えぬく医療	藤井美樹	(19)19	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	西澤道允	(20)20	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	戸田秀実	(20)20	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	岡野勝憲	(20)20	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	渡利一水	(21)21	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	土本重	(21)21	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	柴崎保三	(21)21	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞盛岡に飛んで	矢数圭堂	(22)22	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	菊谷豊彦	(23)23	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	鉄村豪	(23)23	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	中島随象	(24)24	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	神戸源蔵	(24)24	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	松本俊二	(25)25	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	藤平健	(25)25	1970年(昭和45)・第17巻・01号
年頭所感　＜昭和45年（1970年）＞	大塚恭男	(25)25	1970年(昭和45)・第17巻・01号
ネフローゼ症候群の1例から	松下嘉一	(26)26	1970年(昭和45)・第17巻・01号
修琴堂経験録（1）▽頭痛と釣藤散▽三叉神経痛と清上ケン痛湯▽頭痛に桂枝茯苓丸料加甘草▽膿疱症と三物黄ゴン湯加連翹ヨク苡仁	大塚敬節	(37)37	1970年(昭和45)・第17巻・01号
咳嗽で苦しむ人々　▽喘咳▽大逆上気▽咳嗽頻発▽咳嗽短気▽小児アレルギー性鼻炎▽咳逆上気	高橋道史	(40)40	1970年(昭和45)・第17巻・01号
症例研究　▽風邪▽風邪▽多発性関節リウマチ▽頭痛▽慢性の頭痛	小倉重成	(43)43	1970年(昭和45)・第17巻・01号
補中益気湯の経験2例	阪本正夫	(47)47	1970年(昭和45)・第17巻・01号
『漢方の認識』を読んでの集いに出席して	矢数道明	(49)49	1970年(昭和45)・第17巻・01号
大棗の薬能	龍野一雄	(59)59	1970年(昭和45)・第17巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和44年12月＞	協会本部／編集局	(62)62	1970年(昭和45)・第17巻・01号
漢方研究室　出題：問題36　吃逆／解答：問題32	出題・解答）小倉重成 回答）島津・時永	(63)63	1970年(昭和45)・第17巻・01号
温知荘雑筆　京都名医墓一覧　野間三竹（玄琢の子）卒死	矢数道明	(65)65	1970年(昭和45)・第17巻・01号
@1970年(昭和45)-第17巻-02号-			
「几几の弁」をよんで　－几とシュと儿とは別字である－	大塚敬節	(3)73	1970年(昭和45)・第17巻・02号
東洋医学と現代医学との二つの立場からみた慢性肝炎（第2報）　慢性肝炎（特に非活動型）と自律神経失調症	有地滋	(6)76	1970年(昭和45)・第17巻・02号
日本医道論＜遺稿＞（3）	安西安周	(14)84	1970年(昭和45)・第17巻・02号
漢方診療検討録（5）▽第16例：本態性高血圧症▽第17例：十二指腸潰瘍と半夏瀉心湯	橋本行生	(23)93	1970年(昭和45)・第17巻・02号
上腹部疼痛で苦しむ人々　▽安中散と廷年半夏湯▽千金当帰湯▽大柴胡湯加別甲檳榔▽柴芍六君子湯加合左金	高橋道史	(29)99	1970年(昭和45)・第17巻・02号
温知堂経験録（43）＜喘息・リウマチ・粘血便＞喘息と蕁麻疹に神秘湯エキス末▽リウマチに桂枝茯苓丸料加附子▽潰瘍性大腸炎の粘血便に胃風湯	矢数道明	(32)102	1970年(昭和45)・第17巻・02号
「リウマチ」治療＜その1＞　＜ある患者のメモ＞	宮坂光洋	(34)104	1970年(昭和45)・第17巻・02号
発熱が二ヶ年間続きしものが治癒せし例	宮沢伸佳	(38)108	1970年(昭和45)・第17巻・02号
黄連の薬能	龍野一雄	(40)110	1970年(昭和45)・第17巻・02号
続「東洋医学とともに」（1）▽裏を流れるもの▽本その1▽本その2	大塚敬節	(42)112	1970年(昭和45)・第17巻・02号
昭和44年（1969）漢方略史年表	矢数道明	(45)115	1970年(昭和45)・第17巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年1月＞	協会本部／編集局	(50)120	1970年(昭和45)・第17巻・02号
薬籠の味＜3＞	高橋道史	(51)121	1970年(昭和45)・第17巻・02号
@1970年(昭和45)-第17巻-03号-			
漢方治療上の朝鮮人参	矢数道明	(3)135	1970年(昭和45)・第17巻・03号
東洋医学の将来を考える　－湯液の立場から－	三谷和合	(9)141	1970年(昭和45)・第17巻・03号
修琴堂経験録（2）▽神経症に半夏厚朴湯▽下腹痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽原因不明の浮腫に温清飲▽膿疱症に桂枝茯苓丸料▽病名不明の患者に小柴胡湯合茵チン蒿湯▽尿利減少に桂枝茯苓丸料加防已	大塚敬節	(20)152	1970年(昭和45)・第17巻・03号
治験例　▽気管支喘息と子宮筋腫に苓桂味甘湯▽常習便秘に厚朴七物湯▽カゼに四逆湯	龍野一雄	(23)155	1970年(昭和45)・第17巻・03号

漢方治療ならＯＫとあまり自負することの危険を経験せし例	宮坂伸佳	(26)158	1970年(昭和45)・第17巻・03号
「リウマチ」治療＜その2＞	宮坂光洋	(27)159	1970年(昭和45)・第17巻・03号
続「東洋医学とともに」（2）▽細川勝元▽表現小▽漢方医の服装▽東西文化の交流▽的をみないで弓を引く▽畳に落ちた砂糖をなめた天香師	大塚敬節	(28)160	1970年(昭和45)・第17巻・03号
薬籠の味＜4＞	高橋道史	(32)164	1970年(昭和45)・第17巻・03号
日本医道論＜遺稿＞（4）	安西安周	(33)165	1970年(昭和45)・第17巻・03号
聖光園診療所訪問　岡西為人博士訪問	気賀林一	(46)178	1970年(昭和45)・第17巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年2月＞	協会本部／編集局	(52)184	1970年(昭和45)・第17巻・03号
旋覆花の薬能	龍野一雄	(54)186	1970年(昭和45)・第17巻・03号
竹山（竹山晋一郎）氏著『漢方医術復興の理論』	矢数道明	(55)187	1970年(昭和45)・第17巻・03号
@1970年(昭和45)-第17巻-04号-			
手技の立場で素問を読む	増永静人	(3)197	1970年(昭和45)・第17巻・04号
漢方診療検討録（6）▽第18例：桃核承気湯と大柴胡湯▽第19例：浮腫と五苓散	橋本行生	(7)201	1970年(昭和45)・第17巻・04号
＜漢方今昔座談＞附子の重要性　≪附子と神経痛・関節痛≫四十腕五十肩の治療について▽漢方多紀家の流れを汲む神経痛、リウマチ治療について▽八味疝気方（福井家方）▽芍甘黄辛附湯（南涯）	細迫陽三	(13)207	1970年(昭和45)・第17巻・04号
間中喜雄氏訪問	矢数道明・気賀林一	(20)214	1970年(昭和45)・第17巻・04号
修琴堂経験録（3）▽萎縮性鼻炎に真武湯▽腎炎に当帰芍薬散料▽血の道症に加味逍遥散▽指頭の慢性化膿症に当帰拈痛湯　▽心臓性の呼吸困難に苓桂甘棗湯加厚朴杏仁▽皮膚筋炎（？）に温清飲	大塚敬節	(33)227	1970年(昭和45)・第17巻・04号
漢方による個人予防医学の提唱　＜胆嚢炎の柴胡剤投薬例から＞	阪本正夫	(36)230	1970年(昭和45)・第17巻・04号
黄耆の薬能	龍野一雄	(38)232	1970年(昭和45)・第17巻・04号
続「東洋医学とともに」（3）▽龍を画いて晴を点ぜず▽東西文明の融合▽最後のひとり▽薬徴とその異本	大塚敬節	(40)234	1970年(昭和45)・第17巻・04号
温知堂経験録（44）＜桂枝加竜骨牡蠣湯4題＞心悸亢進症に桂枝加竜骨牡蠣湯▽神経性心悸亢進症に桂枝加竜骨牡蠣湯▽速脈症に桂枝加竜骨牡蠣湯エキス▽欝病といわれたものに桂枝加竜骨牡蠣湯エキス	矢数道明	(43)237	1970年(昭和45)・第17巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年3月＞	協会本部／編集局	(45)239	1970年(昭和45)・第17巻・04号
日本医道論＜遺稿＞（5）	安西安周	(45)239	1970年(昭和45)・第17巻・04号
@1970年(昭和45)-第17巻-05号-			
現代医薬学治療困難症に対する漢方医学治験例　▽症例1：慢性肝炎兼胃潰瘍▽症例2：慢性肝炎と糖尿病▽症例3：気管支喘息、肺気腫、肺性心（心不全）　胃アトニー、慢性胃炎	有地滋	(3)259	1970年(昭和45)・第17巻・05号
レイノー病の針灸治験	代田文誌	(18)274	1970年(昭和45)・第17巻・05号
温知堂経験録（45）＜小児喘息に神秘湯と小青竜湯＞小児喘息に神秘湯エキス（4題）▽小児喘息に小青竜湯エキス（4題）▽手古摺った小児喘息	矢数道明	(21)277	1970年(昭和45)・第17巻・05号
修琴堂経験録（4）▽遺尿症に小建中湯▽間歇性跛行症に八味丸▽無月経に温経湯▽バセドー病に炙甘草湯▽甲状腺腫に瘰癧加味	大塚敬節	(25)281	1970年(昭和45)・第17巻・05号
千金・治歯根動且痛方の治験	相見三郎	(29)285	1970年(昭和45)・第17巻・05号
柴胡の薬能	龍野一雄	(31)287	1970年(昭和45)・第17巻・05号
手技の立場で素問を読む（2）	増永静人	(33)289	1970年(昭和45)・第17巻・05号
続「東洋医学とともに」（4）▽雑誌「心」の「東洋医学をめぐって」をよんで▽逝く春	大塚敬節	(36)292	1970年(昭和45)・第17巻・05号
河童随筆　陽萎か陰萎か	ちぐあん	(41)297	1970年(昭和45)・第17巻・05号
食べ過ぎを警戒せよ　▽風邪の原因▽診察に際しての私の留意事項▽いわゆる血の道症（？）の1例	土本重	(42)298	1970年(昭和45)・第17巻・05号
日本医道論＜遺稿＞（6）	安西安周	(45)301	1970年(昭和45)・第17巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年4月＞	協会本部／編集局	(58)314	1970年(昭和45)・第17巻・05号
@1970年(昭和45)-第17巻-06号-			
脾湾曲症と疎肝湯	内炭精一	(3)321	1970年(昭和45)・第17巻・06号
頸部刺激点に関する2、3の臨床例	菊池三通男	(8)326	1970年(昭和45)・第17巻・06号
温知堂経験録（46）＜十全大補湯治験一束＞原因不明の疲労削痩病に十全大補湯▽肺腫瘍に十全大補湯加カワラタケ▽筋無力症の疑いに十全大補湯▽繰返した手術後の疲れに十全大補湯▽痩せて疲れるというのに十全大補湯▽乳癌手術後の保養に十全大補湯	矢数道明	(13)331	1970年(昭和45)・第17巻・06号
修琴堂経験録（6）▽パーキンソン病に抑肝散加芍薬厚朴を用いた2例▽不妊症に桂枝茯苓丸料▽幼児の湿疹に治頭瘡一方（大キュウ黄湯）▽月経不順に大柴胡湯合桂枝茯苓丸料▽自殺志頼の患者に柴胡加竜骨牡蠣湯	大塚敬節	(16)334	1970年(昭和45)・第17巻・06号
奇経療法と藻塩液　▽三叉神経痛▽多発性関節炎▽自律神経失調症▽間歇性跛行症	土本重	(19)337	1970年(昭和45)・第17巻・06号
近時流行の鞭打ち症の治験	宮沢伸佳	(24)342	1970年(昭和45)・第17巻・06号
第21回日本東洋医学会総会印象記　日本東洋医学会印章記	室賀昭三	(25)343	1970年(昭和45)・第17巻・06号
第21回日本東洋医学会総会印章記　日本東洋医学会総会をきいて	菊谷豊彦	(27)345	1970年(昭和45)・第17巻・06号

高橋道史氏逝去	編集局	(31)349	1970年(昭和45)・第17巻・06号
高橋道史氏の逝去を悼む	矢数道明	(31)349	1970年(昭和45)・第17巻・06号
河童随筆　本家と分家	ちぐあん	(32)350	1970年(昭和45)・第17巻・06号
続「東洋医学とともに」（6）▽広島から四国へ	大塚敬節	(36)354	1970年(昭和45)・第17巻・06号
漢方研究室　解答：問題33：問題34	解答）小倉重成 問題33回答）島津・三浦 問題34回答）島津	(41)359	1970年(昭和45)・第17巻・06号
間中喜雄氏訪問記を読んで	木下晴都	(43)361	1970年(昭和45)・第17巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年5月＞	協会本部／編集局	(46)364	1970年(昭和45)・第17巻・06号
竜骨の薬能	龍野一雄	(48)366	1970年(昭和45)・第17巻・06号
日本医道論＜遺稿＞（7）	安西安周	(49)367	1970年(昭和45)・第17巻・06号
@1970年(昭和45)-第17巻-07号-			
明治初期漢洋脚気病院設立の裏面史とその治療成績について	矢数道明	(3)383	1970年(昭和45)・第17巻・07号
薬理の研究について	龍野一雄	(22)402	1970年(昭和45)・第17巻・07号
漢方診療検討録（7）▽第20例：ある結節性動脈周囲炎（？）の治療	橋本行生	(27)407	1970年(昭和45)・第17巻・07号
日本医道論＜遺稿＞（8）	安西安周	(34)414	1970年(昭和45)・第17巻・07号
香港風邪の小経験	小倉重成	(46)426	1970年(昭和45)・第17巻・07号
修琴堂経験録（7）▽慢性湿疹に白虎加人参大黄湯▽頭痛に五苓散料	大塚敬節	(48)428	1970年(昭和45)・第17巻・07号
手技の立場で素問を読む（3）	増永静人	(51)431	1970年(昭和45)・第17巻・07号
続「東洋医学とともに」（7）▽縁は異なもの▽文学少年▽漢方を学ぶということ	大塚敬節	(54)434	1970年(昭和45)・第17巻・07号
高橋真太郎博士の逝去を悼む	矢数道明	(58)438	1970年(昭和45)・第17巻・07号
高橋真太郎博士を悼む	木村雄四郎	(59)439	1970年(昭和45)・第17巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年6月＞	協会本部／編集局	(60)440	1970年(昭和45)・第17巻・07号
新刊紹介／間中善雄著『『針灸臨床医典』	編集局	(61)441	1970年(昭和45)・第17巻・07号
@1970年(昭和45)-第17巻-08号-			
几几とシュシュの意義に関連して	柴崎保三	(3)449	1970年(昭和45)・第17巻・08号
自律神経症の現代医学的治療と漢方医学的治療について（その1）　症例：いわゆる血の道症兼慢性肝炎	有地滋	(11)457	1970年(昭和45)・第17巻・08号
七伝とカン蔵	戸田一盛	(19)465	1970年(昭和45)・第17巻・08号
修琴堂経験録（8）▽腰背痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽じんましんに柴胡桂枝湯▽粘液水腫に真武湯▽歩行困難に八味丸▽歯痛に加味清胃散▽不妊に当帰芍薬散料▽黒皮症に温清飲	大塚敬節	(23)469	1970年(昭和45)・第17巻・08号
温知堂経験録（47）▽眼痛と顔面痛に五苓湯▽生理後の嘔吐と倦怠感が柴苓湯で▽パーキンソン病類似症に抑肝散加陳皮半夏厚朴芍薬▽慢性胃炎の極虚症に柴芍六君子湯	矢数道明	(27)473	1970年(昭和45)・第17巻・08号
続「東洋医学とともに」（8）▽わが絵わが歌▽伝説▽とぎ屋の父子	大塚敬節	(30)476	1970年(昭和45)・第17巻・08号
ああ高橋道史先生	藤平健	(34)480	1970年(昭和45)・第17巻・08号
日本医道論＜遺稿＞（9）	安西安周	(36)482	1970年(昭和45)・第17巻・08号
河童随筆　1日3回分服	ちぐあん	(48)494	1970年(昭和45)・第17巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年7月＞	協会本部／編集局	(49)495	1970年(昭和45)・第17巻・08号
小倉先生訪問記	橋本行生	(50)496	1970年(昭和45)・第17巻・08号
漢方研究室　出題：問題37　胃腸症状を伴うベーチェット病／解答：問題35	出題・解答）小倉重成 回答）村上・島津	(52)498	1970年(昭和45)・第17巻・08号
故阪大教授薬学博士高橋真太郎氏の「お別れのことば」	編集局	(54)500	1970年(昭和45)・第17巻・08号
難治の慢性病治験1例	張重信	(57)503	1970年(昭和45)・第17巻・08号
@1970年(昭和45)-第17巻-09号-			
自律神経症の現代医学的治療と漢方医学的治療について（その2）　症例1：自律神経失調症（いわゆる血の道症）兼慢性肝炎	有地滋	(3)511	1970年(昭和45)・第17巻・09号
筍庵経験録（3）▽うつ病▽慢性盲腸炎？▽膝関節が曲らない男児▽高血圧症▽蕁麻疹	山田光胤	(12)520	1970年(昭和45)・第17巻・09号
修琴堂経験録（9）▽治頭瘡一方の加減方▽血痰に麦門冬湯加黄連▽心身の発育不良に柴胡桂枝湯▽三叉神経痛	大塚敬節	(15)523	1970年(昭和45)・第17巻・09号
温知堂経験録（48）＜駆オ血剤治験集＞頑固な湿疹に大黄牡丹皮湯加味▽月経困難症に桃核承気湯合桂枝茯苓丸▽生理前の乳嘴痛に桂枝茯苓丸と茯苓飲▽バセドー病に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽血の道症状に桂枝茯苓丸料	矢数道明	(19)527	1970年(昭和45)・第17巻・09号
最近の治例　▽胃癌と風浴療法▽五十肩と独活湯	土本重	(22)530	1970年(昭和45)・第17巻・09号
難治気管支喘息の漢方治験例	阪本正夫	(28)536	1970年(昭和45)・第17巻・09号
日本医道論＜遺稿＞（10）	安西安周	(29)537	1970年(昭和45)・第17巻・09号
続「東洋医学とともに」（9）▽患者の職業▽水▽相変らずですとおかげさま▽恥かしいこと▽読みにくい姓▽ある娘▽めしは腹のつめ▽自然を忘れる子供たち	大塚敬節	(41)549	1970年(昭和45)・第17巻・09号
漢方研究室　出題：問題38　関節リウマチ／解答：問題36	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(44)552	1970年(昭和45)・第17巻・09号

温知荘雑筆　とりがぶと異聞	矢数道明	(46)554	1970年(昭和45)・第17巻・09号
河童随筆　におい	ちぐあん	(48)556	1970年(昭和45)・第17巻・09号
喘息	香宗我部譲	(49)557	1970年(昭和45)・第17巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年8月＞	協会本部／編集局	(51)559	1970年(昭和45)・第17巻・09号
兀兀地思量什ニ　＜兀兀の弁＞	金田義人	(52)560	1970年(昭和45)・第17巻・09号
@1970年(昭和45)-第17巻-10号-			
医家名鑑について（1）	矢数道明	(3)573	1970年(昭和45)・第17巻・10号
聖光園グループ座談会	坂口弘・内炭精一・細野八郎・園田善男・山崎正寿・矢数道明・気賀林一	(9)579	1970年(昭和45)・第17巻・10号
修琴堂経験録（10）▽月経不順と嘔吐に五苓散▽顕固な咳嗽に滋陰降火湯▽チックと夜間の遺尿に小建中湯▽胸背痛に当帰湯2例	大塚敬節	(27)597	1970年(昭和45)・第17巻・10号
日本医道論＜遺稿＞（11）	安西安周	(29)599	1970年(昭和45)・第17巻・10号
温知堂経験録（49）＜頭痛、耳鳴、めまいなど一束＞朝方の頭痛に釣藤散▽頭痛、眩暈、耳鳴に釣藤散▽高血圧の耳鳴に柴胡加竜骨牡蠣湯▽高血圧の耳鳴に柴胡加竜骨牡蠣湯▽メニエール病に半夏白朮天麻湯▽治っていた耳鳴を再起させてしまった失敗例	矢数道明	(46)616	1970年(昭和45)・第17巻・10号
雑記帳　黄土湯▽寸尺の脈▽柴崎保三氏の業績について▽手掌紅斑	龍野一雄	(49)519	1970年(昭和45)・第17巻・10号
続「東洋医学とともに」（10）▽秋雨に想う▽医道二千年眼目▽万国博を見ざるの記▽かくしげい犬の交尾▽七銭の切符とガマロ▽ある料亭のこと	大塚敬節	(52)622	1970年(昭和45)・第17巻・10号
漢方研究室　出題：問題39　関節リウマチ／解答：問題37	出題・解答）小倉重成 回答）村上	(56)626	1970年(昭和45)・第17巻・10号
河童随筆　東西医学の断絶	ちぐあん	(58)628	1970年(昭和45)・第17巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年9月＞	協会本部／編集局	(59)629	1970年(昭和45)・第17巻・10号
@1970年(昭和45)-第17巻-11号-			
漢方診療検討録（8）▽第21例：女性肥満症	橋本行生	(3)639	1970年(昭和45)・第17巻・11号
東洋医学の二方面　湯液と針灸の併用　五味について　虚証の患者	代田文誌	(11)647	1970年(昭和45)・第17巻・11号
温知堂経験録（50）▽肺気腫と喘息の呼吸困難咳嗽に麻杏甘石湯加味▽微熱と下肢削痩、歩行困難症に柴胡桂枝乾姜湯加減▽頑固な肩こりに通気防風湯と牛黄丸▽禿髪症に柴胡加竜骨牡蠣湯エキス	矢数道明	(15)651	1970年(昭和45)・第17巻・11号
修琴堂経験録（11）▽三叉神経痛に桂枝茯苓丸料▽桂茯丸料でじんましん▽尿路の腫瘍に四物湯合猪苓湯と桂枝茯苓丸料▽神経症に半夏厚朴湯▽血の道に当帰芍薬散料▽爪鉤弯症に加味逍遥散加ヨク苡仁地黄▽不眠症に八味丸加大黄	大塚敬節	(19)655	1970年(昭和45)・第17巻・11号
激症の後頭神経痛	土本重	(22)658	1970年(昭和45)・第17巻・11号
義脚の嚆矢と日本に於ける「クロロホルム」の創用（遺稿）	高橋道史	(25)661	1970年(昭和45)・第17巻・11号
日本医道論＜遺稿＞（12）	安西安周	(28)664	1970年(昭和45)・第17巻・11号
続「東洋医学とともに」（11）▽宣伝▽チップ▽おめかけ▽若き日の無礼	大塚敬節	(41)677	1970年(昭和45)・第17巻・11号
＜旅のメモから＞最近の漢方事情　アメリカ・イギリス	長倉吉宏	(44)680	1970年(昭和45)・第17巻・11号
東西医学を愚痴る（イ）	橋本行生	(49)685	1970年(昭和45)・第17巻・11号
河童随筆　評論家と解説者	ちぐあん	(51)687	1970年(昭和45)・第17巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年10月＞	協会本部／編集局	(52)688	1970年(昭和45)・第17巻・11号
@1970年(昭和45)-第17巻-12号-			
大阪の吉益家について	中野操	(3)701	1970年(昭和45)・第17巻・12号
大同類聚方について	木場旦山	(11)709	1970年(昭和45)・第17巻・12号
「体質鍼」の偉効	廉泰煥	(21)719	1970年(昭和45)・第17巻・12号
薬用人参抽出物プロスチゾールの臨床実験的研究（第1報）　▽症例1：慢性リウマチ性関節炎▽症例2：両性不良性貧血▽症例3：糖尿病・胃潰瘍	有地滋	(29)727	1970年(昭和45)・第17巻・12号
修琴堂経験録（12）▽六君子湯の不思議な薬効▽温薬必ずしも温めず冷薬必ずしも冷やさず▽不妊症に甘連石膏湯加梔子▽皮膚病に温清飲	大塚敬節	(36)734	1970年(昭和45)・第17巻・12号
温知堂経験録（51）＜思いがけない病症一束＞たこと魚の目多発症に紫雲膏▽数年来の血尿が胃苓湯で▽食欲不振に大柴胡湯▽毎月1回不明の発熱に小柴胡湯▽半夏過敏症の患者▽紅汗症の患者▽掌蹠膿胞症に民間石薬の偉効	矢数道明	(39)737	1970年(昭和45)・第17巻・12号
続「東洋医学とともに」（12）▽還らぬ友（1）▽環らぬ友（2）	大塚敬節	(43)741	1970年(昭和45)・第17巻・12号
訪韓紀行	矢数道明	(46)744	1970年(昭和45)・第17巻・12号
漢方研究室　出題：問題40　慢性関節リウマチと慢性球後視束炎／解答：問題38	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(51)749	1970年(昭和45)・第17巻・12号
東西医学を愚痴る（ロ）	橋本行生	(53)751	1970年(昭和45)・第17巻・12号
河童随筆　死ななきゃ必ず治る	ちぐあん	(55)753	1970年(昭和45)・第17巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年11月＞	協会本部／編集局	(56)754	1970年(昭和45)・第17巻・12号
書評／桑木崇秀著『近代医学と漢方を結ぶ糖尿病のすべて』	橋本行生	(58)756	1970年(昭和45)・第17巻・12号
@1971年(昭和46)-第18巻-01号-			

新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞すべては我が師	舘野健	(3)3	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	竹内達	(3)3	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	原三郎	(3)3	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	大塚敬節	(4)4	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	高橋良忠	(4)4	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	相見三郎	(4)4	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	木村康一	(4)4	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	木村雄四郎	(4)4	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞あらたまの年立ちかえる朝なり	有地滋	(5)5	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	木下晴都	(5)5	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	藤平健	(5)5	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	土本重	(6)6	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	上木正博	(6)6	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	七条晃正	(6)6	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	間中喜雄	(7)7	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	木村忠二郎	(7)7	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	小椋道益	(7)7	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	長倉吉宏	(7)7	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	岡西為人	(7)7	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞唐の王冰撰素問の重広補注本に	戸田一盛	(8)8	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	今泉三郎	(8)8	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞「桃李不言、下自成蹊」	加藤勝美	(8)8	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	長尾泰爾	(8)8	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	津田進三	(9)9	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	建林静枝	(9)9	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	中村了介	(9)9	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	菊谷豊彦	(9)9	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	増永静人	(10)10	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	岩佐礼一	(10)10	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞為す	小倉重成	(10)10	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	阪本正夫	(10)10	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	橋本行生	(11)11	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	西山宗之	(11)11	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	原田正敏	(11)11	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	日野厚	(11)11	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	中山友記	(12)12	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	金田義人	(12)12	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	小野文恵	(12)12	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	飯田穣	(12)12	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞猪胆汁と豚胆	長塩容伸	(12)12	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	鮎川濯三	(12)12	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞楽天知命	代田文誌	(13)13	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	大塚恭男	(13)13	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞ベーチェット病とミカンの黒焼	細野八郎	(13)13	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	藤田彰久	(14)14	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞『一隅を照らす』	荒木正胤	(14)14	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	秋元恵一	(14)14	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	矢数圭堂	(14)14	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	小沢慶三	(14)14	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	倉島宗二	(15)15	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	橋本敬三	(15)15	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	渡利一水	(15)15	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	戸部宗七郎	(15)15	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	松下嘉一	(16)16	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	松島龍太郎	(16)16	1971年(昭和46)・第18巻・01号

新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	木村佐京	(16)16	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	藤田六朗	(16)16	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	桑木崇秀	(17)17	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	松本俊二	(17)17	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	生駒憲彦	(17)17	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	山田光胤	(17)17	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	土田茂雄	(18)18	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	宮坂光洋	(18)18	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	寺師睦濟	(18)18	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	戸田秀実	(18)18	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞日韓漢方医学交流の歴史	矢数道明	(18)18	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	室賀昭三	(19)19	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	張重信	(19)19	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞	河内省一	(19)19	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞所感	柴崎保三	(20)20	1971年(昭和46)・第18巻・01号
新年のことば　＜昭和46年（1971年）＞漢方界の動向について	伊藤清夫	(21)21	1971年(昭和46)・第18巻・01号
椎体性腹背診の研究（第2報）「上実から下虚へ下虚から上実へ」の一断面について	小川新	(24)24	1971年(昭和46)・第18巻・01号
温知堂経験録（52）＜チック様疾患に抑肝散＞チック症▽チック様吐息発作に抑肝散加陳皮半夏▽チック症に抑肝散加陳皮半夏エキス▽潔癖症とチック症に抑肝散加味▽精薄傾向者に抑肝散加芍薬	矢数道明	(32)32	1971年(昭和46)・第18巻・01号
小治験　▽嗄声▽肩凝り・頭痛▽アレルギー性皮膚炎▽リウマチ性虹彩炎▽感冒	小倉重成	(35)35	1971年(昭和46)・第18巻・01号
腰痛の治験	岡野勝憲	(37)37	1971年(昭和46)・第18巻・01号
最近の治例　▽胃癌2例▽多発性関節リウマチ2例	土本重	(39)39	1971年(昭和46)・第18巻・01号
気管支喘息	渡利一水	(45)45	1971年(昭和46)・第18巻・01号
下痢の特効穴	崔周若	(47)47	1971年(昭和46)・第18巻・01号
エジプト漫遊記	間中喜雄	(49)49	1971年(昭和46)・第18巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和45年12月＞	協会本部／編集局	(54)54	1971年(昭和46)・第18巻・01号
本誌昭和45年度総目次	編集局	(56)56	1971年(昭和46)・第18巻・01号
河童随筆　やりくり	ちぐあん	(58)58	1971年(昭和46)・第18巻・01号
@1971年(昭和46)-第18巻-02号-			
証への入り口	龍野一雄	(3)65	1971年(昭和46)・第18巻・02号
夜間発作性咳嗽に小青竜湯　▽小青竜湯3例▽浮腫に小青竜湯▽尿管結石に通導散	伊藤良	(12)74	1971年(昭和46)・第18巻・02号
筍庵経験録（4）▽諸方剤使用後ようやく効いた小青竜湯▽意外、虚証にあらず（黄連解毒湯加甘草）▽軽うつ病（仮面うつ病）に意外な著効▽嗅覚回復	山田光胤	(16)78	1971年(昭和46)・第18巻・02号
最近の治験例　▽頭痛に挑核承気湯・釣藤散▽冷え症と下痢に真武湯・附子理中湯	菊谷豊彦	(19)81	1971年(昭和46)・第18巻・02号
温知堂経験録（53）＜高熱・扁平疣・肩凝り・背痛・嚏＞原因不明の高熱発作に小青竜湯▽顔面の扁平疣多発症に当帰芍薬散加ヨク苡仁▽肩と背の凝りに通気防風湯▽背痛と不眠と足浮腫に柴胡桂枝湯と五苓散▽くしゃみと衄血に葛根湯合黄連解毒湯	矢数道明	(21)83	1971年(昭和46)・第18巻・02号
手術忌避患者に対する漢方の役割	阪本正夫	(24)86	1971年(昭和46)・第18巻・02号
最近の治例　▽肝障碍兼胃炎▽私の歯痛	土本重	(27)89	1971年(昭和46)・第18巻・02号
良導絡測定器（ノイロメーター）に依る漢方医学の基本原理たる陰陽表裏虚実、五行相剋、臨床統計	崔周若	(30)92	1971年(昭和46)・第18巻・02号
薬用人参抽出物プロスチゾールの臨床実験的研究（第2報）	有地滋	(35)97	1971年(昭和46)・第18巻・02号
漢方煎剤の保険診療について	井出操・長瀬千寿子・橋本行生・望月明子・山田ミョウ美	(37)99	1971年(昭和46)・第18巻・02号
慢性腸炎の食養	松下嘉一	(40)102	1971年(昭和46)・第18巻・02号
昭和45年度漢方医界年表	矢数道明	(44)106	1971年(昭和46)・第18巻・02号
東西医学を愚痴る（ハ）＜商売敵＞	橋本行生	(49)111	1971年(昭和46)・第18巻・02号
漢方研究室　出題：問題41　月経過多症・帯下・子宮筋腫／解答：問題39	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(51)113	1971年(昭和46)・第18巻・02号
河童随筆　だましだまし	ちぐあん	(52)114	1971年(昭和46)・第18巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年1月＞	協会本部／編集局	(53)115	1971年(昭和46)・第18巻・02号
華岡青洲の学説と東洋古代の麻酔薬＜遺稿＞	高橋道史	(55)117	1971年(昭和46)・第18巻・02号
@1971年(昭和46)-第18巻-03号-			
証のとらえ方	龍野一雄	(3)127	1971年(昭和46)・第18巻・03号
釣藤散の使用経験	室賀昭三	(17)141	1971年(昭和46)・第18巻・03号
漢方診療検討録（9）▽第22例：不正子宮出血・蕁麻疹・急性肝炎と茵チン蒿湯	橋本行生	(20)144	1971年(昭和46)・第18巻・03号

出来たての麻黄湯証を観る	藤平健	(26)150	1971年(昭和46)・第18巻・03号
温知堂経験録（54）＜治験ー束ー腓腸筋痙攣その他＞脾腸筋痙攣に芍薬甘草湯（1）▽脾腸筋痙攣に芍薬甘草湯（2）▽アレルギー性湿疹に消風散▽アレルギー性鼻炎に葛根湯エキス末▽慢性腸炎に桂枝加芍薬湯▽大腸憩室の下痢に胃風湯▽膀胱尿道炎に猪苓湯と甘草煎湿布	矢数道明	(29)153	1971年(昭和46)・第18巻・03号
腹水の治験例	宮坂光洋	(32)156	1971年(昭和46)・第18巻・03号
四象（体質）診療に依る「熱多寒少湯」の治験例	宋炳基	(34)158	1971年(昭和46)・第18巻・03号
近代医学の診断と漢方医学の診断	有地滋	(40)164	1971年(昭和46)・第18巻・03号
温知荘雑筆　＜失敗の記録＞ヒステリー発作に驚く▽急行列車の中の卒倒者を診て▽ほとばしり出る鼻血ー逆経異変	矢数道明	(50)174	1971年(昭和46)・第18巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年2月＞	協会本部／編集局	(53)177	1971年(昭和46)・第18巻・03号
小経験　眼球痛	吉原浅吉	(54)178	1971年(昭和46)・第18巻・03号
本居宣長の一面＜遺稿＞	高橋道史	(54)178	1971年(昭和46)・第18巻・03号
河童随筆　アネクドート	ちぐあん	(56)180	1971年(昭和46)・第18巻・03号
小治験　▽乳腫瘤に桂枝茯苓丸と小柴胡合方▽子宮筋腫手術後7年間尿もれを五苓散▽甲状腺腫手術後声嗄に亀鹿二仙膠と人参茶	王有祥	(57)181	1971年(昭和46)・第18巻・03号
@1971年(昭和46)-第18巻-04-05号合併号-＜第200号記念特集号・東洋医学の特質とその治療＞			
200号記念特集号発刊に際して	矢数道明	(5)191	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞日本における傷寒論の受容　ー日本漢方の特質ー	大塚敬節	(7)193	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞金匱要略の特質とその読み方	細野史郎	(18)204	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞「傷寒論」と「金匱要略」の特質について	荒木正胤	(32)218	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞傷寒論の特質・治療方針並びに診療の実際	藤平健	(45)231	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞傷寒論の特質と治療方針及びその診療の実際について	相見三郎	(74)260	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞後世派医学（金元李朱医学）の特質について	矢数道明	(85)271	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞「千金要方」について	大塚恭男	(115)301	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞折衷派の本質とその立場	山田光胤	(129)315	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞中国本草の史的展望	岡西為人	(139)325	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞本草の「苗」について	宮下三郎	(175)361	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞東洋医学の特質について　ー特に神農本草経及び扁鵲伝を中心としてー	和田正系	(179)365	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞針灸の史的展望　ー各時代の特質と臨床の観点からー	代田文誌	(193)379	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞古典再検討の必要を思う	柴崎保三	(215)401	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞証の論理＜東洋医学の特質＞	龍野一雄	(238)424	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞湯液の証と針灸の証	松下嘉一	(255)441	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞日本の医療と漢方	伊藤清夫	(280)466	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞病に対して医学の占める役割と真の健康	小倉重成	(287)473	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞脈診について	小椋道益	(297)483	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞腹診について	寺師睦濟	(320)506	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞舌診について	三谷和合	(327)513	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞小陥胸湯の運用について	伊藤良	(334)520	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞漢方外用薬の特質とその応用　ー紫雲膏の運用についてー	矢数道明	(358)544	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞外傷性潜在オ血障害の種々相	小川新	(368)554	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞慢性関節リウマチの診断と漢方薬使用例の考察	菊谷豊彦	(390)576	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞現代医学と対比して観た東洋医学の特質とその治療方針	小島喜久男	(404)590	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞現代医学と対比して観た東洋医学の特質とその治療方針	桑木崇秀	(412)598	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞現代医学と漢方医学の提携	原桃介	(426)612	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
＜第200号記念＞胸脇苦満についての1考察	有地滋	(431)617	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
記念号執筆者紹介	編集局	(445)631	1971年(昭和46)・第18巻・04-05号
@1971年(昭和46)-第18巻-06-07号合併号-			
神農本草経は薬医学である	高橋良忠	(3)649	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
筍庵経験録（5）＜膠原病・スモン病・漢薬の反応＞▽膠原病？▽スモン病後遺症▽漢方薬の反応	山田光胤	(27)673	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
上気道疾患と針灸治療	代田文誌	(30)676	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
麻黄附子細辛湯証をみなおそう	藤平健	(34)680	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
大柴胡湯経験3例	藤井美樹	(37)683	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
茵チン蒿湯と潜在性黄疸	有地滋	(40)686	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
参苓白朮散の経験	阪本正夫	(44)690	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
慢性肝炎の臨床症例　第1例	宮坂光洋	(44)690	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号

温知堂経験録（55）＜慢性胃炎・疲労病、バセドー病その他＞慢性胃腸炎に柴芍六君子湯▽疲労病に十味ザ散と帰脾湯▽バセドー病に炙甘草湯▽陰部湿疹に柴胡勝湿湯▽口渇、多尿に白虎加人参湯	矢数道明	(46)692	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
参蘇飲の経験	山本巖	(49)695	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
第22回日本東洋医学会印象記	坂口弘・間中喜雄・藤平健・高橋良忠	(52)698	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
漢方研究室　出題：問題42　眠れぬ位激烈な坐骨神経痛／解答：問題40	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(65)711	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
河童随筆　誤解について	ちぐあん	(67)713	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
日本漢方医師現況調査表	編集局	(68)714	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
本協会医師会員の名簿	編集局	(72)718	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年3月・4月・5月・6月＞	協会本部／編集局	(75)721	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
書評／『臨床40年続・続・漢方治療百話』を読む　－矢数道明著－	三谷和合	(80)726	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
本誌創刊以降の執筆者・協会関係者・援助広告者　名簿	編集局	(83)729	1971年(昭和46)・第18巻・06-07号
@1971年(昭和46)-第18巻-08号-			
漢方医学的見地からの慢性肝炎についての1考察　▽症例1：慢性肝炎兼胃潰瘍▽症例2：慢性肝炎	有地滋	(3)751	1971年(昭和46)・第18巻・08号
漢方診療検討録（10）▽第23例：断食の失敗に四逆湯	橋本行生	(12)760	1971年(昭和46)・第18巻・08号
肺炎に小陥胸湯の偉効	伊藤良	(16)764	1971年(昭和46)・第18巻・08号
温知堂経験録（56）＜胆嚢症と不妊症＞胆嚢症に柴胡桂枝湯▽肝胆症候群に柴胡桂枝湯▽不妊症に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽不妊症に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽咽胸部痙攣に大柴胡湯	矢数道明	(18)766	1971年(昭和46)・第18巻・08号
慢性肝炎の臨床症例　第2例	宮坂光洋	(21)769	1971年(昭和46)・第18巻・08号
嗄声治験	中山友記	(23)771	1971年(昭和46)・第18巻・08号
陰嚢湿疹に桂皮油	入江正	(25)773	1971年(昭和46)・第18巻・08号
最近の治験例　▽右半身不随症▽精神分裂症▽早発性痴呆症	土本重	(26)774	1971年(昭和46)・第18巻・08号
慢性胃炎の食養	松下嘉一・金坂梢	(30)778	1971年(昭和46)・第18巻・08号
古典に言う結胸とは何か？	花村訓充	(35)783	1971年(昭和46)・第18巻・08号
「医学思想の貧困」を読んで	阪本正夫	(37)785	1971年(昭和46)・第18巻・08号
東西医学を愚痴る（ニ）＜合作＞	橋本行生	(38)786	1971年(昭和46)・第18巻・08号
河童随筆　ギッタンバッタン	ちぐあん	(40)788	1971年(昭和46)・第18巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年7月＞	協会本部／編集局	(41)789	1971年(昭和46)・第18巻・08号
従来の舌診学と今後の舌診学（1）	高橋良忠	(42)790	1971年(昭和46)・第18巻・08号
@1971年(昭和46)-第18巻-09号-			
人迎脈口診について	戸田一盛	(3)813	1971年(昭和46)・第18巻・09号
尿路感染症に対する竜胆瀉肝湯の治験	山本巖	(7)817	1971年(昭和46)・第18巻・09号
温知堂経験録（57）▽アイ気頻発症に半夏瀉心湯加茯苓▽湿疹に消風散の内服と浴用▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯エキス▽腸癌に桂枝加芍薬湯	矢数道明	(10)820	1971年(昭和46)・第18巻・09号
湿性肋膜炎に十棗湯と秦ギョウ別甲湯加味方	伊藤良	(13)823	1971年(昭和46)・第18巻・09号
慢性肝炎の臨床症例　第3例（治難な症例）第1報	宮坂光洋	(15)825	1971年(昭和46)・第18巻・09号
日本漢方関係者個人蔵書目録集成の発行について	矢数道明	(18)828	1971年(昭和46)・第18巻・09号
従来の舌診学と今後の舌診学（2）	高橋良忠	(27)837	1971年(昭和46)・第18巻・09号
現代医学と漢方医学の診断について	有地滋	(46)856	1971年(昭和46)・第18巻・09号
＜漢方今昔座談＞沈香について	細迫陽三	(49)859	1971年(昭和46)・第18巻・09号
最近の投薬経験	佐橋紀男	(56)866	1971年(昭和46)・第18巻・09号
河童随筆　還歴	ちぐあん	(58)868	1971年(昭和46)・第18巻・09号
『続・続漢方治療百話』を読んでの所感	木村雄四郎	(59)869	1971年(昭和46)・第18巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年8月＞	協会本部／編集局	(60)870	1971年(昭和46)・第18巻・09号
@1971年(昭和46)-第18巻-10号-			
甲状腺機能亢進症の臨床的研究	菊谷豊彦	(3)875	1971年(昭和46)・第18巻・10号
慢性肝炎治療に対する柴胡剤・駆オ血剤の効果	有地滋	(16)888	1971年(昭和46)・第18巻・10号
温知堂経験録（58）▽右顔半面のシビレと痛みに清上ケン痛湯▽無汗症が五積散で発汗流るる如し▽慢性湿疹に消風散と温清飲▽湿疹に加味逍遥散▽手掌角皮症に加味逍遥散加地骨皮荊芥	矢数道明	(23)895	1971年(昭和46)・第18巻・10号
第5回和漢薬シンポジウム「三黄丸と高血圧」に出席して	木村雄四郎	(26)898	1971年(昭和46)・第18巻・10号
第5回和漢薬シンポジウム印象記	室賀昭三	(28)900	1971年(昭和46)・第18巻・10号
『誤まれる現代医学』の著者橋本行生博士を国立東静病院に訪ねて	矢数道明	(31)903	1971年(昭和46)・第18巻・10号
矢数博士提唱「牛黄丸貼布療法」の追試報告	長友次男	(35)907	1971年(昭和46)・第18巻・10号
中国における医学をめぐって	阪本正夫	(39)911	1971年(昭和46)・第18巻・10号
『東医宝鑑』の著者「許浚」略伝	矢数道明	(45)917	1971年(昭和46)・第18巻・10号

『東医宝鑑』秘史	韓賛セキ	(48)920	1971年(昭和46)・第18巻・10号
邦訳『ススルタ大医典』出版始末記	高柳欽一	(50)922	1971年(昭和46)・第18巻・10号
河童随筆　道	ちぐあん	(56)928	1971年(昭和46)・第18巻・10号
漢方研究室　出題：問題43　慢性関節リウマチ／解答：問題41	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(57)929	1971年(昭和46)・第18巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年9月＞	協会本部／編集局	(59)931	1971年(昭和46)・第18巻・10号
@1971年(昭和46)-第18巻-11号-			
和柴胡と唐柴胡の撰品	木村雄四郎	(3)941	1971年(昭和46)・第18巻・11号
気管支喘息の臨床的研究	菊谷豊彦	(8)946	1971年(昭和46)・第18巻・11号
動物性生薬の研究＜第1報＞　強壮作用に就て	有地滋・片山和夫・岡田雄作	(20)958	1971年(昭和46)・第18巻・11号
慢性腎炎の食養	松下嘉一・金坂梢	(27)965	1971年(昭和46)・第18巻・11号
『本草弁疑』の複刻と六神サクについて	矢数道明	(36)974	1971年(昭和46)・第18巻・11号
肝炎およびその他	山本重	(39)977	1971年(昭和46)・第18巻・11号
温知堂経験録（59）＜頑固な頚部淋巴腺腫の3症例＞頚部淋巴腺腫に小柴胡湯瘰癧加減▽頚部淋巴腺腫に散腫潰堅湯及び十六味流気飲▽頚部リンパ腺腫に紫根牡蠣湯加カワラタケ、小柴胡湯加味方、十六味流気飲	矢数道明	(44)982	1971年(昭和46)・第18巻・11号
東西医学を愚痴る（ホ）＜内部崩壊＞	橋本行生	(48)986	1971年(昭和46)・第18巻・11号
漢方研究室　出題：問題44　ベーチェット病／解答：問題42	出題・解答）小倉重成 回答）Ｍ生・Ｍ	(50)988	1971年(昭和46)・第18巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年10月＞	協会本部／編集局	(52)988	1971年(昭和46)・第18巻・11号
河童随筆　ほんやく	ちぐあん	(54)992	1971年(昭和46)・第18巻・11号
新刊紹介／複刻版『漢方と漢薬』	山田光胤	(55)993	1971年(昭和46)・第18巻・11号
@1971年(昭和46)-第18巻-12号-			
十六味流気飲の運用について　▽治例1：全身凝塊疼痛▽治例2：瘰癧潰膿▽治例3：甲状腺腫▽治例4：乳腺症（マストパチー）▽治例5：甲状腺腫▽治例6：頚部淋巴腺腫に十六味流気飲▽治例7：頚部リンパ腺腫に十六味流気飲▽治例8：膠原病の疑い淋巴腺腫と乳腺症	矢数道明	(3)1003	1971年(昭和46)・第18巻・12号
当帰の撰品－北海当帰は薬用に適しないかー	木村雄四郎	(9)1009	1971年(昭和46)・第18巻・12号
経穴と各種臓器との関係（第1篇）胃と胃経経穴・胆嚢と胆経・肝経との関係	有地滋	(15)1015	1971年(昭和46)・第18巻・12号
面疱・流産癖・私の析り	土本重	(24)1024	1971年(昭和46)・第18巻・12号
高血圧の食養	松下嘉一・金坂梢	(27)1027	1971年(昭和46)・第18巻・12号
四象体質に対する現代生理学的なる研究	盧乙善	(32)1032	1971年(昭和46)・第18巻・12号
韓国における漢方国際交流会に出席して	室賀昭三	(38)1038	1971年(昭和46)・第18巻・12号
韓国の印象	桑木崇秀	(41)1041	1971年(昭和46)・第18巻・12号
漢方研究室　出題：問題44　耳漏：問題45　スモン病：問題46　急性胃腸カタル、腰痛／解答：問題43	出題・解答）小倉重成 回答）真柴・Ｍ	(43)1043	1971年(昭和46)・第18巻・12号
毒薬草、仙人草のはなしに因みて	長友次男	(47)1047	1971年(昭和46)・第18巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年11月＞	協会本部／編集局	(51)1051	1971年(昭和46)・第18巻・12号
挑戦的教育	間中喜雄	(54)1054	1971年(昭和46)・第18巻・12号
@1972年(昭和47)-第19巻-01号-			
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞内藤くすり資料館へのご案内	木村雄四郎	(3)3	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	三木栄	(3)3	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	島田健一	(4)4	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	菊谷豊彦	(4)4	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞五柳居廿八字詩抄	月江寺明	(4)4	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	土本重	(5)5	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	小曽戸丈夫	(5)5	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	代田文誌	(5)5	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	大塚敬節	(5)5	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	橋本敬三	(6)6	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞医大学生の漢方に対する関心度について	矢数道明	(6)6	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	長友次男	(7)7	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	山元豊治	(7)7	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	間中喜雄	(7)7	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	高橋良忠	(7)7	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	津田卓二	(7)7	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	朝比奈泰彦	(8)8	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	柴崎保三	(8)8	1972年(昭和47)・第19巻・01号

新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	橋本行生	(8)8	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	竹内達	(9)9	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞東洋医学の新しい基盤	木下晴都	(9)9	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	宮沢伸佳	(9)9	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞落鮎	相見三郎	(10)10	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	小倉重成	(10)10	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞老境にありて	松岡武保	(10)10	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	三谷和合	(11)11	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	有地滋	(11)11	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	宮下三郎	(11)11	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	河内省一	(11)11	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	木村佐京	(12)12	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	飯田穣	(12)12	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞生機流動・東西一如	原三郎	(12)12	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞現代漢方の行方	荒木正胤	(13)13	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	木場宏	(13)13	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	増永静人	(13)13	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	戸部宗七郎	(13)13	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	鮎川濯三	(14)14	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞新年のことば	山崎広熊	(14)14	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	小野文恵	(14)14	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	藤平健	(15)15	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	津田進三	(15)15	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	西脇平士	(15)15	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	笠井修	(16)16	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	建林静枝	(16)16	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	山田光胤	(17)17	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	木村忠二郎	(17)17	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞志賀の山	久能靖	(17)17	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	戸田一盛	(18)18	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	岡西為人	(18)18	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	松下嘉一	(18)18	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	三田寛	(18)18	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	板橋博史	(19)19	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	ハイ元植	(19)19	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	宮坂光洋	(19)19	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	原田正敏	(19)19	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	桑木崇秀	(19)19	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	戸田秀実	(20)20	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞漢方の原点に帰れ！	寺師睦済	(20)20	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	阪本正夫	(20)20	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	中村了介	(20)20	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞＜漢方の認識＞のみおとした認識	舘野健	(21)21	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	渡利一水	(21)21	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞心する科学	藤井美樹	(21)21	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	土田茂雄	(22)22	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	西澤道允	(22)22	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	神戸源蔵	(22)22	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	中祖英雄	(22)22	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	松本俊二	(23)23	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	細迫棗園	(23)23	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	中島隨象	(23)23	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	塚本赳夫	(23)23	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	室賀昭三	(24)24	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	岩佐礼一	(24)24	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞期待と覚悟	伊藤清夫	(24)24	1972年(昭和47)・第19巻・01号

新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	金田義人	(24)24	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞	小椋道益	(25)25	1972年(昭和47)・第19巻・01号
新年のことば　＜昭和47年（1972年）＞癲癇の今昔	上本正博	(25)25	1972年(昭和47)・第19巻・01号
神農本草経の乳難と産難について	矢数道明	(26)26	1972年(昭和47)・第19巻・01号
いわゆる婦人血の道について（特に発生の機転並びに治療方針）	山田光胤	(32)32	1972年(昭和47)・第19巻・01号
慢性ネフローゼの長期観察	相見三郎	(40)40	1972年(昭和47)・第19巻・01号
温知堂経験録（60）＜脚気、指先の荒れ、夜尿症、失敗例＞潜在性脚気に九味檳榔湯と糠▽指先の荒れと不妊症に温経湯▽夜尿症に小建中湯▽洗肝明目散で思わぬ侵襲反応	矢数道明	(43)43	1972年(昭和47)・第19巻・01号
食物とくすり　＜肝硬変兼糖尿病＞	河内省一	(46)46	1972年(昭和47)・第19巻・01号
風邪小経験	小倉重成	(48)48	1972年(昭和47)・第19巻・01号
河童随筆　医術	ちぐあん	(50)50	1972年(昭和47)・第19巻・01号
清水藤太郎氏の活躍振り	Ｙ	(51)51	1972年(昭和47)・第19巻・01号
質疑医案解答を希望	編集局	(51)51	1972年(昭和47)・第19巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和46年12月＞	協会本部／編集局	(52)52	1972年(昭和47)・第19巻・01号
書評／日本漢方医学会著『漢方と漢薬』誌復刻をよろこぶ	藤平健	(54)54	1972年(昭和47)・第19巻・01号
@1972年(昭和47)-第19巻-02号-			
甘草麻黄湯は喘息の発作止め薬ではない	藤平健	(3)65	1972年(昭和47)・第19巻・02号
漢方非治験例の検討（1）　▽盲腸炎より盲腸癌▽無数の結石による閉塞性胆汁性肝硬変症	橋本行生	(9)71	1972年(昭和47)・第19巻・02号
修琴堂収蔵医籍解題（1）　傷寒雑病論に関するもの＜1＞	大塚敬節	(15)77	1972年(昭和47)・第19巻・02号
バセドー病の針灸治験	代田文誌	(19)81	1972年(昭和47)・第19巻・02号
食物とくすり　＜小脳疾患2例＞	河内省一	(22)84	1972年(昭和47)・第19巻・02号
間々子小言（1）＜小知は間々＞▽50年前に聴いた話▽今年の正月に聴いた名士の話	大塚敬節	(25)87	1972年(昭和47)・第19巻・02号
漢方修善寺物語	編集局	(28)90	1972年(昭和47)・第19巻・02号
大建中湯治験	鮎川濯三	(35)97	1972年(昭和47)・第19巻・02号
治験例　＜半身不随・関節結核後遺症・精神病＞高血圧症・腎硬化症・右半身不随症▽右膝関節結核後遺症▽精神異常	土本重	(37)99	1972年(昭和47)・第19巻・02号
白シ升麻湯によるニキビの治験	岸本亮一	(40)102	1972年(昭和47)・第19巻・02号
最近の治験例	宮沢伸佳	(42)104	1972年(昭和47)・第19巻・02号
ビュルゲル病の治験例	有地滋	(42)104	1972年(昭和47)・第19巻・02号
喘息について	三田寛	(43)105	1972年(昭和47)・第19巻・02号
昭和46年度漢方医界年表	矢数道明	(46)108	1972年(昭和47)・第19巻・02号
河童随筆　医術	ちぐあん	(49)111	1972年(昭和47)・第19巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年1月＞	協会本部／編集局	(50)112	1972年(昭和47)・第19巻・02号
大学漢方研究情報	庄司良文	(51)113	1972年(昭和47)・第19巻・02号
得気和暈針	栗原久夫	(62)124	1972年(昭和47)・第19巻・02号
@1972年(昭和47)-第19巻-03号-			
漢方の副作用について	藤平健	(3)127	1972年(昭和47)・第19巻・03号
漢方診療検討録（11）▽第24例：胃癌手術後の腸狭窄に大建中湯▽第25例：三叉神経痛に小建中湯加防風附子細辛▽第26例：流行性角結膜炎に小青竜湯か越婢加朮湯か	橋本行生	(6)130	1972年(昭和47)・第19巻・03号
温知堂経験録（61）＜浴場の悲劇2題＞癲癇発作が入浴中に起って▽脳卒中が入浴中に起って	矢数道明	(12)136	1972年(昭和47)・第19巻・03号
自閉症を扱って	土本重	(15)139	1972年(昭和47)・第19巻・03号
最近の治験例	宮沢伸佳	(17)141	1972年(昭和47)・第19巻・03号
食物とくすり　＜慢性腎炎＞	河内省一	(18)142	1972年(昭和47)・第19巻・03号
修琴堂収蔵医籍解題（2）　傷寒雑病論に関するもの＜2＞	大塚敬節	(21)145	1972年(昭和47)・第19巻・03号
乳難と産難について補遺追加	矢数道明	(25)149	1972年(昭和47)・第19巻・03号
傷寒論解題（1）＜遺稿＞	森田幸門	(27)151	1972年(昭和47)・第19巻・03号
森田幸門博士の「傷寒論解題」について	矢数道明	(27)151	1972年(昭和47)・第19巻・03号
間々子小言（2）＜漢医方の研究法＞	大塚敬節	(40)164	1972年(昭和47)・第19巻・03号
漢方研究室　出題：問題48　風邪4題／解答：問題44	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(44)168	1972年(昭和47)・第19巻・03号
河童随筆　五言絶句	ちぐあん	(46)170	1972年(昭和47)・第19巻・03号
漢方ブーム二つの流れ	我孫子山人	(47)171	1972年(昭和47)・第19巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年2月＞	協会本部／編集局	(49)173	1972年(昭和47)・第19巻・03号
二つのこと	杉山広茂	(50)174	1972年(昭和47)・第19巻・03号
@1972年(昭和47)-第19巻-04号-			
日本東洋医学会々則第二条の改正をめぐって	矢数道明	(3)187	1972年(昭和47)・第19巻・04号

最近の治験例　▽精神分裂症▽慢性胃腸炎▽結腸脾弯曲症候群▽半身不随後の陰茎勃起	土本重	(10)194	1972年(昭和47)・第19巻・04号
温知堂経験録（62）＜清上ケン痛湯と釣藤散の治験集＞慢性頭痛に清上ケン痛湯▽慢性頭痛眩暈に半夏白朮天麻湯と清上ケン痛湯▽朝の頭痛眩暈に釣藤散▽動脈硬化の眩暈と嘔気に釣藤散▽頭痛凝りに清上ケン痛湯と釣藤散▽三叉神経痛に五苓散と清上ケン痛湯	矢数道明	(14)198	1972年(昭和47)・第19巻・04号
反覆性臍疝痛と小建中湯	山本巌	(17)201	1972年(昭和47)・第19巻・04号
慢性肝炎の臨床症例　第3例（治難な症例）第2報	宮坂光洋	(25)209	1972年(昭和47)・第19巻・04号
食物とくすり　＜頑固な皮膚病2例＞▽尋常性乾癬▽毛孔性紅色性粃糠性湿疹・四肢	河内省一	(28)212	1972年(昭和47)・第19巻・04号
最近の治験例	宮沢伸佳	(30)214	1972年(昭和47)・第19巻・04号
傷寒論解題（2）＜遺稿＞	森田幸門	(31)215	1972年(昭和47)・第19巻・04号
修琴堂収蔵医籍解題（3）　傷寒雑病論に関するもの＜3＞	大塚敬節	(42)226	1972年(昭和47)・第19巻・04号
間々子小言（3）▽狐医の図▽序文	大塚敬節	(45)229	1972年(昭和47)・第19巻・04号
漢方研究室　出題：問題49　慢性胆嚢炎／解答：問題45	出題・解答）小倉重成 回答）Ｍ・島津	(48)232	1972年(昭和47)・第19巻・04号
河童随筆　知らないことはしようがないもの	ちぐあん	(51)235	1972年(昭和47)・第19巻・04号
木村佐京氏急逝さる	編集局	(52)236	1972年(昭和47)・第19巻・04号
弔辞　（木村佐京先生）	矢数道明	(52)236	1972年(昭和47)・第19巻・04号
蔵書目録作成について	編集局	(54)238	1972年(昭和47)・第19巻・04号
書評／松村竜雄著『母乳主義』－あなたの子どもは「牛」ではない－	河内省一	(55)239	1972年(昭和47)・第19巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年3月＞	協会本部／編集局	(56)240	1972年(昭和47)・第19巻・04号
@1972年(昭和47)-第19巻-05号-			
乳難の意義について	柴崎保三	(3)249	1972年(昭和47)・第19巻・05号
東洞門人録の中の中神琴渓	矢数道明	(11)257	1972年(昭和47)・第19巻・05号
欝病及抑欝症状の漢方的治験　－加味逍遥散の運用について－	相見三郎	(16)262	1972年(昭和47)・第19巻・05号
漢方診療検討録（12）▽第27例：関節痛に附子理中湯▽第28例：くしゃみと背痛に大青竜湯	橋本行生	(18)264	1972年(昭和47)・第19巻・05号
温知堂経験録（63）＜喘息4題＞頑固な小児喘息に神秘湯がよく効いた例▽気管支喘息に五虎二陳湯▽気管支喘息に五虎二陳湯▽気管支喘息に小青竜湯加杏仁	矢数道明	(21)267	1972年(昭和47)・第19巻・05号
食物とくすり　▽急性肛囲炎2例▽食物アレルギーと才血についての考察	河内省一	(24)270	1972年(昭和47)・第19巻・05号
最近の治験　＜心臓発作＞	宮坂光洋	(28)274	1972年(昭和47)・第19巻・05号
治験例　▽慢性腎炎▽慢性腸炎▽精神分裂症	土本重	(32)278	1972年(昭和47)・第19巻・05号
経穴と各種臓器との関係（第2篇）各種経穴と胆汁、胃液との関係・胃経以外の経穴と胃との関係	有地滋	(36)282	1972年(昭和47)・第19巻・05号
漢方医学の発展を願って	松田哲郎	(46)292	1972年(昭和47)・第19巻・05号
河童随筆　リバイバル	ちぐあん	(51)297	1972年(昭和47)・第19巻・05号
新刊紹介／寺師睦済（寺師睦宗）著『成人病の漢方療法』をおすすめする＜同級生のＳ君に・・・＞	間中喜雄	(52)298	1972年(昭和47)・第19巻・05号
新刊紹介／大塚敬節著『漢方の特質』を読んで	矢数道明	(53)299	1972年(昭和47)・第19巻・05号
岡西為人博士よりの来翰	矢数道明	(55)301	1972年(昭和47)・第19巻・05号
薬草20年	我孫子山人	(56)302	1972年(昭和47)・第19巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年4月＞	協会本部／編集局	(58)304	1972年(昭和47)・第19巻・05号
@1972年(昭和47)-第19巻-06号-			
三黄瀉心湯とその臨床	藤平健	(3)311	1972年(昭和47)・第19巻・06号
五積散証の病態と最近の治験について　▽老人の腰痛に五積散▽胃下垂、低血圧、冷え性に五積散▽梅雨期腰痛に五積散▽手足の振えと膝の痛みが五積散で▽腰痛腹痛臀部痛に五積散▽腰痛冷え症羞明に五積散▽頑強な老人の腰痛に五積散	矢数道明	(13)321	1972年(昭和47)・第19巻・06号
漢方処方の副作用	坂口弘	(18)326	1972年(昭和47)・第19巻・06号
漢方診療検討録（13）▽第29例：煩躁嘔吐に半夏瀉心湯▽第30例：肝硬変症と大柴胡湯	橋本行生	(23)331	1972年(昭和47)・第19巻・06号
漢方による多発性関節リウマチの経験	阪本正夫	(30)338	1972年(昭和47)・第19巻・06号
治例4題　▽血清肝炎▽半身不随意症一般▽腰痛及び左側の坐骨、股神経の各神経痛▽慢性腎炎	土本重	(32)340	1972年(昭和47)・第19巻・06号
経穴と各種臓器との関係（第3篇）胃と各種経穴との関係	有地滋	(36)344	1972年(昭和47)・第19巻・06号
温知堂経験録（64）＜喘息とアレルギー症6題＞肺気腫の患者が診察中突然苦しみ出した▽気管支喘息の発作が温まると起きるという▽アレルギー性鼻炎患者に半夏の過敏症現わる▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯と五虎二陳湯▽湿疹とクシャミ頻発に温清飲合十味敗毒湯▽過敏性拒否反応を示す患者	矢数道明	(43)351	1972年(昭和47)・第19巻・06号
韓国から寄せられた医案に対する日本の解答　韓国から寄せられた課題・日本漢方医師の回答	回答）藤平健・小倉重成・橋本行生・有地滋・島津秀雄・三谷和合・戸田秀実 出題）編集局	(47)355	1972年(昭和47)・第19巻・06号

漢方研究室　出題：問題50　左偏頭痛と不感症／解答：問題46	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(50)51	1972年(昭和47)・第19巻・06号
最近の経験例	宮沢伸佳	(52)360	1972年(昭和47)・第19巻・06号
河童随筆　におう	ちぐあん	(54)362	1972年(昭和47)・第19巻・06号
新刊紹介／杉原行徳著『鍼灸原論』	編集局	(55)363	1972年(昭和47)・第19巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年5月＞	協会本部／編集局	(56)364	1972年(昭和47)・第19巻・06号
@1972年(昭和47)-第19巻-07号-			
「春雨雑誌」と「医心」を加え、再び明治以降の漢方関係諸雑誌一覧表を紹介する	矢数道明	(3)373	1972年(昭和47)・第19巻・07号
漢方診療検討録（14）▽第31例：輸血後の血清肝炎に黄ゴン湯▽第32例：小弯側胃角部の潰瘍に黄連湯	橋本行生・村上昌久	(7)377	1972年(昭和47)・第19巻・07号
前胡の臨床効果	有地滋・岡田雄作	(12)382	1972年(昭和47)・第19巻・07号
温知堂経験録（65）▽紅斑性狼瘡に加味逍遥散と十味敗毒散▽鼻炎といびき・盗汗に補中益気湯▽チック症、いびきに抑肝散加陳皮半夏▽血の道に加味逍遥散▽慢性蕁麻疹に加味逍遥散合四物湯	矢数道明	(17)387	1972年(昭和47)・第19巻・07号
公害による喘息の薬局漢方	入江正	(20)390	1972年(昭和47)・第19巻・07号
経絡病・臓腑病と傷寒論	小倉重成	(28)398	1972年(昭和47)・第19巻・07号
外来小治験例	中川良隆	(33)403	1972年(昭和47)・第19巻・07号
薬局における漢方経験例　＜加味逍遥散3題＞	大村富栄	(35)405	1972年(昭和47)・第19巻・07号
最近の治例　▽耳鳴り▽五十肩一般▽右拇指痙攣▽心弁膜症	土本重	(36)406	1972年(昭和47)・第19巻・07号
末梢性顔面神経麻痺の治験例	宮坂光洋	(42)412	1972年(昭和47)・第19巻・07号
河童随筆　対立	ちぐあん	(45)415	1972年(昭和47)・第19巻・07号
近年発足した東洋医学関係財団法人について（1）	矢数道明	(46)416	1972年(昭和47)・第19巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年6月＞	協会本部／編集局	(50)420	1972年(昭和47)・第19巻・07号
@1972年(昭和47)-第19巻-08号-			
神農本草経は薬医学である（追補）	高橋良忠	(3)435	1972年(昭和47)・第19巻・08号
人迎脈診について＜戸田一盛先生の質問（第18巻・第9号）に対しての答え＞	小椋道益	(11)443	1972年(昭和47)・第19巻・08号
漢方診療検討録（15）▽第33例：肺気腫を伴う気管支喘息に小建中湯▽第35例：熱い口内炎に瀉心湯	橋本行生・村上昌久	(19)451	1972年(昭和47)・第19巻・08号
旋覆花代赭石湯の臨床例について（第1報）	有地滋・岡田雄作	(24)459	1972年(昭和47)・第19巻・08号
最近の治例　▽心不全▽右半身不随意症▽胆嚢炎▽結腸癒着による腹痛・腰痛	土本重	(29)461	1972年(昭和47)・第19巻・08号
温知堂経験録（66）▽関節リウマチに帰脾湯を用いて▽子宮筋腫の諸症状に帰脾湯▽胃酸過剰症に抑肝扶脾湯▽禿髪症に桂枝加竜骨牡蠣湯	矢数道明	(33)465	1972年(昭和47)・第19巻・08号
外来小治験例	中川良隆	(37)469	1972年(昭和47)・第19巻・08号
薬局における漢方経験例　＜温清飲を使用した皮膚病3題＞ビダール苔癬▽ビダール苔癬▽3年来の湿疹	大村富栄	(39)471	1972年(昭和47)・第19巻・08号
再び人迎脈口診について	戸田一盛	(41)473	1972年(昭和47)・第19巻・08号
近年発足した東洋医学関係財団法人について（2）	矢数道明	(44)476	1972年(昭和47)・第19巻・08号
漢方研究室　出題：問題51　下痢・腹痛・嘔を伴う風邪／解答：問題47	出題・解答）小倉重成 回答）Ｍ・島津	(47)479	1972年(昭和47)・第19巻・08号
河童随筆　生命	ちぐあん	(49)481	1972年(昭和47)・第19巻・08号
酒と副作用	藤正勝三	(50)482	1972年(昭和47)・第19巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年7月＞	協会本部／編集局	(52)484	1972年(昭和47)・第19巻・08号
@1972年(昭和47)-第19巻-09号-			
東洋医学諸研究財団発足までを回顧す	矢数道明	(3)493	1972年(昭和47)・第19巻・09号
スモン病の針灸治療とその成績	代田文彦	(8)498	1972年(昭和47)・第19巻・09号
歯痛と立効散	岡野勝憲	(16)506	1972年(昭和47)・第19巻・09号
温知堂経験録（67）＜嗅覚脱失・不定期出血・頑固なタコと魚の目・酸味による頭汗と焼はまぐりでクシャミ＞嗅覚脱失が葛根湯でよくなる▽不定期出血と帯下に八味帯下方▽頑固なタコや魚の目に困却した例▽酸っぱいものをたべると頭に汗が出る。焼きはまぐりの匂いをかぐとクシャミが出るという患者	矢数道明	(18)508	1972年(昭和47)・第19巻・09号
筍庵治験・経験録　＜腰痛症・糖尿病・緑内障の三タ療法＞▽三タ療法を語りましょう▽腰痛治験▽糖尿の出る虚弱体質治験▽強弱な婦人・緑内障	山田光胤	(21)511	1972年(昭和47)・第19巻・09号
治験2題　▽病名不明な神経系疾患の治療▽最近の1治験例	宮坂光洋	(24)514	1972年(昭和47)・第19巻・09号
治例　▽気管支拡張症▽高血圧症兼心臓左脚ブロック▽高血圧症・胃潰瘍	土本重	(29)519	1972年(昭和47)・第19巻・09号
「漢方近代化の試み」に関連して（1）	遠田裕政	(34)524	1972年(昭和47)・第19巻・09号
東西医学を愚痴る（へ）＜救う＞	橋本行生	(39)529	1972年(昭和47)・第19巻・09号
漢方研究室　出題：問題52　咳嗽／解答：問題48	出題・解答）小倉重成 回答）Ｍ・Ｉ・北浦和寿・島津	(42)532	1972年(昭和47)・第19巻・09号
青竹庵愚話　▽小建中湯▽春秋左氏伝▽運気七篇	曽青竹	(47)537	1972年(昭和47)・第19巻・09号

ハリ麻酔論	栗原久夫	(49)539	1972年(昭和47)・第19巻・09号
河童随筆　嫌悪療法	ちぐあん	(51)541	1972年(昭和47)・第19巻・09号
新刊紹介／藤平健著『実用漢方療法』／代田文誌著『針灸臨床ノート』／松村龍雄著『母乳主義』／P・ユァール・M・ウオン著　高橋晄正ほか訳『中国の医学』	編集局	(52)542	1972年(昭和47)・第19巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年8月＞	協会本部／編集局	(54)544	1972年(昭和47)・第19巻・09号
防已と木防已	藤正勝三	(56)546	1972年(昭和47)・第19巻・09号
@1972年(昭和47)-第19巻-10号-			
莨トウの弁・拾遺	宮下三郎	(3)555	1972年(昭和47)・第19巻・10号
人迎脈口診の疑義について	柴崎保三	(8)560	1972年(昭和47)・第19巻・10号
漢方診療検討録（16）▽第35例：つわりに当帰四逆加呉茱萸生姜湯合半夏厚朴湯合人参湯▽第36例：胃潰瘍に温経湯	橋本行生・村上昌久	(16)568	1972年(昭和47)・第19巻・10号
温知堂経験録（68）▽高血圧の皮膚ソウ痒症に大青竜湯▽冬に出て夏は治る湿疹に消風散を与えたら▽手掌角皮症に駆オ血丸▽胆石症を手術してみたら梅干核大の石が15個出た	矢数道明	(22)574	1972年(昭和47)・第19巻・10号
血小板減少性紫斑病の治験	宮坂光洋	(25)577	1972年(昭和47)・第19巻・10号
風邪雑験	鮎川濯三	(29)581	1972年(昭和47)・第19巻・10号
治例　▽胆石症▽椎間板ヘルニア▽性格異常者▽頸腕症候群・後頭部神経痛▽私の腹痛▽特発性腎出血	土本重	(30)582	1972年(昭和47)・第19巻・10号
当帰飲子の経験	吉原浅吉	(36)588	1972年(昭和47)・第19巻・10号
経穴と各種臓器との関係（第5篇）全身皮膚各部位と胃との関連性	有地滋	(37)589	1972年(昭和47)・第19巻・10号
「漢方近代化の試み」に関連して（2）	遠田裕政	(46)598	1972年(昭和47)・第19巻・10号
漢方研究室　出題：問題53　腰痛／解答：問題49	出題・解答）小倉重成 回答）夏目・島津・Ｍ	(52)604	1972年(昭和47)・第19巻・10号
河童随筆　こじつけ	ちぐあん	(55)607	1972年(昭和47)・第19巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年9月＞	協会本部／編集局	(56)608	1972年(昭和47)・第19巻・10号
@1972年(昭和47)-第19巻-11号-			
白色便下痢症の漢方治療	山本巖	(3)617	1972年(昭和47)・第19巻・11号
医原病と漢方　▽糖尿病▽高血圧症▽副腎皮質ホルモン剤▽お産の医原病▽虫垂炎▽抗生物質▽ノイローゼとトランキライザー▽肝炎	相見三郎	(12)626	1972年(昭和47)・第19巻・11号
信州大黄を配した大黄甘草丸の便秘に対する効果	原桃介	(17)631	1972年(昭和47)・第19巻・11号
旋覆花代赭石湯の臨床例について（第2報）＜使用法の証と検討（その1）＞	有地滋・岡田雄作	(23)637	1972年(昭和47)・第19巻・11号
漢方診療検討録（17）▽第37例：加味帰脾湯の胃潰瘍が吐血死	橋本行生	(29)643	1972年(昭和47)・第19巻・11号
最近の治験例（3題）　▽本態性高血圧症の治療中に生じた「肘関節部腫瘤状物に対する治験例▽病名不明な浮腫に対する治験例▽外陰炎と推定される疾患の治験例	宮坂光洋	(34)648	1972年(昭和47)・第19巻・11号
最近の症例より	鮎川濯三	(39)653	1972年(昭和47)・第19巻・11号
温知堂経験録（69）＜難証未験集＞原発性アルドステロン症高血圧が副腎の腫瘍によって起っていた▽尿崩症類似症が脳内腫瘍によって起っていた患者▽レックリングハウゼン病の治療に困窮す▽民間薬牛の目玉の黒焼（リウマチの奇薬）	矢数道明	(40)654	1972年(昭和47)・第19巻・11号
「漢方近代化の試み」に関連して（3）	遠田裕政	(46)660	1972年(昭和47)・第19巻・11号
青竹庵愚話　▽千金三物黄ゴン湯▽酒風▽誤刺3題	曽青竹	(53)667	1972年(昭和47)・第19巻・11号
河童随筆　再び奇経について	ちぐあん	(55)669	1972年(昭和47)・第19巻・11号
気賀林一著『冬虫夏草』を読んで	藤平健	(56)670	1972年(昭和47)・第19巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年10月＞	協会本部／編集局	(57)671	1972年(昭和47)・第19巻・11号
@1972年(昭和47)-第19巻-12号-			
艮山と東洋と修庵と　ー『東洋洛語』をめぐってー	大塚恭男	(3)679	1972年(昭和47)・第19巻・12号
半夏瀉心湯による特発性脱疽の治験例（2例）	細野義郎	(23)699	1972年(昭和47)・第19巻・12号
桂枝去桂加茯苓朮湯証は意外に多い	藤平健	(29)705	1972年(昭和47)・第19巻・12号
漢方診療検討録（18）▽第38例：越婢加朮湯（1）▽第39例：越婢加朮湯（2）	橋本行生	(34)710	1972年(昭和47)・第19巻・12号
尿毒症と考えられる症例に対する治験例	三谷和合	(38)714	1972年(昭和47)・第19巻・12号
五十肩	土本重	(39)715	1972年(昭和47)・第19巻・12号
温知堂経験録（70）＜チック症、胸やけ、唾石、頭痛2題＞チック症に抑肝散加芍薬を与えて▽胸やけに抑肝扶脾湯を与えて▽唾石が排膿散で▽頑固な頭痛に清上ケン痛湯▽小児の頭痛に五苓散	矢数道明	(40)716	1972年(昭和47)・第19巻・12号
食養生の重要性について	柴田良治	(43)719	1972年(昭和47)・第19巻・12号
青竹庵愚話　▽半夏▽桂枝茯苓丸▽薬売り	曽青竹	(44)720	1972年(昭和47)・第19巻・12号
漢方の雑感	松下嘉一	(46)722	1972年(昭和47)・第19巻・12号
漢方研究室　出題：問題54　動悸／解答：問題50	出題・解答）小倉重成 回答）島津秀雄・Ｍ生	(47)723	1972年(昭和47)・第19巻・12号
河童随筆　保証期間	ちぐあん	(49)725	1972年(昭和47)・第19巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年11月＞	協会本部／編集局	(51)727	1972年(昭和47)・第19巻・12号

@1973年(昭和48)-第20巻-01号-			
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	朝比奈泰彦	(3)3	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	荒木正胤	(3)3	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞天城行	相見漁人	(4)4	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	有地滋	(4)4	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	鮎川濯三	(4)4	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞異風洗心	飯田穣	(4)4	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞人間万事塞翁が馬	板橋博史	(4)4	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	上木正博	(4)4	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞新年のことば中風つれづれ	大塚敬節	(5)5	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	大塚恭男	(5)5	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	岡西為人	(5)5	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞乱費	小倉重成	(5)5	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	岡野勝憲	(6)6	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	遠田裕政	(6)6	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞「冬虫」さん今日は	小川新	(6)6	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	河内省一	(6)6	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	笠井修	(7)7	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	木村雄四郎	(7)7	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	菊谷豊彦	(7)7	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	桑木崇秀	(8)8	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	工藤訓正	(8)8	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞五柳居廿八字抄	月江寺明	(8)8	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞志在不朽	小曽戸丈夫	(9)9	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	阪本正夫	(9)9	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞新春所感	代田文誌	(9)9	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	竹内達	(10)10	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞人類の危機	舘野健	(10)10	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞漢方と森田療法	高橋良忠	(10)10	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	津田進三	(10)10	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	津田卓二	(11)11	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	土本重	(11)11	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	戸田一盛	(11)11	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	戸田秀実	(12)12	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	戸部宗七郎	(12)12	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	中山友記	(12)12	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞歴史的文献的考察の重要性	原三郎	(13)13	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	橋本行生	(13)13	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	藤平健	(13)13	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	細迫陽三	(13)13	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	松岡武保	(14)14	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	間中喜雄	(14)14	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	松下嘉一	(14)14	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞「牛の目玉の化学」	松宮弘幸	(14)14	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	増永静人	(14)14	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	松本俊二	(14)14	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	宮下三郎	(15)15	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	三田寛	(15)15	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	宮沢伸佳	(15)15	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	宮坂光洋	(15)15	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	矢数道明	(16)16	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	山田光胤	(16)16	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	米山博久	(16)16	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	岩佐礼一	(17)17	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	岸本亮一	(17)17	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	寺師睦済	(17)17	1973年(昭和48)・第20巻・01号

新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	中村了介	(17)17	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	藤井美樹	(17)17	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	室賀昭三	(18)18	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	木村康一	(18)18	1973年(昭和48)・第20巻・01号
新年のことば　＜昭和48年（1973年）＞	気賀林一	(18)18	1973年(昭和48)・第20巻・01号
曲直瀬玄朔年譜と今大路家記鈔抜萃	矢数道明	(19)19	1973年(昭和48)・第20巻・01号
気剤と才血剤の関係について　＜不定愁訴症候群の意味とその分類＞＜婦人不定愁訴症候群の臨床例＞	有地滋・岡田雄作・小林尚子・若園房雄・小倉重保	(26)26	1973年(昭和48)・第20巻・01号
針灸と漢方の併用による関節リウマチの治療　▽慢性関節リウマチの治験▽急性関節リウマチの治験	代田文誌	(34)34	1973年(昭和48)・第20巻・01号
最近の1治験例	宮坂光洋	(41)41	1973年(昭和48)・第20巻・01号
筍庵治験・経験録　▽長年の身体痛に当帰芍薬散加附子▽躁病（？）に黄連解毒湯	山田光胤	(44)44	1973年(昭和48)・第20巻・01号
茵チン蒿湯治験	鮎川濯三	(45)45	1973年(昭和48)・第20巻・01号
最近の治例　▽両下肢の運動麻痺▽舌潰瘍	土本重	(47)47	1973年(昭和48)・第20巻・01号
漢方研究室　出題：問題55　慢性頭痛／解答：問題51	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(48)48	1973年(昭和48)・第20巻・01号
高橋良忠氏逝去さる	編集局	(49)49	1973年(昭和48)・第20巻・01号
久能靖氏逝去	編集局	(49)49	1973年(昭和48)・第20巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和47年12月＞	協会本部／編集局	(50)50	1973年(昭和48)・第20巻・01号
全日本学生漢方研究会連合会の動き	庄司良文	(51)51	1973年(昭和48)・第20巻・01号
財団法人東洋医学国際研究財団について	桑木崇秀	(53)53	1973年(昭和48)・第20巻・01号
@1973年(昭和48)-第20巻-02号-			
項中隔石灰症を伴う疾患の種々相（その1）	小川新	(3)65	1973年(昭和48)・第20巻・02号
旋覆花代赭石湯の臨床例について（第3報）＜使用法と証の検討（その2）＞	有地滋・岡田雄作	(15)77	1973年(昭和48)・第20巻・02号
温知堂経験録（71）▽むねやけ感に抑肝扶脾湯▽温清飲で冷え症がよくなる▽柴芍六君子湯で冷え症がよくなる▽水虫アレルギー患者	矢数道明	(22)84	1973年(昭和48)・第20巻・02号
慢性湿疹の治験例（第1報）	宮坂光洋	(23)85	1973年(昭和48)・第20巻・02号
頸腕症候群	土本重	(27)89	1973年(昭和48)・第20巻・02号
薬味と薬方における疑問	柴田良治	(28)90	1973年(昭和48)・第20巻・02号
「漢方近代化の試み」に関連して（4）	遠田裕政	(30)92	1973年(昭和48)・第20巻・02号
漢方研究室　出題：問題56　47年暮の風邪5題／解答：問題52	出題・解答）小倉重成 回答）池田・島津・村上	(38)100	1973年(昭和48)・第20巻・02号
青竹庵愚話　▽続命湯▽隠語・隠文▽例外と規則	曽青竹	(41)103	1973年(昭和48)・第20巻・02号
新刊紹介／中野操博士の大著（中野操著『増補　日本医事大年表』）／曲直瀬道三の名著『啓迪集』全巻の復刻出版を欣ぶ（曲直瀬道三著『『啓廸集』）	矢数道明	(43)105	1973年(昭和48)・第20巻・02号
河童随筆　再び奇経について（2）	ちぐあん	(45)107	1973年(昭和48)・第20巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年1月＞	協会本部／編集局	(46)108	1973年(昭和48)・第20巻・02号
ハリ麻酔論　（2）自家実験例　（3）針麻の効果	栗原久夫	(48)110	1973年(昭和48)・第20巻・02号
東西医学を愚痴る（ト）＜試錬＞	橋本行生	(51)113	1973年(昭和48)・第20巻・02号
更に人迎脈口診について	戸田一盛	(53)115	1973年(昭和48)・第20巻・02号
治病法迷論	藤正勝三	(54)116	1973年(昭和48)・第20巻・02号
@1973年(昭和48)-第20巻-03号-			
麻黄附子細辛湯の脈は果して沈か	藤平健	(3)127	1973年(昭和48)・第20巻・03号
治験種々相　▽円形脱毛症の治験例▽誤治例▽肝臓癌であった▽4ヵ月間も治癒しなかった、喘息様気管支炎の治験例	宮坂光洋	(8)132	1973年(昭和48)・第20巻・03号
経穴と各種臓器との関係（第6篇）入浴の経穴と胆嚢との関連性に及ぼす影響	有地滋	(14)138	1973年(昭和48)・第20巻・03号
三焦論について　ー臨床からの研究ー	小椋道益	(21)145	1973年(昭和48)・第20巻・03号
＜漢方今昔座談＞老医の闘病記▽老医の老婆心より	細迫陽三	(28)152	1973年(昭和48)・第20巻・03号
温知荘雑筆　恍惚の意味▽細川勝元▽移精変気	矢数道明	(34)158	1973年(昭和48)・第20巻・03号
最近の失敗例	中山友記	(37)161	1973年(昭和48)・第20巻・03号
最近の治験　▽頸椎骨軟骨症、左顔面神経麻痺▽進行性筋萎縮症	土本重	(39)163	1973年(昭和48)・第20巻・03号
昭和47年度漢方医界年表	矢数道明	(42)166	1973年(昭和48)・第20巻・03号
漢方研究室　出題：問題57　48年2月の流感／解答：問題53	出題・解答）小倉重成 回答）Ｍ・池田	(47)171	1973年(昭和48)・第20巻・03号
河童随筆　自慢高慢芸のうち	ちぐあん	(49)173	1973年(昭和48)・第20巻・03号
新刊紹介／東丈夫・村上光太郎共著『漢方薬の実際知識』	気賀林一	(50)174	1973年(昭和48)・第20巻・03号
新刊紹介／宇津木昆台著『古訓医伝』の完全復刻に期待す	矢数道明	(50)174	1973年(昭和48)・第20巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年2月＞	協会本部／編集局	(51)175	1973年(昭和48)・第20巻・03号
病者のまわり（1）＜たすけあい＞	橋本行生	(52)176	1973年(昭和48)・第20巻・03号

@1973年(昭和48)-第20巻-04号-			
浅田宗伯書翰に想う	矢数道明	(3)185	1973年(昭和48)・第20巻・04号
項中隔石灰症を伴う疾患の種々相（その2）	小川新	(8)190	1973年(昭和48)・第20巻・04号
三焦論について　ー臨床からの研究ー＜その2＞	小椋道益	(21)203	1973年(昭和48)・第20巻・04号
血小板減少性紫斑病の漢方治療法　▽血小板減少症紫斑病に帰脾湯▽血小板減少症に小建中湯エキス▽血小板減少性紫斑病に帰脾湯	矢数道明	(32)214	1973年(昭和48)・第20巻・04号
（1）慢性多発性関節リウマチの治験例　（2）血小板減少性紫斑病の追記	宮坂光洋	(36)218	1973年(昭和48)・第20巻・04号
ロカイ丸	細迫陽三	(39)221	1973年(昭和48)・第20巻・04号
食物とくすり　＜急性牛乳アレルギー＞	河内省一	(41)223	1973年(昭和48)・第20巻・04号
最近の症例　▽腎性高血圧▽脳卒中による言語障害一般	土本重	(44)226	1973年(昭和48)・第20巻・04号
難症の1例報告	中山友記	(46)228	1973年(昭和48)・第20巻・04号
病者のまわり（2）＜嫁から舅への玄米食＞	橋本行生	(48)230	1973年(昭和48)・第20巻・04号
河童随筆　言葉のむだ	ちぐあん	(49)231	1973年(昭和48)・第20巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年3月＞	協会本部／編集局	(51)233	1973年(昭和48)・第20巻・04号
腰痛治験	池田洋二	(53)235	1973年(昭和48)・第20巻・04号
@1973年(昭和48)-第20巻-05号-			
粟罌殻について	宮三郎	(3)245	1973年(昭和48)・第20巻・05号
曲直瀬玄朔と文禄朝鮮の役	矢数道明	(7)249	1973年(昭和48)・第20巻・05号
三焦論について　ー臨床からの研究ー＜その3＞	小椋道益	(13)255	1973年(昭和48)・第20巻・05号
記憶喪失症	相見三郎	(24)266	1973年(昭和48)・第20巻・05号
温知堂経験録（72）＜甘麦大棗湯治験その他＞神経性腸疝痛に甘麦大棗湯▽癲癇で乱暴する男子に甘麦大棗湯▽頑固な頭瘡に消風散	矢数道明	(27)269	1973年(昭和48)・第20巻・05号
漢方診療検討録（19）▽第40例：肩こり頭痛胃弱に呉茱萸湯	橋本行生	(30)272	1973年(昭和48)・第20巻・05号
筍庵治験・経験録　＜血の道3例＞	山田光胤	(34)276	1973年(昭和48)・第20巻・05号
食物とくすり　＜肝硬変症＞	河内省一	(37)279	1973年(昭和48)・第20巻・05号
最近の諸例　▽蛋白尿の治療▽泣き中風▽高血圧に対する骨療法	土本重	(40)282	1973年(昭和48)・第20巻・05号
病者のまわり（3）＜死と救い＞	橋本行生	(44)286	1973年(昭和48)・第20巻・05号
照る日曇る日	大塚敬節	(46)288	1973年(昭和48)・第20巻・05号
漢方研究室　出題：問題58　下痢発熱／解答：問題54	出題・解答）小倉重成 回答）島津	(47)289	1973年(昭和48)・第20巻・05号
岡西為人博士の長逝を悼む	矢数道明	(49)291	1973年(昭和48)・第20巻・05号
岡西為人先生	大塚恭男	(51)293	1973年(昭和48)・第20巻・05号
医学用語字典としての国訳本草綱目	大塚敬節	(55)297	1973年(昭和48)・第20巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年4月＞	協会本部／編集局	(56)298	1973年(昭和48)・第20巻・05号
河童随筆　万戸の情	ちぐあん	(59)301	1973年(昭和48)・第20巻・05号
@1973年(昭和48)-第20巻-06号-			
慢性下痢に対する真武湯と人参湯に就て	山本巖	(3)307	1973年(昭和48)・第20巻・06号
中国医学古典の性格の一端	柴崎保三	(15)319	1973年(昭和48)・第20巻・06号
三焦論について　ー臨床からの研究ー＜その4＞	小椋道益	(21)325	1973年(昭和48)・第20巻・06号
経穴と各種臓器との関係（第7篇）スモン患者の下肢胃経穴部と胃との関連性	有地滋	(32)336	1973年(昭和48)・第20巻・06号
最近の諸例　▽肝硬変症▽胆石症▽口唇ヘルペス	土本重	(34)338	1973年(昭和48)・第20巻・06号
食物とくすり　▽特発性脱疽（？）▽肩こりと足のしびれ	河内省一	(36)340	1973年(昭和48)・第20巻・06号
温知堂経験録（73）▽糖尿病の口渇に白虎加人参湯合八味丸料▽下肢神経炎に痿症方▽補中益気湯証の便秘加減	矢数道明	(39)343	1973年(昭和48)・第20巻・06号
傷寒翼方演義（1）＜少陰部位＞	細迫陽三	(41)345	1973年(昭和48)・第20巻・06号
病者のまわり（4）＜感謝＞	橋本行生	(44)348	1973年(昭和48)・第20巻・06号
漢方研究室　出題：問題59　嘔吐で始まった風邪／解答：問題55	出題・解答）小倉重成 回答）鍼灸子・青ニ才・島津・真柴・入江	(46)350	1973年(昭和48)・第20巻・06号
河童随筆　踏み絵	ちぐあん	(49)350	1973年(昭和48)・第20巻・06号
『新註校定国訳本草綱目』の発刊を紹介す	矢数道明	(49)350	1973年(昭和48)・第20巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年5月＞	協会本部／編集局	(51)355	1973年(昭和48)・第20巻・06号
@1973年(昭和48)-第20巻-07号-			
温知社幹部次韻の「仙桃集」について	矢数道明	(3)369	1973年(昭和48)・第20巻・07号
三焦論について　ー臨床からの研究ー＜その5＞	小椋道益	(12)378	1973年(昭和48)・第20巻・07号
経穴と各種臓器との関係（第8篇）小腸経と小腸、大腸経と大腸との関係	有地滋	(18)384	1973年(昭和48)・第20巻・07号
食物とくすり　▽腎結石症▽胆石症▽胆石症	河内省一	(24)390	1973年(昭和48)・第20巻・07号
治験2例　▽過労	荒木正胤	(27)393	1973年(昭和48)・第20巻・07号

私の陰茎癌その他　▽私の陰経癌▽てんかん	土本重	(29)395	1973年(昭和48)・第20巻・07号
温知荘雑筆　五虎湯の名の起原▽「東洋医学」の名の起った時代はいつか	矢数道明	(31)397	1973年(昭和48)・第20巻・07号
五臓六府と三焦	戸田一盛	(33)399	1973年(昭和48)・第20巻・07号
温知堂経験録（74）＜喉痛と嗄嘶・咳嗽に葱白の温罨法＞百合固金湯と麦門冬湯加三味▽烈しい咳嗽に葱白の温罨法	矢数道明	(40)406	1973年(昭和48)・第20巻・07号
病者のまわり（5）＜直す＞	橋本行生	(42)408	1973年(昭和48)・第20巻・07号
生薬今昔ばなし（1）▽こんにゃくと豆腐▽和薬と漢薬▽和桂皮の滅亡▽桂枝・桂皮・肉桂	長倉音蔵	(44)410	1973年(昭和48)・第20巻・07号
傷寒翼方演義（2）＜厥陰部位＞	細迫陽三	(46)412	1973年(昭和48)・第20巻・07号
漢方研究室　出題：問題60　ねたきりの慢性関節リウマチ／解答：問題56	出題・解答）小倉重成 回答）島津・乾坤生・鍼灸子	(48)414	1973年(昭和48)・第20巻・07号
質疑	大石絢子	(51)417	1973年(昭和48)・第20巻・07号
河童随筆　嘘	ちぐあん	(52)418	1973年(昭和48)・第20巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年6月＞	協会本部／編集局	(53)419	1973年(昭和48)・第20巻・07号
@1973年(昭和48)-第20巻-08号-			
韓国における人参の品質問題と錦山人参の生産状況について	木村雄四郎	(3)531	1973年(昭和48)・第20巻・08号
稲生若水について	津田進三	(10)538	1973年(昭和48)・第20巻・08号
孫思バクの経験方	宮三郎	(16)544	1973年(昭和48)・第20巻・08号
中国医書本草考のはしがき　ー岡西為人博士を憶うー	赤堀昭	(20)548	1973年(昭和48)・第20巻・08号
温知荘雑筆　木村佐京氏の1年祭に臨んで▽本田静六博士著「南洋の植物」	矢数道明	(26)554	1973年(昭和48)・第20巻・08号
治験例　▽膣壁硬化の治験例▽ウルシ、カブレから蕁麻疹の治験例	宮坂光洋	(29)557	1973年(昭和48)・第20巻・08号
経穴と各種臓器との関係（第9篇）心経経穴と心電図	有地滋	(34)562	1973年(昭和48)・第20巻・08号
食物とくすり　▽卵巣曳腫	河内省一	(37)565	1973年(昭和48)・第20巻・08号
小治験例	海老塚吉次	(40)568	1973年(昭和48)・第20巻・08号
温知堂経験録（75）＜肝斑・血の道頭痛・不妊症＞更年期の肝斑（しみ）に加味逍遥散▽血の道症の頭痛に清上ケン痛湯▽不妊症が温経湯で	矢数道明	(41)569	1973年(昭和48)・第20巻・08号
最近の例　▽ネフローゼ▽腎性高血圧	土本重	(43)571	1973年(昭和48)・第20巻・08号
漢方研究室　出題：問題61　感冒2題／解答：問題57	出題・解答）小倉重成 回答）島津・国立東静病院漢方研究室・大村・頓陳漢生	(46)574	1973年(昭和48)・第20巻・08号
生薬今昔ばなし（2）▽生薬の変遷▽漢方ブームは柴胡から▽小分問屋と生薬の撰品▽黄ゴンの撰品	長倉音蔵	(52)580	1973年(昭和48)・第20巻・08号
河童随筆　論文	ちぐあん	(54)582	1973年(昭和48)・第20巻・08号
@1973年(昭和48)-第20巻-09号-			
五淋散に就て	山本巖	(3)593	1973年(昭和48)・第20巻・09号
清上ケン痛湯の運用について　▽右三叉神経痛に清上ケン痛湯▽10年来の左三叉神経痛に清上ケン痛湯▽烈しい左片頭痛に清上ケン痛湯▽数年来の外傷性頭痛が清上ケン痛湯で▽外傷後の後頭痛に清上ケン痛湯▽更年期後頭痛に清上ケン痛湯▽20年来の血の道、前額頭痛に清上ケン痛湯▽7年来の血の道頭痛に清上ケン痛湯　ほか	矢数道明	(19)609	1973年(昭和48)・第20巻・09号
経穴と各種臓器との関係（第10篇）各種皮膚軽度刺戟と胃との関連について（その1）	有地滋	(26)616	1973年(昭和48)・第20巻・09号
最近の諸例　▽胃癌▽多発性関節炎▽糖尿病	土本重	(32)622	1973年(昭和48)・第20巻・09号
呉茱萸湯治験	吉原浅吉	(36)626	1973年(昭和48)・第20巻・09号
温知荘雑筆　聖堂神農像左手の枯草▽遠田澄庵の温知社加盟	矢数道明	(37)627	1973年(昭和48)・第20巻・09号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜1＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(39)629	1973年(昭和48)・第20巻・09号
漢方研究室　出題：問題62　腹痛2題／解答：問題58	出題・解答）小倉重成 回答）古賀・島津・大村	(45)635	1973年(昭和48)・第20巻・09号
兄の思い出	鮎川濯三	(47)637	1973年(昭和48)・第20巻・09号
河童随筆　心ならずもさぎ横領	ちぐあん	(48)638	1973年(昭和48)・第20巻・09号
新刊紹介／社団法人東京生薬協会編集『新常用和漢薬集』を読んで	木村雄四郎	(49)639	1973年(昭和48)・第20巻・09号
新刊紹介／森田幸門著『素問入門』／聖光園細野診療所編『食養論』＜聖光園叢書第3集＞／藤原知・藤本蓮風編著『伝統医学の諸問題』ー針灸医学からのアプローチー	気賀林一	(50)640	1973年(昭和48)・第20巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年7月・8月＞	協会本部／編集局	(52)642	1973年(昭和48)・第20巻・09号
@1973年(昭和48)-第20巻-10号-			
松岡玄達と用薬須知	難波恒雄	(3)655	1973年(昭和48)・第20巻・10号
ヨク苡仁について	古川瑞昌	(21)673	1973年(昭和48)・第20巻・10号
難聴の針灸治験	代田文誌	(25)677	1973年(昭和48)・第20巻・10号
筍庵治験・経験録　▽胃腸甚だ虚弱な母子に五苓散▽精神病かと疑った患者に葛根湯▽内托散で喘息症状が	山田光胤	(30)682	1973年(昭和48)・第20巻・10号
最近の諸例　▽ネフローゼの患者その後▽半身不随意症一般▽多形滲出性紅斑	土本重	(32)684	1973年(昭和48)・第20巻・10号

血小板減少性紫斑病に対する中国の発表	矢数道明	(35)687	1973年(昭和48)・第20巻・10号
診察余談　（生薬材需給の問題点）	張重信	(37)689	1973年(昭和48)・第20巻・10号
補中益気湯便秘加減の麻黄について	矢数道明	(41)693	1973年(昭和48)・第20巻・10号
汎発生湿疹の治験例	関根邦之助	(43)695	1973年(昭和48)・第20巻・10号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜2＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(45)697	1973年(昭和48)・第20巻・10号
生薬今昔ばなし（3）▽葛根が効くのは繊維か澱粉か▽角葛根と板葛根▽葛根の繊維中のアク▽麻黄の先煎と刻み粉▽直防風とはま防風	長倉音蔵	(50)702	1973年(昭和48)・第20巻・10号
河童随筆　伝統	ちぐあん	(52)704	1973年(昭和48)・第20巻・10号
阪本正夫先生の逝去を悼む	矢数道明	(53)705	1973年(昭和48)・第20巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年9月＞	協会本部／編集局	(54)706	1973年(昭和48)・第20巻・10号
@1973年(昭和48)-第20巻-11-12号合併号-＜（創刊20周年記念）東洋医学蔵書目録特集号／『漢方の臨床』第16巻－第20巻　巻号別・著者別目次索引＞			
20周年記念特集号発刊に際して	矢数道明	(3)717	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞東亜医学協会漢方図書石原保秀文庫目録	日本漢方医学研究所	(7)721	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞森田幸門氏蔵書目録	森田幸門	(42)756	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞細野史郎氏蔵書目録	細野史郎	(54)768	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞矢数道明氏蔵書目録	矢数道明	(77)791	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞戸田秀実氏蔵書目録	戸田秀実	(96)810	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞荒木慶胤氏蔵書目録	荒木慶胤	(100)814	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞代田文誌氏蔵書目録	代田文誌	(103)817	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞矢野敏夫氏蔵書目録	矢野敏夫	(109)823	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞戸部宗七郎氏蔵書目録	戸部宗七郎	(115)829	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞関根邦之助氏蔵書目録	関根邦之助	(119)833	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞小曽戸丈夫氏蔵書目録	小曽戸丈夫	(119)833	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞津田進三氏蔵書目録	津田進三	(120)834	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞長尾泰爾氏目録	長尾泰爾	(121)835	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞藤正勝三氏蔵書目録	藤正勝三	(121)835	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞西山英雄氏蔵書目録	西山英雄	(122)836	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞土本重氏蔵書目録	土本重	(122)836	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞岡野勝憲氏蔵書目録	岡野勝憲	(124)838	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
＜創刊20周年記念・東洋医学蔵書目録＞内炭精一氏蔵書目録	内炭精一	(125)839	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
『漢方の臨床』誌　巻・号別目次索引＜自第16巻第1号　至第20巻第12号＞	編集局	(129)843	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
『漢方の臨床』誌　筆者別目次索引＜自第16巻第1号　至第20巻第12号＞	編集局	(155)869	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
東亜医学協会旧機関誌『東亜医学』（全26号）主要目次集	編集局	(179)892	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
東亜医学協会38年史年表＜自昭和10年10月25日　至昭和48年12月30日＞	編集局	(185)899	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
東亜医学協会　思い出のアルバム	矢数道明	(201)915	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
本誌創刊以降の執筆者・協会関係者・援助広告者　名簿（昭和48年11月30日現在）	編集局	(243)957	1973年(昭和48)・第20巻・11-12号
@1974年(昭和49)-第21巻-01号-			
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	室賀昭三	(3)3	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞昭和48年を顧みて	矢数道明	(3)3	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞年頭のことば	柴崎保三	(4)4	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	松岡武保	(4)4	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	小野文恵	(5)5	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	高橋諄和	(5)5	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	増永静人	(5)5	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	土本重	(5)5	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	中山友記	(5)5	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	大塚敬節	(6)6	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞年頭所感	有地滋	(3)6	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	木村雄四郎	(6)6	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	三田寛	(6)6	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞新年偶感	戸田一盛	(7)7	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞＜昭和49年（1974年）＞に思う	難波恒雄	(7)7	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	上田太郎	(7)7	1974年(昭和49)・第21巻・01号

新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	河内省一	(7)7	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞栄養過剰	鮎川濯三	(8)8	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	津田卓二	(8)8	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	橋本行生	(8)8	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	竹内達	(9)9	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	木村忠二郎	(9)9	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	木下晴都	(10)10	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞大方は光頭となり忘年会	相見三郎	(10)10	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	間中喜雄	(10)10	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	桑木崇秀	(10)10	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	西澤道允	(11)11	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	建林静枝	(11)11	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	宮三郎	(11)11	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	松岡伯菁	(12)12	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	大塚恭男	(12)12	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞生くる日々	代田文誌	(12)12	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	岡野勝憲	(12)12	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	山元豊治	(13)13	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞春の日の夢二つ	飯田穣	(13)13	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	中村了介	(13)13	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	戸田秀実	(13)13	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	中島随象	(14)14	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞検査の偏重	舘野健	(14)14	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞風の岬	伊藤清夫	(14)14	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞「謹賀新年」	小川新	(15)15	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	武田健一	(15)15	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	寺師睦濟	(15)15	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	宮坂光洋	(15)15	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	松本俊二	(15)15	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	小椋道益	(15)15	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	倉島宗二	(16)16	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	宮沢伸佳	(16)16	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞（題）陰陽虚実と補瀉	小倉重成	(16)16	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	土田茂雄	(17)17	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	遠田裕政	(17)17	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	坂口弘	(17)17	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	菊谷豊彦	(17)17	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	山田光胤	(18)18	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	細野史郎	(18)18	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	気賀林一	(18)18	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞接点をつくろう	藤平健	(18)18	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	藤井美樹	(19)19	1974年(昭和49)・第21巻・01号
新年のことば　＜昭和49年（1974年）＞	ハイ元植	(19)19	1974年(昭和49)・第21巻・01号
初代曲直瀬道三年譜と逸話補遺	矢数道明	(20)20	1974年(昭和49)・第21巻・01号
喘息性気管支炎の治験例	宮坂光洋	(33)33	1974年(昭和49)・第21巻・01号
閉塞性黄疸に著効を呈した漢方治験	三谷和合	(35)35	1974年(昭和49)・第21巻・01号
気管支喘息治験	鮎川濯三	(36)36	1974年(昭和49)・第21巻・01号
温知堂経験録（76）＜治験一束＞幼児の脂漏性湿疹に治頭瘡一方▽前立腺肥大症と慢性頭痛に八味丸合騰竜湯▽面疱と手掌角皮症に清上防風湯▽清上防風湯より加味逍遥散、さらに消風散へ▽猛烈な頭痛に甘麦大棗湯▽前額部頭痛に選奇湯	矢数道明	(37)37	1974年(昭和49)・第21巻・01号
吃逆の治験と反省	柴田良治	(40)40	1974年(昭和49)・第21巻・01号
漢方診療おぼえ書（1）▽はじめに▽私の診療に就ての考え方と診療の実際▽症例報告に就ての私見▽私自身の治療体験に就て▽治療経験おぼえ書	緒方玄芳	(41)41	1974年(昭和49)・第21巻・01号
漢方研究室　出題：問題63　慢性関節リウマチ2題／解答：問題59	出題・解答）小倉重成 回答）島津・乾坤生・佐藤・池田	(48)48	1974年(昭和49)・第21巻・01号
河童随筆　中毒	ちぐあん	(51)51	1974年(昭和49)・第21巻・01号

書評／小倉重成著『自然治癒力を活かせ』ー難症治療の決め手ーをすすめる	橋本行生	(52)52	1974年(昭和49)・第21巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和48年10月・11月・12月＞	協会本部／編集局	(53)53	1974年(昭和49)・第21巻・01号
補中益気湯の便秘加減について	埴岡博	(58)58	1974年(昭和49)・第21巻・01号
@1974年(昭和49)-第21巻-02号-			
東洋医学蔵書目録　修琴堂蔵書目録抄	大塚敬節	(3)65	1974年(昭和49)・第21巻・02号
四逆湯治験　▽慢性関節リウマチ▽腰痛▽眩暈・便秘▽腰痛と右膝関節炎▽腰痛▽ベーチェット病	小倉重成	(33)95	1974年(昭和49)・第21巻・02号
温知荘雑筆　レックリング・ハウゼン病　多発性線維腫、日本最初の記録	矢数道明	(36)98	1974年(昭和49)・第21巻・02号
漢方診療おぼえ書（2）▽夜尿症の2例▽女神散の著効例	緒方玄芳	(40)102	1974年(昭和49)・第21巻・02号
頭痛の治験例	三田寛	(42)104	1974年(昭和49)・第21巻・02号
病者のまわり（6）＜奇蹟・裏切り・御利益＞	橋本行生	(43)105	1974年(昭和49)・第21巻・02号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜3＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(46)108	1974年(昭和49)・第21巻・02号
漢方研究室　出題：問題64　角膜ヘルペス／解答：問題60	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・乾坤生	(52)114	1974年(昭和49)・第21巻・02号
河童随筆　見証	ちぐあん	(55)117	1974年(昭和49)・第21巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年1月＞	協会本部／編集局	(56)118	1974年(昭和49)・第21巻・02号
@1974年(昭和49)-第21巻-03号-			
江戸史蹟「道三橋」「道三堀」「道三河岸」などについて	矢数道明	(3)127	1974年(昭和49)・第21巻・03号
上下肢の疼痛に対する漢方治療　ー傷寒論を中心にしてー	三谷和合	(9)133	1974年(昭和49)・第21巻・03号
テンカンの治験例	岸本亮一	(14)138	1974年(昭和49)・第21巻・03号
漢方診療おぼえ書（3）＜大柴胡湯の治験＞	緒方玄芳	(18)142	1974年(昭和49)・第21巻・03号
温知堂経験録（77）＜慢性関節リウマチにヨク苡仁湯の4例＞慢性関節リウマチにヨク苡仁湯▽10年来のリウマチにヨク苡仁湯▽3年来の関節リウマチにヨク苡仁湯▽変形性関節症にヨク苡仁湯	矢数道明	(21)145	1974年(昭和49)・第21巻・03号
胃潰瘍治験	鮎川濯三	(23)147	1974年(昭和49)・第21巻・03号
合病と併病について	戸田一盛	(24)148	1974年(昭和49)・第21巻・03号
経穴と各種臓器との関係（第11篇）各種皮膚軽度刺戟と胃との関連性（その2）	有地滋	(28)152	1974年(昭和49)・第21巻・03号
前長倉製薬社長　長倉音蔵氏の御逝去を悼む	気賀林一	(33)157	1974年(昭和49)・第21巻・03号
前長倉製薬社長　長倉音蔵氏の御逝去を悼む　弔辞	木村康一	(33)157	1974年(昭和49)・第21巻・03号
前長倉製薬社長　長倉音蔵氏の御逝去を悼む　お別れの言葉	細野史郎	(34)158	1974年(昭和49)・第21巻・03号
前長倉製薬社長　長倉音蔵氏の御逝去を悼む　晩年の父の思い出	長倉吉宏	(35)159	1974年(昭和49)・第21巻・03号
生薬今昔ばなし（4）＜遺稿＞　▽生薬屋を蘇生させた「決明子」▽マスコミに乗るもの、乗らぬもの▽血圧降下剤としての「黄耆」▽市販黄耆の変遷	長倉音蔵	(39)163	1974年(昭和49)・第21巻・03号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜4＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(41)165	1974年(昭和49)・第21巻・03号
曲直瀬道三　ヤソ教入信についての事情＜新異国叢書、ルイス・フロイス報告＞	矢数道明	(47)171	1974年(昭和49)・第21巻・03号
漢方研究室　出題：問題65　風邪3題／解答：問題61	出題・解答）小倉重成 回答）島津・乾坤生	(49)173	1974年(昭和49)・第21巻・03号
河童随筆　望んでこれを知る神	ちぐあん	(51)175	1974年(昭和49)・第21巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年2月＞	協会本部／編集局	(52)176	1974年(昭和49)・第21巻・03号
神農黄帝は漢民族の祖か？	土本重	(53)177	1974年(昭和49)・第21巻・03号
@1974年(昭和49)-第21巻-04号-			
素問と傷寒論の三陰三陽の名称について	藤木俊郎	(3)189	1974年(昭和49)・第21巻・04号
漢方診療検討録（20）▽第41例：糖尿病兼緑内障に四逆湯	橋本行生	(7)193	1974年(昭和49)・第21巻・04号
温知堂経験録（78）＜アレルギー性鼻炎・喘息・肩凝り症・湿疹・股関節痛＞アレルギー性鼻炎と小児喘息に小青竜湯エキス▽アレルギー性鼻炎と慢性気管支炎に小青竜湯エキス▽頑固な肩凝り症に葛根湯加味方▽幼児湿疹と喘息に治頭瘡一方と小青竜湯▽股関節疼痛にヨク苡仁湯	矢数道明	(10)196	1974年(昭和49)・第21巻・04号
漢方診療おぼえ書（4）▽八味丸のよく効いた例▽半夏厚朴湯の著効例	緒方玄芳	(13)199	1974年(昭和49)・第21巻・04号
経穴と各種臓器との関係（第12篇）胃経経穴に対する局所麻酔の影響について	有地滋	(15)201	1974年(昭和49)・第21巻・04号
絶食を経験して	藤平健	(19)205	1974年(昭和49)・第21巻・04号
診療余談　（民間療法と漢方）	張重信	(22)208	1974年(昭和49)・第21巻・04号
古代の日本医学と漢方医学との相違に就て	土本重	(25)211	1974年(昭和49)・第21巻・04号
昭和48年度漢方医界年表	矢数道明	(29)215	1974年(昭和49)・第21巻・04号
荒木性次氏のご逝去を悼む　はじめに	気賀林一	(33)219	1974年(昭和49)・第21巻・04号
荒木性次氏のご逝去を悼む	龍野一雄	(33)219	1974年(昭和49)・第21巻・04号
荒木性次氏のご逝去を悼む　弔辞	松本健次	(34)220	1974年(昭和49)・第21巻・04号

荒木性次氏のご逝去を悼む　荒木性次先生の逝去を悼んで	松浦巌	(35)221	1974年(昭和49)・第21巻・04号
荒木性次氏のご逝去を悼む　朴庵荒木性次君の追憶	大塚敬節	(37)223	1974年(昭和49)・第21巻・04号
荒木性次氏のご逝去を悼む　荒木性次氏の思い出	矢数道明	(38)224	1974年(昭和49)・第21巻・04号
荒木性次氏のご逝去を悼む　荒木朴庵先生経験録抄　▽其の1：皂莢丸治験▽其の2：不眠症に小建中湯▽其の3：腹痛に小建中湯	荒木性次	(39)225	1974年(昭和49)・第21巻・04号
漢方研究室　出題・問題66　風邪4題／解答：問題62	出題・解答）小倉重成 回答）島津・大村	(44)230	1974年(昭和49)・第21巻・04号
生薬今昔ばなし（5）＜遺稿＞　▽土佐の老番頭の撰品▽真猪苓と唐猪苓▽片茯苓と丸茯苓▽輸出生薬から輸入に転落▽茯苓の将来	長倉音蔵	(47)233	1974年(昭和49)・第21巻・04号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜5＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(49)235	1974年(昭和49)・第21巻・04号
河童随筆　短命さん	ちぐあん	(53)239	1974年(昭和49)・第21巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年3月＞	協会本部／編集局	(54)240	1974年(昭和49)・第21巻・04号
@1974年(昭和49)-第21巻-05号-			
加賀の本草学について	津田進三	(3)251	1974年(昭和49)・第21巻・05号
甘草瀉心湯について	戸田一盛	(7)255	1974年(昭和49)・第21巻・05号
最近における「尋常性ザ瘡（面疱）」の治験　▽清上防風湯▽枳縮二陳湯▽養胃湯▽四君子湯	宮坂光洋	(11)259	1974年(昭和49)・第21巻・05号
三叉神経痛治験	小倉重成	(15)263	1974年(昭和49)・第21巻・05号
温知堂経験録（79）＜眉間痛に選奇湯2例・頭痛・皮膚ソウ痒に食塩・肩凝り＞眼の奥の痛みに選奇湯▽20年来の眉間頭痛に選奇湯▽脳腫瘍を疑われた頭痛に清上ケン痛湯合五苓湯▽高血圧症の肩凝りに通気防風湯加減▽急性限局性皮膚ソウ痒症に食塩水	矢数道明	(17)265	1974年(昭和49)・第21巻・05号
漢方診療おぼえ書（5）＜肝炎の症例について＞	緒方玄芳	(20)268	1974年(昭和49)・第21巻・05号
温知荘雑筆　大豆大の臍アカが紫雲膏でとれる▽臍がただれて臭い汁が出る病▽初めて診た川崎病－小児急性皮膚粘膜リンパ節症候群	矢数道明	(24)272	1974年(昭和49)・第21巻・05号
臨床放談　▽歯痛▽肛門周囲膿▽発表剤	山本巌	(28)276	1974年(昭和49)・第21巻・05号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜6＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(36)284	1974年(昭和49)・第21巻・05号
脳卒中患者の治験と失敗例	松岡睦友	(45)293	1974年(昭和49)・第21巻・05号
漢方を毒するもの	藤平健	(46)294	1974年(昭和49)・第21巻・05号
老痰	夢想庵	(47)295	1974年(昭和49)・第21巻・05号
書評／奥田謙蔵著『漢方古方要方解説』のおすすめ	藤平健	(49)297	1974年(昭和49)・第21巻・05号
陰陽虚実について	桑木崇秀	(52)300	1974年(昭和49)・第21巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年4月＞	協会本部／編集局	(53)301	1974年(昭和49)・第21巻・05号
@1974年(昭和49)-第21巻-06号-			
桂皮の選品	木村雄四郎	(3)313	1974年(昭和49)・第21巻・06号
大塚敬節氏訪問の記	気賀林一	(9)319	1974年(昭和49)・第21巻・06号
温知堂経験録（80）＜五苓散の瞑眩か・片頭痛・生理発熱・老人性欝病など＞五苓散（湯）による瞑眩か▽片頭痛に清上ケン痛湯合桂枝茯苓丸料▽生理時発熱に小柴胡湯合四物湯▽老人性欝病に加味逍遥散▽漿液性膝関節炎と五十肩にヨク苡仁湯	矢数道明	(26)336	1974年(昭和49)・第21巻・06号
漢方診療おぼえ書（6）▽漢方がよく効く人の例▽めまいに苓桂朮甘湯▽小柴胡湯の著効例▽10年来の原因不詳の頑固な下痢と腹痛に柴胡桂枝湯加小茴香、牡蠣▽左肩凝りに延年半夏湯▽心臓病で重態だった患者に炙甘草湯▽桂枝茯苓丸長期服用で思わぬ老女の若返りの例	緒方玄芳	(28)338	1974年(昭和49)・第21巻・06号
香月牛山先生墓碑のこと	宮崎綾子	(34)344	1974年(昭和49)・第21巻・06号
麻黄附子細辛湯による奇妙な治験	藤平健	(39)349	1974年(昭和49)・第21巻・06号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜7＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(42)352	1974年(昭和49)・第21巻・06号
漢方研究室　出題：問題67　ベーチェット病／解答：問題63	出題・解答）小倉重成 回答）島津・池田・佐藤	(52)362	1974年(昭和49)・第21巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年5月＞	協会本部／編集局	(55)365	1974年(昭和49)・第21巻・06号
書評／岡部素道著『鍼灸経絡治療』	間中喜雄	(57)367	1974年(昭和49)・第21巻・06号
@1974年(昭和49)-第21巻-07号-			
近衛家旧蔵の古薬籠について	矢数道明	(3)375	1974年(昭和49)・第21巻・07号
聖光園　細野史郎博士訪問の記	気賀林一	(14)386	1974年(昭和49)・第21巻・07号
桑木崇秀氏の「陰陽虚実について」の誤りについて	山田光胤	(37)409	1974年(昭和49)・第21巻・07号
桑木氏の「陰陽虚実について」を読んで	藤平健	(41)413	1974年(昭和49)・第21巻・07号
温知堂経験録（81）＜胆石症・高血圧婦人のお産・小児衄血・眉間痛＞胆石症の肩と背の凝痛に大柴胡湯▽アルドステロン症といわれた高血圧婦人のお産▽虚弱小児の衄血に小建中湯▽眼の奥と眉間が痛いというのに選奇湯	矢数道明	(44)416	1974年(昭和49)・第21巻・07号
限局性鞏皮症の1治験	岡野勝憲	(47)419	1974年(昭和49)・第21巻・07号
間欠性跛行の1例	岡田正	(49)421	1974年(昭和49)・第21巻・07号

漢方診療おぼえ書（7）▽西洋医学の治療が無効だった変形性関節症に対する防已黄耆湯の使用例▽原因不詳の頑固な下血、下痢に対する治験例▽頑固な頭痛に麻黄細辛附子湯と釣藤散の効いた例	緒方玄芳	(51)423	1974年(昭和49)・第21巻・07号
書評／橋本行生著『病気を直すのは誰か』－医療革新の実践記録－	大塚敬節	(53)425	1974年(昭和49)・第21巻・07号
書評／西山秀雄著『女性と漢方』読後感	石野信安	(54)426	1974年(昭和49)・第21巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年6月＞	協会本部／編集局	(56)428	1974年(昭和49)・第21巻・07号
@1974年(昭和49)-第21巻-08号-			
和田正系博士訪問の記	気賀林一	(3)437	1974年(昭和49)・第21巻・08号
疝気症候群　当帰六黄湯の証	相見三郎	(41)475	1974年(昭和49)・第21巻・08号
やはり浮だった麻黄附子細辛湯の脈	藤平健	(43)477	1974年(昭和49)・第21巻・08号
温知堂経験録（82）＜頭痛3題と吃逆＞定期的頭痛嘔吐に柴苓湯▽蜘蛛膜下出血後の頭痛に清上ケン痛湯合五苓湯▽20年来の頭痛に清上ケン痛湯の速効▽高血圧と吃逆に柿蒂煎	矢数道明	(45)479	1974年(昭和49)・第21巻・08号
漢方診療おぼえ書（8）▽浮腫に六君子湯を使用した例▽ニキビに清上防風湯▽ヨク苡仁が疣贅によく効いた例	緒方玄芳	(48)482	1974年(昭和49)・第21巻・08号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜8＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(49)483	1974年(昭和49)・第21巻・08号
河童随筆　だるま	ちぐあん	(52)486	1974年(昭和49)・第21巻・08号
ウチダ和漢薬大潟工場見学記	気賀林一	(53)487	1974年(昭和49)・第21巻・08号
選奇湯の処方について	矢数道明	(56)490	1974年(昭和49)・第21巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年7月＞	協会本部／編集局	(57)491	1974年(昭和49)・第21巻・08号
@1974年(昭和49)-第21巻-09号-			
香月牛山先生の事績とその家系	難波恒雄	(3)499	1974年(昭和49)・第21巻・09号
ある一人の患者の記録	坂口弘	(21)517	1974年(昭和49)・第21巻・09号
温知堂経験録（83）▽30年来の片頭痛に五苓散▽声帯にできたポリープに柴胡桂枝湯加山豆根▽腸のポリープに柴芍六君子湯加カワラタケ▽皮膚の荒れと手掌角皮症に加味逍遥散	矢数道明	(27)523	1974年(昭和49)・第21巻・09号
漢方診療おぼえ書（9）▽半夏白朮天麻湯で著効のあった湿疹の例▽椎間軟骨ヘルニアの例▽胃弱に大建中湯を与え著効のあった例▽感染性粉瘤に托裏消毒飲を用いた例	緒方玄芳	(29)525	1974年(昭和49)・第21巻・09号
日本東洋医学会総会出席会員からの手紙	藤平健	(31)527	1974年(昭和49)・第21巻・09号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜9＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(34)530	1974年(昭和49)・第21巻・09号
漢方研究室　出題：問題68　坐骨神経痛3題／解答：問題64	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・Ｕ生	(37)533	1974年(昭和49)・第21巻・09号
村の中での東洋医学	橋本行生	(42)538	1974年(昭和49)・第21巻・09号
温知荘雑筆　韓国の漢医と漢薬師余話	矢数道明	(48)544	1974年(昭和49)・第21巻・09号
懐病の治験例	松岡睦友	(50)546	1974年(昭和49)・第21巻・09号
河童随筆　『日奇連』	ちぐあん	(52)548	1974年(昭和49)・第21巻・09号
易と針の話　＜夢想庵雑話＞	夢想庵	(53)549	1974年(昭和49)・第21巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年8月＞	協会本部／編集局	(54)550	1974年(昭和49)・第21巻・09号
@1974年(昭和49)-第21巻-10号-			
喘四君子湯について　第1篇　喘四君子湯の臨床的研究	細野史郎	(3)561	1974年(昭和49)・第21巻・10号
七条晃正博士の逝去	編集局	(19)577	1974年(昭和49)・第21巻・10号
悪性関節リウマチの1治験例を中心にして	中川良隆・末友祥正・安井廣迪・田家照生・村上昌人	(20)578	1974年(昭和49)・第21巻・10号
マイナス1才の持つ意味	坂口弘	(26)584	1974年(昭和49)・第21巻・10号
うっ血状態の愁訴に苓桂朮甘湯が有効であった	岡田正	(29)587	1974年(昭和49)・第21巻・10号
温知堂経験録（84）▽心肥大症と不整脈に増損木防已湯▽不安でジッとして居られないのに正心湯▽右下肢（血栓症）の浮腫と痛みに疎経活血湯加味方▽毎年出ていた水虫が柴芍六君子湯で治った	矢数道明	(31)589	1974年(昭和49)・第21巻・10号
解釈の誤りは認識の相違ではない	藤平健	(34)592	1974年(昭和49)・第21巻・10号
温知荘雑筆　奇病還胎症－韓賛セキ氏草稿より－	矢数道明	(40)598	1974年(昭和49)・第21巻・10号
漢方研究室　出題：問題69　高齢者の肺炎／解答：問題65	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・瓜	(42)600	1974年(昭和49)・第21巻・10号
竹孫（岡西為人）先生半生記由来＜10＞　＜大陸時代の岡西先生口述自叙＞	武田健一	(45)603	1974年(昭和49)・第21巻・10号
湯本求真先生の思い出	吉原浅吉	(49)607	1974年(昭和49)・第21巻・10号
代田文誌氏の長逝を悼む	編集局	(50)608	1974年(昭和49)・第21巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年9月＞	協会本部／編集局	(51)609	1974年(昭和49)・第21巻・10号
@1974年(昭和49)-第21巻-11号-			
喘四君子湯について　第2篇　喘四君子湯の“証”に思う	細野史郎	(3)623	1974年(昭和49)・第21巻・11号
水と火　天地陰陽	佐竹テイ花	(21)641	1974年(昭和49)・第21巻・11号
救急処置のため入院させた患者の経過について（1）	矢数道明	(32)652	1974年(昭和49)・第21巻・11号
再び陰陽虚実について　－山田・藤平両氏に答える－	桑木崇秀	(34)654	1974年(昭和49)・第21巻・11号

温知荘雑筆　ごわう・ろくわう（牛黄・鹿黄？）のこと▽道三と三喜の機縁	矢数道明	(39)659	1974年(昭和49)・第21巻・11号
漢薬服用者の注意すべき点	松岡睦友	(41)661	1974年(昭和49)・第21巻・11号
漢（閑）話休題	戸田一盛	(43)663	1974年(昭和49)・第21巻・11号
傷寒翼方演義（3）＜太陰部位＞	細迫陽三	(46)666	1974年(昭和49)・第21巻・11号
河童随筆　痛みと心	ちぐあん	(49)669	1974年(昭和49)・第21巻・11号
モクモク不欲飲食	花村訓充	(50)670	1974年(昭和49)・第21巻・11号
新刊紹介／丸山昌朗訓注『訓注銅人ユ穴鍼灸図経』	工藤訓正	(51)671	1974年(昭和49)・第21巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年10月＞	協会本部／編集局	(52)672	1974年(昭和49)・第21巻・11号
@1974年(昭和49)-第21巻-12号-			
慢性便秘の治療＜1＞　＜痙攣性便秘と桂枝加芍薬湯＞	山本巖	(3)685	1974年(昭和49)・第21巻・12号
筍庵治験・経験録　▽頑固な下痢症に人参湯合真武湯去芍薬▽頑固なしもやけに桂枝茯苓丸料▽アキレス腱炎に治打撲一方加減	山田光胤	(14)696	1974年(昭和49)・第21巻・12号
漢方診療おぼえ書（10）▽クローン病に内托散▽関節リウマチに桂枝加苓朮附湯▽月経時の桂枝茯苓丸▽痔疾に乙字湯加減▽蛋白尿に小柴胡湯加減▽歯槽膿漏に甘露飲▽胸背部痛に小柴胡湯加減▽胃下垂症に加味逍遥散▽紫斑病に柴胡桂枝湯	緒方玄芳	(17)699	1974年(昭和49)・第21巻・12号
温知堂経験録（85）▽角膜炎に越婢加朮湯▽血の道症の精神不安に正心湯▽胃のポリープに養胃湯加カワラタケ▽青年性扁平疣と夜尿に麻杏ヨク甘湯エキス	矢数道明	(23)705	1974年(昭和49)・第21巻・12号
高血圧症治験	鮎川濯三	(26)708	1974年(昭和49)・第21巻・12号
救急処置のため入院させた患者の経過について（2）	矢数道明	(28)710	1974年(昭和49)・第21巻・12号
私の最近の治療法　▽慢性肝炎▽気管支拡張症兼糖尿病	土本重	(30)712	1974年(昭和49)・第21巻・12号
赤脚医生と共に（1）	橋本行生	(33)715	1974年(昭和49)・第21巻・12号
中国の中薬（漢方薬）麻酔とは	栗原久夫	(36)718	1974年(昭和49)・第21巻・12号
防已茯苓湯の例	森崎信夫	(38)720	1974年(昭和49)・第21巻・12号
漢方研究室　出題：問題70　心臓病3題／解答：問題66	出題・解答）小倉重成 回答）島津・大村・佐藤	(39)721	1974年(昭和49)・第21巻・12号
傷寒論と文化病の後世方	松岡睦友	(42)724	1974年(昭和49)・第21巻・12号
河童随筆　老らくの恋	ちぐあん	(44)726	1974年(昭和49)・第21巻・12号
書評／伊藤清夫著『食を活かす』	気賀林一	(48)730	1974年(昭和49)・第21巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年11月＞	協会本部／編集局	(49)731	1974年(昭和49)・第21巻・12号
ある湿疹の治験	吉原浅吉	(51)733	1974年(昭和49)・第21巻・12号
@1975年(昭和50)-第22巻-01号-			
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	相見三郎	(3)3	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞安易な「東西医学の結びつけ」	舘野健	(3)3	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	山田光胤	(4)4	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	木下晴都	(4)4	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	武見太郎	(4)4	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	大塚敬節	(4)4	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	木村忠二郎	(4)4	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	堀越清三	(5)5	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	藤田正直	(5)5	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	松岡武保	(5)5	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	新田興	(5)5	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	増永静人	(6)6	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	芹澤勝助	(6)6	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	長尾泰爾	(6)6	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	桑木崇秀	(6)6	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	小倉重成	(7)7	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	工藤訓正	(7)7	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	戸田一盛	(7)7	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	岡野勝憲	(8)8	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	松下嘉一	(8)8	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	山崎広熊	(8)8	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	河内省一	(8)8	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	竹内達	(9)9	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	小曽戸丈夫	(9)9	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	橋本行生	(9)9	1975年(昭和50)・第22巻・01号

新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	吉原浅吉	(9)9	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	中山友記	(10)10	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	土本重	(10)10	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	柴田良治	(10)10	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞落穂拾い	飯田穣	(10)10	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	菊谷豊彦	(11)11	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	大塚恭男	(11)11	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	三田寛	(11)11	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	鮎川濯三	(12)12	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	小野文恵	(12)12	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	西脇平士	(12)12	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞知倶安こと間中博士の「新年のことば」に	戸部宗七郎	(12)12	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	細野史郎	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞急がれてせかされて診る師走かな＜棗園＞	細迫陽三	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	長塩容伸	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	高橋諄和	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	長倉吉宏	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	宮崎綾子	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	室賀昭三	(13)13	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	山元章平	(14)14	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	西澤道允	(14)14	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	遠田裕政	(15)15	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	中島随象	(15)15	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	松岡睦友	(15)15	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	戸田秀実	(15)15	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	犀川龍	(15)15	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	土田茂雄	(16)16	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	原田正敏	(16)16	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	佐竹テイ花	(16)16	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	埴岡博	(16)16	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	岩佐礼一	(16)16	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞新春の夢	緒方玄芳	(17)17	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	寺師睦濟	(17)17	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	津田進三	(17)17	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	坂口弘	(17)17	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	岸本亮一	(17)17	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	宮沢伸佳	(18)18	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	原桃介	(18)18	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	神戸源蔵	(18)18	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	藤井美樹	(18)18	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	関根邦之助	(18)18	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	上田太郎	(19)19	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	中村了介	(19)19	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	松浦敬一	(19)19	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	木村雄四郎	(19)19	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	小川新	(19)19	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	小椋道益	(20)20	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	矢数圭堂	(20)20	1975年(昭和50)・第22巻・01号
新年のことば　＜昭和50年（1975年）＞	矢数道明	(20)20	1975年(昭和50)・第22巻・01号
傷寒論の新研究（1）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(22)22	1975年(昭和50)・第22巻・01号
吉益震助が奥田鳳作送った依頼書をめぐって	矢数道明	(33)33	1975年(昭和50)・第22巻・01号
慢性便秘の治療＜2＞　＜痙攣性便秘と桂枝加芍薬湯＞	山本巖	(40)40	1975年(昭和50)・第22巻・01号
漢方診療おぼえ書（11）▽下腹部にガスがたまり排出しにくいと訴える老人▽高血圧症に八味地黄湯加釣藤鈎黄柏▽尿路結石に猪苓湯と芍薬甘草湯兼用▽残尿感を主訴とする初老の女性に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽セツに悩む母と乳幼児	緒方玄芳	(51)51	1975年(昭和50)・第22巻・01号

赤脚医生と共に（2）	橋本行生	(54)54	1975年(昭和50)・第22巻・01号
河童随筆　糸脈	ちぐあん	(57)57	1975年(昭和50)・第22巻・01号
香港　陳存仁氏書翰	編集局	(58)58	1975年(昭和50)・第22巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和49年12月＞	協会本部／編集局	(58)59	1975年(昭和50)・第22巻・01号
@1975年(昭和50)-第22巻-02号-			
慢性便秘の治療＜3＞　＜習慣性便秘と大黄剤＞（1）	山本巖	(3)69	1975年(昭和50)・第22巻・02号
傷寒論の新研究（2）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(15)81	1975年(昭和50)・第22巻・02号
温知堂経験録（85）＜腎結核、肝斑、筋腫手術後遺症、メニエール病＞腎臓結核の血尿と蛋白尿に十全大補湯▽顔面の肝斑に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽子宮筋腫手術後の腹部不快に桂枝加芍薬湯▽メニエール症候群に柴胡加竜骨牡蠣湯	矢数道明	(19)85	1975年(昭和50)・第22巻・02号
漢方診療おぼえ書（12）▽関節リウマチに桂枝加苓朮附湯▽膝関節痛に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽慢性腎炎▽慢性下痢と神経痛▽夜尿症に小建中湯	緒方玄芳	(21)87	1975年(昭和50)・第22巻・02号
頑固な右下肢神経痛の1例	土本重	(24)90	1975年(昭和50)・第22巻・02号
陰陽虚実の論争に寄せて	戸田一盛	(26)92	1975年(昭和50)・第22巻・02号
中国の中薬麻酔とは（続き）　術中の問題点	栗原久夫	(29)95	1975年(昭和50)・第22巻・02号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（1）	趙憲泳 訳注）張重信	(34)100	1975年(昭和50)・第22巻・02号
漢方研究室　出題：問題71　皮膚筋炎（膠原病）／解答：問題67	出題・解答）小倉重成 回答）島津・村上・満貫生・佐藤	(41)107	1975年(昭和50)・第22巻・02号
昭和49年（1974）漢方医界年表	矢数道明	(44)110	1975年(昭和50)・第22巻・02号
赤脚医生と共に（3）＜ふるさと＞	橋本行生	(48)114	1975年(昭和50)・第22巻・02号
河童随筆　愚問	ちぐあん	(50)116	1975年(昭和50)・第22巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年1月＞	協会本部／編集局	(51)117	1975年(昭和50)・第22巻・02号
釣藤鈎	上木正博	(52)118	1975年(昭和50)・第22巻・02号
@1975年(昭和50)-第22巻-03号-			
傷寒論の読み方の基本＜桑木氏の「再び陰陽虚実について」に答える＞	山田光胤	(3)131	1975年(昭和50)・第22巻・03号
道三「啓廸集」自序中の「利陽」について	矢数道明	(10)138	1975年(昭和50)・第22巻・03号
傷寒論の新研究（3）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(13)141	1975年(昭和50)・第22巻・03号
耳の病気と漢方　ー柴蘇飲などについてー	坂口弘	(19)147	1975年(昭和50)・第22巻・03号
漢方診療おぼえ書（13）▽漢方治療無効例▽慢性中耳炎に蔓荊子散▽心下部から喉に突き上げる中年女	緒方玄芳	(24)152	1975年(昭和50)・第22巻・03号
温知堂経験録（87）＜老人性痴呆、不安と恐怖、手術後の尿失禁＞老人性痴呆症に正心湯▽不安と恐怖に正心湯▽直腸腫瘍手術後の尿失禁に牡丹皮散加カワラタケ▽両手のシビレと脱毛症に加味八疝湯と柴胡加竜骨牡蠣湯	矢数道明	(27)155	1975年(昭和50)・第22巻・03号
中西医結合の胃・十二指腸潰瘍・急性穿孔治療について	天津市南開病院	(30)158	1975年(昭和50)・第22巻・03号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（2）	趙憲泳 訳注）張重信	(40)168	1975年(昭和50)・第22巻・03号
香月牛山の墓とその子孫	宮崎綾子	(46)174	1975年(昭和50)・第22巻・03号
黄ゴン湯の例	森崎信夫	(51)179	1975年(昭和50)・第22巻・03号
漢方研究室　出題：問題72　慢性腎炎と糖尿／解答：問題68	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤	(52)180	1975年(昭和50)・第22巻・03号
研究雑誌は過去の総索引完備が急務	田中三穂	(54)182	1975年(昭和50)・第22巻・03号
漢方存続運動に挺身した先哲浅井国幹顕彰会	浅井国幹顕彰会	(56)184	1975年(昭和50)・第22巻・03号
新刊紹介／＜月刊雑誌＞『東静漢方研究室』創刊号	編集局	(57)185	1975年(昭和50)・第22巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年2月＞	協会本部／編集局	(58)186	1975年(昭和50)・第22巻・03号
@1975年(昭和50)-第22巻-04号-			
喘四君子湯について　第2篇　喘四君子湯の“証”に思う（改訂稿再掲）	細野史郎	(3)193	1975年(昭和50)・第22巻・04号
傷寒論の新研究（4）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(21)211	1975年(昭和50)・第22巻・04号
韓国東西医学研究会記念号への所感文	矢数道明	(25)215	1975年(昭和50)・第22巻・04号
治験3題　▽頚腕症候群・慢性胃炎▽偏頭痛・耳鳴・腰痛・腹痛・脱力▽三叉神経痛	小倉重成	(30)220	1975年(昭和50)・第22巻・04号
当帰芍薬散治験の反省	鮎川濯三	(32)222	1975年(昭和50)・第22巻・04号
漢方診療おぼえ書（14）▽陰部カンジタ症に十味敗毒湯▽原因不明という腹痛に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁	緒方玄芳	(34)224	1975年(昭和50)・第22巻・04号
癌性腹満2例	重田学	(37)227	1975年(昭和50)・第22巻・04号
病は気から　▽蕁麻疹▽病は気から	土本重	(39)229	1975年(昭和50)・第22巻・04号
赤脚医生と共に（4）＜人情＞	橋本行生	(41)231	1975年(昭和50)・第22巻・04号
漢方研究室　出題：問題73　今年の流感／解答：問題69	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤	(43)233	1975年(昭和50)・第22巻・04号

書評／荒木性次氏の遺著『七含』を読んで	矢数道明	(46)236	1975年(昭和50)・第22巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年3月＞	協会本部／編集局	(47)237	1975年(昭和50)・第22巻・04号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（3）	趙憲泳 訳注）張重信	(50)240	1975年(昭和50)・第22巻・04号
@1975年(昭和50)-第22巻-05号-			
慢性便秘の治療＜4＞　＜弛緩性便秘及びその他に就て＞	山本巖	(3)255	1975年(昭和50)・第22巻・05号
衆方規矩の魯魚について	埴岡博	(19)271	1975年(昭和50)・第22巻・05号
傷寒論の研究　＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(23)275	1975年(昭和50)・第22巻・05号
経験5例　▽木防已湯▽十味敗毒湯▽大黄牡丹皮湯▽麻黄杏仁甘草石膏湯▽麻黄湯	鮎川濯三	(30)282	1975年(昭和50)・第22巻・05号
温知堂経験録（88）▽アレルギー体質に小青竜湯エキス▽高血圧と下痢に胃苓湯▽凍傷に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽小児喘息に五虎二陳湯加味方▽十二指腸潰瘍による背痛に千金当帰湯	矢数道明	(32)284	1975年(昭和50)・第22巻・05号
腹中腫瘍の治験例（1）	松岡睦友	(35)287	1975年(昭和50)・第22巻・05号
漢方診療おぼえ書（15）＜下痢3例＞	緒方玄芳	(38)290	1975年(昭和50)・第22巻・05号
漢方は良い　▽流産癖のある34歳の女性▽私の高血圧	土本重	(40)292	1975年(昭和50)・第22巻・05号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（4）	趙憲泳 訳注）張重信	(43)295	1975年(昭和50)・第22巻・05号
全日本学生漢方研究会連盟機関誌の発行に関して	江口朝男	(49)301	1975年(昭和50)・第22巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年4月＞	協会本部／編集局	(50)302	1975年(昭和50)・第22巻・05号
Mathematical　Statistics（統計数学・数理統計学・推測統計学・推計学）と漢方の私見	入江正	(52)304	1975年(昭和50)・第22巻・05号
東は東	夢想庵	(56)308	1975年(昭和50)・第22巻・05号
@1975年(昭和50)-第22巻-06号-			
治打撲一方に就いて	山本巖	(3)317	1975年(昭和50)・第22巻・06号
傷寒論の新研究（5）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(11)325	1975年(昭和50)・第22巻・06号
表裏内外について	張重信	(21)335	1975年(昭和50)・第22巻・06号
漢方診療おぼえ書（16）▽嗅覚消失に麗沢通気湯▽3年半悩んだ頭痛に呉茱萸湯▽老人のカゼに麻黄細辛附子湯▽前立腺肥大に八味地黄湯▽難聴（中耳炎）湿疹に桂枝加黄耆湯▽排尿後の下腹部の達和感に当帰芍薬散加方▽帯下、陰部湿疹に加味逍遥散加方▽夜尿症に柴胡桂枝湯▽発作性頻脈症に悩む老人▽腎石に猪苓湯、兼用芍薬甘草湯　ほか	緒方玄芳	(25)339	1975年(昭和50)・第22巻・06号
温知堂経験録（89）＜手足シビレ感など＞両膝以下のシビレ、躓づきに附子湯▽手足のシビレ感に加味八疝湯▽レーノー病と手のシビレに加味八疝湯▽嚢腫腎の高血圧に大柴胡湯	矢数道明	(30)344	1975年(昭和50)・第22巻・06号
腫瘍患者2例	松岡睦友	(32)336	1975年(昭和50)・第22巻・06号
当帰四逆湯加味方による常習便秘への使用例3題	長谷川忠昭	(34)348	1975年(昭和50)・第22巻・06号
痔に桃核承気湯4題	大村富栄	(36)350	1975年(昭和50)・第22巻・06号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（5）	趙憲泳 訳注）張重信	(38)352	1975年(昭和50)・第22巻・06号
本誌最近号ほか読後感	宮崎綾子	(44)358	1975年(昭和50)・第22巻・06号
温知荘雑筆　「本朝経験方」の意味について▽「医界之鉄椎」の発行回数	矢数道明	(46)360	1975年(昭和50)・第22巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年5月＞	協会本部／編集局	(48)362	1975年(昭和50)・第22巻・06号
書評／相見三郎・村上信彦共著『漢方はこうして治す、心とからだの臨床医学』を読んで	武見太郎	(49)363	1975年(昭和50)・第22巻・06号
経験5例　▽胃のつかえ▽腰の神経痛▽左足膝関節のにぶい痛み▽百日咳様のひどい咳▽風邪の後の鼻づまり	佐橋紀男	(52)366	1975年(昭和50)・第22巻・06号
経験5例　▽唇の荒れに当帰芍薬散エキス末▽坐骨神経痛と下肢の痛みに桂枝茯苓丸料と芍薬甘草湯の偉効▽皮膚ソウ痒症に大柴胡去大黄湯▽嘔吐と頭痛に五苓散料エキス粉末▽蓄膿症・胃下垂症	村田恭介	(54)368	1975年(昭和50)・第22巻・06号
@1975年(昭和50)-第22巻-07号-			
傷寒論の新研究（6）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(3)379	1975年(昭和50)・第22巻・07号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（6・7）	趙憲泳 訳注）張重信	(9)385	1975年(昭和50)・第22巻・07号
傷寒論の研究（2）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(19)395	1975年(昭和50)・第22巻・07号
牛山記余滴　ー付「遊豊司命録」ー	宮崎綾子	(23)399	1975年(昭和50)・第22巻・07号
平胃散・四逆散について	細迫陽三	(27)403	1975年(昭和50)・第22巻・07号
漢方診療おぼえ書（17）▽下痢下血に人参湯▽ルイレキに逍遥散加方▽頑固な咳に大柴胡湯合半夏厚朴湯（2例）▽蕁麻疹に加味逍遥散加荊芥・地骨皮	緒方玄芳	(32)408	1975年(昭和50)・第22巻・07号
温知堂経験録（90）▽足蹠の膿疱症に黄連阿膠湯▽痔漏に千金内托散と伯州散▽胃のポリープに柴芍六君子湯加カワラタケ▽中心性網膜炎が桂枝茯苓丸料合五苓湯で	矢数道明	(34)410	1975年(昭和50)・第22巻・07号
リール黒皮症の治験	鈴木赫・時永達巳	(36)412	1975年(昭和50)・第22巻・07号
漢方経験例　▽大青竜湯▽葛根湯加桔梗石膏▽麻黄湯▽小柴胡湯加桔梗石膏▽柴胡桂枝湯▽柴陥湯▽小青竜湯▽麦門冬湯▽桂枝湯	大村富栄	(37)413	1975年(昭和50)・第22巻・07号
慢性胃炎への使用例	長谷川忠昭	(38)414	1975年(昭和50)・第22巻・07号

河童随筆　知愚庵随筆昇天のごあいさつ	ちぐあん	(40)416	1975年(昭和50)・第22巻・07号
赤脚医生と共に（5）＜生甲斐＞	橋本行生	(41)417	1975年(昭和50)・第22巻・07号
新刊紹介／清水藤太郎著『和漢薬索引』集大成刊行さる	矢数道明	(44)420	1975年(昭和50)・第22巻・07号
朝比奈泰彦先生逝去	編集局	(45)421	1975年(昭和50)・第22巻・07号
誓詞	三木栄	(46)422	1975年(昭和50)・第22巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年6月＞	協会本部／編集局	(49)425	1975年(昭和50)・第22巻・07号
@1975年(昭和50)-第22巻-08号-			
傷寒論の研究（3）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(3)445	1975年(昭和50)・第22巻・08号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（8）	趙憲泳 訳注）張重信	(8)450	1975年(昭和50)・第22巻・08号
小柴胡湯論	花村訓充	(18)460	1975年(昭和50)・第22巻・08号
再生不良性貧血症の治験	柴田良治	(27)469	1975年(昭和50)・第22巻・08号
温知堂経験録（91）▽3年間の無月経に温経湯を与えて▽肺気腫に喘四君子湯加味方▽精神分裂病に桂枝茯苓丸料合黄連解毒湯▽女高生の鬱病に桂枝茯苓丸	矢数道明	(32)474	1975年(昭和50)・第22巻・08号
漢方診療おぼえ書（18）▽腎不全に八味地黄湯加釣藤・黄柏▽頭痛に桂枝加桂湯▽月経不順に桂枝茯苓丸▽月経異常に加味逍遥散加地黄・香附子（2例）	緒方玄芳	(36)478	1975年(昭和50)・第22巻・08号
重症の心不全	土本重	(40)482	1975年(昭和50)・第22巻・08号
治験3例　▽高血圧▽自律神経症？▽夜尿症	鮎川濯三	(44)486	1975年(昭和50)・第22巻・08号
経験6例　▽腹満と便秘に桂枝加芍薬大黄湯▽不眠症に柴胡桂枝乾姜湯▽慢性腎炎に五苓散料▽めまい・吐気に半夏白朮天麻湯▽左頸部リンパ腺腫に葛根湯▽ヘントウ腺炎に葛根湯加減	村田恭介	(46)488	1975年(昭和50)・第22巻・08号
発汗下熱の後始末	彭瑞麟	(48)490	1975年(昭和50)・第22巻・08号
漢方研究室　出題：問題74　慢性腎炎5題／解答：問題70	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐野	(49)491	1975年(昭和50)・第22巻・08号
温知荘雑筆　曲直瀬玄朔の「延寿院配剤記」について	矢数道明	(55)497	1975年(昭和50)・第22巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年7月＞	協会本部／編集局	(53)496	1975年(昭和50)・第22巻・08号
@1975年(昭和50)-第22巻-09号-			
傷寒論の研究（4）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(3)509	1975年(昭和50)・第22巻・09号
傷寒論の新研究（7）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(7)513	1975年(昭和50)・第22巻・09号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（9）	趙憲泳 訳注）張重信	(16)522	1975年(昭和50)・第22巻・09号
細迫陽三先生訪問の記	気賀林一	(25)531	1975年(昭和50)・第22巻・09号
温知堂経験録（92）▽高血圧の頭痛不眠に清上ケン痛湯▽虚弱体質の小児に小柴胡湯合麦門冬湯▽鼻塞り、いびきの児に葛根湯エキス末▽鼻づまりに辛夷清肺湯エキス	矢数道明	(37)543	1975年(昭和50)・第22巻・09号
メニエール症候群の1治験	鈴木赫・時永達巳	(39)545	1975年(昭和50)・第22巻・09号
漢方経験雑記（2）＜十味敗毒湯及びその類方による治験＞寒冷蕁麻疹に十味敗毒湯エキスの偉効▽化粧かぶれに十味敗毒湯エキス▽鼻の先の腫れ物に荊防敗毒散が著効▽5年来の湿疹に当帰芍薬散料合十味敗毒湯加連翹ヨク苡仁	村田恭介	(40)546	1975年(昭和50)・第22巻・09号
下剤3題　▽脳炎（ウイルス性）▽感冒▽泌尿器系器官の感染？	大村富栄	(42)548	1975年(昭和50)・第22巻・09号
漢方研究室　出題：問題75　慢性頭痛／解答：問題71	出題・解答）小倉重成 回答）島津・村上・小野・松宮・佐野	(44)550	1975年(昭和50)・第22巻・09号
「霊界通信」＜その1＞＜故ちぐあん河童特報＞	ちぐあん	(47)553	1975年(昭和50)・第22巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年8月＞	協会本部／編集局	(48)554	1975年(昭和50)・第22巻・09号
江蘇省中医院参観記及び中国に於ける「傷寒雑病論」の評価について	松浦敬一	(51)557	1975年(昭和50)・第22巻・09号
@1975年(昭和50)-第22巻-10号-			
傷寒論の研究（5）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(3)573	1975年(昭和50)・第22巻・10号
傷寒論の新研究（8）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(7)577	1975年(昭和50)・第22巻・10号
温知堂経験録（93）▽胃のポリープに柴胡桂枝湯加カワラタケ▽メニエール病の頭痛めまいに清上ケン痛湯▽ひどい面疱に腸癰湯加芍薬▽両下肢の湿疹に温清飲加連翹	矢数道明	(11)581	1975年(昭和50)・第22巻・10号
腫瘍患者2例	松岡睦友	(13)583	1975年(昭和50)・第22巻・10号
漢方経験雑記（3）▽心臓神経症に桂枝茯苓湯▽頭痛と肩凝り▽肩凝り、頭重、腰痛▽生理痛▽生理異常	村田恭介	(17)587	1975年(昭和50)・第22巻・10号
漢方経験例　＜附子人参湯2題＞	大村富栄	(19)589	1975年(昭和50)・第22巻・10号
桂枝去芍薬加麻黄附子細辛湯の例	森崎信夫	(20)590	1975年(昭和50)・第22巻・10号
温知荘雑筆　浅井惟亨（号南皐）について	矢数道明	(22)592	1975年(昭和50)・第22巻・10号
藤平健博士対談（前篇）	気賀林一	(24)594	1975年(昭和50)・第22巻・10号
漢方研究室　出題：問題76　慢性肝炎／解答：問題72	出題・解答）小倉重成 回答）島津・譚・佐藤	(47)617	1975年(昭和50)・第22巻・10号
故荒木正胤氏を悼む　弔辞	矢数道明	(49)619	1975年(昭和50)・第22巻・10号

故荒木正胤氏を悼む　荒木正胤先生の想出	浅野正義	(50)620	1975年(昭和50)・第22巻・10号
「霊界通信」＜その2＞＜故ちぐあん河童特報＞	ちぐあん	(53)623	1975年(昭和50)・第22巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年9月＞	協会本部／編集局	(55)625	1975年(昭和50)・第22巻・10号
@1975年(昭和50)-第22巻-11号-			
傷寒論の新研究（9）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(3)637	1975年(昭和50)・第22巻・11号
傷寒論の研究（6）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(9)643	1975年(昭和50)・第22巻・11号
藤平健博士対談（後篇）	気賀林一	(15)649	1975年(昭和50)・第22巻・11号
温知堂経験録（94）＜十六味流気飲治験集＞右甲状腺腫に十六味流気飲▽右側甲状腺腫に十六味流気飲▽左乳腺症に十六味流気飲▽左側の乳房腫瘤（腺維腫）に十六味流気飲	矢数道明	(29)663	1975年(昭和50)・第22巻・11号
のどチク奮戦記＜附「熱多、寒少」の解釈＞	藤平健	(31)665	1975年(昭和50)・第22巻・11号
最近の諸例　▽腹膜癒着症？▽前頸部の板状硬化▽進行性筋萎縮症状	土本重	(35)669	1975年(昭和50)・第22巻・11号
心臓神経症の1経験例	大村富栄	(39)673	1975年(昭和50)・第22巻・11号
漢方経験雑記（4）＜頭痛・頭重・目眩＞産後に加味逍遥散▽手術後に桃核承気湯▽頭痛に五苓散▽頭痛吐気に呉茱萸湯▽頭痛に呉茱萸湯▽頭重に釣藤散▽吐気その他に半夏白朮天麻湯	村田恭介	(41)675	1975年(昭和50)・第22巻・11号
険症治験2例（五苓散の偉効）	張重信	(45)679	1975年(昭和50)・第22巻・11号
北京・天津を訪ねて＜薬学・薬業関係者と語る＞	嶋野武	(48)682	1975年(昭和50)・第22巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年10月＞	協会本部／編集局	(51)685	1975年(昭和50)・第22巻・11号
「霊界通信」＜その3＞＜故ちぐあん河童特報＞	ちぐあん	(53)687	1975年(昭和50)・第22巻・11号
@1975年(昭和50)-第22巻-12号-			
苓桂朮甘湯に就て＜1＞	山本巖	(3)701	1975年(昭和50)・第22巻・12号
傷寒論の新研究（10）＜素問の傷寒熱論の臨床化について＞	小椋道益	(19)717	1975年(昭和50)・第22巻・12号
桂枝去桂加茯苓朮湯の自験	藤平健	(23)721	1975年(昭和50)・第22巻・12号
漢方診療検討録（21）▽第42例：無声と下痢清穀に通脉四逆湯加桔梗	橋本行生	(25)723	1975年(昭和50)・第22巻・12号
男性インポテンツの3例	鈴木赫・時永達巳	(27)725	1975年(昭和50)・第22巻・12号
温知堂経験録（95）＜治打撲一方治験集＞眼の囲りの打撲に治打撲一方▽右の眼窩をバットで打たれたのに治打撲一方▽古い腎臓部の打撲痛に治打撲一方▽腸閉塞症手術後の腸狭窄に桂枝加芍薬湯	矢数道明	(28)726	1975年(昭和50)・第22巻・12号
最近の症例　▽多発性関節リウマチ▽貨幣状湿疹▽腸閉塞	土本重	(30)728	1975年(昭和50)・第22巻・12号
漢方経験雑記（5）＜再び桂枝茯苓湯＞不妊症に大柴胡湯合桂枝茯苓丸料▽エキス散でもメンケン様反応▽卵巣脳腫手術後の症状▽右眼の充血に桂枝茯苓丸料エキス末	村田恭介	(32)730	1975年(昭和50)・第22巻・12号
小柴胡湯論（続）＜第22巻8号所載のつづき＞	花村訓充	(34)732	1975年(昭和50)・第22巻・12号
国幹先生顕彰碑の建った常楽寺にて	長谷川道	(35)733	1975年(昭和50)・第22巻・12号
漢方研究室　出題：問題77　膠原病3題／解答：問題73	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・長浜・真	(37)735	1975年(昭和50)・第22巻・12号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（10）	趙憲泳 訳注）張重信	(42)740	1975年(昭和50)・第22巻・12号
「霊界通信」＜その4＞＜故ちぐあん河童特報＞	ちぐあん	(52)750	1975年(昭和50)・第22巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年11月＞	協会本部／編集局	(54)752	1975年(昭和50)・第22巻・12号
越婢加朮湯加半夏の経験例	大村富栄	(56)754	1975年(昭和50)・第22巻・12号
@1976年(昭和51)-第23巻-01号-			
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	木村雄四郎	(3)3	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	木下晴都	(3)3	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	矢数道明	(3)3	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	新田興	(4)4	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	土本重	(4)4	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	竹内達	(4)4	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	木村忠二郎	(5)5	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	松岡武保	(5)5	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	坂口弘	(5)5	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞証は病の原因ではない	小倉重成	(5)5	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	原田正敏	(6)6	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	河内省一	(6)6	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	藤平健	(6)6	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	大塚敬節	(7)7	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	間中喜雄	(7)7	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	関根邦之助	(7)7	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	長尾泰爾	(7)7	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	橋本行生	(8)8	1976年(昭和51)・第23巻・01号

新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	吉原浅吉	(8)8	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	工藤訓正	(8)8	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	武見太郎	(8)8	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	山田光胤	(9)9	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	舘野健	(9)9	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	相見漁人	(9)9	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	鮎川濯三	(9)9	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	板橋博史	(10)10	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	津田進三	(10)10	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	松下嘉一	(10)10	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	夏三郎	(10)10	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	三田寛	(11)11	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	戸田一盛	(11)11	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	原桃介	(11)11	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	桑木崇秀	(12)12	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	大塚恭男	(12)12	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	小椋道益	(12)12	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	小島喜久男	(13)13	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞志在不朽	小曽戸丈夫	(13)13	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞ミミズに救われる。	長塩容伸	(13)13	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	戸田秀実	(14)14	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	西澤道允	(14)14	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	岸本亮一	(14)14	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	中村了介	(14)14	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	小野文恵	(15)15	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	土田茂雄	(15)15	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	柴田良治	(15)15	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	増永静人	(15)15	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	中島紀一	(15)15	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	長倉吉宏	(16)16	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	遠田裕政	(16)16	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	寺師睦濟	(16)16	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞黒大豆入り玄米めし	上木正博	(16)16	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	細迫陽三	(17)17	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	細野史郎	(17)17	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	宮沢伸佳	(17)17	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	塚本赳夫	(17)17	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	飯田穣	(17)17	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞サン（傘）寿を迎えて	中野操	(17)17	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	菊谷豊彦	(18)18	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	小川新	(18)18	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞生涯稽古	藤井美樹	(18)18	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	芹沢勝助	(18)18	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞柚子の里	岩佐礼一	(19)19	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	室賀昭三	(19)19	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	中山友記	(19)19	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	戸部宗七郎	(19)19	1976年(昭和51)・第23巻・01号
新年のことば　＜昭和51年（1976年）＞	難波恒雄	(20)20	1976年(昭和51)・第23巻・01号
寿徳院曲直瀬玄由家系譜について	矢数道明	(21)21	1976年(昭和51)・第23巻・01号
傷寒論における発汗の配慮について	藤平健	(25)25	1976年(昭和51)・第23巻・01号
甘麦大棗湯の治験とその証の考察	相見三郎	(30)30	1976年(昭和51)・第23巻・01号
傷寒論の新研究（11）＜素問の傷寒熱論の臨床化について＞	小椋道益	(34)34	1976年(昭和51)・第23巻・01号
年頭漫談	細迫陽三	(41)41	1976年(昭和51)・第23巻・01号
温知堂経験録（96）▽頑固な気管支喘息に杏蘇散▽慢性頭痛に清上ケン痛湯、膝関節炎にヨク苡仁湯▽大頑癬に糠の油の外用	矢数道明	(44)44	1976年(昭和51)・第23巻・01号
胸脇苦満に対する考察	花村訓充	(46)46	1976年(昭和51)・第23巻・01号

漢方経験雑記（6）＜呼吸器系疾患＞小児の咳と喘鳴に麻杏甘石湯エキス末▽3年間続いた咳とアレルギー性鼻炎に小青竜湯エキス末▽気管支喘息の発作止めに大柴胡湯合半夏厚朴湯エキス末▽25年来の喘息に小柴胡湯合半夏厚朴湯エキス末で著効▽手こずった気管支拡張症に柴胡桂枝乾姜湯エキス末で漸く軽快	村田恭介	(49)49	1976年(昭和51)・第23巻・01号
漢方研究室　出題：問題78　直腸潰瘍／解答：問題74	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤	(52)52	1976年(昭和51)・第23巻・01号
「霊界通信」＜その5＞＜故ちぐあん河童特報＞	ちぐあん	(56)56	1976年(昭和51)・第23巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和50年12月＞	協会本部／編集局	(57)57	1976年(昭和51)・第23巻・01号
@1976年(昭和51)-第23巻-02号-			
傷寒論の新研究（12）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(3)67	1976年(昭和51)・第23巻・02号
中草薬紹介＜1＞田七	嶋野武	(6)70	1976年(昭和51)・第23巻・02号
糖質コルチコステロイドホルモン（プレドニゾロン）の副作用を漢方方剤で治した症例について　（1）ステロイド離脱、副作用に有効であった症例	有地滋	(9)73	1976年(昭和51)・第23巻・02号
感冒治療のポイント	伊藤嘉紀	(17)81	1976年(昭和51)・第23巻・02号
道三橋、道三堀の追加訂正について	矢数道明	(24)88	1976年(昭和51)・第23巻・02号
猪苓湯	花村訓充	(28)92	1976年(昭和51)・第23巻・02号
温知堂経験録（97）▽ストロフルスに五苓湯▽血小板減少性紫斑病に温清飲▽難聴が葛根湯加キョウ活、防風で好転▽高価な外国人漢方	矢数道明	(31)95	1976年(昭和51)・第23巻・02号
わが編集生活の回顧＜1＞▽春陽堂書店編集部時代	気賀林一	(33)97	1976年(昭和51)・第23巻・02号
龍野一雄氏逝去	編集局	(38)102	1976年(昭和51)・第23巻・02号
龍野一雄氏逝去　弔辞並びにご挨拶	矢数道明	(38)102	1976年(昭和51)・第23巻・02号
龍野一雄氏逝去　弔辞	山田光胤	(39)103	1976年(昭和51)・第23巻・02号
龍野一雄氏逝去　弔辞	海老塚吉次	(40)104	1976年(昭和51)・第23巻・02号
龍野一雄氏逝去　故龍野一雄先生の追憶	気賀林一	(40)104	1976年(昭和51)・第23巻・02号
「霊界通信」＜その6＞＜二股膏薬＞	ちぐあん	(43)107	1976年(昭和51)・第23巻・02号
新刊紹介／中西医結合による『急性腹症の治療』＜天津市南開病院編著　夏三郎訳＞／薬学博士　木村雄四郎著『和漢薬の世界』＜創元社発行＞／医学博士　伊藤清夫著『「食を活かす』第2集＜創元社発行＞／医学博士　森田幸門・毛利部紫山共著『診療漢法医筌』完＜森田漢法治療学研究所＞　ほか	気賀林一	(45)109	1976年(昭和51)・第23巻・02号
書評／『人間・気象・病気』－気候内科へのアプローチ－加地正郎編著	伊藤嘉紀	(47)111	1976年(昭和51)・第23巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年1月＞	協会本部／編集局	(48)112	1976年(昭和51)・第23巻・02号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（11）	趙憲泳 訳注）張重信	(50)114	1976年(昭和51)・第23巻・02号
@1976年(昭和51)-第23巻-03号-			
傷寒論の新研究（13）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(3)131	1976年(昭和51)・第23巻・03号
泄瀉奮戦記	藤平健	(6)134	1976年(昭和51)・第23巻・03号
漢方経験例　▽片頭痛に柴胡桂枝乾姜湯▽片頭痛に加味逍遥散合五苓散▽眼底出血に加味逍遥散合防已黄耆湯	大村光明	(10)138	1976年(昭和51)・第23巻・03号
糖質コルチコステロイドホルモンの副作用を漢方方剤及び漢薬有効成分で治した症例　（2）特にステロイド離脱困難症に有効であった例	有地滋・有地英子・小林尚子	(12)140	1976年(昭和51)・第23巻・03号
中医学追試例	村上泰央	(15)143	1976年(昭和51)・第23巻・03号
漢方経験雑記（7）＜消化器疾患＞胃症状と左背筋の凝りに延年半夏湯▽胃下垂、胃酸過多症に、安中散料加茯苓大黄▽胃痛に安中散料エキス散▽酒飲みの胃症状に安中散料加茯苓▽2－3年来の胃症状に安中散料エキス散が著効▽胃痙攣に柴胡桂枝湯加牡蠣小茴香▽入院したくてもできない事情のある患者▽胆石症に大柴胡湯	村田恭介	(21)149	1976年(昭和51)・第23巻・03号
最近の治療例　▽奇経療法の奏効▽胃癌▽めまい	土本重	(25)153	1976年(昭和51)・第23巻・03号
昭和50年（1975）漢方医界年表	矢数道明	(28)156	1976年(昭和51)・第23巻・03号
わが編集生活の回顧＜2＞▽春陽堂書店編集部時代	気賀林一	(32)160	1976年(昭和51)・第23巻・03号
猪苓湯で便秘が治る	吉原浅吉	(38)166	1976年(昭和51)・第23巻・03号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（12）	趙憲泳 訳注）張重信	(39)167	1976年(昭和51)・第23巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年2月＞	協会本部／編集局	(47)175	1976年(昭和51)・第23巻・03号
「霊界通信」＜その7＞＜怨念＞	ちぐあん	(49)177	1976年(昭和51)・第23巻・03号
龍野一雄先生49日忌に当って	矢数道明	(51)179	1976年(昭和51)・第23巻・03号
書評／古守豊甫著『長寿村橷原』を読んで	矢数道明	(53)181	1976年(昭和51)・第23巻・03号
中草薬紹介＜2＞	嶋野武	(56)184	1976年(昭和51)・第23巻・03号
@1976年(昭和51)-第23巻-04号-			
当帰芍薬散と妊娠	坂口弘・中田敬吾	(3)195	1976年(昭和51)・第23巻・04号
慢性肝炎漢方治療の現時点に於ける考察	吉尾幹生・有地滋・有地英子・戸田静男	(7)199	1976年(昭和51)・第23巻・04号
漢方診療おぼえ書（19）▽加味逍遥散で妊娠▽八味丸で意外な結果▽眼瞼湿疹に加味逍遥散合四物湯	緒方玄芳	(11)203	1976年(昭和51)・第23巻・04号

不妊症の治験	鈴木赫・時永達巳	(13)205	1976年(昭和51)・第23巻・04号
「東洋医学実態調査」中間報告	千葉大学東洋医学研究会	(14)206	1976年(昭和51)・第23巻・04号
清水藤太郎博士逝去	編集局	(24)216	1976年(昭和51)・第23巻・04号
清水藤太郎博士逝去　清水藤太郎博士を悼む	木村雄四郎	(24)216	1976年(昭和51)・第23巻・04号
清水藤太郎博士逝去　清水藤太郎先生の御逝去を悼む	大塚敬節	(26)218	1976年(昭和51)・第23巻・04号
清水藤太郎博士逝去　清水先生のありし日日	海老塚吉次	(27)219	1976年(昭和51)・第23巻・04号
清水藤太郎博士逝去　清水藤太郎先生の思い出	矢数道明	(31)223	1976年(昭和51)・第23巻・04号
わが編集生活の回顧＜3＞▽春陽堂書店編集部時代	気賀林一	(33)225	1976年(昭和51)・第23巻・04号
漢方研究室　出題：問題80　糖尿病2題／解答：問題76	出題・解答）小倉重成 回答）譚・島津・佐藤	(39)231	1976年(昭和51)・第23巻・04号
中草薬紹介＜3＞	嶋野武	(44)236	1976年(昭和51)・第23巻・04号
新刊紹介／田代三喜の代表的著書『三帰廻翁医書』（三喜十巻書）の復刊について	矢数道明	(46)238	1976年(昭和51)・第23巻・04号
「霊界通信」＜その8＞＜現世のハイエナ野郎＞	ちぐあん	(48)240	1976年(昭和51)・第23巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年3月＞	協会本部／編集局	(50)242	1976年(昭和51)・第23巻・04号
@1976年(昭和51)-第23巻-05号-			
冷え症の治療とその周辺＜1＞	山本巖	(3)259	1976年(昭和51)・第23巻・05号
慢性肝炎漢薬治療の現時点に於ける考察（その1）	吉尾幹生・有地滋・有地英子・戸田静男	(10)266	1976年(昭和51)・第23巻・05号
糖質コルチコステロイドホルモンの副作用を漢方方剤で治した症例（3）血清肝炎を治したとともにステロイド副作用を消失させた症例	有地滋	(13)269	1976年(昭和51)・第23巻・05号
傷寒論の新研究（14）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(19)275	1976年(昭和51)・第23巻・05号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（13）	趙憲泳 訳注）張重信	(23)279	1976年(昭和51)・第23巻・05号
漢方診療おぼえ書（20）▽不眠症に加味温胆湯▽車酔に小半夏加茯苓湯▽尿不利、騰竜湯兼用八味丸▽冷え症、腹痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	緒方玄芳	(26)282	1976年(昭和51)・第23巻・05号
温知堂経験録（98）▽癰セツ・化膿体質に千金内托散▽咽痛、嗄声、咳嗽に百合固金湯▽慢性下痢に真武湯合人参湯▽慢性扁桃炎に小柴胡湯と黄柏液の含嗽	矢数道明	(28)284	1976年(昭和51)・第23巻・05号
霍臍風について	矢数道明	(31)287	1976年(昭和51)・第23巻・05号
最近の諸例　▽つわり▽慢性膵炎の診断及治療法	土本重	(32)288	1976年(昭和51)・第23巻・05号
漢方経験例　▽風邪▽風邪（？）▽風邪▽急性中耳炎▽中耳炎▽風邪	大村光明	(34)290	1976年(昭和51)・第23巻・05号
呉茱萸湯小治験	吉原浅吉	(36)292	1976年(昭和51)・第23巻・05号
中草薬紹介＜4＞仙鶴草	嶋野武	(37)293	1976年(昭和51)・第23巻・05号
わが編集生活の回顧＜4＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(40)296	1976年(昭和51)・第23巻・05号
「霊界通信」＜その9＞＜トロさん・スタさん＞	ちぐあん	(47)303	1976年(昭和51)・第23巻・05号
新刊書評／浜田善利・小曽戸丈夫共著『意釈神農本草経』の発刊	矢数道明	(49)305	1976年(昭和51)・第23巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年4月＞	協会本部／編集局	(51)307	1976年(昭和51)・第23巻・05号
漢方経験雑記（8）＜神経症治験＞祈祷師の不安神経症に抑肝散加陳皮半夏▽血の道症に加味逍遥散料エキス及び猪苓湯エキス▽赤面恐怖症に黄連解毒湯エキス▽鼠咬症だと悩む男性に四逆散末▽夜の頻尿に桃核承気湯エキスが著効▽神経症的症状を紙片に書いて来た女性に加味逍遥散料エキス	村田恭介	(53)309	1976年(昭和51)・第23巻・05号
@1976年(昭和51)-第23巻-06号-			
冷え症の治療とその周辺＜2＞	山本巖	(3)323	1976年(昭和51)・第23巻・06号
傷寒論の新研究（15）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(15)335	1976年(昭和51)・第23巻・06号
温知堂経験録（99）▽7年間の頑固な頭痛と嘔吐に清上ケン痛湯合五苓湯▽気管支炎による胸痛と高血圧症に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料▽リウマチ様関節痛にヨク苡仁湯と甘草附子湯合桂枝芍薬知母湯	矢数道明	(20)340	1976年(昭和51)・第23巻・06号
漢方診療おぼえ書（21）▽前立腺肥大に八味丸▽喘息3例	緒方玄芳	(23)343	1976年(昭和51)・第23巻・06号
客証に依る不思議な症状の2例　▽陰茎消えて穴となる▽性慾を催せばバッタンコラ、エッサッサ	松岡睦友	(25)345	1976年(昭和51)・第23巻・06号
漢方経験雑記（5）再掲　＜再び桂枝茯苓湯＞不妊症に大柴胡湯合桂枝茯苓丸料▽エキス散でもメンケン様反応▽卵巣脳腫手術後の症状▽右眼の充血に桂枝茯苓丸料エキス末	村田恭介	(29)349	1976年(昭和51)・第23巻・06号
漢方経験例　▽額痛▽動物に対する投薬量▽便秘▽風邪▽浮腫▽急性胃炎	大村光明	(31)351	1976年(昭和51)・第23巻・06号
漢方研究室　出題：問題79　気管支拡張症・急性気管支炎／解答：問題75	出題・解答）小倉重成 回答）島津・譚・佐藤	(34)354	1976年(昭和51)・第23巻・06号
わが編集生活の回顧＜5＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(36)356	1976年(昭和51)・第23巻・06号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（14）	趙憲泳 訳注）張重信	(43)363	1976年(昭和51)・第23巻・06号
「霊界通信」＜その10＞＜敬語＞	ちぐあん	(50)370	1976年(昭和51)・第23巻・06号
経絡注射療法＜経絡に漢薬エキスの注入療法＞	千享變・南相千	(51)371	1976年(昭和51)・第23巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年5月＞	協会本部／編集局	(57)377	1976年(昭和51)・第23巻・06号

@1976年(昭和51)-第23巻-07号-			
東洋脚気病院の遠田澄庵をめぐって	矢数道明	(3)387	1976年(昭和51)・第23巻・07号
冷え症の治療とその周辺＜3＞	山本巖	(19)403	1976年(昭和51)・第23巻・07号
漢方診療おぼえ書（22）▽至ホ刺痛に至ホ刺痛湯▽面疔に十味敗毒湯加方▽カンジタ症・3例	緒方玄芳	(25)409	1976年(昭和51)・第23巻・07号
はらいのけられた“風”	橋口親義	(27)411	1976年(昭和51)・第23巻・07号
最近の諸例　▽尋常性乾癬▽流産難産に就て	土本重	(30)414	1976年(昭和51)・第23巻・07号
漢方経験雑記（9）▽リール氏黒皮症に加味逍遥散料エキス散▽いびきに大柴胡湯加桔梗石膏エキス散▽老人の頻尿に小建中湯が著効▽アデノイドに小柴胡湯加桔梗石膏エキス散▽扁桃肥大に小柴胡湯加桔梗石膏	村田恭介	(33)417	1976年(昭和51)・第23巻・07号
わが編集生活の回顧＜6＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(36)420	1976年(昭和51)・第23巻・07号
漢方研究室　出題：問題81　今冬の風邪／解答：問題77	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤	(42)426	1976年(昭和51)・第23巻・07号
中草薬紹介＜5＞地竜	嶋野武	(47)431	1976年(昭和51)・第23巻・07号
「霊界通信」＜その11＞＜落つれば同じ谷川の水＞	ちぐあん	(52)436	1976年(昭和51)・第23巻・07号
浅井国幹記念文集への反響（1）＜黎国昌博士より新田興翁への手簡＞	矢数道明	(54)438	1976年(昭和51)・第23巻・07号
傷寒論の新研究（16）＜素問の傷寒熱論の臨床化について＞	小椋道益	(55)439	1976年(昭和51)・第23巻・07号
@1976年(昭和51)-第23巻-08号-			
漢方薬理が欲しい（1）牡丹皮	細野史郎	(3)451	1976年(昭和51)・第23巻・08号
「外証未解」の意味するもの	藤平健	(14)462	1976年(昭和51)・第23巻・08号
冷え症の治療とその周辺＜4＞	山本巖	(21)469	1976年(昭和51)・第23巻・08号
温知堂経験録（100）＜治験3例＞強皮症に当帰四逆加呉茱萸生姜湯と紫雲膏▽慢性緑内障の頭痛眼痛に選奇湯▽不整脈に炙甘草湯	矢数道明	(27)475	1976年(昭和51)・第23巻・08号
漢方診療おぼえ書（23）＜ＷＴＴＣ治験例＞	緒方玄芳	(29)477	1976年(昭和51)・第23巻・08号
不妊症治験追記	時永達巳	(32)480	1976年(昭和51)・第23巻・08号
中草薬紹介＜6＞穿心蓮	嶋野武	(33)481	1976年(昭和51)・第23巻・08号
わが編集生活の回顧＜7＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(37)485	1976年(昭和51)・第23巻・08号
漢方研究室　出題：問題82　急性食中毒／解答：問題78	出題・解答）小倉重成 回答）島津・東根・佐藤	(42)490	1976年(昭和51)・第23巻・08号
「霊界通信」＜その12＞＜学会発表＞	ちぐあん	(44)492	1976年(昭和51)・第23巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年6月・7月＞	協会本部／編集局	(46)494	1976年(昭和51)・第23巻・08号
漢方経験例　▽風邪？▽下痢▽風邪▽風疹後の微熱▽嘔吐・下痢▽風邪	大村光明	(49)497	1976年(昭和51)・第23巻・08号
傷寒論の新研究（17）＜素問の傷寒熱病の臨床化について＞	小椋道益	(51)499	1976年(昭和51)・第23巻・08号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（15）	趙憲泳 訳注）張重信	(53)501	1976年(昭和51)・第23巻・08号
持ち上がる生命活動力	橋口親義	(55)503	1976年(昭和51)・第23巻・08号
@1976年(昭和51)-第23巻-09号-			
漢方薬理が欲しい（2）桂皮	細野史郎	(3)515	1976年(昭和51)・第23巻・09号
冷え症の治療とその周辺＜5＞	山本巖	(20)532	1976年(昭和51)・第23巻・09号
中草薬紹介＜7＞八角梧桐	嶋野武	(23)535	1976年(昭和51)・第23巻・09号
京都妙満寺に浅井家三代の墓碑を捜ねて	矢数道明	(26)538	1976年(昭和51)・第23巻・09号
漢方診療おぼえ書（24）▽ネフローゼに分消湯▽頭痛に呉茱萸湯・ほてりに牛車腎気丸料▽ヒステリーに抑肝散加陳皮半夏湯	緒方玄芳	(29)541	1976年(昭和51)・第23巻・09号
漢方経験雑記（10）＜慢性下痢症に甘草瀉心湯或は半夏瀉心湯＞	村田恭介	(32)544	1976年(昭和51)・第23巻・09号
桂枝去桂加茯苓白朮湯追試（自験）	鈴木弘明	(35)547	1976年(昭和51)・第23巻・09号
最近の諸例　▽急性扁桃腺炎▽面疱▽牡蠣に就いて▽気管支喘息2例	土本重	(36)548	1976年(昭和51)・第23巻・09号
漢方研究室　出題：問題83　夏風邪6題／解答：問題79	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤	(40)552	1976年(昭和51)・第23巻・09号
浅井国幹記念文集への反響（2）＜羽倉敬尚先生より＞	矢数道明	(42)554	1976年(昭和51)・第23巻・09号
浅井国幹記念文集を読んでの所感－矢数道明氏に寄せられた漢詩3首－	気賀林一	(43)555	1976年(昭和51)・第23巻・09号
「霊界通信」＜その13＞＜言葉の原点＞	ちぐあん	(45)557	1976年(昭和51)・第23巻・09号
わが編集生活の回顧＜8＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(47)559	1976年(昭和51)・第23巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年8月＞	協会本部／編集局	(53)565	1976年(昭和51)・第23巻・09号
『趙炳南臨床経験集』の紹介	松浦敬一	(55)567	1976年(昭和51)・第23巻・09号
浅井国幹記念文集への反響（3）＜古守豊甫、三木栄、小林高四郎3博士よりの書簡＞	矢数道明	(57)569	1976年(昭和51)・第23巻・09号
@1976年(昭和51)-第23巻-10号-			
漢方薬理が欲しい（3）桃仁	細野史郎	(3)579	1976年(昭和51)・第23巻・10号
漢方薬の薬理学的研究（第1報）－ヒマシ油によるマウス下痢に対する漢方薬の影響－	長尾順一	(13)589	1976年(昭和51)・第23巻・10号
「必斉」に就いての1考察	豊田白詩	(18)594	1976年(昭和51)・第23巻・10号

冷え症の治療とその周辺＜6＞	山本巖	(23)599	1976年(昭和51)・第23巻・10号
漢方診療おぼえ書（25）▽胸部挫傷に治打撲一方▽嗄声に麦門冬湯と黄柏煎含漱▽急性咽喉頭炎に清上養中湯と駆風解毒湯	緒方玄芳	(33)609	1976年(昭和51)・第23巻・10号
漢方経験例　▽胸部の圧迫感▽風邪▽盗汗	大村光明	(34)610	1976年(昭和51)・第23巻・10号
最近の諸例　▽sjoegren症候群▽甲状腺機能低下症▽右半身不随症・糖尿病	土本重	(36)612	1976年(昭和51)・第23巻・10号
わが編集生活の回顧＜9＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(40)616	1976年(昭和51)・第23巻・10号
矢数道明先生の従軍記録を読んで	田村豊幸	(49)625	1976年(昭和51)・第23巻・10号
「霊界通信」＜その14＞＜お見透し＞	ちぐあん	(51)627	1976年(昭和51)・第23巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年9月＞	協会本部／編集局	(53)629	1976年(昭和51)・第23巻・10号
@1976年(昭和51)-第23巻-11号-			
漢方薬理が欲しい（4）芍薬	細野史郎	(3)643	1976年(昭和51)・第23巻・11号
中草薬紹介＜8＞桑寄生	嶋野武	(25)665	1976年(昭和51)・第23巻・11号
藤平健氏「外証未解の意味するもの」（本誌第23巻第8号所戴）を読む	佐藤貞美	(29)669	1976年(昭和51)・第23巻・11号
漢方診療おぼえ書（26）▽頭痛に選奇湯▽中耳炎に香蘇散	緒方玄芳	(36)676	1976年(昭和51)・第23巻・11号
腹水（肝硬変）治験	時永達巳	(37)677	1976年(昭和51)・第23巻・11号
遠田澄庵補遺	矢数道明	(38)678	1976年(昭和51)・第23巻・11号
わが編集生活の回顧＜10＞▽月刊雑誌「本草」時代	気賀林一	(41)681	1976年(昭和51)・第23巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年10月＞	協会本部／編集局	(48)688	1976年(昭和51)・第23巻・11号
続・傷寒論の研究（7）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(50)690	1976年(昭和51)・第23巻・11号
@1976年(昭和51)-第23巻-12号-			
漢方薬理が欲しい（5）茯苓	細野史郎	(3)707	1976年(昭和51)・第23巻・12号
日本における古方と後世方の由来と日韓漢方医学交流の歴史	矢数道明	(18)722	1976年(昭和51)・第23巻・12号
最近の病理解剖例から（その1）子宮頸癌と細絡現象	伊原信夫	(22)726	1976年(昭和51)・第23巻・12号
漢方診療検討録（22）▽第43例：胸部不快感に小承気湯▽第44例：労作性狭心症に小建中湯加大黄	橋本行生	(29)733	1976年(昭和51)・第23巻・12号
最近の諸例　▽心臓神経症、じんましん▽てんかん▽脳動脈硬化症	土本重	(32)736	1976年(昭和51)・第23巻・12号
漢方診療おぼえ書（27）▽鼻ポリープに辛夷清肺湯▽冠不全に半夏厚朴湯▽肋間神経痛に清湿化痰湯▽出血性子宮腟部糜爛に八味帯下方	緒方玄芳	(35)739	1976年(昭和51)・第23巻・12号
寓感	富田道夫	(37)741	1976年(昭和51)・第23巻・12号
ハイ元植氏に協会顧問推薦状を贈る	編集局	(38)742	1976年(昭和51)・第23巻・12号
香港遊記	戸田一盛	(39)743	1976年(昭和51)・第23巻・12号
中草薬余談　田七	松浦敬一	(44)748	1976年(昭和51)・第23巻・12号
漢方研究室　出題：問題84　不眠3題／解答：問題80	出題・解答）小倉重成 回答）島津・東根・田村	(47)751	1976年(昭和51)・第23巻・12号
「霊界通信」＜その15＞＜女は猫族＞	ちぐあん	(51)755	1976年(昭和51)・第23巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年11月＞	協会本部／編集局	(52)756	1976年(昭和51)・第23巻・12号
@1977年(昭和52)-第24巻-01号-			
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	間中喜雄	(3)3	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	戸部宗七郎	(3)3	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	大塚敬節	(3)3	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞妙満寺浅井家墓域の新設置	矢数道明	(3)3	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	山田光胤	(4)4	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	竹内達	(4)4	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	木下晴都	(4)4	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	小川新	(5)5	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞物と平和	小倉重成	(5)5	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	河内省一	(5)5	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	吉原浅吉	(6)6	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	土本重	(6)6	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	藤平健	(6)6	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞新年のことば	木村雄四郎	(6)6	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	難波恒雄	(6)6	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	中山友記	(7)7	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞漢方の今日的使命	舘野健	(7)7	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	戸田秀実	(7)7	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞春の思い出	小曽戸丈夫	(8)8	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	遠田裕政	(8)8	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	戸田一盛	(8)8	1977年(昭和52)・第24巻・01号

新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	長崎北生	(9)9	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	三田寛	(9)9	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞今年悲しかった事	板橋博史	(9)9	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	小島喜久男	(9)9	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	桑木崇秀	(9)9	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	菊谷豊彦	(10)10	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	原田正敏	(10)10	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	新宿生	(10)10	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	土田茂雄	(10)10	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	岩佐礼一	(10)10	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	細迫棗園	(11)11	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	工藤訓正	(11)11	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞今年の漢方の課題	相見三郎	(11)11	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	増永静人	(11)11	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞春の日の夢	飯田穣	(11)11	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	岸本亮一	(12)12	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	寺師睦宗	(12)12	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	室賀昭三	(12)12	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	佐藤貞美	(12)12	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	長倉吉宏	(12)12	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	細野史郎	(13)13	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	藤井美樹	(13)13	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	橋本行生	(13)13	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	柴田良治	(13)13	1977年(昭和52)・第24巻・01号
新年のことば　＜昭和52年（1977年）＞	小椋道益	(13)13	1977年(昭和52)・第24巻・01号
漢方薬理が欲しい（6）桂枝茯苓丸反芻録	細野史郎	(14)14	1977年(昭和52)・第24巻・01号
漢方診療おぼえ書（28）▽腹痛を伴う難治の下痢に甲字湯加ヨク苡仁▽低血糖救急にアメ玉	緒方玄芳	(37)37	1977年(昭和52)・第24巻・01号
漢方経験雑記（11）▽小児喘息に神秘湯エキス▽30年来の腰痛に八味丸料加減	村田恭介	(40)40	1977年(昭和52)・第24巻・01号
漢方研究室　出題：問題85　下痢4題／解答：問題81	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・小野	(43)43	1977年(昭和52)・第24巻・01号
鼻漏（鼻炎）の漢方治療経験	橋口親義	(47)47	1977年(昭和52)・第24巻・01号
「霊界通信」＜その16＞＜人間なんてつまらんつまらん＞	ちぐあん	(54)54	1977年(昭和52)・第24巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和51年12月＞	協会本部／編集局	(56)56	1977年(昭和52)・第24巻・01号
@1977年(昭和52)-第24巻-02号-			
漢方薬理が欲しい（7）生姜・ZINGIBERIS RHIZOMA	細野史郎	(3)67	1977年(昭和52)・第24巻・02号
再び内外について	藤平健	(14)78	1977年(昭和52)・第24巻・02号
＜聖光園レポート＞「安中散について」＜京都・聖光園細野診療所＞	中田敬吾・坂口弘	(18)82	1977年(昭和52)・第24巻・02号
八味丸料加人参が良効を奏した糖尿病の1例	桑木崇秀	(24)88	1977年(昭和52)・第24巻・02号
漢方診療おぼえ書（29）▽流産ぐせに当帰芍薬散▽老人虚証の慢性肝炎・肝硬変症▽胃弱に半夏瀉心湯	緒方玄芳	(27)91	1977年(昭和52)・第24巻・02号
漢方経験例　▽風邪▽鼻炎	大村光明	(30)94	1977年(昭和52)・第24巻・02号
東洋医学の指向するもの＜1＞－霊生論随想－	富田道夫	(31)95	1977年(昭和52)・第24巻・02号
東洋医学のものの考え方（1）	増永静人	(40)104	1977年(昭和52)・第24巻・02号
赤脚医生と共に（6）＜新遠野物語＞	橋本行生	(43)107	1977年(昭和52)・第24巻・02号
山元章平氏逝去	編集局	(46)110	1977年(昭和52)・第24巻・02号
時永君を惜しむ	藤平健	(46)110	1977年(昭和52)・第24巻・02号
時永達巳博士を悼む	鈴木赫	(48)112	1977年(昭和52)・第24巻・02号
「霊界通信」＜その17＞＜陰陽の道＞	ちぐあん	(50)114	1977年(昭和52)・第24巻・02号
『臨床45年漢方治療百話第4集』を読んで	原桃介	(52)116	1977年(昭和52)・第24巻・02号
房州だより（1）	気賀林一・和田正系	(53)117	1977年(昭和52)・第24巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年1月＞	協会本部／編集局	(54)118	1977年(昭和52)・第24巻・02号
@1977年(昭和52)-第24巻-03号-			
漢方診療おぼえ書（30）＜クローン病の文献的考察と治験症例＞（1）	緒方玄芳	(3)131	1977年(昭和52)・第24巻・03号
漢方診療検討録（23）＜血痺と黄耆桂枝五物湯＞▽第45例▽第46例	橋本行生	(7)135	1977年(昭和52)・第24巻・03号
温知堂経験録（101）＜治験3題＞腸閉塞手術後の腸狭窄症に中建中湯▽虫垂炎手術後の腸狭窄症に中建中湯と神効湯▽アレルギー性鼻炎と高血圧が小青竜湯で	矢数道明	(13)141	1977年(昭和52)・第24巻・03号

附子とＧＯＴ・ＧＰＴ＜その1＞	戸田静男・有地英子・伊原信夫	(16)144	1977年(昭和52)・第24巻・03号
最近の諸例　▽医師に対する信頼感は薬効を増大する▽坐骨神経痛▽不眠症・偏頭痛	土本重	(19)147	1977年(昭和52)・第24巻・03号
漢方経験雑記（12）▽小児の足腰の痛みに小建中湯エキス▽腎臓結石患者の足のひきつりに猪苓湯合芍薬甘草湯各エキス▽木防已湯で主訴軽快とともに酒が嫌いになった話	村田恭介	(22)150	1977年(昭和52)・第24巻・03号
東洋医学の指向するもの＜2＞－霊生論随想－	富田道夫	(24)152	1977年(昭和52)・第24巻・03号
東洋医学のものの考え方（2）	増永静人	(33)161	1977年(昭和52)・第24巻・03号
漢方研究室　出題：問題86　腰痛3題／解答：問題82	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・小野	(36)164	1977年(昭和52)・第24巻・03号
「霊界通信」＜その18＞＜亀頭判事補に答う＞	ちぐあん	(39)167	1977年(昭和52)・第24巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年2月＞	協会本部／編集局	(41)169	1977年(昭和52)・第24巻・03号
房州だより（2）	気賀林一・和田正系	(42)170	1977年(昭和52)・第24巻・03号
傷寒論学習会の記	杉山広茂	(43)171	1977年(昭和52)・第24巻・03号
傷寒論の新研究（18）＜素問の傷寒熱論の臨床化について＞	小椋道益	(45)173	1977年(昭和52)・第24巻・03号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（16）	趙憲泳 訳注）張重信	(50)178	1977年(昭和52)・第24巻・03号
@1977年(昭和52)-第24巻-04号-			
薬剤の帰経について（上）＜現代中国薬剤＞	岡田道三	(3)195	1977年(昭和52)・第24巻・04号
東洋医学科診療所に於ける経験＜漢方の証・鍼灸の証とは、そして“なおった”とは＞	橋口親義・筑紫城治	(10)202	1977年(昭和52)・第24巻・04号
漢方診療おぼえ書（31）＜クローン病の文献的考察と治験症例＞（2）	緒方玄芳	(16)208	1977年(昭和52)・第24巻・04号
温知堂経験録（102）▽ビー玉が咽につかえているようなのに駆風解毒散（湯）▽喘息性気管支炎に小柴胡湯合半夏厚朴湯▽変形性膝関節症に甘草附子湯合桂枝芍薬知母湯	矢数道明	(20)212	1977年(昭和52)・第24巻・04号
漢方経験雑記（13）＜皮膚病＞脂漏性湿疹に黄連解毒湯▽掌と足の裏の湿疹に五苓散料▽老人の皮膚ソウ痒症に当帰飲子か八味丸か迷った例▽温清飲か八味丸か迷った例	村田恭介	(24)216	1977年(昭和52)・第24巻・04号
漢方経験例　▽歯槽膿漏に清上防風湯合四物湯▽風邪に真武湯▽激しい頭痛に呉茱萸湯	大村光明	(27)219	1977年(昭和52)・第24巻・04号
東洋医学のものの考え方（3）	増永静人	(29)221	1977年(昭和52)・第24巻・04号
陰陽堂雑記	立木六合郎	(32)224	1977年(昭和52)・第24巻・04号
陰陽について	小野俊郎	(35)227	1977年(昭和52)・第24巻・04号
続・傷寒論の研究（8）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(38)230	1977年(昭和52)・第24巻・04号
わが編集生活の回顧＜11＞▽月刊雑誌『本草』時代	気賀林一	(43)235	1977年(昭和52)・第24巻・04号
「霊界通信」＜その19＞＜電話人＞	ちぐあん	(52)244	1977年(昭和52)・第24巻・04号
房州だより（3）	気賀林一・和田正系	(54)246	1977年(昭和52)・第24巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年3月＞	協会本部／編集局	(55)247	1977年(昭和52)・第24巻・04号
@1977年(昭和52)-第24巻-05号-			
東洋医学実態調査（アンケート調査第2報）	千葉大学東洋医学研究会	(3)259	1977年(昭和52)・第24巻・05号
漢方診療おぼえ書（32）＜クローン病の文献的考察と治験症例＞（3）	緒方玄芳	(29)285	1977年(昭和52)・第24巻・05号
漢方経験例　▽流感？に真武湯・大青竜湯・調胃承気湯・柴胡桂枝乾姜湯▽犬の皮膚病に十味敗毒散▽風邪	大村光明	(36)292	1977年(昭和52)・第24巻・05号
東洋医学のものの考え方（4）	増永静人	(39)295	1977年(昭和52)・第24巻・05号
昭和51年（1976）漢方医界年表	矢数道明	(42)298	1977年(昭和52)・第24巻・05号
わが編集生活の回顧＜12＞▽月刊雑誌『漢方と漢薬』編集時代	気賀林一	(46)302	1977年(昭和52)・第24巻・05号
「霊界通信」＜その20＞＜残念＞	ちぐあん	(52)308	1977年(昭和52)・第24巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年4月＞	協会本部／編集局	(54)310	1977年(昭和52)・第24巻・05号
房州だより（4）	気賀林一・和田正系	(55)311	1977年(昭和52)・第24巻・05号
@1977年(昭和52)-第24巻-06号-			
再び「必斉」について解明す	柴崎保三	(3)323	1977年(昭和52)・第24巻・06号
続・傷寒論の研究（9）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(12)332	1977年(昭和52)・第24巻・06号
薬剤の帰経について（下）＜現代中国薬剤＞	岡田道三	(17)337	1977年(昭和52)・第24巻・06号
東洋医学のものの考え方（5）	増永静人	(21)341	1977年(昭和52)・第24巻・06号
中草薬紹介＜9＞青木香	嶋野武	(24)344	1977年(昭和52)・第24巻・06号
温知堂経験録（103）＜治験4題＞産後の乳汁を止める麦芽煎▽貧血による動悸息切れに帰脾湯と鉄剤▽胃下垂症に真武湯合人参湯▽慢性膀胱炎（腫瘍の疑）に猪苓湯	矢数道明	(27)347	1977年(昭和52)・第24巻・06号
漢方診療おぼえ書（33）▽嗄嘶に響声破笛丸料▽3歳児の肝炎に小柴胡湯加方▽頑固な蕁麻疹に加味逍遥散料合四物湯加荊芥・地骨皮	緒方玄芳	(31)351	1977年(昭和52)・第24巻・06号
最近の諸例　▽腰痛▽左三叉神経痛▽安産2例	土本重	(33)353	1977年(昭和52)・第24巻・06号

漢方経験雑記（14）＜消化器系疾患＞毎年春に繰返す十二指腸潰瘍に柴胡清肝湯エキス▽食道潰瘍手術後遺症に半夏厚朴湯合麦門冬湯▽食中毒後の胃の不快感に半夏瀉心湯▽15年来の下痢症と胃痛に六君子湯の偉効	村田恭介	(36)356	1977年(昭和52)・第24巻・06号
漢方経験例	大村光明	(39)359	1977年(昭和52)・第24巻・06号
房州だより（5）	気賀林一・和田正系	(41)361	1977年(昭和52)・第24巻・06号
漢方研究室　出題：問題87　潰瘍性大腸炎と直腸潰瘍／解答：問題83	出題・解答）小倉重成 回答）島津・小野・佐藤	(42)362	1977年(昭和52)・第24巻・06号
筋拘縮症に対する疑問＜三方一両損＞	富田道夫	(46)366	1977年(昭和52)・第24巻・06号
わが編集生活の回顧＜13＞▽月刊雑誌『漢方と漢薬』編集時代	気賀林一	(49)369	1977年(昭和52)・第24巻・06号
京都妙満寺浅井家三代墓域新設開眼法要を終えて	矢数道明	(53)373	1977年(昭和52)・第24巻・06号
白井光太郎全集の刊行を待望す	杉山広茂	(55)375	1977年(昭和52)・第24巻・06号
新刊紹介／矢数有道著『臨床漢方医学総論』＜績文堂＞	編集局	(57)377	1977年(昭和52)・第24巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年5月＞	協会本部／編集局	(58)378	1977年(昭和52)・第24巻・06号
@1977年(昭和52)-第24巻-07号-			
最近の病理解剖例から（その2）ライ（Reye）症候群と細絡	伊原信夫・布野秀二	(3)387	1977年(昭和52)・第24巻・07号
婦人不定愁訴症候群の治験例	有地滋・兪洪先・阪口真智子	(11)395	1977年(昭和52)・第24巻・07号
漢方診療おぼえ書（34）▽急性白血病に加味帰脾湯加紫根▽糖尿病に八味地黄湯加御種人参▽パーキンソン病に小承気湯合芍薬甘草湯▽高血圧症に七物降下湯▽アトピー皮膚炎に治頭瘡一方	緒方玄芳	(19)403	1977年(昭和52)・第24巻・07号
温知堂経験録（104）＜治験2題＞柴胡桂枝湯で小児の性格が一変▽高血圧による衄血と不眠に大柴胡湯	矢数道明	(25)409	1977年(昭和52)・第24巻・07号
陰陽堂雑記　＜風・寒の邪＞	立木六合郎	(28)412	1977年(昭和52)・第24巻・07号
東洋医学のものの考え方（6）	増永静人	(32)416	1977年(昭和52)・第24巻・07号
漢方経験雑記（15）＜漢方偶感＞	村田恭介	(35)419	1977年(昭和52)・第24巻・07号
傷寒論の新研究（19）＜素問の傷寒熱論の臨床化について＞	小椋道益	(37)421	1977年(昭和52)・第24巻・07号
わが編集生活の回顧＜14＞▽月刊雑誌『漢方と漢薬』編集時代	気賀林一	(43)427	1977年(昭和52)・第24巻・07号
「霊界通信」＜その21＞＜浅知慧＞	ちぐあん	(47)431	1977年(昭和52)・第24巻・07号
＜第27回日本東洋医学総会発表論文＞小児麻痺と鍼灸治療	金雲貞	(49)433	1977年(昭和52)・第24巻・07号
房州だより（6）	気賀林一・和田正系	(51)435	1977年(昭和52)・第24巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年6月＞	協会本部／編集局	(53)437	1977年(昭和52)・第24巻・07号
@1977年(昭和52)-第24巻-08号-			
最近の病理解剖例から（その3）骨盤うっ血症と胃拡張	伊原信夫	(3)451	1977年(昭和52)・第24巻・08号
傷寒論の新研究（20）＜素問の傷寒熱論の臨床化について＞	小椋道益	(13)461	1977年(昭和52)・第24巻・08号
続・傷寒論の研究（10）（最終回）＜弁脈法第1＞	戸田一盛	(17)465	1977年(昭和52)・第24巻・08号
温知堂経験録（105）＜治験5例＞尋常性乾癬に駆オ血丸▽尋常性ザ瘡に大黄牡丹皮湯合桃核承気湯▽貧血・動悸・めまい・耳鳴に炙甘草湯▽バセドー病に炙甘草湯▽特発性腎出血に猪苓湯合芍薬甘草湯	矢数道明	(21)469	1977年(昭和52)・第24巻・08号
漢方経験雑記（16）▽30年来の腹部灼熱感と強度の便秘に桂枝加芍薬大黄湯▽虚弱体質の女性に桂枝加芍薬湯エキスが著効	村田恭介	(25)473	1977年(昭和52)・第24巻・08号
漢方経験例　＜限局性腸炎（クローン病）の体験＞	大村光明	(28)476	1977年(昭和52)・第24巻・08号
東洋医学のものの考え方（7）	増永静人	(30)478	1977年(昭和52)・第24巻・08号
大建中湯に因る瞑眩	吉原浅吉	(33)481	1977年(昭和52)・第24巻・08号
経験2例　▽尿管結石▽土瓜根散私験	鈴木弘明	(34)482	1977年(昭和52)・第24巻・08号
漢方研究室　出題：問題88　気管支喘息5題／解答：問題84	出題・解答）小倉重成 回答）島津・池田・佐藤・半田・田村	(36)484	1977年(昭和52)・第24巻・08号
わが編集生活の回顧＜15＞▽月刊雑誌『漢方と漢薬』編集時代	気賀林一	(42)490	1977年(昭和52)・第24巻・08号
「霊界通信」＜その22＞＜死後の評価＞	ちぐあん	(45)493	1977年(昭和52)・第24巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年7月＞	協会本部／編集局	(47)495	1977年(昭和52)・第24巻・08号
房州だより（7）	気賀林一・和田正系	(48)496	1977年(昭和52)・第24巻・08号
＜趙憲泳著＞通俗漢医学原論（17）	趙憲泳 訳注）張重信	(51)499	1977年(昭和52)・第24巻・08号
林篤美氏の逝去を悼む	編集局	(57)505	1977年(昭和52)・第24巻・08号
@1977年(昭和52)-第24巻-09号-			
最近の病理解剖例から（その4）産褥期下垂体壊死症候群（Sheehan症候群）と骨盤うっ血症	伊原信夫	(3)515	1977年(昭和52)・第24巻・09号
半夏厚朴湯の不定愁訴2例	相見三郎	(18)530	1977年(昭和52)・第24巻・09号
最近の経験例　▽腎炎▽気管支喘息と冷え症▽胃下垂症と疣▽副鼻腔炎	鮎川濯三	(20)532	1977年(昭和52)・第24巻・09号
直腸癒着と痔瘻と脱肛と顕性出血の治験例	松岡睦友	(22)534	1977年(昭和52)・第24巻・09号
漢方経験雑記（17）▽肝炎患者の頭部熱感と倦怠感に柴苓湯加減と桂枝茯苓湯エキス	村田恭介	(25)537	1977年(昭和52)・第24巻・09号
大青竜湯管見	大村光明	(27)539	1977年(昭和52)・第24巻・09号

口内炎小治験	吉原浅吉	(29)541	1977年(昭和52)・第24巻・09号
東洋医学のものの考え方（8）	増永静人	(30)542	1977年(昭和52)・第24巻・09号
中草薬紹介＜10＞菊花	嶋野武	(35)547	1977年(昭和52)・第24巻・09号
中草薬余談＜2＞田七（2）	松浦敬一	(40)552	1977年(昭和52)・第24巻・09号
漢法医術の解明＜漢法復興の原理と純正医学の確立へ＞	富田道夫	(42)554	1977年(昭和52)・第24巻・09号
わが編集生活の回顧＜16＞▽月刊雑誌『漢方と漢薬』編集時代	気賀林一	(44)556	1977年(昭和52)・第24巻・09号
「霊界通信」＜その23＞＜浅はかな奴ら＞	ちぐあん	(51)563	1977年(昭和52)・第24巻・09号
書評／神戸中医学研究会訳・上海中医学院編『中医基礎学』の邦訳出版を読んで	矢数道明	(52)564	1977年(昭和52)・第24巻・09号
房州だより（8）	気賀林一・和田正系	(54)566	1977年(昭和52)・第24巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年8月＞	協会本部／編集局	(54)566	1977年(昭和52)・第24巻・09号
@1977年(昭和52)-第24巻-10号-			
温知堂経験録（106）＜治験3例＞黒皮症に加味逍遥散加ヨク苡仁▽歯槽膿漏に十味敗毒湯合排膿散▽小児喘息に五虎二陳湯	矢数道明	(3)579	1977年(昭和52)・第24巻・10号
最近の臨床例　▽胃下垂症と頭痛▽腎炎	鮎川濯三	(5)581	1977年(昭和52)・第24巻・10号
最近の諸例　▽両頬に細絡著明の婦人▽進行性筋萎縮症3例	土本重	(7)583	1977年(昭和52)・第24巻・10号
漢方経験雑記（18）▽胆石症に大柴胡湯▽原因不明の心下痛が柴胡桂枝湯加減で逆に悪化していたく感謝された話▽目眩、頭痛、項背、肩の凝りに釣藤散▽釣藤散何たることぞ！▽大柴胡湯合釣藤散で高血圧体質改善	村田恭介	(13)589	1977年(昭和52)・第24巻・10号
漢方経験例　▽鳩尾の鈍痛に茯苓飲▽便秘症に茯苓飲とセンナ末▽心悸亢進に柴胡加竜骨牡蠣湯▽動悸不安感に苓桂甘棗湯▽蕁麻疹に桂枝加黄耆湯加荊芥▽全身の痒みに温清飲▽月経過多に桃核承気湯合キュウ帰膠ガイ湯▽慢性腎炎に柴胡桂枝乾姜湯合猪苓湯	大村光明	(18)594	1977年(昭和52)・第24巻・10号
直腸癒着と痔瘻と脱肛と顕性出血の治験例	松岡睦友	(24)600	1977年(昭和52)・第24巻・10号
胆石症	吉原浅吉	(27)603	1977年(昭和52)・第24巻・10号
漢方研究室　出題：問題89　白内障3題／解答：問題85	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤	(28)604	1977年(昭和52)・第24巻・10号
『医界之鉄椎』を巡って（17）	和田正系	(33)609	1977年(昭和52)・第24巻・10号
わが編集生活の回顧＜17＞▽月刊雑誌『漢方と漢薬』編集時代	気賀林一	(43)619	1977年(昭和52)・第24巻・10号
二人の亡友	大塚敬節	(47)623	1977年(昭和52)・第24巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年9月＞	協会本部／編集局	(49)625	1977年(昭和52)・第24巻・10号
「霊界通信」＜その24＞＜ほんとにほんと＞	ちぐあん	(52)628	1977年(昭和52)・第24巻・10号
房州だより（9）	気賀林一・和田正系	(53)629	1977年(昭和52)・第24巻・10号
@1977年(昭和52)-第24巻-11号-			
心痛と胸痺	宮三郎	(3)643	1977年(昭和52)・第24巻・11号
現代医学と漢方医学の提携による医療	原桃介	(7)647	1977年(昭和52)・第24巻・11号
桂枝茯苓丸治験　▽第1例：痔核▽第2例：手掌足蹠皮膚炎▽第3例：膝関節炎▽第4例：膀胱炎	鮎川濯三	(13)653	1977年(昭和52)・第24巻・11号
温知堂経験録（100）＜治験4例＞腎盂腎炎で発熱を繰返すのが柴苓湯で▽扁桃炎で発熱を繰返すのが小柴胡湯で▽特発性腎出血に猪苓湯合キュウ帰膠ガイ湯▽欝病に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁大黄	矢数道明	(15)655	1977年(昭和52)・第24巻・11号
最近の諸例　▽深夜の眼痛▽食道癌▽尋常性乾癬	土本重	(18)658	1977年(昭和52)・第24巻・11号
治験録（痒み）	三田寛	(21)661	1977年(昭和52)・第24巻・11号
通脉四逆湯治験　▽鼻の病▽喘息	小野俊郎	(22)662	1977年(昭和52)・第24巻・11号
漢方経験例　▽若酒客病・不可与桂枝湯▽上腹部の重圧感に呉茱萸湯▽膝関節痛に桃核承気湯合五苓散▽膝関節変形性関節症に続命湯	大村光明	(24)664	1977年(昭和52)・第24巻・11号
中草薬紹介＜11＞金銭草	嶋野武	(27)667	1977年(昭和52)・第24巻・11号
漢方研究室　出題：問題90　白内障3題／解答：問題86	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・牟田・田村	(32)672	1977年(昭和52)・第24巻・11号
『医界之鉄椎』を巡って（18）済生学舎を中心として	和田正系	(37)677	1977年(昭和52)・第24巻・11号
浅井長政の史跡を訪ねて	矢数道明	(44)684	1977年
新刊紹介／矢数有道著『方証学後世要方釈義』－素問活用論文集－	間中喜雄	(46)686	1977年(昭和52)・第24巻・11号
新刊紹介／日野厚博士の新著『人間の栄養学を求めて』	坂口弘	(47)687	1977年(昭和52)・第24巻・11号
ＷＨＯ西太平洋地域委員会、中国代表の「漢方薬・民間薬の研究」講演会にて	矢数道明	(48)688	1977年(昭和52)・第24巻・11号
『漢方治療百話』第4集より第1集をみる	杉山広茂	(49)689	1977年(昭和52)・第24巻・11号
発癌機序に関する1考察＜自律神経、内分泌、経絡現象の知見について＞	富田道夫	(51)691	1977年(昭和52)・第24巻・11号
房州だより（10）	気賀林一・和田正系	(54)694	1977年(昭和52)・第24巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年10月＞	協会本部／編集局	(55)695	1977年(昭和52)・第24巻・11号
@1977年(昭和52)-第24巻-12号-			
漢方薬の妙味について	木村雄四郎	(3)707	1977年(昭和52)・第24巻・12号

太素経について	戸田一盛	(8)712	1977年(昭和52)・第24巻・12号
胃下垂症兼頸腕症候群	鮎川濯三	(13)717	1977年(昭和52)・第24巻・12号
痔瘻と脱肛の治験例（3）	松岡睦友	(14)718	1977年(昭和52)・第24巻・12号
漢方経験雑記（19）▽頭痛とシミに桂枝茯苓湯エキス加減▽肩こり、胃弱に小柴胡湯合桂枝茯苓湯各エキス▽不正出血に当帰芍薬散料エキス	村田恭介	(17)721	1977年(昭和52)・第24巻・12号
漢方経験例　▽急性湿疹に三黄瀉心湯・黄連解毒湯▽湿疹に温清飲▽皮膚炎に黄連解毒湯合十味敗毒湯	大村光明	(19)723	1977年(昭和52)・第24巻・12号
最近の諸例　▽左足の背屈不能▽三叉神経痛	土本重	(21)725	1977年(昭和52)・第24巻・12号
三叉神経痛の治療経験	松山陽太郎	(24)728	1977年(昭和52)・第24巻・12号
陰陽堂雑記　＜虚労の病＞	立木六合郎	(26)730	1977年(昭和52)・第24巻・12号
虚盛之治相背千里（ここでは寒熱）	小野俊郎	(28)732	1977年(昭和52)・第24巻・12号
薤白と地黄「狭心症に於ける地黄の適応例」	花村訓充	(30)734	1977年(昭和52)・第24巻・12号
漢方研究室　出題：問題91　リウマチの介在した3題／解答：問題87	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・小野・田村・星野・池田	(32)736	1977年(昭和52)・第24巻・12号
『医界之鉄椎』を巡って（19）済生学舎（2）	和田正系	(37)741	1977年(昭和52)・第24巻・12号
「霊界通信」＜その26＞＜まかり通る矛盾＞	ちぐあん	(43)747	1977年(昭和52)・第24巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年11月＞	協会本部／編集局	(45)749	1977年(昭和52)・第24巻・12号
「点字図書」・「録音図書」となった漢方医書について	矢数道明	(46)750	1977年(昭和52)・第24巻・12号
房州だより（11）	気賀林一・和田正系	(48)752	1977年(昭和52)・第24巻・12号
浅田宗伯原著　寺師睦宗和訓『傷寒論識』の出版完成近し	矢数道明	(50)754	1977年(昭和52)・第24巻・12号
腎透析患者に漢方薬は是か非か	岡田道三	(51)755	1977年(昭和52)・第24巻・12号
@1978年(昭和53)-第25巻-01号-			
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞年頭所感に追われて	矢数道明	(3)3	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	木村雄四郎	(3)3	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	桑木崇秀	(4)4	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	ちぐあん	(4)4	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	土本重	(4)4	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	村田恭介	(4)4	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	吉原浅吉	(4)4	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	岡田道三	(5)5	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	増永静人	(5)5	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	戸部宗七郎	(5)5	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	大塚敬節	(5)5	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	小川新	(6)6	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	鮎川濯三	(6)6	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	神戸源蔵	(6)6	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	松浦敬一	(7)7	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	藤平健	(7)7	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	竹内達	(7)7	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	山田光胤	(8)8	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	相見三郎	(8)8	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	佐藤貞美	(8)8	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	緒方玄芳	(8)8	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	橋本行生	(9)9	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞年頭にあたっての決心	小曽戸丈夫	(9)9	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	土田茂雄	(9)9	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	橋口親義	(9)9	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	細迫陽三	(10)10	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	原桃介	(10)10	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞年頭の辞	工藤訓正	(10)10	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	松岡睦友	(11)11	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	細野史郎	(11)11	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	難波恒雄	(11)11	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	三田寛	(11)11	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞先祖返り	小倉重成	(11)11	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	大村光明	(12)12	1978年(昭和53)・第25巻・01号

新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞年頭の辞	上木正博	(12)12	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	伊原信夫	(12)12	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	舘野健	(12)12	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	埴岡博	(13)13	1978年(昭和53)・第25巻・01号
新年のことば　＜昭和53年（1978年）＞	柴田良治	(13)13	1978年(昭和53)・第25巻・01号
私解傷寒雑病論類編＜1＞	小曽戸丈夫	(14)14	1978年(昭和53)・第25巻・01号
校点本　本草綱目について	嶋野武	(20)20	1978年(昭和53)・第25巻・01号
温知堂経験録（107）＜面疱・湿疹・不整脈＞面疱（にきび）に初め清上防風湯、後に駆オ血丸▽面疱に初め当帰芍薬散、後に駆オ血丸▽全身の湿疹に駆オ血丸▽心動悸と不整脈に小柴胡湯合苓桂朮甘湯	矢数道明	(24)24	1978年(昭和53)・第25巻・01号
漢方経験雑記（20）▽産後の諸症に当帰芍薬散料▽左肩凝りと頭痛に五苓散料エキス▽咳と息苦しさに麦門冬湯と八味丸料加黄柏▽右膝関節炎に防已黄耆湯▽ヒザ関節の痛みに防已黄耆湯加減▽シミと湿疹に加味逍遥散料エキス▽アレルギー体質に十味敗毒湯加連翹ヨク苡仁▽腹部の化膿症に十味敗毒湯加ヨク苡仁	村田恭介	(26)26	1978年(昭和53)・第25巻・01号
葛根湯加方治験	鮎川濯三	(32)32	1978年(昭和53)・第25巻・01号
漢方経験例　▽脚のだるさに五苓散合防已黄耆湯▽身体の震えに半夏厚朴湯	大村光明	(33)33	1978年(昭和53)・第25巻・01号
『医界之鉄椎』を巡って（20）済生学舎（3）	和田正系	(35)35	1978年(昭和53)・第25巻・01号
『漢方治療百話』第2集ノート	杉山広茂	(42)42	1978年(昭和53)・第25巻・01号
子宮筋腫考	富田道夫	(47)47	1978年(昭和53)・第25巻・01号
「霊界通信」＜その27＞＜無数と無限＞	ちぐあん	(51)51	1978年(昭和53)・第25巻・01号
房州だより（12）	気賀林一・和田正系	(53)53	1978年(昭和53)・第25巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和52年12月＞	協会本部／編集局	(55)55	1978年(昭和53)・第25巻・01号
@1978年(昭和53)-第25巻-02号-			
私解傷寒雑病論類編＜2＞	小曽戸丈夫	(3)67	1978年(昭和53)・第25巻・02号
中草薬紹介＜12＞烏賊骨	嶋野武	(12)76	1978年(昭和53)・第25巻・02号
温知堂経験録（108）▽アトピー性皮膚炎に治頭瘡一方と結膜炎に越婢加朮湯を与えて▽チック症様騒擾症に甘麦大棗湯▽胃のポリープが参苓白朮湯加カワラタケで▽子宮筋腫と誤認した月経困難症にキュウ帰調血飲	矢数道明	(16)80	1978年(昭和53)・第25巻・02号
漢方診療おぼえ書（35）▽打撲症に治打撲一方（2例）▽膀胱炎をくりかえす少女に五淋散次いで小建中湯▽脳卒中の疑いに加味八仙湯次いで続命湯▽冠不全に変製心悸飲▽腹痛・左肩凝りに延年半夏湯▽偏頭痛に呉茱萸湯（2例）▽気管支拡張症に清肺湯（回春）	緒方玄芳	(20)84	1978年(昭和53)・第25巻・02号
鼻炎と漢方　▽小児の鼻炎と柴胡清肝湯▽アレルギー性鼻炎と当帰芍薬散	栗田吉栄	(25)89	1978年(昭和53)・第25巻・02号
臨床経験3例　▽第1例：肺気腫に判った頭痛▽第2例：慢性気管支炎▽第3例：気管支喘息	鮎川濯三	(27)91	1978年(昭和53)・第25巻・02号
最近の諸例　▽不眠症▽脊髄空洞症（？）▽吃逆▽手掌、腋窩、足蹠の多汗症▽チック氏病兼歩行障害	土本重	(29)93	1978年(昭和53)・第25巻・02号
漢方経験例　▽倦怠感と胸苦しさに茯苓杏仁甘草湯▽風邪に大青竜湯加桔梗▽風邪に大青竜湯加桔梗・小柴胡湯加桔梗石膏▽風邪に大青竜湯加桔梗▽風邪に大青竜湯	大村光明	(32)96	1978年(昭和53)・第25巻・02号
『医界之鉄椎』を巡って（21）済生学舎（4）	和田正系	(35)99	1978年(昭和53)・第25巻・02号
漢方研究室　出題：問題92　精神異常3題／解答：問題88	出題・解答）小倉重成 回答）島津・佐藤・濤川・田村	(44)108	1978年(昭和53)・第25巻・02号
小島喜久男氏の逝去を悼む	編集局	(50)114	1978年(昭和53)・第25巻・02号
小島喜久男先生の御逝去をいたむ	小川幸男	(50)114	1978年(昭和53)・第25巻・02号
小島喜久男君を悼む	大塚敬節	(52)116	1978年(昭和53)・第25巻・02号
書評／岡西為人著『本草概説』	宮三郎	(53)117	1978年(昭和53)・第25巻・02号
「霊界通信」＜その28＞＜歴史ブーム＞	ちぐあん	(55)119	1978年(昭和53)・第25巻・02号
房州だより（13）	気賀林一・和田正系	(56)120	1978年(昭和53)・第25巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年1月＞	協会本部／編集局	(58)122	1978年(昭和53)・第25巻・02号
@1978年(昭和53)-第25巻-03号-			
咳と痰の漢方＜前編1＞	山本巖	(3)131	1978年(昭和53)・第25巻・03号
私解傷寒雑病論類編＜3＞	小曽戸丈夫	(15)143	1978年(昭和53)・第25巻・03号
昭和52年（1977）漢方医界年表	矢数道明	(19)147	1978年(昭和53)・第25巻・03号
帯下と夜尿症	鮎川濯三	(24)152	1978年(昭和53)・第25巻・03号
漢方診療おぼえ書（36）▽湿疹に温清飲▽糖尿病に十全大補湯▽糖尿病に大柴胡湯去大黄加地黄▽酒サ性ザ瘡に桂枝茯苓丸加方▽膀胱炎に五淋散料	緒方玄芳	(25)153	1978年(昭和53)・第25巻・03号
最近の諸例　▽胃潰瘍▽高血圧症▽チック病・歩行障害	土本重	(28)156	1978年(昭和53)・第25巻・03号
漢方経験雑記（21）▽糖尿病悪化の老人に八味丸料の偉効▽左半身のシビレと痛みに八味丸料▽脱肛に大柴胡去大黄湯合桂枝茯苓湯	村田恭介	(32)160	1978年(昭和53)・第25巻・03号

漢方経験例　▽風邪に大柴胡湯加桔梗石膏▽風邪に大青竜湯	大村光明	(35)163	1978年(昭和53)・第25巻・03号
『医界之鉄椎』を巡って（22）長谷川泰	和田正系	(37)165	1978年(昭和53)・第25巻・03号
「霊界通信」＜その29＞＜詭弁屋＞	ちぐあん	(46)174	1978年(昭和53)・第25巻・03号
房州だより（14）	気賀林一・和田正系	(48)176	1978年(昭和53)・第25巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年2月＞	協会本部／編集局	(50)178	1978年(昭和53)・第25巻・03号
宮坂光洋氏急逝さる	編集局	(50)179	1978年(昭和53)・第25巻・03号
糖尿病と結核とその体質	松岡睦友	(52)180	1978年(昭和53)・第25巻・03号
@1978年(昭和53)-第25巻-04号-			
曲直瀬道三の主著『啓迪集』の自序について	矢数道明	(3)195	1978年(昭和53)・第25巻・04号
咳と痰の漢方＜前編2＞	山本巖	(12)204	1978年(昭和53)・第25巻・04号
私解傷寒雑病論類編＜4＞	小曽戸丈夫	(22)214	1978年(昭和53)・第25巻・04号
漢方診療おぼえ書（37）▽膝関節水腫に防已黄耆湯▽高血圧に七物降下湯▽テンカンに小柴胡湯合桂枝加芍薬湯▽慢性腱鞘炎に桂枝二越婢一湯▽めまい、立ちくらみに女神散	緒方玄芳	(27)219	1978年(昭和53)・第25巻・04号
温知堂経験録（110）▽頻脈と不整脈に木防已湯合炙甘草湯▽不整脈と呼吸困難に炙甘草湯▽顔面黒皮症に加味逍遥散合温清飲▽掌蹠赤裸に温清飲と紫雲膏	矢数道明	(31)223	1978年(昭和53)・第25巻・04号
三たび麻黄附子細辛湯について　－ギアが合わぬと車は動かぬ－	藤平健	(34)226	1978年(昭和53)・第25巻・04号
最近の諸例　▽胆嚢疝痛▽特発性浮腫▽腰痛▽胃アトニー症	土本重	(35)227	1978年(昭和53)・第25巻・04号
脊柱病的湾曲（側湾症）痿証方	松岡睦友	(39)231	1978年(昭和53)・第25巻・04号
或る不妊症の治験	吉原浅吉	(41)233	1978年(昭和53)・第25巻・04号
『医界之鉄椎』を巡って（23）石黒忠悳（1）	和田正系	(42)234	1978年(昭和53)・第25巻・04号
漢方研究室　出題：問題93　便秘5題／解答：問題89	出題・解答）小倉重成 回答）西島・東根・田村・佐藤・濤川	(49)241	1978年(昭和53)・第25巻・04号
中谷義雄氏の逝去を悼む	編集局	(52)244	1978年(昭和53)・第25巻・04号
「霊界通信」＜その30＞＜無にして有の次元＞	ちぐあん	(53)245	1978年(昭和53)・第25巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年3月＞	協会本部／編集局	(54)246	1978年(昭和53)・第25巻・04号
房州だより（15）	気賀林一・和田正系	(55)247	1978年(昭和53)・第25巻・04号
@1978年(昭和53)-第25巻-05号-			
「災怪の脈、詐病」私見	佐藤貞美	(3)259	1978年(昭和53)・第25巻・05号
余りにも問題の多い傷寒論という書誌について＜1＞	摩寿意惹	(8)264	1978年(昭和53)・第25巻・05号
私解傷寒雑病論類編＜5＞	小曽戸丈夫	(12)268	1978年(昭和53)・第25巻・05号
ベーチェット病の1考察	小倉重成	(17)273	1978年(昭和53)・第25巻・05号
温知堂経験録（111）▽15年来の慢性頭痛に清上ケン痛湯▽気管支拡張症の呼吸困難に治喘一方▽腸癒着の腹痛便秘に桂枝加芍薬湯エキス▽当帰拈痛湯のよく効いた痛風	矢数道明	(23)279	1978年(昭和53)・第25巻・05号
頻回におこる咽頭痛2例	鎌田慶市郎	(26)282	1978年(昭和53)・第25巻・05号
漢方診療おぼえ書（38）▽不眠めまいに加味逍遥散▽八味地黄湯加方服用で蕁麻疹▽長く続いている子宮出血に温清飲▽下腿部疼痛に持続加温療法	緒方玄芳	(27)283	1978年(昭和53)・第25巻・05号
最近の諸例　▽慢性膵炎▽肝炎	土本重	(30)286	1978年(昭和53)・第25巻・05号
漢方経験雑記（22）▽衂血に小建中湯エキス▽自家中毒体質に小柴胡湯合桂枝加芍薬湯▽夜尿症に小柴胡湯合桂枝加芍薬湯エキス	村田恭介	(33)289	1978年(昭和53)・第25巻・05号
芍薬甘草湯に因る瞑眩	吉原浅吉	(35)291	1978年(昭和53)・第25巻・05号
漢方経験例　▽眉稜骨痛に清上防風湯▽膀胱炎・慢性蕁麻疹に加味逍遥散	大村光明	(36)292	1978年(昭和53)・第25巻・05号
『医界之鉄椎』を巡って（24）石黒忠悳（2）	和田正系	(38)294	1978年(昭和53)・第25巻・05号
「霊界通信」＜その31＞＜無音・無色・無臭＞	ちぐあん	(48)304	1978年(昭和53)・第25巻・05号
房州だより（16）	気賀林一・和田正系	(49)305	1978年(昭和53)・第25巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年4月＞	協会本部／編集局	(50)306	1978年(昭和53)・第25巻・05号
医術・医学・医道＜東洋医学とは何か＞	富田道夫	(53)309	1978年(昭和53)・第25巻・05号
@1978年(昭和53)-第25巻-06号-			
薬方中に於ける個々の生薬の役割	千葉大東洋医学研究会本草班	(3)323	1978年(昭和53)・第25巻・06号
余りにも問題の多い傷寒論という書誌について＜2＞	摩寿意惹	(10)330	1978年(昭和53)・第25巻・06号
銀翹散及び桑菊飲の効果について　（今冬流行のＡＨ1型・Ａ香港型ビールス性感冒すなわち香港カゼ・ソ連カゼに対して）	岡田道三	(14)334	1978年(昭和53)・第25巻・06号
漢方診療おぼえ書（39）▽低血圧に補中益気湯加附子▽外痔核に乙字湯加減方▽嗄声に響声破笛丸料▽膀胱炎予防に八味地黄湯▽爪囲炎に托裏消毒飲（正宗）▽慢性中耳炎に蔓荊子散▽慢性中耳炎に荊芥連翹湯加方	緒方玄芳	(18)338	1978年(昭和53)・第25巻・06号
最近の諸例　▽多汗症▽血清肝炎▽慢性肝炎	土本重	(22)342	1978年(昭和53)・第25巻・06号
漢方経験例　＜桂枝甘草湯について＞	大村光明	(25)345	1978年(昭和53)・第25巻・06号

日東医第29回総会「出血」のシンポジウムに出席して	藤平健	(27)347	1978年(昭和53)・第25巻・06号
漢方研究室　出題：問題94　下痢4題／解答：問題90	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・田村・佐藤・島津	(29)349	1978年(昭和53)・第25巻・06号
『医界之鉄椎』を巡って（25）石黒忠悳（3）	和田正系	(36)356	1978年(昭和53)・第25巻・06号
「霊界通信」＜その32＞－最終回－＜東洋とは何んぞや＞	ちぐあん	(44)364	1978年(昭和53)・第25巻・06号
房州だより（17）	気賀林一・和田正系	(46)366	1978年(昭和53)・第25巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年5月＞	協会本部／編集局	(48)368	1978年(昭和53)・第25巻・06号
@1978年(昭和53)-第25巻-07号-			
口腔カンジダ症と柴胡清肝湯	栗田吉栄	(3)387	1978年(昭和53)・第25巻・07号
経験2題　▽癲癇	橋口親義	(6)390	1978年(昭和53)・第25巻・07号
漢方診療おぼえ書（40）▽不眠に加味逍遥散・桂枝茯苓丸加ヨク苡仁▽口唇部靡爛に凉隔散（局方）▽慢性肝炎に調中益気湯▽ニキビに十味敗毒湯加ヨク苡仁▽喘息様発作に小建中湯加杏仁厚朴▽高血圧に防已黄耆湯兼用八味丸▽慢性肝炎に当帰白朮湯	緒方玄芳	(9)393	1978年(昭和53)・第25巻・07号
温知堂経験録（112）▽高血圧症に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料▽掌蹠膿疱症に腸癰湯加芍薬と紫雲膏▽尋常性ザ瘡に駆オ血丸▽癰セツが頻発するのに千金内托散	矢数道明	(13)397	1978年(昭和53)・第25巻・07号
経験例2題　▽病因ということ	富田道夫	(15)399	1978年(昭和53)・第25巻・07号
余りにも問題の多い傷寒論という書誌について＜3＞	摩寿意惹	(18)402	1978年(昭和53)・第25巻・07号
『医界之鉄椎』を巡って（26）石黒忠悳（4）	和田正系	(22)406	1978年(昭和53)・第25巻・07号
矢数有道先生の『後世要方釈義』を読みて感動－素問活用論文集－	戸田一盛	(30)414	1978年(昭和53)・第25巻・07号
東洋医学原典会の主旨	柴崎保三	(36)420	1978年(昭和53)・第25巻・07号
ロスアンゼルス見聞記	張重信	(42)426	1978年(昭和53)・第25巻・07号
房州だより（18）	気賀林一・和田正系	(46)430	1978年(昭和53)・第25巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年6月＞	協会本部／編集局	(47)431	1978年(昭和53)・第25巻・07号
霊界より「死亡広告」	故ちぐあん友人一同	(48)432	1978年(昭和53)・第25巻・07号
@1978年(昭和53)-第25巻-08号-			
傷寒論についての若干の考察	野淵紘	(3)451	1978年(昭和53)・第25巻・08号
余りにも問題の多い傷寒論という書誌について＜4＞	摩寿意惹	(7)455	1978年(昭和53)・第25巻・08号
中草薬紹介＜13＞莪朮	嶋野武	(11)459	1978年(昭和53)・第25巻・08号
温知堂経験録（113）▽喘息に治喘一方▽アレルギー性鼻炎と喘息に治喘一方▽疣にヨク苡仁湯、腹痛に小建中湯▽てんかんに小柴胡湯合桂枝湯▽子宮下垂に当帰芍薬散料	矢数道明	(19)467	1978年(昭和53)・第25巻・08号
経験2題　▽黄疸	橋口親義	(22)470	1978年(昭和53)・第25巻・08号
漢方研究室　出題：問題95　アレルギー性鼻炎4題／解答：問題91	出題・解答）小倉重成 回答）島津・村上・田村・大嶺・佐藤	(25)473	1978年(昭和53)・第25巻・08号
『医界之鉄椎』を巡って（27）石黒忠悳（5）	和田正系	(30)478	1978年(昭和53)・第25巻・08号
「出血について」のシンポジウムに出席して	山本巖	(40)488	1978年(昭和53)・第25巻・08号
『漢方治療百話』第3集ノート	杉山広茂	(44)492	1978年(昭和53)・第25巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年7月＞	協会本部／編集局	(52)500	1978年(昭和53)・第25巻・08号
新刊紹介／森田幸門博士訳『雑病論識』を読んで	柴田良治	(54)502	1978年(昭和53)・第25巻・08号
@1978年(昭和53)-第25巻-09号-			
「行尸・内虚」私見	佐藤貞美	(3)515	1978年(昭和53)・第25巻・09号
漢方医学の解剖学的研究	金斗鍾	(9)521	1978年(昭和53)・第25巻・09号
温知堂経験録（114）▽膀胱憩室に八味丸合騰竜湯▽アレルギー性鼻炎のクシャミに小青竜湯▽高血圧と浮腫に八物降下湯合五苓散▽面疱（尋常性ザ瘡）と神経症に六君子湯加減	矢数道明	(24)536	1978年(昭和53)・第25巻・09号
肝腎陰虚証2例	江部洋一郎	(27)539	1978年(昭和53)・第25巻・09号
中草薬紹介＜14＞刺五加	嶋野武	(31)543	1978年(昭和53)・第25巻・09号
『医界之鉄椎』を巡って（28）石黒忠悳（6）	和田正系	(36)548	1978年(昭和53)・第25巻・09号
茯苓瀉心湯加呉茱萸牡蠣甘草による胃潰瘍経験	吉原浅吉	(47)559	1978年(昭和53)・第25巻・09号
書評／細野史郎編著『漢方治療の方証吟味』を読んで	矢数道明	(49)561	1978年(昭和53)・第25巻・09号
日大名誉教授内山考一氏の逝去を悼む	編集局	(50)562	1978年(昭和53)・第25巻・09号
木村忠二郎氏の逝去を悼む	編集局	(50)562	1978年(昭和53)・第25巻・09号
船橋茂吉氏の逝去を悼む	編集局	(51)563	1978年(昭和53)・第25巻・09号
関根邦之助氏の逝去を悼む	編集局	(51)563	1978年(昭和53)・第25巻・09号
船橋茂吉先生の逝去を悼む	伊藤嘉紀	(52)564	1978年(昭和53)・第25巻・09号
房州だより（19）	気賀林一・和田正系	(54)566	1978年(昭和53)・第25巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年8月＞	協会本部／編集局	(57)569	1978年(昭和53)・第25巻・09号
@1978年(昭和53)-第25巻-10号-			

漢方医学の解剖学的研究＜2＞	金斗鍾	(3)579	1978年(昭和53)・第25巻・10号
漢方診療おぼえ書（41）▽気欝・胃弱・胸やけ・易疲労に五膈寛中散（局方）▽高血圧症に甲字湯加味方▽かぜをひきやすく、喘息様発作に加味逍遥散及小建中湯加杏仁厚朴▽所謂冷房病に桂枝加苓朮附湯▽かぜ、中耳炎の幼児に小柴胡湯加桔梗石膏	緒方玄芳	(13)589	1978年(昭和53)・第25巻・10号
温知堂経験録（115）▽生理痛に折衝飲▽胸部苦悶と頻尿に大柴胡湯合猪苓湯▽25年来の喘息に小青竜湯加杏仁▽小児喘息とビールス性疣▽疣とり物語り	矢数道明	(16)592	1978年(昭和53)・第25巻・10号
精神病の2治験例	森下宗司	(20)596	1978年(昭和53)・第25巻・10号
漢方経験雑記（23）▽肋間神経痛に大柴胡湯合小陥胸湯▽胸背部の痛みに柴胡桂枝乾姜湯▽胸部痛に柴陥湯▽背部痛に小柴胡湯合桂枝茯苓湯	村田恭介	(23)599	1978年(昭和53)・第25巻・10号
漢方研究室　出題：問題96　皮膚病3題／解答：問題92	出題・解答）小倉重成 回答）牟田・濤川・大嶺・村上・田村・佐藤・島津	(26)602	1978年(昭和53)・第25巻・10号
『医界之鉄椎』を巡って（29）張基茂氏の韓国語飜訳	和田正系	(32)608	1978年(昭和53)・第25巻・10号
漢字のゆくえＧＯＴとＧＰＴ	戸田一盛	(38)614	1978年(昭和53)・第25巻・10号
ツムラ順天堂漢方医学講座における諸家の語り口について	杉山広茂	(43)619	1978年(昭和53)・第25巻・10号
房州だより（20）	気賀林一・和田正系	(48)624	1978年(昭和53)・第25巻・10号
新刊紹介／大塚敬節著『漢方療法入門』＜講談社学術文庫版＞／伊藤清夫著『これから健康で長生きするには』＜不老長寿の方策＞	気賀林一	(50)626	1978年(昭和53)・第25巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年9月＞	協会本部／編集局	(51)627	1978年(昭和53)・第25巻・10号
@1978年(昭和53)-第25巻-11-12号合併号-＜創刊25周年記念号－漢方医学論説・治験特集－＞			
『漢方の臨床』誌創刊25周年記念号＜もくじ＞	編集局	(2)642	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
発刊のことば　創刊25周年記念特集号	矢数道明	(5)645	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞新出土資料による中国医薬古典の見直し	赤堀昭	(7)647	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞太平聖恵方所出の傷寒論の異本（淳和本傷寒論について）	野淵紘	(23)663	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞後藤艮山の吟味＜現代的意味の追求＞	大塚敬節	(33)673	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞素問『痿論篇』の病態認識と現代脊髄神経病学の問題点	小川新	(38)678	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞曲直瀬道三の主著『啓迪集』周良策彦の題辞について	矢数道明	(53)693	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞「少陽中風」模索	佐藤貞美	(65)705	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞初期に於ける外感熱病の傷寒論と温疫論の関係について	岡田道三	(74)714	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞精神医学領域に於ける漢方の役割	相見三郎	(77)717	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞経絡についての管見	間中喜雄	(90)730	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞東洋医学の本質について＜気・陰陽・経絡・証＞	増永静人	(104)744	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞漢方治療の理論と薬方	竹内達	(114)754	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞日本の漢方と中国の漢方の違いについて＜一つの漢方をめざして＞	桑木崇秀	(129)769	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞中国漢方と日本漢方との相違について	許鴻源	(140)780	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞治療学総論の序の口	橋本行生	(150)790	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞中国医学古典の成立に関する考察	有地滋・久保道徳・小曽戸洋・谿忠人	(161)801	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞脈診	戸田一盛	(173)813	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞湯液と鍼灸	松下嘉一	(185)825	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞越婢加朮湯と桂枝越婢湯の話－とくに痛風について－	細野史郎	(193)833	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞桂枝麻黄各半湯について	藤平健	(200)840	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞桂枝去芍薬加麻黄細辛附子湯（桂姜草棗黄辛附湯）の運用について	寺師睦宗	(209)849	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞腎と八味丸と六味丸	山本巖	(223)863	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞茵チン蒿の研究を巡って	後藤実・小宮威弥	(245)885	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞桂皮の精油成分についての1考察	高橋邦夫・金谷友成・樋口光基	(258)898	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞麻黄附子細辛湯合方の応用	山田光胤	(268)908	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞麦門冬湯について	室賀昭三	(273)913	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞発表法の適応と清熱法の適応について　夏季感冒の治療経験から	伊原信夫	(277)917	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞小児の漢方治療	岡野勝憲	(292)932	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞高血圧症と漢方治療	菊谷豊彦	(300)940	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞難聴・白内障の治療並に私の治療方針	土本重	(310)950	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞胃潰瘍の自験と関連事項	花村訓充	(315)955	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞私の経験より（才血）	橋口親義	(331)971	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号

＜創刊25周年記念＞漢方による健康法・養生法・長寿法	小倉重成	(335)975	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞「ビタミンB17」を中心とする「ガンの代謝療法」について－復活する＜杏林＞と＜食養＞の展望－	河内省一	(344)984	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞甘草の使用規定に関する意見	高橋国海	(359)999	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞甘草の使用規定に対する見解	森下宗司	(362)1002	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞「漢方科」標傍達成への私見	緒方玄芳	(366)1006	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
＜創刊25周年記念＞漢方医学に思うこと	中田敬吾	(373)1013	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
漢方の臨床誌創刊25周年記念特集号の発刊に対する祝辞	杜ハイ明	(380)1020	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
祝辞	ハイ元植	(383)1023	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
祝辞	葉橘泉	(384)1024	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
祝辞	譚述渠	(385)1025	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
祝辞	小林清八郎	(386)1026	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
25周年記念執筆者紹介一覧	編集局	(387)1027	1978年(昭和53)・第25巻・11-12号
@1979年(昭和54)-第26巻-01号-			
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	藤平健	(3)3	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	矢数道明	(3)3	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	土本重	(4)4	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	松浦敬一	(4)4	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	戸部宗七郎	(4)4	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	間中喜雄	(4)4	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	鎌田慶市郎	(4)4	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞氷山症状について	村松睦	(5)5	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞新年のことばを借りて出版案内	小曽戸丈夫	(5)5	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	池田政一	(5)5	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	大塚敬節	(5)5	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	河内省一	(5)5	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	小池三良助	(6)6	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	梅田喜久雄	(6)6	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	大村光明	(6)6	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	増永静人	(7)7	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	岡野勝憲	(7)7	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	小川新	(7)7	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	宮崎綾子	(7)7	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	竹内達	(8)8	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	村田恭介	(8)8	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	小野俊郎	(8)8	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	高橋邦夫	(8)8	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	戸田一盛	(9)9	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	岡田道三	(9)9	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞還暦をむかえて	緒方玄芳	(9)9	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	杉山広茂	(10)10	1979年
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	吉原浅吉	(10)10	1979年
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	佐藤貞美	(10)10	1979年
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞科学（化学）と価額	建林静枝	(10)10	1979年
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	木村雄四郎	(11)11	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	橋口親義	(11)11	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	橋本行生	(12)12	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞お羽黒蜻蛉	小倉重成	(12)12	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	松岡睦友	(12)12	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	神戸源蔵	(12)12	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	松本一男	(12)12	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	原桃介	(13)13	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	宮三郎	(13)13	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	赤堀昭	(13)13	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	山田光胤	(13)13	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	松田邦夫	(13)13	1979年(昭和54)・第26巻・01号

新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	小椋道益	(14)14	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	桑木崇秀	(14)14	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	中田敬吾	(14)14	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞百味箪笥をもう一竿欲しい	田畑隆一郎	(15)15	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	宗像敬一	(15)15	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	寺師睦宗	(15)15	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	森下宗司	(15)15	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	鮎川濯三	(16)16	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	鈴木弘明	(16)16	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞海外旅行所感	相見三郎	(16)16	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	勝田正泰	(17)17	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	室賀昭三	(17)17	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	細野史郎	(17)17	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	柴田良治	(17)17	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	土田茂雄	(18)18	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	久保川憲彦	(18)18	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞養生考	富田光陽	(18)18	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	長倉吉宏	(18)18	1979年(昭和54)・第26巻・01号
新年のことば　＜昭和54年（1979年）＞	上木正博	(18)18	1979年(昭和54)・第26巻・01号
＜創刊25周年記念＞附子の修治について＜現在の中国で行なわれている方法＞	小池三良助	(19)19	1979年(昭和54)・第26巻・01号
咳と痰の漢方＜後編1＞	山本巖	(27)27	1979年(昭和54)・第26巻・01号
柴苓湯治験例	遠山泰	(32)32	1979年(昭和54)・第26巻・01号
中草薬紹介＜15＞枸杞子	嶋野武	(36)36	1979年(昭和54)・第26巻・01号
最近の諸例　▽胸椎脊髄管狭窄症▽脊髄炎后遺症	土本重	(43)43	1979年(昭和54)・第26巻・01号
昭和53年（1978）漢方略史年表	矢数道明	(46)46	1979年(昭和54)・第26巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和53年10月・11月・12月＞	協会本部／編集局	(51)51	1979年(昭和54)・第26巻・01号
和田啓十郎顕彰会	編集局	(56)56	1979年(昭和54)・第26巻・01号
＜和田啓十郎顕彰会＞講演　『医界之鉄椎』を読みて和田啓十郎先生を欽慕する	大塚敬節	(56)56	1979年(昭和54)・第26巻・01号
＜和田啓十郎顕彰会＞経過報告	寺師睦宗	(58)58	1979年(昭和54)・第26巻・01号
＜和田啓十郎顕彰会＞和田正系氏感謝の挨拶	和田正系	(62)62	1979年(昭和54)・第26巻・01号
@1979年(昭和54)-第26巻-02号-			
日訳　評注『医林改錯』上巻ーその1ー（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(3)83	1979年(昭和54)・第26巻・02号
咳と痰の漢方＜後編2＞	山本巖	(12)92	1979年(昭和54)・第26巻・02号
尋常性乾癬の2例	江部洋一郎・伊原信夫	(25)105	1979年(昭和54)・第26巻・02号
＜創刊25周年記念＞月経病漢方治療の検討	勝田正泰	(31)111	1979年(昭和54)・第26巻・02号
温知堂経験録（116）▽片頭痛に呉茱萸湯エキス末▽狭心症様発作に柴胡加竜骨牡蠣湯合七物降下湯▽久し振りで延年半夏湯を用いて▽慢性膵臓炎に良枳湯	矢数道明	(36)116	1979年(昭和54)・第26巻・02号
漢方経験例　▽気琳に補中益気湯合猪苓湯エキス末▽咳込みと盗汗に越婢加朮湯▽移動性の腹痛と腰痛等に五積散	大村光明	(39)119	1979年(昭和54)・第26巻・02号
漢方研究室　出題：問題97　気管支喘息4題／解答：問題93	出題・解答）小倉重成 回答）島津・濤川・佐藤	(41)121	1979年(昭和54)・第26巻・02号
新刊書評／細野史郎著『方証吟味』について	杉山広茂	(47)127	1979年(昭和54)・第26巻・02号
陰陽堂雑記　＜括楼根のこと＞	池田六合郎	(51)131	1979年(昭和54)・第26巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年1月＞	協会本部／編集局	(54)134	1979年(昭和54)・第26巻・02号
@1979年(昭和54)-第26巻-03-04号合併号-＜『漢方の臨床』全25巻目次索引集＞			
発刊のことば『漢方の臨床』全25巻目次索引集の発刊に当って	矢数道明	(3)147	1979年(昭和54)・第26巻・03-04号
『漢方の臨床』誌　巻・号別目次索引＜自第1巻第1号　至第25巻第11・12号＞	編集局	(5)149	1979年(昭和54)・第26巻・03-04号
『漢方の臨床』誌　筆者別目次索引＜自第1巻第1号　至第25巻第11・12号＞	編集局	(129)273	1979年(昭和54)・第26巻・03-04号
@1979年(昭和54)-第26巻-05号-			
＜創刊25周年記念＞四逆散に就いて	松本一男	(3)393	1979年(昭和54)・第26巻・05号
中国医学原典に記載されるデング熱の症候について	野淵紘	(32)422	1979年(昭和54)・第26巻・05号
中草薬紹介＜16＞玉竹	嶋野武	(36)426	1979年(昭和54)・第26巻・05号
鎌田家「家伝薬」	鎌田慶市郎	(42)432	1979年(昭和54)・第26巻・05号
栗原広三氏の逝去を悼む	編集局	(43)433	1979年(昭和54)・第26巻・05号
浅田宗伯の珍しき著籍	松本一男	(44)434	1979年(昭和54)・第26巻・05号

「陰頭寒」の1考察	森崎信夫	(47)437	1979年(昭和54)・第26巻・05号
鮎川静先生の思い出	吉原浅吉	(48)438	1979年(昭和54)・第26巻・05号
三代噺	河内省一	(50)440	1979年(昭和54)・第26巻・05号
矢数有道著『漢方治験論説集』を読んで	杉山広茂	(53)443	1979年(昭和54)・第26巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年2月・3月・4月＞	協会本部／編集局	(55)445	1979年(昭和54)・第26巻・05号
書評／藤平健・小倉重成共著『漢方概論』－創元社発行　藤平、小倉両氏の『漢方概論』は『古訓医伝』の現代版か	大塚敬節	(58)448	1979年(昭和54)・第26巻・05号
@1979年(昭和54)-第26巻-06号-			
日訳　評注『医林改錯』上巻－その2－（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(3)465	1979年(昭和54)・第26巻・06号
咳と痰の漢方＜後編3＞	山本巖	(14)476	1979年(昭和54)・第26巻・06号
＜創刊25周年記念＞慢性疾患についての現代病理形態学的知見と漢方療法　駆オ血剤に注目して	宗像敬一・宗像久美子	(26)488	1979年(昭和54)・第26巻・06号
温知堂経験録（117）▽アジソン病の疑いに帰脾湯加減方▽チック様騒擾症に甘麦大棗湯▽20年来の慢性頭痛に清上ケン痛湯合五苓湯▽34歳婦人の生理痛に折衝飲▽13歳少女の生理痛に折衝飲	矢数道明	(35)497	1979年(昭和54)・第26巻・06号
偶中4例　▽前庭神経炎▽耳鳴▽耳介周囲の異常感▽毛嚢虫性ザ瘡	佐々木一彦	(38)500	1979年(昭和54)・第26巻・06号
漢方経験例　▽アトピー性皮膚炎に温清飲▽不眠症に桂枝去芍薬加竜骨牡蠣湯▽小児喘息とアトピー性皮膚炎に小青竜湯合半夏厚朴、麻杏ヨク甘合温清飲	大村光明	(41)503	1979年(昭和54)・第26巻・06号
中草薬紹介＜17＞羅漢果	嶋野武	(44)506	1979年(昭和54)・第26巻・06号
漢方研究室　出題：問題98　下痢3題／解答：問題94	出題・解答）小倉重成 回答）島津・田村・濤川・大嶺・佐藤	(46)508	1979年(昭和54)・第26巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年5月＞	協会本部／編集局	(51)513	1979年(昭和54)・第26巻・06号
人間医学社々長　大浦孝秋氏逝去	編集局	(52)514	1979年(昭和54)・第26巻・06号
＜創刊25周年記念＞香月牛山著『遊豊司命録』について	宮崎綾子	(53)515	1979年(昭和54)・第26巻・06号
@1979年(昭和54)-第26巻-07号-			
才血、水毒の概念とその関連事項に関する考察	緒方玄芳	(3)533	1979年(昭和54)・第26巻・07号
咳と痰の漢方＜後編4＞	山本巖	(14)544	1979年(昭和54)・第26巻・07号
温知堂経験録（118）▽12ミリ×8ミリの腎石が排出された▽心臓弁膜症と尿管狭窄症に小建中湯加五苓散▽不眠症に甘麦大棗湯▽小児の不眠症に抑肝散加陳皮半夏エキス末	矢数道明	(22)552	1979年(昭和54)・第26巻・07号
中草薬紹介＜18＞山ザ	嶋野武	(25)555	1979年(昭和54)・第26巻・07号
日訳　評注『医林改錯』上巻－その3－（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(35)565	1979年(昭和54)・第26巻・07号
漢方研究室　出題：問題99　眩暈3題／解答：問題95	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・濤川・田村・河野・佐藤	(44)574	1979年(昭和54)・第26巻・07号
＜創刊25周年記念＞印象に残る問題のある患者	松田邦夫	(50)580	1979年(昭和54)・第26巻・07号
和田正系先生のご逝去を悼む	矢数道明	(56)586	1979年(昭和54)・第26巻・07号
@1979年(昭和54)-第26巻-08号-			
現代医学、前近代医学と近代医学（ウイルヒョウ系統）の進展の為の提案	野淵紘	(3)597	1979年(昭和54)・第26巻・08号
咳と痰の漢方＜後編5＞	山本巖	(6)600	1979年(昭和54)・第26巻・08号
温知堂経験録（119）＜陰虚証の慢性下痢症に断痢湯＞潰瘍性大腸炎に断痢湯▽過敏性大腸炎に断痢湯▽慢性下痢に断痢湯▽慢性下痢症（潰瘍性大腸炎）に胃風湯と断痢湯	矢数道明	(14)608	1979年(昭和54)・第26巻・08号
＜創刊25周年記念＞（治験例）帯状疱疹に対する東洋医学的三者併用療法について	村松睦	(17)611	1979年(昭和54)・第26巻・08号
＜創刊25周年記念＞アレルギー性鼻炎に対する漢方治療の経験	栗田吉栄	(22)616	1979年(昭和54)・第26巻・08号
漢方経験雑記（24）▽顔面部左半分の痛みに五苓散料及び桂枝加苓朮附湯	村田恭介	(25)619	1979年(昭和54)・第26巻・08号
漢方と神仙術（1）	増永静人	(26)620	1979年(昭和54)・第26巻・08号
浅田宗伯先生と直孫豊麿先生	重田学	(29)623	1979年(昭和54)・第26巻・08号
和田正系先生の思い出	矢数道明	(33)627	1979年(昭和54)・第26巻・08号
和田先生を追慕して	海老塚吉次	(37)631	1979年(昭和54)・第26巻・08号
書評／＜橋本行生著＞『あなたこそあなたの主治医』をよむ	大塚敬節	(39)633	1979年(昭和54)・第26巻・08号
本誌創刊25周年祝賀会記	編集局	(40)634	1979年(昭和54)・第26巻・08号
久米イワオ翁に関するノート	杉山広茂	(44)638	1979年(昭和54)・第26巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年6月・7月＞	協会本部／編集局	(46)640	1979年(昭和54)・第26巻・08号
@1979年(昭和54)-第26巻-09号-			
＜創刊25周年記念＞咽喉頭異常感の東洋医学的治療とその限界	星野惠津夫・椿康喜代	(3)961	1979年(昭和54)・第26巻・09号
黄帝内経太素について	戸田一盛	(9)667	1979年(昭和54)・第26巻・09号
泄瀉自験－茯苓四逆湯をのむ－	藤平健	(16)674	1979年(昭和54)・第26巻・09号

筍庵治験・経験録　▽余談▽気管支喘息・藁にされた漢方▽円形脱毛症	山田光胤	(20)678	1979年(昭和54)・第26巻・09号
温知堂経験録（120）▽メニエール病と高血圧に柴胡加竜骨牡蠣湯合八物降下湯▽糖尿病と口内炎に清熱補気湯と八味丸	矢数道明	(23)681	1979年(昭和54)・第26巻・09号
漢方経験雑記（25）＜防已黄耆湯の効果＞	村田恭介	(25)683	1979年(昭和54)・第26巻・09号
漢方研究室　出題：問題100　慢性膵炎3題／解答：問題96	出題・解答）小倉重成 回答）佐藤・濤川・河野・大嶺・宗像・飯田・田村・佐藤	(27)685	1979年(昭和54)・第26巻・09号
中草薬紹介＜19＞虎骨	嶋野武	(33)691	1979年(昭和54)・第26巻・09号
漢方と神仙術（2）	増永静人	(41)699	1979年(昭和54)・第26巻・09号
書評／大塚敬節主講『金匱要略講話』を読んで	矢数道明	(44)702	1979年(昭和54)・第26巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年8月＞	協会本部／編集局	(47)705	1979年(昭和54)・第26巻・09号
中国の薬屋	久保川憲彦	(49)707	1979年(昭和54)・第26巻・09号
@1979年(昭和54)-第26巻-10号-			
＜創刊25周年記念＞漢方用薬升麻の紹介	久保道徳・木村善行・谿忠人・有地滋	(3)729	1979年(昭和54)・第26巻・10号
薬方中における個々の生薬の役割（第2報）	千葉大学薬学部東洋医学研究会	(13)739	1979年(昭和54)・第26巻・10号
日訳　評注『医林改錯』上巻－その4－（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(23)749	1979年(昭和54)・第26巻・10号
本誌26巻8号に発表された野淵氏の論説	小曽戸洋	(29)755	1979年(昭和54)・第26巻・10号
筍庵治験・経験録　＜駆風解毒散（湯）のこと＞	山田光胤	(32)758	1979年(昭和54)・第26巻・10号
温知堂経験録（121）▽片頭痛に清上ケン痛湯▽頑固な頭痛に清上ケン痛湯、及び桂枝茯苓丸料▽水逆頭痛に五苓湯、乳房腫塊に十六味流気飲▽下肢の浮腫と腓腸筋痙攣に当帰芍薬散料合芍薬甘草附子湯	矢数道明	(34)760	1979年(昭和54)・第26巻・10号
漢方と神仙術（3）	増永静人	(36)762	1979年(昭和54)・第26巻・10号
中草薬紹介＜20＞党参	嶋野武	(39)765	1979年(昭和54)・第26巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年9月＞	協会本部／編集局	(50)776	1979年(昭和54)・第26巻・10号
@1979年(昭和54)-第26巻-11号-			
虚実の認識と記載について	伊原信夫	(3)793	1979年(昭和54)・第26巻・11号
一、乙字湯に就いて	山本巖	(10)800	1979年(昭和54)・第26巻・11号
慢性喉頭炎と漢方治療	佐々木一彦	(16)806	1979年(昭和54)・第26巻・11号
温知堂経験録（122）▽肝硬変症に小柴胡湯合分消湯▽肝硬変症の患者に用いた処方と経過▽6年来の腰痛症に桂枝茯苓丸料合芍薬甘草附子湯▽女子学生の乳腺症に桂枝茯苓丸	矢数道明	(20)810	1979年(昭和54)・第26巻・11号
29才の難聴の娘＜22年間の難聴治癒＞	土本重	(23)813	1979年(昭和54)・第26巻・11号
新出土中国医薬資料偽書説に対して	赤堀昭	(25)815	1979年(昭和54)・第26巻・11号
日訳　評注『医林改錯』上巻－その5－（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(30)820	1979年(昭和54)・第26巻・11号
健康保険診療と漢方、その問題点	鎌田慶市郎	(36)826	1979年(昭和54)・第26巻・11号
漢方と神仙術（4）	増永静人	(38)828	1979年(昭和54)・第26巻・11号
書評／『漢方概論』を読んでの所感	杉山広茂	(43)833	1979年(昭和54)・第26巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年10月＞	協会本部／編集局	(47)837	1979年(昭和54)・第26巻・11号
@1979年(昭和54)-第26巻-12号-			
馬王堆一号漢墓出土薬物の紹介	谿忠人・小曽戸洋	(3)857	1979年(昭和54)・第26巻・12号
葛根湯・太陽与陽明合病小験	宮脇浩志	(10)864	1979年(昭和54)・第26巻・12号
麻黄附子細辛湯の効用	宗像敬一	(13)867	1979年(昭和54)・第26巻・12号
温知堂経験録（123）▽子宮筋腫による出血に六君子湯▽変形性膝関節症に越婢加朮湯合防已黄耆湯▽ソケイヘルニアに桂枝加芍薬湯	矢数道明	(16)870	1979年(昭和54)・第26巻・12号
内痔核の血栓による嵌頓と麻杏甘石湯	山本巖	(18)872	1979年(昭和54)・第26巻・12号
漢方経験雑記（26）＜私の嫌いな処方小青竜湯漫談＞アレルギー性鼻炎に柴胡桂枝湯加減▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯から葛根湯へ	村田恭介	(22)876	1979年(昭和54)・第26巻・12号
＜創刊25周年記念＞癌とは何か　＜喉頭外癌・子宮癌・乳癌＞	松岡睦友	(25)879	1979年(昭和54)・第26巻・12号
漢方研究室　出題：問題101　慢性関節リウマチ4題／解答：問題97	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・濤川・佐橋・田村・佐藤	(30)884	1979年(昭和54)・第26巻・12号
日訳　評注『医林改錯』上巻－その6－（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(36)890	1979年(昭和54)・第26巻・12号
浅田宗伯先生と因伯・浅田賀寿衛先生の関連＜浅田宗伯先生家系略譜＞	森崎信夫	(42)896	1979年(昭和54)・第26巻・12号
漢方と神仙術（5）	増永静人	(47)901	1979年(昭和54)・第26巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年11月＞	協会本部／編集局	(52)906	1979年(昭和54)・第26巻・12号
@1980年(昭和55)-第27巻-01号-			
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞新しい年に期待	矢数道明	(3)3	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	戸部宗七郎	(3)3	1980年(昭和55)・第27巻・01号

新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	竹内達	(3)3	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	佐藤貞美	(4)4	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	松岡睦友	(4)4	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	小池三良助	(4)4	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	細迫陽三	(5)5	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	大村光明	(5)5	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	木村雄四郎	(5)5	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	松浦敬一	(5)5	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	土本重	(6)6	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	村田恭介	(6)6	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	森崎信夫	(6)6	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	岡田道三	(6)6	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	高橋邦夫	(6)6	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	山田光胤	(7)7	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	松田邦夫	(7)7	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	大塚敬節	(7)7	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞小さな貝の声	飯田穣	(7)7	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	高橋国海	(7)7	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	鎌田慶市郎	(7)7	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	建林静枝	(8)8	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞「適応症」漢方の是非	舘野健	(8)8	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞「自費出張」のこと	緒方玄芳	(8)8	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	小椋道益	(9)9	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	松本一男	(9)9	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	岡野正憲	(9)9	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	橋本行生	(9)9	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	鮎川濯三	(10)10	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	菊谷豊彦	(10)10	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	吉原浅吉	(10)10	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	室賀昭三	(10)10	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	柴田良治	(10)10	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	三谷和合	(11)11	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	三田寛	(11)11	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	神戸源蔵	(11)11	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞枯薄	小倉重成	(11)11	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	岸本亮一	(12)12	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	河内省一	(12)12	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	宗像敬一	(12)12	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	松下嘉一	(12)12	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	土田茂雄	(13)13	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	寺師睦宗	(13)13	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	藤平健	(13)13	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	戸田一盛	(14)14	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞自分の立っている処	藤井美樹	(14)14	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	勝田正泰	(14)14	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	桑木崇秀	(14)14	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	原桃介	(14)14	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	崖周若	(15)15	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	内田庄治	(15)15	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	大塚恭男	(15)15	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	伊原信夫	(15)15	1980年(昭和55)・第27巻・01号
新年のことば　＜昭和55年（1980年）＞	長倉吉宏	(16)16	1980年(昭和55)・第27巻・01号
黄帝内経太素	戸田一盛	(17)17	1980年(昭和55)・第27巻・01号
中草薬紹介＜21＞五味子	嶋野武	(30)30	1980年(昭和55)・第27巻・01号
自家中毒症に五苓散	細川喜代治	(43)43	1980年(昭和55)・第27巻・01号

温知堂経験録（124）▽アレルギー性鼻炎に柴胡桂枝湯エキス末▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯合芍薬甘草附子湯▽尋常性乾癬に黄連阿膠湯合桂枝茯苓丸料▽掌蹠膿疱症に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁大黄	矢数道明	(46)46	1980年(昭和55)・第27巻・01号
漢方経験雑記（27）＜私の好きな一貫堂の荊芥連翹湯＞耳だれに荊芥連翹湯▽膀胱炎、前立腺炎、尿道炎に一貫堂の竜胆瀉肝湯▽ヘントウ肥大に荊芥連翹湯	村田恭介	(48)48	1980年(昭和55)・第27巻・01号
旭川便＜1＞	佐藤貞美	(51)51	1980年(昭和55)・第27巻・01号
書評／矢数道明先生著『明治110の年漢方医学の変遷と将来・漢方略史年表』を読んで	松田邦夫	(52)52	1980年(昭和55)・第27巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和54年12月＞	協会本部／編集局	(53)53	1980年(昭和55)・第27巻・01号
@1980年(昭和55)-第27巻-02号-			
顔面神経麻痺（ベル氏麻痺）の治療経験	佐々木一彦	(3)71	1980年(昭和55)・第27巻・02号
温疫論について＜上＞	岡田道三	(5)73	1980年(昭和55)・第27巻・02号
漢方診療おぼえ書（42）＜水毒症・才血証の治療について＞	緒方玄芳	(10)78	1980年(昭和55)・第27巻・02号
治験2例　▽人参湯→半夏厚朴湯▽大黄牡丹皮湯→大柴胡湯	鮎川濯三	(15)83	1980年(昭和55)・第27巻・02号
最近の諸例　▽頑固な気管支喘息	土本重	(16)84	1980年(昭和55)・第27巻・02号
先哲経験録（1）　▽エツ逆（吃逆）▽裏急後重甚しく小便リュウ閉の治▽山田業精の治験▽杜仲酒の治験	大塚敬節	(18)86	1980年(昭和55)・第27巻・02号
温知堂経験録（125）▽ノイローゼ不眠症に養心湯▽癒着性脊髄炎による脚弱症が清上ケン痛湯で▽椎間板ヘルニアの腰痛に桂枝茯苓丸料合芍薬甘草附子湯▽腓腸筋痙攣の頻発するのに芍薬甘草附子湯	矢数道明	(19)87	1980年(昭和55)・第27巻・02号
漢方経験雑記（28）＜帰耆建中湯加苓朮について＞乳首の湿疹▽40年来の外傷後の潰瘍性皮膚病▽蚊に刺された跡の皮膚病▽耳漏、耳鳴、くしゃみ、鼻水、痔の痒み、冷え症、不正出血	村田恭介	(23)91	1980年(昭和55)・第27巻・02号
大承気湯と甘草乾姜湯	重田学	(27)95	1980年(昭和55)・第27巻・02号
気血の循り	小野俊郎	(30)98	1980年(昭和55)・第27巻・02号
癌とは何か（2）＜子宮癌＞	松岡睦友	(32)100	1980年(昭和55)・第27巻・02号
漢方研究室　出題：問題102　膀胱炎3題／解答：問題98	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・小野・田村・佐藤	(34)102	1980年(昭和55)・第27巻・02号
漢方と神仙術（6）	増永静人	(38)106	1980年(昭和55)・第27巻・02号
＜創刊25周年記念＞神経因性膀胱に対する鍼灸治療＜1＞	古村滋子・森野逸子・橋本雅弘	(42)110	1980年(昭和55)・第27巻・02号
旭川便＜2＞	佐藤貞美	(47)115	1980年(昭和55)・第27巻・02号
相見三郎先生の逝去を悼む	矢数道明	(48)116	1980年(昭和55)・第27巻・02号
書評／宮脇浩志『陰陽六行説の鍼術』創医会出版	間中喜雄	(49)117	1980年(昭和55)・第27巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年1月＞	協会本部／編集局	(50)118	1980年(昭和55)・第27巻・02号
@1980年(昭和55)-第27巻-03号-			
温知荘雑筆　本間棗軒翁書簡について	矢数道明	(3)135	1980年(昭和55)・第27巻・03号
温疫論について＜下＞附記　銀翹散の臨床経験	岡田道三	(6)138	1980年(昭和55)・第27巻・03号
漢方診療おぼえ書（43）▽紫斑病性腎炎に猪苓加車前子▽発作性頻拍症に柴胡桂枝乾姜湯加味方、次いで桂枝甘草竜骨牡蠣湯、合半夏厚朴湯	緒方玄芳	(14)146	1980年(昭和55)・第27巻・03号
臨床報告2例　▽第1例：腰痛▽第2例：関節痛	鮎川濯三	(17)149	1980年(昭和55)・第27巻・03号
治験5例　▽症例1：扁桃周囲炎▽症例2：慢性副鼻腔炎兼慢性上咽頭炎▽症例3：難治性めまい▽症例4：難治性めまい▽症例5：間歇的におこるめまい	鎌田慶市郎	(18)150	1980年(昭和55)・第27巻・03号
先哲名医経験録（2）　▽北野松齢の治験ー尿閉の治療▽岡田昌春の治験ー全身の浮腫、貧血▽殿木龍伯ー裏急後重、小便リュウ閉▽蘆越屠龍ー妊娠中の指頭のシビレ感	大塚敬節	(22)154	1980年(昭和55)・第27巻・03号
最近の諸例　▽尋常性乾癬▽心臓性喘息▽右偏頭痛	土本重	(24)156	1980年(昭和55)・第27巻・03号
温知堂経験録（126）▽関節痛と肩背痛にヨク苡仁湯、次に通気防風湯を与えて▽15年来の片頭痛に清上ケン痛湯▽慢性頭痛、眼痛に清上ケン痛湯	矢数道明	(26)158	1980年(昭和55)・第27巻・03号
漢方経験雑記（29）＜温経湯と手の皮膚病＞手掌の膿疱性皮膚病▽男性の手掌の膿疱性皮膚病にも温経湯▽進行性手掌角皮症	村田恭介	(28)160	1980年(昭和55)・第27巻・03号
＜創刊25周年記念＞神経因性膀胱に対する鍼灸治療＜2＞	古村滋子・森野逸子・橋本雅弘	(31)163	1980年(昭和55)・第27巻・03号
無意識に唇を噛む患者	吉原浅吉	(38)170	1980年(昭和55)・第27巻・03号
新刊／山本巖著『東医雑録』（1）ー燎原書店発行ー	気賀林一	(38)171	1980年(昭和55)・第27巻・03号
旭川便＜3＞	佐藤貞美	(39)171	1980年(昭和55)・第27巻・03号
日本医師会最高優功賞大塚敬節受賞記念祝賀会	編集局	(40)172	1980年(昭和55)・第27巻・03号
日本医師会最高優功賞矢数道明受賞記念祝賀会	編集局	(41)173	1980年(昭和55)・第27巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年2月＞	協会本部／編集局	(42)174	1980年(昭和55)・第27巻・03号
日訳　評注『医林改錯』上巻ーその7ー（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(44)176	1980年(昭和55)・第27巻・03号
@1980年(昭和55)-第27巻-04号-			

百合知母湯について	高橋国海	(3)198	1980年(昭和55)・第27巻・04号
症例2例　▽乙字湯・麻杏甘石湯▽大柴胡湯	鮎川濯三	(5)201	1980年(昭和55)・第27巻・04号
温知堂経験録（127）▽舌の割れてしみるのに清熱補気湯▽湿疹ソウ痒に温清飲加桃仁牡丹皮大黄▽原因不明の発熱を繰り返えすのに滋陰至宝湯	矢数道明	(6)202	1980年(昭和55)・第27巻・04号
最近の諸例　▽横膈膜裂孔ヘルニア▽胃、十二指腸潰瘍▽ダウン症候群	土本重	(8)204	1980年(昭和55)・第27巻・04号
漢方診療おぼえ書（44）▽左頭痛・めまい・左肩こりに延年半夏湯▽ルイレキに小柴胡湯加貝母・夏枯草・括楼根・牡蠣・青皮▽糖尿病に八味地黄湯加御種人参▽尿路結石に猪苓湯加車前子と芍薬甘草湯兼用	緒方玄芳	(12)208	1980年(昭和55)・第27巻・04号
ウイルソン病の治療	大塚敬節	(14)210	1980年(昭和55)・第27巻・04号
才血と食物との関係≪雑誌、臨床科学、1980年2月号を読んで感じたこと≫	江部洋一郎	(15)211	1980年(昭和55)・第27巻・04号
附子中毒について	花村訓充	(18)214	1980年(昭和55)・第27巻・04号
昭和54年（1979）漢方略史年表	矢数道明	(21)217	1980年(昭和55)・第27巻・04号
漢方研究室　出題：問題103　冷え5題／解答：問題103	出題・解答）小倉重成	(28)224	1980年(昭和55)・第27巻・04号
＜創刊25周年記念＞湯液と針灸との関連性＜主に基礎概念について＞	池田政一	(31)227	1980年(昭和55)・第27巻・04号
書評／藤田六朗著・『経絡学入門（基礎編）』医道の日本出版社	有地滋	(44)240	1980年(昭和55)・第27巻・04号
旭川便＜4＞	佐藤貞美	(45)241	1980年(昭和55)・第27巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年3月＞	協会本部／編集局	(46)242	1980年(昭和55)・第27巻・04号
@1980年(昭和55)-第27巻-05号-			
偶発性自然気胸を麻黄細辛附子湯で治癒させた治験例	岡田道三	(3)263	1980年(昭和55)・第27巻・05号
痔出血の漢方治療＜1＞	山本巖	(6)266	1980年(昭和55)・第27巻・05号
漢方診療おぼえ書（45）▽切れにくい痰とひどい咳に括楼枳実湯▽陳旧性挫傷に治打撲一方▽偏頭痛に呉茱萸湯▽頭痛、嘔吐に呉茱萸	緒方玄芳	(10)270	1980年(昭和55)・第27巻・05号
臨床報告2例　▽第1例：柴胡桂枝湯の例▽第2例：柴胡加竜骨牡蠣湯・桂枝茯苓丸の例	鮎川濯三	(13)273	1980年(昭和55)・第27巻・05号
最近の諸例　▽胆嚢痙攣？▽胃腸虚弱症▽胃潰瘍兼出血尿	土本重	(14)274	1980年(昭和55)・第27巻・05号
雑書を読んでいる中に拾った話	大塚敬節	(17)277	1980年(昭和55)・第27巻・05号
陰陽堂雑記　＜風邪のこと＞	池田政一	(19)279	1980年(昭和55)・第27巻・05号
甘草の薬能	花村訓充	(23)283	1980年(昭和55)・第27巻・05号
日訳　評注『医林改錯』上巻－その8－（評注「医界の誤りを正す」）	王清任 訳者）小池三良助	(28)288	1980年(昭和55)・第27巻・05号
＜創刊25周年記念＞東西両医学比較研究序説＜1＞	杉山広茂	(33)293	1980年(昭和55)・第27巻・05号
温知堂経験録（128）▽舌に皹裂を生じ、しみて痛くなるのに清熱補気湯▽口中が白くなり物がしみて痛むのに清熱補気湯▽五十肩に二朮湯（肥満者）▽甲状腺腫に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁	矢数道明	(40)300	1980年(昭和55)・第27巻・05号
旭川便＜5＞	佐藤貞美	(43)303	1980年(昭和55)・第27巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年4月＞	協会本部／編集局	(44)304	1980年(昭和55)・第27巻・05号
東海漢方	太田裕康	(52)312	1980年(昭和55)・第27巻・05号
@1980年(昭和55)-第27巻-06号-			
肝陽上亢、2例	江部康二	(3)327	1980年(昭和55)・第27巻・06号
痔出血の漢方治療＜2＞	山本巖	(8)332	1980年(昭和55)・第27巻・06号
漢方診療おぼえ書（46）▽帝王切開術瘡の瘻孔形成に托裏消毒散▽感染性粉瘤に托裏消毒散（正宗）▽背部痛に清湿化痰湯	緒方玄芳	(15)339	1980年(昭和55)・第27巻・06号
温知堂経験録（129）▽潰瘍性大腸炎に胃風湯▽常習性嘔吐と食慾不振に小半夏加茯苓湯エキス	矢数道明	(17)341	1980年(昭和55)・第27巻・06号
漢方体験記（1）▽癇症に柴胡竜骨牡蠣湯▽肝臓病に茵チン蒿湯	河野順	(18)342	1980年(昭和55)・第27巻・06号
東洋医学の原点を求めて－神農氏のメソポタミア起源説－	藤平正子	(20)344	1980年(昭和55)・第27巻・06号
秘薬・奇方の採集（1）	大塚敬節	(24)348	1980年(昭和55)・第27巻・06号
＜創刊25周年記念＞東西両医学比較研究序説＜2＞	杉山広茂	(26)350	1980年(昭和55)・第27巻・06号
漢方と神仙術（7）	増永静人	(35)359	1980年(昭和55)・第27巻・06号
旭川便＜6＞	佐藤貞美	(39)363	1980年(昭和55)・第27巻・06号
中薬展を見て	嶋野武	(41)365	1980年(昭和55)・第27巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年5月＞	協会本部／編集局	(44)368	1980年(昭和55)・第27巻・06号
@1980年(昭和55)-第27巻-07号-			
のどチクのかぜその後	藤平健	(3)391	1980年(昭和55)・第27巻・07号
最近の諸例　▽冠不全？横隔膜裂孔ヘルニア？▽十二指腸球部潰瘍	土本重	(6)394	1980年(昭和55)・第27巻・07号
漢方診療おぼえ書（47）▽術後性上顎嚢胞に托裏消毒散（外科正宗）▽中耳炎に蔓荊子散▽歯槽膿漏に托裏消毒散・膵炎に良枳湯	緒方玄芳	(11)399	1980年(昭和55)・第27巻・07号
温知堂経験録（130）▽尋常性乾癬に黄連阿膠湯▽虚証の不眠症と慢性肝炎に酸棗仁湯合加味逍遥散	矢数道明	(13)401	1980年(昭和55)・第27巻・07号
漢方経験雑記（30）▽頭部の湿疹に荊芥連翹湯▽アトピー性皮膚炎に柴胡清肝湯エキス▽湿疹の姉妹に柴胡清肝湯が一人著効で一人無効	村田恭介	(15)403	1980年(昭和55)・第27巻・07号
漢方体験記（2）▽気管支喘息に小青竜湯▽陰頭痛に猪苓湯	河野順	(18)406	1980年(昭和55)・第27巻・07号

黄苔の成因に関する考察－急性心筋硬塞の症例を検討して－	宮川マリ	(20)408	1980年(昭和55)・第27巻・07号
＜創刊25周年記念＞漢法医学のルーツ	富田光陽	(28)416	1980年(昭和55)・第27巻・07号
中草薬紹介＜22＞丹参	嶋野武	(41)429	1980年(昭和55)・第27巻・07号
漢方研究室　出題：問題104　膀胱炎3題／解答：問題99	出題・解答）小倉重成 回答）中村・大嶺・田村・河野・佐藤	(51)439	1980年(昭和55)・第27巻・07号
旭川便＜7＞	佐藤貞美	(56)445	1980年(昭和55)・第27巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年6月＞	協会本部／編集局	(58)446	1980年(昭和55)・第27巻・07号
最近の東洋医学関係の友好訪中団	矢数道明	(59)447	1980年(昭和55)・第27巻・07号
森道伯先生の50年忌に当って	石野信安	(61)449	1980年(昭和55)・第27巻・07号
@1980年(昭和55)-第27巻-08号-			
漢方薬が有効であった難病の治験例（1）温胆湯が著効を呈した仮面うつ病・心身症の症例	東野規矩子・上野隆・小池三良助	(3)471	1980年(昭和55)・第27巻・08号
神効湯について	岡田道三・埴岡博	(12)480	1980年(昭和55)・第27巻・08号
漢方診療おぼえ書（48）▽ニキビに十味敗毒湯加味方▽ニキビに当帰芍薬散加方、次で葛根紅花湯▽微熱と咳に竹茹温胆湯▽耳漏に小柴胡湯加桔梗、石膏▽蕁麻疹に十味敗毒湯加連翹	緒方玄芳	(14)482	1980年(昭和55)・第27巻・08号
温知荘雑筆　「ヨク苡仁は妊娠中禁忌であるか」の質問に答えて	矢数道明	(17)485	1980年(昭和55)・第27巻・08号
腎及肝嚢胞症	鮎川濯三	(20)488	1980年(昭和55)・第27巻・08号
漢方経験雑記（31）＜疎肝湯について＞	村田恭介	(21)489	1980年(昭和55)・第27巻・08号
常見疾病の経験例　▽不眠症に桂枝甘草竜骨牡蠣湯▽逆経に温清飲合桂枝茯苓丸料▽背痛に大柴胡湯▽声帯のポリープに半夏厚朴湯合麦門冬湯加山梔子	大村光明	(26)494	1980年(昭和55)・第27巻・08号
最近の諸例　▽クーミス2題▽頭蓋骨調整	土本重	(29)497	1980年(昭和55)・第27巻・08号
浮腫2例	松宮光伸	(30)498	1980年(昭和55)・第27巻・08号
癌とは何か（3）＜乳癌を切除されて＞	松岡睦友	(33)501	1980年(昭和55)・第27巻・08号
漢方体験記（3）▽下痢に生姜瀉心湯▽子宮後屈の手術後に当帰建中湯	河野順	(35)503	1980年(昭和55)・第27巻・08号
旭川便＜8＞	佐藤貞美	(37)505	1980年(昭和55)・第27巻・08号
石原明博士の逝去を悼む	矢数道明	(38)506	1980年(昭和55)・第27巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年7月＞	協会本部／編集局	(40)508	1980年(昭和55)・第27巻・08号
書評／山田光胤著『漢方処方応用のコツ』－創元社－	西岡一夫	(42)510	1980年(昭和55)・第27巻・08号
＜創刊25周年記念＞東洋医学の基本理念	伊藤真愚	(44)512	1980年(昭和55)・第27巻・08号
@1980年(昭和55)-第27巻-09号-			
漢方薬が有効であった難病の治験例（2）難治性三叉神経痛の症例	樋口和子・上野隆・小池三良助	(3)543	1980年(昭和55)・第27巻・09号
漢方診療おぼえ書（49）▽肛門周囲炎に托裏消毒散▽偏頭痛に呉茱萸湯▽直腸都の腫瘍からの出血にＷＴＴＣ▽乳幼児の咳に華蓋散（局方）▽微熱に柴胡桂枝乾姜湯加黄耆別甲	緒方玄芳	(9)549	1980年(昭和55)・第27巻・09号
漢方経験雑記（32）＜中草薬の利用法私案（1）＞党参	村田恭介	(12)552	1980年(昭和55)・第27巻・09号
温知堂経験録（131）▽20年来の頭痛、めまい、嘔吐と高血圧に呉茱萸湯エキス末▽慢性のめまい症に半夏白朮天麻湯エキス末▽痔出血による貧血及び高血圧に加味帰脾湯	矢数道明	(17)557	1980年(昭和55)・第27巻・09号
分量について	藤平健	(19)559	1980年(昭和55)・第27巻・09号
麻黄の薬能について	花村訓充	(21)561	1980年(昭和55)・第27巻・09号
麻黄の発汗作用と利尿作用について	松原正紘	(30)570	1980年(昭和55)・第27巻・09号
漢方体験記（4）▽不妊症に柴胡桂枝湯▽しみに当帰芍薬散▽眩暈に苓桂朮甘湯	河野順	(31)571	1980年(昭和55)・第27巻・09号
漢方研究室　出題：問題104　消化器潰瘍／解答：問題100	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・田村・宗像・佐藤	(33)573	1980年(昭和55)・第27巻・09号
温知荘雑筆　中国における、「国内外中医文献摘録」について	矢数道明	(38)578	1980年(昭和55)・第27巻・09号
旭川便＜9＞	佐藤貞美	(40)580	1980年(昭和55)・第27巻・09号
石原明氏を偲ぶ	藤平健	(41)581	1980年(昭和55)・第27巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年8月＞	協会本部／編集局	(42)582	1980年(昭和55)・第27巻・09号
不眠症経験	松本一男	(44)584	1980年(昭和55)・第27巻・09号
@1980年(昭和55)-第27巻-10号-			
分心気飲（1）－考察と症例－	江部洋一郎	(3)607	1980年(昭和55)・第27巻・10号
大塚敬節氏逝去	編集局	(10)614	1980年(昭和55)・第27巻・10号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（1）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(11)615	1980年(昭和55)・第27巻・10号
一貫堂医学について（1）	村上昌久	(18)622	1980年(昭和55)・第27巻・10号
温知堂経験録（132）▽高血圧の衄血に荊芥連翹湯▽変形性膝関節炎と高血圧に防已黄耆湯合越婢加朮湯▽小児喘息に神秘湯	矢数道明	(24)628	1980年(昭和55)・第27巻・10号

漢方診療おぼえ書（50）▽十二指腸潰瘍に堅中湯加呉茱萸牡蠣▽カゼの後、長びく咳に橘皮半夏湯、次いで麦門冬湯▽腹痛、下痢に半夏瀉心湯	緒方玄芳	(26)630	1980年(昭和55)・第27巻・10号
漢方経験雑記（33）＜一貫堂の荊芥連翹湯および柴胡清肝湯の種々相（その2）＞ニキビに荊芥連翹湯エキス▽4－5年来の湿疹に荊芥連翹湯エキスが著効▽温清飲証らしき皮膚病に荊芥連翹湯	村田恭介	(28)632	1980年(昭和55)・第27巻・10号
漢方体験記（5）▽出血に黄連解毒湯▽片頭痛に呉茱萸湯	河野順	(31)635	1980年(昭和55)・第27巻・10号
五苓散特殊例	彭瑞麟	(33)637	1980年(昭和55)・第27巻・10号
書評／橋本行生著『自立こそ治癒力の源泉』	間中喜雄	(34)638	1980年(昭和55)・第27巻・10号
旭川便＜10＞	佐藤貞美	(35)639	1980年(昭和55)・第27巻・10号
私の漢方入門記	平木陽一	(36)640	1980年(昭和55)・第27巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年9月＞	協会本部／編集局	(43)647	1980年(昭和55)・第27巻・10号
@1980年(昭和55)-第27巻-11号-			
分心気飲（2）－考察と症例－	江部洋一郎	(3)671	1980年(昭和55)・第27巻・11号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（2）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(10)678	1980年(昭和55)・第27巻・11号
一貫堂医学について（2）	村上昌久	(15)683	1980年(昭和55)・第27巻・11号
漢方診療おぼえ書（51）▽蓄膿症に荊芥連翹湯（回春）加味方、次いで葛根湯加味方▽頭痛に桂枝人参湯▽膵炎に良枳湯	緒方玄芳	(20)688	1980年(昭和55)・第27巻・11号
最近の諸例　▽腰痛、腹部膨満▽メニエール症候群▽その他6年来の激しい眩暈等	土本重	(22)690	1980年(昭和55)・第27巻・11号
漢方体験記（6）▽心悸亢進に炙甘草湯▽湿疹に十味敗毒湯	河野順	(25)693	1980年(昭和55)・第27巻・11号
錯経（肺出血）の1例	彭瑞麟	(27)695	1980年(昭和55)・第27巻・11号
漢方研究室　出題：問題105　変形性膝関節症4題／解答：問題101	出題・解答）小倉重成 回答）岩田・佐橋・河野・大嶺・田村・佐藤・中村	(28)696	1980年(昭和55)・第27巻・11号
旭川便＜11＞	佐藤貞美	(35)703	1980年(昭和55)・第27巻・11号
外国旅行の想い出	松田邦夫	(36)704	1980年(昭和55)・第27巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年10月＞	協会本部／編集局	(39)707	1980年(昭和55)・第27巻・11号
衆方規矩ノート	埴岡博	(41)709	1980年(昭和55)・第27巻・11号
温知荘雑筆　半夏を粉にしてオブラートに包んでのむと快便がつくという患者	矢数道明	(45)713	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集　－目次－	編集局	(47)715	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生追悼特集に当って・大塚敬節先生の略歴と功績	矢数道明	(48)716	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生のこと	間中喜雄	(53)721	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／故大塚先生のことども	長塩容伸	(55)723	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生を偲ぶ	木下晴都	(58)726	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生と永別して	山田光胤	(58)726	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／恩師大塚敬節先生を偲ぶ	緒方芳郎	(61)729	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生と私	岡野勝憲	(64)732	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生の思い出	高橋国海	(67)735	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／想い秋深く露は涙の如し－恩師大塚敬節先生の追憶－	寺師睦宗	(68)736	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚先生を偲ぶ	竹内達	(70)738	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／修行時代の思い出－恩師大塚敬節を偲んで－	松田邦夫	(71)739	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生の追想－初対面と偕行学苑の頃－	矢数道明	(74)742	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／北里東医研での大塚先生	斉藤隆	(77)745	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚敬節先生を悼む	木村雄四郎	(79)747	1980年(昭和55)・第27巻・11号
大塚敬節氏追悼特集／大塚先生を想う	津村重舎	(80)748	1980年(昭和55)・第27巻・11号
@1980年(昭和55)-第27巻-12号-			
分量に関する若干の考察	江部康二	(3)767	1980年(昭和55)・第27巻・12号
藤平健氏の「分量について」をよんで	村上泰央	(8)772	1980年(昭和55)・第27巻・12号
腎気明目湯について	山崎正寿・坂口弘	(9)773	1980年(昭和55)・第27巻・12号
私の経験（実験傷寒論）	橋口親義	(13)777	1980年(昭和55)・第27巻・12号
漢方診療おぼえ書（52）▽アレルギー性鼻炎に黄耆建中湯▽低血圧で易疲労に補中益気湯加附子	緒方玄芳	(18)782	1980年(昭和55)・第27巻・12号
最近の諸例　▽胃潰瘍2例▽右上肢痛	土本重	(19)783	1980年(昭和55)・第27巻・12号
Buerger's病闘病記	李弼永	(23)787	1980年(昭和55)・第27巻・12号
漢方経験雑記（34）＜一貫堂の荊芥連翹湯及び柴胡清肝湯の種々相（その3）＞副鼻腔炎に荊芥連翹湯エキス▽アトピー性皮膚炎に、荊芥連翹湯合柴胡清肝湯エキス▽アトピー性皮膚炎に柴胡清肝湯合荊芥連翹湯エキスが著効▽掌蹠膿疱症に荊芥連翹湯▽顔と首の乾性湿疹に、荊芥連翹湯エキス▽化学薬品によるジンマシンに荊芥連翹湯合温清飲エキス	村田恭介	(26)790	1980年(昭和55)・第27巻・12号

胃下垂症と補中益気湯合鍼灸治療	殷暁明	(30)794	1980年(昭和55)・第27巻・12号
訪中報告	谷美智士	(31)795	1980年(昭和55)・第27巻・12号
耳疾患の治療奏効1例　論理的な考察をふまえて	梶原久義	(32)796	1980年(昭和55)・第27巻・12号
漢方体験記（7）▽ネフローゼ症候群に柴苓湯▽痔疾に乙字湯	河野順	(35)799	1980年(昭和55)・第27巻・12号
温知堂経験録（133）▽下肢湿疹と高血圧に温清飲加連翹・ヨク苡仁・大黄▽気管支喘息・白癬・魚の目に麻杏甘石湯と石膏と紫雲膏▽低血圧の偏頭痛に半夏白朮天麻湯	矢数道明	(37)801	1980年(昭和55)・第27巻・12号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（3）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(39)803	1980年(昭和55)・第27巻・12号
一貫堂医学について（3）＜腹症＞	村上昌久	(43)807	1980年(昭和55)・第27巻・12号
漢方研究室　出題：問題106　皮膚病3題／解答：問題102	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・中村・佐橋・河野・岩田・佐藤	(47)811	1980年(昭和55)・第27巻・12号
旭川便＜12＞	佐藤貞美	(52)816	1980年(昭和55)・第27巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年11月＞	協会本部／編集局	(53)817	1980年(昭和55)・第27巻・12号
@1981年(昭和56)-第28巻-01号-			
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞生薬の増産対策実施	木村雄四郎	(3)3	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	土本重	(3)3	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	矢数道明	(3)3	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	寺師睦宗	(4)4	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	松本一男	(4)4	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	小池三良助	(4)4	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	有地滋	(5)5	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	細川喜代治	(5)5	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞80年代の生薬	嶋野武	(5)5	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞痴人の夢	戸田一盛	(5)5	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	宗像敬一	(6)6	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	埴岡博	(6)6	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	大村光明	(6)6	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	戸部宗七郎	(6)6	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	松下嘉一	(7)7	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	竹内達	(7)7	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	岡田道三	(7)7	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	河野順	(7)7	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	柴田良治	(8)8	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	岡野正憲	(8)8	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	吉原浅吉	(8)8	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	橋本行則	(8)8	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	村田恭介	(9)9	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	間中喜雄	(9)9	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞落し物	小倉重成	(9)9	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	小野俊郎	(10)10	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	池田政一	(10)10	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	佐藤貞美	(10)10	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	松田邦夫	(10)10	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	勝田正泰	(11)11	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	原桃介	(11)11	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	建林静枝	(11)11	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	伊藤真愚	(11)11	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	鎌田慶市郎	(12)12	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞街道とハイウェイ	村松睦	(12)12	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	重田学	(12)12	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	増永静人	(12)12	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	松岡睦友	(13)13	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	菊谷豊彦	(13)13	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	土田茂雄	(13)13	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	小椋道益	(13)13	1981年(昭和56)・第28巻・01号
新年のことば　＜昭和56年（1981年）＞	気賀林一	(14)14	1981年(昭和56)・第28巻・01号

気管支喘息の漢方治療	松下嘉一	(15)15	1981年(昭和56)・第28巻・01号
温知堂経験録（134）▽肺気腫の呼吸困難と動悸に治喘一方▽下肢動脈血栓症に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁、附子▽子宮筋腫による出血過多症に六君子湯▽流産後の自律神経失調症に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料	矢数道明	(25)25	1981年(昭和56)・第28巻・01号
温知荘雑筆　中国の「国内外医学期刊中医文摘」全4冊について	矢数道明	(28)28	1981年(昭和56)・第28巻・01号
一貫堂医学について（3）＜通導散合四物湯＞	村上昌久	(30)30	1981年(昭和56)・第28巻・01号
漢方研究室　出題：問題107　慢性胃炎3題／解答：問題104	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・吾妻・佐藤	(34)34	1981年(昭和56)・第28巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和55年12月＞	協会本部／編集局	(38)38	1981年(昭和56)・第28巻・01号
漢方診療おぼえ書（53）▽無気力の婦人に補中益気湯加附子▽めまい、立ちくらみに人参当帰芍薬散、腰の痛みに八味丸▽肩こり、頭痛に人参当帰芍薬散	緒方玄芳	(40)40	1981年(昭和56)・第28巻・01号
奇方ー露蜂房の治療経験	松田邦夫	(42)42	1981年(昭和56)・第28巻・01号
最近の諸例　▽過換気症候群▽顔面頬部細絡▽虫の好い考え方▽頭蓋骨調整による症例	土本重	(45)45	1981年(昭和56)・第28巻・01号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（4）ー中国における最近の成果をみてー	宮川マリ	(48)48	1981年(昭和56)・第28巻・01号
漢方体験記（8）▽片頭痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽しみに桂枝茯苓丸	河野順	(50)50	1981年(昭和56)・第28巻・01号
@1981年(昭和56)-第28巻-02号-			
古典から「未病」を考える	有地滋	(3)67	1981年(昭和56)・第28巻・02号
肝腎陰虚の腹水	江部康二	(12)76	1981年(昭和56)・第28巻・02号
漢方診療おぼえ書（54）▽慢性肝炎に調中益気湯去乾姜（乾姜に過敏な反応を示した症例）	緒方玄芳	(16)80	1981年(昭和56)・第28巻・02号
温知堂経験録（135）▽左下肢の腫脹・浮腫・疼痛・紫黒色化に桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽高血圧と小赤血疹に桂枝茯苓丸▽気管支喘息に神秘湯	矢数道明	(19)83	1981年(昭和56)・第28巻・02号
漢方体験記（1）▽週末熱に奔豚湯（金匱要略）▽夜尿症（朝尿症？）に半夏白朮天麻湯▽胃弱者の肩こり上肢痛に桂姜棗草黄辛附湯合人参湯▽慢性下痢の弟に真武湯、兄に啓脾湯	平林達郎	(21)85	1981年(昭和56)・第28巻・02号
漢方体験記（9）▽胆嚢炎に大柴胡湯▽出血にキュウ帰膠ガイ湯	河野順	(23)87	1981年(昭和56)・第28巻・02号
最近の諸例　▽慢性膵炎▽呼吸困難症▽横隔膜裂孔ヘルニア	土本重	(25)89	1981年(昭和56)・第28巻・02号
何を根拠に不治だと宣告するか？	彭瑞麟	(27)91	1981年(昭和56)・第28巻・02号
漢方経験例　▽症例1：胃下垂に枝苓飲合参附湯▽症例2：慢性腎炎に附桂八味丸合葛根湯	殷暁明	(28)92	1981年(昭和56)・第28巻・02号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（5）ー中国における最近の成果をみてー	宮川マリ	(30)94	1981年(昭和56)・第28巻・02号
漢方研究室　出題：問題108　感冒5題／解答：問題104	出題・解答）小倉重成 回答）吾妻・大嶺・中村・佐藤	(33)97	1981年(昭和56)・第28巻・02号
二つの国際学会	坂口弘	(37)101	1981年(昭和56)・第28巻・02号
大塚敬節先生のご逝去に対する海外よりの弔辞	矢数道明	(41)105	1981年(昭和56)・第28巻・02号
大塚敬節先生のご逝去に対する海外よりの弔辞／大塚敬節先生を悼む	葉橘泉	(41)105	1981年(昭和56)・第28巻・02号
大塚敬節先生のご逝去に対する海外よりの弔辞／大塚敬節先生の逝去を悼む	ハイ元植	(43)107	1981年(昭和56)・第28巻・02号
書評／矢数道明著『増補改訂　明治110年　漢方医学の変遷と将来　漢方略史年表』春陽堂刊　読後感	斉藤豊	(45)109	1981年(昭和56)・第28巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年1月＞	協会本部／編集局	(47)111	1981年(昭和56)・第28巻・02号
@1981年(昭和56)-第28巻-03号-			
漢方薬が有効であった難病の治験例（3）柴胡・桃仁・シャ虫が活動型慢性肝炎に示した著効	田中郁子・上野隆・小池三良助	(3)131	1981年(昭和56)・第28巻・03号
昭和55年（1980）漢方略史年表	矢数道明	(14)142	1981年(昭和56)・第28巻・03号
漢方診療おぼえ書（55）▽慢性中耳炎に蔓荊子散（直指方）▽中耳炎に荊芥連翹湯（回春、耳門）▽アレルギー性鼻炎に黄耆建中湯	緒方玄芳	(22)150	1981年(昭和56)・第28巻・03号
崩漏（子宮癌）に参三七を用いた1治験例	松宮光伸	(24)152	1981年(昭和56)・第28巻・03号
漢方体験記（2）▽不安神経症に茯苓甘草湯加竜骨牡蠣▽末梢性顔面神経麻痺に加味八仙湯▽多血質者のしもやけに当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス	平林達郎	(28)156	1981年(昭和56)・第28巻・03号
一貫堂医学について（4）＜三焦と解毒証体質＞	村上昌久・佐々木信行・岩城理晴	(30)158	1981年(昭和56)・第28巻・03号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（6）ー中国における最近の成果をみてー	宮川マリ	(32)160	1981年(昭和56)・第28巻・03号
漢方体験記（10）▽咳払いに半夏厚朴湯▽外耳炎に小建中湯	河野順	(34)162	1981年(昭和56)・第28巻・03号
漢方牛歩録（1）胃腸型・感冒に桂枝去桂加茯苓朮湯の経験	中村謙介	(36)164	1981年(昭和56)・第28巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年2月＞	協会本部／編集局	(40)168	1981年(昭和56)・第28巻・03号
香月牛山著『遊豊司命録』読み下し拙文（その2）ー（附記）牛山寿塔崩壊の復旧についてー	宮崎綾子	(42)170	1981年(昭和56)・第28巻・03号
温知荘雑筆　今大路家5代目道三玄淵法印と曲直瀬正琳養安院3代目玄理法印の書翰について	矢数道明	(47)175	1981年(昭和56)・第28巻・03号
@1981年(昭和56)-第28巻-04号-			

外証の外とは何処か	山田光胤	(3)195	1981年(昭和56)・第28巻・04号
漢方診療おぼえ書（56）▽咽頭炎に桂枝五物湯▽周期性浮腫に加味逍遥散、兼用五苓散▽カゼに桂枝湯（エキス）	緒方玄芳	(9)201	1981年(昭和56)・第28巻・04号
温知堂経験録（136）▽頑固な皮膚炎と指掌角皮症に黄連阿膠湯▽欝病によく効いた加味逍遥散エキス末	矢数道明	(11)203	1981年(昭和56)・第28巻・04号
漢方体験記（3）▽神経性心悸亢進症に中建中湯加減▽きっくり腰に甲字湯加ヨク苡仁・附子▽加味逍遥散で「やる気をなくした」患者	平林達郎	(15)207	1981年(昭和56)・第28巻・04号
漢方経験雑記（35）▽小柴胡湯合桂枝茯苓湯の頭部打撲・ムチウチ損傷による後遺症に対する効果について（治打撲一方との比較及び田七）	村田恭介	(17)209	1981年(昭和56)・第28巻・04号
一貫堂医学について（4）＜三焦と解毒証体質＞	村上昌久・佐々木信行・岩城理晴	(22)214	1981年(昭和56)・第28巻・04号
漢方体験記（11）▽肩と手のしびれに葛根湯▽尋常性乾癬に温清飲	河野順	(27)219	1981年(昭和56)・第28巻・04号
最近の諸例　▽めまい▽頑固な頭痛▽頑固な咳嗽	土本重	(29)221	1981年(昭和56)・第28巻・04号
漢方研究室　出題：問題109　気管支喘息4題／解答：問題105	出題・解答）小倉重成 回答）吾妻・佐橋・岩田・大嶺・佐藤	(31)223	1981年(昭和56)・第28巻・04号
「中医学基礎」を読んで	松原正紘	(37)229	1981年(昭和56)・第28巻・04号
中国医療見聞記	斉藤悦郎	(39)231	1981年(昭和56)・第28巻・04号
新刊紹介／矢数道明博士著『臨床50年漢方治療百話』第5集を読む	木村雄四郎	(42)234	1981年(昭和56)・第28巻・04号
金匱要略にベーチェット症候群の症状と治療法の記載があるという説について－その1－	小池三良助	(43)235	1981年(昭和56)・第28巻・04号
香月牛山著『遊豊司命録』読み下し拙文（その3）	宮崎綾子	(47)239	1981年(昭和56)・第28巻・04号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（7）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(50)242	1981年(昭和56)・第28巻・04号
協会ニュース	気賀林一	(53)245	1981年(昭和56)・第28巻・04号
気賀林一　大兄机下	矢数道明	(53)245	1981年(昭和56)・第28巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年3月＞	協会本部／編集局	(55)247	1981年(昭和56)・第28巻・04号
@1981年(昭和56)-第28巻-05号-			
黄連阿膠湯の分量、煮煎法、その他の記載について	矢数道明	(3)267	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方診療おぼえ書（57）▽欝病に反鼻交感丹料▽易疲労・頭帽感・耳鳴・食欲不振などを訴える初老婦人に調中益気湯加附子▽右肺葉全剔の後遺症に十全大補湯	緒方玄芳	(5)269	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方自験6例　▽鼻出血に桂枝茯苓丸▽アレルギー性鼻炎に当帰芍薬散▽慢性中耳炎・高血圧症に柴胡加竜骨牡蠣湯去大黄▽急性喉頭炎に響声破笛丸▽急性扁桃炎に半夏湯▽咽頭ノイローゼに半夏湯	鎌田慶市郎	(7)271	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方牛歩録（2）	中村謙介	(10)274	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方体験記（4）▽五十肩に甘草附子湯▽奔豚症（？）に抑肝散加陳皮半夏	平林達郎	(14)278	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方体験記（12）▽肝斑に柴胡桂枝乾姜湯▽尿の淋瀝に八味丸	河野順	(16)280	1981年(昭和56)・第28巻・05号
一貫堂医学について（5）＜通導散合防風通聖散＞	村上昌久	(18)282	1981年(昭和56)・第28巻・05号
いぼの灸治療追試とその考察	松田邦夫	(24)288	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方薬が有効であった難病の治験例（4）脊椎分離症の芍甘黄辛附湯らによる随証治効	末広一容・上野隆・小池三良助	(30)294	1981年(昭和56)・第28巻・05号
中国伝統医学における四時の認識と問題（1）	丸山敏秋	(35)299	1981年(昭和56)・第28巻・05号
薬方学習の手引き（山田光胤氏の図表による）	杉山広茂	(39)303	1981年(昭和56)・第28巻・05号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（8）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(43)307	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方研究室　出題：問題110　雑5題／解答：問題106	出題・解答）小倉重成 回答）佐橋・岩田・大嶺・中村・佐藤	(45)309	1981年(昭和56)・第28巻・05号
吉益南涯塾、塾則について	高野守啓	(48)312	1981年(昭和56)・第28巻・05号
協会ニュース	気賀林一	(50)314	1981年(昭和56)・第28巻・05号
気賀林一　大兄	矢数道明	(50)314	1981年(昭和56)・第28巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年4月＞	協会本部／編集局	(52)316	1981年(昭和56)・第28巻・05号
@1981年(昭和56)-第28巻-06号-			
桃核承気湯治験報告（第1報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)331	1981年(昭和56)・第28巻・06号
温知堂経験録（137）▽葛根湯エキス末をのむと元気が出る▽十二指腸潰瘍の大出血による貧血に六君子湯▽胃腸下垂虚弱老婦人に補中益気湯合六君子湯加味方	矢数道明	(9)337	1981年(昭和56)・第28巻・06号
漢方診療おぼえ書（58）▽肩関節周囲炎に葛根湯加朮附▽高度の疲労に補中益気湯加味方▽低血圧症に補中益気湯加味方兼用八味地黄湯	緒方玄芳	(11)339	1981年(昭和56)・第28巻・06号
漢方牛歩録（3）血管外科術后の激痛	中村謙介	(13)341	1981年(昭和56)・第28巻・06号
漢方体験記（5）▽顔面皮膚炎に苓桂五味甘草湯▽疾病逃避の如く見えた膝痛に甘草附子湯で	平林達郎・平林光子	(17)345	1981年(昭和56)・第28巻・06号
開回盲弁症候群	土本重	(19)347	1981年(昭和56)・第28巻・06号
漢方体験記（13）▽不眠症に酸棗仁湯▽腎炎に越婢加朮湯	河野順	(20)348	1981年(昭和56)・第28巻・06号

漢方経験雑記（36）＜中草薬の利用法私案（2）＞生薬抗生物質、金銀花と忍冬	村田恭介	(22)350	1981年(昭和56)・第28巻・06号
中国伝統医学における四時の認識と問題（2）	丸山敏秋	(28)356	1981年(昭和56)・第28巻・06号
香月牛山著『遊豊司命録』読み下し拙文（その4）	宮崎綾子	(32)360	1981年(昭和56)・第28巻・06号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（9）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(37)365	1981年(昭和56)・第28巻・06号
新刊紹介／医道の日本社発行『腹証奇覧』（全）	坂口弘・山田光胤	(39)367	1981年(昭和56)・第28巻・06号
青藤の不思議な働き	シン鉄民	(41)369	1981年(昭和56)・第28巻・06号
書評／矢数道明著『臨床50年漢方治療百話第5集』を読んで	松田邦夫	(43)371	1981年(昭和56)・第28巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年5月＞	協会本部／編集局	(45)373	1981年(昭和56)・第28巻・06号
一貫堂医学について（6）＜五積散＞	村上昌久	(47)375	1981年(昭和56)・第28巻・06号
@1981年(昭和56)-第28巻-07号-			
本態性高血圧症の漢方的治療	松下嘉一	(3)395	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方診療おぼえ書（59）▽足蹠部膿疱症に五苓散料加桔梗石膏▽膣、外陰部カンジタ症に十味敗毒湯加連翹▽吹き出物、蕁麻疹に加味逍遥散加荊芥、地骨皮、ヨク苡仁	緒方玄芳	(13)405	1981年(昭和56)・第28巻・07号
温知堂経験録（138）▽歯痛、口唇頰過敏症に桂枝五物湯加味方▽肺気腫類似症に喘四君子湯▽肩と背痛に提肩散を用いて	矢数道明	(15)407	1981年(昭和56)・第28巻・07号
最近の諸例　▽うつ病▽慢性の鼻咽頭尖▽急性心不全▽頸椎症	土本重	(17)409	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方体験記（6）▽服毒自殺未遂後の欝病に温胆湯加黄連酸棗仁▽慢性気管支炎に越婢加半夏湯▽胃のポリープの左脇腹痛に平肝流気飲▽嗜眠に温清飲	平林達郎・平林光子	(20)412	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方牛歩録（4）狭心痛に附子湯の経験	中村謙介	(22)414	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方体験記（14）▽慢性肝炎の腹水に茵チン五苓散▽大便困難に麻子仁丸	河野順	(24)416	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方経験雑記（37）＜中草薬の利用法私案（3）＞天然降圧利尿薬、夏枯草	村田恭介	(26)418	1981年(昭和56)・第28巻・07号
中草薬紹介＜23＞哈士蟆と哈蟆油	嶋野武	(32)424	1981年(昭和56)・第28巻・07号
中国伝統医学における四時の認識と問題（3）	丸山敏秋	(36)428	1981年(昭和56)・第28巻・07号
続『中医学基礎』を読んで	松原正紘	(39)431	1981年(昭和56)・第28巻・07号
香月牛山著『遊豊司命録』読み下し拙文（その5）	宮崎綾子	(41)433	1981年(昭和56)・第28巻・07号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（10）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(44)436	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方研究室　出題：問題111　感冒5題／解答：問題107	出題・解答）小倉重成 回答）吾妻・佐橋・大嶺・田村・佐藤	(46)438	1981年(昭和56)・第28巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年6月＞	協会本部／編集局	(51)443	1981年(昭和56)・第28巻・07号
増永静人氏逝去	編集局	(53)445	1981年(昭和56)・第28巻・07号
@1981年(昭和56)-第28巻-08号-			
傷寒雑病弁証通釈（1）	松本一男	(3)467	1981年(昭和56)・第28巻・08号
桃核承気湯治験報告（第2報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(9)473	1981年(昭和56)・第28巻・08号
漢方診療おぼえ書（60）▽腹部膨満、胃部振水音に六君子湯▽10年続いた胃弱に六君子湯▽肩凝、胃弱に枳縮二陳湯	緒方玄芳	(15)479	1981年(昭和56)・第28巻・08号
温知堂経験録（139）▽人工流産後の不定期出血に六君子湯エキス末▽リウマチ患者に十味敗毒湯加味方を与えて▽高血圧症と白内障に八味丸料合七物降下湯など▽高血圧と肩凝りに大柴胡湯合桂枝茯苓丸料	矢数道明	(17)481	1981年(昭和56)・第28巻・08号
全身性エリテマトーデス、漢方薬服用によるその効果（1）	松岡睦友	(20)484	1981年(昭和56)・第28巻・08号
漢方牛歩録（5）年来の下痢に真武湯の経験	中村謙介	(23)487	1981年(昭和56)・第28巻・08号
漢方体験記（15）▽気管支喘息に麻杏甘石湯▽口内炎に甘草瀉心湯	河野順	(26)490	1981年(昭和56)・第28巻・08号
香月牛山著『遊豊司命録』読み下し拙文（その6）	宮崎綾子	(28)492	1981年(昭和56)・第28巻・08号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（11）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(33)497	1981年(昭和56)・第28巻・08号
中国伝統医学における四時の認識と問題（4）	丸山敏秋	(36)500	1981年(昭和56)・第28巻・08号
漢方研究室　出題：問題112　腎疾患5題／解答：問題108	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・田村・佐橋・中村・佐藤	(39)503	1981年(昭和56)・第28巻・08号
浅井国幹先生の墓前に捧ぐ	矢数道明	(45)509	1981年(昭和56)・第28巻・08号
細野史郎先生文部大臣賞祝賀会の記	坂口弘	(47)511	1981年(昭和56)・第28巻・08号
矢数道明博士祝賀パーティー	編集局	(49)513	1981年(昭和56)・第28巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年7月＞	協会本部／編集局	(49)513	1981年(昭和56)・第28巻・08号
新刊紹介／『意釈医経解惑論』・『意釈傷寒論類編』（築地書館）を手にして	谿忠人	(51)515	1981年(昭和56)・第28巻・08号
@1981年(昭和56)-第28巻-09号-			
「熱厥」私見	佐藤貞美	(3)531	1981年(昭和56)・第28巻・09号
漢方診療おぼえ書（61）＜現代医学診療の盲点のこと＞	緒方玄芳	(10)538	1981年(昭和56)・第28巻・09号
漢方牛歩録（6）苓姜朮甘湯の経験	中村謙介	(14)542	1981年(昭和56)・第28巻・09号

最近の諸例　▽僧帽弁口閉鎖不全症▽脱水症状劇しき喘息	土本重	(18)546	1981年(昭和56)・第28巻・09号
漢方経験雑記（38）＜再び疎肝湯について＞	村田恭介	(21)549	1981年(昭和56)・第28巻・09号
漢方体験記（16）▽躁鬱病の不眠に甘麦大棗湯▽風邪に桂枝湯	河野順	(27)555	1981年(昭和56)・第28巻・09号
傷寒雑病弁証通釈（2）	松本一男	(29)557	1981年(昭和56)・第28巻・09号
中国伝統医学における四時の認識と問題（5）	丸山敏秋	(32)560	1981年(昭和56)・第28巻・09号
香月牛山著『避豊司命録』読み下し拙文（その7）	宮崎綾子	(34)562	1981年(昭和56)・第28巻・09号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（12）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(38)566	1981年(昭和56)・第28巻・09号
木村博昭翁50年忌祭典に列席して	矢数道明	(41)569	1981年(昭和56)・第28巻・09号
新刊紹介／桑木崇秀著『漢方診療ハンドブック』を読んで	矢数道明	(48)576	1981年(昭和56)・第28巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年8月＞	協会本部／編集局	(49)577	1981年(昭和56)・第28巻・09号
@1981年(昭和56)-第28巻-10号-			
子宮筋腫漢方治療の検討	勝田正泰	(3)595	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢方診療おぼえ書（62）▽膝関節水腫に防已黄耆湯▽四肢諸関節痛、筋肉痛に葛根湯加朮附▽高血圧に七物隆下湯加知母▽胆石症発作（激痛）に千金当帰湯	緒方玄芳	(12)604	1981年(昭和56)・第28巻・10号
温知堂経験録（140）▽降圧剤の効かない高血圧に柴胡加竜骨牡蠣湯加減と加味逍遥散加二陳湯▽高血圧と関節痛に柴胡加竜骨牡蠣湯▽慢性じんましんに十味敗毒湯加茵チン蒿山梔子▽血の道症に加味逍遥散	矢数道明	(14)606	1981年(昭和56)・第28巻・10号
最近の諸例　▽帯状疱疹▽急性腹症	土本重	(16)608	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢方経験雑記（39）＜ニキビの良薬、白シ升麻湯について＞	村田恭介	(18)610	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢方牛歩録（7）ポロプシーに苓桂朮甘湯の経験	中村謙介	(21)613	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢方体験記（17）▽気管支喘息に小柴胡湯半夏厚朴湯▽自律神経失調症に半夏瀉心湯	河野順	(23)615	1981年(昭和56)・第28巻・10号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（13）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(25)617	1981年(昭和56)・第28巻・10号
＜漢方今昔座談＞最終編　肝炎の治療について	細迫陽三	(26)618	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢薬ノート（1）▽桂皮	鈴木堯	(28)620	1981年(昭和56)・第28巻・10号
香月牛山著『遊豊司命録』読み下し拙文（その8　完）－追記“筆を擱くにあたって”－	宮崎綾子	(32)624	1981年(昭和56)・第28巻・10号
傷寒雑病弁証通釈（3）	松本一男	(37)629	1981年(昭和56)・第28巻・10号
衆方規矩ノート（2）　加味温胆湯の玄参は五味子である	埴岡博	(39)631	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢方研究室　出題：問題113　皮膚病3題／解答：問題109	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・岩田・中村・佐藤	(41)633	1981年(昭和56)・第28巻・10号
書評／全国中薬成薬処方薬	難波恒雄	(45)637	1981年(昭和56)・第28巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年9月＞	協会本部／編集局	(46)638	1981年(昭和56)・第28巻・10号
@1981年(昭和56)-第28巻-11号-			
桃核承気湯治験報告（第3報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)659	1981年(昭和56)・第28巻・11号
漢方診療おぼえ書（63）▽慢性下痢に柴胡桂枝湯加小茴香牡蠣▽数年来つづく排便時疼痛と出血に乙字湯加減方▽耳真菌症に十味敗毒湯加連翹	緒方玄芳	(13)669	1981年(昭和56)・第28巻・11号
全身性エリテマトーデス、漢方薬服用によるその効果（2）	松岡睦友	(15)671	1981年(昭和56)・第28巻・11号
漢方体験記（18）▽腹痛と下痢に桂枝加芍薬湯▽疲労と肥満に防已黄耆湯	河野順	(17)673	1981年(昭和56)・第28巻・11号
漢方牛歩録（8）胆石発作に茵チン蒿湯合芍薬甘草湯	中村謙介	(19)675	1981年(昭和56)・第28巻・11号
漢方体験記4例　▽関節リウマチ▽リウマチか坐骨神経痛かわからない痛み▽腰痛▽心に残った薬方　その1　竹葉石膏湯	田村嘉章	(22)678	1981年(昭和56)・第28巻・11号
最近の諸例　▽アルコール中毒▽再びクーミスに就て	土本重	(25)681	1981年(昭和56)・第28巻・11号
傷寒雑病弁証通釈（4）	松本一男	(29)685	1981年(昭和56)・第28巻・11号
漢薬ノート（2）▽芍薬	鈴木堯	(31)687	1981年(昭和56)・第28巻・11号
松本に於おる浅田宗伯とその後	平林達郎・平林光子	(34)690	1981年(昭和56)・第28巻・11号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（14）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(38)694	1981年(昭和56)・第28巻・11号
温知荘雑筆　森道伯先生の治療をうけた古い患者の話	矢数道明	(39)695	1981年(昭和56)・第28巻・11号
編集雑話	気賀林一	(41)697	1981年(昭和56)・第28巻・11号
第1回「日中傷寒論シンポジウム」を終えて	藤平健	(43)699	1981年(昭和56)・第28巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年10月＞	協会本部／編集局	(46)702	1981年(昭和56)・第28巻・11号
大塚敬節先生1周忌法要追悼会／大塚敬節先生1周忌に当って	矢数道明	(48)704	1981年(昭和56)・第28巻・11号
新刊紹介／医林社長ハイ元植著『最新漢方臨床学』を呼んで	矢数道明	(49)705	1981年(昭和56)・第28巻・11号
花村訓充氏の逝去を悼む	矢数道明	(50)706	1981年(昭和56)・第28巻・11号
@1981年(昭和56)-第28巻-12号-			
露蜂房の使い方、適応症について	矢数道明	(3)723	1981年(昭和56)・第28巻・12号
Ｂ型慢性活動型肝炎に対する漢方診断、治療のあり考え方について	有地滋・有地英子・戸田静男	(8)728	1981年(昭和56)・第28巻・12号

漢方薬が有効であった難病の治験例（5）術後腸癒着の比較的重篤洌に柴胡疎肝湯の著効	浜博夫・上野隆・小池三良助	(14)734	1981年(昭和56)・第28巻・12号
漢方体験記（19）▽咳に桂枝加厚朴杏子湯▽中耳炎に小柴胡湯加桔梗石膏	河野順	(20)740	1981年(昭和56)・第28巻・12号
漢方牛歩録（9）ネフローゼ症候群に木防已湯	中村謙介	(22)742	1981年(昭和56)・第28巻・12号
漢方診療おぼえ書（64）▽20年来の頭痛に呉茱萸湯▽3年来の頻尿に八味地黄湯▽鼻ポリープに辛夷清肺湯	緒方玄芳	(25)745	1981年(昭和56)・第28巻・12号
中草薬紹介＜24＞辛夷	嶋野武	(27)747	1981年(昭和56)・第28巻・12号
漢方研究室　出題：問題114　腎疾患5題／解答：問題110	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・奥田・佐橋・吾妻・大嶺・田村・中村・佐藤	(37)757	1981年(昭和56)・第28巻・12号
中国・大学生の手紙を読んで	佐藤貞美	(46)766	1981年(昭和56)・第28巻・12号
編集雑話	気賀林一	(48)768	1981年(昭和56)・第28巻・12号
傷寒雑病弁証通釈（5）	松本一男	(51)771	1981年(昭和56)・第28巻・12号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（15）－中国における最近の成果をみてー	宮川マリ	(52)772	1981年(昭和56)・第28巻・12号
漢薬ノート（3）▽甘草	鈴木堯	(54)774	1981年(昭和56)・第28巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年11月＞	協会本部／編集局	(60)780	1981年(昭和56)・第28巻・12号
日本第1回＜傷寒論シンポジウム＞に出席して	松田邦夫	(62)782	1981年(昭和56)・第28巻・12号
@1982年(昭和57)-第29巻-01号-			
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞湯島聖堂の神農祭に思う	矢数道明	(3)3	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	埴岡博	(3)3	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	重田学	(4)4	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	富田光陽	(4)4	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	村田恭介	(4)4	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	土本重	(4)4	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	吉原浅吉	(5)5	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	河野順	(5)5	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	池田政一	(5)5	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	佐藤貞美	(5)5	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	岡田道三	(6)6	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	松下嘉一	(6)6	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞みかえりの塔	村松睦	(7)7	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	嶋野武	(7)7	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞槍を目指す	小倉重成	(7)7	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	鎌田慶市郎	(7)7	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	有地滋	(7)7	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞怒るのは当り前でせう。	建林静枝	(8)8	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	竹内達	(8)8	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	橋口親義	(8)8	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	宮崎綾子	(9)9	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	松岡睦友	(9)9	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	木村雄四郎	(9)9	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	小池三良助	(10)10	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	平林達郎	(10)10	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	山田光胤	(10)10	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	松本一男	(10)10	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	桑木崇秀	(11)11	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	戸部宗七郎	(11)11	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	大村富栄	(11)11	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	伊藤真愚	(12)12	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	橋本行則	(12)12	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	高橋国海	(12)12	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	細迫棗園	(12)12	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	土田茂雄	(12)12	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞習うよりは・・・	藤平健	(13)13	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	勝田正泰	(13)13	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	原桃介	(13)13	1982年(昭和57)・第29巻・01号
新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	伊原信夫	(14)14	1982年(昭和57)・第29巻・01号

新年のことば　＜昭和57年（1982年）＞	寺師睦宗	(14)14	1982年(昭和57)・第29巻・01号
桃核承気湯治験報告（第4報）	樋口和子・東野規矩子・上野隆・有地滋	(15)15	1982年(昭和57)・第29巻・01号
金匱要略にベーチェット症候群の症状と治療法の記載があると言う説について－その2－	小池三良助	(24)24	1982年(昭和57)・第29巻・01号
補気健中湯兼真武湯により好転したネフローゼ症候群の1治験例	宗像敬一	(29)29	1982年(昭和57)・第29巻・01号
小児の百日咳に頓嗽湯加石膏が著効を示した1例	長瀬千秋	(33)33	1982年(昭和57)・第29巻・01号
漢方診療おぼえ書（65）▽10年来の「胃が重苦しく張る」に枳縮二陳湯▽術後嚢腫に托裏消毒散▽冷え、不感症、不妊を訴える中年主婦に当帰芍薬散加味方	緒方玄芳	(35)35	1982年(昭和57)・第29巻・01号
漢方牛歩録（10）表証を伴う急性胃腸炎に黄ゴン湯	中村謙介	(37)37	1982年(昭和57)・第29巻・01号
漢方体験記（20）▽気管支喘息に麻杏甘石湯▽嘔吐に黄連湯	河野順	(40)40	1982年(昭和57)・第29巻・01号
漢方研究室　出題：問題115　下痢4題／解答：問題111	出題・解答）小倉重成 回答）岩田・大嶺・奥田・中村・佐藤	(42)42	1982年(昭和57)・第29巻・01号
傷寒雑病弁証通釈（6）	松本一男	(48)48	1982年(昭和57)・第29巻・01号
漢薬ノート（4）▽生姜	鈴木堯	(50)50	1982年(昭和57)・第29巻・01号
編集雑話	気賀林一	(53)53	1982年(昭和57)・第29巻・01号
才血および活血化才法の源流とその臨床応用、原理研究の発展（16）－中国における最近の成果をみて－	宮川マリ	(58)58	1982年(昭和57)・第29巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和56年12月＞	協会本部／編集局	(64)64	1982年(昭和57)・第29巻・01号
戸田一盛氏の急逝を悼む	矢数道明	(66)66	1982年(昭和57)・第29巻・01号
@1982年(昭和57)-第29巻-02号-			
漢方薬が有効であった難病の治験例（6）慢性膵炎に柴胡疎肝湯（純旨）の著効	浜博夫・小池三良助	(3)83	1982年(昭和57)・第29巻・02号
肝硬変に対するシャ虫末と柴胡剤併用の臨床効果	有地滋・有地英子・戸田静男	(10)90	1982年(昭和57)・第29巻・02号
金匱要略「胞系了戻」をめぐって	小野孝彦	(14)94	1982年(昭和57)・第29巻・02号
皮内針による分娩時間の短縮について	田中茂・樋本正道・江田元一・江田智子	(20)100	1982年(昭和57)・第29巻・02号
温知堂経験録（141）▽アトピー性皮膚炎患者の眼の充血に黄連解毒湯煎汁の外用▽掌蹠の荒れ症に温清飲と紫雲膏▽高血圧と慢性頭痛に清上ケン痛湯▽扁桃腺がはれて微熱が続くのに滋陰至宝湯	矢数道明	(23)103	1982年(昭和57)・第29巻・02号
漢方牛歩録（11）頭痛に芍薬甘草附子湯合四逆湯	中村謙介	(26)106	1982年(昭和57)・第29巻・02号
漢方体験記（21）－方意と方用への散策－▽五苓散について	河野順	(30)110	1982年(昭和57)・第29巻・02号
漢方診療おぼえ書（66）▽腰痛に十味ザ散▽扁桃肥大・慢性咽頭炎に清上養中湯▽アレルギー性鼻炎に黄耆建中湯	緒方玄芳	(32)112	1982年(昭和57)・第29巻・02号
大塚敬節先生の御診察ぶり見学記録	松田邦夫	(34)114	1982年(昭和57)・第29巻・02号
傷寒雑病弁証通釈（7）	松本一男	(39)119	1982年(昭和57)・第29巻・02号
漢薬ノート（5）▽大棗	鈴木堯	(41)121	1982年(昭和57)・第29巻・02号
“橋頭堡からのレポート”－『漢方治療百話第5集』を読む－	杉山広重	(43)123	1982年(昭和57)・第29巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年1月＞	協会本部／編集局	(46)126	1982年(昭和57)・第29巻・02号
編集雑話	気賀林一	(47)127	1982年(昭和57)・第29巻・02号
@1982年(昭和57)-第29巻-03号-			
桃核承気湯治験報告（第5報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)147	1982年(昭和57)・第29巻・03号
中草薬紹介＜25＞金銀花	嶋野武	(11)155	1982年(昭和57)・第29巻・03号
陽虚	橋本行生	(22)166	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢方診療おぼえ書（67）▽アレルギー性鼻炎に桂枝加黄耆湯▽アレルギー性鼻炎、喘息様発作に芍甘姜味辛夏仁湯兼用半夏厚朴湯	緒方玄芳	(26)170	1982年(昭和57)・第29巻・03号
五苓散特殊例を拝見して	山本巖	(28)172	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢方牛歩録（12）慢性副鼻腔炎に桂枝茯苓丸	中村謙介	(29)173	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢方経験雑記（40）▽結膜炎に急結炎方	村田恭介	(32)176	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢方体験記（22）－方意と方用への散策－▽人参湯について	河野順	(33)177	1982年(昭和57)・第29巻・03号
昭和56年（1981）漢方略史年表	矢数道明	(35)179	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢方研究室　出題：問題116　便秘4題／解答：問題112	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・岩田・奥田・中村・佐藤	(44)188	1982年(昭和57)・第29巻・03号
傷寒雑病弁証通釈（8）	松本一男	(51)195	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢薬ノート（6）▽杏仁	鈴木堯	(54)198	1982年(昭和57)・第29巻・03号
香鼓（3.0）	松原正紘	(57)201	1982年(昭和57)・第29巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年2月＞	協会本部／編集局	(58)202	1982年(昭和57)・第29巻・03号
大沢勝博士の急逝を悼む	矢数道明	(60)204	1982年(昭和57)・第29巻・03号
@1982年(昭和57)-第29巻-04号-			
柴胡疎肝湯と桂枝茯苓丸の併用が有効であったパンチ症候群について	有地滋・戸田静男	(3)219	1982年(昭和57)・第29巻・04号
中国医学の源流と、東西交流及び道教との関係（1）	吉元昭治	(9)225	1982年(昭和57)・第29巻・04号

烏頭と附子　慢性多発性関性多発性関節リウマチ	橋本行生	(12)228	1982年(昭和57)・第29巻・04号
風熱型の外感病の診療に就いて	山本巖	(16)232	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢方診療おぼえ書（68）▽後頭部痛を訴える高血圧に釣藤散▽慢性腎炎に九味檳榔湯▽腰痛に牛車腎気丸料▽腰痛に牛車腎気丸料、兼用桂枝茯苓丸▽膝関節部の腫脹疼痛にヨク苡仁湯（指掌）	緒方玄芳	(21)237	1982年(昭和57)・第29巻・04号
今冬流行のＢ型感冒及びＡ型香港「カゼ」ソ連「カゼ」等のビールス性感冒に対する銀翹散の効果について	岡田道三	(23)239	1982年(昭和57)・第29巻・04号
温知堂経験録（142）▽欝病に加味逍遥散、抑肝散などを用いて▽パーキンソン様症候群に大柴胡湯加味方▽関節リウマチを克服して結婚し、女児を生む▽1時間毎に眼がさめて痰が出る患者に麦門冬湯加三味▽メニエール病に桂枝茯苓丸料	矢数道明	(25)241	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢方牛歩録（13）開腹術後の吃逆に乾姜人参半夏丸料	中村謙介	(28)244	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢方体験記（23）－方意と方用への散策－▽紫雲膏について	河野順	(32)248	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢方経験雑記（41）▽顔面の浮腫とほてりに、苓甘姜味辛夏仁黄湯	村田恭介	(34)250	1982年(昭和57)・第29巻・04号
傷寒雑病弁証通釈（9）	松本一男	(36)252	1982年(昭和57)・第29巻・04号
温知荘雑筆　木村博昭先生が認めた宗伯翁最期の病床目記	矢数道明	(39)255	1982年(昭和57)・第29巻・04号
≪古典から「未病」を考える≫一文について	羽浩（中国「広西中医薬」編纂委員）	(41)257	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢方研究室　出題：問題117　感冒5題／解答：問題113	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・岩田・大嶺・奥田・中村・佐藤	(42)258	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢薬ノート（7）▽葛根	鈴木堯	(47)263	1982年(昭和57)・第29巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年3月＞	協会本部／編集局	(49)265	1982年(昭和57)・第29巻・04号
@1982年(昭和57)-第29巻-05号-			
桃核承気湯治験報告（第6報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)283	1982年(昭和57)・第29巻・05号
肝硬変症のいろいろ（その1）	橋本行生	(11)291	1982年(昭和57)・第29巻・05号
傷寒論「苓桂甘棗湯」と「苓桂朮甘湯」について	和泉正一郎	(17)297	1982年(昭和57)・第29巻・05号
桂枝茯苓丸により、子宮筋腫核が排出されたと思われる1症例	矢田昌三	(22)302	1982年(昭和57)・第29巻・05号
当院における漢方使用2年目の記録	角田朋司	(25)305	1982年(昭和57)・第29巻・05号
漢方診療おぼえ書（69）▽膝関節部の不調感にヨク苡仁湯（指掌）▽めまいに当帰芍薬散加附子▽むねやけに香砂平胃散加芍薬	緒方玄芳	(30)310	1982年(昭和57)・第29巻・05号
漢方体験記（24）－方意と方用への散策－▽小柴胡湯について	河野順	(32)312	1982年(昭和57)・第29巻・05号
温知堂経験録（143）＜桂枝加芍薬湯治験＞原因不明の腹痛に桂枝加芍薬大黄湯▽烈しい生理痛に桂枝加芍薬湯加味方▽虫垂炎手術後の腹痛に桂枝加芍薬湯▽下腹がシクシク痛むというのに桂枝加芍薬湯	矢数道明	(34)314	1982年(昭和57)・第29巻・05号
漢方牛歩録（14）咳嗽に小柴胡湯合半夏厚朴湯	中村謙介	(36)316	1982年(昭和57)・第29巻・05号
中国医学の源流と、東西交流及び道教との関係（2）	吉元昭治	(39)319	1982年(昭和57)・第29巻・05号
漢方雑話	細迫陽三	(41)321	1982年(昭和57)・第29巻・05号
温知荘雑筆　呉秀三先生没後満50年記念祭墓前挨拶	矢数道明	(42)322	1982年(昭和57)・第29巻・05号
南陽張仲景研究会成立、第1回学術交流大会南陽に開催	賈公孚 訳者）望月藤子	(43)323	1982年(昭和57)・第29巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年4月＞	協会本部／編集局	(44)324	1982年(昭和57)・第29巻・05号
漢薬ノート（8）▽石膏	鈴木堯	(46)326	1982年(昭和57)・第29巻・05号
傷寒雑病弁証通釈（10）	松本一男	(48)328	1982年(昭和57)・第29巻・05号
@1982年(昭和57)-第29巻-06号-			
現時点で「未病」を考える	有地滋	(3)347	1982年(昭和57)・第29巻・06号
中草薬紹介＜26＞半枝蓮	嶋野武	(11)355	1982年(昭和57)・第29巻・06号
温知堂経験録（144）＜呼吸器疾患治験＞喘息性気管支炎に清肺湯▽気管支拡張症に清肺湯去貝母▽慢性気管支炎兼アレルギー性鼻炎に清肺湯▽肺気腫に厚朴麻黄湯合茯苓杏仁甘草湯	矢数道明	(16)360	1982年(昭和57)・第29巻・06号
漢方牛歩録（15）兄弟の夜啼症と夜驚症に甘麦大棗湯	中村謙介	(18)362	1982年(昭和57)・第29巻・06号
漢方診療おぼえ書（70）▽頻回の下痢に真武湯▽頭痛に呉茱萸湯▽胃弱に六君子湯▽挫傷に治打撲一方	緒方玄芳	(21)365	1982年(昭和57)・第29巻・06号
最近の諸例　▽腸閉塞症▽頭痛及後頸部痛	土本重	(22)366	1982年(昭和57)・第29巻・06号
漢方体験記（25）－方意と方用への散策－▽甲字湯について	河野順	(25)369	1982年(昭和57)・第29巻・06号
中国医学の源流と、東西交流及び道教との関係（3）	吉元昭治	(27)371	1982年(昭和57)・第29巻・06号
ニコリン、ウロキナーゼ及び滌痰湯加減方併用よる脳血栓治療成績	岡田道三	(29)373	1982年(昭和57)・第29巻・06号
漢方研究室　出題：問題118　下痢4題／解答：問題114	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・大嶺・奥田・中村・佐藤	(32)376	1982年(昭和57)・第29巻・06号
漢薬ノート（9）▽細辛	鈴木堯	(39)383	1982年(昭和57)・第29巻・06号
傷寒雑病弁証通釈（11）	松本一男	(41)385	1982年(昭和57)・第29巻・06号
長沢元夫著『康治本傷寒論の研究』（健友館）について	宮下三郎	(44)388	1982年(昭和57)・第29巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年5月＞	協会本部／編集局	(45)389	1982年(昭和57)・第29巻・06号

再び、『中医学基礎』を読んで、橋本行生氏の『陽虚』を読む	松原正紘	(47)391	1982年(昭和57)・第29巻・06号
日本東洋医学研究機関連絡協議会（略称日東医協）第1回総会開催さる	日東医協事務局記録	(48)392	1982年(昭和57)・第29巻・06号
@1982年(昭和57)-第29巻-07号-			
項頸部の凝りに葛根湯屯用が有効であった症例（第1報）	北波輝・樋口和子・上野隆・有地滋	(3)411	1982年(昭和57)・第29巻・07号
漢方診療おぼえ書（71）▽慢性腎炎に当帰芍薬散加猪苓▽風邪の喘に桂枝加厚朴杏仁湯▽湿性胸膜炎に柴胡桂枝湯加味方	緒方玄芳	(10)418	1982年(昭和57)・第29巻・07号
最近の諸例　▽右乳房痛▽甲状腺癌▽気管支喘息	土本重	(12)420	1982年(昭和57)・第29巻・07号
月経困難症に折衝飲加味	岡義雄	(15)423	1982年(昭和57)・第29巻・07号
漢方牛歩録（16）気管支喘息の発作に麻杏甘石湯	中村謙介	(16)424	1982年(昭和57)・第29巻・07号
保険漢方診療日誌（1）	長瀬千秋	(20)428	1982年(昭和57)・第29巻・07号
漢方体験記（26）－方意と方用への散策－▽茯苓朮甘湯について（その1）	河野順	(22)430	1982年(昭和57)・第29巻・07号
「清熱凉血キョ風湯」	松原正紘	(23)431	1982年(昭和57)・第29巻・07号
治験雑話（1）▽附子瀉心湯治験▽白虎加人参湯治験▽四逆散治験	松本一男	(25)433	1982年(昭和57)・第29巻・07号
遠田澄庵家系図と藤本シュウ丈氏の回想記	矢数道明	(26)434	1982年(昭和57)・第29巻・07号
傷寒雑病弁証通釈（12）	松本一男	(30)438	1982年(昭和57)・第29巻・07号
漢方研究室　出題：問題119　感冒5題／解答：問題115	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・大嶺・奥田・中村・佐藤	(33)441	1982年(昭和57)・第29巻・07号
漢薬ノート（10）▽乾姜	鈴木堯	(39)447	1982年(昭和57)・第29巻・07号
寺師睦宗訓註『和訓椿庭経方弁』－傷寒類方弁書・経方弁－を読んで	矢数道明	(41)449	1982年(昭和57)・第29巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年6月＞	協会本部／編集局	(42)450	1982年(昭和57)・第29巻・07号
温知荘雑筆　『中国医学初コウ』（臨床漢方医学総論の中訳本）を手にして	矢数道明	(45)453	1982年(昭和57)・第29巻・07号
@1982年(昭和57)-第29巻-08号-			
加味帰脾湯が有効であった2症例について	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)475	1982年(昭和57)・第29巻・08号
中国医学の源流と、東西交流及び道教との関係（4）	吉元昭治	(10)482	1982年(昭和57)・第29巻・08号
漢方牛歩録（17）急性上気道炎に小柴胡湯	中村謙介	(12)484	1982年(昭和57)・第29巻・08号
漢方診療おぼえ書（72）▽流感後遺症の耳閉塞感に小柴胡湯合香蘇散▽アレルギー性鼻炎に黄耆建中湯▽掌膿疱症に五苓散加桔梗石膏	緒方玄芳	(15)487	1982年(昭和57)・第29巻・08号
温知堂経験録（145）▽嗅覚脱失症に葛根湯加味方▽子宮筋腫が桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁で▽喘鳴、呼吸困難に治喘一方▽尿頻数症と皮膚発疹に竜胆瀉肝湯（一貫堂）	矢数道明	(17)489	1982年(昭和57)・第29巻・08号
保険漢方診療日誌（2）	長瀬千秋	(19)491	1982年(昭和57)・第29巻・08号
精神分裂症に薬方のいろいろ（1）	松岡睦友	(22)494	1982年(昭和57)・第29巻・08号
治験雑話（2）▽桂枝加黄耆湯経験▽桃花湯経験	松本一男	(25)497	1982年(昭和57)・第29巻・08号
最近の諸例　▽慢性肝炎の1治療法	土本重	(26)498	1982年(昭和57)・第29巻・08号
漢方体験記（27）－方意と方用への散策－▽苓桂朮甘湯について（その2）▽黄連解毒湯について	河野順	(28)500	1982年(昭和57)・第29巻・08号
傷寒雑病弁証通釈（13）	松本一男	(32)504	1982年(昭和57)・第29巻・08号
漢薬ノート（11）▽五味子▽柴胡	鈴木堯	(35)507	1982年(昭和57)・第29巻・08号
＜「中医臨床」臨時増刊号「日中傷寒論シンポジウム記念論集」に寄せて＞　昭和期漢方医界の特筆大書すべき偉観	矢数道明	(40)512	1982年(昭和57)・第29巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年7月＞	協会本部／編集局	(42)514	1982年(昭和57)・第29巻・08号
血オの現代医学的解釈の試み	松原正紘	(46)518	1982年(昭和57)・第29巻・08号
@1982年(昭和57)-第29巻-09号-			
漢方の基礎論的省察（1）	小口悌示	(3)539	1982年(昭和57)・第29巻・09号
保険漢方診療日誌（3）▽腎虚腰痛に補陰湯の2例	長瀬千秋	(8)544	1982年(昭和57)・第29巻・09号
治験雑話（3）▽当帰四逆湯加減経験▽麦門冬湯経験▽加味帰脾湯経験▽柴胡桂枝乾姜湯経験	松本一男	(11)547	1982年(昭和57)・第29巻・09号
漢方牛歩録（18）慢性便秘に桂枝加芍薬大黄湯	中村謙介	(13)549	1982年(昭和57)・第29巻・09号
漢方体験記（28）－方意と方用への散策－▽十味敗毒湯について▽麦門冬湯について	河野順	(15)551	1982年(昭和57)・第29巻・09号
傷寒雑病弁証通釈（14）	松本一男	(19)555	1982年(昭和57)・第29巻・09号
漢方診療おぼえ書（73）▽カゼの咳に橘皮半夏湯▽食欲不振に香砂養胃湯（万病回春）▽肋間神経痛に清湿化痰湯	緒方玄芳	(21)557	1982年(昭和57)・第29巻・09号
中国医学の源流と、東西交流及び道教との関係（5）	吉元昭治	(23)559	1982年(昭和57)・第29巻・09号
未病を治す（1）	柴崎保三	(27)563	1982年(昭和57)・第29巻・09号
中国に保存されている日本刊（写）傷寒論・金匱要略関係書目録（1）	真柳誠	(33)569	1982年(昭和57)・第29巻・09号
漢薬ノート（12）▽黄ゴン▽人参	鈴木堯	(50)586	1982年(昭和57)・第29巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年8月＞	協会本部／編集局	(56)592	1982年(昭和57)・第29巻・09号
@1982年(昭和57)-第29巻-10号-			
未病を治す（2）	柴崎保三	(3)611	1982年(昭和57)・第29巻・10号

漢方の基礎論的省察（2）	小口悌示	(12)620	1982年(昭和57)・第29巻・10号
治験雑話（4）▽大黄附子湯経験▽解急蜀椒湯経験▽葛根加朮附湯経験	松本一男	(18)626	1982年(昭和57)・第29巻・10号
漢方牛歩録（19）冷え症に伴う頻尿に桂枝加朮附湯	中村謙介	(19)627	1982年(昭和57)・第29巻・10号
漢方診療おぼえ書（74）▽歯槽膿漏に托裏消毒散（外科正宗）▽咽喉頭炎に麦門冬湯加味方（2例）	緒方玄芳	(23)631	1982年(昭和57)・第29巻・10号
最近の諸例　▽右湿性肋膜炎▽脳卒中▽その他	土本重	(25)633	1982年(昭和57)・第29巻・10号
漢方体験記（29）－方意と方用への散策－▽当帰芍薬散について（その1）	河野順	(28)636	1982年(昭和57)・第29巻・10号
傷寒雑病弁証通釈（15）	松本一男	(30)638	1982年(昭和57)・第29巻・10号
漢薬ノート（13）▽半夏	鈴木堯	(33)641	1982年(昭和57)・第29巻・10号
中国に保存されている日本刊（写）傷寒論・金匱要略関係書目録（2）	真柳誠	(36)644	1982年(昭和57)・第29巻・10号
北村静夫先生の逝去を悼む	矢数道明	(51)659	1982年(昭和57)・第29巻・10号
漢方研究室　出題：問題120　便秘4題／解答：問題116	出題・解答）小倉重成 回答）岩田・大嶺・宇田川・奥田・中村・佐藤	(52)660	1982年(昭和57)・第29巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年9月＞	協会本部／編集局	(58)666	1982年(昭和57)・第29巻・10号
@1982年(昭和57)-第29巻-11号-			
四川省大足県宝頂石窟内の張仲景腹診図について	矢数道明	(3)683	1982年(昭和57)・第29巻・11号
未病を治す（3）	柴崎保三	(10)690	1982年(昭和57)・第29巻・11号
胆嚢ジスキネジーに大柴胡湯加金鈴子散による治験例	岡田道三	(13)693	1982年(昭和57)・第29巻・11号
慢性胃腸炎に伴う不定愁訴に、甘草瀉心湯が有効であった症例	樋口和子・上野隆・有地滋	(16)696	1982年(昭和57)・第29巻・11号
治験雑話（5）▽人参湯加減経験▽桂姜棗草黄辛附湯経験▽甘草瀉心湯経験	松本一男	(19)699	1982年(昭和57)・第29巻・11号
最近の諸例　▽慢性湿疹▽十二指腸潰瘍・開回盲弁症候群	土本重	(20)700	1982年(昭和57)・第29巻・11号
保険漢方診療日誌（4）	長瀬千秋	(22)702	1982年(昭和57)・第29巻・11号
漢方の基礎論的省察（3）	小口悌示	(24)704	1982年(昭和57)・第29巻・11号
温知堂経験録（146）▽膠原病に小柴胡湯・ヨク苡仁湯・加味帰脾湯などを用いて▽血小板減少性紫斑病に加味帰脾湯と牛黄丸▽貧血症に帰脾湯と牛黄丸	矢数道明	(27)707	1982年(昭和57)・第29巻・11号
漢薬ノート（14）▽括楼根▽枳実	鈴木堯	(30)710	1982年(昭和57)・第29巻・11号
漢方牛歩録（20）頭痛に桂枝加桂湯	中村謙介	(34)714	1982年(昭和57)・第29巻・11号
漢方診療おぼえ書（75）▽手背部扁平疣贅に灸治療で著効▽耳漏に托裏消毒散	緒方玄芳	(36)716	1982年(昭和57)・第29巻・11号
漢方体験記（30）－方意と方用への散策－▽当帰芍薬散について（その2）	河野順	(38)718	1982年(昭和57)・第29巻・11号
傷寒雑病弁証通釈（16）	松本一男	(39)719	1982年(昭和57)・第29巻・11号
「第16回和漢薬シンポジウム」印象記	丁宗鐵	(42)722	1982年(昭和57)・第29巻・11号
細野史郎博士著『漢方医学十講』」を読んで	矢数道明	(44)724	1982年(昭和57)・第29巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年10月＞	協会本部／編集局	(45)725	1982年(昭和57)・第29巻・11号
精神分裂症に薬方のいろいろ（2）	松岡睦友	(47)727	1982年(昭和57)・第29巻・11号
蟾蜍、家鳧、地竜によって日本脳炎の高熱を	張量才	(48)728	1982年(昭和57)・第29巻・11号
@1982年(昭和57)-第29巻-12号-			
漢方の基礎論的省察（4）	小口悌示	(3)747	1982年(昭和57)・第29巻・12号
未病を治す（4）	柴崎保三	(8)752	1982年(昭和57)・第29巻・12号
康治本傷寒論についての1私見	遠田裕政	(13)757	1982年(昭和57)・第29巻・12号
温知堂経験録（147）▽パーキンソン様症状に八物降下湯と痿症方▽リウマチにヨク苡仁湯加減方▽リウマチにヨク苡仁湯加附子▽バセドー病に炙甘草湯、桂枝茯苓丸料、温清飲などを与えて▽バセドー病に炙甘草湯を用いて	矢数道明	(18)762	1982年(昭和57)・第29巻・12号
駆出し漢方医記録　口囲皮膚炎に加味逍遥散	小西泰	(20)764	1982年(昭和57)・第29巻・12号
未病医学の歴史的考証（その1）	有地滋・粟島行春	(22)766	1982年(昭和57)・第29巻・12号
治験雑話（6）▽桂枝人参湯経験▽大柴胡湯経験▽清熱解鬱湯加減経験	松本一男	(27)771	1982年(昭和57)・第29巻・12号
漢方研究室　出題：問題121　胃腸症状5題／解答：問題117	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・大嶺・奥田・中村・佐藤	(28)772	1982年(昭和57)・第29巻・12号
漢方牛歩録（21）食事が入らぬという訴えに茯苓杏仁甘草湯	中村謙介	(34)778	1982年(昭和57)・第29巻・12号
傷寒雑病弁証通釈（17）	松本一男	(37)781	1982年(昭和57)・第29巻・12号
漢方診療おぼえ書（76）▽尿路結石に猪苓湯加車前子▽軟便、下痢便に抑肝散加陳皮半夏▽耳下腺炎に駆風解毒湯	緒方玄芳	(39)783	1982年(昭和57)・第29巻・12号
漢方体験記（31）－方意と方用への散策－▽当帰芍薬散について（その3）	河野順	(40)784	1982年(昭和57)・第29巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年11月＞	協会本部／編集局	(44)788	1982年(昭和57)・第29巻・12号
漢薬ノート（15）▽牡蠣	鈴木堯	(46)790	1982年(昭和57)・第29巻・12号
腰痛の自家経験と薬用量	福井勝文	(48)792	1982年(昭和57)・第29巻・12号

@1983年(昭和58)-第30巻-01号-			
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	松本一男	(3)3	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞『漢方の臨床』誌いよいよ30周年を迎う	矢数道明	(3)3	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	埴岡博	(4)4	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	山田光胤	(4)4	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	竹内達	(4)4	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞養生考	富田光陽	(4)4	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	村田恭介	(5)5	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	河野順	(5)5	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞最近の東洋医学界に思う。	長瀬千秋	(5)5	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	池田政一	(6)6	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	小池三良助	(6)6	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	平林達郎	(6)6	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	土本重	(7)7	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	柴田良治	(7)7	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	岡田道三	(7)7	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	土田茂雄	(7)7	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	勝田正泰	(7)7	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	嶋野武	(8)8	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	宮下三郎	(8)8	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	吉原浅吉	(8)8	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞家とホーム	村松睦	(8)8	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	鮎川濯三	(9)9	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	鎌田慶市郎	(9)9	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	宗像敬一	(9)9	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	松岡睦友	(9)9	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	佐藤貞美	(10)10	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	橋口親義	(10)10	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	長倉吉宏	(10)10	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	岡野正憲	(11)11	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	中村謙介	(11)11	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	小川新	(11)11	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	重田学	(11)11	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	寺師睦宗	(11)11	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	木村雄四郎	(11)11	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	遠田裕政	(12)12	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	舘野健	(12)12	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	原桃介	(12)12	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	戸部宗七郎	(12)12	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	中山友記	(13)13	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	藤平健	(13)13	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	有地滋	(13)13	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	小倉重成	(13)13	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	三田寛	(13)13	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	菊谷豊彦	(14)14	1983年(昭和58)・第30巻・01号
新年のことば　＜昭和58年（1983年）＞	尚鎮国	(14)14	1983年(昭和58)・第30巻・01号
項頸部の凝りに葛根湯屯用が有効であった症例（第3報）	北波輝・樋口和子・上野隆・有地滋	(15)15	1983年(昭和58)・第30巻・01号
温知堂経験録（147）▽子宮肥大弛緩に潤腸湯▽慢性頭痛に桂枝人参湯▽脂漏性湿疹に清上防風湯▽アトピー性皮膚炎に清上防風湯と駆オ血散▽甲状腺腫に散腫潰堅湯	矢数道明	(22)22	1983年(昭和58)・第30巻・01号
漢方診療おぼえ書（77）▽腰痛、膝のもたつきに牛車腎気丸▽胃腸の弱い婦人に十全大補湯▽歯槽膿漏に千金内托散料	緒方玄芳	(24)24	1983年(昭和58)・第30巻・01号
保険漢方診療日誌（5）▽癌4題	長瀬千秋	(26)26	1983年(昭和58)・第30巻・01号
漢方牛歩録（22）高血圧症を伴う肥満に五苓散	中村謙介	(31)31	1983年(昭和58)・第30巻・01号
漢方体験記（34）ー方意と方用への散策ー▽キュウ帰膠ガイ湯について	河野順	(34)34	1983年(昭和58)・第30巻・01号
“下垂体腺腫”に加味逍遥散	雪村八一郎	(36)36	1983年(昭和58)・第30巻・01号

続々『中医学基礎』を読んで（1）－中医学的病態概念に基づく薬能分類表－	松原正紘	(38)38	1983年(昭和58)・第30巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和57年12月＞	協会本部／編集局	(48)48	1983年(昭和58)・第30巻・01号
高橋国梅女史の急逝を悼む	矢数道明	(50)50	1983年(昭和58)・第30巻・01号
@1983年(昭和58)-第30巻-02号-			
中国伝統医学の底面と側面	吉元昭治	(3)67	1983年(昭和58)・第30巻・02号
「中華全国中医学会　張仲景学説学術討論会」参加手記	小曽戸洋	(10)74	1983年(昭和58)・第30巻・02号
漢方の基礎論的省察（5）	小口悌示	(18)82	1983年(昭和58)・第30巻・02号
未病医学の歴史的考証（その2）	有地滋・粟島行春	(20)84	1983年(昭和58)・第30巻・02号
保険漢方診療日誌（6）▽乳房痛に烏苓通気湯▽慢性下痢症に加味五苓散加減	長瀬千秋	(22)86	1983年(昭和58)・第30巻・02号
漢方牛歩録（23）肥満・アレルギー性鼻炎を伴う肩こりに葛根湯	中村謙介	(24)88	1983年(昭和58)・第30巻・02号
漢方診療おぼえ書（78）▽病名不明の痙攣に抑肝散加陳皮半夏▽鼻が赤くなると訴える婦人に葛根紅花湯▽治打撲一方▽手術に因る腫脹硬結を予防するために治打撲一方	緒方玄芳	(27)91	1983年(昭和58)・第30巻・02号
治験雑話（7）▽真武合生脈散経験▽加味帰脾湯経験▽半夏白朮天麻湯経験	松本一男	(29)93	1983年(昭和58)・第30巻・02号
温知荘雑筆　多紀元堅の号、サイ庭の「サイ」の字、その他	矢数道明	(30)94	1983年(昭和58)・第30巻・02号
続々『中医学基礎』を読んで（2）－中医学的病態概念に基づく薬能分類表－	松原正紘	(33)97	1983年(昭和58)・第30巻・02号
漢方研究室　出題：問題122　便通異常5題／解答：問題118	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・奥田・中村・佐藤	(37)101	1983年(昭和58)・第30巻・02号
矢数道明著『近世漢方医学史』を読む	杉山広重	(42)106	1983年(昭和58)・第30巻・02号
傷寒雑病弁証通釈（18）	松本一男	(45)109	1983年(昭和58)・第30巻・02号
漢薬ノート（16）▽竜骨	鈴木堯	(47)111	1983年(昭和58)・第30巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年1月＞	協会本部／編集局	(49)113	1983年(昭和58)・第30巻・02号
@1983年(昭和58)-第30巻-03号-			
昭和57年（1982）漢方略史年表	矢数道明	(3)131	1983年(昭和58)・第30巻・03号
温知堂経験録（148）▽抑肝散加陳皮半夏を9年間も続けた躁欝病患者▽思いがけない症状が治る。五淋散と桂枝加芍薬湯で▽脂漏性湿疹に清上防風湯	矢数道明	(15)143	1983年(昭和58)・第30巻・03号
漢方診療おぼえ書（79）▽出血性膀胱炎に猪苓湯加車前子合四物湯▽早朝の咳に括楼枳実湯。数10年来の痔瘻に托裏消毒散（外科正宗）▽後頭部痛に釣藤散料▽眉間の奥の頭痛に選奇湯（蘭室秘蔵）▽低血圧症に補中益気湯加炮附子▽高度の腹水、浮腫（肝硬変に因る）に補気健中湯（済生方）兼用五苓散（原末）	緒方玄芳	(17)145	1983年(昭和58)・第30巻・03号
漢方牛歩録（24）腰痛を伴う易疲労に八味丸	中村謙介	(20)148	1983年(昭和58)・第30巻・03号
保険漢方診療日誌（7）▽腹部鈍痛に柴胡キュウ帰湯▽不明熱に大柴胡湯加黄連別甲	長瀬千秋	(22)150	1983年(昭和58)・第30巻・03号
漢方体験記（35）－方意と方用への散策－▽桂枝人参湯について▽桂枝加葛根湯について	河野順	(24)152	1983年(昭和58)・第30巻・03号
ウチダ和漢薬社長　内田庄治氏の逝去を悼む	矢数道明	(28)156	1983年(昭和58)・第30巻・03号
傷寒雑病弁証通釈（19）	松本一男	(30)158	1983年(昭和58)・第30巻・03号
漢薬ノート（17）▽大黄	鈴木堯	(32)160	1983年(昭和58)・第30巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年2月＞	協会本部／編集局	(35)163	1983年(昭和58)・第30巻・03号
未病医学の歴史的考証（その3）	有地滋・粟島行春	(37)165	1983年(昭和58)・第30巻・03号
ふたたび『康治本傷寒論』について	遠田裕政	(42)170	1983年(昭和58)・第30巻・03号
慢性の下痢に胃風湯	雪村八一郎	(46)174	1983年(昭和58)・第30巻・03号
治験雑話（8）▽黄連湯経験▽甘草瀉心湯経験▽大承気湯経験▽荊芥連翹湯経験	松本一男	(48)176	1983年(昭和58)・第30巻・03号
@1983年(昭和58)-第30巻-04号-			
柴胡加竜骨牡蠣湯治験例　Ｂ型慢性活動型肝炎3例と心臓神経症兼高脂血症の不眠に柴胡加竜骨牡蠣湯が有効であった症例	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)195	1983年(昭和58)・第30巻・04号
気管支喘息に桂枝茯苓丸（エキス剤）	岡田公次	(11)203	1983年(昭和58)・第30巻・04号
漢方の基礎論的省察（6）	小口悌示	(12)204	1983年(昭和58)・第30巻・04号
中草薬紹介＜27＞霊芝	嶋野武	(23)215	1983年(昭和58)・第30巻・04号
最近の諸例　▽慢性肝炎2例▽陳久性心臓側壁梗塞▽狭心痛	土本重	(34)226	1983年(昭和58)・第30巻・04号
漢方牛歩録（25）ネフローゼに小建中湯加附子	中村謙介	(38)230	1983年(昭和58)・第30巻・04号
治験例報告	鮎川濯三	(41)233	1983年(昭和58)・第30巻・04号
『近世漢方医学史』を読む	寺師睦宗	(43)235	1983年(昭和58)・第30巻・04号
漢方研究室　出題：問題123　最近の感冒5題／解答：問題119	出題・解答）小倉重成 回答）岩田・宇田川・佐橋・大嶺・奥田・中村・佐藤	(44)236	1983年(昭和58)・第30巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年3月＞	協会本部／編集局	(49)241	1983年(昭和58)・第30巻・04号
漢薬ノート（18）▽厚朴	鈴木堯	(51)243	1983年(昭和58)・第30巻・04号

傷寒雑病弁証通釈（20）	松本一男	(53)245	1983年(昭和58)・第30巻・04号
@1983年(昭和58)-第30巻-05号-			
日本における「医聖張仲景画像」と「医聖漢張仲景先生之碑」について	矢数道明	(3)265	1983年(昭和58)・第30巻・05号
“雑誌『本草』創刊号”新釈	杉山広重	(9)271	1983年(昭和58)・第30巻・05号
肺癌に対する漢方的治療の可能性	松岡睦友	(15)277	1983年(昭和58)・第30巻・05号
未病医学の歴史的考証（その4）	有地滋・粟島行春	(19)281	1983年(昭和58)・第30巻・05号
温知堂経験録（149）▽咽喉塞り、嚥下困難に利膈湯合茯苓杏仁甘草湯▽高血圧症、脳動脈硬化症の頭痛肩こりに釣藤散▽慢性頭痛に当帰芍薬散合加味逍遥散	矢数道明	(24)286	1983年(昭和58)・第30巻・05号
漢方診療おぼえ書（80）▽下肢の諸関節腫脹疼痛にヨク苡仁湯（指掌）▽高血圧、後頭部痛に釣藤散、次いで大柴胡湯加減方▽30年間つづいた前頭部痛に桂枝加桂湯▽全身の高度浮腫に九味檳榔湯加減方	緒方玄芳	(27)289	1983年(昭和58)・第30巻・05号
保険漢方診療日誌（8）▽胃潰瘍に延年半夏湯▽そけいヘルニアに牡丹五等散合小建中湯▽下肢神経痛に当帰拈痛湯	長瀬千秋	(29)291	1983年(昭和58)・第30巻・05号
漢方牛歩録（26）無汗の風邪に桂枝麻黄各半湯	中村謙介	(33)295	1983年(昭和58)・第30巻・05号
漢方体験記（36）－方意と方用への散策－▽大柴胡湯について	河野順	(35)297	1983年(昭和58)・第30巻・05号
陰陽堂雑記　＜咽痛3題＞	池田政一	(37)299	1983年(昭和58)・第30巻・05号
芍甘黄辛附湯に因る瞑眩	吉原浅吉	(38)300	1983年(昭和58)・第30巻・05号
アレルギー性鼻炎と半夏瀉心湯	大西和子	(39)301	1983年(昭和58)・第30巻・05号
傷寒雑病弁証通釈（21）	松本一男	(42)304	1983年(昭和58)・第30巻・05号
漢薬ノート（19）▽芒硝	鈴木堯	(44)306	1983年(昭和58)・第30巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年4月＞	協会本部／編集局	(46)308	1983年(昭和58)・第30巻・05号
症例から学ぶ東洋医学の問題点（1）癌について	山本浩志	(48)310	1983年(昭和58)・第30巻・05号
食道裂孔ヘルニアに随伴した難治性吃逆に、橘皮竹茹湯加柿帯が奏功した症例	金七龍・北島敏光	(52)314	1983年(昭和58)・第30巻・05号
@1983年(昭和58)-第30巻-06号-			
任応秋・私の学問過程とその方法	任応秋 訳者）小曽戸洋	(3)337	1983年(昭和58)・第30巻・06号
漢方牛歩録（27）こじれた風邪に伴う下痢に茯苓四逆湯	中村謙介	(21)354	1983年(昭和58)・第30巻・06号
漢方体験記（37）－方意と方用への散策－▽桂枝茯苓について▽小青竜湯について（その1）	河野順	(23)357	1983年(昭和58)・第30巻・06号
最近の諸例　▽回盲弁症候群の診断治療（1）（2）▽胸膜癒着に風邪▽肺癌及脳癌▽手術後の不眠、速脈	土本重	(26)360	1983年(昭和58)・第30巻・06号
薬方配列について	杉山広重	(30)364	1983年(昭和58)・第30巻・06号
漢方診療おぼえ書（81）▽鼻閉に通竅湯▽蓄膿症に通竅湯▽鼻閉に小柴胡湯加桔梗石膏▽鼻閉に辛夷清肺湯	緒方玄芳	(34)368	1983年(昭和58)・第30巻・06号
凍瘡（しもやけ）の漢方治療	福羅充雄	(35)369	1983年(昭和58)・第30巻・06号
漢方研究室　出題：問題124　雑5題／解答：問題120	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・大嶺・奥田・中村・佐藤	(37)371	1983年(昭和58)・第30巻・06号
傷寒雑病弁証通釈（22）	松本一男	(43)377	1983年(昭和58)・第30巻・06号
漢薬ノート（20）▽山梔子	鈴木堯	(44)378	1983年(昭和58)・第30巻・06号
小椋道益氏の逝去を悼む	矢数道明	(47)381	1983年(昭和58)・第30巻・06号
書評／日本漢方の特質と源流（荒木正胤論稿集・上巻）	長沢元夫	(48)382	1983年(昭和58)・第30巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年5月＞	協会本部／編集局	(50)384	1983年(昭和58)・第30巻・06号
@1983年(昭和58)-第30巻-07号-			
桃核承気湯治験報告（第7報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(3)401	1983年(昭和58)・第30巻・07号
未病を治す（5）	柴崎保三	(12)410	1983年(昭和58)・第30巻・07号
症例から学ぶ東洋医学の問題点（2）東洋医学の証による診断、治療の限界について	山本浩志	(18)416	1983年(昭和58)・第30巻・07号
漢方薬服用時、得気様症状を呈した2症例	上馬場和夫	(22)420	1983年(昭和58)・第30巻・07号
温知堂経験録（150）▽子宮卵巣全剔後の下肢脱力と不安神経症に痿証方▽脳挫傷による諸運動障害に治打撲一方	矢数道明	(24)422	1983年(昭和58)・第30巻・07号
保険漢方診療日誌（9）▽喘息の治験4例	長瀬千秋	(26)424	1983年(昭和58)・第30巻・07号
経験諸例　▽顔面に出来た小さな疣▽夜尿症▽心に残った薬方　その2白虎加人参湯	田村嘉章	(33)431	1983年(昭和58)・第30巻・07号
漢方診療おぼえ書（82）▽子宮卵巣剔出後の脱落症状に桂枝茯苓丸▽高血圧に六味丸料加釣藤黄柏▽20数年つづいた偏頭痛に清上ケン痛湯▽膝関節水腫に防已黄耆湯加麻黄附子	緒方玄芳	(36)434	1983年(昭和58)・第30巻・07号
漢方牛歩録（28）胸内苦悶感に梔子シ湯	中村謙介	(38)436	1983年(昭和58)・第30巻・07号
松本一男訓注『榕堂井観医言』の発刊を欣ぶ	矢数道明	(41)439	1983年(昭和58)・第30巻・07号
漢薬ノート（21）▽黄連	鈴木堯	(42)440	1983年(昭和58)・第30巻・07号
新刊書評／大塚恭男著『東洋医学入門』の出現	矢数道明	(44)442	1983年(昭和58)・第30巻・07号
小倉重成著『傷寒論による漢方と鍼灸の統合診』を読んで	矢数道明	(45)443	1983年(昭和58)・第30巻・07号

傷寒雑病弁証通釈（23）	松本一男	(46)444	1983年(昭和58)・第30巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年6月＞	協会本部／編集局	(47)445	1983年(昭和58)・第30巻・07号
@1983年(昭和58)-第30巻-08号-			
項頸部の凝りに葛根湯屯用が有効であった症例（第2報）	北波輝・樋口和子・上野隆・有地滋	(4)466	1983年(昭和58)・第30巻・08号
中草薬紹介＜28＞天花粉	嶋野武	(11)473	1983年(昭和58)・第30巻・08号
無的弁証法	橋口親義	(21)483	1983年(昭和58)・第30巻・08号
漢方研究室　出題：問題125　疼痛性疾患5題／解答：問題121	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・佐橋・大嶺・奥田・中村・佐藤	(27)489	1983年(昭和58)・第30巻・08号
漢方雑録　▽風邪に真武湯▽蓄膿症に葛根湯▽下腹部膨満に桂枝加芍薬湯▽更年期障害に加味逍遥散▽風邪に桂枝湯	大村富栄	(34)496	1983年(昭和58)・第30巻・08号
漢方体験記（38）－方意と方用への散策－▽小青竜湯について（その2）	河野順	(36)498	1983年(昭和58)・第30巻・08号
貧血、不整脈の1例	土本重	(38)500	1983年(昭和58)・第30巻・08号
温知堂経験録（151）▽5年来の眉間の痛みに選奇湯▽背と肩のこりに提肩散▽慢性扁桃炎に駆風解毒湯と黄柏末	矢数道明	(40)502	1983年(昭和58)・第30巻・08号
漢方牛歩録（29）車酔いに人参湯	中村謙介	(42)504	1983年(昭和58)・第30巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年7月＞	協会本部／編集局	(45)507	1983年(昭和58)・第30巻・08号
傷寒雑病弁証通釈（24）	松本一男	(47)509	1983年(昭和58)・第30巻・08号
漢薬ノート（22）▽猪苓	鈴木堯	(50)512	1983年(昭和58)・第30巻・08号
@1983年(昭和58)-第30巻-09号-			
「未病」の症例報告（1）　肝炎の「未病」と、関節リウマチの「未病」について	有地滋	(4)530	1983年(昭和58)・第30巻・09号
心臓神経症重症例に対する桃核承気湯・鍼灸併用療法の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(11)537	1983年(昭和58)・第30巻・09号
結石の成因・病態と漢方療法の役割	宗像敬一	(14)540	1983年(昭和58)・第30巻・09号
症例から学ぶ東洋医学の問題点（3）瞑眩について（追加・科学について）	山本浩志	(21)547	1983年(昭和58)・第30巻・09号
温知堂経験録（152）▽気管支拡張症に清肺湯▽左片頭痛と耳鳴に清上ケン痛湯▽アトピー性皮膚炎に温清飲・治頭瘡一方	矢数道明	(27)553	1983年(昭和58)・第30巻・09号
保険漢方診療日誌（10）▽ヘルペス性角膜炎に明朗飲合味麦益気湯加味の1例▽急性顔面神経マヒに続命湯の1例	長瀬千秋	(28)554	1983年(昭和58)・第30巻・09号
漢方体験記（39）－方意と方用への散策－▽柴胡桂枝湯について（その1）（その2）	河野順	(33)559	1983年(昭和58)・第30巻・09号
漢方牛歩録（30）六君子湯で副作用のある胃炎に、四君子湯	中村謙介	(37)563	1983年(昭和58)・第30巻・09号
陰陽堂雑記	池田泉庵	(39)565	1983年(昭和58)・第30巻・09号
傷寒雑病弁証通釈（25）	松本一男	(41)567	1983年(昭和58)・第30巻・09号
漢薬ノート（23）▽沢瀉	鈴木堯	(43)569	1983年(昭和58)・第30巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年8月＞	協会本部／編集局	(45)571	1983年(昭和58)・第30巻・09号
中国に於て出版された日本の漢方関係書籍の年代別目録（1）	真柳誠	(47)572	1983年(昭和58)・第30巻・09号
@1983年(昭和58)-第30巻-10号-			
「一気留滞説」と「万病一毒説」について	花輪壽彦	(3)593	1983年(昭和58)・第30巻・10号
本態性低血圧症に対する補中益気湯・鍼灸併用療法の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(14)604	1983年(昭和58)・第30巻・10号
中草薬紹介＜29＞シツ藜子	嶋野武	(20)610	1983年(昭和58)・第30巻・10号
新養生論（1）	富田光陽	(30)620	1983年(昭和58)・第30巻・10号
中国に於て出版された日本の漢方関係書籍の年代別目録（2）	真柳誠	(32)622	1983年(昭和58)・第30巻・10号
温知堂経験録（153）▽尋常性乾癬に黄連阿膠湯▽全身猩紅熱様発赤に十味敗毒湯加茵チン蒿、山梔子▽不眠症に抑肝散加陳皮半夏	矢数道明	(42)632	1983年(昭和58)・第30巻・10号
漢方牛歩録（31）下腿の糜爛に黄耆建中湯	中村謙介	(43)633	1983年(昭和58)・第30巻・10号
漢方体験記（40）－方意と方用への散策－▽動悸、息切れ▽唇の腫れ	河野順	(46)636	1983年(昭和58)・第30巻・10号
漢薬ノート（24）▽白朮	鈴木堯	(48)638	1983年(昭和58)・第30巻・10号
書評／気賀林一著『編集五十年』を読んで	矢数道明	(51)641	1983年(昭和58)・第30巻・10号
傷寒雑病弁証通釈（26）	松本一男	(52)642	1983年(昭和58)・第30巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年9月＞	協会本部／編集局	(54)644	1983年(昭和58)・第30巻・10号
漢方研究室　出題：問題126　腹痛、腹満5題／解答：問題122	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・佐橋・奥田・中村・佐藤	(56)646	1983年(昭和58)・第30巻・10号
陰陽堂雑記　＜産前、産後病＞	池田泉庵	(64)654	1983年(昭和58)・第30巻・10号
@1983年(昭和58)-第30巻-11号-			
「未病」の症例報告（2）「未病」治療例と「未病」不治療例	有地滋	(3)673	1983年(昭和58)・第30巻・11号
古医書蒐集雑感	高野守啓	(11)681	1983年(昭和58)・第30巻・11号
みたび『康治本傷寒論』について	遠田裕政	(13)683	1983年(昭和58)・第30巻・11号
「不眠・ヒステリー」の1症例から学んだこと	花輪壽彦	(18)688	1983年(昭和58)・第30巻・11号
バージャー病（Buerger）2題	松岡睦友	(23)693	1983年(昭和58)・第30巻・11号

新養生論（2）	富田光陽	(27)697	1983年(昭和58)・第30巻・11号
保険漢方診療日誌（11）	長頼千秋	(29)699	1983年(昭和58)・第30巻・11号
漢方牛歩録（32）灸後の動悸に桂枝加竜骨牡蠣湯	中村謙介	(34)704	1983年(昭和58)・第30巻・11号
陰陽堂雑記（7）	池田泉庵	(35)705	1983年(昭和58)・第30巻・11号
漢方体験記（41）－方意と方用への散策－▽虚血性心臓病という人▽紫斑病という小学生	河野順	(38)708	1983年(昭和58)・第30巻・11号
不眠症に対する補中益気湯・鍼灸併用療法の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(40)710	1983年(昭和58)・第30巻・11号
傷寒雑病弁証通釈（27）	松本一男	(44)714	1983年(昭和58)・第30巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年10月＞	協会本部／編集局	(47)717	1983年(昭和58)・第30巻・11号
魏正明先生の思い出	勝田正泰	(49)719	1983年(昭和58)・第30巻・11号
『中国傷寒論解説』を読んで	小曽戸丈夫	(52)722	1983年(昭和58)・第30巻・11号
『矢数道明先生喜寿記念文集』出版報告	小曽戸洋	(53)723	1983年(昭和58)・第30巻・11号
新刊紹介／『矢数道明先生喜寿記念文集』を読む	木村雄四郎	(56)726	1983年(昭和58)・第30巻・11号
漢薬ノート（25）▽蒼朮	鈴木堯	(57)727	1983年(昭和58)・第30巻・11号
@1983年(昭和58)-第30巻-12号-第31巻01号合併号-＜創刊30周年記念特集号＞			
『漢方の臨床』創刊30周年記念特集号の発刊に当って	矢数道明	(7)7	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方医学管見	沢瀉久敬	(9)9	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞古医書の散策	長谷川弥人	(19)19	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞喜多村直寛の三陰三陽論	石田秀実	(34)34	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞西友オウとその一門について（第1報）	木下勤	(41)41	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞『生生堂傷寒約言』	西岡一夫	(49)49	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞『本草綱目啓蒙』と『本草啓蒙名疏』の版木焼失－天保5年の江戸の大火－	宗田一	(61)61	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞不妊症－様々なる証について－	寺師睦宗	(64)64	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞健康保険における問題点	中田敬吾	(74)74	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞東洋医学の基本理念（第2報）	伊藤真愚	(79)79	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞医療費抑制策下での漢方製剤－長期的展望に立った対応を－	宗像敬一・宗像久美子	(88)88	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞現代医療の背景寸感	松岡武保	(92)92	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞托裏消毒散（外科正宗）の運用について－治験症例を中心として－	緒方玄芳	(94)94	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞現代医療における医療用漢方製剤の適応と限界	谿忠人	(102)102	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞「頭搖」を治す	舘野健	(110)110	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞東洋医学の諸問題	山本浩志	(113)113	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞今日の漢方	松下嘉一	(122)122	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞韓国産生薬事情の一端	後藤實	(125)125	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞平田篤胤と医学－医道観と張仲景『傷寒雑病論』の認識－	丸山敏秋	(133)133	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方製剤の剤形と薬効	原田正敏	(145)145	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞医療費の高騰と、漢方薬の保険適用削除問題との意味するもの	小口悌示	(150)150	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞日韓漢方交流の経緯	森下宗司	(160)160	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方の臨床薬理研究のあり方　傷寒論薬理の試み	久保道徳	(164)164	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方の将来について想うこと	遠田裕政	(172)172	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞鹿児島県立自然薬草の森設立の周辺を語る	瀬尾昭	(179)179	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞福岡医師漢方研究会の現状	古寺秀喜	(184)184	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞考証学派の『内経』研究－その遺著の展望－	小曽戸洋	(189)189	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞胎教の基本原理と実践	久保田将禅・伊藤真愚	(196)196	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞21世紀に備える漢方の臨床	鈴木博夫	(206)206	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方エキス製剤の現状	赤堀昭	(216)216	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞五苓散のアルコール代謝に関する臨床および基礎研究	原中瑠璃子・望月奈緒子・小曽戸洋・小林茂三郎	(226)226	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢薬研究のあり方	ヒキノヒロシ	(233)233	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞中国産生薬の動向	伊藤敏雄	(238)238	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞「寒厥」私見	佐藤貞美	(244)244	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞『黄帝内経明堂』の楊氏注について	小曽戸丈夫	(251)251	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞才血と瘡瘍病	西脇平士	(261)261	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞中国医学と道教－その流れ－薬籤について	吉元昭治	(266)266	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞霊乏の活用法	村田恭介	(276)276	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方臨床の思考構造	梁哲周	(284)284	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号

＜創刊30周年記念＞生化学的五行循環と気血水	藤田六朗	(294)294	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞香月牛山著「婦人寿草」にみる求嗣の説	小野正弘	(296)296	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞漢方医学と陰陽五行	西澤道允	(304)304	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
＜創刊30周年記念＞中山友記先生のことと中山氏才血圧痛点について	宮崎綾子	(313)313	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和58年11月・12月＞	協会本部／編集局	(316)316	1983年(昭和58)・第30巻・12-01号
@1984年(昭和59)-第31巻-02号-＜創刊30周年記念・2次特集号＞			
＜創刊30周年記念＞漢方エキス剤の副作用－小柴胡湯を中心に－	三谷和合	(5)337	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞乳児（孫）に教わった漢方	平木陽一	(12)344	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞処方は簡要に（ソウ住要点）－重症蕁麻疹の中医学的治験－	勝田正泰	(15)347	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞これからの漢方　初学者からみた漢方医学への期待と問題点	田家照生	(18)350	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞日本漢方と中医学　特に陰陽・虚実の解釈の違いについて	桑木崇秀	(22)354	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞道三・三喜邂逅の地「柳津」考	矢数道明	(33)365	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞伝染性単核症に対する小柴胡湯、大柴胡湯の効果の効果	原敬二郎	(41)373	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞多発性神経炎の1治験	岡野勝憲	(48)380	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞ポロプシーを伴ったカゼ	藤平健	(52)384	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞「雲南白薬」の臨床経験	張瓏英	(55)387	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞エキス製剤による漢方治療雑感	山田光胤	(61)393	1984年(昭和59)・第31巻・02号
中国に於て出版された日本の漢方関係書籍の年代別目録（3）	真柳誠	(64)396	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞私の「三た」	橋口親義	(76)408	1984年(昭和59)・第31巻・02号
新養生論（3）	富田光陽	(83)415	1984年(昭和59)・第31巻・02号
食中毒の自験例	長瀬千秋	(87)419	1984年(昭和59)・第31巻・02号
漢方牛歩録（33）風邪に大青竜湯	中村謙介	(89)421	1984年(昭和59)・第31巻・02号
漢方体験記（49）▽八味丸の体験4例	河野順	(92)424	1984年(昭和59)・第31巻・02号
武見太郎先生の逝去を悼む	矢数道明	(95)427	1984年(昭和59)・第31巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年1月＞	協会本部／編集局	(100)432	1984年(昭和59)・第31巻・02号
細迫陽三先生逝去	気賀林一	(101)433	1984年(昭和59)・第31巻・02号
漢方診療おぼえ書（83）▽尿不利に五苓散、便秘に通導散▽顔面のシミに加味逍遥散▽慢性腎炎に猪苓湯加車前子兼用八味地黄湯（粒状薬）	緒方玄芳	(102)434	1984年(昭和59)・第31巻・02号
漢方研究室　休話：全身エリテマトーデス、冷え症、慢性腸炎、椎間板ヘルニア／解答：問題123	解答）小倉重成 回答）佐橋・大嶺・奥田・中村・佐藤	(104)436	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞よたび『康治本傷寒論』について	遠田裕政	(112)444	1984年(昭和59)・第31巻・02号
漢薬ノート（26）▽桃仁	鈴木堯	(122)454	1984年(昭和59)・第31巻・02号
鮎川濯三先生のご逝去を悼む	矢数道明	(123)455	1984年(昭和59)・第31巻・02号
森光三氏の逝去を悼む	太田裕康	(124)456	1984年(昭和59)・第31巻・02号
傷寒雑病弁証通釈（28）	松本一男	(125)457	1984年(昭和59)・第31巻・02号
＜創刊30周年記念＞小児腹痛に対する小建中湯の治験	細川喜代治	(126)458	1984年(昭和59)・第31巻・02号
糖質ステロイド剤が無効の慢性ネフローゼ型腎炎に小柴胡湯と八味丸併用が有効であった症例について	有地滋・有地英子・戸田静男	(131)463	1984年(昭和59)・第31巻・02号
@1984年(昭和59)-第31巻-03号-＜創刊30周年記念・3次特集号＞			
＜創刊30周年記念＞厚朴七物湯について	松本一男	(5)489	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞陰陽について－素問霊枢における陰陽概念の分析と整理－	家本誠一	(21)505	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞漢方製剤の現状の分析と展望	原桃介	(31)515	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞二千年の友誼、尋常に等しからず	張錫君	(37)521	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞温胆湯加減を用いた症例報告	中祖英雄	(46)530	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞昭和期以後の台湾における漢文訳日本漢方医学書一覧表	呉家鏡	(52)536	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞張景岳の『三焦論』	牟田光一郎	(57)541	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞東洋医学と私－その馴れ初めから、「気」に到るまで－	渡辺貞夫	(59)543	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞湯液・鍼灸併用による子宮筋腫全治の著効例（子宮筋腫治療の研究）	小池透・小池豊・小池三良助	(71)555	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞内関穴に就いて	長尾泰爾	(79)563	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞四逆散の経験	久保田富也	(81)565	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞大柴胡湯の訓	松岡睦友	(88)572	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞日本の本草における『百品考』	難波恒雄	(92)576	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞健康保険問題について	室賀昭三	(97)581	1984年(昭和59)・第31巻・03号

＜創刊30周年記念＞「富山医科薬科大学・和漢診療部の現状と展望」	寺澤捷年	(101)585	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞漢方製剤の現状と問題点	菊谷豊彦	(107)591	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞どこへ行く薬局漢方	吉岡信	(116)600	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞張景岳の熟地黄の運用に関する1考察	平馬直樹	(125)609	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞本草家の墓所廻り	伊藤和洋	(130)614	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞芍薬甘草附子湯証	小倉重成	(137)621	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞時差経絡テクニック及びその他	土本重	(141)625	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞大棗の研究から	西岡五夫	(149)633	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞方剤の合方問題	山本巌	(152)636	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞百会診の検討	村松睦	(162)646	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞六角重任筆記『古方便覧』	鎌田慶市郎	(165)649	1984年(昭和59)・第31巻・03号
＜創刊30周年記念＞動物の経絡についての疑問－特に「馬体経絡図」を中心として－	谷田伸治	(167)651	1984年(昭和59)・第31巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年2月＞	協会本部／編集局	(180)664	1984年(昭和59)・第31巻・03号
@1984年(昭和59)-第31巻-04号-			
＜創刊30周年記念＞和漢薬の選品と規格作りの研究	木村雄四郎	(3)685	1984年(昭和59)・第31巻・04号
漢薬の作用機序	松原正紘	(8)690	1984年(昭和59)・第31巻・04号
症例から学ぶ東洋医学の問題点（4）桃核承気湯と小腹急結について	山本浩志	(11)693	1984年(昭和59)・第31巻・04号
右母指拇指麻痺感の右上肢遡上を阻止根絶した湯液・鍼灸併用の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(16)698	1984年(昭和59)・第31巻・04号
日本の野生人参	根本義雄	(21)703	1984年(昭和59)・第31巻・04号
我が闘病記	土本重	(23)705	1984年(昭和59)・第31巻・04号
保険漢方製剤の問題点	長瀬千秋	(25)707	1984年(昭和59)・第31巻・04号
陰陽堂雑記（8）	池田泉庵	(27)709	1984年(昭和59)・第31巻・04号
温知堂経験録（153）▽生理痛が桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁、大黄で▽桂枝茯苓丸証と思われた生理痛が桂枝加芍薬湯で▽生理痛に桂枝加芍薬湯▽生理痛が加味逍遥散で	矢数道明	(30)712	1984年(昭和59)・第31巻・04号
漢方体験記（50）▽桂枝加苓朮湯について	河野順	(32)714	1984年(昭和59)・第31巻・04号
漢方牛歩録（34）結膜炎に桂枝二越婢一湯	中村謙介	(34)716	1984年(昭和59)・第31巻・04号
漢方診療おぼえ書（84）▽頑固な肩凝に治肩背コウ急方▽慢性肝炎に柴胡桂枝乾姜湯加山梔子▽老人のカゼに麻黄細辛附子湯（2例）	緒方玄芳	(36)718	1984年(昭和59)・第31巻・04号
傷寒雑病弁証通釈（29）	松本一男	(38)720	1984年(昭和59)・第31巻・04号
漢薬ノート（27）▽当帰	鈴木堯	(39)721	1984年(昭和59)・第31巻・04号
竹内達先生の逝去を悼む	矢数道明	(41)723	1984年(昭和59)・第31巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年3月＞	協会本部／編集局	(43)725	1984年(昭和59)・第31巻・04号
＜創刊30周年記念＞日本における漢方復権運動小史年表	矢数道明	(47)729	1984年(昭和59)・第31巻・04号
@1984年(昭和59)-第31巻-05号-			
症例から学ぶ東洋医学の問題点（5）証について	山本浩志	(3)761	1984年(昭和59)・第31巻・05号
中草薬紹介＜30＞補骨脂	嶋野武	(10)768	1984年(昭和59)・第31巻・05号
桃核承気湯治験報告（第8報）	樋口和子・上野隆・有地滋	(21)779	1984年(昭和59)・第31巻・05号
保険漢方診療日誌（12）▽顔面神経麻痺に桂枝加朮附湯合大三五七散加味の1例▽慢性関節リウマチに桂枝加朮苓附湯加味の1例	長瀬千秋	(31)713	1984年(昭和59)・第31巻・05号
漢方診療おぼえ書（85）▽不定愁訴に加味逍遥散▽幼児の咳に華蓋散▽心下部鈍痛に枳縮二陳湯▽肋間神経痛に清湿化痰湯▽関節リウマチに桂枝二越婢一湯加味方	緒方玄芳	(35)793	1984年(昭和59)・第31巻・05号
漢方体験記（51）－方意と方用への散策－▽小柴胡湯と桂枝茯苓丸について	河野順	(37)795	1984年(昭和59)・第31巻・05号
温知堂経験録（154）▽ソ連カゼの体験、桂枝人参湯と桂枝加芍薬湯▽足の裏の魚の目と慢性鼻炎が十味敗毒湯加ヨク苡仁と紫雲膏で▽くるぶしの外側にたまった水が五苓湯で	矢数道明	(39)797	1984年(昭和59)・第31巻・05号
中国医学と甲状腺－中国医療視察団への参加機会を得て－	雪村八一郎	(41)799	1984年(昭和59)・第31巻・05号
漢方牛歩録（35）肥満に防已黄耆湯と食事制限	中村謙介	(43)801	1984年(昭和59)・第31巻・05号
傷寒雑病弁証通釈（30）	松本一男	(46)804	1984年(昭和59)・第31巻・05号
漢薬ノート（28）▽川キュウ	鈴木堯	(48)806	1984年(昭和59)・第31巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年4月＞	協会本部／編集局	(50)808	1984年(昭和59)・第31巻・05号
昭和58年（1983）漢方略史年表	矢数道明	(52)810	1984年(昭和59)・第31巻・05号
@1984年(昭和59)-第31巻-06号-			
陳旧性ムチ打ち重症例に対する補中益気湯鍼灸併用の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(3)837	1984年(昭和59)・第31巻・06号
温知堂経験録（155）▽メニエール病に小柴胡湯合苓桂朮甘湯▽漿液性膝関節炎で水のたまるのに麻杏ヨク甘湯加朮▽エリテマトーデスの軽症に小柴胡湯エキス末を続服して	矢数道明	(8)842	1984年(昭和59)・第31巻・06号
続我が闘病記	土本重	(10)844	1984年(昭和59)・第31巻・06号
漢方牛歩録（36）咽中炙臠に麦門冬湯	中村謙介	(12)846	1984年(昭和59)・第31巻・06号

漢方診療おぼえ書（86）▽外陰部カンジタ症に十味敗毒湯加連翹▽高度貧血に加味帰脾湯▽嘔吐を伴う発作性頭痛に呉茱萸湯	緒方玄芳	(14)848	1984年(昭和59)・第31巻・06号
漢方体験記（43）－方意と方用への散策－▽半夏瀉心湯と当帰芍薬散について	河野順	(16)850	1984年(昭和59)・第31巻・06号
「五十二病方」「足臂十一脈経」「陰陽十一脈経」と漢代医籍について	杉山広重	(18)852	1984年(昭和59)・第31巻・06号
小児喘息をめぐって虚労を考える	大西和子	(20)854	1984年(昭和59)・第31巻・06号
『金匱要略臨床索引集』などを手にして	小曽戸丈夫	(23)857	1984年(昭和59)・第31巻・06号
「情熱」的涵義	松原正紘	(24)858	1984年(昭和59)・第31巻・06号
漢方研究室　出題：問題127　腹痛4題	出題）小倉重成	(29)863	1984年(昭和59)・第31巻・06号
第2回大塚敬節記念東洋医学賞決まる	編集局	(30)864	1984年(昭和59)・第31巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年5月＞	協会本部／編集局	(31)865	1984年(昭和59)・第31巻・06号
漢薬ノート（29）▽地黄	鈴木堯	(33)867	1984年(昭和59)・第31巻・06号
書評・新刊紹介／『図説東洋医学・湯液編1　薬方解説』を推薦する	大塚恭男	(35)869	1984年(昭和59)・第31巻・06号
書評・新刊紹介／荒木正胤論説集（下巻）『日本漢方の特質と源流』の出版	矢数道明	(36)870	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	宗田一	(37)871	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	佐藤貞美	(37)871	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	山本浩志	(37)871	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	西脇平士	(38)872	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	小口悌示	(38)872	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	宮崎綾子	(38)872	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	吉元昭治	(39)873	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	村田恭介	(39)873	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	土本重	(39)873	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	張瓏英	(39)873	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	木下勤	(40)874	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	鎌田慶市郎	(40)874	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	桑木崇秀	(40)874	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	村松睦	(41)875	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	松岡睦友	(41)875	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	小倉重成	(41)875	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	岡野正憲	(41)875	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	無名士	(41)875	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	三谷和合	(41)875	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	長尾泰爾	(43)877	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	石田秀実	(43)877	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	原桃介	(43)877	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	田家照生	(43)877	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	橋口親義	(44)878	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	森下宗司	(44)878	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	久保田富也	(44)878	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	長瀬千秋	(44)878	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	有地滋	(45)879	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	渡辺貞夫	(45)879	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	伊藤真愚	(45)879	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	原敬二郎	(45)879	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	河野順	(46)880	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	西岡一夫	(46)880	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	菊谷豊彦	(46)880	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	室賀昭三	(46)880	1984年(昭和59)・第31巻・06号
本誌創刊30周年記念特集号を読んで	小曽戸洋	(47)881	1984年(昭和59)・第31巻・06号
傷寒雑病弁証通釈（31）	松本一男	(48)882	1984年(昭和59)・第31巻・06号
麻黄細辛附子湯自家体験	吉原浅吉	(49)883	1984年(昭和59)・第31巻・06号
@1984年(昭和59)-第31巻-07号-			
康治本傷寒論における湯の形成過程について（1）	遠田裕政	(3)909	1984年(昭和59)・第31巻・07号
中草薬紹介＜31＞大棗	嶋野武	(13)919	1984年(昭和59)・第31巻・07号
温知堂経験録（156）▽嗄声と咽喉不利を主訴とした患者▽不安神経症に抑肝散加陳皮半夏▽搏動性耳鳴に通明利気湯	矢数道明	(28)934	1984年(昭和59)・第31巻・07号

傷寒雑病弁証通釈（32）	松本一男	(30)936	1984年(昭和59)・第31巻・07号
漢方体験記（46）－方意と方用への散策－▽柴胡桂枝湯について（その3）	河野順	(32)938	1984年(昭和59)・第31巻・07号
漢方診療おぼえ書（87）▽肩関節周囲炎兼坐骨神経痛に加味逍遥散▽肛門からの出血に乙字湯▽高血圧に八味地黄湯加釣藤黄柏	緒方玄芳	(34)940	1984年(昭和59)・第31巻・07号
香月牛山著『婦人寿草』上巻1（1）	小野正弘	(36)942	1984年(昭和59)・第31巻・07号
華岡青洲の門人第一号とされてきた中川修亭についての補訂	宗田一	(40)946	1984年(昭和59)・第31巻・07号
開腹手術後の腸癒着によりおきる腹痛に柴胡疎肝湯・疎肝湯が著効であった症例	北波輝・樋口和子・上野隆・有地滋	(44)950	1984年(昭和59)・第31巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年6月＞	協会本部／編集局	(50)956	1984年(昭和59)・第31巻・07号
漢薬ノート（30）▽阿膠	鈴木堯	(52)958	1984年(昭和59)・第31巻・07号
岡部素道氏の逝去を悼む	矢数道明	(54)960	1984年(昭和59)・第31巻・07号
@1984年(昭和59)-第31巻-08号-			
出土文献による『金匱要略』の研究及び『金匱要略講話』への追補（1）	杉山広重	(3)983	1984年(昭和59)・第31巻・08号
呉塘銀翹散、その立方本旨推論	松原正紘	(12)992	1984年(昭和59)・第31巻・08号
最近の諸例　▽うつ病2例▽脳卒中後の発揚状態▽チック氏病	土本重	(17)997	1984年(昭和59)・第31巻・08号
温知堂経験録（157）▽15年来の頻尿に五淋散エキス末▽不整脈の発作に炙甘草湯▽バセドー病に炙甘草湯	矢数道明	(19)999	1984年(昭和59)・第31巻・08号
漢方診療おぼえ書（88）▽頭痛に大柴胡湯去大黄▽嗄声に外台四物湯加三味▽後頭部痛に釣藤散▽膝関節水腫に防已黄耆湯	緒方玄芳	(21)1001	1984年(昭和59)・第31巻・08号
傷寒雑病弁証通釈（33）	松本一男	(23)1003	1984年(昭和59)・第31巻・08号
中国及び日本の医書からみたオ血の考察（その1）	有地滋	(25)1005	1984年(昭和59)・第31巻・08号
漢方牛歩録（37）更年期障害に加味逍遥散	中村謙介	(30)1010	1984年(昭和59)・第31巻・08号
眼痛2題	大曽根誠	(32)1012	1984年(昭和59)・第31巻・08号
漢方体験記（47）－方意と方用への散策－▽柴胡桂枝湯について（その4）	河野順	(37)1017	1984年(昭和59)・第31巻・08号
香月牛山著『婦人寿草』上巻1（2）	小野正弘	(39)1019	1984年(昭和59)・第31巻・08号
漢薬ノート（31）▽滑石	鈴木堯	(49)1029	1984年(昭和59)・第31巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年7月＞	協会本部／編集局	(51)1031	1984年(昭和59)・第31巻・08号
@1984年(昭和59)-第31巻-09号-			
山本浩志氏「東洋医学の諸問題」に対する反論的批判	小口悌示	(3)1047	1984年(昭和59)・第31巻・09号
漢方医と西洋医の結合に依る胆道蛔虫症の療法－144病例についての観察－	張欣光	(12)1056	1984年(昭和59)・第31巻・09号
証と鍵と鍵穴と	藤平健	(19)1063	1984年(昭和59)・第31巻・09号
漢方診療おぼえ書（89）▽喘息性気管支炎に五虎二陳湯▽痔瘻に托裏消毒散	緒方玄芳	(21)1065	1984年(昭和59)・第31巻・09号
漢方体験記（48）－方意と方用への散策－▽柴胡桂枝湯について（その5）	河野順	(23)1067	1984年(昭和59)・第31巻・09号
漢方牛歩録（38）心身症に大柴胡湯	中村謙介	(25)1069	1984年(昭和59)・第31巻・09号
桜沢如一先生を限りなく讃える	矢田昌三	(27)1071	1984年(昭和59)・第31巻・09号
温知堂経験録（158）▽アトピー性皮膚炎に治頭瘡一方と駆オ血湯末▽小児尋常性大疣と水疣に紫雲膏▽指先の大疣に紫雲膏と桂枝茯苓丸料加ヨク苡仁▽足踝外側の水たまりに五苓湯▽慢性気管支炎と慢性鼻炎に清肺湯	矢数道明	(30)1074	1984年(昭和59)・第31巻・09号
京劇「大明魂」新編歴史故事劇を観る	川瀬清	(33)1077	1984年(昭和59)・第31巻・09号
中国及び日本の医書からみたオ血の考察（その2）	有地滋	(37)1081	1984年(昭和59)・第31巻・09号
香月牛山著『婦人寿草』上巻2（3）	小野正弘	(42)1086	1984年(昭和59)・第31巻・09号
出土文献による『金匱要略』の研究及び『金匱要略講話』への追補（2）	杉山広重	(48)1092	1984年(昭和59)・第31巻・09号
漢薬ノート（32）▽呉茱萸	鈴木堯	(51)1095	1984年(昭和59)・第31巻・09号
久保川憲彦氏逝去	編集局	(53)1097	1984年(昭和59)・第31巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年8月＞	協会本部／編集局	(54)1098	1984年(昭和59)・第31巻・09号
傷寒雑病弁証通釈（34）	松本一男	(56)1100	1984年(昭和59)・第31巻・09号
@1984年(昭和59)-第31巻-10号-			
日本漢方（鍼灸）には百年の空白がある	柴崎保三	(3)1113	1984年(昭和59)・第31巻・10号
胸脇苦満、臍傍圧痛消去法のすすめ－腹診から気の再発見へ－	渡辺貞夫	(13)1123	1984年(昭和59)・第31巻・10号
「舌生毛者」と一禿髪症例について	宮崎綾子	(15)1125	1984年(昭和59)・第31巻・10号
出土文献による『金匱要略』の研究及び『金匱要略講話』への追補（3）	杉山広重	(18)1128	1984年(昭和59)・第31巻・10号
「陽浮者熱自発陰弱者自出」の誤りに就いて	諏訪重雄	(24)1134	1984年(昭和59)・第31巻・10号
香月牛山著『婦人寿草』上巻2（4）	小野正弘	(28)1138	1984年(昭和59)・第31巻・10号
伊藤真愚氏「東洋医学の基本理念」（第2報）読後感	小口悌示	(33)1143	1984年(昭和59)・第31巻・10号
陰陽堂雑記（9）	池田政一	(36)1146	1984年(昭和59)・第31巻・10号

最近の諸例　▽多発性関節リウマチ▽右側の大腿下腿筋肉痛▽呼吸困難、腰痛	土本重	(38)1148	1984年(昭和59)・第31巻・10号
保険漢方診療日誌（13）▽メニエール病に半夏白朮天麻湯加減	長瀬千秋	(41)1151	1984年(昭和59)・第31巻・10号
経験より　▽木防已湯	橋口親義	(44)1154	1984年(昭和59)・第31巻・10号
温知堂経験録（159）▽10年来の血尿が駆オ血丸の長期服用で▽慢性肝炎と狭心症様症状に小柴胡湯合茵チン五苓湯その他▽慢性関節リウマチに桂枝二越婢一加朮附湯	矢数道明	(47)1157	1984年(昭和59)・第31巻・10号
漢方診療おぼえ書（90）▽腰痛に牛車腎気丸料▽幼児の痔瘻に托裏消毒散（外科正宗）▽40年来の不定愁訴に抑肝散加陳皮半夏	緒方玄芳	(49)1159	1984年(昭和59)・第31巻・10号
傷寒雑病弁証通釈（35）	松本一男	(51)1161	1984年(昭和59)・第31巻・10号
漢薬ノート（33）▽附子	鈴木堯	(54)1164	1984年(昭和59)・第31巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年9月＞	協会本部／編集局	(58)1168	1984年(昭和59)・第31巻・10号
書評／『病気を治す食物つくる食物』推薦のことば	沼田勇	(59)1169	1984年(昭和59)・第31巻・10号
漢方研究室　出題：問題128　アレルギー性疾患5題／解答：問題124	出題・解答）小倉重成 回答）大嶺・宇田川・田村・奥田・佐橋・中村・岩崎・佐藤	(61)1171	1984年(昭和59)・第31巻・10号
@1984年(昭和59)-第31巻-11号-＜『漢方の臨床』第26巻－第30巻　号別・著者別目次集＞			
『漢方の臨床』第26巻－第30巻　著者別・号別目次集の発刊について	矢数道明	(3)1193	1984年(昭和59)・第31巻・11号
『漢方の臨床』第26巻－第30巻　号別目次集	編集局	(4)1194	1984年(昭和59)・第31巻・11号
『漢方の臨床』第26巻－第30巻　著者別目次集	編集局	(42)1232	1984年(昭和59)・第31巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年10月＞	協会本部／編集局	(79)1269	1984年(昭和59)・第31巻・11号
@1984年(昭和59)-第31巻-12号-			
キョ風敗毒散（敗毒類）について	柴田良治	(3)1289	1984年(昭和59)・第31巻・12号
名古屋玄医における桂枝湯類の運用について	花輪壽彦	(12)1298	1984年(昭和59)・第31巻・12号
日本漢方先哲医家追薦一覧	矢数道明・真柳誠	(18)1304	1984年(昭和59)・第31巻・12号
中国及び日本の医書からみたオ血の考察（その3）	有地滋	(27)1313	1984年(昭和59)・第31巻・12号
漢方牛歩録（39）不眠症に加味帰脾湯	中村謙介	(32)1318	1984年(昭和59)・第31巻・12号
出土文献による『金匱要略』の研究及び『金匱要略講話』への追補（4）	杉山広重	(35)1321	1984年(昭和59)・第31巻・12号
保険漢方診療日誌（14）▽耳鳴りに帰脾湯合桂枝加竜骨牡蠣湯加味	長瀬千秋	(39)1325	1984年(昭和59)・第31巻・12号
陰陽堂雑記（10）	池田政一	(41)1327	1984年(昭和59)・第31巻・12号
病状と病名と養生法	宮崎綾子	(43)1329	1984年(昭和59)・第31巻・12号
気の性質（パート2、3、4、5・・・）－適薬テストのすすめ、予告編－	渡辺貞夫	(46)1332	1984年(昭和59)・第31巻・12号
医聖堂落慶式、丹波康頼　医心方撰進1000年記念碑除幕式　挨拶文	矢数道明	(48)1334	1984年(昭和59)・第31巻・12号
漢方体験記（49）－方意と方用への散策－▽眩暈2例	河野順	(50)1336	1984年(昭和59)・第31巻・12号
傷寒雑病弁証通釈（36）	松本一男	(52)1338	1984年(昭和59)・第31巻・12号
漢薬ノート（34）▽ヨク苡仁	鈴木堯	(54)1340	1984年(昭和59)・第31巻・12号
難症痼疾に対する薬効	松岡睦友	(56)1342	1984年(昭和59)・第31巻・12号
北京中医学院教授　任応秋先生の逝去を悼む	矢数道明	(58)1344	1984年(昭和59)・第31巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年11月＞	協会本部／編集局	(60)1346	1984年(昭和59)・第31巻・12号
@1985年(昭和60)-第32巻-01号-			
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	土本重	(3)3	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	木村雄四郎	(3)3	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	中村謙介	(3)3	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞≪仲景師の神・生命観について。≫	森崎信夫	(4)4	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	佐藤貞美	(4)4	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	池田政一	(5)5	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞訪中雑感	村松睦	(5)5	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞潜証	小倉重成	(5)5	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	小口悌示	(5)5	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	杉山広茂	(6)6	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	森下宗司	(6)6	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	小野正弘	(6)6	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	鈴木博夫	(6)6	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	細野史郎	(6)6	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	松本一男	(7)7	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	中田敬吾	(7)7	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	戸部宗七郎	(7)7	1985年(昭和60)・第32巻・01号

新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞昭和59年を回顧して	矢数道明	(7)7	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	松岡睦友	(8)8	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	鎌田慶市郎	(8)8	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	中山友記	(8)8	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	田村嘉章	(8)8	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	岡野勝憲	(8)8	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	大村光明	(9)9	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	尚鎮国	(9)9	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	原田正敏	(9)9	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	宗像敬一	(10)10	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	福羅充雄	(10)10	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	大西和子	(10)10	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	後藤実	(10)10	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	宮下三郎	(11)11	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞仙鶴草がメニエール病に有効治験	小池三良助	(11)11	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	河野順	(11)11	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	菊谷豊彦	(12)12	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	橋口親義	(12)12	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	平林達郎	(12)12	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	原桃介	(12)12	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	桑木崇秀	(13)13	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	勝田正泰	(13)13	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	土田茂雄	(13)13	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	無記名	(13)13	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	伊藤真愚	(13)13	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞医の原点は食にあり	長瀬千秋	(14)14	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞漢方をみる新らしい医学の眼	舘野健	(14)14	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	石田秀実	(14)14	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	久保道徳	(15)15	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	ヒキノヒロシ	(15)15	1985年(昭和60)・第32巻・01号
新年のことば　＜昭和60年（1985年）＞	木下勤	(15)15	1985年(昭和60)・第32巻・01号
併病理論の展開	藤平健	(16)16	1985年(昭和60)・第32巻・01号
保険漢方診療日誌（15）▽更年期障害2例	長瀬千秋	(24)24	1985年(昭和60)・第32巻・01号
座骨神経痛の治例	土本重	(27)27	1985年(昭和60)・第32巻・01号
漢方牛歩録（40）心身症に柴胡桂枝湯兼桂枝茯苓丸	中村謙介	(29)29	1985年(昭和60)・第32巻・01号
適薬テストのすすめ　気の性質パート2の1	渡辺貞夫	(32)32	1985年(昭和60)・第32巻・01号
漢方体験記（50）－方意と方用への散策－▽突発性紫斑病という子供▽ヘルニアという主婦	河野順	(37)37	1985年(昭和60)・第32巻・01号
傷寒雑病弁証通釈（37）	松本一男	(39)39	1985年(昭和60)・第32巻・01号
陰陽堂雑記（11）	池田政一	(40)40	1985年(昭和60)・第32巻・01号
漢方診療おぼえ書（91）▽吃逆に柿蒂湯▽膝関節水腫に防已黄耆湯▽死産後に多発した吹き出物に当帰芍薬散加ヨク苡仁	緒方玄芳	(42)42	1985年(昭和60)・第32巻・01号
香月牛山著『婦人寿草』上巻2（5）	小野正弘	(44)44	1985年(昭和60)・第32巻・01号
江戸医学における『医心方』の影写と校刻事業	矢数道明・小曽戸洋	(50)50	1985年(昭和60)・第32巻・01号
漢薬ノート（35）▽黄柏	鈴木堯	(73)73	1985年(昭和60)・第32巻・01号
書評／森立之輯、松本一男氏編『新刻校補　神農本草経』を手にして	矢数道明	(75)75	1985年(昭和60)・第32巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和59年12月＞	協会本部／編集局	(77)77	1985年(昭和60)・第32巻・01号
望月三英と村井琴山の墓の所在地	矢数道明	(78)78	1985年(昭和60)・第32巻・01号
@1985年(昭和60)-第32巻-02号-			
康治本傷寒論における湯の形成過程について（2）	遠田裕政	(3)91	1985年(昭和60)・第32巻・02号
22年来不治の奇病と湯液・鍼灸の駆オ血治効	小池透・小池豊・小池三良助	(15)103	1985年(昭和60)・第32巻・02号
古書にみる1症例に想う－桂枝加厚朴杏仁湯証－	宮崎綾子	(22)110	1985年(昭和60)・第32巻・02号
香月牛山著『婦人寿草』上巻2（6）	小野正弘	(25)113	1985年(昭和60)・第32巻・02号
適薬テストのすすめ　気の性質パート2の2	渡辺貞夫	(30)118	1985年(昭和60)・第32巻・02号
打傷	鶴田とし子	(33)121	1985年(昭和60)・第32巻・02号
漢方体験記（51）▽外国の人々、思い出の記。	河野順	(37)125	1985年(昭和60)・第32巻・02号
漢方診療おぼえ書（92）▽不明熱に十味敗毒湯	緒方玄芳	(39)127	1985年(昭和60)・第32巻・02号

温知堂経験録（159）▽変形性膝関節症に防已黄耆湯加麻黄▽坐骨神経痛に八味丸料合芍薬甘草湯▽膝関節炎・リウマチに桂枝加苓朮附湯	矢数道明	(42)130	1985年(昭和60)・第32巻・02号
漢方牛歩録（41）太陽病に酷似した真武湯	中村謙介	(44)132	1985年(昭和60)・第32巻・02号
最近の諸例　▽肋椎関節の滑走不能症▽右顔面神経麻痺	土本重	(48)136	1985年(昭和60)・第32巻・02号
傷寒雑病弁証通釈（38）	松本一男	(49)137	1985年(昭和60)・第32巻・02号
我等これからも	沖野与三郎	(52)140	1985年(昭和60)・第32巻・02号
電子病理学への出発点	野淵紘	(53)141	1985年(昭和60)・第32巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年1月＞	協会本部／編集局	(55)143	1985年(昭和60)・第32巻・02号
漢薬ノート（36）▽ガイ葉	鈴木堯	(57)145	1985年(昭和60)・第32巻・02号
瑞泉山祥雲寺における先哲医家追薦祭挨拶	矢数道明	(58)146	1985年(昭和60)・第32巻・02号
先哲医家追薦祭記念講演会の挨拶	矢数道明	(60)148	1985年(昭和60)・第32巻・02号
ススルタ大医典を天皇陛下に献上	高柳欽一	(62)150	1985年(昭和60)・第32巻・02号
@1985年(昭和60)-第32巻-03号-			
藤平学兄の万病併病論に倚す	小倉重成	(3)163	1985年(昭和60)・第32巻・03号
小口悌示氏に対する反論	山本浩志	(5)165	1985年(昭和60)・第32巻・03号
驚異の気功療法	勝田正泰	(12)172	1985年(昭和60)・第32巻・03号
昭和59年（1984）漢方略史年表	矢数道明	(16)176	1985年(昭和60)・第32巻・03号
腰痛に補中益気湯を	森下宗司	(23)183	1985年(昭和60)・第32巻・03号
慢性関節リウマチの未病治療	伊藤嘉紀	(27)187	1985年(昭和60)・第32巻・03号
温知堂経験録（161）▽嚥下困難に利膈湯合茯苓杏仁甘草湯▽尿管結石に猪苓湯合芍薬甘草湯▽腎臓結石に猪苓湯合芍薬甘草湯	矢数道明	(34)194	1985年(昭和60)・第32巻・03号
中国及び日本の医書からみた才血の考察（その4）	有地滋	(36)196	1985年(昭和60)・第32巻・03号
漢方体験記（52）－方意と方用への散策－▽茯苓飲について	河野順	(41)201	1985年(昭和60)・第32巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年2月＞	協会本部／編集局	(43)203	1985年(昭和60)・第32巻・03号
漢薬ノート（37）▽桔梗	鈴木堯	(45)205	1985年(昭和60)・第32巻・03号
適薬テストのすすめ　気の性質パート2の3	渡辺貞夫	(47)207	1985年(昭和60)・第32巻・03号
陰陽堂雑記（12）	池田政一	(51)211	1985年(昭和60)・第32巻・03号
漢方診療おぼえ書（93）▽痔核に乙字湯加減方▽内痔核に乙字湯加味方▽右肩部打撲後遺症に二朮湯	緒方玄芳	(53)213	1985年(昭和60)・第32巻・03号
傷寒雑病弁証通釈（39）	松本一男	(54)214	1985年(昭和60)・第32巻・03号
@1985年(昭和60)-第32巻-04号-			
康治本傷寒論における湯の形成過程について（3）	遠田裕政	(3)227	1985年(昭和60)・第32巻・04号
中国及び日本の医書からみた才血の考察（その5）	有地滋	(14)238	1985年(昭和60)・第32巻・04号
片倉鶴陵の『保嬰須知』について	広田曄子	(19)243	1985年(昭和60)・第32巻・04号
香月牛山著『婦人寿草』上巻2（7）	小野正弘	(25)249	1985年(昭和60)・第32巻・04号
漢方牛歩録（42）易疲労に桂枝茯苓丸	中村謙介	(28)252	1985年(昭和60)・第32巻・04号
漢方診療おぼえ書（94）▽めまいに苓桂朮甘湯▽肛門周囲炎に排膿散兼破敵膏貼用▽慢性虫垂炎に甲字湯	緒方玄芳	(30)254	1985年(昭和60)・第32巻・04号
温知堂経験録（162）▽気管支拡張症に治喘一方を用いて▽冷え症に当帰四逆湯加附子▽夜啼きに甘麦大棗湯	矢数道明	(32)256	1985年(昭和60)・第32巻・04号
キュウ帰調血飲の使用経験	高木嘉子	(33)257	1985年(昭和60)・第32巻・04号
『康治本傷寒論』に於ける数字の謎	岡本洋明	(36)260	1985年(昭和60)・第32巻・04号
漢方体験記（57）－著書『冬虫夏草』を再読していて	河野順	(38)262	1985年(昭和60)・第32巻・04号
最近の諸例　▽脳梗塞発作後の流感▽心不全による強度の浮腫	土本重	(40)264	1985年(昭和60)・第32巻・04号
温知堂新居の診療点描	杉山広重	(43)267	1985年(昭和60)・第32巻・04号
第3回大塚敬節記念医学賞　光藤英彦氏に授与さる	矢数道明	(47)271	1985年(昭和60)・第32巻・04号
傷寒雑病弁証通釈（40）	松本一男	(49)273	1985年(昭和60)・第32巻・04号
漢薬ノート（38）▽桔梗	鈴木堯	(50)274	1985年(昭和60)・第32巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年3月＞	協会本部／編集局	(52)276	1985年(昭和60)・第32巻・04号
@1985年(昭和60)-第32巻-05号-			
望月三英の研究（1）	石田秀実	(3)291	1985年(昭和60)・第32巻・05号
傷寒論「少陰病」私見	佐藤圓斉貞美	(10)298	1985年(昭和60)・第32巻・05号
適薬テストのすすめ　気の性質パート3の2	渡辺貞夫	(17)305	1985年(昭和60)・第32巻・05号
入浴に伴い異常冷感を訴える症例	岩崎勲	(21)309	1985年(昭和60)・第32巻・05号
温知堂経験録（163）▽アレルギー性鼻炎と貧血に小青竜湯と牛黄丸▽花粉症が小青竜湯エキス末で▽生理痛が桂枝加芍薬湯で、クシャミが小青竜湯で▽生理痛に折衝飲加大黄	矢数道明	(24)312	1985年(昭和60)・第32巻・05号
保険漢方診療3年間をふりかえって	長瀬千秋	(26)314	1985年(昭和60)・第32巻・05号
陰陽堂雑記（13）	池田政一	(30)318	1985年(昭和60)・第32巻・05号

漢方体験記（54）－方意と方用への散策－▽大黄牡丹皮湯と腸癰湯、その周辺について	河野順	(32)320	1985年(昭和60)・第32巻・05号
漢方診療おぼえ書（95）▽難治の尋常性ザ瘡に白シ升麻湯加味方▽五十肩に二朮湯、尿不調に八味地黄湯（粒状薬）　▽高齢者のカゼ気味と頭痛に麻黄細辛附子湯▽膠原病に麻杏ヨク甘湯	緒方玄芳	(35)323	1985年(昭和60)・第32巻・05号
漢方牛歩録（43）胃症状を伴う頭痛に半夏白朮天麻湯	中村謙介	(37)325	1985年(昭和60)・第32巻・05号
最近の諸例　▽左五十肩▽頸部強道、眩暈▽白虎湯症（証）に就て	土本重	(39)327	1985年(昭和60)・第32巻・05号
漢方研究室　出題：問題129　胃腸症状5題／解答：問題125	出題・解答）小倉重成 回答）田村・奥田・佐藤	(42)330	1985年(昭和60)・第32巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年4月＞	協会本部／編集局	(49)337	1985年(昭和60)・第32巻・05号
漢薬ノート（39）▽山薬	鈴木堯	(51)339	1985年(昭和60)・第32巻・05号
傷寒雑病弁証通釈（41）	松本一男	(53)341	1985年(昭和60)・第32巻・05号
@1985年(昭和60)-第32巻-06号-			
康治本傷寒論における湯の形成過程について（4）	遠田裕政	(3)355	1985年(昭和60)・第32巻・06号
羊のなる木、地生羊	宮下三郎	(16)368	1985年(昭和60)・第32巻・06号
適薬テストのすすめ　気の性質パート4の1	渡辺貞夫	(21)373	1985年(昭和60)・第32巻・06号
心に残った漢方　その3　甘草麻黄湯の巻	田村嘉章	(25)377	1985年(昭和60)・第32巻・06号
温知堂経験録（164）▽関節リウマチにヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯▽大防風湯で凍傷とリウマチが好転▽不妊症に調血飲▽不妊症に当帰芍薬散	矢数道明	(29)381	1985年(昭和60)・第32巻・06号
随想／「鴨」	笠原栄司	(30)382	1985年(昭和60)・第32巻・06号
古書による「陰吹」私見－金匱要略』『遊豊司命録』他より－	宮崎綾子	(32)384	1985年(昭和60)・第32巻・06号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（10）胎教の説	小野正弘	(36)388	1985年(昭和60)・第32巻・06号
漢方体験記（55）－方意と方用への散策－▽腸癰湯について	河野順	(42)394	1985年(昭和60)・第32巻・06号
漢薬ノート（40）▽紫蘇葉	鈴木堯	(44)396	1985年(昭和60)・第32巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年5月＞	協会本部／編集局	(46)398	1985年(昭和60)・第32巻・06号
漢方体験初歩“雑感”	新垣敏雄	(49)401	1985年(昭和60)・第32巻・06号
傷寒雑病弁証通釈（42）	松本一男	(52)404	1985年(昭和60)・第32巻・06号
頑固な頭痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	小野裕子	(55)407	1985年(昭和60)・第32巻・06号
「遷延分娩」に「抑肝散加減方」（遷延分娩の漢方療法）	浮田徹也	(57)409	1985年(昭和60)・第32巻・06号
望月三英の研究（2）	石田秀実	(59)411	1985年(昭和60)・第32巻・06号
急性肝炎に対する治験	三谷和合・三谷和男	(74)426	1985年(昭和60)・第32巻・06号
@1985年(昭和60)-第32巻-07号-			
針灸における瞑眩について	横田観風	(3)443	1985年(昭和60)・第32巻・07号
耳鼻咽喉疾患と漢方	船坂宗太郎	(21)461	1985年(昭和60)・第32巻・07号
船坂宗太郎教授の「漢方医学への期待」を拝読して	鎌田慶市郎	(24)464	1985年(昭和60)・第32巻・07号
温知堂経験録（165）▽慢性B型肝炎に小柴胡湯合茵チン五苓湯▽呼吸困難に治喘一方▽左側三叉神経痛に五苓湯	矢数道明	(27)467	1985年(昭和60)・第32巻・07号
急性肝炎に対する治験（2）	三谷和合・三谷和男	(29)469	1985年(昭和60)・第32巻・07号
中日双方の処方行為に関する認識論的な意見（1）	杉山広重	(32)472	1985年(昭和60)・第32巻・07号
陳旧15年糖尿病に鍼灸・湯液併用の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(36)476	1985年(昭和60)・第32巻・07号
漢方体験記（56）－方意と方用への散策－▽「人事を尽くす」ということ	河野順	(41)481	1985年(昭和60)・第32巻・07号
漢方牛歩録（44）易疲労に麻黄附子細辛湯加味	中村謙介	(43)483	1985年(昭和60)・第32巻・07号
傷寒雑病弁証通釈（43）	松本一男	(46)486	1985年(昭和60)・第32巻・07号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（11）妊娠食忌の説	小野正弘	(47)487	1985年(昭和60)・第32巻・07号
柴胡桂枝湯による腹痛治療2題	岩崎勲	(48)488	1985年(昭和60)・第32巻・07号
中島紀一先生の逝去を悼む	矢数道明	(50)490	1985年(昭和60)・第32巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年6月＞	協会本部／編集局	(51)491	1985年(昭和60)・第32巻・07号
漢薬ノート（41）▽知母	鈴木堯	(54)494	1985年(昭和60)・第32巻・07号
@1985年(昭和60)-第32巻-08号-			
イレウス（3例）に対する治験	三谷和合・三谷和男	(3)515	1985年(昭和60)・第32巻・08号
最近の諸例　▽慢性膵炎3例	土本重	(11)523	1985年(昭和60)・第32巻・08号
難治性膿瘍に湯液・鍼灸併用の著効	小池豊・小池透・小池三良助	(13)525	1985年(昭和60)・第32巻・08号
温知堂経験録（166）▽腰痛症に芍薬甘草附子湯▽貧血症に帰脾湯を与えて出産▽生理時の頭痛発作に呉茱萸湯エキス末	矢数道明	(18)530	1985年(昭和60)・第32巻・08号
漢方診療おぼえ書（96）▽腹水にＷＴＴＣ加カワラタケ▽頑固な頭痛に抑肝散▽食道炎に梔子甘草湯	緒方玄芳	(19)531	1985年(昭和60)・第32巻・08号
黄連解毒湯2題　▽瞑眩を伴って治癒した慢性副鼻腔炎▽麻の目覚めが悪い▽便秘に甘草瀉心湯	岩崎勲	(21)533	1985年(昭和60)・第32巻・08号
「産褥熱」に「桃核承気湯」	浮田徹也	(23)535	1985年(昭和60)・第32巻・08号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その1）	有地滋	(26)538	1985年(昭和60)・第32巻・08号

漢方体験記（57）－方意と方用への散策－▽胸が痛むという婦人	河野順	(30)542	1985年(昭和60)・第32巻・08号
漢方牛歩録（45）脳卒中後遺症に桃核承気湯	中村謙介	(33)545	1985年(昭和60)・第32巻・08号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（12）妊婦薬忌の説	小野正弘	(36)548	1985年(昭和60)・第32巻・08号
漢方研究室　出題：問題130　神経症4題／解答：問題126	出題・解答）小倉重成 回答）奥田・中村・佐藤	(37)549	1985年(昭和60)・第32巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年7月＞	協会本部／編集局	(42)554	1985年(昭和60)・第32巻・08号
傷寒雑病弁証通釈（44）	松本一男	(45)557	1985年(昭和60)・第32巻・08号
漢薬ノート（42）▽麻黄	鈴木堯	(47)559	1985年(昭和60)・第32巻・08号
「聞く・菊・効く」雑考	後藤実	(50)562	1985年(昭和60)・第32巻・08号
@1985年(昭和60)-第32巻-09号-			
漢方処方の薬理学的薬効分類（1）	原田正敏	(3)579	1985年(昭和60)・第32巻・09号
夏かぜの治験	木下勤	(8)584	1985年(昭和60)・第32巻・09号
温知堂経験録（167）▽潰瘍性大腸炎に胃風湯▽胃潰瘍、潰瘍性大腸炎に六君子湯加ヨク苡仁、カワラタケ▽アトピー性皮膚炎に治頭瘡一方▽リウマチの肩関節痛に二朮湯	矢数道明	(16)592	1985年(昭和60)・第32巻・09号
漢方診療おぼえ書（97）▽カンジタ性中耳炎に十味敗毒湯加連翹▽クモ膜憩室の痿証方▽夜尿症に小建中湯	緒方玄芳	(18)594	1985年(昭和60)・第32巻・09号
陰陽堂雑記（14）	池田政一	(19)595	1985年(昭和60)・第32巻・09号
ビールス結・角膜炎　－ビールス性肝炎→急性肝炎－	河内省一	(21)597	1985年(昭和60)・第32巻・09号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その2）	有地滋	(24)600	1985年(昭和60)・第32巻・09号
中日双方の処方行為に関する認識論的な意見（2）	杉山広重	(28)604	1985年(昭和60)・第32巻・09号
漢方体験記（58）－方意と方用への散策－▽竹葉石膏湯について	河野順	(32)608	1985年(昭和60)・第32巻・09号
適薬テストのすすめ　気の性質パート4の2．3及び5	渡辺貞夫	(34)910	1985年(昭和60)・第32巻・09号
最近の諸例　▽不明熱▽オムニに就て	土本重	(38)614	1985年(昭和60)・第32巻・09号
「更年期障害」の漢方治療	今泉清	(41)617	1985年(昭和60)・第32巻・09号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（13）妊婦胎を験るの説（験胎法）	小野正弘	(45)621	1985年(昭和60)・第32巻・09号
新刊紹介／長谷川弥人著『勿誤薬室「方函」「口訣」釈義』	山田光胤	(46)622	1985年(昭和60)・第32巻・09号
漢薬ノート（43）▽麦門冬	鈴木堯	(48)624	1985年(昭和60)・第32巻・09号
傷寒雑病弁証通釈（45）	松本一男	(50)626	1985年(昭和60)・第32巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年8月＞	協会本部／編集局	(51)627	1985年(昭和60)・第32巻・09号
鮎川濯三先生を想う	吉原浅吉	(53)629	1985年(昭和60)・第32巻・09号
@1985年(昭和60)-第32巻-10号-			
性器不正出血の治験	木下勤	(3)649	1985年(昭和60)・第32巻・10号
温知堂経験録（168）▽子宮筋腫で生理出血の永びくのに六君子湯▽手術後のＳ字結腸狭窄に桂枝加芍薬湯▽無月経に温経湯、生理痛に桂枝加芍薬湯▽無月経に当帰芍薬散	矢数道明	(11)657	1985年(昭和60)・第32巻・10号
漢方診療おぼえ書（98）▽痛風に桂枝越婢湯（鵜飼礼堂）▽血尿に清腸湯（寿世保元）▽咳に麦門冬湯▽頑固な咳に括楼枳実湯	緒方玄芳	(13)659	1985年(昭和60)・第32巻・10号
漢方処方の薬理学的薬効分類（2）	原田正敏	(15)661	1985年(昭和60)・第32巻・10号
漢方牛歩録（46）肩凝りに附子瀉心湯	中村謙介	(17)663	1985年(昭和60)・第32巻・10号
臨床例　▽ハント症候群に葛根加朮附湯▽三叉神経痛に電気温鍼と葛根湯	岩崎勲	(19)665	1985年(昭和60)・第32巻・10号
適薬テストのすすめ　気の性質パート6	渡辺貞夫	(21)667	1985年(昭和60)・第32巻・10号
最近の諸例　＜漢方療法と仙骨矯正法とを併用した治験例＞右三叉神経痛（右第2・3枝領域）兼蕁麻疹▽右坐骨神経痛、兼アトピー性皮膚炎▽後頭部脂肪腫	土本重	(25)671	1985年(昭和60)・第32巻・10号
「科学の形而上学化」	小口悌示	(28)674	1985年(昭和60)・第32巻・10号
傷寒雑病弁証通釈（46）	松本一男	(33)679	1985年(昭和60)・第32巻・10号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その3）	有地滋	(35)681	1985年(昭和60)・第32巻・10号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（14）胎内の児、男女をしるの説（胎性予知の法）	小野正弘	(37)683	1985年(昭和60)・第32巻・10号
網膜剥離症2例	松岡睦友	(39)685	1985年(昭和60)・第32巻・10号
出土文献による『金匱要略』の研究及び『金匱要略講話』への追補（5）	杉山広重	(44)690	1985年(昭和60)・第32巻・10号
漢方研究室　出題：問題131　「補而後瀉」、「補而後補」5題／解答：問題127	出題・解答）小倉重成 回答）宇田川・奥田・佐藤	(50)696	1985年(昭和60)・第32巻・10号
漢薬ノート（44）▽山椒	鈴木堯	(57)703	1985年(昭和60)・第32巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年9月＞	協会本部／編集局	(59)705	1985年(昭和60)・第32巻・10号
矢数道明著臨床50年『漢方治療百話』第6集の出版を祝して	木村雄四郎	(61)707	1985年(昭和60)・第32巻・10号
@1985年(昭和60)-第32巻-11号-			
“思想論”は厳密正確で、論理的に整合したものを！！－山本浩志氏に対する最終反論	小口悌示	(3)725	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方の方向－小口悌示氏「読後感」へ筆者より－	伊藤真愚	(7)729	1985年(昭和60)・第32巻・11号

アルコール性肝障害をもった病人の上気道炎の治験	三谷和合・三谷和男	(13)735	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方処方の薬理学的薬効分類（3）	原田正敏	(16)738	1985年(昭和60)・第32巻・11号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その4）	有地滋	(23)745	1985年(昭和60)・第32巻・11号
中日双方の処方行為に関する認識論的な意見（3）	杉山広重	(26)748	1985年(昭和60)・第32巻・11号
温知堂経験録（169）▽気管支喘息に華蓋散▽微熱が続いて疲れるのに滋陰至宝湯▽リウマチの膝関節水腫にヨク苡仁湯加附子	矢数道明	(30)752	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方牛歩録（47）坐骨神経痛に芍薬甘草湯	中村謙介	(32)754	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方体験記（59）ー方意と方用への散策ー▽不妊症2例	河野順	(34)756	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方診療おぼえ書（99）▽頑固な咳に麦門冬湯▽2ヵ月つづいた空咳に麦門冬湯▽月経痛に抑肝散加陳皮半夏▽微熱とさむけに麻黄細辛附子湯	緒方玄芳	(36)758	1985年(昭和60)・第32巻・11号
傷寒雑病弁証通釈（47）	松本一男	(38)760	1985年(昭和60)・第32巻・11号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（15）胎内の児、男女をしるを算法の説	小野正弘	(42)764	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方経験例　▽ケロイドのソウ痒に十味敗毒湯▽背痛に四君子湯、安中散▽長い排便時間を必要とする方に半夏厚朴湯	大村富栄	(44)766	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢薬ノート（45）▽茯苓	鈴木堯	(46)768	1985年(昭和60)・第32巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年10月＞	協会本部／編集局	(49)771	1985年(昭和60)・第32巻・11号
@1985年(昭和60)-第32巻-12号-			
類聚方とそれに続くもの	長谷川弥人	(3)789	1985年(昭和60)・第32巻・12号
温知堂経験録（170）▽胆嚢の変形症に柴胡桂枝湯▽腰椎分離症に五積散加附子▽ネフローゼ症候群に柴苓湯去生姜	矢数道明	(10)796	1985年(昭和60)・第32巻・12号
漢方診療おぼえ書（100）▽歯槽膿漏に托裏消毒散（外科正宗）▽喘息に小柴胡湯と五虎二陳湯▽喘息に五虎二陳湯	緒方玄芳	(11)797	1985年(昭和60)・第32巻・12号
アルコール性肝障害をもった病人の上気道炎の治験（2）	三谷和合・三谷和男	(13)799	1985年(昭和60)・第32巻・12号
漢方牛歩録（48）肩凝りに附子瀉心湯	中村謙介	(16)802	1985年(昭和60)・第32巻・12号
慢性中耳炎、5例	鎌田慶市郎	(19)805	1985年(昭和60)・第32巻・12号
遷延分娩の漢方療法（2）	浮田徹也	(23)809	1985年(昭和60)・第32巻・12号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その5）	有地滋	(29)815	1985年(昭和60)・第32巻・12号
漢方体験記（60）ー方意と方用への散策ー▽大黄甘草湯と大黄甘草丸	河野順	(33)819	1985年(昭和60)・第32巻・12号
“いじめ”の治験	伊藤真愚	(35)821	1985年(昭和60)・第32巻・12号
『漢方治療百話第6集』を読む	杉山広重	(37)823	1985年(昭和60)・第32巻・12号
小児喘息＜その予防のための漢方と食事の役割＞	角田朋司	(42)828	1985年(昭和60)・第32巻・12号
竹葉石膏湯と悪夢多夢	岩崎勲	(48)834	1985年(昭和60)・第32巻・12号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（16）女を転じて男となす説	小野正弘	(50)836	1985年(昭和60)・第32巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年11月＞	協会本部／編集局	(53)839	1985年(昭和60)・第32巻・12号
昭和60年度日本医師会最高優功賞小川幸男氏に授与さる	編集局	(54)840	1985年(昭和60)・第32巻・12号
@1986年(昭和61)-第33巻-01号-			
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞漢方の陰陽	小倉重成	(3)3	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	鎌田慶市郎	(3)3	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞昭和60年の回顧	矢数道明	(4)4	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	山田光胤	(4)4	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	土本重	(4)4	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	吉元昭治	(4)4	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	菊谷豊彦	(5)5	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	池田政一	(5)5	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	森下宗司	(5)5	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	小池三良助	(5)5	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	松岡睦友	(6)6	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞那智の滝	鈴木博夫	(6)6	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	中山友記	(6)6	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	松本一男	(6)6	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	矢田昌三	(7)7	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	佐藤貞美	(7)7	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	雪村八一郎	(8)8	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	大西和子	(8)8	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	柴田良治	(8)8	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	村田恭介	(8)8	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	小野正弘	(9)9	1986年(昭和61)・第33巻・01号

新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	岡野勝憲	(9)9	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	後藤実	(9)9	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	原田正敏	(9)9	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	戸部宗七郎	(9)9	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞三里の灸のすすめ	舘野健	(10)10	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	伊藤嘉紀	(10)10	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	浮田徹也	(10)10	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	宮三郎	(10)10	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	有地滋	(10)10	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	河野順	(11)11	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	桑木崇秀	(11)11	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	尚鎮国	(11)11	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	木下薫石	(12)12	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	森崎信夫	(12)12	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	吉原浅吉	(13)13	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	土田茂雄	(13)13	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	宗像敬一	(13)13	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	今泉清	(13)13	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	中村謙介	(13)13	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	長谷川弥人	(14)14	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	寺師睦宗	(14)14	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	橋口親義	(14)14	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	藤田正泰	(14)14	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	渡辺貞夫	(14)14	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	伊藤真愚	(15)15	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	田村嘉章	(15)15	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	原桃介	(15)15	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	藤平健	(15)15	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	小口悌示	(16)16	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	王旭	(16)16	1986年(昭和61)・第33巻・01号
新年のことば　＜昭和61年（1986年）＞	富田光陽	(16)16	1986年(昭和61)・第33巻・01号
赤堀昭氏に質す	真柳誠	(16)16	1986年(昭和61)・第33巻・01号
読「『医心方』所引の古文献」	小曽戸洋	(20)20	1986年(昭和61)・第33巻・01号
漢方薬竜胆瀉肝湯合四物湯による難治性帯下の治験例	今西義則	(24)24	1986年(昭和61)・第33巻・01号
伊藤真愚氏「漢方の方向」に答える－「戦術的議論」なるものは、「学問」とは無縁である－	小口悌示	(27)27	1986年(昭和61)・第33巻・01号
適薬テストのすすめ　国際東洋医学会の巻	渡辺貞夫	(34)34	1986年(昭和61)・第33巻・01号
加味逍遥散、柴陥湯の出典について	今泉清	(38)38	1986年(昭和61)・第33巻・01号
漢方研究室　出題：問題132　「補而後瀉」、「補而後補」5題／解答：問題128	出題・解答）小倉重成 回答）奥田・宇田川・佐藤	(42)42	1986年(昭和61)・第33巻・01号
漢方診療おぼえ書（101）▽痔瘻に托裏消毒散（外科正宗）▽肛門部のかゆみと帯下を訴える少女に乙字湯と当帰芍薬散	緒方玄芳	(49)49	1986年(昭和61)・第33巻・01号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（17）妊婦、腰腹に帯をまとう説（腹帯）	小野正弘	(51)51	1986年(昭和61)・第33巻・01号
中日内経学術交流会に参加して	荒木ひろし	(54)54	1986年(昭和61)・第33巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和60年12月＞	協会本部／編集局	(56)56	1986年(昭和61)・第33巻・01号
@1986年(昭和61)-第33巻-02号-			
新生児の漢方療法	浮田徹也	(3)73	1986年(昭和61)・第33巻・02号
漢方診療おぼえ書（102）▽帯状疱疹に桂枝加朮附湯▽長年にわたり不眠を訴えている主婦に加味逍遥散▽長年にわたり不眠、めまい、心悸亢進、ほてり等を訴える婦人に女神散▽不定愁訴に半夏白朮天麻湯	緒方玄芳	(13)83	1986年(昭和61)・第33巻・02号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その6）	有地滋	(15)85	1986年(昭和61)・第33巻・02号
延経期方考	塚本長太郎	(17)87	1986年(昭和61)・第33巻・02号
漢方体験記（61）－方意と方用への散策－▽小柴胡湯の「必蒸蒸而振、欲発熱汗出而解」より	河野順	(19)89	1986年(昭和61)・第33巻・02号
慢性膵炎　▽膵性下痢▽柴胡疎肝湯症	土本重	(21)91	1986年(昭和61)・第33巻・02号
気の性質パート8　適薬テストと蒙色望診法	渡辺貞夫	(24)94	1986年(昭和61)・第33巻・02号
漢方牛歩録（49）間歇性跛行に四逆加人参湯	中村謙介	(29)99	1986年(昭和61)・第33巻・02号
前立腺肥大性閉尿等に鍼灸、湯液併用の著効	小池透・小池豊・小池三良助	(31)101	1986年(昭和61)・第33巻・02号

駆オ血剤による腹満の1治験	徳留一博	(35)105	1986年(昭和61)・第33巻・02号
温知堂経験録（171）▽膠原病と診断された婦人の出産の1例▽高血圧で神経過敏な婦人に加味逍遥散その他を用いて▽視神経萎縮と全身衰弱に補中益気湯合六君子湯	矢数道明	(39)109	1986年(昭和61)・第33巻・02号
第4回国際東洋医学会を終えて	坂口弘	(42)112	1986年(昭和61)・第33巻・02号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の1）産前諸病の説	小野正弘	(47)117	1986年(昭和61)・第33巻・02号
中国の医史学者宋大仁先生の逝去を悼む	矢数道明	(50)120	1986年(昭和61)・第33巻・02号
“日本張仲景学術交流団”歓迎座談会挨拶ー「張仲景国医大学」紹介ー	趙清理	(54)124	1986年(昭和61)・第33巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年1月＞	協会本部／編集局	(57)127	1986年(昭和61)・第33巻・02号
@1986年(昭和61)-第33巻-03号-			
真柳氏に答える	赤堀昭	(3)143	1986年(昭和61)・第33巻・03号
「自然哲学」による科学思想の強化（1）	小口悌示	(7)147	1986年(昭和61)・第33巻・03号
妊娠中肉眼的血尿の漢方治験	浮田徹也	(13)153	1986年(昭和61)・第33巻・03号
「雲南白薬」の臨床経験（2）	張瓏英	(23)163	1986年(昭和61)・第33巻・03号
昭和60年（1985）漢方略史年表	矢数道明	(28)168	1986年(昭和61)・第33巻・03号
漢方牛歩録（50）冷える虚弱者に茯苓四逆湯	中村謙介	(37)177	1986年(昭和61)・第33巻・03号
漢方体験記（62）ー方意と方用への散策ー▽子宮筋腫2例	河野順	(40)180	1986年(昭和61)・第33巻・03号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その7）	有地滋	(43)183	1986年(昭和61)・第33巻・03号
漢方診療おぼえ書（103）▽めまいに苓桂朮甘湯▽気管支拡張症に苓甘姜味辛夏仁湯▽紫斑に柴胡桂枝湯と田七（末）	緒方玄芳	(47)187	1986年(昭和61)・第33巻・03号
本誌についての1私見	鎌田慶市郎	(48)188	1986年(昭和61)・第33巻・03号
温知荘雑筆　大ホクロ取り物語	矢数道明	(49)189	1986年(昭和61)・第33巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年2月＞	協会本部／編集局	(49)189	1986年(昭和61)・第33巻・03号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の2）産前諸病の説	小野正弘	(52)192	1986年(昭和61)・第33巻・03号
傷寒雑病弁証通釈（48）	松本一男	(55)195	1986年(昭和61)・第33巻・03号
@1986年(昭和61)-第33巻-04号-			
「自然哲学」による科学思想の強化（2）	小口悌示	(3)213	1986年(昭和61)・第33巻・04号
老人の便秘の弁証論治（1）	李文瑞	(8)218	1986年(昭和61)・第33巻・04号
温知堂経験録（172）▽手掌と肛門部のあれとソウ痒に秦ギョウキョウ活湯▽変形性膝関節症に防已黄耆湯加麻黄▽左脇肋下疼痛に柴胡疎肝湯	矢数道明	(14)224	1986年(昭和61)・第33巻・04号
漢方体験記（63）ー方意と方用への散策ー▽当帰芍薬散と子宮筋腫	河野順	(16)226	1986年(昭和61)・第33巻・04号
漢方診療おぼえ書（104）▽頑固な便秘に小柴胡湯▽こむら返りに鶏鳴散加茯苓（時方歌括）▽過敏性腸症候群に桂枝加芍薬湯▽中耳炎後遺症の難聴に香蘇散合苓桂味甘湯	緒方玄芳	(18)228	1986年(昭和61)・第33巻・04号
四逆湯、茯苓四逆湯で一命を得た2症例	高木嘉子	(20)230	1986年(昭和61)・第33巻・04号
漢方牛歩録（51）傷寒論の病態生理観	中村謙介	(22)232	1986年(昭和61)・第33巻・04号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の3）産前諸病の説	小野正弘	(29)239	1986年(昭和61)・第33巻・04号
葛根湯とその治験	虞成英	(31)241	1986年(昭和61)・第33巻・04号
「森枳園百年忌祭」報告	小曽戸洋・矢数道明	(33)243	1986年(昭和61)・第33巻・04号
「ＷＨＯ伝統医学研究協カセンター」開所、及びＷＨＯ主催「ハーバル・メディスン研究に関するサイエンティフィック・グループ」会議の概要報告	真柳誠	(45)255	1986年(昭和61)・第33巻・04号
張仲景学術訪中団旅程記録	張仲景学術訪中団	(52)262	1986年(昭和61)・第33巻・04号
傷寒雑病弁証通釈（49）	松本一男	(58)268	1986年(昭和61)・第33巻・04号
温知荘雑筆　ＷＨＯ指定記念講演の終りに	矢数道明	(60)270	1986年(昭和61)・第33巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年3月＞	協会本部／編集局	(61)271	1986年(昭和61)・第33巻・04号
@1986年(昭和61)-第33巻-05号-			
著効をみた唾石散（修琴堂方）の経験	桐沢奨二	(3)289	1986年(昭和61)・第33巻・05号
漢方牛歩録（52）傷寒論の寒熱と陰陽について	中村謙介	(6)292	1986年(昭和61)・第33巻・05号
治験例4例　▽関節リウマチ▽関節リウマチ▽慢性膀胱炎▽喘息（甘草麻黄湯単方使用）	田村嘉章	(14)300	1986年(昭和61)・第33巻・05号
漢方診療おぼえ書（105）▽滲出性中耳炎に小柴胡湯合香蘇散▽難治の咳に橘皮半夏湯（3例）▽難治の咳に括楼枳実湯	緒方玄芳	(17)303	1986年(昭和61)・第33巻・05号
最近の諸例　＜仙骨療法を併用して＞左下肢静脈栓症▽両下腿動脈硬化症▽その他	土本重	(19)305	1986年(昭和61)・第33巻・05号
老人の便秘の弁証論治（2）	李文瑞	(21)307	1986年(昭和61)・第33巻・05号
妊娠中諸症の漢方療法（2）	浮田徹也	(25)311	1986年(昭和61)・第33巻・05号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その8）	有地滋	(35)321	1986年(昭和61)・第33巻・05号
漢方体験記（64）ー片山草雲先生を偲んでー▽「剣道と漢方と私」より（その1）	河野順	(40)326	1986年(昭和61)・第33巻・05号

山本巌氏「耳鼻咽喉科と漢方」を拝読して	鎌田慶市郎	(41)327	1986年(昭和61)・第33巻・05号
温知堂経験録（173）▽妊娠腎後の高血圧症に当帰芍薬散料▽ネフローゼ症候群に補中益気湯合五苓散▽高血圧のめまいに大柴胡湯合苓桂朮甘湯▽リウマチにヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯	矢数道明	(43)329	1986年(昭和61)・第33巻・05号
中国出版「漢方治療百話摘編」の仕事ぶりとその意義について	杉山広茂	(45)331	1986年(昭和61)・第33巻・05号
漢方研究室　出題：問題133　今冬の感冒5題／解答：問題129	出題・解答）小倉重成 回答）奥田・佐藤	(53)339	1986年(昭和61)・第33巻・05号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の4）産前諸病の説	小野正弘	(59)345	1986年(昭和61)・第33巻・05号
治験選録　▽急性腎炎に腎炎1号湯▽嚥下困難に旋復代赭湯合半夏厚朴湯▽産後には発熱に甘露消毒丹	王旭	(61)347	1986年(昭和61)・第33巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年4月＞	協会本部／編集局	(63)349	1986年(昭和61)・第33巻・05号
@1986年(昭和61)-第33巻-06号-			
食傷・傷食と香砂平胃散及び加芍薬について	山田光胤	(3)365	1986年(昭和61)・第33巻・06号
妊娠中諸症の漢方療法（3）	浮田徹也	(9)371	1986年(昭和61)・第33巻・06号
漢方体験記（65）－片山草雲先生を偲んで－▽「剣道と漢方と私」より（その2）	河野順	(15)377	1986年(昭和61)・第33巻・06号
漢方診療おぼえ書（106）▽頭痛に呉茱萸湯兼用桂枝加桂湯▽頭痛に呉茱萸湯と桂枝茯苓丸、歯槽膿漏に托裏消毒散	緒方玄芳	(17)379	1986年(昭和61)・第33巻・06号
更年期障害・血の道症の漢方療法について	木下勤	(19)381	1986年(昭和61)・第33巻・06号
漢方経験例　▽夜尿症と鼻出血に温清飲合桂枝加竜骨牡蠣湯▽湿疹に十味敗毒湯合六君子湯加山梔子▽ぎっくり腰に芍薬甘草湯▽盗汗、幻覚、蕁麻疹のぼけ老人	大村富栄	(30)392	1986年(昭和61)・第33巻・06号
漢方独り言	白水良典	(31)393	1986年(昭和61)・第33巻・06号
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その9）	有地滋	(34)396	1986年(昭和61)・第33巻・06号
婦人科領域での気滞の治療	今泉清	(38)400	1986年(昭和61)・第33巻・06号
五積散の応用	岩崎勲	(44)406	1986年(昭和61)・第33巻・06号
中日双方の処方行為に関する認識論的な意見（4）	杉山広重	(49)411	1986年(昭和61)・第33巻・06号
陰陽堂雑記（15）	池田政一	(53)415	1986年(昭和61)・第33巻・06号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の5）産前諸病の説	小野正弘	(55)417	1986年(昭和61)・第33巻・06号
傷寒雑病弁証通釈（50）	松本一男	(58)420	1986年(昭和61)・第33巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年5月＞	協会本部／編集局	(59)421	1986年(昭和61)・第33巻・06号
@1986年(昭和61)-第33巻-07号-			
才血証診断方法とその臨床的意義	陳澤霖 訳者）吉元昭治	(3)437	1986年(昭和61)・第33巻・07号
遷延分娩の漢方療法（3）	浮田徹也	(9)443	1986年(昭和61)・第33巻・07号
五苓散が著効を呈した帯状ヘルペスの症例について	中村夫美・有地滋	(18)452	1986年(昭和61)・第33巻・07号
傷寒雑病弁証通釈（51）	松本一男	(20)454	1986年(昭和61)・第33巻・07号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の6）産前諸病の説	小野正弘	(22)456	1986年(昭和61)・第33巻・07号
気の性質、第37回学術総会の巻、その他「小児の薬方を母親で判定する試み」	渡辺貞夫	(25)459	1986年(昭和61)・第33巻・07号
温知堂経験録（174）▽猛烈な偏頭痛患者に呉茱萸湯エキス末▽小児喘息とアレルギー性鼻炎に小青竜湯エキス末▽胆石症に柴胡桂枝湯	矢数道明	(29)463	1986年(昭和61)・第33巻・07号
治験3例　▽流感2例▽歩行障害	土本重	(31)465	1986年(昭和61)・第33巻・07号
「潜証」と「補而後瀉」について	小倉重成	(34)468	1986年(昭和61)・第33巻・07号
駆才血剤投与患者の腹満の調査	徳留一博	(37)471	1986年(昭和61)・第33巻・07号
漢方診療おぼえ書（107）▽痔瘻に托裏消毒散（外科正宗）	緒方玄芳	(40)474	1986年(昭和61)・第33巻・07号
漢方体験記（66）－片山草雲先生を偲んで－▽「剣道と漢方と私」より（その3）	河野順	(45)479	1986年(昭和61)・第33巻・07号
漢薬の歴史と葛根の薬効（1）	佐竹テイ花	(47)481	1986年(昭和61)・第33巻・07号
漢方研究室　出題：問題134　心疾患5題／解答：問題130	出題・解答）小倉重成 回答）奥田・佐藤	(52)486	1986年(昭和61)・第33巻・07号
書評／藤平健先生著『漢方臨床ノート論考篇』を読んで	中村謙介	(56)490	1986年(昭和61)・第33巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年6月＞	協会本部／編集局	(58)492	1986年(昭和61)・第33巻・07号
@1986年(昭和61)-第33巻-08号-			
「東洋医学書における生薬使用の特徴に関する図形表現について」	遠田裕政・林明美・鄭秀春・高令山・楊天文	(3)509	1986年(昭和61)・第33巻・08号
温知堂経験録（175）▽子宮癌手術後に十全大補湯と加味逍遥散加カワラタケ▽喘息と糖尿病に華蓋散合八味丸料▽全身に散在多発した大疣・小疣とアトピー性皮膚炎に温清飲加ヨク苡仁・夏枯草	矢数道明	(8)514	1986年(昭和61)・第33巻・08号
芒硝と瀉利塩	宮下三郎	(10)516	1986年(昭和61)・第33巻・08号
黄祥続氏の「桂林古本≪傷寒雑病論≫的来源及其主要特点」について	杉山広重	(15)521	1986年(昭和61)・第33巻・08号
当帰鬚散の医治効能と其の実験結果に開して	ハイ元植	(19)525	1986年(昭和61)・第33巻・08号
漢方診療おぼえ書（108）▽月経痛と月経過多に紅花当帰散兼用桂枝茯苓丸▽慢性非淋菌性尿道炎兼前立腺炎に猪苓湯と騰竜湯▽難治の咳に麦門冬湯	緒方玄芳	(25)531	1986年(昭和61)・第33巻・08号

症例報告　肝の「血気」の虚・2例	松原正紘	(27)533	1986年(昭和61)・第33巻・08号
傷寒雑病弁証通釈（52）	松本一男	(30)536	1986年(昭和61)・第33巻・08号
漢方牛歩録（53）柴胡桂枝湯で治癒した風邪様症状	中村謙介	(32)538	1986年(昭和61)・第33巻・08号
漢方体験記（67）－片山草雲先生を偲んで－▽「京都漢方橘井会」と「求古荘」	河野順	(35)541	1986年(昭和61)・第33巻・08号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の7）産前諸病の説	小野正弘	(38)544	1986年(昭和61)・第33巻・08号
切迫早産の漢方療法（1）	浮田徹也	(40)546	1986年(昭和61)・第33巻・08号
清水藤太郎先生を憶う	張継有 整理）全小林・崔心玉	(49)555	1986年(昭和61)・第33巻・08号
漢方独り言	白水良典	(52)558	1986年(昭和61)・第33巻・08号
漢薬の歴史と葛根の薬効（2）	佐竹テイ花	(55)561	1986年(昭和61)・第33巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年7月＞	協会本部／編集局	(59)565	1986年(昭和61)・第33巻・08号
@1986年(昭和61)-第33巻-09号-			
一貫堂医学の現代医学での価値、難病の予防医学確立のために（その10）	有地滋	(3)581	1986年(昭和61)・第33巻・09号
「金匱要略」の浸淫瘡について	杉山広重	(7)585	1986年(昭和61)・第33巻・09号
漢方牛歩録（54）変形性膝関節症にヨク苡仁湯	中村謙介	(10)588	1986年(昭和61)・第33巻・09号
漢方診療おぼえ書（109）▽難治のめまいに沢瀉湯加霊芝▽蕁麻疹に加味逍遥散合四物湯▽頑固な腹痛、腰痛を訴える老婦人に当帰四逆湯（傷寒論）▽咽頭炎に駆風解毒湯加桔梗石膏	緒方玄芳	(13)591	1986年(昭和61)・第33巻・09号
近時雑感	宮崎綾子	(15)593	1986年(昭和61)・第33巻・09号
茶人愛好の名薬「ヨク苡仁糖」	木下勤	(18)596	1986年(昭和61)・第33巻・09号
更年期障害の治例	裘山林	(21)599	1986年(昭和61)・第33巻・09号
温知堂経験録（176）▽面疱に清上防風湯加ヨク苡仁▽胆石症とその他の訴えに柴胡桂枝湯▽全身倦怠感に補中益気湯エキス末	矢数道明	(22)600	1986年(昭和61)・第33巻・09号
妊娠中諸症の漢方療法（4）（その1）	浮田徹也	(24)602	1986年(昭和61)・第33巻・09号
「万病一風論の提唱」（1）	横田観風	(30)608	1986年(昭和61)・第33巻・09号
医院漢方経験　▽上室性期外収縮に炙甘草湯（2例）▽心室性期外収縮に炙甘草湯（2例）	渋江有明	(37)615	1986年(昭和61)・第33巻・09号
漢薬の歴史と葛根の薬効（3）	佐竹テイ花	(41)619	1986年(昭和61)・第33巻・09号
漢方体験記（68）－片山草雲先生を偲んで－▽京都薬科大学講師として（その1）	河野順	(46)624	1986年(昭和61)・第33巻・09号
傷寒雑病弁証通釈（53）	松本一男	(48)626	1986年(昭和61)・第33巻・09号
香月牛山著『婦人寿草』中巻3（18の8）産前諸病の説	小野正弘	(50)628	1986年(昭和61)・第33巻・09号
随想／サイク・ロード	笠原栄司	(53)631	1986年(昭和61)・第33巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年8月＞	協会本部／編集局	(55)633	1986年(昭和61)・第33巻・09号
@1986年(昭和61)-第33巻-10号-			
神秘湯が気管支喘息に有効であった5症例について	水尾伊津子・樋口和子・有地滋	(3)649	1986年(昭和61)・第33巻・10号
漢薬の歴史と葛根の薬効（4）	佐竹テイ花	(14)660	1986年(昭和61)・第33巻・10号
漢方体験記（69）－片山草雲先生を偲んで－▽京都薬科大学講師として（その2）	河野順	(21)667	1986年(昭和61)・第33巻・10号
「万病一風論の提唱」（2）	横田観風	(23)669	1986年(昭和61)・第33巻・10号
温知堂経験録（177）▽筋腫と嚢腫手術後の不定愁訴に加味逍遥散ほか▽烈しい頭痛に清上ケン痛湯加味方▽リウマチ様関節痛に桂枝加朮附湯エキス末	矢数道明	(30)676	1986年(昭和61)・第33巻・10号
田代三喜翁顕彰碑建立をめぐって『三喜翁古里越生にかえる』（地・人の部）	鈴木博夫	(32)678	1986年(昭和61)・第33巻・10号
「旅立ち再び」	笠原栄司	(38)684	1986年(昭和61)・第33巻・10号
傷寒雑病弁証通釈（54）	松本一男	(40)686	1986年(昭和61)・第33巻・10号
ある肺気腫の患者	岩崎勲	(44)690	1986年(昭和61)・第33巻・10号
漢方牛歩録（55）老人の慢性気管支炎に補中益気湯	中村謙介	(47)693	1986年(昭和61)・第33巻・10号
漢方診療おぼえ書（110）▽慢性腎炎（血尿）に清腸湯（寿世保元）▽胃潰瘍に加味小陥胸湯（証治大概）▽帯状疱疹による肋間神経痛に桂枝加苓朮附湯▽手術創による瘻孔に千金内托散▽水痘に五苓散	緒方玄芳	(49)695	1986年(昭和61)・第33巻・10号
漢方研究室　出題：問題135　渇5題／解答：問題131	出題・解答）小倉重成 回答）奥田	(51)697	1986年(昭和61)・第33巻・10号
新刊紹介／五十嵐金三郎編著『浅田宗伯書簡集』の刊行－本書の序文を借りて－	矢数道明	(55)701	1986年(昭和61)・第33巻・10号
新刊紹介／藤平健監修・鎌田慶市郎編著『漢方古方用語辞典』	編集局	(57)703	1986年(昭和61)・第33巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年9月＞	協会本部／編集局	(59)705	1986年(昭和61)・第33巻・10号
@1986年(昭和61)-第33巻-11号-			
「万病一風論の提唱」（3）	横田観風	(3)721	1986年(昭和61)・第33巻・11号
風邪治療での漢方薬応用の有用性への1考察	宗像敬一・宗像久美子	(10)728	1986年(昭和61)・第33巻・11号
排膿散及湯2題＜術後性頬・頸部膿腫に＞	宮崎綾子	(13)731	1986年(昭和61)・第33巻・11号

更年期障害（1）	浮田徹也	(16)734	1986年(昭和61)・第33巻・11号
医院漢方経験　▽ＷＰＷ症候群に併発した上室性期外収縮と心室性期外収縮に炙甘草湯▽上室性頻拍症に炙甘草湯▽低電位差心電図に炙甘草湯	渋江有明	(22)740	1986年(昭和61)・第33巻・11号
漢方経験例　▽蕁麻疹に十味敗毒湯▽蕁麻疹に桂麻各半湯▽皮膚ソウ痒に当帰飲子▽皮膚炎に小青竜湯▽皮膚炎に黄連解毒湯	大村富栄	(25)743	1986年(昭和61)・第33巻・11号
温知堂経験録（178）▽慢性腎炎に補気健中湯合五苓湯を長期服用して▽アレルギー性鼻炎に越婢加朮湯エキス末▽毎年凍傷で悩むのに当帰四逆湯	矢数道明	(27)745	1986年(昭和61)・第33巻・11号
頸腕症候群の1例	土本重	(28)746	1986年(昭和61)・第33巻・11号
安中散投与により一時期自他覚所見が改善した膵癌の1例	徳留一博・徳田雄一・堀之内博人・藤崎邦夫・小牧専一郎	(30)748	1986年(昭和61)・第33巻・11号
漢方牛歩録（56）細菌性膝関節炎に越婢加朮湯	中村謙介	(33)751	1986年(昭和61)・第33巻・11号
漢方体験記（70）－片山草雲先生を偲んで－▽京都薬科大学講師として（その3）	河野順	(36)754	1986年(昭和61)・第33巻・11号
傷寒雑病弁証通釈（55）	松本一男	(38)756	1986年(昭和61)・第33巻・11号
漢薬の歴史と葛根の薬効（5）	佐竹テイ花	(40)758	1986年(昭和61)・第33巻・11号
「湯類」分類（奥田氏）に基づく学習システムの工夫	杉山広重	(47)765	1986年(昭和61)・第33巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年10月＞	協会本部／編集局	(50)768	1986年(昭和61)・第33巻・11号
@1986年(昭和61)-第33巻-12号-			
三位一体の必要性－小口悌示氏への再反論－	伊藤真愚	(3)785	1986年(昭和61)・第33巻・12号
切迫早産の漢方治療（2）	浮田徹也	(13)795	1986年(昭和61)・第33巻・12号
温知堂経験録（179）＜リウマチ3題＞肥満リウマチ患者がヨク苡仁湯加減方で10キロも痩せた▽関節リウマチにヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯の長期服用▽関節リウマチにヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯で速効	矢数道明	(18)800	1986年(昭和61)・第33巻・12号
漢方体験記（71）－片山草雲先生を偲んで－▽京都薬科大学講師として（その4）	河野順	(20)802	1986年(昭和61)・第33巻・12号
「万病一風論の提唱」（4）	横田観風	(22)804	1986年(昭和61)・第33巻・12号
漢薬の歴史と葛根の薬効（6）	佐竹テイ花	(29)811	1986年(昭和61)・第33巻・12号
傷寒雑病弁証通釈（56）	松本一男	(34)816	1986年(昭和61)・第33巻・12号
肝腫瘍と桃核承気湯	松岡睦友	(36)818	1986年(昭和61)・第33巻・12号
漢方牛歩録（57）足関節滑液包炎に五苓散及び越婢加朮附湯	中村謙介	(41)823	1986年(昭和61)・第33巻・12号
漢方研究室　出題：問題136　眩暈5題／解答：問題132	出題・解答）小倉重成 回答）奥田	(43)825	1986年(昭和61)・第33巻・12号
中山友記先生ご訃報	宮崎綾子	(47)829	1986年(昭和61)・第33巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年11月＞	協会本部／編集局	(48)830	1986年(昭和61)・第33巻・12号
@1987年(昭和62)-第34巻-01号-			
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	池田政一	(4)4	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	伊藤真愚	(4)4	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	伊藤嘉紀	(4)4	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	今泉清	(4)4	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	浮田徹也	(4)4	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	大西和子	(5)5	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	岡野正憲	(5)5	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞北岳	小倉重成	(5)5	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	小野正弘	(5)5	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	勝田正泰	(6)6	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	鎌田慶市郎	(6)6	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	河野順	(6)6	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	菊谷豊彦	(7)7	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞江戸に学ぶ	木下勤	(7)7	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	木村雄四郎	(8)8	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	桑木崇秀	(8)8	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	小池三良助	(8)8	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞霊芝と紫根	小曽戸丈夫	(9)9	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	小曽戸洋	(9)9	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	後藤實	(9)9	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	佐藤貞美	(10)10	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	柴田良治	(10)10	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	鈴木博夫	(11)11	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	宗田一	(11)11	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞三輪空寂	舘野健	(11)11	1987年(昭和62)・第34巻・01号

新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	田村嘉章	(11)11	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	土本重	(12)12	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	寺師睦宗	(12)12	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	富田光陽	(12)12	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	戸部宗七郎	(12)12	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞「漢方エキスの新製剤に思う」	長瀬千秋	(12)12	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	中村謙介	(13)13	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	難波恒夫	(13)13	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	橋口親義	(13)13	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	橋本行生	(14)14	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	長谷川弥人	(14)14	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	原桃介	(14)14	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	原田正敏	(15)15	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	藤平健	(15)15	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	松岡睦友	(15)15	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	松下嘉一	(15)15	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	松本一男	(15)15	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	宮崎綾子	(16)16	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	宮下三郎	(16)16	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	宗像敬一	(16)16	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	村田恭介	(17)17	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	室賀昭三	(17)17	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	森崎信夫	(17)17	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	森下宗司	(17)17	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	矢数道明	(18)18	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	矢田昌三	(18)18	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	山田光胤	(19)19	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	雪村八一郎	(19)19	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	横田観風	(20)20	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	吉元昭治	(20)20	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	渡辺貞夫	(20)20	1987年(昭和62)・第34巻・01号
新年のことば　＜昭和62年（1987年）＞	尚鎮国	(21)21	1987年(昭和62)・第34巻・01号
不定愁訴の治験例	今泉清	(22)22	1987年(昭和62)・第34巻・01号
温知堂経験録（180）▽過敏性大腸炎に真武湯合人参湯▽リウマチと慢性胃腸炎に真武湯合人参湯▽慢性胃腸炎と高血圧に真武湯合人参湯エキス末	矢数道明	(30)30	1987年(昭和62)・第34巻・01号
漢方牛歩録（58）主婦湿疹に麻杏ヨク甘湯	中村謙介	(32)32	1987年(昭和62)・第34巻・01号
漢方体験記（72）－片山草雲先生を偲んで－▽京都薬科大学講師として（その5）	河野順	(35)35	1987年(昭和62)・第34巻・01号
「万病一風論の提唱」（5）	横田観風	(38)38	1987年(昭和62)・第34巻・01号
漢薬の歴史と葛根の薬効（7）	佐竹テイ花	(45)45	1987年(昭和62)・第34巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和61年12月＞	協会本部／編集局	(52)52	1987年(昭和62)・第34巻・01号
@1987年(昭和62)-第34巻-02号-			
仙骨法を応用して	土本重	(3)67	1987年(昭和62)・第34巻・02号
温知堂経験録（181）▽慢性関節リウマチにヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯▽いびきと夜尿症が小柴胡湯合葛根湯エキス末でよくなる▽アレルギー性鼻炎・喘咳・嗅覚脱失に小青竜湯エキス末	矢数道明	(6)70	1987年(昭和62)・第34巻・02号
不定愁訴の漢方療法（1）	浮田徹也	(8)72	1987年(昭和62)・第34巻・02号
漢方診療おぼえ書（111）▽膀胱ポリープにカワラタケを含む五淋散加味方▽糖尿病に小柴胡湯と八味丸▽喘息の兄妹の例▽痔瘻に托裏消毒散2例▽蓄膿症に葛根湯加川キュウ辛夷桔梗黄ゴン、鼻ポリープに辛夷清肺湯▽膝関節水腫に防已黄耆湯▽嗄声に四物湯加三味▽原因不明の蕁麻疹に十味敗毒湯加連翹、次いで香蘇散　ほか	緒方玄芳	(15)79	1987年(昭和62)・第34巻・02号
漢方牛歩録（59）湿疹に黄連解毒湯	中村謙介	(21)85	1987年(昭和62)・第34巻・02号
李時珍の末裔	宮下三郎	(23)87	1987年(昭和62)・第34巻・02号
漢方体験記（73）－片山草雲先生を偲んで－▽京都薬科大学講師として（その6）	河野順	(30)94	1987年(昭和62)・第34巻・02号
「万病一風論の提唱」（6）	横田観風	(32)96	1987年(昭和62)・第34巻・02号
漢薬の歴史と葛根の薬効（8）	佐竹テイ花	(39)103	1987年(昭和62)・第34巻・02号
第2回日中学術交流会に参加して	十河孝博	(42)106	1987年(昭和62)・第34巻・02号

先哲経験夜話	松本一男	(44)108	1987年(昭和62)・第34巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年1月＞	協会本部／編集局	(48)112	1987年(昭和62)・第34巻・02号
@1987年(昭和62)-第34巻-03号-			
臨床腹診考（1）	山田光胤	(3)131	1987年(昭和62)・第34巻・03号
黄疸の分類ー「五疸」（黄疸、穀疸、酒疸、女郎疸、黒疸）に関するノート	杉山広重	(7)135	1987年(昭和62)・第34巻・03号
健康保険による漢方治療	向後健	(14)142	1987年(昭和62)・第34巻・03号
漢方診療おぼえ書（112）▽顔面吹き出物に十味敗毒湯加連翹兼用桂枝茯苓丸▽顔のシミに当帰芍薬散加ヨク苡仁▽顔面の吹き出物に当帰芍薬散加ヨク苡仁、大黄兼用桂枝茯苓丸▽変形性膝関節症にヨク苡仁湯、腰痛に牛車腎気丸料▽変形性関節症に疎経活血湯加味方（衆方規矩）▽下痢に真武湯、次いで胃風湯	緒方玄芳	(16)144	1987年(昭和62)・第34巻・03号
漢方牛歩録（60）動悸に桂枝加竜骨牡蠣湯	中村謙介	(19)147	1987年(昭和62)・第34巻・03号
読『本邦名医類案』	安井廣迪	(23)151	1987年(昭和62)・第34巻・03号
漢方界おもてうら（1）再登場の弁	伊藤清夫	(31)159	1987年(昭和62)・第34巻・03号
温知荘雑筆　塩釜の遊佐一貫堂について	矢数道明	(32)160	1987年(昭和62)・第34巻・03号
漢方体験記（74）ー片山草雲先生を偲んでー▽京都薬科大学講師として（その7）	河野順	(36)164	1987年(昭和62)・第34巻・03号
「万病一風論の提唱」（7）	横田観風	(38)166	1987年(昭和62)・第34巻・03号
漢薬の歴史と葛根の薬効（9）	佐竹テイ花	(46)174	1987年(昭和62)・第34巻・03号
会議概要報告／北里研東医研及び各界よりＷＨＯ伝統統医学国際会議に代表が出席	編集局	(53)181	1987年(昭和62)・第34巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年2月＞	協会本部／編集局	(55)183	1987年(昭和62)・第34巻・03号
@1987年(昭和62)-第34巻-04号-			
巻頭言／初心に帰って、再出発を	矢数道明	(3)197	1987年(昭和62)・第34巻・04号
臨床腹診考（2）	山田光胤	(5)199	1987年(昭和62)・第34巻・04号
傷寒論「大陰病」私見	佐藤貞美	(9)203	1987年(昭和62)・第34巻・04号
温知堂経験録（182）▽痔漏の痒みに秦ギョウキョウ活湯▽小児喘息に麻杏甘石湯エキス末▽小児喘息に小青竜湯エキス末がよく効いた例	矢数道明	(18)212	1987年(昭和62)・第34巻・04号
漢方診療おぼえ書（113）▽反復する痙攣に抑肝散加陳皮半夏湯▽自律神経失調症に十全大補湯▽長年続いた高血圧と鼻出血に八味地黄湯去附子加乾生姜釣藤鉤黄柏、兼用黄連解毒湯▽胸腹部動悸を訴える患者に抑肝散加陳皮半夏湯▽左肩関節周囲炎に葛根湯加蒼朮ヨク苡仁▽下腿部赤褐色斑に柴胡桂枝湯兼用田七	緒方玄芳	(20)214	1987年(昭和62)・第34巻・04号
漢方牛歩録（61）慢性頭重に釣藤散	中村謙介	(24)218	1987年(昭和62)・第34巻・04号
しびれに対する通導散（エキス）および刺絡療法	雪村八一郎・徳里政助	(30)224	1987年(昭和62)・第34巻・04号
薬師という言葉	後藤實	(34)228	1987年(昭和62)・第34巻・04号
漢方界おもてうら（2）伊東弥恵治先生（1）	伊藤清夫	(36)230	1987年(昭和62)・第34巻・04号
「万病一風論の提唱」（8）	横田観風	(37)231	1987年(昭和62)・第34巻・04号
漢方体験記（75）ー片山草雲先生を偲んでー▽『吉益南涯墓前　花筒奉献式　並　荒木正胤先生追悼会』の思い出より（その1）	河野順	(45)239	1987年(昭和62)・第34巻・04号
吉田一郎氏の逝去を悼む	矢数道明	(47)241	1987年(昭和62)・第34巻・04号
昭和61年（1986）漢方略史年表	矢数道明	(48)242	1987年(昭和62)・第34巻・04号
トピックス／日本医学会総会東洋医学サテライトシンポジウム開催／日本医史学会、北里大学で開催／『中医雑誌』日本語版創刊	編集局	(55)249	1987年(昭和62)・第34巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年3月＞	協会本部／編集局	(56)250	1987年(昭和62)・第34巻・04号
@1987年(昭和62)-第34巻-05号-			
巻頭言	坂口弘	(3)265	1987年(昭和62)・第34巻・05号
座談会／21世紀に向けての東洋医学の役割	司会）伊藤清夫 矢数道明・坂口弘・山田光胤・原桃介	(5)267	1987年(昭和62)・第34巻・05号
日本漢方の特質	山崎正寿	(16)278	1987年(昭和62)・第34巻・05号
臨床腹診考（3）	山田光胤	(23)285	1987年(昭和62)・第34巻・05号
温知堂経験録（183）▽顔面・背部の膿疱発疹に清上防風湯▽頑固な湿疹が数日間で消失し、歯ぎしりが抑肝散加陳皮半夏でピタリと治まる▽老人性冬期ソウ痒症に当帰飲子	矢数道明	(27)289	1987年(昭和62)・第34巻・05号
漢方研究室　解答：問題133	解答）小倉重成 回答）宇田川	(29)291	1987年(昭和62)・第34巻・05号
漢方牛歩録（62）頻尿を伴うソウ痒症に苓姜朮甘湯	中村謙介	(32)294	1987年(昭和62)・第34巻・05号
読『本邦名医類案』その2	安井廣迪	(36)298	1987年(昭和62)・第34巻・05号
漢方界おもてうら（3）伊東弥恵治先生（2）	伊藤清夫	(40)302	1987年(昭和62)・第34巻・05号
温知荘雑筆　漢洋脚気病院に登場する「小林恒」のこと	矢数道明	(42)304	1987年(昭和62)・第34巻・05号
漢薬の歴史と葛根の薬効（10）	佐竹テイ花	(46)308	1987年(昭和62)・第34巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年4月＞	協会本部／編集局	(56)318	1987年(昭和62)・第34巻・05号
@1987年(昭和62)-第34巻-06号-			

巻頭言	間中喜雄	(3)333	1987年(昭和62)・第34巻・06号
臨床腹診考（4）	山田光胤	(4)334	1987年(昭和62)・第34巻・06号
茵チン五苓散により、一時期黄疸の改善をみた非代償性肝硬変の1例	峯尚志	(9)339	1987年(昭和62)・第34巻・06号
本態性振戦に防已茯苓湯	岩崎勲	(13)343	1987年(昭和62)・第34巻・06号
適薬テストのすすめ　気の性質（パート9）陰陽八分画面（間中）との関連	渡辺貞夫	(16)346	1987年(昭和62)・第34巻・06号
漢方牛歩録（63）脱力感に真武湯	中村謙介	(23)353	1987年(昭和62)・第34巻・06号
温知堂経験録（184）▽慢性片頭痛に呉茱萸湯エキス末▽リウマチに桂枝二越婢一湯加朮附湯▽S字結腸潰瘍（癌の疑い）に桂枝加芍薬湯	矢数道明	(28)358	1987年(昭和62)・第34巻・06号
漢方研究室　解答：問題134	解答）小倉重成	(30)360	1987年(昭和62)・第34巻・06号
漢方界おもてうら（4）伊東弥恵治先生（3）	伊藤清夫	(34)364	1987年(昭和62)・第34巻・06号
漢方体験記（76）－片山草雲先生を偲んで－▽『吉益南涯墓前　花筒奉献式　並　荒木正胤先生追悼会』の思い出より（その2）	河野順	(37)367	1987年(昭和62)・第34巻・06号
「万病一風論の提唱」（9）	横田観風	(39)369	1987年(昭和62)・第34巻・06号
原塾々長　島田隆司氏よりの通信	島田隆司	(45)375	1987年(昭和62)・第34巻・06号
“異なるコンテクト”にも依拠するということ－伊藤真愚氏へ－	小口悌示	(46)376	1987年(昭和62)・第34巻・06号
後世を思う寸志－小口悌示氏への最終反論－	伊藤真愚	(51)381	1987年(昭和62)・第34巻・06号
書評／寺師睦宗先生編著『臨床八十方・金匱要略』を読んで	藤井美樹	(57)387	1987年(昭和62)・第34巻・06号
トピックス／日本東洋医学会　東京で開催／日本東洋医学会の新役員決定	編集局	(58)388	1987年(昭和62)・第34巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年5月＞	協会本部／編集局	(61)391	1987年(昭和62)・第34巻・06号
@1987年(昭和62)-第34巻-07号-			
巻頭言／希代の医書『傷寒論』	藤平健	(3)407	1987年(昭和62)・第34巻・07号
知愚庵治験録（1）	間中喜雄	(4)408	1987年(昭和62)・第34巻・07号
臨床腹診考（5）	山田光胤	(6)410	1987年(昭和62)・第34巻・07号
成人病に対する漢方治療－血小板凝集能の変動について－	広田曄子	(12)416	1987年(昭和62)・第34巻・07号
温知堂経験録（185）▽顔を除く全身の尋常性乾癬に大柴胡湯合黄連解毒湯▽湿疹と爪囲炎に加味逍遥散加地骨皮・荊芥と紫雲膏▽顔面の扁平性疣贅にヨク苡仁・甘草・夏枯草湯	矢数道明	(17)421	1987年(昭和62)・第34巻・07号
漢方研究室　解答：問題135	解答）小倉重成	(20)424	1987年(昭和62)・第34巻・07号
漢方診療おぼえ書（114）▽蕁麻疹にキョ風敗毒湯（寿世保元）▽アトピー性皮膚炎にキョ風敗毒散（寿世保元）	緒方玄芳	(24)428	1987年(昭和62)・第34巻・07号
漢方牛歩録（64）背部悪寒の激しい風邪に茯苓四逆湯兼麻黄附子細辛湯	中村謙介	(27)431	1987年(昭和62)・第34巻・07号
尿路結石に三金湯	兪慎初・尚林榕	(30)434	1987年(昭和62)・第34巻・07号
読『本邦名医類案』その3	安井廣迪	(32)436	1987年(昭和62)・第34巻・07号
武見会長が漢方製剤を薬価基準に登載の決意をするまでの背景－原田正敏博士の書簡に答えて－	矢数道明	(38)442	1987年(昭和62)・第34巻・07号
漢方界おもてうら（5）千葉大学東洋医学研究会	伊藤清夫	(44)448	1987年(昭和62)・第34巻・07号
質疑応答	答）山田光胤	(48)452	1987年(昭和62)・第34巻・07号
漢方体験記（77）－片山草雲先生を偲んで－▽『吉益南涯墓前　花筒奉献式　並　荒木正胤先生追悼会』の思い出より（その3）	河野順	(50)454	1987年(昭和62)・第34巻・07号
「万病一風論の提唱」（10）	横田観風	(52)456	1987年(昭和62)・第34巻・07号
トピックス／消化器外科漢方研究会開催される	編集局	(57)461	1987年(昭和62)・第34巻・07号
書評／橋本敬三論想集『生体の歪みを正す』	間中喜雄	(58)462	1987年(昭和62)・第34巻・07号
書評／汪昂著・寺師睦宗訓『臨床百味本草備要』『臨床百方医方集解』	高山宏世	(58)462	1987年(昭和62)・第34巻・07号
新刊紹介／松田邦夫・稲木一元共著『臨床医のための漢方〔基礎編〕／中島一著『皮膚科の漢方治療〔弁証と臨床〕	編集局	(61)465	1987年(昭和62)・第34巻・07号
十勝遠望	笠原栄司	(62)466	1987年(昭和62)・第34巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年6月＞	協会本部／編集局	(64)468	1987年(昭和62)・第34巻・07号
@1987年(昭和62)-第34巻-08号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（1）孫思バク	小曽戸洋	(2)482	1987年(昭和62)・第34巻・08号
巻頭言／中医薬国際学術会議に出席して	室賀昭三	(7)487	1987年(昭和62)・第34巻・08号
座談会／皮膚疾患診療余話	矢数道明・松田邦夫・細野八郎・矢数圭堂 司会）室賀昭三 誌上参加）大塚恭男	(8)488	1987年(昭和62)・第34巻・08号
『茶色の下りもの』1症例	宮崎綾子	(25)505	1987年(昭和62)・第34巻・08号
知愚庵治験録（2）	間中喜雄	(28)508	1987年(昭和62)・第34巻・08号
臨床腹診考（6）	山田光胤	(30)510	1987年(昭和62)・第34巻・08号
白内障余談	藤平健	(34)514	1987年(昭和62)・第34巻・08号
『康治本傷寒論』考（1）	岡本洋明	(38)518	1987年(昭和62)・第34巻・08号
望診からパラダイムへの展望と実践	佐々木雄次	(51)531	1987年(昭和62)・第34巻・08号

漢方界おもてうら（6）千葉大学東洋医学研究会（続）	伊藤清夫	(58)538	1987年(昭和62)・第34巻・08号
中医学術交流の旅－北京・南京－	平馬直樹	(62)542	1987年(昭和62)・第34巻・08号
トピックス／中国医療施設視察団報告	鎌田慶市郎	(68)548	1987年(昭和62)・第34巻・08号
書評／『難経解説』難経訳釈（日本語版）－原題	間中喜雄	(69)549	1987年(昭和62)・第34巻・08号
書評／寺師睦宗編『臨床八十方・金匱要略』	原田康治	(69)549	1987年(昭和62)・第34巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年7月＞	協会本部／編集局	(78)558	1987年(昭和62)・第34巻・08号
@1987年(昭和62)-第34巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（2）曲直瀬玄朔賛　神農像	杉立路山	(2)570	1987年(昭和62)・第34巻・09号
巻頭言／古方の妙	渡邊武	(7)575	1987年(昭和62)・第34巻・09号
座談会／「日本漢方の特徴」夜話	矢数道明・藤平健・坂口弘・山田光胤 司会）伊藤清夫	(9)577	1987年(昭和62)・第34巻・09号
メニエール病の治験	藤平健	(24)592	1987年(昭和62)・第34巻・09号
知愚庵治験録（3）	間中喜雄	(28)596	1987年(昭和62)・第34巻・09号
温知堂経験録（186）▽声帯ポリープと嗄声に半夏厚朴湯と響声破笛丸料▽頑固な不眠症に竹茹温胆湯▽外感後の微熱に滋陰至宝湯	矢数道明	(30)598	1987年(昭和62)・第34巻・09号
漢方診療おぼえ書（115）▽流産癖に桂枝茯苓丸、次いで当帰芍薬散▽掌蹠膿疱症に五苓散加桔梗石膏▽カゼに竹茹温胆湯▽慢性胃炎に延年半夏湯	緒方玄芳	(32)600	1987年(昭和62)・第34巻・09号
生理痛の漢方療法（1）	浮田徹也	(34)602	1987年(昭和62)・第34巻・09号
漢方牛歩録（65）悪寒、腹満、身体痛の下痢に真武湯	中村謙介	(42)610	1987年(昭和62)・第34巻・09号
『康治本傷寒論』考（2）	岡本洋明	(45)613	1987年(昭和62)・第34巻・09号
漢方界おもてうら（7）長浜善夫君のことなど（1）	伊藤清夫	(54)622	1987年(昭和62)・第34巻・09号
漢方体験記（78）－片山草雲先生を偲んで－▽『吉益南涯墓前　花筒奉献式　並　荒木正胤先生追悼会』の思い出より（その4）	河野順	(56)624	1987年(昭和62)・第34巻・09号
「万病一風論の提唱」（11）	横田観風	(58)626	1987年(昭和62)・第34巻・09号
学会・研究会関係情報／第4回和漢医薬学会、盛大に開催	編集局	(62)630	1987年(昭和62)・第34巻・09号
石野信安先生の逝去を悼む	矢数道明	(68)636	1987年(昭和62)・第34巻・09号
石野信安先生の逝去を悼む／石野信安先生、安らかに	土屋伊磋雄	(69)637	1987年(昭和62)・第34巻・09号
急報・岡野正憲氏逝去	編集局	(69)637	1987年(昭和62)・第34巻・09号
書評／丁宗鐵編『和英東洋医学用語集』	室賀昭三	(74)642	1987年(昭和62)・第34巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年8月＞	協会本部／編集局	(76)644	1987年(昭和62)・第34巻・09号
@1987年(昭和62)-第34巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（3）法隆寺の香薬に残るペルシャ文字	小曽戸洋	(2)654	1987年(昭和62)・第34巻・10号
巻頭言／学会雑感	丁宗鐵	(7)659	1987年(昭和62)・第34巻・10号
老人の高血圧症に対する釣藤散を中心とした漢方薬の治療について	原敬二郎	(8)660	1987年(昭和62)・第34巻・10号
東洋堂経験余話（1）▽七気湯治験▽肺気腫に木防已湯	松本一男	(16)668	1987年(昭和62)・第34巻・10号
臨床腹診考（7）	山田光胤	(19)671	1987年(昭和62)・第34巻・10号
温知堂経験録（187）▽産後2年間乳汁分泌過多症と無月経に麦芽煎と十全大補湯を用いて▽脾彎曲症に疎肝湯を用いて	矢数道明	(24)676	1987年(昭和62)・第34巻・10号
知愚庵治験録（4）	間中喜雄	(28)680	1987年(昭和62)・第34巻・10号
漢方診療おぼえ書（116）▽季節性のアレルギー性鼻炎に対する予防に黄耆建中湯▽膝関節水腫（変形性関節症に因る）に防已黄耆湯を、関節部疼痛にヨク苡仁湯▽進行性指掌角皮症に加味逍遥散合四物湯	緒方玄芳	(30)682	1987年(昭和62)・第34巻・10号
漢方牛歩録（66）激しい水様下痢に甘草瀉心湯	中村謙介	(32)684	1987年(昭和62)・第34巻・10号
妊娠中毒症の東洋医学的考察（上）	今泉清	(36)688	1987年(昭和62)・第34巻・10号
「万病一風論の提唱」（12）	横田観風	(45)697	1987年(昭和62)・第34巻・10号
漢方体験記（79）－片山草雲先生を偲んで－「先生と俳句」について（その1）	河野順	(50)702	1987年(昭和62)・第34巻・10号
漢方界おもてうら（8）長浜善夫君のことなど（2）	伊藤清夫	(53)705	1987年(昭和62)・第34巻・10号
鎮魂の辞　岡野正憲先生へ捧ぐ	山田光胤	(54)706	1987年(昭和62)・第34巻・10号
よき家庭人だった岡野正憲先生	土屋伊磋雄	(55)707	1987年(昭和62)・第34巻・10号
学会・研究会レポート／第1か日中東洋医学会議開会	編集局	(56)708	1987年(昭和62)・第34巻・10号
トピックス／初代曲直瀬道三生誕480年祭り開催／細野史郎先生米寿祝賀会開宴／藤平健先生上海中医学院客員教授を祝う会開催	編集局	(58)710	1987年(昭和62)・第34巻・10号
近代漢方セミナー特別記念講演	編集局	(63)715	1987年(昭和62)・第34巻・10号
新刊紹介／稲木一元著『新・漢方薬教室－最新の知識と適切な治療法－』	編集局	(68)720	1987年(昭和62)・第34巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年9月＞	協会本部／編集局	(70)722	1987年(昭和62)・第34巻・10号
@1987年(昭和62)-第34巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（4）躋寿殿の扁額と神農像	小曽戸洋	(2)734	1987年(昭和62)・第34巻・11号
巻頭言／名品に重いものなし	松田邦夫	(7)739	1987年(昭和62)・第34巻・11号

＜ウチダ和漢薬漢方同好会講演より再編成＞漢方の正攻法と奇計法－乱世のいくさ稽古と医術稽古は同じ道理－	寺師睦宗	(8)740	1987年(昭和62)・第34巻・11号
臨床腹診考（8）	山田光胤	(22)754	1987年(昭和62)・第34巻・11号
知愚庵治験録（5）	間中喜雄	(28)760	1987年(昭和62)・第34巻・11号
東洋堂経験余話（2）▽盗汗に当帰六黄湯▽当帰建中湯加味の奇効	松本一男	(30)762	1987年(昭和62)・第34巻・11号
漢方・仙骨療法を併用した諸例	土本重	(34)766	1987年(昭和62)・第34巻・11号
漢方診療おぼえ書（117）▽項部の凝り、痛みに桂枝加葛根湯（3例）▽肩関節挙上運動時の疼痛に当帰拈痛湯（蘭宝）▽乳児湿疹に治頭瘡一方	緒方玄芳	(38)770	1987年(昭和62)・第34巻・11号
漢方牛歩録（67）医学生の烏頭中毒例	中村謙介	(40)772	1987年(昭和62)・第34巻・11号
妊娠中毒症の東洋医学的考察（中）	今泉清	(44)776	1987年(昭和62)・第34巻・11号
温知荘雑筆　日本漢方戦前・戦中・戦後の展望－	矢数道明	(48)780	1987年(昭和62)・第34巻・11号
漢方界おもてうら（9）長浜善夫君のことなど（3）	伊藤清夫	(52)784	1987年(昭和62)・第34巻・11号
ヨハネス・カサハワ氏と「インドネシヤ・薬用植物　インデックス（英文）	杉山広重	(54)786	1987年(昭和62)・第34巻・11号
「万病一風論の提唱」（13）	横田観風	(57)789	1987年(昭和62)・第34巻・11号
祝辞－藤平健先生　上海中医学院客員教授就任を祝う会－	笠原栄司	(64)796	1987年(昭和62)・第34巻・11号
学会・研究会レポート／第15回千葉東洋医学シンポジウム・日本東洋医学会関東甲信越支部会・各地の支部会報告より抜粋	編集局	(66)798	1987年(昭和62)・第34巻・11号
トピックス／唐招提寺に鑑真和上記念薬草園／日本生薬学会新会長に名取信策氏	編集局	(69)801	1987年(昭和62)・第34巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年10月＞	協会本部／編集局	(75)807	1987年(昭和62)・第34巻・11号
@1987年(昭和62)-第34巻-12号-＜曲直瀬道三生誕480年記念特集号＞			
＜口絵＞曲直瀬一渓道三肖像、曲直瀬道三と『玉機微義』、道三書状、岡本玄冶画像ほか	矢数道明	(2)818	1987年(昭和62)・第34巻・12号
今大路家・曲直瀬家家系及び学統一覧	矢数道明		1987年(昭和62)・第34巻・12号
曲直瀬道三生誕480年記念特集号発刊に当って	矢数道明	(13)829	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞曲直瀬道三の医術－その概要－	安井廣迪	(14)830	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞曲直瀬道三の二脈書について	佐藤貞美	(21)837	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞『啓迪集』の構成について	安井廣迪	(32)848	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞『啓迪集』及び『切紙』の「四証四治」からみた心下の腹証	小川新	(38)854	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞一渓道三伝補遺	宗田一	(44)860	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞『切紙』57ヶ条にみる道三の識見と思想	矢数道明	(48)864	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞北村宗龍をめぐる曲直瀬道三関係の資料	大谷雅彦	(52)868	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞曲直瀬道三の弟子達	編集局	(58)874	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞鉄牛禅師賛　岡本玄冶画像	杉立路山	(64)680	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞慶應義塾所蔵　曲直瀬家文書について－綸旨・口宣案と玄朔門下誓詞を中心として－	高橋正彦	(66)882	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞曲直瀬養安院家の人々－麻布天麻寺に遺存する資料等から－	小曽戸洋	(87)903	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞曲直瀬・今大路家歴代の遺墨解説	矢数道明	(108)924	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞曲直瀬道三医案集	編集局	(118)934	1987年(昭和62)・第34巻・12号
＜曲直瀬道三生誕480年記念＞初代道三後の曲直瀬家の家系	安井廣迪	(148)964	1987年(昭和62)・第34巻・12号
曲直瀬道三年譜	矢数道明	(150)966	1987年(昭和62)・第34巻・12号
『国書総目録』所載道三著作輯	編集局	(153)969	1987年(昭和62)・第34巻・12号
初代曲直瀬道三生誕480年祭　併　岡本玄冶生誕400年祭　アルバム（昭和62年9月13日）	編集局	(160)976	1987年(昭和62)・第34巻・12号
学会・研究会レポート／日本漢方協会学術大会各地の東洋医学支部より抜粋	編集局	(162)978	1987年(昭和62)・第34巻・12号
トピックス／神農祭、盛大に行われる	編集局	(165)981	1987年(昭和62)・第34巻・12号
急報／有地滋氏逝去・坂本浩二氏逝去	編集局	(166)982	1987年(昭和62)・第34巻・12号
第1回国際中医腫瘍研究会に出席して	室賀昭三	(167)983	1987年(昭和62)・第34巻・12号
前方術信和会会長　富居梅枝先生の死を悼む	藤本肇	(168)984	1987年(昭和62)・第34巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年11月＞	協会本部／編集局	(171)987	1987年(昭和62)・第34巻・12号
@1988年(昭和63)-第35巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（5）『小品方』－最近発見された尊経閣文庫所蔵残巻－	小曽戸洋・真柳誠	(2)2	1988年(昭和63)・第35巻・01号
巻頭言／年頭の辞	大塚恭男	(9)9	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	秋葉哲生	(11)11	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	石野尚吾	(11)11	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	伊藤真愚	(11)11	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	今泉清	(11)11	1988年(昭和63)・第35巻・01号

新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	今田屋章	(11)11	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	浮田徹也	(12)12	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	江川充	(12)12	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	王瑞雲	(12)12	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	太田早苗	(12)12	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞ときめき	大友一夫	(13)13	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	大貫進	(13)13	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	大村明	(13)13	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	大村富栄	(13)13	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	小野文恵	(14)14	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	小野正弘	(14)14	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	遠田裕政	(14)14	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	笠原栄司	(15)15	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	勝田正泰	(15)15	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	鎌田慶市郎	(15)15	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	河野順	(15)15	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	菊谷豊彦	(16)16	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	木下勤	(16)16	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞今大路家の掛軸	木下恒雄	(17)17	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	木村雄四郎	(17)17	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	倉島宗二	(17)17	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	桑木崇秀	(18)18	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	小池三良助	(18)18	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	向後健	(19)19	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	小曽戸丈夫	(19)19	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	小曽戸洋	(19)19	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	後藤實	(19)19	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	坂口弘	(20)20	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	佐々木雄次	(20)20	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞辰歳の寝言「賀竜健生」	佐竹テイ花	(20)20	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	佐藤貞美	(21)21	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	柴田良治	(21)21	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	尚鎮国	(22)22	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	神靖衛	(22)22	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	杉立義一	(22)22	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	鈴木博夫	(23)23	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	高山宏世	(23)23	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	田家照生	(23)23	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞大地と光と風と	田畑隆一郎	(23)23	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	玉置新治	(24)24	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	田村嘉章	(24)24	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	鎮西弘	(24)24	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	土木重	(25)25	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	寺澤捷年	(25)25	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	寺師睦宗	(25)25	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	戸部宗七郎	(25)25	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	豊田白詩	(25)25	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	中神倭文夫	(26)26	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	中島泰三	(26)26	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	長瀬千秋	(26)26	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	中田敬吾	(27)27	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	中村謙介	(27)27	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	中村實郎	(27)27	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	鍋谷欣市	(27)27	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	難波恒雄	(27)27	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	西畑邦夫	(28)28	1988年(昭和63)・第35巻・01号

新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	西脇平士	(28)28	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	橋口親義	(29)29	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	橋本行生	(29)29	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	長谷川弥人	(29)29	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞健康保険対策	原敬二郎	(29)29	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	原桃介	(30)30	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	原田正敏	(30)30	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	広瀬滋之	(30)30	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	藤平健	(30)30	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	細井大二	(31)31	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	松岡睦友	(31)31	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	松田邦夫	(31)31	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	松本一男	(31)31	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞お茶	松本克彦	(32)32	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	間中喜雄	(32)32	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	真柳誠	(32)32	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	三谷和合	(33)33	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞「ハイテクノロジー時代の経験漢方」	宮川昭平	(33)33	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	宮崎綾子	(33)33	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	宮沢康朗	(34)34	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	牟田光一郎	(34)34	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	宗像敬一	(34)34	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	村田恭介	(34)34	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	室賀昭三	(35)35	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	盛克己	(35)35	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	森崎信夫	(35)35	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	森下宗司	(36)36	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞北京の秋空	矢数道明	(36)36	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	山崎正寿	(37)37	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞中西医結合について思う。	山下九三夫	(37)37	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	山田光胤	(37)37	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	山ノ内慎一	(37)37	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	雪村八一郎	(38)38	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	横田観風	(38)38	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	吉冨兵衛	(39)39	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	吉元昭治	(39)39	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	梁哲周	(39)39	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	渡辺貞夫	(40)40	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新年のことば　＜昭和63年（1988年）＞	小倉重成	(40)40	1988年(昭和63)・第35巻・01号
座談会／慢性関節リウマチと漢方治療	矢数道明・原桃介・関直樹 司会）室賀昭三 誌上参加）菊谷豊彦	(41)41	1988年(昭和63)・第35巻・01号
慢性関節リウマチの漢方治療	今田屋章	(63)63	1988年(昭和63)・第35巻・01号
適確に漢方処方の診断ができる鑑別手技の試み	森下宗司	(71)71	1988年(昭和63)・第35巻・01号
東洋堂経験余話（3）▽三物黄ゴン湯の治験▽八味丸料の治験▽嗄声に響声破笛丸	松本一男	(75)75	1988年(昭和63)・第35巻・01号
知愚庵臨床談（1）	間中喜雄	(79)79	1988年(昭和63)・第35巻・01号
子宮筋腫の漢方療法（1）	浮田徹也	(82)82	1988年(昭和63)・第35巻・01号
漢方と気	荒川正次	(88)88	1988年(昭和63)・第35巻・01号
新刊紹介／小泉栄次郎著『復刻版　黒焼の研究』／峯村浩著『こりと痛みと背骨の曲がり』	編集局	(93)93	1988年(昭和63)・第35巻・01号
漢方体験記（80）－片山草雲先生を偲んで－「先生と俳句」について（その2）	河野順	(94)94	1988年(昭和63)・第35巻・01号
ＷＨＯ伝統医学研究協力センター長会議の概要報告	真柳誠	(96)96	1988年(昭和63)・第35巻・01号
弔辞／有地滋先生	大塚恭男	(101)101	1988年(昭和63)・第35巻・01号
トピックス／ＷＨＯ事務局長に中嶋宏氏選出される／日大に薬学部新設される	編集局	(102)102	1988年(昭和63)・第35巻・01号
急報／小倉重成氏逝去	編集局	(102)102	1988年(昭和63)・第35巻・01号
急報／山田ハマさん逝去	編集局	(102)102	1988年(昭和63)・第35巻・01号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和62年12月＞	協会本部／編集局	(106)106	1988年(昭和63)・第35巻・01号
@1988年(昭和63)-第35巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（6）龍門薬方洞碑文	真柳誠	(2)120	1988年(昭和63)・第35巻・02号
巻頭言／本誌の「座談会」に期待する	菊谷豊彦	(9)127	1988年(昭和63)・第35巻・02号
臨床腹診考（9）	山田光胤	(10)128	1988年(昭和63)・第35巻・02号
漢方牛歩録（68）「冷え」を伴う疾患の漢方治療ーー診療所における「冷え」の集計ー	中村謙介	(16)134	1988年(昭和63)・第35巻・02号
温知堂経験録（188）▽子宮癌に十全大補湯加カワラタケ▽数えきれない大疣・小疣にヨク苡仁夏枯草煎▽てんかん様意識不明に柴胡桂枝湯エキス末	矢数道明	(25)143	1988年(昭和63)・第35巻・02号
塩の効いた体	矢田晶三	(27)145	1988年(昭和63)・第35巻・02号
漢方診療おぼえ書（118）▽顔面吹き出物に十味敗毒湯加連翹、ヨク苡仁、大黄と桂枝茯苓丸▽フルンクロージスに十味敗毒湯加連翹▽顔面や背部の吹き出物に十味敗毒湯加味方、長年の口臭に半夏瀉心湯	緒方玄芳	(28)146	1988年(昭和63)・第35巻・02号
東洋堂経験余話（4）▽膀胱炎に清心蓮子飲▽柴胡桂枝湯加味方治験	松本一男	(30)148	1988年(昭和63)・第35巻・02号
“活血化オ”の法則による治療が難治疾患に用いられる前景ー「オ血治療」と難治疾患ー	張之南 訳者）間中喜雄	(33)151	1988年(昭和63)・第35巻・02号
妊娠中毒症の東洋医学的考察（下）	今泉清	(39)157	1988年(昭和63)・第35巻・02号
「万病一風論の提唱」（14）	横田観風	(47)165	1988年(昭和63)・第35巻・02号
漢方体験記（81）ー片山草雲先生を偲んでー（終）	河野順	(53)171	1988年(昭和63)・第35巻・02号
漢方界おもてうら（10）長浜善夫君のことなど（4）	伊藤清夫	(55)173	1988年(昭和63)・第35巻・02号
都下医家名墓散策（1）伊沢蘭軒・榛軒	小曽戸洋	(56)174	1988年(昭和63)・第35巻・02号
小倉重成先生を偲ぶ／小倉酒仙を偲ぶ	藤平健	(58)176	1988年(昭和63)・第35巻・02号
小倉重成先生を偲ぶ／嗚呼　小倉先生	田畑隆一郎	(62)180	1988年(昭和63)・第35巻・02号
小倉重成先生を偲ぶ／恩師を追悼して	中村謙介	(67)185	1988年(昭和63)・第35巻・02号
小倉重成先生を偲ぶ／小倉重成先生の思い出	高柳欽一	(72)190	1988年(昭和63)・第35巻・02号
＜遺稿＞漢方研究室　出題：問題137　老人の風邪／解答：問題136	出題・解答）小倉重成	(74)192	1988年(昭和63)・第35巻・02号
弔詞／坂本浩二博士	渋谷健	(79)197	1988年(昭和63)・第35巻・02号
弔詞／坂本浩二博士	安原一	(80)198	1988年(昭和63)・第35巻・02号
追悼記／有地滋教授	阿部博子	(82)200	1988年(昭和63)・第35巻・02号
学会・研究会レポート／第1回日本漢方治療シンポジウム	編集局	(83)201	1988年(昭和63)・第35巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年1月＞	協会本部／編集局	(91)209	1988年(昭和63)・第35巻・02号
@1988年(昭和63)-第35巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（7）井上玄徹自賛肖像	小曽戸洋	(2)224	1988年(昭和63)・第35巻・03号
巻頭言／読書について	寺師睦宗	(7)229	1988年(昭和63)・第35巻・03号
臨床腹診考（10）	山田光胤	(8)230	1988年(昭和63)・第35巻・03号
喘息発作に頓用の芍薬甘草湯の速効	二村禧	(11)233	1988年(昭和63)・第35巻・03号
追試例　芍薬甘草湯の1例	森崎信夫	(17)239	1988年(昭和63)・第35巻・03号
妊娠浮腫の漢方療法（1）	浮田徹也	(18)240	1988年(昭和63)・第35巻・03号
温知堂経験録（189）▽永年続いたてんかんの発作、大柴胡湯に桃核承気湯エキス末を兼用して▽肥満少年のいびきに葛根湯加味方▽シェーグレン症候群に助陽和血湯	矢数道明	(25)247	1988年(昭和63)・第35巻・03号
漢方牛歩録（69）前胸部の知覚異常に黄耆桂枝五物湯	中村謙介	(28)250	1988年(昭和63)・第35巻・03号
漢方診療おぼえ書（119）＜カゼの漢方治療例＞	緒方玄芳	(32)254	1988年(昭和63)・第35巻・03号
東洋堂経験余話（5）▽不正出血にキュウ帰膠ガイ湯▽苦労した症例	松本一男	(34)256	1988年(昭和63)・第35巻・03号
調経種玉湯の医治効能と卵巣に及ぼす影響に関して	ハイ元植	(37)259	1988年(昭和63)・第35巻・03号
知愚庵臨床談（2）	間中喜雄	(42)264	1988年(昭和63)・第35巻・03号
藤平健客座教授の上海中医学院における第1回講義に随行して	木下勤	(44)266	1988年(昭和63)・第35巻・03号
訪中印象記ーその文化と中医学に想うー	小川新	(51)273	1988年(昭和63)・第35巻・03号
ハノイでみつけた『皇漢医学』	津谷喜一郎	(57)279	1988年(昭和63)・第35巻・03号
漢方界おもてうら（11）長浜善夫君のことなど（5）	伊藤清夫	(63)285	1988年(昭和63)・第35巻・03号
都下医家名墓散策（2）野呂元丈	小曽戸洋	(64)286	1988年(昭和63)・第35巻・03号
「万病一風論の提唱」（15）	横田観風	(66)288	1988年(昭和63)・第35巻・03号
弔辞／建林静枝女史	矢数道明	(71)293	1988年(昭和63)・第35巻・03号
恩師小倉重成先生を偲ぶ	久保田富也	(72)294	1988年(昭和63)・第35巻・03号
新刊紹介／細野史郎口述　坂口弘記『西荻医談ー大塚敬節先生と語るー』／金洛憲著　兪順奉訳『東医内科学』	編集局	(74)296	1988年(昭和63)・第35巻・03号
嗚呼　小倉重成先生	大野安春	(75)297	1988年(昭和63)・第35巻・03号
学会・研究会レポート／日本東洋医学会中四国支部総会開催	編集局	(76)298	1988年(昭和63)・第35巻・03号
急報／圓斉・佐藤貞美氏逝去	編集局	(79)301	1988年(昭和63)・第35巻・03号

書評／『浅田宗伯選集』第4集・第1集について	山田光胤	(85)307	1988年(昭和63)・第35巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年2月＞	協会本部／編集局	(87)309	1988年(昭和63)・第35巻・03号
@1988年(昭和63)-第35巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（8）『百腹図説』	花輪壽彦	(2)324	1988年(昭和63)・第35巻・04号
巻頭言／「感悟する処より妙処に至る」	細野八郎	(9)331	1988年(昭和63)・第35巻・04号
老人性常習便秘症状における蜜煎導の使用経験	山内陵司	(10)332	1988年(昭和63)・第35巻・04号
銀翹散、桑菊飲の経験	吉元昭治	(13)335	1988年(昭和63)・第35巻・04号
臨床腹診考（11）	山田光胤	(19)341	1988年(昭和63)・第35巻・04号
東洋堂経験余話（6）▽蕁麻疹に茵チン蒿湯▽防已黄耆湯の偉効	松本一男	(24)346	1988年(昭和63)・第35巻・04号
漢方牛歩録（70）濃厚な喀痰の気管支炎に清肺湯	中村謙介	(27)349	1988年(昭和63)・第35巻・04号
小川流腹証の追試報告（1）	池田政一	(30)352	1988年(昭和63)・第35巻・04号
本草的薬能論の中の五味の検出法の仮説（上）	入江正	(34)356	1988年(昭和63)・第35巻・04号
陸淵雷先生の日本漢方医学研究	顧旭平 指導）柯雪帆・洪嘉禾 訳者）中村昭	(41)363	1988年(昭和63)・第35巻・04号
限りない中西医結合の道（概要）	張之南 訳者）間中喜雄	(46)368	1988年(昭和63)・第35巻・04号
馬継興先生よりのお便り	矢数道明	(49)371	1988年(昭和63)・第35巻・04号
「曲直瀬養安院家の人々」補遺－曲直瀬正貞の墓碑銘－	小曽戸洋	(50)372	1988年(昭和63)・第35巻・04号
漢方界おもてうら（12）長浜善夫君のことなど（6）	伊藤清夫	(54)376	1988年(昭和63)・第35巻・04号
畑の中の面々（1）芽出度い話	田畑隆一郎	(56)378	1988年(昭和63)・第35巻・04号
資料紹介／『下田年中行事』より	杉山広重	(61)383	1988年(昭和63)・第35巻・04号
都下医家名墓散策（3）奈須恒徳	小曽戸洋	(65)387	1988年(昭和63)・第35巻・04号
追悼　圓斉　佐藤貞美先生／圓斉・佐藤貞美氏を偲ぶ	藤平健	(69)391	1988年(昭和63)・第35巻・04号
追悼　圓斉　佐藤貞美先生／圓斉・佐藤貞美先生のご逝去を惜しむ	福田佳弘	(72)394	1988年(昭和63)・第35巻・04号
追悼　圓斉　佐藤貞美先生／故　圓斉・佐藤貞美先生の思い出	鎌田慶市郎	(74)396	1988年(昭和63)・第35巻・04号
追悼　圓斉　佐藤貞美先生／圓斉先生とジャガ芋	笠原栄司	(75)397	1988年(昭和63)・第35巻・04号
昭和62年（1987）漢方略史年表	矢数道明	(84)406	1988年(昭和63)・第35巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年3月＞	協会本部／編集局	(93)415	1988年(昭和63)・第35巻・04号
@1988年(昭和63)-第35巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（9）「本草品彙精要」－ロンドン図書館旧蔵本	大塚恭男	(2)428	1988年(昭和63)・第35巻・05号
巻頭言／第39回日本東洋医学会学術総会を前に	矢数圭堂	(9)435	1988年(昭和63)・第35巻・05号
脳梗塞に小続命湯が有効であった1例	岩崎勲	(10)436	1988年(昭和63)・第35巻・05号
温知堂経験録（190）▽気管支拡張症に清肺湯去貝母▽肝腫大腹満に小柴胡湯合分消湯▽20年来の頭痛と内痔核に清上ケン痛湯と乙字湯	矢数道明	(12)438	1988年(昭和63)・第35巻・05号
東洋堂経験余話（7）▽血便に黄土湯合麻子仁丸料▽歩行困難に八味丸料合四物湯	松本一男	(14)440	1988年(昭和63)・第35巻・05号
漢方牛歩録（71）気管支拡張症に茯苓四逆湯及び辛夷清肺湯	中村謙介	(16)442	1988年(昭和63)・第35巻・05号
漢方診療おぼえ書（120）＜カゼその他の漢方治療例＞咳に竹茹温胆湯▽5、6年つづいた咳、痰に括楼枳実湯▽咳に橘皮半夏湯▽項部の凝りに桂枝加葛根湯▽頑固な便秘に小建中湯▽吹き出物に十味敗毒湯加連翹ヨク苡仁大黄	緒方玄芳	(20)446	1988年(昭和63)・第35巻・05号
妊娠浮腫の漢方療法（2）	浮田徹也	(23)449	1988年(昭和63)・第35巻・05号
小川流腹証の追試報告（2）	池田政一	(31)457	1988年(昭和63)・第35巻・05号
「東洋医学書における生薬使用の特徴に関する図形表現について」（2）	遠田裕政・雨宮修二・岡本洋明・劉秋華・邵輝・呉淑榮・羅燕燕	(35)461	1988年(昭和63)・第35巻・05号
藤平健先生による傷寒論解説（1）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(44)470	1988年(昭和63)・第35巻・05号
知愚庵臨床談（3）	間中喜雄	(48)474	1988年(昭和63)・第35巻・05号
本草的薬能論の中の五味の検出法の仮説（下）	入江正	(50)476	1988年(昭和63)・第35巻・05号
漢方界おもてうら（13）奥門会（1）	伊藤清夫	(56)482	1988年(昭和63)・第35巻・05号
畑の中の面々（2）大いなる遺産	田畑隆一郎	(58)484	1988年(昭和63)・第35巻・05号
「万病一風論の提唱」（16）	横田観風	(63)489	1988年(昭和63)・第35巻・05号
都下医家名墓散策（4）荻生方庵・徂徠	小曽戸洋	(68)494	1988年(昭和63)・第35巻・05号
北京研修便り（1）事の顛末	平馬直樹	(70)496	1988年(昭和63)・第35巻・05号
北海道開催を間近に控え、第39回日本東洋医学会学術総会準備委員長牧田憲太郎氏に聞く	編集局	(72)498	1988年(昭和63)・第35巻・05号
ＷＨＯの伝統医学協力センター東アジアでさらに4ヶ所開所される	津谷喜一郎	(78)504	1988年(昭和63)・第35巻・05号
韓国の伝統医学とＷＨＯ伝統医学協力センター	丁宗鐵	(80)506	1988年(昭和63)・第35巻・05号
富山医科薬科大学和漢診療部ＷＨＯ伝統医学協力センターに指定、開所式が行われる	編集局	(83)509	1988年(昭和63)・第35巻・05号

漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年4月＞	協会本部／編集局	(96)522	1988年(昭和63)・第35巻・05号
図書紹介／不朽の名雑誌『本草』復刻される	編集局	(98)524	1988年(昭和63)・第35巻・05号
@1988年(昭和63)-第35巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（10）二千余年前の医療器具－満城漢墓土品	小曽戸洋	(2)536	1988年(昭和63)・第35巻・06号
巻頭言／漢方製剤と漢方保険診療	原桃介	(9)543	1988年(昭和63)・第35巻・06号
四逆散の臨床応用	伊藤嘉紀	(10)544	1988年(昭和63)・第35巻・06号
臨床腹診考（12）	山田光胤	(20)554	1988年(昭和63)・第35巻・06号
温知堂経験録（191）▽手掌角皮症に小柴胡湯合桂枝茯苓丸エキス末に紫雲膏▽喘息と高血圧症に神秘湯と大柴胡湯合八物降下湯▽リウマチにヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯	矢数道明	(24)558	1988年(昭和63)・第35巻・06号
漢方牛歩録（72）綿密な測定を行った高血圧症の1症例	中村謙介	(26)560	1988年(昭和63)・第35巻・06号
小川流腹証の追試報告（3）	池田政一	(33)567	1988年(昭和63)・第35巻・06号
漢方診療おぼえ書（121）▽手術瘻に千金内托散▽痔瘻に托裏消毒散▽痔瘻に托裏消毒散と抵当丸	緒方玄芳	(38)572	1988年(昭和63)・第35巻・06号
東洋堂経験余話（8）▽越婢加朮湯の経験▽気管支喘息に大柴胡湯合麻杏甘石湯	松本一男	(40)574	1988年(昭和63)・第35巻・06号
藤平健先生による傷寒論解説（2）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(42)576	1988年(昭和63)・第35巻・06号
鑑真大和上の秘方　訶梨勒丸の再現と『医心方』風病篇　現代訳の誤訳	渡邊武・古米弘幸・中島鑛二	(46)580	1988年(昭和63)・第35巻・06号
「万病一風論の提唱」（17）	横田観風	(59)593	1988年(昭和63)・第35巻・06号
都下医家名墓散策（5）杉本忠温	小曽戸洋	(64)598	1988年(昭和63)・第35巻・06号
北京研修便り（2）広安門医院皮膚科	平馬直樹	(67)601	1988年(昭和63)・第35巻・06号
漢方界おもてうら（14）奥門会（2）	伊藤清夫	(70)604	1988年(昭和63)・第35巻・06号
畑の中の面々（3）野良の食卓（1）	田畑隆一郎	(72)606	1988年(昭和63)・第35巻・06号
細野史郎口述『西荻医談』をめぐって	杉山広重	(76)610	1988年(昭和63)・第35巻・06号
図書紹介／藤平健著『漢方臨床ノート治験篇』／香月牛山著・小野正弘校訂『婦人ことぶき草』　／春陽堂発行『大塚敬節著作集』全8巻／古守豊甫著『健康と長寿への道しるべ』／一色直太郎著『復刻版　和漢薬の良否鑑別法及び調製法』／上海中医学院編『針灸学』全1巻	編集局	(80)614	1988年(昭和63)・第35巻・06号
トピックス／日本医史学会で矢数医史学賞が創設される／全日本鍼灸学会総会開催	編集局	(82)616	1988年(昭和63)・第35巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年5月＞	協会本部／編集局	(93)627	1988年(昭和63)・第35巻・06号
@1988年(昭和63)-第35巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（11）宋版『太平聖恵方』－重陽文化財・蓬左文庫所蔵	小曽戸洋	(1)640	1988年(昭和63)・第35巻・07号
巻頭言／聞と凡	小川新	(9)647	1988年(昭和63)・第35巻・07号
座談会／気管支喘息と漢方治療	矢数道明・菊谷豊彦・細野八郎・浦田誓夫 司会）室賀昭三	(10)648	1988年(昭和63)・第35巻・07号
今年流行した麻疹について	秋葉哲生	(29)667	1988年(昭和63)・第35巻・07号
温知堂経験録（192）▽蛋白尿と全身性エリテマトーデスに柴苓湯▽呼吸が胸中に窒るというのに利膈湯合茯苓杏仁甘草湯▽アトピー性皮膚炎に加味逍遥散加荊芥・地骨皮・ヨク苡仁	矢数道明	(32)670	1988年(昭和63)・第35巻・07号
東洋堂経験余話（9）▽不眠に十全大補湯加味▽高血圧症に合併した糖尿病に大柴胡湯合黄連解毒湯加味	松本一男	(34)672	1988年(昭和63)・第35巻・07号
漢方牛歩録（73）漢方治療が有効な抑欝気分の1例	中村謙介	(37)675	1988年(昭和63)・第35巻・07号
漢方診療おぼえ書（122）▽下腹部に冷感を訴える初老の婦人に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽左右膝関節水腫に防已黄耆湯加麻黄附子▽膝関節水腫に防已黄耆湯▽子宮切除後の尿不利に清心蓮子飲	緒方玄芳	(42)680	1988年(昭和63)・第35巻・07号
知愚庵臨床談（4）	間中喜雄	(44)682	1988年(昭和63)・第35巻・07号
小川流腹証の追試報告（4）	池田政一	(47)685	1988年(昭和63)・第35巻・07号
藤平健先生による傷寒論解説（3）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(51)689	1988年(昭和63)・第35巻・07号
「歳火太過」と太陽黒点を探索する	趙明鋭	(56)694	1988年(昭和63)・第35巻・07号
少陰病の弁証論治（抄訳）	柯雪帆 訳者）中村昭	(61)699	1988年(昭和63)・第35巻・07号
都下医家名墓散策（6）堀杏庵	小曽戸洋	(66)704	1988年(昭和63)・第35巻・07号
畑の中の面々（4）野良の食卓（2）	田畑隆一郎	(68)706	1988年(昭和63)・第35巻・07号
漢方界おもてうら（15）奥門会（3）	伊藤清夫	(70)708	1988年(昭和63)・第35巻・07号
「万病一風論の提唱」（18）	横田観風	(73)711	1988年(昭和63)・第35巻・07号
北京研修便り（3）朱仁康老中医（上）	平馬直樹	(77)715	1988年(昭和63)・第35巻・07号
『臨床八十方金匱要略』を訳し終えて	張喜奎・王旭麗	(81)719	1988年(昭和63)・第35巻・07号
図書紹介／矢数圭堂監修『漢方処方大成・実用処方便覧』／何任著・勝田正泰監訳『金匱要略解説』／『中国食文化事典』＜角川書店発行＞	編集局	(85)723	1988年(昭和63)・第35巻・07号

学会・研究会レポート／第39回日本東洋医学会総会開催／第4回臨床東洋医学研究会開催／第22回ウチダ和漢薬研修大会開催	編集局	(86)724	1988年(昭和63)・第35巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年6月＞	協会本部／編集局	(98)736	1988年(昭和63)・第35巻・07号
@1988年(昭和63)-第35巻-08号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（12）吉益家門人録2種－「奥田本」「深川本」－	矢数道明	(2)752	1988年(昭和63)・第35巻・08号
巻頭言／漢方の勉強をはじめた頃	細川喜代治	(9)759	1988年(昭和63)・第35巻・08号
温知堂経験録（193）▽尋常性乾癬に温清飲加黄耆▽リウマチと胃全剔に桂枝加朮附湯合六君子湯加カワラタケ▽慢性胃腸炎と神経症に補中益気湯合六君子湯	矢数道明	(10)760	1988年(昭和63)・第35巻・08号
臨床腹診考（13）	山田光胤	(12)762	1988年(昭和63)・第35巻・08号
東洋堂経験余話（10）▽高血圧症に大柴胡湯▽頭重・頭痛に桃核承気湯	松本一男	(18)768	1988年(昭和63)・第35巻・08号
漢方牛歩録（74）胸内苦悶感兼疲労に梔子シ湯	中村謙介	(20)770	1988年(昭和63)・第35巻・08号
知愚庵臨床談（5）	間中喜雄	(23)773	1988年(昭和63)・第35巻・08号
リウマチ様関節炎の著効例	黄弘毅	(26)776	1988年(昭和63)・第35巻・08号
漢方診療おぼえ書（123）▽鬱病に反鼻交感丹料▽鬱病に加味帰脾湯加黄連香附子▽痔瘻に托裏消毒散、兼用抵当丸	緒方玄芳	(28)778	1988年(昭和63)・第35巻・08号
藤平健先生による傷寒論解説（4）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(30)780	1988年(昭和63)・第35巻・08号
吉益東洞著『薬徴』を評す	張金璽	(37)787	1988年(昭和63)・第35巻・08号
「万病一風論の提唱」（19）	横田観風	(45)795	1988年(昭和63)・第35巻・08号
都下医家名墓散策（7）坂盛方院－吉田浄元・浄友	小曽戸洋	(50)800	1988年(昭和63)・第35巻・08号
『医心方』風病篇、訶梨勒丸の方　現代訳についての私見	桜井謙介	(54)804	1988年(昭和63)・第35巻・08号
マニラの『中医師』	津谷喜一郎	(57)807	1988年(昭和63)・第35巻・08号
畑の中の面々（5）汗くらべ	田畑隆一郎	(64)814	1988年(昭和63)・第35巻・08号
漢方界おもてうら（16）奥門会（4）	伊藤清夫	(70)820	1988年(昭和63)・第35巻・08号
奥田本『東洞先生門人帳』	矢数道明	(74)824	1988年(昭和63)・第35巻・08号
第5回　国際東洋医学学術大会の概要	編集局	(87)837	1988年(昭和63)・第35巻・08号
トピックス／日中友好会館クリニック開設される／第30回鍼灸経絡治療夏期大学記念大会開催	編集局	(88)838	1988年(昭和63)・第35巻・08号
書評／『漢方臨床ノート・治験編』を読んで	中村謙介	(90)840	1988年(昭和63)・第35巻・08号
書評／何任著『金匱要略解説』	藤平健	(92)842	1988年(昭和63)・第35巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年7月＞	協会本部／編集局	(103)853	1988年(昭和63)・第35巻・08号
@1988年(昭和63)-第35巻-09号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（13）鍼灸銅人形と『銅人ユ穴針灸図経』残石	小曽戸洋	(2)868	1988年(昭和63)・第35巻・09号
巻頭言／臨床に刺絡の活用を望む	工藤訓正	(10)876	1988年(昭和63)・第35巻・09号
老人性痴呆における釣藤散の1例	高木嘉子	(12)878	1988年(昭和63)・第35巻・09号
温知堂経験録（194）▽不安神経症に正心湯、歯槽膿漏に托裏消毒飲▽リウマチと喘息にヨク苡仁湯合桂枝芍薬知母湯、及び清肺湯などを併用して▽肝硬変症に柴芍六君子湯合補気健中湯	矢数道明	(15)881	1988年(昭和63)・第35巻・09号
漢方牛歩録（75）尿路結石に猪苓湯兼芍薬甘草湯	中村謙介	(18)884	1988年(昭和63)・第35巻・09号
東洋堂経験余話（11）▽キュウ帰膠ガイ湯治験▽高血圧に七物降下湯	松本一男	(21)887	1988年(昭和63)・第35巻・09号
知愚庵臨床談（6）	間中喜雄	(24)890	1988年(昭和63)・第35巻・09号
小川流腹証の追試報告（5）	池田政一	(27)893	1988年(昭和63)・第35巻・09号
妊娠浮腫の漢方療法（3）	浮田徹也	(30)896	1988年(昭和63)・第35巻・09号
藤平健先生による傷寒論解説（5）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(40)906	1988年(昭和63)・第35巻・09号
山田業広の金匱・「寸口趺陽少陰合論」について	杉山広茂	(46)912	1988年(昭和63)・第35巻・09号
教育面からみた鍼灸治療大系－四診の正法をめぐって－	坂本秀治	(52)918	1988年(昭和63)・第35巻・09号
『五雲子腹候論』について－帰化明人の腹診書－	中村昭	(62)928	1988年(昭和63)・第35巻・09号
奥田本『南涯北洲二先生門人抜萃録』	矢数道明	(70)936	1988年(昭和63)・第35巻・09号
都下医家名墓散策（8）今村了庵	小曽戸洋	(79)945	1988年(昭和63)・第35巻・09号
フィリピンの中医学	津谷喜一郎	(82)948	1988年(昭和63)・第35巻・09号
トピックス／北尾春圃翁250回忌法要営まる	編集局	(90)956	1988年(昭和63)・第35巻・09号
古代中国の鍼及び鍼術の発生について	豊田白詩	(92)958	1988年(昭和63)・第35巻・09号
学会・研究会レポート／第5回和漢医薬学会大会、福岡で開催／第5回臨床和漢薬研究会開催	編集局	(94)960	1988年(昭和63)・第35巻・09号
図書紹介／高山宏世編著『腹証図解　漢方常用処方解説』／張瓏英著『臨床中医学概論』／蓬の会編著『くらしに活かす東洋医学入門』	編集局	(98)964	1988年(昭和63)・第35巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年8月＞	協会本部／編集局	(109)975	1988年(昭和63)・第35巻・09号
@1988年(昭和63)-第35巻-10号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（14）吉益東洞の肖像と遺墨	小曽戸洋	(2)996	1988年(昭和63)・第35巻・10号

巻頭言／奥田本『吉益東洞先生門人帳』を読んで	吉元昭治	(11)1005	1988年(昭和63)・第35巻・10号
富山県新湊市・善休寺の家伝薬「安産湯」について	寺澤捷年・岡野秀麿・石黒龍太郎	(12)1006	1988年(昭和63)・第35巻・10号
心に残った薬方　荊芥連翹湯・十味敗毒湯の巻	田村嘉章	(17)1011	1988年(昭和63)・第35巻・10号
温知堂経験録（195）▽「痃癖」と思われた「脾弯曲症」に疎肝湯▽胃腸虚弱、疲労倦怠に柴芍六君子湯▽胃ポリープと不眠症に柴芍六君子湯合温胆湯加味方	矢数道明	(25)1019	1988年(昭和63)・第35巻・10号
東洋堂経験余話（12）▽遷延化する肝炎に加味逍遥散料加味▽気分の悪い汗に桂枝茯苓丸料加大黄	松本一男	(28)1022	1988年(昭和63)・第35巻・10号
漢方牛歩録（76）疝気症候群Ａ型と膀胱結石の合併例	中村謙介	(31)1025	1988年(昭和63)・第35巻・10号
臨床腹診考（14）	山田光胤	(36)1030	1988年(昭和63)・第35巻・10号
知愚庵臨床談（7）	間中喜雄	(42)1036	1988年(昭和63)・第35巻・10号
小川流腹証の追試報告（6）	池田政一	(45)1039	1988年(昭和63)・第35巻・10号
適薬テストのすすめ　気の性質（パートX）腹診時の患者との位置関係について	渡辺貞夫	(49)1043	1988年(昭和63)・第35巻・10号
山田業広、業精の「候氏黒散」の注について	杉山広重	(54)1048	1988年(昭和63)・第35巻・10号
藤平健先生による傷寒論解説（6）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(58)1052	1988年(昭和63)・第35巻・10号
幕府典薬頭今大路家の転居	宗田一	(66)1060	1988年(昭和63)・第35巻・10号
都下医家名墓散策（9）内田宗春一族	小曽戸洋	(74)1068	1988年(昭和63)・第35巻・10号
深川本『吉益南涯門』（1）	矢数道明	(77)1071	1988年(昭和63)・第35巻・10号
畑の中の面々（6）お天道様とコメの飯	田畑隆一郎	(87)1081	1988年(昭和63)・第35巻・10号
第5回国際東洋医学会印象記	中田敬吾	(94)1088	1988年(昭和63)・第35巻・10号
トピックス／仲景の故里、中国南陽市の張仲景国医大学図書館が「矢数道明書屋」を開設	編集局	(101)1095	1988年(昭和63)・第35巻・10号
書評／高山宏世編著『腹証図解・漢方常用処方解説』	鎌田慶市郎	(102)1096	1988年(昭和63)・第35巻・10号
書評／内山恵子著『中医診断学ノート』	石山淳一	(102)1096	1988年(昭和63)・第35巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年9月＞	協会本部／編集局	(114)1108	1988年(昭和63)・第35巻・10号
@1988年(昭和63)-第35巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（15）吉益南涯の遺墨	小曽戸洋	(2)1124	1988年(昭和63)・第35巻・11号
巻頭言／吉益家北上の意義	多留淳文	(9)1131	1988年(昭和63)・第35巻・11号
試製「伯州散軟膏」	雪村八一郎・徳里政助	(10)1132	1988年(昭和63)・第35巻・11号
温知堂経験録（196）▽バセドー病と喘息に炙甘草湯合神秘湯エキス末▽分裂病の疑いといわれ、唇上下痙攣するのに竜骨湯	矢数道明	(13)1135	1988年(昭和63)・第35巻・11号
漢方牛歩録（77）慢性関節リウマチに桂枝加朮附湯等	中村謙介	(16)1138	1988年(昭和63)・第35巻・11号
東洋堂経験余話（13）▽脱肛に補中益気湯加味▽膝関節症に麻黄加朮湯▽気管支喘息に四逆散料合半夏厚朴湯	松本一男	(20)1142	1988年(昭和63)・第35巻・11号
妊娠中感冒の漢方療法（1）	浮田徹也	(23)1145	1988年(昭和63)・第35巻・11号
刺絡療法について	紀丘子渓	(30)1152	1988年(昭和63)・第35巻・11号
＜遺稿＞漢方研究室　解答：問題137	解答）小倉重成	(34)1156	1988年(昭和63)・第35巻・11号
狐惑病について（金寿山『金匱詮釈』より）	金寿山 訳者）中村昭	(37)1159	1988年(昭和63)・第35巻・11号
藤平健先生による傷寒論解説（7）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(43)1165	1988年(昭和63)・第35巻・11号
『難経』五十八難及び『傷寒論』傷寒例における「陽虚陰盛」、「陽盛陰虚」について	今泉清	(49)1171	1988年(昭和63)・第35巻・11号
「万病一風論の提唱」（20）	横田観風	(54)1176	1988年(昭和63)・第35巻・11号
北京研修便り（4）朱仁康老中医（下）	平馬直樹	(57)1179	1988年(昭和63)・第35巻・11号
都下医家名墓散策（10）岑少翁	小曽戸洋	(63)1185	1988年(昭和63)・第35巻・11号
深川本『吉益南涯門』（2）	矢数道明	(66)1188	1988年(昭和63)・第35巻・11号
韓国の伝統医学とＷＨＯ伝統医学協力センター（2）	丁宗鐵	(74)1196	1988年(昭和63)・第35巻・11号
漢方界おもてうら（17）奥門会（5）	伊藤清夫	(78)1200	1988年(昭和63)・第35巻・11号
図書紹介／緒方玄芳著『漢方治療症例選集1』	編集局	(82)1204	1988年(昭和63)・第35巻・11号
学会・研究会レポート／日本東洋医学会関東甲信越支部会開催される／第16回千葉東洋医学シンポジウム開催	編集局	(83)1205	1988年(昭和63)・第35巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年10月＞	協会本部／編集局	(92)1214	1988年(昭和63)・第35巻・11号
@1988年(昭和63)-第35巻-12号-＜東亜医学協会創立50周年記念特集号1＞			
＜口絵＞東亜医学協会創立50周年記念大会	編集局	(2)1232	1988年(昭和63)・第35巻・12号
東亜医学協会創立50周年記念特集号（第1集－第3集）の発刊について	矢数道明	(9)1239	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／補中益気湯	高山宏世	(11)1241	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／独活寄生湯、清皮湯、補中益気湯	張瓏英	(27)1257	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／六一散（別名　益元散）	原田康治	(35)1265	1988年(昭和63)・第35巻・12号

＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／抑肝散	江川充	(45)1275	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞苓桂朮甘湯の私の使用法	土岐卓	(49)1279	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／清肺湯	丹野恭夫	(54)1284	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／麻黄杏仁ヨク苡甘草湯加方	神靖衛	(57)1287	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／桃核承気湯・大黄牡丹皮湯	松岡睦友	(68)1298	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／十味敗毒湯・托裏消毒散・千金内托散	緒方玄芳	(74)1304	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／柴胡桂枝乾姜湯－そのチームを二味の薬徴から考察する－	田畑隆一郎	(77)1307	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞漢方軟膏方剤、破敵膏・中黄膏について	鎌田慶市郎	(80)1310	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞心に残った薬方	田村嘉章	(84)1314	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞加味帰脾湯による症例	二村禧	(90)1320	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞柴胡桂枝湯加芍薬厚朴の運用について	松本一男	(94)1324	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞「銭氏白朮散」について	吉元昭治	(122)1352	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞3つの症例　▽脈診に依って気付いた高血圧症の治療法▽竜胆湯が躁うつ症その他脳疾患に効果を収めた例症▽熱多寒少湯に依る肝疾患の治療	大村明	(128)1358	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞治癒期の少陽病について	藤平健	(135)1365	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞柴胡剤の運用について	伊藤清夫	(141)1371	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞中国医学の簡易化－口訣の伝統－	大塚敬節 補遺）安井廣迪	(151)1381	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞日本の小児科領域の歴史にみられるプラグマティズム（実用主義）の精神	広田曄子	(167)1397	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞舌診雑考	村松睦	(181)1411	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞初診時に於ける繁用薬方	向後健	(188)1418	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞医療用漢方製剤について	中神倭文夫	(190)1420	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞湯本求眞先生医籍文庫について	伊藤敏雄	(192)1422	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞東洋医学を科学的に進歩させたい	森下宗司	(204)1434	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞日本の漢方の将来の展望（付・日本漢方交流会認定精度について）	宮崎綾子	(209)1439	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞日本漢方の将来「中医漢方薬学」の提唱	村田恭介	(217)1447	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞竹山晋一郎著『漢方医術復興の理論』を読む	王瑞雲	(226)1456	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞鍼と『易経』	間中喜雄	(230)1460	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞湯液の腹証と鍼灸治療	池田政一	(248)1478	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞ＭＲＴを応用して	土本重	(260)1490	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞古矢知白『薬名象義』意釈抄	小曽戸丈夫	(269)1499	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『生生堂傷寒約言』（続）	西岡一夫	(282)1512	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞漢方医学と和魂漢才	吉岡信	(289)1519	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞ある典薬頭（幕府）の叙任－『商山年譜』から－	宗田一	(299)1529	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞「醫者意也」について	杉立義一	(312)1542	1988年(昭和63)・第35巻・12号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞東亜医学協会創立50周年を祝して	小野文恵	(314)1544	1988年(昭和63)・第35巻・12号
東亜医学協会創立50周年記念大会アルバム（昭和63年11月27日）	編集局	(316)1546	1988年(昭和63)・第35巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年11月＞	協会本部／編集局	(323)1553	1988年(昭和63)・第35巻・12号
曳野宏氏（訃報）	編集局	(325)1555	1988年(昭和63)・第35巻・12号
@1989年(昭和64)-第36巻-01号-＜東亜医学協会創立50周年記念特集号2＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（16）温知社遺品3点	矢数道明	(2)2	1989年(昭和64)・第36巻・01号
巻頭言／脈診を軽視するなかれ	伊藤良	(15)15	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	穴吹浩	(17)17	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	荒川正次	(17)17	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	粟島行春	(17)17	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	家本誠一	(17)17	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	池田政一	(18)18	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	市来一彦	(18)18	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	伊藤真愚	(18)18	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	伊藤敏雄	(19)19	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	今泉清	(19)19	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	入江正	(19)19	1989年(昭和64)・第36巻・01号

新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	浮田徹也	(19)19	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	宇高一郎	(20)20	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	梅田喜久雄	(20)20	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	浦田誓夫	(21)21	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	王瑞雲	(21)21	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	太田早苗	(21)21	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	大塚恭男	(21)21	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	大西和子	(22)22	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	大貫進	(22)22	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	大野安春	(22)22	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	大村明	(22)22	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	緒方玄芳	(23)23	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	岡部俊一	(23)23	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	小川新	(23)23	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	沖野与三郎	(23)23	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	小野正弘	(24)24	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	遠田裕政	(24)24	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	笠原栄司	(24)24	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	勝田正泰	(25)25	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	鎌田慶市郎	(25)25	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	河野順	(25)25	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	菊谷豊彦	(25)25	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	北出利勝	(25)25	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	木下繁太朗	(26)26	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞開頁の音色	木下勤	(26)26	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	木下恒雄	(26)26	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	木村雄四郎	(27)27	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	工藤訓正	(27)27	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	久保田富也	(27)27	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	倉島宗二	(27)27	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	桑木崇秀	(28)28	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞ハリ・灸と湯液の臨床効果の相似に思う	小池三良助	(28)28	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	向後健	(28)28	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	小曽戸明子	(29)29	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞興味ある新刊書	小曽戸丈夫	(29)29	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	小曽戸洋	(29)29	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	後藤實	(30)30	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	今忠郎	(30)30	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	佐々木雄次	(30)30	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	坂口弘	(31)31	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	坂本秀治	(31)31	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	佐竹貞治郎	(31)31	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	柴田良治	(32)32	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	尚鎮国	(32)32	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	神靖衛	(33)33	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	杉立義一	(33)33	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	杉山広重	(33)33	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞1989年巳年の新春の詞	鈴木博夫	(33)33	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	宗田一	(34)34	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	十河孝博	(34)34	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	田家照生	(34)34	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	高木健太郎	(35)35	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	高島文一	(35)35	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	高橋邦夫	(35)35	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	高山宏世	(35)35	1989年(昭和64)・第36巻・01号

新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞グロバーリズムへの漢方的対応	舘野健	(36)36	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	田辺巌	(36)36	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞名優の蔭の名脇役	田畑隆一郎	(36)36	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	玉置新治	(37)37	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	田村嘉幸	(37)37	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞漢方のより一層の発展を	張瓏英	(37)37	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	鎮西弘	(37)37	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	津谷喜一郎	(38)38	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	土本重	(38)38	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	寺師睦宗	(38)38	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	土岐卓	(38)38	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	戸部宗七郎	(39)39	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	豊田白詩	(39)39	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	中井康雄	(39)39	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	中神倭文夫	(40)40	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞もっとゆとりをー「モモ」に学ぶー	長瀬千秋	(40)40	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	中島泰三	(41)41	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	中田敬吾	(41)41	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	中村昭	(41)41	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	中村謙介	(41)41	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	鍋谷欣市	(42)42	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	難波恒雄	(42)42	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	仁池米敏	(42)42	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞『傷寒論方法瑣弁』	西岡一夫	(43)43	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	西畑邦夫	(43)43	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	西脇平士	(43)43	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	二宮文乃	(44)44	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	二村禧	(44)44	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	根本幸一	(45)45	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	野末侑信	(45)45	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	橋口親義	(45)45	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	長谷川弥人	(45)45	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	服部恵七	(46)46	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	原桃介	(46)46	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	原田正敏	(46)46	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	福島辨造	(46)46	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	福田佳弘	(47)47	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	藤井長次	(47)47	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞「不及飲」の証	藤井美樹	(47)47	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	藤平健	(48)48	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	細川喜代治	(48)48	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	細野義郎	(48)48	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	牧田憲太郎	(48)48	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	松岡睦友	(49)49	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	松下嘉一	(49)49	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	松島龍太郎	(49)49	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	松橋俊夫	(49)49	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	松本一男	(50)50	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞学と術	松本克彦	(50)50	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	真鍋立夫	(50)50	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	真柳誠	(51)51	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	三谷和合	(51)51	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞医人の道	宮川昭平	(51)51	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	宮崎綾子	(52)52	1989年(昭和64)・第36巻・01号

新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	宮沢康朗	(52)52	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	牟田光一郎	(52)52	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	宗像敬一	(53)53	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	村田恭介	(53)53	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞温故知新（上州松井田朝陽有聞）	村松睦	(53)53	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	室賀昭三	(54)54	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	盛克己	(54)54	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	森下宗司	(54)54	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	矢数圭堂	(55)55	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞中国著名医学者より寄せられた祝詞題辞に感謝す	矢数道明	(55)55	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	山下九三夫	(56)56	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	山ノ内慎一	(56)56	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	山本昇吾	(56)56	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	雪村八一郎	(56)56	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	横田観風	(56)56	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	吉岡信	(57)57	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	吉冨兵衛	(57)57	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	吉原浅吉	(57)57	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	吉元昭治	(58)58	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	梁哲周	(58)58	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	渡辺貞夫	(58)58	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞地球を救おう、漢方薬で	寄稿者不明	(59)59	1989年(昭和64)・第36巻・01号
新年のことば　＜平成元年・昭和64年（1989年）＞	山田光胤	(59)59	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞逍遥散加味と加味逍遥散について	山崎正寿	(60)60	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞当帰四逆加呉茱萸生姜湯について	久保田富也	(66)66	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／少陰の葛根湯、真武湯について	宗像敬一	(77)77	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／加味逍遥散・半夏厚朴湯・釣藤散・抑肝散・桂枝加芍薬湯	更井啓介	(82)82	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／黄連解毒湯	岡部俊一	(85)85	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／苓甘姜味辛夏仁湯	木下恒雄	(89)89	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／風邪の常備薬に柴葛解肌湯	鈴木公男	(94)94	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞大黄牡丹皮湯について	浮田徹也	(95)95	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞エキス剤運用の見直し	中川良隆	(103)103	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞補中益気湯治験例	細野義郎	(112)112	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞桂枝二越婢一湯の効用	山ノ内慎一	(116)116	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞精神・神経に関連する症状に対する柴胡桂枝湯の応用と作用	小池三良助・小池透・小池豊	(120)120	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞消化器術後の腹部不定愁訴に投与　附子粳米湯と解急蜀椒湯の治験	原敬二郎	(126)126	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞茯苓四逆湯の使用経験から	盛克己	(128)128	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞漢方処方で時代が見えて来る	木下繁太朗	(131)131	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞「三陽の合病」について	寺師睦宗	(136)136	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞婦人薬の「振出し、煎剤」考	今泉清	(144)144	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞もっと病態観を	中村謙介	(156)156	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞著者不詳「診腹総論及び各論」訓読並びに校注	中村昭	(167)167	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞生薬処方の漢方薬学	谿忠人	(173)173	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞生薬考	田家照生	(182)182	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞“良い”生薬について	原田正敏	(191)191	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞大黄の研究から	西岡五夫	(199)199	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞赤芍と白芍	松本克彦・奥川斉	(205)205	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞民間薬ＷＴＴＣ　その起源と効果	長倉吉宏	(211)211	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『万病回春』とキョウ廷賢	松田邦夫・稲木一元	(222)222	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『漢方診療三十年』に見る大塚敬節先生	笠原栄司	(237)237	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞隔物灸の生体作用の検討－その効果と文献的考察－	坂本秀治	(242)242	1989年(昭和64)・第36巻・01号

＜東亜医学協会創立50周年記念＞『甲乙経』を構成する「三部」とは何か	谷田伸治	(251)251	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞五気の証明法の仮説	入江正	(257)257	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞日本の漢方医学と中国の中医学との特質の比較－日本で研修中の中医の立場から	兪雪如	(270)270	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞今なぜ中医学理論か	桑木崇秀	(279)279	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞漢方医学（この未知なるもの）	穐吉健治	(288)288	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞起承転結は必要か（医学論文の発展を願って）	佐々木雄次	(292)292	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞漢方医学講座生の回顧	佐竹テイ花	(295)295	1989年(昭和64)・第36巻・01号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞医聖田代三喜翁と謡曲「寝覚」	鈴木博夫	(302)302	1989年(昭和64)・第36巻・01号
板倉武博士生誕百周年に想う	丁宗鐵	(307)307	1989年(昭和64)・第36巻・01号
生誕百周年を記念して板倉武先生顕彰記念会開かれる	板倉武先生顕彰記念会	(310)310	1989年(昭和64)・第36巻・01号
追悼・柴崎保三先生を偲ぶ	家本誠一	(313)313	1989年(昭和64)・第36巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和63年12月＞	協会本部／編集局	(323)323	1989年(昭和64)・第36巻・01号
@1989年(平成01)-第36巻-02号-＜東亜医学協会創立50周年記念特集号3＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（17）頭山満翁揮毫の「東亜医学協会旗」	矢数道明	(2)346	1989年(平成01)・第36巻・02号
巻頭言／方を用いること簡なる者	稲木一元	(13)357	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／柴胡桂枝乾姜湯・半夏白朮天麻湯	坂口弘	(14)358	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞わたしの加味逍遥散－症候と腹証－	山田光胤	(23)367	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞通脈四逆湯証に関する考察	大浜正・伊藤隆	(33)377	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞大陥胸丸について	福田佳弘	(47)391	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞枳縮二陳湯の運用	柴田良治	(58)402	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞柴苓湯の使用経験（一般外科領域）	宮川昭平	(64)408	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／百合固金湯を用いた治療経験	雪村八一郎	(69)413	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／六君子湯	細川喜代治	(78)422	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞骨そしょう症の激痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	舘野健	(83)427	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞玉木吉保の医術記憶法	星野良明	(87)431	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞印象に残った症例	牧田憲太郎	(88)432	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞万年風邪症候群の実態と漢方治療	原桃介	(96)440	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／気管支喘息の漢方療法	浦田誓夫	(103)447	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞喜びを患者さんとともに！『赤ちゃんが欲しい』	平木陽一・平木みどり・平木文子	(108)452	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／麻黄附子細辛湯	高木嘉子	(120)464	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞虚熱、日哺潮熱の治験例	黄弘毅	(122)466	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞「全身の冷え」のみを主訴とする症例針灸治療と漢方剤併用例	田中茂・伊藤誠治・鎌野守	(125)469	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞重度身体障害者への対応と処方	伊藤真愚	(128)472	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『傷寒論』における病位とその転変	長谷川弥人	(139)483	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞気血水の研究（後漢まで）	橋口親義	(147)491	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞虚実について	家本誠一	(152)496	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞弁証法と『傷寒論』	岩崎勲	(164)508	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞朝鮮医方の考察（瘧病関係の薬方に基づく）	杉山広重	(180)524	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞史記、倉公伝の番陰脈、番陽脈についての1考察	豊田白詩	(189)533	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞湯液と鍼灸との調和統合に関する諸問題	横田観風	(194)538	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞カルダモム類生薬の鑑別について	木村雄四郎	(205)549	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞保険診療の諸問題に関する私見	菊谷豊彦	(212)556	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞現代医学の中で漢方の教育研究を考える	熊谷朗	(221)565	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞ケアの時代における東洋医術の活用	光藤英彦	(226)570	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞東洋医学の教育について－いかにして教えるのか？いかにして学ぶのか？－	長瀬千秋	(233)577	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞薬剤師に対する漢方の教育について	星野良明	(236)580	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞漢方医学の生命は証に随うこと	西澤道允	(240)584	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞“気の医学”と意念診断法	勝田正泰	(242)586	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞気と念、そして地震雲	渡辺貞夫	(249)593	1989年(平成01)・第36巻・02号

＜東亜医学協会創立50周年記念＞「気と人間科学」日中シンポジウムに参加して－気功医療と東洋医学－	北出利勝・篠原昭二	(252)596	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞東アジア伝統医学史年表の試み	津谷喜一郎	(259)603	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞日中薬用量相違の背景	真柳誠	(268)612	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞香月牛山原著『婦人寿草』校訂出版余話	小野正弘	(276)620	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞まぼろしの禹余糧を求めて	内炭精一	(279)623	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞貴協会創立50周年記念日を迎えて　韓日漢方文化交流を思いだす	ハイ元植	(282)626	1989年(平成01)・第36巻・02号
図書紹介／魯桂珍、Ｊ・ニーダム著『中国のランセットー針灸の歴史と理論』橋本敬造・宮下三郎訳	編集局	(285)629	1989年(平成01)・第36巻・02号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞祝「東亜医学協会創立50周年」	許鴻源	(286)632	1989年(平成01)・第36巻・02号
トピックス／第2回日本漢方治療シンポジウム開催／大塚敬節記念賞に長谷川弥人氏　東洋医学会学術奨励賞に小曽戸洋氏	編集局	(288)632	1989年(平成01)・第36巻・02号
急報／工藤訓正氏逝去	編集局	(290)634	1989年(平成01)・第36巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜昭和64年（平成元年）1月＞	協会本部／編集局	(299)643	1989年(平成01)・第36巻・02号
@1989年(平成01)-第36巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（18）一乗谷遺跡出土の『湯液本草』残紙	小曽戸洋	(2)346	1989年(平成01)・第36巻・03号
巻頭言／漢方医学をさらに発展させるには	長谷川弥人	(11)667	1989年(平成01)・第36巻・03号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞キョ風敗毒散の運用について	矢数道明	(12)668	1989年(平成01)・第36巻・03号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『医心方』婦・妊・産門に於ける薬物療法の特徴　附・妊脈図月禁法について	小川新	(24)680	1989年(平成01)・第36巻・03号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞子宮癌とカワラタケと太田主計	木下勤	(45)701	1989年(平成01)・第36巻・03号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞私の好きな処方／“咳に繁用する処方”	桑川義雄	(53)709	1989年(平成01)・第36巻・03号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『傷寒論』大柴胡湯応用の検討	楊育周 訳者）安井廣迪・郷治光廣	(57)713	1989年(平成01)・第36巻・03号
＜東亜医学協会創立50周年記念＞『類聚方』の解説書『集覧』と『集成』と『広義』凡例の註解	河野順	(63)719	1989年(平成01)・第36巻・03号
生薬エキス散併用による甘草乾姜湯が著効を奏した2症例	吉川治哉	(79)735	1989年(平成01)・第36巻・03号
柴胡加竜骨牡蠣湯は虚証に用いられないか	藤巻延吉	(84)740	1989年(平成01)・第36巻・03号
臨床腹診考（15）	山田光胤	(86)742	1989年(平成01)・第36巻・03号
漢方牛歩録（78）太陽と陽明の合病に麻黄湯	中村謙介	(89)745	1989年(平成01)・第36巻・03号
東洋堂経験余話（14）▽激しい胃痛に旋覆代赭湯▽頑固な湿疹に温清飲加味	松本一男	(92)748	1989年(平成01)・第36巻・03号
知愚庵臨床談（8）	間中喜雄	(96)752	1989年(平成01)・第36巻・03号
藤平健先生による傷寒論解説（8）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(98)754	1989年(平成01)・第36巻・03号
鑑真和上方　訶梨勒丸と『医心方』の権威のために桜井氏に反論す	渡邊武・古米弘幸・中島鑛二	(106)762	1989年(平成01)・第36巻・03号
漢方界おもてうら（18）奥門会（6）	伊藤清夫	(118)774	1989年(平成01)・第36巻・03号
都下医家名墓散策（11）瀬丘長圭	小曽戸洋	(122)778	1989年(平成01)・第36巻・03号
上海中医学院客員教授就任式に参列して	十河孝博	(125)781	1989年(平成01)・第36巻・03号
工藤訓正先生を偲ぶ／工藤訓正先生の逝去を悼む	矢数道明	(129)785	1989年(平成01)・第36巻・03号
工藤訓正先生を偲ぶ／工藤訓正君を偲ぶ	細川喜代治	(131)787	1989年(平成01)・第36巻・03号
工藤訓正先生を偲ぶ／工藤先生の思い出	安井廣迪	(132)788	1989年(平成01)・第36巻・03号
工藤訓正先生を偲ぶ／嗚呼　工藤訓正先生	大貫進	(134)790	1989年(平成01)・第36巻・03号
遺稿／刺絡療法について	工藤訓正	(137)793	1989年(平成01)・第36巻・03号
東亜医学協会創立50周年記念文集／東亜医学協会創立50周年記念文集の載録について	矢数道明	(143)799	1989年(平成01)・第36巻・03号
東亜医学協会創立50周年記念文集／東亜医学協会創立50周年主要年表	矢数道明	(144)800	1989年(平成01)・第36巻・03号
東亜医学協会創立50周年記念文集／東亜医学協会創立50周年略史年表	矢数道明	(147)803	1989年(平成01)・第36巻・03号
東亜医学協会創立50周年記念文集／東亜医学協会思い出のアルバム	矢数道明	(167)823	1989年(平成01)・第36巻・03号
東亜医学協会創立50周年記念文集／東亜医学協会50年の活動記録・資料集	矢数道明	(208)864	1989年(平成01)・第36巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年2月＞	協会本部／編集局	(270)926	1989年(平成01)・第36巻・03号
図書紹介／知非斎古野了作先生編述復刻『傷寒論国字解』全10巻・『金匱要略国字解』全5巻　愛知県薬剤師漢方研究会刊行	編集局	(272)928	1989年(平成01)・第36巻・03号
@1989年(平成01)-第36巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（19）現存最古の『金匱要略』－元・トウ珍刊本－	小曽戸洋	(2)942	1989年(平成01)・第36巻・04号
巻頭言／誇り・驕り・思い込み	寺澤捷年	(9)949	1989年(平成01)・第36巻・04号
5月に開催される第40回・日本東洋医学会学術総会　会頭　山田光胤氏を訪ねて	山田光胤・編集局	(10)950	1989年(平成01)・第36巻・04号
饗庭家における補中益気湯の目標をめぐって	松本一男	(14)954	1989年(平成01)・第36巻・04号
ネフローゼの急性増悪に著効を得た1症例－茯苓杏仁甘草湯兼真武湯－	宗像敬一	(22)962	1989年(平成01)・第36巻・04号

高年婦人の治験例	今泉清	(25)965	1989年(平成01)・第36巻・04号
痴呆前状態と見間違えた症例に附子人参湯	高木嘉子	(29)969	1989年(平成01)・第36巻・04号
▽重症のメトロパチー（肝下垂）並びに下血諸候が治癒した1例▽虚血性心機能不全悪化の好転例	二村禧	(32)972	1989年(平成01)・第36巻・04号
漢方牛歩録（79）冷えに補中益気湯	中村謙介	(36)976	1989年(平成01)・第36巻・04号
東洋堂経験余話（15）▽下痢に真武湯加赤石脂▽関節リウマチに続命湯	松本一男	(40)980	1989年(平成01)・第36巻・04号
大学における漢方医学教育の必然性	原敬二郎	(43)983	1989年(平成01)・第36巻・04号
温知荘雑筆　補気健中湯の「健」の字について－及びその出典『済生方』の誤りについて－	矢数道明	(46)986	1989年(平成01)・第36巻・04号
「私見」再論	桜井謙介	(48)988	1989年(平成01)・第36巻・04号
焦灼灸法の臨床応用に関する1試考	坂本秀治	(50)990	1989年(平成01)・第36巻・04号
上海中医学院における藤平健先生の講義を聴いて	福田佳弘	(59)999	1989年(平成01)・第36巻・04号
藤平健先生による傷寒論解説（9）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(75)1015	1989年(平成01)・第36巻・04号
都下医家名墓散策（12）吉田意安	小曽戸洋	(84)1024	1989年(平成01)・第36巻・04号
深川本『吉益南涯門』（3）	矢数道明	(87)1027	1989年(平成01)・第36巻・04号
梅花の里－『東洞先生投剤証録』雑考　江戸後期の上州路の漢方瞥見－	村松睦	(94)1034	1989年(平成01)・第36巻・04号
畑の中の面々（7）こぶとりおばあさん	田畑隆一郎	(108)1048	1989年(平成01)・第36巻・04号
中日中医薬学術研討会（ROC-Japan Symposium on Chinese Medical Sciences）に参加して	丁宗鐵	(113)1053	1989年(平成01)・第36巻・04号
東洋医学公開シンポジウム開催	編集局	(116)1056	1989年(平成01)・第36巻・04号
昭和63年（1988）漢方略史年表	矢数道明	(117)1057	1989年(平成01)・第36巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年3月＞	協会本部／編集局	(135)1075	1989年(平成01)・第36巻・04号
@1989年(平成01)-第36巻-05号-＜『漢方の臨床』第31巻－第35巻　号別・著者別目次索引集＞			
『漢方の臨床』第31巻より第35巻まで号別・著者別目次索引集発行について	矢数道明	(5)1097	1989年(平成01)・第36巻・05号
『漢方の臨床』第31巻－第35巻　号別索引	編集局	(6)1098	1989年(平成01)・第36巻・05号
『漢方の臨床』第31巻－第35巻　著者別索引	編集局	(36)1128	1989年(平成01)・第36巻・05号
追記	土屋伊磋雄	(81)1173	1989年(平成01)・第36巻・05号
細野史郎先生ご逝去	土屋伊磋雄	(82)1174	1989年(平成01)・第36巻・05号
日本医史学会開催　山下政三氏が「矢数医史学賞」受賞	編集局	(84)1176	1989年(平成01)・第36巻・05号
新刊案内／『治療学の確立と東洋医学の再興をめざした板倉武』	編集局	(94)1186	1989年(平成01)・第36巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年4月＞	協会本部／編集局	(95)1187	1989年(平成01)・第36巻・05号
@1989年(平成01)-第36巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（20）家康遺愛の医療用品－久能山東照宮の宝物	小曽戸洋	(2)1210	1989年(平成01)・第36巻・06号
巻頭言／漢方処方のデータベースを	杵渕彰	(9)1217	1989年(平成01)・第36巻・06号
いわゆる鞭打ち症Barre-Lieou症状に対する漢方薬併用療法－主として近効朮附湯による6例	穴吹浩・高口真一郎	(10)1218	1989年(平成01)・第36巻・06号
妊娠浮腫の漢方療法（4）	浮田徹也	(20)1228	1989年(平成01)・第36巻・06号
漢方牛歩録（80）ステロイド糖尿病を併発した慢性関節リウマチに四逆湯合芍薬甘草湯兼金療法	中村謙介	(28)1236	1989年(平成01)・第36巻・06号
東洋堂経験余話（16）▽腹痛に厚朴生姜半夏甘草人参湯▽腰痛に桃核承気湯	松本一男	(32)1240	1989年(平成01)・第36巻・06号
ちょっと一言／烏薬順気散料加羚羊角の奇効	藤平健	(34)1242	1989年(平成01)・第36巻・06号
小川流腹証の追試報告（7）	池田政一	(35)1243	1989年(平成01)・第36巻・06号
藤平健先生による傷寒論解説（10）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(39)1247	1989年(平成01)・第36巻・06号
野中家資料について（1）	杉立義一	(47)1255	1989年(平成01)・第36巻・06号
都下医家名墓散策（13）吉田宗活	小曽戸洋	(51)1259	1989年(平成01)・第36巻・06号
香月牛山原著『婦人寿草』校訂出版余話（続）－馬益卿について－	小野正弘	(55)1263	1989年(平成01)・第36巻・06号
図書紹介／聖光園細野診療所編『続　病と漢方』『続々　病と漢方』	編集局	(57)1265	1989年(平成01)・第36巻・06号
『中医常用工具書手冊』について	津谷喜一郎	(58)1266	1989年(平成01)・第36巻・06号
漢方界おもてうら（19）奥門会（7）	伊藤清夫	(61)1269	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／弔辞	大塚恭男	(66)1274	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生の思い出	矢数道明	(67)1275	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／哀悼の辞	ハイ元植	(72)1280	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生と中島紀一先生	松本克彦	(73)1281	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／医聖細野史郎先生のご逝去を悼む	森下宗司	(76)1284	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生を偲んで	後藤實	(77)1285	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／恩師細野史郎先生と薬剤師の私達	二村禧	(78)1286	1989年(平成01)・第36巻・06号

細野史郎先生を悼む／細野史郎先生の御逝去を悼む	西岡五夫	(79)1287	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生	間中喜雄	(80)1288	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／追悼の辞	長尾泰爾	(81)1289	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／払シ塵	岸田明	(83)1291	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／追悼・細野先生	岩佐禮一	(83)1291	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生の思い出	坂口弘	(84)1292	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生を偲ぶ	柴田良治	(90)1298	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／漢方はよう効くやろ－細野史郎先生の思い出－	山崎正寿	(92)1300	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生を悼む	木村雄四郎	(94)1302	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／同道のものに温かく・・・　細野史郎先生を偲ぶ	蔡宗傑	(95)1303	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生と私	高島文一	(96)1304	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／恩師　細野史郎先生	中田敬吾	(97)1305	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／ああ大先生とのお別れ！	佐竹貞次郎	(102)1310	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎先生	小川新	(106)1314	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／大先生の思い出	広瀬滋之	(108)1316	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野先生の思い出	伊藤清夫	(109)1317	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生を悼む／細野史郎博士と鍼灸	多留淳文	(110)1318	1989年(平成01)・第36巻・06号
細野史郎先生の在りし日を偲ぶ	編集局	(113)1321	1989年(平成01)・第36巻・06号
学会・研究会レポート／第40回日本東洋医学会学術総会開かれる／日本東洋医学会、新役員を正式決定／日本中医雑誌社『中医葯ニュース』抄	編集局	(118)1326	1989年(平成01)・第36巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年5月＞	協会本部／編集局	(133)1341	1989年(平成01)・第36巻・06号
@1989年(平成01)-第36巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（21）徳川綱吉筆の神農像－久能山東照宮・仙台市博物館所蔵品－	小曽戸洋	(2)1362	1989年(平成01)・第36巻・07号
巻頭言／中西結合医学（東西両医学の結合）	原敬二郎	(9)1369	1989年(平成01)・第36巻・07号
臨床腹診考（16）	山田光胤	(10)1370	1989年(平成01)・第36巻・07号
東洋堂経験余話（17）▽慢性肝炎に荊芥連翹湯加味	松本一男	(17)1377	1989年(平成01)・第36巻・07号
図書紹介／小倉重成著『臨床・漢方問答』－漢方研究室－上巻	編集局	(19)1379	1989年(平成01)・第36巻・07号
舌診雑考（2）舌診の随証治療への活用	村松睦	(20)1380	1989年(平成01)・第36巻・07号
漢方牛歩録（81）多発性の筋関節炎に甘草附子湯兼インドメタシン	中村謙介	(29)1389	1989年(平成01)・第36巻・07号
この微なるもの－いのちと科学のはざま－	佐波古美智子	(33)1393	1989年(平成01)・第36巻・07号
併病　私の経験	高木嘉子	(36)1396	1989年(平成01)・第36巻・07号
古典による帰脾湯、加味帰脾湯の解説並びに適応症について	二村禧	(38)1398	1989年(平成01)・第36巻・07号
藤平健先生による傷寒論解説（11）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(42)1402	1989年(平成01)・第36巻・07号
刺激療法に関する考述－吸角療法の全身反応効果－	坂本秀治	(52)1412	1989年(平成01)・第36巻・07号
桂枝について	鈴木堯	(58)1418	1989年(平成01)・第36巻・07号
ちょっと一言／旅先での偶感	宮崎綾子	(70)1430	1989年(平成01)・第36巻・07号
臨風そして柴苓湯	笠原栄司	(71)1431	1989年(平成01)・第36巻・07号
都下医家名墓散策（14）数原宗達一族	小曽戸洋	(74)1434	1989年(平成01)・第36巻・07号
野中家資料について（2）	杉立義一	(77)1437	1989年(平成01)・第36巻・07号
細野史郎先生を悼む（続）／細野史郎先生の御逝去を悼んで	長瀬千秋	(83)1443	1989年(平成01)・第36巻・07号
細野史郎先生を悼む（続）／思い出の細野史郎先生	大塚恭男	(84)1444	1989年(平成01)・第36巻・07号
細野史郎先生を悼む（続）／今は亡き細野史郎先生	山田光胤	(86)1446	1989年(平成01)・第36巻・07号
細野史郎先生を悼む（続）／細野史郎先生の思い出	内炭精一	(87)1447	1989年(平成01)・第36巻・07号
細野史郎先生を悼む（続）／細野史郎先生を偲ぶ－加藤周一氏のこと－	原桃介	(88)1448	1989年(平成01)・第36巻・07号
細野史郎先生を悼む（続）／昭和漢方界の巨匠細野先生の思い出	渡邊武	(90)1450	1989年(平成01)・第36巻・07号
四世鍼師・神戸源蔵氏逝去	編集局	(96)1456	1989年(平成01)・第36巻・07号
四世鍼師・神戸源蔵氏逝去／弔辞	石野尚吾	(96)1456	1989年(平成01)・第36巻・07号
急報／南京の老中医　葉橘泉氏逝去	土屋伊磋雄	(97)1457	1989年(平成01)・第36巻・07号
ウチダ和漢薬同好会研修大会開催	編集局	(98)1458	1989年(平成01)・第36巻・07号
北京研修を終えて　北里研究所東医研医師　平馬直樹氏に聞く	平馬直樹・土屋伊磋雄	(99)1459	1989年(平成01)・第36巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年6月＞	協会本部／編集局	(108)1468	1989年(平成01)・第36巻・07号
@1989年(平成01)-第36巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（22）永富独嘯庵の遺墨－長府博物館・長府図書館所蔵品－	小曽戸洋	(2)1488	1989年(平成01)・第36巻・08号
巻頭言／日本漢方とハワイの日系人	石野尚吾	(11)1497	1989年(平成01)・第36巻・08号

嚢胞腎の1例　「山王清心丸」服用中に、腎機能、貧血の改善を認めた	雪村八一郎・室賀昭三	(12)1498	1989年(平成01)・第36巻・08号
「五味子末＋補腎煎剤」の慢性肝疾患GOT、GPTに対する影響	張瓏英	(17)1503	1989年(平成01)・第36巻・08号
東洋堂経験余話（18）▽気管支喘息に四逆散加味▽永びく咳嗽に麦門冬湯加阿膠	松本一男	(25)1511	1989年(平成01)・第36巻・08号
漢方牛歩録（82）結節性紅斑に麻黄湯兼小柴胡湯	中村謙介	(28)1514	1989年(平成01)・第36巻・08号
雑学者の治療	土本重	(31)1517	1989年(平成01)・第36巻・08号
小川流腹証の追試報告（8）	池田政一	(34)1520	1989年(平成01)・第36巻・08号
三陰交の位置の異説についてー『医心方』の「八寸」は誤りか	谷田伸治	(39)1525	1989年(平成01)・第36巻・08号
藤平健先生による傷寒論解説（12）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(49)1535	1989年(平成01)・第36巻・08号
都下医家名墓散策（15）岡甫庵（寿元）	小曽戸洋	(53)1539	1989年(平成01)・第36巻・08号
畑の中の面々（8）ねむの花を造り、くもの巣を編む人々	田畑隆一郎	(56)1542	1989年(平成01)・第36巻・08号
柴又の寅さんと「川穀」の皮下注射	安達捨次郎	(60)1546	1989年(平成01)・第36巻・08号
日本東洋医学会会長室賀昭三氏に抱負を聞く	室賀昭三・編集局	(66)1552	1989年(平成01)・第36巻・08号
葉橘泉先生を偲ぶ／葉橘泉先生のご逝去を悼む／葉橘泉先生の思い出	矢数道明	(70)1556	1989年(平成01)・第36巻・08号
細野史郎先生を悼む（続々）／細野史郎先生ありがとうございました	野口定子	(75)1561	1989年(平成01)・第36巻・08号
第8回日本オ血総合科学研究会学術総会を終えて	森下宗司	(78)1564	1989年(平成01)・第36巻・08号
書評／小倉重成著『臨床・漢方問答』を読んで感あり	藤平健	(80)1566	1989年(平成01)・第36巻・08号
書評／小川新・池田太喜男・池田政一、3氏共著＜古典から観た現代の腹証＞『古今腹証新覧』の新刊を読んで	矢数道明	(81)1567	1989年(平成01)・第36巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年7月＞	協会本部／編集局	(92)1578	1989年(平成01)・第36巻・08号
@1989年(平成01)-第36巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（23）『万病回春』の初版本ー現存唯一の研医会図書館蔵本ー	小曽戸洋	(2)1596	1989年(平成01)・第36巻・09号
巻頭言／伝統と進歩	松本克彦	(11)1605	1989年(平成01)・第36巻・09号
「心下軟」の気管支喘息に桂姜棗草黄辛附湯が有効であった1例	小泉久仁弥	(12)1606	1989年(平成01)・第36巻・09号
麻黄剤蓄積による脱汗の1例	高木嘉子	(17)1611	1989年(平成01)・第36巻・09号
図書紹介／小曽戸洋・真柳誠編『和刻　漢藉医書集成』全60書	編集局	(19)1613	1989年(平成01)・第36巻・09号
漢方牛歩録（83）多発性関節炎に麻黄加朮附湯	中村謙介	(20)1614	1989年(平成01)・第36巻・09号
東洋堂経験余話（19）▽桂枝加芍薬湯の有効例▽気管支喘息に桂枝加厚朴杏仁湯	松本一男	(24)1618	1989年(平成01)・第36巻・09号
妊娠浮腫の漢方療法（5）	浮田徹也	(27)1621	1989年(平成01)・第36巻・09号
顎関節の体験から	入江正	(36)1630	1989年(平成01)・第36巻・09号
『カイ渓医案』について	杉山広重	(43)1637	1989年(平成01)・第36巻・09号
藤平健先生による傷寒論解説（13）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(51)1645	1989年(平成01)・第36巻・09号
温知荘雑筆　遠田澄庵家伝の脚気薬処方箋について	矢数道明	(56)1650	1989年(平成01)・第36巻・09号
都下医家名墓散策（16）二宮桃亭	小曽戸洋	(60)1654	1989年(平成01)・第36巻・09号
漢方界おもてうら（20）奥門会（8）	伊藤清夫	(64)1658	1989年(平成01)・第36巻・09号
「奥田ヤマメ」の由来	難波三四郎	(68)1662	1989年(平成01)・第36巻・09号
野中家資料について（3）	杉立義一	(72)1666	1989年(平成01)・第36巻・09号
葉橘泉先生を偲ぶ（続）／葉橘泉先生の思い出	難波恒雄	(78)1672	1989年(平成01)・第36巻・09号
学会・研究会レポート／第6回和漢医薬学会、岐阜で開催	編集局	(82)1676	1989年(平成01)・第36巻・09号
トピックス／湯島聖堂で神農像還座式挙行／北里研究所創立75周年記念会挙行	編集局	(84)1678	1989年(平成01)・第36巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年8月＞	協会本部／編集局	(95)1689	1989年(平成01)・第36巻・09号
@1989年(平成01)-第36巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（24）戴曼公独立の肖像	小曽戸洋	(2)1708	1989年(平成01)・第36巻・10号
巻頭言／温故知新	西岡五夫	(11)1717	1989年(平成01)・第36巻・10号
紫雲膏再考	坂本道哉・佐波古美智子・大内ミツ・斎藤謙一・田畑隆一郎・陣内弘和	(12)1718	1989年(平成01)・第36巻・10号
東洋堂経験余話（20）▽嗜眠に酸棗仁湯▽歩行困難に補中益気湯加味	松本一男	(19)1725	1989年(平成01)・第36巻・10号
文身の水銀アレルギーによる皮膚炎と小柴胡湯	二宮文乃	(22)1728	1989年(平成01)・第36巻・10号
漢方牛歩録（84）嗜眠に酸棗仁湯	中村謙介	(27)1733	1989年(平成01)・第36巻・10号
ちょっと一言／問題の「発見」	粟島行春	(29)1735	1989年(平成01)・第36巻・10号
温知堂経験録（197）▽15年来のてんかん様発作に抑肝散加芍薬・甘草▽左肘関節外側の粉瘤状浮腫に五苓散料エキス末▽夜間の咳き込みに滋陰降火湯	矢数道明	(30)1736	1989年(平成01)・第36巻・10号
小川流腹証の追試報告（9）	池田政一	(33)1739	1989年(平成01)・第36巻・10号
内経における特殊病症の記載からー腎風の状の解釈ー	坂本秀治	(37)1743	1989年(平成01)・第36巻・10号
生薬学の長老　木村康一氏逝去す	編集局	(42)1748	1989年(平成01)・第36巻・10号

藤平健先生による傷寒論解説（14）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(43)1749	1989年(平成01)・第36巻・10号
畑の中の面々（9）はれ、後、雨	田畑隆一郎	(49)1755	1989年(平成01)・第36巻・10号
史料紹介／国立公文書館所蔵『曲直瀬養安院由緒書』など	香取俊光	(52)1758	1989年(平成01)・第36巻・10号
曲直瀬養安院家の末裔	小曽戸洋	(59)1765	1989年(平成01)・第36巻・10号
野中家資料について（4）	杉立義一	(60)1766	1989年(平成01)・第36巻・10号
漢方界おもてうら（21）奥門会（9）	伊藤清夫	(64)1770	1989年(平成01)・第36巻・10号
千葉大学東洋医学研究会50周年にあたって	佐藤良一	(68)1774	1989年(平成01)・第36巻・10号
日野厚先生の長逝を悼む	間中喜雄	(72)1778	1989年(平成01)・第36巻・10号
新刊紹介／松田邦夫著『万病回春解説』の出版に寄せて	矢数道明	(74)1780	1989年(平成01)・第36巻・10号
トピックス／日本東洋医学会認定専門医制度申請の受付を開始／村主明彦氏ら漢方研奨学金を受賞／漢方三考塾先哲医家の墓参を行う	編集局	(76)1782	1989年(平成01)・第36巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年9月＞	協会本部／編集局	(87)1793	1989年(平成01)・第36巻・10号
@1989年(平成01)-第36巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（25）日本最初の印刷医書『医書大全』	小曽戸洋	(2)1814	1989年(平成01)・第36巻・11号
巻頭言／クスリと養生	三谷和合	(9)1821	1989年(平成01)・第36巻・11号
日本の漢方診療の現状と今後（1）	伊藤清夫	(10)1822	1989年(平成01)・第36巻・11号
風池、風府を刺し桂枝湯を投与した症例ー「煩」の具体的症候について	雪村八一郎	(17)1829	1989年(平成01)・第36巻・11号
漢方牛歩録（85）更年期障害に桂枝茯苓丸	中村謙介	(20)1832	1989年(平成01)・第36巻・11号
東洋堂経験余話（21）▽奔豚湯経験▽黄連湯経験	松本一男	(23)1835	1989年(平成01)・第36巻・11号
妊娠浮腫の漢方療法（6）	浮田徹也	(26)1838	1989年(平成01)・第36巻・11号
路志正老中医の産後喘治験	指導）路志正 整理）劉文昭 訳者）平馬直樹	(32)1844	1989年(平成01)・第36巻・11号
山田業広による『金匱』奔豚気病篇の釈義とそのアウトライン	杉山広重	(36)1848	1989年(平成01)・第36巻・11号
藤平健先生による傷寒論解説（15）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(43)1855	1989年(平成01)・第36巻・11号
易の陰陽と『安藤昌益』の活真の進退と	粟島行春	(49)1861	1989年(平成01)・第36巻・11号
都下医家名墓散策（17）多賀谷安貞	小曽戸洋	(52)1864	1989年(平成01)・第36巻・11号
野中家資料について（5）浅田宗伯筆『医心方』抄本	杉立義一	(54)1866	1989年(平成01)・第36巻・11号
父　葉橘泉の思い出	葉加南	(59)1871	1989年(平成01)・第36巻・11号
漢方界おもてうら（22）奥門会（10）	伊藤清夫	(64)1876	1989年(平成01)・第36巻・11号
現代漢方事情に思う	中村成代	(68)1880	1989年(平成01)・第36巻・11号
日本東洋医学会第46回関東甲信越支部会印象記	岩浪登	(70)1882	1989年(平成01)・第36巻・11号
第12回韓国韓医師協会学術大会参加の記	山田光胤	(72)1884	1989年(平成01)・第36巻・11号
創医会々長・宮脇浩志氏急逝	編集局	(74)1886	1989年(平成01)・第36巻・11号
トピックス／千葉大学東洋医学研究会50周年記念式典、盛大に開催／大塚恭男氏、東京生薬協会より表彰　田家照生氏、薬事功労者厚生大臣表彰／寺師睦宗氏の漢方研鑽30年祝賀会開催	編集局	(75)1887	1989年(平成01)・第36巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年10月＞	協会本部／編集局	(86)1898	1989年(平成01)・第36巻・11号
@1989年(平成01)-第36巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（26）文人画にみる神農像	小曽戸洋	(2)1918	1989年(平成01)・第36巻・12号
巻頭言／本当に必要なことは？	代田文彦	(9)1925	1989年(平成01)・第36巻・12号
日本の漢方診療の現状と今後（2）証という類型・パターン認識について	伊藤清夫	(10)1926	1989年(平成01)・第36巻・12号
桂枝の入る処方の意義について	伊藤康雄	(15)1931	1989年(平成01)・第36巻・12号
陰陽に渡る病位転変の多様性ー風邪の自験例よりー	宗像敬一	(18)1934	1989年(平成01)・第36巻・12号
漢方牛歩録（86）慢性腸炎に人参湯	中村謙介	(25)1941	1989年(平成01)・第36巻・12号
東洋堂経験余話（22）▽悪寒に茯苓四逆湯経験▽下肢の鬱血に補中治湿湯加柴胡	松本一男	(28)1944	1989年(平成01)・第36巻・12号
導引体操＜九寿操＞の意味するところに就いて	坂本秀治	(31)1947	1989年(平成01)・第36巻・12号
藤平健先生による傷寒論解説（16）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(43)1959	1989年(平成01)・第36巻・12号
漢方界おもてうら（23）奥門会（11）	伊藤清夫	(47)1963	1989年(平成01)・第36巻・12号
都下医家名墓散策（18）辻元冬嶺	小曽戸洋	(51)1967	1989年(平成01)・第36巻・12号
千葉大学東洋医学会創立50周年記念行事印象記	奥井勝二	(55)1971	1989年(平成01)・第36巻・12号
追悼・間中喜雄先生／故　間中喜雄先生略歴	編集局	(58)1974	1989年(平成01)・第36巻・12号
追悼座談会／間中喜雄先生を偲ぶ	矢数道明・大塚恭男・勝田正泰・岡部素明 司会）土屋伊磋雄	(59)1975	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／間中喜雄先生の急逝を悼んで	矢数道明	(74)1990	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／先輩　間中喜雄先生	坂口弘	(76)1992	1989年(平成01)・第36巻・12号

哀惜・間中喜雄先生／間中喜雄先生の御逝去を悼む	山田光胤	(78)1994	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／間中喜雄先生の急逝を悼む	森下宗司	(79)1995	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／憶々　知愚庵先生	吉元昭治	(82)1998	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／告別吊辞	ハイ元植	(83)1999	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／間中喜雄博士の逝去を哀悼する	柳泰佑	(84)2000	1989年(平成01)・第36巻・12号
哀惜・間中喜雄先生／間中喜雄先生のご逝去	土屋伊磋雄	(87)2003	1989年(平成01)・第36巻・12号
木村康一先生の想い出	坂口弘	(94)2010	1989年(平成01)・第36巻・12号
トピックス／日本漢方協会主催第9回漢方学術大会、盛大に開催／第10回日本臨床薬理学会で漢方のシンポジウム行われる／柳谷素霊先生30年祭行われる／日本東洋医学会、12の生薬につき厚生省に薬価収載を要請／近畿大学東洋医学研究所阿部博子教授就任祝賀会開催／第2回日中医薬学交流会開催／神農祭、湯島聖堂内でとり行われる	編集局	(97)2013	1989年(平成01)・第36巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年11月＞	協会本部／編集局	(110)2026	1989年(平成01)・第36巻・12号
@1990年(平成02)-第37巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（27）多紀元簡の山水図	小曽戸洋	(2)2	1990年(平成02)・第37巻・01号
巻頭言／「修破離」	中田敬吾	(9)9	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	穐吉健治	(11)11	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	穴吹浩	(11)11	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	荒川正次	(11)11	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	粟島行春	(11)11	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	家本誠一	(12)12	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	石田秀実	(12)12	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞年頭に思う	磯島正	(12)12	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	市來一彦	(13)13	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	伊藤敦之	(13)13	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	伊藤真愚	(14)14	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	今泉清	(14)14	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	入江正	(14)14	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	浮田徹也	(15)15	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	梅田喜久雄	(15)15	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	浦田誓夫	(15)15	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	王瑞雲	(15)15	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	大塚恭男	(16)16	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	大西和子	(16)16	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	大野安春	(17)17	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	大村明	(17)17	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	岡部俊一	(17)17	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小川新	(18)18	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小川幸男	(18)18	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	沖野与三郎	(19)19	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小口悌示	(19)19	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小曽戸明子	(20)20	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小野正弘	(20)20	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	遠田裕政	(20)20	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	笠原栄司	(21)21	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	勝田正泰	(21)21	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	鎌田慶市郎	(21)21	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	上村芳太郎	(21)21	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	河野順	(21)21	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	菊谷豊彦	(22)22	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	木下繁太朗	(22)22	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	木下勤	(22)22	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	木下恒雄	(23)23	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	木村雄四郎	(23)23	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	久保田富也	(23)23	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞排尿後処置について	倉島宗二	(24)24	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	桑木崇秀	(24)24	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小池三良助	(24)24	1990年(平成02)・第37巻・01号

新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	向後健	(25)25	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	小曽戸洋	(25)25	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	古村和子	(25)25	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	今忠郎	(26)26	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	坂本秀治	(26)26	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞平成は免疫の年	佐々木雄次	(27)27	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	佐竹貞治郎	(27)27	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	佐藤弘	(27)27	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	柴田良治	(28)28	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	杉立義一	(28)28	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	尚鎮国	(28)28	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	杉山広重	(29)29	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	鈴木博夫	(29)29	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	十河孝博	(29)29	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	高木健太郎	(30)30	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	高島文一	(30)30	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	高橋邦夫	(30)30	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	高山宏世	(30)30	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	田家照生	(31)31	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	竹田真	(31)31	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞漢方医はなぜ廃止されたか	谷田伸治	(31)31	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	田畑隆一郎	(32)32	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	玉置新治	(32)32	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	田村嘉章	(32)32	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	多留淳文	(32)32	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	張瓏英	(33)33	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	土本重	(33)33	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	丁宗鐵	(33)33	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	寺師睦宗	(34)34	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	土岐卓	(34)34	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	豊田白詩	(34)34	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	中井康雄	(35)35	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	中神倭文夫	(35)35	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	中島泰三	(35)35	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞この世は「はてしない物語」？	長瀬千秋	(36)36	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	中村昭	(36)36	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	中村謙介	(36)36	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	中村實郎	(37)37	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	難波恒雄	(37)37	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	仁池米敏	(37)37	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	西岡五夫	(37)37	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞名人釘師（くぎし）のはなし	西岡一夫	(38)38	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	西澤道允	(38)38	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	西畑邦夫	(39)39	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	西脇平士	(39)39	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	二宮文乃	(40)40	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	根本幸一	(40)40	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	野口定子	(41)41	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	橋口親義	(41)41	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	長谷川弥人	(41)41	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	原桃介	(41)41	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	藤平健	(42)42	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	細井大二	(42)42	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	細川喜代治	(42)42	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	牧田憲太郎	(43)43	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	松岡伯菁	(43)43	1990年(平成02)・第37巻・01号

新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	松岡睦友	(43)43	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	松下嘉一	(44)44	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	松田邦夫	(44)44	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	松橋俊夫	(44)44	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	松本一男	(45)45	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞昨今に想う	松本克彦	(45)45	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	真鍋立夫	(45)45	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	真柳誠	(46)46	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	三谷和合	(46)46	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	光藤英彦	(46)46	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	宮崎綾子	(47)47	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	宮沢康朗	(47)47	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	宮下三郎	(48)48	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	牟田光一郎	(48)48	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	村田恭介	(48)48	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞漢方方剤のお墨付	村松睦	(48)48	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	室賀昭三	(49)49	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	森下宗司	(49)49	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	矢数圭堂	(50)50	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞「年頭所感」	矢数道明	(50)50	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞新しい医療を期待する	山下九三夫	(51)51	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	山田光胤	(51)51	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	山ノ内慎一	(51)51	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	山本昇吾	(52)52	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	雪村八一郎	(52)52	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	横田観風	(52)52	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	吉岡信	(53)53	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	吉田種臣	(53)53	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	吉冨兵衛	(53)53	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	吉元昭治	(54)54	1990年(平成02)・第37巻・01号
新年のことば　＜平成2年（1990年）＞	渡辺貞夫	(54)54	1990年(平成02)・第37巻・01号
対談／新春　漢方臨床茶談	藤平健・大塚恭男・小曽戸洋	(55)55	1990年(平成02)・第37巻・01号
日本の漢方診療の現状と今後（3）隋証治療の長所・短所	伊藤清夫	(80)80	1990年(平成02)・第37巻・01号
臨床腹診考（17）	山田光胤	(87)87	1990年(平成02)・第37巻・01号
漢方治療のおとし穴	原敬二郎	(93)93	1990年(平成02)・第37巻・01号
故　大塚敬節先生の警言を思う	犀川龍	(95)95	1990年(平成02)・第37巻・01号
哀惜・間中喜雄先生（続）／間中喜雄先生と私	入江正	(97)97	1990年(平成02)・第37巻・01号
間中喜雄先生を偲ぶ会開催	編集局	(99)99	1990年(平成02)・第37巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成元年12月＞	協会本部／編集局	(112)112	1990年(平成02)・第37巻・01号
@1990年(平成02)-第37巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（28）北山友松子の遺墨	小曽戸洋	(2)134	1990年(平成02)・第37巻・02号
巻頭言／「中年女の力」	津谷喜一郎	(9)141	1990年(平成02)・第37巻・02号
日本の漢方診療の現状と今後（4）	伊藤清夫	(10)142	1990年(平成02)・第37巻・02号
表裏の意義	伊藤康雄	(16)148	1990年(平成02)・第37巻・02号
私の漢方／梔子シ湯	大西和子	(26)158	1990年(平成02)・第37巻・02号
漢方牛歩録（87）シェーグレン症候群に柴胡桂枝乾姜湯兼桂枝茯苓丸	中村謙介	(32)164	1990年(平成02)・第37巻・02号
東洋堂経験余話（23）▽血尿に荊芥連翹湯合黄連解毒湯▽食道裂孔ヘルニアに甘草瀉心湯加山梔子	松本一男	(36)168	1990年(平成02)・第37巻・02号
切迫早産の漢方療法（3）	浮田徹也	(39)171	1990年(平成02)・第37巻・02号
藤平健先生による傷寒論解説（17）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(48)180	1990年(平成02)・第37巻・02号
免疫と漢方	中村成代	(54)186	1990年(平成02)・第37巻・02号
木村康一先生を偲んで－先生の思い出ばなしから－	長倉吉宏	(57)189	1990年(平成02)・第37巻・02号
間中喜雄先生の著書目録について／海外出張の記録	矢数道明	(63)195	1990年(平成02)・第37巻・02号
漢方界おもてうら（24）奥門会（12）	伊藤清夫	(67)199	1990年(平成02)・第37巻・02号
書評／小倉重成著『臨床・漢方問答』を読んで	中村謙介	(73)205	1990年(平成02)・第37巻・02号
図書紹介／薬学博士・吉岡信著『近世日本薬業史研究』	編集局	(75)207	1990年(平成02)・第37巻・02号

トピックス／第3回日本漢方治療シンポジウム開催／経絡治療創設50周年記念大会開催	編集局	(76)208	1990年(平成02)・第37巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年1月＞	協会本部／編集局	(86)218	1990年(平成02)・第37巻・02号
@1990年(平成02)-第37巻-03号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（29）日本最古の『傷寒論』の版本　－古活字版	小曽戸洋	(2)238	1990年(平成02)・第37巻・03号
巻頭言／1つのヒントから	内炭精一	(9)245	1990年(平成02)・第37巻・03号
日本の漢方診療の現状と今後（5）	伊藤清夫	(10)246	1990年(平成02)・第37巻・03号
アフタ性大腸炎に白頭翁加甘草阿膠湯および胃風湯加甘草が奏効した1例	小泉久仁弥	(16)252	1990年(平成02)・第37巻・03号
水疱性皮膚病の1症例	三品尚弘	(21)257	1990年(平成02)・第37巻・03号
図書紹介／荻田善一編・黄兆勝・黄愛萍著『漢方診療ハンドブック』	編集局	(23)259	1990年(平成02)・第37巻・03号
東洋堂経験余話（24）▽目眩に苓桂朮甘湯▽高血圧症に七物降下湯加黄連黄ゴン山梔子	松本一男	(24)260	1990年(平成02)・第37巻・03号
漢方牛歩録（88）頭痛に小建中湯兼柴胡桂枝乾姜湯	中村謙介	(27)263	1990年(平成02)・第37巻・03号
畑の中の面々（10）モウちやん親子のかぜ	田畑隆一郎	(31)267	1990年(平成02)・第37巻・03号
寺澤捷年氏教授就任記念座談会／寺澤教授への期待と漢方の教育について	寺澤捷年・矢数道明・藤平健・丁宗鐵・津谷喜一郎司会）室賀昭三	(35)271	1990年(平成02)・第37巻・03号
藤平健先生による傷寒論解説（18）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(53)289	1990年(平成02)・第37巻・03号
『郷薬集成方』巻第三十五「牙歯篇」とその分析	杉山広重	(60)296	1990年(平成02)・第37巻・03号
都下医家名墓散策（19）喜多村直寛	小曽戸洋	(74)310	1990年(平成02)・第37巻・03号
桂皮と桂枝について（上）	佐竹テイ花	(77)313	1990年(平成02)・第37巻・03号
第3回国際アジア伝統医学会に参加して	津谷喜一郎	(85)321	1990年(平成02)・第37巻・03号
間中先生を偲んで	藤平健	(90)326	1990年(平成02)・第37巻・03号
トピックス／日中共同研究協調委員会10周年記念シンポジウム開催／寺澤捷年氏、国立医大初の漢方の教授就任祝賀会開催	編集局	(92)328	1990年(平成02)・第37巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年2月＞	協会本部／編集局	(103)339	1990年(平成02)・第37巻・03号
ＷＨＯ初代伝統医官担当医務官・津谷喜一郎氏、2月4日毎日新聞に紹介	編集局	(105)341	1990年(平成02)・第37巻・03号
@1990年(平成02)-第37巻-04号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（30）現存する日本第2の医書印刷の版木－越前版『俗解八十一難経』－	真柳誠・小曽戸洋	(2)360	1990年(平成02)・第37巻・04号
巻頭言／大塚新理事長に期待する	坂口弘	(11)369	1990年(平成02)・第37巻・04号
日本の漢方診療の現状と今後（6）漢方エキス製剤の諸問題	伊藤清夫	(12)370	1990年(平成02)・第37巻・04号
臨床腹診考（18）	山田光胤	(18)370	1990年(平成02)・第37巻・04号
内外と水の関わり	伊藤康雄	(27)385	1990年(平成02)・第37巻・04号
十六味流気飲（『万病回春』）による1症例　＜頸部腫瘤に対する効果＞	山ノ内慎一	(36)394	1990年(平成02)・第37巻・04号
漢方牛歩録（89）心不全に木防已湯	中村謙介	(38)396	1990年(平成02)・第37巻・04号
お知らせ／本協会理事長に大塚恭男氏が就任	編集局	(40)398	1990年(平成02)・第37巻・04号
東洋堂経験余話（25）▽寝返り不能に柴胡桂枝湯加芍薬甘草▽高血圧症と激しい動悸に柴胡加竜骨牡蠣湯	松本一男	(41)399	1990年(平成02)・第37巻・04号
藤平健先生による傷寒論解説（19）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(44)402	1990年(平成02)・第37巻・04号
桂皮と桂枝について（下）	佐竹テイ花	(50)408	1990年(平成02)・第37巻・04号
＜核戦争防止国際会議特別発言＞原子爆弾傷、特に放射能症の民間療法（1）－伝承の英智－	小川新	(61)419	1990年(平成02)・第37巻・04号
都下医家名墓散策（20）奥山玄建	小曽戸洋	(65)421	1990年(平成02)・第37巻・04号
漢方界おもてうら（25）奥門会（13）	伊藤清夫	(68)426	1990年(平成02)・第37巻・04号
5月12･13日に開催される第41回日本東洋医学会学術総会準備委員長原敬二郎氏に聞く	原敬二郎・編集局	(74)432	1990年(平成02)・第37巻・04号
昭和64年・平成元年（1989）漢方略史年表	矢数道明	(89)447	1990年(平成02)・第37巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年3月＞	協会本部／編集局	(100)458	1990年(平成02)・第37巻・04号
@1990年(平成02)-第37巻-05号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（31）曲直瀬道三自筆『啓迪集』－三原市立図書館蔵本－	小曽戸洋	(2)476	1990年(平成02)・第37巻・05号
巻頭言／理事長に就任して	大塚恭男	(9)483	1990年(平成02)・第37巻・05号
漢方薬の「好ましき」副作用について	花輪壽彦	(10)484	1990年(平成02)・第37巻・05号
矢数道明著作集の精神医学的分析－その症状について－	松橋俊夫	(20)494	1990年(平成02)・第37巻・05号
日本の漢方診療の現状と今後（7）	伊藤清夫	(29)503	1990年(平成02)・第37巻・05号
『康治本傷寒論』に於ける謎の数字群について	遠田裕政	(33)507	1990年(平成02)・第37巻・05号
＜日本東洋医学会民間薬調査研究委員会調査研究の概要＞千葉県の家伝薬	鎌田慶市郎・松下嘉一	(37)511	1990年(平成02)・第37巻・05号

＜日本東洋医学会民間薬調査研究委員会調査研究の概要＞千葉県の民間薬　資源と活用	富田勲・松下嘉一	(45)519	1990年(平成02)・第37巻・05号
＜核戦争防止国際会議特別発言＞原子爆弾傷、特に放射能症の民間療法（2）－伝承の英智－	小川新	(52)526	1990年(平成02)・第37巻・05号
東洋堂経験余話（26）▽木防已湯経験▽耳鳴に牛車腎気丸料加黄柏	松本一男	(58)532	1990年(平成02)・第37巻・05号
漢方牛歩録（90）心因性の動悸、頻尿、下痢に桂枝甘草竜骨牡蠣湯	中村謙介	(60)534	1990年(平成02)・第37巻・05号
藤平健先生による傷寒論解説（20）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(64)538	1990年(平成02)・第37巻・05号
熟ガイの品質査定上の問題点	坂本秀治	(71)545	1990年(平成02)・第37巻・05号
台湾の医療事情について	黄弘毅	(81)555	1990年(平成02)・第37巻・05号
この徴なるもの－命をいただく	佐波古美智子	(85)559	1990年(平成02)・第37巻・05号
トピックス／第91回日本医史学会岡山で開催　宗田一氏が「矢数医史学賞」受賞／矢数道明氏の臨床60周年『漢方治療百話第7集』出版記念会開催	編集局	(88)562	1990年(平成02)・第37巻・05号
図書紹介／森田幸門著『金匱要略入門』を推す	大野安春	(90)564	1990年(平成02)・第37巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年4月＞	協会本部／編集局	(101)575	1990年(平成02)・第37巻・05号
寺澤捷年氏、4月23日付『読売新聞』に紹介	編集局	(104)578	1990年(平成02)・第37巻・05号
@1990年(平成02)-第37巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（32）朝鮮古活字版『黄帝内経素問』ほか－三原市立図書館蔵本－	小曽戸洋	(2)596	1990年(平成02)・第37巻・06号
巻頭言／浅田宗伯翁生誕175年記念祭を終えて	矢数道明	(9)603	1990年(平成02)・第37巻・06号
座談会／漢方の国際化について	松浦敬一・津谷喜一郎・丁宗鐵 司会）室賀昭三	(10)604	1990年(平成02)・第37巻・06号
桂枝茯苓丸の追加投与で血小板減少が増加に転じた肝硬変の1例	高橋貞則	(31)625	1990年(平成02)・第37巻・06号
漢方牛歩録（91）群発頭痛に桂枝加桂湯	中村謙介	(38)632	1990年(平成02)・第37巻・06号
東洋堂経験余話（27）▽甘草瀉心湯で瞑眩▽関節リウマチに桂枝茯苓丸料合苓桂朮甘湯▽関節リウマチに続命湯	松本一男	(41)635	1990年(平成02)・第37巻・06号
日本の漢方診療の現状と今後（8）	伊藤清夫	(44)638	1990年(平成02)・第37巻・06号
水の流れ	伊藤康雄	(51)645	1990年(平成02)・第37巻・06号
藤平健先生による傷寒論解説（21）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(59)653	1990年(平成02)・第37巻・06号
＜核戦争防止国際会議特別発言＞原子爆弾傷、特に放射能症の民間療法（3）－伝承の英智－	小川新	(66)660	1990年(平成02)・第37巻・06号
神様に成った日	渡邊一幹	(72)666	1990年(平成02)・第37巻・06号
入江フィンガーテスト（入江FT）について（上）	入江正	(73)667	1990年(平成02)・第37巻・06号
軽身と軽身薬について　＜『中医薬学報』1990年第1期、18－20頁＞	華青 訳者）吉元昭治	(80)674	1990年(平成02)・第37巻・06号
新刊紹介／寺師睦宗著『漢方息游三十年』／寺師睦宗著『漢方医者の眼』	小曽戸洋	(85)679	1990年(平成02)・第37巻・06号
図書紹介／発行（財）日本漢方医学研究所『新版　漢方医学』	編集局	(86)680	1990年(平成02)・第37巻・06号
トピックス／第41回日本東洋医学会、福岡で開催／浅田宗伯生誕175年祭開催／細野史郎先生1周忌法要行わる／日本漢方協会新会長に山ノ内慎一氏	編集局	(87)681	1990年(平成02)・第37巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年5月＞	協会本部／編集局	(101)695	1990年(平成02)・第37巻・06号
@1990年(平成02)-第37巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（33）日本最初の活字版医書	小曽戸洋・真柳誠	(2)716	1990年(平成02)・第37巻・07号
巻頭言／今一度、漢方の本質を考えてみたい	松下嘉一	(11)725	1990年(平成02)・第37巻・07号
黄連解毒湯で高度な血圧の不安定現象をおこし、温清飲の投与で血圧の安定をみた脳動脈硬化症の1例	高橋貞則	(14)728	1990年(平成02)・第37巻・07号
併病と考えられた尋常性ザ瘡の3例	堀野雅子	(20)734	1990年(平成02)・第37巻・07号
東洋堂経験余話（28）▽花粉症の頭痛に川キュウ茶調散料▽前立腺肥大症の術後後遺症に温経湯	松本一男	(23)737	1990年(平成02)・第37巻・07号
漢方牛歩録（92）急性胃腸炎に半夏瀉心湯	中村謙介	(26)740	1990年(平成02)・第37巻・07号
日本の漢方診療の現状と今後（9）	伊藤清夫	(29)743	1990年(平成02)・第37巻・07号
日本古方医学派の『傷寒論』研究における“実学”思想とその意義（抄訳）	顧旭平 指導）柯雪帆 訳者）中村昭	(39)753	1990年(平成02)・第37巻・07号
藤平健先生による傷寒論解説（22）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(45)759	1990年(平成02)・第37巻・07号
病院漢方雑感	山内浩	(50)764	1990年(平成02)・第37巻・07号
石脈についての1私見	豊田白詩	(51)765	1990年(平成02)・第37巻・07号
＜核戦争防止国際会議特別発言＞原子爆弾傷、特に放射能症の民間療法（4）－伝承の英智－	小川新	(57)771	1990年(平成02)・第37巻・07号
都下医家名墓散策（21）幕府医官　船橋氏	小曽戸洋	(63)777	1990年(平成02)・第37巻・07号
温知荘雑筆　深川晨堂氏の発刊した『尚古医報』－号外－	矢数道明	(66)780	1990年(平成02)・第37巻・07号
『康治本傷寒論』の数字について	桜井謙介	(68)782	1990年(平成02)・第37巻・07号

入江フィンガーテスト（入江FT）について（下）	入江正	(70)784	1990年(平成02)・第37巻・07号
中国少数民族・トン族医薬研究著作『湖南トン族医薬研究』（原稿）について	シン鉄民	(76)790	1990年(平成02)・第37巻・07号
一老医のたわごと／私の治療法	土本重	(78)792	1990年(平成02)・第37巻・07号
トピックス／尾台榕堂発掘の運動、出身地に始まる－藤平健先生が新潟県十日町市で講演－	吉村重敏・編集局	(82)796	1990年(平成02)・第37巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年6月＞	協会本部／編集局	(93)807	1990年(平成02)・第37巻・07号
@1990年(平成02)-第37巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（34）国宝半井家本『医心方』	小曽戸洋	(2)828	1990年(平成02)・第37巻・08号
巻頭言／病態生理学の必要性	安井廣迪	(13)839	1990年(平成02)・第37巻・08号
日本の漢方診療の現状と今後（10）漢方エキス製剤の評価について	伊藤清夫	(14)840	1990年(平成02)・第37巻・08号
温知堂経験録（198）▽大腸癌で、あと半年といわれたのが補中益気湯合六君子湯加味方で好転▽腕のシビレ感、手指の荒れ、面疱などに対して、3つの処方を▽慢性肝炎と胆嚢癒着に柴胡桂枝湯を与えて	矢数道明	(20)846	1990年(平成02)・第37巻・08号
牛車腎気丸が有効であった水様鼻汁の3例	高橋貞則	(23)849	1990年(平成02)・第37巻・08号
血気	伊藤康雄	(29)855	1990年(平成02)・第37巻・08号
東洋堂経験余話（29）▽湿疹に十全大補湯加味▽高血圧症に温経湯加味	松本一男	(37)863	1990年(平成02)・第37巻・08号
漢方医認定講習会に思う	根本幸一	(39)865	1990年(平成02)・第37巻・08号
畑の中の面々（11）カミさんの病気	田畑隆一郎	(40)866	1990年(平成02)・第37巻・08号
図書紹介／海老塚吉次著講義録『方剤決定のコツ』	編集局	(43)869	1990年(平成02)・第37巻・08号
漢方牛歩録（93）風邪をひきやすい1例	中村謙介	(44)870	1990年(平成02)・第37巻・08号
「東洋医学書における生薬使用の特徴に関する図形表現について」（3）	遠田裕政・今岡奈美・ゲキ春鵬・趙勝利・唐方・曲莉	(47)873	1990年(平成02)・第37巻・08号
『傷寒論』第28・82・67条の証治の探討	楊育周 訳者）安井廣迪・郷治光廣	(56)882	1990年(平成02)・第37巻・08号
『黄帝内経』の書名をどう読むか	多留淳文	(62)888	1990年(平成02)・第37巻・08号
人体陰陽と太陽輻射の関係について	趙明鋭	(65)891	1990年(平成02)・第37巻・08号
『カイ渓医案』について（2）	杉山広重	(70)896	1990年(平成02)・第37巻・08号
＜砥礪鋒利して、小大の形を制する＞石（上）－古典にみるヘン鍼の臨床的意義について－	坂本秀治	(76)902	1990年(平成02)・第37巻・08号
新刊紹介／寺澤捷年著『症例から学ぶ和漢診療学』	矢数道明	(81)907	1990年(平成02)・第37巻・08号
書評／寺師睦宗著『漢方息游三十年』	中村謙介	(82)908	1990年(平成02)・第37巻・08号
近況／生薬学のご長老　木村雄四郎先生をお訪ねして	木村雄四郎・編集局	(84)910	1990年(平成02)・第37巻・08号
楓橋夜泊の詩	石川忠久	(86)912	1990年(平成02)・第37巻・08号
トピックス／第9回国立病院療養所漢方シンポジウム宇都宮で開催される	編集局	(88)914	1990年(平成02)・第37巻・08号
傅世垣氏、中国中医研究院院長に	編集局	(89)915	1990年(平成02)・第37巻・08号
第9回国立病院療養所漢方シンポジウムより　池見酉次郎氏の特別講演要旨の一部	編集局	(90)916	1990年(平成02)・第37巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年7月＞	協会本部／編集局	(101)927	1990年(平成02)・第37巻・08号
@1990年(平成02)-第37巻-09号-＜浅田宗伯生誕175年記念特集号＞			
＜口絵＞浅田宗伯の漢詩墨跡	小曽戸洋	(2)944	1990年(平成02)・第37巻・09号
浅田宗伯特集号発刊にあたって	大塚恭男	(21)963	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞特別座談会／浅田宗伯翁を語る	矢数道明・長谷川弥人・藤井美樹 司会）坂口弘	(23)965	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞栗園浅田宗伯先生の医学	長谷川弥人	(41)983	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞『勿誤薬室方函』にみる浅田宗伯の考え方	安井廣迪・楊育周	(53)995	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞『脈法私言』の宗伯先生を讃えて	小川新	(59)1001	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞浅田宗伯の精気神論　－『澡泉余録』より－	中村昭	(66)1008	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞北陸における浅田宗伯の門流－佐々木秀三郎の事蹟－	多留淳文	(68)1010	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年祭記念講演要旨＞栗園浅田宗伯先生の門弟教育について	長谷川弥人	(81)1023	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年祭記念講演概要＞浅田流漢方について	坂口弘	(87)1029	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年祭記念講演要旨＞奥田多門と浅田宗伯その他	矢数道明	(92)1034	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年祭・展示掛軸＞栗園翁自筆漢詩の解説	長谷川弥人	(96)1038	1990年(平成02)・第37巻・09号
＜浅田宗伯生誕175年記念＞浅田宗伯の著述とその所在	真柳誠	(113)1055	1990年(平成02)・第37巻・09号
浅田宗伯翁略伝	編集局	(121)1063	1990年(平成02)・第37巻・09号
浅田宗伯翁の「生年月日」と「享年」について	矢数道明	(126)1068	1990年(平成02)・第37巻・09号
浅田宗伯略年譜	編集局	(128)1070	1990年(平成02)・第37巻・09号
浅田宗伯翁生誕175年祭開会の挨拶	矢数道明	(139)1081	1990年(平成02)・第37巻・09号

浅田宗伯生誕175年祭に参加して	小曽戸明子	(142)1084	1990年(平成02)・第37巻・09号
浅田宗伯生誕175年祭記念アルバム＜平成2年5月20日＞	編集局	(144)1086	1990年(平成02)・第37巻・09号
書評／矢数道明先生著『漢方治療百話』第7集を読む	長谷川弥人	(151)1093	1990年(平成02)・第37巻・09号
書評／寺師睦宗著『随筆　漢方医者の眼』	原田康治	(152)1094	1990年(平成02)・第37巻・09号
トピックス／第7回和漢医薬学会富山市で開催される	編集局	(155)1097	1990年(平成02)・第37巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年8月＞	協会本部／編集局	(169)1111	1990年(平成02)・第37巻・09号
@1990年(平成02)-第37巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（35）江戸麻生薬園の本草画－麻布明称寺の格天井－	小曽戸洋	(2)1132	1990年(平成02)・第37巻・10号
巻頭言／薬効評価と親試実験	花輪壽彦	(13)1143	1990年(平成02)・第37巻・10号
日本の漢方診療の現状と今後（11）漢方エキス製剤の評価について（続）	伊藤清夫	(14)1144	1990年(平成02)・第37巻・10号
温知堂経験録（199）▽自律神経失調症、常習性頭痛、パーキンソン病などに悩み15年間▽大型尋常性乾癬に温清飲や消風散などを用いて好転▽葡萄膜炎に小柴胡湯エキス末と清上防風湯エキス末加大黄末で好転	矢数道明	(19)1149	1990年(平成02)・第37巻・10号
大黄シャ虫丸を用いて乳腺増殖症を治療した66例	李去病 和訳責）山田光胤	(23)1153	1990年(平成02)・第37巻・10号
漢方診療おぼえ書（124）▽ウソのような本当の話（腸麻痺に中建中湯）▽胸痛に梔子厚朴湯（『傷寒論』）	緒方玄芳	(26)1156	1990年(平成02)・第37巻・10号
東洋堂経験余話（30）▽強烈な冷えに白虎加人参湯▽気管支喘息に神秘湯	松本一男	(29)1159	1990年(平成02)・第37巻・10号
思いがけないタクシー	矢数道明	(31)1161	1990年(平成02)・第37巻・10号
治打撲一方の圧痛点	高木嘉子	(32)1162	1990年(平成02)・第37巻・10号
漢方牛歩録（94）便秘に芍薬甘草湯	中村謙介	(35)1165	1990年(平成02)・第37巻・10号
臨床腹診考（19了）	山田光胤	(39)1169	1990年(平成02)・第37巻・10号
藤平健先生による傷寒論解説（23）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(43)1173	1990年(平成02)・第37巻・10号
初歩的パソコン利用（システムＸ）	金山達郎	(48)1178	1990年(平成02)・第37巻・10号
『カイ渓医案』について（3）	杉山広重	(53)1183	1990年(平成02)・第37巻・10号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（1）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(59)1189	1990年(平成02)・第37巻・10号
＜砥礪鋒利して、小大の形を制する＞石（下）－古典にみるヘン鍼の臨床的意義について－	坂本秀治	(64)1194	1990年(平成02)・第37巻・10号
漢方界おもてうら（26）奥門会（14）	伊藤清夫	(70)1200	1990年(平成02)・第37巻・10号
奥田先生遺稿　診断学摘要（上）	編集局	(72)1202	1990年(平成02)・第37巻・10号
初代曲直瀬道三顕彰碑が建立される	編集局	(75)1205	1990年(平成02)・第37巻・10号
父のことなど	小倉文子	(76)1206	1990年(平成02)・第37巻・10号
追悼　高木健太郎先生／高木健太郎先生のご逝去を悼む	矢数道明	(79)1209	1990年(平成02)・第37巻・10号
追悼　高木健太郎先生／高木健太郎先生を偲んで	伊藤嘉紀	(82)1212	1990年(平成02)・第37巻・10号
読後評／矢数道明先生著『漢方治療百話』第7集を読みて	寺師睦宗	(86)1216	1990年(平成02)・第37巻・10号
読後評／矢数道明著『臨床60年漢方治療百話』第7集を読んで	桑木崇秀	(89)1219	1990年(平成02)・第37巻・10号
図書紹介／伊藤真愚著『心と体の健康百科』	編集局	(91)1221	1990年(平成02)・第37巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年9月＞	協会本部／編集局	(102)1232	1990年(平成02)・第37巻・10号
@1990年(平成02)-第37巻-11号-			
＜口絵＞第6回国際東洋医学会東京で開催される	編集局	(2)1248	1990年(平成02)・第37巻・11号
巻頭言／第6回国際東洋医学会を終えて	山田光胤	(13)1259	1990年(平成02)・第37巻・11号
『生生堂雑話』（上）	西岡一夫	(14)1260	1990年(平成02)・第37巻・11号
日本の漢方診療の現状と今後（12）漢方エキス製剤の評価について（続々）	伊藤清夫	(26)1272	1990年(平成02)・第37巻・11号
漢方診療おぼえ書（125）▽腎不全に八味地黄湯加大黄▽術後に続発した下肢腫脹疼痛に防已黄耆湯と抵当丸▽花粉症予防に黄耆建中湯	緒方玄芳	(34)1280	1990年(平成02)・第37巻・11号
漢方牛歩録（95）急性虫垂炎に大黄牡丹皮湯	中村謙介	(37)1283	1990年(平成02)・第37巻・11号
東洋堂経験余話（31）▽両膝関節炎に防風通聖散加牛膝枳殻▽舌炎に清熱補気湯	松本一男	(42)1288	1990年(平成02)・第37巻・11号
解毒と新陳代謝	伊藤康雄	(45)1291	1990年(平成02)・第37巻・11号
心に残った薬方　駆オ血丸の巻　私の最近の悩み	田村嘉章	(54)1300	1990年(平成02)・第37巻・11号
吉益東洞自らが書いた貴重な臨床録・2例	横田観風	(60)1306	1990年(平成02)・第37巻・11号
芍薬甘草乾姜湯で治癒した長年の頭痛並びに肩こりと嘔吐併発症状	二村禧	(66)1312	1990年(平成02)・第37巻・11号
不妊症の診断と治療について	入江正	(68)1314	1990年(平成02)・第37巻・11号
三黄瀉心湯をめぐって	今泉清	(78)1324	1990年(平成02)・第37巻・11号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（2）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(87)1333	1990年(平成02)・第37巻・11号
温知荘雑筆　比叡山長ロウ葉上照澄師と拓大漢方講座	矢数道明	(92)1338	1990年(平成02)・第37巻・11号

漢方界おもてうら（27）奥門会（15）	伊藤清夫	(95)1341	1990年(平成02)・第37巻・11号
トピックス／第23回日本漢方交流会神戸で開催される	編集局	(106)1352	1990年(平成02)・第37巻・11号
トピックス／名著出版の中村安孝氏逝去	土屋伊磋雄	(107)1353	1990年(平成02)・第37巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年10月＞	協会本部／編集局	(108)1354	1990年(平成02)・第37巻・11号
@1990年(平成02)-第37巻-12号-			
＜口絵＞初代曲直瀬道三顕彰碑除幕式、十念寺で開催	編集局	(2)1372	1990年(平成02)・第37巻・12号
巻頭言／四方神配当について	小曽戸丈夫	(17)1387	1990年(平成02)・第37巻・12号
漢方薬の薬疹に関する皮膚科学的考察	東一紀・浅井俊弥・田中盛久・花輪壽彦・山田陽城	(18)1388	1990年(平成02)・第37巻・12号
日本の漢方診療の現状と今後（13）日本の漢方診療の今後＜1＞	伊藤清夫	(26)1396	1990年(平成02)・第37巻・12号
漢方診療おぼえ書（126）▽結腸ポリープにかわらたけ▽肩関節周囲炎に葛根湯加朮附（2例）▽不明熱に小柴胡湯加味方	緒方玄芳	(32)1402	1990年(平成02)・第37巻・12号
漢方牛歩録（96）多発性関節炎に越婢加朮湯	中村謙介	(35)1405	1990年(平成02)・第37巻・12号
東洋堂経験余話（32）▽不眠症に八味丸料▽麦門冬湯で治らず、麦門冬湯加阿膠で効果があった症例	松本一男	(38)1408	1990年(平成02)・第37巻・12号
『生生堂雑話』（下）	西岡一夫	(41)1411	1990年(平成02)・第37巻・12号
産婦人科における才血（1）	今泉清	(52)1422	1990年(平成02)・第37巻・12号
藤平健先生による傷寒論解説（24）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(58)1428	1990年(平成02)・第37巻・12号
『郷薬集成方』巻五十二　乳石発動について	杉山広重	(65)1435	1990年(平成02)・第37巻・12号
浅田節夫農学博士、松本市の浅田本家を継承さる	矢数道明	(74)1444	1990年(平成02)・第37巻・12号
随想／日本東洋医学会に望む事	王瑞雲	(76)1446	1990年(平成02)・第37巻・12号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（3）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(78)1448	1990年(平成02)・第37巻・12号
トピックス／尾台榕堂120年祭　生誕地・十日町で盛大に挙行	矢数道明	(83)1453	1990年(平成02)・第37巻・12号
トピックス／日本漢方協会20周年記念　第10回学術大会開催される	編集局	(85)1455	1990年(平成02)・第37巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年11月＞	協会本部／編集局	(94)1464	1990年(平成02)・第37巻・12号
@1991年(平成03)-第38巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（36）浅井図南の墨竹画	矢数道明・小曽戸洋	(2)2	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞年頭所感	矢数道明	(10)10	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞新年にあたって	大塚恭男	(11)11	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	青山廉平	(12)12	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	秋葉哲生	(12)12	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	荒木ひろし	(12)12	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	家本誠一	(12)12	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	池田政一	(13)13	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	石毛忠雄	(13)13	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	伊藤敦之	(13)13	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	伊藤真愚	(14)14	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞医療用漢方エキス剤の再評価について思う	伊藤敏雄	(14)14	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	伊藤嘉紀	(15)15	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	伊原信夫	(15)15	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	今泉清	(15)15	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	今田屋章	(16)16	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	入江正	(16)16	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	浮田徹也	(16)16	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	梅田喜久雄	(17)17	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	浦田誓夫	(17)17	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	王瑞雲	(17)17	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	大貫進	(18)18	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	大野安春	(18)18	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	大村明	(18)18	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	沖野与三郎	(19)19	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	緒方勝行	(19)19	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	岡部俊一	(20)20	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	小口悌示	(20)20	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	小根山隆祥	(20)20	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	小野正弘	(20)20	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	遠田裕政	(20)20	1991年(平成03)・第38巻・01号

新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	葛西裕人	(21)21	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	笠原栄司	(21)21	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	加世田弘道	(21)21	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	勝田正泰	(22)22	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	金山達郎	(22)22	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	鎌田慶市郎	(22)22	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	川瀬清	(22)22	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	河野順	(22)22	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	菊谷豊彦	(23)23	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞漢方の現状と未来を憂う	北村翰男	(23)23	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	木下繁太朗	(26)26	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	木下恒雄	(26)26	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	木村雄四郎	(26)26	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	久保田富也	(26)26	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	粂川義雄	(27)27	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞関東軍とお女郎さん	倉島宗二	(27)27	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	桑木崇秀	(28)28	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	向後健	(28)28	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	小曽戸洋	(28)28	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	後藤實	(29)29	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	昆健一郎	(30)30	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	今忠郎	(30)30	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	葵宗傑	(30)30	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞新年快楽万事如意	犀川龍	(30)30	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	斎藤浩爾	(31)31	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	坂口弘	(31)31	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	坂本秀治	(31)31	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	桜井謙介	(32)32	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	佐々木雄次	(32)32	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	佐竹貞治郎	(33)33	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	佐藤弘	(33)33	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	佐藤巳代吉	(33)33	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	志田信男	(34)34	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	柴田良治	(34)34	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	神靖衛	(34)34	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	杉立義一	(35)35	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	杉山広重	(35)35	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	鈴木博夫	(35)35	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	十河孝博	(36)36	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	高島文一	(36)36	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	高橋邦夫	(36)36	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	高橋貞則	(36)36	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	高橋尚武	(37)37	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	高山宏世	(37)37	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	田家照生	(37)37	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	竹田眞	(38)38	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞不純物の医学（微量元素の時代）	舘野健	(38)38	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	谷澤靖博	(38)38	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞『康平傷寒論』の資料の覆製を	谷田信治	(39)39	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	田畑隆一郎	(39)39	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	玉置新治	(39)39	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	田村嘉章	(40)40	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	多留淳文	(40)40	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞若き世代の奮起を願う	張瓏英	(40)40	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	鎮西弘	(41)41	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	丁宗鐵	(41)41	1991年(平成03)・第38巻・01号

新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	寺澤捷年	(41)41	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	寺師睦宗	(41)41	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	土岐卓	(41)41	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	土佐寛順	(42)42	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	豊田白詩	(42)42	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中井康雄	(42)42	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中神倭文夫	(42)42	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中島泰三	(43)43	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	長瀬千秋	(43)43	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中田敬吾	(43)43	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中村昭	(43)43	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中村謙介	(44)44	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中村成代	(44)44	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	中村実郎	(44)44	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	鍋谷欣市	(44)44	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	難波恒雄	(44)44	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	仁池米敏	(45)45	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	西岡五夫	(45)45	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞『生生堂論語説』	西岡一夫	(45)45	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	西澤道允	(46)46	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	西脇平士	(46)46	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	二宮文乃	(47)47	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	二村禧	(47)47	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	根本幸一	(48)48	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	橋口親義	(48)48	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	橋本行生	(49)49	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	長谷川弥人	(49)49	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	服部恵七	(49)49	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	花輪壽彦	(49)49	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	原敬二郎	(50)50	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	原桃介	(50)50	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	原田正敏	(50)50	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞東洋医学の将来について	広田曄子	(50)50	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	福田佳弘	(51)51	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	藤井康男	(51)51	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	藤井長次	(51)51	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞尾台榕堂先生誕生の地、新潟県十日町市の快挙	藤平健	(51)51	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	星忠雄	(52)52	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	細野八郎	(52)52	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	牧角和宏	(52)52	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	牧田憲太郎	(53)53	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	松浦敬一	(53)53	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	松岡伯菁	(53)53	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	松岡睦友	(54)54	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	松下嘉一	(54)54	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	松田邦夫	(54)54	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	松橋俊夫	(55)55	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	真鍋立夫	(55)55	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	真柳誠	(56)56	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	三谷和合	(56)56	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	南利雄	(56)56	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	宮川昭平	(56)56	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	宮崎綾子	(57)57	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	宮沢康朗	(57)57	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	宮下三郎	(57)57	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	牟田光一郎	(58)58	1991年(平成03)・第38巻・01号

新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	宗像敬一	(58)58	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	村田恭介	(58)58	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞独陽不長を胸に	村松睦	(59)59	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	室賀昭三	(59)59	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	森崎信夫	(60)60	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	森下宗司	(60)60	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	矢数圭堂	(60)60	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	八瀬善郎	(60)60	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山内浩	(61)61	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山岸とき子	(61)61	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山崎正寿	(61)61	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山下九三夫	(61)61	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山ノ内慎一	(62)62	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山田光胤	(62)62	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	山本昇吾	(62)62	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	雪村八一郎	(63)63	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	横田観風	(63)63	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	吉崎文彦	(63)63	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	吉富兵衛	(63)63	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞榕堂先生見つけたい	吉村重敏	(64)64	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	吉元昭治	(64)64	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	梁哲宗	(64)64	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	渡邊一幹	(65)65	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	渡辺貞夫	(65)65	1991年(平成03)・第38巻・01号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞	周徳臨	(66)66	1991年(平成03)・第38巻・01号
新春座談会／東洋医学界の展望とトピックス	室賀昭三・大塚恭男・丁宗鐵・佐藤弘 司会）菊谷豊彦	(67)67	1991年(平成03)・第38巻・01号
日本の漢方診療の現状と今後（14）日本の漢方診療の今後＜2＞	伊藤清夫	(84)84	1991年(平成03)・第38巻・01号
小柴胡湯合桂枝茯苓丸の投与により腹水消失、色素沈着の改善をみた肝硬変の1例	高橋貞則	(89)89	1991年(平成03)・第38巻・01号
関節痛に効く桂枝芍薬知母湯	趙明鋭	(94)94	1991年(平成03)・第38巻・01号
都下医家名墓散策（22）幕府医官　林恒斎とその子孫	小曽戸洋	(97)97	1991年(平成03)・第38巻・01号
温知荘雑筆　東京医大の学生に東洋医学の講座を35年間継続して	矢数道明	(101)101	1991年(平成03)・第38巻・01号
図書紹介／朝日新聞社『現代日本　朝日人物事典』　／小曽戸丈夫意釈『意釈　正文傷寒論復聖弁』＜古矢知白原著＞／荒木ひろし註解『鍼灸極秘抄』＜木村太仲原著＞／焦国瑞対談集『気功学の未来へ』／菊谷豊彦著『漢方DE元気百科』	編集局	(102)102	1991年(平成03)・第38巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成2年12月＞	協会本部／編集局	(116)116	1991年(平成03)・第38巻・01号
@1991年(平成03)-第38巻-02号-＜尾台榕堂没後120年記念特集号＞			
＜口絵＞嘉永7年　尾台榕堂の住居図	編集局	(1)137	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜口絵＞尾台榕堂没後120年祭　＜平成2年11月24・25日＞	編集局	(4)140	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜口絵＞尾台榕堂の墨跡	編集局	(9)145	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜尾台榕堂没後120年記念＞特別座談会／尾台榕堂翁を語る	矢数道明・藤平健・川田貞夫・小曽戸洋 司会）大塚恭男	(19)155	1991年(平成03)・第38巻・02号
尾台榕堂略年譜	編集局	(43)179	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜尾台榕堂没後120年記念＞榕堂尾台先生の著書について	長谷川弥人	(44)180	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜尾台榕堂没後120年記念＞臨床医としての尾台榕堂先生	松本一男	(51)187	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜尾台榕堂没後120年記念＞尾台榕堂の喉痺針について	田村靖子	(60)196	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜尾台榕堂没後120年記念＞尾台榕堂墨跡の解説	小曽戸洋	(69)205	1991年(平成03)・第38巻・02号
＜尾台榕堂没後120年記念＞尾台榕堂の漢詩	横田観風	(74)210	1991年(平成03)・第38巻・02号
尾台榕堂没後120年祭、盛大に挙行	編集局	(85)221	1991年(平成03)・第38巻・02号
尾台榕堂没後120年祭、盛大に挙行／建立式祝辞	小曽戸洋	(87)223	1991年(平成03)・第38巻・02号
尾台榕堂没後120年祭、盛大に挙行／尾台榕堂先生の生誕記念の建碑に当って	藤平健	(88)224	1991年(平成03)・第38巻・02号
尾台榕堂没後120年祭、盛大に挙行／ごあいさつ	樋口熊蔵	(89)225	1991年(平成03)・第38巻・02号
尾台榕堂の著書を入手するには／大塚敬節・矢数道明責任編集『近代漢方医学書集成』第2期全30巻／西山英雄訓訳『和訓類聚方広義・重校薬微／松本一男訓註『榕堂井観医言』／長谷川弥人校注解題『浅田宗伯選集』全5集／長谷川弥人著『勿誤薬室方函・口訣・釈義』	編集局	(93)229	1991年(平成03)・第38巻・02号

新刊案内／牟田光一郎・浜田善利『検証・くまもとの民間療法』／松橋俊夫編『今日の精神科漢方治療』	編集局	(95)231	1991年(平成03)・第38巻・02号
日本の漢方診療の現状と今後（15）日本の漢方診療の今後＜3＞	伊藤清夫	(97)233	1991年(平成03)・第38巻・02号
産婦人科における才血（2）	今泉清	(106)242	1991年(平成03)・第38巻・02号
漢方牛歩録（97）術後高熱発作・尿不利に大承気湯兼五苓散	中村謙介	(111)247	1991年(平成03)・第38巻・02号
漢方診療おぼえ書（127）▽顎関節症に桂枝加朮附湯▽吃逆に柿蒂湯（済生方）▽慢性肝炎に桂枝茯苓丸料加丹参▽ヒステリー球に半夏厚朴湯▽足底疣贅に麻杏ヨク甘湯と紫雲膏貼用	緒方玄芳	(117)253	1991年(平成03)・第38巻・02号
藤平健先生による傷寒論解説（25）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(120)256	1991年(平成03)・第38巻・02号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（4）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(126)262	1991年(平成03)・第38巻・02号
父のことなど／雪の丹沢山縦走	小倉文子	(131)267	1991年(平成03)・第38巻・02号
新年のことば　＜平成3年（1991年）＞＜追加＞	尚鎮国	(135)271	1991年(平成03)・第38巻・02号
トピックス／第4回日本漢方治療シンポジウム開催ニッショーホールで開催／厚生省、漢方エキス製剤8成分に再評価指定を告示／台湾の世界的薬学者・許鴻源博士逝去／日本東洋医学会　次期会長に松田邦夫氏内定	編集局	(136)272	1991年(平成03)・第38巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年1月＞	協会本部／編集局	(147)283	1991年(平成03)・第38巻・02号
@1991年(平成03)-第38巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（37）尾台榕堂の『学思斎存稿』と『閑窓筆録』	小曽戸洋	(2)300	1991年(平成03)・第38巻・03号
巻頭言／生薬からだんだん離れてゆく漢方治療	原敬二郎	(9)307	1991年(平成03)・第38巻・03号
日本の漢方診療の現状と今後（16）日本の漢方診療の今後＜4＞	伊藤清夫	(10)308	1991年(平成03)・第38巻・03号
苓桂朮甘湯の投与により長年の腹部愁訴の消失をみた1例	高橋貞則	(15)313	1991年(平成03)・第38巻・03号
東洋堂経験余話（33）▽咳嗽に小柴胡湯去人参生姜大棗加五味子乾姜で有効であった症例▽肋間神経痛に柴胡桂枝湯加芍薬	松本一男	(20)318	1991年(平成03)・第38巻・03号
漢方牛歩録（98）慢性関節リウマチに桂枝加苓朮附湯	中村謙介	(23)321	1991年(平成03)・第38巻・03号
漢方診療おぼえ書（128）▽脱肛に補中益気湯加赤石脂（3例）▽痔瘻に托裏消毒散	緒方玄芳	(28)326	1991年(平成03)・第38巻・03号
敦煌古医籍『輔行訣臓腑用薬法要』（陶弘景）と『傷寒論』『金匱要略』の薬方との対応について	杉山広重	(30)328	1991年(平成03)・第38巻・03号
敦煌文書『輔行訣臓腑用薬法要』と『傷寒論』	猪飼祥夫	(38)336	1991年(平成03)・第38巻・03号
藤平健先生による傷寒論解説（26）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(51)349	1991年(平成03)・第38巻・03号
中日仲景学術交流会（成都市）に出席して－日本漢方を憂う－	小川新	(56)354	1991年(平成03)・第38巻・03号
糖尿病の中国気功推拿療法と薬膳について	シン鉄民	(60)358	1991年(平成03)・第38巻・03号
温知荘雑筆　戦時中運営されていた「日本医師生薬利用組合」と組合員名簿	矢数道明	(63)361	1991年(平成03)・第38巻・03号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（5）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(66)364	1991年(平成03)・第38巻・03号
追悼　許鴻源先生／許鴻源先生の逝去を悼む	矢数道明	(71)369	1991年(平成03)・第38巻・03号
追悼　許鴻源先生／許鴻源先生追悼記	菊谷豊彦	(74)372	1991年(平成03)・第38巻・03号
追悼　許鴻源先生／許鴻源先生の死を悼む	西岡五夫	(76)374	1991年(平成03)・第38巻・03号
新刊紹介／李文瑞・徐陽孫主編『日本漢方腹診選編』の出版	矢数道明	(78)376	1991年(平成03)・第38巻・03号
図書紹介／上海科学技術出版社『実用中医内科学』日本語版	編集局	(79)377	1991年(平成03)・第38巻・03号
平成2年（1990）漢方略史年表	矢数道明	(80)378	1991年(平成03)・第38巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年2月＞	協会本部／編集局	(102)400	1991年(平成03)・第38巻・03号
@1991年(平成03)-第38巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（38）人参代往古銀	真柳誠	(2)420	1991年(平成03)・第38巻・04号
巻頭言／「きざみ」の保険薬価収載要請と厚生省とのパイプ	菊谷豊彦	(9)427	1991年(平成03)・第38巻・04号
慢性関節リウマチへの「千年健散加味方」の使用経験（第1報）	加藤久幸・黄弘毅・張瓏英	(10)428	1991年(平成03)・第38巻・04号
漢方牛歩録（99）慢性関節リウマチに茯苓四逆湯合芍薬甘草附子湯兼シオゾール等	中村謙介	(18)436	1991年(平成03)・第38巻・04号
東洋堂経験余話（34）▽腰痛に白虎加人参湯	松本一男	(22)440	1991年(平成03)・第38巻・04号
『黄帝内經素問』王冰注に記された五臓像について	桜井謙介	(26)444	1991年(平成03)・第38巻・04号
漢方診療おぼえ書（129）▽膵炎の疼痛に良枳湯（療治大概）▽膵炎に良枳湯加呉茱萸▽高尿酸値の患者に桂枝越婢湯▽下痢に清暑益気湯▽痔瘻に托裏消毒散	緒方玄芳	(35)453	1991年(平成03)・第38巻・04号
温知荘雑筆　「喉痺針」について	矢数道明	(38)456	1991年(平成03)・第38巻・04号
日本の漢方診療の現状と今後（17）日本の漢方診療の今後＜5＞	伊藤清夫	(40)458	1991年(平成03)・第38巻・04号
「先哲医家名鑑」の再追補録	矢数道明	(46)464	1991年(平成03)・第38巻・04号
藤平健先生による傷寒論解説（27）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(59)477	1991年(平成03)・第38巻・04号
追悼　許鴻源先生（続）／許鴻源先生追悼	坂口弘	(64)482	1991年(平成03)・第38巻・04号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（6）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(69)487	1991年(平成03)・第38巻・04号

矢数道明先生著『漢方治療百話』第7集を読む（上）	杉山広重	(73)491	1991年(平成03)・第38巻・04号
新刊紹介／小倉重成著『九十九小径』発刊によせて	岩崎勲	(78)496	1991年(平成03)・第38巻・04号
図書紹介／現代東洋医学・臨時増刊号『難病・難症の漢方治療』〔第4集〕	編集局	(79)497	1991年(平成03)・第38巻・04号
トピックス／日本医学会総会サテライトシンポジウム「漢方臨床研究会」が盛大に開催／日本医学総会セッションで大塚恭男氏ら「東洋医学の再認識」のテーマで講演／鎌田慶市郎・松下嘉一氏『アレルギー性鼻炎の漢方治療』で千葉県医師会学術奨励賞受賞	編集局	(80)498	1991年(平成03)・第38巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年3月＞	協会本部／編集局	(93)511	1991年(平成03)・第38巻・04号
@1991年(平成03)-第38巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（39）尾台榕堂の手沢本	小曽戸洋	(2)532	1991年(平成03)・第38巻・05号
巻頭言／学術総会を前にして	坂口弘	(9)539	1991年(平成03)・第38巻・05号
続　臨床腹診考（1）	山田光胤	(10)540	1991年(平成03)・第38巻・05号
対談／漢方臨床茶談（1）	寺師睦宗・藤井美樹	(15)545	1991年(平成03)・第38巻・05号
日本『傷寒論』腹診と中医弁証の比較研究（抜粋）	何新慧 訳者）李家騰 序文）藤平健	(27)557	1991年(平成03)・第38巻・05号
畑の中の面々（12）老父の頻尿	田畑隆一郎	(42)572	1991年(平成03)・第38巻・05号
東洋堂経験余話（35）▽尋常性ザ瘡に荊防敗毒散料加ヨク苡仁▽釣藤散の有効例	松本一男	(46)576	1991年(平成03)・第38巻・05号
小柴胡湯の投与後、肝機能の改善をみたが、同時に頻尿をきたした1例	高橋貞則	(49)579	1991年(平成03)・第38巻・05号
藤平健先生による傷寒論解説（28）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(54)584	1991年(平成03)・第38巻・05号
漢方界おもてうら（28）奥門会（16）	伊藤清夫	(62)592	1991年(平成03)・第38巻・05号
『金陵遺稿』の著者　芳野金陵と尾台榕堂	荒木ひろし	(71)601	1991年(平成03)・第38巻・05号
尾台士超墓碑銘　脚注	荒木ひろし	(75)605	1991年(平成03)・第38巻・05号
薬局漢方の長老／海老塚吉次漢方清談（7）	海老塚吉次 聞き手）土屋伊磋雄	(82)612	1991年(平成03)・第38巻・05号
最近の自己体験で思ったこと	宮崎綾子	(86)616	1991年(平成03)・第38巻・05号
越中風土記／ひすいの海	笠原栄司	(89)619	1991年(平成03)・第38巻・05号
矢数道明先生著『漢方治療百話』第7集を読む（下）	杉山広重	(92)622	1991年(平成03)・第38巻・05号
トピックス／藤平健博士、喜寿記念祝賀会　ホテルニューオータニで盛大に開催	編集局	(96)626	1991年(平成03)・第38巻・05号
開催を間近にした第42回日本東洋医学術総会　準備委員長　中田敬吾氏を訪ねて	中田敬吾・編集局	(98)628	1991年(平成03)・第38巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年4月＞	協会本部／編集局	(116)646	1991年(平成03)・第38巻・05号
@1991年(平成03)-第38巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（40）国宝仁和寺本『黄帝内経太素』	小曽戸洋	(2)668	1991年(平成03)・第38巻・06号
巻頭言／第92回日本医史学会総会を終えて	杉立義一	(9)675	1991年(平成03)・第38巻・06号
対談／漢方臨床茶談（2）	寺師睦宗・藤井美樹	(10)676	1991年(平成03)・第38巻・06号
漢方牛歩録（100）－（A）日本漢方の病態観（上）	中村謙介	(24)690	1991年(平成03)・第38巻・06号
柴胡桂枝湯加茯苓蒼朮の投与が有効であった慢性膵炎疑の1例	高橋貞則	(46)712	1991年(平成03)・第38巻・06号
漢方診療おぼえ書（130）▽アトピー性皮膚炎にキョ風敗毒散（2例）▽膝関節水腫に防已黄耆湯（2例）	緒方玄芳	(52)718	1991年(平成03)・第38巻・06号
続　芍薬甘草乾姜湯で治癒した全身各所の筋肉の攣急痛その他の併発諸症	二村禧	(54)720	1991年(平成03)・第38巻・06号
東洋堂経験余話（36）▽花粉症に苓甘姜味辛夏仁湯▽頭痛に柴胡桂枝湯加芍薬白シ川キュウ	松本一男	(56)722	1991年(平成03)・第38巻・06号
日本の漢方診療の現状と今後（18）日本の漢方診療の今後＜6＞	伊藤清夫	(59)725	1991年(平成03)・第38巻・06号
藤平健先生による傷寒論解説（29）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(66)732	1991年(平成03)・第38巻・06号
ボストン伝統医学十景＜序幕＞	津谷喜一郎	(73)739	1991年(平成03)・第38巻・06号
拓大漢方講座附属図書館の現在	編集局	(80)746	1991年(平成03)・第38巻・06号
拓大漢方講座附属図書館の現在／財団法人日本漢方医学研究所付属図書館　『漢方図書目録』の出版に当って　－拓大漢方講座図書館旧東亜医学協会　石原保秀文庫の再公開に想う－	矢数道明	(80)746	1991年(平成03)・第38巻・06号
伝統医学学術交流視察団に参加して	池田政一	(82)748	1991年(平成03)・第38巻・06号
トピックス／第92回日本医史学会京都で華やかに開催	編集局	(87)753	1991年(平成03)・第38巻・06号
読後感想／藤平健先生著『漢方腹診講座』	中村謙介	(88)754	1991年(平成03)・第38巻・06号
新刊紹介／杉立義一著『医心方の伝来』	真柳誠	(89)755	1991年(平成03)・第38巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年5月＞	協会本部／編集局	(101)767	1991年(平成03)・第38巻・06号
@1991年(平成03)-第38巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（41）薬種切手	真柳誠	(2)788	1991年(平成03)・第38巻・07号
巻頭言／証および漢方処方の操作的診断（適応）基準の必要性	原桃介	(9)795	1991年(平成03)・第38巻・07号
呉茱萸湯考－著効10症例の検討並びに症例報告－	小林宏暢・小林裕子	(10)796	1991年(平成03)・第38巻・07号

末期癌患者に香蘇散を投与して	高橋貞則	(26)812	1991年(平成03)・第38巻・07号
東洋堂経験余話（37）▽高血圧症に七物降下湯加味▽気管支喘息に四逆散料合橘皮枳実生姜湯加大黄	松本一男	(29)815	1991年(平成03)・第38巻・07号
漢方診療おぼえ書（131）▽反復性臍疝痛に小建中湯▽いわゆる虚弱児に小建中湯▽いわゆる虚弱児に黄耆建中湯▽夜尿症に柴胡桂枝湯▽しもやけに当帰四逆加呉茱萸生姜湯	緒方玄芳	(32)818	1991年(平成03)・第38巻・07号
特別座談会／日本東洋医学会　日本医学会加盟達成	矢数道明・大塚恭男・松田邦夫 司会）室賀昭三	(35)821	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	長谷川弥人	(48)834	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	寺澤捷年	(48)834	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	坂口弘	(48)834	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	西岡五夫	(49)835	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	藤平健	(49)835	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	山田光胤	(50)836	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	細野八郎	(50)836	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	石野尚吾	(51)837	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	菊谷豊彦	(51)837	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！	石川誠	(52)838	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本東洋医学会の日本医学会加盟を慶ぶ！／谷中霊園と常泉寺に加盟を報告	矢数道明	(52)838	1991年(平成03)・第38巻・07号
日本の漢方診療の現状と今後（19）日本の漢方診療の今後＜7＞進歩を考えるための問題点	伊藤清夫	(54)840	1991年(平成03)・第38巻・07号
漢方牛歩録（100）－（B）日本漢方の病態観（下）	中村謙介	(58)844	1991年(平成03)・第38巻・07号
都下医家名墓散策（23）幕府医官　伴道与とその子孫	小曽戸洋	(80)866	1991年(平成03)・第38巻・07号
ボストン伝統医学十景＜第2幕＞	津谷喜一郎	(83)869	1991年(平成03)・第38巻・07号
北里・東医研薬局覚え書き	岩浪登	(90)876	1991年(平成03)・第38巻・07号
100回目の例会を迎えた賢友会	松下嘉一	(95)881	1991年(平成03)・第38巻・07号
父のことなど／財布を置いて行って！	小倉文子	(96)882	1991年(平成03)・第38巻・07号
図書紹介／松橋俊夫著『精神科漢方治療ケース集』－矢数道明を読む／矢数道明編著『明治122年漢方略史年表　続々編』／広瀬滋之著『ドクター広瀬の0歳児からの漢方相談室』	編集局	(98)884	1991年(平成03)・第38巻・07号
図書紹介／『千葉大学東洋医学研究会50年史』	橘公一	(99)885	1991年(平成03)・第38巻・07号
図書紹介／宮脇浩志・臼田裕子著『メビウス環上配経法』	編集局	(100)886	1991年(平成03)・第38巻・07号
トピックス／第42回日本東洋医学会学術総会京都で4千名を超える大盛況／第4回伝統医学臨床セミナー矢数圭堂氏ら講義／第42回日本東洋医学会サテライトセッション・第7回臨床東洋医学研究会開催／千葉日報に「田波家文書に見る近世医家の軌跡」連載	編集局	(102)888	1991年(平成03)・第38巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年6月＞	協会本部／編集局	(117)903	1991年(平成03)・第38巻・07号
@1991年(平成03)-第38巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（42）元・大徳本『聖済総録』	小曽戸洋	(2)924	1991年(平成03)・第38巻・08号
巻頭言／日本医学会分科会加盟にあたって	松田邦夫	(9)931	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	編集局	(10)932	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	青山廉平	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	秋葉哲生	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	穐吉健治	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	浅野正義	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	穴吹浩	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	池田政一	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	石川誠	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	石野尚吾	(11)933	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	伊藤敦之	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	伊藤嘉紀	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	稲木一元	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	伊原信夫	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	今泉清	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	今田屋章	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	岩崎勲	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	浮田徹也	(12)934	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	浦田誓夫	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	海老塚吉次	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	王瑞雲	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号

アンケート・私の愛用処方ベスト5	大塚恭男	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	大友一夫	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	大西和子	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	大野安春	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	大村明	(13)935	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	岡利幸	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	岡田研吉	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	緒方芳郎	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	岡部俊一	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	岡部素明	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	小川幸男	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	勝田正泰	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	鎌田慶市郎	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	河野順	(14)936	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	菊谷豊彦	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	木下繁太朗	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	木下勤	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	木下恒雄	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	栗山一八	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	桑木崇秀	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	向後健	(15)937	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	小曽戸丈夫	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	坂口弘	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	佐藤弘	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	佐藤巳代吉	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	柴田良治	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	代田文彦	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	神靖衛	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	諏訪重雄	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	関直樹	(16)938	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	十河孝博	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	高木嘉子	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	高橋貞則	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	高橋義夫	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	高山宏世	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	竹田眞	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	田畑隆一郎	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	多留淳文	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	田村嘉章	(17)939	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	張瓏英	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	鎮西弘	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	丁宗鐵	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	寺澤捷年	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	寺師睦宗	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	土岐卓	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	徳留一博	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	中井康雄	(18)940	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	中田敬吾	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	中村謙介	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	中村実郎	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	鍋谷欣市	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	西岡一夫	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	西脇平士	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	二宮文乃	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	二村禧	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	根本幸一	(19)941	1991年(平成03)・第38巻・08号

アンケート・私の愛用処方ベスト5	野末侑信	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	橋口親義	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	花輪壽彦	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	原敬二郎	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	原桃介	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	原田康治	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	平木陽一	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	平林光子	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	広瀬滋之	(20)942	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	福田佳弘	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	藤井美樹	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	藤平健	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	星野良明	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	細井大二	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	細川喜代治	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	細野八郎	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	細野義郎	(21)943	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	牧田憲太郎	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	松下嘉一	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	松橋俊夫	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	松田邦夫	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	松本克彦	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	三谷和合	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	宮川昭平	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	宮崎綾子	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	牟田光一郎	(22)944	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	宗像敬一	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	村田恭介	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	村松睦	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	室賀昭三	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	盛克己	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	森下宗司	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	矢数圭堂	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	矢数道明	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	矢野敏夫	(23)945	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	山内浩	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	山崎正寿	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	山田光胤	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	山ノ内慎一	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	山本昇吾	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	雪村八一郎	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	湯原淳良	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	吉冨兵衛	(24)946	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	吉元昭治	(25)947	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	渡邊一幹	(25)947	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5	渡邊武	(25)947	1991年(平成03)・第38巻・08号
「私の愛用する処方」の集計結果	編集局	(25)947	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート「私の愛用処方ベスト5」の調査をみて	矢数道明	(26)948	1991年(平成03)・第38巻・08号
アンケート・私の愛用処方ベスト5　＜追加＞	中島泰三	(27)949	1991年(平成03)・第38巻・08号
続　臨床腹診考（2）	山田光胤	(28)950	1991年(平成03)・第38巻・08号
温知堂経験録（200）▽15年来の湿疹に十味敗毒湯加味方▽胃癌恐怖症患者の愁訴▽老人性ソウ痒症にガイ葉煎浴法	矢数道明	(32)954	1991年(平成03)・第38巻・08号
現代医学的に難治な腰痛に、真武湯エキス、人参湯エキス、芍薬甘草湯エキスの合方がきわめて有効であった1例	高橋貞則	(37)959	1991年(平成03)・第38巻・08号
漢方診療おぼえ書（132）▽開腹術後の腹壁瘻に托裏消毒散▽喘息、うっ血性心不全に増損木防已湯▽外陰部カンジタ症に十味敗毒湯加連翹▽胸腹部挫傷に治打撲一方	緒方玄芳	(41)963	1991年(平成03)・第38巻・08号
左肩部に発生したデスモイド（類腱腫）の1治験例	張瓏英	(45)967	1991年(平成03)・第38巻・08号

猪苓湯の臨床応用について	趙明鋭	(48)970	1991年(平成03)・第38巻・08号
日本の漢方診療の現状と今後（20）日本の漢方診療の今後＜8＞進歩を考えるための問題点（続）	伊藤清夫	(52)974	1991年(平成03)・第38巻・08号
藤平健先生による傷寒論解説（30）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(57)979	1991年(平成03)・第38巻・08号
薬方証について考える	鎌田慶市郎・松下嘉一	(63)985	1991年(平成03)・第38巻・08号
『類聚方広義』散見／その1	笠原栄司	(65)987	1991年(平成03)・第38巻・08号
ボストン伝統医学十景＜第3幕＞	津谷喜一郎	(68)990	1991年(平成03)・第38巻・08号
東洋医学雑感	宇田明男	(75)997	1991年(平成03)・第38巻・08号
麻黄、甘草を求めてシルクロードを行く	小曽戸丈夫	(80)1002	1991年(平成03)・第38巻・08号
感冒体験始末記	加藤達郎	(87)1009	1991年(平成03)・第38巻・08号
温知荘雑筆　昔の記憶	矢数道明	(91)1013	1991年(平成03)・第38巻・08号
書評／小倉重成著『傷寒論解釈』	寺澤捷年	(94)1016	1991年(平成03)・第38巻・08号
新刊紹介／焦樹徳著・生島忍訳『症例から学ぶ中医弁証論治』	平馬直樹	(96)1018	1991年(平成03)・第38巻・08号
新刊紹介／小曽戸丈夫意釈『復聖傷寒論』坤〈金古景山原著〉／新井基夫・王雙生・揚開済・里佐才・李鉄声著『疾患別中医治療の実際』／李聡甫主編・池上正治訳　『体系　中国老人医学』	編集局	(97)1019	1991年(平成03)・第38巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年7月＞	協会本部／編集局	(108)1030	1991年(平成03)・第38巻・08号
@1991年(平成03)-第38巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（43）道三遺愛の『玉機微義』	小曽戸洋	(2)1052	1991年(平成03)・第38巻・09号
巻頭言／漢方薬が効かなくなった	渡邊武	(9)1059	1991年(平成03)・第38巻・09号
日本の漢方診療の現状と今後（21）日本の漢方診療の今後＜9＞進歩を考えるための問題点（続々）証について（その1）	伊藤清夫	(10)1060	1991年(平成03)・第38巻・09号
虚寒証について	岩崎勲	(15)1065	1991年(平成03)・第38巻・09号
東洋堂経験余話（38）▽更年期障害に防已黄耆湯加大黄▽鼻の乾燥に半夏白朮天麻湯合人参敗毒散料	松本一男	(21)1071	1991年(平成03)・第38巻・09号
桂枝甘草竜骨牡蠣湯の症例	荘司豊美	(24)1074	1991年(平成03)・第38巻・09号
漢方牛歩録（101）下痢し、嘔吐する合病に葛根加半夏湯	中村謙介	(27)1077	1991年(平成03)・第38巻・09号
畑の中の面々（13）牡蠣の偉効・・・『傷寒論』には嘘がない	田畑隆一郎	(32)1082	1991年(平成03)・第38巻・09号
奥田鳳作の腹診書（上）	横田観風	(36)1086	1991年(平成03)・第38巻・09号
藤平健先生による傷寒論解説（31）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(45)1095	1991年(平成03)・第38巻・09号
『輔行訣臓腑用薬法要』（陶弘景）の用薬表示図について　ー五行サイクルにおける五味（薬物）の治療上の補瀉ー	杉山広重	(52)1102	1991年(平成03)・第38巻・09号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（1）第2回目のとき提出した分科会加盟申請趣意書	矢数道明	(63)1113	1991年(平成03)・第38巻・09号
東洋医学雑感（2）	宇田明男	(68)1118	1991年(平成03)・第38巻・09号
ボストン伝統医学十景＜終幕＞	津谷喜一郎	(72)1122	1991年(平成03)・第38巻・09号
都下医家名墓散策（24）幕府医官　岡了節	小曽戸洋	(82)1132	1991年(平成03)・第38巻・09号
書評／『臨床・漢方問答』ー漢方研究室ー	寺澤捷年	(85)1135	1991年(平成03)・第38巻・09号
図書紹介／復刻版『東亜医学』／復刻版『翻刻宋版傷寒論』／加藤正敏著『中医書読解の手引き』	編集局	(88)1138	1991年(平成03)・第38巻・09号
張継有先生の逝去を悼む	矢数道明	(90)1140	1991年(平成03)・第38巻・09号
川西和夫先生の逝去を悼む	矢数道明	(92)1142	1991年(平成03)・第38巻・09号
トピックス／第8回和漢医薬学会大会大阪で2日間開催	編集局	(94)1144	1991年(平成03)・第38巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年8月＞	協会本部／編集局	(108)1158	1991年(平成03)・第38巻・09号
@1991年(平成03)-第38巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（44）玄朔の刊行した『玉機微義』	小曽戸洋	(2)1180	1991年(平成03)・第38巻・10号
巻頭言／漢方薬の真価が問われる秋	多留淳文	(9)1187	1991年(平成03)・第38巻・10号
日本の漢方診療の現状と今後（22）国際的観点からの日本の漢方（講演要旨）	伊藤清夫	(10)1188	1991年(平成03)・第38巻・10号
漢方大明神様々（1）	坂本道哉	(14)1192	1991年(平成03)・第38巻・10号
漢方薬局相談だより▽ゲップで苦しむ心筋梗塞患者	赤尾明俊	(17)1195	1991年(平成03)・第38巻・10号
漢方牛歩録（102）多発性関節痛を伴う結節性紅斑に麻黄加朮湯	中村謙介	(18)1196	1991年(平成03)・第38巻・10号
東洋堂経験余話（39）▽鬱病に半夏瀉心湯加味	松本一男	(22)1200	1991年(平成03)・第38巻・10号
漢方診療おぼえ書（133）▽慢性咽喉炎に清肺湯（万病回春）▽歯肉下膿瘍に排膿散乃湯（類聚方広義）▽帯状疱疹による神経痛に桂枝加朮附湯▽膣・外陰部カンジダ症に十味敗毒湯加連翹	緒方玄芳	(26)1204	1991年(平成03)・第38巻・10号
東洋医学雑感（3）	宇田明男	(29)1207	1991年(平成03)・第38巻・10号
藤平健先生による傷寒論解説（32）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(33)1211	1991年(平成03)・第38巻・10号
奥田鳳作の腹診書（下）	横田観風	(38)1216	1991年(平成03)・第38巻・10号
中秋節に思う＜医聖祠・薬王祠＞	橋口親義	(46)1224	1991年(平成03)・第38巻・10号
若者を大切に	矢船明史	(48)1226	1991年(平成03)・第38巻・10号

森家伝来史料の翻印にあたって	小曽戸洋	(50)1228	1991年(平成03)・第38巻・10号
『五雲子先生伝』・『森氏由緒書』翻印	香取俊光	(55)1233	1991年(平成03)・第38巻・10号
『類聚方広義』散見／その2	笠原栄司	(68)1246	1991年(平成03)・第38巻・10号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（2）南拝山翁と東洋医道会	矢数道明	(71)1249	1991年(平成03)・第38巻・10号
トピックス／藤門医林会・3博士会長及び教授就任祝賀会開催／矢数道明先生令夫人の葬儀とり行われる	編集局	(75)1253	1991年(平成03)・第38巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年9月＞	協会本部／編集局	(90)1268	1991年(平成03)・第38巻・10号
アンケート・私の愛用処方ベスト5　＜追加＞	久保田富也	(92)1270	1991年(平成03)・第38巻・10号
アンケート・私の愛用処方ベスト5　＜追加＞	松本一男	(92)1270	1991年(平成03)・第38巻・10号
@1991年(平成03)-第38巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（45）片倉鶴陵の自筆草稿類	小曽戸洋	(2)1288	1991年(平成03)・第38巻・11号
巻頭言／「因・縁・果」	高橋義夫	(9)1295	1991年(平成03)・第38巻・11号
原南陽『険証百問』答評	西岡一夫	(10)1296	1991年(平成03)・第38巻・11号
日本の漢方診療の現状と今後（23）日本の漢方診療の今後＜11＞進歩を考えるための問題点（4）証について（その2）	伊藤清夫	(22)1308	1991年(平成03)・第38巻・11号
帯状疱疹後神経痛のサンワ加エブシ（附子）末内服療法	東一紀・菅谷和江	(28)1314	1991年(平成03)・第38巻・11号
補気健中湯合真武湯で著効を得たネフローゼ症候群の1症例－慢性疾患における併病とその治法－	宗像敬一・宗像久美子	(34)1320	1991年(平成03)・第38巻・11号
仲景方で治験5例	費維光	(37)1323	1991年(平成03)・第38巻・11号
漢方薬局相談だより▽数年来の左脇腹の膨満感と鈍痛	赤尾明俊	(42)1328	1991年(平成03)・第38巻・11号
心臓神経症反応帯皮内針療法	岩崎勲	(44)1332	1991年(平成03)・第38巻・11号
東洋堂経験余話（40）▽花粉症に荊芥連翹湯合小青竜湯▽不眠症に柴胡加竜骨牡蠣湯	松本一男	(47)1333	1991年(平成03)・第38巻・11号
漢方牛歩録（103）慢性の両膝関節炎に越婢加朮湯	中村謙介	(50)1336	1991年(平成03)・第38巻・11号
漢方診療おぼえ書（134）▽歯槽膿漏に托裏消毒散▽長引く咳、痰に括楼枳実湯（万病回春）▽頭痛に呉茱萸湯▽むねやけに加味小陥胸湯	緒方玄芳	(52)1338	1991年(平成03)・第38巻・11号
藤平健先生による傷寒論解説（33）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(55)1341	1991年(平成03)・第38巻・11号
都下医家名墓散策（25）御蔵島に流された奥山玄長	小曽戸洋	(61)1347	1991年(平成03)・第38巻・11号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（3）小林芳人先生の追想記	矢数道明	(64)1350	1991年(平成03)・第38巻・11号
読後感／木下繁太朗著『漢方処方と腹診』をすすむ	大野安春	(68)1354	1991年(平成03)・第38巻・11号
読後感／小倉重成著『傷寒論解釈』を読んで	福田佳弘	(70)1356	1991年(平成03)・第38巻・11号
図書紹介／村田高明著『更年期障害の漢方治療』／広田嘩子著『小児アレルギー疾患と虚弱児の漢方治療』	編集局	(71)1357	1991年(平成03)・第38巻・11号
トピックス／東洋医学会関東甲信越支部会、宇都宮で開催／日本漢方医学研究所附属渋谷診療所が開設10周年祝賀会／「間中喜雄を偲ぶ会」行われる	編集局	(72)1358	1991年(平成03)・第38巻・11号
武藤敏文先生の逝去を悼む	矢数道明	(74)1360	1991年(平成03)・第38巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年10月＞	協会本部／編集局	(82)1368	1991年(平成03)・第38巻・11号
@1991年(平成03)-第38巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（46）和田東郭の遺墨	小曽戸洋	(2)1392	1991年(平成03)・第38巻・12号
巻頭言／三人行、必有我師焉	石川誠	(9)1399	1991年(平成03)・第38巻・12号
かぜの漢方治療と「経方演習」	花輪壽彦	(10)1400	1991年(平成03)・第38巻・12号
日本の漢方診療の現状と今後（24）日本の漢方診療の今後＜12＞進歩を考えるための問題点（5）証について（その2）	伊藤清夫	(14)1404	1991年(平成03)・第38巻・12号
『医方口訣集』をめぐって	松本一男	(20)1410	1991年(平成03)・第38巻・12号
漢方診療おぼえ書（135）▽うつ状態に加味帰脾湯と半夏厚朴湯▽高血圧症に八味地黄加釣藤黄柏（万病回春）▽慢性扁桃炎咽喉頭炎に駆風解毒湯加方▽関節リウマチに桂枝二越婢一湯加方	緒方玄芳	(33)1423	1991年(平成03)・第38巻・12号
漢方牛歩録（104）麻疹に桂枝二越婢一湯	中村謙介	(36)1426	1991年(平成03)・第38巻・12号
漢方薬局相談だより▽突発性の激しい嘔吐と眩暈▽右腹部膨満感と軟便	赤尾明俊	(40)1430	1991年(平成03)・第38巻・12号
黄土湯による虚寒型出血の治療	趙明鋭	(42)1432	1991年(平成03)・第38巻・12号
主として卒死、卒忤、鬼撃、卒魘、鬼魅、猫鬼、などについて（その1）『郷薬集成方』第53巻より	杉山広重	(48)1438	1991年(平成03)・第38巻・12号
藤平健先生による傷寒論解説（34）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(54)1444	1991年(平成03)・第38巻・12号
『類聚方広義』散見／その3	笠原栄司	(63)1453	1991年(平成03)・第38巻・12号
矢数道明氏と松田邦夫氏、温知社幹部の墓に参詣	編集局	(65)1455	1991年(平成03)・第38巻・12号
初歩的パソコン利用　白黒よりカラーが良い	金山達郎	(66)1456	1991年(平成03)・第38巻・12号
トピックス／活気に充ちあふれた第1回漢方湯液治療研究会／日本医学会加盟を祝う日本東洋医学会新発展を期する会開催	編集局	(70)1460	1991年(平成03)・第38巻・12号
日本東洋医学会の新発展を期する会－日本医学会加盟を祝して－今回申請前後の経過報告	松田邦夫	(77)1467	1991年(平成03)・第38巻・12号
トピックス／京大で初の漢方治療セミナー／十日町市で尾台榕堂の顕彰団体「榕堂会」／日本漢方協会漢方学術大会、新宿で開催	編集局	(81)1471	1991年(平成03)・第38巻・12号

漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年11月＞	協会本部／編集局	(93)1483	1991年(平成03)・第38巻・12号
@1992年(平成04)-第39巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（47）医祖神像二幅	小曽戸洋	(2)2	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞年頭所感	矢数道明	(10)10	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞新春にあたって	大塚恭男	(12)12	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	秋葉哲生	(13)13	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	穐吉健治	(13)13	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	浅野正義	(13)13	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	荒木ひろし	(13)13	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	猪飼祥夫	(13)13	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	池田政一	(13)13	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	伊藤真愚	(14)14	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞思うこと	伊藤敏雄	(14)14	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞激動のあとにくるものは	伊藤嘉紀	(14)14	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞“漢方の批判的受容を”	稲木一元	(15)15	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	伊原信夫	(15)15	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	今泉清	(15)15	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	入江正	(16)16	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	岩崎勲	(16)16	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	浮田徹也	(16)16	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	梅田喜久雄	(17)17	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞手段と目的	王瑞雲	(17)17	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	大友一夫	(18)18	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	大西和子	(18)18	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	大貫進	(18)18	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	大野安春	(18)18	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	岡利幸	(19)19	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	緒方勝行	(19)19	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	岡部俊一	(20)20	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	小川新	(20)20	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	沖野与三郎	(20)20	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	小根山隆祥	(21)21	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	小野正弘	(21)21	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	遠田裕政	(21)21	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	葛西浩史	(21)21	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	笠原栄司	(22)22	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	加世田弘道	(22)22	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	勝田正泰	(22)22	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	金山達郎	(22)22	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	鎌田慶市郎	(23)23	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	河野順	(23)23	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	菊谷豊彦	(23)23	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	木下繁太朗	(24)24	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	木下勲	(24)24	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	木下恒雄	(24)24	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞－百味箪笥－	木村雄四郎	(25)25	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	久保田富也	(25)25	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	粂川義雄	(25)25	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	倉島宗二	(25)25	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	栗山一八	(26)26	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	桑木崇秀	(26)26	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	小泉久仁弥	(26)26	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	向後健	(27)27	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	小曽戸洋	(27)27	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞日本産まれの漢薬・日本の漢方	後藤實	(27)27	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	古村和子	(28)28	1992年(平成04)・第39巻・01号

新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	昆健一郎	(28)28	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	今忠郎	(28)28	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	犀川龍	(28)28	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	斎藤浩爾	(29)29	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	坂口弘	(29)29	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	坂本秀治	(29)29	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	佐々木雄次	(30)30	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	佐竹貞治郎	(30)30	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	佐藤弘	(31)31	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	志田信男	(31)31	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	柴田良治	(31)31	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	神靖衛	(32)32	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	杉立義一	(32)32	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	杉山広重	(32)32	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	鈴木博夫	(33)33	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	十河孝博	(33)33	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	高橋邦夫	(34)34	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	高橋貞則	(34)34	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	高橋尚武	(34)34	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	高橋法昭	(34)34	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	高橋義夫	(35)35	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	高山宏世	(35)35	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	竹田眞	(36)36	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞「思いやり」消失の時代	舘野健	(36)36	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	建林邦信	(36)36	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	田中邦雄	(36)36	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	谿忠人	(37)37	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	谷澤靖博	(37)37	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞明治初期の『傷寒論』等英訳本の行方	谷田伸治	(37)37	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞潜証と潜性	田畑隆一郎	(38)38	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	玉置新治	(38)38	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	田村嘉章	(38)38	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	田村靖子	(38)38	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	多留淳文	(39)39	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	張瓏英	(39)39	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	津谷喜一郎	(39)39	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	寺澤捷年	(40)40	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	寺師睦宗	(40)40	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	土岐卓	(40)40	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中井康雄	(40)40	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中神倭文夫	(41)41	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中川良隆	(41)41	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞－現代科学技術文明を告発する－	長瀬千秋	(41)41	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中田敬吾	(42)42	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中村昭	(42)42	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中村謙介	(42)42	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	中村実郎	(43)43	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	鍋谷欣市	(43)43	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	難波恒雄	(43)43	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞『成蹟録』と『続建殊録』	西岡一夫	(43)43	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	西澤道允	(44)44	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	西脇平士	(44)44	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	二宮文乃	(45)45	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	二村禧	(45)45	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	根本幸一	(46)46	1992年(平成04)・第39巻・01号

新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	野崎豊	(46)46	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	橋口親義	(46)46	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	橋本行生	(47)47	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	服部恵七	(47)47	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	花輪壽彦	(47)47	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	原敬二郎	(47)47	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	原桃介	(48)48	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	原田正敏	(48)48	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	広瀬滋之	(48)48	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	藤井長次	(48)48	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞心にのこる処方	藤井美樹	(49)49	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	藤井康男	(49)49	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	藤平健	(49)49	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	細川喜代治	(50)50	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	細野八郎	(50)50	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	細野義郎	(50)50	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	牧角和宏	(51)51	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	牧田憲太郎	(51)51	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松浦敬一	(51)51	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松岡伯菁	(51)51	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松岡睦友	(52)52	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松下嘉一	(52)52	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松田邦夫	(52)52	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松橋俊夫	(52)52	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	松本一男	(52)52	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞師走の中で	松本克彦	(52)52	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	真鍋立夫	(53)53	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	真柳誠	(53)53	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	三谷和合	(53)53	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞臨床検査技術の進歩と漢方治療	宮川昭平	(54)54	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	宮崎綾子	(54)54	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	宮下三郎	(55)55	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	宮沢康朗	(55)55	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	牟田光一郎	(55)55	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞「併病の現代医学的病態像は？」	宗像敬一	(55)55	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	室賀昭三	(56)56	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	村田恭介	(56)56	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞病人のための学会へ	村松睦	(57)57	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	森崎信夫	(57)57	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	森下宗司	(57)57	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	山内浩	(58)58	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	山岸とき子	(58)58	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	山下九三夫	(58)58	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	山田光胤	(58)58	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	山ノ内慎一	(59)59	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	山本昇吾	(59)59	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	吉田種臣	(59)59	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞道徳教育に蘇った尾台榕堂先生	吉村重敏	(59)59	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	吉元昭治	(60)60	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	李思元	(61)61	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	渡邊一幹	(61)61	1992年(平成04)・第39巻・01号
新年のことば　＜平成4年（1992年）＞	尚鎮国	(61)61	1992年(平成04)・第39巻・01号
日本の漢方診療の現状と今後（25）日本の漢方診療の今後＜13＞進歩を考えるための問題点（6）証について（その3）	伊藤清夫	(63)63	1992年(平成04)・第39巻・01号
柴陷湯適応症状の検討	雪村八一郎	(71)71	1992年(平成04)・第39巻・01号
少陰直中と麻黄附子細辛湯	費維光	(75)75	1992年(平成04)・第39巻・01号

東洋堂経験余話（41）▽脱肛に小承気湯加蜀椒▽高血圧症に対する不安に甘草瀉心湯	松本一男	(78)78	1992年(平成04)・第39巻・01号
近年の日本における薬草（漢方）治療の概況	松本克彦	(81)81	1992年(平成04)・第39巻・01号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（4）京都妙満寺浅井家三代の墓	矢数道明	(87)87	1992年(平成04)・第39巻・01号
人声人語	北村翰男	(92)92	1992年(平成04)・第39巻・01号
トピックス／杉立義一氏、日本医師会最高優功賞受賞／「榕堂会」、マスコミで報道される／日本東洋医学会、11の生薬につき厚生省に薬価収載を要請	編集局	(94)94	1992年(平成04)・第39巻・01号
平成3年物故者名追悼録	編集局	(97)97	1992年(平成04)・第39巻・01号
平成3年度の主たる漢方出版一覧	編集局	(98)98	1992年(平成04)・第39巻・01号
平成3年『漢方の臨床』誌トピックス	編集局	(100)100	1992年(平成04)・第39巻・01号
図書紹介／監修・室賀昭三、菊谷豊彦　編集・松多邦雄、磯部秀之『現代医学と漢方の併用療法』／杉立義一著『京の医史跡探訪＜増補版＞』／南京中医学院医経研組編著・石田秀実監訳『現代語訳　黄帝内経素問上巻』／高木嘉子著・藤平健監修『冷えと冷え性－若さを保つために』／解説・藤井尚治『復刻版・看護長教程草案』	編集局	(102)102	1992年(平成04)・第39巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成3年12月＞	協会本部／編集局	(115)115	1992年(平成04)・第39巻・01号
@1992年(平成04)-第39巻-02号-＜通巻450号記念特集号＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（48）馬王堆漢墓－一号墓の屍体と薬物	小曽戸洋	(2)138	1992年(平成04)・第39巻・02号
漢方湯液治療研究会について	伊藤清夫	(11)147	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞一味・単方について	矢数道明	(13)149	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞桂枝甘草竜骨牡蠣湯の2治験例	葛西浩史	(19)155	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞沈香天麻湯の治験例について	杵渕彰	(26)162	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞唾石に柴胡桂枝湯（芍薬増量）加枳実・桔梗が奏効した1例	花輪壽彦	(32)168	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞骨髄移植前より漢方を試みた1例	丁宗鐵	(35)171	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞「潜証」を大切に　間欠跛行の2症例	中村謙介	(38)174	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞椎骨動脈狭窄による眩暈の治験	藤平健	(43)179	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞慢性関節リウマチの湯液療法（第1報）	新井基夫・五十嵐宏・伊藤清夫	(47)183	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会追加原稿＞体痛の薬方、リウマチの薬方	伊藤清夫	(59)195	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞アトピー性皮膚炎	松下嘉一・鎌田慶市郎	(62)198	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞成人期アトピー性皮膚炎の漢方治療－特に白虎加桂枝湯加味の治療効果について－	岡利幸	(68)204	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞衝逆の1例	高橋法昭	(74)210	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞半夏厚朴湯証の数例について	藤井美樹	(77)213	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞柴胡桂枝湯加味（細野）について	山崎正寿	(83)219	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞小陥胸湯が奏効した上腹部・右季肋部痛の1例	土佐寛順・檜山幸孝・嶋田豊・寺澤捷年	(90)226	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞奔豚気病の種々相について	寺澤捷年	(96)232	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞露蜂房治験5例	松田邦夫	(99)235	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞橘皮枳実生姜湯の運用について	福田佳弘	(102)238	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞響声破笛丸料の治験	矢数圭堂	(108)244	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞無月経を治して分娩した2症例	寺師睦宗	(110)246	1992年(平成04)・第39巻・02号
＜第1回漢方湯液治療研究会講演＞複合腹証に於ける腹部動悸－臨床的な意義を探る試み－	山田光胤	(114)250	1992年(平成04)・第39巻・02号
爽春宝談（1）矢数道明会長に聞く	矢数道明 聞き手）大塚恭男・細野八郎	(123)259	1992年(平成04)・第39巻・02号
対談／漢方臨床茶談	細川喜代治・原桃介	(137)273	1992年(平成04)・第39巻・02号
桃核承気湯の臨床応用	趙明鋭	(153)289	1992年(平成04)・第39巻・02号
漢方診療おぼえ書（136）▽過敏性大腸症に桂枝加芍薬湯▽過敏性大腸症に半夏瀉心湯▽酒サに葛根紅花湯	緒方玄芳	(162)298	1992年(平成04)・第39巻・02号
藤平健先生による傷寒論解説（35）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(164)300	1992年(平成04)・第39巻・02号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（5）『皇漢医界』のバックナンバー－南拝山翁と朝比奈博士の写真－	矢数道明	(174)310	1992年(平成04)・第39巻・02号
トピックス／坂口弘氏　南京中医学院名誉教授に就任／第5回日本漢方治療シンポジウム開催	編集局	(177)313	1992年(平成04)・第39巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年1月＞	協会本部／編集局	(189)325	1992年(平成04)・第39巻・02号
@1992年(平成04)-第39巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（49）馬王堆漢墓（2）－三号墓の医書	小曽戸洋	(2)346	1992年(平成04)・第39巻・03号
巻頭言／再評価に想う	丁宗鐵	(9)353	1992年(平成04)・第39巻・03号
現代漢方医学会の反省	長谷川弥人	(10)354	1992年(平成04)・第39巻・03号
日本の漢方診療の現状と今後（26）日本の漢方診療の今後＜9＞進歩を考えるための問題点（7）証について（その4）	伊藤清夫	(14)358	1992年(平成04)・第39巻・03号

爽春宝談（2）矢数道明会長に聞く	矢数道明 聞き手）大塚恭男・細野八郎 誌上参加）矢数圭堂	(21)365	1992年(平成04)・第39巻・03号
胃切除後慢性肝炎の「こむらがえり」と芍薬甘草湯	花輪壽彦	(37)381	1992年(平成04)・第39巻・03号
温知堂経験録（201）▽尋常性乾癬が防風通聖散合荊芥連翹湯エキス末で▽膝関節炎に防已黄耆湯、不整脈に変製心気飲▽変形性脊椎症の筋肉痛に芍薬甘草附子湯エキス末	矢数道明	(42)386	1992年(平成04)・第39巻・03号
東洋堂経験余話（42）▽胃痛に大柴胡湯加良姜▽息切れに荊芥連翹湯合桂枝茯苓丸料加大黄	松本一男	(45)389	1992年(平成04)・第39巻・03号
漢方診療おぼえ書（137）▽慢性腎盂腎炎に参胡三白湯（蘊要）	緒方玄芳	(48)392	1992年(平成04)・第39巻・03号
漢方牛歩録（105）急性胃炎に橘皮大黄朴硝湯	中村謙介	(50)394	1992年(平成04)・第39巻・03号
漢方薬局相談だより▽神経性胃炎と腰痛▽老人性肩関節周囲炎	赤尾明俊	(52)396	1992年(平成04)・第39巻・03号
親子二代の四逆散	佐波古美智子	(54)398	1992年(平成04)・第39巻・03号
今なぜ托裏消毒散なのか	大野安春	(58)402	1992年(平成04)・第39巻・03号
『傷寒論』『金匱要略』を軸とした弁証論治の世界	小川新	(61)405	1992年(平成04)・第39巻・03号
慢性関節リウマチの中医学的治療に関する検討	顧旭平	(77)421	1992年(平成04)・第39巻・03号
矢数道明先生訪問記	顧旭平	(82)426	1992年(平成04)・第39巻・03号
高橋貞則先生の「小柴胡湯の投与後、肝機能の改善をみたが、同時に頻尿をきたした1例」に対する疑義	諏訪重雄	(83)427	1992年(平成04)・第39巻・03号
休酒の弁	藤平健	(86)430	1992年(平成04)・第39巻・03号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（6）浅井家累代の墓前に新しい報告を	矢数道明	(88)432	1992年(平成04)・第39巻・03号
石川誠先生を偲ぶ	大塚恭男	(92)436	1992年(平成04)・第39巻・03号
読後感／松田邦夫氏著の『万病回春解説』の釈義について	杉山広重	(94)438	1992年(平成04)・第39巻・03号
図書紹介／君塚恵美子編著『紀州藩医・泰淵の日記』	編集局	(96)440	1992年(平成04)・第39巻・03号
トピックス／東京女子医大附属東洋医学研究所開設披露式行われる／北京中医学院日本分校設置で、高鶴亭院長ら訪日／雪まつりの十日市町市に漢方大明神の巨大雪ダルマ出現／白寿を迎えた現役漢方医・小出弥生先生	編集局	(97)441	1992年(平成04)・第39巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年2月＞	協会本部／編集局	(107)451	1992年(平成04)・第39巻・03号
@1992年(平成04)-第39巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（50）『本草綱目』の初版－金陵本	真柳誠	(2)474	1992年(平成04)・第39巻・04号
巻頭言／温故知新	鍋谷欣市	(9)481	1992年(平成04)・第39巻・04号
日本漢方における温病学説の歩み－温病派中医師から見た日本後世派の漢方－	肖照岑	(10)482	1992年(平成04)・第39巻・04号
日本の漢方診療の現状と今後（27）現在の日本の漢方治療と中医学的治療の問題	伊藤清夫	(22)494	1992年(平成04)・第39巻・04号
東洋堂経験余話（43）▽五更瀉に柴胡桂枝湯合真武湯▽血圧の不安定に当帰芍薬散料合真武湯	松本一男	(33)505	1992年(平成04)・第39巻・04号
漢方診療おぼえ書（138）▽不妊者に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽不妊者に当帰芍薬散合桂枝茯苓丸料▽月経苦情に当帰芍薬散合桂枝茯苓丸料	緒方玄芳	(36)508	1992年(平成04)・第39巻・04号
桂枝茯苓丸と当帰芍薬散との複方について	趙明鋭	(38)510	1992年(平成04)・第39巻・04号
「湿疹」自験	山本整一	(45)517	1992年(平成04)・第39巻・04号
民間薬の研究（上）	松下嘉一	(51)523	1992年(平成04)・第39巻・04号
畑の中の面々（14）大地に還す	田畑隆一郎	(64)536	1992年(平成04)・第39巻・04号
「道教医学」の提唱	吉元昭治	(68)540	1992年(平成04)・第39巻・04号
傷寒論雑感（1）天国か地獄か	玉置英成	(80)552	1992年(平成04)・第39巻・04号
『類聚方広義』散見／その4	笠原栄司	(84)556	1992年(平成04)・第39巻・04号
主として卒死、卒忤、鬼撃、卒魘、鬼魅、猫鬼、などについて（その2）『郷薬集成方』第53巻より	杉山広重	(86)558	1992年(平成04)・第39巻・04号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（7）脚気に対する麦食問題で陸海軍軍医部の対立－遠田澄庵と森オウ外の姻戚関係－	矢数道明	(95)567	1992年(平成04)・第39巻・04号
神道とエコロジーと日本漢方	津谷喜一郎	(99)571	1992年(平成04)・第39巻・04号
1992年日中漢方医学シンポジウム報告記	菊谷豊彦	(104)576	1992年(平成04)・第39巻・04号
新刊紹介／浅田宗伯原著・長谷川弥人著『訓読校注・傷寒雑病弁証』	山田光胤	(106)578	1992年(平成04)・第39巻・04号
図書紹介／根本義雄著『精解・類聚方広義』／Ｊ・Ｍ・ライニッシュ著、小曽戸明子・宮原忍翻訳『最新キンゼイ・リポート』	編集局	(107)579	1992年(平成04)・第39巻・04号
トピックス／筑波技術短期大学附属診療所開所披露式行われる	斉藤浩爾	(108)580	1992年(平成04)・第39巻・04号
開催を間近にした第43回日本東洋医学会学術総会　準備委員長　李思元氏を訪ねて	編集局	(110)582	1992年(平成04)・第39巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年3月＞	協会本部／編集局	(125)597	1992年(平成04)・第39巻・04号
@1992年(平成04)-第39巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（51）『漢書』芸文志の方技書	小曽戸洋	(2)618	1992年(平成04)・第39巻・05号
巻頭言／厚生省と漢方、その歴史的転換の日	菊谷豊彦	(9)625	1992年(平成04)・第39巻・05号
手足煩熱の臨床的研究－特に漢方的熱証に関連して－	村松睦・村松慎一	(10)626	1992年(平成04)・第39巻・05号

漢方牛歩録（106）多発性関節炎に麻杏ヨク甘湯	中村謙介	(18)634	1992年(平成04)・第39巻・05号
高年婦人の治験例（2）	今泉清	(23)639	1992年(平成04)・第39巻・05号
漢方診療おぼえ書（139）▽腹壁瘻に托裏消毒散（2例）▽変形性膝関節症にヨク苡仁湯	緒方玄芳	(28)644	1992年(平成04)・第39巻・05号
芍薬甘草乾姜湯で速効を得た幼児の発熱と腹痛（続）	二村禧	(30)646	1992年(平成04)・第39巻・05号
日本の漢方診療の現状と今後（28）日本の漢方診療の今後＜10＞進歩を考えるための問題点（8）証について（その5）	伊藤清夫	(33)649	1992年(平成04)・第39巻・05号
傷寒論雑感（2）万華鏡	玉置英成	(41)657	1992年(平成04)・第39巻・05号
藤平健先生による傷寒論解説（36）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(46)662	1992年(平成04)・第39巻・05号
『傷寒論』の栄衛気血について	岸田明	(55)671	1992年(平成04)・第39巻・05号
民間薬の研究（下）	松下嘉一	(60)676	1992年(平成04)・第39巻・05号
東洋堂回想録　知られざる龍野先生の脈学書	松本一男	(70)686	1992年(平成04)・第39巻・05号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（8）春陽堂と漢方医学ー第1回東亜医学協会表彰ー	矢数道明	(78)694	1992年(平成04)・第39巻・05号
新刊紹介／『脈経』＜小曽戸丈夫校註　池田政一訓訳＞古典医学臨床家必読書の出版を祝う	小川新	(81)697	1992年(平成04)・第39巻・05号
新刊紹介／藤平健監修『あなたによく効く漢方』	寺師睦宗	(83)699	1992年(平成04)・第39巻・05号
トピックス／「全国刺絡問題懇話会」発足の会開かれる	阿部人士	(84)700	1992年(平成04)・第39巻・05号
平成3年（1991）漢方略史年表	矢数道明	(86)702	1992年(平成04)・第39巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年4月＞	協会本部／編集局	(109)725	1992年(平成04)・第39巻・05号
@1992年(平成04)-第39巻-06号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（52）『黄帝内経明堂』の最古鈔本（重文）	小曽戸洋	(2)744	1992年
＜ロ絵＞第43回日本東洋医学会学術総会横浜で4千名を超える大盛会	編集局	(5)747	1992年(平成04)・第39巻・06号
巻頭言／小さなコダワリを捨て世界医療の構築に協力しよう	十河孝博	(17)759	1992年(平成04)・第39巻・06号
「千葉漢方研究会」講演内容（1）後世方の気剤について	講師）細川喜代治	(18)760	1992年(平成04)・第39巻・06号
抑肝散加陳皮半夏による治験例	今泉清	(31)773	1992年(平成04)・第39巻・06号
脳梗塞患者における真武湯・四君子湯・十全大補湯の三薬方の併存と考えられた1治験例	堀野雅子	(38)780	1992年(平成04)・第39巻・06号
東洋堂経験余話（44）▽鬱病に桃核承気湯合竜骨湯▽歩行困難に越婢加朮附湯	松本一男	(41)783	1992年(平成04)・第39巻・06号
太陽と陽明の合病、対象的2例の治療	渡辺陽一	(44)786	1992年(平成04)・第39巻・06号
漢方牛歩録（107）慢性関節リウマチに桂枝芍薬知母湯	中村謙介	(46)788	1992年(平成04)・第39巻・06号
漢方診療おぼえ書（140）▽下肢の周期的腫脹疼痛に抵当丸と防已黄耆湯▽左下肢の腫脹疼痛に抵当丸と防已黄耆湯	緒方玄芳	(50)792	1992年(平成04)・第39巻・06号
腹満寒疝に臍暖むるの術	穴吹浩	(52)794	1992年(平成04)・第39巻・06号
ＳＬＥの中医学治療の実際	顧旭平	(55)797	1992年(平成04)・第39巻・06号
日本の漢方診療の現状と今後（29）日本の漢方診療の今後＜11＞進歩を考えるための問題点（9）証について（その6）	伊藤清夫	(61)803	1992年(平成04)・第39巻・06号
傷寒論雑感（3）傷寒論と温病学	玉置英成	(70)812	1992年(平成04)・第39巻・06号
風門の疾患における包括と分類について（『郷薬集成方』巻1ー巻4）	杉山広重	(74)816	1992年(平成04)・第39巻・06号
第1回日中オ血証綜合研究会議報告	小川新	(83)825	1992年(平成04)・第39巻・06号
トピックス／第93回日本医史学会学術総会日本歯科医史学会と合同で開催	編集局	(89)831	1992年(平成04)・第39巻・06号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（9）「初陣怪我の功名」の患者の入学した高校について	矢数道明	(90)832	1992年(平成04)・第39巻・06号
書評／李時珍著・寺師睦宗訓『臨床百味・本草綱目』	五十嵐幸	(92)834	1992年(平成04)・第39巻・06号
図書紹介／松田邦夫著『漢方治療の実際』	編集局	(93)835	1992年(平成04)・第39巻・06号
東亜医学協会の漢方湯液治療研究会に期待するもの	伊藤清夫	(94)836	1992年(平成04)・第39巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年5月＞	協会本部／編集局	(105)847	1992年(平成04)・第39巻・06号
明和生薬会長・梅田喜久雄氏逝去	矢数道明	(107)849	1992年(平成04)・第39巻・06号
@1992年(平成04)-第39巻-07号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（53）江戸本草学の大家　稲生若水の墓誌	真柳誠・杉立義一	(2)864	1992年(平成04)・第39巻・07号
巻頭言／地球サミットに寄せて	室賀昭三	(9)871	1992年(平成04)・第39巻・07号
座談会／漢方製剤による保険診療とその問題点	代田文彦・松多邦雄・佐藤弘司会）菊谷豊彦	(10)872	1992年(平成04)・第39巻・07号
「千葉漢方研究会」講演内容（2）後世方の駆水剤について	講師）細川喜代治	(29)891	1992年(平成04)・第39巻・07号
温知堂経験録（202）▽10年来の気管支喘息と糖尿病に小青竜湯合八味丸料▽Ｂ型肝炎と突発性心筋症と脳梗塞症に小柴胡湯合苓桂朮甘湯▽狭心症に柴胡加竜骨牡蠣湯加括楼・薤白・半夏・黄連・葛根・枳穀（胸痺加減）	矢数道明	(36)898	1992年(平成04)・第39巻・07号
漢方牛歩録（108）不眠に加味温胆湯	中村謙介	(38)900	1992年(平成04)・第39巻・07号
漢方診療おぼえ書（141）▽ゲップに悩む女性に旋覆花代赭石湯▽食道炎、アフタに梔子シ湯▽胃下垂に補中益気湯加赤石脂▽胼胝に紫雲膏	緒方玄芳	(40)902	1992年(平成04)・第39巻・07号

東洋堂経験余話（45）▽肺炎を疑われる患者に喘四君子湯加杏仁附子▽老人の皮膚ソウ痒症に当帰飲子加大黄	松本一男	(42)904	1992年(平成04)・第39巻・07号
日本の漢方診療の現状と今後（30）日本の漢方診療の今後＜12＞進歩を考えるための問題点（10）証について（その7）	伊藤清夫	(45)907	1992年(平成04)・第39巻・07号
帰経・引経報使について	伊藤清夫	(48)910	1992年(平成04)・第39巻・07号
帰経について　（平成4年5月21日・日本臨床漢方研究会・於　西華クリニック）	長沢元夫	(49)911	1992年(平成04)・第39巻・07号
藤平健先生による傷寒論解説（37）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(65)927	1992年(平成04)・第39巻・07号
傷寒論雑感（4）戦争論議	玉置英成	(73)935	1992年(平成04)・第39巻・07号
富山医科薬科大学和漢薬研究所資源開発部門教室在室当時の回想	葉加南	(78)940	1992年(平成04)・第39巻・07号
国際養生学術会議及び展覧会報告記	坂口弘	(91)953	1992年(平成04)・第39巻・07号
梅田喜久雄氏の逝去を悼む／弔辞	山本三男	(94)956	1992年(平成04)・第39巻・07号
梅田喜久雄氏の逝去を悼む／弔辞	小川新	(96)958	1992年(平成04)・第39巻・07号
図書紹介／小曽戸洋・真柳誠　編・解説『和刻漢籍医書集成』全16輯の完結を歓ぶ	矢数道明	(97)959	1992年(平成04)・第39巻・07号
トピックス／ウチダ和漢薬同好会研修大会熱海市で400名が参加して開催	編集局	(99)961	1992年(平成04)・第39巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年6月＞	協会本部／編集局	(108)970	1992年(平成04)・第39巻・07号
@1992年(平成04)-第39巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（54）内藤湖南旧蔵の『霊枢』最善本	小曽戸洋	(2)992	1992年(平成04)・第39巻・08号
巻頭言／復活から再建へ	小川幸男	(9)999	1992年(平成04)・第39巻・08号
苓桂味甘湯の奏効した嘔気・頭痛を伴う眩暈の1症例	穴吹浩・高口真一郎	(10)1000	1992年(平成04)・第39巻・08号
漢方診療おぼえ書（142）▽10年間続いている尿潜出血に猪苓湯合四物湯▽排尿異常に清心蓮子飲▽四肢末端部の冷えに当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽腱鞘炎に桂枝二越婢一湯加味方	緒方玄芳	(14)1004	1992年(平成04)・第39巻・08号
東洋堂経験余話（46）▽慢性中耳炎に托裏消毒飲合蔓荊子散料▽梔子厚朴湯の経験	松本一男	(16)1006	1992年(平成04)・第39巻・08号
漢方牛歩録（109）下腿浮腫に柴苓湯兼桂枝茯苓丸	中村謙介	(19)1009	1992年(平成04)・第39巻・08号
日本の漢方診療の現状と今後（31）日本の漢方診療の今後＜13＞進歩を考えるための問題点（11）証について（その8）	伊藤清夫	(22)1012	1992年(平成04)・第39巻・08号
『傷寒論』の臨床応用に対する認識	費維光 訳者）夏洪秋	(25)1015	1992年(平成04)・第39巻・08号
費維光氏の論文を読んで	長沢元夫	(39)1029	1992年(平成04)・第39巻・08号
『傷寒論』における生姜・大棗の応用について	趙樹紅	(42)1032	1992年(平成04)・第39巻・08号
傷寒論雑感（5）古人の脈診技術	玉置英成	(46)1036	1992年(平成04)・第39巻・08号
藤平健先生による傷寒論解説（38）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(51)1041	1992年(平成04)・第39巻・08号
『傷寒論』の陰陽について	岸田明	(57)1047	1992年(平成04)・第39巻・08号
尾台存義著『類聚方広義翼』について	南利雄	(62)1052	1992年(平成04)・第39巻・08号
『類聚方広義』散見／その5	笠原栄司	(70)1060	1992年(平成04)・第39巻・08号
漢薬局人生70年　土田茂雄快談録	土田茂雄 聞き手）室賀昭三・原桃介	(73)1063	1992年(平成04)・第39巻・08号
古矢知白と金古景山について	小高修司	(86)1076	1992年(平成04)・第39巻・08号
広西・雲南紀行	小曽戸丈夫	(89)1079	1992年(平成04)・第39巻・08号
バルセロナの科学「秘数3」	佐々木雄次	(97)1087	1992年(平成04)・第39巻・08号
明和生薬（株）会長　梅田喜久雄先生のご逝去をいたむ	坂本敬四郎	(98)1088	1992年(平成04)・第39巻・08号
書評／田畑隆一郎著『傷寒論の謎』	中村謙介	(101)1091	1992年(平成04)・第39巻・08号
書評／北里研究所附属東医研史文献研究室編『小品方・黄帝内經明堂古鈔本残巻』について	桜井謙介	(104)1094	1992年(平成04)・第39巻・08号
図書紹介／「現代東洋医学」臨時増刊号『難病・難症の漢方治療』第5集	編集局	(105)1095	1992年(平成04)・第39巻・08号
トピックス／第11回国立病院療養所漢方シンポジウム開催／「根本光人氏を偲び応援する会」盛会	編集局	(106)1096	1992年(平成04)・第39巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年7月＞	協会本部／編集局	(117)1107	1992年(平成04)・第39巻・08号
@1992年(平成04)-第39巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（55）『蒲桃図説』の銅版彩色図	松田清	(2)1128	1992年(平成04)・第39巻・09号
巻頭言／表現の問題	多留淳文	(9)1135	1992年(平成04)・第39巻・09号
真武湯の運用において	峯尚志	(10)1136	1992年(平成04)・第39巻・09号
インターフェロンに「瘧」を見た－桂枝二越婢一湯の応用－	陣内弘和・田畑隆一郎	(28)1154	1992年(平成04)・第39巻・09号
漢方診療おぼえ書（143）▽クローン病性痔瘻に托裏消毒散▽長期間つづいた咳と痰に括楼枳実湯▽膝関節水腫に防已黄耆湯	緒方玄芳	(32)1158	1992年(平成04)・第39巻・09号
日本の漢方と国産生薬	後藤實	(34)1160	1992年(平成04)・第39巻・09号
日本の漢方診療の現状と今後（32）日本の漢方診療の今後＜14＞進歩を考えるための問題点（12）証について（その9）	伊藤清夫	(42)1168	1992年(平成04)・第39巻・09号
『傷寒論』の誤りに就いて	諏訪重雄	(47)1173	1992年(平成04)・第39巻・09号

諏訪先生の論文を読んで	長谷川弥人	(53)1179	1992年(平成04)・第39巻・09号
「傷寒論の誤りに就いて」を読んでの感想	松本一男	(56)1182	1992年(平成04)・第39巻・09号
美濃大垣の名医　北尾春圃	安井廣迪	(63)1189	1992年(平成04)・第39巻・09号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（10）張仲景画像の鑑定をめぐって	矢数道明	(86)1212	1992年(平成04)・第39巻・09号
私の漢方処方使用順位	松橋俊夫	(89)1215	1992年(平成04)・第39巻・09号
図書紹介／二宮文乃著『接触性皮膚炎の漢方治療』－証のたて方と症例検討－	編集局	(90)1216	1992年(平成04)・第39巻・09号
トピックス／第9回和漢医薬学会東京で盛大に開催／九州・麻生セメント飯塚病院　漢方診療科披露記念講演会開く	編集局	(91)1217	1992年(平成04)・第39巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年8月＞	協会本部／編集局	(103)1229	1992年(平成04)・第39巻・09号
@1992年(平成04)-第39巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（56）現存唯一無二の『医方類聚』初版－宮内庁書陵部に蔵せられる朝鮮古活字本－	真柳誠	(2)1248	1992年(平成04)・第39巻・10号
巻頭言／第7回国際東洋医学会学術大会に当って	山田光胤	(13)1259	1992年(平成04)・第39巻・10号
『万病回春』の有用処方を探る（その1）	松田邦夫・稲木一元	(14)1260	1992年(平成04)・第39巻・10号
苓桂甘棗湯と動悸、「驚・驚恐」	雪村八一郎	(23)1269	1992年(平成04)・第39巻・10号
漢方牛歩録（110）自下痢を伴う麻黄湯証（諸家の合病考の比較検討）	中村謙介	(28)1274	1992年(平成04)・第39巻・10号
「千葉漢方研究会」講演内容（3）後世方による臨床経験より（その1）	講師）細川喜代治	(42)1288	1992年(平成04)・第39巻・10号
脉診のあれこれ思うこと	渡辺陽一	(53)1299	1992年(平成04)・第39巻・10号
漢方診療おぼえ書（144）▽喘息と肺気腫に小青竜湯、次いで変製心気飲▽滲出性中耳炎に小柴胡湯加香蘇散、めまいに半夏白朮天麻湯、耳鳴に八味地黄湯合人参湯	緒方玄芳	(56)1302	1992年(平成04)・第39巻・10号
東洋堂経験余話（47）▽術後の下痢・咳嗽に真武湯加五味子・細辛・乾姜▽桂枝加大黄湯の経験	松本一男	(58)1304	1992年(平成04)・第39巻・10号
藤平健先生による傷寒論解説（39）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(61)1307	1992年(平成04)・第39巻・10号
傷寒論雑感（6）『冉注傷寒論』（1）	玉置英成	(68)1314	1992年(平成04)・第39巻・10号
『傷寒論』第24条に対する病機と弁治の探討	楊育周 訳者）安井廣迪・郷治光廣	(73)1319	1992年(平成04)・第39巻・10号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（11）「東西両医学の特質比較対照表」のできるまでの経過（1）	矢数道明	(78)1324	1992年(平成04)・第39巻・10号
復酒の弁	藤平健	(81)1327	1992年(平成04)・第39巻・10号
高山病の予防になるか	高木嘉子	(84)1330	1992年(平成04)・第39巻・10号
第1回国際中国医学史会議に出席して	吉元昭治	(86)1332	1992年(平成04)・第39巻・10号
追想	諏訪重雄	(88)1334	1992年(平成04)・第39巻・10号
書評／森下宗司著『東洋医学入学－漢方篇』	多留淳文	(90)1336	1992年(平成04)・第39巻・10号
図書紹介／菊谷豊彦著『明白・漢方』／松宮光伸著『漢方薬100の知識』	編集局	(91)1337	1992年(平成04)・第39巻・10号
トピックス／金沢で湯本求真先生顕彰記念集会開催／ツムラ日本漢方記念館が完成	編集局	(92)1338	1992年(平成04)・第39巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年9月＞	協会本部／編集局	(102)1348	1992年(平成04)・第39巻・10号
@1992年(平成04)-第39巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（57）古鈔本『素問』－宮内庁書陵部所蔵	小曽戸洋	(2)1364	1992年(平成04)・第39巻・11号
第2回漢方湯液治療研究会開催	編集局	(5)1367	1992年(平成04)・第39巻・11号
巻頭言／日本漢方の飛躍を目指して	神靖衛	(13)1375	1992年(平成04)・第39巻・11号
『万病回春』の有用処方を探る（その2）	松田邦夫・稲木一元	(14)1376	1992年
小腹急結と腹証の意義	伊藤康雄	(25)1387	1992年(平成04)・第39巻・11号
感冒の治療について－傷寒論の方剤は有効か？－	小高修司	(32)1394	1992年(平成04)・第39巻・11号
東洋堂経験余話（48）▽眩暈に白虎加人参湯加味▽続命湯と香蘇散との兼方経験	松本一男	(41)1403	1992年(平成04)・第39巻・11号
月経痛に有効であった五苓散エキス剤の1例	渡辺陽一	(44)1406	1992年(平成04)・第39巻・11号
漢方牛歩録（111）桂枝芍薬知母湯に転方して経過の良い慢性関節リウマチ	中村謙介	(46)1408	1992年(平成04)・第39巻・11号
漢方診療おぼえ書（145）▽肩凝り、頸部痛、腰痛に人参当帰芍薬散、次いで加味逍遥散▽頑固な喘息様咳に清肺湯	緒方玄芳	(50)1412	1992年(平成04)・第39巻・11号
漢方医学と中医学の接点としての「証」	村田恭介	(52)1414	1992年(平成04)・第39巻・11号
諏訪先生の論説を読んで	池田政一	(55)1417	1992年(平成04)・第39巻・11号
藤平健先生による傷寒論解説（40）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	千葉古方漢方研究会	(60)1422	1992年(平成04)・第39巻・11号
中国新刊の日本関連古医籍－最近約10年の復刻書より－	蕭衍初・真柳誠	(69)1431	1992年(平成04)・第39巻・11号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（12）「東西両医学の特質比較対照表」のできるまでの経過（2）	矢数道明	(83)1445	1992年(平成04)・第39巻・11号
第2回漢方湯液治療研究会を終えて	伊藤清夫	(86)1448	1992年(平成04)・第39巻・11号
第2回漢方湯液治療研究会アルバム（平成4年10月10日）	編集局	(91)1453	1992年(平成04)・第39巻・11号

トピックス／美濃大垣の名医・北尾春圃顕彰碑除幕式開催／和田東郭先生生誕250年の墓参が行われる／大塚敬節先生13回忌挙行	編集局	(95)1457	1992年(平成04)・第39巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年10月＞	協会本部／編集局	(104)1466	1992年(平成04)・第39巻・11号
@1992年(平成04)-第39巻-12号-＜特集・第2回漢方湯液治療研究会講演原稿＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（58）喜多村直寛による『医方類聚』の復刊	真柳誠	(2)1488	1992年(平成04)・第39巻・12号
巻頭言／東洋医学の授業を受け持って	代田文彦	(9)1495	1992年(平成04)・第39巻・12号
第2回漢方湯液治療研究会開会にあたって	大塚恭男	(10)1496	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会特別講演＞特に印象的な治験例3人の経過について	矢数道明	(11)1497	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞生薬選品に就いて（柴胡・半夏・黄ゴン）	海老塚吉次	(16)1502	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会指名講演＞顔面の種々な痛みの治療例－湯液療法によるー	山田光胤	(23)1509	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会指名講演＞不妊症3症例	寺師睦宗	(29)1515	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞響声破笛丸の治験	細川喜代治	(34)1520	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞ヨク苡附子敗醤散の使用経験	花輪壽彦	(37)1523	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞民間薬と血糖値	松下嘉一	(41)1527	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞アトピー性皮膚炎兼アレルギー性鼻炎に漢方薬とともに民間薬を使用した1例	鎌田慶市郎・松下嘉一	(51)1537	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞強度な肩こりに補中益気湯が奏効したと考えられる3例	阿部勝利	(57)1543	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞腹候からみた併病について	福田佳弘	(61)1547	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞当帰四逆加呉茱萸生姜湯証とその鑑別について	仲原靖夫	(68)1554	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞附属器炎を腹診で見分ける方法	渡辺陽一	(77)1563	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞小児科外来における湯液4題　甘草湯、鶏胆ほか2項	桂敏夫	(81)1567	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞四神丸料の治験	高木嘉子	(87)1753	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞湯液治療における自覚症状の推移の把握「記号化と、数量化」	高橋法昭	(89)1575	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞烏頭・附子類の市場品の現状	佐橋佳郎	(97)1583	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞慢性関節リウマチの湯液治療	新井基夫・伊藤清夫	(105)1591	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会追加原稿＞慢性関節リウマチの漢方薬方の運用	伊藤清夫	(117)1603	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞慢性関節リウマチの漢方治療の意義	今田屋章	(121)1607	1992年(平成04)・第39巻・12号
＜第2回漢方湯液治療研究会講演＞独活寄生湯の臨床－慢性関節リウマチ性多発性関節炎への応用－	張瓏英	(133)1619	1992年(平成04)・第39巻・12号
漢方湯液研究会の質疑応答について	伊藤清夫	(142)1628	1992年(平成04)・第39巻・12号
『万病回春』の有用処方を探る（その3）	松田邦夫・稲木一元	(143)1629	1992年(平成04)・第39巻・12号
霍乱	足立秀樹	(148)1634	1992年(平成04)・第39巻・12号
左脇骨の打撲症に千金鶏鳴散	二村禧	(151)1637	1992年(平成04)・第39巻・12号
多発性硬化症の古方に依る治療1例	諏訪重雄	(154)1460	1992年(平成04)・第39巻・12号
諏訪先生に答えて	長谷川弥人	(161)1647	1992年(平成04)・第39巻・12号
「陽浮者熱自発、陰弱者汗自出」について	寺師睦宗	(163)1649	1992年(平成04)・第39巻・12号
漢方界の大編集長気賀林一氏逝去す	編集局	(168)1654	1992年(平成04)・第39巻・12号
傷寒論雑感（7）『冉注傷寒論』（2）	玉置英成	(169)1655	1992年(平成04)・第39巻・12号
淡路の沖野与三郎氏に感謝状	編集局	(172)1658	1992年(平成04)・第39巻・12号
トピックス／矢数道明先生米寿祝賀会、華やかに開宴／北里東医研創立20周年記念式典、盛大な祝賀式／東洋医学会関東甲信越支部会開催／日本漢方協会学術大会開催	編集局	(173)1659	1992年(平成04)・第39巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年11月＞	協会本部／編集局	(181)1667	1992年(平成04)・第39巻・12号
@1993年(平成05)-第40巻-01号-			
＜口絵＞矢数道明先生米寿祝賀会　ホテルオークラで盛大に開催	編集局	(2)2	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞中国における日本漢方についての著書続く	矢数道明	(18)18	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞新年にあたって	大塚恭男	(19)19	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞初夢『待望の漢方村実現』	赤尾明俊	(20)20	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞今年からデカルト・ニュートンとお別れ	穐吉健治	(20)20	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	足立秀樹	(20)20	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	阿部勝利	(20)20	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	粟島行春	(21)21	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	猪飼祥夫	(21)21	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	池田政一	(21)21	1993年(平成05)・第40巻・01号

新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	石川友章	(22)22	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	石田秀実	(22)22	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	市来一彦	(22)22	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	伊藤敦之	(22)22	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	伊藤清夫	(22)22	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	伊藤真愚	(23)23	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞中国経済と生薬	伊藤敏雄	(23)23	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞激動のあとにきたものは激怒であった	伊藤嘉紀	(23)23	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	伊原信夫	(24)24	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	今泉清	(25)25	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	入江正	(25)25	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	岩崎勲	(25)25	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	岩浪登	(26)26	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	浮田徹也	(26)26	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	裏辻嘉行	(26)26	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	江川充	(26)26	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	王瑞雲	(27)27	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	大西和子	(27)27	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	大貫進	(28)28	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	大野安春	(28)28	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	大元一郎	(28)28	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	緒方勝行	(29)29	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	岡部俊一	(29)29	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	小川新	(29)29	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	沖野與三郎	(30)30	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	小曽戸明子	(30)30	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	小野正弘	(31)31	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	遠田裕政	(31)31	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	葛西浩史	(31)31	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	笠原栄司	(31)31	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	加世田弘道	(32)32	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	勝田正泰	(32)32	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	桂敏夫	(32)32	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	金山達郎	(33)33	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	鎌田慶市郎	(33)33	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	河野順	(33)33	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	菊谷豊彦	(33)33	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	木下勤	(34)34	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	木下恒雄	(34)34	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	楠祐次	(35)35	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	久保田富也	(35)35	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	粂川義雄	(35)35	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞anachlomismかnostalgiaか？	倉島宗二	(35)35	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	栗山一八	(36)36	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	桑木崇秀	(36)36	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	小泉久仁弥	(37)37	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	向後健	(37)37	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	小曽戸洋	(37)37	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	後藤二郎	(38)38	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	後藤實	(38)38	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	今忠郎	(38)38	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	犀川龍	(38)38	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	斎藤浩爾	(39)39	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	酒井シヅ	(39)39	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	坂口弘	(39)39	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	坂本秀治	(40)40	1993年(平成05)・第40巻・01号

新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	佐々木雄次	(40)40	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	佐竹貞治郎	(41)41	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	志田信男	(41)41	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞新年にあたって偶感	柴田良治	(41)41	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	尚鎮国	(42)42	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	神靖衛	(42)42	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	杉立義一	(42)42	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	杉山広重	(43)43	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	鈴木博夫	(43)43	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	宗田一	(43)43	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	十河孝博	(44)44	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	高島文一	(44)44	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	高橋邦夫	(44)44	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	高橋貞則	(45)45	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	高橋尚武	(45)45	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	竹田明	(45)45	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	竹村修	(45)45	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞医の原典	舘野健	(46)46	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	田中邦雄	(46)46	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞「漢方薬の伝承と科学」の調和	谿忠人	(47)47	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	谷澤靖博	(47)47	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞大塚敬節先生未完の「傷寒論講義」	谷田伸治	(47)47	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	田畑隆一郎	(47)47	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞生涯現役	玉置新治	(48)48	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	田村靖子	(48)48	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	田村嘉章	(48)48	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	多留淳文	(48)48	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	張瓏英	(49)49	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	陳超	(49)49	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	辻正道	(49)49	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	津谷喜一郎	(50)50	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	寺澤捷年	(50)50	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	寺師睦宗	(50)50	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	土岐卓	(50)50	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	中井康雄	(51)51	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	中神倭文夫	(51)51	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	中川良隆	(51)51	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞景気低迷は神の見えざる手	長瀬千秋	(52)52	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	中田敬吾	(52)52	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	仲原靖夫	(52)52	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	中村謙介	(53)53	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	中村成代	(53)53	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	鍋谷欣市	(53)53	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	難波恒雄	(53)53	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	西岡五夫	(54)54	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞原南陽の『砦草』	西岡一夫	(54)54	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	西澤道允	(54)54	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	西畑邦夫	(55)55	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	西脇平士	(55)55	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	二宮文乃	(55)55	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	根本幸一	(56)56	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	二村禧	(57)57	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	野崎豊	(57)57	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	野口定子	(57)57	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	橋口親義	(57)57	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞失敗例の検討	橋本行生	(58)58	1993年(平成05)・第40巻・01号

新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	蓮村幸兌	(58)58	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	長谷川弥人	(58)58	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	服部恵七	(59)59	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	原敬二郎	(59)59	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	原桃介	(59)59	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	原田正敏	(60)60	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	広瀬滋之	(60)60	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	福田佳弘	(60)60	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	藤井康男	(60)60	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	藤平健	(60)60	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	細井大二	(61)61	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	細川喜代治	(61)61	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	牧角和宏	(61)61	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	牧田憲太郎	(62)62	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松浦敬一	(62)62	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松岡伯菁	(62)62	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松岡睦友	(63)63	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松下嘉一	(63)63	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松田邦夫	(64)64	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松橋俊夫	(64)64	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	松本一男	(65)65	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	真鍋立夫	(65)65	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	真柳誠	(65)65	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	三谷和男	(66)66	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	三谷和合	(66)66	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	三潴忠道	(66)66	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	南利雄	(67)67	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	峯尚志	(67)67	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞核磁気共鳴現象と漢方医学の概念	宮川昭平	(67)67	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	宮崎綾子	(68)68	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	宮沢康朗	(68)68	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	宮下三郎	(69)69	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	牟田光一郎	(69)69	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞新春雑感「無効例の検討の重要性」	宗像敬一	(69)69	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	村田恭介	(69)69	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	村主明彦	(70)70	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞名医のビデオを	村松睦	(70)70	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	室賀昭三	(71)71	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	盛克己	(71)71	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	森崎信夫	(71)71	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	森下宗司	(71)71	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	矢数圭堂	(72)72	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山内浩	(72)72	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山崎正寿	(72)72	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山下九三夫	(73)73	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山田光胤	(73)73	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山ノ内慎一	(73)73	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山本整一	(73)73	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	山本昇吾	(74)74	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	雪村八一郎	(74)74	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	横田観風	(74)74	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	吉崎文彦	(75)75	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	吉田種臣	(75)75	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	吉冨兵衛	(75)75	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	吉村重敏	(75)75	1993年(平成05)・第40巻・01号

新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	吉元昭治	(76)76	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	梁哲周	(76)76	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	渡邊一幹	(77)77	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	渡辺貞夫	(77)77	1993年(平成05)・第40巻・01号
新年のことば　＜平成5年（1993年）＞	渡辺方乃	(77)77	1993年(平成05)・第40巻・01号
矢数道明先生と日本東洋医学会	伊藤清夫	(79)79	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	侯召棠	(82)82	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	大塚恭男	(82)82	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	松田邦夫	(83)83	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	ハイ元植	(85)85	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	柴田承二	(85)85	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	細谷英吉	(85)85	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	坂口弘	(86)86	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	寺師睦宗	(87)87	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	山田光胤	(87)87	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	芹澤勝助	(88)88	1993年(平成05)・第40巻・01号
「米寿祝賀会の祝辞」より抜粋／矢数先生の米寿を祝する	酒井シヅ	(88)89	1993年(平成05)・第40巻・01号
米寿祝賀会の謝辞	矢数道明	(90)90	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	崔月犁	(92)92	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	胡熙明・金玲	(92)92	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	侯召棠	(93)93	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	陳紹武	(94)94	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	宋志恒	(94)94	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	陳立夫	(95)95	1993年(平成05)・第40巻・01号
海外からの祝詞・題辞	中国中医薬出版社	(95)95	1993年(平成05)・第40巻・01号
「矢数道明先生米寿祝賀会」アルバム	編集局	(97)97	1993年(平成05)・第40巻・01号
内科医院における冷えのぼせの臨床的研究	村松睦・森弘文	(104)104	1993年(平成05)・第40巻・01号
漢方診療おぼえ書（146）▽紋首挫傷、胸部打撲傷に治打撲一方▽アトピー性皮膚炎にキョ風敗毒散▽夜尿症に柴胡桂枝湯	緒方玄芳	(114)114	1993年(平成05)・第40巻・01号
漢方牛歩録（112）抑鬱状態に加味温胆湯	中村謙介	(116)116	1993年(平成05)・第40巻・01号
東洋堂経験余話（49）▽茯苓甘草湯の経験▽十二指腸潰瘍で大量の生つばに清熱解鬱湯	松本一男	(118)118	1993年(平成05)・第40巻・01号
傷寒論講義演習（41）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(121)121	1993年(平成05)・第40巻・01号
傷寒論雑感（8）『冉注傷寒論』（3）	玉置英成	(126)126	1993年(平成05)・第40巻・01号
『類聚方広義』散見／その6	笠原栄司	(131)131	1993年(平成05)・第40巻・01号
本草のうた（1）阿膠・安石榴	吉田荘人	(136)136	1993年(平成05)・第40巻・01号
畑の中の面々（15）オジちゃん	田畑隆一郎	(142)142	1993年(平成05)・第40巻・01号
人声人語	北村翰男	(146)146	1993年(平成05)・第40巻・01号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（13）中山忠直氏渡満し、早くも皇帝に漢方存続を進言す	矢数道明	(148)148	1993年(平成05)・第40巻・01号
トピックス／「榕堂会」第1回総会開催	編集局	(150)150	1993年(平成05)・第40巻・01号
図書紹介／石田秀実著『中国医学思想史』	編集局	(151)151	1993年(平成05)・第40巻・01号
昭和漢方、陰の功労者　気賀林一氏の逝去を悼む	矢数道明	(152)152	1993年(平成05)・第40巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成4年12月＞	協会本部／編集局	(161)161	1993年(平成05)・第40巻・01号
@1993年(平成05)-第40巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（59）伝説の鴆鳥と世界初発見の毒鳥	真柳誠	(2)178	1993年(平成05)・第40巻・02号
巻頭言／漢方医学論文の危機的状況	杵渕彰	(9)185	1993年(平成05)・第40巻・02号
アトピー性皮膚炎の漢方治療	松下嘉一	(10)186	1993年(平成05)・第40巻・02号
前立腺肥大に伴う前立腺炎の2例	渡辺陽一	(22)198	1993年(平成05)・第40巻・02号
東洋堂経験余話（50）▽胃潰瘍に桂枝加大黄湯▽亀背に葛根加朮湯	松本一男	(25)201	1993年(平成05)・第40巻・02号
中村謙介氏の「自下痢を伴う麻黄湯証」に対する卑見	諏訪重雄	(28)204	1993年(平成05)・第40巻・02号
諏訪重雄先生の御意見にお答えして	中村謙介	(30)206	1993年(平成05)・第40巻・02号
偶中の偶	海老塚吉次	(35)211	1993年(平成05)・第40巻・02号
難治性皮膚疾患掌蹠膿疱症の1治験例	緒方勝行	(36)212	1993年(平成05)・第40巻・02号
漢方診療おぼえ書（147）▽潰瘍性大腸炎に温清飲	緒方玄芳	(39)215	1993年(平成05)・第40巻・02号
「千葉漢方研究会」講演内容（4）後世方による臨床経験より（その2）	講師）細川喜代治	(42)218	1993年(平成05)・第40巻・02号
第2回湯液研究会のテーマ講演「リウマチ」について	伊藤清夫	(52)228	1993年(平成05)・第40巻・02号

傷寒論第12条傍註と諏訪氏説について	玉置英成	(57)233	1993年(平成05)・第40巻・02号
傷寒論講義演習（42）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(62)238	1993年(平成05)・第40巻・02号
宋版『經史證類備急本草』について	桜井謙介	(69)245	1993年(平成05)・第40巻・02号
温知荘雑筆　北尾春圃顕彰碑除幕式に参列して	矢数道明	(76)252	1993年(平成05)・第40巻・02号
本草のうた（2）茵チン蒿	吉田荘人	(78)254	1993年(平成05)・第40巻・02号
松田邦夫氏の原点回帰ー「症例による漢方治療の実際」についてー	杉山広重	(81)257	1993年(平成05)・第40巻・02号
矢数先生と中国留学生	葉加南	(91)267	1993年(平成05)・第40巻・02号
図書紹介／『素問・霊枢』（最善本）の刊行を欣喜す	馬継興	(102)278	1993年(平成05)・第40巻・02号
図書紹介／矢数道明・坂口弘纂『漢方無限ー現代漢方の源流』／劉渡舟著・勝田正泰監訳『中国傷寒論解説』〔続篇〕／菊谷豊彦編『漢方医療入門ー保険診療の立場から』	編集局	(102)278	1993年(平成05)・第40巻・02号
太田裕康氏の逝去を悼む／弔辞	小川新・鉄村豪	(104)280	1993年(平成05)・第40巻・02号
沖野與三郎氏の逝去を悼む	編集局	(106)282	1993年(平成05)・第40巻・02号
トピックス／第6回日本漢方治療シンポジウム開催	編集局	(107)283	1993年(平成05)・第40巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年1月＞	協会本部／編集局	(115)291	1993年(平成05)・第40巻・02号
「米寿祝賀会の祝辞」≪祝辞追加≫／矢数道明先生米寿のお祝いによせて	中嶋宏	(117)293	1993年(平成05)・第40巻・02号
「米寿祝賀会の祝辞」≪祝辞追加≫／矢数道明先生の米寿を祝す	馬永華	(117)293	1993年(平成05)・第40巻・02号
@1993年(平成05)-第40巻-03号-＜大塚敬節先生13回忌記念特集号＞			
＜口絵＞大塚敬節先生思い出のアルバム	編集局	(1)313	1993年(平成05)・第40巻・03号
大塚敬節先生13回忌記念特集号発刊にあたって	矢数道明	(29)341	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞漢方医学にはたされた大塚敬節先生の業績	松田邦夫	(31)343	1993年(平成05)・第40巻・03号
特別座談会／大塚敬節先生と漢方	矢数道明・藤平健・坂口弘・山田光胤・寺師睦宗・藤井美樹・大塚恭男 司会）土屋伊磋雄	(41)353	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞女神散の使用経験	花輪壽彦・丁宗鐵・石野尚吾	(65)377	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大黄の向精神作用	西岡五夫	(78)390	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞最近の印象に残る長期観察例からー恐慌性障害と思われる患者に甘麦大棗湯ー	宗像敬一	(81)393	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞私の臨床に生きる大塚先生の経験方とその他	藤井美樹	(85)397	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞胸腹証論　続「古今腹証新覧」其の1	小川新	(89)401	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生の提唱する「疝気症候群Ａ」をめぐって	寺澤捷年	(108)420	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生臨床語録	寺師睦宗	(110)422	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞私にとって千金内托散と補中益気湯とは	緒方玄芳	(115)427	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞私の臨床に生きる大塚先生の哲学	三谷和合	(120)432	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞本邦における金匱要略の註解書について	長谷川弥人	(123)435	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞康平傷寒論発掘	大友一夫	(130)442	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞『近世前期の医学』雑感	安井廣迪	(140)452	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生	原敬二郎	(146)458	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞新資料『黄帝内経鍼経』御薗常斌奉勅校訂本の紹介ー宮内省旧蔵、国立国会図書館所蔵	谷田伸治	(147)459	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞科学研究と全体像	丁宗鐵	(166)478	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生と行政サイドの業績	菊谷豊彦	(169)481	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生の教え	坂口弘	(174)486	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞民間薬	松下嘉一	(179)491	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞千葉県の家伝薬	千葉東洋医学研究会 鎌田慶市郎・松下嘉一	(191)503	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞恩師大塚敬節先生を偲ぶ	平林光子	(205)517	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞国手大塚敬節先生を偲んで	渡邊武	(209)521	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生の思い出	藤平健	(213)525	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚先生の面影	伊藤清夫	(216)528	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞わが恩師・大塚敬節先生	舘野健	(220)532	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞今思う	橋口親義	(224)536	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生の歌集『杏林』の中から	矢数道明	(226)538	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生のこと	代田文彦	(229)541	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生の思い出	細川喜代治	(230)542	1993年(平成05)・第40巻・03号
図書紹介／大塚敬節著『傷寒論弁脉法・平脉法講義』	編集局	(231)543	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生を偲んで	室賀昭三	(232)544	1993年(平成05)・第40巻・03号

＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生と私	松本一男	(234)546	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生に捧ぐ漢方薬の薬効	穐吉健治	(240)552	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞修琴堂大塚家の歴史	小曽戸洋	(242)554	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞鏡の中の敬節先生	花輪壽彦	(250)562	1993年(平成05)・第40巻・03号
＜大塚敬節先生13回忌記念＞大塚敬節先生　追慕	山田光胤	(254)566	1993年(平成05)・第40巻・03号
大塚敬節先生略歴	編集局	(266)578	1993年(平成05)・第40巻・03号
トピックス／山田光胤氏の古稀を祝う会、盛大に挙行／東洋医学会『漢方保険診療指針』改訂版ほか刊行	編集局	(270)582	1993年(平成05)・第40巻・03号
第7回国際東洋医学会学術大会の記録	山田光胤	(272)584	1993年(平成05)・第40巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年2月＞	協会本部／編集局	(280)592	1993年(平成05)・第40巻・03号
@1993年(平成05)-第40巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（60）瀬丘長圭『診極図説』の原本	小曽戸洋	(2)610	1993年(平成05)・第40巻・04号
巻頭言／父と漢方	大塚恭男	(9)617	1993年(平成05)・第40巻・04号
浅田流漢方について	長谷川弥人	(10)618	1993年(平成05)・第40巻・04号
三薬方による冷え・腹痛の治験例	堀野雅子	(22)630	1993年(平成05)・第40巻・04号
アレルギー性歯髄歯根膜炎	渡辺陽一	(25)633	1993年(平成05)・第40巻・04号
今年の流感から学んだこと	宮崎綾子	(28)636	1993年(平成05)・第40巻・04号
漢方牛歩録（113）アレルギー性鼻炎兼ヨダレに小青竜湯	中村謙介	(32)640	1993年(平成05)・第40巻・04号
漢方診療おぼえ書（148）▽顔面神経麻痺に大三五七散▽湿性胸膜炎に小柴胡湯加味方	緒方玄芳	(34)642	1993年(平成05)・第40巻・04号
東洋堂経験余話（51）▽副鼻腔炎に四逆散料加辛夷川キュウ▽慢性胃炎による胃痛に甘連梔子湯▽旋覆代赭湯の経験	松本一男	(36)644	1993年(平成05)・第40巻・04号
進行性手掌角皮症の漢方治療	諏訪重雄	(39)647	1993年(平成05)・第40巻・04号
第7回日中伝統医学学術交流会報告1／活血化オ法によるウイルス性肝炎と肝硬変治療における臨床実験研究	加藤久幸	(43)651	1993年(平成05)・第40巻・04号
日中伝統医学学術交流会について	十河孝博	(52)660	1993年(平成05)・第40巻・04号
『万病回春』の有用処方を探る（その4）	松田邦夫・稲木一元	(53)661	1993年(平成05)・第40巻・04号
第2回湯液研究会のテーマ講演「リウマチ」について（続）	伊藤清夫	(62)670	1993年(平成05)・第40巻・04号
本草のうた（3）黄精	吉田荘人	(70)678	1993年(平成05)・第40巻・04号
傷寒論第12条の解釈について	川村力	(73)681	1993年(平成05)・第40巻・04号
傷寒論講義演習（43）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(76)684	1993年(平成05)・第40巻・04号
傷寒論雑感（9）『冉注傷寒論』（4）	玉置英成	(84)692	1993年(平成05)・第40巻・04号
『本草いろは抄』に記載された『薬本』について	桜井謙介	(90)698	1993年(平成05)・第40巻・04号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（14）中山忠直著『漢方医学の新研究』を読んで漢方を志した人々	矢数道明	(95)703	1993年(平成05)・第40巻・04号
『漢方医学の新研究』の著者　中山忠直氏の逝去を悼む	矢数道明	(97)705	1993年(平成05)・第40巻・04号
悲歌（抄）ー永訣　気賀林一先生	和田耀子	(100)708	1993年(平成05)・第40巻・04号
橋本敬三先生のご逝去を悼む	矢数道明	(103)711	1993年(平成05)・第40巻・04号
トピックス／「処士独嘯庵墓」再建記念法要、大阪蔵鷺庵で	小曽戸洋	(104)712	1993年(平成05)・第40巻・04号
トピックス／ツムラ創業100周年レセプション　ホテルニューオータニで華々しく開催	編集局	(106)714	1993年(平成05)・第40巻・04号
図書紹介／馬大正著（1）『中国婦産科発展史』（山西科学教育出版社）／馬大正著（2）『中国婦科臨床薬物手冊』（安徽科技出版社）	吉田荘人	(107)715	1993年(平成05)・第40巻・04号
図書紹介／山本徳子原作・監修、藤原りょうじ画『まんが中国医学の歴史』	編集局	(107)715	1993年(平成05)・第40巻・04号
図書紹介／大塚恭男著『東西生薬考』	有馬朗人	(108)716	1993年(平成05)・第40巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年3月＞	協会本部／編集局	(119)727	1993年(平成05)・第40巻・04号
@1993年(平成05)-第40巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（61）瀬丘長圭の肖像	小曽戸洋	(2)746	1993年(平成05)・第40巻・05号
巻頭言／くたばれ「客観性」	津谷喜一郎	(9)753	1993年(平成05)・第40巻・05号
第44回日本東洋医学会学術総会　会頭　後藤由夫先生をお招きして	後藤由夫・矢数道明・大塚恭男・室賀昭三	(10)754	1993年(平成05)・第40巻・05号
『万病回春』の有用処方を探る（その5）	松田邦夫・稲木一元	(16)760	1993年(平成05)・第40巻・05号
東洋堂経験余話（52）▽胃弱に高良姜湯合四逆湯▽バセドー病に炙甘草湯合桂枝茯苓丸料	松本一男	(27)771	1993年(平成05)・第40巻・05号
芍薬甘草湯によるインフルエンザ筋炎の治験例	宮崎瑞明	(30)774	1993年(平成05)・第40巻・05号
漢方牛歩録（114）結節性紅斑に麻黄加朮湯	中村謙介	(34)778	1993年(平成05)・第40巻・05号
漢方診療おぼえ書（149）▽急性腸炎に葛根湯加半夏▽誤治脱汗に茯苓甘草湯▽消化不良に清暑益気湯	緒方玄芳	(36)780	1993年(平成05)・第40巻・05号
産褥時尿閉の治験	今泉清	(38)782	1993年(平成05)・第40巻・05号
第7回日中伝統医学学術交流会報告2／肝硬変の証治	加藤久幸	(43)787	1993年(平成05)・第40巻・05号
日本の漢方診療の現状と今後（33）日本の漢方診療の今後＜15＞進歩を考えるための問題点（13）証について（その10）	伊藤清夫	(49)793	1993年(平成05)・第40巻・05号

麻黄湯証で自下利はみられるか	川村力	(56)800	1993年(平成05)・第40巻・05号
再び「傷寒論の誤り」について	諏訪重雄	(59)803	1993年(平成05)・第40巻・05号
諏訪氏にお答えして	玉置英成	(64)808	1993年(平成05)・第40巻・05号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（15）北京中医学院・楊維益編著『明治前日本漢医簡史』－日本漢医学流派的簡介－について	矢数道明	(68)812	1993年(平成05)・第40巻・05号
本草のうた（4）罌粟	吉田荘人	(72)816	1993年(平成05)・第40巻・05号
香月牛山著『万民必用長命養生訓』について	宮崎綾子	(76)820	1993年(平成05)・第40巻・05号
『黄帝内経版本叢刊』の偸かな楽しみ	桜井謙介	(78)822	1993年(平成05)・第40巻・05号
平成4年（1992）漢方略史年表	矢数道明	(78)822	1993年(平成05)・第40巻・05号
中国衛生部元部長・銭信忠氏の歓迎会開催	編集局	(106)850	1993年(平成05)・第40巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年4月＞	協会本部／編集局	(108)852	1993年(平成05)・第40巻・05号
@1993年(平成05)-第40巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（62）新出の曲直瀬玄朔肖像	小曽戸洋	(2)870	1993年(平成05)・第40巻・06号
巻頭言／大塚敬節賞を受賞して－信・断・勤－	寺師睦宗	(9)877	1993年(平成05)・第40巻・06号
随証三たの精髄	橋口親義	(10)878	1993年(平成05)・第40巻・06号
肝機能異常を合併した成人マイコプラズマ肺炎の治験例	宮崎瑞明	(17)885	1993年(平成05)・第40巻・06号
百合病と考えられた1例－本病発症における腎の意義について－	川村力	(22)890	1993年(平成05)・第40巻・06号
膣断端角瘻孔の治験	渡辺陽一	(25)893	1993年(平成05)・第40巻・06号
漢方診療おぼえ書（150）▽八味丸服用で下腿部に浮腫▽滲出性中耳炎に小柴胡湯合香蘇散	緒方玄芳	(28)896	1993年(平成05)・第40巻・06号
漢方牛歩録（115）急性胃腸炎に乾姜黄連黄ゴン人参湯等	中村謙介	(30)898	1993年(平成05)・第40巻・06号
東洋堂経験余話（53）▽湿疹に八味丸料加山梔子▽感冒に白虎湯	松本一男	(34)902	1993年(平成05)・第40巻・06号
日本の漢方診療の現状と今後（34）日本の漢方診療の今後＜16＞進歩を考えるための問題点（14）証について（その11）	伊藤清夫	(38)906	1993年(平成05)・第40巻・06号
傷寒論雑感（10）『冉注傷寒論』（5）	玉置英成	(42)910	1993年(平成05)・第40巻・06号
『蔵志』に噛み付いた男、愿仲田中栄信（山脇君蔵志并附録を読む）	西岡一夫	(46)914	1993年(平成05)・第40巻・06号
本草のうた（5）何首烏・萱草	吉田荘人	(58)926	1993年(平成05)・第40巻・06号
畑の中の面々（16）タケヤブヤケタ	田畑隆一郎	(63)931	1993年(平成05)・第40巻・06号
香月牛山著『万民必用長命養生訓』について（続）	宮崎綾子	(66)934	1993年(平成05)・第40巻・06号
中国本『漢方臨床治験精粋』（『漢方治療百話』第6集・7集臨床篇）が示す関係者の配慮、並びに、中国の具象的抽象思惟力について	杉山広重	(68)936	1993年(平成05)・第40巻・06号
図書紹介／松本一男先生の『東洋堂経験録』を読む	長谷川弥人	(78)946	1993年(平成05)・第40巻・06号
図書紹介／寺師睦宗著『茶談　漢方との出会い－若き日の軌跡』	小曽戸洋	(79)947	1993年(平成05)・第40巻・06号
図書紹介／関口善太著『やさしい中医学入門』／『イラストわかる漢方・指圧』／現代東洋医学臨時増刊号『多器官障害の漢方治療』／松橋俊夫編『老年疾患漢方治験集』	編集局	(80)948	1993年(平成05)・第40巻・06号
トピックス／第44回日本東洋医学会学術総会仙台で実り多い演題が続々登場／日本医史学会「矢数医史学賞」小曽戸・真柳両氏が授賞／寺師睦宗氏、出版記念パーティ開催	編集局	(82)950	1993年(平成05)・第40巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年5月＞	協会本部／編集局	(96)964	1993年(平成05)・第40巻・06号
柴田良治氏逝去	編集局	(97)965	1993年(平成05)・第40巻・06号
@1993年(平成05)-第40巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（63）東洞学派の愛でた河豚	小曽戸洋	(2)982	1993年(平成05)・第40巻・07号
巻頭言／古方の意味するもの	伊藤清夫	(9)989	1993年(平成05)・第40巻・07号
若年女性における潜在的漢方治療適応者の検討	溝部宏毅・新井信・中野頼子・吉川信・佐藤弘・代田文彦・白坂龍雄	(10)990	1993年(平成05)・第40巻・07号
『万病回春』の有用処方を探る（その6）	松田邦夫・稲木一元	(13)993	1993年(平成05)・第40巻・07号
講演／老人疾患と漢方	寺師睦宗	(18)998	1993年(平成05)・第40巻・07号
急性疾患「かぜ」における併病の治験	高木嘉子	(28)1008	1993年(平成05)・第40巻・07号
漢方診療おぼえ書（151）▽開腹術後に生じた季肋部持続性疼痛に安中散▽腹部の冷えと下痢に柴胡桂枝乾姜湯▽足部白癬症に十味敗毒湯加連翹	緒方玄芳	(32)1012	1993年(平成05)・第40巻・07号
東洋堂経験余話（54）▽湿疹に大柴胡湯▽気管支喘息に大柴胡湯合麻杏甘石湯	松本一男	(34)1014	1993年(平成05)・第40巻・07号
温病と大青竜湯	費維光	(37)1017	1993年(平成05)・第40巻・07号
紫雲膏材料の考察	南利雄	(42)1022	1993年(平成05)・第40巻・07号
日本の漢方診療の現状と今後（35）日本の漢方診療の今後＜17＞進歩を考えるための問題点（15）古方を考える（1）	伊藤清夫	(48)1028	1993年(平成05)・第40巻・07号
本草のうた（6）亀板・金銀花	吉田荘人	(55)1035	1993年(平成05)・第40巻・07号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳	宮崎綾子	(60)1040	1993年(平成05)・第40巻・07号
傷寒論雑感（11）『冉注傷寒論』（6）	玉置英成	(66)1046	1993年(平成05)・第40巻・07号
我が師柴田良治先生を偲んで	藤原了信	(70)1050	1993年(平成05)・第40巻・07号

トピックス／富山医薬大学「和漢診療学講座」開設の記念式典開催／京都で日本オ血学会学術総会行われる／第21回日本経絡学会四国大会開催	編集局	(72)1052	1993年(平成05)・第40巻・07号
「和漢診療学講座」の開設をめぐって	寺澤捷年	(73)1053	1993年(平成05)・第40巻・07号
図書紹介／幕で矢を受ける名人、光胤山田先生（『漢方の診療と治療【応用篇】』を推す）	西岡一夫	(75)1055	1993年(平成05)・第40巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年6月＞	協会本部／編集局	(82)1062	1993年(平成05)・第40巻・07号
@1993年(平成05)-第40巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（64）ー現存最古の中国本草ートルファン出土の『本草集注』	真柳誠	(2)1082	1993年(平成05)・第40巻・08号
巻頭言／伝統とは	石野尚吾	(9)1089	1993年(平成05)・第40巻・08号
女子医大雑話（1）▽過敏性腸症候群（交替性便通異常型）に小建中湯▽過敏性腸症候群（便秘型）に桂枝加芍薬湯▽過敏性腸症候群（下痢型）に啓脾湯	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(10)1090	1993年(平成05)・第40巻・08号
玄関先でのめまい	渡辺陽一	(15)1095	1993年(平成05)・第40巻・08号
東洋堂経験余話（55）▽真武湯の経験▽感冒の高熱に白虎湯	松本一男	(19)1099	1993年(平成05)・第40巻・08号
漢方牛歩録（116）対人恐怖症に桂枝甘草竜骨牡蠣湯	中村謙介	(22)1102	1993年(平成05)・第40巻・08号
漢方診療おぼえ書（152）＜ＷＴＴＣ投与症例＞悪性結腸ポリープ切除、肝転移→肝部分切除後にかわらたけとＷＴＴＣ投与▽悪性結腸ポリープ切除術後にＷＴＴＣ加かわらたけ	緒方玄芳	(24)1104	1993年(平成05)・第40巻・08号
世界伝統医学技術交流会議を了えて	小川新	(26)1106	1993年(平成05)・第40巻・08号
日本の漢方診療の現状と今後（36）日本の漢方診療の今後＜18＞進歩を考えるための問題点（16）古方を考える（2）	伊藤清夫	(42)1122	1993年(平成05)・第40巻・08号
傷寒論講義演習（44）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(50)1130	1993年(平成05)・第40巻・08号
『類聚方広義』散見／その7	笠原栄司	(57)1137	1993年(平成05)・第40巻・08号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その2）	宮崎綾子	(62)1142	1993年(平成05)・第40巻・08号
浅井国幹先生「告墓文」の読解	鎌田正	(67)1147	1993年(平成05)・第40巻・08号
浅井国幹先生「告墓文」の出現と温知社遺品の保管移転について	矢数道明	(93)1173	1993年(平成05)・第40巻・08号
浅井国幹先生年譜	矢数道明	(104)1184	1993年(平成05)・第40巻・08号
図書紹介／長沢元夫著『漢方薬物学入門』＜康治本傷寒論の薬物＞	柏木佑記慧	(106)1186	1993年(平成05)・第40巻・08号
『武見太郎と東洋医学』関連資料リスト	津谷喜一郎	(108)1188	1993年(平成05)・第40巻・08号
トピックス／日本漢方協会主催、通信講座宿泊スクーリング開催	渡辺方乃	(111)1191	1993年(平成05)・第40巻・08号
トピックス／第18回ＪＰＳ漢方特別講座スタート	中村成代	(112)1192	1993年(平成05)・第40巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年7月＞	協会本部／編集局	(119)1199	1993年(平成05)・第40巻・08号
第3回漢方湯液治療研究会への期待	伊藤清夫	(121)1201	1993年(平成05)・第40巻・08号
@1993年(平成05)-第40巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（65）トルファン出土の医方書ー張文仲の遺方	小曽戸洋・真柳誠	(2)1218	1993年(平成05)・第40巻・09号
巻頭言／民間薬の実用化へ	松下嘉一	(9)1225	1993年(平成05)・第40巻・09号
紫円による悪性関節リウマチの1治験例	木島三夫	(10)1226	1993年(平成05)・第40巻・09号
紫円による治療の経験録	張俊	(16)1232	1993年(平成05)・第40巻・09号
女子医大雑話（2）	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(19)1235	1993年(平成05)・第40巻・09号
漢方牛歩録（117）多発性関節炎に甘草附子湯加味兼非ス剤	中村謙介	(23)1239	1993年(平成05)・第40巻・09号
「千葉漢方研究会」講演内容（5）漢方薬が劇的に効いた治験例	講師）多紀英樹	(27)1243	1993年(平成05)・第40巻・09号
平成4年度日本東洋医学会千葉県部会教育講演会第3回特別講演　東洋医学の原点を考える	磯部八郎	(41)1257	1993年(平成05)・第40巻・09号
東洋堂経験余話（56）▽気管支喘息に四逆散料合麻杏甘石湯▽腰痛に補陰湯	松本一男	(50)1266	1993年(平成05)・第40巻・09号
日本の漢方診療の現状と今後（37）日本の漢方診療の今後＜19＞進歩を考えるための問題点（17）古方を考える（3）	伊藤清夫	(53)1269	1993年(平成05)・第40巻・09号
『薬徴』について	桜井謙介	(61)1277	1993年(平成05)・第40巻・09号
傷寒論講義演習（45）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(69)1285	1993年(平成05)・第40巻・09号
傷寒論雑感（12）『冉注傷寒論』（7）	玉置英成	(75)1291	1993年(平成05)・第40巻・09号
畑の中の面々（17）雑草物語	田畑隆一郎	(80)1296	1993年(平成05)・第40巻・09号
本草のうた（7）枸杞・牽牛子	吉田荘人	(85)1301	1993年(平成05)・第40巻・09号
トピックス／第10回和漢医薬学会、富山で開催／臨床和漢薬研究会も開催／矢数格先生生誕百年祭、飯田橋で	編集局	(89)1305	1993年(平成05)・第40巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年8月＞	協会本部／編集局	(102)1318	1993年(平成05)・第40巻・09号
@1993年(平成05)-第40巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（66）華岡青洲の手術図と脱臼整復図	真柳誠	(2)1338	1993年(平成05)・第40巻・10号
第2回和漢薬ランチョンレクチャー講演をもとに修補　漢方の科学的立証と再評価問題	田代眞一	(9)1345	1993年(平成05)・第40巻・10号
消化器・精神神経症状に対する四逆散の効果	雪村八一郎	(21)1357	1993年(平成05)・第40巻・10号
抑鬱症状に滋陰清熱法	川村力	(27)1363	1993年(平成05)・第40巻・10号

漢方牛歩録（118）顔面痙攣に抑肝散加陳皮半夏	中村謙介	(31)1367	1993年(平成05)・第40巻・10号
『万病回春』の有用処方を探る（その7）	松田邦夫・稲木一元	(33)1369	1993年(平成05)・第40巻・10号
厚朴生姜半夏甘草人参湯の1例	小泉久仁弥	(38)1374	1993年(平成05)・第40巻・10号
女子医大雑話（3）▽冷え、月経痛に当帰芍薬散▽全身の冷えに清心蓮子飲▽指先の冷えに当帰建中湯	中野頼子・溝部宏毅・新井信	(40)1376	1993年(平成05)・第40巻・10号
切迫早産の漢方療法（4）	浮田徹也	(45)1381	1993年(平成05)・第40巻・10号
緊張性月経困難症の実邪（熱）と寒邪（熱）について	渡辺陽一	(52)1388	1993年(平成05)・第40巻・10号
漢方診療おぼえ書（153）▽副鼻腔炎（化膿性）治療に托裏消毒散（『外科正宗』）を使用した症例	緒方玄芳	(57)1393	1993年(平成05)・第40巻・10号
清上ケン痛湯追試のお願い	大野安春	(62)1398	1993年
座談会／保険診療における漢方製剤の運用法	原桃介・山内浩 司会）菊谷豊彦	(65)1401	1993年(平成05)・第40巻・10号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その3）	宮崎綾子	(88)1424	1993年(平成05)・第40巻・10号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（16）趙清理学長『傷寒論』序文の烙書と中国唯一の張仲景像版画について	矢数道明	(92)1428	1993年(平成05)・第40巻・10号
本草のうた（8）胡桃	吉田荘人	(94)1430	1993年(平成05)・第40巻・10号
韓国漢方医療事情	吉冨誠	(97)1433	1993年(平成05)・第40巻・10号
図書紹介／千葉古方漢方研究会著『漢方方意ノート』の出版に寄せて	矢数道明	(100)1436	1993年(平成05)・第40巻・10号
図書紹介／島田隆司監修・小林健二、宮川浩也編集『素問・霊枢』総索引	小曽戸洋	(101)1437	1993年(平成05)・第40巻・10号
図書紹介／宗田一著『渡来薬の文化史』／村田高明著『冷え性の漢方治療』甲賀正聰著『小児喘息の漢方治療』／横田観風著『万病一風論の提唱』	編集局	(102)1438	1993年(平成05)・第40巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年9月＞	協会本部／編集局	(109)1445	1993年(平成05)・第40巻・10号
@1993年(平成05)-第40巻-11号-			
＜口絵＞第3回漢方湯液治療研究会が盛大に開催	編集局	(2)1466	1993年(平成05)・第40巻・11号
巻頭言／漢方薬の洋薬化	伊藤忠信	(9)1473	1993年(平成05)・第40巻・11号
女子医大雑話（4）▽「サングラスが手放せない」という女性に加味逍遥散▽精神的ショックを契機に生じた神経症に桂姜棗草黄辛附湯▽生理前に増悪する左半身のだるさに柴朴湯合桂枝茯苓丸	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(11)1475	1993年(平成05)・第40巻・11号
東洋堂経験余話（57）▽生理不順に四逆湯▽全身倦怠に真武湯合生脈散料	松本一男	(17)1481	1993年(平成05)・第40巻・11号
桂枝加芍薬生姜人参湯の使用例	岩崎勲	(21)1485	1993年(平成05)・第40巻・11号
桂枝湯の治療例	趙樹紅	(25)1489	1993年(平成05)・第40巻・11号
漢方牛歩録（119）慢性気管支炎に滋陰降火湯	中村謙介	(31)1495	1993年(平成05)・第40巻・11号
幼児の長期間の朝立ちへの抑肝散加陳皮半夏の投与例	宮崎瑞明	(33)1497	1993年(平成05)・第40巻・11号
＜第3回漢方湯液治療研究会特別講演＞問診について（1）	伊藤清夫	(36)1500	1993年(平成05)・第40巻・11号
傷寒論講義演習（46）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(40)1504	1993年(平成05)・第40巻・11号
傷寒論雑感（13）『難解条』（1）	玉置英成	(47)1511	1993年(平成05)・第40巻・11号
傘寿宝談（1）渡邊武博士に聞く	渡邊武 聞き手）大塚恭男・松田邦夫	(51)1515	1993年(平成05)・第40巻・11号
本草のうた（9）葫蘆	吉田荘人	(65)1529	1993年(平成05)・第40巻・11号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その4）	宮崎綾子	(69)1533	1993年(平成05)・第40巻・11号
高橋蒲人（良忠）氏とその薬医学について	杉山広重・太田伊則	(75)1539	1993年(平成05)・第40巻・11号
布団袋	笠原栄司	(91)1555	1993年(平成05)・第40巻・11号
第3回漢方湯液治療研究会アルバム（平成5年10月10日）	編集局	(93)1557	1993年(平成05)・第40巻・11号
トピックス／藤平健博士傘寿祝賀会、ホテルニューオータニで開催	編集局	(99)1563	1993年(平成05)・第40巻・11号
トピックス／渡邊武博士名誉教授就任祝賀会、京都で開催／細川喜代治氏の喜寿祝賀会、挙行／日本東洋医学会関東甲信越支部会、横浜で開催	編集局	(102)1566	1993年(平成05)・第40巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年10月＞	協会本部／編集局	(109)1573	1993年(平成05)・第40巻・11号
「漢方薬の保険適用除外」発言に日本東洋医学会、反対要望書を厚生大臣に提出	編集局	(112)1576	1993年(平成05)・第40巻・11号
@1993年(平成05)-第40巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（67）本間棗軒の理想とする医学	矢数道明・小曽戸洋	(2)1594	1993年(平成05)・第40巻・12号
第3回漢方湯液治療研究会開会にあたって	大塚恭男	(9)1601	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会指名講演＞胆石症と大柴胡湯	坂口弘・加藤裕子	(10)1602	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会特別講演＞和薬について	後藤實	(19)1611	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会特別講演＞問診について（2）	伊藤清夫	(28)1620	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞潰瘍性大腸炎と血友病に対する黄連解毒湯（加阿膠）の有効性	阿部勝利	(33)1625	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞桂枝去芍薬加麻黄附子細辛湯証の臨床的考察　－当帰四逆湯証との比較から	仲原靖夫	(39)1631	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞麻黄、その臨床運用の考察	高橋法昭	(46)1638	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞自家方リウマチ1号の治療成績	松多邦雄・顧旭平	(61)1653	1993年(平成05)・第40巻・12号

＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞手指のこわばりに対する折衝飲の効用	田村靖子	(66)1654	1993年(平成05)・第40巻・12号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞和天麻について	海老塚吉次・緒方勝行	(71)1665	1993年(平成05)・第40巻・12号
女子医大雑話（5）▽結膜炎に明朗飲▽咽頭痛に駆風解毒湯加桔梗石膏▽動悸に奔豚湯▽脳梗塞後遺症に続命湯	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(75)1667	1993年(平成05)・第40巻・12号
「千葉漢方研究会」講演内容（6）日本漢方の疾病観（その1）	講師）中村謙介	(80)1672	1993年(平成05)・第40巻・12号
傘寿宝談（2）渡邊武博士に聞く	渡邊武 聞き手）大塚恭男・松田邦夫	(93)1685	1993年(平成05)・第40巻・12号
満州医科大学東亜医学研究所の業績と貢献（1）	王鉄策	(105)1697	1993年(平成05)・第40巻・12号
漢方配合方剤の薬理を漢方体系の原則に沿って解析する／田代氏と再評価の方法を巡る方法論的問題点と、一つの提案	日合奨	(110)1702	1993年(平成05)・第40巻・12号
トピックス／日本漢方交流会が熱海で学術総会／日本漢方協会学術大会、東京医大で開催／湯島聖堂で神農祭開催／日本東洋医学会、厚生省に「医療用漢方製剤の保険適用除外」反対決議書を提出	編集局	(125)1717	1993年(平成05)・第40巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年11月＞	協会本部／編集局	(132)1724	1993年(平成05)・第40巻・12号
@1994年(平成06)-第41巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（68）名医の神農画賛と山水画	小曽戸洋	(2)2	1994年(平成06)・第41巻・01号
巻頭言／漢方エキス製剤の保険適用除外問題について	伊藤清夫	(9)9	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞新年にあたって	矢数道明	(12)12	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞柴胡と当帰	大塚恭男	(13)13	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	秋葉哲生	(13)13	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞政治家も東洋医学を	穐吉健治	(13)13	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	足立秀樹	(14)14	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	阿部勝利	(14)14	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	荒川和男	(14)14	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	粟島行春	(15)15	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	猪飼祥夫	(15)15	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	池田政一	(16)16	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	石田秀実	(16)16	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	伊藤敦之	(16)16	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	伊藤真愚	(16)16	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	伊藤隆	(17)17	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞93年夢去って夢	伊藤敏雄	(17)17	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞悪夢いまだ覚めず	伊藤嘉紀	(18)18	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	伊原信夫	(19)19	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	今泉清	(19)19	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	入江正	(20)20	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	岩浪登	(20)20	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	浮田徹也	(20)20	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	裏辻嘉行	(21)21	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	王瑞雲	(21)21	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	大西和子	(21)21	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	大貫進	(22)22	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	大野安春	(22)22	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	大元一郎	(22)22	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	岡利幸	(23)23	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	緒方勝行	(23)23	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	岡部俊一	(23)23	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	岡村芳樹	(23)23	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	小曽戸明子	(23)23	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞東へ	大友一夫	(24)24	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	小野正弘	(24)24	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	遠田裕政	(24)24	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	笠原栄司	(25)25	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	柏木佑記慧	(25)25	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	加世田弘道	(25)25	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	勝田正泰	(25)25	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	桂敏夫	(26)26	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	金山達郎	(26)26	1994年(平成06)・第41巻・01号

新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	鎌田慶市郎	(26)26	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	河野順	(26)26	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	菅龍夫	(27)27	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	魏麗娟	(27)27	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	菊谷豊彦	(27)27	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	木下勤	(28)28	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	木下恒雄	(28)28	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	久保田富也	(28)28	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	粂川義雄	(28)28	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	桑木崇秀	(29)29	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	小泉久仁弥	(29)29	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	小曽戸洋	(29)29	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	小高修司	(30)30	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞“ニッケイ”古木との出合い	後藤實	(30)30	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	後藤二郎	(31)31	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	今忠郎	(31)31	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	斎藤浩爾	(31)31	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞新しい年に	坂口弘	(31)31	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	坂本秀治	(32)32	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	坂本道哉	(32)32	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	佐々木雄次	(32)32	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	佐竹貞治郎	(33)33	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	佐藤弘	(33)33	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	尚鎮国	(33)33	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	杉立義一	(34)34	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	鈴木博夫	(34)34	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	角田睦子	(35)35	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	宋建鋳	(35)35	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	十河孝博	(35)35	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	高島文一	(36)36	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	高橋邦夫	(36)36	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	高橋貞則	(37)37	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	高橋尚武	(37)37	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	高橋法昭	(37)37	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	田家照生	(37)37	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	竹田明	(38)38	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	竹村修	(38)38	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞一億総がん時代の到来か	舘野健	(38)38	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	田中邦雄	(39)39	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞中国医科大学所蔵の古医書	谷田伸治	(39)39	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞生薬の品質管理	田畑隆一郎	(39)39	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	玉置新治	(40)40	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	田村靖子	(40)40	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	田村嘉章	(40)40	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	多留淳文	(40)40	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	張瓏英	(41)41	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞金銀眼	津田晴美	(41)41	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	鶴田としこ	(42)42	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	津谷喜一郎	(42)42	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	寺澤捷年	(42)42	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	寺師睦宗	(43)43	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	土岐卓	(43)43	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	中井康雄	(43)43	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	中川良隆	(44)44	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	中島泰三	(44)44	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	中田敬吾	(44)44	1994年(平成06)・第41巻・01号

新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	長門谷洋治	(45)45	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	仲原靖夫	(45)45	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	中村謙介	(45)45	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	中村成代	(46)46	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	西岡五夫	(46)46	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞尾台榕堂、田中栄信を駁す	西岡一夫	(46)46	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	西畑邦夫	(47)47	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	西脇平士	(47)47	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	二宮文乃	(48)48	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	根本幸一	(48)48	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞バブルがはじけて救われた私	野口定子	(49)49	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	野崎豊	(49)49	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	橋口親義	(50)50	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	蓮村幸兌	(50)50	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞老人の想い出と囈言	長谷川弥人	(50)50	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	服部恵七	(51)51	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	花輪壽彦	(51)51	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	原敬二郎	(51)51	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	原桃介	(52)52	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	原田正敏	(52)52	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	福田佳弘	(52)52	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	藤井美樹	(52)52	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞「ソフト医療の時代」	藤井康男	(53)53	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	藤平健	(53)53	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	細井大二	(53)53	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	細川喜代治	(54)54	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞久し振りの初夢	細野八郎	(54)54	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	牧角和宏	(55)55	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	牧田憲太郎	(55)55	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	増田学道	(56)56	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松浦敬一	(56)56	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松岡伯菁	(56)56	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松岡睦友	(56)56	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松下嘉一	(57)57	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松田邦夫	(57)57	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松橋俊夫	(57)57	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	松本一男	(58)58	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	真鍋立夫	(58)58	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	真柳誠	(59)59	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	三谷和男	(59)59	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	三谷和合	(59)59	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	三潴忠道	(60)60	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞私の他力本願	南利雄	(60)60	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞漢方薬ブームに想う	宮川昭平	(60)60	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	宮崎綾子	(61)61	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	宮崎瑞明	(61)61	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	宮沢康朗	(62)62	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	宮下三郎	(62)62	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	牟田光一郎	(62)62	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	宗像敬一	(63)63	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	村田英則	(63)63	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞赤城さいこの年	村松睦	(63)63	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	室賀昭三	(63)63	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞「禍福は糾える縄の如し」	盛克己	(64)64	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	森崎信夫	(64)64	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	森下宗司	(64)64	1994年(平成06)・第41巻・01号

新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	矢数圭堂	(64)64	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	山内浩	(65)65	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	山崎正寿	(65)65	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	山田光胤	(65)65	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	山ノ内慎一	(65)65	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	山本昇吾	(66)66	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	雪村八一郎	(66)66	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	葉加南	(66)66	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	横倉照門	(67)67	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	横田観風	(67)67	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	吉岡信	(67)67	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	吉崎文彦	(68)68	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	吉田種臣	(68)68	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	吉冨誠	(68)68	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	吉元昭治	(68)68	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	梁哲周	(69)69	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	渡邊一幹	(69)69	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	渡辺貞夫	(69)69	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	渡邊武	(70)70	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	渡辺方乃	(70)70	1994年(平成06)・第41巻・01号
新年のことば　＜平成6年（1994年）＞	渡辺陽一	(70)70	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞〔シンポジウム：気管支喘息の漢方治療〕慢性気管支喘息の湯液治療	新井基夫・伊藤清夫	(71)71	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞〔シンポジウム：気管支喘息の漢方治療〕神秘湯による気管支喘息の治療	中田敬吾	(86)86	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞〔シンポジウム：気管支喘息の漢方治療〕気管支喘息に対する柴胡桂枝乾姜湯加茯苓の使用経験と方意の考察	秋葉哲生	(94)94	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞〔シンポジウム：気管支喘息の漢方治療〕附子剤による気管支喘息の漢方治療	伊藤隆	(101)101	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会＞〔シンポジウム：気管支喘息の漢方治療〕討論	座長）細野八郎・丁宗鐵	(108)108	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会特別講演＞問診について（3）	伊藤清夫	(114)114	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞荊芥連翹湯（一貫堂）の1例	室賀昭三・野末侑信	(122)122	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞治肩背拘急方の治験	高木嘉子	(126)126	1994年(平成06)・第41巻・01号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞麻黄、その臨床運用の考察（図表錯綜のため再掲載）	高橋法昭	(129)129	1994年(平成06)・第41巻・01号
ひどい風邪ーエキス剤による大青竜湯の治験2例ー	足立秀樹	(144)144	1994年(平成06)・第41巻・01号
女子医大雑話（6）＜抑肝散の3例＞月経不順、月経前緊張症に抑肝散▽心臓神経症に抑肝散▽アトピー性皮膚炎に抑肝散	中野頼子・溝部宏毅・新井信	(148)148	1994年(平成06)・第41巻・01号
漢方牛歩録（120）気管支炎に滋陰至宝湯例と滋陰降火湯例	中村謙介	(152)152	1994年(平成06)・第41巻・01号
東洋堂経験余話（58）▽難病患者が妊娠そして出産▽頭部の冷えに加味逍遥散料合小承気湯	松本一男	(156)156	1994年(平成06)・第41巻・01号
沙参考	小高修司	(159)159	1994年(平成06)・第41巻・01号
満州医科大学東亜医学研究所の業績と貢献（2）	王鉄策	(165)165	1994年(平成06)・第41巻・01号
人声人語	北村翰男	(171)171	1994年(平成06)・第41巻・01号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（17）張仲景版画についての訂正	矢数道明	(173)173	1994年(平成06)・第41巻・01号
トピックス／初代曲直瀬道三没後四百年法要　京都の十念寺で粛々と挙行	編集局	(174)174	1994年(平成06)・第41巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成5年12月＞	協会本部／編集局	(184)184	1994年(平成06)・第41巻・01号
@1994年(平成06)-第41巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（69）谷文晁の描いた多紀元堅像	小曽戸洋	(2)206	1994年(平成06)・第41巻・02号
巻頭言／母子同服	細川喜代治	(9)213	1994年(平成06)・第41巻・02号
＜第3回漢方湯液治療研究会指名講演＞四君子湯およびその加味方の経験	藤井美樹	(10)214	1994年(平成06)・第41巻・02号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞最近経験した重症と思われる月経困難症について	石野尚吾	(15)219	1994年(平成06)・第41巻・02号
＜第3回漢方湯液治療研究会講演＞腹候からみた併病／心下痞コウと腹満について	福田佳弘	(20)224	1994年(平成06)・第41巻・02号
＜第3回漢方湯液治療研究会特別講演＞腹診と実技	藤平健	(25)229	1994年(平成06)・第41巻・02号
＜第3回漢方湯液治療研究会特別講演＞問診について（4）	伊藤清夫	(33)237	1994年(平成06)・第41巻・02号
漢方薬の副作用／高齢者と若年者との比較	中野頼子	(39)243	1994年(平成06)・第41巻・02号
高齢者と麻黄剤	溝部宏毅・新井信・中野頼子・佐藤弘・代田文彦	(43)247	1994年(平成06)・第41巻・02号

過敏性腸症候群に対する半夏厚朴湯の効用	阿部勝利	(46)250	1994年(平成06)・第41巻・02号
東洋堂経験余話（59）▽不眠症に当帰芍薬散料加味▽感冒の不眠に竹茹温胆湯	松本一男	(52)256	1994年(平成06)・第41巻・02号
透析患者の皮膚ソウ痒症に対するガイ葉浴の使用経験	室賀一宏・松井則明	(55)259	1994年(平成06)・第41巻・02号
傘寿宝談（3）渡邊武博士に聞く	渡邊武 聞き手）大塚恭男・松田邦夫	(59)263	1994年(平成06)・第41巻・02号
畑の中の面々（18）種か畑か、ハタケかタネか	田畑隆一郎	(71)275	1994年(平成06)・第41巻・02号
傷寒論講義演習（47）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(75)279	1994年(平成06)・第41巻・02号
傷寒論雑感（14）『難解条』（2）	玉置英成	(84)288	1994年(平成06)・第41巻・02号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その5）	宮崎綾子	(89)293	1994年(平成06)・第41巻・02号
本草のうた（10）呉茱萸	吉田荘人	(94)298	1994年(平成06)・第41巻・02号
土本重博士のご逝去を悼んで	矢数道明	(98)302	1994年(平成06)・第41巻・02号
トピックス／第7回日本漢方治療シンポジウム開催／日本刺絡学会設立さる	編集局	(100)304	1994年(平成06)・第41巻・02号
図書紹介／吉田荘人著『人物で見る台湾百年史』／劉正才・尤煥文著・山内浩監訳『中医免疫学入門』／葉加南編『奇跡の杜仲秘健康法』／浜田善利・小曽戸丈夫著『意釈神農本草経』／広瀬滋之著『老化を防ぐ漢方治療』	編集局	(102)306	1994年(平成06)・第41巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年1月＞	協会本部／編集局	(109)313	1994年(平成06)・第41巻・02号
@1994年(平成06)-第41巻-03号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（70）牧野文庫蔵『植物名実図考』『同長編』の初版	真柳誠	(2)334	1994年(平成06)・第41巻・03号
浅田宗伯先生の著書の紹介	長谷川弥人	(9)341	1994年(平成06)・第41巻・03号
当研究所における慢性肝疾患患者の漢方治療状況	新井信・溝部宏毅・中野頼子・吉川信・佐藤弘・代田文彦・白坂龍雄	(39)371	1994年(平成06)・第41巻・03号
女子医大雑話（7）＜頭痛の3症例＞片頭痛に呉茱萸湯▽高血圧を伴った頭痛に釣藤散▽気うつの頭重感に香蘇散	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(45)377	1994年(平成06)・第41巻・03号
ほてり、のぼせの治験例	今泉清	(50)382	1994年(平成06)・第41巻・03号
漢方牛歩録（121）或る早期慢性関節リウマチ患者の3年間	中村謙介	(58)390	1994年(平成06)・第41巻・03号
東洋堂経験余話（60）▽子宮筋腫に桂枝茯苓丸料合黄連解毒湯▽膝関節炎に大青竜湯	松本一男	(64)396	1994年(平成06)・第41巻・03号
第3回漢方湯液治療研究会を終えて（1）	伊藤清夫	(67)399	1994年(平成06)・第41巻・03号
「千葉漢方研究会」講演内容（7）良導絡診療	講師）板井節子	(70)402	1994年(平成06)・第41巻・03号
傷寒論講義演習（48）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(75)407	1994年(平成06)・第41巻・03号
本草のうた（11）五味子・紅豆	吉田荘人	(81)413	1994年(平成06)・第41巻・03号
『類聚方広義』散見／その8	笠原栄司	(84)416	1994年(平成06)・第41巻・03号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その6）	宮崎綾子	(88)420	1994年(平成06)・第41巻・03号
ウイグルの伝統医学の紹介（上）	マリア・サキム（嫣麗亜・沙克木）	(93)425	1994年(平成06)・第41巻・03号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（18）湯島聖堂「恩賜神農像」写真の変化について（1）	矢数道明	(98)430	1994年(平成06)・第41巻・03号
トピックス／日本東洋医学会関東甲信越支部講演会開催	編集局	(101)433	1994年(平成06)・第41巻・03号
トピックス／尾台榕堂・浅田宗伯・川路聖謨の大雪だるまー雪まつりの十日町市に	小曽戸洋	(102)434	1994年(平成06)・第41巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年2月＞	協会本部／編集局	(109)441	1994年(平成06)・第41巻・03号
@1994年(平成06)-第41巻-04号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（71）人面鳥身の針医－2世紀の画像石から－	真柳誠	(2)462	1994年(平成06)・第41巻・04号
巻頭言／ご挨拶	須田勇	(9)469	1994年(平成06)・第41巻・04号
脈浮緩の大青竜湯について	岩崎勲	(10)470	1994年(平成06)・第41巻・04号
漢方牛歩録（122）紅皮症治療中に出現した疑アルドステロン症	中村謙介	(19)479	1994年(平成06)・第41巻・04号
女子医大雑話（8）▽心窩部の痙攣に半夏厚朴湯▽リウマチに加味逍遥散料加味方▽膝の痛みと肥満に防已黄耆湯▽膝の痛みに防已黄耆湯	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(24)484	1994年(平成06)・第41巻・04号
漢方診療おぼえ書（154）▽前立腺摘除術後の漢方治療の経験	緒方玄芳	(29)489	1994年(平成06)・第41巻・04号
北京薬舗常備石薬の覚え	杉山広重・眞五郎	(32)492	1994年(平成06)・第41巻・04号
座談会／民間薬の臨床応用（1）	近藤繁子・松下嘉一・原桃介・鎌田慶市郎・板垣鋭司司会）土屋伊磋雄	(35)495	1994年(平成06)・第41巻・04号
第3回漢方湯液治療研究会を終えて（2）	伊藤清夫	(46)506	1994年(平成06)・第41巻・04号
中医学に於ける抽象と伝承	笠原栄司	(50)510	1994年(平成06)・第41巻・04号
傷寒論講義演習（49）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(56)516	1994年(平成06)・第41巻・04号
『傷寒論』異聞、陽明病胃中寒の説（1）	岡田研吉	(63)523	1994年(平成06)・第41巻・04号
傷寒論雑感（15）『難解条』（3－1）	玉置英成	(74)534	1994年(平成06)・第41巻・04号
＜日本東洋医学会民間薬調査研究委員会講演会＞漢方の原点を考える	磯部八郎	(79)539	1994年(平成06)・第41巻・04号

ウイグルの伝統医学の紹介（下）	マリア・サキム（嫣麗亜・沙克木）	(85)545	1994年(平成06)・第41巻・04号
証と病名、天然生薬と化学薬品、どう違うのか／純ジゴキシンも病名が合わぬ時や対照患者には効かない	日合奨	(91)551	1994年(平成06)・第41巻・04号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（19）湯島聖堂「恩賜神農像」写真の変化について（2）ー枯草から稲の穂に変わるー	矢数道明	(96)556	1994年(平成06)・第41巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年3月＞	協会本部／編集局	(109)569	1994年(平成06)・第41巻・04号
@1994年(平成06)-第41巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（72）漢蘭折衷の解剖書ー『解体発蒙』	真柳誠	(2)590	1994年(平成06)・第41巻・05号
巻頭言／経験主義の克服を	川瀬清	(9)597	1994年(平成06)・第41巻・05号
『傷寒論』に於ける虚実の意義（1）	山田光胤	(10)598	1994年(平成06)・第41巻・05号
鬱証の治験例	今泉清	(16)604	1994年(平成06)・第41巻・05号
東洋堂経験余話（61）▽遷延した下痢に真武湯▽腹の張りに桂枝加大黄湯	松本一男	(22)610	1994年(平成06)・第41巻・05号
女子医大雑話（9）＜ヨク苡仁について＞水いぼにヨク苡仁▽腎不全にヨク苡仁▽黒いいぼにヨク苡仁	中野頼子・溝部宏毅・新井信	(25)613	1994年(平成06)・第41巻・05号
漢方牛歩録（123）体重を減らして膝関節痛・気管支喘息の消失した1例	中村謙介	(29)617	1994年(平成06)・第41巻・05号
日本の漢方診療の現状と今後（38）日本の漢方診療の今後＜15＞進歩を考えるための問題点（18）古方を考える（4）	伊藤清夫	(32)620	1994年(平成06)・第41巻・05号
座談会／民間薬の臨床応用（2）	近藤繁子・松下嘉一・原桃介・鎌田慶市郎・板垣鋭司司会）土屋伊磋雄	(39)627	1994年(平成06)・第41巻・05号
本草のうた（12）紫荊皮	吉田荘人	(50)638	1994年(平成06)・第41巻・05号
傷寒論講義演習（50）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(53)641	1994年(平成06)・第41巻・05号
『傷寒論』異聞、陽明病胃中寒の説（2）	岡田研吉	(63)651	1994年(平成06)・第41巻・05号
『金匱要略』の「ガイ而上気、喉中水鶏声、射干麻黄湯主之」の条文中の「水鶏」についてー台湾語からの解釈	宮崎瑞明	(70)658	1994年(平成06)・第41巻・05号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その7）	宮崎綾子	(73)661	1994年(平成06)・第41巻・05号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（20）湯島聖堂「恩賜神農像」写真の変化について（3）―稲の穂から甘草に変わる―	矢数道明	(78)666	1994年(平成06)・第41巻・05号
トピックス／浅田宗伯翁百年忌、谷中と御茶の水で／「河鍋暁斎」展に浅田宗伯夫妻影絵が展示／東京漢方教育研究センター創立総会開催／木村長久先生遺稿集出版祝賀会／寺師睦宗氏、慶大客員教授に就任／「榕堂会」総会、『尾台榕堂物語』発刊予定	編集局	(80)668	1994年(平成06)・第41巻・05号
紀伊国屋漢薬局の土田社長逝去	編集局	(85)672	1994年(平成06)・第41巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年4月＞	協会本部／編集局	(93)681	1994年(平成06)・第41巻・05号
@1994年(平成06)-第41巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（73）浅田宗伯揮毫の赤沼淳卿詩碑	小曽戸洋	(2)702	1994年(平成06)・第41巻・06号
巻頭言／第45回日本東洋医学会学術総会を終えて	松本克彦	(9)709	1994年(平成06)・第41巻・06号
人工受精30回、体外受精4回の不妊症	寺師睦宗	(10)710	1994年(平成06)・第41巻・06号
老人の微熱に桂枝去芍薬加蜀漆竜骨牡蠣救逆湯加減が有効と思われた1例	小泉久仁弥	(13)713	1994年(平成06)・第41巻・06号
女子医大雑話（10）＜難治性腹痛の3症例＞冷えで誘発される腹痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽夜中の腹部激痛に解急蜀椒湯▽背中まで広がる腹痛に当帰湯	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(16)716	1994年(平成06)・第41巻・06号
東洋堂経験余話（62）▽永年の偏頭痛に呉茱萸湯▽十二指腸潰瘍に柴胡桂枝湯加茴香	松本一男	(21)721	1994年(平成06)・第41巻・06号
漢方牛歩録（124）高齢者の三叉神経第二枝の帯状疱疹	中村謙介	(24)724	1994年(平成06)・第41巻・06号
『傷寒論』に於ける虚実の意義（2）	山田光胤	(27)727	1994年(平成06)・第41巻・06号
傷寒論講義演習（51）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(32)732	1994年(平成06)・第41巻・06号
傷寒論雑感（16）『難解条』（3ー2）	玉置英成	(40)740	1994年(平成06)・第41巻・06号
座談会／民間薬の臨床応用（3）	近藤繁子・松下嘉一・原桃介・鎌田慶市郎・板垣鋭司司会）土屋伊磋雄	(43)743	1994年(平成06)・第41巻・06号
日本の漢方診療の現状と今後（39）日本の漢方診療の今後＜16＞進歩を考えるための問題点（19）古方を考える（5）	伊藤清夫	(55)755	1994年(平成06)・第41巻・06号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その8）	宮崎綾子	(63)763	1994年(平成06)・第41巻・06号
本草のうた（13）車前草と旋花	吉田荘人	(69)769	1994年(平成06)・第41巻・06号
第45回日本東洋医学会学術総会に参加して	秋葉哲生	(72)772	1994年(平成06)・第41巻・06号
トピックス／ミナト神戸で日本東洋医学会学術総会開く／ツムラリウマチ研究賞に竹内二士夫氏／田代眞一氏教授就任祝賀会開催／木村長久先生の遺品「矢立」	編集局	(74)774	1994年(平成06)・第41巻・06号
図書紹介／徳留一博著『漢方ロマン』／吉元昭治著『養生外史』中国篇ー不老長寿の思想とその周辺／菊谷豊彦著『日常診療での漢方治療のすすめ方』／森和監修『針灸治療361問』	編集局	(80)780	1994年(平成06)・第41巻・06号
平成5年（1993）漢方略史年表	矢数道明	(81)781	1994年(平成06)・第41巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年5月＞	協会本部／編集局	(101)801	1994年(平成06)・第41巻・06号
@1994年(平成06)-第41巻-07号-			

＜口絵＞目でみる漢方史料館（74）重ねられた神農像と玄朔像	小曽戸洋	(2)822	1994年(平成06)・第41巻・07号
巻頭言／第4回国際アジア伝統医学大会を迎えるにあたって	大塚恭男	(9)829	1994年(平成06)・第41巻・07号
反復する腹痛発作に小柴胡湯が有効だった1例	赤尾清剛・阿部博子	(10)830	1994年(平成06)・第41巻・07号
苓桂味甘湯・近効方朮附湯他の奏功した外傷性頭頸部症候群の2例（夫婦例）	穴吹浩・高口眞一郎	(13)833	1994年(平成06)・第41巻・07号
眼瞼痙攣に対する芍薬甘草湯と駆オ血剤の兼用による治験例	宮崎瑞明	(31)851	1994年(平成06)・第41巻・07号
漢方牛歩録（125）咽喉痛と激しい咳嗽の風邪	中村謙介	(37)857	1994年(平成06)・第41巻・07号
畑の中の面々（19）おじちゃんのかぜ	田畑隆一郎	(41)861	1994年(平成06)・第41巻・07号
女子医大雑話（11）＜アトピー性皮膚炎の3症例＞アトピー性皮膚炎に甘連大黄石膏湯▽アトピー性皮膚炎に消風散▽アトピー性皮膚炎に十全大補湯	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(45)865	1994年(平成06)・第41巻・07号
東洋堂経験余話（63）▽緑内障に三黄瀉心湯合半夏厚朴湯▽連珠飲加味の効果	松本一男	(49)869	1994年(平成06)・第41巻・07号
古医書読解のための漢文速成講座（1）	長谷川弥人	(52)472	1994年(平成06)・第41巻・07号
『傷寒論』に於ける虚実の意義（3）	山田光胤	(58)878	1994年(平成06)・第41巻・07号
傷寒論講義演習（52）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(62)882	1994年(平成06)・第41巻・07号
『傷寒論』異聞、陽明病胃中寒の説（3）	岡田研吉	(68)888	1994年(平成06)・第41巻・07号
漢方方剤特有の薬理作用の性質とその機序／証と成分との関係、期待と実態と胚胎（上）	日合奨	(79)899	1994年(平成06)・第41巻・07号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その9）	宮崎綾子	(89)909	1994年(平成06)・第41巻・07号
本草のうた（14）蒼朮	吉田荘人	(94)914	1994年(平成06)・第41巻・07号
トピックス／ウチダ和漢薬研修大会、熱海で開催／三多摩漢方臨床研究会、新宿で開催	編集局	(96)916	1994年(平成06)・第41巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年6月＞	協会本部／編集局	(106)926	1994年(平成06)・第41巻・07号
@1994年(平成06)-第41巻-08号-＜『漢方の臨床』第36巻ー第40巻　号別・著者別目次索引集＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（75）『啓迪集』の一古鈔本	小曽戸洋	(2)946	1994年(平成06)・第41巻・08号
『漢方の臨床』第36巻ー第40巻号別・著者別総目次発刊と特集号一覧	矢数道明	(9)953	1994年(平成06)・第41巻・08号
『漢方の臨床』第36巻ー第40巻　号別索引	編集局	(12)956	1994年(平成06)・第41巻・08号
『漢方の臨床』第36巻ー第40巻　著者別索引	編集局	(47)991	1994年(平成06)・第41巻・08号
日本の漢方診療の現状と今後（40）漢方診療の今後の発展のために（1）	伊藤清夫	(110)1054	1994年(平成06)・第41巻・08号
温知堂経験録（203）▽掌蹠膿疱症の10年来の難症患者を消風散と温清飲で▽先天性脊椎奇形による腰痛に芍薬甘草附子湯エキス末で好転	矢数道明	(114)1058	1994年(平成06)・第41巻・08号
女子医大雑話（12）＜アトピー性皮膚炎の3症例＞アトピー性皮膚炎に柴朴湯加味▽アトピー性皮膚炎に柴朴湯加桔梗石膏▽アトピー性皮膚炎に柴胡桂枝湯	中野頼子・溝部宏毅・新井信	(116)1060	1994年(平成06)・第41巻・08号
東洋堂経験余話（64）▽卵巣嚢腫に大黄牡丹湯加味▽子宮癌手術後の更年期障害に五苓散料	松本一男	(120)1064	1994年(平成06)・第41巻・08号
漢方方剤特有の薬理作用の性質とその機序／証と成分との関係、期待と実態と胚胎（下）	日合奨	(123)1067	1994年(平成06)・第41巻・08号
古医書読解のための漢文速成講座（2）	長谷川弥人	(129)1073	1994年(平成06)・第41巻・08号
近現代における中朝古医籍書誌目録の検討（1）	王鉄策	(135)1079	1994年(平成06)・第41巻・08号
第2回世界伝統医学技術交流会に参加して	小川新・松岡伯菁・牧田憲太郎・池田政一・馬場洽収・井上博水・松浦良民	(148)1092	1994年(平成06)・第41巻・08号
ちょっと一言／漢方薬局存亡の危機	赤尾明俊	(166)1110	1994年(平成06)・第41巻・08号
書評／潘桂娟・樊正倫編著『日本漢方医学』ー中国で作成された「日本漢方白書」の出現ー	真柳誠	(167)1111	1994年(平成06)・第41巻・08号
図書紹介／木村長久遺稿集『浅田流漢方　済生堂論叢』	長谷川弥人	(170)1114	1994年(平成06)・第41巻・08号
トピックス／寺師睦宗氏慶大医学部客員教授就任祝賀会開催／銭信忠氏来日歓迎会開かれる	編集局	(172)1116	1994年(平成06)・第41巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年7月＞	協会本部／編集局	(181)1125	1994年(平成06)・第41巻・08号
@1994年(平成06)-第41巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（76）元版『銅人ユ穴針灸図経』	小曽戸洋	(2)1146	1994年(平成06)・第41巻・09号
＜第4回国際アジア伝統医学大会会頭講演＞古代アジア医学の伝統	大塚恭男	(9)1153	1994年(平成06)・第41巻・09号
桂姜棗草黄辛附湯の腹証所見について	花輪壽彦・鈴木邦彦	(19)1163	1994年(平成06)・第41巻・09号
女子医大雑話（13）＜月経困難症の3症例＞子宮筋腫を伴った月経痛に桃核承気湯合大黄牡丹皮湯▽冷えと月経痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯加附子▽頑固な月経痛に週末瀉下療法	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(25)1169	1994年(平成06)・第41巻・09号
漢方牛歩録（126）耳鳴の2症例	中村謙介	(30)1174	1994年(平成06)・第41巻・09号
東洋堂経験余話（65）▽夜間の悪寒に牛車腎気丸料▽若返りの秘薬	松本一男	(32)1176	1994年(平成06)・第41巻・09号
慢性関節リウマチに対するオオヒ冲剤の効果	松多邦雄・顧旭平	(35)1179	1994年(平成06)・第41巻・09号
中医薬による肝硬変腹水の治療経験	朱天忠・顧旭平	(42)1186	1994年(平成06)・第41巻・09号
日本の漢方診療の現状と今後（41）漢方診療の今後の発展のために（2）	伊藤清夫	(47)1191	1994年(平成06)・第41巻・09号
傷寒論講義演習（53）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(54)1198	1994年(平成06)・第41巻・09号

傷寒論雑感（17）『難解条』（3−3）	玉置英成	(62)1206	1994年(平成06)・第41巻・09号
近現代における中朝古医籍書誌目録の検討（2）	王鉄策	(67)1211	1994年(平成06)・第41巻・09号
古医書読解のための漢文速成講座（3）	長谷川弥人	(79)1223	1994年(平成06)・第41巻・09号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その10）	宮崎綾子	(86)1230	1994年(平成06)・第41巻・09号
本草のうた（15）竹	吉田荘人	(91)1235	1994年(平成06)・第41巻・09号
第4回国際アジア伝統医学大会東京で開催される	編集局	(95)1239	1994年(平成06)・第41巻・09号
第4回国際アジア伝統医学大会懇親会開会の挨拶	矢数道明	(96)1240	1994年(平成06)・第41巻・09号
イクタム4に思う	小曽戸明子	(97)1241	1994年(平成06)・第41巻・09号
舘野健先生の孤独逝去を悼む	矢数道明	(101)1245	1994年(平成06)・第41巻・09号
トピックス／第11回和漢医薬学会大会、松山で開催／第11回臨床和漢薬研究会開催／銭信忠氏、伝統医薬学研究会で提言	編集局	(104)1248	1994年(平成06)・第41巻・09号
図書紹介／下津春抱子著・埴岡博訓『校正衆方規矩』／木下勤著『こんなとき、この食べ物が効く』	編集局	(106)1250	1994年(平成06)・第41巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年8月＞	協会本部／編集局	(116)1260	1994年(平成06)・第41巻・09号
@1994年(平成06)-第41巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（77）キョウ廷賢の肖像	小曽戸洋	(2)1282	1994年(平成06)・第41巻・10号
巻頭言／大塚敬節記念東洋医学賞を受賞して	緒方玄芳	(9)1289	1994年(平成06)・第41巻・10号
温知堂経験録（204）▽20年来の慢性下痢症（水様便）に胃苓湯（平胃散合五苓散料）▽15年来の脂漏性湿疹と蓄膿症に十味敗毒湯加連翹・ヨク苡仁▽緑内障に洗肝明目湯	矢数道明	(10)1290	1994年(平成06)・第41巻・10号
有持桂里先生稿本『方輿ゲイ』に関するノート	杉山広重	(12)1292	1994年(平成06)・第41巻・10号
補中益気湯及び類方の運用－アトピー性皮膚炎に対する応用を中心として－	小高修司	(19)1299	1994年(平成06)・第41巻・10号
月経前期緊張症、月経困難症における抵当丸使用による1治験例	堀野雅子	(28)1308	1994年(平成06)・第41巻・10号
円形脱毛症に眼瞼痙攣が併存する2症例の漢方治療	宮崎瑞明	(31)1311	1994年(平成06)・第41巻・10号
東洋堂経験余話（66）▽二日酔いに越婢加朮湯▽鼾に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料	松本一男	(37)1317	1994年(平成06)・第41巻・10号
漢方牛歩録（127）肩部痛、ついで腰痛を訴えた1症例	中村謙介	(40)1320	1994年(平成06)・第41巻・10号
女子医大雑話（14）＜偶然によくなった2症例＞腰痛に補中益気湯▽心不全に真武湯	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(42)1322	1994年(平成06)・第41巻・10号
「千葉漢方研究会」講演内容（8）虚弱児の漢方（上）	講師）細川喜代治	(46)1326	1994年(平成06)・第41巻・10号
日本の漢方診療の現状と今後（42）漢方診療の今後の発展のために（3）	伊藤清夫	(54)1334	1994年(平成06)・第41巻・10号
傷寒論の「白虎湯」の条文には「渇」が無い！？	高橋法昭	(60)1340	1994年(平成06)・第41巻・10号
医療にはいろんな形態があっていい	王瑞雲	(63)1343	1994年(平成06)・第41巻・10号
傷寒論講義演習（54）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(64)1344	1994年(平成06)・第41巻・10号
『傷寒論』異聞、陽明病胃中寒の説（4）	岡田研吉	(74)1354	1994年(平成06)・第41巻・10号
古医書読解のための漢文速成講座（4）	長谷川弥人	(83)1363	1994年(平成06)・第41巻・10号
本草のうた（16）当帰	吉田荘人	(89)1369	1994年(平成06)・第41巻・10号
トピックス／近代漢方ゼミナー25周年記念会開催	編集局	(92)1372	1994年(平成06)・第41巻・10号
トピックス／上海中医薬大学客員教授・福田佳弘氏、上海中医薬大学と学術交流	中村成代	(92)1372	1994年(平成06)・第41巻・10号
図書紹介／ラルフ・Ｃ・クロイツァー著　難波恒雄・難波洋子・大塚恭男共訳『近代中国の伝統医学』／張景岳著・牟田光一郎訳注『中国医典質疑録』	編集局	(93)1373	1994年(平成06)・第41巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年9月＞	協会本部／編集局	(100)1380	1994年(平成06)・第41巻・10号
@1994年(平成06)-第41巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（78）荻生徂徠『素問評』の原本	小曽戸洋	(2)1402	1994年(平成06)・第41巻・11号
座談会／一貫堂医学を語る（上）	矢数道明・松本克彦・中島泰三 司会）室賀昭三	(9)1409	1994年(平成06)・第41巻・11号
地域医療と漢方治療	名取通夫・土佐寛順・横井昌隆・田中伸明・川俣博嗣	(20)1420	1994年(平成06)・第41巻・11号
柴胡桂枝湯エキス剤によるスポーツ障害の漢方療法	関修一郎・小川幸男	(27)1427	1994年(平成06)・第41巻・11号
夏期の小児上気道炎に対する銀翹散の有効性	阿部勝利	(33)1433	1994年(平成06)・第41巻・11号
東洋堂経験余話（67）▽気管支喘息に大柴胡湯合麻杏甘石湯▽肩の違和感に延年半夏湯	松本一男	(39)1439	1994年(平成06)・第41巻・11号
温知堂経験録（205）▽メニエール病に半夏白朮天麻湯▽12歳の女子中学生の全禿髪症に柴胡桂枝湯加竜骨牡蠣	矢数道明	(42)1442	1994年(平成06)・第41巻・11号
漢方牛歩録（128）便秘を主訴とした高齢者の妄想例	中村謙介	(44)1444	1994年(平成06)・第41巻・11号
女子医大雑話（15）＜関節痛2症例＞慢性関節リウマチに大防風湯▽関節痛に防已黄耆湯	中野頼子・溝部宏毅・新井信	(48)1448	1994年(平成06)・第41巻・11号
漢方診療おぼえ書（155）▽原発性胆汁性肝硬変に加味益気湯▽口内炎に清胃瀉火湯▽顔面単純性粃糠疹に十味敗毒湯加味方	緒方玄芳	(52)1452	1994年(平成06)・第41巻・11号
効能書処方の行きつくところ	王瑞雲	(54)1454	1994年(平成06)・第41巻・11号
「千葉漢方研究会」講演内容（9）虚弱児の漢方（下）	講師）細川喜代治	(56)1456	1994年(平成06)・第41巻・11号

傷寒論講義演習（55）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(65)1465	1994年(平成06)・第41巻・11号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その11）	宮崎綾子	(71)1471	1994年(平成06)・第41巻・11号
古医書読解のための漢文速成講座（5）	長谷川弥人	(77)1477	1994年(平成06)・第41巻・11号
『類聚方広義』散見／その9	笠原栄司	(84)1484	1994年(平成06)・第41巻・11号
第4回漢方湯液治療研究会アルバム（平成6年10月9日）アットホームな雰囲気で行われた研究会	編集局	(87)1487	1994年(平成06)・第41巻・11号
第4回漢方湯液治療研究会を終えて	伊藤清夫	(94)1494	1994年(平成06)・第41巻・11号
トピックス／東洋医学会関東甲信越支部総会、前橋で開催	編集局	(95)1495	1994年(平成06)・第41巻・11号
図書紹介／吉元昭治著『養生外史』〔日本篇〕／編集・発行人・志田信男『伝承と医学』	編集局	(96)1496	1994年(平成06)・第41巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年10月＞	協会本部／編集局	(100)1500	1994年(平成06)・第41巻・11号
@1994年(平成06)-第41巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（79）敦煌本『本草集注』	真柳誠	(2)1522	1994年(平成06)・第41巻・12号
巻頭言／漢方用語の不確定性	稲木一元	(9)1529	1994年(平成06)・第41巻・12号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞呉茱萸湯証と柴胡剤の証の併存について	福田佳弘	(10)1530	1994年(平成06)・第41巻・12号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞当帰四逆加呉茱萸生姜湯の使用目標について	小泉久仁弥	(15)1535	1994年(平成06)・第41巻・12号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞九味檳榔湯加味方が奏効した3例	赤尾清剛・阿部博子	(21)1541	1994年(平成06)・第41巻・12号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞腹満、放屁の漢方処方（アカルボース副作用の治験より）（付：一民間薬（酒酵母菌）の消臭効果について）	村松睦・村松慎一	(27)1547	1994年(平成06)・第41巻・12号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞真武湯の可能性	足立秀樹	(37)1557	1994年(平成06)・第41巻・12号
経口摂取不能な末期頭頸部癌患者に経腸的に漢方煎薬を投与して有用であった1症例	五十嵐和子・宗像敬一	(43)1563	1994年(平成06)・第41巻・12号
女子医大雑話（16）＜気管支喘息の3症例＞アレルギー型喘息に苓甘姜味辛夏仁湯▽心身症型喘息に柴朴湯▽咳込み型喘息に小柴胡湯合麻杏甘石湯	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(47)1567	1994年(平成06)・第41巻・12号
温知堂経験録（206）▽腎臓結石に猪苓湯合芍薬甘草湯▽腰痛・坐骨神経痛に五積散加芍薬・甘草・附子	矢数道明	(52)1572	1994年(平成06)・第41巻・12号
心に残っている人／「証」と補と瀉と	田村嘉章	(54)1574	1994年(平成06)・第41巻・12号
小太郎の鈴木五郎氏とウチダ和漢薬の伊藤敏雄氏が受賞	編集局	(58)1578	1994年(平成06)・第41巻・12号
「千葉漢方研究会」講演内容（10）日本漢方の疾病観（その2）	講師）中村謙介	(59)1579	1994年(平成06)・第41巻・12号
座談会／一貫堂医学を語る（下）	矢数道明・松本克彦・中島泰三 司会）室賀昭三	(71)1591	1994年(平成06)・第41巻・12号
漢方というもの	伊藤清夫	(81)1601	1994年(平成06)・第41巻・12号
畑の中の面々（20）今年の収穫	田畑隆一郎	(84)1604	1994年(平成06)・第41巻・12号
『傷寒論』異聞、陽明病胃中寒の説（5）	岡田研吉	(88)1608	1994年(平成06)・第41巻・12号
傷寒論雑感（18）『温病治療』その1	玉置英成	(94)1614	1994年(平成06)・第41巻・12号
古医書読解のための漢文速成講座（6）	長谷川弥人	(99)1619	1994年(平成06)・第41巻・12号
本草のうた（17）人参	吉田荘人	(106)1626	1994年(平成06)・第41巻・12号
トピックス／矢数会長卒寿祝賀会開催／漢方協会の学術大会開催／まんが「尾台榕堂物語」出版祝賀会	編集局	(110)1630	1994年(平成06)・第41巻・12号
図書紹介／榕堂会事務局発行『尾台榕堂物語』／今田屋章著『慢性関節リウマチの漢方治療』	編集局	(112)1632	1994年(平成06)・第41巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年11月＞	協会本部／編集局	(116)1636	1994年(平成06)・第41巻・12号
@1995年(平成07)-第42巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（80）名医の神農像賛ー山脇東洋・畑柳泰	小曽戸洋	(2)2	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞新年に当って	矢数道明	(10)10	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞新年に寄せて	大塚恭男	(11)11	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	赤尾清剛	(12)12	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	秋葉哲生	(12)12	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞漢方薬は気の薬物、二重盲検法は無意味	穐吉健治	(12)12	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	足立秀樹	(12)12	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	穴吹浩	(13)13	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	阿部勝利	(13)13	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	荒川和男	(13)13	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	粟島行春	(14)14	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	猪飼祥夫	(14)14	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	池田政一	(14)14	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	石川友章	(14)14	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	石田秀実	(15)15	1995年(平成07)・第42巻・01号

新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	板垣鋭司	(15)15	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	伊藤敦之	(15)15	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	伊藤真愚	(15)15	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	伊藤敏雄	(16)16	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞浅井国幹顕彰会21周年記念	伊藤嘉紀	(16)16	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	伊原信夫	(17)17	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	今泉清	(18)18	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	今村茂雄	(18)18	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	入江正	(18)18	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	岩下明弘	(19)19	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	裏辻嘉行	(19)19	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	遠藤次郎	(19)19	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	王旭	(19)19	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	王瑞雲	(19)19	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	大友一夫	(20)20	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	大西和子	(20)20	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	大貫進	(20)20	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	大野安春	(21)21	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	岡利幸	(21)21	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	緒方勝行	(21)21	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞新たな出発	岡部俊一	(22)22	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	岡村芳樹	(22)22	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	小曽戸明子	(22)22	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	小野正弘	(22)22	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞今年を地球の養生元年に	帯津良一	(23)23	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	遠田裕政	(23)23	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	葛西浩史	(23)23	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	笠原栄司	(23)23	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	柏木佑記慧	(24)24	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	加世田弘道	(24)24	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	勝田正泰	(24)24	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	桂敏夫	(24)24	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	金子力	(25)25	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	何平	(25)25	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	鎌田慶市郎	(25)25	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	河野順	(26)26	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	菅龍夫	(26)26	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	菊谷豊彦	(26)26	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	木下恒雄	(27)27	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	久保田富也	(27)27	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	粂川義雄	(27)27	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	桑木崇秀	(27)27	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	小泉久仁弥	(28)28	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	侯召棠	(28)28	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	小曽戸洋	(28)28	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	小高修司	(29)29	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	後藤二郎	(29)29	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞茯苓について	後藤實	(29)29	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	今忠郎	(30)30	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	斎藤浩爾	(30)30	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞東洋医学本来の使命	坂口弘	(30)30	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	坂本秀治	(30)30	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞「ヒューマニズム」ジョーダン	佐々木鍼岳	(31)31	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	佐竹貞治郎	(31)31	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	周蓮湘	(32)32	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	尚鎮国	(32)32	1995年(平成07)・第42巻・01号

新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	代田文彦	(32)32	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	神靖衛	(33)33	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	杉立義一	(33)33	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	鈴木博夫	(33)33	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	角田睦子	(34)34	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	芹澤勝助	(34)34	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	十河孝博	(34)34	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	高島文一	(35)35	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	高橋邦夫	(35)35	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	高橋貞則	(35)35	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	高橋尚武	(36)36	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	高橋久孝	(36)36	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	田家照生	(36)36	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	竹田明	(37)37	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	竹村修	(37)37	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	田中邦雄	(37)37	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞漢方要材の粗悪化を憂う	田畑隆一郎	(37)37	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞米寿を迎えて	玉置新治	(38)38	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	田村嘉章	(38)38	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞大歓迎	多留淳文	(38)38	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	張学文	(39)39	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	張瓏英	(39)39	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	鎮西弘	(39)39	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	津谷喜一郎	(39)39	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	鶴田としこ	(40)40	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	寺澤捷年	(40)40	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	寺師睦宗	(41)41	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞亥年を迎えて	土岐卓	(41)41	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	中井康雄	(41)41	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	永井良樹	(42)42	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	中川良隆	(42)42	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	中島泰三	(42)42	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	長瀬千秋	(43)43	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	中田敬吾	(43)43	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞仰ぎみる高峰	長門谷洋治	(43)43	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	仲原靖夫	(44)44	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	中村謙介	(44)44	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	中村成代	(44)44	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	西岡五夫	(45)45	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞『長沙腹診考』の卓見	西岡一夫	(45)45	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	西畑邦夫	(45)45	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	西脇平士	(46)46	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	二宮文乃	(46)46	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	野崎豊	(47)47	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	橋口親義	(47)47	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	長谷川弥人	(48)48	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	服部恵七	(48)48	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	花輪壽彦	(48)48	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞21世紀へ向っての漢方医学	原敬二郎	(48)48	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	原桃介	(49)49	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	原田正敏	(49)49	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	平木陽一	(49)49	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	広瀬滋之	(49)49	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	福田佳弘	(50)50	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	藤井康男	(50)50	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞思わず長生きをしたわけは	藤平健	(50)50	1995年(平成07)・第42巻・01号

新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	細井大二	(51)51	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	細川喜代治	(51)51	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞初孫と椿庭先生の教え	細野八郎	(51)51	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	牧角和宏	(52)52	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	牧田憲太郎	(52)52	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	松浦敬一	(53)53	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	松岡伯菁	(53)53	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	松岡睦友	(54)54	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	松下嘉一	(54)54	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	松田邦夫	(54)54	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	松本一男	(54)54	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞還暦に想う	松本克彦	(55)55	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	真鍋立夫	(55)55	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	真柳誠	(55)55	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	三谷和男	(56)56	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	三谷和合	(56)56	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	三潴忠道	(56)56	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞門前の小僧の漢方認識	宮川昭平	(57)57	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	宮崎綾子	(57)57	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞化敵為友	宮崎瑞明	(58)58	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	宮本昭正	(59)59	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	宗像敬一	(59)59	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	村田英則	(59)59	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞漢方保険外しに新展開を	村松睦	(59)59	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	室賀昭三	(60)60	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	望月博	(60)60	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	森一	(60)60	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	森崎信夫	(60)60	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	森下宗司	(60)60	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	矢数圭堂	(61)61	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	山内浩	(61)61	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	山口泰宏	(61)61	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	山田光胤	(62)62	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	山ノ内慎一	(62)62	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	山本整一	(62)62	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	葉加南	(63)63	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	横倉照門	(64)64	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	横田観風	(64)64	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	吉岡信	(64)64	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	吉崎文彦	(65)65	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	吉冨誠	(65)65	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	吉元昭治	(65)65	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	米田該典	(65)65	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	渡邊一幹	(66)66	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	渡辺貞夫	(66)66	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	渡辺方乃	(67)67	1995年(平成07)・第42巻・01号
新年のことば　＜平成7年（1995年）＞	渡辺陽一	(67)67	1995年(平成07)・第42巻・01号
1995年・年頭の言	伊藤清夫	(68)68	1995年(平成07)・第42巻・01号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞尿閉・尿失禁に半夏厚朴湯	岡利幸	(71)71	1995年(平成07)・第42巻・01号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞苓桂味甘湯症例の検討	徳留一博	(75)75	1995年(平成07)・第42巻・01号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞大塚恭男所長と当帰芍薬散	鈴木朋子	(83)83	1995年(平成07)・第42巻・01号
“切れ難い粘痰”を目標とした滋陰降火湯の使用経験（17例）とその鑑別診断について	穴吹浩・高口眞一郎	(90)90	1995年(平成07)・第42巻・01号
東洋堂経験余話（68）▽規則性の下痢▽脳梗塞に続命湯加地黄と田七	松本一男	(97)97	1995年(平成07)・第42巻・01号
漢方診療おぼえ書（156）▽喘息に小建中湯▽痔瘻手術後に頑固な疼痛を訴える患者に托裏消毒散▽頻尿に十味敗毒湯加連翹	緒方玄芳	(100)100	1995年(平成07)・第42巻・01号
漢方牛歩録（129）高齢者の頸髄不全麻痺	中村謙介	(102)102	1995年(平成07)・第42巻・01号

女子医大雑話（17）＜自験の3症例＞円形脱毛症に柴胡加竜骨牡蠣湯▽胃のもたれに半夏瀉心湯▽頭痛に呉茱萸湯	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(105)105	1995年(平成07)・第42巻・01号
傷寒論講義演習（56）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(108)108	1995年(平成07)・第42巻・01号
アサヒビール薬品、漢方薬市場へ新たな展開	編集局	(115)115	1995年(平成07)・第42巻・01号
香月牛山翁著『万民必用長命養生訓』素読・拙訳（その12）	宮崎綾子	(116)116	1995年(平成07)・第42巻・01号
古医書読解のための漢文速成講座（7）	長谷川弥人	(121)121	1995年(平成07)・第42巻・01号
本草のうた（18）蓮	吉田荘人	(128)128	1995年(平成07)・第42巻・01号
トピックス／浅井国幹秋季法要行わる	編集局	(135)135	1995年(平成07)・第42巻・01号
図書紹介／村松睦著『対比で学ぶ漢方入門』／矢数道明著『漢方治験精選集』上巻／吉岡信著『江戸の生薬屋』	編集局	(135)135	1995年(平成07)・第42巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成6年12月＞	協会本部／編集局	(141)141	1995年(平成07)・第42巻・01号
@1995年(平成07)-第42巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（81）みつかった福井楓亭の墓碑拓本	小曽戸洋	(2)162	1995年(平成07)・第42巻・02号
巻頭言／東西医学の接点　発熱	原桃介	(9)169	1995年(平成07)・第42巻・02号
＜第4回漢方湯液治療研究会特別講演＞陰陽虚実に基づく皮膚疾患の治療－主としてアトピー性皮膚炎について－	山田光胤	(10)170	1995年(平成07)・第42巻・02号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞陰陽弁証を誤って惹起したと思われる腸閉塞症の1例－腸閉塞のメカニズムの東西医学的考察－	仲原靖夫	(17)177	1995年(平成07)・第42巻・02号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞緊張性月経困難症の治験	渡辺陽一	(23)183	1995年(平成07)・第42巻・02号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞第2度無月経の不妊症	寺師睦宗	(30)190	1995年(平成07)・第42巻・02号
桂姜棗草黄辛附湯の腹証について	小泉久仁弥・花輪壽彦	(33)193	1995年(平成07)・第42巻・02号
漢方牛歩録（130）水毒を伴う多発性関節炎	中村謙介	(38)198	1995年(平成07)・第42巻・02号
女子医大雑話（18）＜漢方薬を服用し「人生が楽しくなった」2症例＞半夏厚朴湯で人生が楽しくなった症例▽加味帰脾湯でふくれっつらが減った症例▽付：風邪薬の変遷（自験例）	中野頼子・新井信・溝部宏毅	(40)200	1995年(平成07)・第42巻・02号
東洋堂経験余話（69）▽食道癌の経験▽高血圧症に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料	松本一男	(45)205	1995年(平成07)・第42巻・02号
膈下逐オ湯投与による急性膵炎の治療	冷達春	(49)209	1995年(平成07)・第42巻・02号
座談会／漢方薬とマネー（1）	西村周三・菊谷豊彦 司会）津谷喜一郎	(53)213	1995年(平成07)・第42巻・02号
漢方というもの（続）	伊藤清夫	(66)226	1995年(平成07)・第42巻・02号
古医書読解のための漢文速成講座（8）	長谷川弥人	(71)231	1995年(平成07)・第42巻・02号
傷寒論講義演習（57）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(79)239	1995年(平成07)・第42巻・02号
傷寒論雑感（19）『温病治療』その2	玉置英成	(86)246	1995年(平成07)・第42巻・02号
「過労死」雑感	川村力	(90)250	1995年(平成07)・第42巻・02号
トピックス／第22回千葉東洋医学シンポジウム開催	勝野達郎	(92)252	1995年(平成07)・第42巻・02号
図書紹介／金何森著『漢方エキス製剤運用のための図解・中医方剤マニュアル』	編集局	(98)258	1995年(平成07)・第42巻・02号
@1995年(平成07)-第42巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（82）目黒道琢の肖像画	小曽戸洋	(2)282	1995年(平成07)・第42巻・03号
＜第4回漢方湯液治療研究会特別講演＞漢方用薬の品質の考え方－多様化に対応する漢方用薬の品質の確保へ－	米田該典	(9)289	1995年(平成07)・第42巻・03号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞奔豚気病の経験と1考察－パニック障害の1領域としての奔豚気病	阿部勝利	(18)298	1995年(平成07)・第42巻・03号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞傷寒論の基本薬方－その相互の流れについて－	高橋法昭	(24)304	1995年(平成07)・第42巻・03号
「証」とは何か	中村謙介	(38)318	1995年(平成07)・第42巻・03号
女子医大雑話（19）＜じんましんの3症例＞陽証のじんましんに柴胡桂枝湯▽陰証のじんましんに麻黄附子細辛湯▽オ血のじんましんに桂枝茯苓丸加ヨク苡仁	新井信・溝部宏毅・中野頼子	(47)327	1995年(平成07)・第42巻・03号
抑肝散加陳皮半夏の母子同服の有効例	宮崎瑞明	(53)333	1995年(平成07)・第42巻・03号
東洋堂経験余話（70）▽脳腫瘍の経験▽水虫が望外に効果を挙げた症例	松本一男	(57)337	1995年(平成07)・第42巻・03号
日本の漢方診療の現状と今後（43）	伊藤清夫	(60)340	1995年(平成07)・第42巻・03号
『類聚方広義』散見／その10	笠原栄司	(64)344	1995年(平成07)・第42巻・03号
座談会／漢方薬とマネー（2）	西村周三・菊谷豊彦 司会）津谷喜一郎	(67)347	1995年(平成07)・第42巻・03号
貝原益軒と香月牛山の『養老の訓え』－並びに＜イ生輯要叙＞のこと－	宮崎綾子	(83)363	1995年(平成07)・第42巻・03号
阪神大震災に被災して	中島泰三	(88)368	1995年(平成07)・第42巻・03号
本草のうた（19）白花蛇	吉田荘人	(92)372	1995年(平成07)・第42巻・03号
古医書読解のための漢文速成講座（9）	長谷川弥人	(94)374	1995年(平成07)・第42巻・03号
図書紹介／三浦於菟著『大地－中国医学の現状と問題点』	編集局	(100)380	1995年(平成07)・第42巻・03号
トピックス／日本漢方治療シンポジウム開催	編集局	(101)381	1995年(平成07)・第42巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年1月・2月＞	協会本部／編集局	(107)387	1995年(平成07)・第42巻・03号

@1995年(平成07)-第42巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（83）新出の曲直瀬道三医書ー『医術宜弁類』（自筆）と『医治通鑑』ほかー	松田清	(2)410	1995年(平成07)・第42巻・04号
巻頭言／東洋的考え方への期待	後藤由夫	(9)417	1995年(平成07)・第42巻・04号
＜第4回漢方湯液治療研究会指名講演＞香蘇散と半夏厚朴湯	花輪壽彦	(10)418	1995年(平成07)・第42巻・04号
漢方診療余話（1）▽口腔内の荒れに清熱補気湯▽円形脱毛に荊芥連翹湯（一貫堂）▽サクラソウによる皮膚のかぶれに加味逍遥散合四物湯▽虚弱体質に滋陰至宝湯	永井良樹	(19)427	1995年(平成07)・第42巻・04号
真武湯による蕁麻疹の治療経験	森由雄	(24)432	1995年(平成07)・第42巻・04号
著効を得た若干の症例報告	宮崎綾子	(27)435	1995年(平成07)・第42巻・04号
漢方牛歩録（131）寒風に誘発された咽痛	中村謙介	(32)440	1995年(平成07)・第42巻・04号
東洋堂経験余話（71）▽アレルゲンを駆逐する経験▽感冒に竹葉石膏湯の経験	松本一男	(34)442	1995年(平成07)・第42巻・04号
女子医大雑話（20）＜神経症の2症例＞	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(37)445	1995年(平成07)・第42巻・04号
浅井貞庵『方彙講談』（女科・唖科・瘍科）（1）	岡利幸・山田博一	(41)449	1995年(平成07)・第42巻・04号
傷寒論講義演習（58）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(46)454	1995年(平成07)・第42巻・04号
『傷寒論』異聞、陽明病胃中寒の説（6）	岡田研吉	(52)460	1995年(平成07)・第42巻・04号
劉藹韵『金匱要略』注釈本原稿の訳を終えて	宇都眞理子	(63)471	1995年(平成07)・第42巻・04号
『金匱要略』注釈本を脱稿して	劉藹韵	(65)473	1995年(平成07)・第42巻・04号
日本の漢方診療の現状と今後（44）漢方診療の今後の発展のために（4）	伊藤清夫	(73)481	1995年(平成07)・第42巻・04号
配合する生薬側の論理と証の論理構成／原因病巣と相生相剋関係にある五臓六腑との関係	日合奨	(79)487	1995年(平成07)・第42巻・04号
三浦宗春先生の小伝	長谷川弥人	(89)497	1995年(平成07)・第42巻・04号
トピックス／丸山昌朗先生没後20年遺徳顕彰の会開く／今田屋章氏・千葉県医師会学術奨励賞受賞	編集局	(90)498	1995年(平成07)・第42巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年3月＞	協会本部／編集局	(99)507	1995年(平成07)・第42巻・04号
@1995年(平成07)-第42巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（84）山脇東洋の書跡と処方集	小曽戸洋	(2)530	1995年(平成07)・第42巻・05号
巻頭言／21世紀の漢方（東洋医学）	多留淳文	(9)537	1995年(平成07)・第42巻・05号
猪苓湯が背部痛と頸部の凝りに有効であった1症例	新井信・中野頼子・川越宏文・小森田俊幸・佐藤弘・代田文彦	(10)538	1995年(平成07)・第42巻・05号
漢方診療余話（2）▽耳下腺嚢胞性腫瘍に五苓散加味の偉効▽乾性湿疹に温清飲加荊芥連翹▽舌のもつれ感に清熱補気湯	永井良樹	(15)543	1995年(平成07)・第42巻・05号
大青竜湯の2治験例	森由雄	(19)547	1995年(平成07)・第42巻・05号
女子医大雑話（21）＜西洋医学治療に抵抗した症例＞結節性紅斑に越婢加朮湯▽帯状疱疹後神経痛に加工附子末▽疣贅に当帰芍薬散加ヨク苡仁	中野頼子・新井信・溝部宏毅	(22)550	1995年(平成07)・第42巻・05号
東洋堂経験余話（72）▽希望の大学に合格した症例▽気管支炎に柴胡桂枝乾姜湯加五味子	松本一男	(27)555	1995年(平成07)・第42巻・05号
漢方牛歩録（132）よだれの止まらない1例	中村謙介	(30)558	1995年(平成07)・第42巻・05号
女性における冷え症の実態＜文献的考察＞	村山ヒサエ・佐藤悦・高橋美恵子・故本多達雄	(32)560	1995年(平成07)・第42巻・05号
畑の中の面々（21）彼岸の頃	田畑隆一郎	(56)584	1995年(平成07)・第42巻・05号
浅井貞庵『方彙講談』（女科・唖科・瘍科）（2）	岡利幸・山田博一	(61)589	1995年(平成07)・第42巻・05号
日本の漢方診療の現状と今後（45）漢方診療の今後の発展のために（5）	伊藤清夫	(66)594	1995年(平成07)・第42巻・05号
古医書読解のための漢文速成講座（10）	長谷川弥人	(75)603	1995年(平成07)・第42巻・05号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳ーその1ー	宮崎綾子	(83)611	1995年(平成07)・第42巻・05号
本草のうた（20）曼陀羅	吉田荘人	(88)616	1995年(平成07)・第42巻・05号
山本三男先生を偲んで	伊藤嘉紀	(90)618	1995年(平成07)・第42巻・05号
大塚福栄さん逝去	編集局	(93)621	1995年(平成07)・第42巻・05号
書評／神農五千年刊行会編『神農五千年』	多留淳文	(94)622	1995年(平成07)・第42巻・05号
図書紹介／Ｒ・Ｆ・ヴァイス著・山岸晃訳『植物療法』	大塚恭男	(95)623	1995年(平成07)・第42巻・05号
トピックス／日本医学会総会、東洋医学シンポジウム開催／土田茂雄氏の一周忌法要、上野精養軒にて催される	編集局	(96)624	1995年(平成07)・第42巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年4月＞	協会本部／編集局	(107)635	1995年(平成07)・第42巻・05号
@1995年(平成07)-第42巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（85）唐代の薬価記録ートルファン出土物価（市估）文書ー	真柳誠	(2)658	1995年(平成07)・第42巻・06号
巻頭言／小柴胡湯・大黄甘草湯の再評価結果公示に対する所感	菊谷豊彦	(9)665	1995年(平成07)・第42巻・06号
＜第4回漢方湯液治療研究会講演＞慢性関節リウマチの治験例における薬方の運用（附）痛みに用いる附子について	新井基夫・伊藤清夫	(10)666	1995年(平成07)・第42巻・06号
麻疹に対して西洋薬治療と比較した升麻葛根湯の臨床効果	阿部勝利	(22)678	1995年(平成07)・第42巻・06号

漢方診療余話（3）▽シェーグレン症候群に小柴胡湯合麦門冬湯▽肩こりに延年半夏湯▽耳鳴に通明利気湯	永井良樹	(29)685	1995年(平成07)・第42巻・06号
女子医大雑話（22）＜急性感染症の3症例＞激しい咽頭痛に駆風解毒湯加桔梗石膏▽幼児の急性胃腸炎に五苓散▽下痢後の悪寒発熱に麻黄附子細辛湯	新井信・溝部宏毅・中野頼子	(33)689	1995年(平成07)・第42巻・06号
当帰芍薬散料による気管支喘息の治療経験	森由雄	(38)694	1995年(平成07)・第42巻・06号
東洋堂経験余話（73）▽感冒後の胃痛に柴胡桂枝湯加味▽メニエール病に柴胡加竜骨牡蠣湯	松本一男	(41)697	1995年(平成07)・第42巻・06号
漢方牛歩録（133）毎朝の喀痰の止んだ気管支拡張症	中村謙介	(44)700	1995年(平成07)・第42巻・06号
浅井貞庵『方彙講談』女科（小産・産育・乳病・乳癰附乳岩・婦人諸病）（3）	岡利幸・山田博一	(46)702	1995年(平成07)・第42巻・06号
村松睦氏急逝	編集局	(51)707	1995年(平成07)・第42巻・06号
傷寒論講義演習（59）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(52)708	1995年(平成07)・第42巻・06号
潘桂娼・樊正倫編著『日本漢方医学』（上篇189頁まで）に関するノート及び江戸時代中期の歴史・医文化についての補足＜上＞	杉山広重	(60)716	1995年(平成07)・第42巻・06号
日本の漢方診療の現状と今後（46）漢方診療の今後の発展のために（6）	伊藤清夫	(72)728	1995年(平成07)・第42巻・06号
今西自然学に学ぶ	平林光子	(80)736	1995年(平成07)・第42巻・06号
藤原京出土の木簡の薬物の意義とロマントピア藤原京の薬草園	渡邊武	(86)742	1995年(平成07)・第42巻・06号
平成6年（1994）漢方略史年表	矢数道明	(94)750	1995年(平成07)・第42巻・06号
トピックス／金沢で日本東洋医学会学術総会開催	編集局	(106)762	1995年(平成07)・第42巻・06号
トピックス／永富独嘯庵230回忌追善祭	岡村芳樹	(108)764	1995年(平成07)・第42巻・06号
トピックス／斎藤知行氏、ツムラ・リウマチ臨床研究賞受賞	編集局	(109)765	1995年(平成07)・第42巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年5月＞	協会本部／編集局	(115)771	1995年(平成07)・第42巻・06号
@1995年(平成07)-第42巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（86）福井・三崎家の宝蔵品ー越前版『俗解難経』	真柳誠・小曽戸洋	(2)794	1995年(平成07)・第42巻・07号
巻頭言／矢数医史学賞をいただいて	蒲原宏	(9)801	1995年(平成07)・第42巻・07号
シ胡（柴胡）考	小高修司	(10)802	1995年(平成07)・第42巻・07号
柴陥湯による肺炎の1治験例	森由雄	(26)818	1995年(平成07)・第42巻・07号
東洋堂経験余話（74）▽円形脱毛症に小柴胡湯加竜骨牡蠣湯▽膀胱炎に桂姜棗草黄辛附湯	松本一男	(30)822	1995年(平成07)・第42巻・07号
漢方診療余話（4）▽動悸に炙甘草湯▽足のしびれ・不快感に疎経活血湯、動悸に炙甘草湯▽老人のソウ痒に茵チン蒿湯	永井良樹	(33)825	1995年(平成07)・第42巻・07号
女子医大雑話（23）＜抗核抗体・抗ＤＮＡ抗体陽性の2症例＞	溝部宏毅・中野頼子・新井信	(37)829	1995年(平成07)・第42巻・07号
漢方牛歩録（134）肩甲部の冷痛を主訴とする1例	中村謙介	(41)833	1995年(平成07)・第42巻・07号
潘桂娼・樊正倫編著『日本漢方医学』（上篇189頁まで）に関するノート及び江戸時代中期の歴史・医文化についての補足＜下＞	杉山広重	(43)835	1995年(平成07)・第42巻・07号
傷寒論講義演習（60）奥田謙蔵著『傷寒論講義』をテキストとして	講師）藤平健	(54)846	1995年(平成07)・第42巻・07号
傷寒論雑感（20）『温病治療』その3	玉置英成	(62)854	1995年(平成07)・第42巻・07号
浅井貞庵『方彙講談』（女科・唖科・瘍科）（4）	岡利幸・山田博一	(66)858	1995年(平成07)・第42巻・07号
『類聚方広義』散見／その11	笠原栄司	(71)863	1995年(平成07)・第42巻・07号
日本の漢方診療の現状と今後（47）漢方診療の今後の発展のために（7）	伊藤清夫	(77)869	1995年(平成07)・第42巻・07号
古医書読解のための漢文速成講座（11）	長谷川弥人	(85)877	1995年(平成07)・第42巻・07号
本草のうた（21）雷丸	吉田荘人	(93)885	1995年(平成07)・第42巻・07号
東洋医学から見た健康と長寿	松本克彦	(96)888	1995年(平成07)・第42巻・07号
ビデオ・図書紹介／監修・出演：松田邦夫・稲木一元『臨床医のための漢方腹診の実際』	編集局	(100)892	1995年(平成07)・第42巻・07号
図書紹介／寺師睦宗著『漢方を築いた先哲』	真柳誠	(100)892	1995年(平成07)・第42巻・07号
トピックス／金沢で臨床東洋医学研究会開催／熱海でウチダ和漢薬同好会研修会開催	編集局	(101)893	1995年(平成07)・第42巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年6月＞	協会本部／編集局	(105)897	1995年(平成07)・第42巻・07号
@1995年(平成07)-第42巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（87）一栢自筆の『難経抄』	小曽戸洋・真柳誠	(2)922	1995年(平成07)・第42巻・08号
巻頭言／本音で語る時代	広瀬滋之	(9)929	1995年(平成07)・第42巻・08号
虚実諸論	勝野達郎	(10)930	1995年(平成07)・第42巻・08号
温知荘雑筆　当帰六黄湯による盗汗の治験―修琴堂門人会の話題―	矢数道明	(36)956	1995年(平成07)・第42巻・08号
黄ゴン湯の症例と考察ー太陽与少陽合病自下利者に就いて	柏木佑記慧	(38)958	1995年(平成07)・第42巻・08号
嗅覚障害の治療経験	森由雄	(48)968	1995年(平成07)・第42巻・08号
漢方診療余話（5）▽胃切除後のゲップ・胸やけに安中散▽不安神経症に加味逍遥散▽月経困難症に折衝飲	永井良樹	(51)971	1995年(平成07)・第42巻・08号
東洋堂経験余話（75）▽五更瀉と粘液便に真武湯と加味方の経験▽午後からの頭痛に香キュウ湯	松本一男	(55)975	1995年(平成07)・第42巻・08号
漢方牛歩録（135）ステロイド使用中の帯状疱疹及び下腿フィステル	中村謙介	(58)978	1995年(平成07)・第42巻・08号

女子医大雑話（24）＜八味地黄丸の症例＞	中野頼子・新井信・溝部宏毅	(60)980	1995年(平成07)・第42巻・08号
鬱証の治験例（2）	今泉清	(64)984	1995年(平成07)・第42巻・08号
高血圧の伏梁病は腹部動脈瘤であった	渡辺陽一	(70)990	1995年(平成07)・第42巻・08号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（1）	千葉古方漢方研究会	(73)993	1995年(平成07)・第42巻・08号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その2－	宮崎綾子	(77)997	1995年(平成07)・第42巻・08号
日本の漢方診療の現状と今後（48）漢方診療の今後の発展のために（8）	伊藤清夫	(82)1002	1995年(平成07)・第42巻・08号
古医書読解のための漢文速成講座（12）	長谷川弥人	(89)1009	1995年(平成07)・第42巻・08号
「国際才血証学会」開催報告	小川新	(96)1016	1995年(平成07)・第42巻・08号
図書紹介／大塚恭男著『医学史こぼれ話』／高山宏世著『いのちを養う漢方講座』／邱紅梅著『わかる中医学入門』	編集局	(100)1020	1995年(平成07)・第42巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年7月＞	協会本部／編集局	(105)1025	1995年(平成07)・第42巻・08号
@1995年(平成07)-第42巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（88）一栢の研究した熊宗立本『内経』古鈔本	小曽戸洋・真柳誠	(2)1050	1995年(平成07)・第42巻・09号
アトピー性皮膚炎の顔面潮紅に温清飲が奏効した1例	東一紀	(9)1057	1995年(平成07)・第42巻・09号
女子医大雑話（25）＜慢性胃炎の3症例＞腹痛を伴う胃炎に柴胡桂枝湯合六君子湯▽不眠を伴う胃炎に半夏瀉心湯▽うつの胃炎に清熱解鬱湯加大黄	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(17)1065	1995年(平成07)・第42巻・09号
茯苓四逆湯の治療経験について	森由雄	(22)1070	1995年(平成07)・第42巻・09号
漢方診療余話（6）▽掌蹠膿疱症を伴った骨関節炎に桂枝二越婢一湯加朮附合桂枝茯苓丸料▽アトピー性皮膚炎に治頭瘡一方、桂枝加黄耆湯、消風散などを用いて▽高血圧症に桂枝茯苓丸料	永井良樹	(27)1075	1995年(平成07)・第42巻・09号
漢方牛歩録（136）肩こりの3症例	中村謙介	(32)1080	1995年(平成07)・第42巻・09号
東洋堂経験余話（76）▽原因不明の耳鳴に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料▽気管支喘息に柴胡桂枝乾姜湯合真武湯	松本一男	(34)1082	1995年(平成07)・第42巻・09号
白血病の漢方治療経過	土方康世	(37)1085	1995年(平成07)・第42巻・09号
疳証と栄養素欠乏の関係についての研究－266名の臨床調査を中心として	唐方・赤尾清剛・阿部博子・中田敬吾	(55)1103	1995年(平成07)・第42巻・09号
吉益東洞と日本の科学思想－東洞に於ける古方の考え方	伊藤清夫	(63)1111	1995年(平成07)・第42巻・09号
浅井貞庵『方彙講談』（女科・唖科・瘍科）（5）	岡利幸・山田博一	(71)1119	1995年(平成07)・第42巻・09号
本草のうた（22）劉寄奴と三七	吉田荘人	(74)1122	1995年(平成07)・第42巻・09号
津谷喜一郎氏訳『世界伝統医学大全』日本翻訳文化賞を受賞	編集局	(76)1124	1995年(平成07)・第42巻・09号
古医書読解のための漢文速成講座（13）	長谷川弥人	(77)1125	1995年(平成07)・第42巻・09号
経脈と処方との相関について（上）	入江正	(83)1131	1995年(平成07)・第42巻・09号
豊橋の「竹内コレクション」の九鍼（実物）および三稜鍼の復活について	杉山広重	(90)1138	1995年(平成07)・第42巻・09号
図書紹介／ＷＨＯ、Ｒ・バンナーマン、Ｊ・バートン、陳文傑責任編集津谷喜一郎訳『世界伝統医学大全』	室賀昭三	(95)1143	1995年(平成07)・第42巻・09号
天然薬物研究方法論アカデミーの設立総会と第1回白樺湖シンポジウムに参加して	秋葉哲生	(96)1144	1995年(平成07)・第42巻・09号
和漢医薬学会大会、東京で開催	編集局	(97)1145	1995年(平成07)・第42巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年8月＞	協会本部／編集局	(106)1154	1995年(平成07)・第42巻・09号
@1995年(平成07)-第42巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（89）多紀元堅の墨跡	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)1178	1995年(平成07)・第42巻・10号
巻頭言／身近な出来事	荻原幸夫	(9)1185	1995年(平成07)・第42巻・10号
アトピー性皮膚炎の顔面潮紅に桂枝茯苓丸が奏効した1例	東一紀	(11)1187	1995年(平成07)・第42巻・10号
動悸の治療経験	森由雄	(16)1192	1995年(平成07)・第42巻・10号
漢方診療余話（7）▽長びく咳嗽に人参養栄湯▽気管支喘息に大柴胡湯合半夏厚朴湯合小青竜湯▽尿失禁に猪苓湯合四物湯	永井良樹	(21)1197	1995年(平成07)・第42巻・10号
漢方牛歩録（137）意識喪失を伴う更年期障害	中村謙介	(24)1200	1995年(平成07)・第42巻・10号
東洋堂経験余話（77）▽関節リウマチに苓姜朮甘湯▽感冒のたびに桂枝湯	松本一男	(26)1202	1995年(平成07)・第42巻・10号
女子医大雑話（26）＜補剤が有効であった2例＞洞不全症候群に清暑益気湯▽胃腸虚弱に人参湯	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(29)1205	1995年(平成07)・第42巻・10号
江戸時代前半期における近代医学の受容とわが国の古方派の医説形成との関連についての1考察	秋葉哲生	(34)1210	1995年(平成07)・第42巻・10号
吉益東洞と日本の科学思想－東洞に於ける古方の考え方（続）	伊藤清夫	(45)1221	1995年(平成07)・第42巻・10号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（2）	千葉古方漢方研究会	(49)1225	1995年(平成07)・第42巻・10号
浅井貞庵『方彙講談』（女科・唖科・瘍科）（6）	岡利幸・山田博一	(53)1229	1995年(平成07)・第42巻・10号
傷寒論雑感（21）『温病治療』その4	玉置英成	(59)1235	1995年(平成07)・第42巻・10号
地竜	笠原栄司	(65)1241	1995年(平成07)・第42巻・10号
温知荘雑筆　日本漢方現代史余話（21）「三浦宗春先生の小伝」を読んで思い出したこと－石黒忠悳の告白－	矢数道明	(68)1244	1995年(平成07)・第42巻・10号
多紀元堅の著述	郭秀梅・真柳誠	(71)1247	1995年(平成07)・第42巻・10号

多紀元堅門人録	矢数道明・小曽戸洋	(80)1256	1995年(平成07)・第42巻・10号
吉益東洞顕彰碑／広島大学移転の経緯	小川新	(97)1273	1995年(平成07)・第42巻・10号
図書紹介／『細野史郎著作・座談集』全3巻／桑木崇秀著『漢方診療ハンドブック』	編集局	(101)1277	1995年(平成07)・第42巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年9月＞	協会本部／編集局	(107)1283	1995年(平成07)・第42巻・10号
@1995年(平成07)-第42巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（90）多紀元堅自筆校訂の『扁鵲倉公伝彙攷』	小曽戸洋	(2)1306	1995年(平成07)・第42巻・11号
＜第5回漢方湯液治療研究会特別講演＞煎じ薬の匂いと味について1考察	松田邦夫	(9)1313	1995年(平成07)・第42巻・11号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞疥癬薬湯方の治験	原敬二郎	(23)1327	1995年(平成07)・第42巻・11号
経験3題　▽不妊	橋口親義	(28)1332	1995年(平成07)・第42巻・11号
卵巣欠落症における頭痛に対する漢方治療	今泉清	(32)1336	1995年(平成07)・第42巻・11号
女子医大雑話（27）＜柴胡桂枝乾姜湯の3症例について＞風邪に柴胡桂枝乾姜湯▽不眠、口乾に柴胡桂枝乾姜湯▽更年期障害に柴胡桂枝乾姜湯	中野頼子・新井信・溝部宏毅	(39)1343	1995年(平成07)・第42巻・11号
漢方牛歩録（138）手指痛の4例	中村謙介	(44)1348	1995年(平成07)・第42巻・11号
東洋堂経験余話（78）▽高血圧症に防風通聖散料合通導散料▽解急蜀椒湯の経験	松本一男	(46)1350	1995年(平成07)・第42巻・11号
漢方診療余話（8）▽椎間板ヘルニアに芍甘黄辛附湯▽虚弱体質に帰耆建中湯▽狭心症に半夏厚朴湯合桂枝茯苓丸料	永井良樹	(49)1353	1995年(平成07)・第42巻・11号
白虎湯類の治療経験	森由雄	(53)1357	1995年(平成07)・第42巻・11号
陰陽虚実論	渡邊武	(57)1361	1995年(平成07)・第42巻・11号
頸診の開発から宇宙医学へ	松岡伯菁	(64)1368	1995年(平成07)・第42巻・11号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その3－	宮崎綾子	(75)1379	1995年(平成07)・第42巻・11号
都築喜市氏、勲五等受賞	編集局	(81)1385	1995年(平成07)・第42巻・11号
本草のうた（23）柳枝	吉田荘人	(82)1386	1995年(平成07)・第42巻・11号
多紀元堅の墨跡解説	町泉寿郎・小曽戸洋	(85)1389	1995年(平成07)・第42巻・11号
湯本求真の生涯とその医学	秋葉哲生	(90)1394	1995年(平成07)・第42巻・11号
奥州盛岡・遠野に和田元庸先生を訪ねて	田畑隆一郎	(101)1405	1995年(平成07)・第42巻・11号
ある週末	荻原幸夫	(103)1407	1995年(平成07)・第42巻・11号
第5回漢方湯液治療研究会を終えて	伊藤清夫	(105)1409	1995年(平成07)・第42巻・11号
第5回漢方湯液治療研究会アルバム（平成7年10月10日）－漢方療法の原点を求める研究会	編集局	(107)1411	1995年(平成07)・第42巻・11号
日本東洋医学会第52回関東甲信越支部学術総会開催　キーワードを抄録集・要旨集に収載希望	高橋法昭	(113)1417	1995年(平成07)・第42巻・11号
日本東洋医学会第52回関東甲信越支部学術総会開催　千葉における日本東洋医学会第52回関東甲信越支部総会の準備に関わって	秋葉哲生	(113)1417	1995年(平成07)・第42巻・11号
トピックス／多紀元堅生誕200年記念医史学会例会開催	編集局	(116)1420	1995年(平成07)・第42巻・11号
図書紹介／遠田裕政著『傷寒論再発掘』	小川新	(117)1421	1995年(平成07)・第42巻・11号
図書紹介／札幌東洋医学研究会編『漢方　ここまで治る』／丁宗鐵監修『頼れる漢方治療医ガイド』	編集局	(118)1422	1995年(平成07)・第42巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年10月＞	協会本部／編集局	(123)1427	1995年(平成07)・第42巻・11号
@1995年(平成07)-第42巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（91）正倉院の『種々薬帳』	真柳誠	(2)1450	1995年(平成07)・第42巻・12号
＜第5回漢方湯液治療研究会指名講演＞精神科領域における気陰両傷	後藤哲也	(9)1457	1995年(平成07)・第42巻・12号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞金匱要略の「気分」を呈した例（桂姜棗草黄辛附湯有効例）	足立秀樹	(16)1464	1995年(平成07)・第42巻・12号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞当帰四逆湯と当帰四逆加呉茱萸生姜湯	南利雄	(22)1470	1995年(平成07)・第42巻・12号
感冒の治療経験（1）桂枝湯、桂枝加桂湯、桂枝麻黄各半湯の治療経験について	森由雄	(30)1478	1995年(平成07)・第42巻・12号
漢方診療余話（9）▽尿路結石に小柴胡湯合猪苓湯▽慢性の頭痛に桂枝人参湯▽長びく下痢に赤石脂禹余糧湯	永井良樹	(35)1483	1995年(平成07)・第42巻・12号
経験　▽不妊／伝統医学の心	橋口親義	(39)1487	1995年(平成07)・第42巻・12号
女子医大雑話（28）＜手の異常を訴える3症例＞耳鳴りと手のほてり感に牛車腎気丸▽手掌発汗に三物黄ゴン湯▽主婦湿疹に温経湯	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(42)1490	1995年(平成07)・第42巻・12号
今年の症例記録の中から	宮崎綾子	(47)1495	1995年(平成07)・第42巻・12号
引火帰元の治験2題	伊藤良	(56)1504	1995年(平成07)・第42巻・12号
＜細野史郎先生7回忌記念＞座談会／細野史郎先生と漢方（1）	細野八郎・中田敬吾・大塚恭男・山田光胤 司会）室賀昭三	(59)1507	1995年(平成07)・第42巻・12号
再録・開業50周年に憶う	細野史郎	(73)1521	1995年(平成07)・第42巻・12号
細野史郎先生のご教訓	三谷和合	(84)1532	1995年(平成07)・第42巻・12号
細野流胸脇苦満を語る	小川新	(86)1534	1995年(平成07)・第42巻・12号
医聖細野史郎先生を偲ぶ	森下宗司	(90)1538	1995年(平成07)・第42巻・12号

細野診療所訪問研修の思い出	有地英子	(93)1541	1995年(平成07)・第42巻・12号
細野史郎先生年譜	編集局	(95)1543	1995年(平成07)・第42巻・12号
消痞湯の痞証に対する有効性の検討－189例治療効果の解析	唐方・赤尾清剛・阿部博子・中田敬吾	(98)1546	1995年(平成07)・第42巻・12号
東洞と求真を想う	伊藤清夫	(105)1553	1995年(平成07)・第42巻・12号
経脈と処方との相関について（下）	入江正	(107)1555	1995年(平成07)・第42巻・12号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（3）	千葉古方漢方研究会	(113)1561	1995年(平成07)・第42巻・12号
浅井貞庵『方彙講談』（瘍科）（7）	岡利幸・山田博一	(118)1566	1995年(平成07)・第42巻・12号
近代漢方医学史に新生面を切り拓いた　陸淵雷著『傷寒論今釈』『金匱要略今釈』（1）	費維光 和訳）夏洪秋	(124)1572	1995年(平成07)・第42巻・12号
書評／私もこういう本が書きたかった－花輪壽彦著『漢方診療のレッスン』－	多留淳文	(134)1582	1995年(平成07)・第42巻・12号
図書紹介／John C. Bailar3世、Fredrick Mosteller編　津谷喜一郎訳・折笠秀樹監訳『医学統計学の活用』	編集局	(135)1583	1995年(平成07)・第42巻・12号
第8回国際東洋医学学術大会報告記	原桃介	(136)1584	1995年(平成07)・第42巻・12号
トピックス／漢方学術大会、東京医大で開催／全日本学生漢方研究会総会開催	編集局	(138)1586	1995年(平成07)・第42巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年11月＞	協会本部／編集局	(140)1588	1995年(平成07)・第42巻・12号
@1996年(平成08)-第43巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（92）神農画賛－今村了庵＋石黒忠悳＋松本楓湖	小曽戸洋	(2)2	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	赤尾明俊	(10)10	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	赤尾清剛	(10)10	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	秋葉哲生	(10)10	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞第1回世界伝統医学理論学会に出席しよう	穐吉健治	(10)10	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	足立秀樹	(11)11	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	穴吹浩	(11)11	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	粟島行春	(11)11	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	猪飼祥夫	(11)11	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	池田政一	(12)12	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	板垣鋭司	(12)12	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	市来一彦	(12)12	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	伊藤敦之	(12)12	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞年頭に想う	伊藤清夫	(13)13	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	伊藤真愚	(13)13	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	伊藤敏雄	(14)14	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞すきま研究会の提唱	伊藤嘉紀	(14)14	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	今泉清	(15)15	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	今村茂雄	(15)15	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	入江正	(15)15	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	浮田徹也	(15)15	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	宇都眞理子	(16)16	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	裏辻嘉行	(17)17	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	遠藤次郎	(17)17	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞「人間万事塞翁が馬」	王瑞雲	(17)17	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞新年に寄せて	大塚恭男	(18)18	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞究極の治療法	大友一夫	(18)18	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	大貫進	(19)19	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	大西和子	(19)19	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	大野安春	(19)19	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	大元一郎	(20)20	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	岡利幸	(20)20	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	緒方勝行	(20)20	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞アトピー性皮膚炎と漢方	岡部俊一	(21)21	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	岡村芳樹	(21)21	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小川新	(21)21	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小曽戸明子	(22)22	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小根山隆祥	(22)22	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小野正弘	(22)22	1996年(平成08)・第43巻・01号

新年のことば　＜平成8年（1996年）＞今年こそ調和と統一の時代の幕開け	帯津良一	(22)22	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	遠田裕政	(23)23	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	葛西浩史	(23)23	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	笠原栄司	(23)23	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	柏木佑記慧	(24)24	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	加世田弘道	(24)24	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	金子力	(24)24	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	鎌田慶市郎	(25)25	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	河野順	(25)25	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	菅龍夫	(25)25	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	蒲原宏	(25)25	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	菊谷豊彦	(26)26	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	木下勤	(26)26	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	木下恒雄	(26)26	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	久保田富也	(27)27	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	草間光一	(27)27	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小泉久仁弥	(27)27	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	桑木崇秀	(27)27	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞漢方治療とファジイシステム制御技術	古賀正通	(27)27	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小曽戸洋	(29)29	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	後藤二郎	(29)29	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞生活の中の“におい”	後藤實	(29)29	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	小松一	(30)30	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	昆健一郎	(30)30	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	今忠郎	(31)31	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	斎藤浩爾	(31)31	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	坂口弘	(31)31	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	坂本秀治	(31)31	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	佐竹貞治郎	(32)32	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	佐々木鍼岳	(32)32	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	佐藤弘	(32)32	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞ＰＬ法の施行と漢方治療	代田文彦	(33)33	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	周緘	(33)33	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	神靖衛	(33)33	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	陣内弘和	(34)34	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	杉立義一	(34)34	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	鈴木五郎	(34)34	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	鈴木博夫	(34)34	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	芹澤勝助	(35)35	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	十河孝博	(35)35	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞脂マンと膵	高島文一	(36)36	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	高橋邦夫	(36)36	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	高橋貞則	(36)36	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	高橋久孝	(37)37	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	田家照生	(37)37	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	竹田明	(37)37	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	竹村修	(38)38	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	田中邦雄	(38)38	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	谿忠人	(38)38	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞東大の和漢医学講義開設の建言者	谷田伸治	(38)38	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞初夢	田畑隆一郎	(39)39	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞夜船閑話	玉置石松子	(39)39	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	田村嘉章	(40)40	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	多留淳文	(40)40	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞東洋古典哲学を習得しましょう	張瓏英	(40)40	1996年(平成08)・第43巻・01号

新年のことば　＜平成8年（1996年）＞新幹線に乗って枕木を数える	辻正道	(40)40	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	津谷喜一郎	(41)41	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	鶴田としこ	(41)41	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	寺澤捷年	(41)41	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	寺師睦宗	(42)42	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	土岐卓	(42)42	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	徳留一博	(42)42	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	中井康雄	(42)42	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	永井良樹	(43)43	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	中川良隆	(43)43	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	長瀬千秋	(43)43	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	中田敬吾	(43)43	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞市民権を得た漢方	長門谷洋治	(44)44	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	中村謙介	(44)44	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	中村成代	(44)44	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	鍋谷欣市	(45)45	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	難波恒雄	(45)45	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	西岡五夫	(45)45	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞ソウ人（そうじん）吉益東洞	西岡一夫	(45)45	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞学院創立35周年を迎えて	西畑邦夫	(46)46	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	西脇平士	(46)46	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	二宮文乃	(47)47	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	根本幸一	(48)48	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	野崎豊	(48)48	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	野口定子	(48)48	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	ハイ元植	(49)49	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	橋口親義	(49)49	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	蓮村幸兌	(49)49	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	服部恵七	(50)50	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	濱中力	(50)50	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	林盈六	(50)50	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	原敬二郎	(50)50	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	原桃介	(51)51	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	原田正敏	(51)51	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	土方康世	(51)51	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	広瀬滋之	(52)52	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	福田陽一	(52)52	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	藤井美樹	(52)52	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	細井大二	(53)53	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	細川喜代治	(53)53	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	牧角和宏	(53)53	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	牧田憲太郎	(53)53	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	増田学道	(54)54	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	松浦敬一	(54)54	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞漢方医学の温故知新	松岡伯菁	(54)54	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	松岡睦友	(55)55	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	松下嘉一	(55)55	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	松橋俊夫	(55)55	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞頭が薄くなって	松田邦夫	(56)56	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞天道有意	松本克彦	(56)56	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	真鍋立夫	(57)57	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	真柳誠	(58)58	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	三谷和男	(58)58	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞漢方治療の背景にある論理	三谷和合	(58)58	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞漢方を一線の医療でもっと活用したい	三潴忠道	(59)59	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	南利雄	(59)59	1996年(平成08)・第43巻・01号

新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	宮崎綾子	(60)60	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	宮崎瑞明	(60)60	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	宮沢康朗	(60)60	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	宮本昭正	(61)61	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	宗像敬一	(61)61	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	室賀昭三	(61)61	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	望月博	(62)62	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	森一	(62)62	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	森由雄	(62)62	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	守井琴	(62)62	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	森崎信夫	(63)63	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	森下宗司	(63)63	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	矢数圭堂	(63)63	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	矢数道明	(63)63	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	山内浩	(64)64	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	山岸とき子	(64)64	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	山崎正寿	(64)64	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞コンピュータ診療に思う	山田寛幸	(64)64	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	山ノ内慎一	(65)65	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	梁哲周	(65)65	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	横倉照門	(65)65	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	横田観風	(66)66	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	吉崎文彦	(66)66	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	吉田種臣	(66)66	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞新年に陰陽虚実を想う	吉冨誠	(66)66	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	吉元昭治	(67)67	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	米田該典	(67)67	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	渡辺貞夫	(67)67	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	渡辺陽一	(68)68	1996年(平成08)・第43巻・01号
新年のことば　＜平成8年（1996年）＞	桂敏夫	(68)68	1996年(平成08)・第43巻・01号
＜第5回漢方湯液治療研究会特別講演＞舌所見と漢方薬方	三谷和合	(69)69	1996年(平成08)・第43巻・01号
＜第5回漢方湯液治療研究会指名講演＞日本の生薬の生産と資源	福田眞三	(76)76	1996年(平成08)・第43巻・01号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞桂枝・牡丹皮・附子（烏頭）による腰痛治験	福田佳弘	(84)84	1996年(平成08)・第43巻・01号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞柴胡桂枝乾姜湯の圧痛点	高木嘉子	(89)89	1996年(平成08)・第43巻・01号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞前胡による柴胡剤の代替運用	小高修司	(93)93	1996年(平成08)・第43巻・01号
感冒の治療経験（2）「口渇のある感冒」に対する桂枝二越婢一湯の治療経験について	森由雄	(101)101	1996年(平成08)・第43巻・01号
漢方牛歩録（139）急性膀胱炎の1例	中村謙介	(106)106	1996年(平成08)・第43巻・01号
女子医大雑話（29）＜皮膚疾患の3症例＞アトピー性皮膚炎に甘連大黄石膏湯加減▽ニキビに桂枝茯苓丸加ヨク苡仁▽アトピー性皮膚炎に小柴胡湯▽ニキビに桂枝加竜骨牡蠣湯加ヨク苡仁	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(108)108	1996年(平成08)・第43巻・01号
百合と百合病	横溝嘉昭	(112)112	1996年(平成08)・第43巻・01号
東洋堂経験余話（79）▽高血圧症と自律神経失調症の経験▽花粉症に荊芥連翹湯合麻杏甘石湯	松本一男	(114)114	1996年(平成08)・第43巻・01号
＜細野史郎先生7回忌記念＞座談会／細野史郎先生と漢方（2）	坂口弘・後藤實・細野八郎・山崎正寿・高橋久孝 司会）中田敬吾	(117)117	1996年(平成08)・第43巻・01号
近代漢方医学史に新生面を切り拓いた　陸淵雷著『傷寒論今釈』『金匱要略今釈』（2）	費維光 和訳）夏洪秋	(139)139	1996年(平成08)・第43巻・01号
トピックス／矢数道明氏の『漢方治療百話第8集』出版記念会開催会	編集局	(146)146	1996年(平成08)・第43巻・01号
書評／矢数道明著『漢方治療百話第8集』を読んで	長谷川弥人	(147)147	1996年(平成08)・第43巻・01号
書評／入江正著『漢方治療原論』	高橋敏	(148)148	1996年(平成08)・第43巻・01号
図書紹介／何金森著・上村澄夫訳　漢方エキス製剤運用のための『図解・中医方剤マニュアル』／別冊宝島編集部編『薬のウラがわかる本』／王米渠・王克勤・朱文鋒・張六通原著、磯島正・高口真一郎監修、小野正弘・松永樹浩翻訳『中医心理学』（中国漢方心身医学）	編集局	(149)149	1996年(平成08)・第43巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成7年12月＞	協会本部／編集局	(155)155	1996年(平成08)・第43巻・01号
@1996年(平成08)-第43巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（93）正倉院に現存する唐代8世紀前の薬物群	真柳誠	(2)178	1996年(平成08)・第43巻・02号
巻頭言／細野史郎先生の7回忌特集を読んで	寺澤捷年	(9)185	1996年(平成08)・第43巻・02号

＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞炙甘草湯が有効であったと考えられる不整脈例	永井良樹	(10)186	1996年(平成08)・第43巻・02号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞解急蜀椒湯が奏効した激しい腹痛の3症例	阿部勝利	(19)195	1996年(平成08)・第43巻・02号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞『結胸』とは何か	仲原靖夫	(22)198	1996年(平成08)・第43巻・02号
不眠に対する桂枝甘草湯の治療経験－50症例についての検討－	葛西浩史	(28)204	1996年(平成08)・第43巻・02号
女子医大雑話（30）＜頭痛の3症例＞頭が熱いという頭痛に黄連解毒湯▽めまい、むくみ、関節痛を伴う頭痛に半夏白朮天麻湯▽月経後の頭痛に桂枝茯苓丸	中野頼子・新井信・溝部宏毅	(33)209	1996年(平成08)・第43巻・02号
東洋堂経験余話（80）▽突発性難聴に防風通聖散料合香蘇散料▽感冒の頭痛に桂枝加芍薬生姜人参湯	松本一男	(38)214	1996年(平成08)・第43巻・02号
小児下痢症に対する啓脾湯の検討	宮崎瑞明・富田寛	(41)217	1996年(平成08)・第43巻・02号
病児の虚弱体質改善に「扶正固表」の散剤を	趙樹紅	(48)224	1996年(平成08)・第43巻・02号
漢方牛歩録（140）静脈瘤を伴う下腿痛	中村謙介	(52)228	1996年(平成08)・第43巻・02号
小柴胡湯合麻杏甘石湯による喉頭炎の1治験例	森由雄	(54)230	1996年(平成08)・第43巻・02号
ＳＬＥに漢方薬の併用が奏効した例	土方康世・安原昭博	(57)233	1996年(平成08)・第43巻・02号
慶応義塾大学病院における漢方専門外来の現状と今後の課題	石井弘一	(65)241	1996年(平成08)・第43巻・02号
座談会／肥満と漢方治療	林盈六・矢数圭堂・大貫進司会）原桃介	(71)247	1996年(平成08)・第43巻・02号
近代漢方医学史に新生面を切り拓いた　陸淵雷著『傷寒論今釈』『金匱要略今釈』（3）	費維光和訳）夏洪秋	(85)261	1996年(平成08)・第43巻・02号
『類聚方広義』散見／その12	笠原栄司	(91)267	1996年(平成08)・第43巻・02号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その4－	宮崎綾子	(96)272	1996年(平成08)・第43巻・02号
本草のうた（24）霊芝	吉田荘人	(104)280	1996年(平成08)・第43巻・02号
第6回漢方湯液研究会に期待する	伊藤清夫	(106)282	1996年(平成08)・第43巻・02号
ウェルカム医学史研究所「現代におけるアジア伝統医学」シンポジウム参加記	津谷喜一郎	(108)284	1996年(平成08)・第43巻・02号
トピックス／北里東医研のＷＨＯ伝統医学協力センター指定10周年記念式典挙行	編集局	(114)290	1996年(平成08)・第43巻・02号
図書紹介／曲直瀬道三著・矢数道明監訳『現代語訳　啓迪集』／山本徳子著『古典医書ダイジェスト』／寺師睦宗著『安岡正篤「やりたいこと」を必ずやり遂げる生き方』	編集局	(115)291	1996年(平成08)・第43巻・02号
@1996年(平成08)-第43巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（94）国宝・宋版『史記』の扁鵲倉公列伝	小曽戸洋・真柳誠	(2)322	1996年(平成08)・第43巻・03号
巻頭言／石膏と大医の言	寺師睦宗	(9)329	1996年(平成08)・第43巻・03号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞口唇およびその周辺の疼痛・違和感に対する漢方治療について	村主明彦	(10)330	1996年(平成08)・第43巻・03号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞小建中湯の奏効した症例について	鈴木邦彦・小泉久仁弥	(13)333	1996年(平成08)・第43巻・03号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞暑気当りにカッ香正気散の応用	細川喜代治	(16)336	1996年(平成08)・第43巻・03号
＜第5回漢方湯液治療研究会講演＞漢方療法、湯液からエキスへ、エキスから湯液へ。及び「薬方の証」について	高橋法昭	(20)340	1996年(平成08)・第43巻・03号
漢方診療余話（10）▽月経不順、唇と手掌の荒れに温経湯▽肩こりに桂枝加葛根湯合桂枝茯苓丸料▽耳鳴に柴胡加竜骨牡蠣湯	永井良樹	(47)367	1996年(平成08)・第43巻・03号
東洋堂経験余話（81）▽糖尿病に牛車腎気丸料▽肝斑に柴胡加芒硝湯	松本一男	(50)370	1996年(平成08)・第43巻・03号
胸痺の治療経験	森由雄	(53)373	1996年(平成08)・第43巻・03号
女子医大雑話（31）＜大腸疾患の3症例＞潰瘍性大腸炎に胃風湯合黄連解毒湯▽クローン病に小建中湯▽虚血性大腸炎に小柴胡湯合桂枝茯苓丸	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(57)377	1996年(平成08)・第43巻・03号
「千葉漢方研究会」講演内容（11）日本漢方の疾病観（その3）	講師）中村謙介	(63)383	1996年(平成08)・第43巻・03号
患者側から見た漢方私見	古矢元佑	(73)393	1996年(平成08)・第43巻・03号
「排除を伴わない補瀉法」と直接の補瀉／脈診法を発見し、経穴と上薬とを発見して	日合奨	(79)399	1996年(平成08)・第43巻・03号
日本の漢方診療の現状と今後（49）	伊藤清夫	(96)416	1996年(平成08)・第43巻・03号
浅井貞庵『方彙講談』（瘍科）（8）	岡利幸・山田博一	(99)419	1996年(平成08)・第43巻・03号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（4）	千葉古方漢方研究会	(105)425	1996年(平成08)・第43巻・03号
近代漢方医学史に新生面を切り拓いた　陸淵雷著『傷寒論今釈』『金匱要略今釈』（4）	費維光和訳）夏洪秋	(109)429	1996年(平成08)・第43巻・03号
おおざっぱ　こざっぱ　ちゅうざっぱ	小林幹典	(116)436	1996年(平成08)・第43巻・03号
図書紹介／市川次郎著『東亜における酒と医療の起原』／平馬直樹・兵頭明・路京華・劉公望監修『中医学の基礎』／国際中医学研究会編『図解臨床針灸処方の実際』	編集局	(121)441	1996年(平成08)・第43巻・03号
トピックス／漢方治療シンポジウム開催	編集局	(122)442	1996年(平成08)・第43巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年1・2月＞	協会本部／編集局	(128)448	1996年(平成08)・第43巻・03号
@1996年(平成08)-第43巻-04号-＜創刊500号記念号1＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（95）国宝、『新修本草』仁和寺本	真柳誠	(2)474	1996年(平成08)・第43巻・04号
巻頭言／これからの老人医療－西洋医学と漢方医学の融合の必要性－	折茂肇	(11)483	1996年(平成08)・第43巻・04号

＜創刊500号記念＞私の好きな頻用処方と治験集	矢数道明	(12)484	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞父のこと、恩師のことなど	大塚恭男	(27)499	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞九味檳榔湯の成立を巡る考証	小山誠次	(39)511	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞健保に採用されていない処方	坂口弘	(55)527	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞非伝染性感染症の漢方治療	緒方芳郎	(59)531	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞【自験例】閉経前、閉経後、常習頭痛の変化	蓮村幸兌	(75)547	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞悪夢に対する黄連阿膠湯の治験例	畑靖子	(81)553	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞私の好きな薬方／黄連阿膠湯について	小池加能	(86)558	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞麦門冬湯治験ほか	佐藤至朗	(93)565	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞癌に挑戦する	張瓏英	(96)568	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞寒熱に基準温度はあるか	伊藤嘉紀	(106)578	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞続婦人薬の「振出し、煎剤」考	今泉清	(122)594	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞少陰病と咽頭痛	鎌田慶市郎	(129)601	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞移情易性と妊娠	小野正弘	(131)603	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞バイ・ディジタルO-リングテストからみた葛根湯の抗ウィルス効果	原田一哉・杉江敏行・楊孝康・横内正典	(135)607	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞患者さんを「診る」ということ－扁鵲曰く「病、内に在れば、応、外にあらわる」－	三谷和合	(140)612	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞敦煌古医籍に見る「肝」の治法について－≪輔行訣臓腑用薬法要≫と≪宋版傷寒雑病論≫の比較－	小高修司	(149)621	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞百味箪笥	田畑隆一郎	(165)637	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞日本漢方のパラダイム確立	吉岡信	(169)641	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞つれづれなるままに	王瑞雲	(177)649	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞≪傷寒論≫に対する古方漢方的立場からの新しい読み方	横田観風	(186)658	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞仏教の五大が陰陽五行および三陰三陽経絡流注と係わる診療（経絡心肺装置）	佐々木鍼岳	(203)675	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞補脾か補腎か（特に加齢者の場合において）	宮崎綾子	(206)678	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞意釈病根精義弁	小曽戸丈夫	(215)687	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞精気神とその周辺	吉元昭治	(229)701	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞漢方薬の乱用への警鐘	中田敬吾	(241)713	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞東洋医学の教育、教科書について	長瀬千秋	(245)717	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞『医断』が世に出るまで	西岡一夫	(249)721	1996年(平成08)・第43巻・04号
＜創刊500号記念＞尾州藩医柴田承慶翁とその家系について	矢数道明	(265)737	1996年(平成08)・第43巻・04号
女子医大雑話（32）＜神経症の2例＞神経症に半夏厚朴湯▽過換気症候群に五苓散	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(268)740	1996年(平成08)・第43巻・04号
附子理中湯の治療経験	森由雄	(273)745	1996年(平成08)・第43巻・04号
犀川龍（平田美世造）氏の逝去を悼む	矢数道明	(277)759	1996年(平成08)・第43巻・04号
第47回日本東洋医学会学術総会を間近に　藤井美樹会頭・杵渕彰準備委員長をお訪ねして	編集局・藤井美樹・杵渕彰	(279)751	1996年(平成08)・第43巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年3月＞	協会本部／編集局	(291)763	1996年(平成08)・第43巻・04号
@1996年(平成08)-第43巻-05号-＜創刊500号記念号2＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（96）伊沢蘭軒門下の『素問』研究－渋江抽斎筆『素問次注筆録』－	真柳誠	(2)786	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞傷寒論に記述されている虚実の意義（傷寒論でいう虚実－続編－）	山田光胤	(11)795	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞釣藤散証に口渇がないのは何故か？－証に対する疑問－	原敬二郎	(24)808	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞“かぜの漢方治療”について	中川良隆	(28)812	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞合病・併病・潜証（錯綜した病態を解きほぐす）	中村謙介	(58)842	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞大承気湯証と陰虚証の併存について	福田佳弘	(73)857	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞漢方治療とＱＯＬ（生活の質）－陰性の急性疾患の症例を中心に－	宗像敬一・宗像久美子	(79)863	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞難治性突発性難聴に対する1漢方治験例	宮崎瑞明	(85)869	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞私の好きな処方／茯苓杏仁甘草湯	南利雄	(90)874	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞最近、私を悩ました症例	田村嘉章	(99)883	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞脳卒中早期の治験	渡辺陽一	(104)888	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞『傷寒論』における或症について	岩崎勲	(107)891	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞漢方の煎剤とエキス剤との相違について	藤平健	(112)896	1996年(平成08)・第43巻・05号
松下嘉一先生、千葉県医師会学術奨励賞受賞	鎌田慶市郎	(114)898	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞栗園医訓の解	長谷川弥人	(115)899	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞緑茶のすすめ	西岡五夫	(138)922	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞日本民族は食で亡びるのか－食難・国難の時代－	陣内弘和	(144)928	1996年(平成08)・第43巻・05号

＜創刊500号記念＞医療の広がりと漢方薬学	谿忠人	(147)931	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞徳本を訪ねて	大友一夫	(155)939	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞『中国医学通史』医史文物図譜巻について	吉田荘人	(172)956	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞『医心方』の編纂者丹波康頼－後漢霊帝後裔説、医学の師などを中心に	谷田伸治	(181)965	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞望診（察色）の文献的研究－『霊枢』を中心に	宮川浩也	(193)977	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞『諸病源候論』に於ける難症の瘡瘍病（所謂アトピー性皮膚炎類似症等の湿瘡類）の考察	西脇平士	(206)990	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞脉診と薬方の運用について	真鍋立夫	(221)1005	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞薬物療法の科学化に向けての一提案－ＮＭ－ＮＳ－ＺＲ－ＰＳ－ＰＭマトリックスの応用－	古賀正通・田代千秋・古賀康八郎・古賀裕之	(231)1015	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞経脈と経穴の同時治療について	入江正	(245)1029	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞韓国の伝統医学	金成俊	(251)1035	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞近現代における中国伝統医学の発展と問題	王鉄策	(261)1045	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞伝統医学と現代医学の関係をめぐって－ヨーロッパの立場から－	Reissenweber,H	(271)1055	1996年(平成08)・第43巻・05号
＜創刊500号記念＞漢方を科学する	穐吉健治	(277)1061	1996年(平成08)・第43巻・05号
女子医大雑話（33）＜寒熱の治療において難渋している3症例＞	中野頼子・新井信・溝部宏毅	(281)1065	1996年(平成08)・第43巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年4月＞	協会本部／編集局	(290)1074	1996年(平成08)・第43巻・05号
@1996年(平成08)-第43巻-06号-＜創刊500号記念号3＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（97）中神琴渓の自賛肖像画二軸	小曽戸洋	(2)1098	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞大黄の臨床応用	小川幸男	(11)1107	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞二朮湯について	久保田富也・久保田達也	(22)1118	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞才血と脳梗塞	松下嘉一	(29)1125	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞併病に関する小考察	木下恒雄	(53)1149	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞奔豚湯（金匱）が奏効した奔豚気病の1例	永井良樹	(63)1159	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞肝疾患の臨床／特に肝癌・肝硬変証について	小川新	(67)1163	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞皮膚疾患と利水剤（五苓散）	二宮文乃	(78)1174	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞私の好きな処方／半夏白朮天麻湯	長瀬千秋	(84)1180	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞桂枝茯苓丸が奏功した子宮内嚢腫様腫瘤の1例	今田屋章	(87)1183	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞過敏性腸症候群に対する平胃散の使用成績－平胃散は過敏性腸症候群の治療薬になりうるか－	徳留一博	(91)1187	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞茯苓飲の使用法について	浮田徹也	(99)1195	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞更年期の神経症の1例	小曽戸明子	(105)1201	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞私の好きな頻用処方と治験集（2）	矢数道明	(108)1204	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞全人医療としての漢方医薬学	宮崎綾子	(118)1214	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞痔核治療の変遷について－昭和初期の2冊の書物－	宮川昭平	(123)1219	1996年(平成08)・第43巻・06号
真柳誠氏、茨城大学教授に就任	編集局	(132)1228	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞幕末以後の『医心方』半井家本	杉立義一	(133)1229	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞漢方保険診療とその注意点	菊谷豊彦	(144)1240	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞石原保秀先生の事蹟	難波恒雄	(151)1247	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞現代薬学生の漢方観	小曽戸洋	(169)1265	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞東方医学における物象比類の発想とその手法について	杉山広重	(188)1284	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞傷寒論（仲景書）の心下痞堅と心下痞コウの差異についての考察　－各種古文献の比較による傷寒論の条文の検討の試み－	牧角和宏	(193)1289	1996年(平成08)・第43巻・06号
＜創刊500号記念＞二人の「徳本」、二冊の『梅花無尽蔵』	大友一夫	(206)1302	1996年(平成08)・第43巻・06号
女子医大雑話（34）＜唾液分泌亢進の2症例＞下顎骨腫瘍切除術後の唾液分泌亢進に人参湯▽「よだれが多くて困る」という子供に越婢加朮湯	新井信・中野頼子・溝部宏毅	(209)1305	1996年(平成08)・第43巻・06号
漢方牛歩録（141）脱汗・煩躁を伴う急性腸炎	中村謙介	(214)1310	1996年(平成08)・第43巻・06号
東洋堂経験余話（82）▽看病のストレスによる不眠症に甘草瀉心湯▽帯下と夜間の頻尿に白朮附子湯	松本一男	(216)1312	1996年(平成08)・第43巻・06号
浅井貞庵『方彙講談』（瘍科）（9）	岡利幸・山田博一	(219)1315	1996年(平成08)・第43巻・06号
浅井貞庵『方彙講談』　訓読完了に当って	山田光胤	(230)1326	1996年(平成08)・第43巻・06号
『漢方治療百話第8集』データア・ブックとしての読み方について	杉山広重	(232)1328	1996年(平成08)・第43巻・06号
第47回日本東洋医学会学術総会、そして中国からの日本漢方批判	秋葉哲生	(239)1335	1996年(平成08)・第43巻・06号
トピックス／日本東洋医学会学術総会、横浜で開催／陳立夫賞受賞祝賀会、椿山荘で開催	編集局	(244)1340	1996年(平成08)・第43巻・06号
西安・南陽・鄭州漢方の旅	渡邊武	(249)1345	1996年(平成08)・第43巻・06号
図書紹介／矢数道明監訳・曲直瀬道三原著　現代語訳『啓迪集』	島田隆司	(260)1356	1996年(平成08)・第43巻・06号
図書紹介／松本一男著『漢方治療による東洋堂経験録』第2集	編集局	(261)1357	1996年(平成08)・第43巻・06号

漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年5月＞	協会本部／編集局	(266)1362	1996年(平成08)・第43巻・06号
@1996年(平成08)-第43巻-07号-＜創刊500号記念号4＞			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（98）前漢時代の墓から出土した黒漆木製人形－はたして経絡人形か－	真柳誠	(2)1386	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞加味逍遥散の運用について	矢数圭堂	(11)1395	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞高血圧症の漢方治療	高山宏世	(19)1403	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞葛根湯の乳汁分泌に及ぼす影響	石野尚吾・花輪壽彦・丁宗鐵・長橋尤	(26)1410	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞卵巣機能不全と思われない不妊症の4例	渡辺陽一	(33)1417	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞高齢者と朮－老人病に対する朮の使い方－	大西和子	(40)1424	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞高齢者の弛緩性便秘に対する潤腸湯と麻子仁丸の体力差を考慮した効果比較	石岡忠夫	(47)1431	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞私の好きな頻用処方と治験集（3）	矢数道明	(54)1438	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞虚実相兼ぬる治療について－内藤希哲『医経解惑論』－	寺師睦宗	(62)1446	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞桂枝附子湯と桂枝加附子湯／壊病の戒め－康平傷寒論十三字詰の一条文について－	山田光胤	(67)1451	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞「藤平流」眼（漢）方随聞記	山ノ内慎一	(75)1459	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞経絡現象の研究から生まれた風湿論	十河孝博	(79)1463	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞試論・「地象」の医学的考察／天地人三才・陰陽交感の発想に基づく	杉山広重	(96)1480	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞中山忠直伝－現代漢方復興の恩人－	多留淳文	(101)1485	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜創刊500号記念＞植村左平次政勝の大和採薬行と駒場御薬園について	原桃介	(129)1513	1996年(平成08)・第43巻・07号
＜インタビュー＞「21世紀の漢方をめざして」（上）	安井廣迪 聞き手）土屋伊磋雄	(139)1523	1996年(平成08)・第43巻・07号
紙魚と染み	佐竹貞治郎	(157)1541	1996年(平成08)・第43巻・07号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（1）	西沢一	(163)1547	1996年(平成08)・第43巻・07号
貨幣状湿疹・湿潤型の漢方治療	東一紀	(166)1550	1996年(平成08)・第43巻・07号
漢方診療おぼえ書（157）▽肺真菌症に千金内托散	緒方玄芳	(170)1554	1996年(平成08)・第43巻・07号
女子医大雑話（35）＜整形外科疾患の4症例＞膝の痛みに防已黄耆湯▽肩の痛みに桂枝加朮附湯▽腰痛に疎経活血湯加附子▽野球が出来ないに八味丸	溝部宏毅・新井信・中野頼子	(172)1556	1996年(平成08)・第43巻・07号
背部痛の治療経験	森由雄	(177)1561	1996年(平成08)・第43巻・07号
東洋堂経験余話（83）▽糖尿病による下肢脱力に八味丸料加木瓜鹿茸▽腰痛に芍甘黄辛附湯による治験	松本一男	(181)1565	1996年(平成08)・第43巻・07号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（5）	千葉古方漢方研究会	(184)1568	1996年(平成08)・第43巻・07号
本草のうた（25）荔枝	吉田荘人	(188)1572	1996年(平成08)・第43巻・07号
愛知医師流行評判鑑番附	矢数道明	(194)1578	1996年(平成08)・第43巻・07号
陳立夫中医薬学術奨を受賞して	寺澤捷年	(196)1580	1996年(平成08)・第43巻・07号
中華民国生薬学会1996年学術総会参加と高雄医学院訪問記	宮崎瑞明	(200)1584	1996年(平成08)・第43巻・07号
平成7年（1995）漢方略史年表	矢数道明	(202)1586	1996年(平成08)・第43巻・07号
書評／日本刺絡学会編『刺絡鍼灸マニュアル』	岡田明祐	(212)1596	1996年(平成08)・第43巻・07号
図書紹介／黄度渕原著・ハイ元植監修　吉元昭治・川島繁男・工藤和穂訳注『方薬合編』	編集局	(213)1597	1996年(平成08)・第43巻・07号
トピックス／大塚恭男北里東医研所長退任記念パーティー、パレスホテルで／日本医史学会総会、札幌で開催	編集局	(214)1598	1996年(平成08)・第43巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年6月＞	協会本部／編集局	(221)1605	1996年(平成08)・第43巻・07号
@1996年(平成08)-第43巻-08号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（99）湯本求真の処方箋（1）	小曽戸洋	(2)1626	1996年(平成08)・第43巻・08号
＜千葉東洋医学懇話会講演内容＞東洋医学懇話会／（1）小柴胡湯の使い方と類証の鑑別（2）小柴胡湯の用法－健康保険上の問題－（3）小柴胡湯の副作用について	藤平健・松下嘉一	(9)1633	1996年(平成08)・第43巻・08号
女子医大雑話（36）＜四君子湯加味方が有効であったLow T3 Syndromeの2症例＞結婚後のストレスによる拒食に四君子湯▽食事療法による急激なやせに四君子湯	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(36)1660	1996年(平成08)・第43巻・08号
漢方診療余話（11）▽眼の奥の痛み、耳鳴りに五苓散料▽胃弱に胃風湯▽アトピー性皮膚炎に桂枝加黄耆湯	永井良樹	(41)1665	1996年(平成08)・第43巻・08号
キョ暑薬方備用のために（1994年酷暑の体験より）	杉山広重・眞重雄	(44)1668	1996年(平成08)・第43巻・08号
補陰薬の補足による難治性アトピー性皮膚炎の有効性	土方康世・塚本祐壮・陸希	(55)1679	1996年(平成08)・第43巻・08号
不妊の治療経験	森由雄	(67)1691	1996年(平成08)・第43巻・08号
『傷寒論』における「急」症の意味	岩崎勲	(71)1695	1996年(平成08)・第43巻・08号
漢方診療おぼえ書（158）▽肝内部胆管腫瘍に補中益気湯加茵チン蒿▽肩凝りに延年半夏湯	緒方玄芳	(80)1704	1996年(平成08)・第43巻・08号
漢方牛歩録（142）胸郭形成術経験者の喘鳴	中村謙介	(82)1706	1996年(平成08)・第43巻・08号
畑の中の面々（22）主之考	田畑隆一郎	(84)1708	1996年(平成08)・第43巻・08号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その5－	宮崎綾子	(90)1714	1996年(平成08)・第43巻・08号

＜インタビュー＞「21世紀の漢方をめざして」（下）	安井廣迪 聞き手）土屋伊磋雄	(97)1721	1996年(平成08)・第43巻・08号
上薬の役割分担と定義／方剤固有の作用特性と作用機構	日合奬	(111)1735	1996年(平成08)・第43巻・08号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（2）	西沢一	(126)1750	1996年(平成08)・第43巻・08号
アメリカ漢方講習会への旅	小川新	(129)1753	1996年(平成08)・第43巻・08号
図書紹介／二宮文乃著『アトピー性皮膚炎の漢方診療マニュアル』／菊谷豊彦・広瀬滋之編集『漢方治療マニュアル』	編集局	(132)1756	1996年(平成08)・第43巻・08号
@1996年(平成08)-第43巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（100）湯本求真の処方箋（2）	小曽戸洋	(2)1786	1996年(平成08)・第43巻・09号
巻頭言／柴胡と当帰	大塚恭男	(9)1793	1996年(平成08)・第43巻・09号
六君子湯の出典	小山誠次	(10)1794	1996年(平成08)・第43巻・09号
漢方診療余話（12）▽便秘に中建中湯（去膠飴）加大黄▽円形脱毛に柴胡桂枝湯加竜骨牡蠣▽鬱病に竜骨湯	永井良樹	(29)1813	1996年(平成08)・第43巻・09号
四逆湯類の自験	高木嘉子	(32)1816	1996年(平成08)・第43巻・09号
黄ゴン湯の治療経験	森由雄	(35)1819	1996年(平成08)・第43巻・09号
東洋堂経験余話（84）▽月経困難症に当帰芍薬散料加大黄▽熱っぽい頭痛に解急蜀椒湯	松本一男	(39)1822	1996年(平成08)・第43巻・09号
漢方診療おぼえ書（159）＜患者の訴えを吟味すること＞	緒方玄芳	(42)1826	1996年(平成08)・第43巻・09号
女子医大雑話（37）＜こころの病気の3症例＞鬱病に竜骨湯▽月経前に増悪する呼吸困難感に半夏厚朴湯合当帰芍薬散▽陰茎部の鈍痛に柴胡加竜骨牡蠣湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(44)1828	1996年(平成08)・第43巻・09号
「千葉漢方研究会」講演内容（12）日本漢方の疾病観（その4）	講師）中村謙介	(50)1834	1996年(平成08)・第43巻・09号
統合的漢方医学理論の提唱	秋葉哲生	(64)1848	1996年(平成08)・第43巻・09号
敦煌本『明堂経』の復元ならびに原『明堂経』に関する考察	遠藤次郎・梁永宣	(71)1855	1996年(平成08)・第43巻・09号
≪金匱漫歩≫その1	玉置英成	(86)1870	1996年(平成08)・第43巻・09号
本草のうた（26）孫真人『海上方』（1）	吉田荘人	(91)1875	1996年(平成08)・第43巻・09号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（3）	西沢一	(96)1880	1996年(平成08)・第43巻・09号
宗田一先生の思い出	真柳誠	(99)1883	1996年(平成08)・第43巻・09号
唐津の吉冨兵衛氏を偲ぶ	土屋伊磋雄	(101)1885	1996年(平成08)・第43巻・09号
第2回白樺湖シンポジウム参加報告	秋葉哲生	(102)1886	1996年(平成08)・第43巻・09号
トピックス／和漢医薬学会大会、富山で開催／荒木性次先生生誕百年の集い	編集局	(106)1890	1996年(平成08)・第43巻・09号
図書紹介／大塚恭男著『東洋医学』／趙明鋭著・趙樹胆訳『臨床必携傷寒・金匱40処方』／平馬直樹他20数名著『アトピー性皮膚炎の漢方治療』	編集局	(107)1891	1996年(平成08)・第43巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年7月・8月＞	協会本部／編集局	(116)1900	1996年(平成08)・第43巻・09号
@1996年(平成08)-第43巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（101）中国11世紀の医事風景－『清明上河図』より－	真柳誠	(2)1922	1996年(平成08)・第43巻・10号
巻頭言／随証治療の意味するもの－湯液治療を科学的に行い、日本漢方の発展を－	伊藤清夫	(9)1929	1996年(平成08)・第43巻・10号
アトピー性皮膚炎の顔面潮紅の漢方治療－清熱剤無効例をどう治すか	東一紀	(10)1930	1996年(平成08)・第43巻・10号
麻黄製剤の抑尿作用	小山誠次	(21)1941	1996年(平成08)・第43巻・10号
漢方牛歩録（143）職員の下痢2題	中村謙介	(34)1954	1996年(平成08)・第43巻・10号
漢方診療おぼえ書（160）▽頑固な咳痰に清肺湯▽咳と痰に清肺湯▽咳、痰に麦門冬湯▽長びいた咳、痰に括楼枳実湯	緒方玄芳	(36)1956	1996年(平成08)・第43巻・10号
東洋堂経験余話（85）▽自覚症状の多い患者に半夏厚朴湯▽大病後の腹満に厚朴生姜半夏甘草人参湯加大黄	松本一男	(38)1958	1996年(平成08)・第43巻・10号
女子医大雑話（38）＜“ありふれた”症例＞風邪に五苓散▽肺の痙攣に芍薬甘草湯▽椎間板ヘルニアに五苓散	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(42)1962	1996年(平成08)・第43巻・10号
Ｏ－157感染症に思う－張仲景の史実の再認識－	西脇平士	(46)1966	1996年(平成08)・第43巻・10号
洋漢統合臨床処方学の必要性について	秋葉哲生	(57)1977	1996年(平成08)・第43巻・10号
比較免疫学者Ｆ先生への手紙－蛞蝓について－	杉山広重	(61)1981	1996年(平成08)・第43巻・10号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（6）	千葉古方漢方研究会	(67)1987	1996年(平成08)・第43巻・10号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その6－	宮崎綾子	(72)1992	1996年(平成08)・第43巻・10号
本草のうた（27）孫真人『海上方』（2）	吉田荘人	(79)1999	1996年(平成08)・第43巻・10号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（4）	西沢一	(84)2004	1996年(平成08)・第43巻・10号
第6回漢方湯液治療研究会アルバム（平成8年9月29日）	編集局	(87)2007	1996年(平成08)・第43巻・10号
トピックス／北京中医薬大学創立40周年記念大会	松下嘉一	(92)2012	1996年(平成08)・第43巻・10号
トピックス／金匱会診療所40周年記念フォーラム開催	編集局	(93)2013	1996年(平成08)・第43巻・10号
図書紹介／金匱会診療所発行『漢方で治る病気の話』	編集局	(99)2019	1996年(平成08)・第43巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年9月＞	協会本部／編集局	(100)2020	1996年(平成08)・第43巻・10号
@1996年(平成08)-第43巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（102）新発見の馬玄台『難経正義』	王鉄策・小曽戸洋	(2)2042	1996年(平成08)・第43巻・11号

巻頭言／七五三に思うー若い女性の喫煙の悪影響ー	石野尚吾	(9)2049	1996年(平成08)・第43巻・11号
＜第6回漢方湯液治療研究会指名講演＞柴胡桂枝湯加葛根桔梗について	坂口弘	(10)2050	1996年(平成08)・第43巻・11号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞厚朴生姜半夏甘草人参湯の臨床	原敬二郎	(17)2057	1996年(平成08)・第43巻・11号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞大青竜湯の治療経験	森由雄	(21)2061	1996年(平成08)・第43巻・11号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞呉茱萸を含む処方による目の奥の痛みをともなう筋緊張性頭痛の治験例	橋本英樹	(27)2067	1996年(平成08)・第43巻・11号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞敦煌古医籍に則る「肺」の治法について	小高修司	(31)2071	1996年(平成08)・第43巻・11号
頓嗽湯（新妻方）に関する1考察	木下恒雄	(40)2080	1996年(平成08)・第43巻・11号
『傷寒論』における煎じ方ー大黄の濃縮度を中心にしてー	小根山隆祥・鈴木潮	(49)2089	1996年(平成08)・第43巻・11号
漢方診療余話（13）▽心臓喘息に木防已湯、増損木防已湯などを用いて▽パーキンソン病の手のふるえに抑肝散▽てんかんに柴胡加竜骨牡蠣湯加味	永井良樹	(59)2099	1996年(平成08)・第43巻・11号
漢方牛歩録（144）乳汁分泌不全に蒲公英湯加葛根	中村謙介	(64)2104	1996年(平成08)・第43巻・11号
漢方診療おぼえ書（161）▽3、4年つづいた渋り腹を伴う下痢に胃風湯▽下痢に啓脾湯▽慢性下痢に参苓白朮散料▽過敏性大腸炎に桂枝加芍薬湯	緒方玄芳	(66)2106	1996年(平成08)・第43巻・11号
女子医大雑話（39）＜柴胡桂枝湯の5症例＞元気がでて、めざめがよくなる薬▽栄養ドリンクのように効く薬▽肩こりに効く薬▽気になる臭いに効く薬▽蓄膿症に効く薬	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(68)2108	1996年(平成08)・第43巻・11号
四逆湯等の使用例	趙樹紅	(73)2113	1996年(平成08)・第43巻・11号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その1	笠原栄司	(78)2118	1996年(平成08)・第43巻・11号
温知荘雑筆　『啓迪集』周良策彦題辞の中の難解人名「丁林曰」について	矢数道明	(87)2127	1996年(平成08)・第43巻・11号
藤井康雄龍角散会長死去	編集局	(89)2129	1996年(平成08)・第43巻・11号
東洞祭の開催	小川新	(90)2130	1996年(平成08)・第43巻・11号
水戸における日本東洋医学会関東甲信越支部総会に出席して	秋葉哲生	(93)2133	1996年(平成08)・第43巻・11号
大塚敬節先生17回忌の法要	編集局	(94)2134	1996年(平成08)・第43巻・11号
図書紹介／細野史郎・講話『臨床傷寒論』	編集局	(95)2135	1996年(平成08)・第43巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年10月＞	協会本部／編集局	(99)2139	1996年(平成08)・第43巻・11号
@1996年(平成08)-第43巻-12号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（103）江戸期の医事風景	真柳誠	(2)2162	1996年(平成08)・第43巻・12号
巻頭言／リメンバー11・23	大貫進	(9)2169	1996年(平成08)・第43巻・12号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞癌の漢方湯液治療ー第1報　子宮癌・乳癌ー	新井基夫・伊藤清夫	(10)2170	1996年(平成08)・第43巻・12号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞変形性膝関節症における芍薬の役割	仲原靖夫・宮里稔・謝花隆光	(24)2184	1996年(平成08)・第43巻・12号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞回転性のめまいに沢瀉散	南利雄	(30)2190	1996年(平成08)・第43巻・12号
アトピー性皮膚炎の顔面潮紅の5例	東一紀	(35)2195	1996年(平成08)・第43巻・12号
女子医大雑話（40）＜帯状疱疹による疼痛の3症例＞	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(52)2212	1996年(平成08)・第43巻・12号
漢方牛歩録（145）夜尿症に白虎加人参湯兼大柴胡湯	中村謙介	(58)2218	1996年(平成08)・第43巻・12号
漢方診療おぼえ書（162）▽潰瘍性大腸炎に温清飲▽長年苦しんだ胃弱に安中散料▽便秘に桂枝加芍薬大黄湯	緒方玄芳	(60)2220	1996年(平成08)・第43巻・12号
本草のうた（28）孫真人『海上方』（3）	吉田荘人	(62)2222	1996年(平成08)・第43巻・12号
『傷寒論答問』を読む	長谷川弥人	(67)2227	1996年(平成08)・第43巻・12号
菊谷豊彦氏　日本医師会最高優功賞を受賞	編集局	(78)2238	1996年(平成08)・第43巻・12号
『傷寒論』可不可篇の研究（1）ー処方を記した条文に用いられている「宜」、「属証」、「与」の意義ー	遠藤次郎・呂愛平・中村輝子	(79)2239	1996年(平成08)・第43巻・12号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（5）	西沢一	(93)2253	1996年(平成08)・第43巻・12号
トピックス／日本漢方協会学術大会開催／漢方交流会、京都大会開催	編集局	(96)2256	1996年(平成08)・第43巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年11月＞	協会本部／編集局	(100)2260	1996年(平成08)・第43巻・12号
@1997年(平成09)-第44巻-01号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（104）『歴代名医図姓氏』の神農画像	小曽戸洋	(2)2	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	赤尾明俊	(10)10	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	赤尾清剛	(10)10	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	秋葉哲生	(10)10	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞留学生を迎えて	穐吉健治	(11)11	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞「黒船」	足立秀樹	(11)11	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	阿部勝利	(11)11	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	新井信	(12)12	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	荒川和男	(12)12	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	粟島行春	(13)13	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	池田政一	(13)13	1997年(平成09)・第44巻・01号

新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	石野尚吾	(13)13	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	板垣鋭司	(14)14	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	市来一彦	(14)14	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	伊藤敦之	(14)14	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	伊藤真愚	(15)15	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞大黄の自生地を旅して	伊藤敏雄	(15)15	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	伊藤嘉紀	(15)15	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	今泉清	(16)16	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	今村茂雄	(16)16	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	入江正	(16)16	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	岩下明弘	(17)17	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	浮田徹也	(17)17	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	宇都眞理子	(18)18	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	遠藤次郎	(18)18	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞縁のもの	王瑞雲	(19)19	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞新年に寄せて	大塚恭男	(19)19	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞抗生剤耐性菌と漢方医学	大友一夫	(20)20	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	大西和子	(20)20	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	大貫進	(20)20	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	大野安春	(21)21	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	大元一郎	(21)21	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	岡利幸	(22)22	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞経方理論のすすめ	岡部俊一	(22)22	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小曽戸明子	(23)23	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小根山隆祥	(23)23	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小野正弘	(23)23	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞地球にとっての“癒し”の年に	帯津良一	(24)24	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞これからの老人医療には東洋医学の導入が急務	折茂肇	(24)24	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	遠田裕政	(24)24	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞小柴胡湯の偉力に驚く	葛西浩史	(25)25	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	笠原栄司	(25)25	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	柏木佑記慧	(26)26	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	加世田弘道	(26)26	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	桂敏夫	(26)26	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	香取俊光	(26)26	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞霊泉寺阿弥陀如来（県宝）の胎内宝物について	金子力	(27)27	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	鎌田慶市郎	(27)27	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	河野順	(27)27	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	菊谷豊彦	(28)28	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	木下勤	(28)28	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	木下恒雄	(29)29	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	草間光一	(29)29	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	楠裕次	(30)30	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	久保田富也・久保田達也	(30)30	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	粂川義雄	(30)30	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞薬ではなく生活改革を	桑木崇秀	(31)31	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小池加能	(31)31	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小泉久仁弥	(32)32	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞東洋医学と西洋医学	古賀正通	(32)32	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小曽戸洋	(33)33	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞よく効く漢方薬は何よりの宝物	後藤實	(33)33	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小松一	(34)34	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	小山誠次	(34)34	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	昆健一郎	(34)34	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	今忠郎	(35)35	1997年(平成09)・第44巻・01号

新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	斎藤浩爾	(35)35	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞昨今の世相	坂口弘	(36)36	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	坂本秀治	(36)36	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	佐々木鍼岳	(36)36	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	佐竹貞治郎	(37)37	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	佐藤弘	(37)37	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	篠友三	(38)38	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	尚鎮国	(38)38	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞21世紀を目前にして、現実の癌治療に思う	神靖衛	(38)38	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	陣内弘和	(39)39	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞新年に憶う	杉立義一	(39)39	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	杉山広重	(39)39	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	角田睦子	(40)40	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	十河孝博	(40)40	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	高島文一	(41)41	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	高橋邦夫	(41)41	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	高橋貞則	(41)41	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	高橋法昭	(42)42	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	竹田明	(42)42	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	竹村一三	(42)42	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	田中邦雄	(42)42	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞奥田謙蔵先生の「温疫論講義」	谷田伸治	(43)43	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	田畑隆一郎	(43)43	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	田村嘉章	(44)44	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞漢方製剤の健保給付除外建議に対する私見	多留淳文	(44)44	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	張瓏英	(44)44	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	津谷喜一郎	(45)45	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	鶴田としこ	(46)46	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	寺澤捷年	(46)46	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	寺師睦宗	(46)46	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞平成9年を迎えて	土岐卓	(47)47	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	中井康雄	(47)47	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	永井良樹	(48)48	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	中島泰三	(48)48	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞新年に思う	中田敬吾	(48)48	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞迅速な印刷・発送の『漢方の臨床』	長門谷洋治	(49)49	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	仲原靖夫	(49)49	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	中村謙介	(49)49	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞牛牽きか牛追いか	鍋谷欣市	(50)50	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	難波恒雄	(50)50	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞田中愿仲と愿叔	西岡一夫	(50)50	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	西畑邦夫	(51)51	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	西脇平士	(51)51	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	二宮文乃	(52)52	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	根本幸一	(53)53	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	野口定子	(53)53	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	野崎豊	(54)54	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞伝統医学の継続発展を！！	橋口親義	(55)55	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	蓮村幸兌	(55)55	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	畑靖子	(56)56	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞浅井家の著書	長谷川弥人	(56)56	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞長い坂道	花輪壽彦	(57)57	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	濱中力	(57)57	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	林盈六	(57)57	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	林譽史朗	(58)58	1997年(平成09)・第44巻・01号

新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	原敬二郎	(58)58	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	原桃介	(58)58	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	平馬直樹	(59)59	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	広瀬滋之	(59)59	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	藤井美樹	(59)59	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞年齢	藤平健	(60)60	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	細川喜代治	(60)60	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞昨年の夏の出来事	細野八郎	(61)61	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	牧角和宏	(61)61	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	牧田憲太郎	(61)61	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	増田学道	(62)62	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	松浦敬一	(62)62	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	松岡睦友	(63)63	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	松下嘉一	(63)63	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	松田邦夫	(64)64	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	松橋俊夫	(64)64	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	松本一男	(65)65	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞風邪（ふうじゃ）に想う・・・	真鍋立夫	(65)65	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	真柳誠	(65)65	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	三谷和男	(66)66	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞今年の努力目標	三潴忠道	(66)66	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞今年の漢方雑感	南利雄	(67)67	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞水と健康	宮川昭平	(67)67	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	宮崎綾子	(68)68	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	宮崎瑞明	(68)68	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	宮沢康朗	(69)69	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞新春にあたり	宮本昭正	(69)69	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	宗像敬一	(70)70	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞歯の痛み	室賀昭三	(70)70	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	村田英則	(71)71	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	村松慎一	(71)71	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	望月博	(71)71	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	森一	(72)72	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	森由雄	(72)72	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	守井琴	(72)72	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞「いい加減」に生きる	盛岡頼子	(72)72	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞真実の道は七転八倒	森崎信夫	(73)73	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	森下宗司	(73)73	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	矢数圭堂	(73)73	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞『漢方の臨床』誌特集号発刊の思い出	矢数道明	(74)74	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞東洋医学科の現実を乗り越える	山内浩	(75)75	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	山崎正寿	(76)76	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞年頭のご挨拶と所感	山田光胤	(76)76	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞新しい緩和医療を目指して	山田寛幸	(77)77	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	山ノ内慎一	(77)77	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	山本昇吾	(77)77	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	山本整一	(78)78	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	梁哲周	(78)78	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	横倉照門	(79)79	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	吉田種臣	(79)79	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	吉元昭治	(79)79	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	米田該典	(79)79	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	渡辺貞夫	(80)80	1997年(平成09)・第44巻・01号
新年のことば　＜平成9年（1997年）＞	渡辺陽一	(80)80	1997年(平成09)・第44巻・01号
慢性鼻副鼻腔炎になぜ葛根湯か／葛根湯加辛夷川キュウのルーツ及び辛夷、黄ゴンに就て	柏木佑記慧	(81)81	1997年(平成09)・第44巻・01号

＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞狗脊を使用した2症例（バージャー病、交通事故による下半身完全麻痺）及び補陽・補陰薬の気血水・寒熱からみたその位置づけ	高橋法昭	(94)94	1997年(平成09)・第44巻・01号
勝勢飲の1例	今井純生・後藤伸佳・小寺一・牧田憲太郎	(115)115	1997年(平成09)・第44巻・01号
女子医大雑話（41）＜典型例の治療＞不眠に桂枝加竜骨牡蠣湯▽関節痛に桂枝加朮附湯▽気管支喘息に麻杏甘石湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(119)119	1997年(平成09)・第44巻・01号
≪金匱漫歩≫その2	玉置英成	(123)123	1997年(平成09)・第44巻・01号
癩疾への漢方医学の対応についてのノート	杉山広重	(127)127	1997年(平成09)・第44巻・01号
奥田謙蔵による『皇漢醫學』への書き込みについて	秋葉哲生	(141)141	1997年(平成09)・第44巻・01号
第3回国際中医腫瘤研討会に出席して	吉田種臣・室賀昭三	(146)146	1997年(平成09)・第44巻・01号
図書紹介／小曽戸洋著『中国医学古典と日本』／大塚敬節著・山田光胤校訂『金匱要略の研究』	編集局	(148)148	1997年(平成09)・第44巻・01号
トピックス／菊谷豊彦氏の日医最高優功賞受賞祝賀会／医史学の泰斗・宗田一先生の追悼会	編集局	(149)149	1997年(平成09)・第44巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成8年12月＞	協会本部／編集局	(154)154	1997年(平成09)・第44巻・01号
@1997年(平成09)-第44巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（105）『歴代名医図姓氏』の黄帝画像他	小曽戸洋	(2)178	1997年(平成09)・第44巻・02号
巻頭言／日本漢方の特色と口訣	山田光胤	(9)185	1997年(平成09)・第44巻・02号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞生薬治療により良好な経過をたどる甲状腺末分化癌の1例	広瀬滋之	(10)186	1997年(平成09)・第44巻・02号
桂姜棗草黄辛附湯の治療経験	森由雄	(15)191	1997年(平成09)・第44巻・02号
老人性皮膚ソウ痒症および貨幣状湿疹・乾燥型の漢方治療	東一紀	(20)196	1997年(平成09)・第44巻・02号
大腸菌Ｏ－157集団中毒について－漢方医学の立場より－	穴吹浩・松田滋明	(25)201	1997年(平成09)・第44巻・02号
顔の「ほてり」に対する柴胡桂枝乾姜湯の治験例	今泉清	(36)212	1997年(平成09)・第44巻・02号
女子医大雑話（42）＜視床出血後の症状に対し半夏厚朴湯を用いた症例＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(42)218	1997年(平成09)・第44巻・02号
漢方牛歩録（146）下半身脱力感に痿証方	中村謙介	(46)222	1997年(平成09)・第44巻・02号
漢方診療おぼえ書（163）▽膝関節水腫に防已黄耆湯、腓腸筋痙攣に芍薬甘草湯▽虚弱な小児に小建中湯▽胸部痛にヨク苡附子散料▽アレルギー性鼻炎（通年性）に辛夷清肺湯	緒方玄芳	(48)224	1997年(平成09)・第44巻・02号
軽度腎機能低下に対する漢薬投与の試み	針生雄吉	(50)226	1997年(平成09)・第44巻・02号
＜第6回漢方湯液治療研究会講演＞最近経験した漢方薬による肝障害の2例	阿部勝利	(55)231	1997年(平成09)・第44巻・02号
座談会／小柴胡湯をめぐって	荻原幸夫・丁宗鐵・足立秀樹司会）大塚恭男	(61)237	1997年(平成09)・第44巻・02号
防已（ボウシ）、防巳（ボウイ）、防己（ボウキ）について	宮崎瑞明・頼栄祥	(79)255	1997年(平成09)・第44巻・02号
針術療法によるハンセン病後遺症治療の初歩観察	孫延増・藤嶋由子・竹内千景・柳橋次雄・福西征子	(87)263	1997年(平成09)・第44巻・02号
日本東洋医学会民間薬調査研究委員会報告	荻原幸夫	(93)269	1997年(平成09)・第44巻・02号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（7）	千葉古方漢方研究会	(103)279	1997年(平成09)・第44巻・02号
木村雄四郎先生を偲んで	大塚恭男	(108)284	1997年(平成09)・第44巻・02号
図書紹介／松下嘉一著『漢方診断法』／三浦於菟著『東洋医学を知っていますか』／柯雪帆編著・兵頭明訳『中医弁証学』	編集局	(110)286	1997年(平成09)・第44巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年1月＞	協会本部／編集局	(115)291	1997年(平成09)・第44巻・02号
@1997年(平成09)-第44巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（106）『歴代名医図姓氏』の扁鵲・倉公・張仲景・華佗像	小曽戸洋	(2)314	1997年(平成09)・第44巻・03号
緊急座談会／漢方製剤の健保給付除外問題をめぐって	宮本昭正・佐藤弘・稲木一元司会）編集局	(9)321	1997年(平成09)・第44巻・03号
緊張型頭痛に対する漢方治療／西洋薬と漢方薬治療との比較検討	岡田耕造	(21)333	1997年(平成09)・第44巻・03号
女子医大雑話（43）＜大塚敬節先生の処方の3症例＞高血圧に七物降下湯▽狭心症に柴胡加竜骨牡蠣湯加黄連葛根▽顔面痙攣に抑肝散加芍薬厚朴	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(27)339	1997年(平成09)・第44巻・03号
東洋堂経験余話（86）▽潰瘍性大腸炎に柴胡桂枝湯加味▽吃逆に橘皮竹茹湯	松本一男	(34)346	1997年(平成09)・第44巻・03号
漢方牛歩録（147）間歇性跛行に温脾湯加味方兼八味丸	中村謙介	(38)350	1997年(平成09)・第44巻・03号
漢方診療おぼえ書（164）＜蕁麻疹に茵チン蒿湯（5例）＞	緒方玄芳	(40)352	1997年(平成09)・第44巻・03号
消化器疾患に対して漢方薬と針灸を併用した治療経験	森由雄	(42)354	1997年(平成09)・第44巻・03号
張仲景処方の新しい運用	龍家俊・張崎・陳新・李琳・金起漢	(47)359	1997年(平成09)・第44巻・03号
≪幻注≫（『北里研本』）に基づく『史記』倉公列伝の症例研究（1）	杉山広重	(51)363	1997年(平成09)・第44巻・03号
温知荘雑筆　近衛家薬籠の「白牛洞」後日譚	矢数道明	(57)369	1997年(平成09)・第44巻・03号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その2	笠原栄司	(59)371	1997年(平成09)・第44巻・03号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その7－	宮崎綾子	(69)381	1997年(平成09)・第44巻・03号
本草のうた（29）孫真人『海上方』（4）	吉田荘人	(79)391	1997年(平成09)・第44巻・03号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（6）	西沢一	(84)396	1997年(平成09)・第44巻・03号

「第2回立夫中医薬学術奨」受賞の栄に浴して	難波恒雄	(87)399	1997年(平成09)・第44巻・03号
追悼／木村雄四郎先生	滝戸道夫	(90)402	1997年(平成09)・第44巻・03号
追悼／木村雄四郎先生　追記	矢数道明	(91)403	1997年(平成09)・第44巻・03号
図書紹介／浅田宗伯原著・長谷川弥人訓読校注　訓読校注『傷寒論識』	坂口弘	(93)405	1997年(平成09)・第44巻・03号
図書紹介／小林健二デジタル編著・ヴァージョンアップ版『東洋医学原典総覧』／折茂肇監修『東洋医学ってなんだろう』／米田該典監修・鈴木洋著『漢方のくすりの事典』	編集局	(94)406	1997年(平成09)・第44巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年2月＞	協会本部／編集局	(100)412	1997年(平成09)・第44巻・03号
@1997年(平成09)-第44巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（107）宮内庁書陵部所蔵の宋版本草書『本草衍義』『新編類要図註本草』	真柳誠	(2)434	1997年(平成09)・第44巻・04号
巻頭言／日本の東洋医学の現状を憂う	新井信	(9)441	1997年(平成09)・第44巻・04号
漢方製剤の再評価－その経過と結果・方法をめぐる議論の実際	寺澤捷年	(10)442	1997年(平成09)・第44巻・04号
東洋堂経験余話（87）▽Ｃ型肝炎に対して四逆散料合四物湯加味の経験	松本一男	(17)449	1997年(平成09)・第44巻・04号
女子医大雑話（44）＜アレルギー性鼻炎の治療＞	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(24)456	1997年(平成09)・第44巻・04号
嘔吐の治療経験	森由雄	(27)459	1997年(平成09)・第44巻・04号
漢方牛歩録（148）慢性蕁麻疹に柴胡桂枝湯兼桂枝茯苓丸	中村謙介	(31)463	1997年(平成09)・第44巻・04号
漢方診療おぼえ書（165）▽カンジダ性膣炎、外陰部カンジダ症に十味敗毒湯加連翹（2例）▽月経痛に八味疝気方と桂枝茯苓丸▽アトピー性皮膚炎にキョ風敗毒散	緒方玄芳	(33)465	1997年(平成09)・第44巻・04号
微生物感染症に於ける漢方処方の考察／主として生薬の抗菌作用との関係	中井康雄	(35)467	1997年(平成09)・第44巻・04号
≪幻注≫（『北里研本』）に基づく『史記』倉公列伝の症例研究（2）A・B	杉山広重	(48)480	1997年(平成09)・第44巻・04号
名古屋市立大学図書館大神文庫古医書目録	小曽戸洋・荻原幸夫 名古屋市立大学図書館田辺通分館	(59)491	1997年(平成09)・第44巻・04号
受賞記念記録／立夫中医薬学術奨受賞と漢方薬研究回顧	木村正康	(75)507	1997年(平成09)・第44巻・04号
春日村の民間薬（1）	田中俊弘	(84)516	1997年(平成09)・第44巻・04号
本草のうた（30）銭峻『諸症歌訣』（1）	吉田荘人	(91)523	1997年(平成09)・第44巻・04号
図書紹介／永富独嘯庵原著・粟島行春著譯注『醫聖永富獨嘯菴』／江頭洋祐『気管支喘息・気管支炎・肺気腫の漢方治療』／菅沼伸監修・菅沼栄著『漢方方剤ハンドブック』	編集局	(95)527	1997年(平成09)・第44巻・04号
第48回日本東洋医学会学術総会を間近に／三谷和男副準備委員長をお訪ねして	編集局	(96)528	1997年(平成09)・第44巻・04号
第1回漢方研究奨励賞受賞者発表	編集局	(109)541	1997年(平成09)・第44巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年3月＞	協会本部／編集局	(110)542	1997年(平成09)・第44巻・04号
@1997年(平成09)-第44巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（108）宮内庁書陵部所蔵の古鈔本『千金方』遣唐使将来本による唐代旧態本	真柳誠・小曽戸洋	(2)562	1997年(平成09)・第44巻・05号
座談会／香川修庵を語る	山田光胤・大塚恭男・難波恒雄・小曽戸洋 司会）編集局	(9)569	1997年(平成09)・第44巻・05号
アトピー性皮膚炎の苔癬化に消風散、黄連解毒湯が奏効した2例	東一紀	(23)583	1997年(平成09)・第44巻・05号
漢方治療で良好な経過を示したリウマチ性多発筋痛症の2例	陣内弘和	(29)589	1997年(平成09)・第44巻・05号
漢方診療おぼえ書（166）▽呼吸困難、胸部圧迫感に苓甘姜味辛夏仁湯▽呼吸困難、胸部圧迫感に茯苓杏仁甘草湯▽呼吸困難に厚朴麻黄湯▽透析における合併症（肺水腫）による呼吸困難に茯苓杏仁甘草湯	緒方玄芳	(32)592	1997年(平成09)・第44巻・05号
黄ゴン加半夏生姜湯、葛根黄ゴン黄連湯で治療した熱性出血性下痢症の1症例	森由雄	(35)595	1997年(平成09)・第44巻・05号
女子医大雑話（45）＜漢方薬プラス灸の威力＞中カン、足三里の灸で訴えがなくなった▽中カン、足三里の灸で体重が増えた▽中カン、足三里の灸で腰痛がよくなった▽失眠の灸でふくらはぎの張りがよくなった▽三陰交の灸で基礎体温が2相性になった▽三陰交の灸で月経不順が治った	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(38)598	1997年(平成09)・第44巻・05号
東洋堂経験余話（88）▽右坐骨神経痛に四逆散料加味▽白血病に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料加味の経験	松本一男	(44)604	1997年(平成09)・第44巻・05号
漢方牛歩録（149）翼状片に越婢加朮湯	中村謙介	(48)608	1997年(平成09)・第44巻・05号
異形成上皮の治療	渡辺陽一	(50)610	1997年(平成09)・第44巻・05号
＜千葉東洋医学懇話会講演内容＞第2回東洋医学懇話会／（1）軽症高血圧症	講師）栗原伸夫 座長）松下嘉一	(55)615	1997年(平成09)・第44巻・05号
≪幻注≫（『北里研本』）に基づく『史記』倉公列伝の症例研究（3）C・D	杉山広重	(69)629	1997年(平成09)・第44巻・05号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（8）	千葉古方漢方研究会	(85)645	1997年(平成09)・第44巻・05号
≪金匱漫歩≫その3	玉置英成	(90)650	1997年(平成09)・第44巻・05号

図書紹介／主編・傅維康、福主編・呉鴻洲、翻訳・川井正久、川合重孝ほか『中国医学の歴史』／ウチダ和漢薬編　合本『和漢薬』（401－500号）／田畑隆一郎著『漢法サインポスト』／新村勝資・土屋憲明著『古典に学ぶ鍼灸入門』／小高修司著『中国医学の健康術』／単玉堂著・木田一歩訳『傷寒論鍼灸配穴選注』	編集局	(95)527	1997年(平成09)・第44巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年4月＞	協会本部／編集局	(101)661	1997年(平成09)・第44巻・05号
@1997年(平成09)-第44巻-06号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（109）香川修庵の遺墨（1）	町泉寿郎	(2)682	1997年(平成09)・第44巻・06号
巻頭言／東洋医学情報の電子化を！	稲木一元	(9)689	1997年(平成09)・第44巻・06号
＜第6回漢方湯液治療研究会特別講演＞小柴胡湯と肝癌予防	岡博子	(10)690	1997年(平成09)・第44巻・06号
女子医大雑話（46）＜腎疾患の2症例＞透析導入遅延に小柴胡湯去生姜合当帰芍薬散料など▽ネフローゼ症候群に五苓散料	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(24)704	1997年(平成09)・第44巻・06号
＜千葉東洋医学懇話会講演内容＞第2回東洋医学懇話会／（2）高血圧症一般の漢方知識（3）質疑応答	講師）栗原伸夫 座長）松下嘉一	(33)713	1997年(平成09)・第44巻・06号
昇陽瀉火法による高血圧症の治療	小高修司	(47)727	1997年(平成09)・第44巻・06号
最近のカルテの中から（1）▽大青竜湯の治験例▽大青竜湯を投与し、利尿により治癒した例	森由雄	(55)735	1997年(平成09)・第44巻・06号
漢方牛歩録（150）周期性嘔吐症とチックの少年	中村謙介	(58)738	1997年(平成09)・第44巻・06号
漢方診療おぼえ書（167）▽めまいに黄連解毒湯と桂枝茯苓丸▽めまいに沢瀉湯▽副鼻腔炎に托裏消毒散▽長引く打撲傷の疼痛に治打撲一方加附子	緒方玄芳	(60)740	1997年(平成09)・第44巻・06号
東洋堂経験余話（89）▽子どもがどうしても欲しい人に活血散オ湯▽気管支喘息に大柴胡湯合麦門冬湯加阿膠	松本一男	(62)742	1997年(平成09)・第44巻・06号
「食療」と西域の医学－油、酥、蜜を配含した処方の意義－	中村輝子・遠藤次郎	(65)745	1997年(平成09)・第44巻・06号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その3	笠原栄司	(77)757	1997年(平成09)・第44巻・06号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その8－	宮崎綾子	(86)766	1997年(平成09)・第44巻・06号
康平傷寒論の余話	長谷川弥人	(95)775	1997年(平成09)・第44巻・06号
図書紹介／菊谷豊彦編『現代漢方と各科臨床』／劉燕池ほか著・浅川要監訳『詳解・中医基礎理論』	編集局	(96)776	1997年(平成09)・第44巻・06号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（7）	西沢一	(97)777	1997年(平成09)・第44巻・06号
トピックス／日本東洋医学会学術総会、大阪で開催	編集局	(100)780	1997年(平成09)・第44巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年5月＞	協会本部／編集局	(108)788	1997年(平成09)・第44巻・06号
@1997年(平成09)-第44巻-07号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（110）香川修庵・南洋の遺墨（2）	町泉寿郎	(2)810	1997年(平成09)・第44巻・07号
巻頭言／二足の草鞋より	小川新	(9)817	1997年(平成09)・第44巻・07号
半在裏半在外から半表半裏へ（上）	小山誠次	(10)818	1997年(平成09)・第44巻・07号
漢方治療が奏効した慢性膵炎の1症例	岡田耕造	(21)829	1997年(平成09)・第44巻・07号
東洋堂経験余話（90）▽感冒の経験▽高血圧症に柴胡加竜骨牡蠣湯加黄連・釣藤	松本一男	(26)834	1997年(平成09)・第44巻・07号
更年期に代償性（？）鼻症状発作を示した1症例－≪金匱要略≫の「血分」の観点から解釈	小高修司	(29)837	1997年(平成09)・第44巻・07号
最近のカルテの中から（2）＜眩暈の治療経験＞桂枝加竜骨牡蠣湯の治験例▽沢瀉湯の治験例▽針灸による治験例	森由雄	(35)843	1997年(平成09)・第44巻・07号
女子医大雑話（47）＜痔に麻杏甘石湯ほか＞痔に麻杏甘石湯▽こじれた風邪に小柴胡湯▽アトピー性皮膚炎に黄耆建中湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(39)847	1997年(平成09)・第44巻・07号
漢方診療おぼえ書（168）▽糖尿病合併症に八味地黄湯加御種人参▽気管支喘息に五虎二陳湯	緒方玄芳	(43)851	1997年(平成09)・第44巻・07号
漢方牛歩録（151）慢性蕁麻疹に橘皮大黄朴硝湯	中村謙介	(45)853	1997年(平成09)・第44巻・07号
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（109）・（110）香川修庵・南洋の遺墨解説	町泉寿郎	(47)855	1997年(平成09)・第44巻・07号
正倉院御物中の石薬と益富寿之助氏の調査について	杉山広重	(77)885	1997年(平成09)・第44巻・07号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（9）	千葉古方漢方研究会	(88)896	1997年(平成09)・第44巻・07号
≪金匱漫歩≫その4	玉置英成	(93)901	1997年(平成09)・第44巻・07号
本草のうた（31）銭峻『諸症歌訣』（2）	吉田荘人	(99)907	1997年(平成09)・第44巻・07号
トピックス／ウチダ和漢薬研修大会、浅草で開催	編集局	(103)911	1997年(平成09)・第44巻・07号
津村重舎氏逝去	編集局	(103)911	1997年(平成09)・第44巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年6月＞	協会本部／編集局	(107)915	1997年(平成09)・第44巻・07号
@1997年(平成09)-第44巻-08号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（111）明治期漢医唱和『仙桃集』	矢数道明・町泉寿郎	(2)938	1997年(平成09)・第44巻・08号
巻頭言／故津村重舎殿を偲ぶ	大塚恭男	(9)945	1997年(平成09)・第44巻・08号
皮膚疾患に対する茯苓四逆湯の応用	井上淳子	(10)946	1997年(平成09)・第44巻・08号
漢方治療が奏効した登校拒否の3症例について	岡田耕造	(17)953	1997年(平成09)・第44巻・08号
最近のカルテの中から（3）▽黄連阿膠湯による不眠の1治験例▽桂枝去桂加茯苓白朮湯の1治験例	森由雄	(25)961	1997年(平成09)・第44巻・08号
女子医大雑話（48）＜とある3症例＞ステロイドによる胃腸障害に半夏瀉心湯▽皮膚の色素沈着に温清飲▽驚いた症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(28)964	1997年(平成09)・第44巻・08号

漢方診療おぼえ書（169）▽慢性関節リウマチに桂枝ニ越婢一湯加蒼朮ヨク苡仁烏頭▽クローン病に因る腸膀胱瘻、痔瘻に千金内托散	緒方玄芳	(33)969	1997年(平成09)・第44巻・08号
半在裏半在外から半表半裏へ（中）	小山誠次	(35)971	1997年(平成09)・第44巻・08号
腸管感染症の漢方治療について／≪尾台榕堂『霍乱治略』≫の記載を主として	岡利幸	(46)982	1997年(平成09)・第44巻・08号
座談会／奥田謙蔵先生を語る	藤平健・伊藤清夫・秋葉哲生 司会）中村謙介	(57)993	1997年(平成09)・第44巻・08号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その9－	宮崎綾子	(80)1016	1997年(平成09)・第44巻・08号
二代目津村重舎氏の逝去を悼む	矢数道明	(90)1026	1997年(平成09)・第44巻・08号
図書紹介／松宮光伸著『漢方の常識　非常識』／篠田達明著『闘う医魂小説　北里柴三郎』	編集局	(92)1028	1997年(平成09)・第44巻・08号
トピックス／セコム漢方システムが開設記念講演会開催／日本経絡学会が「日本伝統鍼灸学会」に改称	編集局	(93)1029	1997年(平成09)・第44巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年7月＞	協会本部／編集局	(102)1038	1997年(平成09)・第44巻・08号
@1997年(平成09)-第44巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（112）現存唯一の元『［家伝］日用本草』八巻本　－龍谷大学所蔵の貴重本より－	真柳誠	(2)1058	1997年(平成09)・第44巻・09号
巻頭言／医の倫理と医訓	岡利幸	(9)1065	1997年(平成09)・第44巻・09号
＜千葉東洋医学懇話会講演内容＞第3回東洋医学懇話会／併用療法	講師）鎌田慶市郎 座長）松下嘉一	(10)1066	1997年(平成09)・第44巻・09号
女子医大雑話（49）＜桂枝湯の3症例＞のぼせに桂枝湯▽頭痛と鼻出血に桂枝湯▽大腿部の痛みとしびれ感に桂枝湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(28)1084	1997年(平成09)・第44巻・09号
高齢者の軽度足背浮腫に対する五苓散と柴苓湯の体力差を考慮した効果比較	石岡忠夫	(35)1091	1997年(平成09)・第44巻・09号
東洋堂経験余話（91）▽感冒による高熱に麻黄細辛附子湯▽アトピー性皮膚炎に防風通聖散料	松本一男	(40)1096	1997年(平成09)・第44巻・09号
漢方牛歩録（152）産後より出現した下半身麻痺に痿証方・鍼治療など	中村謙介	(44)1110	1997年(平成09)・第44巻・09号
漢方診療おぼえ書（170）▽無月経から妊娠まで▽長引く咳と痰に清肺湯	緒方玄芳	(46)1102	1997年(平成09)・第44巻・09号
半在裏半在外から半表半裏へ（下）	小山誠次	(49)1105	1997年(平成09)・第44巻・09号
改訂『素問』「痿論篇」の病態認識と治療－現代脊髄神経病学の問題点－	小川新	(61)1117	1997年(平成09)・第44巻・09号
国際中医薬資訊典籍学術研討会に参加して	猪飼祥夫	(87)1143	1997年(平成09)・第44巻・09号
三谷和合先生逝去	編集局	(95)1151	1997年(平成09)・第44巻・09号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（8）	西沢一	(96)1152	1997年(平成09)・第44巻・09号
平成8年（1996）漢方略史年表	矢数道明	(99)1155	1997年(平成09)・第44巻・09号
トピックス／和漢医薬学会大会、大阪で開催／故津村重舎元会長の社葬執り行われる	編集局	(109)1165	1997年(平成09)・第44巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年8月＞	協会本部／編集局	(118)1174	1997年(平成09)・第44巻・09号
藤平健先生逝去	編集局	(118)1174	1997年(平成09)・第44巻・09号
@1997年(平成09)-第44巻-10号-＜藤平健先生を悼む＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（113）漢詩集『呉鳳集』	町泉寿郎	(2)1194	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞弔辞	寺澤捷年	(9)1201	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞故藤平健先生を憶う	大塚恭男	(12)1204	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生を悼む—大業を成した人	山田光胤	(13)1205	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞恩師藤平健先生を悼んで	鎌田慶市郎	(14)1206	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞落ち穂拾い－藤平健先生の思い出	秋葉哲生	(17)1209	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞追悼藤平健先生	笠原栄司	(18)1210	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞私のお会いした藤平健先生	中村謙介	(20)1212	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生のご逝去を悼みて	遠田裕政	(27)1219	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生と私	寺澤捷年	(30)1222	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞畑の中の藤平健先生	田畑隆一郎	(33)1225	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生の思い出	小池加能	(36)1228	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生を偲んで	久保田富也	(37)1229	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生に初めてお会いした日	久保田達也	(40)1232	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平健先生をお偲びして	高木嘉子	(41)1233	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平先生の教育法	山ノ内慎一	(43)1235	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜藤平健先生を悼む＞藤平先生の御逝去に想う	安井廣迪	(45)1237	1997年(平成09)・第44巻・10号
親族有志あいさつ	伊藤敦之	(47)1239	1997年(平成09)・第44巻・10号
故藤平健先生告別式	編集局	(48)1240	1997年(平成09)・第44巻・10号
追悼座談会／藤平健先生を偲ぶ	松下嘉一・寺澤捷年・中村謙介・今田屋章 司会）大塚恭男	(49)1241	1997年(平成09)・第44巻・10号
日本医学への展望－漢方漫筆－（藤平健先生・大学3年生（24歳）の時の論文）	藤平健	(73)1265	1997年(平成09)・第44巻・10号

＜藤平健先生追悼論文＞小児感染症における併病について	阿部勝利	(85)1277	1997年(平成09)・第44巻・10号
藤平健先生略年譜	作成）寺澤捷年 補足）編集局	(91)1283	1997年(平成09)・第44巻・10号
潰瘍性大腸炎に取り組んで	大西和子	(92)1284	1997年(平成09)・第44巻・10号
括楼牡蠣散について	岩崎勲	(97)1289	1997年(平成09)・第44巻・10号
乳幼児期のアトピー性皮膚炎の漢方治療	井上淳子	(101)1293	1997年(平成09)・第44巻・10号
女子医大雑話（50）＜皮膚疾患の3例＞蕁麻疹に香蘇散▽アトピー性皮膚炎に柴胡清肝湯▽アトピー性皮膚炎に補中益気湯加減	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(108)1300	1997年(平成09)・第44巻・10号
最近のカルテの中から（4）▽誤診した1症例▽桂枝二越婢一湯の1治験例▽白朮附子湯の1治験例	森由雄	(112)1304	1997年(平成09)・第44巻・10号
＜東洋医学愛好会討論会＞第1部／随法治療	伊藤浩史・伊藤嘉紀・松橋俊夫・森下宗司・船川明・宮川勝明・服部碩知・伊藤康雄	(117)1309	1997年(平成09)・第44巻・10号
本草のうた（32）銭峻『諸症歌訣』（3）	吉田荘人	(122)1314	1997年(平成09)・第44巻・10号
三谷和合先生追悼	坂口弘	(126)1318	1997年(平成09)・第44巻・10号
図書紹介／江部洋一郎・横田静夫著『経方医学』	寺澤捷年	(128)1320	1997年(平成09)・第44巻・10号
図書紹介／龍谷大学大宮図書館『和漢古典籍分類目録』『和漢古典籍貴重書解題』	編集局	(129)1321	1997年(平成09)・第44巻・10号
図書紹介／『東洋医学：漢字ナヴィ』	高橋法昭	(129)1321	1997年(平成09)・第44巻・10号
第7回漢方湯液治療研究会アルバム（平成9年9月28日）	編集局	(130)1322	1997年(平成09)・第44巻・10号
トピックス／漢方研究奨励賞授賞式執り行われる／日本東洋医学会が医療用漢方製剤の健保給付除外の動きに緊急対応策	編集局	(134)1326	1997年(平成09)・第44巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年9月＞	協会本部／編集局	(141)1333	1997年(平成09)・第44巻・10号
@1997年(平成09)-第44巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（114）華岡青洲と中神琴渓の書幅－中神俊子氏所蔵－	多留淳文	(2)1354	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生追悼論文＞藤平健先生の宿題－証が混在する場合の傷寒論的処理方法について－	田畑隆一郎	(9)1361	1997年(平成09)・第44巻・11号
銀翹散の使用経験	木下恒雄	(21)1373	1997年(平成09)・第44巻・11号
漢方薬治療により特異なる治癒過程を示した尋常性ザ瘡（ニキビ）の1症例	岡田耕造	(30)1382	1997年(平成09)・第44巻・11号
過敏性腸症候群の治験例	今泉清	(36)1388	1997年(平成09)・第44巻・11号
女子医大雑話（51）＜甘草乾姜湯について＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(44)1396	1997年(平成09)・第44巻・11号
漢方診療おぼえ書（171）▽正常眼圧緑内障に五苓散▽挫傷に治打撲一方加附子	緒方玄芳	(48)1400	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平健先生のご霊前に捧ぐ	矢数道明	(51)1403	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞南無・漢方大明神藤平健先生	盛克己	(54)1406	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平先生の思い出	千田五月	(55)1407	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平健先生を偲ぶ	福田佳弘	(56)1408	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平先生のベッド・サイドの思い出	高橋法昭	(58)1410	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平健先生を偲んで	堀野雅子	(59)1411	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞嗚呼偉大なる藤平健先生	鍋谷欣市	(62)1414	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞中国・台湾にも種を播いた藤平健先生	宮崎瑞明	(64)1416	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平健先生を偲んで	松下嘉一	(66)1418	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平先生を偲んで	永井良樹	(68)1420	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞「漢方大明神」師・藤平健先生の御逝去を悼んで	阿部勝利	(69)1421	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平先生ありがとうございました	土佐寛順	(71)1423	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞藤平先生と榕堂先生	南利雄	(71)1423	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞津村・藤平の接点を探る	伊藤敦之	(73)1425	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞往事茫々	桑木崇秀	(76)1428	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜藤平健先生を悼む（続）＞紫陽花	伊藤鋳義	(79)1430	1997年(平成09)・第44巻・11号
ラジオたんぱ・漢方医学講座／わたしと漢方	藤平健 きき手）鍋谷欣市	(80)1432	1997年(平成09)・第44巻・11号
畏友三谷和合先生を偲んで	八瀬善郎	(87)1439	1997年(平成09)・第44巻・11号
父・三谷和合逝去に際しご挨拶	三谷和男	(89)1441	1997年(平成09)・第44巻・11号
＜東洋医学愛好会討論会＞第2部／自然治癒力	伊藤嘉紀・伊藤浩史・松橋俊夫・森下宗司・船川明・宮川勝明・服部碩知・伊藤康雄・矢野裕美	(91)1443	1997年(平成09)・第44巻・11号
小曽戸洋著『中国医学古典と日本』と日本の医籍考証学について	杉山広重	(107)1459	1997年(平成09)・第44巻・11号
書評／大星光史著『文学にみる日本の医薬史』	寺澤捷年	(133)1485	1997年(平成09)・第44巻・11号
高島堂薬局の浅野正義氏逝去	編集局	(133)1485	1997年(平成09)・第44巻・11号
日本臨床漢方医会が設立される	編集局	(134)1486	1997年(平成09)・第44巻・11号

トピックス／小曽戸洋氏、矢数医史学賞受賞／日本東洋医学会関東甲信越支部総会、新潟で開催	編集局	(136)1488	1997年(平成09)・第44巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年10月＞	協会本部／編集局	(140)1492	1997年(平成09)・第44巻・11号
@1997年(平成09)-第44巻-12号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（115）宋改を経ない『千金方』の古版本2種	真柳誠・小曽戸洋	(2)1514	1997年(平成09)・第44巻・12号
巻頭言／良い生薬とは	小根山隆祥	(9)1521	1997年(平成09)・第44巻・12号
＜第7回漢方治療研究会講演＞茵チン蒿湯の経験	足立秀樹	(10)1522	1997年(平成09)・第44巻・12号
＜第7回漢方治療研究会講演＞左卵巣嚢腫摘出、右卵巣嚢腫1/2切除、人工受精7回の不妊症	寺師睦宗	(16)1528	1997年(平成09)・第44巻・12号
＜第7回漢方治療研究会講演＞太陽と陽明の合病について	岩崎勲	(19)1531	1997年(平成09)・第44巻・12号
胃苓湯、平胃散、四苓湯の出典	小山誠次	(27)1539	1997年(平成09)・第44巻・12号
漢薬「蘇葉」その優良生葉の開発	中西準治・伊藤親	(44)1556	1997年(平成09)・第44巻・12号
最近のカルテの中から（5）▽頸椎症の治療経験▽三叉神経痛の治療経験	森由雄	(47)1559	1997年(平成09)・第44巻・12号
女子医大雑話（52）＜膝関節痛の3症例＞変形性膝関節症に防已黄耆湯合越婢加朮湯▽膝関節痛にヨク苡仁湯▽変形性膝関節症に桂枝加朮附湯合疎経活血湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(51)1563	1997年(平成09)・第44巻・12号
癲狂と桂枝加葛根湯　ーRapid Cycleの躁うつ病者の治療を通して	山田宗良	(58)1570	1997年(平成09)・第44巻・12号
維持透析患者における五苓散の使用経験	室賀一宏	(62)1574	1997年(平成09)・第44巻・12号
東洋堂経験余話（92）▽激しい頭痛に通導散料▽台所症候群に竜骨湯合甘麦大棗湯	松本一男	(66)1578	1997年(平成09)・第44巻・12号
「千葉漢方研究会」講演内容（13）日本漢方の疾病観（その5）	講師）中村謙介	(70)1582	1997年(平成09)・第44巻・12号
漢方考　その（1）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(78)1590	1997年(平成09)・第44巻・12号
見いだされた大正15年の奥田謙蔵の論文について	秋葉哲生	(85)1597	1997年(平成09)・第44巻・12号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その4	笠原栄司	(97)1609	1997年(平成09)・第44巻・12号
≪金匱漫歩≫その5	玉置英成	(104)1616	1997年(平成09)・第44巻・12号
世説医語（1）	吉田荘人	(110)1622	1997年(平成09)・第44巻・12号
藤平健先生を想う	今田屋章	(115)1627	1997年(平成09)・第44巻・12号
藤平先生と漢方事始	陣内弘和	(117)1629	1997年(平成09)・第44巻・12号
『近世漢方医学書集成』と藤平先生	土屋伊磋雄	(120)1632	1997年(平成09)・第44巻・12号
落語『傷寒論』故藤平健博士に捧げる	長沢伸子	(124)1636	1997年(平成09)・第44巻・12号
図書紹介／渡邊武著『漢方が救う人体危機』	編集局	(127)1639	1997年(平成09)・第44巻・12号
トピックス／日本臨床漢方医会が旗挙げ／東西で薬系漢方団体の学術大会開催	編集局	(128)1640	1997年(平成09)・第44巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年11月＞	協会本部／編集局	(132)1644	1997年(平成09)・第44巻・12号
@1998年(平成10)-第45巻-01号-			
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館（116）小川泰山画・亀田鵬斎賛『神農図』	町泉寿郎	(2)2	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	赤尾明俊	(10)10	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	秋葉哲生	(10)10	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞漢方薬の薬効	穐吉健治	(10)10	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	足立秀樹	(11)11	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	新井信	(11)11	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	荒川和男	(11)11	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	粟島行春	(12)12	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	猪飼祥夫	(13)13	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	池田政一	(13)13	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞新年を迎えて	石野尚吾	(13)13	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	板垣鋭司	(14)14	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	伊藤敦之	(14)14	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	伊藤真愚	(15)15	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞考えること	伊藤敏雄	(15)15	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞漢方の大学教育用教科書を作ろう	伊藤嘉紀	(16)16	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	井上淳子	(16)16	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	今泉清	(17)17	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	今村茂雄	(17)17	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	入江正	(18)18	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	岩崎勲	(18)18	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	浮田徹也	(18)18	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	遠藤次郎	(19)19	1998年(平成10)・第45巻・01号

新年のことば　＜平成10年（1998年）＞命短かし　明日は我が身に	王瑞雲	(19)19	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	大塚恭男	(20)20	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞常衛不和	大友一夫	(21)21	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	大西和子	(21)21	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	大貫進	(22)22	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	岡利幸	(22)22	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	岡田耕造	(22)22	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞経方医学のすすめ	岡部俊一	(23)23	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小川新	(23)23	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小曽戸明子	(24)24	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小野正弘	(24)24	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞老虎添翼	帯津良一	(24)24	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	遠田裕政	(25)25	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	笠原栄司	(25)25	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	柏木佑記慧	(26)26	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	金子力	(26)26	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	鎌田慶市郎	(27)27	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	河野順	(27)27	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	菅龍夫	(28)28	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	菊谷豊彦	(28)28	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	木下勤	(29)29	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	木下恒雄	(29)29	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞私の受けた腹診から	草間光一	(30)30	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	久保田富也	(30)30	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞年頭雑感	粂川義雄	(31)31	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞新年偶感	桑木崇秀	(31)31	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小泉久仁弥	(32)32	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞東洋医学のこれから	古賀正通	(32)32	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小曽戸洋	(33)33	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞野生ムラサキよ　永遠に	後藤實	(34)34	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小松一	(34)34	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	古村和子	(34)34	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	小山誠次	(35)35	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	昆健一郎	(36)36	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	今忠郎	(36)36	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	坂口弘	(36)36	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	坂本秀治	(37)37	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	佐々木鍼岳	(37)37	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	佐竹貞治郎	(38)38	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	篠友三	(39)39	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	尚鎮国	(40)40	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	神靖衛	(40)40	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	陣内弘和	(40)40	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞関西漢方同友会	杉立義一	(41)41	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞新年の感	角田睦子	(41)41	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	芹澤勝助	(42)42	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	十河孝博	(42)42	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	高島文一	(43)43	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	高橋邦夫	(43)43	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	高橋貞則	(43)43	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞1998年、光と影	高橋法昭	(44)44	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	田家照生	(44)44	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	高山宏世	(45)45	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	竹田明	(45)45	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	竹村一三	(45)45	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	田中邦雄	(46)46	1998年(平成10)・第45巻・01号

新年のことば　＜平成10年（1998年）＞漢方薬文化を歴観する	谿忠人	(46)46	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞朝鮮総督府図書館編の医書目録	谷田伸治	(46)46	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞中学校の先生	田畑隆一郎	(47)47	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	田村嘉章	(47)47	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞医家先哲墓参の意義	多留淳文	(48)48	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	張瓏英	(48)48	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	鎮西弘	(49)49	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	津谷喜一郎	(49)49	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	鶴田としこ	(50)50	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	寺師睦宗	(50)50	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞日本経済の3Nは直すよりない	土岐卓	(51)51	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	徳留一博	(51)51	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	中井康雄	(51)51	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	永井良樹	(52)52	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	中川良隆	(52)52	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞南蛮屏風ラプソディー	長沢伸子	(53)53	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	中島泰三	(54)54	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	中田敬吾	(54)54	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞愛読は“編集雑筆”	長門谷洋治	(55)55	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	仲原靖夫	(55)55	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	中村謙介	(56)56	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞新春願事	鍋谷欣市	(56)56	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	難波恒雄	(57)57	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞村井洞『読々方議』（方議を読むを読む）	西岡一夫	(57)57	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞回帰後の香港を訪れて	西畑邦夫	(58)58	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	西巻明彦	(58)58	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	西脇平士	(58)58	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	二宮文乃	(59)59	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞もう戻れない	根本幸一	(60)60	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞今年は研究熱心だった昔に戻ろう	野口定子	(61)61	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞今年の夢	野崎豊	(61)61	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞日本の伝統医学	橋口親義	(62)62	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	蓮村幸兌	(62)62	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞私の正月の喜び	長谷川弥人	(63)63	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	畑靖子	(63)63	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞藤平先生に教えていただいたこと	花輪壽彦	(64)64	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	濱中力	(64)64	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞新年を迎えて	林盈六	(65)65	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞森の都の東洋医学会	原敬二郎	(65)65	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	原桃介	(65)65	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	土方康世	(66)66	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	広瀬滋之	(66)66	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	福田陽一	(67)67	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	細川喜代治	(67)67	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	細野八郎	(67)67	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	牧角和宏	(68)68	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	牧田憲太郎	(69)69	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	増田学道	(69)69	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	町泉寿郎	(69)69	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	松浦敬一	(70)70	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	松岡睦友	(70)70	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	松下嘉一	(70)70	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞今年の抱負	松多邦雄	(71)71	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	松田知雄	(71)71	1998年(平成10)・第45巻・01号

新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	松橋俊夫	(72)72	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	松本一男	(72)72	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞時間と空間	松本克彦	(73)73	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞薬を悪者にしてはいけない	真鍋立夫	(73)73	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	真柳誠	(74)74	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	南利雄	(74)74	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	宮川浩也	(75)75	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	宮崎綾子	(76)76	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	宮崎瑞明	(76)76	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	宮沢康朗	(77)77	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	宮本昭正	(77)77	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	宗像敬一	(77)77	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	村田英則	(78)78	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	村松慎一	(78)78	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	室賀一宏	(78)78	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	室賀昭三	(79)79	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	望月博	(79)79	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	盛克己	(80)80	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	森一	(80)80	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	森由雄	(80)80	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	守井琴	(81)81	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞「一芸」	盛岡頼子	(81)81	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	森崎信夫	(81)81	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	森下宗司	(82)82	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	矢数圭堂	(82)82	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	矢数道明	(83)83	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	山内浩	(83)83	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞マウントクック・リリーに寄せて	山田光胤	(84)84	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	山田寛幸	(85)85	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	山ノ内慎一	(85)85	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	梁哲周	(86)86	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	横倉照門	(86)86	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	吉岡信	(86)86	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	吉田種臣	(87)87	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞再春館、蕃滋園とニンジンボク	吉冨誠	(87)87	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	吉村重敏	(88)88	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	渡辺賢治	(89)89	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞年頭に憂国の読者へ呼びかけたいこと	渡辺貞夫	(89)89	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	渡邊武	(90)90	1998年(平成10)・第45巻・01号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	渡辺陽一	(90)90	1998年(平成10)・第45巻・01号
＜第7回漢方治療研究会テーマ講演＞私の好きな処方・苓桂甘一連三方（苓桂朮甘湯、苓桂味甘湯、苓桂甘棗湯）	小川幸男	(91)91	1998年(平成10)・第45巻・01号
＜第7回漢方治療研究会講演＞茯苓四逆湯治験	長坂和彦・巽武司・土佐寛順	(101)101	1998年(平成10)・第45巻・01号
＜第7回漢方治療研究会講演＞Ｂ型慢性肝炎に対する漢方薬治療の検討	土方康世	(107)107	1998年(平成10)・第45巻・01号
散剤として用いる四逆湯類の使用経験	盛克己	(118)118	1998年(平成10)・第45巻・01号
女子医大雑話（53）＜高血圧・しゃっくりの3症例＞高血圧に加味逍遥散▽しゃっくりに柿の蔕▽高血圧に釣藤散	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(121)121	1998年(平成10)・第45巻・01号
漢方診療おぼえ書（172）▽主訴心下痞に半夏瀉心湯▽胃十二指腸潰瘍に半夏瀉心湯▽中耳炎に托裏消毒散	緒方玄芳	(125)125	1998年(平成10)・第45巻・01号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その10－	宮崎綾子	(127)127	1998年(平成10)・第45巻・01号
＜第23回浅井国幹先生顕彰記念会講演＞祖父・長与専斎と医制改革案の但し書	長与健夫	(137)137	1998年(平成10)・第45巻・01号
第23回浅井国幹先生顕彰会の報告	伊藤嘉紀	(145)145	1998年(平成10)・第45巻・01号
藤平健先生の健康法	根本幸一	(146)146	1998年(平成10)・第45巻・01号
和田啓十郎先生の歩かれたワランジの跡を（9）	西沢一	(148)148	1998年(平成10)・第45巻・01号
トピックス／シンポジウム「21世紀の漢方薬」開催される	荻原幸夫	(151)151	1998年(平成10)・第45巻・01号
トピックス／矢数会長著『漢方治験精選集・下巻』出版祝賀会開催	編集局	(152)152	1998年(平成10)・第45巻・01号

図書紹介／久保道徳著『アトピー性皮膚炎の薬物療法』／鈴木昶編『身近な漢方薬材事典』	編集局	(157)157	1998年(平成10)・第45巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成9年12月＞	協会本部／編集局	(158)158	1998年(平成10)・第45巻・01号
@1998年(平成10)-第45巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（117）中村正直あて浅田宗伯書簡	町泉寿郎	(3)179	1998年(平成10)・第45巻・02号
巻頭言／癌と漢方	今田屋章	(9)185	1998年(平成10)・第45巻・02号
＜第7回漢方治療研究会講演＞膀胱炎様症状に対して竜骨湯が有効と思われた1例	新井信・新井勝	(10)186	1998年(平成10)・第45巻・02号
＜第7回漢方治療研究会講演＞水毒における痰飲の認識	仲原靖夫・宮里稔・謝花隆光	(17)193	1998年(平成10)・第45巻・02号
＜第7回漢方治療研究会講演＞筋肉の不随意的攣縮（筋テキ肉ジュン）の証を呈した症例の治療経験	森由雄	(25)201	1998年(平成10)・第45巻・02号
＜第7回漢方治療研究会講演＞皮膚病に用いる生薬	南利雄	(28)204	1998年(平成10)・第45巻・02号
更年期障害に子宮脱が併存する1治験例	宮崎瑞明	(33)209	1998年(平成10)・第45巻・02号
女子医大雑話（54）＜月経不順の症例＞駆オ血剤で月経が順調になった症例▽駆オ血剤プラス気剤が必要であった症例▽補剤の使用で効果があった症例▽比較的早期に効果のあった症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(37)213	1998年(平成10)・第45巻・02号
呉茱萸湯の圧痛点	渡辺陽一	(43)219	1998年(平成10)・第45巻・02号
＜東洋医学愛好会討論会＞症例検討／風邪（発熱症例3題）	山口英明・伊藤嘉紀・松橋俊夫・伊藤浩史・竹村一三・伊藤康雄・服部碩知・宮川勝明・井上淳子・矢野裕美・藤田典巳	(47)223	1998年(平成10)・第45巻・02号
竹茹温胆湯の成立と出典考	小山誠次	(61)237	1998年(平成10)・第45巻・02号
家伝薬・中将湯と薬効の文献考察	布目慎勇・小松靖弘	(77)253	1998年(平成10)・第45巻・02号
漢方牛歩録（153）激しい腕神経痛に芍薬甘草湯	中村謙介	(94)270	1998年(平成10)・第45巻・02号
漢方診療おぼえ書（173）▽扁桃炎に咽疳解毒湯	緒方玄芳	(96)272	1998年(平成10)・第45巻・02号
東洋堂経験余話（93）▽腰以下の無力に痿証方▽腰痛を伴う高血圧症に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料	松本一男	(98)274	1998年(平成10)・第45巻・02号
漢方考　その（2）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(101)277	1998年(平成10)・第45巻・02号
人声人語　「快方」に向くということ	北村翰男	(104)280	1998年(平成10)・第45巻・02号
新年のことば　＜平成10年（1998年）＞	山本整一	(106)282	1998年(平成10)・第45巻・02号
図書紹介／久保千春・高山宏世・後藤哲也共著『日常診療に役立つ　漢方の考え方と使い方』／松宮光伸著『酒は百毒の長－ことわざ漢方読本』／満川博美著『臨床医の漢方処方』／王米渠他著、磯島正他監修、小野正弘・松永樹浩訳『中医心理学<中国漢方心身医学>』	編集局	(107)283	1998年(平成10)・第45巻・02号
@1998年(平成10)-第45巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（118）新出の敦煌医学文書－はたして『素問』か	小曽戸洋	(2)306	1998年(平成10)・第45巻・03号
巻頭言／漢方記念日設立の提唱	菊谷豊彦	(9)313	1998年(平成10)・第45巻・03号
＜第7回漢方治療研究会講演＞漢方治療により腫瘍が縮小した肝臓がんの1例	広瀬滋之	(10)314	1998年(平成10)・第45巻・03号
＜第7回漢方治療研究会講演＞九味檳榔湯の使用経験	木下優子・渡辺賢治・伊藤剛・村主明彦・花輪壽彦	(14)318	1998年(平成10)・第45巻・03号
＜第7回漢方治療研究会講演＞艦船内医務室における虫垂炎の漢方治療－生薬とエキス剤の比較検討－	伊藤敦之	(19)323	1998年(平成10)・第45巻・03号
＜第7回漢方治療研究会講演＞不整脈の湯液治療－心室性期外収縮、房室ブロック	高橋法昭	(27)331	1998年(平成10)・第45巻・03号
裏寒について（1）	井上淳子	(41)345	1998年(平成10)・第45巻・03号
漢方薬治療が奏効した面皰の1例	岡田耕造	(50)354	1998年(平成10)・第45巻・03号
漢方診療おぼえ書（174）▽更年期障害と中性脂肪高値に桂枝茯苓丸／左胸部、尾底骨部疼痛に治打撲一方加修治附子▽慢性副鼻腔炎に托裏消毒散	緒方玄芳	(55)359	1998年(平成10)・第45巻・03号
女子医大雑話（55）＜人参黄耆剤の3症例＞腹圧性尿失禁に補中益気湯▽めまいに十全大補湯▽肋間神経痛に当帰湯加附子	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(57)361	1998年(平成10)・第45巻・03号
漢方牛歩録（154）激痛の帯状疱疹に茯苓四逆湯加味方	中村謙介	(64)368	1998年(平成10)・第45巻・03号
子供がほしいという夫婦／随証伝統医学療法の経験	橋口親義	(66)370	1998年(平成10)・第45巻・03号
最近のカルテの中から（6）▽下痢腹痛にヘアードライヤー▽下痢症の経験（棒灸と茯苓四逆湯）	森由雄	(67)371	1998年(平成10)・第45巻・03号
合病について（2）	岩崎勲	(71)375	1998年(平成10)・第45巻・03号
西洋医学の「風邪症候群」と仲景医学に於ける「三陰三陽」	角田睦子	(78)382	1998年(平成10)・第45巻・03号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（10）	千葉古方漢方研究会	(85)389	1998年(平成10)・第45巻・03号
漢方への思い	荻原幸夫	(90)394	1998年(平成10)・第45巻・03号
世説医語（2）	吉田荘人	(93)397	1998年(平成10)・第45巻・03号
図書紹介／小高修司著『身体にやさしいガン治療－「統合医学」でここまで治る』／岩田隆信著『医者が末期がん患者になってわかったことある脳外科医が脳腫瘍と闘った凄絶な日々』	編集局	(98)402	1998年(平成10)・第45巻・03号
トピックス／千葉大東医研が60周年記念式典	編集局	(99)403	1998年(平成10)・第45巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年1・2月＞	協会本部／編集局	(104)408	1998年(平成10)・第45巻・03号

@1998年(平成10)-第45巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（119）松岡玄達自筆の浅井周伯講義録（1）ー龍谷大学所蔵の貴重書よりー	真柳誠	(2)426	1998年(平成10)・第45巻・04号
巻頭言／21世紀は「東亜医学」の時代に	丁宗鐵	(9)433	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	秋葉哲生	(11)435	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	足立秀樹	(12)436	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	穴吹浩	(12)436	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	阿部勝利	(13)437	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	新井信	(13)437	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	新井基夫	(13)437	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	池田政一	(14)438	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	石野尚吾	(14)438	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	磯島正	(15)439	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	伊藤敦之	(15)439	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	伊藤真愚	(16)440	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	伊藤隆	(16)440	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	伊藤嘉紀	(17)441	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	稲木一元	(17)441	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	井上淳子	(18)442	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	伊原俊夫	(19)443	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	今泉清	(19)443	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	今田屋章	(20)444	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	岩崎勲	(21)445	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	岩下明弘	(21)445	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	海老塚吉次	(21)445	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	王瑞雲	(22)446	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	太田順康	(22)446	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	大塚恭男	(23)447	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	大友一夫	(23)447	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	大西和子	(24)448	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	大貫進	(24)448	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	岡利幸	(25)449	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	緒方芳郎	(26)450	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	岡部俊一	(26)450	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	小川幸男	(27)451	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	小野正弘	(27)451	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	帯津良一	(27)451	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	遠田裕政	(28)452	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	笠原栄司	(28)452	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	加世田弘道	(29)453	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	鎌田慶市郎	(29)453	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	菊谷豊彦	(30)454	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	北村翰男	(30)454	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	杵渕彰	(31)455	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	木下勤	(31)455	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	木下恒雄	(31)455	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	久保田富也	(32)456	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	栗山一八	(32)456	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	桑木崇秀	(33)457	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	小泉久仁弥	(33)457	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	河野順	(34)458	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	小曽戸丈夫	(34)458	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	小曽戸洋	(34)458	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	小高修司	(35)459	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	後藤實	(35)459	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	昆健一郎	(36)460	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	今忠郎	(36)460	1998年(平成10)・第45巻・04号

アンケート・私の漢方入門書（1）	坂口弘	(37)461	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	坂田鎮明	(37)461	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	佐藤至朗	(38)462	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	佐藤弘	(38)462	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	篠友三	(39)463	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	代田文彦	(40)464	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	神靖衛	(40)464	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	菅谷英一	(41)465	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	角田睦子	(41)465	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	十河孝博	(42)466	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	高橋貞則	(42)466	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	高山宏世	(43)467	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	竹田明	(43)467	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	竹村修	(44)468	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	田中邦雄	(44)468	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	田畑隆一郎	(45)469	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	多留淳文	(45)469	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	張瓏英	(45)469	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	鎮西弘	(46)470	1998年(平成10)・第45巻・04号
アンケート・私の漢方入門書（1）	丁宗鐵	(46)470	1998年(平成10)・第45巻・04号
＜第7回漢方治療研究会特別講演＞丸剤の歴史と当院における丸薬の治療について	原敬二郎	(47)471	1998年(平成10)・第45巻・04号
＜第7回漢方治療研究会特別講演＞丸剤製造の実際について	伊藤親	(62)486	1998年(平成10)・第45巻・04号
最近のカルテの中から（7）▽越婢加半夏湯の治験例▽神秘湯の治験例▽甘草麻黄湯の治験例	森由雄	(69)493	1998年(平成10)・第45巻・04号
温知荘治験（抄）両手の握力が消失し、ゴルフができなくなり、肩や手足が痛む患者	矢数道明	(72)496	1998年(平成10)・第45巻・04号
漢方牛歩録（155）心身症の腹痛・頭痛に小建中湯合当帰芍薬散など	中村謙介	(74)498	1998年(平成10)・第45巻・04号
8年目にしてはじめて授かった生命／伝統医学随証療法の経験	橋口親義	(76)500	1998年(平成10)・第45巻・04号
女子医大雑話（56）＜風邪の漢方治療＞風邪に葛根湯▽風邪に香蘇散▽風邪に麻黄附子細辛湯▽風邪に桂枝湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(78)502	1998年(平成10)・第45巻・04号
文献（中国古籍医書）にみる不妊症の概要	小野正弘	(83)507	1998年(平成10)・第45巻・04号
≪金匱漫歩≫その6	玉置英成	(106)530	1998年(平成10)・第45巻・04号
漢方考　その（3）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(112)536	1998年(平成10)・第45巻・04号
半期半会	畑靖子	(117)541	1998年(平成10)・第45巻・04号
図書紹介／多田富雄・南伸坊著『免疫学個人授業』	編集局	(120)544	1998年(平成10)・第45巻・04号
トピックス／祝『東洋医学の世界―大塚恭男論文集』刊行	編集局	(120)544	1998年(平成10)・第45巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年3月＞	協会本部／編集局	(128)552	1998年(平成10)・第45巻・04号
@1998年(平成10)-第45巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（120）松岡玄達自筆の浅井周伯講義録（2）－龍谷大学所蔵の貴重書より－	真柳誠	(2)570	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	寺師睦宗	(9)577	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	土佐寛順	(10)578	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	土岐卓	(10)578	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	中井康雄	(10)578	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	中川良隆	(11)579	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	中島泰三	(11)579	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	中田敬吾	(12)580	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	中村謙介	(12)580	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	鍋谷欣市	(13)581	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	難波恒雄	(13)581	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	西岡一夫	(14)582	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	西脇平士	(14)582	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	二宮文乃	(15)583	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	根本幸一	(15)583	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	野口定子	(16)584	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	野崎豊	(16)584	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	橋口親義	(17)585	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	畑靖子	(17)585	1998年(平成10)・第45巻・05号

アンケート・私の漢方入門書（2）	花輪壽彦	(18)586	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	林盈六	(18)586	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	原敬二郎	(19)587	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	原桃介	(19)587	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	原田康治	(20)588	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	土方康世	(21)589	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	福田佳弘	(21)589	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	広瀬滋之	(22)590	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	藤井美樹	(22)590	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	星野良明	(22)590	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	細井大二	(23)591	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	細川喜代治	(23)591	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	細野義郎	(23)591	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	牧田憲太郎	(24)592	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	松下嘉一	(24)592	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	松田邦夫	(25)593	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	松多邦雄	(25)593	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	松本一男	(25)593	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	松本克彦	(26)594	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	真鍋立夫	(26)594	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	真柳誠	(27)595	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	三浦於菟	(27)595	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	三上正利	(28)596	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	三潴忠道	(28)596	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	宮崎綾子	(29)597	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	宗像敬一	(29)597	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	室賀昭三	(30)598	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	盛克己	(30)598	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	森由雄	(30)598	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	森下宗司	(31)599	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	矢数道明	(31)599	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	八瀬善郎	(32)600	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	山田光胤	(32)600	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	山ノ内慎一	(33)601	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	山本昇吾	(33)601	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	雪村八一郎	(34)602	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	吉岡信	(34)602	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	吉元昭治	(34)602	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	吉田種臣	(35)603	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	渡辺方乃	(35)603	1998年(平成10)・第45巻・05号
アンケート・私の漢方入門書（2）	回答者不明	(36)604	1998年(平成10)・第45巻・05号
＜第7回漢方治療研究会講演＞千金内托散が奏効したアトピー性皮膚炎の2例	永井良樹	(37)605	1998年(平成10)・第45巻・05号
＜第7回漢方治療研究会講演＞癌の漢方湯液治療（第2報・悪性リンパ腫）	新井基夫・伊藤清夫	(43)611	1998年(平成10)・第45巻・05号
女子医大雑話（57）＜西洋薬の副作用による舌炎、口内炎に清熱補気湯が有効であった2症例＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(52)620	1998年(平成10)・第45巻・05号
老年期（更年期）の風邪のこじれ等に滋陰至宝湯加味方－おもに「潮熱について」－	柏木佑記慧	(55)623	1998年(平成10)・第45巻・05号
糖尿病の漢方治療	根本幸一	(66)634	1998年(平成10)・第45巻・05号
漢方診療おぼえ書（175）▽流産ぐせに当帰芍薬散料▽原因不明の微熱と諸関節疼痛に柴胡桂枝湯▽ソウ痒症に当帰飲子	緒方玄芳	(70)638	1998年(平成10)・第45巻・05号
最近のカルテの中から（8）▽女性化乳房に桂枝茯苓丸加ヨク苡仁▽蕁麻疹に十味敗毒湯加茵チン蒿▽不妊症に当帰芍薬散料加附子	森由雄	(72)640	1998年(平成10)・第45巻・05号
合病について（3）	岩崎勲	(75)643	1998年(平成10)・第45巻・05号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（11）	千葉古方漢方研究会	(84)652	1998年(平成10)・第45巻・05号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その5	笠原栄司	(88)656	1998年(平成10)・第45巻・05号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その11－	宮崎綾子	(94)662	1998年(平成10)・第45巻・05号
世説医語（3）	吉田荘人	(100)668	1998年(平成10)・第45巻・05号
伊吹山々麓／春日村の民間薬　（2）	田中俊弘	(103)671	1998年(平成10)・第45巻・05号

弔辞　多紀英樹先生	中村謙介	(117)685	1998年(平成10)・第45巻・05号
多紀英樹先生事蹟	作成）中村謙介	(119)687	1998年(平成10)・第45巻・05号
千葉大学東洋医学研究会60周年記念式典・講演会・祝賀会	鳥居塚和生	(120)688	1998年(平成10)・第45巻・05号
図書紹介／三冬社刊『東医寿世保元』の出版によせて	吉元昭治	(121)689	1998年(平成10)・第45巻・05号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年4月＞	協会本部／編集局	(127)693	1998年(平成10)・第45巻・05号
@1998年(平成10)-第45巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（121）蘭門五哲の書幅	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)714	1998年(平成10)・第45巻・06号
巻頭言／東洋医学と情報処理	杵渕彰	(9)721	1998年(平成10)・第45巻・06号
方剤に刻み込まれた漢方治療の理念	日合奨	(10)722	1998年(平成10)・第45巻・06号
興味ある治療経過を示した三叉神経痛の1漢方治療例	岡田耕造	(31)743	1998年(平成10)・第45巻・06号
慢性関節リウマチの痛みに対する雷公藤片の効果	土方康世・陸希	(40)752	1998年(平成10)・第45巻・06号
最近のカルテの中から（9）＜大青竜湯の治験5例＞	森由雄	(49)761	1998年(平成10)・第45巻・06号
白虎加人参湯証の「微悪寒」について	長沢貞夫	(54)766	1998年(平成10)・第45巻・06号
女子医大雑話（58）＜耳鼻咽喉科疾患の3症例＞アレルギー性副鼻腔炎に辛夷清肺湯▽咽頭炎による声枯れに百合固金湯▽めまいと胃腸虚弱に半夏白朮天麻湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(60)772	1998年(平成10)・第45巻・06号
東洋堂経験余話（94）▽アトピー性皮膚炎の経験▽慢性鼻炎に防風通聖散料	松本一男	(65)777	1998年(平成10)・第45巻・06号
長い間月経不順に悩みながら授かった生命／伝統医学随証療法の経験	橋口親義	(68)780	1998年(平成10)・第45巻・06号
漢方診療おぼえ書（176）▽アトピー性皮膚炎にキョ風敗毒散料▽面皰に当帰芍薬散加ヨク苡仁	緒方玄芳	(70)782	1998年(平成10)・第45巻・06号
真武湯が奏効した下痢の2症例	陣内弘和	(72)784	1998年(平成10)・第45巻・06号
伊藤清夫先生逝去	編集局	(74)786	1998年(平成10)・第45巻・06号
「眩暈」から見た各古典の病理観の相違	小高修司	(75)787	1998年(平成10)・第45巻・06号
「陰陽俱に緊」の解釈について　（『傷寒論識』に対する疑義）	長谷川弥人	(85)797	1998年(平成10)・第45巻・06号
「千葉漢方研究会」講演内容（14）日本漢方の疾病観（その6）	講師）中村謙介	(88)800	1998年(平成10)・第45巻・06号
漢方考　その（4）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(96)808	1998年(平成10)・第45巻・06号
トピックス／熊本で開催された東洋医学会学術総会	編集局	(102)814	1998年(平成10)・第45巻・06号
寺澤捷年著『症例から学ぶ和漢診療学』改訂版ならびに中国語・韓国語版の出版のご報告	寺澤捷年	(104)816	1998年(平成10)・第45巻・06号
図書紹介／牧野富太郎著『植物一日一題』／張瓏英著『新編・中医学基礎編』	編集局	(105)817	1998年(平成10)・第45巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年5月＞	協会本部／編集局	(110)822	1998年(平成10)・第45巻・06号
@1998年(平成10)-第45巻-07号-＜伊藤清夫先生を悼む＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（122）村井琴山の文人趣味	町泉寿郎	(2)842	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生に捧げるお別れの言葉	鍋谷欣市	(9)849	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞弔辞	盛克己	(12)852	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生の急逝を悼む	矢数道明	(13)853	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞警世の人、伊藤清夫先生	秋葉哲生	(16)856	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞学統	中村謙介	(17)857	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生を想う	坂口弘	(22)862	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生を偲んで	緒方芳郎	(24)864	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞追悼の辞	小川新	(25)865	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生の思い出	根本幸一	(28)868	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生を偲ぶ	寺澤捷年	(29)869	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞伊藤清夫先生の“願い”を想う	松浦敬一	(31)871	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞老師、伊藤清夫に就いて	高橋法昭	(33)873	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞尊敬する清夫先生	兪雪如	(35)875	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞恩師　伊藤清夫先生を偲ぶ	神靖衛	(37)877	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞病院でのお言葉	伊藤敏雄	(39)879	1998年(平成10)・第45巻・07号
＜伊藤清夫先生を悼む＞会葬御礼ご挨拶	鎌田慶市郎	(40)880	1998年(平成10)・第45巻・07号
伊藤清夫先生略年譜	編纂）編集局	(42)882	1998年(平成10)・第45巻・07号
追悼座談会／伊藤清夫先生を偲ぶ	松下嘉一・盛克己・今田屋章・鎌田慶市郎・高橋法昭司会）土屋伊磋雄	(43)883	1998年(平成10)・第45巻・07号
随証治療の意味するもの－湯液治療を科学的に行い、日本漢方の発展を－（44巻10号巻頭言再録）	伊藤清夫	(63)903	1998年(平成10)・第45巻・07号
故伊藤清夫先生葬儀（平成10.6.17－18）	編集局	(64)904	1998年(平成10)・第45巻・07号
女子医大雑話（59）＜不整脈の3例＞発作性心房細動に柴胡桂枝乾姜湯▽心房細動に八味丸▽発作性上室性頻拍症に半夏厚朴湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(66)906	1998年(平成10)・第45巻・07号
東洋堂経験余話（95）▽糖尿病の合併症に芍甘黄辛附湯の経験▽子宮内膜症に大黄牡丹皮湯加ヨク苡仁	松本一男	(70)910	1998年(平成10)・第45巻・07号

最近のカルテの中から（10）＜外科系疾患の治療経験＞火傷に対して救逆湯▽いわゆる「寝違い」に鍼治療▽肩の痛みに二朮湯▽変形性膝関節症に防已黄耆湯加麻黄	森由雄	(73)913	1998年(平成10)・第45巻・07号
漢方治療が奏効した変形性膝関節症の1症例	岡田耕造	(77)917	1998年(平成10)・第45巻・07号
漢方牛歩録（156）難治な頭痛・肩凝りに甘麦大棗湯	中村謙介	(82)922	1998年(平成10)・第45巻・07号
漢方診療おぼえ書（177）▽或る関節リウマチ患者の病状経過	緒方玄芳	(84)924	1998年(平成10)・第45巻・07号
畑の中の面々（23）完熟生薬	田畑隆一郎	(87)927	1998年(平成10)・第45巻・07号
西蔵人民出版社版『四部医典』系列挂図全集に基づくチベット医学の尿診断に関するノート	杉山広重	(94)934	1998年(平成10)・第45巻・07号
中国台湾香港の中国医学文献検索について	猪飼祥夫	(108)948	1998年(平成10)・第45巻・07号
世説医語（4）	吉田荘人	(116)956	1998年(平成10)・第45巻・07号
図書紹介／松田邦夫・稲木一元共著『漢方治療のファーストステップ』－ＥＸＰＥＲＴ ＤＯＣＴＯＲに学ぶ－を読んで	代田文彦	(122)962	1998年(平成10)・第45巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年6月＞	協会本部／編集局	(127)967	1998年(平成10)・第45巻・07号
@1998年(平成10)-第45巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（123）トルファン出土の『耆婆五蔵論』と『諸医方髄』	真柳誠	(2)986	1998年(平成10)・第45巻・08号
巻頭言／私と医史学	小曽戸洋	(9)993	1998年(平成10)・第45巻・08号
賀川玄悦とその医術	安井廣迪	(10)994	1998年(平成10)・第45巻・08号
設定温度より急性熱性疾患の証を考える（上）	穴吹浩・松田滋明	(27)1011	1998年(平成10)・第45巻・08号
裏寒について（2）	井上淳子	(39)1023	1998年(平成10)・第45巻・08号
「千葉漢方研究会」講演内容（15）日本漢方の疾病観（その7）	講師）中村謙介	(49)1033	1998年(平成10)・第45巻・08号
口内炎と肝機能障害に清熱補気湯が有効と思われた1例	小泉久仁弥	(60)1044	1998年(平成10)・第45巻・08号
最近のカルテの中から（11）＜真武湯の治験3例＞	森由雄	(63)1047	1998年(平成10)・第45巻・08号
女子医大雑話（60）＜家族の漢方治療＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(67)1051	1998年(平成10)・第45巻・08号
漢方診療おぼえ書（178）▽いわゆる虚弱児童に小建中湯▽腹痛に小建中湯▽胃潰瘍に安中散、次いで半夏瀉心湯▽花粉症の予防に桂枝加黄耆湯	緒方玄芳	(71)1055	1998年(平成10)・第45巻・08号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その6	笠原栄司	(73)1057	1998年(平成10)・第45巻・08号
方と員（形状と補瀉）	柿田秀明	(78)1062	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞奥入瀬渓流の輝く時	横内正典	(84)1068	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞伊藤清夫先生と私	宮崎綾子	(86)1070	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞伊藤清夫先生を偲んで	磯島正	(88)1072	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞伊藤清夫先生の側面（偲ぶ会から）	松下嘉一	(89)1073	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞漢方の師伊藤清夫先生	三好史郎	(93)1077	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞伊藤清夫先生を偲ぶ	藤井美樹	(95)1079	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞伊藤先生との20年間	藤巻日出夫	(96)1080	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞伊藤清夫先生を悼む	新井基夫	(98)1082	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞千葉の怪人、伊藤先生とのお別れ	土屋伊磋雄	(99)1083	1998年(平成10)・第45巻・08号
＜伊藤清夫先生を悼む（続）＞忍草―故・伊藤清夫先生に捧げる	長沢伸子	(103)1087	1998年(平成10)・第45巻・08号
伊藤清夫先生デザインの日本東洋医学会々員バッジ	編集局	(106)1090	1998年(平成10)・第45巻・08号
味の散歩道	多紀英樹	(107)1091	1998年(平成10)・第45巻・08号
図書紹介／梅原寛重著『薬草と毒草』／二宮文乃著『皮膚疾患漢方治療マニュアル』	編集局	(111)1095	1998年(平成10)・第45巻・08号
@1998年(平成10)-第45巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（124）台北故宮博物院所蔵の『啓迪集』古鈔本	真柳誠	(2)1122	1998年(平成10)・第45巻・09号
巻頭言／東亜医学協会の隆盛を願う	久保田富也	(9)1129	1998年(平成10)・第45巻・09号
曲直瀬道三著『切紙』の再検討－『探頤集』との比較検討－	遠藤次郎・中村輝子	(10)1130	1998年(平成10)・第45巻・09号
異形成上皮の治験2例	渡辺陽一	(23)1143	1998年(平成10)・第45巻・09号
漢方薬治療が奏効したと思われる手背部熱傷の1症例	岡田耕造	(30)1150	1998年(平成10)・第45巻・09号
漢方牛歩録（157）強皮症の疑いに小柴胡湯兼九味檳榔湯	中村謙介	(36)1156	1998年(平成10)・第45巻・09号
東洋堂経験余話（96）▽目眩と耳鳴に防風通聖散料加味▽原因不明の腹痛に神効湯	松本一男	(38)1158	1998年(平成10)・第45巻・09号
女子医大雑話（61）＜不妊・流産癖の3症例＞流産癖に当帰芍薬散▽不妊症に温経湯▽男性不妊に補中益気湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(41)1161	1998年(平成10)・第45巻・09号
生命誕生と方剤（日本の伝統医学随証療法）との関係	橋口親義	(47)1167	1998年(平成10)・第45巻・09号
最近のカルテの中から（12）＜五苓散の治験例について＞	森由雄	(49)1169	1998年(平成10)・第45巻・09号
設定温度より急性熱性疾患の証を考える（下）	穴吹浩・松田滋明	(53)1173	1998年(平成10)・第45巻・09号
＜インタビュー＞父の陰影	松田邦夫	(77)1197	1998年(平成10)・第45巻・09号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その12－	宮崎綾子	(81)1201	1998年(平成10)・第45巻・09号
漢方考　その（5）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(89)1209	1998年(平成10)・第45巻・09号

世説医語（5）	吉田荘人	(94)1214	1998年(平成10)・第45巻・09号
海にそそぐ流れ　（『千葉大学東洋医学研究会50年史』より）	伊藤清夫	(99)1219	1998年(平成10)・第45巻・09号
伊藤清夫先生を悼む	細川喜代治	(100)1220	1998年(平成10)・第45巻・09号
伊藤清夫先生の長逝を悼む－伊藤先生にノーベル医学賞を－	永井良樹	(100)1220	1998年(平成10)・第45巻・09号
第9回国際東洋医学会印象記	菊谷豊彦	(104)1224	1998年(平成10)・第45巻・09号
図書紹介／難波恒雄氏の近著『漢方・生薬の謎を探る』を推す	大塚恭男	(108)1228	1998年(平成10)・第45巻・09号
図書紹介／朱鷺冰主篇・柴崎瑛子訳『中医病因病機学』	編集局	(108)1228	1998年(平成10)・第45巻・09号
トピックス／和漢医薬学会大会富山で開催／東洋医学会、東洋医学卒前教育を実施	編集局	(109)1229	1998年(平成10)・第45巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年7・8月＞	協会本部／編集局	(119)1239	1998年(平成10)・第45巻・09号
@1998年(平成10)-第45巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（125）北京図書館蔵・多紀元堅ら手沢の古医籍（1）	真柳誠	(2)1258	1998年(平成10)・第45巻・10号
第8回漢方治療研究会・東亜医学協会創立60年記念大会開催	編集局	(6)1262	1998年(平成10)・第45巻・10号
巻頭言／21世紀における治療医学	ハイ元植	(9)1265	1998年(平成10)・第45巻・10号
【几 き】と【シュ しゅ】について－誤用、誤刻、誤写、あるいは誤植か－	関修一郎・小川幸男	(10)1266	1998年(平成10)・第45巻・10号
＜第8回漢方治療研究会講演＞合病について（4）	岩崎勲	(20)1276	1998年(平成10)・第45巻・10号
＜第8回漢方治療研究会講演＞漢方治療が有効と思われたミトコンドリア病（疑）の1例	松田知雄	(25)1281	1998年(平成10)・第45巻・10号
「千葉漢方研究会」講演内容（16）日本漢方の疾病観（終章）	講師）中村謙介	(30)1286	1998年(平成10)・第45巻・10号
東洋堂経験余話（97）▽左肩・腕・手の激痛に葛根湯加苓朮附湯▽ストレスによる食欲不振に半夏瀉心湯	松本一男	(47)1303	1998年(平成10)・第45巻・10号
漢方診療おぼえ書（179）▽アトピー性皮膚炎にキョ風敗毒散▽めまいに三黄瀉心湯と桂枝茯苓丸	緒方玄芳	(50)1306	1998年(平成10)・第45巻・10号
女子医大雑話（62）＜虚実の判定を間違った症例＞	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(52)1308	1998年(平成10)・第45巻・10号
漢方牛歩録（158）細菌感染性膝関節炎に消炎剤と越婢加朮湯の併用	中村謙介	(56)1312	1998年(平成10)・第45巻・10号
腎陽虚証不眠の病態	三浦於菟・興津寛・武島英人・篠原明徳・斎藤輝夫・赤池正博・白石佳正・渡邊裕	(58)1314	1998年(平成10)・第45巻・10号
西蔵人民出版社版『四部医典』系列挂図全集に基づくチベット医学の脈診断に関するノート	杉山広重	(63)1319	1998年(平成10)・第45巻・10号
世説医語（6）	吉田荘人	(82)1338	1998年(平成10)・第45巻・10号
阿部博子先生の急逝を傷む	中田敬吾	(85)1341	1998年(平成10)・第45巻・10号
伊藤清夫先生から送られた写真	西沢一	(88)1344	1998年(平成10)・第45巻・10号
第8回漢方治療研究会アルバム（平成10年9月27日）	編集局	(89)1345	1998年(平成10)・第45巻・10号
東亜医学協会創立60周年記念大会アルバム（9月27日）	編集局	(93)1349	1998年(平成10)・第45巻・10号
第9回国際東洋医学会学術大会（ラスベガス）に参加して	津谷喜一郎・福沢素子・小根山隆祥	(98)1354	1998年(平成10)・第45巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年9月＞	協会本部／編集局	(110)1366	1998年(平成10)・第45巻・10号
@1998年(平成10)-第45巻-11号-＜東亜医学協会創立60周年記念号1＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（126）北京図書館蔵、多紀元堅ら手沢の古医籍（2）	真柳誠	(2)1386	1998年(平成10)・第45巻・11号
巻頭言／東亜医学協会創立60周年記念号に寄せて	大塚恭男	(11)1395	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞日本漢方医学会の創立時の記録－東亜医学協会の芽生え－	矢数道明	(12)1396	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞傷寒論の三陰三陽（六病位）の由来を尋ねて	山田光胤	(15)1399	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『傷寒論』を読みつつ昔の腸チフス診療を回顧する	長谷川弥人	(27)1411	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞月湖編纂『全九集』の諸問題 －『月湖抜粋医学迪蒙』からの再検討－	遠藤次郎・中村輝子	(35)1419	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『本草綱目』の日本初渡来記録と金陵本の所在	真柳誠	(47)1431	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『史記』扁鵲倉公列伝の三家注の注音について	宮川浩也	(57)1441	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞向井元升の事蹟とその家族	難波恒雄	(73)1457	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞二味の薬徴による薬方の展開図と方意・方格	田畑隆一郎	(97)1481	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞台湾の伝統医学	宮崎瑞明	(115)1499	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞突発性発疹症に対する白虎加人参湯の解熱効果	阿部勝利・田中清	(125)1509	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞私の好きな処方、茯苓四逆湯・・・	井上淳子	(131)1515	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞桑菊飲の使用経験	木下恒雄	(139)1523	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜第8回漢方治療研究会講演＞葛根黄ゴン黄連湯の3治験例と腹証について	森由雄	(145)1529	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜第8回漢方治療研究会講演＞慢性膵炎の疼痛に対する漢方薬の効果	土方康世	(150)1534	1998年(平成10)・第45巻・11号

＜第8回漢方治療研究会講演＞茯苓沢瀉湯の応用	南利雄	(156)1540	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜第8回漢方治療研究会講演＞炎症性耳下腺腫瘤の1例	小泉久仁弥	(160)1544	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞疾病史から見た『傷寒論』	中村昭	(163)1547	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『康平傷寒論』の格写について	玉置英成	(188)1572	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞奥田謙蔵著『傷寒論講義』をめぐって	鎌田慶市郎	(202)1586	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞「痰飲」考	小高修司	(205)1589	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞「精・気・神」補遺	吉元昭治	(214)1598	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞生姜類について	鈴木堯	(218)1602	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞原点に戻りたい！！	王瑞雲	(224)1608	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方薬は世につれ、世は漢方薬につれ－揺れ動く庶民の漢方観－	吉岡信	(227)1611	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞再生の医学・希望の医学	笠原栄司	(233)1617	1998年(平成10)・第45巻・11号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞五行鍼の活用	柿田秀明	(235)1619	1998年(平成10)・第45巻・11号
女子医大雑話（63）＜高齢者の3症例＞腰痛と下肢のしびれに八味地黄丸▽食欲低下に六君子湯▽老人性皮膚ソウ痒症に当帰飲子	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(244)1628	1998年(平成10)・第45巻・11号
漢方治療中に著しい改善を見た胃底腺ポリポージスの1症例	岡田耕造	(251)1635	1998年(平成10)・第45巻・11号
東洋堂経験余話（98）▽関節リウマチに防風通聖散料合通導散料▽インフルエンザの後、長びく咳漱に柴胡加芒硝湯	松本一男	(257)1641	1998年(平成10)・第45巻・11号
漢方診療おぼえ書（180）▽不眠症に養心湯▽イレウスに中建中湯	緒方玄芳	(260)1644	1998年(平成10)・第45巻・11号
多紀元堅の傷寒論講義（1）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(262)1646	1998年(平成10)・第45巻・11号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（12）	千葉古方漢方研究会	(269)1653	1998年(平成10)・第45巻・11号
腎気、天癸、衝任の検討及び産婦人科との関係	小野正弘	(277)1661	1998年(平成10)・第45巻・11号
中国の雑誌「医学与哲学」について－その歴史・内容・評価－（上）	図亜・津谷喜一郎	(286)1670	1998年(平成10)・第45巻・11号
中国衛生部前部長　崔月犁先生の逝去を悼む	矢数道明	(294)1678	1998年(平成10)・第45巻・11号
@1998年(平成10)-第45巻-12号-＜東亜医学協会創立60周年記念号2＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（127）山田業広『扁鵲倉公列伝集解』自筆本－文教大学越谷図書館池田文庫蔵	宮川浩也	(2)1698	1998年(平成10)・第45巻・12号
巻頭言／代替医療に思う	佐藤弘	(11)1707	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞エキス製剤147処方の出典見直し	小山誠次	(12)1708	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞胃腸虚弱症状と漢方	中川良隆	(26)1722	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『金匱大黄シャ虫丸』とその治験報告	角田睦子	(47)1743	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞私の好きな処方 黄耆建中湯、帰耆建中湯	長坂和彦・引網宏彰・巽武司・土佐寛順	(61)1757	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞【印象に残った症例】十全大補湯が奏効した難治性膠原病患者の2例	引網宏彰・長坂和彦	(66)1762	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞女房の空咳－長びく咳に桂枝茯苓丸の4例	足立秀樹	(73)1769	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞ビルマ（ミャンマー）の薬用植物管見	桑木崇秀	(78)1774	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞丹参の研究から	西岡五夫	(91)1787	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞少陽病の提綱について	岩崎勲	(95)1791	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞日本の妊娠中毒症治療	今泉清	(101)1797	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方製剤による間質性肺炎についての1考察	宗像敬一	(109)1805	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞アトピー性皮膚炎の漢方からみた病態	岡部俊一	(115)1811	1998年(平成10)・第45巻・12号
芹澤勝助氏逝去	編集局	(120)1816	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞急性下痢症に胃苓湯	根本幸一	(121)1817	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方外来むだばなし	陣内弘和	(125)1821	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞持続性吃逆の漢方療法	村松慎一	(126)1822	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞保険診療と煎じ薬	小泉久仁弥	(127)1823	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞医療社会の流れと漢方診療	松下嘉一	(129)1825	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『類聚方広義』舛誤考（上）－同書を読むにあたって－	松本一男	(133)1829	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞医家先哲墓参誌（第1回）和田啓十郎・湯本求真・和田正系	多留淳文	(159)1855	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞東洞の二人の門人（岑少翁と村井琴山）	西岡一夫	(174)1870	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『荘子』と逍遥散	長瀬千秋	(189)1885	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『外科正宗』でのソウ痒症関連瘡瘍病と類証の考察（アレルギー・アトピー性皮膚炎関連）	西脇平士	(192)1888	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞鍼灸の証と診断・治療（上）	池田政一	(208)1904	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞腹の反射穴	塚原正樹	(228)1924	1998年(平成10)・第45巻・12号

＜東亜医学協会創立60周年記念＞「女子は肝を以て先天と為す」という説に対する質疑	小野正弘	(239)1935	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜第8回漢方治療研究会講演＞拡張型心筋症の原因は痰飲か	仲原靖夫・宮里稔・謝花隆光	(245)1941	1998年(平成10)・第45巻・12号
＜第8回漢方治療研究会講演＞不登校学生に対する漢方治療経験	赤尾清剛・福田一典・越路正敏・藤原久義	(251)1947	1998年(平成10)・第45巻・12号
女子医大雑話（64）＜妊娠出産に対する東洋医学の効果＞逆子に至陰の刺激▽妊娠後期、分娩時に三陰交の灸、産後に当帰芍薬散▽新生児にまくり	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(255)1951	1998年(平成10)・第45巻・12号
多紀元堅の傷寒論講義（2）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(260)1956	1998年(平成10)・第45巻・12号
トピックス／日本漢方交流会福岡大会　秋晴れの博多の地で開催	宮崎綾子	(266)1962	1998年(平成10)・第45巻・12号
トピックス／漢方学術大会（日本漢方協会主催）東京医大臨床講堂で開催	編集局	(270)1966	1998年(平成10)・第45巻・12号
平成9年（1997）漢方略史年表	矢数道明	(271)1967	1998年(平成10)・第45巻・12号
図書紹介／藤平健主講・藤門医林会編『類聚方広義解説』／長谷川弥人著『古医書を読むための漢文速成講本』	編集局	(284)1980	1998年(平成10)・第45巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年10・11月＞	協会本部／編集局	(288)1984	1998年(平成10)・第45巻・12号
@1999年(平成11)-第46巻-01号-＜東亜医学協会創立60周年記念号3＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（128）梁田蛻巖撰・程赤城書『張仲景図賛』	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)2	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	赤尾明俊	(12)12	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	秋葉哲生	(12)12	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞漢方薬の副作用	穐吉健治	(12)12	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	足立秀樹	(13)13	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	新井信	(13)13	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞偶感	粟島行春	(13)13	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	猪飼祥夫	(14)14	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	池田政一	(14)14	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞新年福笑い	石岡忠夫	(14)14	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	石野尚吾	(15)15	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	石橋晃	(15)15	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	板垣鋭司	(16)16	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	伊藤敦之	(16)16	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞告墓文百周年記念行事に寄付をよろしく	伊藤嘉紀	(17)17	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞初夢	井上淳子	(17)17	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	今泉清	(18)18	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	入江正	(18)18	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	浮田徹也	(19)19	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	遠藤次郎	(19)19	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞20世紀の終りを迎えて	王瑞雲	(20)20	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞新年に寄せて	大塚恭男	(20)20	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞満つれば欠くる	大友一夫	(21)21	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	大西和子	(21)21	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	大貫進	(22)22	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	岡利幸	(22)22	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	岡田耕造	(23)23	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞漢方の更なる飛躍	岡部俊一	(24)24	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小川新	(24)24	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞マイ・ラスト・ソング	小川幸男	(24)24	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞医学は医学	荻原幸夫	(26)26	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小曽戸明子	(27)27	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞同名異種の問題	小根山隆祥	(27)27	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞今年の夢	小野正弘	(27)27	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞養生の時代へ	帯津良一	(28)28	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	遠田裕政	(28)28	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞漢方診療とカウンセリング	葛西浩史	(28)28	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	笠原栄司	(29)29	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	柏木佑記慧	(29)29	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	加世田弘道	(30)30	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	金子力	(30)30	1999年(平成11)・第46巻・01号

新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	鎌田慶市郎	(30)30	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	河野順	(31)31	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	菅龍夫	(31)31	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	菊谷豊彦	(31)31	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	木下勤	(32)32	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞師匠の存在	草間光一	(33)33	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	久保田達也	(33)33	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	久保田富也	(34)34	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	粂川義雄	(34)34	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	桑木崇秀	(35)35	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小泉久仁弥	(35)35	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小曽戸洋	(35)35	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小高修司	(36)36	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞医（薬）食同源　天年を延ぶ	後藤實	(36)36	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小林健二	(37)37	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小林幹典	(37)37	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小松一	(38)38	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	古村和子	(39)39	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	小山誠次	(40)40	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	昆健一郎	(40)40	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	今忠郎	(41)41	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	坂田鎮明	(41)41	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	坂本秀治	(41)41	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	佐々木鍼岳	(42)42	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	佐藤至朗	(42)42	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	代田文彦	(43)43	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	神靖衛	(43)43	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	新谷卓弘	(43)43	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	陣内弘和	(44)44	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	杉立義一	(44)44	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	鈴木堯	(44)44	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞うさぎ年	角田睦子	(44)44	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	十河孝博	(45)45	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	高島文一	(45)45	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	高橋邦夫	(46)46	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	高橋貞則	(46)46	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞お役人さま	高橋法昭	(46)46	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	竹田明	(47)47	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	田中邦雄	(47)47	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞漢方薬学の離陸に向けて	谿忠人	(47)47	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞土田献著『癲癇狂経験編』の下気円	谷田伸治	(48)48	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	田畑隆一郎	(49)49	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞卑しいイヤし（ケア）の医学	多留淳文	(49)49	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	張瓏英	(50)50	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	鎮西弘	(50)50	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	津谷喜一郎	(51)51	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞新春雑感	寺澤捷年	(51)51	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	寺師睦宗	(52)52	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞今年は景気と漢方医学の復興に努力しましょう	土岐卓	(52)52	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	徳留一博	(52)52	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	中井康雄	(53)53	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	永井良樹	(53)53	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	中川良隆	(54)54	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	長坂和彦	(54)54	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	長沢伸子	(54)54	1999年(平成11)・第46巻・01号

新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	中島泰三	(55)55	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞新年雑感	長瀬千秋	(55)55	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞新年雑感	中田敬吾	(55)55	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞国は積極的姿勢を示せ	長門谷洋治	(56)56	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	仲原靖夫	(56)56	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞東洋医学の伝来	中村昭	(57)57	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	中村謙介	(57)57	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	中村成代	(58)58	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞気の再考究を	鍋谷欣市	(58)58	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞苦苦苦を求求求にしよう	難波恒雄	(58)58	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	西岡五夫	(59)59	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞蘭学者の書いた『傷寒論』解説書	西岡一夫	(59)59	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	西巻明彦	(60)60	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	西脇平士	(60)60	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	二宮文乃	(61)61	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	根本幸一	(62)62	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	野口定子	(62)62	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	野崎豊	(63)63	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞漢方の心は・・・	橋口親義	(64)64	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	橋場則昭	(64)64	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	蓮村幸兌	(64)64	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞私の提案	長谷川弥人	(65)65	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	畑靖子	(65)65	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	服部紀代子	(66)66	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞私の教育外来	花輪壽彦	(66)66	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	濱中力	(67)67	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	林盈六	(67)67	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	原敬二郎	(68)68	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	原桃介	(68)68	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	広瀬滋之	(68)68	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	細井大二	(68)68	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	細川喜代治	(69)69	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞うれしいこと	細野八郎	(69)69	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	牧角和宏	(70)70	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	牧田憲太郎	(71)71	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	町泉寿郎	(71)71	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞生薬の栽培	松浦敬一	(71)71	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞情報化と21世紀漢方	松岡伯菁	(72)72	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	松岡睦友	(73)73	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	松下嘉一	(73)73	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	松田邦夫	(73)73	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	松橋俊夫	(74)74	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞不妊症の当帰芍薬散加附子（三和）に生き甲斐を感じて	松原一太	(74)74	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	松本一男	(74)74	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	真鍋立夫	(75)75	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	真柳誠	(76)76	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	溝部宏毅	(76)76	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	三谷和男	(77)77	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞院外調剤薬局と病診連携の確立に向けて	三潴忠道	(77)77	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞『増補薬能』をつくる	南利雄	(78)78	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞去年を想い今年を惟う	宮崎綾子	(78)78	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞台湾漢方医学の動向を見て	宮崎瑞明	(79)79	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	宮沢康朗	(80)80	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	宮本昭正	(80)80	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	宗像敬一	(81)81	1999年(平成11)・第46巻・01号

新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	室賀昭三	(81)81	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	望月博	(81)81	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	盛克己	(82)82	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	森一	(82)82	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	森由雄	(83)83	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	守井琴	(83)83	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	森下宗司	(83)83	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	矢数圭堂	(83)83	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	矢数道明	(84)84	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞肝炎患者と漢方医療	山内浩	(84)84	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	山田光胤	(86)86	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	山田寛幸	(86)86	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	山ノ内慎一	(87)87	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	梁哲周	(87)87	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	横倉照門	(88)88	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	横溝嘉昭	(88)88	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	吉岡信	(88)88	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞医学史ことはじめ　慶宅坂と高本紫溟	吉冨誠	(88)88	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	吉元昭治	(89)89	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	米田該典	(89)89	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	寄金丈嗣	(90)90	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞証に関する問題	渡辺賢治	(90)90	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞『ノストラダムス』の年頭にあたり	渡辺貞夫	(91)91	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	渡辺陽一	(92)92	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方製剤療法を日本漢方と中医学と対比して考える	谿忠人	(93)93	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞重ねて漢薬原料確保について	後藤實	(102)102	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞鎮痛解熱剤の東洋医学的考察	大友一夫	(105)105	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞脚気の想い出	細川喜代治	(121)121	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞人工受精・体外受精・顕微受精に成功しなかった婦人	寺師睦宗	(124)124	1999年(平成11)・第46巻・01号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞	菅谷英一	(127)127	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞姜桂湯（柴胡桂枝乾姜湯）を考える	浮田徹也	(128)128	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞眼疾に漢方治療を始め、「抗菌剤を止めるに至って」	山本昇吾	(135)135	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞腹診における臍部位置の臨床解剖学的研究	岡田耕造	(138)138	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞田代三喜著『和極集』の研究－曲直瀬道三著『授蒙聖功方』、同著『師語録』、西忍著『藪明集』との比較検討－	遠藤次郎・中村輝子	(147)147	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞食医＆疾医－私の目指すもの－（貝原益軒・香月牛山から吉益東洞への道）	宮崎綾子	(160)160	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『聖剤発蘊』の叙・自序について	久保田富也・久保田達也	(168)168	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『類聚方広義』舛誤考（中）－同書を読むにあたって－	松本一男	(175)175	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞子宮筋腫に桂枝茯苓丸を使用してみて	草間光一	(188)188	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞私の好きな処方　白虎加桂枝湯	岡利幸	(189)189	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞「風」のこと	三谷和男	(190)190	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞東亜医学協会結成60周年を迎えて	土方康世	(191)191	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞明治期の田舎医者メモ	林盈六	(193)193	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞父と山と私	荻原幸夫	(194)194	1999年(平成11)・第46巻・01号
トピックス／東大で医学生に伝統医学集中講座	編集局	(196)196	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞魂の対話	高橋法昭	(197)197	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞医学教育に東洋医学を	伊藤嘉紀	(200)200	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞私の漢方への旅路	松岡睦友	(203)203	1999年(平成11)・第46巻・01号
図書紹介／周春才作画・鈴木博訳『まんが易経入門』／杉山勲著『わかりやすい難経の臨床解説』／長谷川弥人・大塚恭男・山田光胤・菊谷豊彦編『漢方製剤活用の手引き』	編集局	(205)205	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方・・・そして、先生方との出会い	小林幹典	(206)206	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞華佗の墓参	加世田弘道	(213)213	1999年(平成11)・第46巻・01号

＜東亜医学協会創立60周年記念＞鍼灸の証と診断・治療（下）	池田政一	(220)220	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜第8回漢方治療研究会講演＞帰耆建中湯加附子による褥瘡の治療経験	長坂和彦・引網宏彰・巽武司・土佐寛順	(236)236	1999年(平成11)・第46巻・01号
陳立夫先生からの賀状	陳立夫	(241)241	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方薬の薬効	穐吉健治	(242)242	1999年(平成11)・第46巻・01号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞60周年ということ	松本克彦	(244)244	1999年(平成11)・第46巻・01号
女子医大雑話（65）＜消化器疾患の3例＞胃腸炎に半夏厚朴湯▽心窩部痛に四逆散▽心窩部痛に当帰建中湯	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(245)245	1999年(平成11)・第46巻・01号
最近のカルテの中から（13）＜鍼による喘息発作の治験例ほか＞鍼による喘息発作の治験例▽熱性霍乱に黄連湯▽鍼灸による眩暈の治験例	森由雄	(249)249	1999年(平成11)・第46巻・01号
漢方牛歩録（159）運動時の腹痛に柴胡桂枝湯	中村謙介	(253)253	1999年(平成11)・第46巻・01号
漢方診療おぼえ書（181）▽甲状腺機能亢進症に炙甘草湯と桂枝茯苓丸▽陳旧性打撲傷に治打撲一方加附子▽貨幣状皮膚炎に温清飲	緒方玄芳	(255)255	1999年(平成11)・第46巻・01号
変と態、感と観、そして行いと想い	北村翰男	(257)257	1999年(平成11)・第46巻・01号
中国の雑誌「医学与哲学」についてーその歴史・内容・評価ー（中）	図亜・津谷喜一郎	(260)260	1999年(平成11)・第46巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成10年12月＞	協会本部／編集局	(270)270	1999年(平成11)・第46巻・01号
@1999年(平成11)-第46巻-02号-＜東亜医学協会創立60周年記念号4＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（129）伊沢蘭軒の遺墨（1）	町泉寿郎	(2)290	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞大青竜湯の臨床応用	菊谷豊彦	(11)299	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞私の体験した五タイプの頭痛／急性頭痛発作への対応について	蓮村幸兌	(19)307	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞急性期における四逆湯の一服	高木嘉子	(27)315	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞私の使ってみたかった薬方　胃陰虚に対するツムラ麦門冬湯の使用例について	畑靖子	(31)319	1999年(平成11)・第46巻・02号
新年のことば　＜平成11年（1999年）＞21世紀の医学テーマ　補剤ー予防ー未病	古賀正通	(36)324	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方薬の薬効評価	石岡忠夫	(37)325	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞麻黄附子細辛湯の皮膚科的応用	二宮文乃	(38)326	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞葛根湯加桔梗石膏の大棗の増量で改善した酒サの膿疱及びその周辺の膿疱性ザ瘡の1治験	徳留一博	(50)338	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞皮膚症状の漢方的病態認識を現代的に理解する	仲原靖夫	(54)342	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞呉茱萸湯の研究	大西和子	(63)351	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞熊胆と動物胆	南利雄	(71)359	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方犬	新井信	(78)366	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞奥田謙蔵を基本とする漢方総論の構築	中村謙介	(85)373	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞吉益東洞十二家方について	中村成代	(94)382	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『傷寒論柯則』に寄せた浅田宗伯の序文について	秋葉哲生	(108)396	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方・この古くて新しいもの／未科学の治療法としての漢方　「未科学とは、現代の科学の水準では解明できないだけであって「非科学」では無い」	盛克己	(112)400	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『黄帝内経』における虚実の概念の研究　その1　『素問』における「実」の概念	吉冨誠・丸山衛士	(114)402	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞孝明天皇の御病状について	杉立義一	(117)405	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞わが気功道場繁昌記	帯津良一	(127)415	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『類聚方広義』舛誤考（下）ー同書を読むにあたってー	松本一男	(135)423	1999年(平成11)・第46巻・02号
不定愁訴に対する漢方の治療効果ーとくにサフランの併用効果についてー	宮崎瑞明・盛克己	(153)441	1999年(平成11)・第46巻・02号
女子医大雑話（66）＜半夏厚朴湯の症例について＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(162)450	1999年(平成11)・第46巻・02号
『理傷続断方』に対する管見	小山誠次	(167)455	1999年(平成11)・第46巻・02号
漢方を学生と語る	教授）松下嘉一 千葉大学医学部）渡三佳・千原由美子・篠崎勇介・宮山友明・三島有加	(172)460	1999年(平成11)・第46巻・02号
中国の雑誌「医学与哲学」についてーその歴史・内容・評価ー（下）	図亜・津谷喜一郎	(184)472	1999年(平成11)・第46巻・02号
世説医語（7）	吉田荘人	(192)480	1999年(平成11)・第46巻・02号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞傷寒論における主之・宜・与の意味について（宋板傷寒論三陰三陽篇・可不可篇と金匱玉函経・千金翼方・脉経巻七との比較検討）	牧角和宏	(196)484	1999年(平成11)・第46巻・02号
@1999年(平成11)-第46巻-03号-＜東亜医学協会創立60周年記念号5＞			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（130）伊沢蘭軒の遺墨（2）	町泉寿郎	(2)570	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞永富独嘯庵の医説と臨床	安井廣迪	(9)577	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞漢方治療が有効であった腫瘤性疾患の3例	永井良樹	(43)611	1999年(平成11)・第46巻・03号

＜東亜医学協会創立60周年記念＞「思いがけない効き目」に驚いた症例	矢数道明	(49)617	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞霍乱の1例について	小曽戸明子	(52)620	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞介護保険制度と漢方薬	原敬二郎	(54)622	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞癌は治るか、癌臨床の現場から	小川新	(55)623	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞岡本一抱子著『方意弁義』の釈義（「後世方」の五門の薬方）に関するノート	杉山広重	(80)648	1999年(平成11)・第46巻・03号
年初のかぜ体験記－卑見と独善による－	宮崎綾子	(100)668	1999年(平成11)・第46巻・03号
カゼを長引かせないために－表裏双解散の応用	小高修司	(105)673	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『皇漢医学』の中の生薬	小根山隆祥	(109)677	1999年(平成11)・第46巻・03号
二味の薬徴応用の実際	田畑隆一郎	(125)693	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞いわゆる代替医療と医学教育	丁宗鐵	(140)708	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞霊枢刺絡抜粋	大貫進	(147)715	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞ザ・トゥー荒木ズ	山ノ内慎一	(167)735	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞多紀元孝・元徳・元簡門人帳	町泉寿郎	(171)739	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞『福岡藩奥御番醫亀鑑』について	木下勤	(180)748	1999年(平成11)・第46巻・03号
多紀元堅の傷寒論講義（3）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(185)753	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（129）・（130）解説　伊沢蘭軒の遺墨	町泉寿郎	(191)759	1999年(平成11)・第46巻・03号
書評／山田慶兒著『中国医学はいかにつくられたか』	鎌田慶市郎	(204)772	1999年(平成11)・第46巻・03号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞南蛮屏風ラプソディー	長沢伸子	(205)773	1999年(平成11)・第46巻・03号
最近のカルテの中から（14）▽疣に麻杏ヨク甘湯▽疣にヨク苡仁とお灸▽疣に桂枝茯苓丸料加味	森由雄	(213)781	1999年(平成11)・第46巻・03号
女子医大雑話（67）＜月経困難症の3例＞月経困難症に桂枝茯苓丸▽生理痛に桂枝加芍薬湯▽月経困難症に桂枝茯苓丸	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(216)784	1999年(平成11)・第46巻・03号
漢方牛歩録（160）帯状疱疹に連翹湯	中村謙介	(220)788	1999年(平成11)・第46巻・03号
漢方診療おぼえ書（182）▽末期癌患者のモルヒネ副作用に小半夏加茯苓湯と治打撲一方加附子▽血栓性静脈炎後遺症に治打撲一方去大黄加附子と桂枝茯苓丸	緒方玄芳	(222)790	1999年(平成11)・第46巻・03号
東洋堂経験余話（99）▽脳梗塞に小続命湯▽打撲痛と足底のホテリに葛根湯加苓朮附湯	松本一男	(224)792	1999年(平成11)・第46巻・03号
漢方考　その（6）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(227)795	1999年(平成11)・第46巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年1月・2月＞	協会本部／編集局	(237)805	1999年(平成11)・第46巻・03号
@1999年(平成11)-第46巻-04号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（131）北京図書館蔵、多紀元堅ら手沢の古医籍（3）	真柳誠	(2)824	1999年(平成11)・第46巻・04号
巻頭言／第10回国際東洋医学会を前に	多留淳文	(9)831	1999年(平成11)・第46巻・04号
＜第8回漢方治療研究会特別講演＞聖光園における散剤の使用	中田敬吾	(11)833	1999年(平成11)・第46巻・04号
女子医大雑話（68）＜腹部膨満感を訴える3症例＞繰り返す腸閉塞に大建中湯合桂枝加芍薬大黄湯▽過敏性腸症候群（ガス型）に平胃散▽下腹部の張りと月経痛に桂枝茯苓丸	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(26)848	1999年(平成11)・第46巻・04号
帯状疱疹の疼痛に対する霊芝の効果	土方康世	(33)855	1999年(平成11)・第46巻・04号
＜第8回漢方治療研究会講演＞アトピー性皮膚炎に対する銀花丹皮湯の治療経験	広瀬滋之	(41)863	1999年(平成11)・第46巻・04号
当院におけるかぜ症候群の漢方治療	宮崎瑞明	(49)871	1999年(平成11)・第46巻・04号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞血小板減少性紫斑病の1治験－清熱についての考察－	柏木佑記慧	(63)885	1999年(平成11)・第46巻・04号
＜第8回漢方治療研究会講演＞しゃっくり（吃逆）に小半夏加茯苓湯－多めの、ひね生姜を意識して。－傷寒論・金匱要略における生姜の量の考察。	高橋法昭	(74)896	1999年(平成11)・第46巻・04号
胃痛・腹痛に対する簡便方	小高修司	(89)911	1999年(平成11)・第46巻・04号
張瓏英氏逝去	編集局	(92)914	1999年(平成11)・第46巻・04号
＜東亜医学協会創立60周年記念＞透析患者と漢方	室賀一宏	(93)915	1999年(平成11)・第46巻・04号
防風通聖散はインシュリン過剰分泌を抑制するか？	石岡忠夫	(99)921	1999年(平成11)・第46巻・04号
最近のカルテの中から（15）▽慢性蕁麻疹に防已黄耆湯加味▽大柴胡湯加味で蕁麻疹を治療した例▽神秘湯による気管支喘息の治験例	森由雄	(103)925	1999年(平成11)・第46巻・04号
漢方牛歩録（161）或る心臓神経症患者のカルテ	中村謙介	(105)927	1999年(平成11)・第46巻・04号
＜第8回漢方治療研究会講演＞東亜医学協会60年の歩み	矢数道明	(107)929	1999年(平成11)・第46巻・04号
液体病理説と配合のための薬理　同じ薬効を生み出す多様な過程	日合奨	(123)945	1999年(平成11)・第46巻・04号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その13－	宮崎綾子	(143)965	1999年(平成11)・第46巻・04号
トピックス／日本医学総会開催寺澤捷年教授が講演／日本内科学会に漢方関係の演題が採用される	編集局	(149)971	1999年(平成11)・第46巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年3月＞	協会本部／編集局	(159)981	1999年(平成11)・第46巻・04号
@1999年(平成11)-第46巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（132）中西深斎の遺墨	町泉寿郎	(2)1000	1999年(平成11)・第46巻・05号

巻頭言／富山医科薬科大学附属病院和漢診療部開設20周年を振り返って	難波恒雄	(9)1007	1999年(平成11)・第46巻・05号
＜ラウンド・テーブル・ディスカッション＞生薬黄連、その臨床への応用	演者）伊藤良・坂口弘・後藤實 コーディネーター）細野八郎・中田敬吾・高橋宏和	(11)1009	1999年(平成11)・第46巻・05号
＜第8回漢方治療研究会講演＞桃核承気湯が奏功した1歳のアトピー性皮膚炎の1例	伊藤隆・寺澤捷年	(51)1049	1999年(平成11)・第46巻・05号
＜第8回漢方治療研究会講演＞人工受精80回、体外受精1回の不妊症	寺師睦宗	(56)1054	1999年(平成11)・第46巻・05号
女子医大雑話（69）＜夏の皮膚疾患の2症例＞夏の発疹に葛根湯▽夏の蕁麻疹に黄連解毒湯	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(61)1059	1999年(平成11)・第46巻・05号
最近のカルテの中から（16）▽治療7年目に妊娠出産した不妊症の治験例▽尿路結石、急性腎盂腎炎の1例	森由雄	(64)1062	1999年(平成11)・第46巻・05号
漢方牛歩録（162）変形性膝関節症による関節水腫の1例	中村謙介	(68)1068	1999年(平成11)・第46巻・05号
漢方治療が奏効した椎骨動脈の頭位変換性狭窄による重症めまいの1症例	岡田耕造	(70)1070	1999年(平成11)・第46巻・05号
頑固な遅脈が漢方薬で正常になった	渡辺陽一	(75)1073	1999年(平成11)・第46巻・05号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その7	笠原栄司	(78)1076	1999年(平成11)・第46巻・05号
合病について（5）	岩崎勲	(85)1083	1999年(平成11)・第46巻・05号
漢方を学生と語る	教授）松下嘉一 千葉大学医学部）渡三佳・千原由美子・三島有加・宮山友明	(93)1091	1999年(平成11)・第46巻・05号
多紀元堅の傷寒論講義（4）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(100)1098	1999年(平成11)・第46巻・05号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（13）	千葉古方漢方研究会	(106)1104	1999年(平成11)・第46巻・05号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（132）解説　中西深斎の遺墨	町泉寿郎	(111)1109	1999年(平成11)・第46巻・05号
図書紹介／矢数道明著『漢方治療百話』	麻生武志・麻生佳津子	(117)1115	1999年(平成11)・第46巻・05号
図書紹介／韓国漢方誌『医林』の新刊にあたって	安桂俊・尹明学	(118)1116	1999年(平成11)・第46巻・05号
図書紹介／長谷川弥人著『三餘舎雑考』第三編	編集局	(119)1117	1999年(平成11)・第46巻・05号
トピックス／富山医薬大和漢診療部開設20周年式典挙行	編集局	(120)1118	1999年(平成11)・第46巻・05号
＜インタビュー＞第50回日本東洋医学会学術総会／第10回国際東洋医学会　開催を目前に	松田邦夫・代田文彦・稲木一元 聞き手）編集局	(121)1119	1999年(平成11)・第46巻・05号
@1999年(平成11)-第46巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（133）九華自筆の『扁鵲倉公列伝』（足利学校遺蹟図書館蔵）	宮川浩也	(2)1152	1999年(平成11)・第46巻・06号
第50回日本東洋医学会学術総会・第10回国際東洋医学会開催	編集局	(6)1156	1999年(平成11)・第46巻・06号
巻頭言／漢方生活20年を振り返って	長瀬千秋	(9)1159	1999年(平成11)・第46巻・06号
＜第8回漢方治療研究会講演＞香蘇散と加味方について	木下優子・鈴木邦彦・渡辺賀子・伊藤剛・渡辺賢治・村主明彦・花輪壽彦	(10)1160	1999年(平成11)・第46巻・06号
歯科口腔疾患の漢方治療について	宮崎瑞明	(13)1163	1999年(平成11)・第46巻・06号
女子医大雑話（70）＜整形外科疾患の3症例＞肩の痛みに葛根湯▽椎間板ヘルニアに防風通聖散合芍薬甘草湯▽頭痛と膝の痛みに防已黄耆湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(27)1177	1999年(平成11)・第46巻・06号
漢方牛歩録（163）反覆性の蕁麻疹に十味敗毒湯兼桂枝茯苓丸	中村謙介	(32)1182	1999年(平成11)・第46巻・06号
漢方診療おぼえ書（183）▽蕁麻疹に茵チン蒿湯▽呼吸困難に茯苓杏仁甘草湯▽耳下腺炎に駆風解毒散加桔梗石膏▽更年期障害の多汗に五倍子末敷臍療法	緒方玄芳	(34)1184	1999年(平成11)・第46巻・06号
口唇ヘルペス、性器ヘルペスに対する生薬の効果	土方康世	(36)1186	1999年(平成11)・第46巻・06号
亀井南冥と村井琴山	木下勤	(45)1195	1999年(平成11)・第46巻・06号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その14－	宮崎綾子	(55)1205	1999年(平成11)・第46巻・06号
多紀元堅の傷寒論講義（5）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(63)1213	1999年(平成11)・第46巻・06号
癩疾への漢方医学の対応についてのノート（後篇）－小笠原登氏の著作と学説を中心として－	杉山広重	(69)1219	1999年(平成11)・第46巻・06号
世説医語（8）	吉田荘人	(92)1242	1999年(平成11)・第46巻・06号
九鍼とは何？	柿田秀明	(96)1246	1999年(平成11)・第46巻・06号
漢方考　その（7）『黄帝内経素問』思いいずるままに	岡野嘉明・伊藤康雄	(112)1262	1999年(平成11)・第46巻・06号
第50回日本東洋医学会学術総会アルバム	編集局	(118)1268	1999年(平成11)・第46巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年4月・5月＞	協会本部／編集局	(126)1276	1999年(平成11)・第46巻・06号
@1999年(平成11)-第46巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（134）山脇東洋尺牘（山県周南宛）	町泉寿郎	(2)1296	1999年(平成11)・第46巻・07号
巻頭言／エコモン研究の歩みに思う	西岡五夫	(9)1303	1999年(平成11)・第46巻・07号
＜東亜医学協会創立60周年記念 ＞名医が使いこなす漢方薬－附子・大黄　－『漢方・生薬の謎を探る』より	難波恒雄	(10)1304	1999年(平成11)・第46巻・07号
体質学説から見た『傷寒論』	劉園英	(23)1317	1999年(平成11)・第46巻・07号

女子医大雑話（71）＜関節痛と筋肉痛の3症例＞全身こむら返りに抑肝散合芍薬甘草湯▽慢性関節リウマチに大防風湯▽ぎっくり腰に芍甘黄辛附湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(30)1324	1999年(平成11)・第46巻・07号
黄耆建中湯の奏効した盗汗の5症例	陣内弘和	(37)1331	1999年(平成11)・第46巻・07号
漢方薬を併用したアッペ術後の腸閉塞の1例（自験例）	大関潤一	(40)1334	1999年(平成11)・第46巻・07号
テオフィリン徐放製剤、ヴァルプロ酸Na投与時の血中濃度に与える大柴胡湯、補中益気湯、六君子湯の影響	石岡忠夫	(45)1339	1999年(平成11)・第46巻・07号
梔子柏皮湯の使用経験	渡辺陽一	(50)1344	1999年(平成11)・第46巻・07号
東洋医学会のサテライトシンポジウム「昭和の漢方を支えた人々」	編集局	(53)1347	1999年(平成11)・第46巻・07号
癒着性イレウスにおける解急蜀椒湯の使用例	黒柳展子	(54)1348	1999年(平成11)・第46巻・07号
漢方牛歩録（164）過敏性腸症候群に大建中湯を中心として	中村謙介	(56)1350	1999年(平成11)・第46巻・07号
漢方診療おぼえ書（184）▽子宮内膜症（卵巣）で不妊に桂枝茯苓丸▽不妊症に当帰芍薬散加附子▽不妊症に通導散	緒方玄芳	(58)1352	1999年(平成11)・第46巻・07号
畑の中の面々（24）おじちゃん達	田畑隆一郎	(61)1355	1999年(平成11)・第46巻・07号
多紀元堅の傷寒論講義（6）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(72)1366	1999年(平成11)・第46巻・07号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（14）	千葉古方漢方研究会	(78)1372	1999年(平成11)・第46巻・07号
老人の喘息と食道狭窄の灸治療の話	入江正	(83)1377	1999年(平成11)・第46巻・07号
藤平健先生を偲んで	兪雪如	(94)1388	1999年(平成11)・第46巻・07号
図書紹介／菊谷豊彦著『医療用漢方製剤の使い方』／阿部勝利著『外来診療における感染症と漢方』／梁哲宗著『漢方で治すアトピー性皮膚炎』／章真如著・渡辺賢一訳『風火痰才論』	編集局	(97)1391	1999年(平成11)・第46巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年6月＞	協会本部／編集局	(101)1395	1999年(平成11)・第46巻・07号
@1999年(平成11)-第46巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（135）北京図書館所蔵の日本旧蔵『三因方』影宋写本	真柳誠	(2)1416	1999年(平成11)・第46巻・08号
巻頭言／漢方所見の隔靴ソウ痒	花輪壽彦	(9)1423	1999年(平成11)・第46巻・08号
甘草乾姜湯（散剤）による気管支喘息の治療	盛克己・宮崎瑞明	(10)1424	1999年(平成11)・第46巻・08号
女子医大雑話（72）＜漢方児＞アトピー性皮膚炎に黄耆建中湯▽おむつかぶれに紫雲膏	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(16)1430	1999年(平成11)・第46巻・08号
釣藤散による皮膚ソウ痒症の病名治療	関修一郎・小川幸男	(19)1433	1999年(平成11)・第46巻・08号
異形成上皮の治験5例目	渡辺陽一	(24)1438	1999年(平成11)・第46巻・08号
漢方牛歩録（165）慢性頭痛に半夏白朮天麻湯	中村謙介	(28)1442	1999年(平成11)・第46巻・08号
漢方診療おぼえ書（185）▽吃逆に柿蔕湯▽胃部膨満、げっぷを訴える患者に茯苓飲▽こじれたカゼの漢方治療症例▽こじれたカゼに竹茹温胆湯	緒方玄芳	(30)1444	1999年(平成11)・第46巻・08号
気管支喘息の漢方治療中に劇的改善を認めた小児肥満の1症例	岡田耕造	(32)1446	1999年(平成11)・第46巻・08号
虚実についての一考	柿田秀明	(41)1455	1999年(平成11)・第46巻・08号
＜東大・伝統医学研究会五月祭企画＞〔シンポジウム〕これからのオルタナティヴメディスン－本音で語るその実態－	文責）糸数七重	(57)1471	1999年(平成11)・第46巻・08号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その8	笠原栄司	(67)1481	1999年(平成11)・第46巻・08号
多紀元堅の傷寒論講義（7）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(73)1487	1999年(平成11)・第46巻・08号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その15－	宮崎綾子	(79)1493	1999年(平成11)・第46巻・08号
世説医語（9）	吉田荘人	(88)1502	1999年(平成11)・第46巻・08号
図書紹介／小曽戸洋著『日本漢方典籍辞典』（大修館書店）を読む	杉山広重	(92)1506	1999年(平成11)・第46巻・08号
図書紹介／阿部勝利著『外来診療における感染症と漢方』	今田屋章	(94)1508	1999年(平成11)・第46巻・08号
図書紹介／長沢元夫著『伝統医学の学び方』／松本克彦編著『今日の漢方診療指針』	編集局	(95)1509	1999年(平成11)・第46巻・08号
トピックス／国際薬膳・食療シンポジウム開催	編集局	(96)1510	1999年(平成11)・第46巻・08号
@1999年(平成11)-第46巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（136）現存最古の『素問』、北京図書館蔵の金版	真柳誠	(2)1536	1999年(平成11)・第46巻・09号
巻頭言／東洋医学の適応とその限界	代田文彦	(9)1543	1999年(平成11)・第46巻・09号
第3回漢方研究奨励賞受賞者発表	編集局	(10)1544	1999年(平成11)・第46巻・09号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（1）	大塚賢治・渡辺洋井	(11)1545	1999年(平成11)・第46巻・09号
女子医大雑話（73）＜ありふれた症例＞動悸に炙甘草湯▽車酔いに五苓散▽咳に小建中湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(20)1554	1999年(平成11)・第46巻・09号
最近のカルテの中から（17）▽小児の嘔吐に調胃承気湯▽小児の斜頸に小建中湯▽腹痛に鍼と小建中湯	森由雄	(24)1558	1999年(平成11)・第46巻・09号
漢方牛歩録（166）膝窩動脈閉塞による間欠性跛行	中村謙介	(26)1560	1999年(平成11)・第46巻・09号
漢方診療おぼえ書（186）▽ヘバーデン結節にヨク苡仁加附子と桂枝茯苓丸	緒方玄芳	(28)1562	1999年(平成11)・第46巻・09号
東洋堂経験余話（100）▽不妊症に桂姜棗草黄辛附湯▽過労による腹痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	松本一男	(30)1564	1999年(平成11)・第46巻・09号
『扁鵲倉公列伝割解』と浅井氏	宮川浩也	(33)1567	1999年(平成11)・第46巻・09号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（15）	千葉古方漢方研究会	(44)1578	1999年(平成11)・第46巻・09号

【中国医学源流への彷徨】1. 陰陽と五行	小高修司	(49)1583	1999年(平成11)・第46巻・09号
生薬量詞としての「物」から「味」への変遷	郭秀梅・岡田研吉	(62)1596	1999年(平成11)・第46巻・09号
多紀元堅の傷寒論講義（8）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(72)1606	1999年(平成11)・第46巻・09号
東亜医学協会が日本学術会議の学術研究団体に登録される	編集局	(77)1611	1999年(平成11)・第46巻・09号
世説医語（10）	吉田荘人	(78)1612	1999年(平成11)・第46巻・09号
『漢方治療指針』（緑書房）の総論（各篇の）と「難病」篇について	杉山広重	(83)1617	1999年(平成11)・第46巻・09号
＜学会レポート＞第16回和漢医薬学会大会、成功裏に終る	長沢伸子	(95)1629	1999年(平成11)・第46巻・09号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年7・8月＞	協会本部／編集局	(108)1642	1999年(平成11)・第46巻・09号
@1999年(平成11)-第46巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（137）桃井安貞の腹診書	町泉寿郎	(2)1664	1999年(平成11)・第46巻・10号
巻頭言／現在の漢方治療	松下嘉一	(9)1671	1999年(平成11)・第46巻・10号
＜第9回漢方治療研究会特別講演＞私の好きな処方　番紅花・サフラン（最強の駆オ血剤）を含む処方の効用	橋本行生	(10)1672	1999年(平成11)・第46巻・10号
ステロイド治療により生じた色素沈着症の漢方治療	岡田耕造	(35)1697	1999年(平成11)・第46巻・10号
急性頭痛発作に対する石膏剤の利用－うつ熱性頭痛－	蓮村幸兌	(42)1704	1999年(平成11)・第46巻・10号
人工受精、体外受精、子宮1/3の不妊症	寺師睦宗	(47)1709	1999年(平成11)・第46巻・10号
東洋堂経験余話（101）▽膠原病患者の体温41℃を巡る攻防▽慢性便秘のため、腸閉塞になった症例に麻子仁丸料加味	松本一男	(53)1715	1999年(平成11)・第46巻・10号
女子医大雑話（74）＜民間療法の3症例＞空咳にアロエのすり下ろし汁▽ベーカー嚢腫に「まむしの皮」貼付▽「水虫に対する酢療法」追試	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(56)1718	1999年(平成11)・第46巻・10号
漢方牛歩録（167）ガングリオン・粘液嚢炎に五苓散加枳実山梔子	中村謙介	(62)1724	1999年(平成11)・第46巻・10号
最近のカルテの中から（18）▽大腸内視鏡検査後の腹痛に解急蜀椒湯▽肛門周囲膿瘍に大黄牡丹皮湯▽陰茎の潰瘍に香川解毒剤と紫雲膏	森由雄	(64)1726	1999年(平成11)・第46巻・10号
月湖編纂『大徳済陰方』の再検討	遠藤次郎・中村輝子	(67)1729	1999年(平成11)・第46巻・10号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（2）	大塚賢治・渡辺洋井	(76)1738	1999年(平成11)・第46巻・10号
多紀元堅の傷寒論講義（9）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(85)1747	1999年(平成11)・第46巻・10号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その16－	宮崎綾子	(91)1753	1999年(平成11)・第46巻・10号
図書紹介／松下嘉一読解・六角重任筆記『初心者にもわかる古方便覧』／吉元昭治著『不老長寿への旅』／山本徳子著『ことわざ東洋医学』	編集局	(101)1763	1999年(平成11)・第46巻・10号
上海の坐堂門診	川島繁男	(102)1764	1999年(平成11)・第46巻・10号
＜研究会レポート＞第6回伝統医学夏期講座、東大で開催	編集局	(104)1766	1999年(平成11)・第46巻・10号
第3回漢方研究奨励賞授賞式行わる	編集局	(106)1768	1999年(平成11)・第46巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年9月＞	協会本部／編集局	(111)1773	1999年(平成11)・第46巻・10号
@1999年(平成11)-第46巻-11号-			
第9回漢方治療研究会　順天堂大学有山記念館で開催	編集局	(1)1791	1999年(平成11)・第46巻・11号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（138）呉秀三収集『医聖堂前哲帖』（1）－多紀元簡・元堅－	町泉寿郎	(2)1792	1999年(平成11)・第46巻・11号
巻頭言／術と学	寺師睦宗	(9)1799	1999年(平成11)・第46巻・11号
＜第9回漢方治療研究会講演＞瓊玉膏と老人疾患について	原敬二郎	(10)1800	1999年(平成11)・第46巻・11号
＜第9回漢方治療研究会講演＞知的障害者施設における柴胡桂枝湯加味方の使用経験の2例	笹野雄助	(14)1804	1999年(平成11)・第46巻・11号
＜第9回漢方治療研究会講演＞合病について（6）	岩崎勲	(18)1808	1999年(平成11)・第46巻・11号
甘麦大棗湯の3症例－この薬方に於ける大棗の関わり方－（症例を通じての考察）	柏木佑記慧	(23)1813	1999年(平成11)・第46巻・11号
紫円で治癒した腹部水毒の例	木島三夫・田畑隆一郎	(34)1824	1999年(平成11)・第46巻・11号
難治性腸炎の初期における漢方治療の効果	土方康世・三浦洋・陸希	(39)1829	1999年(平成11)・第46巻・11号
人参湯と甘草乾姜湯の治験例　▽例1：吃逆の治験例▽例2：胸痛と肺気腫と前立腺肥大▽例3：心筋梗塞と腎臓病▽例4：胸背の痛み、80歳の女性▽例5：喘息と糖尿病▽例6：肺気腫	横溝嘉昭	(44)1834	1999年(平成11)・第46巻・11号
女子医大雑話（75）＜脾胃の重要性を認識した2症例＞難治性の耳だれ、耳の痒みに六君子湯▽難病の全身症状の改善に補中益気湯	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(48)1838	1999年(平成11)・第46巻・11号
漢方牛歩録（168）桂枝茯苓丸による間質性肺炎	中村謙介	(52)1842	1999年(平成11)・第46巻・11号
東洋堂経験余話（102）▽高血圧症と永い間食前・食後の胃痛に苦しむ人に安中散料加味▽右の坐骨神経痛と変形性膝関節症に防風通聖散料加牛膝・枳殻	松本一男	(54)1844	1999年(平成11)・第46巻・11号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（3）	大塚賢治・渡辺洋井	(57)1847	1999年(平成11)・第46巻・11号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その9	笠原栄司	(66)1856	1999年(平成11)・第46巻・11号
多紀元堅の傷寒論講義（10）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(72)1862	1999年(平成11)・第46巻・11号
「リュウ」「淋」音義考	郭秀梅・加藤久幸	(77)1867	1999年(平成11)・第46巻・11号
漢方考　その（8）『黄帝内経素問』思考と五行の相剋	岡野嘉明・伊藤康雄	(83)1873	1999年(平成11)・第46巻・11号
世説医語（11）	吉田荘人	(93)1883	1999年(平成11)・第46巻・11号
書評／中村謙介著『漢方診断ノート』	原桃介	(97)1887	1999年(平成11)・第46巻・11号

図書紹介／柯雪帆著『老中医の診察室』〔中医臨床小説〕／浅井貞庵著述・岡利幸解題『堯甫先生傷寒論口義』	編集局	(98)1888	1999年(平成11)・第46巻・11号
第5回東洞祭（広島）報告	多留淳文	(99)1889	1999年(平成11)・第46巻・11号
第9回漢方治療研究会アルバム（平成11年9月26日）	編集局	(101)1891	1999年(平成11)・第46巻・11号
トピックス／榕堂会総会開催	編集局	(108)1898	1999年(平成11)・第46巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年10月＞	協会本部／編集局	(112)1902	1999年(平成11)・第46巻・11号
@1999年(平成11)-第46巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（139）呉秀三収集『医聖堂前哲帖』（2）－吉益東洞－	町泉寿郎	(2)1920	1999年(平成11)・第46巻・12号
巻頭言／転換への胎動	松本克彦	(9)1927	1999年(平成11)・第46巻・12号
近代中国伝統医学と日本－民国時代における日本医書の影響	真柳誠	(10)1928	1999年(平成11)・第46巻・12号
＜第9回漢方治療研究会講演＞難治性糖尿病性壊疽に対して帰耆建中湯加附子が奏効した1例	引網宏彰・長坂和彦・名取通夫・横井昌隆	(27)1945	1999年(平成11)・第46巻・12号
＜第9回漢方治療研究会講演＞風邪の経過と尿の変化	南利雄	(32)1950	1999年(平成11)・第46巻・12号
治打撲一方の歴史的考察と使用経験	森久保治道	(35)1953	1999年(平成11)・第46巻・12号
女子医大雑話（76）＜いわゆる難病の3症例＞Ｃ型慢性肝炎に加味逍遥散▽潰瘍性大腸炎に啓脾湯▽炎症性乳ガンに温清飲と紫雲膏	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(40)1958	1999年(平成11)・第46巻・12号
漢方牛歩録（169）「横なで」の症に葛根湯	中村謙介	(46)1964	1999年(平成11)・第46巻・12号
東洋堂経験余話（103）▽自殺まで考えたアトピー性皮膚炎の経験▽前立腺肥大症に八味丸料加滑石	松本一男	(48)1966	1999年(平成11)・第46巻・12号
粟園浅田先生の詩集／国会図書館所蔵の稿本について	長谷川弥人	(51)1969	1999年(平成11)・第46巻・12号
月湖編纂『全九集』の再検討－原『全九集』の探求－	遠藤次郎・中村輝子	(57)1975	1999年(平成11)・第46巻・12号
新出の浅井氏「口訣」零本2種について／慶應義塾大学医学メディアセンター所蔵『素問口訣』『方彙口訣』残巻の報告	長野仁	(68)1986	1999年(平成11)・第46巻・12号
多紀元堅の傷寒論講義（11）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(73)1991	1999年(平成11)・第46巻・12号
中央薬事審議会、大幅な改組	編集局	(78)1996	1999年(平成11)・第46巻・12号
筋筋膜トリガーポイントの真相（上）	山下徳次郎	(79)1997	1999年(平成11)・第46巻・12号
白いカラスと黒いハト	小林幹典	(90)2008	1999年(平成11)・第46巻・12号
平成10年（1998）漢方略史年表	矢数道明	(95)2013	1999年(平成11)・第46巻・12号
書評／阿部勝利著『感染症と漢方』	寺澤捷年	(105)2023	1999年(平成11)・第46巻・12号
図書紹介／松浦達雄著『心身症の漢方治療』	編集局	(105)2023	1999年(平成11)・第46巻・12号
トピックス／浅井国幹先生告墓文百周年記念顕彰会開催／日本漢方協会学術大会開く	編集局	(106)2024	1999年(平成11)・第46巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年11月＞	協会本部／編集局	(112)2030	1999年(平成11)・第46巻・12号
@2000年(平成12)-第47巻-01号-			
巻頭言／夢の長寿社会	井形昭弘	(1)1	2000年(平成12)・第47巻・01号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（140）多紀元簡賛「張仲景像」	町泉寿郎	(2)2	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	矢数道明	(10)10	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞新年に寄せて	大塚恭男	(10)10	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	赤尾清剛	(11)11	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞平成12年への期待	秋葉哲生	(11)11	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	穐吉健治	(11)11	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	足立秀樹	(12)12	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	新井信	(12)12	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	粟島行春	(13)13	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	猪飼祥夫	(13)13	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	池田政一	(14)14	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞老人介護保険と漢方	石岡忠夫	(14)14	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞漢方のこれから	石橋晃	(14)14	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	板垣鋭司	(15)15	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞千年紀と漢方	市来一彦	(15)15	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	伊藤敦之	(16)16	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞矢数有道先生を偲ぶ	伊藤敏雄	(17)17	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞浅井国幹先生告墓文百周年記念行事への協賛に感謝	伊藤嘉紀	(17)17	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	井上淳子	(18)18	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	今泉清	(19)19	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	岩崎勲	(19)19	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞慶雲生五彩	浮田徹也	(20)20	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	遠藤次郎	(20)20	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞21世紀には国境は無きが如し	王瑞雲	(20)20	2000年(平成12)・第47巻・01号

新年のことば　＜平成12年（2000年）＞右脳左脳	大友一夫	(21)21	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	大西和子	(22)22	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞はり灸まつりの復活	大貫進	(22)22	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	岡利幸	(23)23	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	岡田耕造	(23)23	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞アトピーとプロトック軟膏	岡部俊一	(24)24	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	小川新	(24)24	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	小曽戸明子	(25)25	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞桃仁・杏仁	小根山隆祥	(25)25	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞翻訳の楽しみ・私の好きな言葉	小野正弘	(26)26	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞志の一年	帯津良一	(26)26	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞遺伝子多型の解析による個体差の解明	折茂肇	(26)26	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	遠田裕政	(27)27	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	柿田秀明	(28)28	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	笠原栄司	(28)28	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	加世田弘道	(28)28	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	香取俊光	(29)29	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	金子力	(29)29	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	鎌田慶市郎	(30)30	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	川島繁男	(30)30	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	河野順	(30)30	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	菊谷豊彦	(31)31	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	木下勤	(31)31	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	木下恒雄	(32)32	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞長い入院検査	草間光一	(33)33	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	久保田達也	(33)33	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	久保田富也	(33)33	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	粂川義雄	(34)34	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	桑木崇秀	(34)34	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	小曽戸洋	(34)34	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	小高修司	(35)35	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞薬用植物の多目的栽培	後藤實	(35)35	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	小林健二	(36)36	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	小松一	(36)36	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	昆健一郎	(36)36	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	今忠郎	(38)38	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	斎藤浩爾	(38)38	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞偶感無題	佐々木鍼岳	(38)38	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	神靖衛	(39)39	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	陣内弘和	(39)39	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	菅谷英一	(40)40	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	杉立義一	(40)40	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞遺伝子と漢方	角田睦子	(40)40	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	十河孝博	(41)41	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	高島文一	(41)41	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	高山宏世	(42)42	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	田家照生	(42)42	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	高橋邦夫	(42)42	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	高橋貞則	(43)43	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	高橋法昭	(43)43	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	竹田明	(43)43	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	竹村一三	(44)44	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	田中邦雄	(44)44	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	谿忠人	(44)44	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞明治時代の漢方教育機関	谷田伸治	(45)45	2000年(平成12)・第47巻・01号

新年のことば　＜平成12年（2000年）＞21世紀の漢方処方	田畑隆一郎	(45)45	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	田村嘉章	(46)46	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞内臓体壁反射	多留淳文	(46)46	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞年頭に際して	鎮西弘	(46)46	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	津谷喜一郎	(47)47	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞年頭所感	寺澤捷年	(48)48	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	寺師睦宗	(48)48	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	徳留一博	(48)48	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	中井康雄	(49)49	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞「地球医学」建設への船出	永井良樹	(49)49	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	中川良隆	(49)49	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	中島泰三	(50)50	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞腎炎治療の夢	永田紀四郎	(50)50	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞20世紀の締めくくりの学会を成功に	中田敬吾	(51)51	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	永田為徳	(51)51	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞澤瀉久敬氏と矢数道明氏	長門谷洋治	(51)51	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞帰納と演繹	中村謙介	(52)52	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	中村成代	(52)52	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	仲原靖夫	(53)53	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞東西医学の結合のために	鍋谷欣市	(53)53	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	難波恒雄	(54)54	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞辰年に思う	西岡五夫	(55)55	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞『非理法権天』循環論	西岡一夫	(55)55	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	西巻明彦	(56)56	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	西脇平士	(56)56	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	二宮文乃	(57)57	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞初心に帰りて	根本幸一	(58)58	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞亡母からの宿題	野口定子	(58)58	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞辰年に願う	野崎豊	(60)60	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞龍年の初夢？	橋口親義	(61)61	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞正月の余興－文字の遊び	長谷川弥人	(61)61	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	畑靖子	(61)61	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞北里研究所と北里大学	花輪壽彦	(62)62	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	濱中力	(62)62	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞医のセンス	林盈六	(62)62	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞漢方製剤と生薬の薬価引上げを望む	原敬二郎	(63)63	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	原桃介	(63)63	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	土方康世	(63)63	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	福田佳弘	(64)64	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	細井大二	(64)64	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	細川喜代治	(64)64	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	細野八郎	(65)65	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞「代替医療」を越えて	本間行彦	(66)66	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	牧角和宏	(66)66	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	牧田憲太郎	(67)67	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	町泉寿郎	(67)67	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松浦敬一	(68)68	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松岡賢也	(68)68	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松岡睦友	(69)69	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞漢方診察法の反省	松下嘉一	(69)69	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松田邦夫	(70)70	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松田知雄	(70)70	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松橋俊夫	(70)70	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	松本一男	(71)71	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞人それぞれに	真鍋立夫	(71)71	2000年(平成12)・第47巻・01号

新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	真柳誠	(72)72	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	溝部宏毅	(73)73	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	三谷和男	(73)73	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞新玉の歳の始めに願うこと「入院施設と研修システムが欲しい！」	三潴忠道	(73)73	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞全体治療の大切さ	南利雄	(74)74	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞近代医学体系における漢方	宮川昭平	(74)74	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	宮崎綾子	(75)75	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞漢方による発癌予防を期待して	宮崎瑞明	(75)75	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	宮沢康朗	(76)76	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	宮本昭正	(76)76	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	宗像敬一	(77)77	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	村田英則	(77)77	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	村松慎一	(77)77	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	室賀昭三	(78)78	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	望月博	(78)78	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	盛克己	(79)79	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	森一	(80)80	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	森由雄	(80)80	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	守井琴	(80)80	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	盛岡頼子	(80)80	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	矢数圭堂	(81)81	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	山内浩	(81)81	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	山田光胤	(81)81	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	山田寛幸	(82)82	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	山ノ内慎一	(82)82	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	梁哲周	(83)83	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	横倉照門	(84)84	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	横溝嘉昭	(84)84	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	吉冨誠	(84)84	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	吉光辰男	(84)84	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	吉元昭治	(85)85	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞一生精進	渡辺賢治	(85)85	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	渡辺貞夫	(86)86	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	周蓮湘・王丹輝	(87)87	2000年(平成12)・第47巻・01号
新年のことば　＜平成12年（2000年）＞	「日本医学紹介」編集部	(87)87	2000年(平成12)・第47巻・01号
補陰湯の使用目標に関する1考察	後藤博三・寺澤捷年	(88)88	2000年(平成12)・第47巻・01号
腹証と方剤（1）抑肝散加陳皮半夏	今泉清	(94)94	2000年(平成12)・第47巻・01号
＜第9回漢方治療研究会講演＞欝滞性静脈炎、リンパ浮腫の考え方	仲原靖夫・宮里稔・謝花隆光	(101)101	2000年(平成12)・第47巻・01号
副腎腫瘍が漢方薬治療で消失した1例	土方康世・原田昇	(108)108	2000年(平成12)・第47巻・01号
女子医大雑話（77）＜風邪の症例、ほか＞風邪に麻黄湯▽インフルエンザに麻黄湯▽風邪に桂姜棗草黄辛附湯▽慢性副鼻腔炎に葛根湯加川キュウ辛夷	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(117)117	2000年(平成12)・第47巻・01号
東洋堂経験余話（104）▽糖尿病による動悸・息切れに防風通聖散合桂枝茯苓丸料▽ストレスが原因か、結節性紅斑に柴胡加竜骨牡蠣湯	松本一男	(121)121	2000年(平成12)・第47巻・01号
漢方牛歩録（170）糖尿病患者の臀部膿瘍に十全大補湯	中村謙介	(124)124	2000年(平成12)・第47巻・01号
漢方診療おぼえ書（187）▽頻尿、尿不利に清心蓮子飲（2例）▽食事すると咳込むとの訴えに滋陰清火湯▽感冒罹患後、長引いた微熱に補中益気湯	緒方玄芳	(126)126	2000年(平成12)・第47巻・01号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（4）	大塚賢治・渡辺洋井	(128)128	2000年(平成12)・第47巻・01号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳ーその17ー	宮崎綾子	(136)136	2000年(平成12)・第47巻・01号
聯綿詞としての淋瀝・淋露	加藤久幸・郭秀梅	(143)143	2000年(平成12)・第47巻・01号
世説医語（12）	吉田荘人	(149)149	2000年(平成12)・第47巻・01号
筋筋膜トリガーポイントの真相（下）	山下徳次郎	(153)153	2000年(平成12)・第47巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成11年12月＞	協会本部／編集局	(169)169	2000年(平成12)・第47巻・01号
@2000年(平成12)-第47巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（141）古活字本『史記』扁鵲倉公列伝	宮川浩也	(2)186	2000年(平成12)・第47巻・02号
巻頭言／漢方研究者の証	丁宗鐵	(9)193	2000年(平成12)・第47巻・02号
舒筋立安散と当帰拈痛湯の併用が奏功した慢性関節リウマチの1例	関矢信康・寺澤捷年	(10)194	2000年(平成12)・第47巻・02号

托裏消毒散（『外科正宗』）が奏効した2症例	大関潤一	(14)198	2000年(平成12)・第47巻・02号
＜第9回漢方治療研究会講演＞苓姜朮甘湯加附子による腹痛の治療経験	長坂和彦・引網宏彰・名取通夫・横井昌隆	(23)207	2000年(平成12)・第47巻・02号
漢方薬治療が奏効した、日和見感染症と思われる下腿の反復性丹毒の1例	岡田耕造	(29)213	2000年(平成12)・第47巻・02号
＜第9回漢方治療研究会講演＞子宮筋腫の不妊症	寺師睦宗	(35)219	2000年(平成12)・第47巻・02号
女子医大雑話（78）＜腹の張りの2症例＞腹痛、腹の張りに大建中湯▽腹の張り、便秘に大黄牡丹皮湯	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(40)224	2000年(平成12)・第47巻・02号
虚実を考える	岩崎勲	(43)227	2000年(平成12)・第47巻・02号
虚実諸論（2）古今虚実論争	勝野達郎	(51)235	2000年(平成12)・第47巻・02号
東洋堂経験余話（105）▽糖尿病のため右膝が痛む人に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料加牛膝・枳殻▽アトピー性皮膚炎に大柴胡湯加味	松本一男	(87)271	2000年(平成12)・第47巻・02号
漢方診療おぼえ書（188）▽疣に麻杏ヨク甘湯（2例）▽長年、胃内停水、食欲不振を訴えていた高齢者に茯苓沢瀉湯（『金匱要略』）	緒方玄芳	(90)274	2000年(平成12)・第47巻・02号
南陽原先生の詩文集を読む	長谷川弥人	(92)276	2000年(平成12)・第47巻・02号
多紀元堅の傷寒論講義（12）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(94)278	2000年(平成12)・第47巻・02号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（16）	千葉古方漢方研究会	(99)283	2000年(平成12)・第47巻・02号
「上工治末病何也」	鈴木弘明	(106)290	2000年(平成12)・第47巻・02号
医家先哲墓参誌（第2回）田村玄仙・小倉重成・遠山孝庵	多留淳文	(109)293	2000年(平成12)・第47巻・02号
トピックス／ツムラ・日経メディカルシンポジウム開催	編集局	(118)302	2000年(平成12)・第47巻・02号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年1月＞	協会本部／編集局	(123)307	2000年(平成12)・第47巻・02号
@2000年(平成12)-第47巻-03号-			
大塚敬節先生生誕百年記念会開催	編集局	(1)325	2000年(平成12)・第47巻・03号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（142）和久田叔虎自筆稿本『読腹証奇覧』	町泉寿郎	(2)326	2000年(平成12)・第47巻・03号
巻頭言／補瀉の概念と西洋薬と漢方薬との併用	原敬二郎	(9)333	2000年(平成12)・第47巻・03号
＜第9回漢方治療研究会講演＞「大塚の臍痛点」の出現する薬方証と臍痛点の消長について	森由雄	(10)334	2000年(平成12)・第47巻・03号
女子医大雑話（79）＜一味のさじ加減が奏功した3症例＞「汗が出ない」に麻黄のさじ加減▽子宮内膜症による下腹部痛に大黄増量▽長引く咳と痰に竹節人参	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(15)339	2000年(平成12)・第47巻・03号
あるパニック障害患者に西洋薬と漢方製剤の併用	藤井英子	(23)347	2000年(平成12)・第47巻・03号
イチョウ葉の臨床	松下嘉一	(27)351	2000年(平成12)・第47巻・03号
百合狐惑病の治験例	横溝嘉昭	(47)371	2000年(平成12)・第47巻・03号
漢方牛歩録（171）感冒・悪心に桂枝去桂加茯苓朮湯	中村謙介	(51)375	2000年(平成12)・第47巻・03号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（5）	大塚賢治・渡辺洋井	(53)377	2000年(平成12)・第47巻・03号
『傷寒論』の勉強会から／『傷寒論』弁脈法註解（1）	秋葉哲生ほか	(61)385	2000年(平成12)・第47巻・03号
多紀元堅の傷寒論講義（13）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(69)393	2000年(平成12)・第47巻・03号
説解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その10	笠原栄司	(74)398	2000年(平成12)・第47巻・03号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（1）	鈴木堯	(81)405	2000年(平成12)・第47巻・03号
症状と正気	柿田秀明	(87)411	2000年(平成12)・第47巻・03号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その18－	宮崎綾子	(95)419	2000年(平成12)・第47巻・03号
世説医語（13）	吉田荘人	(101)425	2000年(平成12)・第47巻・03号
西安周辺	荻原幸夫	(104)428	2000年(平成12)・第47巻・03号
図書紹介／高木嘉子著『自律神経失調症が必ず治る本』／前村勉著『修治の実際』／趙基恩・上妻四郎編著『痛みの中医診療学』／渡部迪男著『現代システム漢方入門』	編集局	(108)432	2000年(平成12)・第47巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年2月＞	協会本部／編集局	(113)437	2000年(平成12)・第47巻・03号
@2000年(平成12)-第47巻-04号-＜大塚敬節先生生誕100年記念特集号＞			
巻頭言／漢方医学独自の長所を生かした論文が望ましい	長谷川弥人	(2)454	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜口絵＞大塚敬節先生入門の日が判明する湯本求真翁の葉書	編集局	(4)456	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞大塚敬節先生の教え	坂口弘	(10)462	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞	山田光胤	(12)464	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞	寺師睦宗	(17)469	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞大塚敬節先生を語る	藤井美樹	(19)471	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞	松田邦夫	(21)473	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞大塚敬節先生の思い出	室賀昭三	(23)475	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞	緒方芳郎	(24)476	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞	菊谷豊彦	(26)478	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞	橋口親義	(28)480	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞大塚敬節先生と愛	岡利幸	(30)482	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生に教えられたこと＞大塚敬節先生に学んだこと	丁宗鐵	(32)484	2000年(平成12)・第47巻・04号

在りし日の大塚敬節先生	編集局	(34)486	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生生誕100年記念会＞記念講演／大塚敬節先生のカルテから	花輪壽彦	(35)487	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生生誕100年記念会＞記念講演データ／大塚敬節先生のカルテから	花輪壽彦・西勝久・土橋美子・佐々木一郎・頼建守	(41)493	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜大塚敬節先生生誕100年記念会＞ミニトークショー／大塚敬節先生を語る	山田光胤・寺師睦宗・松田邦夫・大塚恭男 司会）杵渕彰・稲木一元	(51)503	2000年(平成12)・第47巻・04号
大塚敬節先生生誕100年記念会記念パーティー	編集局	(69)521	2000年(平成12)・第47巻・04号
＜再録＞大塚敬節氏訪問の記－昭和47年7月19日　修琴堂大塚医院にて－	気賀林一	(85)537	2000年(平成12)・第47巻・04号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（6）	大塚賢治・渡辺洋井	(102)554	2000年(平成12)・第47巻・04号
四逆加人参湯が有効であった掌蹠膿疱症の1例	大関潤一・板澤正明	(110)562	2000年(平成12)・第47巻・04号
コウ脈は聴診できる	高木壽子	(117)569	2000年(平成12)・第47巻・04号
漢方牛歩録（172）脳腫瘍による手のひきつりに続命湯	中村謙介	(120)572	2000年(平成12)・第47巻・04号
東洋堂経験余話（106）▽心筋梗塞の手術後の後遺症に柴胡加竜骨牡蠣湯▽難治性の慢性前立腺炎に騰竜湯	松本一男	(122)574	2000年(平成12)・第47巻・04号
女子医大雑話（80）＜生理痛に小建中湯ほか＞便秘に防風通聖散▽生理痛に小建中湯▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(125)577	2000年(平成12)・第47巻・04号
興味ある臨床像を呈した「冷え」の1症例　－「冷え」の病態についての1考察－	岡田耕造	(130)582	2000年(平成12)・第47巻・04号
合病について（7）	岩崎勲	(137)589	2000年(平成12)・第47巻・04号
『傷寒論』の勉強会から／『傷寒論』弁脈法註解（2）	秋葉哲生ほか	(144)596	2000年(平成12)・第47巻・04号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（2）	鈴木堯	(152)604	2000年(平成12)・第47巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年3月＞	協会本部／編集局	(164)616	2000年(平成12)・第47巻・04号
@2000年(平成12)-第47巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（143）宇津木昆台の遺墨	町泉寿郎	(1)633	2000年(平成12)・第47巻・05号
巻頭言／第51回日本東洋医学会学術総会京都開催を前に	原桃介	(9)641	2000年(平成12)・第47巻・05号
＜日本東洋医学会京都大会ランチョンセミナー講演要旨＞医史学より見た日中伝統医学の継承と発展－乖離の史的認識から相互理解へ－	真柳誠	(10)642	2000年(平成12)・第47巻・05号
＜第51回日本東洋医学会学術総会＞京都大会の見どころ・聞きどころ	細野八郎・中田敬吾・矢田博之・田中邦雄 聞き手）土屋伊磋雄	(11)643	2000年(平成12)・第47巻・05号
『古方便覧』にみるオ血の具体的治療をめぐって	松下嘉一	(19)651	2000年(平成12)・第47巻・05号
＜第9回漢方治療研究会講演＞続命湯の糖尿病病態への影響	富井明望・丁宗鐵	(31)663	2000年(平成12)・第47巻・05号
風邪初期症状に対する漢方薬早期服用の効果	盛克己・宮崎瑞明	(37)669	2000年(平成12)・第47巻・05号
腹瀉2例について	土方康世・陸布	(42)674	2000年(平成12)・第47巻・05号
東洋堂経験余話（107）▽長期にわたる抗生物質を投与され、壊証になった感冒に黄耆建中湯加附子▽慢性関節リウマチの治験	松本一男	(47)679	2000年(平成12)・第47巻・05号
漢方牛歩録（173）左上腹部痛に柴胡疎肝湯（統旨）	中村謙介	(50)682	2000年(平成12)・第47巻・05号
女子医大雑話（81）＜長年の頑固な便秘に人参湯が有効であった2症例＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(52)684	2000年(平成12)・第47巻・05号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（7）	大塚賢治・渡辺洋井	(56)688	2000年(平成12)・第47巻・05号
『傷寒論』の勉強会から／『傷寒論』弁脈法註解（3）	秋葉哲生ほか	(68)700	2000年(平成12)・第47巻・05号
多紀元堅の傷寒論講義（14）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(76)708	2000年(平成12)・第47巻・05号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（17）	千葉古方漢方研究会	(81)713	2000年(平成12)・第47巻・05号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その19－	宮崎綾子	(87)719	2000年(平成12)・第47巻・05号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（3）	鈴木堯	(94)726	2000年(平成12)・第47巻・05号
世説医語（14）	吉田荘人	(100)732	2000年(平成12)・第47巻・05号
トピックス／“はり灸まつり”16年ぶりに復活／漢方薬認定薬剤師の講座がスタート	編集局	(104)736	2000年(平成12)・第47巻・05号
図書紹介／南京中医薬大学中医系編著『現代語訳　黄帝内経霊枢』上下二巻	編集局	(104)736	2000年(平成12)・第47巻・05号
@2000年(平成12)-第47巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（144）辻元ショウ庵の遺墨・遺著	町泉寿郎	(2)762	2000年(平成12)・第47巻・06号
巻頭言／世紀間の橋渡しをする総会	細野八郎	(9)769	2000年(平成12)・第47巻・06号
『傷寒論』『金匱要略』を中心とした古典に現れたる附子剤	森久保治道	(10)770	2000年(平成12)・第47巻・06号
漢方医家先哲墓参誌（上）－京都市特集－	多留淳文	(23)783	2000年(平成12)・第47巻・06号
＜第9回漢方治療研究会講演＞桃核承気湯の3治験例	張民浩	(85)845	2000年(平成12)・第47巻・06号
異常発汗を示した2症例	大関潤一・板澤正明	(89)849	2000年(平成12)・第47巻・06号
東洋堂経験余話（108）▽本態性高血圧症に七物降下湯の経験▽慢性関節リウマチに十全大補湯加附子	松本一男	(94)854	2000年(平成12)・第47巻・06号
女子医大雑話（82）＜ＮＵＤの3症例＞胃食道逆流型ＮＵＤに四逆散▽運動不全型ＮＵＤに六君子湯合香蘇散▽潰瘍症状型ＮＵＤに柴胡桂枝湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(97)857	2000年(平成12)・第47巻・06号
漢方牛歩録（174）強直性脊椎炎に伴う背部痛に狗脊飲	中村謙介	(104)864	2000年(平成12)・第47巻・06号

＜第9回漢方治療研究会講演＞消去法により実感できた半夏・貝母の去痰作用－気管支喘息、気管支拡張症の症例において。及び痰の病態生理と、去痰生薬の整理の試み。	高橋法昭	(106)866	2000年(平成12)・第47巻・06号
『傷寒論』の勉強会から／『傷寒論』弁脈法註解（4）	秋葉哲生ほか	(126)886	2000年(平成12)・第47巻・06号
多紀元堅の傷寒論講義（15）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(136)896	2000年(平成12)・第47巻・06号
【中国医学源流への彷徨】2. 外因（六淫）について－陽邪（暑、熱、火）の変遷からみた火邪の疑問－	小高修司	(139)899	2000年(平成12)・第47巻・06号
千葉市医師会漢方研究会　県医師会学術奨励賞を受賞	編集局	(149)909	2000年(平成12)・第47巻・06号
統合医学論提唱の意味	小川新	(150)910	2000年(平成12)・第47巻・06号
＜日本東洋医学会京都大会ランチョンセミナー講演要旨＞医史学より見た日中伝統医学の継承と発展－乖離の史的認識から相互理解へ－（再掲）	真柳誠	(159)919	2000年(平成12)・第47巻・06号
@2000年(平成12)-第47巻-07号-			
第51回日本東洋医学会学術総会開催	編集局	(1)937	2000年(平成12)・第47巻・07号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（145）辻元ショウ庵の墓碑・遺墨	町泉寿郎	(2)938	2000年(平成12)・第47巻・07号
『康平傷寒論』の「傷寒例」読解（1）	山田光胤	(9)945	2000年(平成12)・第47巻・07号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（8）	大塚賢治・渡辺洋井	(13)949	2000年(平成12)・第47巻・07号
『傷寒論』の勉強会から／『傷寒論』弁脈法註解（5）	秋葉哲生ほか	(27)963	2000年(平成12)・第47巻・07号
女子医大雑話（83）＜胃のもたれに半夏瀉心湯他＞胃のもたれに半夏瀉心湯▽慢性胃炎に六君子湯▽拡張型心筋症に半夏白朮天麻湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(35)971	2000年(平成12)・第47巻・07号
東洋堂経験余話（109）▽アトピー性皮膚炎と気管支喘息の経験▽不眠症に帰脾湯合抑肝散料	松本一男	(41)977	2000年(平成12)・第47巻・07号
漢方牛歩録（175）外傷後の下腿フィステルに千金内托散料	中村謙介	(44)980	2000年(平成12)・第47巻・07号
興味ある臨床像を呈した「冷え」の1症例（2）－「冷え」による精神症状についての1考察－	岡田耕造	(46)982	2000年(平成12)・第47巻・07号
漢方医家先哲墓参誌（中）－京都市特集－	多留淳文	(51)987	2000年(平成12)・第47巻・07号
最近の中国での竜門薬方の解析の成功について－張瑞賢氏主編『竜門薬方釈義』より－	杉山広重	(93)1029	2000年(平成12)・第47巻・07号
図書紹介／久保道徳著『病気と漢方の実際』	編集局	(113)1049	2000年(平成12)・第47巻・07号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その11	笠原栄司	(114)1050	2000年(平成12)・第47巻・07号
多紀元堅の傷寒論講義（16）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(120)1056	2000年(平成12)・第47巻・07号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（4）	鈴木堯	(124)1060	2000年(平成12)・第47巻・07号
「仲景語法」の虚実を考える	玉置英成	(128)1064	2000年(平成12)・第47巻・07号
世説医語（15）	吉田荘人	(131)1067	2000年(平成12)・第47巻・07号
アメリカの相補・代替医療の近況／シンポジウム「慢性肝疾患と相補代替医療」ＮＩＨ主催に参加して	丁宗鐵	(135)1071	2000年(平成12)・第47巻・07号
トピックス／東洋医学会学術総会、京都で開催／本協会主催のランチョンセミナー開催	編集局	(140)1076	2000年(平成12)・第47巻・07号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年4月・5月・6月＞	協会本部／編集局	(145)1081	2000年(平成12)・第47巻・07号
@2000年(平成12)-第47巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（146）穂積惟正『扁鵲伝註』	宮川浩也	(2)1098	2000年(平成12)・第47巻・08号
医史学より見た日中伝統医学の継承と発展－乖離の史的認識から相互理解へ－	真柳誠	(9)1105	2000年(平成12)・第47巻・08号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（9）	大塚賢治・渡辺洋井	(29)1125	2000年(平成12)・第47巻・08号
当院における気管支炎の漢方治療	宮崎瑞明	(45)1141	2000年(平成12)・第47巻・08号
漢方の立場からみた女性の体型判定と肥満の成因	小山誠次	(57)1153	2000年(平成12)・第47巻・08号
左半身の諸症状に奏効した延年半夏湯の1症例	大関潤一	(75)1171	2000年(平成12)・第47巻・08号
漢方薬が奏効した流涎症の3症例	陣内弘和	(80)1176	2000年(平成12)・第47巻・08号
桂枝加葛根湯の治験例	横溝嘉昭	(83)1179	2000年(平成12)・第47巻・08号
女子医大雑話（84）＜十全大補湯を投与し、妊娠に成功した不妊症の2症例＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(85)1181	2000年(平成12)・第47巻・08号
漢方牛歩録（176）肩凝りを主訴とする慢性気管支喘息に変製心気飲	中村謙介	(90)1186	2000年(平成12)・第47巻・08号
東洋堂経験余話（110）▽糖尿病と脳梗塞の後遺症に小続命湯加地黄▽メニエール病に防風通聖散料加茯苓・桂枝	松本一男	(92)1188	2000年(平成12)・第47巻・08号
『康平傷寒論』の「傷寒例」読解（2）	山田光胤	(95)1191	2000年(平成12)・第47巻・08号
多紀元堅の傷寒論講義（17）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(100)1196	2000年(平成12)・第47巻・08号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（1）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(104)1200	2000年(平成12)・第47巻・08号
山田業広著『金匱要略集註』訓読（18）	千葉古方漢方研究会	(113)1209	2000年(平成12)・第47巻・08号
漢方医家先哲墓参誌（下）－京都市特集－	多留淳文	(119)1215	2000年(平成12)・第47巻・08号
@2000年(平成12)-第47巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（147）浅井正封書入本『扁倉伝割解』	宮川浩也	(2)1258	2000年(平成12)・第47巻・09号
巻頭言／代替医療ビジネスへの対応	広瀬滋之	(9)1265	2000年(平成12)・第47巻・09号

＜第9回漢方治療研究会講演＞八味丸の脳血流増加作用－ヒト網膜中心動脈の血流を指標として－	磯部秀之・丁宗鐵	(10)1266	2000年(平成12)・第47巻・09号
『蕉窓方意解』補遺	岡利幸	(17)1273	2000年(平成12)・第47巻・09号
女子医大雑話（85）＜ストレスが原因と考えられる3症例＞「末期症状」と信じ込んだ女性に加味逍遥散▽「急行電車に乗れない」に茯苓飲合半夏厚朴湯▽「学校に行けない」に柴胡桂枝湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(22)1278	2000年(平成12)・第47巻・09号
東洋堂経験余話（111）▽気管支喘息に喘四君子湯加味▽虚弱体質に小建中湯加ヨク苡仁	松本一男	(31)1287	2000年(平成12)・第47巻・09号
漢方診療おぼえ書（189）▽舌炎に清熱補気湯▽大臼歯の歯周炎に桂枝五物湯／犬歯の萎縮歯槽膿漏に帰耆六君子湯（森田）▽サルコイドーシスに益気養栄湯	緒方玄芳	(34)1290	2000年(平成12)・第47巻・09号
漢方牛歩録（177）浸出性中耳炎に小建中湯兼苓甘姜味辛夏仁湯	中村謙介	(36)1292	2000年(平成12)・第47巻・09号
五行説の私的解釈	横溝嘉昭	(38)1294	2000年(平成12)・第47巻・09号
HbA1cに対する羅漢果の影響を考える	松下嘉一	(39)1295	2000年(平成12)・第47巻・09号
『康平傷寒論』の「傷寒例」読解（3）	山田光胤	(63)1319	2000年(平成12)・第47巻・09号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（10）	大塚賢治・渡辺洋井	(69)1325	2000年(平成12)・第47巻・09号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（2）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(77)1333	2000年(平成12)・第47巻・09号
導引・行気と経脈論の接点	遠藤次郎・中村輝子	(85)1341	2000年(平成12)・第47巻・09号
【中国医学源流への彷徨】3. 気の流れを調整しているのは「肝」か「胆」か「膈」か	小高修司	(95)1351	2000年(平成12)・第47巻・09号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その20－	宮崎綾子	(108)1364	2000年(平成12)・第47巻・09号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（5）	鈴木堯	(115)1371	2000年(平成12)・第47巻・09号
書評／田代和生著『江戸時代朝鮮薬材調査の研究』	吉冨誠	(121)1377	2000年(平成12)・第47巻・09号
図書紹介／貝原益軒原著・松宮光伸訳註『口語養生訓』	編集局	(122)1378	2000年(平成12)・第47巻・09号
トピックス／和漢医薬学会、愛知県で開催	編集局	(132)1388	2000年(平成12)・第47巻・09号
@2000年(平成12)-第47巻-10号-			
＜口絵＞大塚敬節先生記念碑除幕式	編集局	(1)1401	2000年(平成12)・第47巻・10号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（148）片倉鶴陵の遺墨	町泉寿郎	(2)1402	2000年(平成12)・第47巻・10号
巻頭言／古医籍の調査保存と研究	真柳誠	(9)1409	2000年(平成12)・第47巻・10号
＜第9回漢方治療研究会講演＞眼科領域における漢方薬利用の動向	伊藤敦之	(10)1410	2000年(平成12)・第47巻・10号
フーナーテスト4回陰性の不妊症	寺師睦宗	(17)1417	2000年(平成12)・第47巻・10号
当帰散の運用　その1　整胎	伊藤康雄	(22)1422	2000年(平成12)・第47巻・10号
四逆湯の症例報告	趙樹紅	(28)1428	2000年(平成12)・第47巻・10号
東洋堂経験余話（112）▽胃腸弛緩症で腹痛を訴える人に建理湯加附子▽花粉症に桂姜棗草黄辛附湯	松本一男	(33)1433	2000年(平成12)・第47巻・10号
女子医大雑話（86）＜皮膚疾患の4例＞アトピー性皮膚炎に十味敗毒湯▽蕁麻疹に柴胡桂枝湯▽蕁麻疹に十味敗毒湯▽尋常性乾癬に黄連解毒湯	溝部宏毅･新井信･盛岡頼子	(36)1436	2000年(平成12)・第47巻・10号
漢方診療おぼえ書（190）＜裏寒について＞	緒方玄芳	(40)1440	2000年(平成12)・第47巻・10号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（11）	大塚賢治・渡辺洋井	(42)1442	2000年(平成12)・第47巻・10号
第4回立夫中医薬学術奨で山田陽城氏が受賞	杉立義一	(56)1456	2000年(平成12)・第47巻・10号
『康平傷寒論』の「傷寒例」読解（4）	山田光胤	(57)1457	2000年(平成12)・第47巻・10号
『史記』扁鵲倉公列伝研究史（上）	宮川浩也	(63)1463	2000年(平成12)・第47巻・10号
『傷寒論方法弁』を読む	長谷川弥人	(81)1481	2000年(平成12)・第47巻・10号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その12	笠原栄司	(85)1485	2000年(平成12)・第47巻・10号
多紀元堅の傷寒論講義（18）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(92)1492	2000年(平成12)・第47巻・10号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（3）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(97)1497	2000年(平成12)・第47巻・10号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（6）	鈴木堯	(105)1505	2000年(平成12)・第47巻・10号
世説医語（16）	吉田荘人	(111)1511	2000年(平成12)・第47巻・10号
只仁堂雑抄餘韻	中村謙介	(115)1515	2000年(平成12)・第47巻・10号
第10回漢方治療研究会アルバム	編集局	(117)1517	2000年(平成12)・第47巻・10号
第4回漢方研究奨励賞佳作の授賞式	編集局	(122)1522	2000年(平成12)・第47巻・10号
大塚敬節先生記念碑の除幕式、高知で挙行	編集局	(123)1523	2000年(平成12)・第47巻・10号
全国学生漢方研究会連合会の動き	庄司良文	(124)1524	2000年(平成12)・第47巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年7月・8月・9月＞	協会本部／編集局	(130)1530	2000年(平成12)・第47巻・10号
@2000年(平成12)-第47巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（149）尾台榕堂の書簡	町泉寿郎	(2)1546	2000年(平成12)・第47巻・11号
巻頭言／公開して秘せず	松田邦夫	(9)1553	2000年(平成12)・第47巻・11号
＜第10回漢方治療研究会特別講演＞眼科領域の漢方治療	山本昇吾	(10)1554	2000年(平成12)・第47巻・11号

＜第10回漢方治療研究会講演＞気管支喘息の頑固な胸痛に対する大陥胸丸（自家製）の著効例	原敬二郎	(19)1563	2000年(平成12)・第47巻・11号
＜第10回漢方治療研究会講演＞水様性鼻汁に対する甘草附子湯の使用	岩崎勲	(24)1568	2000年(平成12)・第47巻・11号
＜第10回漢方治療研究会講演＞清肌安蛔湯の1治験をとおして	三上正利	(29)1573	2000年(平成12)・第47巻・11号
虚証の紅斑性狼瘡1例－小柴胡湯合当帰芍薬散加附子－	佐藤田實	(32)1576	2000年(平成12)・第47巻・11号
東洋堂経験余話（113）▽更年期障害と花粉症に当帰芍薬散料加附子▽糖尿病の自覚症状の改善に白虎加人参湯	松本一男	(38)1582	2000年(平成12)・第47巻・11号
精神症状を呈するオ血患者に認められる特異なる頭部ＣＴ所見について	岡田耕造	(41)1585	2000年(平成12)・第47巻・11号
女子医大雑話（87）＜帰脾湯の2症例＞うつ状態の身体症状に帰脾湯▽高齢者の不眠、抑うつに帰脾湯	新井信･盛岡頼子･溝部宏毅	(55)1599	2000年(平成12)・第47巻・11号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（12）	大塚賢治・渡辺洋井	(59)1603	2000年(平成12)・第47巻・11号
『康平傷寒論』の「傷寒例」読解（5）	山田光胤	(75)1619	2000年(平成12)・第47巻・11号
大塚敬節先生の歌碑、牧野植物園内に建立	編集局	(81)1625	2000年(平成12)・第47巻・11号
多紀元堅の傷寒論講義（19）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(82)1626	2000年(平成12)・第47巻・11号
『史記』扁鵲倉公列伝研究史（下）	宮川浩也	(88)1632	2000年(平成12)・第47巻・11号
図書紹介／江部洋一郎・横田静夫著『経方医学』（2）／松宮光伸著『漢方薬100の効き目』	編集局	(118)1662	2000年(平成12)・第47巻・11号
『和剤局方』、「一切気」篇の検討	中村輝子･松崎亜衣子･遠藤次郎	(119)1663	2000年(平成12)・第47巻・11号
当帰散の運用　その2　子宮脱	伊藤康雄	(127)1671	2000年(平成12)・第47巻・11号
漢方牛歩録（178）発熱を伴う項部痛に葛根湯合五苓散	中村謙介	(131)1675	2000年(平成12)・第47巻・11号
漢方診療おぼえ書（191）▽めまいに苓桂朮甘湯▽進行性指掌角化症に加味逍遥散▽多汗症に五倍子末の敷臍療法	緒方玄芳	(133)1677	2000年(平成12)・第47巻・11号
「退耕還林」政策と中国西部開発－生薬資源調査旅行からの管見－	伊藤敏雄	(135)1679	2000年(平成12)・第47巻・11号
第6回東洞祭記念大会報告記	小川新	(139)1683	2000年(平成12)・第47巻・11号
東洞祭印象記	仲原靖夫	(143)1687	2000年(平成12)・第47巻・11号
トピックス／大塚恭男、町泉寿郎両氏、医史学会で表彰	編集局	(144)1688	2000年(平成12)・第47巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年10月＞	協会本部／編集局	(148)1692	2000年(平成12)・第47巻・11号
@2000年(平成12)-第47巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（150）曲直瀬道三の遺墨	町泉寿郎	(2)1706	2000年(平成12)・第47巻・12号
巻頭言／漢方を学ぶ心	村田高明	(9)1713	2000年(平成12)・第47巻・12号
オ血圧痛点判定のための再按腹の意義	小山誠次	(10)1714	2000年(平成12)・第47巻・12号
柴葛解肌湯について－三陽の併病の合方的治療	板澤正明	(25)1729	2000年(平成12)・第47巻・12号
漢方療法を主体に治療し得た外水頭症の1経験	木元博史	(36)1740	2000年(平成12)・第47巻・12号
＜第10回漢方治療研究会ポスター発表＞柴胡加竜骨牡蠣湯が有効であった半側顔面痙攣と三叉神経痛の3症例	村松慎一	(43)1747	2000年(平成12)・第47巻・12号
＜第10回漢方治療研究会講演＞外陰腟カンジダ症のハイリスク更年期婦人の急性咽頭扁桃炎に対する小柴胡湯加桔梗石膏の臨床効果に関する検討	清水正彦・清水和彦・原敬二郎	(47)1751	2000年(平成12)・第47巻・12号
脳卒中　＜その1＞動物生薬（闘病記）　＜その2＞失明（見聞記）	内山ゆき	(53)1757	2000年(平成12)・第47巻・12号
女子医大雑話（88）＜エビデンスに基づいた漢方治療の3症例＞過敏性腸症候群に桂枝加芍薬湯▽雨の前日の頭痛に五苓散▽坐骨神経痛に苓姜朮甘湯加附子	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(59)1763	2000年(平成12)・第47巻・12号
東洋堂経験余話（114）▽脳の萎縮と診断された人に、防風通聖散料合桂枝茯苓丸料▽急性腹症に加味承気湯	松本一男	(67)1771	2000年(平成12)・第47巻・12号
漢方牛歩録（179）頭冒感に柴胡加竜骨牡蠣湯兼抑肝散	中村謙介	(70)1774	2000年(平成12)・第47巻・12号
漢方診療おぼえ書（192）▽難治の中耳部真菌症に十味敗毒湯▽気管支喘息に清肺湯	緒方玄芳	(72)1776	2000年(平成12)・第47巻・12号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（13）	大塚賢治・渡辺洋井	(74)1778	2000年(平成12)・第47巻・12号
多紀元堅の傷寒論講義（20）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(90)1794	2000年(平成12)・第47巻・12号
山田業広著『金匱要略集注』訓続（19）	千葉古方漢方研究会	(96)1800	2000年(平成12)・第47巻・12号
『皇漢医学書き込み解説』と桂庵玄樹、漢学紀源	関修一郎	(103)1807	2000年(平成12)・第47巻・12号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（1）	長谷川弥人	(109)1813	2000年(平成12)・第47巻・12号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その21－	宮崎綾子	(113)1817	2000年(平成12)・第47巻・12号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（4）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(121)1825	2000年(平成12)・第47巻・12号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（7）	鈴木堯	(126)1830	2000年(平成12)・第47巻・12号
平成11年（1999）漢方略史年表	矢数道明	(134)1838	2000年(平成12)・第47巻・12号
読後評／秋葉哲生編著『奥田謙蔵研究』を読みて	根本幸一	(144)1848	2000年(平成12)・第47巻・12号
図書紹介／黄煌著・柴崎瑛子訳『中医伝統流派の系譜』／水野修一著『消化器疾患　漢方治療マニュアル』／村田高明著『産婦人科疾患　漢方治療マニュアル』	編集局	(144)1848	2000年(平成12)・第47巻・12号
トピックス／日本漢方協会、創立30周年記念学術大会開催	編集局	(145)1849	2000年(平成12)・第47巻・12号

@2001年(平成13)-第48巻-01号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（151）日本の扁鵲像	町泉寿郎	(2)2	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞新年に寄せて	大塚恭男	(10)10	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	赤尾明俊	(10)10	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	赤尾清剛	(11)11	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞平成13年に期待する	秋葉哲生	(11)11	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	足立秀樹	(11)11	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	阿部勝利	(12)12	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	新井信	(12)12	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	粟島行春	(13)13	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	猪飼祥夫	(13)13	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	池田政一	(13)13	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞介護保険と東洋医学	石岡忠夫	(14)14	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞漢方の将来	石橋晃	(14)14	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	板垣鋭司	(15)15	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞新世紀への期待	板澤正明	(15)15	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	伊藤敦之	(16)16	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	伊藤康雄	(17)17	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀はホメオスタシス医学の時代－東西医学統合の時代	伊藤嘉紀	(17)17	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	今泉清	(18)18	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	今村茂雄	(18)18	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	岩崎勲	(19)19	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	浮田徹也	(19)19	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	遠藤次郎	(20)20	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞火の鳥の如くに	王瑞雲	(20)20	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	大関潤一	(21)21	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞介護保険	大友一夫	(21)21	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	大西和子	(22)22	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	大貫進	(23)23	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	岡田耕造	(23)23	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞漢方は私の夢	岡部俊一	(24)24	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	小川新	(25)25	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	小曽戸明子	(25)25	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞雲南省の植物	小根山隆祥	(25)25	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞翻訳の楽しみ	小野正弘	(26)26	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀養生塾とホメオパシーと	帯津良一	(26)26	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	遠田裕政	(26)26	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	柿田秀明	(27)27	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	笠原栄司	(28)28	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	風間八左衛門	(28)28	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	柏木佑記慧	(29)29	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀の初寝言	加世田弘道	(29)29	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	香取俊光	(29)29	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	金子力	(30)30	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	鎌田慶市郎	(31)31	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	川島繁男	(31)31	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	河野順	(31)31	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	菊谷豊彦	(32)32	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞「自然法則に適合する生き方」の探求の提案	北村翰男	(32)32	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞今年・2001年は辛巳の年	木下勤	(33)33	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	木下恒雄	(34)34	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	木下優子	(34)34	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞てんかん　その後	草間光一	(35)35	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	久保田富也	(35)35	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	粂川義雄	(36)36	2001年(平成13)・第48巻・01号

新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	桑木崇秀	(36)36	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	小泉久仁弥	(36)36	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	小曽戸洋	(37)37	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞年頭に当たって	小高修司	(37)37	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀を迎えて	後藤哲也	(38)38	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞クチナシ　礼賛	後藤實	(39)39	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	小林健二	(39)39	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	小林幹典	(39)39	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞五淋散の出典記述を訂正す	小山誠次	(40)40	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	今忠郎	(41)41	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	斎藤浩爾	(41)41	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞新年を迎えて	坂口弘	(41)41	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	佐々木知良	(42)42	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	佐々木雄次	(42)42	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞頭の中はまだ20世紀	佐藤至朗	(43)43	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	佐藤田實	(43)43	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀の東洋医学	代田文彦	(43)43	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	神靖衛	(44)44	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	新谷卓弘	(44)44	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	陣内弘和	(45)45	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	菅谷英一	(45)45	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	杉立義一	(46)46	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞新世紀年頭の所感	杉山広重	(46)46	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	鈴木五郎	(47)47	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	鈴木堯	(47)47	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞新世紀の新年にあたり	角田睦子	(47)47	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	宋建鋳	(48)48	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	十河孝博	(48)48	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀を迎えて	高島文一	(49)49	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	高橋邦夫	(49)49	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	高橋貞則	(49)49	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	高橋法昭	(50)50	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	田家照生	(50)50	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞漢方とＥＢＭ	武内節夫	(50)50	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	竹田明	(51)51	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	田中邦雄	(51)51	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞日本針灸の紹介者・承淡安と名優・梅蘭芳	谷田伸治	(52)52	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	田畑隆一郎	(53)53	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	田村嘉章	(53)53	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞2001年は正夢に	多留淳文	(53)53	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	鎮西弘	(54)54	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	津谷喜一郎	(54)54	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞新世紀を迎えて	寺澤捷年	(55)55	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	寺師睦宗	(56)56	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	鶴田としこ	(56)56	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	中井康雄	(56)56	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞夜明け前	永井良樹	(57)57	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	中川良隆	(57)57	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	長坂和彦	(58)58	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	中田敬吾	(58)58	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	永田為徳	(59)59	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞大塚恭男・町泉寿郎両氏の表彰	長門谷洋治	(59)59	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	仲原靖夫	(60)60	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞蝸牛の歩み	中村謙介	(60)60	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	中村成代	(61)61	2001年(平成13)・第48巻・01号

新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	中村輝子	(61)61	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞歳月を味わう	鍋谷欣市	(61)61	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	難波恒雄	(62)62	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀を迎えて	西岡五夫	(62)62	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞どうして伏羲は医聖なのか	西岡一夫	(62)62	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	西脇平士	(63)63	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞辛巳への期待	二宮文乃	(64)64	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	根本幸一	(65)65	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	野口定子	(65)65	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	野崎豊	(65)65	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞漢方は漢方	橋口親義	(66)66	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	橋場則昭	(66)66	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	長谷川弥人	(67)67	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	畑靖子	(67)67	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞変身する北里研究所東洋医学総合研究所	花輪壽彦	(67)67	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀新春放談	林盈六	(68)68	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞漢方の革新の旗は福岡から	原敬二郎	(68)68	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	原桃介	(69)69	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	土方康世	(69)69	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	広瀬滋之	(70)70	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	福田佳弘	(70)70	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞卵と酒で無病息災	藤原二郎	(70)70	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	細川喜代治	(71)71	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	本間行彦	(71)71	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	牧角和宏	(71)71	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	牧田憲太郎	(72)72	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	町泉寿郎	(72)72	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松浦敬一	(73)73	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松岡賢也	(73)73	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松岡睦友	(74)74	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞自分の速度で歩こう	松田邦夫	(75)75	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松田知雄	(75)75	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松橋俊夫	(76)76	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松原一太	(76)76	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	松本一男	(77)77	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞理想を求めて	松本克彦	(77)77	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	真柳誠	(77)77	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀への夢	三上正利	(78)78	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	溝部宏毅	(78)78	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	三谷和男	(79)79	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞『傷寒論』の実証主義を大切に	三潴忠道	(79)79	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	宮川浩也	(80)80	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞ヒメマツタケ（学名Agaricus blazei Murill）の抗腫瘍作用と健康ビジネス	宮川昭平	(80)80	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	宮崎綾子	(81)81	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	宮崎瑞明	(81)81	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	宮沢康朗	(82)82	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	宮本昭正	(83)83	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀と傷寒論	宗像敬一	(83)83	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞温故知新	村木毅	(84)84	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	村田英則	(84)84	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	村松慎一	(84)84	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	室賀昭三	(85)85	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	望月博	(85)85	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	盛克己	(85)85	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	森一	(86)86	2001年(平成13)・第48巻・01号

新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	森由雄	(86)86	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	守井琴	(86)86	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	森久保治道	(87)87	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	森下宗司	(87)87	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	矢数圭堂	(88)88	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞今思う　雲南の印象	山田光胤	(88)88	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞『東洋医学』の筆記試験	山田寛幸	(89)89	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	山ノ内慎一	(89)89	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	梁哲周	(90)90	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞年々如意萬事吉祥	横倉照門	(90)90	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	横溝嘉昭	(90)90	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞21世紀の始まりに	吉元昭治	(91)91	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞変化する伝統	渡辺賢治	(91)91	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	渡辺貞夫	(92)92	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	渡邊武	(92)92	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞真の文明は川を荒さず	渡辺洋井	(93)93	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	渡辺陽一	(93)93	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞“高齢者観”についての発想の転換の必要性	折茂肇	(94)94	2001年(平成13)・第48巻・01号
新年のことば　＜平成13年（2001年）＞	ハイ元植	(95)95	2001年(平成13)・第48巻・01号
柯琴の“以方名証”説が吉益東洞の“方証相対”説へ与えた影響	兪雪如	(96)96	2001年(平成13)・第48巻・01号
＜第10回漢方治療研究会ポスター発表＞芍薬甘草湯の併用により奏功した膿疱性ザ瘡の1例	杜一原・斉藤隆三・丁宗鐵	(103)103	2001年(平成13)・第48巻・01号
高脂血症に対するイボツヅラフジの効果	土方康世・三浦洋・陸希	(106)106	2001年(平成13)・第48巻・01号
女子医大雑話（89）＜腰痛の2例＞	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(113)113	2001年(平成13)・第48巻・01号
漢方診療おぼえ書（193）▽慢性咽頭炎に咽疳解毒湯▽関節リウマチに桂枝ニ越婢一湯加味方	緒方玄芳	(116)116	2001年(平成13)・第48巻・01号
漢方牛歩録（180）メダカの難産ほか	中村謙介	(118)118	2001年(平成13)・第48巻・01号
東洋堂経験余話（115）▽痴呆症に小続命湯加茯苓・白朮▽不整脈と食欲不振と軟便に人参湯合真武湯去芍薬	松本一男	(120)120	2001年(平成13)・第48巻・01号
『傷寒論』における「攻」の意味	岩崎勲	(123)123	2001年(平成13)・第48巻・01号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その13	笠原栄司	(127)127	2001年(平成13)・第48巻・01号
ホメオスタシス医学の提唱－東西医学統合への道	伊藤嘉紀	(133)133	2001年(平成13)・第48巻・01号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（2）	長谷川弥人	(137)137	2001年(平成13)・第48巻・01号
ほんのり漢方とテキパキ新薬	小林幹典	(149)149	2001年(平成13)・第48巻・01号
世説医語（17）	吉田荘人	(155)155	2001年(平成13)・第48巻・01号
全日本学生漢方研究会連盟第38回学術総会開催	藤森渉	(159)159	2001年(平成13)・第48巻・01号
図書紹介／井上勝六著『食と健康の文化史』／中村謙介著『漢方入門』／劉渡舟・姜元安・生島忍編著　現代語訳『宋本傷寒論』／緒方玄芳著『漢方治療症例選集2』	編集局	(162)162	2001年(平成13)・第48巻・01号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成12年11月・12月＞	協会本部／編集局	(169)169	2001年(平成13)・第48巻・01号
@2001年(平成13)-第48巻-02号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（152）望月三英の書簡	町泉寿郎	(2)186	2001年(平成13)・第48巻・02号
巻頭言／浅田宗伯の姿勢に学ぶ	山崎正寿	(9)193	2001年(平成13)・第48巻・02号
＜第10回漢方治療研究会講演＞病態分類よりみた腹診の意義	中村謙介	(10)194	2001年(平成13)・第48巻・02号
＜第10回漢方治療研究会講演＞漢方薬による難治性発熱の治療	仲原靖夫	(18)202	2001年(平成13)・第48巻・02号
＜第10回漢方治療研究会講演＞ダイエットして無月経になった不妊症	寺師睦宗	(31)215	2001年(平成13)・第48巻・02号
急性期脳梗塞における漢方製剤併用の1経験	木元博史	(37)221	2001年(平成13)・第48巻・02号
漢方薬治療が奏効した尋常性ザ瘡の5症例	岡田耕造	(45)229	2001年(平成13)・第48巻・02号
女子医大雑話（90）＜更年期障害の3症例＞	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(55)239	2001年(平成13)・第48巻・02号
康平傷寒論の研究（2）過則勿憚改	大友一夫	(59)243	2001年(平成13)・第48巻・02号
東洋堂経験余話（116）▽脳血管障害に当帰芍薬散料加生姜附子釣藤▽感冒の後遺症に橘皮半夏湯	松本一男	(77)261	2001年(平成13)・第48巻・02号
腎炎・ネフローゼ症候群の症例報告	趙樹紅	(80)264	2001年(平成13)・第48巻・02号
『傷寒論』は治未病の原典である－例えば譫語と鄭声の場合－	角田睦子	(84)268	2001年(平成13)・第48巻・02号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（14）	大塚賢治・渡辺洋井	(89)273	2001年(平成13)・第48巻・02号
多紀元堅の傷寒論講義（21）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(108)292	2001年(平成13)・第48巻・02号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（5）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(111)295	2001年(平成13)・第48巻・02号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その22－	宮崎綾子	(116)300	2001年(平成13)・第48巻・02号

古医書読解のための漢文速成講座／続編（3）	長谷川弥人	(123)307	2001年(平成13)・第48巻・02号
図書紹介／大塚敬節（原著）・大塚恭男・渡辺賢治（改訂）『症候による漢方治療の実際』第5版	編集局	(135)319	2001年(平成13)・第48巻・02号
トピックス／漢方メディカルシンポジウム開催	編集局	(136)320	2001年(平成13)・第48巻・02号
@2001年(平成13)-第48巻-03号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（153）多紀元簡の尺牘	町泉寿郎	(2)338	2001年(平成13)・第48巻・03号
巻頭言／「命を運ぶ」	二宮文乃	(9)345	2001年(平成13)・第48巻・03号
『療難指示』（尾台榕堂著）について（1）	横田観風	(10)346	2001年(平成13)・第48巻・03号
＜第10回漢方治療研究会ポスター発表＞柴葛解肌湯の腹証と「大塚の臍痛点」について	森由雄	(20)356	2001年(平成13)・第48巻・03号
女児誕生と漢方	橋口親義	(24)360	2001年(平成13)・第48巻・03号
＜第10回漢方治療研究会講演＞漢方エキス剤で有効であった慢性気道炎症例の2症例	宮崎瑞明・盛克己	(27)363	2001年(平成13)・第48巻・03号
狭心症における冠心2号方の1治験例	堀野雅子	(35)371	2001年(平成13)・第48巻・03号
図書紹介／伊田善光監修『古代出雲の薬草文化』	編集局	(38)374	2001年(平成13)・第48巻・03号
女子医大雑話（91）＜苓桂朮甘湯、猪苓湯合四物湯、清肺湯＞めまいに苓桂朮甘湯▽繰り返す膀胱炎に猪苓湯合四物湯▽慢性気管支炎に清肺湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(39)375	2001年(平成13)・第48巻・03号
薬事・食品衛生審議会新委員に寺澤氏ら選任	編集局	(45)381	2001年(平成13)・第48巻・03号
ＷＴＴＣ加減方の癌への効果	土方康世	(46)382	2001年(平成13)・第48巻・03号
漢方牛歩録（181）蕁麻疹に大柴胡湯兼桂枝茯苓丸	中村謙介	(52)388	2001年(平成13)・第48巻・03号
東洋堂経験余話（117）▽脳梗塞の後遺症に桂枝加苓朮附湯合強神湯▽糖尿病の改善に柴胡桂枝乾姜湯加地黄	松本一男	(54)390	2001年(平成13)・第48巻・03号
多紀元簡編著『観聚方要補』の訓読・解説（1）	松下嘉一・鎌田慶市郎	(57)393	2001年(平成13)・第48巻・03号
多紀元堅の傷寒論講義（22）（存誠塾傷寒論記聞）	岡利幸	(61)397	2001年(平成13)・第48巻・03号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（20）	千葉古方漢方研究会	(68)404	2001年(平成13)・第48巻・03号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（6）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(75)411	2001年(平成13)・第48巻・03号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（15）	大塚賢治・渡辺洋井	(81)417	2001年(平成13)・第48巻・03号
清代・江南名医奇聞（その1）	江茂	(92)428	2001年(平成13)・第48巻・03号
世説医語（18）	吉田荘人	(97)433	2001年(平成13)・第48巻・03号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（8）	鈴木堯	(104)440	2001年(平成13)・第48巻・03号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（4）	長谷川弥人	(111)447	2001年(平成13)・第48巻・03号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年1月・2月＞	協会本部／編集局	(124)460	2001年(平成13)・第48巻・03号
@2001年(平成13)-第48巻-04号-			
＜口絵＞北里研・東洋医学総合研究所、新棟にて活動開始	編集局	(1)473	2001年(平成13)・第48巻・04号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（154）荻野元凱の書簡（桂川甫周宛）	町泉寿郎・多留淳文	(2)474	2001年(平成13)・第48巻・04号
巻頭言／一度、東洞に戻ってみてはどうか	安井廣迪	(9)481	2001年(平成13)・第48巻・04号
＜第10回漢方治療研究会講演＞慢性関節リウマチ43症例の検討	長坂和彦	(10)482	2001年(平成13)・第48巻・04号
＜第10回漢方治療研究会ポスター発表＞小児てんかんの1治験例	新井勝・新井信	(16)488	2001年(平成13)・第48巻・04号
難治性の頻回の下痢に奏効した四逆加人参湯合胃風湯の1例	大関潤一	(21)493	2001年(平成13)・第48巻・04号
多発性筋炎における十全大補湯の併用経験	木元博史	(28)500	2001年(平成13)・第48巻・04号
機上での漢方治験	高木嘉子	(35)507	2001年(平成13)・第48巻・04号
女子医大雑話（92）＜治療が難渋した症例＞難渋した2例▽怒りすぎる医者	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(38)510	2001年(平成13)・第48巻・04号
＜第10回漢方治療研究会ポスター発表＞脳卒中易発症系高血圧自然発症ラット（SHR-SP）における丹参製剤の降圧と脳卒中発症の予防・治療効果	高明・池田克巳・家森幸男	(43)515	2001年(平成13)・第48巻・04号
骨盤牽引痛に桂姜棗草黄辛附湯	渡辺陽一	(50)522	2001年(平成13)・第48巻・04号
【シリーズ　心の闇に灯りを】1、不安・易驚に対し酸棗仁（湯）	小高修司	(51)523	2001年(平成13)・第48巻・04号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（16）	大塚賢治・渡辺洋井	(57)529	2001年(平成13)・第48巻・04号
『療難指示』（尾台榕堂著）について（2）	横田観風	(68)540	2001年(平成13)・第48巻・04号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その14	笠原栄司	(74)546	2001年(平成13)・第48巻・04号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その23－	宮崎綾子	(80)552	2001年(平成13)・第48巻・04号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（9）	鈴木堯	(87)559	2001年(平成13)・第48巻・04号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（7）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(93)565	2001年(平成13)・第48巻・04号
清代・江南名医奇聞（その2）	江茂	(100)572	2001年(平成13)・第48巻・04号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（5）	長谷川弥人	(105)577	2001年(平成13)・第48巻・04号
陳立夫先生を偲ぶ	杉立義一	(112)584	2001年(平成13)・第48巻・04号

山田光胤先生、喜寿を祝う会開催	編集局	(113)585	2001年(平成13)・第48巻・04号
図書紹介／菅谷英一・菅谷愛子著『漢方の新しい理解と展望』	寺師睦宗	(114)586	2001年(平成13)・第48巻・04号
図書紹介／新井信著『症例でわかる漢方薬入門』	編集局	(115)587	2001年(平成13)・第48巻・04号
北里大学大学院に文部科学省が東洋医学講座開設を認可	編集局	(115)587	2001年(平成13)・第48巻・04号
トピックス／北里研・東医研、新棟にて活動開始	編集局	(116)588	2001年(平成13)・第48巻・04号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年3月＞	協会本部／編集局	(122)594	2001年(平成13)・第48巻・04号
@2001年(平成13)-第48巻-05号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（155）浅井正贇書入本『扁倉伝割解』	宮川浩也	(2)610	2001年(平成13)・第48巻・05号
巻頭言／第52回日本東洋医学会学術総会札幌開催にあたって	本間行彦	(9)617	2001年(平成13)・第48巻・05号
＜第10回漢方治療研究会特別講演＞紫雲膏について	清水良夫	(10)618	2001年(平成13)・第48巻・05号
＜第10回漢方治療研究会講演＞速効、紫雲膏加甘草末軟膏	瀧井宏隆	(24)632	2001年(平成13)・第48巻・05号
表証についての1考察	岩崎勲	(29)637	2001年(平成13)・第48巻・05号
併病認識の日常臨床での重要性－茯苓四逆湯は身近な薬方－	宗像敬一	(35)643	2001年(平成13)・第48巻・05号
陰証から始まる風邪に対する四逆湯（散剤）の使用経験から	盛克己・宮崎瑞明	(38)646	2001年(平成13)・第48巻・05号
荊芥連翹湯加減　桔梗・枳実が奏効した重症・難治性ザ瘡	藤原二郎・福田みどり・井上佳子・斉藤佳子	(42)650	2001年(平成13)・第48巻・05号
漢方薬の癌治療への応用の考え方	森久保治道	(45)653	2001年(平成13)・第48巻・05号
〔論説〕東洋医学の古典にみる造血理論の検討	酒向猛	(53)661	2001年(平成13)・第48巻・05号
『あんなんで』（誕生と漢方）	橋口親義	(66)674	2001年(平成13)・第48巻・05号
アトピー性皮膚炎の漢方薬治療（1）特異な治療経過を示したアトピー性皮膚炎の1例	岡田耕造	(69)677	2001年(平成13)・第48巻・05号
女子医大雑話（93）＜印象に残る3症例＞月経前緊張症にキュウ帰調血飲▽糖尿病性神経障害に八味地黄丸合芍薬甘草湯▽尋常性疣贅にヨク苡仁	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(78)686	2001年(平成13)・第48巻・05号
【シリーズ　心の闇に灯りを】2、半夏および温胆湯の不眠などへの応用	小高修司	(83)691	2001年(平成13)・第48巻・05号
薬学博士田畑隆一郎先生を祝う会開催	編集局	(93)701	2001年(平成13)・第48巻・05号
漢方牛歩録（182）下痢2題	中村謙介	(94)702	2001年(平成13)・第48巻・05号
東洋堂経験余話（118）▽自律神経失調症に帰脾湯合抑肝散料加陳皮半夏▽夏の感冒に麻黄湯	松本一男	(96)704	2001年(平成13)・第48巻・05号
「邪気盛則実、精気奪則虚」の意義	遠藤次郎・橋本和也・中村輝子	(99)707	2001年(平成13)・第48巻・05号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（17）	大塚賢治・渡辺洋井	(108)716	2001年(平成13)・第48巻・05号
『療難指示』（尾台榕堂著）について（3）	横田観風	(122)730	2001年(平成13)・第48巻・05号
『傷寒論新疏』を読む	長谷川弥人	(128)736	2001年(平成13)・第48巻・05号
@2001年(平成13)-第48巻-06号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（156）葦原検校の事跡	町泉寿郎	(2)762	2001年(平成13)・第48巻・06号
巻頭言／重要生薬の国内生産の充実を	中田敬吾	(9)769	2001年(平成13)・第48巻・06号
＜第10回漢方治療研究会講演＞慢性関節リウマチに対する漢方治療経験	赤尾清剛・福田一典	(10)770	2001年(平成13)・第48巻・06号
＜第10回漢方治療研究会講演＞竜胆瀉肝湯合桂枝茯苓丸料が有効であった性機能障害の1例	張民浩	(20)780	2001年(平成13)・第48巻・06号
四肢の寒疝について－四肢痛で発症する疝気症候群－	黒瀬喜久雄	(23)783	2001年(平成13)・第48巻・06号
急性期中枢神経系梗塞の漢方製剤併用による治療例3例	木元博史	(31)791	2001年(平成13)・第48巻・06号
東洋堂経験余話（119）▽十二指腸潰瘍に生姜瀉心湯▽気管支炎に麦門冬湯	松本一男	(42)802	2001年(平成13)・第48巻・06号
女子医大雑話（94）＜瞑眩と思われる2症例＞越婢加朮湯で副鼻腔炎様症状▽桂枝加苓朮附湯で性器出血	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(45)805	2001年(平成13)・第48巻・06号
小児マイコプラズマ肺炎に対する小柴胡湯合竹葉石膏湯の効果	宮崎瑞明・盛克己	(49)809	2001年(平成13)・第48巻・06号
最近のカルテの中から（19）▽狭心症に茯苓杏仁甘草湯と現代医薬との併用	森由雄	(60)820	2001年(平成13)・第48巻・06号
なぜ？（誕生と漢方）	橋口親義	(62)822	2001年(平成13)・第48巻・06号
漢方牛歩録（183）ムカス、足部腫瘤に五苓散加枳実山梔子	中村謙介	(64)824	2001年(平成13)・第48巻・06号
半夏瀉心湯加茯苓が奏効したひどい欝の1例	大関潤一	(66)826	2001年(平成13)・第48巻・06号
荊芥連翹湯加減　桔梗・枳実が奏効した重症・難治性ザ瘡（補訂）	藤原二郎・福田みどり・井上佳子・斉藤佳子	(71)831	2001年(平成13)・第48巻・06号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（18）	大塚賢治・渡辺洋井	(75)835	2001年(平成13)・第48巻・06号
『療難指示』（尾台榕堂著）について（4）	横田観風	(88)848	2001年(平成13)・第48巻・06号
甘粛省敦煌の懸泉置遺址から出土した漢代の紙と薬名	猪飼祥夫	(95)855	2001年(平成13)・第48巻・06号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（10）	鈴木堯	(101)861	2001年(平成13)・第48巻・06号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく皮膚病治療の古典的考察（8）	鎌田慶市郎・松下嘉一・鎌田千華・鎌田憲明・松下陽子・松下晶子	(107)867	2001年(平成13)・第48巻・06号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（6）	長谷川弥人	(113)873	2001年(平成13)・第48巻・06号

清代・江南名医奇聞（その3）	江茂	(122)882	2001年(平成13)・第48巻・06号
図書紹介／山内浩著『慢性肝炎・肝硬変漢方治療マニュアル』／秋葉哲生著『高齢者疾患漢方治療マニュアル』	編集局	(127)887	2001年(平成13)・第48巻・06号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年4・5月＞	協会本部／編集局	(131)891	2001年(平成13)・第48巻・06号
@2001年(平成13)-第48巻-07号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（157）大英図書館所蔵の敦煌医薬文書（1）	真柳誠	(2)906	2001年(平成13)・第48巻・07号
巻頭言／漢方薬の調剤指針	三上正利	(9)913	2001年(平成13)・第48巻・07号
＜第10回漢方治療研究会ポスターセッション＞子宮内膜症の生薬治療－延胡索に意識を置いて	高橋法昭	(10)914	2001年(平成13)・第48巻・07号
舌痛舌炎に附子湯が奏効した2症例に付いて	畑靖子	(30)934	2001年(平成13)・第48巻・07号
陰陽・虚実を誤った漢方薬を長期間服用させられていた1症例から	盛克己・宮崎瑞明	(33)937	2001年(平成13)・第48巻・07号
女子医大雑話（95）＜腰痛の3例＞脳梗塞後遺症に八味丸合人参湯▽臀部の痛みに五積散▽腰痛に清暑益気湯	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(36)940	2001年(平成13)・第48巻・07号
「虚・実」診断における上腹角の臨床的意義について	岡田耕造	(41)945	2001年(平成13)・第48巻・07号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（19）	大塚賢治・渡辺洋井	(53)957	2001年(平成13)・第48巻・07号
最近のカルテの中から（19）▽狭心症に茯苓杏仁甘草湯と現代医薬との併用（再掲）	森由雄	(64)968	2001年(平成13)・第48巻・07号
清暑益気湯で期外収縮が消えた	渡辺陽一	(66)970	2001年(平成13)・第48巻・07号
『療難指示』（尾台榕堂著）について（5）	横田観風	(68)972	2001年(平成13)・第48巻・07号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その15	笠原栄司	(75)979	2001年(平成13)・第48巻・07号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（21）	千葉古方漢方研究会	(80)984	2001年(平成13)・第48巻・07号
多紀元簡編著『観聚方要補』の訓読・解説（2）	松下嘉一・鎌田慶市郎	(85)989	2001年(平成13)・第48巻・07号
貝原益軒抄出・竹田定直編成『イ生輯要』粗読拙訳－その24（完結）－	宮崎綾子	(92)996	2001年(平成13)・第48巻・07号
東洋医学の陰陽学説	山崎由佳里・伊藤康雄	(99)1003	2001年(平成13)・第48巻・07号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（7）	長谷川弥人	(113)1017	2001年(平成13)・第48巻・07号
書評／金成俊著『服薬指導に役立つ・基礎からの漢方薬』	花輪壽彦	(121)1025	2001年(平成13)・第48巻・07号
図書紹介／長坂和彦著『これであなたも漢方通』／代田文彦著『ひとりでできるツボ療法』	編集局	(122)1026	2001年(平成13)・第48巻・07号
日本東洋医学会札幌大会Report／第2回東亜医学協会主催のランチョンセミナー好評を博す	長沢伸子	(124)1028	2001年(平成13)・第48巻・07号
@2001年(平成13)-第48巻-08号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（158）常須識此勿令誤－『勿誤薬室学規』	小曽戸洋	(2)1050	2001年(平成13)・第48巻・08号
巻頭言／望診の一環としての舌診の考え方	三谷和男	(9)1057	2001年(平成13)・第48巻・08号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（20）	大塚賢治・渡辺洋井	(10)1058	2001年(平成13)・第48巻・08号
漢方が奏効した腹痛の3症例	陣内弘和	(27)1075	2001年(平成13)・第48巻・08号
腹証と方剤（2）柴胡桂枝乾姜湯	今泉清	(30)1078	2001年(平成13)・第48巻・08号
女子医大雑話（96）＜茵チン五苓散の2症例＞ソウ痒感の強い発疹に茵チン五苓散▽湿気の多い時期の発疹に茵チン五苓散	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(37)1085	2001年(平成13)・第48巻・08号
【シリーズ　中医時間治療学】1、中国医学による診断治療への応用	小高修司	(41)1089	2001年(平成13)・第48巻・08号
一女性と漢方	橋口親義	(47)1095	2001年(平成13)・第48巻・08号
漢方牛歩録（184）東洋医学会での下痢・嘔吐・発熱	中村謙介	(52)1100	2001年(平成13)・第48巻・08号
『療難指示』（尾台榕堂著）について（6）	横田観風	(54)1102	2001年(平成13)・第48巻・08号
二味の薬徴理論から見た漢方処方構成の規則性に関する研究（抄1）	田畑隆一郎	(62)1110	2001年(平成13)・第48巻・08号
科学と漢方の方法論（上）	岩崎勲	(71)1119	2001年(平成13)・第48巻・08号
『黄帝内経鍼灸甲乙経』巻七の「太陽中風感於寒湿発痙第四」についての考察	戸田静男	(85)1133	2001年(平成13)・第48巻・08号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく眼科疾患治療の古典的考察（1）	鎌田慶市郎・日比野久美子	(89)1137	2001年(平成13)・第48巻・08号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（11）	鈴木堯	(94)1142	2001年(平成13)・第48巻・08号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（8）	長谷川弥人	(103)1151	2001年(平成13)・第48巻・08号
書評／桑木崇秀著『東洋医学論稿集』「第一篇・学術的論文篇」「第二篇・エッセイ篇」	菊谷豊彦	(111)1159	2001年(平成13)・第48巻・08号
書評／花輪壽彦著　ソウ基湖・朱容希・金成俊翻訳『韓国語版：漢方診療のLESSON』	金成俊	(112)1160	2001年(平成13)・第48巻・08号
書評／安倍千之・加賀万章著『比較でわかる傷寒論と現代医学』	編集局	(112)1160	2001年(平成13)・第48巻・08号
日本東洋医学会札幌大会Report（続）	土屋伊磋雄	(113)1161	2001年(平成13)・第48巻・08号
漢方単独治療がダントツに安い！と、秋葉氏発表	長沢伸子	(116)1164	2001年(平成13)・第48巻・08号
東静漢方研究室100号記念会開催	編集局	(116)1164	2001年(平成13)・第48巻・08号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年6・7月＞	協会本部／編集局	(124)1172	2001年(平成13)・第48巻・08号
@2001年(平成13)-第48巻-09号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（159）新発見の三輪東朔の著書『薬真途異語』	友部和弘	(2)1186	2001年(平成13)・第48巻・09号

巻頭言／漢方の発展のために・・・	石橋晃	(9)1193	2001年(平成13)・第48巻・09号
＜平成13年北里研究所特別講演会講演＞日本漢方の腹診－大塚敬節先生からの継承－	山田光胤	(10)1194	2001年(平成13)・第48巻・09号
古方における調製方法の整理・分類（第1報：煎出方法）	金成俊・小曽戸洋・真柳誠・山田陽城・永井由香	(21)1205	2001年(平成13)・第48巻・09号
『霊枢』おそるべし－上腹角について	宮川浩也	(34)1218	2001年(平成13)・第48巻・09号
香川修庵における「傷風寒」について	戸田静男	(39)1223	2001年(平成13)・第48巻・09号
漢方製剤を併用した在宅癌末期医療の経験例	木元博史	(43)1227	2001年(平成13)・第48巻・09号
白夜と桂枝加附子湯	高木嘉子	(52)1236	2001年(平成13)・第48巻・09号
女子医大雑話（97）＜茵チン蒿湯、麻子仁丸、大柴胡湯＞蕁麻疹に茵チン蒿湯▽便秘に麻子仁丸▽「体重を減らしたい」に大柴胡湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(54)1238	2001年(平成13)・第48巻・09号
漢方牛歩録（185）側頸部痛に甘草附子湯加葛根	中村謙介	(60)1244	2001年(平成13)・第48巻・09号
東洋堂経験余話（120）▽更年期障害に桂姜棗草黄辛附湯▽月経がない若い女性に加味逍遥散料	松本一男	(62)1246	2001年(平成13)・第48巻・09号
漢方研究奨励賞佳作に岡田耕造・伊藤康雄両氏	編集局	(64)1248	2001年(平成13)・第48巻・09号
漢方薬併用で臨床的に完全寛解した難治性ＳＬＥの18年の経過	土方康世・陸希・園府寺美	(65)1249	2001年(平成13)・第48巻・09号
【シリーズ　中医時間治療学】2、『傷寒卒病論』の時間治療学による条文解釈（1）乾姜附子湯などにみられる昼と夜の症状の変化について	小高修司	(73)1257	2001年(平成13)・第48巻・09号
科学と漢方の方法論（下）	岩崎勲	(79)1263	2001年(平成13)・第48巻・09号
「操体」よもやま話（1）「肛門」の操体	北村翰男	(94)1278	2001年(平成13)・第48巻・09号
病源病機と方剤の骨格と薬理（上）／作用点と全身的薬効と局所的薬効	日合奨	(103)1287	2001年(平成13)・第48巻・09号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（9）	長谷川弥人	(115)1299	2001年(平成13)・第48巻・09号
第52回日本東洋医学会学術総会管見記	小川新	(122)1306	2001年(平成13)・第48巻・09号
図書紹介／喜多村直寛著・寺師睦宗訓『和訓傷寒薬議』の版行を喜ぶ	長谷川弥人	(126)1310	2001年(平成13)・第48巻・09号
図書紹介／杵渕彰著『こころに効く漢方』	長沢伸子	(127)1311	2001年(平成13)・第48巻・09号
@2001年(平成13)-第48巻-10号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（160）馬王堆漢墓医書－『五十二病方』『養生方』	小曽戸洋	(2)1330	2001年(平成13)・第48巻・10号
巻頭言／漢方界最近の動向	秋葉哲生	(9)1337	2001年(平成13)・第48巻・10号
古方における調製方法の整理・分類（第2報：散・丸・外用剤の調製方法と全方剤の服用方法）	金成俊・小曽戸洋・真柳誠・山田陽城・永井由香	(10)1338	2001年(平成13)・第48巻・10号
アトピー性皮膚炎の漢方薬治療（2）病態メカニズムと漢方治療の真の意義	岡田耕造	(25)1353	2001年(平成13)・第48巻・10号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（21）	大塚賢治・渡辺洋井	(39)1367	2001年(平成13)・第48巻・10号
不眠症に芍薬甘草湯が著効した症例	行待寿紀・立川洋	(54)1382	2001年(平成13)・第48巻・10号
東洋堂経験余話（121）▽悪性リンパ腫に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料加枳実・山梔子▽直腸ポリープで下血した人に黄土湯加味	松本一男	(57)1385	2001年(平成13)・第48巻・10号
漢方牛歩録（186）左頬部炎症性腫脹に柴胡桂枝湯加枳実山梔子	中村謙介	(60)1388	2001年(平成13)・第48巻・10号
女子医大雑話（98）＜慢性肝炎に八味丸他＞慢性肝炎に八味丸▽ホットフラッシュに桂枝茯苓丸	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(62)1390	2001年(平成13)・第48巻・10号
読解『方伎雑誌』（尾台榕堂）その16	笠原栄司	(65)1393	2001年(平成13)・第48巻・10号
≪弁妄書≫（尾台榕堂著）について（1）	横田観風	(73)1401	2001年(平成13)・第48巻・10号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（12）	鈴木堯	(82)1410	2001年(平成13)・第48巻・10号
病原病機と方剤の骨格と薬理（下）／作用点と全身的薬効と局所的薬効	日合奨	(89)1417	2001年(平成13)・第48巻・10号
森立之の『読古方薬議』を読んで	長谷川弥人	(103)1431	2001年(平成13)・第48巻・10号
第2回山友会学術懇話会開催	編集局	(105)1433	2001年(平成13)・第48巻・10号
癩疾への漢方医学の対応についてのノート（後篇）〔補足〕－小笠原登氏の著作と学説を中心として－	杉山広重	(106)1434	2001年(平成13)・第48巻・10号
ＷＴＴＣ処方発見者　大草義巳先生を探して	土方康世	(108)1436	2001年(平成13)・第48巻・10号
第11回漢方治療研究会アルバム	編集局	(113)1441	2001年(平成13)・第48巻・10号
秋晴れの中第11回漢方治療研究会盛況に開催	長沢伸子	(120)1448	2001年(平成13)・第48巻・10号
漢方界のリーダーを育てる＜第10回記念＞東京大学伝統医学集中講座夏期開催速報	東京大学生体防御機能学講座	(123)1451	2001年(平成13)・第48巻・10号
図書紹介／難波恒雄・池上正治著『天山山脈薬草紀行』／花輪壽彦著『漢方よろず相談』／江部洋一郎・和泉正一郎・内田隆一著『経方薬論』／神戸中医学研究会訳編『医学衷中参西録を読む』	編集局	(128)1456	2001年(平成13)・第48巻・10号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年8月＞	協会本部／編集局	(134)1462	2001年(平成13)・第48巻・10号
@2001年(平成13)-第48巻-11号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（161）森中虚自筆本『意仲玄奥』－中国医学の日本化を考える基本文献－	長野仁	(2)1474	2001年(平成13)・第48巻・11号
＜第11回漢方治療研究会テーマ講演「悪性腫瘍」＞薬用人参による発癌予防効果	柴田承二	(9)1481	2001年(平成13)・第48巻・11号
＜第11回漢方治療研究会講演＞失笑散による腹痛の治験	原敬二郎	(31)1503	2001年(平成13)・第48巻・11号
＜第11回漢方治療研究会講演＞桂枝去桂加茯苓白朮湯加味、痛瀉要方加味方、柴胡疏肝散を用いた急性胃腸炎治療例1例	向井誠	(35)1507	2001年(平成13)・第48巻・11号

慢性期脳梗塞の1治験例	木元博史	(40)1512	2001年(平成13)・第48巻・11号
女子医大雑話（99）＜大柴胡湯の2症例＞首筋のこりに大柴胡湯▽寝付きと寝起きの悪さに大柴胡湯	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(49)1521	2001年(平成13)・第48巻・11号
東洋堂経験余話（122）▽一過性の脳虚血発作に小続命湯▽気管支拡張症に清肺湯加味	松本一男	(53)1525	2001年(平成13)・第48巻・11号
漢方牛歩録（187）皮膚科2題	中村謙介	(56)1528	2001年(平成13)・第48巻・11号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（22）	大塚賢治・渡辺洋井	(59)1531	2001年(平成13)・第48巻・11号
≪弁妄書≫（尾台榕堂著）について（2）	横田観風	(73)1545	2001年(平成13)・第48巻・11号
多紀元簡編著『観聚方要補』の訓読・解説（3）	松下嘉一・鎌田慶市郎	(81)1553	2001年(平成13)・第48巻・11号
【シリーズ　中医時間治療学】2、『傷寒卒病論』の時間治療学による条文解釈（2）陽明病の病邪は熱実か宿飲か？	小高修司	(89)1561	2001年(平成13)・第48巻・11号
二味の薬徴理論から見た漢方処方構成の規則性に関する研究（抄2）	田畑隆一郎	(94)1566	2001年(平成13)・第48巻・11号
経絡についての論説	山崎由佳里・伊藤康雄	(103)1575	2001年(平成13)・第48巻・11号
古医書読解のための漢文速成講座／続編（最終編）	長谷川弥人	(113)1585	2001年(平成13)・第48巻・11号
清代・江南名医奇聞（その4）	江茂	(118)1590	2001年(平成13)・第48巻・11号
書評／川原秀城著『毒薬は口に苦し－中国の文人と不老不死－』	津谷喜一郎	(123)1595	2001年(平成13)・第48巻・11号
第11回漢方治療研究会－続編－	長沢伸子	(126)1598	2001年(平成13)・第48巻・11号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年9月＞	協会本部／編集局	(132)1604	2001年(平成13)・第48巻・11号
@2001年(平成13)-第48巻-12号-			
＜口絵＞目でみる漢方史料館（162）小島宝素灯影図の由来	町泉寿郎	(2)1618	2001年(平成13)・第48巻・12号
巻頭言／国際東洋医学会に出席して	室賀昭三	(9)1625	2001年(平成13)・第48巻・12号
民間薬の現状と将来への展望	松下嘉一	(10)1626	2001年(平成13)・第48巻・12号
＜第11回漢方治療研究会講演＞先天の元気・後天の元気	仲原靖夫	(15)1631	2001年(平成13)・第48巻・12号
＜第11回漢方治療研究会講演＞補剤・田七などによる漢方治療を試みた進行肝癌兼食道癌の1例	山内浩・大木英二・石井裕正	(25)1641	2001年(平成13)・第48巻・12号
＜第11回漢方治療研究会講演＞口舌疾患に対する柴胡桂枝乾姜湯の使用	岩崎勲	(33)1649	2001年(平成13)・第48巻・12号
多嚢胞性卵巣症候群の不妊症	寺師睦宗	(38)1654	2001年(平成13)・第48巻・12号
＜第11回漢方治療研究会講演＞漢方薬の癌治療への応用の基本的考え方と症例について	森久保治道	(46)1662	2001年(平成13)・第48巻・12号
日漢協が漢方学術大会を開催	編集局	(49)1665	2001年(平成13)・第48巻・12号
寒熱錯雑証を呈する春季花粉症の病態像－その文献学的考察－	三浦於菟	(50)1666	2001年(平成13)・第48巻・12号
女子医大雑話（100）＜長期投与で効果がみられた3症例＞慢性腎不全に柴胡加竜骨牡蠣湯去生姜▽複雑痔瘻に十全大補湯▽慢性湿疹に十味敗毒湯合五苓散料加連翹大黄	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(60)1676	2001年(平成13)・第48巻・12号
漢方牛歩録（188）円形脱毛症・五十肩・末梢神経炎	中村謙介	(68)1684	2001年(平成13)・第48巻・12号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（23）	大塚賢治・渡辺洋井	(70)1686	2001年(平成13)・第48巻・12号
『医方集解』における経絡についての考察	戸田静男・荻野景子	(79)1695	2001年(平成13)・第48巻・12号
≪弁妄書≫（尾台榕堂著）について（3）	横田観風	(84)1700	2001年(平成13)・第48巻・12号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（22）	千葉古方漢方研究会	(92)1708	2001年(平成13)・第48巻・12号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察（13）	鈴木堯	(98)1714	2001年(平成13)・第48巻・12号
平成12年（2000）漢方略史年表	矢数道明	(105)1721	2001年(平成13)・第48巻・12号
漢方医界ＭＥＭＯ＜平成13年10・11月＞	協会本部／編集局	(118)1734	2001年(平成13)・第48巻・12号
2002年(平成14)・第49巻・第1号			2002年(平成14)・第49巻・第1号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(163)丹波敬三・緑川父子の神農画・賛	小曽戸洋	(2)2	2002年(平成14)・第49巻・第1号
平成14年(2002年) 新年のことば[168名]		(9)9	2002年(平成14)・第49巻・第1号
唾石散料(修琴堂経験方)により唾石の排石をした2例	渡辺賢治・花輪壽彦	(94)94	2002年(平成14)・第49巻・第1号
桃核承気湯が奏功した片頭痛の症例	行待寿紀・立川洋・瀬古敬	(102)102	2002年(平成14)・第49巻・第1号
漢方診療おぼえ書(194)緑内障に羚羊角散ほか	緒方玄芳	(106)106	2002年(平成14)・第49巻・第1号
漢方牛歩録(189)自律神経失調症・食物アレルギー・末梢神経炎	中村謙介	(108)108	2002年(平成14)・第49巻・第1号
東洋堂経験余話(123)風邪の後遺症に人参湯合真武湯ほか	松本一男	(110)110	2002年(平成14)・第49巻・第1号
『金匱玉函経』および『金匱玉函要略方』における葛洪の役割り	遠藤次郎・島木英彦・中村輝子	(113)113	2002年(平成14)・第49巻・第1号
松竹梅の薬効	鈴木堯	(124)124	2002年(平成14)・第49巻・第1号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(1)	真柳誠	(141)141	2002年(平成14)・第49巻・第1号
「中国黄連之郷」訪問記	伊藤敏雄	(162)162	2002年(平成14)・第49巻・第1号
2002年(平成14)・第49巻・第2号			2002年(平成14)・第49巻・第2号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(164)和久田叔虎の筆録した『暘谷斎医弁』の刺絡	長野仁	(2)186	2002年(平成14)・第49巻・第2号
腹診における二、三の工夫	寺澤捷年	(9)193	2002年(平成14)・第49巻・第2号
汎発性脱毛症の治験例	岡利幸	(26)210	2002年(平成14)・第49巻・第2号
最近のカルテの中から(20)不妊の治療経験	森由雄	(30)214	2002年(平成14)・第49巻・第2号

小陥胸湯が有効だった胸痛の2症例	大関潤一	(33)217	2002年(平成14)・第49巻・第2号
帯状疱疹に越婢加朮湯を使用した症例について	行待寿紀・立川洋・森一樹	(39)223	2002年(平成14)・第49巻・第2号
東洋堂経験余話(124)慢性中耳炎に柴胡清肝散料ほか	松本一男	(43)227	2002年(平成14)・第49巻・第2号
半身不随が良導絡診療で1ヵ月で軽快	板井節子	(46)230	2002年(平成14)・第49巻・第2号
漢方牛歩録(190)托裏消毒散(正宗)2題	中村謙介	(48)232	2002年(平成14)・第49巻・第2号
漢方診療おぼえ書(195)流感に葛根湯と清肺湯ほか	緒方玄芳	(50)234	2002年(平成14)・第49巻・第2号
女子医大雑話(101)小児の熱に真武湯	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(52)236	2002年(平成14)・第49巻・第2号
〔座談会〕国際学術交流と漢方	菊谷豊彦・丁宗鐵・津谷喜一郎 司会)室賀昭三	(53)239	2002年(平成14)・第49巻・第2号
読解『方伎雑誌』(尾台榕堂)その17	笠原栄司	(73)257	2002年(平成14)・第49巻・第2号
【シリーズ　中医時間治療学】2、『傷寒卒病論』の時間治療学による条文解釈(3)	小髙修司	(79)263	2002年(平成14)・第49巻・第2号
吉益東洞と後藤艮山の書－旧山崎藩医・安原家遺品　その1－	宮崎綾子	(88)272	2002年(平成14)・第49巻・第2号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく眼科疾患治療の古典的考察(2)	鎌田慶市郎・日比野久美子	(93)277	2002年(平成14)・第49巻・第2号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物館所蔵の医薬古典籍(2)	真柳誠	(99)283	2002年(平成14)・第49巻・第2号
オンブにダッコ　オムツにオッパイ	小林幹典	(106)290	2002年(平成14)・第49巻・第2号
2002年(平成14)・第49巻・第3号			2002年(平成14)・第49巻・第3号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(165) 狩野芳崖「龍に鍼をする馬師皇」	小曽戸洋	(2)322	2002年(平成14)・第49巻・第3号
慢性湿疹に対する腸癰湯の使用経験	引網宏彰・長坂和彦・名取通夫・横井昌隆	(9)329	2002年(平成14)・第49巻・第3号
アトピー性皮膚炎の漢方薬治療(3)駆瘀血剤治療の意識	岡田耕造	(16)336	2002年(平成14)・第49巻・第3号
桂枝茯苓丸が奏効した会陰部痛の2症例	栗田誠	(23)343	2002年(平成14)・第49巻・第3号
急性期脳梗塞における漢方薬併用経験(追加症例)	木元博史	(27)347	2002年(平成14)・第49巻・第3号
女子医大雑話(102)逆流性食道炎に六君子湯、他	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(40)360	2002年(平成14)・第49巻・第3号
東洋堂経験余話(125)	松本一男	(43)363	2002年(平成14)・第49巻・第3号
漢方診療おぼえ書(196)	緒方玄芳	(46)366	2002年(平成14)・第49巻・第3号
最近のカルテの中から(21)	森由雄	(48)368	2002年(平成14)・第49巻・第3号
『傷寒論』の身痛と身体痛について	今泉清	(50)370	2002年(平成14)・第49巻・第3号
安藤昌益の陰陽五行論－自然真営道－	角田睦子	(55)375	2002年(平成14)・第49巻・第3号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(1)	横田観風	(71)391	2002年(平成14)・第49巻・第3号
山田業広著『金匱要略集注』訓読(23)	千葉古方漢方研究会	(77)397	2002年(平成14)・第49巻・第3号
漢方製剤配合生薬の薬能に関する考察(14)	鈴木堯	(86)406	2002年(平成14)・第49巻・第3号
多紀元簡編著『観聚方要補』の訓読・解説(4)	松下嘉一・鎌田慶市郎	(93)413	2002年(平成14)・第49巻・第3号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物館所蔵の医薬古典籍(3)	真柳誠	(102)422	2002年(平成14)・第49巻・第3号
2002年(平成14)・第49巻・第4号			2002年(平成14)・第49巻・第4号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(166)幻の入江流鍼術書の出現	長野仁	(2)458	2002年(平成14)・第49巻・第4号
巻頭言／五月第三日曜日	大貫進	(9)465	2002年(平成14)・第49巻・第4号
栝樓瞿麦丸の使用経験	長坂和彦・引網宏彰・名取通夫・横井昌隆	(10)466	2002年(平成14)・第49巻・第4号
女子医大雑話(103)駆オ血剤を応用した3症例	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(13)469	2002年(平成14)・第49巻・第4号
アレルギー性鼻炎・有効漢方薬の多様性	関修一郎	(21)477	2002年(平成14)・第49巻・第4号
「奔豚を作さんと欲す」と考えられた苓桂甘棗湯の1例	大関潤一	(27)483	2002年(平成14)・第49巻・第4号
〔座談会〕本誌新編集委員抱負を語る	司会)丁宗鐵・星野惠津夫・渡辺賢治・室賀一宏	(33)489	2002年(平成14)・第49巻・第4号
再発する術後イレウスに桂枝加芍薬湯加味－エキス大建中湯の臨床・薬理の研究の概要	高橋法昭	(53)509	2002年(平成14)・第49巻・第4号
癌の免疫細胞機構、癌の西洋学的最新治療及び抗癌作用を有するサプリメントについて	森久保治道	(73)529	2002年(平成14)・第49巻・第4号
森立之・神農本草経における「久服」の記載について	中村成代・飛奈良治・小根山隆祥	(83)539	2002年(平成14)・第49巻・第4号
高齢婦人の治験例	今泉清	(92)548	2002年(平成14)・第49巻・第4号
漢方牛歩録(191)夜間譫妄に防已地黄湯	中村謙介	(96)552	2002年(平成14)・第49巻・第4号
最近のカルテの中から(22)葛根湯の治験例ほか	森由雄	(99)555	2002年(平成14)・第49巻・第4号
漢方診療おぼえ書(197)	緒方玄芳	(101)557	2002年(平成14)・第49巻・第4号
【シリーズ　中医時間治療学】3.『傷寒卒病論』の時間治療学による条文解釈(4)「暮」「夜半」の時間治療学解釈	小髙修司	(103)559	2002年(平成14)・第49巻・第4号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(2)	横田観風	(110)566	2002年(平成14)・第49巻・第4号
『傷寒論』の「小便白」をどう解釈するか	長谷川弥人	(117)573	2002年(平成14)・第49巻・第4号
吉益東洞と後藤艮山の書－旧山崎藩医・安原家遺品　その2－	宮崎綾子	(120)576	2002年(平成14)・第49巻・第4号
トピックス／昭和鍼灸界の大御所－代田文誌特別展開催	長沢伸子	(125)581	2002年(平成14)・第49巻・第4号
2002年(平成14)・第49巻・第5号			2002年(平成14)・第49巻・第5号

＜ロ絵＞目でみる漢方史料館(167)伊藤大助の家伝資料	町泉寿郎	(2)602	2002年(平成14)・第49巻・第5号
〔原著〕漢方薬(麻黄)と解熱剤(ロキソニン<R>)の併用療法についての検討	趙重文・洪鉄・金光弼・大津恒治・丁宗鐵	(9)609	2002年(平成14)・第49巻・第5号
Autoimmune Cholangiopathy、橋本病、シェーグレン症候群に合併した自己免疫性溶血性貧血に十全大補湯加附子が奏効した1例	引網宏彰・長坂和彦	(17)617	2002年(平成14)・第49巻・第5号
麻子仁丸が奏効した蕁麻疹の1症例	行待寿紀・立川洋・瀬古敬	(28)628	2002年(平成14)・第49巻・第5号
女子医大雑話(104)低カリウム血症が出現した2症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(33)633	2002年(平成14)・第49巻・第5号
東洋堂経験余話(126)	松本一男	(38)638	2002年(平成14)・第49巻・第5号
漢方治療が奏効した夜尿症を伴った小児喘息の2症例	宮崎瑞明・盛克己	(41)641	2002年(平成14)・第49巻・第5号
漢方牛歩録(192)この春のアレルギー性鼻炎	中村謙介	(50)650	2002年(平成14)・第49巻・第5号
最近のカルテの中から(23)	森由雄	(52)652	2002年(平成14)・第49巻・第5号
『漢方の臨床』アンコール論説〔座談会〕証を語る(『漢方の臨床』創刊号より)	大塚敬節・矢数道明・細野史郎・馬場辰二・和田正系・坂口弘・気賀林一	(55)655	2002年(平成14)・第49巻・第5号
東洋医学の疾病構成	山崎由佳里・伊藤康雄	(64)664	2002年(平成14)・第49巻・第5号
読解『方伎雑誌』(尾台榕堂)その18	笠原栄司	(70)670	2002年(平成14)・第49巻・第5号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(3)	横田観風	(78)678	2002年(平成14)・第49巻・第5号
『易経』に関するノート(上)	杉山広重	(84)684	2002年(平成14)・第49巻・第5号
中風の腹証について	戸田静男	(93)693	2002年(平成14)・第49巻・第5号
眼科疾患治療の古典的考察	鎌田慶市郎・日比野久美子	(97)697	2002年(平成14)・第49巻・第5号
吉益東洞と後藤艮山の書－旧山崎藩医・安原家遺品　その3－	宮崎綾子	(104)704	2002年(平成14)・第49巻・第5号
台湾訪書誌Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(4)	真柳誠	(111)711	2002年(平成14)・第49巻・第5号
2002年(平成14)・第49巻・第6号			2002年(平成14)・第49巻・第6号
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館(168)臓腑神農像	真柳誠	(2)738	2002年(平成14)・第49巻・第6号
散剤と煎剤の成分含量の分析・比較からみた散剤の有効性－甘草乾姜湯・茯苓四逆湯について	盛克己・宮崎瑞明	(9)745	2002年(平成14)・第49巻・第6号
股関節周囲及び足関節周囲によく見られる愁訴について	森久保治道	(14)750	2002年(平成14)・第49巻・第6号
頑固な心下痞の治療経験－熱証か寒症かで迷った1症例－	行待寿紀・立川洋・瀬古敬	(19)755	2002年(平成14)・第49巻・第6号
女子医大雑話(105)皮膚疾患の4例ほか	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(24)760	2002年(平成14)・第49巻・第6号
漢方牛歩録(193)変形性脊椎症に温鍼と四逆湯合芍甘附	中村謙介	(28)764	2002年(平成14)・第49巻・第6号
東洋堂経験余話(127)肺炎と気管支喘息に清肺湯ほか	松本一男	(30)766	2002年(平成14)・第49巻・第6号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(24)	大塚賢治・渡辺洋井	(33)769	2002年(平成14)・第49巻・第6号
黄土(伏竜肝)理論　その1	伊藤康雄・岡野嘉明	(40)776	2002年(平成14)・第49巻・第6号
漢方診療おぼえ書(198)	緒方玄芳	(44)780	2002年(平成14)・第49巻・第6号
『漢方の臨床』アンコール論説〔座談会〕証を語る(続)(『漢方の臨床』創刊号より)	大塚敬節・矢数道明・細野史郎・馬場辰二・和田正系・坂口弘・気賀林一	(47)783	2002年(平成14)・第49巻・第6号
〔アンコール論説〕証について	藤平健	(60)796	2002年(平成14)・第49巻・第6号
藤平健先生の「証について」を読んで	福田佳弘	(65)801	2002年(平成14)・第49巻・第6号
悪性腫瘍に関する史(私)的考察(上)	伊藤敦之	(67)803	2002年(平成14)・第49巻・第6号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(4)	横田観風	(77)813	2002年(平成14)・第49巻・第6号
『易経』に関するノート(中)	杉山広重	(83)819	2002年(平成14)・第49巻・第6号
〔インタビュー〕親父の追憶	代田文彦	(89)825	2002年(平成14)・第49巻・第6号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(5)	真柳誠	(103)839	2002年(平成14)・第49巻・第6号
トピックス／国際内科学会議ほか		(114)850	2002年(平成14)・第49巻・第6号
2002年(平成14)・第49巻・第7号			2002年(平成14)・第49巻・第7号
＜ロ絵＞目でみる漢方史料館(169)孫思邈史蹟の碑文に大塚・矢数先生の伝	真柳誠	(2)866	2002年(平成14)・第49巻・第7号
高齢者の骨折例3例(桃核承気湯を中心に)	木元博史	(9)873	2002年(平成14)・第49巻・第7号
桃核承気湯について	黒瀬喜久雄	(22)886	2002年(平成14)・第49巻・第7号
気管支喘息に炙甘草湯－1例報告－	佐藤田實	(28)892	2002年(平成14)・第49巻・第7号
「虚・実」診断における脈診所見の臨床的意義について	岡田耕造	(31)895	2002年(平成14)・第49巻・第7号
東洋堂経験余話(128)胃痛に生姜瀉心湯ほか	松本一男	(37)901	2002年(平成14)・第49巻・第7号
44歳にしてはじめて授かった女児と漢方臨床	橋口親義	(40)904	2002年(平成14)・第49巻・第7号
女子医大雑話(106)漢方薬の思わぬ薬効が得られた3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(42)906	2002年(平成14)・第49巻・第7号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(25)	大塚賢治・渡辺洋井	(49)913	2002年(平成14)・第49巻・第7号
黄土(伏竜肝)の理論　その2	伊藤康雄・岡野嘉明	(63)927	2002年(平成14)・第49巻・第7号
カテイテルにみる江戸幕末期の東西医学の接点～尾台榕堂『類聚方広義』頭注の一考察	秋葉哲生	(70)934	2002年(平成14)・第49巻・第7号
〔アンコール論説〕実地臨床からみた証の問題	長濱善夫	(75)939	2002年(平成14)・第49巻・第7号
多紀元簡編著『観聚方要補』の訓読・解説(5)	松下嘉一・鎌田慶市郎	(83)947	2002年(平成14)・第49巻・第7号

悪性腫瘍に関する史(私)的考察(下)	伊藤敦之	(91)955	2002年(平成14)・第49巻・第7号
『易経』に関するノート(下)	杉山広重	(100)964	2002年(平成14)・第49巻・第7号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(6)	真柳誠	(108)972	2002年(平成14)・第49巻・第7号
トピックス／日本東洋医学会学術総会ほか		(117)981	2002年(平成14)・第49巻・第7号
図書紹介／『生活習慣病と食養』ほか		(124)988	2002年(平成14)・第49巻・第7号
2002年(平成14)・第49巻・第8号			2002年(平成14)・第49巻・第8号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(170)北京大学図書館所蔵の日本旧蔵古医籍三点	真柳誠	(2)1102	2002年(平成14)・第49巻・第8号
附子中毒46症例の検討	長坂和彦	(9)1009	2002年(平成14)・第49巻・第8号
腹候と舌苔の関連性についての検討	関矢信康・嶋田豊・柴原直利・喜多敏明・後藤博三・寺澤捷年	(26)1026	2002年(平成14)・第49巻・第8号
小児における大柴胡湯適用例について	今井純生・後藤伸佳・牧田憲太郎	(35)1035	2002年(平成14)・第49巻・第8号
癌患者のQOL改善に対するWTTCGEの効果	土方康世	(40)1040	2002年(平成14)・第49巻・第8号
かぜ症候群に対する人参湯の予防的使用経験	陣内弘知	(46)1046	2002年(平成14)・第49巻・第8号
黄土(伏竜肝)の理論　その3	伊藤康雄・岡野嘉明	(49)1049	2002年(平成14)・第49巻・第8号
女子医大雑話(107)女性の2症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(56)1056	2002年(平成14)・第49巻・第8号
東洋堂経験余話(129)過敏性腸症候群に参苓白朮散料	松本一男	(60)1060	2002年(平成14)・第49巻・第8号
漢方牛歩録(194)坐骨神経痛に伴う下腿浮腫に分消湯	中村謙介	(64)1064	2002年(平成14)・第49巻・第8号
漢方診療おぼえ書(199)	緒方玄芳	(66)1066	2002年(平成14)・第49巻・第8号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(26)	大塚賢治・渡辺洋井	(68)1068	2002年(平成14)・第49巻・第8号
読解『方伎雑誌』(尾台榕堂)その19	笠原栄司	(79)1079	2002年(平成14)・第49巻・第8号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(5)	横田観風	(87)1087	2002年(平成14)・第49巻・第8号
腎と生殖を論ずる	小野正弘	(94)1094	2002年(平成14)・第49巻・第8号
第26回国際内科学会議で鍼灸のデモンストレーションを行って	石野尚吾	(105)1105	2002年(平成14)・第49巻・第8号
2002年(平成14)・第49巻・第9号			2002年(平成14)・第49巻・第9号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(171)『本草品彙精要』ローマ本・大塚本・ベルリン本	真柳誠	(2)1030	2002年(平成14)・第49巻・第9号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院)　症例提示	編集委員会	(9)1137	2002年(平成14)・第49巻・第9号
脊髄小脳変性症における真武湯エキス投与経験例2例	秋葉哲生・木元博史	(13)1141	2002年(平成14)・第49巻・第9号
WPW症候群の頻脈発作に桂枝甘草湯	黒瀬喜久雄	(20)1148	2002年(平成14)・第49巻・第9号
最終月経なしで妊娠した2症例	寺師睦宗	(22)1150	2002年(平成14)・第49巻・第9号
漢方診療おぼえ書(200)	緒方玄芳	(27)1155	2002年(平成14)・第49巻・第9号
アトピー性皮膚炎における漢方薬治療法について	パチョフスキー・ヘルムート	(30)1158	2002年(平成14)・第49巻・第9号
女子医大雑話(108)高血圧に黄連解毒湯ほか	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(36)1164	2002年(平成14)・第49巻・第9号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(26)	大塚賢治・渡辺洋井	(39)1167	2002年(平成14)・第49巻・第9号
東洋堂経験余話(130)IgA腎症に荊芥連翹湯加大黄ほか	松本一男	(56)1184	2002年(平成14)・第49巻・第9号
漢方牛歩録(195)頭部腫瘤・副鼻腔炎・寝違え・ベーカー嚢腫	中村謙介	(59)1187	2002年(平成14)・第49巻・第9号
黄土(伏竜肝)の理論　その4	岡野嘉明・伊藤康雄	(62)1190	2002年(平成14)・第49巻・第9号
証についての諸家の説(再録)	石野信安・森田幸門・西澤道允	(66)1194	2002年(平成14)・第49巻・第9号
西澤道允先生の「証について」を読んで	松下嘉一	(71)1199	2002年(平成14)・第49巻・第9号
脈の好転とグル音	柿田秀明・城田吉彦	(72)1200	2002年(平成14)・第49巻・第9号
『本草品彙精要』ローマ本・大塚本・ベルリン本の成立関係	真柳誠	(79)1207	2002年(平成14)・第49巻・第9号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(6)	横田観風	(93)1221	2002年(平成14)・第49巻・第9号
吉益東洞と後藤艮山の書(余滴)－旧山崎藩医・安原家遺品　その4－了	宮崎綾子	(100)1228	2002年(平成14)・第49巻・第9号
トピックス／一味違う和漢医薬学会開催	長沢伸子	(107)1235	2002年(平成14)・第49巻・第9号
2002年(平成14)・第49巻・第10号			2002年(平成14)・第49巻・第10号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(172)金沢文庫の医学古文書	真柳誠	(2)1258	2002年(平成14)・第49巻・第10号
柴胡剤を主方として奏効した難治性舌痛症の3症例	宮崎瑞明・盛克己	(9)1265	2002年(平成14)・第49巻・第10号
線維化疾患への駆オ血剤の応用	長坂和彦・引網宏彰・巽武司・名取通夫・横井昌隆	(17)1273	2002年(平成14)・第49巻・第10号
背痛と頭痛から嘔吐を繰り返した症例	行待寿紀・立川洋・瀬古敬	(25)1281	2002年(平成14)・第49巻・第10号
女子医大雑話(109)最近経験した3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(30)1286	2002年(平成14)・第49巻・第10号
漢方牛歩録(196)風邪・爪周囲炎・暑気あたり・脳神経痛・魚毒	中村謙介	(37)1293	2002年(平成14)・第49巻・第10号
痰飲治療における「心」の配慮	小髙修司	(41)1297	2002年(平成14)・第49巻・第10号
〔アンコール論説〕大柴胡湯について	大塚敬節	(47)1303	2002年(平成14)・第49巻・第10号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(28)	大塚賢治・渡辺洋井	(55)1311	2002年(平成14)・第49巻・第10号
インタビュー　一筋の道	坂口弘	(69)1325	2002年(平成14)・第49巻・第10号
読解『方伎雑誌』(尾台榕堂)その20	笠原栄司	(87)1343	2002年(平成14)・第49巻・第10号

『療難百則』(尾台榕堂著)について(7)	横田観風	(95)1351	2002年(平成14)・第49巻・第10号
気の排出と発汗—東洋医学の疾病構成— その1 解熱	山崎由佳里・伊藤康雄	(102)1358	2002年(平成14)・第49巻・第10号
台湾訪書志Ⅰ 故宮博物院所蔵の医薬古典籍(7)	真柳誠	(109)1365	2002年(平成14)・第49巻・第10号
第12回漢方治療研究会アルバム(Ⅰ)		(117)1373	2002年(平成14)・第49巻・第10号
2002年(平成14)・第49巻・第11号			2002年(平成14)・第49巻・第11号
矢数道明先生を悼む	大塚恭男・細川喜代治・石橋晃・花輪壽彦・山田光胤・松田邦夫・長谷川弥人・原桃介・菊谷豊彦・大貫進・秋葉哲生・久保田富也・原敬二郎・伊藤敏雄・伊藤嘉紀・大友一夫・小曽戸明子・坂田鎮明・杉山広重・角田睦子・松本一男・室賀一宏	(9)1401	2002年(平成14)・第49巻・第11号
追悼座談会 矢数道明先生を偲ぶ	細川喜代治・室賀昭三・原桃介・細井大二・大貫進 司会)菊谷豊彦	(41)1433	2002年(平成14)・第49巻・第11号
〔アンコール論説〕矢数道明会長に聞く	聞き手)大塚恭男・細野八郎	(51)1443	2002年(平成14)・第49巻・第11号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院) 第2回症例提示 第1回症例提示・読者の回答・治療経過・解説と講評	星野惠津夫	(65)1457	2002年(平成14)・第49巻・第11号
四君子湯が有効であった腹膜透析患者の低血圧の1例	室賀一宏	(75)1467	2002年(平成14)・第49巻・第11号
高齢者の腰部打撲症急性期6例に桃核承気湯エキスを使用した経験	木元博史	(81)1473	2002年(平成14)・第49巻・第11号
東洋堂経験余話(131)	松本一男	(86)1478	2002年(平成14)・第49巻・第11号
漢方牛歩録(197)	中村謙介	(89)1481	2002年(平成14)・第49巻・第11号
女子医大雑話(110)	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(92)1484	2002年(平成14)・第49巻・第11号
気の排出と発汗 その2 裏寒	山崎由佳里・伊藤康雄	(97)1489	2002年(平成14)・第49巻・第11号
耳鼻咽喉科疾患治療の古典的考察(1)	松下嘉一・鎌田慶市郎ほか	(103)1495	2002年(平成14)・第49巻・第11号
国際医史学会へ旅して	小曽戸明子	(112)1504	2002年(平成14)・第49巻・第11号
台湾訪書志Ⅰ 故宮博物院所蔵の医薬古典籍(8)	真柳誠	(115)1507	2002年(平成14)・第49巻・第11号
2002年(平成14)・第49巻・第12号			2002年(平成14)・第49巻・第12号
＜口絵＞矢数道明先生思い出のアルバム		(1)1537	2002年(平成14)・第49巻・第12号
矢数道明先生を悼む	坂口弘・細川喜代治・寺師睦宗・室賀昭三・藤井美樹・渡邉武・石野尚吾・岡利幸・小川新・鎌田慶市郎・桑木崇秀・後藤實・杉立義一・田畑隆一郎・多留淳文・鎮西弘・丁宗鐵・中井康雄・中川良隆・中島泰三・長瀬千秋・中田敬吾・中村謙介・難波恒雄・二宮文乃・平馬直樹・松本克彦・真柳誠・光藤英彦・宮川昭平・宮崎綾子・安井廣迪・山崎正寿・荒川和男・柏木佑記慧・高橋楊子・矢数圭堂		2002年(平成14)・第49巻・第12号
追悼座談会 矢数道明先生を偲ぶ	大塚恭男・矢数圭堂・小曽戸洋・真柳誠 司会)花輪壽彦	(97)1633	2002年(平成14)・第49巻・第12号
追悼座談会 矢数道明先生を偲ぶ〔京都と矢数先生〕	坂口弘・後藤實・細野八郎 司会)中田敬吾	(123)1659	2002年(平成14)・第49巻・第12号
〔アンコール論説〕矢数道明会長に聞く(続)	聞き手)大塚恭男・細野八郎	(139)1675	2002年(平成14)・第49巻・第12号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院) 第3回症例提示 第2回症例提示・読者の回答・治療経過・解説と講評	星野惠津夫	(155)1691	2002年(平成14)・第49巻・第12号
東洋堂経験余話(132)	松本一男	(165)1701	2002年(平成14)・第49巻・第12号
女子医大雑話(111)最近の私の家で	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(168)1704	2002年(平成14)・第49巻・第12号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(29)	大塚賢治・渡辺洋井	(172)1708	2002年(平成14)・第49巻・第12号
学術大会レポート 漢方学術大会・日本漢方交流会	山田真知子	(180)1716	2002年(平成14)・第49巻・第12号
2003年(平成15)・第50巻・第1号			2003年(平成15)・第50巻・第1号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(173)矢数道明先生賛神農画像	小曽戸洋	(2)2	2003年(平成15)・第50巻・第1号
平成15年(2003年) 新年のことば[142名]		(9)9	2003年(平成15)・第50巻・第1号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院)症例3(11月号出題) 実際の治療経過・読者からの回答・解説および講評	星野惠津夫	(93)93	2003年(平成15)・第50巻・第1号
高齢者の痴呆による陽性症状に抑肝散が奏効した2例	田原英一・新谷卓弘・森山健三・中尾紀久世・久保道徳ほか	(105)105	2003年(平成15)・第50巻・第1号
慢性前立腺炎に対する漢方治療の効果	佐野克行	(115)115	2003年(平成15)・第50巻・第1号
竜胆瀉肝湯が奏効した排卵痛の1症例	熊谷由紀絵・小菅孝明・山口力威	(120)120	2003年(平成15)・第50巻・第1号
清心蓮子飲と清脾飲で軽快した多汗症の1例	三浦於菟・李彦・武島英人	(125)125	2003年(平成15)・第50巻・第1号
高齢者の腰部脊椎管狭窄症による間欠跛行に対する白朮附子湯(去桂加白朮湯)の使用例	森久保治道	(133)133	2003年(平成15)・第50巻・第1号
女子医大雑話(112)エキス剤にない処方を用いた3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(139)139	2003年(平成15)・第50巻・第1号

甲状腺機能亢進症に真武湯が有効であった症例	伊藤浩史	(146)146	2003年(平成15)・第50巻・第1号
補中益気湯により頻発する膀胱炎が軽快した症例	行待寿紀・立川洋・瀬古敬	(148)148	2003年(平成15)・第50巻・第1号
漢方牛歩録(198)抑鬱気分の不眠・咽の痞塞感ほか	中村謙介	(152)152	2003年(平成15)・第50巻・第1号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(30)	大塚賢治・渡辺洋井	(155)155	2003年(平成15)・第50巻・第1号
併病について	講師・藤平健	(164)164	2003年(平成15)・第50巻・第1号
2003年(平成15)・第50巻・第2号			2003年(平成15)・第50巻・第2号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(174)北京図書館の伊沢蘭軒旧版元版『千金方』	真柳誠	(2)194	2003年(平成15)・第50巻・第2号
全身性ジストニアに甘麦大棗湯が有効であった1例	早崎知幸・花輪壽彦	(9)201	2003年(平成15)・第50巻・第2号
托裏消毒散(外科正宗)が奏功した『症例3』及び『症例4』	大関潤一	(15)207	2003年(平成15)・第50巻・第2号
あまり使われていない古方の使用経験	岩崎勲	(25)217	2003年(平成15)・第50巻・第2号
怯え、パニックを呈する自閉症児に抑肝散加芍薬天麻	今井純生他	(29)221	2003年(平成15)・第50巻・第2号
糖尿病に対する漢方処方	土方康世・仙頭正四郎	(33)225	2003年(平成15)・第50巻・第2号
防已黄耆湯にて緩解した早期リウマチの1例	野上達也他	(40)232	2003年(平成15)・第50巻・第2号
漢方治療により耐術性を得た非代償性肝硬変合併大腿部骨折の1例	柴田健雄・橘正人	(43)235	2003年(平成15)・第50巻・第2号
桂姜棗草黄辛附湯の「心下堅、大如盤、辺如旋杯」を腹部エコーで観る	稲本善人	(49)241	2003年(平成15)・第50巻・第2号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院)　2003年2月号出題―症例5 症例4、実際の治療経過、読者からの回答・解説	星野惠津夫	(57)249	2003年(平成15)・第50巻・第2号
東洋堂経験余話(133)	松本一男	(72)264	2003年(平成15)・第50巻・第2号
女子医大雑話(113)最近の3症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(75)267	2003年(平成15)・第50巻・第2号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(31)	大塚賢治・渡辺洋井	(81)273	2003年(平成15)・第50巻・第2号
気の排出と発汗　その3　表証・外証	伊藤康雄・山崎由佳里	(89)281	2003年(平成15)・第50巻・第2号
大青竜湯第2条「傷寒脈浮緩」について	寺師睦宗	(95)287	2003年(平成15)・第50巻・第2号
読解『方伎雑誌』(尾台榕堂)その21(最終回)	笠原栄司	(98)290	2003年(平成15)・第50巻・第2号
山田業広著『金匱要略集註』訓読(24)	千葉古方漢方研究会	(110)302	2003年(平成15)・第50巻・第2号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(8)	横田観風	(103)295	2003年(平成15)・第50巻・第2号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(9)	真柳誠	(117)309	2003年(平成15)・第50巻・第2号
Letter to the Editor　シャックリに甘草瀉心湯加陳皮が著効した1例	庄子昇	(127)319	2003年(平成15)・第50巻・第2号
代田文彦先生を悼む	光藤英彦・菊谷豊彦	(127)319	2003年(平成15)・第50巻・第2号
矢数道明先生を悼む(続)	ハイ元植・永井良樹	(131)323	2003年(平成15)・第50巻・第2号
2003年(平成15)・第50巻・第3号			2003年(平成15)・第50巻・第3号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(175)呉秀三収集『医聖堂前哲帖』(3)桂川甫賢	町泉寿郎	(2)346	2003年(平成15)・第50巻・第3号
昭和漢方について思うこと－その文化的背景－	後藤哲也	(9)353	2003年(平成15)・第50巻・第3号
洋漢の医学を体現した人々－後藤艮山とガレヌスの豚	秋葉哲生	(14)358	2003年(平成15)・第50巻・第3号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院)　2003年3月号出題―症例6 症例4、実際の治療経過、読者からの回答・解説	星野惠津夫	(20)364	2003年(平成15)・第50巻・第3号
高プロラクチン血症を伴う不妊症	寺師睦宗	(35)379	2003年(平成15)・第50巻・第3号
八味地黄丸料エキス剤が有効であった白内障術後の糖尿病黄斑症	萩原高士	(43)387	2003年(平成15)・第50巻・第3号
漢方牛歩録(199)ベーカー嚢腫・両肩関節周囲炎ほか	中村謙介	(48)392	2003年(平成15)・第50巻・第3号
東洋堂経験余話(134)気管支炎に麦門冬湯と柴朴湯ほか	松本一男	(52)396	2003年(平成15)・第50巻・第3号
五苓散攷	小高修司・岡田研吉・郭秀梅・牧角和宏	(55)399	2003年(平成15)・第50巻・第3号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(32)	大塚賢治・渡辺洋井	(69)413	2003年(平成15)・第50巻・第3号
傷寒論「熱血室に入る」についての一考察	鎌田慶市郎ほか	(79)423	2003年(平成15)・第50巻・第3号
新出の多紀元堅門人録について(上)	町泉寿郎・小曽戸洋・花輪壽彦	(81)425	2003年(平成15)・第50巻・第3号
＜代田文彦先生を悼む(続)＞代田文彦先生のご逝去を悼む	松田邦夫	(99)443	2003年(平成15)・第50巻・第3号
＜代田文彦先生を悼む(続)＞代田先生を失って	佐藤弘	(101)445	2003年(平成15)・第50巻・第3号
＜代田文彦先生を悼む(続)＞代田文彦先生と私	石野尚吾	(103)447	2003年(平成15)・第50巻・第3号
＜代田文彦先生を悼む(続)＞代田文彦先生の追憶	中村謙介	(105)449	2003年(平成15)・第50巻・第3号
女子医大雑話(114)学会総会開催地・福岡の紹介	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(113)457	2003年(平成15)・第50巻・第3号
漢方界トピックス	山田真知子・中村成代	(119)463	2003年(平成15)・第50巻・第3号
『てんしき』はどう書きますか？	伊藤敦之	(123)467	2003年(平成15)・第50巻・第3号
2003年(平成15)・第50巻・第4号			2003年(平成15)・第50巻・第4号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(176)吉益東洞の肖像	町泉寿郎	(2)490	2003年(平成15)・第50巻・第4号
巻頭言／本草書を読もう	小根山隆祥	(9)497	2003年(平成15)・第50巻・第4号
月経痛に対する枳実芍薬散及びその加味方(特に甘草)の使用経験から	盛克己・宮崎瑞明	(10)498	2003年(平成15)・第50巻・第4号
頚部郭清術・放射線治療後の喉頭浮腫に五苓散が有効であった1例	野上達也・林克美・関矢信康・寺澤捷年	(16)504	2003年(平成15)・第50巻・第4号
女子医大雑話(115)小柴胡湯を用いた3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(20)508	2003年(平成15)・第50巻・第4号

第54回日本東洋医学会学術総会　福岡大会の見どころ・聞きどころ	原敬二郎・後藤哲也・木村孟淳・三渚忠道	(27)515	2003年（平成15）・第50巻・第4号
東亜漢方大学附属病院（仮想漢方大学病院）　2003年4月号出題—症例7症例6、実際の治療経過、読者からの回答・解説	星野惠津夫	(41)529	2003年（平成15）・第50巻・第4号
いじめによる身体症状の対策　漢方医の役割と警察	関修一郎	(59)547	2003年（平成15）・第50巻・第4号
東洋堂経験余話（135）	松本一男	(63)551	2003年（平成15）・第50巻・第4号
漢方牛歩録（200）円形脱毛症ほか	中村謙介	(66)554	2003年（平成15）・第50巻・第4号
〔アンコール論説〕山椒の臨床と薬理	細野史郎	(69)557	2003年（平成15）・第50巻・第4号
気の排出と発汗　その4　表裏	伊藤康雄・山崎由佳里	(77)565	2003年（平成15）・第50巻・第4号
『療難百則』（尾台榕堂著）について（9）	横田観風	(84)572	2003年（平成15）・第50巻・第4号
『傷寒論』の難文奇文	森久保治道	(91)579	2003年（平成15）・第50巻・第4号
新出の多紀元堅門人録について（下）	町泉寿郎・小曽戸洋・花輪壽彦	(105)593	2003年（平成15）・第50巻・第4号
トピックス／衆院厚労委員会で不妊治療について水島広子議員が質問		(120)608	2003年（平成15）・第50巻・第4号
2003年(平成15)・第50巻・第5号			2003年（平成15）・第50巻・第5号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（177）五雲子の『医工入式』序文	長野仁	(2)634	2003年（平成15）・第50巻・第5号
坂口弘先生を悼む	細野八郎・山田光胤・石橋晃・ハイ元植・岩田正・油谷桂朗・菊谷豊彦・後藤實・高島文一・田中邦雄・寺澤捷年・原敬二郎・松本克彦・室賀昭三・山崎正寿・渡邊一幹	(9)641	2003年（平成15）・第50巻・第5号
父の日記	坂口佳司	(33)665	2003年（平成15）・第50巻・第5号
漢方界トピックス／東洋医学界の重鎮、坂口弘先生ご逝去	長沢伸子	(37)634	2003年（平成15）・第50巻・第5号
漢方と長寿ー八味地黄丸の作用機序	伊藤隆	(43)675	2003年（平成15）・第50巻・第5号
冷えの漢方ーしもやけ・冷え症・寒冷凝集素症	阿部勝利	(53)685	2003年（平成15）・第50巻・第5号
重症で難治の気管支喘息に漢方薬が即効	藤原二郎	(58)690	2003年（平成15）・第50巻・第5号
抑肝散加芍薬厚朴が有効であった顔面痙攣の1例	飯山和郎ほか	(60)692	2003年（平成15）・第50巻・第5号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（33）	大塚賢治・渡辺洋井	(63)695	2003年（平成15）・第50巻・第5号
女子医大雑話（116）長年にわたり漢方薬を服用している症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(79)711	2003年（平成15）・第50巻・第5号
肝気鬱結の治験例	今泉清	(84)716	2003年（平成15）・第50巻・第5号
東洋堂経験余話（136）狭心症に当帰湯ほか	松本一男	(88)720	2003年（平成15）・第50巻・第5号
漢方牛歩録（201）変形性頚椎症に甘草附子湯加味ほか	中村謙介	(91)723	2003年（平成15）・第50巻・第5号
漢方製剤の中のげてもの一考	力丸米雄	(94)726	2003年（平成15）・第50巻・第5号
漢方診療おぼえ書（201）桂枝茯苓丸服用で瞑眩	緒方玄芳	(96)728	2003年（平成15）・第50巻・第5号
南涯先生遺文（1）	岡利幸	(97)729	2003年（平成15）・第50巻・第5号
多紀元簡編著『観衆方要補』の訓読・解説（6）	松下嘉一・鎌田慶市郎	(105)737	2003年（平成15）・第50巻・第5号
シンポジウム　江戸医学館の業績	町泉寿郎・戸出一郎・小曽戸洋・岩井祐泉	(111)743	2003年（平成15）・第50巻・第5号
横浜市立大学東洋医学集中講座開催速報		(141)773	2003年（平成15）・第50巻・第5号
2003年(平成15)・第50巻・第6号			2003年（平成15）・第50巻・第6号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（178）五雲子に仮託された扁鵲真流の鍼灸叢書	長野仁	(2)794	2003年（平成15）・第50巻・第6号
多発性脳梗塞の漢方治療　陰虚で虚証の脳梗塞における小続命湯の効用	栗山一八	(9)801	2003年（平成15）・第50巻・第6号
耳閉感に対する苓桂味甘湯の使用経験	長坂和彦・巽武司ほか	(17)809	2003年（平成15）・第50巻・第6号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（34）	大塚賢治・渡辺洋井	(21)813	2003年（平成15）・第50巻・第6号
東洋堂経験余話（137）	松本一男	(32)824	2003年（平成15）・第50巻・第6号
東亜漢方大学附属病院（仮想漢方大学病院）　緊急企画″SARS″症例提示症例7：治療経過、読者からの回答、解説講評	星野惠津夫	(35)827	2003年（平成15）・第50巻・第6号
漢方牛歩録（202）胸背部痛・雨天の頭痛ほか	中村謙介	(54)846	2003年（平成15）・第50巻・第6号
合方という形態の併病はあるだろうか	岩崎勲	(57)849	2003年（平成15）・第50巻・第6号
女子医大雑話（117）代田文彦先生に教えていただいたこと	溝部宏毅・盛岡頼子・新井信	(64)856	2003年（平成15）・第50巻・第6号
追悼座談会　坂口弘先生を偲ぶ（1）	山田光胤・室賀昭三・細野八郎・高橋久孝　司会）土屋伊磋雄	(67)859	2003年（平成15）・第50巻・第6号
追悼座談会　坂口弘先生を偲ぶ（2）	細野八郎・中田敬吾・山崎正寿・長瀬千秋・景山崇子・井上慶山　司会）土屋伊磋雄		2003年（平成15）・第50巻・第6号
坂口弘先生を悼む（続）	西岡一夫・森秀太郎・安井廣迪・山本昇吾・原桃介・伊藤みさ・藤井美樹	(100)892	2003年（平成15）・第50巻・第6号
坂口先生の思い出ー残された教え	細野八郎	(111)903	2003年（平成15）・第50巻・第6号
〔アンコール論説〕漢方処方の副作用	坂口弘	(113)905	2003年（平成15）・第50巻・第6号
気の排出と発汗　その5　外証	伊藤康雄・山崎由佳里	(121)913	2003年（平成15）・第50巻・第6号

山田業広著『金匱要略集注』訓読(25)	千葉古方漢方研究会	(128)920	2003年(平成15)・第50巻・第6号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(10)	真柳誠	(133)925	2003年(平成15)・第50巻・第6号
日本東洋医学会学術総会レポート	山田真知子ほか	(140)932	2003年(平成15)・第50巻・第6号
Letter to the Editor	星野惠津夫→三浦於菟	(156)948	2003年(平成15)・第50巻・第6号
2003年(平成15)・第50巻・第7号			2003年(平成15)・第50巻・第7号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(179)森中虚自筆本『家伝秘剤』	長野仁	(2)962	2003年(平成15)・第50巻・第7号
藤平併病論の再考	森久保治道	(9)969	2003年(平成15)・第50巻・第7号
多彩な自他覚症状を呈した起立性調節障害の1例	熊谷由紀絵・小菅孝明・山口力威	(24)984	2003年(平成15)・第50巻・第7号
女神散に他剤を合方した後に経過が良好な1例	前田修司	(30)990	2003年(平成15)・第50巻・第7号
最近のカルテの中から(24)妊婦のインフルエンザに大青竜湯	森由雄	(33)993	2003年(平成15)・第50巻・第7号
女子医大雑話(118)胸部や上腹部のむかつきを訴える3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(36)996	2003年(平成15)・第50巻・第7号
第5頚椎破裂による右下肢体幹知覚障害の男子不妊	寺師睦宗	(42)1002	2003年(平成15)・第50巻・第7号
漢方牛歩録(203)どこも相手にしないしびれ感ほか	中村謙介	(44)1004	2003年(平成15)・第50巻・第7号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(35)	大塚賢治・渡辺洋井	(47)1007	2003年(平成15)・第50巻・第7号
東洋堂経験余話(138)ストレスによる胃痛に黄連湯ほか	松本一男	(59)1019	2003年(平成15)・第50巻・第7号
腰痛と坐骨神経痛に対する東洋医学治療の効果について	程炳鈞・中田和宏・竹村修・前田敏男	(62)1022	2003年(平成15)・第50巻・第7号
素顔の茯苓甘草湯　『傷寒論』366条「宜先治水。～。卻治其厥」についての考察	齋藤謙一・田畑隆一郎	(66)1026	2003年(平成15)・第50巻・第7号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(10)	横田観風	(71)1031	2003年(平成15)・第50巻・第7号
南涯先生遺文(2)	岡利幸	(79)1039	2003年(平成15)・第50巻・第7号
气・宗氣・循環の概念の歴史的展開について(上)－黒田源次氏著『氣の研究』に基づく	杉山広重	(83)1043	2003年(平成15)・第50巻・第7号
ハイフェッツを聴いて	森田幸門	(96)1056	2003年(平成15)・第50巻・第7号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(11)	真柳誠	(101)1061	2003年(平成15)・第50巻・第7号
「どうして緒方はそう考えたのか」	中村謙介	(108)1068	2003年(平成15)・第50巻・第7号
2003年(平成15)・第50巻・第8号			2003年(平成15)・第50巻・第8号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(180)森立之の遺墨	町泉寿郎	(2)1090	2003年(平成15)・第50巻・第8号
「虚勢」に対する四逆湯類の治療経験	後藤博三・柴原直利・喜多敏明・関矢信康・嶋田豊・寺澤捷年	(9)1097	2003年(平成15)・第50巻・第8号
北里東医研診療録から(1)壮原湯の使用経験	高橋裕子・米田吉位・櫻井正智・花輪壽彦	(15)1103	2003年(平成15)・第50巻・第8号
多発性脳梗塞を伴った僧帽弁閉鎖不全症の鬱血性心不全非代償期に分消湯を用いた1例	小林豊・中田真司・谷川聖明・寺澤捷年	(19)1107	2003年(平成15)・第50巻・第8号
糖尿病性外転神経麻痺に対する加味八仙湯の経験	黒瀬喜久雄	(25)1113	2003年(平成15)・第50巻・第8号
苓姜朮甘湯が著効しためまいの1例	古賀実芳・斉藤輝夫・三浦於菟	(29)1117	2003年(平成15)・第50巻・第8号
うつ病と甘麦大棗湯	高木嘉子	(32)1120	2003年(平成15)・第50巻・第8号
夜鳴き鶏と咳嗽　呉茱萸湯　その1	伊藤康雄	(35)1123	2003年(平成15)・第50巻・第8号
東洋堂経験余話(139)	松本一男	(40)1128	2003年(平成15)・第50巻・第8号
漢方牛歩録(204)	中村謙介	(43)1131	2003年(平成15)・第50巻・第8号
女子医大雑話(119)怒りに黄連解毒湯ほか	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(46)1134	2003年(平成15)・第50巻・第8号
舌咽神経痛に清上蠲痛湯	矢数圭堂	(49)1137	2003年(平成15)・第50巻・第8号
原因不明の知覚障害に牛車腎気丸が有効であった1例	木下優子ほか	(52)1140	2003年(平成15)・第50巻・第8号
補脾剤が有効であった気管支喘息(脾肺気虚)	藤原二郎	(54)1142	2003年(平成15)・第50巻・第8号
東亜漢方大学附属病院8月号出題－症例8	星野惠津夫	(56)1144	2003年(平成15)・第50巻・第8号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(36)	大塚賢治・渡辺洋井	(59)1147	2003年(平成15)・第50巻・第8号
気の排出と発汗　その6　表の機能	伊藤康雄・山崎由佳里	(70)1158	2003年(平成15)・第50巻・第8号
中医望診学における安藤昌益の理論(上)	角田睦子	(78)1166	2003年(平成15)・第50巻・第8号
『諸病源候論』『外台秘要方』に基づく口腔疾患治療の古典的考察	鎌田慶市郎・日比野久美子・松下嘉一	(85)1173	2003年(平成15)・第50巻・第8号
气・宗氣・循環の概念の歴史的展開について(下)	杉山広重	(92)1180	2003年(平成15)・第50巻・第8号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(12)	真柳誠	(102)1190	2003年(平成15)・第50巻・第8号
2003年(平成15)・第50巻・第9号			2003年(平成15)・第50巻・第9号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(181)吉益東洞筆「範学一則」	町泉寿郎・小曽戸洋	(2)1218	2003年(平成15)・第50巻・第9号
巻頭言／第13回漢方治療研究会を前に	花輪壽彦	(9)1225	2003年(平成15)・第50巻・第9号
黄耆桂枝五物湯が奏効した体感幻覚症の1例	小林豊・中田真司・笠原裕司・古田一史	(10)1226	2003年(平成15)・第50巻・第9号
急性期脳梗塞における五苓散を主とした漢方併用療による臓器保護の可能性(ある示唆的なデーター)	木元博史	(17)1233	2003年(平成15)・第50巻・第9号
桂枝加竜骨牡蛎湯の2例	前田修司	(23)1239	2003年(平成15)・第50巻・第9号

北里東医研診療録から(2)頭痛に抑肝散	玄世鋒・八代忍・大坪眞紀・花輪壽彦	(28)1244	2003年(平成15)・第50巻・第9号
呉茱萸湯と咳嗽　呉茱萸　その2	伊藤康雄	(32)1248	2003年(平成15)・第50巻・第9号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(37)	大塚賢治・渡辺洋井	(37)1253	2003年(平成15)・第50巻・第9号
漢方牛歩録(205)反覆性の口内炎ほか	中村謙介	(45)1261	2003年(平成15)・第50巻・第9号
東洋堂経験余話(140)	松本一男	(48)1264	2003年(平成15)・第50巻・第9号
女子医大雑話(120)腰痛の3例	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(51)1267	2003年(平成15)・第50巻・第9号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院)　SARS症例提示(問題)　読者からの回答、漢方薬による治療法の想定ほか	星野惠津夫	(55)1271	2003年(平成15)・第50巻・第9号
私案:新型肺炎に対する診療対策	伊藤敦之	(75)1291	2003年(平成15)・第50巻・第9号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(11)	横田観風	(84)1300	2003年(平成15)・第50巻・第9号
南涯先生遺文(三)	岡利幸	(92)1308	2003年(平成15)・第50巻・第9号
山田業広著『金匱要略集註』訓読(26)	千葉古方漢方研究会	(95)1311	2003年(平成15)・第50巻・第9号
中医望診学における安藤昌益の理論(下)	角田睦子	(101)1317	2003年(平成15)・第50巻・第9号
吉益東洞と後藤艮山の書(追記)	宮崎綾子	(112)1328	2003年(平成15)・第50巻・第9号
漢方医術復興問題の検剖(5)		(117)1333	2003年(平成15)・第50巻・第9号
2003年(平成15)・第50巻・第10号			2003年(平成15)・第50巻・第10号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(182)吉益南涯の遺墨	町泉寿郎・岡利幸	(2)1354	2003年(平成15)・第50巻・第10号
巻頭言／表の顔と裏の顔	今田屋章	(9)1361	2003年(平成15)・第50巻・第10号
インタービュー　三餘舎放談	長谷川弥人　聞き手)渡辺賢治	(11)1363	2003年(平成15)・第50巻・第10号
喜笑における黄連解毒湯の効果	藤井英子・福居義久	(29)1381	2003年(平成15)・第50巻・第10号
小児慢性疾患に対する柴胡桂枝湯の治療効果	宮崎瑞明・盛克己	(37)1389	2003年(平成15)・第50巻・第10号
掌蹠膿疱症に排膿散及湯合桃核承気湯を用いて著効を示した3症例	西森(佐藤)婦美子	(46)1398	2003年(平成15)・第50巻・第10号
女子医大雑話(121)漢方薬なしの2症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(51)1403	2003年(平成15)・第50巻・第10号
北里東医研診療録から(3)疎経活血湯加減が有効であった3症例	村主明彦・鈴木邦彦・花輪壽彦	(56)1408	2003年(平成15)・第50巻・第10号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(38)	大塚賢治・渡辺洋井	(61)1413	2003年(平成15)・第50巻・第10号
東洋堂経験余話(141)鬱病に柴胡加竜骨牡蠣湯ほか	松本一男	(71)1423	2003年(平成15)・第50巻・第10号
漢方牛歩録(206)20年来の頭重感ほか	中村謙介	(74)1426	2003年(平成15)・第50巻・第10号
東亜漢方大学附属病院(仮想漢方大学病院)症例8(2003年8月号出題)　実際の治療経過、読者からの回答、解説・講評	星野惠津夫	(77)1429	2003年(平成15)・第50巻・第10号
気の排出と発汗　その7　精神障害と発汗	伊藤康雄・山崎由佳里	(91)1443	2003年(平成15)・第50巻・第10号
Epstein-Barr-Virus,Varicella-Zoster-Virus(水痘・帯状疱疹ウイルス)慢性感染症に対する生薬の効果	土方康世・安原昭博ほか	(97)1449	2003年(平成15)・第50巻・第10号
南涯先生遺文(四)	町泉寿郎・岡利幸	(104)1456	2003年(平成15)・第50巻・第10号
図書紹介	秋葉哲生・菊谷豊彦	(107)1459	2003年(平成15)・第50巻・第10号
第13回漢方治療研究会レポート	長沢伸子・山田真知子	(111)1463	2003年(平成15)・第50巻・第10号
東亜漢方大学附属病院緊急企画に対する私見陳述	伊藤敦之	(125)1477	2003年(平成15)・第50巻・第10号
2003年(平成15)・第50巻・第11号			2003年(平成15)・第50巻・第11号
＜口絵＞矢数道明先生1年忌追悼展示		(1)1497	2003年(平成15)・第50巻・第11号
巻頭言／古方にこだわる理由	伊藤隆	(9)1505	2003年(平成15)・第50巻・第11号
疾患別座談会　循環器疾患と漢方	矢久保修嗣・後藤博三・木元博史　司会)並木隆雄		2003年(平成15)・第50巻・第11号
一貫堂医学について	松本克彦	(29)1525	2003年(平成15)・第50巻・第11号
芍薬甘草湯の意外な作用　下肢の脱力感　流涙症	岩崎勲	(43)1539	2003年(平成15)・第50巻・第11号
杜都中央病院の高齢者医療における漢方薬治療の経済的効果及び臨床的効果について	針生雄吉	(51)1547	2003年(平成15)・第50巻・第11号
肺炎患者に対する桂枝湯合麻杏甘石湯の使用経験	板澤正明	(55)1551	2003年(平成15)・第50巻・第11号
北里東医研診療録から(4)唾石症に対する漢方治療	米田吉位・桜井正智・花輪壽彦	(64)1560	2003年(平成15)・第50巻・第11号
破故紙と骨の障害　その1　骨折後遺症	伊藤康雄・山崎由佳里	(69)1565	2003年(平成15)・第50巻・第11号
老年期の痴呆に対する甘麦大棗湯の使用経験	陣内弘和	(77)1573	2003年(平成15)・第50巻・第11号
統合失調症(精神分裂病)の漢方療法　その①	藤原二郎	(80)1576	2003年(平成15)・第50巻・第11号
東洋堂経験余話(142)気管支喘息に桂姜棗草黄辛附湯ほか	松本一男	(83)1579	2003年(平成15)・第50巻・第11号
漢方牛歩録(207)術後イレウスに中建中湯ほか	中村謙介	(86)1582	2003年(平成15)・第50巻・第11号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(12)	横田観風	(89)1585	2003年(平成15)・第50巻・第11号
和訳『審視瑤函』連載開始に当たって	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(98)1594	2003年(平成15)・第50巻・第11号
体表外科サイドからの『入江流針之書』の手技の部分に関するアプローチ並びに書誌について(上)	杉山広重	(102)1598	2003年(平成15)・第50巻・第11号
台湾訪書誌Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(13)	真柳誠	(114)1610	2003年(平成15)・第50巻・第11号
漢方界トピックス／矢数道明先生1年忌の会ほか	長沢伸子	(119)1615	2003年(平成15)・第50巻・第11号
長谷川弥人氏「三餘舎放談」を読んで	黒川達郎	(126)1622	2003年(平成15)・第50巻・第11号

2003年(平成15)・第50巻・第12号			2003年(平成15)・第50巻・第12号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(183)王肯堂と『証治準繩』	小曽戸洋	(2)1634	2003年(平成15)・第50巻・第12号
＜第13回漢方治療研究会「シンポジウム『証』と漢方」講演＞證を考える－浅田から細野へ－	山崎正寿	(9)1641	2003年(平成15)・第50巻・第12号
＜第13回漢方治療研究会「シンポジウム『証』と漢方」講演＞千葉古方の歩み「証」とは何か	中村謙介	(18)1650	2003年(平成15)・第50巻・第12号
＜第13回漢方治療研究会「シンポジウム『証』と漢方」講演＞EBMが問われる時代に「証」をどう捉えるか？	三谷和男	(31)1663	2003年(平成15)・第50巻・第12号
肺癌と診断された患者に対する通導散合四君子湯の使用経験	前田修司	(38)1670	2003年(平成15)・第50巻・第12号
数年来繰り返し起こった口内炎に奏効した涼膈散の1例	大関潤一	(43)1675	2003年(平成15)・第50巻・第12号
夜間自我喪失に加味逍遙散合甘麦大棗湯	三浦於菟	(48)1680	2003年(平成15)・第50巻・第12号
北里東医研診療録から(5)不眠・うつ状態に加味温胆湯・竜骨湯を処方して別人のようになった2症例	高橋裕子・大坪眞紀・花輪壽彦	(51)1683	2003年(平成15)・第50巻・第12号
女子医大雑話(122)治療中のガン患者さん3症例	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(56)1688	2003年(平成15)・第50巻・第12号
東洋堂経験余話(143)	松本一男	(60)1692	2003年(平成15)・第50巻・第12号
気の排出と発汗　その8　精神障害と皮膚	伊藤康雄・山崎由佳里	(63)1695	2003年(平成15)・第50巻・第12号
東亜漢方大学附属病院　出題―症例提示	山崎正寿	(71)1703	2003年(平成15)・第50巻・第12号
「醫聖漢張仲景先生之碑」の解読について	木下勤	(73)1705	2003年(平成15)・第50巻・第12号
体表外科サイドからの『入江流針之書』の手技の部分に関するアプローチ並びに書誌について(下)	杉山広重	(83)1715	2003年(平成15)・第50巻・第12号
台湾訪書誌Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(14)	真柳誠	(93)1725	2003年(平成15)・第50巻・第12号
「馬鹿の壁」を読みながら	笠原栄司	(104)1736	2003年(平成15)・第50巻・第12号
鮮于基先生のご逝去を悼む	吉冨誠・ハイ元植	(106)1738	2003年(平成15)・第50巻・第12号
矢数道明先生の1周忌を迎えて	ハイ元植	(110)1742	2003年(平成15)・第50巻・第12号
図書紹介／小池加能著『カゼには即効漢方』	高山宏世	(111)1743	2003年(平成15)・第50巻・第12号
学術大会レポート	山田真知子ほか	(113)1745	2003年(平成15)・第50巻・第12号
2004年(平成16)・第51巻・第1号			2004年(平成16)・第51巻・第1号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(184)矢数道明先生賛神農画像(その2)	小曽戸洋	(2)2	2004年(平成16)・第51巻・第1号
平成16年(2004年)新年のことば〔150名〕		(9)9	2004年(平成16)・第51巻・第1号
東亜漢方大学附属病院　出題－症例提示	中田敬吾	(95)95	2004年(平成16)・第51巻・第1号
高年期障害(老年障害)への漢方治療	森久保治道	(97)97	2004年(平成16)・第51巻・第1号
漢方牛歩録(208)緊張性頭痛・関節リウマチ	中村謙介	(101)101	2004年(平成16)・第51巻・第1号
東洋堂経験余話(144)感冒に麻黄附子細辛湯ほか	松本一男	(104)104	2004年(平成16)・第51巻・第1号
女子医大雑話(123)梔子柏皮湯、乙字湯、白虎加黄連湯	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(107)107	2004年(平成16)・第51巻・第1号
北里東医研診療録から(6)舌痛に清熱補気湯・清熱解鬱湯を処方して有効であった2症例	玄世鋒・八代忍・花輪壽彦	(115)115	2004年(平成16)・第51巻・第1号
気の排出と発汗　その9　表の意義	伊藤康雄・山崎由佳里	(120)120	2004年(平成16)・第51巻・第1号
『療難百則』(尾台榕堂著)について(13)	横田観風	(128)128	2004年(平成16)・第51巻・第1号
多紀元簡編著『観聚方要補』の訓読・解説(7)	松下嘉一・鎌田慶市郎	(137)137	2004年(平成16)・第51巻・第1号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇)(1)	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(146)146	2004年(平成16)・第51巻・第1号
『先府君養庵先生行状』記－その1－	宮崎綾子	(151)151	2004年(平成16)・第51巻・第1号
矢数道明先生の追憶	于天星	(157)157	2004年(平成16)・第51巻・第1号
Letter to the Editor　仮想漢大青医連の伊藤敦之先生に対するコメント	星野惠津夫	(159)159	2004年(平成16)・第51巻・第1号
漢方界トピックス／鍼灸医学史研究会ほか		(162)162	2004年(平成16)・第51巻・第1号
2004年(平成16)・第51巻・第2号			2004年(平成16)・第51巻・第2号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(186)四世神戸源蔵製「九鍼」	宮川浩也・天野陽介	(2)178	2004年(平成16)・第51巻・第2号
証の論理を考える	岩崎勲	(9)185	2004年(平成16)・第51巻・第2号
漢方は短期間でQOLを改善する	木村豪雄・岡洋志・古田一史・三潴忠道	(28)204	2004年(平成16)・第51巻・第2号
スギ花粉症に対する漢方有効方剤の検討〔2002年度シーズン〕	盛克己・宮崎瑞明	(33)209	2004年(平成16)・第51巻・第2号
神秘湯が有効であったアレルギー性鼻炎の1例	古谷陽一・谷川聖明・立野豊・嶋田豊	(39)215	2004年(平成16)・第51巻・第2号
東亜漢方大学附属病院　2003年12月号出題に対する会員からの回答　出題者の解答・解説と講評　2004年2月号出題	山崎正寿	(45)221	2004年(平成16)・第51巻・第2号
瞑眩と思われる反応を呈した半夏白朮天麻湯の2例	前田修司	(55)231	2004年(平成16)・第51巻・第2号
柴胡加竜骨牡蠣湯去大黄合五苓散料加黄連黄耆釣藤鈎が有効であったと考えられる慢性腎炎の一寛解例	永井良樹	(59)235	2004年(平成16)・第51巻・第2号
東洋堂経験余話(145)	松本一男	(63)239	2004年(平成16)・第51巻・第2号
漢方牛歩録(209)急性反覆性の多発性関節炎・更年期のほてり	中村謙介	(66)242	2004年(平成16)・第51巻・第2号
女子医大雑話(124)虚弱の2症例	盛岡頼子・溝部宏毅・新井信	(70)246	2004年(平成16)・第51巻・第2号
北里東医研診療録から(7)附子理中湯の2症例	及川哲郎・伊藤剛・花輪壽彦	(74)250	2004年(平成16)・第51巻・第2号
唇風(糜爛性唇炎)の2症例	風間洋一	(77)253	2004年(平成16)・第51巻・第2号

気管支炎に帯状疱疹を合併した患者さんに補中益気湯エキスが有効であった1例	青木真一・角田司	(83)259	2004年(平成16)・第51巻・第2号
山田業広著『金匱要略集注』訓読(27)	千葉古方漢方研究会	(86)262	2004年(平成16)・第51巻・第2号
漢方歴史小説　藍より出でて～山脇東洋と永富独嘯庵～	黒川達郎	(93)269	2004年(平成16)・第51巻・第2号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(15)	真柳誠	(103)279	2004年(平成16)・第51巻・第2号
2004年(平成16)・第51巻・第3号			2004年(平成16)・第51巻・第3号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(187)大英図書館所蔵の敦煌医薬文書(2)	宮川浩也・真柳 誠	(2)302	2004年(平成16)・第51巻・第3号
矢数道明先生・北里東医研所長時代の処方傾向について	花輪壽彦	(9)309	2004年(平成16)・第51巻・第3号
師としての矢数道明先生	原桃介	(19)319	2004年(平成16)・第51巻・第3号
日本漢方の復興・現代の系譜	山田光胤	(26)326	2004年(平成16)・第51巻・第3号
併病と兼病	岩崎勲	(33)333	2004年(平成16)・第51巻・第3号
帰脾湯と人参養栄湯	伊藤康雄・山崎由佳里	(44)344	2004年(平成16)・第51巻・第3号
東西医学と代替医療の統合	伊藤嘉紀	(51)351	2004年(平成16)・第51巻・第3号
『傷寒論』における温病の考察	仲原靖夫	(62)362	2004年(平成16)・第51巻・第3号
東亜漢方大学附属病院　2004年1月号出題に対する会員からの回答　出題者の解答・講評　2004年3月号出題	中田敬吾	(71)371	2004年(平成16)・第51巻・第3号
北里東医研診療録から(8)治頭瘡一方の使用経験	櫻井正智・米田吉位・花輪壽彦	(84)384	2004年(平成16)・第51巻・第3号
女子医大雑話(125)月経に伴う体調不良の3例	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(88)388	2004年(平成16)・第51巻・第3号
二朮湯エキス加附子末が奏効した肩関節周囲炎の2症例	大関潤一	(91)391	2004年(平成16)・第51巻・第3号
東洋堂経験余話(146)座骨神経痛に芍薬甘草附子湯ほか	松本一男	(99)399	2004年(平成16)・第51巻・第3号
漢方牛歩録(210)寝違え・気管支喘息ほか	中村謙介	(102)402	2004年(平成16)・第51巻・第3号
漢方治療で虚しさを感じた1治験例	前田修司	(107)407	2004年(平成16)・第51巻・第3号
漢方と鍼	松下嘉一	(110)410	2004年(平成16)・第51巻・第3号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(16)	真柳誠	(112)412	2004年(平成16)・第51巻・第3号
渡邉武先生を悼む　弔辞	藤井長次	(119)419	2004年(平成16)・第51巻・第3号
2004年(平成16)・第51巻・第4号			2004年(平成16)・第51巻・第4号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(188)『鍼科便蒙』にみえる鍼立の施術風景	長野仁	(2)438	2004年(平成16)・第51巻・第4号
疾患別座談会　腎・泌尿器疾患と漢方	三潴忠道・張民浩　司会)室賀一宏	(9)445	2004年(平成16)・第51巻・第4号
小児のアデノウイルス性滲出性扁桃炎に排膿散及湯合小柴胡湯加石膏	阿部勝利	(27)463	2004年(平成16)・第51巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録	蓮村幸兌	(33)469	2004年(平成16)・第51巻・第4号
怪我の功名―桂枝越婢湯	田畑隆一郎	(34)470	2004年(平成16)・第51巻・第4号
弾発指(バネ指)に対する漢方薬の効果	森久保治道	(39)475	2004年(平成16)・第51巻・第4号
当帰四逆加呉茱萸生姜湯の治験	高木嘉子	(44)480	2004年(平成16)・第51巻・第4号
歯周病に奏効する漢方治療概念	西巻明彦	(47)483	2004年(平成16)・第51巻・第4号
女子医大雑話(126)最近経験した興味ある3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(53)489	2004年(平成16)・第51巻・第4号
東亜漢方大学附属病院　2004年2月号出題に対する会員からの回答　出題者の解答・講評　2004年4月号出題	山崎正寿	(59)495	2004年(平成16)・第51巻・第4号
北里東医研診療録から(9)慢性副鼻腔炎・慢性扁桃腺炎に千金内托散が有効であった3症例	大坪眞紀・高橋裕子・花輪壽彦	(68)504	2004年(平成16)・第51巻・第4号
漢方牛歩録(211)足蹠部腫瘤・爪白癬症ほか	中村謙介	(72)508	2004年(平成16)・第51巻・第4号
東洋堂経験余話(147)三叉神経痛に桂枝加朮附湯ほか	松本一男	(76)512	2004年(平成16)・第51巻・第4号
『医余』(尾台榕堂著)について(1)	横田観風	(79)515	2004年(平成16)・第51巻・第4号
『先府君養庵先生行状』記－その2－	宮崎綾子	(86)522	2004年(平成16)・第51巻・第4号
『金匱要略』食忌篇(第24・第25)の釈義へのアプローチ	杉山広重	(91)527	2004年(平成16)・第51巻・第4号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(17)	真柳誠	(105)541	2004年(平成16)・第51巻・第4号
漢方歴史小説　はじめは駄馬のごとく～原南陽晩成す～	黒川達郎	(111)547	2004年(平成16)・第51巻・第4号
2004年(平成16)・第51巻・第5号			2004年(平成16)・第51巻・第5号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(189)多紀元堅編の『名医彙論』	小曽戸洋	(2)574	2004年(平成16)・第51巻・第5号
白通湯・四逆湯証の一考察　自治験を礎に	福田佳弘	(9)581	2004年(平成16)・第51巻・第5号
遺稿(2)熱論　その一　白虎湯について	阿部勝利	(25)597	2004年(平成16)・第51巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(2)心腎不交について　黄連阿膠湯と清心蓮子飲	千田五月・田畑隆一郎・蓮村幸兌	(37)609	2004年(平成16)・第51巻・第5号
玉屏風散加味による難治性蕁麻疹の治療経験－玉屏風散の病態への一考察－	三浦於菟・李彦	(44)616	2004年(平成16)・第51巻・第5号
塩酸セベラマーの副作用に対して漢方治療が有効であった3例	室賀一宏	(53)625	2004年(平成16)・第51巻・第5号
女子医大雑話(127)最近の2症例	盛岡頼子・新井信・溝部宏毅	(56)628	2004年(平成16)・第51巻・第5号
北里東医研診療録から(10)「不定愁訴」や精神症状をみない症例に対する加味逍遙散の適応についての考察	八代忍・玄世峰・花輪壽彦	(59)631	2004年(平成16)・第51巻・第5号
漢方牛歩録(212)変形性膝関節症・多発性関節炎など	中村謙介	(62)634	2004年(平成16)・第51巻・第5号
東洋堂経験余話(148)胃弱と更年期障害に加味逍遙散料など	松本一男	(66)638	2004年(平成16)・第51巻・第5号

東亜漢方大学附属病院　2004年3月号出題に対する会員からの回答　出題者の解答・講評　2004年5月号出題	中田敬吾	(69)641	2004年（平成16）・第51巻・第5号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（39）	大塚賢治・渡辺洋井	(81)653	2004年（平成16）・第51巻・第5号
予期的医学としての自然治癒力医学	伊藤嘉紀	(89)661	2004年（平成16）・第51巻・第5号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（18）	真柳誠	(98)670	2004年（平成16）・第51巻・第5号
米国東洋医学便り①　エフェドラ（麻黄）禁止令をめぐって（1）	安西英雄	(102)674	2004年（平成16）・第51巻・第5号
漢方が医療に貢献できる場所に九州も東京も関係ない	前田修司	(108)680	2004年（平成16）・第51巻・第5号
阿部勝利先生を悼む	福田佳弘・高木嘉子	(112)684	2004年（平成16）・第51巻・第5号
図書紹介／中村謙介著『和漢薬方意辞典』によせて	岩崎勲	(114)686	2004年（平成16）・第51巻・第5号
インタビュー　学術総会の開催に当たって	石橋晃	(116)688	2004年（平成16）・第51巻・第5号
2004年(平成16)・第51巻・第6号			2004年（平成16）・第51巻・第6号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（190）陶弘景の筆跡と肖像	小曽戸洋	(2)714	2004年（平成16）・第51巻・第6号
巻頭言／本誌創刊時の理念を思う	安井廣迪	(9)721	2004年（平成16）・第51巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録（3）高齢者の不眠・せん妄に酸棗仁湯	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(10)722	2004年（平成16）・第51巻・第6号
＜第1回併病シンポジウムー臨床に欠かせない併病の知識ー＞開会の辞	鍋谷欣市　司会）寺澤捷年	(19)731	2004年（平成16）・第51巻・第6号
＜第1回併病シンポジウムー臨床に欠かせない併病の知識ー＞古典における併病	安井廣迪	(20)732	2004年（平成16）・第51巻・第6号
＜第1回併病シンポジウムー臨床に欠かせない併病の知識ー＞併病の概要藤平併病理論を礎として	福田佳弘	(24)736	2004年（平成16）・第51巻・第6号
＜第1回併病シンポジウムー臨床に欠かせない併病の知識ー＞慢性疾患における併病の治験	今田屋章	(36)748	2004年（平成16）・第51巻・第6号
＜第1回併病シンポジウムー臨床に欠かせない併病の知識ー＞急性疾患における併病の治験	高木嘉子	(41)753	2004年（平成16）・第51巻・第6号
遺稿（3）散薬（丸薬）の有効性について	阿部勝利	(45)757	2004年（平成16）・第51巻・第6号
橘皮大黄朴消湯と魚毒（蕁麻疹）	齋藤謙一	(50)762	2004年（平成16）・第51巻・第6号
四逆散による治験及び私見	槌家正則	(59)771	2004年（平成16）・第51巻・第6号
東洋堂経験余話（149）真性臭鼻症に加味八脈散料ほか	松本一男	(62)774	2004年（平成16）・第51巻・第6号
東亜漢方大学附属病院　2004年4月号出題に対する会員からの回答　出題者の解答・講評　2004年6月号出題	山崎正寿	(65)777	2004年（平成16）・第51巻・第6号
女子医大雑話（128）最近の症例より	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(76)788	2004年（平成16）・第51巻・第6号
北里東医研診療録から（11）烏薬順気散料と回首散料の使用経験	早崎知幸・頼建守・花輪壽彦	(79)791	2004年（平成16）・第51巻・第6号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（40）	大塚賢治・渡辺洋井	(83)795	2004年（平成16）・第51巻・第6号
『金匱要略』禽獣魚虫禁忌并治第二十四　平成新釈（1）	杉山広重	(94)806	2004年（平成16）・第51巻・第6号
『医余』（尾台榕堂著）について（2）	横田観風	(104)816	2004年（平成16）・第51巻・第6号
版本による『神農本草経』の比較	中村成代	(111)823	2004年（平成16）・第51巻・第6号
米国東洋医学便り②　エフェドラ（麻黄）禁止令をめぐって（2）	安西英雄	(118)830	2004年（平成16）・第51巻・第6号
漢方歴史小説　雲沸々と～華岡青洲の志～	黒川達郎	(123)835	2004年（平成16）・第51巻・第6号
阿部勝利先生を偲ぶ	中村成代	(132)844	2004年（平成16）・第51巻・第6号
2004年(平成16)・第51巻・第7号			2004年（平成16）・第51巻・第7号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（191）杉山和一検校・没後310年	大浦宏勝	(2)866	2004年（平成16）・第51巻・第7号
巻頭言／言葉の限界と有用性	谿忠人	(9)873	2004年（平成16）・第51巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録（4）豚と狐と富山の女	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(10)874	2004年（平成16）・第51巻・第7号
桂枝茯苓丸が奏効した男性の骨盤底症候群の2例	佐野克行	(16)880	2004年（平成16）・第51巻・第7号
女子医大雑話（129）いわゆる駆オ血剤が奏功した3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(19)883	2004年（平成16）・第51巻・第7号
第1回併病シンポジウムパネルディスカッション	安井廣迪・福田佳弘・今田屋章・高木嘉子・寺澤捷年	(25)889	2004年（平成16）・第51巻・第7号
北里東医研診療録から（12）脳梗塞に補陽還五湯を処方した2症例	五野由佳里・八代忍・櫻井正智・花輪壽彦	(40)904	2004年（平成16）・第51巻・第7号
遺稿（4）その2　承気湯類について	阿部勝利	(43)907	2004年（平成16）・第51巻・第7号
関節痛と咳を訴える症例ー水毒の病理の考察	仲原靖夫	(54)918	2004年（平成16）・第51巻・第7号
東洋堂経験余話（150）味覚障害・打撲	松本一男	(58)922	2004年（平成16）・第51巻・第7号
東亜漢方大学附属病院　2004年5月号出題に対する会員からの回答　出題者の解答・講評　2004年7月号出題	中田敬吾	(61)925	2004年（平成16）・第51巻・第7号
破故紙と骨の障害　その2　骨腫瘍	伊藤康雄・山崎由佳里	(74)938	2004年（平成16）・第51巻・第7号
漢方牛歩録（213）腸癒着症・慢性気管支喘息ほか	中村謙介	(80)944	2004年（平成16）・第51巻・第7号
意釈『審視瑤函』（傅仁宇著）（2）	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(84)948	2004年（平成16）・第51巻・第7号
白通湯と四逆湯	小髙修司・岡田研吉・牧角和宏	(89)953	2004年（平成16）・第51巻・第7号
『先府君養庵先生行状』記ーその3ー	宮崎綾子	(98)962	2004年（平成16）・第51巻・第7号
長寿の秘訣　肝の異常に苦しめられた文豪・夏目漱石	佐賀純一	(104)968	2004年（平成16）・第51巻・第7号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（19）	真柳誠	(109)973	2004年（平成16）・第51巻・第7号
米国東洋医学便り③　エフェドラ（麻黄）禁止令をめぐって（3）	安西英雄	(114)978	2004年（平成16）・第51巻・第7号

図書紹介／寺師睦宗著『漢方への情熱』	蓮村幸兌・小池加能	(120)984	2004年（平成16）・第51巻・第7号
第55回日本東洋医学会学術総会レポート	山田真知子・長沢伸子	(122)986	2004年（平成16）・第51巻・第7号
2004年(平成16)・第51巻・第8号			2004年（平成16）・第51巻・第8号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（192）杉山流の奥義書『杉山真伝流』	大浦宏勝	(2)1018	2004年（平成16）・第51巻・第8号
巻頭言／次世代に引き継ぐべきもの	長坂和彦	(9)1025	2004年（平成16）・第51巻・第8号
気管支喘息発作に対する大青竜湯の応用	関矢信康ほか	(10)1026	2004年（平成16）・第51巻・第8号
沢瀉湯の経験	黒瀬喜久雄	(15)1031	2004年（平成16）・第51巻・第8号
北里東医研診療録から（13）小建中湯の使用経験	高橋裕子ほか	(20)1036	2004年（平成16）・第51巻・第8号
副鼻腔・気管支症候群の病名治療　証・いずこにありや	関修一郎	(25)1041	2004年（平成16）・第51巻・第8号
東洋堂経験余話（151）	松本一男	(28)1044	2004年（平成16）・第51巻・第8号
最近経験した示唆に富む症例	宗像敬一・宗像久美子	(31)1047	2004年（平成16）・第51巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録（5）ヘルペス（帯状疱疹）の症例	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(36)1052	2004年（平成16）・第51巻・第8号
女子医大雑話（130）最近の2症例	盛岡頼子・溝部宏毅・新井信	(42)1058	2004年（平成16）・第51巻・第8号
乳癌術後リンパ浮腫の1例	新井文子・新井信	(46)1062	2004年（平成16）・第51巻・第8号
『漢方の臨床』通巻600号の記念に	中村謙介	(48)1064	2004年（平成16）・第51巻・第8号
遺稿・クローン病の漢方治療について	緒方玄芳	(53)1069	2004年（平成16）・第51巻・第8号
東亜漢方大学附属病院　2004年6月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2004年8月号出題	山崎正寿	(59)1075	2004年（平成16）・第51巻・第8号
WTTC加霊芝・梅寄生のアトピー性皮膚炎への効果	安原昭博ほか	(68)1084	2004年（平成16）・第51巻・第8号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（41）	大塚賢治・渡辺洋井	(73)1089	2004年（平成16）・第51巻・第8号
意釈『審視瑤函』（傅仁宇著）（3）	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(81)1097	2004年（平成16）・第51巻・第8号
山田業広『金匱要略集注』訓読（28）	千葉古方漢方研究会	(86)1102	2004年（平成16）・第51巻・第8号
刊本『薬徴』成立についての試論・石膏（上）	桜井謙介	(93)1109	2004年（平成16）・第51巻・第8号
『医余』（尾台榕堂著）について（3）	横田観風	(103)1119	2004年（平成16）・第51巻・第8号
長寿の秘訣　漢方の衰退は日本に何をもたらしたか	佐賀純一	(109)1125	2004年（平成16）・第51巻・第8号
米国東洋医学便り④	安西英雄	(116)1132	2004年（平成16）・第51巻・第8号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（20）	真柳誠	(123)1139	2004年（平成16）・第51巻・第8号
難波恒雄先生追悼	米田該典・伊藤敏雄	(130)1146	2004年（平成16）・第51巻・第8号
2004年(平成16)・第51巻・第9号			2004年（平成16）・第51巻・第9号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（193）岡田昌春と『水志』	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)1170	2004年（平成16）・第51巻・第9号
大塚敬節先生の口訣数々	山田光胤	(9)1177	2004年（平成16）・第51巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録（6）漢方エキス剤使用時における甘草の重複について	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(17)1185	2004年（平成16）・第51巻・第9号
東洋堂経験余話（152）歯痛に立効散料ほか	松本一男	(22)1190	2004年（平成16）・第51巻・第9号
遺稿（5）MRSAに起因する小児伝染性膿痂疹の漢方治療－この2年間の治療成績	阿部勝利	(25)1193	2004年（平成16）・第51巻・第9号
熱痺としての早期リウマチの認識と治療戦略	西森（佐藤）婦美子	(33)1201	2004年（平成16）・第51巻・第9号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈（42）	大塚賢治・渡辺洋井	(41)1209	2004年（平成16）・第51巻・第9号
北里東医研診療録から（14）啓脾湯が有効であった3症例	鈴木邦彦・村主明彦・花輪壽彦	(54)1222	2004年（平成16）・第51巻・第9号
漢方牛歩録（214）激しい肩凝りほか	中村謙介	(59)1227	2004年（平成16）・第51巻・第9号
乾癬闘病テン末記	小髙修司	(63)1231	2004年（平成16）・第51巻・第9号
女子医大雑話（131）最近の症例より	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(74)1242	2004年（平成16）・第51巻・第9号
漢方の恩恵	槌家正則	(77)1245	2004年（平成16）・第51巻・第9号
東亜漢方大学附属病院　2004年7月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2004年9月号出題	中田敬吾	(81)1249	2004年（平成16）・第51巻・第9号
最近のカルテの中から（25）下痢に茯苓四逆湯ほか	森由雄	(92)1260	2004年（平成16）・第51巻・第9号
刊本『薬徴』成立についての試論・石膏（下）	桜井謙介	(94)1262	2004年（平成16）・第51巻・第9号
意釈『審視瑤函』（傅仁宇著）（4）	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(103)1271	2004年（平成16）・第51巻・第9号
「東洋の地に立脚した個の医療の創生」について	寺澤捷年	(107)1275	2004年（平成16）・第51巻・第9号
米国東洋医学便り⑤　ニューヨークで聞く漢方概論	安西英雄	(110)1278	2004年（平成16）・第51巻・第9号
『金匱要略』禽獣魚虫禁忌并治第二十四　平成新釈（2）	杉山広重	(116)1284	2004年（平成16）・第51巻・第9号
秋の七草考	鈴木堯	(122)1290	2004年（平成16）・第51巻・第9号
長寿の秘訣　その3	佐賀純一	(131)1299	2004年（平成16）・第51巻・第9号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（21）	真柳誠	(137)1305	2004年（平成16）・第51巻・第9号
2004年(平成16)・第51巻・第10号			2004年（平成16）・第51巻・第10号
＜口絵＞目でみる漢方史料館（194）『八大家医伝』の稿本・刊本・版木	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)1330	2004年（平成16）・第51巻・第10号
巻頭言／保険審査偶感	菊谷豊彦	(9)1337	2004年（平成16）・第51巻・第10号
対談　21世紀の鍼灸を考える	馬場道敬・安井廣迪・土屋伊磋雄	(10)1338	2004年（平成16）・第51巻・第10号

熱論　その3　発汗と発熱理論への一考察　とくに桂枝湯について	阿部勝利	(18)1346	2004年(平成16)・第51巻・第10号
突発性難聴の高気圧酸素再圧治療時『証』の急変例	伊藤敦之	(30)1358	2004年(平成16)・第51巻・第10号
低温熱傷とそれに伴う自家感作性皮膚炎に伯州散を使用した治験例	堀野雅子	(43)1371	2004年(平成16)・第51巻・第10号
旅行中の漢方治療	高木嘉子	(46)1374	2004年(平成16)・第51巻・第10号
女子医大雑話(132)煎じ薬をエキス剤で代用した3症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(48)1376	2004年(平成16)・第51巻・第10号
東洋堂経験余話(153)不安神経症ほか	松本一男	(57)1385	2004年(平成16)・第51巻・第10号
漢方牛歩録(215)手指の末梢神経炎ほか	中村謙介	(60)1388	2004年(平成16)・第51巻・第10号
北里東医研診療録から(15)桂姜棗草黄辛附湯の処方目標についての考察	八代忍・高橋裕子・有島武志・花輪壽彦	(64)1392	2004年(平成16)・第51巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(7)親孝行－不眠	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(69)1397	2004年(平成16)・第51巻・第10号
東亜漢方大学附属病院　2004年8月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2004年10月号出題	山崎正寿	(74)1402	2004年(平成16)・第51巻・第10号
醒脳開竅法〔脳血管障害の治療法〕の鍼治療	植村秀彰・菅原之人	(83)1411	2004年(平成16)・第51巻・第10号
米国東洋医学便り⑥　米国における鍼灸(1)	安西英雄	(88)1416	2004年(平成16)・第51巻・第10号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(5)	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(93)1421	2004年(平成16)・第51巻・第10号
『金匱要略』禽獣魚虫禁忌并治第二十四　平成新釈(3)	杉山広重	(98)1426	2004年(平成16)・第51巻・第10号
長寿の秘訣　その4　子規の病と西洋医学の無力	佐賀純一	(105)1433	2004年(平成16)・第51巻・第10号
第14回漢方治療研究会レポート		(116)1444	2004年(平成16)・第51巻・第10号
2004年(平成16)・第51巻・第11号			2004年(平成16)・第51巻・第11号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(195)南宋版『諸病源候論』－最古の善本	小曽戸洋	(2)1474	2004年(平成16)・第51巻・第11号
座談会　国際東洋医学会　歴史的経緯と今後の役割(1)	山田光胤・石橋晃・津谷喜一郎司会)室賀昭三	(9)1481	2004年(平成16)・第51巻・第11号
激しい筋痙攣を訴える末期肝癌・肝硬変患者に対する和漢薬による緩和医療の経験	引網宏彰・長坂和彦	(19)1491	2004年(平成16)・第51巻・第11号
慢性ヘルペス感染症に対する生薬の効果	安原昭博・土方康世ほか	(25)1497	2004年(平成16)・第51巻・第11号
北里東医研診療録から(16)慢性疲労症候群と疑い症例の3症例	五野由佳理・高橋裕子・櫻井正智・花輪壽彦	(32)1504	2004年(平成16)・第51巻・第11号
コンピュータ情報処理による漢方の網羅的解析　－その手法および予測される結果－	中田英之・秋葉哲生	(37)1509	2004年(平成16)・第51巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(8)対応に苦慮するアトピー性皮膚炎・・・途中経過	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(49)1521	2004年(平成16)・第51巻・第11号
東洋堂経験余話(154)	松本一男	(56)1528	2004年(平成16)・第51巻・第11号
女子医大雑話(133)補剤の2症例	盛岡頼子・溝部宏毅・新井信	(59)1531	2004年(平成16)・第51巻・第11号
漢方牛歩録(216)足底部疣贅ほか	中村謙介	(62)1534	2004年(平成16)・第51巻・第11号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(6)	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(66)1538	2004年(平成16)・第51巻・第11号
東亜漢方大学附属病院　2004年9月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2004年11月号出題	中田敬吾	(71)1543	2004年(平成16)・第51巻・第11号
対談　21世紀の鍼灸を考える(2)	馬場道敬・安井廣迪・土屋伊磋雄	(87)1559	2004年(平成16)・第51巻・第11号
慢性関節リウマチの治療	松下嘉一	(94)1566	2004年(平成16)・第51巻・第11号
米国東洋医学便り⑦　米国における鍼灸(2)	安西英雄	(98)1570	2004年(平成16)・第51巻・第11号
漢方エキス剤は同じでも製品ごとに効果の差は？	前田修司	(104)1576	2004年(平成16)・第51巻・第11号
『医余』(尾台榕堂著)について(4)	横田観風	(111)1583	2004年(平成16)・第51巻・第11号
耳鼻咽喉科疾患治療の古典的考察(3)	鎌田慶市郎・松下嘉一ほか	(117)1589	2004年(平成16)・第51巻・第11号
長寿の秘訣　その5　子規を支えていた力は何か	佐賀純一	(125)1597	2004年(平成16)・第51巻・第11号
2004年(平成16)・第51巻・第12号			2004年(平成16)・第51巻・第12号
＜口絵＞目でみる漢方史料館(196)矢数道明先生顕彰碑竣工	小曽戸洋・真柳誠	(2)1626	2004年(平成16)・第51巻・第12号
巻頭言／東西医学の和諧	後藤哲也	(9)1633	2004年(平成16)・第51巻・第12号
続・温知堂経験録(1)SLE:利尿薬でコントロール不良の全身浮腫に対し補気健中湯が著効した1症例	矢数圭堂・矢数芳英・安井廣迪	(11)1635	2004年(平成16)・第51巻・第12号
北里東医研診療録から(17)神経性無食欲症に対する分心気飲の使用経験より	伊藤剛・及川哲郎・花輪壽彦	(19)1643	2004年(平成16)・第51巻・第12号
真武湯有効例の検討	宮崎瑞明・盛克己	(33)1657	2004年(平成16)・第51巻・第12号
最近のカルテの中から(26)	森由雄	(44)1668	2004年(平成16)・第51巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(9)頻尿の2症例	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(47)1671	2004年(平成16)・第51巻・第12号
東洋堂経験余話(155)	松本一男	(53)1677	2004年(平成16)・第51巻・第12号
「物忘れ」に紅参、羚羊角、沈香、遠志、サフラン製剤が有効	雪村八一郎	(57)1681	2004年(平成16)・第51巻・第12号
女子医大雑話(134)最近の症例より	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(65)1689	2004年(平成16)・第51巻・第12号
漢方牛歩録(217)陥入爪術後・外傷性膝関節炎	中村謙介	(68)1692	2004年(平成16)・第51巻・第12号
東亜漢方大学附属病院　2004年10月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2004年12月号出題	山崎正寿	(70)1694	2004年(平成16)・第51巻・第12号
手足の異常発汗	槌家正則	(80)1704	2004年(平成16)・第51巻・第12号

対談　21世紀の鍼灸を考える(3)	馬場道敬・安井廣迪	(83)1707	2004年(平成16)・第51巻・第12号
肩の打撲から「五十肩」を引き起こした1症例	丸山衛士	(89)1713	2004年(平成16)・第51巻・第12号
米国東洋医学便り⑧　米国における鍼灸(3)	安西英雄	(92)1716	2004年(平成16)・第51巻・第12号
座談会:国際東洋医学会　歴史的経緯と今後の役割(2)	山田光胤・石橋晃・津谷喜一郎司会)室賀昭三	(98)1722	2004年(平成16)・第51巻・第12号
意釈『審視瑤函』(傅仁宇著)(7)	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(105)1729	2004年(平成16)・第51巻・第12号
漢方界トピックス		(109)1733	2004年(平成16)・第51巻・第12号
韓国韓医学通信	金成俊	(111)1735	2004年(平成16)・第51巻・第12号
第24回漢方学術大会レポート	山田真知子	(112)1736	2004年(平成16)・第51巻・第12号
長寿の秘訣　その6　理想の看護・子規の贅沢な欲求	佐賀純一	(115)1739	2004年(平成16)・第51巻・第12号
『先府君養庵先生行状』記－その4－(終)	宮崎綾子	(120)1744	2004年(平成16)・第51巻・第12号
2005年(平成17)・第52巻・第1号			2005年(平成17)・第52巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(197)　神農画像賛二題—矢数道明・徳川綱吉	小曽戸洋	(2)2	2005年(平成17)・第52巻・第1号
平成17年(2005年)新年のことば〔162名〕		(9)9	2005年(平成17)・第52巻・第1号
東亜漢方大学附属病院　2004年11月出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2005年1月号出題	中田敬吾	(108)108	2005年(平成17)・第52巻・第1号
苓姜朮甘湯が有効であった陰嚢水腫の1例	垣迫真一	(116)116	2005年(平成17)・第52巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(10)目は心の使者	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(119)119	2005年(平成17)・第52巻・第1号
女子医大雑話(135)最近経験した興味ある2症例	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(124)124	2005年(平成17)・第52巻・第1号
北里東医研診療録から(18)十六味流気飲の使用経験	関口敦子・米田吉位・櫻井正智・花輪壽彦	(128)128	2005年(平成17)・第52巻・第1号
実践漢方治療における陰陽	川村力	(134)134	2005年(平成17)・第52巻・第1号
山田業広著『金匱要略集注』訓読(29)	千葉古方漢方研究会	(141)141	2005年(平成17)・第52巻・第1号
対談:21世紀の鍼灸を考える(4)	馬場道敬・安井廣迪	(149)149	2005年(平成17)・第52巻・第1号
燔鍼によるイボの治療	柿田秀明・知道凛	(156)156	2005年(平成17)・第52巻・第1号
穴(ツボ)とひびきの概念	柳谷素霊	(162)162	2005年(平成17)・第52巻・第1号
春の七草考	鈴木堯	(164)164	2005年(平成17)・第52巻・第1号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(22)	真柳誠	(177)177	2005年(平成17)・第52巻・第1号
「医者は教養がない」と言われるのは何故か	佐賀純一	(183)183	2005年(平成17)・第52巻・第1号
韓国韓医学通信(第2報)	金成俊	(187)187	2005年(平成17)・第52巻・第1号
2005年(平成17)・第52巻・第2号			2005年(平成17)・第52巻・第2号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(198)　南宋版『和剤局方』—現存する唯一の五巻本	小曽戸洋	(2)202	2005年(平成17)・第52巻・第2号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識(1)	土佐寛順・三上正利・小林美朝子・岡崎仁子・加世田義之・安井廣迪	(9)209	2005年(平成17)・第52巻・第2号
胃部熱感に対する黄連湯の使用	岩崎勲	(21)221	2005年(平成17)・第52巻・第2号
大黄シャ虫丸の奏功した3例	森久保治道	(26)226	2005年(平成17)・第52巻・第2号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(1)葛根湯〔その1〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(29)229	2005年(平成17)・第52巻・第2号
北里東医研診療録から(19)　桂枝甘草竜骨牡蠣湯が有効であった3症例	有島武志・八代忍・米田吉位・花輪壽彦	(43)243	2005年(平成17)・第52巻・第2号
女子医大雑話(136)　「風邪を引きやすい」人の漢方治療	盛岡頼子・溝部宏毅・新井信	(49)249	2005年(平成17)・第52巻・第2号
漢方牛歩録(218)　足蹠部皮下腫瘤ほか	中村謙介	(53)253	2005年(平成17)・第52巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(11)	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(57)257	2005年(平成17)・第52巻・第2号
東洋堂経験余話(156)	松本一男	(63)263	2005年(平成17)・第52巻・第2号
ホメオパシーと甘麦大棗湯	伊藤康雄・山崎由佳里	(66)266	2005年(平成17)・第52巻・第2号
東亜漢方大学附属病院　2004年12月出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2005年2月号出題	山崎正寿	(71)271	2005年(平成17)・第52巻・第2号
針灸治療ケースレポート　動悸・口渇・疲労感	赤尾清剛	(82)282	2005年(平成17)・第52巻・第2号
積聚治療による適応障害(気滞)の施術報告	西岡敏子	(85)285	2005年(平成17)・第52巻・第2号
対談:21世紀の鍼灸を考える(5)	馬場道敬・安井廣迪	(89)289	2005年(平成17)・第52巻・第2号
意釈『審視瑤函』(傅仁宇著)(8)	孫基然・黒木悟・安井廣迪	(92)292	2005年(平成17)・第52巻・第2号
白薇攷	小髙修司・岡田研吉	(95)295	2005年(平成17)・第52巻・第2号
『医余』(尾台榕堂著)について(5)	横田観風	(105)305	2005年(平成17)・第52巻・第2号
『金匱要略』禽獣魚虫禁忌并治第二十四新釈(4)	杉山広重	(112)312	2005年(平成17)・第52巻・第2号
風化する漢方仙人像(第1回)	佐賀純一	(119)319	2005年(平成17)・第52巻・第2号
米国東洋医学便り(9)　東洋医学に関連した学会の動き	安西英雄	(126)326	2005年(平成17)・第52巻・第2号
韓国韓医学通信(第3報)	金成俊	(134)334	2005年(平成17)・第52巻・第2号
Letter to the Editor	伊藤敦之・桜井謙介	(138)338	2005年(平成17)・第52巻・第2号

2005年(平成17)・第52巻・第3号			2005年（平成17）・第52巻・第3号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（199） 『歴代名医図姓氏』氏の皇甫謐・葛洪・孫思邈像	小曽戸洋	(2)354	2005年（平成17）・第52巻・第3号
移精変気について	松田邦夫	(9)361	2005年（平成17）・第52巻・第3号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識 〔第1回〕（続）	土佐寛順・三上正利・小林美朝子・岡崎仁子・加世田義之・安井廣迪	(25)377	2005年（平成17）・第52巻・第3号
当院において黄芩により発熱したと思われる症状	寺師碩甫	(35)387	2005年（平成17）・第52巻・第3号
黄芩によると思われる「好ましからざる反応」	小池加能・岡本辰夫	(43)395	2005年（平成17）・第52巻・第3号
桂姜棗草黄辛附湯去附子、修治附子末、托裏消毒散などの投与により左示指裂創術後の激痛としびれが消失した1例	大関潤一	(53)405	2005年（平成17）・第52巻・第3号
続・温知堂経験録（2） 難治性の胸痛に柴陷湯が奏効した1症例	矢数圭堂・矢数芳英・安井廣迪	(61)413	2005年（平成17）・第52巻・第3号
最近のカルテの中から（27）	森由雄	(66)418	2005年（平成17）・第52巻・第3号
北里東医研診療録から（20） 竜胆瀉肝湯の使用経験	頼建守・早崎知幸・花輪壽彦	(69)421	2005年（平成17）・第52巻・第3号
東洋堂経験余話（157）	松本一男	(79)431	2005年（平成17）・第52巻・第3号
漢方牛歩録（219） 慢性気管支炎ほか	中村謙介	(82)434	2005年（平成17）・第52巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録（12） 花粉症は食べ方を変えなければ治らない	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(86)438	2005年（平成17）・第52巻・第3号
悪性リンパ腫に対する良導絡治療	板井節子	(92)444	2005年（平成17）・第52巻・第3号
花粉症に対する鍼灸治療一考	柿田秀明・知道凜	(93)445	2005年（平成17）・第52巻・第3号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識 （1）葛根湯〔その2〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(101)453	2005年（平成17）・第52巻・第3号
東亜漢方大学附属病院　2005年1月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2005年3月号出題	中田敬吾	(113)465	2005年（平成17）・第52巻・第3号
米国東洋医学便り（10） 大学や病院における補完代替医療	安西英雄	(129)481	2005年（平成17）・第52巻・第3号
韓国韓医学通信（第4報）	金成俊	(135)487	2005年（平成17）・第52巻・第3号
楊貴妃と荔枝	木下勤	(136)488	2005年（平成17）・第52巻・第3号
風化する漢方仙人像（第2回）	佐賀純一	(139)491	2005年（平成17）・第52巻・第3号
2005年(平成17)・第52巻・第4号			2005年（平成17）・第52巻・第4号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（200） 『医宗金鑑』ー清の官撰医学叢書	小曽戸洋	(2)514	2005年（平成17）・第52巻・第4号
巻頭言　日本東洋医学会学術総会富山開催にあたって	寺澤捷年	(9)521	2005年（平成17）・第52巻・第4号
対談　呼吸器漢方の気になるところ	岩崎鋼・伊藤隆	(11)523	2005年（平成17）・第52巻・第4号
随証治療とその周辺	岩崎勲	(21)533	2005年（平成17）・第52巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(13) 母は強し、子供は火の玉	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(34)546	2005年（平成17）・第52巻・第4号
北里東医研診療録から(21) 蕁麻疹の5症例	高橋裕子・五野由佳里・花輪壽彦	(40)552	2005年（平成17）・第52巻・第4号
西洋薬の副作用として生じた眼瞼浮腫に苓桂朮甘湯	前田修司	(46)558	2005年（平成17）・第52巻・第4号
女子医大雑話(137)〈最終回〉 女子医大雑話12年を振り返って	新井信・盛岡頼子・溝部宏毅	(51)563	2005年（平成17）・第52巻・第4号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識 〔第2回〕	土佐寛順・三上正利・小林美朝子・岡崎仁子・加世田義之・安井廣迪	(57)569	2005年（平成17）・第52巻・第4号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(43)	大塚賢治・渡辺洋井	(65)577	2005年（平成17）・第52巻・第4号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識 （1）葛根湯〔その3〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(75)587	2005年（平成17）・第52巻・第4号
東亜漢方大学附属病院　2005年2月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2005年4月号出題	山崎正寿	(86)598	2005年（平成17）・第52巻・第4号
樸ソウと土骨皮の来歴	小林文子・金成俊・緒方千秋・山田陽城・花輪壽彦	(101)613	2005年（平成17）・第52巻・第4号
ビールス性心筋炎の治験例	板井　節子	(115)627	2005年（平成17）・第52巻・第4号
石原保秀・東亜医学協会旧蔵古医書（旧漢研本）の概要	小曽戸洋・天野陽介・野澤隆幸・小林健二	(118)630	2005年（平成17）・第52巻・第4号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(23)	真柳誠	(129)641	2005年（平成17）・第52巻・第4号
風化する漢方仙人像（第3回）	佐賀純一	(137)649	2005年（平成17）・第52巻・第4号
米国東洋医学便り（11） 米国における漢方の話題	安西英雄	(145)657	2005年（平成17）・第52巻・第4号
韓国韓医学通信（第5報）	金成俊	(150)662	2005年（平成17）・第52巻・第4号
2005年(平成17)・第52巻・第5号			2005年（平成17）・第52巻・第5号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（201） 『備急総効方』	小曽戸洋	(2)682	2005年（平成17）・第52巻・第5号
漢方治療と重症筋無力症	松本克彦	(9)689	2005年（平成17）・第52巻・第5号
皮痹疽（全身性強皮症SSc）の一例	風間洋一	(21)701	2005年（平成17）・第52巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録（14） アトピー性皮膚炎の症例	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(28)708	2005年（平成17）・第52巻・第5号
COPD（慢性閉塞性肺疾患）における括呂枳実湯による一治験例	堀野雅子	(35)715	2005年（平成17）・第52巻・第5号
再発を繰り返した腎盂腫瘍由来膀胱腫瘍に対する漢方処方　ー10年間安定している症例ー	土方康世	(39)719	2005年（平成17）・第52巻・第5号

漢方牛歩録(220)　単純疱疹・顔面の知覚異常ほか	中村謙介	(44)724	2005年(平成17)・第52巻・第5号
東洋堂経験余話(158)　気管支拡張症に柴陷湯ほか	松本一男	(48)728	2005年(平成17)・第52巻・第5号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(1)葛根湯〔その4〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(51)731	2005年(平成17)・第52巻・第5号
破故紙と骨の障害　その3　老犬のリウマチ	伊藤康雄・山崎由佳里	(60)740	2005年(平成17)・第52巻・第5号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(44)	大塚賢治・渡辺洋井	(66)746	2005年(平成17)・第52巻・第5号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識　〔第3回〕	土佐寛順・三上正利・小林美朝子・岡崎仁子・加世田義之・安井廣迪	(71)751	2005年(平成17)・第52巻・第5号
東亜漢方大学附属病院　2005年3月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2005年5月号出題	中田敬吾	(85)765	2005年(平成17)・第52巻・第5号
八味丸と六味丸の方意を歴史的に考える(上)	小髙修司・岡田研吉	(97)777	2005年(平成17)・第52巻・第5号
『金匱要略』雑療方第二十三　平成新釈(1)	杉山広重	(105)785	2005年(平成17)・第52巻・第5号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(24)	真柳誠	(111)791	2005年(平成17)・第52巻・第5号
『医余』(尾台榕堂著)について(6)	横田観風	(117)797	2005年(平成17)・第52巻・第5号
長寿の秘訣　その7　貝原益軒の養生訓と平重盛の死生観	佐賀純一	(123)803	2005年(平成17)・第52巻・第5号
楊貴妃の逸話について	木下勤	(130)810	2005年(平成17)・第52巻・第5号
韓国韓医学通信(第6報)	金成俊	(134)814	2005年(平成17)・第52巻・第5号
2005年(平成17)・第52巻・第6号			2005年(平成17)・第52巻・第6号
〔口絵〕　目でみる漢方史料館(202)　「宋版傷寒論」ー和刻最善の堀川本(その1)	小曽戸洋	(2)834	2005年(平成17)・第52巻・第6号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(1)	渡辺賢治・秋葉哲生・西村甲ほか	(9)841	2005年(平成17)・第52巻・第6号
続・温知堂経験録(3)　味覚障害に半夏瀉心湯加茯苓が奏効した1症例	矢数圭堂・矢数芳英・安井廣迪	(22)854	2005年(平成17)・第52巻・第6号
漢方薬単独でコントロールできた高血圧症例の検討	盛克己・宮崎瑞明	(29)861	2005年(平成17)・第52巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(15)　頭痛その後…頭痛報告第2報(1)	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(37)869	2005年(平成17)・第52巻・第6号
北里東医研診療録から(22)　洗肝明目湯が有効だった原田病の1例	村主明彦・鈴木邦彦・伊藤剛・花輪壽彦	(48)880	2005年(平成17)・第52巻・第6号
芍薬甘草湯によって出血傾向をきたした1例	穴吹弘毅	(55)887	2005年(平成17)・第52巻・第6号
潰瘍性大腸炎の種々	関修一郎	(57)889	2005年(平成17)・第52巻・第6号
漢方牛歩録(221)　色素性絨毛結節性滑膜に伴う膝窩動脈閉塞	中村謙介	(63)895	2005年(平成17)・第52巻・第6号
東洋堂経験余話(159)	松本一男	(68)900	2005年(平成17)・第52巻・第6号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(2)葛根湯加川芎辛夷	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(71)903	2005年(平成17)・第52巻・第6号
葛根湯加川芎辛夷2例	鎌田慶市郎	(82)914	2005年(平成17)・第52巻・第6号
東亜漢方大学附属病院　2005年4月号出題に対する会員の回答　出題者の解答・講評　2005年6月号出題	山崎正寿	(85)917	2005年(平成17)・第52巻・第6号
八味丸と六味丸の方意を歴史的に考える(下)	小髙修司・岡田研吉	(101)933	2005年(平成17)・第52巻・第6号
『金匱要略』雑療方第二十三　平成新釈(2)	杉山広重	(112)944	2005年(平成17)・第52巻・第6号
『医余』(尾台榕堂著)について(7)	横田観風	(117)949	2005年(平成17)・第52巻・第6号
長寿の秘訣　その8　平清盛の「あつ死」とは何か	佐賀純一	(125)957	2005年(平成17)・第52巻・第6号
第26回日本東洋医学会学術総会レポート	山田真知子ほか	(133)965	2005年(平成17)・第52巻・第6号
韓国韓医学通信(第7報)	金成俊	(145)977	2005年(平成17)・第52巻・第6号
2005年(平成17)・第52巻・第7号			2005年(平成17)・第52巻・第7号
〔口絵〕　目でみる漢方史料館(203)　「宋版傷寒論」(その2)　堀川本の序跋	小曽戸洋	(2)994	2005年(平成17)・第52巻・第7号
桂枝麻黄各半湯の条件—内藤希哲と喜多村直寛の解注	寺師睦宗	(9)1001	2005年(平成17)・第52巻・第7号
慢性腎不全における黄耆の血清クレアチニン低下作用	灰本元	(13)1005	2005年(平成17)・第52巻・第7号
漢方治療が奏効した尋常性乾癬の10症例	桜井みち代	(23)1015	2005年(平成17)・第52巻・第7号
酸棗仁湯が奏効した難治性不眠を伴う更年期障害の臨床背景と病態に関する東洋医学的検討	清水正彦・原敬二郎ほか	(32)1024	2005年(平成17)・第52巻・第7号
梔子豉湯が有効であった噫気の一例	室賀一宏・荒川泰行	(36)1028	2005年(平成17)・第52巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(16)　頭痛その後…頭痛報告第2報(2)	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(39)1031	2005年(平成17)・第52巻・第7号
北里東医研診療録から(23)　補気健中湯の使用経験	関口敦子・櫻井正智・花輪壽彦	(49)1041	2005年(平成17)・第52巻・第7号
漢方牛歩録(222)　苓桂朮甘湯による浮腫ほか	中村謙介	(55)1047	2005年(平成17)・第52巻・第7号
東洋堂経験余話(160)　アレルギー性鼻炎に小青竜湯ほか	松本一男	(59)1051	2005年(平成17)・第52巻・第7号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(2)	渡辺賢治・秋葉哲生・西村甲ほか	(63)1055	2005年(平成17)・第52巻・第7号
東亜漢方大学附属病院　2005年5月号出題回答　出題者の解答・講評　2005年7月号出題	中田敬吾・三谷和男	(71)1063	2005年(平成17)・第52巻・第7号
「婦道」と「コウ痰丸」—村井琴山校定『薬徴』・石膏をめぐる二つのキーワード	桜井謙介	(86)1078	2005年(平成17)・第52巻・第7号
桂枝加葛根湯と葛根湯を取り巻く謎の推理	齋藤謙一	(99)1091	2005年(平成17)・第52巻・第7号

臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(3)乙字湯	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(109)1101	2005年(平成17)・第52巻・第7号
『傷寒雑病論』における生薬一味が入れ違う四薬方について	程炳鈞	(122)1114	2005年(平成17)・第52巻・第7号
図書紹介　杉山真伝流流儀書「中之巻」について	杉山広重	(126)1118	2005年(平成17)・第52巻・第7号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(25)	真柳誠	(129)1121	2005年(平成17)・第52巻・第7号
台湾伝統医学の眺望(1)	宮崎瑞明・盛克己	(137)1129	2005年(平成17)・第52巻・第7号
韓国韓医学通信(第8報)	金成俊	(139)1131	2005年(平成17)・第52巻・第7号
2005年(平成17)・第52巻・第8号			2005年(平成17)・第52巻・第8号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(204)「宋版傷寒論」(その3)　和刻の諸版本	小曽戸洋	(2)1150	2005年(平成17)・第52巻・第8号
＜ワークショップ＞　漢方調剤に必要な臨床的知識〔第4回－1〕	秋葉哲生・柳堀厚・鈴木重紀・岸本雅邦・笹原將生・野嶋　剛・並木隆雄	(9)1157	2005年(平成17)・第52巻・第8号
気虚証の盗汗症例とその病態	三浦於菟	(22)1170	2005年(平成17)・第52巻・第8号
先天性心奇形の術後反回神経麻痺に漢方治療が奏効した1例	田原英一・新谷卓弘・月岡康行・曽和智子ほか	(30)1178	2005年(平成17)・第52巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(17)　めまい－棗っ子－	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(34)1182	2005年(平成17)・第52巻・第8号
東洋堂経験余話(161)	松本一男	(41)1189	2005年(平成17)・第52巻・第8号
漢方牛歩録(223)　小児のベーカー嚢腫ほか	中村謙介	(45)1193	2005年(平成17)・第52巻・第8号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(3)	渡辺賢治・秋葉哲生・前嶋啓孝ほか	(49)1197	2005年(平成17)・第52巻・第8号
東亜漢方大学附属病院　2005年6月号出題回答・講評　2005年8月号出題	山崎正寿・三潴忠道	(55)1203	2005年(平成17)・第52巻・第8号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(4)安中散	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(67)1215	2005年(平成17)・第52巻・第8号
破故紙と骨の障害　その4　坐骨神経痛と老人性認知症(痴呆症)	伊藤康雄・山崎由佳里	(82)1230	2005年(平成17)・第52巻・第8号
大塚敬節による『類聚方広義』の解釈(45)	大塚賢治・渡辺洋井	(89)1237	2005年(平成17)・第52巻・第8号
医療現場における漢方薬の位置付け	熊谷知子・室賀一宏	(96)1244	2005年(平成17)・第52巻・第8号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(9)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(105)1253	2005年(平成17)・第52巻・第8号
『金匱要略』雑療方第二十三　平成新釈(3)	杉山広重	(110)1258	2005年(平成17)・第52巻・第8号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(26)	真柳誠	(115)1263	2005年(平成17)・第52巻・第8号
『医余』(尾台榕堂著)について(8)	横田観風	(121)1269	2005年(平成17)・第52巻・第8号
台湾伝統医学の眺望(2)	宮崎瑞明・盛克己	(125)1273	2005年(平成17)・第52巻・第8号
韓国韓医学通信(第9報)	金成俊	(127)1275	2005年(平成17)・第52巻・第8号
2005年(平成17)・第52巻・第9号			2005年(平成17)・第52巻・第9号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(205)「宋版傷寒論」(その4)　中国編	小曽戸洋	(2)1294	2005年(平成17)・第52巻・第9号
巻頭言　第15回漢方治療研究会京都開催にあたって	中田敬吾	(9)1301	2005年(平成17)・第52巻・第9号
アメリカ鍼灸随想(1)	市橋宏樹	(10)1302	2005年(平成17)・第52巻・第9号
臍疝痛を主訴とする起立性調節障害に対する安中散の応用	関矢信康・地野充時・大野賢二・寺澤捷年	(21)1313	2005年(平成17)・第52巻・第9号
北里東医研診療録から(24)	五野由佳理・有島武志・花輪壽彦	(26)1318	2005年(平成17)・第52巻・第9号
星状神経節ブロック(SGB)と漢方薬の併用で現在良好な経過を辿っているブドウ膜の一例	大関潤一	(31)1323	2005年(平成17)・第52巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(18)	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(37)1329	2005年(平成17)・第52巻・第9号
生薬組み合せの妙－二味の薬徴と考察と応用－	田畑隆一郎	(41)1333	2005年(平成17)・第52巻・第9号
東洋堂経験余話(162)	松本一男	(51)1343	2005年(平成17)・第52巻・第9号
漢方牛歩録(224)　側頚部知覚異常ほか	中村謙介	(54)1346	2005年(平成17)・第52巻・第9号
＜ワークショップ＞　漢方調剤に必要な臨床的知識〔第4回－2〕	秋葉哲生・柳堀厚・鈴木重紀・岸本雅邦・笹原將生・野嶋剛・並木隆雄	(59)1351	2005年(平成17)・第52巻・第9号
大塚敬節による『類聚方広義』の解釈(46)	大塚賢治・渡辺洋井	(67)1359	2005年(平成17)・第52巻・第9号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(4)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子ほか	(77)1369	2005年(平成17)・第52巻・第9号
東亜漢方大学附属病院　2005年7月号出題回答・講評　2005年9月号出題	三谷和男・中田敬吾	(85)1377	2005年(平成17)・第52巻・第9号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(5)十味敗毒湯	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(99)1391	2005年(平成17)・第52巻・第9号
意釈『審視瑶函』(10)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(117)1409	2005年(平成17)・第52巻・第9号
米国東洋医学便り(12)　エフェドラ・その後	安西英雄	(123)1415	2005年(平成17)・第52巻・第9号
台湾伝統医学の眺望(3)	宮崎瑞明・盛克己	(128)1420	2005年(平成17)・第52巻・第9号
韓国韓医学通信(第10報)	金成俊	(132)1424	2005年(平成17)・第52巻・第9号
中国内蒙古に蒙医を訪ねる	伊藤敏雄	(133)1425	2005年(平成17)・第52巻・第9号
2005年(平成17)・第52巻・第10号　【矢数道明先生生誕百年記念号Ⅰ】＜＊印は記念原稿＞			2005年(平成17)・第52巻・第10号

〔口絵〕 目でみる漢方史料館(206) 畏るべし若き漢方家の気慨—矢数道明書簡		(1)1449	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊のんだ漢薬八十年	山田光胤	(12)1460	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊「五臓六腑皆人をして咳せしむ、独り肺のみに非ず」	中田敬吾	(21)1469	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊【印象に残った症例】「方証一致」による「随証治療」で当初治療効果があったが、その後癌と判明した一症例	宮崎瑞明・盛克己	(25)1473	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊柿蒂湯が無効で橘皮竹湯が奏効した吃逆症の一例	木下恒雄	(29)1477	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊尊敬する矢数道明先生を追慕しながら	裵元植	(32)1480	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊歴史的に辿った矢数四郎(道明)先生の業績	松本克彦	(33)1481	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊目でみる漢方史料館(206) 畏るべし若き漢方家の気慨—矢数道明書簡解説	小曽戸　洋	(36)1484	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊老漢方専門医からのメッセージ	桑木崇秀	(41)1489	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊矢数道明先生と私	高島文一	(43)1491	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊伝統医術に関する諸問題	池田政一	(45)1493	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊弟君有道先生へのご回向	伊藤敏雄	(51)1499	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊矢数道明先生を憶う	吉元昭治	(54)1502	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊道明先生と義父のこと	中村謙介	(56)1504	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊矢数道明先生と私	王瑞雲	(58)1506	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊私の中の矢数道明先生	後藤哲也	(60)1508	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊大先生の温かいお人柄に魅せられて	平木文子	(61)1509	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊矢数道明先生との出会い—併病研究の萌芽へ—	宗像敬一	(63)1511	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊矢数道明先生と私～5分間の思い出～	神靖衛	(66)1514	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊桂枝湯条文攷(1)—酒客(喘家、嘔家)条文を考える	小髙修司	(67)1515	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊尾台榕堂著『閑窓筆録』に散見する漢方医の交友の一例	横田観風	(72)1520	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊トリカブト根勝山附子をめぐって	金子力	(77)1525	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊難症の瘡瘍病私見(1)	西脇平士	(83)1531	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊わがライフワーク書	小野正弘	(93)1541	2005年(平成17)・第52巻・第10号
＊草分け漢方研究会の顚末記	中井康雄	(101)1549	2005年(平成17)・第52巻・第10号
続・女子医大雑話Ⅰ(138) 柴胡加竜骨牡蛎湯の3症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(108)1556	2005年(平成17)・第52巻・第10号
北里東医研診療録から(25) シェーグレン症候群の3症例	及川哲郎・早崎知幸・頼建守・花輪壽彦	(114)1562	2005年(平成17)・第52巻・第10号
アトピー性皮膚炎(重症成人型)の漢方治療	桜井みち代・本間行彦・輿澤宏一・大塚吉則・八重樫稔	(119)1567	2005年(平成17)・第52巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(19) 茯苓四逆湯加芍薬(茯四芍甘)の三例	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(126)1574	2005年(平成17)・第52巻・第10号
帯状疱疹痛に対する生薬の効果:予備的臨床試験	土方康世・佐渡裕子・安原昭博・仙頭正四郎	(132)1580	2005年(平成17)・第52巻・第10号
抑肝散合桂枝茯苓丸で偶然体重が減少した一例	前田修司	(141)1589	2005年(平成17)・第52巻・第10号
ホメオパシーと半夏厚朴湯	伊藤康雄・山崎由佳里	(146)1594	2005年(平成17)・第52巻・第10号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(47)	大塚賢司・渡辺洋井	(153)1601	2005年(平成17)・第52巻・第10号
東亜漢方大学附属病院　2005年8月号出題回答・講評　2005年10月号出題	三潴忠道・山崎正寿	(165)1613	2005年(平成17)・第52巻・第10号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(6)八味地黄丸〔その1〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(175)1623	2005年(平成17)・第52巻・第10号
『金匱要略』雑療方第二十三　平成新釈(4)	杉山広重	(192)1640	2005年(平成17)・第52巻・第10号
山田業広著『金匱要略集注』訓読(30)	千葉古方漢方研究会	(197)1645	2005年(平成17)・第52巻・第10号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(11)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(204)1652	2005年(平成17)・第52巻・第10号
アメリカ鍼灸随想(2)	市橋宏樹	(209)1657	2005年(平成17)・第52巻・第10号
韓国韓医学通信(第11報)	金成俊	(215)1663	2005年(平成17)・第52巻・第10号
小川新先生を偲んで	仲原靖夫	(217)1665	2005年(平成17)・第52巻・第10号
小川新先生を偲んで	池田政一	(223)1671	2005年(平成17)・第52巻・第10号
第15回漢方治療研究会京都大会レポート	長沢伸子	(226)1674	2005年(平成17)・第52巻・第10号
2005年(平成17)・第52巻・第11号 【矢数道明先生生誕百年記念号Ⅱ】＜＊印は記念原稿＞			2005年(平成17)・第52巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(207) 曲直瀬養安家の人々(1)	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)1702	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊矢数道明先生と私	寺澤捷年	(11)1711	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊胃腸疾患の漢方治療	中川良隆	(13)1713	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊苓桂朮甘湯の運用(1)	松本一男	(37)1737	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊五苓散証をめぐって	伊藤嘉紀	(49)1749	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊桂姜棗草黄辛附湯加味方で血糖コントロールが改善した糖尿病の1例	新井信	(53)1753	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊『漢方の臨床』に触発された症例	足立秀樹	(58)1758	2005年(平成17)・第52巻・第11号
＊気の病症「気滞」について —大柴胡湯去大黄加味方で改善された三症例の検討と考察—	柏木佑記慧	(62)1762	2005年(平成17)・第52巻・第11号

＊漢方医学の将来	菊谷豊彦	(71)1771	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊曲直瀬道三と蘭奢待	佐賀純一	(75)1775	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊清上蠲痛湯と頭痛	村松慎一	(78)1778	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊「二陽ノ併病」（『傷寒論』）の条文―議論の多い解し難い章―	寺師睦宗	(80)1780	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊矢数先生から教えていただいたこと	溝部宏毅	(82)1782	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊富山県の産官学連携研究で開発された新しい配置薬	谿忠人	(83)1783	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊糖鎖栄養学と漢方	山ノ内慎一	(92)1792	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊纏足と鍼灸―近代の習俗から見た婦女の足部経穴―	猪飼祥夫	(95)1795	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊像内納入品「臓腑経絡」覚え書 ―清涼寺、誓願寺その他の内臓模型をめぐって（上）	谷田伸治	(101)1801	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊桂枝湯条文攷（2）―「吐膿血」について―	小髙修司	(117)1817	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊難症の瘡瘍病私見（2）	西脇平士	(125)1825	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊漢方処方の考察―210処方を中心として	鈴木堯	(132)1832	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊矢数道明先生の外来	小泉久仁弥	(137)1837	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊畑の中の面々―それから	田畑隆一郎	(138)1838	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊わが漢方治療歴を華麗に彩った大黄牡丹皮湯	伊藤敦之	(145)1845	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊私と漢方医学の4半世紀	盛克己	(149)1849	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊矢数道明先生の思い出	原敬二郎	(156)1856	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊矢数道明先生の想い出	高橋法昭	(157)1857	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊道明先生解説処方と自験例	土方康世	(158)1858	2005年（平成17）・第52巻・第11号
＊祖父に似ていた矢数道明先生　開局二十年目を反求す	小池加能	(160)1860	2005年（平成17）・第52巻・第11号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(48)	大塚賢司・渡辺洋井	(163)1863	2005年（平成17）・第52巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(20)　安達太良の干し柿	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(173)1873	2005年（平成17）・第52巻・第11号
北里東医研診療録から(26)　四逆加人参湯が有効であった2症例	鈴木邦彦・伊藤剛・村主明彦・花輪壽彦	(180)1880	2005年（平成17）・第52巻・第11号
続・女子医大雑話2(139)　脾は肌肉を主る	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(185)1885	2005年（平成17）・第52巻・第11号
漢方牛歩録(225)　大腿部腫痛・大腿部腫瘤と慢性頭痛ほか	中村謙介	(190)1890	2005年（平成17）・第52巻・第11号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(7)八味地黄丸〔その2〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(195)1895	2005年（平成17）・第52巻・第11号
意釈『審視瑶函』(12)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(203)1903	2005年（平成17）・第52巻・第11号
東亜漢方大学附属病院　2005年9月号出題回答・講評　2005年11月号出題	中田敬吾・三谷和男	(211)1911	2005年（平成17）・第52巻・第11号
アメリカ鍼灸随想(3)	市橋宏樹	(227)1927	2005年（平成17）・第52巻・第11号
第62回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会レポート	山田真知子	(237)1937	2005年（平成17）・第52巻・第11号
2005年(平成17)・第52巻・第12号　【矢数道明先生生誕百年記念号Ⅲ】＜＊印は記念原稿＞			2005年（平成17）・第52巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(208)　曲直瀬養安家の人々（2）	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)1954	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊裵元植先生の質問に対する回答	安井廣迪	(11)1963	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊桃花湯合黄土湯変方（桃黄湯）由来記	鍋谷欣市	(23)1975	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊【私の好きな処方】排膿散及湯	二宮文乃	(29)1981	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊家庭医と漢方	三谷和男	(38)1990	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊桂枝去芍薬湯、桂枝去芍薬加附子湯から桂枝附子湯、甘草附子湯を辿る	福田佳弘	(45)1997	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊時間的変化としてみた「気の異常」（仮説）	本間行彦	(58)2010	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊【印象に残った症例】漢方治療が奏効した若年女性の難治性過敏性腸症候群の一例	山内浩・国府正英・日比紀文	(61)2013	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊過去10年間の当研究所での一次性頭痛における漢方薬の有効性	五野由佳里・花輪壽彦	(68)2020	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊田代三喜の虚像と実像	遠藤次郎・中村輝子	(75)2027	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊【私の好きな処方】茯苓四逆湯	大関潤一	(83)2035	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊康平傷寒論の研究（3）傷寒論の身体	大友一夫	(95)2047	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊リウマチの診療で最近気づいたこと	仲原靖夫	(112)2064	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊「薬局漢方」の現状を考えつつ	雨宮昌男	(116)2068	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊脳卒中と漢方（みみずの線溶活性）	宮川昭平	(123)2075	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊『類聚方広義』中の単味の薬方	小根山隆祥	(128)2080	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊苓桂朮甘湯の運用（2）	松本一男	(135)2087	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊高橋晄正が日本の医学会でなしたこと	原桃介	(145)2097	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊漢方医学教育のための標準的プログラムの必要性	星野惠津夫	(152)2104	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊「移精変気」考	小曽戸明子	(156)2108	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊像内納入品「臓腑経絡」覚え書－清涼寺、誓願寺その他の内臓模型をめぐって（下）	谷田伸治	(159)2111	2005年（平成17）・第52巻・第12号

＊江戸幕府鍼科医員の治療の一断面ー「天璋院様麻疹諸留帳」を中心としてー	香取俊光	(170)2122	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊古代エジプトの医療　附、現代エジプトの医療と国民性	木下勤	(181)2133	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊明治天皇侍医頭　岡玄卿について	岡利幸	(191)2143	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊道明先生の治療	大貫進	(202)2154	2005年（平成17）・第52巻・第12号
＊父の思い出	矢数圭堂	(204)2156	2005年（平成17）・第52巻・第12号
北里東医研診療録から(27)　奔豚湯（肘後備急方）の3症例	高橋裕子・関口敦子・花輪壽彦	(205)2157	2005年（平成17）・第52巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(21)　めまいの症例	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(210)2162	2005年（平成17）・第52巻・第12号
続・女子医大雑話3(140)　便秘の4例	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾	(216)2168	2005年（平成17）・第52巻・第12号
長女の柴胡桂枝乾姜湯を勝手に拝借した父親の一例	前田修司	(221)2173	2005年（平成17）・第52巻・第12号
薄毛・猫毛・抜け毛の新治療法	柿田秀明・城田吉彦	(226)2178	2005年（平成17）・第52巻・第12号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識（7）八味地黄丸〔その3〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(231)2183	2005年（平成17）・第52巻・第12号
東亜漢方大学附属病院　2005年10月号出題回答・講評　2005年12月号出題	山崎正寿・三潴忠道	(245)2197	2005年（平成17）・第52巻・第12号
アメリカ鍼灸随想(4)	市橋宏樹	(255)2207	2005年（平成17）・第52巻・第12号
韓薬師（韓国漢方専門薬剤師）	金成俊	(262)2214	2005年（平成17）・第52巻・第12号
漢方界トピックス		(265)2217	2005年（平成17）・第52巻・第12号
九嶋勝司先生を偲ぶ	板井嬉預子	(267)2219	2005年（平成17）・第52巻・第12号
2006年(平成18)・第53巻・第1号			2006年（平成18）・第53巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(209)　半井広明筆の三皇像	小曽戸洋	(2)2	2006年（平成18）・第53巻・第1号
平成18年（2006年）新年のことば〔147名〕		(9)9	2006年（平成18）・第53巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録（22）　目の周囲の痒み・発赤・腫れに苦しんだ経験…自験例…	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(101)101	2006年（平成18）・第53巻・第1号
大七気湯（別名・指迷七気湯）の治験	高木嘉子	(111)111	2006年（平成18）・第53巻・第1号
続・女子医大雑話4（141）　小児の3症例	新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(116)116	2006年（平成18）・第53巻・第1号
アトピー性皮膚炎の漢方治療ー地黄剤の使用例ー	桜井みち代・本間行彦・奥澤宏一・大塚吉則・八重樫稔	(127)127	2006年（平成18）・第53巻・第1号
漢方薬の効き目の根拠（EBM）（上）	古村和子	(135)135	2006年（平成18）・第53巻・第1号
漢方牛歩録（226）　アカギレ・慢性乳様突起炎ほか	中村謙介	(146)146	2006年（平成18）・第53巻・第1号
東洋堂経験余話（163）	松本一男	(150)150	2006年（平成18）・第53巻・第1号
『神農本草経（森立之本）』における「四気五味」	中村成代・平林正士・小根山隆祥	(153)153	2006年（平成18）・第53巻・第1号
血管エコーによる脈診の代用（その1）	松多邦雄・伊藤亜紀子・野村広道	(163)163	2006年（平成18）・第53巻・第1号
意釈『審視瑶函』(13)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(174)174	2006年（平成18）・第53巻・第1号
鄧鉄涛教授の“SARS”治療	角田睦子	(184)184	2006年（平成18）・第53巻・第1号
『漢方後世用語集』編集記	鎌田慶市郎	(191)191	2006年（平成18）・第53巻・第1号
東亜漢方大学附属病院　2005年11月号出題回答・講評	三谷和男	(195)195	2006年（平成18）・第53巻・第1号
アメリカ鍼灸随想（5）	市橋宏樹	(206)206	2006年（平成18）・第53巻・第1号
第13回国際東洋医学会（ICOM）参加記	秋葉哲生	(210)210	2006年（平成18）・第53巻・第1号
2006年(平成18)・第53巻・第2号			2006年（平成18）・第53巻・第2号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（210）　奥田謙藏先生遺愛の百味箪笥		(2)226	2006年（平成18）・第53巻・第2号
『史記』扁鵲倉公列伝における最古の鍼灸治験例の解明（1）	多留淳文	(11)235	2006年（平成18）・第53巻・第2号
≪ワークショップ≫　漢方調剤に必要な臨床的知識　〔諏訪地域—1〕	長坂和彦・名取通夫・横井昌隆・藤森憲司 〔司会〕並木隆雄	(19)243	2006年（平成18）・第53巻・第2号
翼状片に越婢加朮湯がすみやかに効いた一症例	永嶺宏一・鈴木重紀・中崎允人・秋葉哲生	(32)256	2006年（平成18）・第53巻・第2号
小児疾患に対する柴胡桂枝湯有効例の検討—最近の症例より—	宮崎瑞明・盛克己	(41)265	2006年（平成18）・第53巻・第2号
黄耆桂枝五物湯が有効であった舌痛症の1例	木村豪雄・貝沼茂三郎・野上達也・三潴忠道・山田光胤	(54)278	2006年（平成18）・第53巻・第2号
転移性肝癌を伴った胃癌の1症例	渡邊一幹	(60)284	2006年（平成18）・第53巻・第2号
神効当帰膏（当帰膏）について	南利雄	(68)292	2006年（平成18）・第53巻・第2号
炙甘草湯の効用	伊藤康雄・山崎由佳里	(73)297	2006年（平成18）・第53巻・第2号
続・女子医大雑話5（142）　加味帰脾湯の3症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(80)304	2006年（平成18）・第53巻・第2号
北里東医研診療録から（29）　半夏湯が著効した前頚部痛の1例	有島武志・櫻井正智・五野由佳理・花輪壽彦	(86)310	2006年（平成18）・第53巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録（23）　疾病の流れにみる柴胡加竜骨牡蛎湯の出自と応用	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(92)316	2006年（平成18）・第53巻・第2号
漢方牛歩録（227）　血小板減少患者のケガ・慢性気管支炎・変形性脊椎症・頚椎捻挫および腕神経不全麻痺	中村謙介	(98)322	2006年（平成18）・第53巻・第2号

東洋堂経験余話(164)　▽感冒に味麦益気湯▽感冒に桂枝湯で治癒後、内傷に真武湯	松本一男	(102)326	2006年(平成18)・第53巻・第2号
目でみる漢方史料館(210)　奥田謙藏先生遺愛の百味箪笥　〔解説〕	伊藤敏雄	(105)329	2006年(平成18)・第53巻・第2号
アメリカ鍼灸随想(6)	市橋宏樹	(108)332	2006年(平成18)・第53巻・第2号
台湾訪書志1　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(27)	真柳誠	(115)339	2006年(平成18)・第53巻・第2号
漢方薬の効き目の根拠(EBM)(下)	古村和子	(123)347	2006年(平成18)・第53巻・第2号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(14)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(137)361	2006年(平成18)・第53巻・第2号
東亜漢方大学附属病院　2005年12月号出題回答・講評	三潴忠道	(141)365	2006年(平成18)・第53巻・第2号
2006年2月号出題	今田屋章	(149)373	2006年(平成18)・第53巻・第2号
トピックス　第3回 「小倉先生を偲ぶ会」開催	盛克己	(151)375	2006年(平成18)・第53巻・第2号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(7)八味地黄丸〔その4〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(153)377	2006年(平成18)・第53巻・第2号
韓国韓医学通信(第13報)	金成俊	(164)388	2006年(平成18)・第53巻・第2号
2006年(平成18)・第53巻・第3号			2006年(平成18)・第53巻・第3号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(211) 曲直瀬養安院家の人々(3)	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)406	2006年(平成18)・第53巻・第3号
インタビュー　薬学研究者としての漢方への思い	荻原幸夫・新井信〔聞き手〕	(11)415	2006年(平成18)・第53巻・第3号
桂枝甘草末が奏効した動悸の症例	大関潤一・生内久人・中田克雄	(27)431	2006年(平成18)・第53巻・第3号
北里東医研診療録から(30)	伊藤剛・鈴木邦彦・村主明彦・花輪壽彦	(37)441	2006年(平成18)・第53巻・第3号
潰瘍性大腸炎症例に対する大桃花湯の使用経験			2006年(平成18)・第53巻・第3号
続・女子医大雑話6(143)　真武湯で治療した高齢者の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(43)447	2006年(平成18)・第53巻・第3号
当帰湯が無効となった腹部不定愁訴に女神散が奏功した1例	前田修司	(48)452	2006年(平成18)・第53巻・第3号
五苓散が卓効したパニック症候群の1例	永井良樹	(52)456	2006年(平成18)・第53巻・第3号
最近のカルテの中から(28)　気管支喘息に桂枝加厚朴杏子湯	森由雄	(54)458	2006年(平成18)・第53巻・第3号
小児の夜間尿に対する八味丸の使用経験	陣内弘和	(56)460	2006年(平成18)・第53巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(24)　口内炎の症例(清熱補気湯と清熱補血湯)	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(58)462	2006年(平成18)・第53巻・第3号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識〔諏訪地域—2〕	長坂和彦・名取通夫・横井昌隆・藤森憲司・並木隆雄〔司会〕	(63)467	2006年(平成18)・第53巻・第3号
漢方牛歩録(228)　急性腸炎に啓脾湯	中村謙介	(76)480	2006年(平成18)・第53巻・第3号
東洋堂経験余話(165)　裏急後重に解急蜀椒湯ほか	松本一男	(78)482	2006年(平成18)・第53巻・第3号
慶應大学輪読会	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子・井斎偉矢ほか	(81)485	2006年(平成18)・第53巻・第3号
新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)(5)			2006年(平成18)・第53巻・第3号
破故紙と骨の障害　その5　椎間板ヘルニア	伊藤康雄・山崎由佳里	(90)494	2006年(平成18)・第53巻・第3号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(49)	大塚賢治・渡辺洋井	(97)501	2006年(平成18)・第53巻・第3号
『史記』扁鵲倉公列伝における最古の鍼灸治験症例の解明(2)	多留淳文	(105)509	2006年(平成18)・第53巻・第3号
針灸の忌である人神・尻神について	杉山広重	(110)514	2006年(平成18)・第53巻・第3号
アメリカ鍼灸随想(7)	市橋宏樹	(115)519	2006年(平成18)・第53巻・第3号
宋板『傷寒論』との関わりから吉益東洞の医学思想を考える(上)	小高修司	(125)529	2006年(平成18)・第53巻・第3号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(1)	横田観風	(134)538	2006年(平成18)・第53巻・第3号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(15)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(138)542	2006年(平成18)・第53巻・第3号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(7)八味地黄丸〔その5〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(144)548	2006年(平成18)・第53巻・第3号
台湾訪書志1　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(28)	真柳誠	(153)557	2006年(平成18)・第53巻・第3号
襄元植先生を悼む			2006年(平成18)・第53巻・第3号
哀悼　襄元植先生へ	山田光胤	(160)564	2006年(平成18)・第53巻・第3号
襄元植先生を偲ぶ	室賀昭三	(162)566	2006年(平成18)・第53巻・第3号
襄元植先生逝去の報に接して	菊谷豊彦	(163)567	2006年(平成18)・第53巻・第3号
韓国韓医学通信(第14報)	金成俊	(165)569	2006年(平成18)・第53巻・第3号
東亜漢方大学附属病院　2006年3月号出題	中田敬吾	(167)571	2006年(平成18)・第53巻・第3号
2006年(平成18)・第53巻・第4号			2006年(平成18)・第53巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(212) 和田東郭の肖像と墓	天野陽介・小曽戸洋	(2)590	2006年(平成18)・第53巻・第4号
『傷寒論』『金匱要略』における度量衡の考察	和泉正一郎・江部洋一郎	(11)599	2006年(平成18)・第53巻・第4号
疼痛の東洋医学的病態論	三浦於菟	(20)608	2006年(平成18)・第53巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(25) 外陰部痒症に柴胡勝湿湯合八味丸	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(27)615	2006年(平成18)・第53巻・第4号
続・女子医大雑話7(144)　動悸に桂枝加竜骨牡蛎湯ほか	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾	(32)620	2006年(平成18)・第53巻・第4号
北里東医研診療録から(31) 葛根湯が有効であった小児慢性疾患の2例	齋藤絵美・五野由佳理・花輪壽彦	(35)623	2006年(平成18)・第53巻・第4号
東洋堂経験余話(166)　感冒に桂枝去芍薬湯ほか	松本一男	(39)627	2006年(平成18)・第53巻・第4号

漢方牛歩録(229)　多発性関節痛ほか	中村謙介	(43)631	2006年（平成18）・第53巻・第4号
大黄シャ虫丸と人参湯加味が有効であった不妊症の1例	伊添千寿	(47)635	2006年（平成18）・第53巻・第4号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（大塚敬節著）（6）	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子・井齋偉矢ほか	(50)638	2006年（平成18）・第53巻・第4号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(50)	大塚賢治・渡辺洋井	(55)643	2006年（平成18）・第53巻・第4号
東亜漢方大学附属病院　2006年2月号出題：会員からの回答		(63)651	2006年（平成18）・第53巻・第4号
解答及び講評	今田屋章	(71)659	2006年（平成18）・第53巻・第4号
2006年4月号出題	山崎正寿	(74)662	2006年（平成18）・第53巻・第4号
『史記』扁鵲倉公列伝における最古の鍼灸治験症例の解明（3）	多留淳文	(76)664	2006年（平成18）・第53巻・第4号
脈診についての一考	柿田秀明	(83)671	2006年（平成18）・第53巻・第4号
宋板『傷寒論』との関わりから吉益東洞の医学思想を考える（下）	小髙修司	(91)679	2006年（平成18）・第53巻・第4号
『神農本草経』（森立之本）収載生薬の別名	大塚信子・中村成代・小根山隆祥	(101)689	2006年（平成18）・第53巻・第4号
『金匱要略』平成新釈　果物菜穀禁忌并治第二十五（1）	杉山広重	(108)696	2006年（平成18）・第53巻・第4号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（2）	横田観風	(116)704	2006年（平成18）・第53巻・第4号
意釈『審視瑶函』（傳仁宇著）(16)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(123)711	2006年（平成18）・第53巻・第4号
アメリカ鍼灸随想（8）	市橋宏樹	(128)716	2006年（平成18）・第53巻・第4号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(7)八味地黄丸〔その6〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(141)729	2006年（平成18）・第53巻・第4号
台湾伝統医学の眺望(4)	宮崎瑞明・盛克己	(149)737	2006年（平成18）・第53巻・第4号
大韓韓医師協会新築会館と許浚博物館を訪ねて	金成俊	(152)740	2006年（平成18）・第53巻・第4号
2006年(平成18)・第53巻・第5号			2006年（平成18）・第53巻・第5号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（213）　荻野元凱の墓	天野陽介・小曽戸洋	(2)758	2006年（平成18）・第53巻・第5号
インタビュー・学術総会の開催に当たって	大澤仲昭	(11)767	2006年（平成18）・第53巻・第5号
第57回日本東洋医学会学術総会主要プログラム		(18)774	2006年（平成18）・第53巻・第5号
第1回東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅰ　開催に当たって	佐藤祐造	(21)777	2006年（平成18）・第53巻・第5号
特別講演・漢方四方山話	荻原幸夫	(22)778	2006年（平成18）・第53巻・第5号
麻黄附子細辛湯への散剤加味方の検討	盛克己・宮崎瑞明	(35)791	2006年（平成18）・第53巻・第5号
鼻疾患に対する麗沢通気湯加辛夷の有効性	渡辺洋	(43)799	2006年（平成18）・第53巻・第5号
続・女子医大雑話8（145）　神経内科の3症例	新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(59)815	2006年（平成18）・第53巻・第5号
北里東医研診療録から（32）　大承気湯の長期投与が奏効した慢性疾患の2例	頼建守・及川哲郎・早崎知幸・花輪壽彦	(65)821	2006年（平成18）・第53巻・第5号
漢方牛歩録（230）　側胸部痛・足趾部腫瘤・項部の激痛・腰部脊柱管狭窄症の間欠性跛行	中村謙介	(76)832	2006年（平成18）・第53巻・第5号
東洋堂経験余話（167）　耳下腺炎に小柴胡湯が桔梗、夏枯草ほか	松本一男	(80)836	2006年（平成18）・第53巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録（26）　暑い寒いも彼岸まで	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(83)839	2006年（平成18）・第53巻・第5号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（7）	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子・井齋偉矢ほか	(89)845	2006年（平成18）・第53巻・第5号
東亜漢方大学附属病院　2006年3月号出題・会員からの回答		(98)854	2006年（平成18）・第53巻・第5号
出題解答及び講評	中田敬吾	(105)861	2006年（平成18）・第53巻・第5号
2006年5月号出題	三谷和男	(111)867	2006年（平成18）・第53巻・第5号
「醫聖漢張仲景先生之碑」の白文について	木下勤	(113)869	2006年（平成18）・第53巻・第5号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（3）	横田観風	(118)874	2006年（平成18）・第53巻・第5号
『金匱要略』平成新釈　果物菜穀禁忌并治第二十五（2）	杉山広重	(125)881	2006年（平成18）・第53巻・第5号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（29）	真柳誠	(131)887	2006年（平成18）・第53巻・第5号
意釈『審視瑶函』（傳仁宇著）（17）	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(137)893	2006年（平成18）・第53巻・第5号
アメリカ鍼灸随想（9）	市橋宏樹	(142)898	2006年（平成18）・第53巻・第5号
『薬徴』（吉益東洞著）について	白井憲太郎	(149)905	2006年（平成18）・第53巻・第5号
台湾伝統医学の眺望(5)	宮崎瑞明・盛克己	(151)911	2006年（平成18）・第53巻・第5号
韓国韓医学通信（第15報）	金成俊	(155)861	2006年（平成18）・第53巻・第5号
千葉大学東洋医学自由講座開講60周年記念講演・祝賀会開催		(156)912	2006年（平成18）・第53巻・第5号
Letter to the Editor　症例報告と個人情報保護	星野惠津夫	(158)914	2006年（平成18）・第53巻・第5号
2006年(平成18)・第53巻・第6号			2006年（平成18）・第53巻・第6号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（214）　志賀潔と安西安周	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)938	2006年（平成18）・第53巻・第6号
半夏厚朴湯有効例の検討	宮崎瑞明・盛克己	(11)947	2006年（平成18）・第53巻・第6号
第1回東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅱ　シンポジウム 「気」を語る			2006年（平成18）・第53巻・第6号
（1）気の異常による皮膚疾患の治療	二宮文乃	(24)960	2006年（平成18）・第53巻・第6号
（2）“気…精神的なもの・心”の切口で	中川良隆	(34)970	2006年（平成18）・第53巻・第6号

（3）五苓散証からみた気	伊藤嘉紀	(44)980	2006年（平成18）・第53巻・第6号
続・女子医大雑話9（146） 最近の症例から	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(57)993	2006年（平成18）・第53巻・第6号
北里東医研診療録から（33） 茯苓杏仁甘草湯の使用経験	関口敦子・有島武志・鈴木邦彦・村主明彦・花輪壽彦	(62)998	2006年（平成18）・第53巻・第6号
東洋堂経験余話（168）▽慢性湿疹と蕁麻疹に三物黄芩湯加大黄▽胸脇苦満に八味丸料	松本一男	(68)1004	2006年（平成18）・第53巻・第6号
漢方牛歩録（231） 遷延する気管支炎	中村謙介	(72)1008	2006年（平成18）・第53巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録（27） 打撲・捻挫・関節炎の症例（主に麻黄加朮湯と桂枝茯苓丸併用）	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(75)1011	2006年（平成18）・第53巻・第6号
見えすぎ障害と炙甘草湯　見えすぎ障害－その1	伊藤康雄・山崎由佳里	(81)1017	2006年（平成18）・第53巻・第6号
大塚敬節による『類聚方広義』解釈(51) 半夏瀉心湯・甘草瀉心湯・生姜瀉心湯	大塚賢治・渡辺洋井	(86)1022	2006年（平成18）・第53巻・第6号
東亜漢方大学附属病院 2006年4月号出題・会員からの回答		(99)1035	2006年（平成18）・第53巻・第6号
出題解答及び講評	山崎正寿	(106)1042	2006年（平成18）・第53巻・第6号
2006年6月号出題	三潴忠道	(110)1046	2006年（平成18）・第53巻・第6号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(113)1049	2006年（平成18）・第53巻・第6号
(8)大柴胡湯〔その1〕			2006年（平成18）・第53巻・第6号
アメリカ鍼灸随想（10）	市橋宏樹	(125)1061	2006年（平成18）・第53巻・第6号
意釈『審視瑶函』（傅仁宇著）（18）	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(134)1070	2006年（平成18）・第53巻・第6号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（30）	真柳誠	(137)1073	2006年（平成18）・第53巻・第6号
『金匱要略』平成新釈　果物菜穀禁忌并治第二十五（3）	杉山広重	(145)1081	2006年（平成18）・第53巻・第6号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（4）	横田観風	(151)1087	2006年（平成18）・第53巻・第6号
韓国韓医学通信（第16報）	金成俊	(156)1092	2006年（平成18）・第53巻・第6号
台湾伝統医学の眺望(6)	宮崎瑞明・盛克己	(158)1094	2006年（平成18）・第53巻・第6号
2006年(平成18)・第53巻・第7号			2006年（平成18）・第53巻・第7号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（215） 湯本求真の旧蔵書	小曽戸洋	(2)1114	2006年（平成18）・第53巻・第7号
第1回東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅲ　シンポジウム 「気」を語る		(9)1121	2006年（平成18）・第53巻・第7号
（4）漢方診療における気の概念の重要性について	山口英明	(10)1122	2006年（平成18）・第53巻・第7号
（5）肝の熱病は、左の頬先ず赤し	金子幸夫	(21)1133	2006年（平成18）・第53巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録（28） 中高年の咳喘息予防に真武湯	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(32)1144	2006年（平成18）・第53巻・第7号
附子理中湯が自覚症状の軽減に有効であった肝内胆管癌の1例	貝沼茂三郎・木村豪雄・野上達也・大塚央・宮坂史路・中村佳子・堀江延和・三潴忠道	(38)1150	2006年（平成18）・第53巻・第7号
続・女子医大雑話10（147） 加味逍遙散で治療した女性の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(43)1155	2006年（平成18）・第53巻・第7号
当帰六黄湯加減が有効であった盗汗症例	三浦於菟	(48)1160	2006年（平成18）・第53巻・第7号
ホメオパシーと裏寒	伊藤康雄・山崎由佳里	(52)1164	2006年（平成18）・第53巻・第7号
臍上悸の部位に圧痛を伴うことの意義についての一考察	前田修司	(58)1170	2006年（平成18）・第53巻・第7号
漢方牛歩録（232） 下腿煩熱感・虫刺症・子宮筋腫に伴う腰痛・腕神経不全麻痺	中村謙介	(64)1176	2006年（平成18）・第53巻・第7号
東洋堂経験余話（169） ▽尿失禁に大柴胡湯加厚朴・芒硝 ▽急性腸炎の下痢と腹痛に真武湯	松本一男	(68)1180	2006年（平成18）・第53巻・第7号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（8）	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子・井齋偉矢ほか	(71)1183	2006年（平成18）・第53巻・第7号
東亜漢方大学附属病院 2006年5月号出題回答、解答及び講評	三谷和男	(78)1190	2006年（平成18）・第53巻・第7号
2006年7月号出題	今田屋章	(87)1199	2006年（平成18）・第53巻・第7号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識 (8)大柴胡湯〔その2〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(89)1201	2006年（平成18）・第53巻・第7号
アメリカ鍼灸随想（11）	市橋宏樹	(98)1210	2006年（平成18）・第53巻・第7号
山田業広著『金匱要略集注』訓読（31）	千葉古方漢方研究会	(106)1218	2006年（平成18）・第53巻・第7号
陳士鐸『外経微言』翻訳（上）	小高修司	(113)1225	2006年（平成18）・第53巻・第7号
『金匱要略』平成新釈　果物菜穀禁忌并治第二十五（4）	杉山広重	(123)1235	2006年（平成18）・第53巻・第7号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（5）	横田観風	(130)1242	2006年（平成18）・第53巻・第7号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍（31）	真柳誠	(137)1249	2006年（平成18）・第53巻・第7号
図書紹介　稲本一元・松田邦夫著『ファーストチョイスの漢方薬』	杵渕彰	(144)1256	2006年（平成18）・第53巻・第7号
台湾伝統医学の眺望(7)	宮崎瑞明・盛克己	(145)1257	2006年（平成18）・第53巻・第7号
「筑波漢方七仙人像」見学会	庄司良文	(148)1260	2006年（平成18）・第53巻・第7号
韓国韓医学通信（第17報）	金成俊	(152)1264	2006年（平成18）・第53巻・第7号
2006年(平成18)・第53巻・第8号			2006年（平成18）・第53巻・第8号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（216） 熊宗立の肖像と生没年	小曽戸洋	(2)1282	2006年（平成18）・第53巻・第8号
「第2回日韓東洋医学シンポジウム」より　韓国韓医学の現代史と現状（上）	金英信	(9)1289	2006年（平成18）・第53巻・第8号

甘麦大棗湯について	中川良隆	(27)1307	2006年(平成18)・第53巻・第8号
漢方エキス剤における牡蛎末加味の検討	盛克己・宮崎瑞明	(47)1327	2006年(平成18)・第53巻・第8号
半夏瀉心湯エキスの服用により抗不安薬をやめられた機能性胃腸症(FD)と考えられた1例	大関潤一・奈良範子・山田宏之	(57)1337	2006年(平成18)・第53巻・第8号
※第15回漢方治療研究会講演	木村豪雄・貝沼茂三郎・野上達也・三潴忠道	(64)1344	2006年(平成18)・第53巻・第8号
茯苓四逆湯と四逆散が有効であった思春期心身症の1例			2006年(平成18)・第53巻・第8号
※第15回漢方治療研究会講演	清水正彦・杉山　徹	(69)1349	2006年(平成18)・第53巻・第8号
茵蔯蒿湯が著効した難治性抑鬱状態を伴う更年期障害の胆嚢収縮機能に関する一考察			2006年(平成18)・第53巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(29)　方証相対の基礎となる方症の相対	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(73)1353	2006年(平成18)・第53巻・第8号
北里東医研診療録から(34)　半夏厚朴湯が有効であった月経困難症の3例	齋藤絵美・高橋裕子・花輪壽彦	(80)1360	2006年(平成18)・第53巻・第8号
続・女子医大雑話11(148)　気管支喘息に柴朴湯ほか	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾	(85)1365	2006年(平成18)・第53巻・第8号
東洋堂経験余話(170)　▽パニック障害に小建中湯　▽湿疹に荊芥連翹湯加石膏	松本一男	(90)1370	2006年(平成18)・第53巻・第8号
漢方牛歩録(233) 多発性関節炎・手こずった瘭疽・頸椎捻挫・肉食後の発疹・顔面神経麻痺	中村謙介	(93)1373	2006年(平成18)・第53巻・第8号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(9)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子・井齋偉矢ほか	(97)1377	2006年(平成18)・第53巻・第8号
東亜漢方大学附属病院　2006年6月号出題回答、解答及び講評	三潴忠道	(103)1383	2006年(平成18)・第53巻・第8号
2006年7月号出題	中田敬吾	(113)1393	2006年(平成18)・第53巻・第8号
アメリカ鍼灸随想(12)	市橋宏樹	(115)1395	2006年(平成18)・第53巻・第8号
意釈『審視瑤函』(19)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(125)1405	2006年(平成18)・第53巻・第8号
李朝正編著『備急総効方』中の『耆域』方について	杉山広重	(130)1410	2006年(平成18)・第53巻・第8号
陳士鐸『外経微言』(翻訳)(下)	小髙修司	(133)1413	2006年(平成18)・第53巻・第8号
台湾訪書志1　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(32)	真柳誠	(145)1425	2006年(平成18)・第53巻・第8号
夏の風物詩・西瓜物語	木下勤	(150)1430	2006年(平成18)・第53巻・第8号
第57回日本東洋医学会学術総会レポート	山田真知子ほか	(154)1434	2006年(平成18)・第53巻・第8号
2006年(平成18)・第53巻・第9号			2006年(平成18)・第53巻・第9号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(217)　古矢知白の肖像―新出―	小曽戸洋・長野仁・町泉寿郎	(2)1458	2006年(平成18)・第53巻・第9号
――医療用漢方製剤健保収載30周年記念原稿――			2006年(平成18)・第53巻・第9号
巻頭言　漢方製剤薬価収載までの状況	菊谷豊彦	(11)1467	2006年(平成18)・第53巻・第9号
〔対談〕漢方製剤薬価収載30周年記念　―当時の歴史的背景とその意義―	菊谷豊彦・鈴木五郎	(13)1469	2006年(平成18)・第53巻・第9号
わが国の医療危機を救うためには国民的議論が必要	折茂肇	(32)1488	2006年(平成18)・第53巻・第9号
21世紀の医学医療と東洋医学	高久史麿	(34)1490	2006年(平成18)・第53巻・第9号
漢方製剤健保収載30周年を迎えるに当たり	宮本昭正	(35)1491	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤発売30周年を祝す	石橋晃	(35)1491	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤健保収載30周年を祝う	室賀昭三	(36)1492	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤の保険給付30年を迎えて	石野尚吾	(37)1493	2006年(平成18)・第53巻・第9号
健保除外反対・日本東洋医学会の活動状況の一端	(編集局編)	(39)1495	2006年(平成18)・第53巻・第9号
漢方製剤の薬価基準初収載は30年以上前に	桑野重昭	(48)1504	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤に、今改めて思う事、考える事	高橋邦夫	(50)1506	2006年(平成18)・第53巻・第9号
漢方薬を扱う者の曲がり角　希少価値・大衆化への道	三上正利	(54)1510	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方エキス製剤の治療上の可能性について	秋葉哲生	(55)1511	2006年(平成18)・第53巻・第9号
《漢方医療の将来を考える総点検を》　―漢方専門薬局の立場から―	雨宮昌男	(56)1512	2006年(平成18)・第53巻・第9号
「210処方」の思い出	小根山隆祥	(58)1514	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤健保収載30周年記念に当たり	後藤實	(60)1516	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤健保収載30周年記念特集号に寄せて	風間八左衛門	(62)1518	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医療用漢方製剤健保収載30周年記念特集号に寄せて	芳井順一	(63)1519	2006年(平成18)・第53巻・第9号
日本医史学会総会(2004年)の特別講演「漢方製剤の医史学的検討」に関して	菊谷豊彦	(64)1520	2006年(平成18)・第53巻・第9号
漢方はわたしの信念	鈴木昶	(68)1524	2006年(平成18)・第53巻・第9号
臨床報告　キュウ帰調血飲第一加減、或いは水蛭・地竜の加味方でチョウカ(子宮腫瘤)の増大を阻止し、随伴症状の改善が図れた7例	西森(佐藤)婦美子	(69)1525	2006年(平成18)・第53巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(30)　交通事故後遺症に通竅活血湯加減＋動物生薬を使った症例	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(79)1535	2006年(平成18)・第53巻・第9号
続・女子医大雑話12(149)　肥満の3症例	新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(87)1543	2006年(平成18)・第53巻・第9号
北里東医研診療録から(35)　胃の痛み、不快に清熱解鬱湯が有効であった3症例	及川哲郎・早崎知幸・頼　建守・花輪壽彦	(94)1550	2006年(平成18)・第53巻・第9号
漢方牛歩録(234)　母指屈筋炎ほか	中村謙介	(98)1554	2006年(平成18)・第53巻・第9号

東洋堂経験余話(171	松本一男	(102)1558	2006年(平成18)・第53巻・第9号
血管エコーによる脈診の代用(その2)	松多邦雄・伊藤亜紀子・松埼利典・野村広道	(105)1561	2006年(平成18)・第53巻・第9号
急性虫垂炎に罹患した新幹線の乗客を大黄牡丹皮湯エキスで治療した話	永井良樹	(115)1571	2006年(平成18)・第53巻・第9号
瞑眩物語	白井憲太郎	(117)1573	2006年(平成18)・第53巻・第9号
東亜漢方大学附属病院　2006年7月号出題(再掲)、会員からの回答		(122)1578	2006年(平成18)・第53巻・第9号
出題解答及び講評	今田屋章	(128)1586	2006年(平成18)・第53巻・第9号
2006年9月号出題	山崎正寿	(130)1586	2006年(平成18)・第53巻・第9号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(8)大柴胡湯〔その3〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(133)1589	2006年(平成18)・第53巻・第9号
『金匱要略』平成新釈　婦人妊娠病脈証并治　第二十	杉山広重	(140)1596	2006年(平成18)・第53巻・第9号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(6)	横田観風	(149)1605	2006年(平成18)・第53巻・第9号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(156)1612	2006年(平成18)・第53巻・第9号
「第2回日韓東洋医学シンポジウム」より　韓国韓医学の現代史と現状(中)	金英信	(163)1619	2006年(平成18)・第53巻・第9号
アメリカ鍼灸随想(13)	市橋宏樹	(172)1628	2006年(平成18)・第53巻・第9号
図書紹介・今井淳著『傷寒論・金匱要略の鉱物生薬』	小根山隆祥	(180)1636	2006年(平成18)・第53巻・第9号
長谷川弥人先生を悼む　長谷川弥人先生の御霊に捧げる	山田光胤	(181)1637	2006年(平成18)・第53巻・第9号
Letter to the Editor　三潴忠道先生へ	伊藤敦之	(187)1643	2006年(平成18)・第53巻・第9号
あとがきにかえて	菊谷豊彦	(189)1645	2006年(平成18)・第53巻・第9号
2006年(平成18)・第53巻・第10号			2006年(平成18)・第53巻・第10号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(218)　『難経』の最善本出現	小曽戸洋・宮川浩也	(2)1660	2006年(平成18)・第53巻・第10号
傷寒・金匱の三味薬方の検討…茵チン蒿湯について(上)	中川良隆	(11)1669	2006年(平成18)・第53巻・第10号
北里東医研診療録から(36)　顔面神経麻痺と年余に及ぶふらつきに大三五七散料が有効であった一例	村主明彦・伊藤剛・鈴木邦彦・吉田威・花輪壽彦	(22)1680	2006年(平成18)・第53巻・第10号
原因不明の心窩部痛に五苓散が有効であった1例	古谷陽一・野上達也・渡辺哲郎・嶋田豊	(29)1687	2006年(平成18)・第53巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(31)　感染性胃腸炎集団発生に小半夏加茯苓湯と経口補水塩の利用	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(33)1691	2006年(平成18)・第53巻・第10号
続女子医大雑話13(150)　最近の症例から	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(38)1696	2006年(平成18)・第53巻・第10号
東洋堂経験余話(172)	松本一男	(42)1700	2006年(平成18)・第53巻・第10号
▽両眼の結膜出血に黄連解毒湯加黄耆、釣藤			2006年(平成18)・第53巻・第10号
▽動悸、息切れで眠れない人に小建中湯			2006年(平成18)・第53巻・第10号
胆石疝痛に対する接触鍼の一症例	柿田秀明	(45)1703	2006年(平成18)・第53巻・第10号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(10)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子・西村甲ほか	(49)1707	2006年(平成18)・第53巻・第10号
東亜漢方大学附属病院　2006年8月号出題(再掲)　会員からの回答		(56)1714	2006年(平成18)・第53巻・第10号
出題解答及び講評	中田敬吾	(64)1722	2006年(平成18)・第53巻・第10号
2006年10月号出題	三谷和男	(71)1729	2006年(平成18)・第53巻・第10号
臨床薬剤師のための医療用漢方製剤の知識　(8)大柴胡湯〔その4〕	温知会「医療用漢方製剤」研究班	(77)1735	2006年(平成18)・第53巻・第10号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(7)	横田観風	(86)1744	2006年(平成18)・第53巻・第10号
『金匱要略』平成新釈　婦人産後病脈証并治第二十一	杉山広重	(94)1752	2006年(平成18)・第53巻・第10号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(21)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(103)1761	2006年(平成18)・第53巻・第10号
アメリカ鍼灸随想(14)(下)	市橋宏樹	(109)1767	2006年(平成18)・第53巻・第10号
「第2回日韓東洋医学シンポジウム」より　韓国韓医学の現代史と現状(下)	金英信	(117)1775	2006年(平成18)・第53巻・第10号
第6回日韓東洋医学シンポジウム開催される	吉冨誠	(129)1787	2006年(平成18)・第53巻・第10号
韓国韓医学通信(第18報)	金成俊	(130)1788	2006年(平成18)・第53巻・第10号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(33)	真柳誠	(133)1791	2006年(平成18)・第53巻・第10号
財団法人・日本漢方医学研究所附属渋谷診療所の軌跡	山田光胤	(141)1799	2006年(平成18)・第53巻・第10号
長谷川弥人先生を悼む(2)　長谷川弥人先生を看取らせて頂いて	高木嘉子	(144)1802	2006年(平成18)・第53巻・第10号
長谷川弥人先生追悼記	山ノ内慎一	(146)1804	2006年(平成18)・第53巻・第10号
長谷川弥人先生の思い出	黒川達郎	(147)1805	2006年(平成18)・第53巻・第10号
トピックス　東洞祭開催	山崎正寿	(155)1813	2006年(平成18)・第53巻・第10号
故藤平健博士法要	中村成代	(157)1815	2006年(平成18)・第53巻・第10号
第16回漢方治療研究会レポート	長沢伸子・山田真知子	(158)1816	2006年(平成18)・第53巻・第10号
2006年(平成18)・第53巻・第11号			2006年(平成18)・第53巻・第11号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(219)　法華寺浴室と「光明皇后大悲願図」	永井良樹	(2)1844	2006年(平成18)・第53巻・第11号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識〔ミキ薬局篇(1)〕	佐藤弘・安井廣迪・池方香里・松岡優子・中澤司・室賀一宏	(11)1853	2006年(平成18)・第53巻・第11号
傷寒・金匱の三味薬方の検討…茵チン蒿湯について(下)	中川良隆	(28)1870	2006年(平成18)・第53巻・第11号

桂枝加芍薬生姜人参湯の症例	岩崎勲	(41)1883	2006年（平成18）・第53巻・第11号
北里東医研診療録から（37） 括楼薤白半夏湯が有効であった冠攣縮性狭心症の1例	鈴木邦彦・伊藤剛・村主明彦・花輪壽彦	(48)1890	2006年（平成18）・第53巻・第11号
続女子医大雑話14（151） 桂枝湯加減方で治療した3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(54)1896	2006年（平成18）・第53巻・第11号
黄耆建中湯の奏効した盗汗の2症例	陣内弘和	(59)1901	2006年（平成18）・第53巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録（32） 黄連解毒湯始末記	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(62)1904	2006年（平成18）・第53巻・第11号
漢方牛歩録（235） 母指外転筋腱炎・咬創・腰臀部痛・更年期障害	中村謙介	(69)1911	2006年（平成18）・第53巻・第11号
東洋堂経験余話（173） ▽潰瘍性大腸炎に柴胡桂枝湯加芍薬▽慢性膀胱炎に四物湯合猪苓湯	松本一男	(73)1915	2006年（平成18）・第53巻・第11号
慶應大学輪読会 新世紀に読む『漢方診療三十年』（11）	渡辺賢治・秋葉哲生・西村甲・井出弓子ほか	(76)1918	2006年（平成18）・第53巻・第11号
アンコール論説 私の秘方 1.柴胡清肝散 2.荊芥連翹湯	矢数道明	(84)1926	2006年（平成18）・第53巻・第11号
千葉大学東洋医学自由講座60周年記念座談会	鍋谷欣市・大藤正雄・松下嘉一・荻原奉祐・今田屋章・村上えい子・藤本百合子・三潴忠道・鳥居塚和生・伊藤隆・石田厚・渡辺哲・盛克己・鎌田慶市郎・鈴木重紀・並木隆雄	(87)1929	2006年（平成18）・第53巻・第11号
千葉大学東洋医学自由講座60周年記念講 千葉大学東洋医学自由講座六十年をふり返る	寺澤捷年	(101)1943	2006年（平成18）・第53巻・第11号
東亜漢方大学附属病院 2006年9月号出題（再掲） 会員からの回答		(110)1952	2006年（平成18）・第53巻・第11号
出題解答及び講評	山崎正寿	(117)1959	2006年（平成18）・第53巻・第11号
2006年11月号出題	三潴忠道	(121)1963	2006年（平成18）・第53巻・第11号
「傷寒論マップ」のめざすもの	黒川達郎・織部和宏	(123)1965	2006年（平成18）・第53巻・第11号
漢方処方の薬量について	桜井謙介	(133)1975	2006年（平成18）・第53巻・第11号
五臓の君主は何か？	小高修司	(137)1979	2006年（平成18）・第53巻・第11号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（8）	横田観風	(141)1983	2006年（平成18）・第53巻・第11号
意釈『審視瑶函』（傅仁宇著）（22）	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(148)1990	2006年（平成18）・第53巻・第11号
アメリカ鍼灸随想（14）（下）	市橋宏樹	(152)1994	2006年（平成18）・第53巻・第11号
台湾訪書志Ⅰ 故宮博物院所蔵の医薬古典籍（34）	真柳誠	(158)2000	2006年（平成18）・第53巻・第11号
2006年(平成18)・第53巻・第12号			2006年（平成18）・第53巻・第12号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（220） 遠田澄庵の写真・肖像	川邉雄大・町泉寿郎	(2)2024	2006年（平成18）・第53巻・第12号
インフルエンザに対するオセルタミビルと漢方薬併用の治療効果	盛克己・宮崎瑞明	(11)2033	2006年（平成18）・第53巻・第12号
進行癌に対する漢方随証治療の効果	関矢信康・林克美・檜山幸孝・笠原裕司・大野賢二・地野充時・並木隆雄・平崎能郎・喜多敏明・寺澤捷年	(21)2043	2006年（平成18）・第53巻・第12号
腹部膨満感にキュウ帰調血飲が奏効した二例	喜多敏明・角野めぐみ・檜山幸孝・並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・地野充時・林克美・平崎能郎・大野賢二・寺澤捷年	(32)2054	2006年（平成18）・第53巻・第12号
北里東医研診療録から（38） パーキンソン病に小承気湯加芍薬甘草が著効した1例	大塚静英・五野由佳理・花輪壽彦	(38)2060	2006年（平成18）・第53巻・第12号
ツムラ柴苓湯の、全人工股関節置換術症例における術後の下肢腫脹、免疫調節効果	岸田友紀・三木秀宣・菅野伸彦・西井孝・西田愼二・井上隆弥・吉川秀樹	(43)2065	2006年（平成18）・第53巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録（33） 下肢の瘤（痰核）に五苓散加枳実・山梔子	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(46)2068	2006年（平成18）・第53巻・第12号
東洋堂経験余話（174） ▽慢性関節炎リウマチに温清飲 ▽難病の人の感冒に補中益気湯加附子	松本一男	(51)2073	2006年（平成18）・第53巻・第12号
漢方牛歩録（236） 爪周囲炎・両下肢の易疲労感ほか	中村謙介	(54)2076	2006年（平成18）・第53巻・第12号
続・女子医大雑話15（152） 手掌の汗に桂枝加竜骨牡蛎湯ほか	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾	(58)2080	2006年（平成18）・第53巻・第12号
癲癇患者に対する補陽還五湯及び加減方の効果	土方康世・安原昭博・吉田由香・吉村健・仙頭正四郎	(62)2084	2006年（平成18）・第53巻・第12号
かきフライを食べて四逆湯証になった	高木嘉子	(69)2091	2006年（平成18）・第53巻・第12号
倦怠感－白血病の再発を疑わせる症状	柿田秀明	(71)2093	2006年（平成18）・第53巻・第12号
ワークショップ 漢方調剤に必要な臨床的知識〔ミキ薬局篇（2）〕	佐藤弘・安井廣迪・池方香里・松岡優子・中澤司・室賀一宏〔司会〕	(75)2097	2006年（平成18）・第53巻・第12号
東亜漢方大学附属病院 2006年10月号出題（再掲）		(85)2107	2006年（平成18）・第53巻・第12号
会員からの回答		(90)2112	2006年（平成18）・第53巻・第12号
出題解答及び講評	三谷和男	(98)2120	2006年（平成18）・第53巻・第12号
2006年12月号出題	今田屋章	(103)2125	2006年（平成18）・第53巻・第12号
壊病論	齋藤謙一	(105)2127	2006年（平成18）・第53巻・第12号
『小品方』の序文及び『傷寒論』の序文に関する“掘り下げ”について	杉山広重	(115)2137	2006年（平成18）・第53巻・第12号

和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(9)	横田観風	(119)2141	2006年(平成18)・第53巻・第12号
細谷英吉著『漢方の科学』をめぐる書簡	星野惠津夫・細谷英吉	(126)2148	2006年(平成18)・第53巻・第12号
アメリカ鍼灸随想(15)(上)	市橋宏樹	(138)2160	2006年(平成18)・第53巻・第12号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(35)	真柳誠	(147)2169	2006年(平成18)・第53巻・第12号
薬になる果物・ミカン物語	木下勤	(154)2176	2006年(平成18)・第53巻・第12号
長谷川弥人先生の死を悼む	渡辺賢治	(161)2183	2006年(平成18)・第53巻・第12号
韓国韓医学通信(第19報)	金成俊	(164)2186	2006年(平成18)・第53巻・第12号
トピックス　日本漢方協会学術大会ほか		(166)2188	2006年(平成18)・第53巻・第12号
2007年(平成19)・第54巻・第1号			2007年(平成19)・第54巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(221) 医祖神・名医肖像	小曽戸洋	(2)2	2007年(平成19)・第54巻・第1号
平成19年(2007年)　新年のことば〔148名〕		(9)9	2007年(平成19)・第54巻・第1号
口内炎184例の臨床的研究	小林永治	(108)108	2007年(平成19)・第54巻・第1号
三黄瀉心湯が奏功したうつ病の一例	伊藤隆	(116)116	2007年(平成19)・第54巻・第1号
梔子柏皮湯の適応徴候について	檜山幸隆ほか	(120)120	2007年(平成19)・第54巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(34)	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(123)123	2007年(平成19)・第54巻・第1号
脾約の証か？胃瘻患者の頑固な便秘に麻子仁丸エキス			2007年(平成19)・第54巻・第1号
続・女子医大雑話16(153)腎泌尿器疾患の3症例	新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(130)130	2007年(平成19)・第54巻・第1号
北里東医研診療録から(39)乾嘔(からえずき)の治療経験	早崎知幸・及川哲郎・頼建守・花輪壽彦	(136)136	2007年(平成19)・第54巻・第1号
葛根黄連黄ゴン湯が歯痛に有効であった1例	大野佳織	(141)141	2007年(平成19)・第54巻・第1号
アンコール論説・ノイローゼ	細野史郎	(143)143	2007年(平成19)・第54巻・第1号
東亜漢方大学附属病院　11月号出題回答、解答及び講評	三潴忠道	(145)145	2007年(平成19)・第54巻・第1号
2007年1月号出題	中田敬吾	(157)157	2007年(平成19)・第54巻・第1号
ワークショップ　漢方調剤に必要な臨床的知識〔ミキ薬局(3)〕	佐藤弘・安井廣迪・池方香里・松岡優子・中澤司・室賀一宏	(159)159	2007年(平成19)・第54巻・第1号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(12)	渡辺賢治・秋葉哲生・西村甲・井出弓子・入江祥史ほか	(174)174	2007年(平成19)・第54巻・第1号
意釈『審視瑶函』(23)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(181)181	2007年(平成19)・第54巻・第1号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(10)	横田観風	(188)188	2007年(平成19)・第54巻・第1号
肖像画発見に伴う古矢知白の探求 ―『症因問答』『正文傷寒論復正弁』を踏まえて―	杉山広重	(195)195	2007年(平成19)・第54巻・第1号
アメリカ鍼灸随想(16)	市橋宏樹	(201)201	2007年(平成19)・第54巻・第1号
台湾訪書志Ⅰ　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(36)	真柳誠	(207)207	2007年(平成19)・第54巻・第1号
図書紹介 『中医基本用語辞典』(監修:高金亮)	安井廣迪	(214)214	2007年(平成19)・第54巻・第1号
2007年(平成19)・第54巻・第2号			2007年(平成19)・第54巻・第2号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(222) 「熊宗立原医図」	小曽戸洋	(2)234	2007年(平成19)・第54巻・第2号
中高年にみられる眩暈症の一病態について	福田佳弘・岡新治	(11)243	2007年(平成19)・第54巻・第2号
附子粳米湯合小陥胸湯が奏功した胸水貯溜の1例	平崎能郎・地野充時・大野賢二・林克美・笠原裕司ほか	(22)254	2007年(平成19)・第54巻・第2号
改めてガン治療を考える	小高修司	(29)261	2007年(平成19)・第54巻・第2号
北里東医研診療録から(40)　脊髄炎経過中のこむらがえりに痿証方が奏効した1例	卯木希代子・齋藤絵美・花輪壽彦	(36)268	2007年(平成19)・第54巻・第2号
続・女子医大雑話17(154)　肩こりの3症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(41)273	2007年(平成19)・第54巻・第2号
当帰貝母苦参丸の使用経験	廣橋義和	(46)278	2007年(平成19)・第54巻・第2号
漢方薬によって改善した遷延性・難治性過敏性腸症候群の1例	西田愼二・岸田友紀・井上隆弥・吉川秀樹	(49)281	2007年(平成19)・第54巻・第2号
異常な暑がりと味覚異常が現れた戴陽の症例	小林瑞	(53)285	2007年(平成19)・第54巻・第2号
特発性血小板減少性紫斑病に加味帰脾湯加法が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(57)289	2007年(平成19)・第54巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(35)　膠飴物語	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(60)292	2007年(平成19)・第54巻・第2号
東洋堂経験余話(175)▽頭部違和感に柴胡桂枝湯加芍薬　▽激しい咳嗽と息苦しさに小青竜湯加杏仁・石膏	松本一男	(66)298	2007年(平成19)・第54巻・第2号
仲景方による難病治療	角田睦子	(69)301	2007年(平成19)・第54巻・第2号
漢方牛歩録(237)　胸廓出口症候群ほか	中村謙介	(77)309	2007年(平成19)・第54巻・第2号
慶應大学輪読会・新世紀に読む『漢方診療三十年』(13)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史	(81)313	2007年(平成19)・第54巻・第2号
東亜漢方大学附属病院　2006年12月号出題・会員からの回答	槌家正則ほか10名	(87)319	2007年(平成19)・第54巻・第2号
出題解答及び講評	今田屋章	(96)328	2007年(平成19)・第54巻・第2号
2007年2月号出題	山崎正寿	(99)331	2007年(平成19)・第54巻・第2号
アメリカ鍼灸随想(17)	市橋宏樹	(101)333	2007年(平成19)・第54巻・第2号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(11)	横田観風	(111)343	2007年(平成19)・第54巻・第2号

山田業広著『金匱要略集注』訓読(32)	千葉古方漢方研究会	(119)351	2007年(平成19)・第54巻・第2号
台湾訪書志Ⅰ完　故宮博物院所蔵の医薬古典籍(37)	真柳誠	(125)357	2007年(平成19)・第54巻・第2号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(24)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(133)365	2007年(平成19)・第54巻・第2号
美人の代名詞、百合(ユリ)の効用	木下勤	(139)371	2007年(平成19)・第54巻・第2号
図書紹介『病家須知』(平野重誠著)の訳注飜刻本について	杉山広重	(141)373	2007年(平成19)・第54巻・第2号
英国における伝統医学の現状と課題	早崎知幸	(145)377	2007年(平成19)・第54巻・第2号
漢方界トピックス　木更津漢方アカデミー開催	並木隆雄	(147)379	2007年(平成19)・第54巻・第2号
2007年(平成19)・第54巻・第3号			2007年(平成19)・第54巻・第3号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(223) 「宋板傷寒論」(その5)	真柳誠	(2)398	2007年(平成19)・第54巻・第3号
慢性蕁麻疹の漢方治療	二宮文乃	(11)407	2007年(平成19)・第54巻・第3号
桂枝加黄耆湯が奏効した小児アトピー性皮膚炎6例	桜井みち代・石川由香子・本間行彦・大塚吉則・八重樫稔	(21)417	2007年(平成19)・第54巻・第3号
癌研有明病院漢方サポート外来(1)　胃全摘術後の食欲不振、胃全摘術後の舌の荒れと手足のしびれ	星野惠津夫	(29)425	2007年(平成19)・第54巻・第3号
随証治療が奏効した小児腹痛の1例	笠原裕司・並木隆雄・関矢信康・地野充時・林克美ほか	(35)431	2007年(平成19)・第54巻・第3号
長期間にわたる愁訴が和漢薬治療により速やかに改善した症例 ―頭痛、腹部膨満感、便秘、腹痛の諸症例―	地野充時・関矢信康・大野賢二・平崎能郎・林克美ほか	(41)437	2007年(平成19)・第54巻・第3号 2007年(平成19)・第54巻・第3号
離別後に抑うつ症状を呈した2症例　―病因としての疏泄過多と陰虚内熱について―	川村力	(45)441	2007年(平成19)・第54巻・第3号
北里東医研診療録から(41) ストレス性高体温症に加味帰脾湯が有効であった1例	伊藤剛・鈴木邦彦・村主明彦・花輪壽彦	(52)448	2007年(平成19)・第54巻・第3号 2007年(平成19)・第54巻・第3号
続・女子医大雑話18(155)　便秘の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(59)455	2007年(平成19)・第54巻・第3号
現代薬徴「地黄」「麦門冬」	白井憲太郎	(64)460	2007年(平成19)・第54巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(36)　鬱傾向の人の痺れと痛みに十全大補湯の症例	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(70)466	2007年(平成19)・第54巻・第3号
東洋堂経験余話(176)▽妊娠中の便秘に四順飲　▽腰痛と左下肢の痙攣に芍薬甘草湯	松本一男	(74)470	2007年(平成19)・第54巻・第3号
漢方牛歩録(238)　腕神経不全麻痺ほか	中村謙介	(78)474	2007年(平成19)・第54巻・第3号
接触鍼による小児陰嚢水腫の治療	沖胡操・柿田秀明	(82)478	2007年(平成19)・第54巻・第3号
東亜漢方大学付属病院(仮想漢方大学病院)2007年1月号出題・会員からの回答　10名		(87)483	2007年(平成19)・第54巻・第3号
出題回答及び講評	中田敬吾	(95)491	2007年(平成19)・第54巻・第3号
2007年3月号出題	三谷和男	(103)499	2007年(平成19)・第54巻・第3号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(25)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(107)503	2007年(平成19)・第54巻・第3号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(12)	横田観風	(115)511	2007年(平成19)・第54巻・第3号
膀胱攷―付、小便製造理論の検証―(上)	小高修司	(121)517	2007年(平成19)・第54巻・第3号
『金匱要略』平成新釈　婦人雑病脈証并治第二十二(上)	杉山広重	(129)525	2007年(平成19)・第54巻・第3号
アメリカ鍼灸随想(18)	市橋宏樹	(137)533	2007年(平成19)・第54巻・第3号
百合(ユリ)の読み方はヒャクゴウかビャクゴウか	木下勤	(144)540	2007年(平成19)・第54巻・第3号
2007年(平成19)・第54巻・第4号			2007年(平成19)・第54巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(224)　岸田吟香の広告錦絵	真柳誠	(2)558	2007年(平成19)・第54巻・第4号
身痛逐オ湯、茯苓四逆湯の併用により改善した視床痛の2症例	大関潤一	(11)567	2007年(平成19)・第54巻・第4号
『方伎雑誌』における尾台榕堂の処方運用法の特徴 ～とくに兼用と交互服用の症例について～	並木隆雄ほか	(19)575	2007年(平成19)・第54巻・第4号
傷寒・金匱の三味薬方の検討…麻黄細辛附子湯について…	中川良隆	(29)585	2007年(平成19)・第54巻・第4号
茯苓四逆湯が有効であった抑うつ状態(リストカット症候群)の1例	木村豪雄・貝沼茂三郎・三潴忠道	(45)601	2007年(平成19)・第54巻・第4号
癌研有明病院漢方サポート外来(2) 胃癌術後25年間持続するしゃっくり、乳癌術後化学療法中に発症したしゃっくりと多発関節痛	星野惠津夫	(53)609	2007年(平成19)・第54巻・第4号 2007年(平成19)・第54巻・第4号
「虚・寒証症状」に鹿茸、紅参、菟絲子、枸杞子製剤が有効	雪村八一郎	(61)617	2007年(平成19)・第54巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(37)　めまい三題	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(68)624	2007年(平成19)・第54巻・第4号
北里東医研診療録から(42)　柴胡桂枝乾姜湯去黄ゴンにて頭痛が改善した症例	五野由佳理・高橋裕子・花輪壽彦	(74)630	2007年(平成19)・第54巻・第4号
続・女子医大雑話19(156)　アレルギー性鼻炎に越婢加朮湯ほか	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾	(80)636	2007年(平成19)・第54巻・第4号
甘草乾姜湯による涎沫の治効例	岡新治	(83)639	2007年(平成19)・第54巻・第4号
破故紙と骨の障害　その6　夜間頻尿	伊藤康雄・山崎由佳里	(87)643	2007年(平成19)・第54巻・第4号
現代薬徴「膠飴の妙」	白井憲太郎	(93)649	2007年(平成19)・第54巻・第4号
東洋堂経験余話(177)▽慢性副鼻腔炎に補中益気湯加カッ香、辛夷　▽急性胃腸炎に真武湯	松本一男	(96)652	2007年(平成19)・第54巻・第4号

東亜漢方大学付属病院　2007年2月号出題・会員からの回答		(99)655	2007年（平成19）・第54巻・第4号
出題解答及び講評	山崎正寿	(106)662	2007年（平成19）・第54巻・第4号
2007年4月号出題	三潴忠道	(108)664	2007年（平成19）・第54巻・第4号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（14）	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(111)667	2007年（平成19）・第54巻・第4号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍（1）	真柳誠	(119)675	2007年（平成19）・第54巻・第4号
膀胱攷—付、小便製造理論の検証—（下）	小高修司	(125)681	2007年（平成19）・第54巻・第4号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（13）	横田観風	(135)691	2007年（平成19）・第54巻・第4号
『金匱要略』平成新釈　婦人雑病脈証并治　第二十二（中）	杉山広重	(140)696	2007年（平成19）・第54巻・第4号
意釈『審視瑶函』（傅仁宇著）（26）	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(145)701	2007年（平成19）・第54巻・第4号
韓国韓医学通信（第20報）	金成俊	(151)707	2007年（平成19）・第54巻・第4号
裴永清教授の近著『傷寒論の読み方』を読む	秋葉哲生	(153)709	2007年（平成19）・第54巻・第4号
2007年(平成19)・第54巻・第5号			2007年（平成19）・第54巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（225）　大英図書館所蔵の敦煌医書文書(3)『張仲景五臓論』	真柳誠	(2)730	2007年（平成19）・第54巻・第5号
インタビュー　学会総会の開催に当たって	十河孝博	(11)739	2007年（平成19）・第54巻・第5号
鍼灸雑話1　虫垂切除痕とその関連区域（1）	吉川信	(16)744	2007年（平成19）・第54巻・第5号
続・女子医大雑話20（157）　身体の温度コントロールがうまくいかない3症例	新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(24)752	2007年（平成19）・第54巻・第5号
生姜瀉心湯で呼吸器症状が改善した気管支拡張症の1例	宮坂史路ほか	(31)759	2007年（平成19）・第54巻・第5号
癌研有明病院漢方サポート外来（3）　子宮腫瘍術後の、陰部の剣山で刺すような不快な痛み・肺癌術後の、左肋骨に鉄板が入っているような重苦しい圧迫感	星野惠津夫	(36)764	2007年（平成19）・第54巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録（38）　或る日の合病	田畑隆一郎・千田五月・蓮村幸兌	(41)769	2007年（平成19）・第54巻・第5号
漢方治療で手術が不要となった子宮内膜症の一例	川村力	(48)776	2007年（平成19）・第54巻・第5号
東洋堂経験余話（178）　▽感冒に小柴胡湯　▽蕁麻疹に葛根湯	松本一男	(53)781	2007年（平成19）・第54巻・第5号
漢方牛歩録（239）　慢性頭痛・胸廓出口症候群・肩関節周囲炎・側腰部フルンケル	中村謙介	(56)784	2007年（平成19）・第54巻・第5号
現代薬徴「朮の通り道」	白井憲太郎	(60)788	2007年（平成19）・第54巻・第5号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（15）	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(64)792	2007年（平成19）・第54巻・第5号
漢方臨床35年をふり返って	広瀬滋之	(70)798	2007年（平成19）・第54巻・第5号
東亜漢方大学付属病院　2007年3月号出題・会員からの回答		(79)807	2007年（平成19）・第54巻・第5号
出題解答及び講評	三谷和男	(90)818	2007年（平成19）・第54巻・第5号
2007年5月号出題	今田屋章	(95)823	2007年（平成19）・第54巻・第5号
アンコール論説　『傷寒論』の禁忌の指示について	大塚敬節	(97)825	2007年（平成19）・第54巻・第5号
落穂拾い『傷寒論』	桜井謙介	(100)828	2007年（平成19）・第54巻・第5号
アメリカ鍼灸随想（19）　子どものための東洋医学	市橋宏樹	(111)839	2007年（平成19）・第54巻・第5号
『金匱要略』平成新釈　婦人雑病脈証并治　第二十二（下）	杉山広重	(121)849	2007年（平成19）・第54巻・第5号
『金匱要略攷注』と『金匱要略集注』の釈義のスタイルの差異及び両者の歴史的限界について	杉山広重	(128)856	2007年（平成19）・第54巻・第5号
和訓『橘黄医談』（尾台榕堂著）（14）	横田観風	(132)860	2007年（平成19）・第54巻・第5号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍（2）	真柳誠	(139)867	2007年（平成19）・第54巻・第5号
韓国韓医学通信（第21報）	金成俊	(145)873	2007年（平成19）・第54巻・第5号
小曽戸丈夫 逝去のお知らせ	小曽戸洋・小笠原万里枝	(147)875	2007年（平成19）・第54巻・第5号
2007年(平成19)・第54巻・第6号			2007年（平成19）・第54巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（226）　薬草を用いた神事—鎮花祭とゆりまつり	永井良樹	(2)898	2007年（平成19）・第54巻・第6号
巻頭言　東亜医学協会理事長就任のご挨拶	寺澤捷年	(11)907	2007年（平成19）・第54巻・第6号
中国における中医学の現況1　大学における中医学教育の概況	戴昭宇・梁永宣・甄雪燕	(12)908	2007年（平成19）・第54巻・第6号
インフルエンザに対する漢方薬単独治療の経験	森由雄	(25)921	2007年（平成19）・第54巻・第6号
インフルエンザの漢方治療症例報告	中川良隆	(34)930	2007年（平成19）・第54巻・第6号
インフルエンザの漢方治療症例報告	野崎豊	(35)931	2007年（平成19）・第54巻・第6号
インフルエンザの漢方治療症例報告	今中政支	(37)933	2007年（平成19）・第54巻・第6号
インフルエンザの漢方治療症例報告	原敬二郎	(38)934	2007年（平成19）・第54巻・第6号
咽中炙臠は頚椎の異常によるか　—半夏厚朴湯証の解剖学的根拠—	仲原靖夫	(39)935	2007年（平成19）・第54巻・第6号
北里東医研診療録から（43）　円形脱毛症に人参湯加味方が効果を示した症例	小田口浩・五野由佳理・齋藤絵美・花輪壽彦	(46)942	2007年（平成19）・第54巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録（39）　甘草小麦大棗湯の症例	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(51)947	2007年（平成19）・第54巻・第6号
続女子医大雑話21（158）最近の著効例、加味逍遙散・香蘇散・清心蓮子飲	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(57)953	2007年（平成19）・第54巻・第6号

癌研有明病院漢方サポート外来(4)　悪性リンパ腫化学療法後、両側腹部から睾丸に向かって何かが流れる・胃癌術後、背部の激痛とドロドロした液体が身体の中を流れる	星野惠津夫	(63)959	2007年(平成19)・第54巻・第6号
漢方牛歩録(240)　変形性股関節症兼変形性脊椎症ほか	中村謙介	(68)964	2007年(平成19)・第54巻・第6号
東洋堂経験余話(179)　▽不眠のため、胃の不調に旋覆花代赭石湯　▽腰痛に三味腰痛方	松本一男	(72)968	2007年(平成19)・第54巻・第6号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(16)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(75)971	2007年(平成19)・第54巻・第6号
第2回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会　講演内容Ⅰ		(81)977	2007年(平成19)・第54巻・第6号
シンポジウム「血」を語る(1)　女性と才血	玉舎輝彦	(82)978	2007年(平成19)・第54巻・第6号
シンポジウム「血」を語る(2)　才血から創薬へ	水上元	(86)982	2007年(平成19)・第54巻・第6号
血管エコーによる脈診の代用(その3)	松多邦雄・伊藤亜紀子・松崎利典・野村広道	(93)989	2007年(平成19)・第54巻・第6号
東亜漢方大学付属病院　2007年4月号出題・会員からの回答		(106)1002	2007年(平成19)・第54巻・第6号
出題解答及び講評	三潴　忠道	(116)1012	2007年(平成19)・第54巻・第6号
2007年6月号出題	中田　敬吾	(118)1014	2007年(平成19)・第54巻・第6号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(1)「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(121)1017	2007年(平成19)・第54巻・第6号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(27)	斎藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(126)1022	2007年(平成19)・第54巻・第6号
『金匱要略』平成新釈　百合狐惑陰陽毒病脈証并治第三『百合病』(上)	杉山広重	(133)1029	2007年(平成19)・第54巻・第6号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(15)	横田観風	(139)1035	2007年(平成19)・第54巻・第6号
アメリカ鍼灸随想(20)	市橋宏樹	(147)1043	2007年(平成19)・第54巻・第6号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(3)	真柳誠	(155)1051	2007年(平成19)・第54巻・第6号
2007年(平成19)・第54巻・第7号			2007年(平成19)・第54巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(227)　大英図書館所蔵の敦煌医薬文書(4)『平脈略例』	真柳誠	(2)1074	2007年(平成19)・第54巻・第7号
慢性疾患に対する小建中湯の治療効果	宮崎瑞明・盛克己	(11)1083	2007年(平成19)・第54巻・第7号
芍薬甘草湯エキスの服用で治癒したばね指の一例	大関潤一	(23)1095	2007年(平成19)・第54巻・第7号
四逆湯二例	黒瀬喜久雄	(29)1101	2007年(平成19)・第54巻・第7号
大柴胡湯加減が奏効した結節性痒疹の1例	田原英一・新谷卓弘・中尾紀久世・森山健三	(35)1107	2007年(平成19)・第54巻・第7号
第2回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会　講演内容Ⅱ		(39)1111	2007年(平成19)・第54巻・第7号
シンポジウム「血」を語る(3)　産婦人科と血	金倉洋一	(40)1112	2007年(平成19)・第54巻・第7号
シンポジウム「血」を語る(4)　血の異常と皮膚疾患	荒浪暁彦	(47)1119	2007年(平成19)・第54巻・第7号
シンポジウム「血」を語る(5)　「血」を考える	古橋健彦	(52)1124	2007年(平成19)・第54巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(40)　柴胡桂枝湯加桔梗石膏の二例	蓮村幸兌・田畑隆一郎・千田五月	(56)1128	2007年(平成19)・第54巻・第7号
癌研有明病院漢方サポート外来(5)　左乳癌術後4年目の左上肢リンパ浮腫、子宮肉腫術後の右下肢リンパ浮腫と咽喉頭異常感	星野惠津夫	(62)1134	2007年(平成19)・第54巻・第7号
続・女子医大雑話22(159)　上気道感染症の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・盛岡頼子	(67)1139	2007年(平成19)・第54巻・第7号
東洋堂経験余話(180)　▽パニック障害に苓桂朮甘湯　▽糖尿病の改善に十全大補湯	松本一男	(74)1146	2007年(平成19)・第54巻・第7号
現代薬徴「当帰」「川キュウ」	白井憲太郎	(78)1150	2007年(平成19)・第54巻・第7号
東亜漢方大学付属病院　2007年5月号出題・会員からの回答		(81)1153	2007年(平成19)・第54巻・第7号
出題解答及び講評	今田屋章	(90)1162	2007年(平成19)・第54巻・第7号
抑肝散とその類方について	三原孝典・植木友紀子	(93)1165	2007年(平成19)・第54巻・第7号
温めて治しながら「熱証」としてよいのか！　―一緒に考えてください―	中村謙介	(98)1170	2007年(平成19)・第54巻・第7号
アメリカ鍼灸随想(21)	市橋宏樹	(105)1177	2007年(平成19)・第54巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(2)「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(117)1189	2007年(平成19)・第54巻・第7号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(28)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(122)1194	2007年(平成19)・第54巻・第7号
『金匱要略』平成新釈　百合狐惑陰陽毒病脈証并治第三『百合病』(下)	杉山広重	(129)1201	2007年(平成19)・第54巻・第7号
和訓『橘黄医談』(尾台榕堂著)(16)(了)	横田観風	(135)1207	2007年(平成19)・第54巻・第7号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(4)	真柳誠	(143)1215	2007年(平成19)・第54巻・第7号
2007年(平成19)・第54巻・第8号			2007年(平成19)・第54巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(228)　馬王堆出土の『雑療方』	天野陽介・宮川浩也	(2)1242	2007年(平成19)・第54巻・第8号
インフルエンザ75例における漢方薬と抗ウイルス剤との治療比較について	渡邊善一郎	(11)1251	2007年(平成19)・第54巻・第8号
インフルエンザの症例について	村木毅	(15)1255	2007年(平成19)・第54巻・第8号
白虎加人参湯が奏効した感冒の2症例	関矢信康・来村昌紀・寺澤捷年	(25)1265	2007年(平成19)・第54巻・第8号
当帰含有エキス方剤への当帰末加味有効例の検討	盛克己・宮崎瑞明	(29)1269	2007年(平成19)・第54巻・第8号
目眩三例	黒瀬喜久雄	(38)1278	2007年(平成19)・第54巻・第8号
骨折における漢方治療の自験例	山本浩之	(43)1283	2007年(平成19)・第54巻・第8号

胃腸症状に竹節人参、黄連、黄ゴン、黄柏、当薬製剤が有効　―効果不明例をふくめての症例報告	雪村八一郎	(45)1285	2007年（平成19）・第54巻・第8号
北里東医研診療録から（44）　炎症性腸疾患の腹痛に対して漢方薬が有効であった3症例	及川哲郎・村主明彦・伊藤剛・花輪壽彦	(52)1292	2007年（平成19）・第54巻・第8号
東洋堂経験余話（181）▽心下部痛と頭痛と桂枝去桂加茯苓白朮湯　▽腹の張りに厚朴生姜半夏甘草人参湯	松本一男	(57)1297	2007年（平成19）・第54巻・第8号
漢方牛歩録（241）　滑液嚢炎・胸廓出口症候群・側頸部リンパ節炎・口腔乾燥症	中村謙介	(60)1300	2007年（平成19）・第54巻・第8号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（17）	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(64)1304	2007年（平成19）・第54巻・第8号
東亜漢方大学附属病院　2007年6月号出題(再掲)	中田敬吾	(71)1311	2007年（平成19）・第54巻・第8号
会員からの回答　10名		(72)1312	2007年（平成19）・第54巻・第8号
出題解答及び講評	中田敬吾	(79)1319	2007年（平成19）・第54巻・第8号
陰陽病シリーズ（1）「陰陽易」病攷	小高修司	(87)1327	2007年（平成19）・第54巻・第8号
東洋医学の伝承	柿田秀明	(96)1336	2007年（平成19）・第54巻・第8号
『金匱要略』平成新釈　百合狐惑陰陽毒病脈証并治第三「狐惑・陰陽毒」	杉山広重	(102)1342	2007年（平成19）・第54巻・第8号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄（3）「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(112)1352	2007年（平成19）・第54巻・第8号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(5)	真柳誠	(117)1357	2007年（平成19）・第54巻・第8号
アメリカ鍼灸随想（22）	市橋宏樹	(123)1363	2007年（平成19）・第54巻・第8号
韓国、慶熙大学新東西医療センター　一周年記念シンポジウム報告	秋葉哲生	(132)1372	2007年（平成19）・第54巻・第8号
韓国韓医学通信（第22報）	金成俊	(141)1381	2007年（平成19）・第54巻・第8号
2007年(平成19)・第54巻・第9号			2007年（平成19）・第54巻・第9号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（229）『黄帝内経太素』杏雨書屋所蔵本	小曽戸洋	(2)1398	2007年（平成19）・第54巻・第9号
急性熱性疾患に対する大青竜湯の効果―漢方方剤を用いた老人介護施設におけるプライマリーケア―	末長弥生・古田一史・三渚忠道	(11)1407	2007年（平成19）・第54巻・第9号
漢方治療が奏効した不育症の一例	関矢信康・寺澤捷年	(19)1415	2007年（平成19）・第54巻・第9号
橘皮枳実生姜湯による咳嗽治療の一例	堀野雅子	(23)1419	2007年（平成19）・第54巻・第9号
補中益気湯と六君子湯　その1 ―白朮と茯苓の用い方―	伊藤康雄・山崎由佳里	(26)1422	2007年（平成19）・第54巻・第9号
急性胃腸炎に伴う急性中耳炎症例に対する真武湯の使用経験	内藤雪	(34)1430	2007年（平成19）・第54巻・第9号
続女子医大雑話23（160）桂枝加竜骨牡蛎湯が有効だった3例	溝部宏毅・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾	(37)1433	2007年（平成19）・第54巻・第9号
北里東医研診療録から（45）　発汗異常に玉屏風散料が著効した2症例	大塚静英・石井恵美・及川哲郎・伊藤剛・花輪壽彦	(41)1437	2007年（平成19）・第54巻・第9号
癌研有明病院漢方サポート外来（6）	星野惠津夫	(46)1442	2007年（平成19）・第54巻・第9号
舌癌に対する放射線治療後の口腔内乾燥、中咽頭癌に対する放射線治療後の口腔内乾燥			2007年（平成19）・第54巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録（41）　神経・精神疾患の症例（分気飲と竜骨湯）	千田五月・蓮村幸兌・田畑隆一郎	(53)1449	2007年（平成19）・第54巻・第9号
東洋堂経験余話（182）　▽急性腰痛に三味腰痛方　▽鬱病に四逆散料	松本一男	(59)1455	2007年（平成19）・第54巻・第9号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』（18）	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(63)1459	2007年（平成19）・第54巻・第9号
『入門漢方医学』における「寒熱」「虚実」「陰陽」について　―中村謙介先生の呼びかけに応えて―	川村力	(71)1467	2007年（平成19）・第54巻・第9号
新修・意釈『東洞先生答問』(1)	横田観風	(75)1471	2007年（平成19）・第54巻・第9号
張仲景師『傷寒論』の伝承と証拠との隙間について(上)	杉山広重	(81)1477	2007年（平成19）・第54巻・第9号
陰陽病シリーズ（2）「陰陽交」病攷 ―付、陰陽交接、陰陽交錯―	小高修司	(93)1489	2007年（平成19）・第54巻・第9号
山田業広著『金匱要略集注』訓読(33)	千葉古方漢方研究会	(100)1496	2007年（平成19）・第54巻・第9号
意釈『審視瑶函』（傅仁宇著）（29）	斎藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(105)1501	2007年（平成19）・第54巻・第9号
アメリカ鍼灸随想（23）	市橋宏樹	(113)1509	2007年（平成19）・第54巻・第9号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄（4）「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(120)1516	2007年（平成19）・第54巻・第9号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(6)	真柳誠	(127)1523	2007年（平成19）・第54巻・第9号
韓国韓医学通信（第23報）	金成俊	(132)1528	2007年（平成19）・第54巻・第9号
2007年(平成19)・第54巻・第10号			2007年（平成19）・第54巻・第10号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館（230）　大英図書館所蔵の敦煌医薬文書（5）巻子佚名炙方図	小林健二・天野陽介	(2)1546	2007年（平成19）・第54巻・第10号
漢方治療が短期間で奏効した精神神経症状を呈した親子例	関矢信康・小川恵子・来村昌紀・橋本すみれ・王子剛・寺澤捷年	(11)1555	2007年（平成19）・第54巻・第10号
当帰四逆加呉茱萸生姜湯　―男性症例について―	黒瀬喜久雄	(16)1560	2007年（平成19）・第54巻・第10号
続・女子医大雑話24（161）　痛みの3例	新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(20)1564	2007年（平成19）・第54巻・第10号
癌研有明病院漢方サポート外来（7）	星野惠津夫	(27)1571	2007年（平成19）・第54巻・第10号
・乳癌、手術・化学療法・放射線治療後の下肢のしびれと浮腫・進行膀胱癌、抗癌剤投与後の両下肢のしびれと歩行困難			2007年（平成19）・第54巻・第10号

医師・薬剤師リレー治験録(42)　八味丸に賭けた若者の尿利異常	田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月	(33)1577	2007年(平成19)・第54巻・第10号
北里東医研診療録から(46)　キュウ帰調血飲が有効であった大腸憩室症の1例	齋藤絵美・早崎知幸・小田口浩・花輪壽彦	(40)1584	2007年(平成19)・第54巻・第10号
東洋堂経験余話(183)　▽疝気症候群に五積散料加附子と当帰四逆湯▽原因不明の歯茎の腫れに甘露飲	松本一男	(44)1588	2007年(平成19)・第54巻・第10号
漢方牛歩録(242)　拇指皮下腫瘤・慢性副鼻腔炎と蕁麻疹・多発性関節炎・手根管症候群	中村謙介	(47)1591	2007年(平成19)・第54巻・第10号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(19)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(51)1595	2007年(平成19)・第54巻・第10号
新修・意釈『東洞先生答問』(2)	横田観風	(62)1606	2007年(平成19)・第54巻・第10号
「太陽病期を表熱症としてよいのか」について	長坂和彦	(70)1614	2007年(平成19)・第54巻・第10号
張仲景師『傷寒論』の伝承と証拠との隙間について(下)	杉山広重	(71)1615	2007年(平成19)・第54巻・第10号
意釈『審視瑤函』(傅仁宇著)(30)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(85)1629	2007年(平成19)・第54巻・第10号
アメリカ鍼灸随想(24)	市橋宏樹	(91)1635	2007年(平成19)・第54巻・第10号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(5)　「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(102)1646	2007年(平成19)・第54巻・第10号
南圭和田正系先生と富浦海濱學校	秋葉哲生	(109)1653	2007年(平成19)・第54巻・第10号
台湾訪書志Ⅱ国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(7)	真柳誠	(117)1661	2007年(平成19)・第54巻・第10号
台湾伝統医学の眺望(8)	宮崎瑞明・盛克己	(123)1667	2007年(平成19)・第54巻・第10号
第17回漢方治療研究会、北里で開催		(127)1671	2007年(平成19)・第54巻・第10号
投稿規定		(137)1681	2007年(平成19)・第54巻・第10号
2007年(平成19)・第54巻・第11号			2007年(平成19)・第54巻・第11号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(231)　祥雲寺と曲直瀬今大路家の墓	小曽戸洋・天野陽介	(2)1694	2007年(平成19)・第54巻・第11号
甘麦大棗湯を乳小幼児の皮膚炎に使用して	二宮文乃	(11)1703	2007年(平成19)・第54巻・第11号
続・女子医大雑話25(162)　月経前症候群(PMS)の症例	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(24)1716	2007年(平成19)・第54巻・第11号
ある慢性疾患における桂枝湯の使用	岩崎勲	(31)1723	2007年(平成19)・第54巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(43)　アトピー性皮膚炎・急性増悪の2例	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎	(37)1729	2007年(平成19)・第54巻・第11号
北里東医研診療録から(47)　治肩背拘急方の治療経験	卯木希代子・齋藤絵美・早崎知幸・伊藤剛・花輪壽彦	(45)1737	2007年(平成19)・第54巻・第11号
慶應大学輪読会　新世紀に読む『漢方診療三十年』(20)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(53)1745	2007年(平成19)・第54巻・第11号
捻挫打撲症に対する八味地黄丸、治打撲一方併用の効果	土方康世・宮前有子・高津尚子・仙頭正四郎	(59)1751	2007年(平成19)・第54巻・第11号
東洋堂経験余話(184)　▽体調不良に柴胡桂枝湯加附子 ▽腰痛と両坐骨神経痛に大黄附子湯	松本一男	(69)1761	2007年(平成19)・第54巻・第11号
漢方牛歩録(243)　頚髄神経根症・側頚部の激痛・胸廓出口症候群	中村謙介	(72)1764	2007年(平成19)・第54巻・第11号
新修・意釈『東洞先生答問』(3)	横田観風	(74)1766	2007年(平成19)・第54巻・第11号
アメリカ鍼灸随想(25)	市橋宏樹	(81)1773	2007年(平成19)・第54巻・第11号
『金匱要略』平成新釈　中風歴節病脈証并治第五(上)	杉山広重	(89)1781	2007年(平成19)・第54巻・第11号
意釈『審視瑤函』(傅仁宇著)(31)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(97)1789	2007年(平成19)・第54巻・第11号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(6)　「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(104)1796	2007年(平成19)・第54巻・第11号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(8)	真柳誠	(111)1803	2007年(平成19)・第54巻・第11号
台湾伝統医学の眺望(9)	宮崎瑞明・盛克己	(117)1809	2007年(平成19)・第54巻・第11号
韓国韓医学通信(第24報)	金成俊	(122)1814	2007年(平成19)・第54巻・第11号
2007年(平成19)・第54巻・第12号			2007年(平成19)・第54巻・第12号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(232)　神農画賛二題 ― 曲直瀬玄朔・畑 柳泰	小曽戸洋	(2)1830	2007年(平成19)・第54巻・第12号
疾患別座談会　―消化管疾患と漢方―	岡部竜吾・及川哲郎・高士将典・新井信	(11)1839	2007年(平成19)・第54巻・第12号
癌研有明病院漢方サポート外来(8) 右乳癌と右肺癌の術後の、創部の冷えと痛み／左肺癌術後の、左胸部と上肢のしびれと痛み	星野惠津夫	(36)1864	2007年(平成19)・第54巻・第12号 2007年(平成19)・第54巻・第12号
続・女子医大雑話26(163)　見かけによらない症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美	(43)1871	2007年(平成19)・第54巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(44)　ニキビの症例	千田五月・田畑隆一郎・蓮村幸兌	(49)1877	2007年(平成19)・第54巻・第12号
北里東医研診療録から(48)　排膿湯が有効であった3症例	鈴木邦彦・及川哲郎・伊藤剛・花輪壽彦	(58)1886	2007年(平成19)・第54巻・第12号
補中益気湯と六君子湯　その2	伊藤康雄・山崎由佳里	(63)1891	2007年(平成19)・第54巻・第12号
東洋堂経験余話(185) ▽両下肢の血栓性静脈炎に桂枝加附子湯　▽逆流性食道炎が原因で起こった激しい胃痛に黄連湯加茯苓	松本一男	(69)1897	2007年(平成19)・第54巻・第12号 2007年(平成19)・第54巻・第12号
漢方牛歩録(244)　便秘に桂枝加芍薬生姜人参湯	中村謙介	(72)1900	2007年(平成19)・第54巻・第12号

眼病・尋常性座瘡、月経異常を併発した才血を桂枝茯苓丸にて治療した1例	伊藤敦之	(74)1902	2007年（平成19）・第54巻・第12号
虚実の定義に関する一考察	長坂和彦	(77)1905	2007年（平成19）・第54巻・第12号
太陽病は表熱証	佐々木実	(85)1913	2007年（平成19）・第54巻・第12号
新修・意釈『東洞先生答問』（4）	横田観風	(89)1917	2007年（平成19）・第54巻・第12号
奔豚湯の由来	孫基然	(95)1923	2007年（平成19）・第54巻・第12号
アメリカ鍼灸随想（26）	市橋宏樹	(107)1935	2007年（平成19）・第54巻・第12号
『金匱要略』平成新釈　中風歴節病脈証并治第五（中）	杉山広重	(115)1943	2007年（平成19）・第54巻・第12号
意釈『審視瑶函』（傅仁宇著）（32）	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(122)1950	2007年（平成19）・第54巻・第12号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍（9）	真柳誠	(129)1957	2007年（平成19）・第54巻・第12号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄（7）「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(136)1964	2007年（平成19）・第54巻・第12号
漢方界トピックス ― 吉益東洞顕彰会開催 ほか		(141)1969	2007年（平成19）・第54巻・第12号
2008年(平成20)・第55巻・第1号			2008年（平成20）・第55巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(233)　ある神農陶像	伊藤敏雄	(2)2	2008年（平成20）・第55巻・第1号
平成20年(2008年)　新年のことば〔132名〕		(9)9	2008年（平成20）・第55巻・第1号
2007年1～4月におけるインフルエンザに対する漢方治療の経験	森由雄	(96)96	2008年（平成20）・第55巻・第1号
インフルエンザに対する漢方薬増量頻回投与の治療経験	立花秀俊	(105)105	2008年（平成20）・第55巻・第1号
柴陥湯の胸痛への適応証	垣迫真一	(116)116	2008年（平成20）・第55巻・第1号
北里東医研診療録から(49)　特異な臨床症状を呈した難治性皮疹に紫根牡蠣湯加減方が著効した一例	石井恵美・望月良子・鈴木邦彦・花輪壽彦	(121)121	2008年（平成20）・第55巻・第1号
続・女子医大雑話27(164)　気候が涼しくなり増悪した3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子	(127)127	2008年（平成20）・第55巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(45)　桂枝二越婢一加朮附湯	田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月	(134)134	2008年（平成20）・第55巻・第1号
反復する呼吸困難に絶食(吐方？)が効を奏したうつ病の1例	小曽戸明子	(140)140	2008年（平成20）・第55巻・第1号
東洋堂経験余話(186)▽感冒に白虎湯と麻黄細辛附子湯▽前立腺癌で小便漏れに八味丸料加滑石	松本一男	(146)146	2008年（平成20）・第55巻・第1号
血管エコーによる脈診の代用(その4)	松多邦雄・伊藤亜紀子・松崎利典・野村広道	(150)150	2008年（平成20）・第55巻・第1号
新修・意釈『東洞先生答問』(5)	横田観風	(163)163	2008年（平成20）・第55巻・第1号
『金匱要略』平成新釈　中風歴節病脈証并治第五(下)	杉山広重	(170)170	2008年（平成20）・第55巻・第1号
アメリカ鍼灸随想(27)	市橋宏樹	(178)178	2008年（平成20）・第55巻・第1号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(8)	齊藤匡男	(186)186	2008年（平成20）・第55巻・第1号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(10)	真柳誠	(191)191	2008年（平成20）・第55巻・第1号
図書紹介　馬王堆出土文献訳注叢書『五十二病方』を読む	杉山広重	(198)198	2008年（平成20）・第55巻・第1号
韓国韓医学通信(第25報)	金成俊	(201)201	2008年（平成20）・第55巻・第1号
漢方界トピックス／ 曲直瀬道三生誕五百年祭開催ほか		(202)202	2008年（平成20）・第55巻・第1号
2008年(平成20)・第55巻・第2号			2008年（平成20）・第55巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(234)　古林見宜の肖像	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)222	2008年（平成20）・第55巻・第2号
高雄病院の臨床報告(1)　湿温病の症例	篠原明徳・宗本尚志・小栗重統・橋本正也	(11)231	2008年（平成20）・第55巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(46) 外陰部掻痒症の3例	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎	(17)237	2008年（平成20）・第55巻・第2号
中日伝統医学の舌診 ―相違点の背景―	梁　嶸〈リョウ コウ〉	(25)245	2008年（平成20）・第55巻・第2号
北里東医研診療録から(50)　荊芥連翹湯(一貫堂医学)で尋常性疣贅が軽快した1症例	櫻井正智・頼建守・花輪壽彦	(34)254	2008年（平成20）・第55巻・第2号
長年続いている下腹部・陰部の冷え、痛み、しびれに対し当帰四逆湯(衛生宝鑑)を用いて改善がみられた1例	大関潤一	(37)257	2008年（平成20）・第55巻・第2号
当帰芍薬散の運用	伊藤康雄・山崎由佳里	(43)263	2008年（平成20）・第55巻・第2号
癌研有明病院漢方サポート外来(9) 直腸癌内視鏡治療後、放射線化学療法後の排便異常。大腸憩室術後腸閉塞の反復、小腸部分切除術後の腹部膨満。	星野惠津夫・井上美貴	(51)271	2008年（平成20）・第55巻・第2号
漢方治療が有効であった黄疸の1例	田村博文	(58)278	2008年（平成20）・第55巻・第2号
続・女子医大雑話28(165)　頑固な便秘に人参湯合麻子仁丸　ほか	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾	(61)281	2008年（平成20）・第55巻・第2号
東洋堂経験余話(187)　▽尋常性痤瘡の治療途中の無症候性血尿に猪苓湯▽高血圧の治療中、急な腹満に厚朴生姜半夏甘草人参湯	松本一男	(65)285	2008年（平成20）・第55巻・第2号
漢方牛歩録(245)　腰部脊椎管狭窄症	中村謙介	(68)288	2008年（平成20）・第55巻・第2号
強い身疼痛を伴う嘔吐症に対する五苓散の治効例	岡新治	(70)290	2008年（平成20）・第55巻・第2号
桂枝加附子当帰細辛人参乾姜湯による癲癇治療の1例	荘明仁	(74)294	2008年（平成20）・第55巻・第2号
新修・意釈『東洞先生答問』(6)	横田観風	(80)300	2008年（平成20）・第55巻・第2号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(21)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(87)307	2008年（平成20）・第55巻・第2号
陰陽病シリーズ(3)　陰(陽)毒を考える	小髙修司	(99)319	2008年（平成20）・第55巻・第2号

『金匱要略』平成新釈　痙湿暍病脈証第二(1)	杉山広重	(107)327	2008年（平成20）・第55巻・第2号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(33)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(113)333	2008年（平成20）・第55巻・第2号
アメリカ鍼灸随想(28)　人が消える	市橋宏樹	(118)338	2008年（平成20）・第55巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(9)　「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(127)347	2008年（平成20）・第55巻・第2号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(11)	真柳誠	(133)353	2008年（平成20）・第55巻・第2号
図書紹介　田畑隆一郎先生の『比較傷寒論』	蓮村幸兌	(140)360	2008年（平成20）・第55巻・第2号
和田耀子『忍び音の青葉木菟』	中村謙介	(141)361	2008年（平成20）・第55巻・第2号
第14回国際東洋医学会学術総会(ICOM)参加記	秋葉哲生	(142)362	2008年（平成20）・第55巻・第2号
2008年(平成20)・第55巻・第3号			2008年（平成20）・第55巻・第3号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(235) 『方伎雑誌』の自筆稿本	小曽戸洋	(2)382	2008年（平成20）・第55巻・第3号
中建中湯による瞑眩の一症例	地野充時・関矢信康・大野賢二・橋本すみれ・寺澤捷年ほか	(11)391	2008年（平成20）・第55巻・第3号
続・女子医大雑話29(166)　胃腸症状を訴える4症例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(16)396	2008年（平成20）・第55巻・第3号
下肢病変の2例	仲原靖夫	(26)406	2008年（平成20）・第55巻・第3号
漢方の玄妙　煎じ薬にあり ―頭風神方・治頭痛方―	小池加能	(33)413	2008年（平成20）・第55巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(47) 長年のアトピー性皮膚炎(主に治頭瘡一方と当帰飲子)	千田五月・田畑隆一郎・蓮村幸兌	(39)419	2008年（平成20）・第55巻・第3号
北里東医研診療録から(51) 右下腹部痛に騰竜湯が著効した一例	山田和美・大塚静英・及川哲郎・花輪壽彦	(43)423	2008年（平成20）・第55巻・第3号
癌研有明病院漢方サポート外来(10) 右腎盂癌術後。多発肺転移、呼吸不全。B1269　食道癌術後。頚部リンパ節・肺転移、呼吸不全。	星野惠津夫・井上美貴	(47)427	2008年（平成20）・第55巻・第3号
アレルギー性鼻炎の新しい病態と治療法の提言 ―風寒熱湿から陰虚―	灰本元	(57)437	2008年（平成20）・第55巻・第3号
高雄レポート(2)　半夏厚朴湯加減による疼痛、しびれ感の治療 ―半夏厚朴湯エキスによる湿温病の治療の可能性―	橋本正也・篠原明徳・小栗重統・宗本尚志	(67)447	2008年（平成20）・第55巻・第3号
東洋堂経験余話(188)　▽両耳の痒みに大承気湯　▽インフルエンザに小柴胡湯	松本一男	(76)456	2008年（平成20）・第55巻・第3号
脳血管障害に対する湯液治療	小髙修司	(79)459	2008年（平成20）・第55巻・第3号
アレルギー性疾患と考えられる足関節痛の治療	柿田秀明	(88)468	2008年（平成20）・第55巻・第3号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(22)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(95)475	2008年（平成20）・第55巻・第3号
新修・意釈『東洞先生答問』(7)	横田観風	(104)484	2008年（平成20）・第55巻・第3号
『金匱要略』平成新釈　痙湿暍病脈証第二(2)	杉山広重	(110)490	2008年（平成20）・第55巻・第3号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(10) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(116)496	2008年（平成20）・第55巻・第3号
アメリカ鍼灸随想(29)	市橋宏樹	(124)504	2008年（平成20）・第55巻・第3号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(12)	真柳誠	(133)513	2008年（平成20）・第55巻・第3号
韓国韓医学通信(第26報)	金成俊	(140)520	2008年（平成20）・第55巻・第3号
図書紹介　和田耀子著『忍び音の青葉木菟』を拝読して	秋葉哲生	(142)522	2008年（平成20）・第55巻・第3号
2008年(平成20)・第55巻・第4号			2008年（平成20）・第55巻・第4号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(236)　福井楓亭の肖像	天野陽介・小曽戸洋	(2)542	2008年（平成20）・第55巻・第4号
巻頭言／編集委員長拝命の弁	秋葉哲生	(11)551	2008年（平成20）・第55巻・第4号
慢性疾患に対する桂枝人参湯の治療効果	宮崎瑞明・盛克己	(13)553	2008年（平成20）・第55巻・第4号
柿蔕湯(していとう)が著効した肝細胞癌破裂後吃逆(しゃっくり)の1例	田村博文	(27)567	2008年（平成20）・第55巻・第4号
インフルエンザと類似風邪の漢方鍼灸治療	南利雄	(32)572	2008年（平成20）・第55巻・第4号
インフルエンザの漢方治療症例報告	三上恒正	(38)578	2008年（平成20）・第55巻・第4号
インフルエンザの漢方治療症例報告	平野進	(39)579	2008年（平成20）・第55巻・第4号
北里東医研診療録から(52) 顔面症状を伴った頭痛に加味逍遙散散料が奏効した3症例	五野由佳理・早崎知幸・齋藤絵美・花輪壽彦	(40)580	2008年（平成20）・第55巻・第4号
続・女子医大雑話30(167)　不眠症の症例	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信	(46)586	2008年（平成20）・第55巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(48) 心下痞鞕して噫気治まらず、便秘する旋覆花代赭石湯	田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月	(52)592	2008年（平成20）・第55巻・第4号
漢方牛歩録(246)　顔面打撲後の頭部しびれ感、慢性便秘	中村謙介	(58)598	2008年（平成20）・第55巻・第4号
東洋堂経験余話(189)　▽感冒で体痛、腹痛、下利に真武湯▽感冒の咳嗽にに小陥胸湯	松本一男	(60)600	2008年（平成20）・第55巻・第4号
過敏性腸症候群(下痢型)に桂枝加葛根湯が有効だった1例	貝沼茂三郎・古庄憲浩・木村豪雄・三渚忠道・林　純	(63)603	2008年（平成20）・第55巻・第4号
補中益気湯エキス合大黄末で軽減した寝たきり老人の浮腫	中田薫	(67)607	2008年（平成20）・第55巻・第4号
花粉症＝陰虚の論を駁す	小髙修司	(71)611	2008年（平成20）・第55巻・第4号
新修・意釈『東洞先生答問』(8)	横田観風	(75)615	2008年（平成20）・第55巻・第4号

兵庫県立東洋医学研究所の歩み(上)	松本克彦	(81)621	2008年(平成20)・第55巻・第4号
『金匱要略』平成新釈　痙湿暍病脈証第二(3)	杉山広重	(89)621	2008年(平成20)・第55巻・第4号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(11) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(96)636	2008年(平成20)・第55巻・第4号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(13)	真柳誠	(101)641	2008年(平成20)・第55巻・第4号
アメリカ鍼灸随想(30)	市橋宏樹	(107)647	2008年(平成20)・第55巻・第4号
「極」の字の語源的考察と六極論について ―范行準氏輯集『刪繁方』にもとづいて―	杉山広重	(117)657	2008年(平成20)・第55巻・第4号
図書紹介 『宋以前傷寒論考』について(要約)	郭秀梅	(121)661	2008年(平成20)・第55巻・第4号
森枳園生誕二百年祭の報告	天野陽介	(126)666	2008年(平成20)・第55巻・第4号
第2回小倉記念木更津漢方セミナーに参加して	笠原裕司	(128)668	2008年(平成20)・第55巻・第4号
台湾台北市の「神農宮」を訪ねて	金成俊	(132)672	2008年(平成20)・第55巻・第4号
小太郎漢方製薬(株)社長 鈴木五郎氏を偲ぶ	菊谷豊彦	(135)675	2008年(平成20)・第55巻・第4号
2008(平成20)年・第55巻・第5号			2008(平成20)年・第55巻・第5号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(237) 山脇玄心の書と肖像	小曽戸洋・町泉寿郎・天野陽介	(2)694	2008(平成20)年・第55巻・第5号
インタビュー　学術総会の開催に当たって	荒井啓行	(11)703	2008(平成20)年・第55巻・第5号
原著論文／呉茱萸湯著効例の呈した症候に基づいた使用目標の検討	関矢信康・林克美・並木隆雄・寺澤捷年 ほか	(17)709	2008(平成20)年・第55巻・第5号
治療経験・葛根湯加桔梗石膏(葛根湯エキス＋桔梗石膏エキス)が著効した2例～急性扁桃炎症例と義歯不適合による急性炎症性口腔潰瘍例～	梶井信洋	(23)715	2008(平成20)年・第55巻・第5号
真武湯の便秘への応用－生体が「排便を欲していない」がゆえの便秘症状－	伊藤康雄・山崎由佳里	(29)721	2008(平成20)年・第55巻・第5号
越婢加朮湯合三物黄芩湯が奏効したHand-foot syndromeの1例	木村豪雄・中村佳子・三潴忠道	(41)733	2008(平成20)年・第55巻・第5号
西洋医学的治療では難治性であった便通異常に延年半夏湯が奏効した1例	王子剛・笠原裕司・小川恵子・寺澤捷年 ほか	(45)737	2008(平成20)年・第55巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(49) 孫の治療治験　その1	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎	(49)741	2008(平成20)年・第55巻・第5号
続・女子医大雑話31(168) 虚証の3症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美	(58)750	2008(平成20)年・第55巻・第5号
北里東医研診療録から(53) 猪苓湯が著効した慢性蕁麻疹の1例	望月良子・卯木希代子・早崎知幸・花輪壽彦	(64)756	2008(平成20)年・第55巻・第5号
漢方牛歩録(247) 外傷性末梢神経炎の2例・乳児のアトピー性皮膚炎	中村謙介	(68)760	2008(平成20)年・第55巻・第5号
東洋堂経験余話(190) ▽慢性膀胱炎に清心蓮子飲▽湿疹に真武湯	松本一男	(70)762	2008(平成20)年・第55巻・第5号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(23)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子 ほか	(73)765	2008(平成20)年・第55巻・第5号
新修・意釈『東洞先生答問』(9)	横田観風	(80)772	2008(平成20)年・第55巻・第5号
『金匱要略』平成新釈　痙湿暍病脈証第二(4)	杉山広重	(85)777	2008(平成20)年・第55巻・第5号
意釈『審視瑶函』(傅仁宇著)(34)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(91)783	2008(平成20)年・第55巻・第5号
アメリカ鍼灸随想(31) 小児針 その1	市橋宏樹	(97)789	2008(平成20)年・第55巻・第5号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(12) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(106)798	2008(平成20)年・第55巻・第5号
兵庫県立東洋医学研究所の歩み(下)	松本克彦	(113)805	2008(平成20)年・第55巻・第5号
韓国韓医学通信(第27報)	金成俊	(121)813	2008(平成20)年・第55巻・第5号
2008(平成20)年・第55巻・第6号			2008(平成20)年・第55巻・第6号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(238) 杉山検校の座像と高野山墓碑	大浦宏勝・市川友理	(2)838	2008(平成20)年・第55巻・第6号
慢性疲労症候群に対する漢方治療の効果	盛克己・宮崎瑞明	(11)847	2008(平成20)年・第55巻・第6号
漢方治療が奏効した夫婦例	関矢信康・寺澤捷年	(27)863	2008(平成20)年・第55巻・第6号
小陥胸湯合小柴胡湯により、その後良好な経過を辿っている 長年続いた喘息発作の一例	大関潤一	(31)867	2008(平成20)年・第55巻・第6号
北里東医研診療録から(54) 三黄瀉心湯が有効であった4症例	早崎知幸・小田口浩・五野由佳理・花輪壽彦	(40)876	2008(平成20)年・第55巻・第6号
続・女子医大雑話32(169) 真武湯で治療した3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子	(45)881	2008(平成20)年・第55巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(50) アトピー性皮膚炎(温経湯)の症例	千田五月・田畑隆一郎・蓮村幸兌	(51)887	2008(平成20)年・第55巻・第6号
高雄レポート(3) 半夏瀉心湯加減により胃痛、腹痛を伴う下痢症が極めて早期に消失した一症例	小栗重統・橋本正也・篠原明徳・宗本尚志	(57)893	2008(平成20)年・第55巻・第6号
漢方牛歩録(248) 慢性頭痛・胸鎖関節部の粘液嚢腫	中村謙介	(60)896	2008(平成20)年・第55巻・第6号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(24)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子 ほか	(62)898	2008(平成20)年・第55巻・第6号
気血水と皮膚疾患	二宮文乃	(69)905	2008(平成20)年・第55巻・第6号
『金匱要略』における婦人科疾患の漢方治療	金倉洋一	(77)913	2008(平成20)年・第55巻・第6号
東洋堂経験余話(191) ▽頑固な口内炎に清熱補気湯▽慢性胃炎に平胃散料加茯苓・白朮・黄連・山梔子	松本一男	(89)925	2008(平成20)年・第55巻・第6号
転居先の気象条件を考慮し薬方を変更したアレルギー性鼻炎の一例	廣橋義和	(93)929	2008(平成20)年・第55巻・第6号
新修・意釈『東洞先生答問』(10)	横田観風	(97)933	2008(平成20)年・第55巻・第6号

菌桂の記載について	桜井謙介	(103)939	2008(平成20)年・第55巻・第6号
『金匱要略』平成新釈　瘧病脈証并治第四(1)	杉山広重	(107)943	2008(平成20)年・第55巻・第6号
アメリカ鍼灸随想(32)　小児針 その2	市橋宏樹	(113)949	2008(平成20)年・第55巻・第6号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(13) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(123)959	2008(平成20)年・第55巻・第6号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(14)	真柳誠	(129)965	2008(平成20)年・第55巻・第6号
トピックス　尾台榕堂講演会ほか		(136)972	2008(平成20)年・第55巻・第6号
韓国韓医学通信(第28報)	金成俊	(138)974	2008(平成20)年・第55巻・第6号
2008(平成20)年・第55巻・第7号			2008(平成20)年・第55巻・第7号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(239) 森立之の書と「自作寿蔵之紙碑」	町泉寿郎	(2)994	2008(平成20)年・第55巻・第7号
体重増加を指標とした五苓散の妊娠浮腫治療効果の検討	槇本深・金城誠吉・菊田香織・吉川徹・秋山實男	(11)1003	2008(平成20)年・第55巻・第7号
インフルエンザに対する漢方薬の積極的運用	今中政支・峯尚志・山崎武俊	(20)1012	2008(平成20)年・第55巻・第7号
漢方薬服用患者における健康食品の使用実態	小林文子・緒方千秋・金成俊	(27)1019	2008(平成20)年・第55巻・第7号
東海鍼灸医案(1)　腰下肢の痛みとしびれ	髙士将典・荒井勝彦	(36)1028	2008(平成20)年・第55巻・第7号
癌研有明病院漢方サポート外来(11) 子宮体癌術後、帯状疱疹後神経痛。肺癌放射線化学療法後、左上肢のしびれと痒み。	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳	(41)1033	2008(平成20)年・第55巻・第7号
続・女子医大雑話33(170) 脊柱管狭窄症に当帰四逆加呉茱萸生姜湯 ほか	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾	(50)1042	2008(平成20)年・第55巻・第7号
漢方牛歩録(249) 頚椎捻挫による腕神経不全麻痺・年来の片頭痛	中村謙介	(55)1047	2008(平成20)年・第55巻・第7号
北里東医研診療録から(55) 慢性湿疹に加味逍遙散料が奏功した2症例	伊東秀憲・望月良子・齋藤絵美・及川哲郎・村主明彦・花輪壽彦	(57)1049	2008(平成20)年・第55巻・第7号
東洋堂経験余話(192)　▽大便失禁に芍薬甘草湯▽腰痛に五積散料加附子	松本一男	(64)1056	2008(平成20)年・第55巻・第7号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(25)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子	(67)1059	2008(平成20)年・第55巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(51) 続 畑の中の面々(その1)	鈴木寛彦・田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月	(73)1065	2008(平成20)年・第55巻・第7号
第3回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅰ 〔シンポジウム〕		(81)1073	2008(平成20)年・第55巻・第7号
「水」を語る(1) 証と方剤について	赤尾清剛	(82)1074	2008(平成20)年・第55巻・第7号
「水」を語る(2) 誤嚥性肺炎に於ける水(津液)の問題	田澤寛子	(85)1077	2008(平成20)年・第55巻・第7号
新修・意釈『東洞先生答問』(11)	横田観風	(95)1087	2008(平成20)年・第55巻・第7号
アメリカ鍼灸随想(33)　暑気あたりのバライェティー	市橋宏樹	(101)1093	2008(平成20)年・第55巻・第7号
『金匱要略』平成新釈　瘧病脈証并治第四(2)	杉山広重	(110)1102	2008(平成20)年・第55巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(14) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(116)1108	2008(平成20)年・第55巻・第7号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(15)	真柳誠	(121)1113	2008(平成20)年・第55巻・第7号
劉杰氏著『中国八卦本草』を読む ー気味を中心の分類体系についてー	杉山広重	(127)1119	2008(平成20)年・第55巻・第7号
私と漢方	渋谷恵子	(129)1121	2008(平成20)年・第55巻・第7号
漢方界トピックス／ 寺澤捷年氏、矢数医史学賞受賞		(131)1123	2008(平成20)年・第55巻・第7号
2008(平成20)年・第55巻・第8号			2008(平成20)年・第55巻・第8号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(240) 扁鵲像—狩野探幽と狩野主信	小曽戸洋・天野陽介	(2)1142	2008(平成20)年・第55巻・第8号
疾患別座談会／神経疾患の漢方治療	柴原直利・三谷和男・若山育郎・村松慎一〔司会〕	(11)1151	2008(平成20)年・第55巻・第8号
癌研有明病院漢方サポート外来(12) 乳癌。術前化学療法中のホットフラッシュと過換気症候群。 乳癌術後、化学療法後。ホルモン療法中のホットフラッシュと不眠。乳癌術後、放射線治療後。ホルモン療法中のホットフラッシュと悪夢	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳	(35)1175	2008(平成20)年・第55巻・第8号
北里東医研診療録から(56) 東医研における百合固金湯の臨床報告	石井恵美・早崎知幸・山田和美・花輪壽彦	(43)1183	2008(平成20)年・第55巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(52) 水と油は混じり合った—桂姜棗草黄辛附湯	田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月・鈴木寛彦	(50)1190	2008(平成20)年・第55巻・第8号
続・女子医大雑話34(171)　小建中湯、黄耆建中湯の症例	久米由美・新井信・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(57)1197	2008(平成20)年・第55巻・第8号
東海鍼灸医案(2)　頚部痛	髙士将典・荒井勝彦	(64)1204	2008(平成20)年・第55巻・第8号
東洋堂経験余話(193)　▽アトピー性皮膚炎に消風散料▽子宮脱に桂枝茯苓丸料	松本一男	(69)1209	2008(平成20)年・第55巻・第8号
漢方牛歩録(250)　痔核の炎症・胸廓出口症候群・神経衰弱	中村謙介	(72)1212	2008(平成20)年・第55巻・第8号
私と漢方(2)	渋谷恵子	(74)1214	2008(平成20)年・第55巻・第8号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(26)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子	(77)1217	2008(平成20)年・第55巻・第8号
第3回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅱ 〔シンポジウム〕		(85)1225	2008(平成20)年・第55巻・第8号

「水」を語る(3) 寺澤スコア診断を用いた気・血・水の異常 -特にシェーグレン症候群及びその類症を中心とした症例-	前田學	(86)1226	2008(平成20)年・第55巻・第8号
「水」を語る(4) 水毒の症候と治療	青山重雄	(97)1237	2008(平成20)年・第55巻・第8号
「水」を語る(5) 化湿・利水剤を用いためまい・耳鳴の治療経験	山際幹和	(102)1242	2008(平成20)年・第55巻・第8号
新修・意釈『東洞先生答問』(12)	横田観風	(109)1249	2008(平成20)年・第55巻・第8号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(15) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(114)1254	2008(平成20)年・第55巻・第8号
アメリカ鍼灸随想(34) 夏の気候のアタック	市橋宏樹	(119)1259	2008(平成20)年・第55巻・第8号
『金匱要略』平成新釈 臓腑経絡先後病脈証第一(1)	杉山広重	(131)1271	2008(平成20)年・第55巻・第8号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(16)	真柳誠	(141)1281	2008(平成20)年・第55巻・第8号
2008(平成20)年・第55巻・第9号			2008(平成20)年・第55巻・第9号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(241) 大谷文書5467号の『本草集注』	猪飼祥夫	(2)1302	2008(平成20)年・第55巻・第9号
高齢者における抑肝散の効果	熊切力・村上敦浩	(11)1311	2008(平成20)年・第55巻・第9号
桂枝湯エキス剤への桂皮末及び葛根末加味有効例の検討	盛克己・宮崎瑞明	(25)1325	2008(平成20)年・第55巻・第9号
続・女子医大雑話35(172) 気道症状を訴える3症例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(36)1336	2008(平成20)年・第55巻・第9号
北里東医研診療録から(57) 十味敗毒湯加菊花・車前子による漢方治療が奏効した霰粒腫の一症例	伊藤剛・及川哲郎・鈴木邦彦・早崎知幸・花輪壽彦	(43)1343	2008(平成20)年・第55巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(53) 柴胡剤の強弱…夫の風邪	蓮村幸兌・千田五月・鈴木寛彦・田畑隆一郎	(48)1348	2008(平成20)年・第55巻・第9号
高雄レポート(4) 皮膚疾患に対する酸棗仁の使用－寧肌湯について(1)	橋本正也・小栗重統・篠原明徳・宗本尚志	(56)1356	2008(平成20)年・第55巻・第9号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(27)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子	(63)1363	2008(平成20)年・第55巻・第9号
東洋堂経験余話(194) ▽両耳内の痒みに大承気湯 ▽感冒に小柴胡湯	松本一男	(71)1371	2008(平成20)年・第55巻・第9号
漢方牛歩録(251) 頚腕症候群・足趾背屈筋腱炎・両手の振戦	中村謙介	(74)1374	2008(平成20)年・第55巻・第9号
“WTTC加霊芝、梅寄生“の再発を繰り返す性器ヘルペス、口唇ヘルペスへの有効性	土方康世・山田聖佳・安原昭博	(76)1376	2008(平成20)年・第55巻・第9号
新修・意釈『東洞先生答問』(13)	横田観風	(81)1381	2008(平成20)年・第55巻・第9号
私と漢方(3)	渋谷恵子	(86)1386	2008(平成20)年・第55巻・第9号
アメリカ鍼灸随想(35) 感情異常	市橋宏樹	(89)1389	2008(平成20)年・第55巻・第9号
『金匱要略』平成新釈 臓腑経絡先後病脈証第一(2)	杉山広重	(101)1401	2008(平成20)年・第55巻・第9号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(16) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(111)1411	2008(平成20)年・第55巻・第9号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(17)	真柳誠	(117)1417	2008(平成20)年・第55巻・第9号
韓国韓医学通信(第29報)	金成俊	(121)1421	2008(平成20)年・第55巻・第9号
杏雨書屋所蔵『医家肖像集』をひもといて	杉山広重	(123)1423	2008(平成20)年・第55巻・第9号
2008(平成20)年・第55巻・第10号			2008(平成20)年・第55巻・第10号
〔口絵〕 目でみる漢方史料館(242) 大谷文書8096号の灸文献	猪飼祥夫	(2)1446	2008(平成20)年・第55巻・第10号
＜ワークショップ＞ 漢方調剤に必要な臨床的知識〔青山薬局篇〕	杵渕彰・伊藤亜希・坂本壮一郎・山岡法子・渡辺賢治〔司会〕	(11)1455	2008(平成20)年・第55巻・第10号
右手指切断後の幻肢痛・断端痛に対し当帰芍薬散料加烏頭が有効であった一例	小尾龍右・藤本誠・野崎和也・引網宏彰・後藤博三ほか	(35)1479	2008(平成20)年・第55巻・第10号
北里東医研診療録から(58) 承気湯類により、ほてり感が著明に改善した2例	山田和美・望月良子・花輪壽彦	(40)1484	2008(平成20)年・第55巻・第10号
続・女子医大雑話36(173) 桂姜棗草黄辛附湯、参蘇飲、八味丸の症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美	(44)1488	2008(平成20)年・第55巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(54) のぼせの症例(黄連解毒湯と苓桂味甘湯)	千田五月・鈴木寛彦・田畑隆一郎・蓮村幸兌	(50)1494	2008(平成20)年・第55巻・第10号
漢方牛歩録(252) 慢性胃炎と両手の皮膚炎・自律神経失調症	中村謙介	(56)1500	2008(平成20)年・第55巻・第10号
東洋堂経験余話(195) 口内炎に柴胡桂枝湯加黄連ほか	松本一男	(58)1502	2008(平成20)年・第55巻・第10号
高雄レポート(5) 滋陰法による頭痛の治療	橋本正也・小栗重統・篠原明徳・宗本尚志	(61)1505	2008(平成20)年・第55巻・第10号
東海鍼灸医案(3)肩凝り症	髙士将典・荒井勝彦	(71)1515	2008(平成20)年・第55巻・第10号
桂皮の薬理作用と命門	伊藤康雄・山崎由佳里	(75)1519	2008(平成20)年・第55巻・第10号
新修・意釈『東洞先生答問』(14)	横田観風	(82)1526	2008(平成20)年・第55巻・第10号
脾虚に対する、五行学説、相生の応用	土方康世・高津尚子・福島真美代	(89)1533	2008(平成20)年・第55巻・第10号
アメリカ鍼灸随想(36)坩堝の中の財宝さがし	市橋宏樹	(97)1541	2008(平成20)年・第55巻・第10号
意釈『審視瑤函』(傅仁宇著)(35)	斉藤宗則・孫基然・黒木悟・安井廣迪	(107)1551	2008(平成20)年・第55巻・第10号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(18)	真柳誠	(111)1555	2008(平成20)年・第55巻・第10号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(17) 「常陸国延喜式雑薬」からのアプローチ	齊藤匡男	(118)1562	2008(平成20)年・第55巻・第10号
平成20年度の東亜医学協会賞授賞式の報告	秋葉哲生	(124)1568	2008(平成20)年・第55巻・第10号
漢方界トピックス／吉益東洞顕彰会開催	山崎正寿	(126)1570	2008(平成20)年・第55巻・第10号

第18回漢方治療研究会、千葉大で開催	井上さおり	(129)1573	2008(平成20)年・第55巻・第10号
図書紹介『医学生のための漢方医学』基礎編の出版を喜ぶ	中田敬吾	(138)1582	2008(平成20)年・第55巻・第10号
2008(平成20)年・第55巻・第11号＜東亜医学協会創立70周年記念号＞			2008(平成20)年・第55巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(243) 大谷文書8097号の本草文献	猪飼祥夫	(2)1598	2008(平成20)年・第55巻・第11号
東亜医学協会創立70周年記念号によせて	秋葉哲生	(11)1607	2008(平成20)年・第55巻・第11号
〔私の心に残る症例〕 歩行不能・脊髄繋留症候群患者の治療記録	山田光胤	(12)1608	2008(平成20)年・第55巻・第11号
八味丸随想	鎌田慶市郎	(15)1611	2008(平成20)年・第55巻・第11号
萎証方と灸頭鍼が有効であった筋萎縮性側索硬化症の1例	伊藤隆	(17)1613	2008(平成20)年・第55巻・第11号
コロンボ症候群	村松慎一	(21)1617	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	桑木崇秀	(24)1620	2008(平成20)年・第55巻・第11号
成人期アトピー性皮膚炎の漢方治療－特に白虎加桂枝湯加味の治療効果について－	岡利幸	(29)1625	2008(平成20)年・第55巻・第11号
書痙に類似した理容師の難治性手指攣縮発作の1例	宮崎瑞明・盛克己	(35)1631	2008(平成20)年・第55巻・第11号
あるリュウマチの婦人	岩崎勲	(43)1639	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	田中まち子	(47)1643	2008(平成20)年・第55巻・第11号
心に残る症例	原敬二郎	(51)1647	2008(平成20)年・第55巻・第11号
ガングリオンと麻杏薏甘湯	中田敬吾	(53)1649	2008(平成20)年・第55巻・第11号
不問診	大友一夫	(56)1652	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る患者さん	松本一男	(59)1655	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	伊藤嘉紀	(65)1661	2008(平成20)年・第55巻・第11号
移精変気の経験	新井信	(70)1666	2008(平成20)年・第55巻・第11号
印象に残った中建中湯の2例	室賀一宏	(74)1670	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	本間行彦	(77)1673	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	田原英一	(80)1678	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残った患者さん	二宮文乃	(83)1679	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	菊谷豊彦	(90)1686	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私の心に残る症例	木下勤	(93)1681	2008(平成20)年・第55巻・第11号
こころに残る症例	渡辺賢治	(97)1693	2008(平成20)年・第55巻・第11号
〔東亜医学協会70周年記念論文〕 昭和9年漢方標榜運動と奥田謙蔵	秋葉哲生	(100)1705	2008(平成20)年・第55巻・第11号
続・女子医大雑話37(174) 抑肝散で治療した3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子	(109)1705	2008(平成20)年・第55巻・第11号
北里東医研診療録から(59) 目と耳のアレルギー症状に桂枝去芍薬湯が有効であった1症例	小田口浩・伊東秀憲・五野由佳理ほか	(116)1712	2008(平成20)年・第55巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(55) 病位のうらおもてーもう一つの漢方　治療原則を求めて	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(119)1715	2008(平成20)年・第55巻・第11号
漢方牛歩録(253)	中村謙介	(126)1722	2008(平成20)年・第55巻・第11号
癌の漢方治療に思う	長坂和彦	(128)1724	2008(平成20)年・第55巻・第11号
東海鍼灸医案(4)ぎっくり腰	髙士将典・荒井勝彦	(131)1727	2008(平成20)年・第55巻・第11号
アメリカ鍼灸随想(37)気毒とはお気の毒	市橋宏樹	(135)1731	2008(平成20)年・第55巻・第11号
新修・意釈『東洞先生答問』(15)	横田観風	(145)1741	2008(平成20)年・第55巻・第11号
私と漢方(4)	渋谷恵子	(151)1747	2008(平成20)年・第55巻・第11号
台湾訪書館Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(19)	真柳誠	(153)1749	2008(平成20)年・第55巻・第11号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(18)	齊藤匡男	(159)1755	2008(平成20)年・第55巻・第11号
韓国韓医学通信(第30報)	金成俊	(164)1760	2008(平成20)年・第55巻・第11号
STUDIES ON THE ANTI_INFLAMMATORY AND ANTIPYRETIC ACTIVITY OF AQUEOUS EXTRACT OF PARQUETINA NIGRESCENS LEAVES IN MALE ALBINO RATS	Nafiu B. Abdulrazaq, Victor B.Owoyele etc.	(177)1773	2008(平成20)年・第55巻・第11号
2008(平成20)年・第55巻・第12号			2008(平成20)年・第55巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(244) 大谷文書中の薬方書文献	猪飼祥夫	(2)1790	2008(平成20)年・第55巻・第12号
インタビュー／漢方宝談　細野八郎先生	細野八郎 〔聞き手〕村松慎一・並木隆雄	(11)1799	2008(平成20)年・第55巻・第12号
臨床報告／補気剤の投与により起立性調節障害及び不登校が改善した一例	地野充時・関屋信康・大野賢二・寺澤捷年ほか	(41)1829	2008(平成20)年・第55巻・第12号
2007／2008シーズンにおけるインフルエンザに対する漢方薬単独治療の経験	森由雄	(47)1835	2008(平成20)年・第55巻・第12号
北里東医研診療録から(60) 続発性無月経に合併した尋常性座瘡に抑肝散科が奏効した1例	望月良子・洪里和良・花輪壽彦ほか	(57)1845	2008(平成20)年・第55巻・第12号
癌研有明病院漢方サポート外来(13) 腹腔鏡下幽門温存胃部分切除術後の食欲不振と体重減少ほか	星野惠津夫	(63)1851	2008(平成20)年・第55巻・第12号
五苓散による流涎に対する効果	藤井英子・福居義久	(70)1858	2008(平成20)年・第55巻・第12号

続女子医大雑話38(175) 漢方を信じ切ることができなかった2例	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾	(73)1861	2008(平成20)年・第55巻・第12号
東洋堂経験余話(196) 鼻のアレルギーのための体調不良に柴胡清肝散料ほか	松本一男	(77)1865	2008(平成20)年・第55巻・第12号
漢方牛歩録(254) むくみを伴う多発性関節炎・悪心嘔吐と後鼻漏	中村謙介	(80)1868	2008(平成20)年・第55巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(56) 続畑の中の面々(その2)	鈴木寛彦・田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月	(82)1870	2008(平成20)年・第55巻・第12号
慶應大学輪読会 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(28)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子ほか	(88)1876	2008(平成20)年・第55巻・第12号
東海鍼灸医案(5)便秘症	髙士将典・荒井勝彦	(97)1885	2008(平成20)年・第55巻・第12号
小建中湯は傷寒に適応しない！	斎藤謙一	(101)1889	2008(平成20)年・第55巻・第12号
新修・意釈『東洞先生答問』(16)	横田観風	(110)1898	2008(平成20)年・第55巻・第12号
天数と「男性の大厄(更年期)は二回ある」の説及び最近の中国の「男科」などについて	杉山広重	(116)1904	2008(平成20)年・第55巻・第12号
アメリカ鍼灸随想(38) まとわりつく気毒(上)	市橋宏樹	(120)1908	2008(平成20)年・第55巻・第12号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(19) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(2)	齊藤匡男	(130)1918	2008(平成20)年・第55巻・第12号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(20)	真柳誠	(135)1923	2008(平成20)年・第55巻・第12号
なぜ漢方を科学的に研究するのか？ ―その理由と心構え	古谷陽一	(140)1928	2008(平成20)年・第55巻・第12号
台湾伝統医学の眺望⑩	宮崎瑞明・盛克己	(142)1930	2008(平成20)年・第55巻・第12号
漢方界トピックス／漢方学術大会ほか		(147)1935	2008(平成20)年・第55巻・第12号
2009(平成21)年・第56巻・第1号			2009(平成21)年・第56巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(245) 多紀元簡・片倉鶴陵賛の張伸景像	町泉寿郎・小曽戸洋・天野陽介	(2)2	2009(平成21)年・第56巻・第1号
平成21年(2009年) 新年のことば 〔131名〕		(9)9	2009(平成21)年・第56巻・第1号
原著論文／冬季の上気道感染発症を予測できるか？ ―気虚に基づく診断モデルの提案	古谷陽一・折笠秀樹・山本樹・中田真司・岡洋志・渡辺哲郎・引網宏彰・嶋田豊	(99)99	2009(平成21)年・第56巻・第1号
続 女子医大雑話39(176) ほてりの4症例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅	(107)107	2009(平成21)年・第56巻・第1号
北里東医研診療録から(61) 潰瘍性大腸炎に対する漢方治療 ～当施設における初診患者の検討を含めて～	及川哲郎・伊藤剛・鈴木邦彦・早崎知幸・花輪壽彦	(117)117	2009(平成21)年・第56巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(57) 風邪報告	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(123)123	2009(平成21)年・第56巻・第1号
＜第18回漢方治療研究会講演＞発熱を繰り返す膿胸・癌性胸膜炎に人参養栄湯(聖剤総録)が 有効であった1例	引網宏彰ほか	(129)129	2009(平成21)年・第56巻・第1号
＜第18回漢方治療研究会講演＞高齢者の巨大・難治性口内炎に対して清熱補気湯の加味方が奏効した一例	西田愼二ほか	(136)136	2009(平成21)年・第56巻・第1号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(29)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(140)140	2009(平成21)年・第56巻・第1号
東洋堂経験余話(197) 項靱帯石灰化症に桂枝加芩朮附湯ほか	松本一男	(145)145	2009(平成21)年・第56巻・第1号
東海鍼灸医案(6) 帯状疱疹後神経痛	髙士将典・荒井勝彦	(149)149	2009(平成21)年・第56巻・第1号
【長坂論文に応えて】前立腺ガンの湯液治療	小髙修司	(153)153	2009(平成21)年・第56巻・第1号
アメリカ鍼灸随想(39) まとわりつく気毒(下)	市橋宏樹	(162)162	2009(平成21)年・第56巻・第1号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(20) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(3)	齊藤匡男	(173)173	2009(平成21)年・第56巻・第1号
私と漢方(5)	渋谷恵子	(178)178	2009(平成21)年・第56巻・第1号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(21)	真柳誠	(181)181	2009(平成21)年・第56巻・第1号
韓国韓医学通信(第31報)	金成俊	(185)185	2009(平成21)年・第56巻・第1号
2009(平成21)年・第56巻・第2号			2009(平成21)年・第56巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(246) 加藤謙斎の肖像一新出	町泉寿郎・小曽戸洋・天野陽介	(2)202	2009(平成21)年・第56巻・第2号
【藤門会結成40周年記念『傷寒論』特集(上)】 藤門会(藤平健門下の会)発足の経緯について	山ノ内愼一	(12)212	2009(平成21)年・第56巻・第2号
『傷寒論』にみる上熱下寒について	福田佳弘	(13)213	2009(平成21)年・第56巻・第2号
葛根黄芩黄連湯について	岩崎勲	(28)228	2009(平成21)年・第56巻・第2号
小柴胡湯についての考察	久保田達也	(34)234	2009(平成21)年・第56巻・第2号
大承気湯について	長坂和彦	(48)248	2009(平成21)年・第56巻・第2号
小児気管支肺炎に対する柴陷湯増量頻回投与の治療経験	立花秀俊・足立晃子	(53)253	2009(平成21)年・第56巻・第2号
不眠の一例	関矢信康・笠原裕司・平崎能郎・寺澤捷年	(61)261	2009(平成21)年・第56巻・第2号
北里東医研診療録から(62) 円形脱毛症に十全大補揚が著効した3症例	洪里和良・石井恵美・鈴木邦彦・村主明彦・花輪壽彦	(64)264	2009(平成21)年・第56巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(58) 鼻つまり・副鼻腔炎の症例	千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌	(71)271	2009(平成21)年・第56巻・第2号

＜第18回漢方治療研究会講演＞ 術後の難治性便秘症に対する小承気湯・厚朴三物湯の1症例	岡新治	(77)277	2009（平成21）年・第56巻・第2号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ エキス製剤ではコントロール困難であったレイノー現象に対して当帰四逆加呉茱萸生姜湯加減が著効した1例	有光潤介ほか	(84)284	2009（平成21）年・第56巻・第2号
中高年女性のふらつき、めまい感に対する補陽還五湯及び加減方の効果	土方康世・山田聖佳	(89)289	2009（平成21）年・第56巻・第2号
漢方牛歩録(255)　疝　寒冷刺激で増悪する腰痛と腹痛	中村謙介	(96)296	2009（平成21）年・第56巻・第2号
東洋堂経験余話(198)　出産後からの酷い冷え症に五積散料加附子ほか	松本一男	(98)298	2009（平成21）年・第56巻・第2号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(30)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子ほか	(101)301	2009（平成21）年・第56巻・第2号
東海鍼灸医案(7)関節リウマチ	髙士将典・荒井勝彦	(109)309	2009（平成21）年・第56巻・第2号
「先食」について	桜井謙介	(114)314	2009（平成21）年・第56巻・第2号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ 弓部大動脈人工血管置換術後に増悪した右眼奥の煩躁痛に対し奏効した清上蠲痛湯の一例	間瀬信行	(118)318	2009（平成21）年・第56巻・第2号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ 夜間増悪する痒みを伴う発疹に黄連阿膠湯を用いた一例	大野佳織	(122)322	2009（平成21）年・第56巻・第2号
新修・意釈『東洞先生答問』(17)	横田観風	(125)325	2009（平成21）年・第56巻・第2号
秋田魁新報記事に見る1918年から1919年にかけてのスペイン風邪流行状況	秋葉哲生・渡辺賢治	(131)331	2009（平成21）年・第56巻・第2号
アメリカ鍼灸随想(40)　不況の中のラッキーな就職	市橋宏樹	(143)343	2009（平成21）年・第56巻・第2号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(22)	真柳誠	(155)355	2009（平成21）年・第56巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(21) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(4)	齊藤匡男	(161)361	2009（平成21）年・第56巻・第2号
私と漢方(6)	渋谷恵子	(166)366	2009（平成21）年・第56巻・第2号
父の旅立ち　「旅立ち再び」「布団袋」への返答	笠原清和	(168)368	2009（平成21）年・第56巻・第2号
2009(平成21)年・第56巻・第3号			2009（平成21）年・第56巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(247)漢代の性具	猪飼祥夫	(2)386	2009（平成21）年・第56巻・第3号
巻頭言／日本の漢方医学の特徴	安井廣迪	(11)395	2009（平成21）年・第56巻・第3号
インタビュー／国産生薬を語る(上)	福田眞三 〔聞き手〕金成俊	(13)397	2009（平成21）年・第56巻・第3号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ ばね指の手術後に残存した右手栂指の激痛に小陥胸湯加味方が奏効した一例	大関潤一・奈良範子・山田宏之・中田克雄	(25)409	2009（平成21）年・第56巻・第3号
【藤門会結成40周年記念『傷寒論』特集(中)】 大青竜湯が奏効した慢性に経過した「右側半身の腫脹感と痛み」の一症例	頼建守	(36)420	2009（平成21）年・第56巻・第3号
五苓散加祝実梔子の経験	中村謙介	(49)433	2009（平成21）年・第56巻・第3号
のどはなこ(喉鼻粉)ー仲景方からの創薬ー	大友一夫	(58)442	2009（平成21）年・第56巻・第3号
加味逍遙散加地骨皮荊芥が奏効した難治性皮膚疾患の2症例	関矢信康・笠原裕司・地野充時・並木隆雄・寺澤捷年ほか	(75)459	2009（平成21）年・第56巻・第3号
五積散・白虎加人参湯・苓桂朮甘湯の三種エキス剤同時使用が有効であった上熱下冷の一例	三浦於菟・河野吉成・板倉英俊・斉藤輝夫ほか	(79)463	2009（平成21）年・第56巻・第3号
癌研有明病院漢方サポート外来(14) 舌根癌、放射線化学療法・手術後。声が出ない。ほか	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳・野萱純子	(87)471	2009（平成21）年・第56巻・第3号
続女子医大雑話40(177) 月経困難症の症例	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井　信	(95)479	2009（平成21）年・第56巻・第3号
北里東医研診療録から(63) 不正性器出血を主訴とした症例に十全大補湯が有効であった2例	斎藤絵美・花輪壽彦ほか	(103)487	2009（平成21）年・第56巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(59) 二十四年目のお客	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(110)494	2009（平成21）年・第56巻・第3号
【心に残った漢方】 苓桂甘棗湯(2週間でモデルのようにきれいになった子)	田村嘉章	(116)500	2009（平成21）年・第56巻・第3号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ 糖尿病性足壊症の漢方治療について	永井　良樹	(120)504	2009（平成21）年・第56巻・第3号
東洋堂経験余話(199) 大腸の憩室が原因か、腸が張って痛む人に茯苓飲ほか	松本一男	(123)507	2009（平成21）年・第56巻・第3号
甘草の薬理作用と上焦ー桂枝湯の薬味構成ー	伊藤康雄・山崎由佳里	(126)510	2009（平成21）年・第56巻・第3号
東海鍼灸医案(8)冷え症	髙士将典・荒井勝彦	(131)515	2009（平成21）年・第56巻・第3号
職業教育としての鍼灸　知識・技術・経験	猪飼　祥夫	(135)519	2009（平成21）年・第56巻・第3号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(31)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(145)529	2009（平成21）年・第56巻・第3号
新修・意釈『東洞先生答問』(18)	横田観風	(154)538	2009（平成21）年・第56巻・第3号
アメリカ鍼灸随想(41)　私の周りのSemitismユダヤ人風	市橋宏樹	(160)544	2009（平成21）年・第56巻・第3号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(22) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(5)	齊藤匡男	(169)553	2009（平成21）年・第56巻・第3号
私と漢方(7)	渋谷恵子	(173)557	2009（平成21）年・第56巻・第3号
和田元庸の生地「遠野」を訪ねて	佐藤巳代吉	(176)560	2009（平成21）年・第56巻・第3号
2009(平成21)年・第56巻・第4号＜大塚恭男先生追悼号＞			2009（平成21）年・第56巻・第4号

〔口絵〕追悼　大塚恭男先生		(2)578	2009(平成21)年・第56巻・第4号
【大塚恭男先生を悼む】 大塚恭男先生を偲ぶ	寺澤捷年	(11)587	2009(平成21)年・第56巻・第4号
嗚呼　恭男さん	山田光胤	(13)589	2009(平成21)年・第56巻・第4号
故 大塚恭男先生を悼んで	松田邦夫	(15)591	2009(平成21)年・第56巻・第4号
「色よい返事を待っています。」	石野尚吾	(18)594	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生を偲ぶ	新井信	(19)595	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生の思い出	石橋晃	(21)597	2009(平成21)年・第56巻・第4号
「巨星墜つ」大塚恭男先生を偲ぶ	菊谷豊彦	(22)598	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生の思い出	佐藤弘	(23)599	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生を弔う	多留淳文	(25)601	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生との出会い	丁宗鐵	(27)603	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生の御逝去を悼む	永井良樹	(31)607	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生を偲んで	中田敬吾	(33)609	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生の御逝去を悼む	原桃介	(37)613	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生を追慕する	真柳誠	(39)615	2009(平成21)年・第56巻・第4号
Word of condolence	Paul U. Unschuld	(44)620	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男叔父の酒	山田享弘	(45)621	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生の思い出	吉本悟	(45)621	2009(平成21)年・第56巻・第4号
悼詞	鄭金生	(47)623	2009(平成21)年・第56巻・第4号
大塚恭男先生略年譜		(48)624	2009(平成21)年・第56巻・第4号
追悼座談会／大塚恭男先生を偲ぶ　思いは尽きず！	小曽戸洋・真柳誠・土屋伊磋雄・花輪壽彦〔司会〕	(49)625	2009(平成21)年・第56巻・第4号
麻疹の重症例に漢方治療が著効した一例	高木恒太朗	(67)643	2009(平成21)年・第56巻・第4号
原因不明の反復性嘔吐に対し五苓散が奏効した一症例	地野充時・来村昌紀・寺澤捷年ほか	(73)649	2009(平成21)年・第56巻・第4号
漢方治療が奏効したガングリオンの一例	木俣有美子・関矢信康・寺澤捷年ほか	(77)653	2009(平成21)年・第56巻・第4号
呉茱萸湯でヘリコバクターピロリ感染症に対し除菌治療を行った十二指腸潰瘍の一症例	田村博文	(83)659	2009(平成21)年・第56巻・第4号
感銘を受けた漢方治療に関する話	土方康世	(87)663	2009(平成21)年・第56巻・第4号
【藤門会結成40周年記念『傷寒論』特集(下)】 『傷寒論』における腹診とその臨床的発展	並木隆雄ほか	(94)670	2009(平成21)年・第56巻・第4号
腹部の圧痛点	高木嘉子	(111)687	2009(平成21)年・第56巻・第4号
藤平健先生の漢方処方の用い方	山ノ内慎一	(120)696	2009(平成21)年・第56巻・第4号
北里東医研診療録から(64)四逆散が特発性過眠症に奏効した一例	福田知顕・花輪壽彦ほか	(123)699	2009(平成21)年・第56巻・第4号
インタビュー／国産生薬を語る(下)	福田眞三 〔聞き手〕金成俊	(131)707	2009(平成21)年・第56巻・第4号
続女子医大雑話41(178)茯苓四逆湯の2症例、八味地黄丸の瞑眩	盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(146)722	2009(平成21)年・第56巻・第4号
東海鍼灸医案(9)FDによる食欲不振	荒井勝彦・高士将典	(151)727	2009(平成21)年・第56巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(60) 続・畑の中の面々(その3)	鈴木寛彦・田畑隆一郎ほか	(157)733	2009(平成21)年・第56巻・第4号
漢方牛歩録(256)　尋常性ザ瘡・四肢のしびれ感	中村謙介	(164)740	2009(平成21)年・第56巻・第4号
東洋堂経験余話(200)気管支喘息に小青竜湯加杏仁・石膏ほか	松本一男	(166)742	2009(平成21)年・第56巻・第4号
アメリカ鍼灸随想(42)十年がかりの患者	市橋宏樹	(170)746	2009(平成21)年・第56巻・第4号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(23)	真柳誠	(179)755	2009(平成21)年・第56巻・第4号
第3回小倉記念木更津漢方セミナー参加体験記	奥見裕邦	(185)761	2009(平成21)年・第56巻・第4号
韓国韓医学通信(第32報)	金成俊	(188)764	2009(平成21)年・第56巻・第4号
2009(平成21)年・第56巻・第5号			2009(平成21)年・第56巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(248)	小曽戸洋・天野陽介	(2)786	2009(平成21)年・第56巻・第5号
【大塚恭男先生を悼む(続)】 大塚恭男先生を悼む	矢数圭堂	(11)795	2009(平成21)年・第56巻・第5号
物忘れの得意な大塚恭男先生	津谷喜一郎	(14)798	2009(平成21)年・第56巻・第5号
大塚恭男先生の思い出－十物降下湯－	金成俊	(17)801	2009(平成21)年・第56巻・第5号
先輩　大塚恭男先生　おねがい	小池加能	(19)803	2009(平成21)年・第56巻・第5号
大塚恭男　追悼の御礼	渡辺賢治	(21)805	2009(平成21)年・第56巻・第5号
追悼座談会(2)／大塚恭男先生を偲ぶ	松田邦夫・細野八郎・矢数圭堂・渡辺賢治・土屋伊磋雄〔司会〕	(23)807	2009(平成21)年・第56巻・第5号
原著論文／夏バテに対する漢方方剤の使用目標に関する一考察	関矢信康・笠原裕司・地野充時・寺澤捷年ほか	(37)821	2009(平成21)年・第56巻・第5号
「中虚食少」に対する桂枝湯加味方の臨床経験	楊喬・楊天群	(47)831	2009(平成21)年・第56巻・第5号
「証」と漢方的疾病観	中村謙介	(55)839	2009(平成21)年・第56巻・第5号

癌研有明病院漢方サポート外来(15) 舌癌。中咽頭癌。咽頭癌。扁桃悪性リンパ腫の4症例	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳・野萱純子	(61)845	2009(平成21)年・第56巻・第5号
北里東医研診療録から(65)五苓散が有効であった花粉症の三症例	鈴木邦彦・早崎知幸・及川哲郎・花輪壽彦	(69)853	2009(平成21)年・第56巻・第5号
続女子医大雑話42(179)肛門痛・会陰病の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美ほか	(74)858	2009(平成21)年・第56巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(61) 泄利下重に四逆散	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(80)864	2009(平成21)年・第56巻・第5号
平胃散と鬱の治病論	伊藤康雄・山崎由佳里	(87)871	2009(平成21)年・第56巻・第5号
東洋堂経験余話(201)排便後の下腹部痛に桂枝加芍薬湯ほか	松本一男	(94)878	2009(平成21)年・第56巻・第5号
東海鍼灸医案(10)逆子	髙士将典・荒井勝彦	(97)881	2009(平成21)年・第56巻・第5号
感冒・インフルエンザへの対応について －解表薬、清熱解毒薬のみの配慮でよいのか	小髙修司	(101)885	2009(平成21)年・第56巻・第5号
漢方牛歩録(257)　湿疹・慢性気管支炎・薬疹	中村謙介	(105)889	2009(平成21)年・第56巻・第5号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(32)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(109)893	2009(平成21)年・第56巻・第5号
癌の漢方診療に思う(2)	長坂和彦	(114)898	2009(平成21)年・第56巻・第5号
新修・意釈『東洞先生答問』(19)	横田観風	(117)901	2009(平成21)年・第56巻・第5号
ドーゼ(dose)	柿田秀明	(123)907	2009(平成21)年・第56巻・第5号
アメリカ鍼灸随想(43)十年がかりの患者(2)	市橋宏樹	(135)919	2009(平成21)年・第56巻・第5号
書評／金成俊著　改訂版『基礎からの漢方薬』	石野尚吾	(146)930	2009(平成21)年・第56巻・第5号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(24)	真柳誠	(147)931	2009(平成21)年・第56巻・第5号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(23) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(6)	齊藤匡男	(153)937	2009(平成21)年・第56巻・第5号
私と漢方(8)	渋谷恵子	(157)941	2009(平成21)年・第56巻・第5号
気賀林一氏に関して－漢方医薬学ジャーナリズムの先駆者－	杉山広重	(160)944	2009(平成21)年・第56巻・第5号
石川友章会頭　学術総会の開催に当って		(165)949	2009(平成21)年・第56巻・第5号
第60回日本東洋医学会学術総会主要プログラム		(169)953	2009(平成21)年・第56巻・第5号
2009(平成21)年・第56巻・第6号			2009(平成21)年・第56巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(249)　浅田宗伯の診療録	渡辺浩二・和智明彦	(2)970	2009(平成21)年・第56巻・第6号
原著論文／随証的に処方した漢方薬による耳鳴りの治療成績	今中政支・峯尚志・浦尚子	(11)979	2009(平成21)年・第56巻・第6号
臨床報告／桂枝茯苓丸加薏苡仁治験	関矢信康・笠原裕司・地野充時・寺澤捷年ほか	(23)991	2009(平成21)年・第56巻・第6号
一般論文／文禄の役にて来日した医師の医案	松岡尚則・別府正志・山口秀敏・栗原秀樹	(29)997	2009(平成21)年・第56巻・第6号
北里東医研診療録から(66)小児難治性ネフローゼ症候群の2例	石井恵美・米田吉位・山田和美・花輪壽彦ほか	(40)1008	2009(平成21)年・第56巻・第6号
続女子医大雑話43(180)過敏性腸症候群に半夏瀉心湯ほか	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子ほか	(45)1013	2009(平成21)年・第56巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(62) 抑肝散加減の症例	千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌	(49)1017	2009(平成21)年・第56巻・第6号
東洋堂経験余話(202)りんご病に柴胡清肝散料ほか	松本一男	(58)1026	2009(平成21)年・第56巻・第6号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ 越婢加朮湯による翼状片の漢方治療	伊藤敦之	(61)1029	2009(平成21)年・第56巻・第6号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(33)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子ほか	(65)1033	2009(平成21)年・第56巻・第6号
漢方牛歩録(258)　頚部打撲後遺症	中村謙介	(72)1040	2009(平成21)年・第56巻・第6号
リレーエッセイ　寝違い様頚部痛治療奮闘記	土方康世・峯尚志	(74)1042	2009(平成21)年・第56巻・第6号
漢方薬局望診術～柴胡桂枝乾姜湯の証～	白井憲太郎	(79)1047	2009(平成21)年・第56巻・第6号
アメリカ鍼灸随想(44)狂気の季節	市橋宏樹	(82)1050	2009(平成21)年・第56巻・第6号
新修・意釈『東洞先生答問』(20)〔終〕	横田観風	(92)1060	2009(平成21)年・第56巻・第6号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(24) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(7)	齊藤匡男	(99)1067	2009(平成21)年・第56巻・第6号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(25)	真柳誠	(103)1071	2009(平成21)年・第56巻・第6号
大塚恭男先生顕彰会、ホテルパシフィックで開催		(109)1077	2009(平成21)年・第56巻・第6号
大塚恭男先生の思い出	安井廣迪	(115)1083	2009(平成21)年・第56巻・第6号
私と漢方(9)	渋谷恵子	(120)1088	2009(平成21)年・第56巻・第6号
韓国韓医学通信(第33・34報)	金成俊	(122)1090	2009(平成21)年・第56巻・第6号
2009(平成21)年・第56巻・第7号			2009(平成21)年・第56巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(250) 新出の『医学天正記』異本・『治験録』(1)	小曽戸洋・天野陽介	(2)1106	2009(平成21)年・第56巻・第7号
臨床報告／滋陰至宝湯治験	関矢信康・笠原裕司・地野充時・寺澤捷年ほか	(11)1115	2009(平成21)年・第56巻・第7号
臨床報告／治喘一方(東郭)が奏効した機関誌喘息の2症例	柴原直利・関矢信康・平崎能郎・嶋田豊ほか	(23)1127	2009(平成21)年・第56巻・第7号
続女子医大雑話44(181)学会で報告した3症例ほか	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(30)1134	2009(平成21)年・第56巻・第7号

臨床報告／ 長年持続していた下痢に対して甘草瀉心湯が奏効した2症例	大野賢二・関矢信康・並木隆雄・寺澤捷年ほか	(39)1143	2009（平成21）年・第56巻・第7号
臨床報告／ 肘後方奔豚湯加味方が突発性難聴に伴うめまいに著効した1例	小川恵子・関矢信康・並木隆雄・寺澤捷年ほか	(45)1149	2009（平成21）年・第56巻・第7号
漢方牛歩録(259)　有痛性胼胝・単純疱疹後神経痛	中村謙介	(50)1154	2009（平成21）年・第56巻・第7号
東洋堂経験余話(203)冷え症に黄連解毒湯加石膏ほか	松本一男	(52)1156	2009（平成21）年・第56巻・第7号
北里東医研診療録から(67) 防已茯苓湯加地黄で多汗盗汗が改善した一例	五野由佳理・小田口浩・星野卓之・花輪壽彦	(55)1159	2009（平成21）年・第56巻・第7号
生姜の薬理作用と上焦－桂枝湯の薬味構成－	伊藤康雄・山崎由佳里	(59)1163	2009（平成21）年・第56巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(63) うつ…そして	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(65)1169	2009（平成21）年・第56巻・第7号
静脈認証システムエラーに当帰四逆加呉茱萸生姜湯が 有効であった一例	来村昌紀・奥見裕邦・寺澤捷年ほか	(71)1175	2009（平成21）年・第56巻・第7号
第4回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅰ 〔特別講演〕呼吸器疾患の漢方治療	佐々木智康	(74)1178	2009（平成21）年・第56巻・第7号
〔シンポジウム〕「肝胆の臓腑弁証」 ①肝胆の臓腑弁証：総論	金子幸夫	(85)1189	2009（平成21）年・第56巻・第7号
東海鍼灸医案(11)頚部の凝り	荒井勝彦・高士将典	(97)1201	2009（平成21）年・第56巻・第7号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節著)(34)	渡辺賢治・秋葉哲生・渡辺賀子ほか	(102)1206	2009（平成21）年・第56巻・第7号
＜第18回漢方治療研究会講演＞ 温胆湯でトゥレット症候群を治療して改善した例	荘明仁	(109)1213	2009（平成21）年・第56巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(25) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(8)	齊藤匡男	(115)1219	2009（平成21）年・第56巻・第7号
生薬基礎講座(1) 桂皮	金成俊・鳥居塚和生	(121)1225	2009（平成21）年・第56巻・第7号
アメリカ鍼灸随想(45) アリゾナ荒蕪地の光芒	市橋宏樹	(126)1230	2009（平成21）年・第56巻・第7号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(26)	真柳誠	(139)1243	2009（平成21）年・第56巻・第7号
私と漢方(10)	渋谷恵子	(145)1249	2009（平成21）年・第56巻・第7号
漢方界トピックス／日本東洋医学会学術総会開催	山田真知子ほか	(149)1253	2009（平成21）年・第56巻・第7号
第26回和漢医薬学会学術大会開催に当たって	平井愛山	(155)1259	2009（平成21）年・第56巻・第7号
2009(平成21)年・第56巻・第8号			2009（平成21）年・第56巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(251) 新出の『医学天正記』異本・『治験録』(2)	小曽戸洋・天野陽介	(2)1278	2009（平成21）年・第56巻・第8号
巻頭言／橋本書翰公開三十周年記念に寄せて	菊谷豊彦	(11)1287	2009（平成21）年・第56巻・第8号
＜ワークショップ＞ 漢方調剤に必要な臨床的知識〔北里東医研編〕(上)	村主明彦・早崎知幸・緒方千秋・坂田幸治・中村恵子・金成俊〔司会〕	(15)1291	2009（平成21）年・第56巻・第8号
臨床報告／帰耆建中湯加味を関節リウマチに応用する試み	関矢信康・林克美・笠原裕司・寺澤捷年ほか	(25)1301	2009（平成21）年・第56巻・第8号
臨床報告／ 発汗過多を伴う抑鬱患者に竜骨湯が奏効した3症例	引網宏彰・関矢信康・藤本誠・嶋田豊ほか	(33)1309	2009（平成21）年・第56巻・第8号
臨床報告／ 糖尿病患者にみられた左季肋部痛、便秘に柴胡疏肝湯が有効であった一例	山本佳乃子・織田聡・永田豊・嶋田豊ほか	(41)1317	2009（平成21）年・第56巻・第8号
一般論文／脈診・舌診・腹診は複数の医師間でも一致するか？	古谷陽一	(47)1323	2009（平成21）年・第56巻・第8号
越鞠丸の適応病態に関する一考察	三浦於菟・河野吉成・板倉英俊・齊藤輝夫ほか	(55)1331	2009（平成21）年・第56巻・第8号
癌研有明病院漢方サポート外来(16) 悪性リンパ腫。放射線化学療法後。帯状疱疹後神経痛。左乳癌。術後、放射線化学療法後。頭皮の激しい痛み。	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳・野萱純子	(69)1345	2009（平成21）年・第56巻・第8号
続女子医大雑話45(182) 慢性頭痛の症例	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(75)1351	2009（平成21）年・第56巻・第8号
漢方牛歩録(260)　頸椎捻挫に補中益気湯兼十味剉散	中村謙介	(83)1359	2009（平成21）年・第56巻・第8号
北里東医研診療録から(68) 「子宮の冷え」に対し附子湯を用いた症例	山田和美・望月良子・花輪壽彦	(85)1361	2009（平成21）年・第56巻・第8号
閉塞性血栓性血管炎の治療	小髙修司	(89)1365	2009（平成21）年・第56巻・第8号
東海鍼灸医案(12)足底痛	高士将典・荒井勝彦	(91)1367	2009（平成21）年・第56巻・第8号
東洋堂経験余話(204)▽感冒後の咳嗽に小柴胡湯合麦門冬湯▽子供の鼻血に荊芥連翹湯	松本一男	(95)1371	2009（平成21）年・第56巻・第8号
遠隔治療考	柿田秀明	(99)1375	2009（平成21）年・第56巻・第8号
第4回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅱ 〔シンポジウム〕「肝胆の臓腑弁証」 ②柴胡剤の使用目標と使用経験	竹内正	(114)1390	2009（平成21）年・第56巻・第8号
③総合診療部外来患者における七情と臓腑病機	佐藤寿一・胡暁晨	(122)1398	2009（平成21）年・第56巻・第8号
アメリカ鍼灸随想(46) 聖なる丘の天空に	市橋宏樹	(129)1405	2009（平成21）年・第56巻・第8号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(26) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(9)	齊藤匡男	(139)1415	2009（平成21）年・第56巻・第8号
私と漢方(11)	渋谷恵子	(144)1420	2009（平成21）年・第56巻・第8号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(27)	真柳誠	(147)1423	2009（平成21）年・第56巻・第8号
大塚恭男先生を悼む	金子力	(153)1429	2009（平成21）年・第56巻・第8号

大塚恭男先生顕彰会　ご友人のスピーチ(抄)		(161)1437	2009(平成21)年・第56巻・第8号
2009(平成21)年・第56巻・第9号			2009(平成21)年・第56巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(252) 新出の浅田宗伯肖像画	小曽戸洋・天野陽介・和智明彦	(2)1454	2009(平成21)年・第56巻・第9号
巻頭言／漢方の真の国際化とは？	渡辺賢治	(11)1463	2009(平成21)年・第56巻・第9号
現代の風邪・インフルエンザに対する漢方治療　その1	井上淳子	(13)1465	2009(平成21)年・第56巻・第9号
臨床報告／疼痛管理が困難であった発作性・反復性下腹部痛に対し柴胡桂枝湯が奏効した2症例	地野充時・関矢信康・大野賢二・寺澤捷年ほか	(27)1479	2009(平成21)年・第56巻・第9号
難聴、耳鳴を主訴とする内耳性疾患に対する塩酸バラシクロビル(バルトレックス)と漢方薬併用の治療効果	盛克己・宮崎瑞明	(35)1487	2009(平成21)年・第56巻・第9号
臨床報告／五苓散が奏効した帯状疱疹後の神経痛の一例	関矢信康・笠原裕司・地野充時・寺澤捷年ほか	(45)1497	2009(平成21)年・第56巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(64) 孫の治療経験　その2	蓮村幸兌・鈴木寛彦・千田五月・田畑隆一郎	(48)1500	2009(平成21)年・第56巻・第9号
月経前症候群における易怒性に対する桃核承気湯の効果	高木恒太朗	(55)1507	2009(平成21)年・第56巻・第9号
続女子医大雑話46(183) 桂枝茯苓丸の6症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信ほか	(59)1511	2009(平成21)年・第56巻・第9号
北里東医研診療録から(69) 導水茯苓湯が有効であった1症例	早崎知幸・鈴木邦彦・花輪壽彦	(66)1518	2009(平成21)年・第56巻・第9号
東洋堂経験余話(205)　▽緑内障の視野欠損に柴胡桂枝湯加芍薬▽帯状疱疹の治療中に激しい咳嗽に麦門冬湯	松本一男	(70)1523	2009(平成21)年・第56巻・第9号
第4回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会講演内容Ⅲ 〔シンポジウム〕「肝胆の臓腑弁証」 ④新しい経絡診断と色を用いた治療	鈴木秀樹	(74)1526	2009(平成21)年・第56巻・第9号
⑤肝の虚証(肝気虚・肝陽虚)について	山中章好	(84)1536	2009(平成21)年・第56巻・第9号
＜ワークショップ＞ 漢方調剤に必要な臨床的知識〔北里東医研編〕(上)	村主明彦・早崎知幸・緒方千秋・坂田幸治・中村恵子 金成俊〔司会〕	(97)1549	2009(平成21)年・第56巻・第9号
芍薬の薬理作用　収斂剤としてー桂枝湯の薬味構成ー	伊藤康雄・山崎由佳里	(108)1560	2009(平成21)年・第56巻・第9号
西遊記と東洋医学(上)	田中耕一郎・三浦於菟	(115)1567	2009(平成21)年・第56巻・第9号
アメリカ鍼灸随想(47)九竅を清める	市橋宏樹	(123)1575	2009(平成21)年・第56巻・第9号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(28)	真柳誠	(133)1585	2009(平成21)年・第56巻・第9号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(27) 『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(10)	齊藤匡男	(139)1591	2009(平成21)年・第56巻・第9号
アンコール論稿／漢方医学の特殊性に就て	石野信安	(145)1597	2009(平成21)年・第56巻・第9号
私と漢方(12)	渋谷恵子	(147)1599	2009(平成21)年・第56巻・第9号
第60回日本東洋医学会総会に参加して	小川真生	(151)1603	2009(平成21)年・第56巻・第9号
韓国韓医学通信(第35報)	金成俊	(153)1605	2009(平成21)年・第56巻・第9号
漢方界トピックス／第15回ICOM”キックオフ・ミーティング”開催	秋葉哲生	(155)1607	2009(平成21)年・第56巻・第9号
大塚恭男先生顕彰会　ご友人のスピーチ(抄)(続)		(159)1611	2009(平成21)年・第56巻・第9号
2009(平成21)年・第56巻・第10号			2009(平成21)年・第56巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(253)　神農鐔二種	小曽戸洋	(2)1630	2009(平成21)年・第56巻・第10号
巻頭言／第15回国際東洋医学会にご登録を！	中田敬吾	(11)1639	2009(平成21)年・第56巻・第10号
疾患別座談会／内分泌代謝疾患と漢方	吉田麻美・日置智津子・新井信 福澤素子〔司会〕	(13)1641	2009(平成21)年・第56巻・第10号
再度 温めて治しながら「熱証」としてよいのか(上)ー私の求めた漢方総論ー	中村謙介	(39)1667	2009(平成21)年・第56巻・第10号
臨床報告／起立性調節障害に対する黄耆建中湯の効果	森下克也	(49)1677	2009(平成21)年・第56巻・第10号
現代の風邪・インフルエンザに対する漢方治療　その2	井上淳子	(63)1691	2009(平成21)年・第56巻・第10号
随証治療が奏効している骨髄異形成症群の一例	野上達也・南澤潔・引網宏彰・嶋田豊	(83)1711	2009(平成21)年・第56巻・第10号
北里東医研診療録から(70) 皮膚疾患に奏効した大柴胡湯の2例	望月良子・洪里和良・及川哲郎・花輪壽彦	(88)1716	2009(平成21)年・第56巻・第10号
計画出産・分娩誘発剤としての五積散錠の酢服	小池加能	(95)1723	2009(平成21)年・第56巻・第10号
癌研有明病院漢方サポート外来(17) 食道癌および下咽頭癌の術後、胆石術後の下痢。子宮癌手術時の硬膜外麻酔に伴う髄液漏によるめまい。	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳・杉本耕一	(104)1732	2009(平成21)年・第56巻・第10号
続女子医大雑話47(184) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美ほか	(111)1739	2009(平成21)年・第56巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(65) 猪苓湯の症例	千田五月・鈴木寛彦・田畑隆一郎ほか	(116)1744	2009(平成21)年・第56巻・第10号
東洋堂経験余話(206)▽腸閉塞に解急蜀椒湯▽急の右膝の腫れと痛みに小青竜湯加杏仁、石膏	松本一男	(121)1749	2009(平成21)年・第56巻・第10号
舌痛症に対する中医学的治療法の効果	土方康世・牧浦倫子・峯尚志ほか	(124)1752	2009(平成21)年・第56巻・第10号
東海鍼灸医案(13)頭痛	髙士将典・荒井勝彦	(133)1761	2009(平成21)年・第56巻・第10号
〔会員のひとり言〕疎経活血湯について	三原孝典・丸山初恵・植木友紀子	(137)1765	2009(平成21)年・第56巻・第10号
漢方と科学のほんとうの違い	古谷陽一	(143)1771	2009(平成21)年・第56巻・第10号
西遊記と東洋医学(中)	田中耕一郎・三浦於菟	(145)1773	2009(平成21)年・第56巻・第10号

アメリカ鍼灸随想(48)隠居暮らしの若者たち	市橋宏樹	(151)1779	2009(平成21)年・第56巻・第10号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(29)	真柳誠	(161)1789	2009(平成21)年・第56巻・第10号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(28) 『大同類聚方』和気清麻呂所伝方(1)	齊藤匡男	(167)1795	2009(平成21)年・第56巻・第10号
私と漢方(13)	渋谷恵子	(172)1800	2009(平成21)年・第56巻・第10号
2009(平成21)年・第56巻・第11号			2009(平成21)年・第56巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(254) 新出の山田業広自筆『金匱要略攷異』	町泉寿郎	(2)1818	2009(平成21)年・第56巻・第11号
巻頭言／漢方とISO・WTO	石川友章	(11)1827	2009(平成21)年・第56巻・第11号
疾患別座談会／小児科疾患と漢方(上)	橋本倫太郎・藤井泰志・松浦恵子・秋葉哲生 西村甲〔司会〕	(13)1829	2009(平成21)年・第56巻・第11号
早期退院に対する漢方治療の寄与～ 外科治療後の合併症のため退院が遷延した症例に漢方薬が奏効した3例	並木隆雄・関矢信康・笠原裕司・寺澤捷年ほか	(33)1849	2009(平成21)年・第56巻・第11号
小青竜湯と在宅療法	木元博史	(43)1859	2009(平成21)年・第56巻・第11号
竜骨湯治験	関矢信康・岡本英輝・寺澤捷年ほか	(51)1867	2009(平成21)年・第56巻・第11号
風熱感冒は風温証か？ －風熱感冒と温病風温の類似性の文献学的考察	三浦於菟・河野吉成・板倉英俊・齊藤輝夫ほか	(56)1872	2009(平成21)年・第56巻・第11号
再度　温めて治しながら「熱証」としてよいのか(下) 意見のキャッチボール	中村謙介	(63)1879	2009(平成21)年・第56巻・第11号
癌研有明病院漢方サポート外来(18) 膵癌、肝転移。ジェムザールによる関節痛と嗅覚味覚過敏。膵癌術後の下痢、全身倦怠感、大量の寝汗。膵癌術後の乳糜腹水と腹部全体の重だるい痛み。	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳・杉本耕一	(76)1892	2009(平成21)年・第56巻・第11号
北里東医研診療録から(71)　外陰瘙痒症・反復性膀胱炎・慢性色素性紫斑に温清飲と苦参湯外用が有効であった1例	星野卓之・伊藤秀憲・齋藤絵美・花輪壽彦	(84)1900	2009(平成21)年・第56巻・第11号
続女子医大雑話48(185) 鼻汁と冷えに苓姜朮甘湯ほか	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子ほか	(89)1905	2009(平成21)年・第56巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(66) 古方の妙(上)	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(93)1909	2009(平成21)年・第56巻・第11号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(35)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(99)1915	2009(平成21)年・第56巻・第11号
東洋堂経験余話(207)　▽偏頭痛に桂枝茯苓丸料加白芷、川芎▽感冒に白虎湯と柴胡桂枝湯加桔梗	松本一男	(105)1921	2009(平成21)年・第56巻・第11号
漢方牛歩録(261)　アレルギー性鼻炎・肩関節周囲炎兼胸廓出口症候群	中村謙介	(108)1924	2009(平成21)年・第56巻・第11号
東海鍼灸医案(14) 漢方・鍼灸併用して妊娠・出産が可能となった不妊症の一例	荒井勝彦・高士将典	(111)1927	2009(平成21)年・第56巻・第11号
アメリカ鍼灸随想(49)　体だから出る音と、かおり	市橋宏樹	(117)1933	2009(平成21)年・第56巻・第11号
西遊記と東洋医学(下)	田中耕一郎・三浦於菟	(127)1943	2009(平成21)年・第56巻・第11号
真筆本の原貌がうかがえる韓氏新テキスト『順編傷寒論』の完成に際して	杉山広重	(134)1950	2009(平成21)年・第56巻・第11号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(30)	真柳誠	(145)1961	2009(平成21)年・第56巻・第11号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(29) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(2)	齋藤匡男	(151)1967	2009(平成21)年・第56巻・第11号
私と漢方(14)	渋谷恵子	(156)1972	2009(平成21)年・第56巻・第11号
漢方界トピックス／平成21年吉益東洞顕彰会開催	山崎正寿	(159)1975	2009(平成21)年・第56巻・第11号
第19回漢方治療研究会、大阪で開催		(162)1978	2009(平成21)年・第56巻・第11号
2009(平成21)年・第56巻・第12号			2009(平成21)年・第56巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(255) 山田業広『経方辯』稿本	町泉寿郎	(2)2002	2009(平成21)年・第56巻・第12号
巻頭言／医療にもエコ(生態学的、経済的)の観点を	伊藤嘉紀	(11)2011	2009(平成21)年・第56巻・第12号
疾患別座談会／小児科疾患と漢方(下)	橋本倫太郎・藤井泰志・松浦恵子・秋葉哲生 西村甲〔司会〕	(15)2015	2009(平成21)年・第56巻・第12号
＜第17回漢方治療研究会特別講演＞ 漢方治療の方略－正攻法と奇計法－	寺師睦宗	(35)2035	2009(平成21)年・第56巻・第12号
論説／漢方の基本原則「随証治之」に関する研究	孫基然	(51)2051	2009(平成21)年・第56巻・第12号
当帰湯エキス製剤で管理し得た西洋薬が使用困難だった微小血管狭窄症の1例	並木隆雄・笠原裕司・寺澤捷年ほか	(71)2071	2009(平成21)年・第56巻・第12号
臨床報告／七物降下湯治験	関矢信康・平崎能郎・寺澤捷年ほか	(77)2077	2009(平成21)年・第56巻・第12号
癌研有明病院漢方サポート外来(19) 乳癌術後。抗癌剤による手足のしびれ、ホルモン療法による下肢の緊満、放射線照射部の痛かゆさ。乳癌術後。ホルモン療法によるホットフラッシュ、放射線照射部の痛かゆさ。乳癌術後。抗癌剤による手足のしびれ、放射線照射部の痛かゆさ。	星野惠津夫・井上美貴・高橋秀徳・杉本耕一	(85)2085	2009(平成21)年・第56巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(67) 一年八ヶ月ぶりにJRに乗れた！…下痢二題	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(93)2093	2009(平成21)年・第56巻・第12号
続女子医大雑話49(186) 皮膚疾患の2症例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(100)2100	2009(平成21)年・第56巻・第12号
北里東医研診療録から(72)　帯状疱疹関連痛の治療経験	洪里和良・福田知顕・五野由佳理・花輪壽彦ほか	(105)2105	2009(平成21)年・第56巻・第12号

慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(36)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(113)2113	2009(平成21)年・第56巻・第12号
大棗の薬理作用　肺気剤として－桂枝湯の薬味構成－	伊藤康雄・山崎由佳里	(124)2124	2009(平成21)年・第56巻・第12号
石膏における薬能の分析及び鍼灸治療との並列化	黒岩弦矢	(133)2133	2009(平成21)年・第56巻・第12号
東海鍼灸医案(15)　膝痛	髙士将典・荒井勝彦	(141)2141	2009(平成21)年・第56巻・第12号
『傷寒論』で「心下痞堅」が「心下痞鞕」に替えられた時期について	桜井謙介	(146)2146	2009(平成21)年・第56巻・第12号
東洋堂経験余話(208)　▽全身倦怠感に当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽更年期障害に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料	松本一男	(151)2151	2009(平成21)年・第56巻・第12号
漢方牛歩録(262)　アレルギー性鼻炎兼結膜炎・頚椎椎間板ヘルニア	中村謙介	(154)2154	2009(平成21)年・第56巻・第12号
アメリカ鍼灸随想(50)　気欝の時代の伝統医学	市橋宏樹	(156)2156	2009(平成21)年・第56巻・第12号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(30) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(3)	齋藤匡男	(167)2167	2009(平成21)年・第56巻・第12号
私と漢方(15)	渋谷恵子	(174)2174	2009(平成21)年・第56巻・第12号
漢方界トピックス／漢方薬の保険外し反対署名など	油井富雄	(177)2177	2009(平成21)年・第56巻・第12号
韓国韓医学通信(第36報)	金成俊	(180)2180	2009(平成21)年・第56巻・第12号
2010(平成22)年・第57巻・第1号			2010(平成22)年・第57巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(256) 片倉鶴陵賛の張仲景像	天野陽介・小曽戸洋	(2)2	2010(平成22)年・第57巻・第1号
平成22年(2010年)　新年のことば　〔132名〕		(9)9	2010(平成22)年・第57巻・第1号
疾患別座談会／耳鼻咽喉科疾患と漢方(上)	齊藤輝夫・稲葉博司・蔡暁明・矢数芳英 今中政支〔司会〕	(97)97	2010(平成22)年・第57巻・第1号
臨床報告／甘連石膏湯が奏効した体感異常の一例	関矢信康・岡本英輝・寺澤捷年ほか	(111)111	2010(平成22)年・第57巻・第1号
北里東医研診療録から(73) 牛車腎気丸により女性化乳房が出現したⅠ型糖尿病の一例	伊藤剛・及川哲郎・鈴木邦彦・花輪壽彦ほか	(115)115	2010(平成22)年・第57巻・第1号
続女子医大雑話50(187) 思いがけない効果を見た症例	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(123)123	2010(平成22)年・第57巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(68) のぼせの症例(苓桂甘棗湯と苓桂味甘湯)	千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌	(131)131	2010(平成22)年・第57巻・第1号
東洋堂経験余話(209)　▽毎年、梅雨から夏にかけての頭痛に柴胡桂枝湯加味▽頭がフラフラ、耳鳴、下痢に半夏白朮天麻湯	松本一男	(137)137	2010(平成22)年・第57巻・第1号
漢方牛歩録(263)　変形性頚椎症に伴う手指のしびれ・老人の頻尿	中村謙介	(141)141	2010(平成22)年・第57巻・第1号
東海鍼灸医案(16)　母指基部変形性関節症の一例	荒井勝彦・髙士将典	(143)143	2010(平成22)年・第57巻・第1号
銭乙『小児薬証直訣』における小児の五臓理論と治療法(1)	田中耕一郎・三浦於菟	(148)148	2010(平成22)年・第57巻・第1号
アメリカ鍼灸随想(51)　イラク・アフガン派遣兵	市橋宏樹	(157)157	2010(平成22)年・第57巻・第1号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(31)	真柳誠	(167)167	2010(平成22)年・第57巻・第1号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(31) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(4)	齋藤匡男	(173)173	2010(平成22)年・第57巻・第1号
家本誠一先生著『素問薬注』のご紹介	秋葉哲生	(178)178	2010(平成22)年・第57巻・第1号
藤門会上海中医薬大学交流会に参加して　「平成滬呉日記」	平崎能郎	(183)183	2010(平成22)年・第57巻・第1号
2010(平成22)年・第57巻・第2号			2010(平成22)年・第57巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(257) 岡本玄冶の肖像	天野陽介・小曽戸洋・町泉寿郎	(2)202	2010(平成22)年・第57巻・第2号
巻頭言／「気」にみる洋後の多義性について	伊藤隆	(11)211	2010(平成22)年・第57巻・第2号
疾患別座談会／耳鼻咽喉科疾患と漢方(下)	齊藤輝夫・稲葉博司・蔡暁明・矢数芳英 今中政支〔司会〕	(13)213	2010(平成22)年・第57巻・第2号
インタビュー／漢方道への模索	鍋谷欣市 〔聞き手〕並木隆雄	(27)227	2010(平成22)年・第57巻・第2号
慢性疾患に対する安中散の治療効果	宮崎瑞明・盛克己	(39)239	2010(平成22)年・第57巻・第2号
心臓疾患手術後合併症、長期臥床により起った廃用症候群による起立・歩行障害が透析療法、リハビリ治療と痿証方(秘方集験)	大関潤一	(51)251	2010(平成22)年・第57巻・第2号
繰り返す憩室炎に腸癰湯が奏効した2例	河野吉成・三浦於菟	(59)259	2010(平成22)年・第57巻・第2号
感冒らしからぬ感冒	岩崎勲	(67)267	2010(平成22)年・第57巻・第2号
感冒300例の検討	根本幸一	(73)273	2010(平成22)年・第57巻・第2号
苓桂朮甘湯と芎黄散の併用が著効した流涙症の1例	高木恒太朗	(75)275	2010(平成22)年・第57巻・第2号
湯液(煎液)治療が有効と考えられる25年の病歴を有する小児期発症の難治性ネフローゼ症候群の1例	上桝次郎	(80)280	2010(平成22)年・第57巻・第2号
続女子医大雑話51(188) 典型的な症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信ほか	(87)287	2010(平成22)年・第57巻・第2号
北里東医研診療録から(74) 鼻出血と麻黄湯の2例	福田知顕・堀田広満・早崎知幸・花輪壽彦	(95)295	2010(平成22)年・第57巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(69) 古方の妙(中)	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月ほか	(102)302	2010(平成22)年・第57巻・第2号
桂枝湯から小建中湯へ－桂枝湯の薬味校正－	伊藤康雄・山崎由佳里	(110)310	2010(平成22)年・第57巻・第2号
東洋堂経験余話(210)　▽頑固な便秘、肩凝り、冷え症に桃核承気湯▽アフター性口内炎に人参湯加山梔子	松本一男	(119)319	2010(平成22)年・第57巻・第2号

漢方牛歩録(264)　瘀血水毒に伴う頚椎症・アトピー性皮膚炎	中村謙介	(123)323	2010(平成22)年・第57巻・第2号
東海鍼灸医案(17)　認知症	髙士将典・荒井勝彦	(125)325	2010(平成22)年・第57巻・第2号
アメリカ鍼灸随想(52)　マネっこブームで向上する？	市橋宏樹	(130)330	2010(平成22)年・第57巻・第2号
210処方から「改訂210処方」「新210処方」へ	三上正利	(140)340	2010(平成22)年・第57巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(32) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(5)	齋藤匡男	(147)347	2010(平成22)年・第57巻・第2号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(32)	真柳誠	(155)355	2010(平成22)年・第57巻・第2号
韓国韓医学通信(第37報)	金成俊	(160)360	2010(平成22)年・第57巻・第2号
私と漢方(16)	渋谷恵子	(161)361	2010(平成22)年・第57巻・第2号
追加・新年のことば	津谷喜一郎	(164)364	2010(平成22)年・第57巻・第2号
図書紹介／宇都眞理子編纂・訳『金匱要略明義』	矢数芳英	(166)366	2010(平成22)年・第57巻・第2号
2010(平成22)年・第57巻・第3号			2010(平成22)年・第57巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(258) 新出の小字本『金匱要略』－呉遷本	真柳誠	(2)382	2010(平成22)年・第57巻・第3号
巻頭言／漢方医学概論の構築を	岩崎勲	(11)391	2010(平成22)年・第57巻・第3号
原著論文／ 『素問』「通評虚実論」における精気論－九針論・五兪穴との関わり－	鈴木達彦・遠藤次郎	(13)393	2010(平成22)年・第57巻・第3号
目でみる漢方史料館(258)解説 『金匱要略』の成立と現存版本	真柳誠	(25)405	2010(平成22)年・第57巻・第3号
癌研有明病院漢方サポート外来(20) 胃癌。腹腔鏡下胃全摘術後。食後の腹痛と嘔気。切除不能進行胃癌。化学療法、細胞免疫療法施行中。食道癌。放射線化学療法後。ペプチドワクチン療法中。	星野惠津夫・井上美貴・杉本耕一・園部聡	(41)421	2010(平成22)年・第57巻・第3号
続女子医大雑話52(189) 新型インフルエンザA(H1N1)の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美ほか	(52)432	2010(平成22)年・第57巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(70) 胃の気虚と肝気鬱結 食べていて寝むれるのに、昼間眠くて疲れて居られない	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(58)438	2010(平成22)年・第57巻・第3号
北里東医研診療録から(75) 肛門痛に当帰建中湯が有効だった1症例	伊東秀憲・五野由佳理・小田口浩・花輪壽彦	(64)444	2010(平成22)年・第57巻・第3号
中村謙介先生のご意見に対する私見	長坂和彦	(69)449	2010(平成22)年・第57巻・第3号
太陽病は表熱証(続)	佐々木実	(75)455	2010(平成22)年・第57巻・第3号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 激しい眩暈を訴え多発性硬化症を疑われた症例	仲原靖夫	(88)468	2010(平成22)年・第57巻・第3号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 癌・肉腫再発予防としての漢方免疫経絡治療	渡邊一幹	(94)474	2010(平成22)年・第57巻・第3号
＜第19回漢方治療研究会講演＞防已黄耆湯加味方の研究	永井良樹	(101)481	2010(平成22)年・第57巻・第3号
東洋堂経験余話(211)　▽右季肋と右側腹痛に治肺積右脇硬痛方▽自転車で転倒して、首と肩の痛みに麻杏薏甘湯	松本一男	(105)485	2010(平成22)年・第57巻・第3号
漢方牛歩録(265)　術後の直腸炎に啓脾湯・頸椎捻挫の頭重感に五苓散	中村謙介	(108)488	2010(平成22)年・第57巻・第3号
東海鍼灸医案(18)　緩和ケア	髙士将典・荒井勝彦	(111)491	2010(平成22)年・第57巻・第3号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(37)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(115)495	2010(平成22)年・第57巻・第3号
アメリカ鍼灸随想(53)　遠慮無用！　お灸を据えろ(上)	市橋宏樹	(122)502	2010(平成22)年・第57巻・第3号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(33) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(6)	齋藤匡男	(129)509	2010(平成22)年・第57巻・第3号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(33)	真柳誠	(135)515	2010(平成22)年・第57巻・第3号
小倉重成先生23回忌ならびに第4回小倉記念木更津漢方アカデミーに参加して	田原英一	(142)522	2010(平成22)年・第57巻・第3号
韓国韓医学通信(第38報)	金成俊	(145)525	2010(平成22)年・第57巻・第3号
漢方界トピックス／寺澤捷年教授、最終講義・国際東洋医学会、幕張メッセで開催		(148)528	2010(平成22)年・第57巻・第3号
趙明鋭先生の『経方発揮』を読んで	顧武軍	(149)529	2010(平成22)年・第57巻・第3号
2010(平成22)年・第57巻・第4号			2010(平成22)年・第57巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(259) 戦前の漢方雑誌『医道』	渡辺浩二・小曽戸洋・天野陽介	(2)546	2010(平成22)年・第57巻・第4号
巻頭言／余命宣告	今田屋章	(11)555	2010(平成22)年・第57巻・第4号
臨床報告／掌蹠膿疱症に炙甘草湯が有効であった1例	村井政史・田原英一・三潴忠道ほか	(13)557	2010(平成22)年・第57巻・第4号
臨床報告／効くから嬉しい漢方薬 〈新発見〉冠攣縮性狭心症に柴朴湯が著効した3症例	首藤達哉・蔭山充・西田愼二	(21)565	2010(平成22)年・第57巻・第4号
2回の帯状疱疹罹患後に加速的な体重減少と伴った陰虚陽亢証の1例	上桝二郎	(31)575	2010(平成22)年・第57巻・第4号
大建中湯で視床痛が改善した1例	犬塚央・三潴忠道ほか	(38)582	2010(平成22)年・第57巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(71) 耳鳴り・難聴・耳閉塞感の症例	千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌	(41)585	2010(平成22)年・第57巻・第4号
続女子医大雑話53(190) アレルギー性鼻炎の症例ほか	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子ほか	(47)591	2010(平成22)年・第57巻・第4号
北里東医研診療録から(76)　治療効果に満足をしない心身症を有するアトピー性皮膚炎の兄弟例	堀田広満・花輪壽彦	(52)596	2010(平成22)年・第57巻・第4号

慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(38)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(59)603	2010(平成22)年・第57巻・第4号
＜第19回漢方治療研究会講演＞再発性アフタ性口内炎に人参湯が著効した2例	西森(佐藤)婦美子	(66)610	2010(平成22)年・第57巻・第4号
漢方牛歩録(266) 膝関節痛と飛蚊症に八味丸・多発性関節炎に桂枝加朮附湯兼五苓湯・フルート奏者の顎関節炎に甘麦大棗湯	中村謙介	(68)612	2010(平成22)年・第57巻・第4号
東洋堂経験余話(212) ▽食道狭窄に利膈湯合甘草乾姜湯　▽神経症に半夏厚朴湯	松本一男	(70)614	2010(平成22)年・第57巻・第4号
東海鍼灸医案(19)　肋間神経痛	高士将典・荒井勝彦	(73)617	2010(平成22)年・第57巻・第4号
梔子における薬能の分析及び鍼灸治療との並列化	黒岩弦矢	(77)621	2010(平成22)年・第57巻・第4号
『三訂通俗傷寒論』～温病学を『傷寒論』に取り込んだ傷寒学派～①	田中耕一郎・水野真一・三浦於菟ほか	(90)634	2010(平成22)年・第57巻・第4号
アメリカ鍼灸随想(54)　遠慮無用！お灸を据えろ(下)	市橋宏樹	(104)648	2010(平成22)年・第57巻・第4号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(34) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(7)	齋藤匡男	(111)655	2010(平成22)年・第57巻・第4号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(34)	真柳誠	(117)661	2010(平成22)年・第57巻・第4号
書評／『三大法則で解き明かす漢方・中医学入門』	安井廣迪	(123)667	2010(平成22)年・第57巻・第4号
韓国韓医学通信(第39報)	金成俊	(125)669	2010(平成22)年・第57巻・第4号
私と漢方(17)	渋谷恵子	(126)670	2010(平成22)年・第57巻・第4号
第15回国際東洋医学会学術大会レポート・印象記 第15回国際東洋医学会 幕張メッセで盛大に開かる	編集局	(129)673	2010(平成22)年・第57巻・第4号
第15回国際東洋医学会学術大会(ICOM)参加記	牧野利明	(135)679	2010(平成22)年・第57巻・第4号
第15回国際東洋医学会に参加して－韓医に驚く	蔭山充	(137)681	2010(平成22)年・第57巻・第4号
第15回国際東洋医学会学術大会に参加して	来村昌紀	(139)683	2010(平成22)年・第57巻・第4号
国際東洋医学会に参加して	中村成代	(141)685	2010(平成22)年・第57巻・第4号
漢方界トピックス／今後のインフルエンザ治療は漢方薬に期待		(145)689	2010(平成22)年・第57巻・第4号
2010(平成22)年・第57巻・第5号			2010(平成22)年・第57巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(260)　謝観と『中国医学大辞典』	天野陽介・小曽戸洋	(2)706	2010(平成22)年・第57巻・第5号
巻頭言／最近感じること	佐藤弘	(11)715	2010(平成22)年・第57巻・第5号
第61回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって ～21世紀における漢方医学～基礎と臨床～	佐藤祐造	(13)717	2010(平成22)年・第57巻・第5号
疾患別座談会／麻酔科・ペインクリニック領域の漢方(上)	世良田和幸・光畑裕正・平田道彦・矢数芳英〔司会〕	(15)719	2010(平成22)年・第57巻・第5号
症例報告／激しい眩暈・嘔吐発作に呉茱萸湯の一例－方証相対論考－	佐藤田實	(34)738	2010(平成22)年・第57巻・第5号
北里東医研診療録から(77)　頭痛を伴った慢性副鼻腔炎の3症例	及川哲郎・伊藤剛・花輪壽彦	(42)746	2010(平成22)年・第57巻・第5号
続女子医大雑話54(191) 漢方薬で蘇った金魚の治験例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(47)751	2010(平成22)年・第57巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(72) 古方の妙(下)	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(50)754	2010(平成22)年・第57巻・第5号
東洋堂経験余話(213)　▽不安神経症の動悸に半夏厚朴当▽鼻が重く、胃が重い人に葛根加半夏湯	松本一男	(59)763	2010(平成22)年・第57巻・第5号
漢方牛歩録(267)　ベーカー嚢腫に五苓散加枳実梔子・腰痛症と前立腺肥大に八味丸兼猪苓湯	中村謙介	(62)766	2010(平成22)年・第57巻・第5号
東海鍼灸医案(20)　坐骨神経痛の1例	荒井勝彦・高士将典	(64)768	2010(平成22)年・第57巻・第5号
＜第19回漢方治療研究会講演＞　茯苓杏仁甘草湯の5症例	高木恒太朗	(70)774	2010(平成22)年・第57巻・第5号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 気剤(半夏厚朴湯)で下肢の冷えが改善した1例	堀江延和・新澤敦	(79)783	2010(平成22)年・第57巻・第5号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 幻肢痛に対して烏頭当が速やかに草稿した1例	野上達也・永田豊・嶋田豊ほか	(83)787	2010(平成22)年・第57巻・第5号
＜第19回漢方治療研究会講演＞　繁用生薬と『増補薬能』	南利雄	(87)791	2010(平成22)年・第57巻・第5号
小倉重成先生記念・木更津漢方アカデミー宿題報告／ 太陽病における寒熱～「表寒・表熱」を考える	並木隆雄・平崎能郎	(91)795	2010(平成22)年・第57巻・第5号
『三訂通俗傷寒論』 ～温病学を『傷寒論』に取り込んだ傷寒学派～②太陽病	田中耕一郎・水野真一・三浦於菟ほか	(98)802	2010(平成22)年・第57巻・第5号
漢代の医学　その1　『漢書』藝文志、方技略	家本誠一	(107)811	2010(平成22)年・第57巻・第5号
アメリカ鍼灸随想(55)　栄養剤として普及する漢方薬	市橋宏樹	(120)824	2010(平成22)年・第57巻・第5号
〔第15回ICOM(国際東洋医学会)のモーニングセミナー〕 『医療と哲学の交差点－東西における心身論をめぐって』報告論稿			2010(平成22)年・第57巻・第5号
1.オーガナイザーとして	秋葉哲生	(129)833	2010(平成22)年・第57巻・第5号
2.座長席から	岩井祐泉	(131)835	2010(平成22)年・第57巻・第5号
3.演者席から　医療と哲学の交差点－東西における心身論をめぐって	J.Masia	(132)836	2010(平成22)年・第57巻・第5号
4.企画者として	中田英之	(139)843	2010(平成22)年・第57巻・第5号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(35)	真柳誠	(141)845	2010(平成22)年・第57巻・第5号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(35) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(8)	齋藤匡男	(147)851	2010(平成22)年・第57巻・第5号
私と漢方(18)	渋谷恵子	(152)856	2010(平成22)年・第57巻・第5号

漢方界トピックス／『東静漢方研究室』150号記念会開催		(154)858	2010(平成22)年・第57巻・第5号
第61回日本東洋医学会学術総会主要プログラム		(155)859	2010(平成22)年・第57巻・第5号
2010(平成22)年・第57巻・第6号			2010(平成22)年・第57巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(261) 敦煌本「新修本草序例」ー新公開の李盛鐸本	小曽戸洋	(2)882	2010(平成22)年・第57巻・第6号
巻頭言／繁用処方或は得意処方	織部和宏	(11)891	2010(平成22)年・第57巻・第6号
疾患別座談会／麻酔科・ペインクリニック領域の漢方(下)	世良田和幸・光畑裕正・平田道彦・矢数芳英〔司会〕	(13)893	2010(平成22)年・第57巻・第6号
臨床報告／漢方治療より西洋医学的治療を優先すべきであった3症例	山川淳一・守屋純二・元雄良治	(28)908	2010(平成22)年・第57巻・第6号
桂枝茯苓丸併用で効果を認めた片頭痛の1症例	垣迫真一	(33)913	2010(平成22)年・第57巻・第6号
続女子医大雑話55(192) 胃もたれ、嘔気、嘔吐、げっぷに対する生姜の効果	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(35)915	2010(平成22)年・第57巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(73) レベル10の頭痛がゼロになった	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(42)922	2010(平成22)年・第57巻・第6号
北里東医研診療録から(78) 半夏厚朴湯が有効であった不整脈症例2例	堀川朋恵・森裕紀子・花輪壽彦	(48)928	2010(平成22)年・第57巻・第6号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 梔子連翹甘草括蔞湯で全身性エリテマトーデスを治療した1例	荘明仁	(54)934	2010(平成22)年・第57巻・第6号
漢方牛歩録(268) 胸廊出口症候群・高血圧症の目眩・坐骨神経不全麻痺	中村謙介	(58)938	2010(平成22)年・第57巻・第6号
東洋堂経験余話(214) ▽胆嚢炎に良枳湯▽風邪を引き易い子供に小建中湯	松本一男	(60)940	2010(平成22)年・第57巻・第6号
東海鍼灸医案(21) 肘関節痛	髙士将典・荒井勝彦	(63)943	2010(平成22)年・第57巻・第6号
無門塾治験雑録(1) 茯苓突き	飯田敏雄・塚田健一・北川寛・田中まち子	(68)948	2010(平成22)年・第57巻・第6号
漢代の医学 その2 陰陽五行三才	家本誠一	(73)953	2010(平成22)年・第57巻・第6号
南方熊楠と生薬学	田中耕一郎・三浦於菟	(89)969	2010(平成22)年・第57巻・第6号
リアル傷寒論(1)	齋藤謙一	(100)980	2010(平成22)年・第57巻・第6号
シンガポールにおける中医学の歴史と教育の再考察	渡邊勇	(109)989	2010(平成22)年・第57巻・第6号
地域医療のヒント	來村昌紀	(120)1000	2010(平成22)年・第57巻・第6号
アメリカ鍼灸随想(56) 雨に濡れて気血水論(1)	市橋宏樹	(127)1007	2010(平成22)年・第57巻・第6号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(36)	真柳誠	(135)1015	2010(平成22)年・第57巻・第6号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(36) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(9)	齋藤匡男	(141)1021	2010(平成22)年・第57巻・第6号
広州中医薬大学ー千葉大学和漢診療学講座交流記	平崎能郎	(146)1026	2010(平成22)年・第57巻・第6号
秋田魁新報における加藤玄白、奥田謙蔵の医業広告	秋葉哲生	(149)1029	2010(平成22)年・第57巻・第6号
私と漢方(19)	渋谷恵子	(151)1031	2010(平成22)年・第57巻・第6号
漢方界トピックス／日韓のWHO伝統医学協力センター、協力促進覚書に調印		(153)1033	2010(平成22)年・第57巻・第6号
韓国韓医学通信(第40報)	金成俊	(154)1034	2010(平成22)年・第57巻・第6号
2010(平成22)年・第57巻・第7号			2010(平成22)年・第57巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(262) 『医界之鉄椎』の出版	小曽戸洋・天野陽介	(2)1054	2010(平成22)年・第57巻・第7号
巻頭言／「臨床に刺絡の活用を望む」(承前)	大貫進	(11)1063	2010(平成22)年・第57巻・第7号
原著論文／五兪穴の理論の原形と展開	鈴木達彦・遠藤次郎	(13)1065	2010(平成22)年・第57巻・第7号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 慢性皮膚炎(掌蹠膿疱症)に柴胡加竜骨牡蛎湯を使用して	二宮文乃	(23)1075	2010(平成22)年・第57巻・第7号
＜第19回漢方治療研究会特別講演＞ 症例よりみた癌治療における漢方療法の役割	山崎正寿	(30)1082	2010(平成22)年・第57巻・第7号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 天王補心丹加減を用いたパニック障害の治験例	向井誠	(39)1091	2010(平成22)年・第57巻・第7号
婦人科ガンへの湯液治療	小髙修司	(45)1097	2010(平成22)年・第57巻・第7号
続女子医大雑話56(193) 加味逍遙散の5症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信ほか	(53)1105	2010(平成22)年・第57巻・第7号
北里東医研診療録から(79) めまい・耳鳴りに対して竹葉石膏湯が奏効した1症例	小田口浩・星野卓之・五野由佳理・花輪壽彦	(58)1110	2010(平成22)年・第57巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(74) いろいろ経験させてくれたアトピー性皮膚炎	千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌	(62)1114	2010(平成22)年・第57巻・第7号
東洋堂経験余話(215) ▽インフルエンザに麻黄湯▽胃下垂の悪心に小半夏加茯苓湯加味	松本一男	(67)1119	2010(平成22)年・第57巻・第7号
漢方牛歩録(269) 頭痛・耳鳴を伴う足蹠の煩熱感に三物黄芩湯	中村謙介	(71)1123	2010(平成22)年・第57巻・第7号
東海鍼灸医案(22) 月経痛	髙士将典・荒井勝彦	(73)1125	2010(平成22)年・第57巻・第7号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(39)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(79)1131	2010(平成22)年・第57巻・第7号
芥川龍之介と蜜柑	田中耕一郎・三浦於菟	(87)1139	2010(平成22)年・第57巻・第7号
漢代の医学 その3 解剖学	家本誠一	(93)1145	2010(平成22)年・第57巻・第7号
リアル傷寒論(2)	齋藤謙一	(107)1159	2010(平成22)年・第57巻・第7号
アメリカ鍼灸随想(57) 雨に濡れて気血水論(2)	市橋宏樹	(116)1168	2010(平成22)年・第57巻・第7号

「認定実務実習」における漢方を学ぶこと	佐藤喜和子	(124)1176	2010(平成22)年・第57巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(37) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(10)	齋藤匡男	(125)1177	2010(平成22)年・第57巻・第7号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(37)	真柳誠	(133)1185	2010(平成22)年・第57巻・第7号
黒焼研究会発足！！と国内生産生薬に関する講演のお知らせ (国産生薬応援のために、国産生薬を使おう！！)	來村昌紀	(138)1190	2010(平成22)年・第57巻・第7号
漢方界トピックス／第61回日本東洋医学会学術総会レポートほか	油井富雄・山田真知子	(141)1193	2010(平成22)年・第57巻・第7号
2010(平成22)年・第57巻・第8号			2010(平成22)年・第57巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(263) 尾台榕堂の師と『類聚方広義』稿本	小曽戸洋・吉村重敏	(2)1214	2010(平成22)年・第57巻・第8号
巻頭言／第20回漢方治療研究会開催に当たって 近代漢方の発展をふりかえる	渡辺賢治	(11)1223	2010(平成22)年・第57巻・第8号
アンケート／私の愛用処方ベスト5		(13)1225	2010(平成22)年・第57巻・第8号
疾患別座談会／精神科・心療内科領域の漢方(上)	奥見裕邦・仁井田りち・蔡暁明・向井誠〔司会〕 矢数芳英〔編集委員会〕	(67)1249	2010(平成22)年・第57巻・第8号
尾台榕堂大成への序章－初学時代の縁を考える－	寺澤捷年	(51)1263	2010(平成22)年・第57巻・第8号
吉益東洞の再認識を－疾医の道の創生者として	横田観風	(59)1271	2010(平成22)年・第57巻・第8号
新型インフルエンザに対する漢方薬単独早期投与治療	盛克己・宮崎瑞明	(83)1295	2010(平成22)年・第57巻・第8号
甘草乾姜湯が奏効した2症例	大関潤一・千葉太郎・奈良範子・山田宏之	(97)1309	2010(平成22)年・第57巻・第8号
三度　温めて治しながら熱証としてよいのか －表熱論は論理として成立するのか－	中村謙介	(108)1320	2010(平成22)年・第57巻・第8号
臨床報告／鍼灸治療により消退した卵巣嚢腫の一例	吉田和裕・河野吉成・橋口亮・三浦於菟	(115)1327	2010(平成22)年・第57巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(1)	大竹実・三潴忠道ほか	(126)1338	2010(平成22)年・第57巻・第8号
私の頻用方剤「六君子湯」	針生雄吉	(132)1344	2010(平成22)年・第57巻・第8号
私の愛用処方　川芎茶調散	村松慎一	(136)1348	2010(平成22)年・第57巻・第8号
私の愛用する処方について	角田睦子	(137)1349	2010(平成22)年・第57巻・第8号
大黄牡丹皮湯による虫垂炎の一症例	秋葉哲生	(139)1351	2010(平成22)年・第57巻・第8号
＜第19回漢方治療研究会講演＞ 薏苡附子敗醤散証の虫垂炎に対する漢方治療の一例	伊藤敦之	(142)1354	2010(平成22)年・第57巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(75) 去加方を考える＝葛根加半夏湯の新しい発見	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(147)1359	2010(平成22)年・第57巻・第8号
癌研有明病院漢方サポート外来(21) 右乳癌術後。化学療法後。肥満のぼせ、性交痛。左乳癌術後。化学療法後、ホルモン療法中。不潔恐怖、ホットフラッシュ。右乳癌術後。化学療法後、ホルモン療法後。全身倦怠感と足のしびれ。	星野惠津夫・井上美貴・杉本耕一・園部聡	(157)1369	2010(平成22)年・第57巻・第8号
続女子医大雑話57(194) 頭痛の3症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美ほか	(165)1377	2010(平成22)年・第57巻・第8号
北里東医研診療録から(80) 芎帰調血飲が有効であった3例	森裕紀子・早崎知幸・川鍋伊晃・花輪壽彦	(171)1383	2010(平成22)年・第57巻・第8号
東洋堂経験余話(216)　▽新型インフルエンザに香蘇散料茯苓、白朮、半夏 ▽疲労感に加味逍遙散	松本一男	(175)1387	2010(平成22)年・第57巻・第8号
大青竜湯の条文	寺師睦宗	(178)1390	2010(平成22)年・第57巻・第8号
東海鍼灸医案(23)　変形性膝関節症の一症例	荒井勝彦・高士将典	(181)1393	2010(平成22)年・第57巻・第8号
医療における祈り(加持祈祷)の価値を考える－真言宗・権田雷斧師の治療例と欧米の科学的研究などから検討	谷田伸治	(187)1399	2010(平成22)年・第57巻・第8号
ちょっとした自慢話と、とても恥しい話～名医は居る！～	寺澤捷年	(196)1408	2010(平成22)年・第57巻・第8号
コラム／「東洋医学」の名が起こった時代はいつか	矢数道明	(198)1410	2010(平成22)年・第57巻・第8号
東洋医学的な「火」は実在するのか？　～感覚論から見る一考察～	田中耕一郎・三浦於菟	(199)1411	2010(平成22)年・第57巻・第8号
漢代の医学　その4　生理学	家本誠一	(204)1416	2010(平成22)年・第57巻・第8号
広瀬滋之君を偲んで	伊藤嘉紀	(215)1427	2010(平成22)年・第57巻・第8号
広瀬滋之先生の急逝を悼む	中田敬吾	(218)1430	2010(平成22)年・第57巻・第8号
私と漢方(20)	澁谷恵子	(220)1432	2010(平成22)年・第57巻・第8号
2010(平成22)年・第57巻・第9号			2010(平成22)年・第57巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(264)　井上玄徹肖像	小曽戸洋・天野陽介・町泉寿郎	(2)1446	2010(平成22)年・第57巻・第9号
巻頭言／先哲医家の顕彰	小曽戸洋	(11)1455	2010(平成22)年・第57巻・第9号
疾患別座談会／精神科・心療内科領域の漢方(中)	奥見裕邦・仁井田りち・蔡暁明・向井誠〔司会〕 矢数芳英〔編集委員会〕	(13)1457	2010(平成22)年・第57巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(76) いつまでも治らない風邪のあとの後鼻漏に桂姜棗草黄辛附湯	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(25)1469	2010(平成22)年・第57巻・第9号
北里東医研診療録から(81)　桂枝加附子湯が有効であった三症例	鈴木邦彦・及川哲郎・花輪壽彦	(39)1483	2010(平成22)年・第57巻・第9号
東洋堂経験余話(217)　▽関節リウマチに薏苡仁湯　▽右肘の腫痛に越婢加朮湯	松本一男	(45)1489	2010(平成22)年・第57巻・第9号
臨床報告／二朮湯が奏効したガングリオンの1症例	桜井みち代	(48)1492	2010(平成22)年・第57巻・第9号

続女子医大雑話58(195) 高齢者の漢方治療	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子ほか	(50)1494	2010(平成22)年・第57巻・第9号
漢方牛歩録(270) 爪母床際の小ガングリオン・閉塞性動脈硬化症	中村謙介	(54)1498	2010(平成22)年・第57巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(2)	大竹実・三潴忠道ほか	(56)1500	2010(平成22)年・第57巻・第9号
無門塾治験雑録(2) 漢方薬局「たんぽぽ屋」	北川寛・塚田健一・田中まち子・飯田敏雄	(63)1507	2010(平成22)年・第57巻・第9号
不完全寛解の血管炎症症候群、Churg-Strauss症候群、Henoch-Schonlein紫斑病に漢方薬が奏効	土方康世	(69)1513	2010(平成22)年・第57巻・第9号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(40)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(79)1523	2010(平成22)年・第57巻・第9号
東海鍼灸医案(24) こむら返り	髙士将典・荒井勝彦	(89)1533	2010(平成22)年・第57巻・第9号
太陽病表寒表熱論争に寄す 併せて虚実について	福島辨造	(94)1538	2010(平成22)年・第57巻・第9号
銭乙『小児薬証直訣』における小児の五臓理論と治療法(2)心の病証	田中耕一郎・三浦於菟	(98)1542	2010(平成22)年・第57巻・第9号
漢代の医学 その5 生理学(2)	家本誠一	(108)1552	2010(平成22)年・第57巻・第9号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(38) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(11)	齋藤匡男	(121)1565	2010(平成22)年・第57巻・第9号
リアル傷寒論(3)	齋藤謙一	(126)1570	2010(平成22)年・第57巻・第9号
アメリカ鍼灸随想(58) 天変地異に学ぶ人々	市橋宏樹	(135)1579	2010(平成22)年・第57巻・第9号
明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(1)	油井富雄	(144)1588	2010(平成22)年・第57巻・第9号
私と漢方(21)	澁谷恵子	(147)1591	2010(平成22)年・第57巻・第9号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(38)	真柳誠	(149)1593	2010(平成22)年・第57巻・第9号
言霊のさきはふ御国 ―和田耀子さんの手紙―	中村謙介	(153)1597	2010(平成22)年・第57巻・第9号
第二次世界大戦後の日本を救った蒋介石と伝統医学	木下勤	(164)1608	2010(平成22)年・第57巻・第9号
書評／稲木一元・松田邦夫共著『女性のための漢方薬』	佐藤弘	(165)1609	2010(平成22)年・第57巻・第9号
韓国韓医学通信(第41報)	金成俊	(166)1610	2010(平成22)年・第57巻・第9号
2010(平成22)年・第57巻・第10号			2010(平成22)年・第57巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(265) 日本の扁鵲像(2)	天野陽介・小曽戸洋	(2)1630	2010(平成22)年・第57巻・第10号
巻頭言／治療学とEBM	丁宗鐵	(11)1639	2010(平成22)年・第57巻・第10号
脳機能を中心に据えた新たな漢方医学の展開	盛克己・宮崎瑞明	(13)1641	2010(平成22)年・第57巻・第10号
新型インフルエンザに対する漢方治療の経験	森由雄	(27)1655	2010(平成22)年・第57巻・第10号
新型(A/N1H1)インフルエンザにおける治療結果と治療方針の提案	渡邊善一郎	(35)1663	2010(平成22)年・第57巻・第10号
疾患別座談会／精神科・心療内科領域の漢方(下)	奥見裕邦・仁井田りち・蔡暁明・向井誠〔司会〕 矢数芳英〔編集委員会〕	(41)1669	2010(平成22)年・第57巻・第10号
虫垂炎術後手術痕周囲痛に小柴胡湯合桂枝茯苓丸料加減が奏効した1例	高木恒太朗	(54)1682	2010(平成22)年・第57巻・第10号
癌研有明病院漢方サポート外来(22) 胃癌術後、食後の心窩部痛と全身倦怠感。子宮肉腫、多発肺転移、手術、化学療法、放射線治療後。排便時の腹痛と大量の粘液便。子宮体癌術後、腸閉塞の反復、腸蠕動亢進。卵巣癌術後、化学療法後、下腹部の絞られるような痛みと全身の痛み。大腸癌肝転移後、全身化学療法後、抗癌剤肝動注施行中、心窩部の激痛、全身の痛み	星野惠津夫・井上美貴・杉本耕一・園部聡	(63)1691	2010(平成22)年・第57巻・第10号
続女子医大雑話59(196) 動悸の2症例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(76)1704	2010(平成22)年・第57巻・第10号
北里東医研診療録から(82) 温経湯により頚椎後縦靱帯骨化症に伴うしびれと運動障害が軽快した一例	川鍋伊晃・早崎知幸・花輪壽彦ほか	(81)1709	2010(平成22)年・第57巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(77) 補中益気湯加桃仁紅花荊芥防風の症例	千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌	(86)1714	2010(平成22)年・第57巻・第10号
東洋堂経験余話(218) ▽腹部の不快感に厚朴生姜半夏甘草人参湯▽感冒の咽痛に桂枝去桂加茯苓白朮湯加桔梗	松本一男	(93)1721	2010(平成22)年・第57巻・第10号
漢方牛歩録(271) 内痔核と前立腺肥大に竜胆瀉肝湯・大腸炎に啓脾湯	中村謙介	(96)1724	2010(平成22)年・第57巻・第10号
東海鍼灸医案(25) 顔面神経麻痺	髙士将典・荒井勝彦	(99)1727	2010(平成22)年・第57巻・第10号
漢代の医学 その6 病因論	家本誠一	(103)1731	2010(平成22)年・第57巻・第10号
鉱物薬の効能の傾向に関する考察～粘土状の鉱物、鉄を含む鉱物～	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(117)1745	2010(平成22)年・第57巻・第10号
アメリカ鍼灸随想(59) 代替医療とは嫌なトリック	市橋宏樹	(128)1756	2010(平成22)年・第57巻・第10号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(39) 『大同類聚方』・和気清麻呂所伝方(12)	齋藤匡男	(137)1765	2010(平成22)年・第57巻・第10号
リアル傷寒論(4)	齋藤謙一	(143)1771	2010(平成22)年・第57巻・第10号
明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(2)	油井富雄	(153)1781	2010(平成22)年・第57巻・第10号
書評／横田観風『訓注・尾台榕堂全集』の刊行を祝す	寺澤捷年	(156)1784	2010(平成22)年・第57巻・第10号
第20回漢方治療研究会、慶大で開催	油井富雄・山田真知子	(157)1785	2010(平成22)年・第57巻・第10号
漢方界トピックス／第27回和漢医薬学会学術大会京都で開催・第11回山友会学術懇話会開催・平成22年吉益東洞顕彰会開催		(167)1795	2010(平成22)年・第57巻・第10号
2010(平成22)年・第57巻・第11号			2010(平成22)年・第57巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(266) 内藤希哲の『医経解惑論』	小曽戸洋	(2)1814	2010(平成22)年・第57巻・第11号

巻頭言／「不易」と「流行」	小暮敏明	(11)1823	2010(平成22)年・第57巻・第11号
証の歴史と現代的課題(上)	秋葉哲生	(13)1825	2010(平成22)年・第57巻・第11号
症例報告／基礎疾患により出現し、治療に難渋した症状に対して当帰芍薬散が奏効した2症例	時田江里香・石野尚吾・砂川正隆・久米正	(26)1838	2010(平成22)年・第57巻・第11号
北里東医研診療録から(83) 桂姜棗草黄辛附湯が有効だった寒冷蕁麻疹の1例	五野由佳理・伊東秀憲・望月良子・花輪壽彦	(31)1843	2010(平成22)年・第57巻・第11号
続女子医大雑話60(197) 葛根湯加川芎辛夷で血圧上昇をみた鼻腹腔炎の1例	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(36)1848	2010(平成22)年・第57巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(78) 麻黄の薬能方向転換説	田畑隆一郎・鈴木寛彦・蓮村幸兌・千田五月	(42)1854	2010(平成22)年・第57巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(3)	大竹実・三潴忠道ほか	(50)1862	2010(平成22)年・第57巻・第11号
漢方牛歩録(272) 頸椎捻挫の肩こり・手部末梢神経炎・腰椎椎間板障害による坐骨神経不全麻痺	中村謙介	(58)1870	2010(平成22)年・第57巻・第11号
東洋堂経験余話(219) ▽胃炎に黄連湯 ▽口中の火傷に桂枝去芍薬加蜀漆牡蛎竜骨救逆湯	松本一男	(61)1873	2010(平成22)年・第57巻・第11号
無門塾治験雑録(3) 桃核承気湯(その1)	田中まち子・飯田敏雄・塚田健一・北川寛	(68)948	2010(平成22)年・第57巻・第11号
第5回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会特別講演 わが国における漢方医学教育の取り組み～コア・カリキュラムの標準化についての勘案～	佐藤寿一	(72)1884	2010(平成22)年・第57巻・第11号
東海鍼灸医案(26) 不妊症	高士将典・荒井勝彦	(85)1897	2010(平成22)年・第57巻・第11号
生薬入手困難な時代到来？－生薬枯渇対策に植物組織培養の活用を－	土方康世・多葉田誉・佐橋裕子	(91)1903	2010(平成22)年・第57巻・第11号
『温病条弁』にみる『傷寒論』処方～桂枝湯・小青竜湯・麻杏甘石湯・白虎湯～	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(96)1908	2010(平成22)年・第57巻・第11号
医道と医家	吉元昭治	(109)1921	2010(平成22)年・第57巻・第11号
補中治湿湯の出典について	矢数圭堂	(120)1932	2010(平成22)年・第57巻・第11号
漢代の医学 その7 病理学(1)	家本誠一	(129)1941	2010(平成22)年・第57巻・第11号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(40) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(1)	齋藤匡男	(139)1951	2010(平成22)年・第57巻・第11号
リアル傷寒論(5)	齋藤謙一	(146)1958	2010(平成22)年・第57巻・第11号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(39)	真柳誠	(155)1967	2010(平成22)年・第57巻・第11号
アメリカ鍼灸随想(60) ペイン・フリー・アメリカン	市橋宏樹	(161)1973	2010(平成22)年・第57巻・第11号
夏休みの効用(第2回黒焼研究会の報告)	來村昌紀	(167)1979	2010(平成22)年・第57巻・第11号
「漢方研究室」の沿革(1) 『漢方と漢薬』時代	秋葉哲生	(172)1984	2010(平成22)年・第57巻・第11号
明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(3)	油井富雄	(174)1986	2010(平成22)年・第57巻・第11号
藤井美樹先生のご逝去を悼む	山田光胤	(177)1989	2010(平成22)年・第57巻・第11号
漢方界トピックス／第35回浅井国幹顕彰会開催	油井富雄	(179)1991	2010(平成22)年・第57巻・第11号
書評／秋葉哲生・中村常太郎共著『警笛！漢方保険診療』	寺澤捷年	(180)1992	2010(平成22)年・第57巻・第11号
私と漢方(22)	渋谷恵子	(181)1993	2010(平成22)年・第57巻・第11号
2010(平成22)年・第57巻・第12号			2010(平成22)年・第57巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(267) 先哲医家・医史跡周覧会	天野陽介ほか	(2)2006	2010(平成22)年・第57巻・第12号
巻頭言／第28回和漢医薬学会学術大会に関連して	嶋田豊	(11)2015	2010(平成22)年・第57巻・第12号
証の歴史と現代的課題(下)	秋葉哲生	(13)2017	2010(平成22)年・第57巻・第12号
血の道症と柴胡剤の関係	塚田健一	(21)2025	2010(平成22)年・第57巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(79) 呉茱萸湯について…肩こり症への応用	蓮村幸兌・千田五月・田畑隆一郎・鈴木寛彦	(33)2037	2010(平成22)年・第57巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(4)	大竹実・三潴忠道ほか	(42)2046	2010(平成22)年・第57巻・第12号
尋常性乾癬に梔子柏皮湯と通導散が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(53)2057	2010(平成22)年・第57巻・第12号
続女子医大雑話61(198) 補剤に半夏厚朴湯を加えて、さらに調子がよくなった2症例	盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅・新井信ほか	(57)2061	2010(平成22)年・第57巻・第12号
北里東医研診療録から(84) 可動域制限を伴う右股関節痛に芍甘黄辛附湯が有効だった1例	森裕紀子・花輪壽彦ほか	(61)2065	2010(平成22)年・第57巻・第12号
無門塾治験雑録(4) 排膿散など漢方薬散剤の症例	山下耕司・飯田敏雄・塚田健一ほか	(65)2069	2010(平成22)年・第57巻・第12号
東洋堂経験余話(220) ▽原因と病名が不明の背痛・心下部痛に大柴胡湯と黄連湯 ▽感冒の後の咳嗽に小柴胡湯加乾姜、五味子	松本一男	(71)2075	2010(平成22)年・第57巻・第12号
漢方牛歩録(273) 飲酒で誘発される気管支喘息・虚証の頚腕症候群	中村謙介	(74)2078	2010(平成22)年・第57巻・第12号
東海鍼灸医案(27) 瞑眩	高士将典・荒井勝彦	(77)2081	2010(平成22)年・第57巻・第12号
四物湯配合生薬製剤の研究総説 当帰川芎製剤の「血」への関与と薬理学的検討	平澤康史・久木浩平・高橋徹・高橋邦夫	(81)2085	2010(平成22)年・第57巻・第12号
第5回日本東洋医学会東海支部伝統医学研究会講演			2010(平成22)年・第57巻・第12号
シンポジウム／脾胃の辨証論治 脾胃の常用基本処方	郷治光廣	(96)2100	2010(平成22)年・第57巻・第12号
シンポジウム／脾胃の臓腑と弁証 皮膚と脾胃	龍神綾子	(102)2106	2010(平成22)年・第57巻・第12号
シンポジウム／脾胃の臓腑と弁証 四君子湯の臨床応用について	丹羽幸吉	(107)2111	2010(平成22)年・第57巻・第12号
故入江正先生への報告 入江FTを漢方へ糸練功の開発	木下順一朗	(117)2121	2010(平成22)年・第57巻・第12号

漢方備忘録(上)	鈴木堯	(122)2126	2010(平成22)年・第57巻・第12号
漢代の医学　その8　病理学(2)	家本誠一	(129)1941	2010(平成22)年・第57巻・第12号
「漢方研究室」の沿革(2) 『漢方と漢薬』時代	秋葉哲生	(131)2135	2010(平成22)年・第57巻・第12号
アメリカ鍼灸随想(61)　インビジビリティー・ダスト	市橋宏樹	(146)2150	2010(平成22)年・第57巻・第12号
リアル傷寒論(6)	齋藤謙一	(154)2158	2010(平成22)年・第57巻・第12号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(41) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(2)	齊藤匡男	(165)2169	2010(平成22)年・第57巻・第12号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(40)	真柳誠	(171)2175	2010(平成22)年・第57巻・第12号
明治の漢方復興運動の記録　幻の『漢洋医学闘争史』下巻(4)	油井富雄	(177)2181	2010(平成22)年・第57巻・第12号
未知との遭遇(第3回黒焼研究会の報告)	來村昌紀	(181)2185	2010(平成22)年・第57巻・第12号
書評／秋葉哲生・中村常太郎共著『警鐘！漢方保険診療』を読んで	蔭山充	(183)2187	2010(平成22)年・第57巻・第12号
先哲医家名墓・医史跡周覧会報告記	天野陽介・矢数芳英・小曽戸洋	(185)2189	2010(平成22)年・第57巻・第12号
漢方界トピックス／尾台榕堂没後140年事業、十日町で開催・日本漢方交流会学術総会投稿で開催・日本漢方協会大会、慶大薬学部で開催、WHO国際疾病分類へ伝統医学の記載目指し、大型プロジェクト東京で国際会議		(192)2196	2010(平成22)年・第57巻・第12号
2011(平成23)年・第58巻・第1号			2011(平成23)年・第58巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(268)　徳川綱吉の神農像と徳川斉昭の「神農」書	小曽戸洋・天野陽介	(2)2	2011(平成23)年・第58巻・第1号
平成23年(2011年)　新年のことば　〔132名〕		(9)9	2011(平成23)年・第58巻・第1号
原著論文／五兪穴における合穴の機能	鈴木達彦・遠藤次郎	(101)101	2011(平成23)年・第58巻・第1号
胃腸炎様の症状に桂枝加芍薬生姜人参湯が奏効した1例	犬塚央・田原英一・三潴忠道ほか	(114)114	2011(平成23)年・第58巻・第1号
＜第20回漢方治療研究会講演＞食道通過障害に利隔湯が有効であった症例	岩崎勲	(119)119	2011(平成23)年・第58巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(5)	大竹実・三潴忠道ほか	(131)131	2011(平成23)年・第58巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(80) 四逆散の症例	千田五月・田畑隆一郎・蓮村幸兌・鈴木寛彦	(141)141	2011(平成23)年・第58巻・第1号
続女子医大雑話62(199)　最近経験した2症例	岡部竜吾・溝部宏毅・新井信・久米由美ほか	(151)151	2011(平成23)年・第58巻・第1号
＜第20回漢方治療研究会講演＞肝気虚の症例	森下克也	(155)155	2011(平成23)年・第58巻・第1号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(41)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(159)159	2011(平成23)年・第58巻・第1号
最も古い経方(先秦～前漢)の組方に関する研究と動向及び五行説の歴史的肉付けについて	杉山広重	(171)171	2011(平成23)年・第58巻・第1号
『三訂通俗傷寒論』　～温病学を『傷寒論』に取り込んだ傷寒学派～③少陽病	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(183)183	2011(平成23)年・第58巻・第1号
漢方備忘録(下)	鈴木堯	(195)195	2011(平成23)年・第58巻・第1号
明治の漢方復興運動の記録　幻の『漢洋医学闘争史』下巻(5)	油井富雄	(204)204	2011(平成23)年・第58巻・第1号
「漢方研究室」の沿革(3) 『漢方と漢薬』時代	秋葉哲生	(208)208	2011(平成23)年・第58巻・第1号
韓国韓医学通信(第42報)	金成俊	(210)210	2011(平成23)年・第58巻・第1号
台湾訪書志Ⅱ　国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(41)	真柳誠	(213)213	2011(平成23)年・第58巻・第1号
図書紹介／油井富雄著『現代に蘇る漢方医学会の巨匠浅田宗伯』	小池加能	(218)218	2011(平成23)年・第58巻・第1号
漢方界トピックス／国際伝統医学研究ネットワーク(GRNTM)北里東医研などをメンバーに結成される		(219)219	2011(平成23)年・第58巻・第1号
2011(平成23)年・第58巻・第2号			2011(平成23)年・第58巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(269)　神農像二軸―谷文晁と富士川游	小曽戸洋・天野陽介	(2)234	2011(平成23)年・第58巻・第2号
巻頭言／知識を得ること、こころでみること	三谷和男	(11)243	2011(平成23)年・第58巻・第2号
附子人参湯の出典再検討	小山誠次	(13)245	2011(平成23)年・第58巻・第2号
インフルエンザに対する銀翹散内服液の使用経験	三浦於菟・河野吉成ほか	(21)253	2011(平成23)年・第58巻・第2号
厚朴生姜半夏甘草人参湯の1例	森下克也	(28)260	2011(平成23)年・第58巻・第2号
＜第20回漢方治療研究会講演＞吃逆に大承気湯加減が奏効した2例	平崎能郎・並木隆雄ほか	(31)263	2011(平成23)年・第58巻・第2号
疏肝理気活血利水法が著効した繊維筋痛症の1例 ―本症発症機序の中医学的考察―	川村力	(39)271	2011(平成23)年・第58巻・第2号
癌研有明病院漢方サポート外来(23) 残胃再発胃癌、胃全摘術後、後腹膜リンパ節転移。非小細胞性肺癌、化学療法後。膵嚢胞性腫瘍、胆嚢腫瘍、肺・骨転移、リンパ節転移。食道癌放射線化学療法後手術、下咽頭癌放射線治療後。	星野惠津夫・井上美貴・杉本耕一・星野惠則	(47)279	2011(平成23)年・第58巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(6)	大竹実・三潴忠道ほか	(57)289	2011(平成23)年・第58巻・第2号
北里東医研診療録から(85)鼻閉・鼻茸に辛夷散料が有効であった一例	堀田広満・花輪壽彦ほか	(66)298	2011(平成23)年・第58巻・第2号
続女子医大雑話63(200)　皮膚疾患の三例	溝部宏毅・新井信・久米由美・盛岡頼子ほか	(73)305	2011(平成23)年・第58巻・第2号
漢方牛歩録(274)　体格の良い男性の易疲労に柴胡加竜骨牡蛎湯・外傷性末梢神経炎に黄耆桂枝五物湯	中村謙介	(77)309	2011(平成23)年・第58巻・第2号
東洋堂経験余話(221) ▽睡眠時無呼吸症候群に十全大補湯▽感冒後の咳嗽に小柴胡湯加桑白皮	松本一男	(80)312	2011(平成23)年・第58巻・第2号

医師・薬剤師リレー治験録(81) 当帰四逆加呉茱萸生姜湯と建中湯と柴胡桂枝乾姜湯	鈴木寛彦・田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月	(83)315	2011(平成23)年・第58巻・第2号
無門塾治験雑録(5) アトピーは難しい	飯田敏雄・北川寛ほか	(90)322	2011(平成23)年・第58巻・第2号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(42)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(97)329	2011(平成23)年・第58巻・第2号
五行学説の臨床応用	土方康世・陸希	(104)336	2011(平成23)年・第58巻・第2号
『傷寒論』の〝不治〟に挑む『温病条弁』～増液湯の発想～	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(117)349	2011(平成23)年・第58巻・第2号
リアル傷寒論(7)	齋藤謙一	(126)358	2011(平成23)年・第58巻・第2号
生薬基礎講座(2) 芍薬	金成俊	(137)369	2011(平成23)年・第58巻・第2号
漢代の医学 その9 症候論(1)	家本誠一	(143)375	2011(平成23)年・第58巻・第2号
アメリカ鍼灸随想(62) 超能力はないほうがよい	市橋宏樹	(154)386	2011(平成23)年・第58巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(42) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(3)	齊藤匡男	(163)395	2011(平成23)年・第58巻・第2号
未病と基準値	小曽戸明子	(169)401	2011(平成23)年・第58巻・第2号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(42)	真柳誠	(171)403	2011(平成23)年・第58巻・第2号
東洋医学会という歴史的名称を改名する動きに反対する —歴史を知らぬおぞましさ—	秋葉哲生	(176)408	2011(平成23)年・第58巻・第2号
明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(6)	油井富雄	(179)411	2011(平成23)年・第58巻・第2号
佐々木和良先生を追慕する	松岡尚則	(183)415	2011(平成23)年・第58巻・第2号
「漢方研究室」の沿革(4) 『漢方と漢薬』時代	秋葉哲生	(184)416	2011(平成23)年・第58巻・第2号
私と漢方(23)	渋谷恵子	(186)418	2011(平成23)年・第58巻・第2号
韓国韓医学通信(第43報)	金成俊	(188)420	2011(平成23)年・第58巻・第2号
漢方界トピックス／「鍼灸の歴史を紐解く」第1回鍼灸医学史研究発表会開催		(191)423	2011(平成23)年・第58巻・第2号
2011(平成23)年・第58巻・第3号			2011(平成23)年・第58巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(270) 内藤希哲と『傷寒雑病論類篇』	小曽戸洋	(2)438	2011(平成23)年・第58巻・第3号
巻頭言／温患知病	金成俊	(11)447	2011(平成23)年・第58巻・第3号
加減利膈湯の病態とその運用	福田佳弘・岡新治・小林瑞	(13)449	2011(平成23)年・第58巻・第3号
小視症に対して苓桂朮甘湯が著効した一例 —頭頚部における内攻の解剖生理学的考察—	高木恒太朗	(25)461	2011(平成23)年・第58巻・第3号
夫婦同時の漢方治療が夫の認知症中核症状に好影響を与えた1例	桒谷圭二	(31)467	2011(平成23)年・第58巻・第3号
続女子医大雑話64(201) 不定愁訴の3症例	新井信・久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(36)472	2011(平成23)年・第58巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(7)	大竹実・三瀦忠道ほか	(43)479	2011(平成23)年・第58巻・第3号
漢方牛歩録(275) 弾撥指に薏苡仁湯・多発性関節痛に麻杏薏甘湯など	中村謙介	(52)488	2011(平成23)年・第58巻・第3号
東洋堂経験余話(222) ▽解熱、止痢後の下腹部膨満感と腹部の鈍痛に厚朴生姜半夏甘草人参湯▽口内乾燥に黄耆建中湯	松本一男	(54)490	2011(平成23)年・第58巻・第3号
北里東医研診療録から(86) 難治性顔面紅斑が漢方随証治療により著明に改善した全身性エリテマトーデスの1例	望月良子・花輪壽彦ほか	(57)493	2011(平成23)年・第58巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(82) 手足の関節痛、腫れと桂枝芍薬知母湯	田畑隆一郎・蓮村幸兌・千田五月ほか	(67)503	2011(平成23)年・第58巻・第3号
無門塾治験雑録(6) うさぎの足跡	北川寛・田中まち子・山下耕司ほか	(76)512	2011(平成23)年・第58巻・第3号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(43)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(81)517	2011(平成23)年・第58巻・第3号
＜第20回漢方治療研究会会頭講演＞近代漢方の原点に立ち返る	村田高明	(87)523	2011(平成23)年・第58巻・第3号
東海鍼灸医案(28) 副作用	髙士将典・荒井勝彦	(101)537	2011(平成23)年・第58巻・第3号
嗅覚と、香りを有する生薬についての一考察(上)	田中耕一郎・三浦於菟	(106)542	2011(平成23)年・第58巻・第3号
現代医学の見落としてるもの 裏寒① 怖い内臓の冷え(要約)(上)	伊藤浩史	(111)547	2011(平成23)年・第58巻・第3号
方剤の温寒数字化の検討—中武方式—	中武成信	(123)559	2011(平成23)年・第58巻・第3号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(43) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(4)	齊藤匡男	(131)567	2011(平成23)年・第58巻・第3号
漢代の医学 その10 症候論(2)	家本誠一	(139)575	2011(平成23)年・第58巻・第3号
アメリカ鍼灸随想(63) わが友、裸の成功者	市橋宏樹	(148)584	2011(平成23)年・第58巻・第3号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(43)	真柳誠	(157)593	2011(平成23)年・第58巻・第3号
「漢方研究室」の沿革(5) 『漢方と漢薬』時代	秋葉哲生	(162)598	2011(平成23)年・第58巻・第3号
東邦大学医療センター大森病院東洋医学科における鍼灸外来の現状 —2005～2007年外来患者の傾向—	吉田和裕・三浦於菟ほか	(165)601	2011(平成23)年・第58巻・第3号
EBMとIBM	小曽戸明子	(179)615	2011(平成23)年・第58巻・第3号
小倉重成先生24回忌ならびに第5回小倉記念木更津漢方アカデミーに参加して	仙田晶子	(180)616	2011(平成23)年・第58巻・第3号
2011(平成23)年・第58巻・第4号			2011(平成23)年・第58巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(271) 丁福保	天野陽介・小曽戸洋	(2)634	2011(平成23)年・第58巻・第4号
巻頭言／漢方診療の治療関係を見直して	杵渕彰	(11)643	2011(平成23)年・第58巻・第4号
原著論文／五兪穴の五行穴としての側面—「傍通・変化」の理論—	鈴木達彦・遠藤次郎	(13)645	2011(平成23)年・第58巻・第4号

五積散合柴胡桂枝乾姜湯が有効であった不明熱を伴う関節痛の症例	三浦於菟・芹沢敬子・河野吉成ほか	(24)656	2011(平成23)年・第58巻・第4号
＜第20回漢方治療研究会講演＞芍甘黄辛附湯が有効であった頚椎疾患の4例	永井良樹	(31)663	2011(平成23)年・第58巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(83) つわりの黄連湯・妊娠中の不眠に香蘇散	蓮村幸兌・千田五月ほか	(34)666	2011(平成23)年・第58巻・第4号
北里東医研診療録から(87) 腰部脊柱管狭窄症に伴う冷えと煩熱に清熱補血湯が有効であった一例	堀川朋恵・花輪壽彦ほか	(41)673	2011(平成23)年・第58巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／『最近の治験・知見・事件!?』(8)	大竹実・三潴忠道ほか	(47)679	2011(平成23)年・第58巻・第4号
続女子医大雑話65(202) 自分の家族に対する漢方治療	久米由美・盛岡頼子・岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(55)687	2011(平成23)年・第58巻・第4号
東洋堂経験余話(223) ▽原因不明の吐き気と頭痛に呉茱萸湯▽頭痛に柴朴湯加川芎、白芷	松本一男	(61)693	2011(平成23)年・第58巻・第4号
漢方牛歩録(276) 手指屈筋腱炎に薏苡仁・頚椎捻挫に白虎加人参湯・手指挫創に狗背末	中村謙介	(64)696	2011(平成23)年・第58巻・第4号
利膈湯一考	伊藤康雄・山崎由佳里・酒井直美	(66)698	2011(平成23)年・第58巻・第4号
無門塾治験雑録(7) 漢方修行あれこれ	山下耕司・田中まち子・飯田敏雄ほか	(76)708	2011(平成23)年・第58巻・第4号
漢方研究室(1) 2011年4月号出題 第1問	出題:寺澤捷年	(82)714	2011(平成23)年・第58巻・第4号
望診と視診	小曽戸明子	(84)716	2011(平成23)年・第58巻・第4号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(44)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・渡辺賀子ほか	(85)717	2011(平成23)年・第58巻・第4号
東海鍼灸医案(29) 術後のしびれ	髙士将典・荒井勝彦	(91)723	2011(平成23)年・第58巻・第4号
古文説 今文説と五行説	吉元昭治	(97)729	2011(平成23)年・第58巻・第4号
嗅覚と、香りを有する生薬についての一考察(下)	田中耕一郎・三浦於菟	(109)741	2011(平成23)年・第58巻・第4号
リアル傷寒論(8)	齋藤謙一	(119)751	2011(平成23)年・第58巻・第4号
漢代の医学 その11 疾病学(1)	家本誠一	(131)763	2011(平成23)年・第58巻・第4号
アメリカ鍼灸随想(64) 大地震・ツナーミ・放射能が襲う	市橋宏樹	(139)771	2011(平成23)年・第58巻・第4号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(44) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(5)	齊藤匡男	(147)779	2011(平成23)年・第58巻・第4号
現代医学の見落としてるもの 裏寒② 怖い内臓の冷え(要約)(下)	伊藤浩史	(153)785	2011(平成23)年・第58巻・第4号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(44)	真柳誠	(163)795	2011(平成23)年・第58巻・第4号
明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(7)	油井富雄	(168)800	2011(平成23)年・第58巻・第4号
韓国韓医学通信(第44報)	金成俊	(172)804	2011(平成23)年・第58巻・第4号
「漢方研究室」の沿革(5) 『漢方と漢薬』時代	秋葉哲生	(162)598	2011(平成23)年・第58巻・第4号
私と漢方(24)	渋谷恵子	(176)808	2011(平成23)年・第58巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(178)810	2011(平成23)年・第58巻・第4号
2011(平成23)年・第58巻・第5号			2011(平成23)年・第58巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(272) 吉益東洞の肖像ー尾台榕堂賛	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)822	2011(平成23)年・第58巻・第5号
巻頭言／第62回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって 自然との調和ー北の大地からー	大塚吉則	(11)831	2011(平成23)年・第58巻・第5号
疾患別座談会／呼吸器科領域の漢方(上)	伊藤隆・中島正光・加藤士郎・並木隆雄・巽浩一郎〔司会〕	(13)833	2011(平成23)年・第58巻・第5号
総説／メンタルヘルスと漢方	伊藤隆・千々岩武陽・仙田晶子ほか	(34)854	2011(平成23)年・第58巻・第5号
漢方薬の効果言弱における「同病転証」について	高木恒太朗	(52)872	2011(平成23)年・第58巻・第5号
吉益東洞の医術と医論(1)	舘野正美	(63)883	2011(平成23)年・第58巻・第5号
精神神経疾患に対する漢方方剤に牡蛎末加味の効果検討	盛克己・宮崎瑞明	(77)897	2011(平成23)年・第58巻・第5号
ウィルス感染症に罹患し小柴胡湯加桔梗石膏で発汗して治癒した自験例ー煎じ薬とエキス剤の違いを含めて	村井政史・三潴忠道ほか	(89)909	2011(平成23)年・第58巻・第5号
流産歴のある妊婦に対する六君子湯の使用経験	山本佳乃子・嶋田豊ほか	(97)917	2011(平成23)年・第58巻・第5号
生姜瀉心湯が奏効した難治性舌潰瘍と舌痛病の2例	犬塚央・三潴忠道ほか	(103)923	2011(平成23)年・第58巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／『最近の治験・知見・事件!?』(9)	大竹実・三潴忠道ほか	(107)927	2011(平成23)年・第58巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(84) 加味逍遙散の症例	千田五月・鈴木寛彦ほか	(117)937	2011(平成23)年・第58巻・第5号
北里東医研診療録から(88) 治喘一方の有効性の検討	早崎知幸・花輪壽彦ほか	(124)944	2011(平成23)年・第58巻・第5号
続女子医大雑話66(203) 虚実の判断は難しい！	盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(128)948	2011(平成23)年・第58巻・第5号
無門塾治験雑録(8) 眼科領域における症例(駆瘀血剤の応用)	田中まち子・飯田敏雄ほか	(133)953	2011(平成23)年・第58巻・第5号
東洋堂経験余話(224) ▽急性湿疹に桂枝麻黄各半湯 ▽左耳の閉塞に小柴胡湯合香蘇散料	松本一男	(143)963	2011(平成23)年・第58巻・第5号
漢方牛歩録(277) 弾撥指に防已黄耆湯兼薏苡仁湯・滲出液を伴う感染創に排膿散及湯・変形性膝関節症兼べーカー嚢腫	中村謙介	(146)966	2011(平成23)年・第58巻・第5号
舌診とセルフケアー	小曽戸明子	(148)968	2011(平成23)年・第58巻・第5号
東海鍼灸医案(30) 地震後によるめまい感(地震酔い)	髙士将典・荒井勝彦	(149)969	2011(平成23)年・第58巻・第5号
漢方研究室(2) 2011年5月号出題 第2問	出題:寺澤捷年	(154)974	2011(平成23)年・第58巻・第5号

基礎生薬講座(3) 麦門冬	金成俊	(156)976	2011(平成23)年・第58巻・第5号
【『唐代文人疾病攷の内】 温庭筠(飛卿)疾病攷ーアスペルガー症候群を疑うー	小髙修司	(161)981	2011(平成23)年・第58巻・第5号
アメリカ鍼灸随想(65) 東洋医学で考えるチャンス	市橋宏樹	(169)989	2011(平成23)年・第58巻・第5号
漢代の医学 その12 疾病学(2)	家本誠一	(177)997	2011(平成23)年・第58巻・第5号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(45) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(6)	齊藤匡男	(187)1007	2011(平成23)年・第58巻・第5号
緊急寄稿 東日本大震災診療報告	岩崎鋼	(193)1013	2011(平成23)年・第58巻・第5号
東洋医学と北海道	松岡尚則・秋葉哲生ほか	(200)1020	2011(平成23)年・第58巻・第5号
麻生飯塚漢方診療研究会150回記念講演会ー三潴忠道先生壮行会ー参加記録	大竹実	(204)1024	2011(平成23)年・第58巻・第5号
私と漢方(25)	渋谷恵子	(208)1028	2011(平成23)年・第58巻・第5号
図書紹介『姙娠力をつける漢方レッスン』を読む	秋葉哲生	(210)1030	2011(平成23)年・第58巻・第5号
第62回日本東洋医学会学術総会主要プログラム		(211)1031	2011(平成23)年・第58巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(213)1033	2011(平成23)年・第58巻・第5号
2011(平成23)年・第58巻・第6号			2011(平成23)年・第58巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(273) 島根の医家・松本氏の家伝史料	小曽戸洋・天野陽介	(2)1046	2011(平成23)年・第58巻・第6号
巻頭言／本当に想定外？ 本当に有効？ 本当に著効？	山本昇吾	(11)1055	2011(平成23)年・第58巻・第6号
疾患別座談会／呼吸器科領域の漢方(下)	伊藤隆・中島正光・加藤士郎・並木隆雄・巽浩一郎〔司会〕	(13)1057	2011(平成23)年・第58巻・第6号
「寒熱」考(上)	岩崎勲	(31)1075	2011(平成23)年・第58巻・第6号
山本漢方医学に基づく新外感病論 ー温病とは短時間で化熱した傷寒論ー(1)	立花秀俊・足立晃子	(41)1085	2011(平成23)年・第58巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(10)	大竹実・田原英一ほか	(56)1100	2011(平成23)年・第58巻・第6号
一般論文／調剤業務の現場からみた漢方薬と現代薬との併用治療による相互作用について	室生真千子・花輪壽彦	(65)1109	2011(平成23)年・第58巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(85) 腰痛と芍甘黄辛附湯	田畑隆一郎・蓮村幸兌ほか	(74)1118	2011(平成23)年・第58巻・第6号
北里東医研診療録から(89) 千金内托散が有効であった慢性副鼻腔炎にアレルギー鼻炎と気管支喘息を伴った一例	福田知顕・花輪壽彦ほか	(82)1126	2011(平成23)年・第58巻・第6号
東洋堂経験余話(225) ▽長びく胃痛に黄連湯加茯苓 ▽左肩痛に桂枝加苓朮附湯	松本一男	(88)1132	2011(平成23)年・第58巻・第6号
続女子医大雑話67(204) 最近経験した3症例	岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(91)1135	2011(平成23)年・第58巻・第6号
無門塾治験雑録(9) 妊娠中から産後まで	飯田敏雄・北川寛ほか	(95)1139	2011(平成23)年・第58巻・第6号
漢方牛歩録(278) 多発性関節炎に桂枝加朮附湯・頚椎椎間板障害に黄耆桂枝五物湯	中村謙介	(100)1144	2011(平成23)年・第58巻・第6号
漢方研究室(1) 2011年4月号回答・講評 第1問	出題:寺澤捷年	(102)1146	2011(平成23)年・第58巻・第6号
漢方研究室(3) 2011年6月号出題 第3問	出題:秋葉哲生	(111)1155	2011(平成23)年・第58巻・第6号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(45)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・石毛敦ほか	(114)1158	2011(平成23)年・第58巻・第6号
現代医学の見落としてるもの 裏寒③ 想像を超えて虚弱化した今日の日本人に対する温裏剤の活用(上)	井上淳子	(121)1165	2011(平成23)年・第58巻・第6号
吉益東洞の医術と医論(2)	舘野正美	(135)1179	2011(平成23)年・第58巻・第6号
五行説と古典(1)	吉元昭治	(147)1191	2011(平成23)年・第58巻・第6号
植物分類学より見た生薬についての考察①～シソ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(155)1199	2011(平成23)年・第58巻・第6号
アメリカ鍼灸随想(66) 桃源郷への欲望／グアララ物語1	市橋宏樹	(167)1211	2011(平成23)年・第58巻・第6号
漢代の医学 その13 疾病学(3)	家本誠一	(175)1219	2011(平成23)年・第58巻・第6号
明治の漢方復興運動の記録 幻の『漢洋医学闘争史』下巻(8)	油井富雄	(186)1230	2011(平成23)年・第58巻・第6号
今、私たちにできること	來村昌紀・山本智史	(190)1234	2011(平成23)年・第58巻・第6号
私と漢方(26)	渋谷恵子	(195)1239	2011(平成23)年・第58巻・第6号
韓国韓医学通信(第45報)	金成俊	(197)1241	2011(平成23)年・第58巻・第6号
台湾訪書志Ⅱ 国家図書館〔台北〕所蔵の医薬古典籍(45)(完)	真柳誠	(199)1243	2011(平成23)年・第58巻・第6号
漢方界トピックス	油井富雄	(204)1248	2011(平成23)年・第58巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(205)1249	2011(平成23)年・第58巻・第6号
2011(平成23)年・第58巻・第7号			2011(平成23)年・第58巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(274) 吉益南涯の肖像ー島根松本家所蔵品	小曽戸洋・松本祐二	(2)1262	2011(平成23)年・第58巻・第7号
巻頭言／親試実験	松田邦夫	(11)1271	2011(平成23)年・第58巻・第7号
臨床報告／頭部の皮膚感覚異常に漢方治療が奏功した一例	河野吉成・三浦於菟ほか	(13)1273	2011(平成23)年・第58巻・第7号
臨床報告／超音波診断装置を用いた脈の浮沈の定量化	中江啓晴・熊谷由紀絵・小菅孝明	(22)1282	2011(平成23)年・第58巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(11)	大竹実・田原英一ほか	(27)1287	2011(平成23)年・第58巻・第7号
＜第17回漢方治療研究会講演＞＜第20回漢方治療研究会講演＞ 眼疾患・尋常性痤瘡・月経異常を併発した2症例の比較	伊藤敦之	(37)1297	2011(平成23)年・第58巻・第7号

山本漢方医学に基づく新外感病論 ー温病とは短時間で化熱した傷寒論ー(2)	立花秀俊・足立晃子	(43)1303	2011(平成23)年・第58巻・第7号
現代医学の見落としてるもの 裏寒④ 想像を超えて虚弱化した今日の日本人に対する温裏剤の活用(下)	井上淳子	(55)1315	2011(平成23)年・第58巻・第7号
「寒熱」考(下)	岩崎勲	(67)1327	2011(平成23)年・第58巻・第7号
北里東医研診療録から(90) 麗沢通気湯から補中益気湯加辛夷山梔子に転方し改善した嗅覚・味覚障害の一例	星野卓之・花輪壽彦ほか	(79)1339	2011(平成23)年・第58巻・第7号
続女子医大雑話68(205) 心室性期外収縮に半夏厚朴湯ほか	溝部宏毅・新井信ほか	(84)1344	2011(平成23)年・第58巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(86) 抑肝散陳皮半夏芍薬と不妊症	鈴木寛彦・蓮村幸兌ほか	(88)1348	2011(平成23)年・第58巻・第7号
無門塾治験雑録(10) 〝ホントの本治〟	北川寛・山下耕司ほか	(95)1355	2011(平成23)年・第58巻・第7号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(46)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・石毛敦ほか	(101)1361	2011(平成23)年・第58巻・第7号
漢方牛歩録(279) 慢性気管支喘息に神秘湯・多愁訴患者の胸内苦悶感に橘皮枳実生姜湯	中村謙介	(107)1367	2011(平成23)年・第58巻・第7号
東洋堂経験余話(226) ▽インフルエンザの疑いに麻黄湯 ▽疲労時の動悸に炙甘草湯	松本一男	(109)1369	2011(平成23)年・第58巻・第7号
漢方研究室(2) 2011年5月号回答・講評 第2問	出題:寺澤捷年	(112)1372	2011(平成23)年・第58巻・第7号
漢方研究室(4) 2011年7月号出題 第4問	出題:秋葉哲生	(120)1380	2011(平成23)年・第58巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(1)	溝部宏毅・益田龍彦・奥田隆司ほか	(123)1383	2011(平成23)年・第58巻・第7号
吉益東洞の医術と医論(3)	舘野正美	(129)1389	2011(平成23)年・第58巻・第7号
漢代の医学 その14 疾病学(4)	家本誠一	(145)1405	2011(平成23)年・第58巻・第7号
五行説と古典(2)	吉元昭治	(155)1415	2011(平成23)年・第58巻・第7号
「中医学のまぼろし」と東洋医学—私は中医学派と呼ばれたくない—	三浦於菟	(165)1425	2011(平成23)年・第58巻・第7号
人をみることと病いを診ること	小曽戸明子	(170)1430	2011(平成23)年・第58巻・第7号
アメリカ鍼灸随想(67) 桃源郷への欲望／グアララ物語2	市橋宏樹	(171)1431	2011(平成23)年・第58巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(46) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(7)	齊藤匡男	(179)1439	2011(平成23)年・第58巻・第7号
私と漢方(27)	渋谷恵子	(186)1446	2011(平成23)年・第58巻・第7号
漢方界トピックス 第62回日本東洋医学会学術総会	油井富雄	(189)1449	2011(平成23)年・第58巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(196)1456	2011(平成23)年・第58巻・第7号
2011(平成23)年・第58巻・第8号			2011(平成23)年・第58巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(275) 『医界之鐵椎』のベトナム語版	真柳誠・阮氏楊	(2)1470	2011(平成23)年・第58巻・第8号
巻頭言／再び『漢方診療三十年』を読む	森由雄	(11)1479	2011(平成23)年・第58巻・第8号
名人ハッケヨイ、治療の実際／繊維筋痛症の漢方治療	大野修嗣	(13)1481	2011(平成23)年・第58巻・第8号
名人ハッケヨイ、治療の実際／繊維筋痛症の漢方治療	松多邦雄	(23)1491	2011(平成23)年・第58巻・第8号
臨床報告／新たな苓桂甘棗湯証の診断基準の検討	高木恒太朗	(30)1498	2011(平成23)年・第58巻・第8号
インタビュー／漢方清談	寺師睦宗・髙山宏世・原田康治・蓮村幸兌・小池加能	(41)1509	2011(平成23)年・第58巻・第8号
夜間頻尿が桃核承気湯合温清飲投与にて消失した1例	桒谷圭二	(55)1523	2011(平成23)年・第58巻・第8号
温胆湯加減が奏効した強迫性障害の1例 ー強迫性障害における肝胆失調の意義ー	川村力	(59)1527	2011(平成23)年・第58巻・第8号
続女子医大雑話69(206) 煎じ薬を用いた3症例	新井信・久米由美ほか	(63)1531	2011(平成23)年・第58巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(87) 肝胆の力をつけ、不安耐久力を増す加味帰脾湯と酸棗仁湯の組み合わせ	蓮村幸兌・千田五月ほか	(71)1539	2011(平成23)年・第58巻・第8号
山本漢方医学に基づく新外感病論 ー温病とは短時間で化熱した傷寒論ー(3)	立花秀俊・足立晃子	(81)1549	2011(平成23)年・第58巻・第8号
北里東医研診療録から(91) 頭痛・肩凝り、上下肢痛に対し小続命湯が著効した一例	川鍋伊晃・石毛達也・花輪壽彦	(92)1560	2011(平成23)年・第58巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(12)	大竹実・田原英一ほか	(107)1575	2011(平成23)年・第58巻・第8号
無門塾治験雑録(11) 漢方と鍼灸	山下耕司・田中まち子ほか	(95)1355	2011(平成23)年・第58巻・第8号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(47)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・石毛敦ほか	(113)1581	2011(平成23)年・第58巻・第8号
天寿と長寿	小曽戸明子	(120)1588	2011(平成23)年・第58巻・第8号
漢方研究室(3) 2011年6月号回答・講評 第3問	出題:秋葉哲生	(121)1589	2011(平成23)年・第58巻・第8号
漢方研究室(5) 2011年8月号出題 第5問	出題:寺澤捷年	(130)1598	2011(平成23)年・第58巻・第8号
東海鍼灸医案(31) 非特異的腰痛	髙士将典・荒井勝彦	(133)1601	2011(平成23)年・第58巻・第8号
痛い処鍼の是非	柿田秀明	(137)1605	2011(平成23)年・第58巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(2)	益田龍彦・奥田隆司・権藤寿昭ほか	(144)1612	2011(平成23)年・第58巻・第8号
植物分類学より見た生薬についての考察② ～セリ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(149)1617	2011(平成23)年・第58巻・第8号
アメリカ鍼灸随想(68) 桃源郷への欲望／グアララ物語3	市橋宏樹	(160)1628	2011(平成23)年・第58巻・第8号
リアル傷寒論(10)	齋藤謙一	(168)1636	2011(平成23)年・第58巻・第8号
五行説と古典(3)	吉元昭治	(177)1645	2011(平成23)年・第58巻・第8号

延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(47) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(8)	齊藤匡男	(189)1657	2011(平成23)年・第58巻・第8号
漢代の医学　その15　疾病学(5)	家本誠一	(195)1663	2011(平成23)年・第58巻・第8号
2011年国際経方フォーラム	松岡尚則ほか	(206)1674	2011(平成23)年・第58巻・第8号
心底愚現症候群と命名！	林誉史朗	(210)1678	2011(平成23)年・第58巻・第8号
私と漢方(28)	渋谷恵子	(211)1679	2011(平成23)年・第58巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(212)1680	2011(平成23)年・第58巻・第8号
2011(平成23)年・第58巻・第9号			2011(平成23)年・第58巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(276) 『医界之鐵椎』の中国版	真柳誠	(2)1694	2011(平成23)年・第58巻・第9号
巻頭言／日本漢方の国際化	村松慎一	(11)1703	2011(平成23)年・第58巻・第9号
原著論文／漢方薬の内服と食事関連指示について	沢井かおり・渡辺賢治	(13)1705	2011(平成23)年・第58巻・第9号
名人ハッケヨイ、治療の実際／多汗症の漢方治療 玉屏風散及びその加減合方の盗汗病態について	三浦於菟	(20)1712	2011(平成23)年・第58巻・第9号
名人ハッケヨイ、治療の実際／多汗症の漢方治療	織部和宏	(29)1721	2011(平成23)年・第58巻・第9号
依存と支配	小曽戸明子	(38)1730	2011(平成23)年・第58巻・第9号
桂姜棗草黄辛附湯の変方・加味方として、桂枝湯と麻黄附子細辛湯及び桂枝加朮附湯と麻黄附子細辛湯エキス剤合方の検討	宮崎瑞明・盛克己	(39)1731	2011(平成23)年・第58巻・第9号
20年余の経過を有する難治性ネフローゼ症候群に補腎湯が有効な一例	上桝次郎	(50)1742	2011(平成23)年・第58巻・第9号
温清飲により、更年期うつ状態が改善した1例	片山恵利子・伊藤隆	(59)1751	2011(平成23)年・第58巻・第9号
北里東医研診療録から(92) 精神性発汗による手足の冷えに有効であった茯苓補心湯について	伊藤剛・花輪壽彦ほか	(64)1756	2011(平成23)年・第58巻・第9号
慢性腎不全に対し江部の養腎降濁湯を投与し、現在良好な経過を辿っている症例	大関潤一・奈良範子・中田克雄	(71)1763	2011(平成23)年・第58巻・第9号
頭痛棄民の3例	竹田眞	(82)1774	2011(平成23)年・第58巻・第9号
続女子医大雑話70(207)　高齢者の2症例	久米由美・盛岡頼子ほか	(86)1778	2011(平成23)年・第58巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(88)　大柴胡湯加減の皮膚病の症例	千田五月・田畑隆一郎ほか	(94)1786	2011(平成23)年・第58巻・第9号
無門塾治験雑録(12)　魔女の黒焼「王不留行散」	飯田敏雄・塚田健一ほか	(102)1794	2011(平成23)年・第58巻・第9号
漢方牛歩録(280)　目の周囲の湿疹に梔子白皮湯・眼痛を伴う後頭部痛に四逆加人参湯加味・中毒疹に小柴胡湯合黄連解毒湯	中村謙介	(110)1802	2011(平成23)年・第58巻・第9号
東洋堂経験余話(227)　▽出血性胃炎に六君子湯加神麹・蒼朮　▽浮腫に茯苓甘草湯	松本一男	(112)1804	2011(平成23)年・第58巻・第9号
東海鍼灸医案(32)　帯状庖疹後神経痛(2)	髙士将典・荒井勝彦	(115)1807	2011(平成23)年・第58巻・第9号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(48)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・石毛敦ほか	(120)1812	2011(平成23)年・第58巻・第9号
現代医学の見落としてるもの 裏寒⑤　裏寒の理論背景	伊藤康雄	(125)1817	2011(平成23)年・第58巻・第9号
漢方研究室(4)　2011年7月号回答・講評　第4問	出題：秋葉哲生	(137)1829	2011(平成23)年・第58巻・第9号
漢方研究室(6)　2011年9月号出題　第6問	出題：秋葉哲生	(146)1838	2011(平成23)年・第58巻・第9号
地震と思想・社会の変化	松岡尚則ほか	(149)1841	2011(平成23)年・第58巻・第9号
植物分類学より見た生薬についての考察③　～キンポウゲ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(155)1847	2011(平成23)年・第58巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(3)	奥田隆司・権藤寿昭・鶴博生ほか	(165)1857	2011(平成23)年・第58巻・第9号
アメリカ鍼灸随想(69)　桃源郷への欲望／グアララ物語4	市橋宏樹	(169)1861	2011(平成23)年・第58巻・第9号
張錫純著『医学衷中参西録』より「石膏解」について	杉山広重	(177)1869	2011(平成23)年・第58巻・第9号
五行説と古典(4)	吉元昭治	(185)1877	2011(平成23)年・第58巻・第9号
リアル傷寒論(11)	齋藤謙一	(192)1884	2011(平成23)年・第58巻・第9号
漢方の〝見と観の目〟に通じる政治評論家岩渕辰雄老の政機を観る目	寺師睦宗	(201)1893	2011(平成23)年・第58巻・第9号
国際経方学術会議(北京)に参加して	杉山友彦	(203)1895	2011(平成23)年・第58巻・第9号
私と漢方(29)	渋谷恵子	(208)1900	2011(平成23)年・第58巻・第9号
韓国韓医学通信(第46報)	金成俊	(210)1902	2011(平成23)年・第58巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(212)1904	2011(平成23)年・第58巻・第9号
2011(平成23)年・第58巻・第10号			2011(平成23)年・第58巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(277)　施本『丹毒療治相伝』の刺絡鍼法	長野仁	(2)1918	2011(平成23)年・第58巻・第10号
巻頭言／漢方の潜在能力をもっと引き出すために	三潴忠道	(11)1927	2011(平成23)年・第58巻・第10号
原著論文／「多変量解析による感冒の東洋医学的病態像－風寒感冒と風熱感冒の判断表作成の試み—」	三浦於菟ほか	(13)1929	2011(平成23)年・第58巻・第10号
外来・入院における漢方処方の問題点	大木浩	(30)1946	2011(平成23)年・第58巻・第10号
疾患別座談会／産婦人科領域の漢方(上)	牧田和也・齋藤絵美 室賀一宏・頼建守〔司会〕	(41)1957	2011(平成23)年・第58巻・第10号
桂枝去桂加茯苓白朮湯証の一考察	平崎能郎・寺澤捷年ほか	(61)1977	2011(平成23)年・第58巻・第10号
疾患名に対応できる漢方の処方について	程炳鈞・石内裕人	(75)1991	2011(平成23)年・第58巻・第10号

三黄瀉心湯(金匱要略・瀉心湯)を考える 「三黄瀉心湯」と「大黄黄連瀉心湯」は同じものなのか　条文中の「心気不足」は「心気不定」の誤りなのか	川村力	(85)2001	2011(平成23)年・第58巻・第10号
続女子医大雑話71(208) 胃腸虚弱者の腰痛、坐骨神経痛に苓姜朮甘湯が著効した4症例	盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(86)1778	2011(平成23)年・第58巻・第10号
北里東医研診療録から(93)　アレルギー性鼻炎に対し八味丸料が著効した1症例	石毛達也・花輪壽彦ほか	(94)2010	2011(平成23)年・第58巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(89)　あとシマツ	田畑隆一郎・鈴木寛彦ほか	(99)2015	2011(平成23)年・第58巻・第10号
無門塾治験雑録(13)　急性胃腸炎での合病の症候と治法	塚田健一・田中まち子ほか	(106)2022	2011(平成23)年・第58巻・第10号
＜第20回漢方治療研究会講演＞風引湯で脊髄損傷後期の治療経験一例	荘明仁	(110)2026	2011(平成23)年・第58巻・第10号
第20回漢方治療研究会　その後報告 13年に及ぶ、食後の咳込みに悩む	小池加能	(113)2029	2011(平成23)年・第58巻・第10号
漢方牛歩録(281)　顔面神経麻痺・拇指屈筋腱炎・麦粒腫	中村謙介	(118)2034	2011(平成23)年・第58巻・第10号
東洋堂経験余話(228)　▽腹満と肛門の締まりが悪く軟便の人に桂枝加大黄湯　▽蕁麻疹に加味逍遙散料合四物湯	松本一男	(120)2036	2011(平成23)年・第58巻・第10号
東海鍼灸医案(33)　肩こり(気象と疾患)	髙士将典・荒井勝彦	(123)2039	2011(平成23)年・第58巻・第10号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(49)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史・石毛敦ほか	(127)2043	2011(平成23)年・第58巻・第10号
漢方研究室(5)　2011年8月号回答・講評　第5問	出題:寺澤捷年	(134)2050	2011(平成23)年・第58巻・第10号
漢方研究室(7)　2011年10月号出題　第7問	出題:秋葉哲生	(146)2062	2011(平成23)年・第58巻・第10号
『丹毒療治相伝』に翻刻と意訳	長野仁	(149)2065	2011(平成23)年・第58巻・第10号
許浚の虚像と実像	松岡尚則ほか	(153)2069	2011(平成23)年・第58巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(4)	権藤寿昭・溝部宏毅ほか	(160)2076	2011(平成23)年・第58巻・第10号
植物分類学より見た生薬についての考察④-a　～マメ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(141)2273	2011(平成23)年・第58巻・第10号
アメリカ鍼灸随想(70)　マニアック・デプレッションの時代	市橋宏樹	(170)2086	2011(平成23)年・第58巻・第10号
リアル傷寒論(12)	齋藤謙一	(179)2095	2011(平成23)年・第58巻・第10号
漢代の医学　その16　診断学(1)	家本誠一	(185)2101	2011(平成23)年・第58巻・第10号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(48) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(9)	齊藤匡男	(193)2109	2011(平成23)年・第58巻・第10号
新刊紹介／ウンシュルトら『黄帝内経素問』訳注シリーズ	真柳誠	(199)2115	2011(平成23)年・第58巻・第10号
漢方界トピックス／第17回吉益東洞顕彰会開催・「和漢薬」七〇〇号発刊記念パーティー・第21回漢方治療研究会開催	山崎正寿ほか	(201)2117	2011(平成23)年・第58巻・第10号
私と漢方(30)	渋谷恵子	(205)2121	2011(平成23)年・第58巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(206)2122	2011(平成23)年・第58巻・第10号
2011(平成23)年・第58巻・第11号			2011(平成23)年・第58巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(278)　刺絡用の平鍼(鈹鍼)と専用の木槌	長野仁	(2)2134	2011(平成23)年・第58巻・第11号
巻頭言／ニワトリの三本目の足	峯尚志	(11)2143	2011(平成23)年・第58巻・第11号
総説／統合医療の概観	織田聡	(13)2145	2011(平成23)年・第58巻・第11号
疾患別座談会／産婦人科領域の漢方(中)	牧田和也・齋藤絵美 室賀一宏・頼建守〔司会〕	(25)2157	2011(平成23)年・第58巻・第11号
慢性疾患に伴う易感冒成人患者に対する、感冒前兆期の漢方エキス剤の早期投与効果	盛克己・宮崎瑞明	(43)2175	2011(平成23)年・第58巻・第11号
倶病と倶治	小曽戸明子	(52)2184	2011(平成23)年・第58巻・第11号
慢性腎不全で透析療法継続中の患者に江部の養腎降濁湯の併用で腹水貯留がなくなり、良好な経過を辿っている症例	大関潤一ほか	(53)2185	2011(平成23)年・第58巻・第11号
気血水　その一　～天地仁と水の調整～	伊藤康雄・山崎由佳里ほか	(62)2194	2011(平成23)年・第58巻・第11号
薬局における漢方相談	細野美佐子	(71)2203	2011(平成23)年・第58巻・第11号
掌蹠多汗症から派生する疾患　肝気をめぐらせる四逆散による治験例	二宮文乃	(77)2209	2011(平成23)年・第58巻・第11号
無門塾治験雑録(14上)　腹証と二味の薬徴の相関について	塚田健一・田中まち子ほか	(86)2218	2011(平成23)年・第58巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(13)	大竹実・田原英一ほか	(94)2226	2011(平成23)年・第58巻・第11号
北里東医研診療録から(94)　小児難治性円形脱毛症に対して漢方治療が奏効した一例	小田口浩・花輪壽彦ほか	(102)2234	2011(平成23)年・第58巻・第11号
続女子医大雑話72(209)　最近経験した症例	岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(107)2239	2011(平成23)年・第58巻・第11号
漢方牛歩録(282)　頚椎間板ヘルニア兼胸廓出口症候群・帯状庖疹に越婢加朮湯など	中村謙介	(112)2244	2011(平成23)年・第58巻・第11号
東洋堂経験余話(229)　▽妊娠咳に麦門冬湯▽胸と背中が苦しい人に栝楼薤白半夏湯	松本一男	(114)2246	2011(平成23)年・第58巻・第11号
漢方研究室(6)　2011年9月号回答・講評　第6問	出題:秋葉哲生	(117)2249	2011(平成23)年・第58巻・第11号
漢方研究室(8)　2011年11月号出題　第8問	出題:寺澤捷年	(128)2260	2011(平成23)年・第58巻・第11号
海人湯と鷓鴣菜湯	松岡尚則ほか	(131)2263	2011(平成23)年・第58巻・第11号
植物分類学より見た生薬についての考察④-b　～マメ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(164)2080	2011(平成23)年・第58巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(5)	鶴博生・樋口理ほか	(151)2283	2011(平成23)年・第58巻・第11号
リアル傷寒論(13)	齋藤謙一	(156)2288	2011(平成23)年・第58巻・第11号

漢代の医学　その17　診断学(2)	家本誠一	(161)2293	2011(平成23)年・第58巻・第11号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(49) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(10)	齊藤匡男	(169)2301	2011(平成23)年・第58巻・第11号
アメリカ鍼灸随想(71)　少女たちの美容鍼灸ブーム	市橋宏樹	(178)2310	2011(平成23)年・第58巻・第11号
睦宗茶談	寺師睦宗	(186)2318	2011(平成23)年・第58巻・第11号
第7回世界中医薬大会参加記　～オランダ(およびEU諸国)の中医学の現状と展望	尾崎和成ほか	(187)2319	2011(平成23)年・第58巻・第11号
第21回漢方治療研究会、千葉大で開催		(194)2326	2011(平成23)年・第58巻・第11号
韓国韓医学通信(第47報)	金成俊	(202)2334	2011(平成23)年・第58巻・第11号
図書紹介／田畑隆一郎著『漢法フロンティア』	秋葉哲生	(205)2337	2011(平成23)年・第58巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(206)2338	2011(平成23)年・第58巻・第11号
2011(平成23)年・第58巻・第12号			2011(平成23)年・第58巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(279)「尾台榕堂之碑」東京八重洲に建立	吉村重敏・小曽戸洋	(2)2350	2011(平成23)年・第58巻・第12号
巻頭言／病態分類の意味(木も森も見る漢方診断)	中村謙介	(11)2359	2011(平成23)年・第58巻・第12号
疾患別座談会／産婦人科領域の漢方(下1)	牧田和也・齋藤絵美 室賀一宏・頼建守〔司会〕	(13)2361	2011(平成23)年・第58巻・第12号
症例報告／Weekly paclitaxel後の好中球減少に対し十全大補湯が奏功した2例	山田六平・利野靖ほか	(32)2380	2011(平成23)年・第58巻・第12号
吉益東洞と松原一閑斎の医術・医論について	松岡尚則ほか	(39)2387	2011(平成23)年・第58巻・第12号
癌研有明病院漢方サポート外来(24) 乳癌術後、ホルモン療法中。ホットフラッシュ時の多量の発汗。／乳癌術後、化療後、ホルモン療法中。手足のしびれ、ホットフラッシュ、慢性頭痛、イライラ。／乳癌術後、放射線治療後、ホルモン療法中。ホットフラッシュ、手足のしびれ。／乳癌術後、ホルモン療法中、ノルバデックスによるめまい、リューブリンによるホットフラッシュ。	星野惠津夫・井上美貴・星野千代江	(56)2404	2011(平成23)年・第58巻・第12号
＜第21回漢方治療研究会講演＞多汗症に柴陷湯が奏効した1例	平崎能郎・地野充時ほか	(67)2415	2011(平成23)年・第58巻・第12号
反省させられた角膜ヘルペスの一例	山本昇吾・藤東祥子	(74)2422	2011(平成23)年・第58巻・第12号
＜第21回漢方治療研究会講演＞高齢者の発熱に対する「甘草湯」投与の試み	針生雄吉	(77)2425	2011(平成23)年・第58巻・第12号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 中途覚醒に対する酸棗仁湯の効果－44例の解析から－	小林永治	(86)2434	2011(平成23)年・第58巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(90)　身体を温める食べ物と漢方薬	鈴木寛彦・蓮村幸兌ほか	(93)2441	2011(平成23)年・第58巻・第12号
北里東医研診療録から(95)　乳腺炎に十全大補湯加蒲公英根が著効した一例	堀田広満・花輪壽彦ほか	(98)2446	2011(平成23)年・第58巻・第12号
続女子医大雑話73(209)　めまいに沢瀉湯ほか	溝部宏毅・新井信ほか	(104)2452	2011(平成23)年・第58巻・第12号
東洋堂経験余話(230)　▽腹部の膨満と不快感に厚朴生姜半夏甘草人参湯 ▽不眠症に加味帰脾湯	松本一男	(108)2456	2011(平成23)年・第58巻・第12号
無門塾治験雑録(14中)　腹証と二味の薬徴の相関について	塚田健一・田中まち子ほか	(112)2460	2011(平成23)年・第58巻・第12号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(50)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(121)2469	2011(平成23)年・第58巻・第12号
漢方研究室(7)　2011年10月号回答・講評　第7問	出題:秋葉哲生	(129)2477	2011(平成23)年・第58巻・第12号
漢方研究室(9)　2011年12月号出題　第9問	出題:秋葉哲生	(142)2490	2011(平成23)年・第58巻・第12号
植物分類学より見た生薬についての考察⑤-a　～キク科～	田中耕一郎・三浦於菟	(145)2493	2011(平成23)年・第58巻・第12号
畑から『傷寒論』～ジャノケヒゲとカラスウリ～	白井憲太郎	(151)2499	2011(平成23)年・第58巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(6)	樋口理・松藤英正ほか	(154)2502	2011(平成23)年・第58巻・第12号
アメリカ鍼灸随想(72)　自然は甦る、生命は蘇生する	市橋宏樹	(158)2506	2011(平成23)年・第58巻・第12号
リアル傷寒論(14)	齋藤謙一	(165)2513	2011(平成23)年・第58巻・第12号
ホッチキスと『紅梅』	小曽戸明子	(172)2520	2011(平成23)年・第58巻・第12号
漢代の医学　その18　治療学(1)	家本誠一	(173)2521	2011(平成23)年・第58巻・第12号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(50) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(11)	齊藤匡男	(181)2529	2011(平成23)年・第58巻・第12号
許浚『東医宝鑑』ユネスコ世界記録遺産について過去／現在／未来－2013年「世界伝統医薬エキスポ大会」に向けて－	吉田和裕	(187)2535	2011(平成23)年・第58巻・第12号
私と漢方(31)	渋谷恵子	(189)2537	2011(平成23)年・第58巻・第12号
地球は小さくなった！	王瑞雲	(191)2539	2011(平成23)年・第58巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(192)2540	2011(平成23)年・第58巻・第12号
2012(平成24)年・第59巻・第1号			2012(平成24)年・第59巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(280)　仲景診脈図	天野陽介・小曽戸洋	(2)2	2012(平成24)年・第59巻・第1号
平成24年(2012年)　新年のことば　〔135名〕		(9)9	2012(平成24)年・第59巻・第1号
名人ハッケヨイ、治療の実際／万年風邪 風邪は万病の元	須藤朝代	(103)103	2012(平成24)年・第59巻・第1号
名人ハッケヨイ、治療の実際／万年風邪 万年カゼからの脱出を謀る	小池加能	(113)113	2012(平成24)年・第59巻・第1号
＜第21回漢方治療研究会講演＞延年半夏湯が奏功した一例	永井良樹・松橋信行	(131)131	2012(平成24)年・第59巻・第1号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 乳癌多臓器転移による腹水および胸水に対し灸治療が著効した1例	村上えい子・門脇正美	(134)134	2012(平成24)年・第59巻・第1号

疾患別座談会／産婦人科領域の漢方(下2)	牧田和也・齋藤絵美 室賀一宏・頼建守〔司会〕	(141)141	2012(平成24)年・第59巻・第1号
無門塾治験雑録(14下) 腹証と二味の薬徴の相関について	塚田健一・田中まち子ほか	(158)158	2012(平成24)年・第59巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(91) 寒熱を取り違えて大失敗…自験例	蓮村幸兌・千田五月ほか	(164)164	2012(平成24)年・第59巻・第1号
続女子医大雑話74(211) 更年期症候群の3症例	新井信・久米由美ほか	(170)170	2012(平成24)年・第59巻・第1号
北里東医研診療録から(96) 腹痛や便通異常に半夏厚朴湯が有効であった4症例	及川哲郎・花輪壽彦ほか	(177)177	2012(平成24)年・第59巻・第1号
漢方牛歩録(283) こじらせてしまった妻のカゼ・両手指の腫瘍に桂枝加朮附湯	中村謙介	(182)182	2012(平成24)年・第59巻・第1号
東洋堂経験余話(231) ▽感染性の胃腸炎に葛根黄芩黄連湯 ▽感冒による絡む痰に栝楼根枳実湯	松本一男	(184)184	2012(平成24)年・第59巻・第1号
東海鍼灸医案(34) 術後違和感	髙士将典・荒井勝彦	(187)187	2012(平成24)年・第59巻・第1号
漢方研究室(8) 2011年11月号回答・講評 第8問	出題:寺澤捷年	(191)191	2012(平成24)年・第59巻・第1号
漢方研究室(10) 2012年1月号出題 第10問	出題:今田屋章	(204)204	2012(平成24)年・第59巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(7)	松藤英正・溝部宏毅ほか	(206)206	2012(平成24)年・第59巻・第1号
植物分類学より見た生薬についての考察⑤-b ～キク科～	田中耕一郎・三浦於菟	(212)212	2012(平成24)年・第59巻・第1号
リアル傷寒論(15)	齋藤謙一	(222)222	2012(平成24)年・第59巻・第1号
私と漢方(32)	渋谷恵子	(228)228	2012(平成24)年・第59巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(229)229	2012(平成24)年・第59巻・第1号
2012(平成24)年・第59巻・第2号			2012(平成24)年・第59巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(281) 国学者・番蒿蹊の肖像と墓碑	長野仁	(2)242	2012(平成24)年・第59巻・第2号
巻頭言／漢方薬の原典を読もう－漢方電子図書館の必要性	稲木一元	(11)251	2012(平成24)年・第59巻・第2号
原著論文／膏肓の病の意義	遠藤次郎・鈴木達彦	(13)253	2012(平成24)年・第59巻・第2号
一般論文／風寒と風熱の初期感冒に対する線型判別関数による判別表の有用性の検討－葛根湯と銀翹散の病態	三浦於菟ほか	(27)267	2012(平成24)年・第59巻・第2号
名人ハッケヨイ、治療の実際／五十肩 「五十肩」鍼灸治療の実際	馬場道敬	(46)286	2012(平成24)年・第59巻・第2号
名人ハッケヨイ、治療の実際／五十肩 五十肩	市橋宏樹	(49)289	2012(平成24)年・第59巻・第2号
松原一閑斎の医術について	松岡尚則ほか	(61)301	2012(平成24)年・第59巻・第2号
これからの漢方専門薬局について	雨宮昌男	(73)313	2012(平成24)年・第59巻・第2号
附子粳米湯が有効であった潰瘍性大腸炎の一例	高橋久美子・並木隆雄ほか	(79)319	2012(平成24)年・第59巻・第2号
手掌乾燥症に甲字湯が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(85)325	2012(平成24)年・第59巻・第2号
続命湯が著効した症例に関して	櫻林永稔・高木嘉子	(90)330	2012(平成24)年・第59巻・第2号
ヘリコバクターピロリ感染症における除菌療法前後の舌証の変化について	田村博文	(94)334	2012(平成24)年・第59巻・第2号
続女子医大雑話75(212) 当帰建中湯の症例	久米由美・盛岡頼子ほか	(100)340	2012(平成24)年・第59巻・第2号
東洋堂経験余話(232) ▽右膝の痛みに大承気湯 ▽学問の集中力アップに桂枝加竜骨牡蛎湯	松本一男	(106)346	2012(平成24)年・第59巻・第2号
北里東医研診療録から(97) 清心蓮子飲により糖尿病治療薬を中止できた2症例	堀川朋恵・花輪壽彦ほか	(109)349	2012(平成24)年・第59巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(92) 治しにくかった眩暈・耳鳴り	千田五月・田畑隆一郎ほか	(115)355	2012(平成24)年・第59巻・第2号
漢方牛歩録(284) 手間取った頚椎症	中村謙介	(120)360	2012(平成24)年・第59巻・第2号
無門塾治験雑録(15) 桂枝加芍薬湯と小建中湯	田中まち子・北川寛ほか	(122)362	2012(平成24)年・第59巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(14)	大竹実・田原英一ほか	(133)373	2012(平成24)年・第59巻・第2号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(51)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(141)381	2012(平成24)年・第59巻・第2号
漢方研究室(9) 2011年12月号回答・講評 第9問	出題:秋葉哲生	(147)387	2012(平成24)年・第59巻・第2号
漢方研究室(11) 2012年2月号出題 第11問	出題:田原英一	(160)400	2012(平成24)年・第59巻・第2号
東洋医学と色彩学	田中耕一郎・三浦於菟	(163)403	2012(平成24)年・第59巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(8)	溝部宏毅・貝沼茂三郎ほか	(175)415	2012(平成24)年・第59巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(51) 『大同類聚方』・典薬頭所伝方(12)	齊藤匡男	(181)421	2012(平成24)年・第59巻・第2号
漢代の医学 その19 治療学(2)	家本誠一	(191)431	2012(平成24)年・第59巻・第2号
第6回小倉記念木更津漢方アカデミーに参加して	平崎能郎	(200)440	2012(平成24)年・第59巻・第2号
漢方界トピックス／第31回漢方学術大会		(202)442	2012(平成24)年・第59巻・第2号
書評／寺澤捷年著『症例から学ぶ和漢診療学 第3版』	津田篤太郎	(203)443	2012(平成24)年・第59巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(204)444	2012(平成24)年・第59巻・第2号
2012(平成24)年・第59巻・第3号			2012(平成24)年・第59巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(282) 『丹毒療治相伝』の初版と大津百町の古絵図	長野仁	(2)458	2012(平成24)年・第59巻・第3号
巻頭言／漢方医学の現状と将来2012	星野惠津夫	(11)467	2012(平成24)年・第59巻・第3号
漢方薬の副作用2012	星野惠津夫	(15)471	2012(平成24)年・第59巻・第3号

『傷寒論』における手足厥冷と四逆輩類方について	程炳鈞	(31)487	2012(平成24)年・第59巻・第3号
温胆湯加減が奏効した抑うつ病状を呈した緑内障の1例 ー肝胆失調と緑内障の関連性についてー	川村力	(39)495	2012(平成24)年・第59巻・第3号
超高齢者の食思不振に対し、小建中湯が有効であった2症例	松井龍吉・小林祥泰	(43)499	2012(平成24)年・第59巻・第3号
続女子医大雑話76(213) 香蘇散合六君子湯の3症例	盛岡頼子・岡部竜吾ほか	(48)504	2012(平成24)年・第59巻・第3号
＜第21回漢方治療研究会講演＞防眩湯による頚性めまいの治験	福田佳弘ほか	(53)509	2012(平成24)年・第59巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(93) 心下部の異常、縦長と横広の腹症	田畑隆一郎・鈴木寛彦ほか	(61)517	2012(平成24)年・第59巻・第3号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 幼児期の恐怖体験が基礎となった不安神経症の1例	小林瑞	(69)525	2012(平成24)年・第59巻・第3号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 背部冷感に対し清湿化痰湯が奏効した1例	青木亮ほか	(73)529	2012(平成24)年・第59巻・第3号
北里東医研診療録から(98) 半夏厚朴湯が奏効した手湿疹の2例	望月良子・花輪壽彦ほか	(78)534	2012(平成24)年・第59巻・第3号
＜第20回漢方治療研究会講演＞ 麦門冬湯と清肺湯の違いに関する臨床的検討	小林永治	(84)540	2012(平成24)年・第59巻・第3号
無門塾治験雑録(16) 火鉢と五十肩	北川寛・山下耕司ほか	(89)545	2012(平成24)年・第59巻・第3号
漢方牛歩録(285) 「耳が詰まる」に柴朴湯兼猪苓湯／頸腕症候群に半夏瀉心湯兼六味丸	中村謙介	(96)552	2012(平成24)年・第59巻・第3号
東洋堂経験余話(233) ▽胃の不調に生姜瀉心湯▽食欲不振に半夏瀉心湯	松本一男	(98)554	2012(平成24)年・第59巻・第3号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 顎関節症状を訴える口腔異常感症に苓桂朮甘湯合四物湯が有用であった一例	小澤夏生・永井哲夫	(101)557	2012(平成24)年・第59巻・第3号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 突発性難聴に漢方治療が著効した症例	平地治美	(104)560	2012(平成24)年・第59巻・第3号
東海鍼灸医案(35) 凍瘡(しもやけ)	髙士将典・荒井勝彦	(107)563	2012(平成24)年・第59巻・第3号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(52)	渡辺賢治・秋葉哲生・石毛敦ほか	(111)567	2012(平成24)年・第59巻・第3号
漢方研究室(10) 2012年1月号回答・講評 第10問	出題:今田屋章	(118)574	2012(平成24)年・第59巻・第3号
漢方研究室(12) 2012年3月号出題 第12問	出題:犬塚央	(130)586	2012(平成24)年・第59巻・第3号
『丹毒療治相伝』をめぐって(上)	長野仁	(133)589	2012(平成24)年・第59巻・第3号
銭乙『小児薬証直訣』における小児の五臓理論と治療法(3)肝の病証	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(148)604	2012(平成24)年・第59巻・第3号
五行理論について(1)	土方康世	(159)615	2012(平成24)年・第59巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(9)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(167)623	2012(平成24)年・第59巻・第3号
畑から『傷寒論』～漢方医学は身土不二～	白井憲太郎	(172)628	2012(平成24)年・第59巻・第3号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(52) 『大同類聚方』・医療溯源考(1)	齊藤匡男	(175)631	2012(平成24)年・第59巻・第3号
漢代の医学 その20 治療学(3)	家本誠一	(181)637	2012(平成24)年・第59巻・第3号
リアル傷寒論(16)	齋藤謙一	(188)644	2012(平成24)年・第59巻・第3号
私と漢方(33)	澁谷恵子	(194)650	2012(平成24)年・第59巻・第3号
韓国韓医学通信(第48報)	金成俊	(196)652	2012(平成24)年・第59巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(198)654	2012(平成24)年・第59巻・第3号
2012(平成24)年・第59巻・第4号			2012(平成24)年・第59巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(283) 香月牛山の墓跡	小曽戸洋	(2)666	2012(平成24)年・第59巻・第4号
巻頭言／漢方薬の存続を願う	新谷卓弘	(11)675	2012(平成24)年・第59巻・第4号
いわゆる夏バテに清暑益気湯と他剤の合方が有効であった症例	三浦於菟・板倉英俊、田中耕一郎ほか	(13)677	2012(平成24)年・第59巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／ 『最近の治験・知見・事件!?』(15)	大竹実・田原英一ほか	(20)684	2012(平成24)年・第59巻・第4号
続女子医大雑話77(214) 六君子湯医者	岡部竜吾・溝部宏毅ほか	(28)692	2012(平成24)年・第59巻・第4号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ 長年続いている腰部脊柱管狭窄症による右腰痛・下肢・足のしびれに対し茯苓四逆湯合芍甘黄辛附湯が奏効した一例	大関潤一	(33)697	2012(平成24)年・第59巻・第4号
悪夢に対して酸棗仁湯が有効であった4症例	小林永治	(39)703	2012(平成24)年・第59巻・第4号
北里東医研診療録から(99) 勃起障害(ED)の3症例	森裕紀子・花輪壽彦ほか	(43)707	2012(平成24)年・第59巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(94) 桂枝茯苓丸の偉効	鈴木寛彦・蓮村幸兌ほか	(48)712	2012(平成24)年・第59巻・第4号
漢方牛歩録(286) 難渋した項部痛に独活葛根湯	中村謙介	(54)718	2012(平成24)年・第59巻・第4号
東洋堂経験余話(234) ▽背中の痛みに当帰四逆加呉茱萸生姜湯▽仕事の多忙で、腹痛、下痢に半夏瀉心湯	松本一男	(56)720	2012(平成24)年・第59巻・第4号
無門塾治験雑録(17) 一挙両得研修会	山下耕司・飯田敏雄ほか	(59)723	2012(平成24)年・第59巻・第4号
東海鍼灸医案(36) 胸脇苦満	髙士将典・荒井勝彦	(65)729	2012(平成24)年・第59巻・第4号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(53)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(69)733	2012(平成24)年・第59巻・第4号
漢方研究室(11) 2012年2月号回答・講評 第11問	出題:田原英一	(80)744	2012(平成24)年・第59巻・第4号

漢方研究室(13) 2012年4月号出題 第13問	出題:三潴忠道	(94)758	2012(平成24)年・第59巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(10)	奥田隆司・権藤寿昭ほか	(97)761	2012(平成24)年・第59巻・第4号
五行理論について(2) 臨床例(a)	土方康世	(101)765	2012(平成24)年・第59巻・第4号
『丹毒療治相伝』をめぐって(下)	長野仁	(109)773	2012(平成24)年・第59巻・第4号
『三訂通俗傷寒論』 ～温病学を『傷寒論』に取り込んだ傷寒学派～④陽明病	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(121)785	2012(平成24)年・第59巻・第4号
漢代の医学 その21 養生論	家本誠一	(133)797	2012(平成24)年・第59巻・第4号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(53) 『大同類聚方』・医療溯源考(2)	齊藤匡男	(143)807	2012(平成24)年・第59巻・第4号
リアル傷寒論(17)	齋藤謙一	(151)815	2012(平成24)年・第59巻・第4号
基礎生薬講座(4) 大棗	金成俊	(158)822	2012(平成24)年・第59巻・第4号
私と漢方(34)	澁谷恵子	(164)828	2012(平成24)年・第59巻・第4号
韓国韓医学通信(第49報)	金成俊	(166)830	2012(平成24)年・第59巻・第4号
『吉益東洞の研究』の寺澤捷年先生出版祝賀会／ 舘野氏、東洞の医療哲学の背景を講演・臨床、漢方のあり方を問う新たな研究も開始	油井富雄	(168)832	2012(平成24)年・第59巻・第4号
『吉益東洞の研究』出版祝賀記念会を祝す	寺師睦宗	(170)834	2012(平成24)年・第59巻・第4号
寺澤捷年先生『吉益東洞の研究』出版記念会に参加して	堀野雅子	(171)835	2012(平成24)年・第59巻・第4号
書評／寺澤捷年先生の『吉益東洞の研究』を読む	佐賀純一	(172)836	2012(平成24)年・第59巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(181)845	2012(平成24)年・第59巻・第4号
2012(平成24)年・第59巻・第5号			2012(平成24)年・第59巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(284) 石坂宗哲の『鍼灸乃要穴』の出現	長野仁	(2)858	2012(平成24)年・第59巻・第5号
巻頭言／第63回日本東洋医学会学術総会へのお誘い	中田敬吾	(11)867	2012(平成24)年・第59巻・第5号
インタビュー／東亜医学の求道者 多留淳文先生	多留淳文 〔聞き手〕安井廣迪	(13)869	2012(平成24)年・第59巻・第5号
続 栗園先生配剤録(1)	渡辺浩二	(25)881	2012(平成24)年・第59巻・第5号
臨床報告／漢方薬で改善しためまいの4症例	藤井まゆみ	(43)899	2012(平成24)年・第59巻・第5号
北里東医研診療録から(100) 慢性副鼻腔炎に半夏白朮天麻湯	花輪壽彦	(57)913	2012(平成24)年・第59巻・第5号
西洋医学的治療により、懐病に陥った成人慢性疾患患者に対する漢方治療	盛克己・宮崎瑞明	(63)919	2012(平成24)年・第59巻・第5号
急性瘀血症候群に対する緊急処置	今井環・千福貞博	(77)933	2012(平成24)年・第59巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(95) 口腔ケアができない…口を開かない人に四逆散	蓮村幸兌・千田五月ほか	(82)938	2012(平成24)年・第59巻・第5号
無門塾治験雑録(18) 漢方薬が流行して心配なこと。そして即効にこだわる	飯田敏雄・熊井啓子ほか	(89)945	2012(平成24)年・第59巻・第5号
続女子医大雑話78(215) 心不全に木防已湯ほか	溝部宏毅・新井信ほか	(96)952	2012(平成24)年・第59巻・第5号
漢方牛歩録(287) 多発性関節痛兼胸廊出口症候群に桂枝加朮附湯など／ 閉塞性動脈硬化症に疎経活血湯	中村謙介	(100)956	2012(平成24)年・第59巻・第5号
東洋堂経験余話(235) ▽胃がムカムカして、気持ち悪い人に真武湯▽インフルエンザに小青竜湯加杏仁、石膏	松本一男	(102)958	2012(平成24)年・第59巻・第5号
＜第21回漢方治療研究会講演＞ パーキンソン病に対し加味黄耆五物湯が奏効した1例	荘明仁	(105)961	2012(平成24)年・第59巻・第5号
五行理論について(3) 臨床例(b)	土方康世	(110)966	2012(平成24)年・第59巻・第5号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(54)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(119)975	2012(平成24)年・第59巻・第5号
漢方研究室(12) 2012年3月号回答・講評 第12問	出題:犬塚央	(126)982	2012(平成24)年・第59巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(11)	権藤寿昭・鶴博生ほか	(138)994	2012(平成24)年・第59巻・第5号
植物分類学より見た生薬についての考察⑥-a ～ユリ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(144)1000	2012(平成24)年・第59巻・第5号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(54) 『大同類聚方』・医療溯源考(3)	齊藤匡男	(151)1007	2012(平成24)年・第59巻・第5号
漢方の和泉(いずみ) 石膏への畏敬	佐藤喜和子	(157)1013	2012(平成24)年・第59巻・第5号
漢方を学ばんとする人へ	寺師睦宗	(161)1017	2012(平成24)年・第59巻・第5号
寺澤捷年先生の『吉益東洞の研究』の上梓を祝して	中川良隆	(162)1018	2012(平成24)年・第59巻・第5号
私と漢方(35)	澁谷恵子	(165)1021	2012(平成24)年・第59巻・第5号
韓国韓医学通信(第50報)	金成俊	(167)1023	2012(平成24)年・第59巻・第5号
第63回日本東洋医学会学術総会主要プログラム	油井富雄	(169)1025	2012(平成24)年・第59巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(172)1028	2012(平成24)年・第59巻・第5号
2012(平成24)年・第59巻・第6号			2012(平成24)年・第59巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(285) 神奈川相模原の医家・和田家の家伝史料	小曽戸洋・天野陽介	(2)1042	2012(平成24)年・第59巻・第6号
巻頭言／経験を記録すること	関矢信康	(11)1051	2012(平成24)年・第59巻・第6号
対談／臨床家と漢方基礎研究家の最前線を結ぶ	宮田健 〔聞き手〕丁宗鐵	(13)1053	2012(平成24)年・第59巻・第6号
治療の実際／夏バテ 清暑益気湯で効果を認めなかった夏バテ	渡邊善一郎	(31)1071	2012(平成24)年・第59巻・第6号

薩摩旧薬園と生薬	松岡尚則ほか	(43)1083	2012(平成24)年・第59巻・第6号
総説／公定書に見る医療用漢方製剤における生薬薬用量の範囲について	秋葉哲生・池上文雄・角野めぐみ	(57)1097	2012(平成24)年・第59巻・第6号
漢方薬が著効したステロイドを拒否した全身性エリテマトーデスの1例	川村力	(67)1107	2012(平成24)年・第59巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算16) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(1)	大田静香・田原英一ほか	(74)1114	2012(平成24)年・第59巻・第6号
北里東医研診療録から(101) 竹葉湯が有効であった2症例	鈴木邦彦・花輪壽彦ほか	(80)1120	2012(平成24)年・第59巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(96) 抑肝散加減の症例	千田五月・田畑隆一郎ほか	(84)1124	2012(平成24)年・第59巻・第6号
五行理論について(4) 臨床例(c)	土方康世	(90)1130	2012(平成24)年・第59巻・第6号
無門塾治験雑録(19) 6月の薬草園へようこそ	熊井啓子・田中まち子ほか	(98)1138	2012(平成24)年・第59巻・第6号
続 栗園先生配剤録(2)	渡辺浩二	(105)1145	2012(平成24)年・第59巻・第6号
漢方牛歩録(288) 頸椎神経根症に黄耆桂枝五物湯・ガングリオンに五苓散加枳実梔子	中村謙介	(116)1156	2012(平成24)年・第59巻・第6号
東洋堂経験余話(236) ▽左足踵骨の痛みと八味丸料▽花粉症に防已黄耆湯加麻黄	松本一男	(118)1158	2012(平成24)年・第59巻・第6号
東海鍼灸医案(37) アキレス腱痛	高士将典・荒井勝彦	(121)1161	2012(平成24)年・第59巻・第6号
漢方専門医と鍼灸師の連携プレー ～愛と信頼のサンドイッチ療法～	平地治美	(125)1165	2012(平成24)年・第59巻・第6号
漢方研究室(13) 2012年4月号回答・講評 第13問	出題:三潴忠道	(129)1169	2012(平成24)年・第59巻・第6号
漢方研究室(14) 2012年6月号出題 第14問	出題:秋葉哲生	(145)1185	2012(平成24)年・第59巻・第6号
学と術	寺師睦宗	(148)1188	2012(平成24)年・第59巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(12)	鶴博生・樋口理ほか	(149)1189	2012(平成24)年・第59巻・第6号
植物分類学より見た生薬についての考察⑥-b ～ユリ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(154)1194	2012(平成24)年・第59巻・第6号
リアル傷寒論(18)	齋藤謙一	(160)1200	2012(平成24)年・第59巻・第6号
幕を引く時(埼玉漢方古典研究会三十余年の歩み)	畑靖子	(166)1206	2012(平成24)年・第59巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(170)1210	2012(平成24)年・第59巻・第6号
2012(平成24)年・第59巻・第7号			2012(平成24)年・第59巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(286) 『難経疏証』の成立過程－多紀元胤書入『難経集注』	天野陽介・小曽戸洋	(2)1222	2012(平成24)年・第59巻・第7号
巻頭言／思うこと、考えること 症例報告の重みと大学における漢方の場と	中川良隆	(11)1231	2012(平成24)年・第59巻・第7号
一般論文／柴芍六君子湯の使用目標に関する一考察	後藤博三	(15)1235	2012(平成24)年・第59巻・第7号
総説／わが国の先人はどのように漢方治療を行ったか －医療用漢方製剤複数剤併用の問題点について－	秋葉哲生・池上文雄・角野めぐみ	(25)1245	2012(平成24)年・第59巻・第7号
閃輝暗点に漢方薬が著効した4症例	網谷真理恵・星野惠津夫ほか	(33)1253	2012(平成24)年・第59巻・第7号
厚朴七物湯の治験とその証に関する考察	新富義侯・織部和宏	(43)1263	2012(平成24)年・第59巻・第7号
慢性疾患に対する四物湯合小建中湯の治療効果	宮崎瑞明・盛克己	(51)1271	2012(平成24)年・第59巻・第7号
不定愁訴の「むくみ」に漢方の治療	程炳鈞	(63)1283	2012(平成24)年・第59巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(97) 哭する乙女たち	田畑隆一郎・鈴木寛彦ほか	(73)1293	2012(平成24)年・第59巻・第7号
北里東医研診療録から(102) 胃食道逆流症によると思われた欬嗽に対し清熱解鬱湯が奏効した一例	川鍋伊晃・花輪壽彦ほか	(82)1302	2012(平成24)年・第59巻・第7号
無門塾治験雑録(20) やっぱり”節食と鍛錬”	北川寛・山下耕司ほか	(87)1307	2012(平成24)年・第59巻・第7号
東洋堂経験余話(237) ▽感冒後の気管支炎に麦門冬湯加石膏▽右坐骨神経痛に芍薬甘草湯	松本一男	(93)1313	2012(平成24)年・第59巻・第7号
漢方牛歩録(289) 過緊張に伴う冷え性に抑肝散・変形性頸椎症に麻黄附子細辛湯	中村謙介	(96)1316	2012(平成24)年・第59巻・第7号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(55)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(98)1318	2012(平成24)年・第59巻・第7号
続 栗園先生配剤録(3)	渡辺浩二	(107)1327	2012(平成24)年・第59巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(13)	樋口理・松藤英正ほか	(119)1339	2012(平成24)年・第59巻・第7号
気の四つの働きに見る東洋医学の人体観 ～地水火風から見た気の機能の考察～	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(123)1343	2012(平成24)年・第59巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(55) 『大同類聚方』・医療溯源考(4)	齊藤匡男	(133)1353	2012(平成24)年・第59巻・第7号
ゴールデンウィークあれこれ	來村昌紀	(139)1359	2012(平成24)年・第59巻・第7号
私と漢方(36)	澁谷恵子	(142)1362	2012(平成24)年・第59巻・第7号
第63回日本東洋医学会学術総会緊急報告	油井富雄	(144)1364	2012(平成24)年・第59巻・第7号
図書紹介／ 千賀一生著『タオ・コード 老子の暗号が語りだす』を一読する	松橋俊夫	(150)1370	2012(平成24)年・第59巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(151)1371	2012(平成24)年・第59巻・第7号
暑中お見舞い申し上げます	東亜医学協会役員一同	(153)1373	2012(平成24)年・第59巻・第7号
2012(平成24)年・第59巻・第8号			2012(平成24)年・第59巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(287) 和田泰庵と温知社	小曽戸洋・天野陽介	(2)1390	2012(平成24)年・第59巻・第8号
巻頭言／第22回漢方治療研究会へのお誘い	花輪壽彦	(11)1399	2012(平成24)年・第59巻・第8号

漢方治療が奏効した尋常性乾癬の4症例	桜井みち代	(13)1401	2012(平成24)年・第59巻・第8号
四逆散(その1)	田中まち子ほか	(19)1407	2012(平成24)年・第59巻・第8号
一般論文／ インフルエンザウィルス感染症に対する銀翹解毒散の解熱効果	永田紀四郎	(37)1425	2012(平成24)年・第59巻・第8号
高齢者肺炎疑いの発熱に対する「甘草末」投与の試み(第2報)	針生雄吉	(43)1431	2012(平成24)年・第59巻・第8号
血府逐瘀湯が奏功した長年続いた難治性多汗症の一例	大関潤一	(59)1447	2012(平成24)年・第59巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算17) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(2)	岩永淳・田原英一ほか	(64)1452	2012(平成24)年・第59巻・第8号
北里東医研診療録から(103)　冷え症に当帰建中湯加附子・黄耆桂枝五物湯が有効であった親子の症例	星野卓之・花輪壽彦ほか	(68)1456	2012(平成24)年・第59巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(98) 　コウノトリ早く来い	鈴木寛彦・蓮村幸兌ほか	(73)1461	2012(平成24)年・第59巻・第8号
無門塾治験雑録(21) 「漢方」における危機感・安心感　～個人的な思い～	山下耕司・飯田敏雄ほか	(82)1470	2012(平成24)年・第59巻・第8号
漢方牛歩録(290)　拇指CM関節症に桂枝二越婢一湯後に麻杏薏甘湯・自立神経失調症に四物湯兼六味丸・手指屈筋腱炎に薏苡仁湯	中村謙介	(90)1478	2012(平成24)年・第59巻・第8号
東洋堂経験余話(238) ▽不妊症に当帰芍薬散加味▽高血圧に黄連解毒湯加大黄	松本一男	(92)1480	2012(平成24)年・第59巻・第8号
慶應大学輪読会／ 新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(56)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(95)1483	2012(平成24)年・第59巻・第8号
漢方研究室(14)　2012年5月号回答・講評　第14問	出題:秋葉哲生	(102)1490	2012(平成24)年・第59巻・第8号
東海鍼灸医案(38)　腰背部痛	髙士将典・荒井勝彦	(117)1505	2012(平成24)年・第59巻・第8号
続 栗園先生配剤録(4)	渡辺浩二	(123)1511	2012(平成24)年・第59巻・第8号
植物分類学より見た生薬についての考察⑦　～ラン科～	田中耕一郎・三浦於菟	(135)1523	2012(平成24)年・第59巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(14)	松藤英正・溝部宏毅ほか	(142)1530	2012(平成24)年・第59巻・第8号
リアル傷寒論(19)	齋藤謙一	(145)1533	2012(平成24)年・第59巻・第8号
台日伝統医学学術交流研討会に参加して	平崎能郎	(152)1540	2012(平成24)年・第59巻・第8号
第21回日本刺絡学会学術総会レポート	平地治美	(154)1542	2012(平成24)年・第59巻・第8号
抱負～経営学大学院に着任して～	赤瀬朋秀	(155)1543	2012(平成24)年・第59巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(157)1545	2012(平成24)年・第59巻・第8号
2012(平成24)年・第59巻・第9号			2012(平成24)年・第59巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(288) 『孫真人玉函方』―金沢文庫旧蔵古版本の出現	小曽戸洋	(2)1558	2012(平成24)年・第59巻・第9号
巻頭言／量の問題	大友一夫	(11)1567	2012(平成24)年・第59巻・第9号
一般論文／ 東洋医学用語としての「表」「外」、「裏」「内」「中」	松岡尚則	(15)1571	2012(平成24)年・第59巻・第9号
隠れ瘀血、そこだけ瘀血、妨げ瘀血病態の検討－他病態との合併や症状が非顕著であった瘀血の症例－	三浦於菟ほか	(35)1591	2012(平成24)年・第59巻・第9号
不定愁訴に近い疼痛に対する当帰湯の効果	小林永治	(43)1599	2012(平成24)年・第59巻・第9号
脳血管性認知症のBPSDに対して柴胡加竜骨牡蠣湯が奏効した1例	中江啓晴	(49)1605	2012(平成24)年・第59巻・第9号
盗汗(寝汗)の治法について	小髙修司	(53)1609	2012(平成24)年・第59巻・第9号
田七人参製剤の服用により血管壁の状態が改善されたと思われる一症例	細野美佐子ほか	(61)1617	2012(平成24)年・第59巻・第9号
当院における漢方方剤の使用状況について	田村博文	(67)1623	2012(平成24)年・第59巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(99)　苦労した尋常性乾燥の一例 　地黄剤と黄連解毒湯・石膏剤の加減	蓮村幸兌・千田五月ほか	(72)1628	2012(平成24)年・第59巻・第9号
北里東医研診療録から(104)　ばね指に対して気剤を使用した一症例	小田口浩・花輪壽彦ほか	(81)1637	2012(平成24)年・第59巻・第9号
東洋堂経験余話(239) ▽急性気管支炎に柴陥湯加桑白皮▽肝機能障害に四逆散料合桂枝茯苓丸料	松本一男	(86)1642	2012(平成24)年・第59巻・第9号
漢方牛歩録(291)　肩凝りに治肩背拘急方・動悸に柴胡加竜骨牡蠣湯	中村謙介	(90)1646	2012(平成24)年・第59巻・第9号
無門塾治験雑録(22)　水の偏りによるめまい	飯田敏雄・熊井啓子ほか	(92)1648	2012(平成24)年・第59巻・第9号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(57)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(97)1653	2012(平成24)年・第59巻・第9号
漢方研究室(15)　2012年9月号出題　第15問	出題:寺澤捷年	(104)1660	2012(平成24)年・第59巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(15)	溝部宏毅・貝沼茂三郎ほか	(106)1662	2012(平成24)年・第59巻・第9号
『三訂通俗傷寒論』 　～温病学を傷寒論に取り込んだ傷寒学派～⑤太陰病	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(114)1670	2012(平成24)年・第59巻・第9号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(56) 『大同類聚方』・医療溯源考(5)	齊藤匡男	(127)1683	2012(平成24)年・第59巻・第9号
有持桂里の墓碑銘について　附　西里野口先生小伝	原桃介	(133)1689	2012(平成24)年・第59巻・第9号
最近の中国における経方再評価とその関連について	杉山広重	(137)1693	2012(平成24)年・第59巻・第9号
韓国伝統医学のバイブル『東医宝鑑』について－近世東アジアに与えた影響を中心に	吉田和裕	(141)1697	2012(平成24)年・第59巻・第9号
韓国韓医学通信(第51報)	金成俊	(143)1699	2012(平成24)年・第59巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(145)1701	2012(平成24)年・第59巻・第9号
2012(平成24)年・第59巻・第10号			2012(平成24)年・第59巻・第10号

〔口絵〕目でみる漢方史料館(289) 原型版『家伝預薬集』と『玄朔常合置方又万聞書』	鈴木達彦	(2)1714	2012(平成24)年・第59巻・第10号
巻頭言／「生きた漢方」と「書かれた漢方」	寺師睦宗	(11)1723	2012(平成24)年・第59巻・第10号
原著／『家伝預薬集』の検討(1) －原型版『家伝預薬集』と『玄朔常合置方又万聞書』との関係	鈴木達彦	(13)1725	2012(平成24)年・第59巻・第10号
『傷寒論』における漢方処方の剤型および服用法について	程炳鈞	(29)1741	2012(平成24)年・第59巻・第10号
アルツハイマー病のBPSDに対する柴胡加竜骨牡蛎湯の有効性	中江啓晴ほか	(45)1757	2012(平成24)年・第59巻・第10号
手根管症候群に漢方治療が著効した4症例	東儀洋ほか	(51)1763	2012(平成24)年・第59巻・第10号
調胃承気湯の下剤以外の働き”胃気を和す”について	小林永治	(59)1771	2012(平成24)年・第59巻・第10号
茯苓四逆湯によるパニック障害の治療例	堀野雅子	(63)1775	2012(平成24)年・第59巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算18) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(3)	土倉潤一郎・田原英一ほか	(68)1780	2012(平成24)年・第59巻・第10号
肝気鬱結の2症例	越川真理	(77)1789	2012(平成24)年・第59巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(100) 円形脱毛の症例	千田五月・田畑隆一郎ほか	(81)1793	2012(平成24)年・第59巻・第10号
北里東医研診療録から(105) アトピー性皮膚炎と慢性蕁麻疹の合併に対して正気天香湯が奏功した1例	望月良子・花輪壽彦ほか	(81)1637	2012(平成24)年・第59巻・第10号
無門塾治験雑録(23) 漢方と気診	小倉才子・熊井啓子ほか	(88)1800	2012(平成24)年・第59巻・第10号
漢方牛歩録(292) 蕁麻疹二題・白癬症にお酢療法	中村謙介	(98)1810	2012(平成24)年・第59巻・第10号
東洋堂経験余話(240) ▽緑内障で苦しんでいる人の、左下肢の神経痛に附子粳米湯▽腹中がつっぱり便秘する人に、芍薬甘草湯加乾姜	松本一男	(100)1812	2012(平成24)年・第59巻・第10号
東海鍼灸医案(39) 腎虚腰痛	高士将典・荒井勝彦	(103)1815	2012(平成24)年・第59巻・第10号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(58)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(108)1820	2012(平成24)年・第59巻・第10号
漢方研究室(16) 2012年10月号出題 第16問	出題:田原英一	(114)1826	2012(平成24)年・第59巻・第10号
植物分類学より見た生薬についての考察⑧ ～ウリ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(116)1828	2012(平成24)年・第59巻・第10号
漢代の医学 その22 傷寒論(1)	家本誠一	(125)1837	2012(平成24)年・第59巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(16)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(131)1843	2012(平成24)年・第59巻・第10号
リアル傷寒論(20)	齋藤謙一	(136)1848	2012(平成24)年・第59巻・第10号
中国四川省と青海省・野生大黄視察の旅に参加して	佐藤喜和子	(142)1854	2012(平成24)年・第59巻・第10号
韓国韓医学通信(第52報)	金成俊	(149)1861	2012(平成24)年・第59巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(151)1863	2012(平成24)年・第59巻・第10号
2012(平成24)年・第59巻・第11号			2012(平成24)年・第59巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(290) 判明した菊池玄蔵の生誕地および戒名と没年	長野仁・大浦宏勝	(2)1874	2012(平成24)年・第59巻・第11号
巻頭言／漢方との縁	福澤素子	(11)1883	2012(平成24)年・第59巻・第11号
気血水 その2 ～利水と瘀血の発生	伊藤康雄ほか	(13)1885	2012(平成24)年・第59巻・第11号
茯苓四逆湯が奏効した癌患者4症例の検討と四逆湯類の適用法	星野惠津夫ほか	(20)1892	2012(平成24)年・第59巻・第11号
慢性疾患に対する茯苓四逆湯(散剤)の治療効果	盛克己・宮崎瑞明	(35)1907	2012(平成24)年・第59巻・第11号
生薬末合剤による中高年の腰痛治療について	福田佳弘	(43)1915	2012(平成24)年・第59巻・第11号
急性胃腸炎に対する黄芩湯の効果－105例の解析から－	小林永治	(53)1925	2012(平成24)年・第59巻・第11号
柴胡加竜骨牡蛎湯によって難治性の耳鼻科的症状が改善された2例	今井環ほか	(59)1931	2012(平成24)年・第59巻・第11号
月経前症候群(PMS)に服用した四逆散エキスが、児の夜泣きに著効した1例	中井恭子ほか	(66)1938	2012(平成24)年・第59巻・第11号
漢方薬でガンを治す－臓器別用薬法について－	小髙修司	(69)1941	2012(平成24)年・第59巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(101) 柴木のような少年	田畑隆一郎ほか	(75)1947	2012(平成24)年・第59巻・第11号
北里東医研診療録から(106) 葛根湯により汎発性脱毛症が改善した一例	鈴木貴子・花輪壽彦ほか	(85)1957	2012(平成24)年・第59巻・第11号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(59)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(91)1963	2012(平成24)年・第59巻・第11号
漢方牛歩録(293) ▽変形性頸椎症に伴う書痙に抑肝散加陳皮半夏▽慢性頭痛と目眩感に加味逍遥散兼沢瀉湯	中村謙介	(98)1970	2012(平成24)年・第59巻・第11号
東洋堂経験余話(241) ▽関節リウマチに桂枝加苓朮附湯▽長びく感冒に柴胡桂枝湯加葛根、桔梗	松本一男	(100)1972	2012(平成24)年・第59巻・第11号
漢方研究室(15) 2012年9月号回答・講評 第15問	出題:寺澤捷年	(103)1975	2012(平成24)年・第59巻・第11号
無門塾治験雑録(24) 11月の薬草園へようこそ	熊井啓子ほか	(115)1987	2012(平成24)年・第59巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(17)	福田知顕・益田龍彦ほか	(123)1995	2012(平成24)年・第59巻・第11号
漢代の医学 その23 傷寒論(2)	家本誠一	(131)2003	2012(平成24)年・第59巻・第11号
銭乙『小児薬証直訣』における小児の五臓理論と治療法(4)-a 脾の病証	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(138)2010	2012(平成24)年・第59巻・第11号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(57) 『大同類聚方』・医療溯源考(6)	齊藤匡男	(145)2017	2012(平成24)年・第59巻・第11号
第18回吉益東洞顕彰会	山崎正寿	(151)2023	2012(平成24)年・第59巻・第11号
第22回漢方治療研究会、北里大学で開催		(153)2025	2012(平成24)年・第59巻・第11号
『漢方の臨床』誌に関するアンケート〈集計結果〉		(159)2031	2012(平成24)年・第59巻・第11号

漢方関係学会・研究会予定(12月)		(162)2034	2012(平成24)年・第59巻・第11号
2012(平成24)年・第59巻・第12号＜『漢方の臨床』700号記念号＞			2012(平成24)年・第59巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(291) 『漢方の臨床』創刊号及び特集号の表紙一覧(抜粋)		(2)2046	2012(平成24)年・第59巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(292) 矢数道明先生の書簡－深川晨堂宛	小曽戸洋	(4)2048	2012(平成24)年・第59巻・第12号
『漢方の臨床』700号記念号			2012(平成24)年・第59巻・第12号
巻頭言／『漢方の臨床』七〇〇号記念号発刊に際して	矢数圭堂	(17)2061	2012(平成24)年・第59巻・第12号
700号記念号発刊を祝す	山田光胤	(19)2063	2012(平成24)年・第59巻・第12号
中神琴渓の医術と医学思想	舘野正美	(21)2065	2012(平成24)年・第59巻・第12号
胸脇苦満のこだわり	山田光胤	(55)2099	2012(平成24)年・第59巻・第12号
瞑眩と同種療法	大友一夫	(63)2107	2012(平成24)年・第59巻・第12号
傷寒・金匱方を改めて学ぶなかで	中川良隆	(83)2127	2012(平成24)年・第59巻・第12号
漢方とは考える科学 矢数道明先生の『臨床応用漢方處方解説』に学ぶ	田畑隆一郎	(91)2135	2012(平成24)年・第59巻・第12号
厚朴麻黄湯証の一考察	福田佳弘	(101)2145	2012(平成24)年・第59巻・第12号
桂枝湯における足煩熱	岩崎勲	(109)2153	2012(平成24)年・第59巻・第12号
神経症による皮膚疾患の漢方症例 －自律神経緊張は家族的に発生する－	二宮文乃	(115)2159	2012(平成24)年・第59巻・第12号
漢方の証を考える	渡辺賢治	(137)2181	2012(平成24)年・第59巻・第12号
奥田謙蔵著『傷寒論梗概』と『傷寒論講義』の相違	中村謙介	(147)2191	2012(平成24)年・第59巻・第12号
『千金方』からみた『傷寒論』序文と山田図南の考察	松岡尚則ほか	(157)2201	2012(平成24)年・第59巻・第12号
『霊枢』の歴史(1)	真柳誠	(179)2223	2012(平成24)年・第59巻・第12号
チベット古典『四部医典』の分類不詳生薬補遺 —チベット本草書『晶珠本草』での分類から	谷田伸治	(201)2245	2012(平成24)年・第59巻・第12号
『金匱要略』刊本である鄧珍本と呉遷本のつき合わせについて	杉山広重	(213)2257	2012(平成24)年・第59巻・第12号
『近世漢方医学書集成』のこと —古典を読め。後は患者が教えてくれる—	松田邦夫	(230)2274	2012(平成24)年・第59巻・第12号
大塚恭男先生から学んだこと	花輪壽彦	(235)2279	2012(平成24)年・第59巻・第12号
矢数道明先生の書簡－深川晨堂宛	小曽戸洋	(245)2289	2012(平成24)年・第59巻・第12号
医学起源の時代と理念	鍋谷欣市	(251)2295	2012(平成24)年・第59巻・第12号
駆け出しの頃	本多義昭	(252)2296	2012(平成24)年・第59巻・第12号
また再び『漢方診療三十年』を読む	森由雄	(254)2298	2012(平成24)年・第59巻・第12号
戦いの勝利は戦略にあり	寺師睦宗	(255)2299	2012(平成24)年・第59巻・第12号
運命的な矢数道明先生とのご縁	土屋伊磋雄	(256)2300	2012(平成24)年・第59巻・第12号
アンコール随想／100号記念号の発行にあたって(抄)	矢数道明	(264)2308	2012(平成24)年・第59巻・第12号
アンコール随想／『花神の人』矢数道明先生	西岡一夫	(271)2315	2012(平成24)年・第59巻・第12号
北里東医研診療録から(107) 大防風湯によりADLの改善を認めた関節リウマチの2症例	石毛達也・花輪壽彦ほか	(273)2317	2012(平成24)年・第59巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験論(102) 私の大好きな温経湯	鈴木寛彦ほか	(280)2324	2012(平成24)年・第59巻・第12号
無門塾治験雑録(25) 喉元過ぎれば…猛暑は終わり、もう秋	山下耕司ほか	(287)2331	2012(平成24)年・第59巻・第12号
漢方研究室(16) 2012年10月号回答・講評 第16問	出題:田原英一	(293)2337	2012(平成24)年・第59巻・第12号
漢方研究室(17) 2012年12月号出題 第17問	出題:犬塚央	(303)2347	2012(平成24)年・第59巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(304)2348	2012(平成24)年・第59巻・第12号
2013(平成25)年・第60巻・第1号			2013(平成25)年・第60巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(293) 多紀元堅の書跡二軸と千金方	小曽戸洋	(2)2	2013(平成25)年・第60巻・第1号
平成25年(2013年) 新年のことば 〔129名〕		(9)9	2013(平成25)年・第60巻・第1号
桂皮・牡丹皮・烏頭の各生薬末合剤と八味丸との併用による腰部脊柱管狭窄症の治験	福田佳弘・高勇吉	(101)101	2013(平成25)年・第60巻・第1号
慢性的な下痢症状に対し八味地黄丸が有効であった一症例	松井龍吉・小林祥泰	(109)109	2013(平成25)年・第60巻・第1号
卵巣癌術後の頻尿と精神症状に対し清心蓮子飲が著効した1例 －清心蓮子飲効能の再検討－	糸賀知子・三浦於菟ほか	(115)115	2013(平成25)年・第60巻・第1号
酸棗仁湯が有効であった突発性過眠症の症例	岩崎勲	(123)123	2013(平成25)年・第60巻・第1号
経皮的冠動脈形成術後の放射線皮膚潰瘍による疼痛に漢方治療が奏効した一例－黄耆桂枝五物湯証の一考察	平崎能郎・並木隆雄ほか	(133)133	2013(平成25)年・第60巻・第1号
梔子甘草豉湯が有効であった一例	岩永淳・田原英一ほか	(143)143	2013(平成25)年・第60巻・第1号
薬物の副作用に香蘇散	細野美佐子ほか	(147)147	2013(平成25)年・第60巻・第1号
北里東医研診療録から(108) 鼻粘膜の知覚過敏を目標に半夏厚朴湯を投与し有効であった冷え症、口唇炎の症例	穂積桜・花輪壽彦ほか	(150)150	2013(平成25)年・第60巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(103) 95歳の認知症の母への対応 三黄瀉心湯エキスと茯苓四逆湯加芍薬・防已・黄耆煎じの併用	蓮村幸兌ほか	(155)155	2013(平成25)年・第60巻・第1号
無門塾治験雑録(26) スリムな薬方	北川寛ほか	(164)164	2013(平成25)年・第60巻・第1号

飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算19) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(4)	矢野博美・田原英一ほか	(171)171	2013(平成25)年・第60巻・第1号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(59)	渡辺賢治・秋葉哲生・入江祥史ほか	(91)1963	2013(平成25)年・第60巻・第1号
東洋堂経験余話(242) ▽月経前からの腰痛と下腹部痛に当帰四逆湯▽感冒から気管支炎になり、激しい咳嗽に麦門冬湯加石膏	松本一男	(180)180	2013(平成25)年・第60巻・第1号
漢方牛歩録(294) ▽変形性頸椎症に甘草附子湯▽変形性膝関節症に九味檳榔湯	中村謙介	(183)183	2013(平成25)年・第60巻・第1号
東海鍼灸医案(40) 急性腰痛(ぎっくり腰)(2)	髙士将典・荒井勝彦	(185)185	2013(平成25)年・第60巻・第1号
『霊枢』の歴史(2)	真柳誠	(189)189	2013(平成25)年・第60巻・第1号
漢代の医学 その24 傷寒論(3)	家本誠一	(195)195	2013(平成25)年・第60巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(18)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(200)200	2013(平成25)年・第60巻・第1号
銭乙『小児薬証直訣』における小児の五臓理論と治療法(4)-b 脾の病証	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(204)204	2013(平成25)年・第60巻・第1号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(58) 『大同類聚方』・医療溯源考(7)	齊藤匡男	(213)213	2013(平成25)年・第60巻・第1号
リアル傷寒論(21)	齋藤謙一	(217)217	2013(平成25)年・第60巻・第1号
故郷吉松と島津義弘	寺師睦宗	(223)223	2013(平成25)年・第60巻・第1号
韓国韓医学通信(第53報)	金成俊	(225)225	2013(平成25)年・第60巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(227)227	2013(平成25)年・第60巻・第1号
2013(平成25)年・第60巻・第2号			2013(平成25)年・第60巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(294) 山田業広の遺墨四軸	小曽戸洋	(2)238	2013(平成25)年・第60巻・第2号
巻頭言／私が漢方の虜になったころ	本間行彦	(11)247	2013(平成25)年・第60巻・第2号
原著／『家伝預薬集』の検討(2)－増補版『家伝預薬集』と各種版本について	鈴木達彦	(13)249	2013(平成25)年・第60巻・第2号
一般論文／半夏瀉心湯が無効で半夏厚朴湯が奏効した嘔気と胸焼けの1例－主証と客証からの考察－	村井政史・本間行彦ほか	(27)263	2013(平成25)年・第60巻・第2号
気血水 その三 ～水の回転～	伊藤康雄・山崎由佳里ほか	(33)269	2013(平成25)年・第60巻・第2号
逆流性食道炎によるとされる胸痛・腹痛・背部痛に当帰湯が有効であった1例	藤本誠・嶋田豊ほか	(39)275	2013(平成25)年・第60巻・第2号
コントロールが困難な再発性の脳血管障害に対し、続命湯(医療用エキス製剤での工夫)が有効であった一例	梶井信洋・織部和宏	(43)279	2013(平成25)年・第60巻・第2号
酒石酸トルテロジンおよび清心蓮子飲にて間質性肺炎を反復した1例	野上達也・嶋田豊ほか	(53)289	2013(平成25)年・第60巻・第2号
血瘀証と思われた腎盂癌を抵当湯で治療した一例	荘明仁・平崎能郎	(61)297	2013(平成25)年・第60巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(104) 噫気(げっぷ)、逆流性食道炎の症例	千田五月・田畑隆一郎ほか	(66)302	2013(平成25)年・第60巻・第2号
北里東医研診療録から(109) 五積散加味が有効であった脳脊髄液減少症の1症例	伊藤剛・花輪壽彦ほか	(72)308	2013(平成25)年・第60巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算20) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(5)	吉村彰人・田原英一ほか	(79)315	2013(平成25)年・第60巻・第2号
漢方牛歩録(295) ▽薬疹に温清飲・止血に狗背末▽フルンケルに排膿散及湯	中村謙介	(86)322	2013(平成25)年・第60巻・第2号
東洋堂経験余話(243) ▽両膝の痛みに防已黄耆湯加麻黄▽急性腰痛に三味腰痛方	松本一男	(88)324	2013(平成25)年・第60巻・第2号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(60)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(91)327	2013(平成25)年・第60巻・第2号
漢方研究室(17) 2012年12月号回答・講評 第17問	出題:犬塚央	(98)334	2013(平成25)年・第60巻・第2号
漢方研究室(18) 2013年2月号出題 第18問	出題:今田屋章	(110)346	2013(平成25)年・第60巻・第2号
無門塾治験雑録(27) 韓国生薬市場見学と、日本の漢方相談薬局と薬局製剤	飯田敏雄・小倉才子ほか	(112)348	2013(平成25)年・第60巻・第2号
砂漠・極寒の地に生きる植物～苛酷な気候が薬効を生み出す～	田中耕一郎・三浦於菟	(119)355	2013(平成25)年・第60巻・第2号
神仙太乙膏の処方及び製法の検討	八木多佳子ほか	(131)367	2013(平成25)年・第60巻・第2号
『霊枢』の歴史(3)	真柳誠	(141)377	2013(平成25)年・第60巻・第2号
漢代の医学 その25 傷寒論(4)	家本誠一	(153)389	2013(平成25)年・第60巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(59) 『大同類聚方』・医療溯源考(8)	齊藤匡男	(159)395	2013(平成25)年・第60巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(19)	奥田隆司・権藤寿昭ほか	(165)401	2013(平成25)年・第60巻・第2号
麻生飯塚病院漢方診療科開設20周年記念講演会	上田晃三ほか	(171)407	2013(平成25)年・第60巻・第2号
韓国韓医学通信(第54報)	金成俊	(175)411	2013(平成25)年・第60巻・第2号
寺師家の家族と漢方	寺師睦宗	(177)413	2013(平成25)年・第60巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(178)414	2013(平成25)年・第60巻・第2号
2013(平成25)年・第60巻・第3号			2013(平成25)年・第60巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(295) 間中喜雄書簡—竹山晋一郎宛		(2)422	2013(平成25)年・第60巻・第3号
巻頭言／證・証・症という漢字	真柳誠	(11)431	2013(平成25)年・第60巻・第3号
原著／月経前症候群に、芎帰調血飲加減法が著効した四症例	藤原佳子・土方康世	(13)433	2013(平成25)年・第60巻・第3号
一般論文／『玉匱針経』と呂広	松岡尚則・別府正志ほか	(23)443	2013(平成25)年・第60巻・第3号
スギ花粉症に対する漢方治療の工夫—2011年度シーズン—	盛克己・宮崎瑞明	(37)457	2013(平成25)年・第60巻・第3号

真武湯が奏効しためまいの5症例	中江啓晴・熊谷由紀絵ほか	(47)467	2013(平成25)年・第60巻・第3号
桂枝茯苓丸加薏苡仁が奏効した月経随伴性喀血の一例	前田修司	(55)475	2013(平成25)年・第60巻・第3号
胸内苦悶感、動悸、息切れ、胸部違和感、不眠など症状が梔子甘草豉湯の服用で治癒した一例	大関潤一・山田宏之ほか	(59)479	2013(平成25)年・第60巻・第3号
精神的ストレスによる冷感に対し四逆散と抑肝散加陳皮半夏合補中益気湯が有効であった各一例—気滞による寒熱証の病態機序—	三浦於菟・田中耕一郎ほか	(65)485	2013(平成25)年・第60巻・第3号
寒熱からみた呉茱萸湯の効果－頭痛54例の解析から－	小林永治	(75)495	2013(平成25)年・第60巻・第3号
遷延する肛門痛に対して麻杏甘石湯が奏効した1例	韓哲舜・平崎能郎ほか	(87)507	2013(平成25)年・第60巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(105) 瘀血と瘧と奔豚と	田畑隆一郎・鈴木寛彦ほか	(81)501	2013(平成25)年・第60巻・第3号
北里東医研診療録から(110) 唾液分泌不全を伴う両側顎下腺腫脹に小建中湯が有効であった1例	森裕紀子・花輪壽彦ほか	(94)514	2013(平成25)年・第60巻・第3号
東海鍼灸医案(41) 不定愁訴	髙士将典・荒井勝彦	(99)519	2013(平成25)年・第60巻・第3号
無門塾治験雑録(28) 気診と漢方－舌痛症の1症例－	小倉才子・熊井啓子ほか	(104)524	2013(平成25)年・第60巻・第3号
漢方牛歩録(296) ▽頚椎椎間板ヘルニアに桂枝茯苓丸▽胸廊出口症候群に疎経活血湯▽凍瘡に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	中村謙介	(108)528	2013(平成25)年・第60巻・第3号
東洋堂経験余話(244) ▽水毒によるものか、目の下の痙攣に防己茯苓湯▽感冒に小青竜湯加杏仁	松本一男	(110)530	2013(平成25)年・第60巻・第3号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(61)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(113)533	2013(平成25)年・第60巻・第3号
植物分類学より見た生薬についての考察⑨-a ～イネ科(竹・笹を除く)～	田中耕一郎・三浦於菟	(119)539	2013(平成25)年・第60巻・第3号
『霊枢』の歴史(4)	真柳誠	(127)547	2013(平成25)年・第60巻・第3号
漢代の医学 その26 傷寒論(5)	家本誠一	(137)557	2013(平成25)年・第60巻・第3号
間中喜雄書簡－竹山晋一郎宛－	石野尚吾・小曽戸洋ほか	(143)563	2013(平成25)年・第60巻・第3号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(60) 『大同類聚方』・医療溯源考(9)	齊藤匡男	(149)569	2013(平成25)年・第60巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(20)	権藤寿昭・鶴博生ほか	(153)573	2013(平成25)年・第60巻・第3号
リアル傷寒論(22)	齋藤謙一	(157)577	2013(平成25)年・第60巻・第3号
『漢方の臨床』700号発刊記念祝賀会 リポート	坂井由美	(162)582	2013(平成25)年・第60巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(169)589	2013(平成25)年・第60巻・第3号
2013(平成25)年・第60巻・第4号			2013(平成25)年・第60巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(296) 『楊氏家蔵方』—金沢文庫旧蔵の宗版	小曽戸洋	(2)598	2013(平成25)年・第60巻・第4号
巻頭言／内経経絡等の幻想妄説論	多留淳文	(11)607	2013(平成25)年・第60巻・第4号
一般論文／機能性ディスペプシアに対する六君子湯の使用目標の検討	時枝政史・織部和宏	(13)609	2013(平成25)年・第60巻・第4号
太陽病の病態と発汗について—現代生理学及び薬理学的考察—	佐々木実	(23)619	2013(平成25)年・第60巻・第4号
慢性疾患に対する麻黄附子細辛湯合小建中湯の治療効果	宮崎瑞明・盛克己	(33)629	2013(平成25)年・第60巻・第4号
抑肝散合小建中湯で小児癇症の改善とともに「青筋」の消失を見た一例	前田修司	(43)639	2013(平成25)年・第60巻・第4号
乳児皮膚炎100例から見た瘙痒(苦痒)からの脱出	渡邊善一郎	(49)645	2013(平成25)年・第60巻・第4号
妙香散の効能と適応病態 －妙香散加減及び補中益気湯の合方で不眠と頻尿の軽快をみた一例	三浦於菟・田中耕一郎ほか	(57)653	2013(平成25)年・第60巻・第4号
頭皮の痛みに対する麻黄附子細辛湯の効果－6例の解析から－	小林永治	(69)665	2013(平成25)年・第60巻・第4号
＜第63回日本東洋医学会総会シンポジウム＞ 「皮膚粘膜疾患と補陰の治療」(1)／ 皮膚粘膜疾患と補陰の治療(概論)	峯尚志	(73)669	2013(平成25)年・第60巻・第4号
北里東医研診療録から(111) 中建中湯の2症例～当施設における使用目標の検討を含めて～	及川哲郎・花輪壽彦ほか	(83)679	2013(平成25)年・第60巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算21) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(6)	岩永淳・田原英一ほか	(87)683	2013(平成25)年・第60巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(106) 桂枝の薬徴	佐藤知嗣ほか	(91)687	2013(平成25)年・第60巻・第4号
東洋堂経験余話(245) ▽動悸に木防己湯加呉茱萸、茯苓 ▽感冒の後遺症である、首と肩の凝りに桂枝加葛根湯	松本一男	(100)696	2013(平成25)年・第60巻・第4号
漢方牛歩録(297) ▽パーキンソン患者の不眠に抑肝散加陳皮半 ▽口臭に三黄瀉心湯	中村謙介	(103)699	2013(平成25)年・第60巻・第4号
東海鍼灸医案(42) パーキンソン病を伴う肩から上肢にかけての痛み	髙士将典・荒井勝彦	(105)701	2013(平成25)年・第60巻・第4号
漢方研究室(18) 2013年2月号回答・講評 第18問	出題:今田屋章	(110)706	2013(平成25)年・第60巻・第4号
無門塾治験雑録(29) 4月の薬草園へようこそ	熊井啓子・山下耕司ほか	(120)716	2013(平成25)年・第60巻・第4号
植物分類学より見た生薬についての考察⑨-b ～イネ科(竹・笹を除く)～	田中耕一郎・三浦於菟	(129)725	2013(平成25)年・第60巻・第4号
漢代の医学 その27 傷寒論(6)	家本誠一	(137)733	2013(平成25)年・第60巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(21)	鶴博生・樋口理ほか	(145)741	2013(平成25)年・第60巻・第4号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(61) 『大同類聚方』・医療溯源考(10)	齊藤匡男	(151)747	2013(平成25)年・第60巻・第4号
韓国韓医学通信(第55報)	金成俊	(156)752	2013(平成25)年・第60巻・第4号
車座勉強会「尾台榕堂をNHK大河ドラマに」準備会	黒川達郎	(158)754	2013(平成25)年・第60巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(159)755	2013(平成25)年・第60巻・第4号
2013(平成25)年・第60巻・第5号			2013(平成25)年・第60巻・第5号

〔口絵〕目でみる漢方史料館(297) 安政版『観聚方要補』	小曽戸洋	(2)766	2013(平成25)年・第60巻・第5号
巻頭言／人間万事塞翁が馬	並木隆雄	(11)775	2013(平成25)年・第60巻・第5号
インタビュー／薬局漢方の推進者　雨宮昌男先生	雨宮昌男 〔聞き手〕金成俊・三上正利	(13)777	2013(平成25)年・第60巻・第5号
原著／全身性強皮症に対する漢方治療の臨床効果	土倉潤一郎・田原英一ほか	(31)795	2013(平成25)年・第60巻・第5号
加味逍遙散の現実的な『証』について	前田修司	(43)807	2013(平成25)年・第60巻・第5号
高齢者の腎陰虚(六味丸で軽快した3例)	藤井まゆみ	(57)821	2013(平成25)年・第60巻・第5号
急性胃腸炎に対する胃苓湯の効果―100例の解析から―	小林永治	(63)827	2013(平成25)年・第60巻・第5号
不完全な症例報告	土方康世	(69)833	2013(平成25)年・第60巻・第5号
喉の症状に対する麦門冬湯と敗毒散の使い分けについて	程炳鈞	(75)839	2013(平成25)年・第60巻・第5号
＜第63回日本東洋医学会総会シンポジウム＞ 「皮膚粘膜疾患と補陰の治療」(2)／ アレルギー性鼻炎に対する補陰の治療	今中政支	(79)843	2013(平成25)年・第60巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(107)　茯苓飲・茯苓飲合半夏厚朴湯…	蓮村幸兌・鈴木寛彦ほか	(91)855	2013(平成25)年・第60巻・第5号
北里東医研診療録から(112) 線維筋痛症に伴う難治性の慢性疼痛に温経湯加延胡索が有効であった一例	川鍋伊晃・花輪壽彦ほか	(100)864	2013(平成25)年・第60巻・第5号
無門塾治験雑録(30)　春が来た、どこに来た	山下耕司・北川寛ほか	(106)870	2013(平成25)年・第60巻・第5号
漢方牛歩録(298)　▽嗄声に半夏厚朴湯△外陰部のヘルペスに葛根湯▽激しい咳嗽に越婢加半夏湯	中村謙介	(112)876	2013(平成25)年・第60巻・第5号
東洋堂経験余話(246)　▽湿疹に梔子柏皮湯加大黄▽気管支炎に清肺湯	松本一男	(114)878	2013(平成25)年・第60巻・第5号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(62)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(117)881	2013(平成25)年・第60巻・第5号
漢方研究室(19)　2013年5月号出題　第19問	出題：山崎正寿	(123)887	2013(平成25)年・第60巻・第5号
生薬基礎講座(5) 甘草	金成俊	(125)889	2013(平成25)年・第60巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(22)	樋口理・松藤英正ほか	(131)895	2013(平成25)年・第60巻・第5号
銭乙『小児薬証直訣』における小児の五臓理論と治療法(5)腎の病証	田中耕一郎・三浦於菟ほか	(135)899	2013(平成25)年・第60巻・第5号
リアル傷寒論(23)	齋藤謙一	(145)909	2013(平成25)年・第60巻・第5号
寺師睦宗先生謝恩会	中村孝子・小池加能	(153)917	2013(平成25)年・第60巻・第5号
第7回木更津漢方セミナーに参加して	山本昇伯	(155)919	2013(平成25)年・第60巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(157)921	2013(平成25)年・第60巻・第5号
2013(平成25)年・第60巻・第6号			2013(平成25)年・第60巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(298) 山田業広の遺墨	小曽戸洋・天野陽介・和田源司	(2)934	2013(平成25)年・第60巻・第6号
巻頭言／開業医の勉強会	石野尚吾	(11)943	2013(平成25)年・第60巻・第6号
一般論文／慢性頭痛に呉茱萸湯が有効であった脳脊髄液減少症の1例	竹内健二・守屋純二・山川淳一	(13)945	2013(平成25)年・第60巻・第6号
藤平健の少量エキス剤併用療法について	秋葉哲生	(21)953	2013(平成25)年・第60巻・第6号
手掌足底の発汗　その1	伊藤康雄	(29)961	2013(平成25)年・第60巻・第6号
気虚を改善することで理気薬の内服が可能となった慢性疾患の1例～先補治療の必要性	島田博文・並木隆雄ほか	(37)969	2013(平成25)年・第60巻・第6号
麦門冬湯で頭痛と夜間頻尿が改善した一例	大野佳織	(43)975	2013(平成25)年・第60巻・第6号
漢方薬服用により西洋薬から離脱することができた関節リウマチの一例	永井良樹	(47)979	2013(平成25)年・第60巻・第6号
転換性障害によるてんかん様発作に防已地黄湯が有効と考えられた一例	中田真司・深谷良・南澤潔	(51)983	2013(平成25)年・第60巻・第6号
五積散加烏頭が有効であった難治性疼痛の二例	渡り英俊・嶋田豊ほか	(59)991	2013(平成25)年・第60巻・第6号
漢方治療で良好な経過をたどっている嗅覚障害の一例	平地治美	(65)997	2013(平成25)年・第60巻・第6号
＜第63回日本東洋医学会総会シンポジウム＞ 「皮膚粘膜疾患と補陰の治療」(3)／ 肺胃を清熱補陰した症例	永島知子	(69)1001	2013(平成25)年・第60巻・第6号
無門塾治験雑録(31)　大棗の考察	北川寛・飯田敏雄ほか	(75)1007	2013(平成25)年・第60巻・第6号
東海鍼灸医案(43)　緩和ケア(2)	髙士将典・荒井勝彦	(67)1327	2013(平成25)年・第60巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算22) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(7)	上田晃三・田原英一ほか	(72)1332	2013(平成25)年・第60巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(108)　真武湯の経験	千田五月・田畑隆一郎ほか	(101)1033	2013(平成25)年・第60巻・第6号
北里東医研診療録から(113) 手術創の閉鎖に甘草附子湯が奏効した1例	鈴木邦彦・花輪壽彦ほか	(96)1028	2013(平成25)年・第60巻・第6号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(63)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(107)1039	2013(平成25)年・第60巻・第6号
漢方牛歩録(299)　▽尺骨神経麻痺に黄耆桂枝五物湯▽胸廊出口症候群に疎経活血湯と鍼治療	中村謙介	(114)1046	2013(平成25)年・第60巻・第6号
東洋堂経験余話(247)　▽終末期医療の食道癌の通過障害に枳朮湯▽舌炎に人参湯加山梔子	松本一男	(116)1048	2013(平成25)年・第60巻・第6号
植物分類学より見た生薬についての考察⑩-a　～イネ科(竹・笹)～	田中耕一郎・三浦於菟	(121)1053	2013(平成25)年・第60巻・第6号
リアル傷寒論(24)	齋藤謙一	(128)1060	2013(平成25)年・第60巻・第6号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(62) 『大同類聚方』・医療溯源考(11)	齊藤匡男	(137)1069	2013(平成25)年・第60巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(23)	松藤英正・溝部宏毅ほか	(142)1074	2013(平成25)年・第60巻・第6号

福島県立医科大学会津医療センター開設のご挨拶／第114回日本医史学会総会・学術大会開催		(149)1081	2013(平成25)年・第60巻・第6号
韓国韓医学通信(第56報)	金成俊	(150)1082	2013(平成25)年・第60巻・第6号
図書紹介／中川良隆著『「傷寒・金匱」薬方大成』五味編・喜多敏明著『好きになる漢方医学』		(153)1085	2013(平成25)年・第60巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(157)1086	2013(平成25)年・第60巻・第6号
2013(平成25)年・第60巻・第7号			2013(平成25)年・第60巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(299) 田代三喜『當流能毒集』	鈴木達彦	(2)1094	2013(平成25)年・第60巻・第7号
巻頭言／ICTMベータ版を読んで	安井廣迪	(11)1103	2013(平成25)年・第60巻・第7号
原著／虫垂切除痕とその関連区域の疼痛	吉川信・佐藤弘	(15)1107	2013(平成25)年・第60巻・第7号
一般論文／地域環境や生活様式の激変した現代に生きる日本人に対する漢方治療(1)	井上淳子	(31)1123	2013(平成25)年・第60巻・第7号
手掌足底の発汗　その2　精神状態と発汗	伊藤康雄	(39)1131	2013(平成25)年・第60巻・第7号
桂枝湯を含む分心気飲についての一考察－桂皮の作用と正気の鼓舞－	山崎由佳里	(45)1137	2013(平成25)年・第60巻・第7号
眼科領域疾患に対する明眼一方の有用性	櫻林永稔・高木嘉子	(53)1145	2013(平成25)年・第60巻・第7号
漢方薬と鍼治療による左外転神経麻痺の治験例	森由雄	(61)1153	2013(平成25)年・第60巻・第7号
＜第63回日本東洋医学会総会シンポジウム＞ 「皮膚粘膜疾患と補陰の治療」(4)／ 皮膚の異常知覚に対する漢方治療～補陰の役割～	平田道彦	(67)1159	2013(平成25)年・第60巻・第7号
北里東医研診療録から(114) 清熱補気湯にて感冒罹患後嗅覚障害が改善した1症例	石毛達也・花輪壽彦ほか	(72)1164	2013(平成25)年・第60巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(109)　半夏攷	田畑隆一郎・鈴木寛彦ほか	(77)1169	2013(平成25)年・第60巻・第7号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(64)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(86)1178	2013(平成25)年・第60巻・第7号
漢方牛歩録(300)　▽気管支拡張症に桂枝加厚朴杏仁湯▽羸痩者の肩関節周囲炎に大防風湯	中村謙介	(94)1186	2013(平成25)年・第60巻・第7号
東洋堂経験余話(248)　▽便秘と小便不利に桃核承気湯▽右膝痛に防已黄耆湯加麻黄	松本一男	(96)1188	2013(平成25)年・第60巻・第7号
漢方研究室(19)　2013年5月号回答・講評　第19問	出題：山崎正寿	(99)1191	2013(平成25)年・第60巻・第7号
『漢方の臨床』アンコール論文／(3周年記念号より) 『傷寒雑病論』の薬方の応用について	大塚敬節	(111)1203	2013(平成25)年・第60巻・第7号
無門塾治験雑録(32)　八味丸を作ってみた	飯田敏雄ほか	(127)1219	2013(平成25)年・第60巻・第7号
植物分類学より見た生薬についての考察⑩-b　～イネ科(竹・笹)～	田中耕一郎・三浦於菟	(134)1226	2013(平成25)年・第60巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(24)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(140)1232	2013(平成25)年・第60巻・第7号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(63) 『大同類聚方』・医療溯源考(12)	齊藤匡男	(145)1237	2013(平成25)年・第60巻・第7号
リアル傷寒論(25)	齋藤謙一	(150)1242	2013(平成25)年・第60巻・第7号
漢方界トピックス／第64回日本東洋医学会学術総会レポート	坂井由美・編集局	(156)1248	2013(平成25)年・第60巻・第7号
図書紹介／焦樹徳著・国永薫翻訳『生薬活用の秘訣』を読む	森由雄	(159)1251	2013(平成25)年・第60巻・第7号
図書紹介／千葉漢方の源流を知る『奥田謙蔵研究・増補版』秋葉哲生編著	村松慎一	(159)1251	2013(平成25)年・第60巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(161)1253	2013(平成25)年・第60巻・第7号
2013(平成25)年・第60巻・第8号			2013(平成25)年・第60巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(300) 河鍋暁斎画・今村了庵賛『神農図』扇面	渡辺浩二	(2)1262	2013(平成25)年・第60巻・第8号
巻頭言／山田業広と浅田宗伯	山崎正寿	(11)1271	2013(平成25)年・第60巻・第8号
一般論文／ 地球環境や生活様式の激変した現代に生きる日本人に対する漢方治療(2) 上－アトピーを始めとする慢性に経過する湿疹に対して－	井上淳子	(13)1273	2013(平成25)年・第60巻・第8号
一般論文／漢方を用いて奏効した円形脱毛症4例の検討	阿南栄一朗・織部和宏	(23)1283	2013(平成25)年・第60巻・第8号
一般論文／台湾の大龍峒保安宮と薬籤(1)	松岡尚則ほか	(33)1293	2013(平成25)年・第60巻・第8号
黒苔のナゾ	盛岡頼子	(43)1303	2013(平成25)年・第60巻・第8号
反鼻交感丹料の治験と考察　浅田宗伯の運用を参考に	新富義侯・織部和宏	(45)1305	2013(平成25)年・第60巻・第8号
＜第63回日本東洋医学会総会シンポジウム＞ 「皮膚粘膜疾患と補陰の治療」(5)／ 婦人科領域疾患に対する補陰の治療とその妙	清水正彦	(53)1313	2013(平成25)年・第60巻・第8号
東海鍼灸医案(44)　肩関節周囲炎(五十肩)	髙士将典・荒井勝彦	(63)1323	2013(平成25)年・第60巻・第8号
無門塾治験雑録(33)　気診と漢方－歯痛	小倉才子ほか	(67)1327	2013(平成25)年・第60巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算23) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(8)	伊藤ゆい・田原英一ほか	(72)1332	2013(平成25)年・第60巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(110)　お米のご飯と漢方薬は炊(煎)いて始めて味(効)が出る	田畑隆一郎・鈴木寛彦ほか	(81)1341	2013(平成25)年・第60巻・第8号
北里東医研診療録から(115) 白虎湯類が奏効した尋常性乾癬の1例	星野卓之・花輪壽彦	(89)1349	2013(平成25)年・第60巻・第8号
東洋堂経験余話(249)　▽疲労倦怠感に八味丸料▽高血圧に七物降下湯	松本一男	(94)1354	2013(平成25)年・第60巻・第8号
漢方史こぼれ話／矢数軍医少尉の奮戦(『漢方と漢薬』より)	大塚敬節	(97)1357	2013(平成25)年・第60巻・第8号
漢方牛歩録(301)　▽拒食症に抑肝扶脾散▽関節痛と伴う掌蹠膿疱症様湿疹に十味敗毒湯	中村謙介	(98)1358	2013(平成25)年・第60巻・第8号

慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(65)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(101)1361	2013(平成25)年・第60巻・第8号
漢方研究室(20) 2013年8月号出題 第20問	出題:織部和宏	(109)1369	2013(平成25)年・第60巻・第8号
植物分類学より見た生薬についての考察⑪ ～バラ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(111)1371	2013(平成25)年・第60巻・第8号
漢方史こぼれ話／浅田宗伯翁逝く(『継興医報』より)		(127)1387	2013(平成25)年・第60巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(25)	福田知顕・益田龍彦ほか	(129)1389	2013(平成25)年・第60巻・第8号
六君子湯の出典再検討	小山誠次	(133)1393	2013(平成25)年・第60巻・第8号
『内経』の諸説綜覧(1)	吉元昭治	(139)1399	2013(平成25)年・第60巻・第8号
杉山広重先生の御逝去を悼む	小曽戸洋	(143)1403	2013(平成25)年・第60巻・第8号
国際学術大会「『東医宝鑑』をめぐる東アジア医科学文明展開の比較研究」に参加して	吉田和裕	(148)1408	2013(平成25)年・第60巻・第8号
図書紹介／秋葉哲生編著 大正・昭和の漢方医学の基礎を築いた奥田謙蔵研究・増補版	田畑隆一郎	(151)1411	2013(平成25)年・第60巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(152)1412	2013(平成25)年・第60巻・第8号
2013(平成25)年・第60巻・第9号			2013(平成25)年・第60巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(301) 『魏氏家蔵方』—宋版医書の絶品(その1)	小曽戸洋	(2)1422	2013(平成25)年・第60巻・第9号
巻頭言／漢方医学の時間軸	西巻明彦	(11)1431	2013(平成25)年・第60巻・第9号
一般論文／ 地球環境や生活様式の激変した現代に生きる日本人に対する漢方治療(2) 下－アトピーを始めとする慢性に経過する湿疹に対して－	井上淳子	(13)1433	2013(平成25)年・第60巻・第9号
一般論文／漢方治療が奏効した尋常性乾癬の3症例	桜井みち代	(25)1445	2013(平成25)年・第60巻・第9号
一般論文／台湾の大龍峒保安宮と薬籤(2)	松岡尚則ほか	(33)1453	2013(平成25)年・第60巻・第9号
現代型うつ病に対する療養指導としての水療法の試み ～レジリエンスの向上を期待して～	奥平智之ほか	(47)1467	2013(平成25)年・第60巻・第9号
漢方薬服用により女性のQOLが改善された症例について	細野美佐子ほか	(55)1475	2013(平成25)年・第60巻・第9号
難治性の耳鳴に対し、安神復元湯『古今方彙』が有効であった症例 ～医療用エキス製剤での工夫も含めて～	梶井信洋・織部和宏	(61)1481	2013(平成25)年・第60巻・第9号
東洋堂経験余話(250) ▽血小板数の増加に加味帰脾湯▽夜間頻尿の減少に清心蓮子飲加味	松本一男	(68)1488	2013(平成25)年・第60巻・第9号
＜第63回日本東洋医学会総会シンポジウム＞ 「皮膚粘膜疾患と補陰の治療」(6)／陰虚の病証 その展開と症例・エキス製剤による治療	梁哲成	(71)1491	2013(平成25)年・第60巻・第9号
北里東医研診療録から(116) 随証治療により高LDL血症が改善した一例	小田口浩・伊藤剛・花輪壽彦	(79)1499	2013(平成25)年・第60巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(111) 膀胱炎の経験(自験例)	蓮村幸兌・佐藤知嗣ほか	(84)1504	2013(平成25)年・第60巻・第9号
漢方牛歩録(302) ▽舌痛に伴う口腔乾燥症に百合固金湯▽関節リウマチに桂枝加朮附湯	中村謙介	(90)1510	2013(平成25)年・第60巻・第9号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(66)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(92)1512	2013(平成25)年・第60巻・第9号
癌と漢方薬	澁谷惠子	(98)1518	2013(平成25)年・第60巻・第9号
無門塾治験雑録(34) 9月の薬草園へようこそ	熊井啓子ほか	(100)1520	2013(平成25)年・第60巻・第9号
植物分類学より見た生薬についての考察⑫-a ～サトイモ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(109)1529	2013(平成25)年・第60巻・第9号
喜多村良宅『吐方論』攷 —論述を通して見る、その医学思想と人物像—(1)	舘野正美	(115)1535	2013(平成25)年・第60巻・第9号
当帰芍薬散加附子の出典	小山誠次	(125)1545	2013(平成25)年・第60巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(26)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(131)1551	2013(平成25)年・第60巻・第9号
『内経』の諸説綜覧(2)	吉元昭治	(137)1557	2013(平成25)年・第60巻・第9号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(64) 『大同類聚方』・医療溯源考(13)	齊藤匡男	(143)1563	2013(平成25)年・第60巻・第9号
集い、来れ、第23回漢方治療研究会へ	山崎正寿	(149)1569	2013(平成25)年・第60巻・第9号
原敬二郎先生の御逝去を悼む	小曽戸洋	(154)1574	2013(平成25)年・第60巻・第9号
杉山広茂(広重)先生を追慕する	松岡尚則	(155)1575	2013(平成25)年・第60巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(157)1577	2013(平成25)年・第60巻・第9号
2013(平成25)年・第60巻・第10号			2013(平成25)年・第60巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(302) 『魏氏家蔵方』—宋版医書の絶品(その2)	小曽戸洋	(2)1582	2013(平成25)年・第60巻・第10号
巻頭言／漢方の正統医学への復帰	三上正利	(11)1591	2013(平成25)年・第60巻・第10号
一般論文／感染性腸炎の治療中に超音波機器で視覚化できた五苓散の生理学的効果	山本康博	(13)1593	2013(平成25)年・第60巻・第10号
加味逍遙散証について	重軒正宏	(25)1605	2013(平成25)年・第60巻・第10号
抑肝散の出典	小山誠次	(39)1619	2013(平成25)年・第60巻・第10号
赤丸の適応症と構成に関する一考察	平崎能郎ほか	(47)1627	2013(平成25)年・第60巻・第10号
胃もたれの治療例	土方康世	(59)1639	2013(平成25)年・第60巻・第10号
無門塾治験雑録(35) 患者さんからの記録から	山下耕司ほか	(65)1645	2013(平成25)年・第60巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算24) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(9)	前田ひろみ・田原英一ほか	(72)1652	2013(平成25)年・第60巻・第10号

北里東医研診療録から(117) 乳癌患者のQOL向上に漢方薬が有効だった症例	金子貴子・花輪壽彦ほか	(79)1659	2013(平成25)年・第60巻・第10号
漢方牛歩録(303) ▽頸肩腕痛に甘草附子湯加味▽多発性関節痛に防風痛症散	中村謙介	(86)1666	2013(平成25)年・第60巻・第10号
漢方研究室(20) 2013年8月号回答・講評 第20問	出題:織部和宏	(88)1668	2013(平成25)年・第60巻・第10号
漢方研究室(21) 2013年10月号出題 第21問	出題:平馬直樹	(99)1679	2013(平成25)年・第60巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(112) 麻黄の薬徴	佐藤知嗣・蓮村幸兌ほか	(101)1681	2013(平成25)年・第60巻・第10号
植物分類学より見た生薬についての考察⑫-b ～サトイモ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(110)1690	2013(平成25)年・第60巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(27)	奥田隆司・権藤寿昭ほか	(116)1696	2013(平成25)年・第60巻・第10号
喜多村良宅『吐方論』攷 ―論述を通して見る、その医学思想と人物像―(2)	舘野正美	(121)1701	2013(平成25)年・第60巻・第10号
『内経』の諸説綜覧(3)	吉元昭治	(129)1709	2013(平成25)年・第60巻・第10号
リアル傷寒論(26)	齋藤謙一	(137)1717	2013(平成25)年・第60巻・第10号
鹿島漢方シンポジウムに参加して	大野佳織	(142)1722	2013(平成25)年・第60巻・第10号
2013年山清世界伝統医薬エキスポと第8回伝統ｱｼﾞｱ医学国際会議	松岡尚則	(147)1727	2013(平成25)年・第60巻・第10号
第19回吉益東洞顕彰会開催		(152)1732	2013(平成25)年・第60巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(154)1734	2013(平成25)年・第60巻・第10号
2013(平成25)年・第60巻・第11号			2013(平成25)年・第60巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(303) 吉益東洞墓所の現状	黒川達郎	(2)1742	2013(平成25)年・第60巻・第11号
巻頭言／薬局漢方復活への期待	丁宗鐵	(11)1751	2013(平成25)年・第60巻・第11号
一般論文／小柴胡湯が有効だった連日の夜間疼痛発作の2症例	東儀洋・三橋牧	(13)1753	2013(平成25)年・第60巻・第11号
「歯痛」の症例／投稿論文を拝読して	秋葉哲生	(22)1762	2013(平成25)年・第60巻・第11号
「歯痛」の症例／歯痛を主訴とする口腔異常感症の漢方治療	小澤夏生	(23)1763	2013(平成25)年・第60巻・第11号
「歯痛」の症例／痰飲によって誘発された歯痛の1症例	赤澤訓	(27)1767	2013(平成25)年・第60巻・第11号
「歯痛」の症例／歯痛・歯槽膿漏・歯肉炎に排膿散及湯エキスが奏効した三症例	梶井信洋・織部和宏ほか	(33)1773	2013(平成25)年・第60巻・第11号
「歯痛」の症例／鍼灸の立場で、「合谷穴」と「太衝穴」を用いた5例	古村和子	(39)1779	2013(平成25)年・第60巻・第11号
日本東洋医学会創立に貢献した龍野一雄に学ぶ、その業績と学殖(上)	村田高明	(47)1787	2013(平成25)年・第60巻・第11号
薏苡仁湯の出典	小山誠次	(65)1805	2013(平成25)年・第60巻・第11号
「道教医学」を理解するために	吉元昭治	(73)1813	2013(平成25)年・第60巻・第11号
手掌足底の発汗 その3 精神の回転	伊藤康雄	(83)1823	2013(平成25)年・第60巻・第11号
和田正系氏の治験例を通して調胃承気湯を考える	岩崎勲	(89)1829	2013(平成25)年・第60巻・第11号
当帰四逆加呉茱萸生姜湯で治療した疝気症候群A型と考えられた腹痛の1例	小池宙・渡辺賢治ほか	(97)1837	2013(平成25)年・第60巻・第11号
北里東医研診療録から(118) 多汗に四逆湯類が有効であった一例	堀田広満・花輪壽彦ほか	(105)1845	2013(平成25)年・第60巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(113) 続命湯(古今録験)の症例	千田五月ほか	(110)1850	2013(平成25)年・第60巻・第11号
東洋堂経験余話(251) ▽膀胱癌の血尿に芎帰膠艾湯 ▽子供の気管支炎に麦門冬湯加石膏	松本一男	(115)1855	2013(平成25)年・第60巻・第11号
漢方牛歩録(304) ▽弾撥指兼変形性頸椎症に薏苡仁湯など ▽変形性頸椎症による肩凝りに釣藤散 ▽高血圧症の不眠に黄連解毒湯	中村謙介	(119)1859	2013(平成25)年・第60巻・第11号
東海鍼灸医案(45) 顔面神経麻痺(2)	髙士将典・荒井勝彦	(121)1861	2013(平成25)年・第60巻・第11号
無門塾治験雑録(36) 烏頭湯には蜂蜜を(自験例)	北川寛ほか	(127)1867	2013(平成25)年・第60巻・第11号
漢代の医学 その28 傷寒論(7)	家本誠一	(135)1875	2013(平成25)年・第60巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(28)	権藤寿昭・鶴博生ほか	(142)1882	2013(平成25)年・第60巻・第11号
喜多村良宅『吐方論』攷 ―論述を通して見る、その医学思想と人物像―(3)	舘野正美	(147)1887	2013(平成25)年・第60巻・第11号
第23回漢方治療研究会、京都薬科大学で開催	坂井由美	(158)1898	2013(平成25)年・第60巻・第11号
第41回日本伝統鍼灸学会学術大会開催		(165)1905	2013(平成25)年・第60巻・第11号
杏雨書屋が道修町に移転 展示室をオープン		(166)1906	2013(平成25)年・第60巻・第11号
韓国韓医学通信(第57報)	金成俊	(168)1908	2013(平成25)年・第60巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(170)1910	2013(平成25)年・第60巻・第11号
2013(平成25)年・第60巻・第12号			2013(平成25)年・第60巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(304) 『医心方堤要』	小曽戸洋	(2)1918	2013(平成25)年・第60巻・第12号
巻頭言／「土に親しもう」自然のめぐりに従おう	二宮文乃	(11)1927	2013(平成25)年・第60巻・第12号
一般論文／紫根牡蛎湯加減が著効した尋常性乾癬3症例	四方田まり・織部和宏	(13)1929	2013(平成25)年・第60巻・第12号
日本東洋医学会創立に貢献した龍野一雄に学ぶ、その業績と学殖(下)	村田高明	(21)1937	2013(平成25)年・第60巻・第12号
竹茹温胆湯の出典再検討	小山誠次	(29)1945	2013(平成25)年・第60巻・第12号
啓脾湯が有効であった経管栄養患者の下痢症例	山下太郎・織部和宏ほか	(37)1953	2013(平成25)年・第60巻・第12号
白虎加人参湯の治験例	新富義侯・織部和宏	(41)1957	2013(平成25)年・第60巻・第12号
補中益気湯が著効した難治性の慢性頭痛に対する一考察	清水正彦	(47)1963	2013(平成25)年・第60巻・第12号

ふらつきに対して連珠飲が有効と考えられたMachado-Joseph病(SCA3)の1例	中江啓晴ほか	(53)1969	2013(平成25)年・第60巻・第12号
「やはり煎じ薬にして！」と言われた子宮筋腫・チョコレート嚢胞の改善例	小池加能	(59)1975	2013(平成25)年・第60巻・第12号
標準的治療を漢方治療で支えた2例	野上達也ほか	(67)1983	2013(平成25)年・第60巻・第12号
無門塾治験雑録(37)　私と父と無門塾	飯田敏雄ほか	(75)1991	2013(平成25)年・第60巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算25) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(10)	土倉潤一郎・田原英一ほか	(82)1998	2013(平成25)年・第60巻・第12号
北里東医研診療録から(119)　鍼灸治療と分心気飲、通脈四逆湯による漢方薬治療との併用が有効であった、難治性摂食障害の1症例	伊藤剛・花輪壽彦ほか	(93)2009	2013(平成25)年・第60巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(114)　頓珍漢証	田畑隆一郎ほか	(99)2015	2013(平成25)年・第60巻・第12号
漢方牛歩録(305)　▽湿疹に三黄瀉心湯兼白虎加人参湯▽口腔乾燥症に六味丸兼麦門冬湯▽麦粒腫に十味敗毒湯	中村謙介	(108)2024	2013(平成25)年・第60巻・第12号
東洋堂経験余話(252)　▽気管支喘息に半夏厚朴湯合橘皮枳実生姜湯▽原因不明の悪心嘔吐に葛根加半夏湯	松本一男	(110)2026	2013(平成25)年・第60巻・第12号
漢方研究室(21)　2013年10月号回答・講評　第21問	出題：平馬直樹	(114)2030	2013(平成25)年・第60巻・第12号
漢方研究室(22)　2013年12月号出題　第22問	出題：二宮文乃	(129)2045	2013(平成25)年・第60巻・第12号
植物分類学より見た生薬についての考察⑬　～ボタン科～	田中耕一郎・三浦於菟	(131)2047	2013(平成25)年・第60巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(29)	鶴博生・樋口理ほか	(140)2056	2013(平成25)年・第60巻・第12号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(65) 『大同類聚方』・医療溯源考(14)	齊藤匡男	(145)2061	2013(平成25)年・第60巻・第12号
喜多村良宅『吐方論』攷 —論述を通して見る、その医学思想と人物像—(4)	舘野正美	(153)2069	2013(平成25)年・第60巻・第12号
『史書』から見た『内経』『神農本草経』『傷寒論』の流れ	吉元昭治	(164)2080	2013(平成25)年・第60巻・第12号
リアル傷寒論(27)	齋藤謙一	(169)2085	2013(平成25)年・第60巻・第12号
追悼—原敬二郎先生～初めての神農祭参加	権藤寿昭	(176)2092	2013(平成25)年・第60巻・第12号
ロンドンの漢方薬事情	澁谷恵子	(178)2094	2013(平成25)年・第60巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(180)2096	2013(平成25)年・第60巻・第12号
2014(平成26)年・第61巻・第1号			2014(平成26)年・第61巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(305) 少彦名神社と東久世道禧の刻碑	小曽戸洋	(2)2	2014(平成26)年・第61巻・第1号
平成26年(2014年)　新年のことば〔129名〕		(9)9	2014(平成26)年・第61巻・第1号
一般論文／江戸期における古方家による『難経』の扱い	松岡尚則ほか	(107)107	2014(平成26)年・第61巻・第1号
論考でたどる藤平併病理論の展開－医療用エキス製剤の高度な活用に道を拓いた先人－	秋葉哲生	(117)117	2014(平成26)年・第61巻・第1号
房中(術)とその周辺(1)	吉元昭治	(137)137	2014(平成26)年・第61巻・第1号
抗精神病薬の長期投与による遅発性ジストニアに鍼灸・漢方治療が奏功した1例	成田響太・織部和宏	(145)145	2014(平成26)年・第61巻・第1号
北里東医研診療録から(120)　薬物乱用頭痛に選奇湯が有効であった症例	穂積桜・花輪壽彦ほか	(151)151	2014(平成26)年・第61巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(115)　八味丸と八之字	鈴木寛彦ほか	(155)155	2014(平成26)年・第61巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(30)	樋口理・松藤英正ほか	(162)162	2014(平成26)年・第61巻・第1号
永田徳本翁の墓所を訪ねて	松本一男	(169)169	2014(平成26)年・第61巻・第1号
漢代の医学　その29　傷寒論(8)	家本誠一	(177)177	2014(平成26)年・第61巻・第1号
『蕉窓雑話』に見る五経理論	土方康世	(183)183	2014(平成26)年・第61巻・第1号
無門塾治験雑録(38)　気診と漢方－顎関節症－	小倉才子ほか	(192)192	2014(平成26)年・第61巻・第1号
韓国韓医学通信(第58報)	金成俊	(197)197	2014(平成26)年・第61巻・第1号
車座勉強会から顕彰会へ	庄子昇	(200)200	2014(平成26)年・第61巻・第1号
第33回漢方学術大会開催		(201)201	2014(平成26)年・第61巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(202)202	2014(平成26)年・第61巻・第1号
2014(平成26)年・第61巻・第2号			2014(平成26)年・第61巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(306) 『続添鴻宝秘要抄』古鈔本	小曽戸洋	(2)210	2014(平成26)年・第61巻・第2号
巻頭言	酒井シヅ	(11)219	2014(平成26)年・第61巻・第2号
インタビュー／日本東洋医学会名誉会員 桑木崇秀先生	桑木崇秀 〔聞き手〕秋葉哲生	(13)221	2014(平成26)年・第61巻・第2号
排泄物と薬効に関する一考察(1)	田中耕一郎	(18)226	2014(平成26)年・第61巻・第2号
房中(術)とその周辺(2)	吉元昭治	(24)232	2014(平成26)年・第61巻・第2号
当帰四逆加呉茱萸生姜湯の多面的応用について	織部和宏	(35)243	2014(平成26)年・第61巻・第2号
酸棗仁湯が奏効した寝言と頻尿の3例－悪夢を手がかりとして－	小林永治	(43)251	2014(平成26)年・第61巻・第2号
肩こりに葛根湯が有効であった平凡な1症例から考えた生薬の駆瘀血作用の一考察	桒谷圭二	(47)255	2014(平成26)年・第61巻・第2号
東海鍼灸医案(46)　打撲痛	高士将典・荒井勝彦	(51)259	2014(平成26)年・第61巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(116)　桂枝茯苓丸のぴっくり効果	蓮村幸兌ほか	(55)263	2014(平成26)年・第61巻・第2号
漢方牛歩録(306)　▽坐骨神経不全麻痺に黄耆桂枝五物湯▽ベーカー嚢腫に五苓散加枳実梔子▽肘頭部滑液嚢炎に越婢加朮湯▽頸椎捻挫の激痛に葛根湯合芍薬甘草湯	中村謙介	(65)273	2014(平成26)年・第61巻・第2号

飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算26) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(11)	井上博喜・田原英一ほか	(69)277	2014(平成26)年・第61巻・第2号
北里東医研診療録から(121) 四逆散にて月経前症候群による頭痛が改善した1例	森裕紀子・花輪壽彦ほか	(77)285	2014(平成26)年・第61巻・第2号
東洋堂経験余話(253) ▽原因不明の腹痛に解急蜀椒湯加膠飴▽拗れた感冒に柴胡桂枝湯加桔梗、葛根	松本一男	(82)290	2014(平成26)年・第61巻・第2号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(67)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(86)294	2014(平成26)年・第61巻・第2号
漢方研究室(22) 2013年12月号回答・講評 第22問	出題:二宮文乃	(93)301	2014(平成26)年・第61巻・第2号
漢方研究室(23) 2014年2月号出題 第23問	出題:今田屋章	(105)313	2014(平成26)年・第61巻・第2号
漢方史こぼれ話/京阪遊記(『医道』より)	加藤長久	(107)315	2014(平成26)年・第61巻・第2号
無門塾治験雑録(39) 2月の薬草園へようこそ	熊井啓子ほか	(111)319	2014(平成26)年・第61巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(31)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(121)329	2014(平成26)年・第61巻・第2号
漢代の医学 その30 傷寒論(9)	家本誠一	(127)335	2014(平成26)年・第61巻・第2号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(66) 『大同類聚方』・医療溯源考(15)	齊藤匡男	(134)342	2014(平成26)年・第61巻・第2号
リアル傷寒論(28)	齋藤謙一	(140)348	2014(平成26)年・第61巻・第2号
『漢方の臨床』アンコール論文／十全大補湯について	細野史郎	(148)356	2014(平成26)年・第61巻・第2号
『漢方の臨床』アンコール論文／十全大補湯偉効について	大塚敬節	(157)365	2014(平成26)年・第61巻・第2号
秋葉哲生先生教授就任祝賀会出席記	松本浩	(160)368	2014(平成26)年・第61巻・第2号
小倉記念木更津漢方アカデミーに参加して	八木明男	(162)370	2014(平成26)年・第61巻・第2号
2013年第7回無門塾開催		(163)371	2014(平成26)年・第61巻・第2号
書評／『中山忠直資料集(私家版)』	松岡尚則	(164)372	2014(平成26)年・第61巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(166)374	2014(平成26)年・第61巻・第2号
2014(平成26)年・第61巻・第3号			2014(平成26)年・第61巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(307) 『医学師受淵源』に見える初代と二代の饗庭東庵	長野仁	(2)382	2014(平成26)年・第61巻・第3号
巻頭言／本誌創刊60周年記念事業への思い	喜多敏明	(11)391	2014(平成26)年・第61巻・第3号
日本漢方は方証相対か—万病一毒から挈因命証へ—	山崎正寿	(13)393	2014(平成26)年・第61巻・第3号
排泄物と薬効に関する一考察(2)	田中耕一郎	(23)403	2014(平成26)年・第61巻・第3号
三陰を三つに分けていいですか？	田中秀一	(33)413	2014(平成26)年・第61巻・第3号
一般論文／並河天民の三傑—渡辺毅、松原一閑斎、清水敬長	松岡尚則ほか	(39)419	2014(平成26)年・第61巻・第3号
歯槽膿漏の症状に鎮肝熄風湯加減が奏効した一例	荘明仁ほか	(54)434	2014(平成26)年・第61巻・第3号
最近のインフルエンザの漢方薬単独での治療経験	森由雄	(59)439	2014(平成26)年・第61巻・第3号
肺炎を繰り返す黄色爪症候群の漢方治療経験	引網宏彰ほか	(63)443	2014(平成26)年・第61巻・第3号
心電図異常のない動悸に対して苓桂甘棗湯が有効であった1症例	山崎武俊	(69)449	2014(平成26)年・第61巻・第3号
『老医口訣』により平胃散を用いて頑固な嘔吐が改善した1例	松浦敬子・秋葉哲生	(73)453	2014(平成26)年・第61巻・第3号
当帰拈痛湯が著効した2症例	織部和宏	(77)457	2014(平成26)年・第61巻・第3号
射干麻黄湯加甘草の一症例	南利雄	(81)461	2014(平成26)年・第61巻・第3号
長年過矯正を強いられた調節痙攣の2例	山本昇吾・藤東祥子	(85)465	2014(平成26)年・第61巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算27) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(12)	紀伊文隆・田原英一ほか	(88)468	2014(平成26)年・第61巻・第3号
北里東医研診療録から(122) 体幹部の違和感と痛みに柴胡疏肝湯(医学統旨)が有効であった3例	及川哲郎・花輪壽彦ほか	(95)475	2014(平成26)年・第61巻・第3号
漢方牛歩録(307) ▽アトピー性皮膚炎に白虎加人参湯加味▽目弦に半夏白朮天麻湯▽止血に狗脊末	中村謙介	(99)479	2014(平成26)年・第61巻・第3号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(68)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(102)482	2014(平成26)年・第61巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(117) 石膏の薬徴	佐藤知嗣ほか	(109)489	2014(平成26)年・第61巻・第3号
無門塾治験雑録(40) 年末年始の店頭にて	山下浩司ほか	(121)501	2014(平成26)年・第61巻・第3号
『医学師受淵源』について〈上〉	長野仁	(129)509	2014(平成26)年・第61巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(32)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(134)514	2014(平成26)年・第61巻・第3号
浅田宗伯門人による結社 輔仁社と『輔仁社実験録』(勿誤薬室後の塾生について)(1)	渡辺浩二	(139)519	2014(平成26)年・第61巻・第3号
漢代の医学 その31 傷寒論(10)	家本誠一	(153)533	2014(平成26)年・第61巻・第3号
アンコール随想／生きている医学	和田正系	(162)542	2014(平成26)年・第61巻・第3号
漢方雑話～STAP細胞～	無石	(164)544	2014(平成26)年・第61巻・第3号
「東洋医学」という言葉について	吉元昭治	(165)545	2014(平成26)年・第61巻・第3号
図書紹介／伊藤敏雄著『生薬春秋』(東洋医学舎刊)を読む	秋葉哲生	(167)547	2014(平成26)年・第61巻・第3号
韓国韓医学通信(第59報)	金成俊	(168)548	2014(平成26)年・第61巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(166)374	2014(平成26)年・第61巻・第3号
2014(平成26)年・第61巻・第4号			2014(平成26)年・第61巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(308) 世界発の印刷医書-『新集備急灸経』	小曽戸洋・天野陽介	(2)558	2014(平成26)年・第61巻・第4号

巻頭言／「薬性」を勉強しよう	小根山隆祥	(11)567	2014(平成26)年・第61巻・第4号
疾患別座談会／脳神経外科領域の漢方(上)	來村昌紀・中江啓晴・宮上光祐・林明宗・室賀一宏〔司会〕	(13)569	2014(平成26)年・第61巻・第4号
『傷寒論』太陽病上篇にみる正気の賦活の上衝	山崎由佳里	(33)589	2014(平成26)年・第61巻・第4号
『傷寒論』における「或いは症状」について	程炳鈞	(39)595	2014(平成26)年・第61巻・第4号
慢性疾患に対する桂枝人参湯合小建中湯の治療効果	宮崎瑞明・宮崎民浩・宮崎亮佑・盛克己	(45)601	2014(平成26)年・第61巻・第4号
慢性膵炎の腹痛に柴胡桂枝湯合附子粳米湯が有効であった2例	永井良樹・松橋信行	(55)611	2014(平成26)年・第61巻・第4号
止痛附子湯条“疝気”による腰痛の病態について	福田佳弘	(59)615	2014(平成26)年・第61巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(118) 痛みの症例(疎経活血湯と芍甘黄辛附湯)	千田五月	(67)623	2014(平成26)年・第61巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算28) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(13)	吉永亮・田原英一他	(73)629	2014(平成26)年・第61巻・第4号
東海鍼灸医案(47) 首下がり	髙士将典・荒井勝彦	(83)639	2014(平成26)年・第61巻・第4号
北里東医研診療録から(123) 玉屏風散料が奏効した3例	濵中聡至・花輪壽彦ほか	(88)644	2014(平成26)年・第61巻・第4号
漢方牛歩録(308) ▽弾撥指に越婢加朮湯▽頭冒感に疎経活血湯▽肥満者の鼻汁に防已黄耆湯	中村謙介	(92)648	2014(平成26)年・第61巻・第4号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(69)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(94)650	2014(平成26)年・第61巻・第4号
無門塾治験雑録(41) 中黄膏への想い	北川寛ほか	(105)661	2014(平成26)年・第61巻・第4号
浅田宗伯門人による結社 補仁社と『補仁社実験録』(勿誤薬室後の塾生について)(2)	渡辺浩二	(111)667	2014(平成26)年・第61巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(33)	福田知顕・益田龍彦ほか	(121)677	2014(平成26)年・第61巻・第4号
『難経』七十五難の「訓読」と解説	山口一誠	(129)685	2014(平成26)年・第61巻・第4号
神農と黄帝、岐伯	吉元昭治	(136)692	2014(平成26)年・第61巻・第4号
延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髄(67) 『大同類聚方』・医療溯源考(16)	齊藤匡男	(147)703	2014(平成26)年・第61巻・第4号
リアル傷寒論(29)	齋藤謙一	(151)707	2014(平成26)年・第61巻・第4号
「一知半解」と西洋薬にも証がある	織部和宏	(156)712	2014(平成26)年・第61巻・第4号
アンコール論稿／刺絡について	岡部素道	(159)715	2014(平成26)年・第61巻・第4号
刺絡研究会第370回記念祝賀会開催		(161)717	2014(平成26)年・第61巻・第4号
図書紹介／浦山かき著『中國醫書の文獻學的研究』		(161)717	2014(平成26)年・第61巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(162)718	2014(平成26)年・第61巻・第4号
2014(平成26)年・第61巻・第5号			2014(平成26)年・第61巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(309) 京阪古方の新史料①『松原子金匱玉函経家法』	長野仁	(2)726	2014(平成26)年・第61巻・第5号
巻頭言／第65回日本東洋医学会学術総会開催にあたって	佐藤弘	(11)735	2014(平成26)年・第61巻・第5号
疾患別座談会／脳神経外科領域の漢方(下)	來村昌紀・中江啓晴・宮上光祐・林明宗・室賀一宏〔司会〕	(13)737	2014(平成26)年・第61巻・第5号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(1)	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(39)763	2014(平成26)年・第61巻・第5号
当帰建中湯エキスとヨクイニンエキスの併用により、手術不要となった子宮径部異形成の一例	釜完司郎ほか	(35)255	2014(平成26)年・第61巻・第5号
尾台榕堂の頻用方剤とその傾向	桒谷圭二・黒川達郎	(49)773	2014(平成26)年・第61巻・第5号
こむら返りに対する苓姜朮甘湯の効果－28例の解析から－	小林永治	(55)779	2014(平成26)年・第61巻・第5号
無門塾治験雑録(42) 私もパニック	飯田敏雄ほか	(61)785	2014(平成26)年・第61巻・第5号
成城漢方雑話(1) 消化器症状3症例	盛岡頼子	(67)791	2014(平成26)年・第61巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算29) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(14)	上田晃三	(71)795	2014(平成26)年・第61巻・第5号
北里東医研診療録から(124) 線維筋痛症に伴う慢性疼痛の緩和に烏苓通気湯加附子が有効であった一例	川鍋伊晃・花輪壽彦ほか	(80)804	2014(平成26)年・第61巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(119) 陰頭寒(ひ)ゆ	田畑隆一郎	(87)811	2014(平成26)年・第61巻・第5号
こんなお年の方にこんなにお薬が必要ですか？	織部和宏	(93)817	2014(平成26)年・第61巻・第5号
東洋堂経験余話(254) ▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯加附子▽動脈の硬化に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料	松本一男	(97)821	2014(平成26)年・第61巻・第5号
漢方牛歩録(309) ▽心因性が疑われる側頸部痛に柴朴湯▽単純疱疹に葛根湯▽振戦に抑肝散加陳皮半夏	中村謙介	(101)825	2014(平成26)年・第61巻・第5号
漢方研究室(23) 2014年2月号回答・講評 第23問	出題:今田屋章	(103)827	2014(平成26)年・第61巻・第5号
植物分類学より見た生薬についての考察⑭-a～ショウガ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(115)839	2014(平成26)年・第61巻・第5号
「更年期障害症状」に蟾酥、牛黄、人参製剤が有効	雪村八一郎	(121)845	2014(平成26)年・第61巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(34)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(131)855	2014(平成26)年・第61巻・第5号
『竹斎』の症例	吉元昭治	(137)861	2014(平成26)年・第61巻・第5号
第六回2014年台北国際中医薬学術論壇に参加して	杉山友彦	(151)875	2014(平成26)年・第61巻・第5号
漢方診療標準化プロジェクト 第1回シンポジウム		(154)878	2014(平成26)年・第61巻・第5号

韓国韓医学通信(第60報)	金成俊	(155)879	2014(平成26)年・第61巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(162)718	2014(平成26)年・第61巻・第5号
2014(平成26)年・第61巻・第6号			2014(平成26)年・第61巻・第6号
[口絵]目でみる漢方史料館(310) 前漢の漆経穴人形と医書の出土	猪飼祥夫	(2)894	2014(平成26)年・第61巻・第6号
巻頭言／分断化思考がもたらすもの	岩崎勲	(11)903	2014(平成26)年・第61巻・第6号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(2)	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(13)905	2014(平成26)年・第61巻・第6号
月経周期に伴う漢方薬の使い分けの一症例－気血水の上衝と甘草の作用－	山崎由佳里	(23)915	2014(平成26)年・第61巻・第6号
消化器ｶﾞﾝ末期患者2症例の漢方治療経験	盛克己・宮崎瑞明ほか	(31)923	2014(平成26)年・第61巻・第6号
抗がん剤と放射線照射による副作用に梔子厚朴湯と十全大補湯が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(39)931	2014(平成26)年・第61巻・第6号
東洋堂経験余話(255) ▽視力の回復に苓桂朮甘湯加車前子▽花粉症に小青竜湯加附子	松本一男	(42)934	2014(平成26)年・第61巻・第6号
周期性疼痛発作に小柴胡湯が有効だった12症例～「休作有時」を使用目標とした疼痛疾患への応用～	東儀洋・三橋牧	(45)937	2014(平成26)年・第61巻・第6号
橘皮大黄朴硝湯が著効した2症例	織部和宏	(55)947	2014(平成26)年・第61巻・第6号
酸棗仁湯で効果があったと考えられためまいの1症例	垣迫真一	(59)951	2014(平成26)年・第61巻・第6号
無門塾治験雑録(43) 気診と漢方－噛みしめと腰痛－	小倉才子ほか	(63)955	2014(平成26)年・第61巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算30) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(15)	伊藤ゆい	(68)960	2014(平成26)年・第61巻・第6号
東海鍼灸医案(48) 眼の奥の痛み	髙士将典・荒井勝彦	(77)969	2014(平成26)年・第61巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(120) 肝厥と思われる一症例	蓮村幸兌ほか	(82)974	2014(平成26)年・第61巻・第6号
北里東医研診療録から(125) 人参湯が有効であった胸痺の三例	鈴木邦彦・花輪壽彦ほか	(87)979	2014(平成26)年・第61巻・第6号
成城漢方雑話(2) 柴胡剤3症例	盛岡頼子	(94)986	2014(平成26)年・第61巻・第6号
漢方牛歩録(310) ▽肩凝りと睡眠障害に柴胡加竜骨牡蠣湯△瘰疬に排膿散及湯▽弾撥指に薏苡仁湯▽月経不順に当帰芍薬散	中村謙介	(98)990	2014(平成26)年・第61巻・第6号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(70)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(101)993	2014(平成26)年・第61巻・第6号
植物分類学より見た生薬についての考察⑭-b～ショウガ科～	田中耕一郎・三浦於菟	(110)1002	2014(平成26)年・第61巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(35)	奥田隆司・権藤寿昭ほか	(124)1016	2014(平成26)年・第61巻・第6号
石坂宗哲の『鍼灸知要一言』について	小林健二	(129)1021	2014(平成26)年・第61巻・第6号
浅田宗伯門人による結社 輔仁社と『輔仁社実験録』(勿誤薬室後の塾生について)(3)	渡辺浩二	(141)1033	2014(平成26)年・第61巻・第6号
アンコール随想／アンケート・漢方医家に「信念の言葉」を訊く 医の三則	矢数道明	(151)1043	2014(平成26)年・第61巻・第6号
漢方の”見と観の目”に通じる 政治評論家 岩渕辰雄老の目	寺師睦宗	(152)1044	2014(平成26)年・第61巻・第6号
図書紹介／寺師睦宗先生著『簡明 漢方の診察法』- art of kampo -	﨑元紘子・山下康子	(154)1046	2014(平成26)年・第61巻・第6号
尾台榕堂のふるさと・新潟県十日町市訪問記	黒川達郎	(156)1048	2014(平成26)年・第61巻・第6号
第63回全日本鍼灸学会学術大会開催／ 第115回日本医史学会総会・学術大会開催		(161)1053	2014(平成26)年・第61巻・第6号
図書紹介／舘野正美著『中国医学と日本漢方－医学思想の立場から』		(162)1054	2014(平成26)年・第61巻・第6号
花輪東亜医学協会理事長 北里大学医学部教授に！		(162)1054	2014(平成26)年・第61巻・第6号
訃報 鳥居塚和生先生 逝去		(162)1054	2014(平成26)年・第61巻・第6号
韓国韓医学通信(第61報)	金成俊	(163)1055	2014(平成26)年・第61巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(167)1059	2014(平成26)年・第61巻・第6号
2014(平成26)年・第61巻・第7号			2014(平成26)年・第61巻・第7号
[口絵]目でみる漢方史料館(311) 京阪古方の新史料② 松原一閑斎『本草詮』	長野仁	(2)1070	2014(平成26)年・第61巻・第7号
巻頭言／大胆に未科学であれ	秋葉哲生	(11)1079	2014(平成26)年・第61巻・第7号
少陰急下証に対する大承気湯の治験例	新富義侯・織部和宏	(13)1081	2014(平成26)年・第61巻・第7号
「漢方敏感人」の研究	久保重喜	(17)1085	2014(平成26)年・第61巻・第7号
一般論文／尋常性乾癬に四逆湯が奏効した1例	村井政史・本間行彦	(25)1093	2014(平成26)年・第61巻・第7号
緑膿菌、アスペルギルス感染を伴う関節リウマチに漢方治療が有効であった1例	引網宏彰・嶋田豊ほか	(31)1099	2014(平成26)年・第61巻・第7号
上顎洞化膿症に葛根加朮附湯と荊芥連翹湯が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(37)1105	2014(平成26)年・第61巻・第7号
メンタルヘルス的主訴で来院し、二陳湯が奏効した4症例	大平征宏・秋葉哲生	(41)1109	2014(平成26)年・第61巻・第7号
たかが分心気飲 されど分心気飲	織部和宏	(48)1116	2014(平成26)年・第61巻・第7号
麻黄剤を使用しない花粉症の漢方治療	米川俊	(53)1121	2014(平成26)年・第61巻・第7号
白虎加人参湯が奏功したインフルエンザB型の二症例 「薬事法の一部を改正する法律」施工後の一般外来に来院する感冒様症状患者の病態に関する一症例	黄麗明・高木嘉子	(59)1127	2014(平成26)年・第61巻・第7号
甲状腺眼症の経過中に出現した羞明に対して苓桂甘棗湯が奏功した1症例	小暮敏明ほか	(67)1135	2014(平成26)年・第61巻・第7号
プライマリーケアにおける漢方療法 強迫性障害と診断された女性に抑肝散加陳皮半夏が著効したと思われる一症例	細野美佐子ほか	(71)1139	2014(平成26)年・第61巻・第7号
北里東医研診療録から(126) 竹葉石膏湯が奏効した一症例	石毛達也・花輪壽彦ほか	(76)1144	2014(平成26)年・第61巻・第7号

飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算31) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(16)	前田ひろみ・田原英一ほか	(81)1149	2014(平成26)年・第61巻・第7号
東洋堂経験余話(256) ▽心痛に栝桜薤白半夏湯▽乾咳に麦門冬湯加五味子	松本一男	(87)1155	2014(平成26)年・第61巻・第7号
漢方牛歩録(311) ▽舌の潰瘍に清熱補気湯▽交通事故後の発熱と身体痛	中村謙介	(90)1158	2014(平成26)年・第61巻・第7号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(71)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(92)1160	2014(平成26)年・第61巻・第7号
漢方研究室(24) 2014年7月号出題 第24問	出題:花輪壽彦	(99)1167	2014(平成26)年・第61巻・第7号
無門塾治験雑録(44) 7月の薬草園へようこそ	熊井啓子ほか	(103)1171	2014(平成26)年・第61巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(121) 「薬徴堤要」当帰	鈴木寛彦ほか	(113)1181	2014(平成26)年・第61巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(36)	権藤寿昭・鶴博生ほか	(119)1187	2014(平成26)年・第61巻・第7号
『内経』の分類	吉元昭治	(124)1192	2014(平成26)年・第61巻・第7号
リアル傷寒論(30)	齋藤謙一	(138)1206	2014(平成26)年・第61巻・第7号
アンコール随想／浅田宗伯翁門人 石井就三老人閑話(『医道』より)		(144)1212	2014(平成26)年・第61巻・第7号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(1) 私の経験から到達した想い・私見	古村和子	(149)1217	2014(平成26)年・第61巻・第7号
東洋医学のデータベースと小林健二氏と日本内経医学会の功績	猪飼祥夫	(154)1222	2014(平成26)年・第61巻・第7号
尾台榕堂顕彰会設立準備会 報告	黒川達郎	(157)1225	2014(平成26)年・第61巻・第7号
図書紹介／中川良隆著『日常外来の漢方 380例』			2014(平成26)年・第61巻・第7号
図書紹介／小池加能著『合格運アップに効く漢方』を読んで 漢方応用の目的達成術	髙山宏世	(160)1228	2014(平成26)年・第61巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(162)1230	2014(平成26)年・第61巻・第7号
2014(平成26)年・第61巻・第8号			2014(平成26)年・第61巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(312) 『啓廸集』が重要文化財に！	小曽戸洋	(2)1238	2014(平成26)年・第61巻・第8号
巻頭言／東亜医学協会の沿革	小曽戸洋	(11)1247	2014(平成26)年・第61巻・第8号
現代医学、東洋医学にみるシャーマニズム	田中耕一郎	(13)1249	2014(平成26)年・第61巻・第8号
「意外と効くね」回首散	織部和宏	(23)1259	2014(平成26)年・第61巻・第8号
痿証方合八味地黄丸料合五苓散料が奏功した下肢浮腫の1例	永井良樹	(30)1266	2014(平成26)年・第61巻・第8号
麻黄升麻湯の使用経験	中田真司・南澤潔	(33)1269	2014(平成26)年・第61巻・第8号
妊娠・出産に対する漢方治療の経験～挙児希望症例の漢方治療に関する臨床検討を含めて～	梶井信洋ほか	(43)1279	2014(平成26)年・第61巻・第8号
先天性耳瘻孔及び粉瘤に千金内托散が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(53)1289	2014(平成26)年・第61巻・第8号
無門塾治験雑録(45) 色々あっても春は来る	山下耕司ほか	(57)1293	2014(平成26)年・第61巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算32) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(17)	土倉潤一郎・田原英一ほか	(63)1299	2014(平成26)年・第61巻・第8号
北里東医研診療録から(127) 迎香穴へ糸状灸が効いた嗅覚障害の一例	井田剛人・花輪壽彦ほか	(72)1308	2014(平成26)年・第61巻・第8号
漢方牛歩録(312) ▽頸椎・腰椎捻挫に桂枝附子湯▽股関節痛治療中の妊娠▽肝斑に加味逍遙散兼四物湯	中村謙介	(77)1313	2014(平成26)年・第61巻・第8号
東洋堂経験余話(257) ▽糖尿病と不整脈がある患者さんの下痢に真武湯▽多病の人の寝汗に柴胡桂枝乾姜湯加黄耆、茯苓	松本一男	(80)1316	2014(平成26)年・第61巻・第8号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(72)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(84)1320	2014(平成26)年・第61巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(122) 芒硝・消石・朴消の薬徴	佐藤知嗣ほか	(90)1326	2014(平成26)年・第61巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(37)	鶴博生・樋口理ほか	(101)1337	2014(平成26)年・第61巻・第8号
リアル傷寒論(31)	齋藤謙一	(105)1341	2014(平成26)年・第61巻・第8号
『黄庭経』(1)	吉元昭治	(110)1346	2014(平成26)年・第61巻・第8号
Letter to Editor／織部和宏先生の論文に賛同して	赤澤訓	(134)1370	2014(平成26)年・第61巻・第8号
漢方の心得と相対性理論の生まれた背景	寺師睦宗	(137)1373	2014(平成26)年・第61巻・第8号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(2) 『身土不二』は何事にも適応する	古村和子	(139)1375	2014(平成26)年・第61巻・第8号
漢方史こぼれ話／代診説	山田椿庭	(144)1380	2014(平成26)年・第61巻・第8号
アンコール随想／診余漫言(『漢方と漢薬』より)	木村長久	(145)1381	2014(平成26)年・第61巻・第8号
漢方界トピックス／第65回日本東洋医学会学術総会レポート	坂井由美	(148)1384	2014(平成26)年・第61巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(156)1392	2014(平成26)年・第61巻・第8号
2014(平成26)年・第61巻・第9号			2014(平成26)年・第61巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(313) 二四〇〇年前の楽器―編鐘と編磬	小曽戸洋	(2)1406	2014(平成26)年・第61巻・第9号
巻頭言／先生、これでも漢方はプラシーボですか	織部和宏	(11)1415	2014(平成26)年・第61巻・第9号
一般論文／介護老人福祉施設の高齢者に生じた褥瘡と廃用症候群の改善に漢方有効であった1例	阿南栄一朗・織部和宏	(13)1417	2014(平成26)年・第61巻・第9号
『傷寒雑病論』における「心下痞」と瀉心湯類方について	程炳鈞	(23)1427	2014(平成26)年・第61巻・第9号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(3)	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(31)1435	2014(平成26)年・第61巻・第9号
漢方薬単独でコントロールできた高血圧症例の追跡8年後の検討	盛克己・宮崎瑞明ほか	(39)1443	2014(平成26)年・第61巻・第9号
医療用漢方ｴｷｽ製剤により不妊治療中の女性の胃腸虚弱を改善し、鎮痛剤や睡眠導入薬などを減量することができた1症例	中井恭子ほか	(51)1455	2014(平成26)年・第61巻・第9号

帯状疱疹後神経痛に対する漢方治療	桜井みち代	(55)1459	2014(平成26)年・第61巻・第9号
指輪の身体に及ぼす影響	久保重喜	(61)1465	2014(平成26)年・第61巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(123) 柴胡疏肝湯(統旨)の症例	千田五月ほか	(68)1472	2014(平成26)年・第61巻・第9号
無門塾治験雑録(46) あしながバチの洗礼	北川寛ほか	(73)1477	2014(平成26)年・第61巻・第9号
北里東医研診療録から(128) 桂姜棗草黄辛附湯が奏効した多汗症の1例	星野卓之・花輪壽彦ほか	(78)1482	2014(平成26)年・第61巻・第9号
成城漢方雑話(3) 半夏厚朴湯の4症例	盛岡頼子	(84)1488	2014(平成26)年・第61巻・第9号
東洋堂経験余話(258) ▽顎下腺腫瘍に小柴胡湯加枳実、山梔子▽腰痛と立ちくらみに苓桂朮甘湯	松本一男	(88)1492	2014(平成26)年・第61巻・第9号
漢方牛歩録(313) ▽尋常性痤瘡に当芍散加味兼荊芥連翹湯▽目眩感に真武湯と沢瀉湯	中村謙介	(91)1495	2014(平成26)年・第61巻・第9号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(73)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(94)1498	2014(平成26)年・第61巻・第9号
漢方研究室(24) 2014年7月号回答・講評 第24問	出題:花輪壽彦	(101)1505	2014(平成26)年・第61巻・第9号
インタビュー／和漢薬業界を駆け抜けて 伊藤敏雄氏(上)	伊藤敏雄 〔聞き手〕土屋伊磋雄	(115)1519	2014(平成26)年・第61巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(38)	樋口理・松藤英正ほか	(124)1528	2014(平成26)年・第61巻・第9号
『黄庭経』(2)	吉元昭治	(128)1532	2014(平成26)年・第61巻・第9号
山田光胤先生の卒寿を祝う会	織部和宏	(138)1542	2014(平成26)年・第61巻・第9号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(3) 『冷え』は「諸悪の根源」「万病のもと」①陰陽説と応用法の実例(その1)	古村和子	(141)1545	2014(平成26)年・第61巻・第9号
織部塾 『川芎』談義	清水正彦・織部和宏	(147)1551	2014(平成26)年・第61巻・第9号
岑少翁の墓所を訪ねて	黒川達郎	(149)1553	2014(平成26)年・第61巻・第9号
国際学術大会「『東医宝鑑』をめぐる東アジア医科学文明展開の比較研究」に参加して(その2)	吉田和裕	(153)1557	2014(平成26)年・第61巻・第9号
韓国韓医学通信(第62報)	金成俊	(156)1560	2014(平成26)年・第61巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(158)1562	2014(平成26)年・第61巻・第9号
2014(平成26)年・第61巻・第10号 『漢方の臨床』創刊60周年記念特集「口訣と温故知新」(1)			2014(平成26)年・第61巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(314) 『厳氏済生方』の宋刊本	小曽戸洋	(2)1578	2014(平成26)年・第61巻・第10号
巻頭言／医農工商金	伊藤嘉紀	(11)1587	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念特集「口訣と温故知新」／ 『漢方の臨床』創刊60周年記念特集企画の経緯	喜多敏明	(13)1589	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 老荘思想と古方派の口訣—医学哲学的概観—	舘野正美	(15)1591	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 曲直瀬流の口訣	星野卓之・小曽戸洋・花輪壽彦	(21)1597	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 浅田流の口訣	渡辺浩二・小曽戸洋・花輪壽彦	(25)1601	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 浅田宗伯の口訣と柴胡桂枝乾姜湯加茯苓の考察	秋葉哲生	(32)1608	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ くすりうた	大友一夫	(36)1612	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 腹診における打診の有用性について	織部和宏	(41)1617	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 口訣の卵	田畑隆一郎	(45)1621	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 疎経活血湯及び疎経活血湯加味について	山崎正寿	(50)1626	2014(平成26)年・第61巻・第10号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 急性上気道炎に対する桂枝越婢湯	岩崎勲	(57)1633	2014(平成26)年・第61巻・第10号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(4)	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(61)1637	2014(平成26)年・第61巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算33) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(18)	井上博喜・田原英一ほか	(69)1645	2014(平成26)年・第61巻・第10号
北里東医研診療録から(129) ストレスが関与した円形脱毛症に香蘇散が有効であった1例	小田口浩・花輪壽彦ほか	(79)1655	2014(平成26)年・第61巻・第10号
成城漢方雑話(4) 人参湯の3症例	盛岡頼子	(85)1661	2014(平成26)年・第61巻・第10号
東海鍼灸医案(49) 内側側副靭帯損傷(MCL)	髙士将典・荒井勝彦	(89)1665	2014(平成26)年・第61巻・第10号
無門塾治験雑録(47) 健康食品とひざの痛み	飯田敏雄ほか	(93)1669	2014(平成26)年・第61巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(124) 証・薬方の持つもう一つの証について—藤平健先生の生誕百年に思う—	田畑隆一郎ほか	(100)1676	2014(平成26)年・第61巻・第10号
漢方牛歩録(314) ▽頸椎捻挫後の精神神経症状に抑肝散加陳半▽打撲による筋肉内出血に越婢加朮湯▽鼠径部痛に疎経活血湯	中村謙介	(111)1687	2014(平成26)年・第61巻・第10号
東洋堂経験余話(259) ▽胆嚢ポリープに小柴胡湯加枳実、薏苡仁▽亀頭の先の横痃に荊防排毒散料	松本一男	(113)1689	2014(平成26)年・第61巻・第10号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(74)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(117)1693	2014(平成26)年・第61巻・第10号
インタビュー／和漢薬業界を駆け抜けて 伊藤敏雄氏(下)	伊藤敏雄 〔聞き手〕土屋伊磋雄	(125)1701	2014(平成26)年・第61巻・第10号
織部塾 『当帰』談義	清水正彦・梶井信洋・織部和宏	(136)1712	2014(平成26)年・第61巻・第10号
期門穴の部位と主治について(1)	浦山久嗣	(139)1715	2014(平成26)年・第61巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(39)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(148)1724	2014(平成26)年・第61巻・第10号

リアル傷寒論(32)	齋藤謙一	(153)1729	2014(平成26)年・第61巻・第10号
第31回和漢医薬学会学術大会開催	坂井由美	(159)1735	2014(平成26)年・第61巻・第10号
「特別展　医は仁術」を見て	澁谷恵子	(162)1738	2014(平成26)年・第61巻・第10号
第20回 吉益東洞顕彰会	山崎正寿	(163)1739	2014(平成26)年・第61巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(166)1742	2014(平成26)年・第61巻・第10号
2014(平成26)年・第61巻・第11号 『漢方の臨床』創刊60周年記念特集「口訣と温故知新」(2)			2014(平成26)年・第61巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(315) 王羲之・献之と医薬―四世紀の書	小曽戸洋	(2)1754	2014(平成26)年・第61巻・第11号
巻頭言／未来に伝えたい伝統	溝部宏毅	(11)1763	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／筍庵の口伝	山田光胤	(13)1765	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／現代の口訣「湯液の証」	伊藤嘉紀	(21)1773	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 口訣の前に考えねばならぬ事がある	中村謙介	(28)1780	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 一に養生、二に看病、三四がなくて五にクスリ(私が受けた教えとは)	三谷和男	(31)1783	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 「良薬は口に苦し」から「良薬は口に旨し」へ	盛克己・宮崎瑞明	(36)1788	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／減らせるようになれば一流	渡辺賢治	(39)1791	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 新たな腹診法「立位診」および柴胡桂枝湯証の「心下支結」について	寺澤捷年	(42)1794	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ リウマチ・膠原病における漢方治療のコツ	大野修嗣	(45)1797	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／口訣の芽生えとイノベーション漢方	田原英一	(50)1802	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／腹診での上腹部の他覚的冷感の意義～柴胡剤を使用し、改善した症例からの検討～	並木隆雄・島田博文	(59)1811	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 高齢者の意識状態低下に対する葛根湯エキス製剤少量投与の経験	久保田達也	(65)1817	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 高齢者の下腿浮腫と芎帰調血飲加減	山口英明	(75)1827	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 防已黄耆湯にみる口訣の示すものと応用	加島雅之	(81)1833	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／再び加甘麦大棗湯	中川良隆	(85)1837	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／麻黄附子細辛湯の現代的口訣	二宮文乃	(95)1847	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念／ 少陰病・主薬方中の炙甘草を再考する	福田佳弘	(101)1853	2014(平成26)年・第61巻・第11号
こんな時には漢方を！　－五蔵六府皆令人咳、非独肺也－	織部和宏	(107)1859	2014(平成26)年・第61巻・第11号
無門塾治験雑録(48)　気診と漢方－噛みしめと頭痛－	小倉才子	(111)1863	2014(平成26)年・第61巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算34) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(19)	上田晃三・田原英一ほか	(117)1869	2014(平成26)年・第61巻・第11号
北里東医研診療録から(130)　反復ART(生殖補助医療)不成功例に対し漢方・鍼灸治療に中条流子孕みの灸を併用して妊娠した2症例	黒岩奈々子・花輪壽彦ほか	(128)1880	2014(平成26)年・第61巻・第11号
東洋堂経験余話(260)　▽寝る前のサムケに六君子湯合二陳湯▽歯槽膿漏に桂枝五物湯	松本一男	(113)1885	2014(平成26)年・第61巻・第11号
漢方牛歩録(315)　▽腕神経麻痺による下垂手に黄耆桂枝五物湯▽結晶性足関節炎に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽逆流性食道炎と診断された咽頭部異常感に五苓散	中村謙介	(136)1888	2014(平成26)年・第61巻・第11号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(75)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(138)1890	2014(平成26)年・第61巻・第11号
漢方研究室(25)　2014年11月号出題　第25問	出題：大野修嗣	(147)1899	2014(平成26)年・第61巻・第11号
期門穴の部位と主治について(2)	浦山久嗣	(149)1901	2014(平成26)年・第61巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(40)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(157)1909	2014(平成26)年・第61巻・第11号
村井琴山と亀井南冥－性格の相違が運命を分けたか－	黒川達郎	(163)1915	2014(平成26)年・第61巻・第11号
リアル傷寒論(33)	齋藤謙一	(171)1923	2014(平成26)年・第61巻・第11号
第24回漢方治療研究会、ホテルグランドパレスで開催	坂井由美	(177)1929	2014(平成26)年・第61巻・第11号
『漢方の臨床』創刊60周年記念式典 開催		(187)1939	2014(平成26)年・第61巻・第11号
漢方界トピックス／第1回尾台榕堂顕彰会開催／第42回日本伝統鍼灸学会学術大会開催		(191)1943	2014(平成26)年・第61巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(193)1945	2014(平成26)年・第61巻・第11号
2014(平成26)年・第61巻・第12号			2014(平成26)年・第61巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(316) 扁鵲像－桂川国瑞賛	小曽戸洋	(2)1954	2014(平成26)年・第61巻・第12号
巻頭言／エキス時代の先表後裏・先急後緩	伊藤隆	(11)1963	2014(平成26)年・第61巻・第12号
原著／恵美三白『恵美寧固先生遺言』攷－医学思想の観点から－	舘野正美	(13)1965	2014(平成26)年・第61巻・第12号
一般論文／漢方治療が有効であった眼精疲労の3症例	山本昇伯・伊藤隆ほか	(29)1981	2014(平成26)年・第61巻・第12号
一般論文－／麻黄連軺赤小豆湯の皮膚疾患における治療例の検討	堀野雅子	(35)1987	2014(平成26)年・第61巻・第12号
温病学の受容と鎖国	佐々木実	(51)2003	2014(平成26)年・第61巻・第12号
『傷寒論』太陽病中篇にみる正気の賦活と気血水の上昇	山崎由佳里	(57)2009	2014(平成26)年・第61巻・第12号

二薬方合方証にみられる合病の一考察－備急千金要方・麻黄湯を礎として－	福田佳弘・小林瑞・岡新治	(67)2019	2014(平成26)年・第61巻・第12号
表証が顕著であった白虎加人参湯の一例	岩崎勲	(79)2031	2014(平成26)年・第61巻・第12号
こんな時には漢方を！　その2　－四肢煩熱に苦しむ－	織部和宏	(86)2038	2014(平成26)年・第61巻・第12号
気管支拡張症の喀血症状に麻黄湯加減が奏効した1例	荘明仁ほか	(90)2042	2014(平成26)年・第61巻・第12号
遷延性の咳嗽に対する漢方治療経験	中田真司ほか	(95)2047	2014(平成26)年・第61巻・第12号
女神散と曲池への鍼が奏効した「性行為に伴う一次性頭痛」の3症例	久保重喜	(105)2057	2014(平成26)年・第61巻・第12号
北里東医研診療録から(131)　三叉神経痛に正気天香湯が有効だった二症例	金子貴子・花輪壽彦ほか	(111)2063	2014(平成26)年・第61巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(125)　食欲不振の漢方的な弦任を見逃すことがあってはならない	蓮村幸兌ほか	(117)2069	2014(平成26)年・第61巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算35) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(20)	吉永亮・田原英一ほか	(123)2075	2014(平成26)年・第61巻・第12号
東海鍼灸医案(50)　冷え症	髙士将典・荒井勝彦	(133)2085	2014(平成26)年・第61巻・第12号
漢方牛歩録(316)　▽変形性膝関節症に越婢加朮湯と防已黄耆湯▽慢性副鼻腔炎に葛根湯加川芎辛夷▽痛風発作に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽耳閉感と耳鳴りに加味逍遙散	中村謙介	(137)2089	2014(平成26)年・第61巻・第12号
東洋堂経験余話(260)　▽子供の長びく咳嗽に麦門冬湯加石膏▽午前中の小便頻尿に清心蓮子飲	松本一男	(140)2092	2014(平成26)年・第61巻・第12号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(76)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(144)2096	2014(平成26)年・第61巻・第12号
無門塾治験雑録(49)　12月の薬草園へようこそ	熊井啓子ほか	(151)2103	2014(平成26)年・第61巻・第12号
織部塾　『桔梗』談義	清水正彦・織部和宏・梶井信洋	(161)2113	2014(平成26)年・第61巻・第12号
『漢方の臨床』アンコール論文／柴胡と当帰	大塚恭男	(164)2116	2014(平成26)年・第61巻・第12号
岡本一抱の墓碑	濱口昭宏	(165)2117	2014(平成26)年・第61巻・第12号
『太平経』(1)	吉元昭治	(171)2123	2014(平成26)年・第61巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(41)	福田知顕・益田龍彦ほか	(193)2145	2014(平成26)年・第61巻・第12号
中神良彦君の思い出	黒川達郎	(198)2150	2014(平成26)年・第61巻・第12号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(4) 『冷え』は「諸悪の根源」「万病のもと」①陰陽説と応用法の実例(その2)	古村和子	(201)2153	2014(平成26)年・第61巻・第12号
漢方界トピックス／藤平健先生生誕100周年記念会開催・福島医科大学会津医療センター漢方医学講座開講記念行事開催		(208)2160	2014(平成26)年・第61巻・第12号
2014年前期『日韓文化講座』世界伝統医学のバイブル『東医宝鑑』－韓国時代劇ドラマ「ホ・ジュン　伝説の心医」の医学監修を終えて－	吉田和裕	(210)2162	2014(平成26)年・第61巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(212)2164	2014(平成26)年・第61巻・第12号
2015(平成27)年・第62巻・第1号			2015(平成27)年・第62巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(317) 神農祭－福井棣園賛	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)2	2015(平成27)年・第62巻・第1号
平成27年(2015年)　新年のことば　〔132名〕		(9)9	2015(平成27)年・第62巻・第1号
原著／口訣「ばね指に当帰四逆加呉茱萸生姜湯」の検討	静貴生・星野惠津夫ほか	(103)103	2015(平成27)年・第62巻・第1号
一般論文／少腹急結を認めず桃核承気湯が奏功した月経困難を伴う骨盤内鬱血症候群の一例～背部診を交えての病態検討の試み～	清水正彦・織部和宏	(113)113	2015(平成27)年・第62巻・第1号
十味挫散料の使用経験	中田真司・南澤潔	(119)119	2015(平成27)年・第62巻・第1号
梔子甘草豉湯が有効であった症例	樋口和子・山本昇吾	(127)127	2015(平成27)年・第62巻・第1号
枳縮二陳湯が著効した2症例	織部和宏	(130)130	2015(平成27)年・第62巻・第1号
悪夢に酸棗仁湯－28症例の解析から－	小林永治	(137)137	2015(平成27)年・第62巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算36) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(21)	矢野博美・田原英一ほか	(145)145	2015(平成27)年・第62巻・第1号
無門塾治験雑録(50)　ごはんは大事	山下耕司ほか	(156)156	2015(平成27)年・第62巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(126)　漢方相談の一つの方法	鈴木寛彦ほか	(164)164	2015(平成27)年・第62巻・第1号
北里東医研診療録から(132)　桃核承気湯が著効した冷え症の一例	堀田広満・花輪壽彦ほか	(173)173	2015(平成27)年・第62巻・第1号
東洋堂経験余話(262)　▽母の死因のせいで、動悸、息切れが心配な人に柴胡桂枝乾姜湯加呉茱萸・茯苓▽胸のつかえと吃逆に橘皮枳実生姜湯	松本一男	(178)178	2015(平成27)年・第62巻・第1号
漢方牛歩録(317)　▽腱付着部等の急性炎症の四例	中村謙介	(182)182	2015(平成27)年・第62巻・第1号
漢方研究室(25)　2014年11月号回答・講評　第25問	出題：大野修嗣	(184)184	2015(平成27)年・第62巻・第1号
漢方研究室(26)　2015年1月号出題　第26問	出題：岩崎勲	(194)194	2015(平成27)年・第62巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(42)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(197)197	2015(平成27)年・第62巻・第1号
平成26年度北尾春圃顕彰会開かる	安井廣迪	(202)202	2015(平成27)年・第62巻・第1号
時枝政史先生の学術奨励賞受賞を祝う食事会	黒川達郎	(210)210	2015(平成27)年・第62巻・第1号
図書紹介／新版改訂『臨床百味 本草備要』	小池加能	(212)212	2015(平成27)年・第62巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(213)213	2015(平成27)年・第62巻・第1号
2015(平成27)年・第62巻・第2号			2015(平成27)年・第62巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(318) 厨子に納められた神農像	周防一平	(2)222	2015(平成27)年・第62巻・第2号
巻頭言／創意ある調和	谿忠人	(11)231	2015(平成27)年・第62巻・第2号

皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(5)皮膚疾患と消化器	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(13)233	2015(平成27)年・第62巻・第2号
桂枝去芍薬加麻黄細辛附子湯証の一考察	福田佳弘	(23)243	2015(平成27)年・第62巻・第2号
織部塾 漢方談義／桃核承気湯加荊芥(荊桃承気湯)の方意が著効した難治性の気分障害を伴った月経前症候群の一例	清水正彦・織部和宏ほか	(39)259	2015(平成27)年・第62巻・第2号
会員の独り言－最近の症例から	三原孝典ほか	(45)265	2015(平成27)年・第62巻・第2号
中途覚醒に対する酸棗仁湯の長期的な効果－84症例の解析から－	小林永治	(53)273	2015(平成27)年・第62巻・第2号
発汗異常に対する附子剤の使用経験	中田真司・南澤潔	(61)281	2015(平成27)年・第62巻・第2号
半夏白朮天麻湯が奏効した耳鳴の2症例	中江啓晴ほか	(69)289	2015(平成27)年・第62巻・第2号
北里東医研診療録から(133) 難治性の心窩部痛症候群(EPS)に対し鍼灸治療が奏効した一例	小濵志帆・花輪壽彦ほか	(74)294	2015(平成27)年・第62巻・第2号
無門塾治験雑録(51) 月経前後に頻発する頭痛、午後から夕方にかけての疲れやほてりを伴う一例	斉藤明美ほか	(79)299	2015(平成27)年・第62巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算37)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(22)	伊藤ゆい・田原英一ほか	(85)305	2015(平成27)年・第62巻・第2号
成城漢方雑話(5) 脾胃を重視する	盛岡頼子	(98)318	2015(平成27)年・第62巻・第2号
漢方牛歩録(318) ▽胸廊出口症候群に疎経活血湯▽肘関節炎に越婢加朮湯▽ガングリオンに五苓散加味方	中村謙介	(102)322	2015(平成27)年・第62巻・第2号
東洋堂経験余話(263) ▽疲労から歩行中のフラツキに真武湯合生脈散料▽両側の嚢胞腎の血尿に芎帰膠艾湯	松本一男	(104)324	2015(平成27)年・第62巻・第2号
慶應大学輪読会／新世紀に読む『漢方診療三十年』(大塚敬節)著(77)	渡辺賢治・秋葉哲生ほか	(107)327	2015(平成27)年・第62巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(127) 牡蠣・竜骨の薬徴	佐藤知嗣ほか	(114)334	2015(平成27)年・第62巻・第2号
アイヌ民族と生薬と東洋医学(1) トリカブト	田中耕一郎	(123)343	2015(平成27)年・第62巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(43)	奥田隆司・鶴博生ほか	(133)353	2015(平成27)年・第62巻・第2号
期門穴の部位と主治について(4)	浦山久嗣	(137)357	2015(平成27)年・第62巻・第2号
『太平経』(2)	吉元昭治	(145)365	2015(平成27)年・第62巻・第2号
リアル傷寒論(34)	齋藤謙一	(153)373	2015(平成27)年・第62巻・第2号
アンコール随想／あの頃 大阪における漢法医界の黎明期	森田幸門	(160)380	2015(平成27)年・第62巻・第2号
追悼、桑木崇秀先生	秋葉哲生	(166)386	2015(平成27)年・第62巻・第2号
韓国韓医学通信(第63報)	金成俊	(168)388	2015(平成27)年・第62巻・第2号
図書紹介／淵野貴広著・織部和宏監修『重校薬徴の生薬解説』との出会い	清水正彦	(171)391	2015(平成27)年・第62巻・第2号
漢方研究室(27) 2015年2月号出題 第27問	出題:織部和宏	(173)393	2015(平成27)年・第62巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(174)394	2015(平成27)年・第62巻・第2号
2015(平成27)年・第62巻・第3号			2015(平成27)年・第62巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(319) 宇津木昆台の墓所の現状	黒川達郎	(2)402	2015(平成27)年・第62巻・第3号
巻頭言／医術に近道はない	寺師睦宗	(11)411	2015(平成27)年・第62巻・第3号
持続性吃逆に対して小承気湯が速やかに奏効した一例～漢方薬の味と薬効に関する一考察～	八木明男・並木隆雄ほか	(13)413	2015(平成27)年・第62巻・第3号
千葉古方のルーツ	松岡尚則ほか	(21)421	2015(平成27)年・第62巻・第3号
『傷寒論』太陽病中篇にみる表の機能改善と気血水	山崎由佳里	(37)437	2015(平成27)年・第62巻・第3号
インタビュー／皮膚科漢方の真髄を極める 二宮文乃先生	二宮文乃 〔聞き手〕木村容子	(45)445	2015(平成27)年・第62巻・第3号
麻黄湯加石膏について	福田佳弘	(57)457	2015(平成27)年・第62巻・第3号
高齢者のギックリ腰に調栄活絡湯が著効した2例	織部和宏	(61)461	2015(平成27)年・第62巻・第3号
吃逆、嘔気、嘔吐に対して真武湯が有効であった1例	中田真司ほか	(65)465	2015(平成27)年・第62巻・第3号
打鼓診が有用だった機能性胃腸炎の一例	梶井信洋・織部和宏	(71)471	2015(平成27)年・第62巻・第3号
織部塾 漢方談義／芩姜朮甘湯加杏仁の方意が有用であった更年期障害に合併した下半身の冷えを伴う腰痛の一例	清水正彦・織部和宏ほか	(76)476	2015(平成27)年・第62巻・第3号
専門科で難治性であったが漢方エキス剤で症状改善した舌痛症の2例	益田龍彦	(81)481	2015(平成27)年・第62巻・第3号
カルダモン粉末による香蘇散エキスの効果増強法	久保重喜	(87)487	2015(平成27)年・第62巻・第3号
無門塾治験雑録(52) 茯苓沢瀉湯による瞑暈の治療	北川寛ほか	(93)493	2015(平成27)年・第62巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算38)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(23)	土倉潤一郎・田原英一ほか	(99)499	2015(平成27)年・第62巻・第3号
北里東医研診療録から(134) 変製心気飲にて、咳嗽と心身の改善がみられた双極性感情障害の一症例、および変製心気飲の原点に関する一考察	伊藤剛・花輪壽彦ほか	(109)509	2015(平成27)年・第62巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(128) 肝気虚を考える:黄耆建中湯(大量の黄耆)	千田五月ほか	(116)516	2015(平成27)年・第62巻・第3号
東洋堂経験余話(264) ▽感冒のため、頭痛と悪心に桂枝去桂加茯苓白朮湯▽歯肉の脹れと歯痛に桂枝五物湯	松本一男	(125)525	2015(平成27)年・第62巻・第3号
漢方牛歩録(319) ▽項部痛と顎関節痛に抑肝散▽ヘベルデン結節に伴うムカスに五苓散加味方▽石灰沈着性手関節炎に越婢加朮湯兼黄連解毒湯	中村謙介	(128)528	2015(平成27)年・第62巻・第3号
漢方研究室(26) 2015年1月号回答・講評 第26問	出題:岩崎勲	(131)531	2015(平成27)年・第62巻・第3号
アイヌ民族の生薬と東洋医学(2) アイヌの補剤	田中耕一郎	(142)542	2015(平成27)年・第62巻・第3号
『太平経』(3)	吉元昭治	(149)549	2015(平成27)年・第62巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(44)	鶴博生・樋口理ほか	(157)557	2015(平成27)年・第62巻・第3号

期門穴の部位と主治について(5)	浦山久嗣	(163)563	2015(平成27)年・第62巻・第3号
リアル傷寒論(35)	齋藤謙一	(172)572	2015(平成27)年・第62巻・第3号
WTMCGEPPの応用(帯状疱疹からノロウィルスへ)	二木誠也	(178)578	2015(平成27)年・第62巻・第3号
第9回『小倉記念木更津漢方アカデミー』報告	伊藤敦之	(180)580	2015(平成27)年・第62巻・第3号
韓国韓医学通信(第64報)	金成俊	(182)582	2015(平成27)年・第62巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(183)583	2015(平成27)年・第62巻・第3号
2015(平成27)年・第62巻・第4号			2015(平成27)年・第62巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(320) 江戸の絶技、影写本と影刻本	真柳誠	(2)590	2015(平成27)年・第62巻・第4号
巻頭言／漢方医学教育への想い	三潴忠道	(11)599	2015(平成27)年・第62巻・第4号
原著／中神琴渓『生生堂傷寒約言』引書攷－医学思想の観点から－	舘野正美	(13)601	2015(平成27)年・第62巻・第4号
一般論文／便通異常を伴う高齢者の慢性疼痛の病態と治療に関する一考察～腹痛と下肢痛の合併例を通して～	清水正彦・織部和宏	(39)627	2015(平成27)年・第62巻・第4号
一般論文／東京大学文学部における「漢方医学の歴史」の授業実践	勝井恵子	(45)633	2015(平成27)年・第62巻・第4号
一般論文／◆藤平健先生 生誕百年記念会／ 併病理論の契機と理論深化の過程について	秋葉哲生	(53)641	2015(平成27)年・第62巻・第4号
◆藤平健先生 生誕百年記念会によせて／ 慢性疾患に対する試飲の有用性	盛克己ほか	(67)655	2015(平成27)年・第62巻・第4号
◆藤平健先生 生誕百年記念会／ 藤平健先生100年祭からの訴えに感じたこと～藤平先生の生き方は併病か合病か～	佐藤喜和子	(75)663	2015(平成27)年・第62巻・第4号
◆藤平健先生 生誕百年記念会／ 感謝 藤平先生	鈴木重紀	(77)665	2015(平成27)年・第62巻・第4号
疾患別座談会／在宅漢方をどうデザインするのか(上)	山口竜司・遠藤光史・髙﨑朗・矢数芳英〔司会〕	(79)667	2015(平成27)年・第62巻・第4号
治肩背拘急方が著効した2症例	織部和宏	(96)684	2015(平成27)年・第62巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算39) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(24)	前田ひろみ・田原英一ほか	(101)689	2015(平成27)年・第62巻・第4号
北里東医研診療録から(135) 香蘇散により脱毛症・湿疹が改善した一例	穂積桜・花輪壽彦ほか	(107)695	2015(平成27)年・第62巻・第4号
無門塾治験雑録(53) シンプルに、そして素直に考えよう	飯田敏雄ほか	(113)701	2015(平成27)年・第62巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(129) 柴胡、K君を救う	田畑隆一郎ほか	(119)707	2015(平成27)年・第62巻・第4号
漢方牛歩録(320) ▽慢性胃腸炎に真武湯▽下腿鬱滞性皮膚炎に桂枝茯苓丸兼温清飲▽手関節炎に越婢加朮湯兼黄連解毒湯	中村謙介	(128)716	2015(平成27)年・第62巻・第4号
東洋堂経験余話(265) ▽腰と背中のフルエと下肢の痙攣に防已茯苓湯▽腹満と便秘に厚朴三物湯	松本一男	(130)718	2015(平成27)年・第62巻・第4号
東海鍼灸医案(51) 腰痛	髙士将典・荒井勝彦	(133)721	2015(平成27)年・第62巻・第4号
漢方研究室(27) 2015年2月号回答 第27問	出題:織部和宏	(137)725	2015(平成27)年・第62巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(45)	樋口理・松藤英正ほか	(147)735	2015(平成27)年・第62巻・第4号
期門穴の部位と主治について(6)	浦山久嗣	(153)741	2015(平成27)年・第62巻・第4号
『太平経』(4)	吉元昭治	(167)755	2015(平成27)年・第62巻・第4号
リアル傷寒論(36)	齋藤謙一	(178)766	2015(平成27)年・第62巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(184)772	2015(平成27)年・第62巻・第4号
2015(平成27)年・第62巻・第5号			2015(平成27)年・第62巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(321) 合水堂顕彰碑除幕式	黒川達郎	(2)782	2015(平成27)年・第62巻・第5号
巻頭言／とやまのくすり	嶋田豊	(11)791	2015(平成27)年・第62巻・第5号
原著／横浜薬科大学における入学直後の薬学生を対象とした漢方薬の意識調査－漢方薬学科・臨床薬学科・健康薬学科の比較	田子美佐子・金成俊ほか	(13)793	2015(平成27)年・第62巻・第5号
セルフ腹診の試み－柴胡剤が奏効した症例から	大野佳織・中村貴子	(25)805	2015(平成27)年・第62巻・第5号
一般論文／明治期の漢方医存続運動における千葉古方の働き	松岡尚則ほか	(31)811	2015(平成27)年・第62巻・第5号
疾患別座談会／在宅漢方をどうデザインするのか(下)	山口竜司・遠藤光史・髙﨑朗・矢数芳英〔司会〕	(45)825	2015(平成27)年・第62巻・第5号
インタビュー／薬学の巨人 清水藤太郎先生	清水良夫・清水真知 〔聞き手〕金成俊	(67)847	2015(平成27)年・第62巻・第5号
治療抵抗性を示した肘打撲後の末梢神経障害性疼痛に漢方製剤併用が奏功した一例	田中寿典・清水正彦	(83)863	2015(平成27)年・第62巻・第5号
薏苡附子敗醤散た著効した回盲部憩室炎の一例	織部和宏	(88)868	2015(平成27)年・第62巻・第5号
織部塾 漢方談義／薏苡仁～婦人科疾患(帯下異常)における薏苡仁の役割についての考察	清水正彦・織部和宏	(93)873	2015(平成27)年・第62巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(130) (竹茹)温胆湯について	蓮村幸兌ほか	(98)878	2015(平成27)年・第62巻・第5号
無門塾治験雑録(54) 気診と漢方－口呼吸と倦怠感－	小倉才子ほか	(107)887	2015(平成27)年・第62巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算40) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(25)	田原英一ほか	(113)893	2015(平成27)年・第62巻・第5号
北里東医研診療録から(136) 施灸により胸苦しさが緩和した一症例	伊藤雄一・花輪壽彦ほか	(121)901	2015(平成27)年・第62巻・第5号
東洋堂経験余話(266) ▽胃弱の人の嘔吐に茯苓沢瀉湯▽胸中のモヤモヤに加味逍遙散科香豉	松本一男	(125)905	2015(平成27)年・第62巻・第5号

漢方牛歩録(321) ▽膝蓋骨前滑液嚢炎に越婢加朮湯▽痛風発作に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽ラロキシフェンで誘発した血栓性静脈炎	中村謙介	(128)908	2015(平成27)年・第62巻・第5号
『漢方の臨床』アンコール論文／防已黄耆湯について	大塚敬節	(131)911	2015(平成27)年・第62巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(46)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(137)917	2015(平成27)年・第62巻・第5号
期門穴の部位と主治について(7)	浦山久嗣	(143)923	2015(平成27)年・第62巻・第5号
『中蔵経』	吉元昭治	(155)935	2015(平成27)年・第62巻・第5号
リアル傷寒論(37)	齋藤謙一	(159)939	2015(平成27)年・第62巻・第5号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(5) 薬剤師と『切診』について	古村和子	(163)943	2015(平成27)年・第62巻・第5号
図書紹介／天野宏・百瀬弥寿徳著『まず薬局へおいでなさい』－薬学の巨人清水藤太郎先生－	安井廣迪	(166)946	2015(平成27)年・第62巻・第5号
日本医史学会学術大会大阪で開催		(168)948	2015(平成27)年・第62巻・第5号
追悼 桑木崇秀先生	高橋楊子	(169)949	2015(平成27)年・第62巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(171)951	2015(平成27)年・第62巻・第5号
2015(平成27)年・第62巻・第6号			2015(平成27)年・第62巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(322) 名古屋玄医が眠る京都浄福寺	黒川達郎	(2)966	2015(平成27)年・第62巻・第6号
巻頭言／漢方薬特有の臨床摘用を薬理学的に翻訳する	堀江俊治	(11)975	2015(平成27)年・第62巻・第6号
ハンゲの刺激(イガイガ)原因物質－最近の研究動向－	笛木司ほか	(13)977	2015(平成27)年・第62巻・第6号
原著／烏頭桂枝湯の使用目標に関する一考察	中田真司・南澤潔	(19)983	2015(平成27)年・第62巻・第6号
一般論文／月経異常に対する女性ホルモンと漢方治療	斎田あけみ・土方康世・後山尚久	(33)997	2015(平成27)年・第62巻・第6号
一般論文／難治性の慢性頭痛を伴った月経前症候群(PMS)に対する抑肝散加陳皮半夏の加味による可能性とその意義	清水正彦・織部和宏	(41)1005	2015(平成27)年・第62巻・第6号
一般論文／中神琴渓の子孫について	黒川達郎	(47)1011	2015(平成27)年・第62巻・第6号
日本における腹診の形成史(上)	長野仁	(57)1021	2015(平成27)年・第62巻・第6号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(6)皮膚疾患と瘀血	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(75)1039	2015(平成27)年・第62巻・第6号
先生は病名漢方だけで満足しますか	織部和宏	(83)1047	2015(平成27)年・第62巻・第6号
遠隔治療考	柿田秀明	(89)1053	2015(平成27)年・第62巻・第6号
小児一次性巣状分節性糸球体硬化症への漢方併用療法の一治験例－併せて無症状の慢性腎臓病への日本漢方の「証」を考える	永田紀四郎ほか	(97)1061	2015(平成27)年・第62巻・第6号
柴胡桂枝湯と辛夷清肺湯の併用で、呼吸苦を主訴とした重症肝機能障害をきたした一例	大塚吉則ほか	(105)1069	2015(平成27)年・第62巻・第6号
ギックリ腰による歩行不能を一日で治した自己体験例－『百疢一貫』の口訣による治療－	小山誠次	(111)1075	2015(平成27)年・第62巻・第6号
ウイルス感染性に対応できる銀翹散について	程炳鈞	(119)1083	2015(平成27)年・第62巻・第6号
麻黄湯が有効であった少女夜尿症1例	許志泉	(127)1091	2015(平成27)年・第62巻・第6号
北里東医研診療録から(137) 咽中炙臠は認めないが半夏厚朴湯が有効だった姉妹の症例	森裕紀子・花輪壽彦ほか	(132)1096	2015(平成27)年・第62巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算41)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(26)	井上博喜ほか	(137)1101	2015(平成27)年・第62巻・第6号
漢方牛歩録(322) ▽頭痛と微熱に白虎加桂枝湯など▽肘関節血症に黄連解毒湯兼越婢加朮湯▽間欠跛行に疎経活血湯	中村謙介	(142)1106	2015(平成27)年・第62巻・第6号
東洋堂経験余話(267) ▽下痢嘔吐症に五苓散料▽感冒に桂枝二越婢一湯	松本一男	(144)1108	2015(平成27)年・第62巻・第6号
無門塾治験雑録(55) 薬草園へようこそ～初夏から秋～	熊井啓子ほか	(147)1111	2015(平成27)年・第62巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(131) 薬徴堤要「芍薬」	鈴木寛彦ほか	(157)1121	2015(平成27)年・第62巻・第6号
期門穴の部位と主治について(8)	浦山久嗣	(163)1127	2015(平成27)年・第62巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(47)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(169)1133	2015(平成27)年・第62巻・第6号
黒川達郎先生の『古訓堂日乗』出版記念講演会	桒谷圭二	(174)1138	2015(平成27)年・第62巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(176)1140	2015(平成27)年・第62巻・第6号
2015(平成27)年・第62巻・第7号			2015(平成27)年・第62巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(323) 奥村良筑の木像	黒川達郎	(2)1150	2015(平成27)年・第62巻・第7号
巻頭言／生薬の国内生産	小松かつ子	(11)1159	2015(平成27)年・第62巻・第7号
一般論文／江戸時代の漢方医学における治療生薬の薬味・薬性について	秋葉哲生	(13)1161	2015(平成27)年・第62巻・第7号
一般論文／奥田家と禅	松岡尚則ほか	(17)1165	2015(平成27)年・第62巻・第7号
一般論文／婦人科疾患に伴う四肢のほてり感の病態に関する検討	清水正彦・織部和宏	(29)1177	2015(平成27)年・第62巻・第7号
日本における腹診の形成史(中)	長野仁	(39)1187	2015(平成27)年・第62巻・第7号
排尿障害と表証	伊藤康雄・酒井直美	(53)1201	2015(平成27)年・第62巻・第7号
女神散が有効だった上半身の疼痛の4症例	東儀洋・三橋牧	(61)1209	2015(平成27)年・第62巻・第7号
－漢方講演ノートより－① アレルギー性鼻炎の種々の病態に対する漢方治療について	織部和宏	(68)1216	2015(平成27)年・第62巻・第7号
エッセイ／偽年輪(『漢方治療百話』第3週、昭和46年5月発行より)	矢数道明	(75)1223	2015(平成27)年・第62巻・第7号
成城漢方雑話(6) 花粉症以外の治療で、花粉症が軽快した9症例	盛岡頼子	(76)1224	2015(平成27)年・第62巻・第7号

飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算42) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(27)	吉永亮ほか	(81)1229	2015(平成27)年・第62巻・第7号
東洋堂経験余話(268) ▽感冒後の激しい咳嗽に麦門冬湯加五味子、桑白皮▽原因不明の顔面の熱感と首の凝りに、苓甘姜味辛夏仁黄湯	松本一男	(88)1236	2015(平成27)年・第62巻・第7号
無門塾治験雑録(56) くすりを飲むということ	山下耕司ほか	(91)1239	2015(平成27)年・第62巻・第7号
東海鍼灸医案(52) 非定型顔面痛	髙士将典・荒井勝彦	(99)1247	2015(平成27)年・第62巻・第7号
漢方牛歩録(323) ▽滑液包内出血に黄連解毒湯▽下腿静脈血栓症に越婢加朮湯兼桂苓丸ついでに不眠に黄連解毒湯	中村謙介	(104)1252	2015(平成27)年・第62巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(132) 大黄の薬徴	佐藤知嗣ほか	(106)1254	2015(平成27)年・第62巻・第7号
『春秋繁露』(上)	吉元昭治	(117)1265	2015(平成27)年・第62巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(48)	福田知顕・益田龍彦ほか	(127)1275	2015(平成27)年・第62巻・第7号
リアル傷寒論(38)	齋藤謙一	(133)1281	2015(平成27)年・第62巻・第7号
『易経』ー良医の精髄なり	寺師睦宗	(139)1287	2015(平成27)年・第62巻・第7号
薬剤師＆鍼灸師が行う”温故知新漢方”の『漢方総合療法』(6) 『冷え』は「諸悪の根源」「万病のもと」①陰陽説と応用法の実例(その3)素足・真寒仮熱	古村和子	(141)1289	2015(平成27)年・第62巻・第7号
漢方トピックス／第66回日本東洋医学会学術総会ﾚﾎﾟｰﾄ		(149)1297	2015(平成27)年・第62巻・第7号
「世界記憶遺産推薦準備会および任応秋教授生誕百年記念会」報告	真柳誠	(152)1300	2015(平成27)年・第62巻・第7号
韓国韓医学通信(第65報)	金成俊	(155)1303	2015(平成27)年・第62巻・第7号
図書紹介／土方康世著『臨床に役立つ五経理論ー慢性病の漢方治療ー』	森由雄	(158)1306	2015(平成27)年・第62巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(159)1307	2015(平成27)年・第62巻・第7号
2015(平成27)年・第62巻・第8号			2015(平成27)年・第62巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(324) 奥村良筑の墓所について	黒川達郎	(2)1318	2015(平成27)年・第62巻・第8号
巻頭言／きぐすりの薫る漢方治療への回帰	渡辺賢治	(11)1327	2015(平成27)年・第62巻・第8号
一般論文／茯苓飲合半夏厚朴湯の加味が奏効した難治性月経困難症の一例	清水正彦	(13)1329	2015(平成27)年・第62巻・第8号
日本における腹診の形成史(下)	長野仁	(21)1337	2015(平成27)年・第62巻・第8号
慢性疾患に対する桂枝人参湯合真武湯有効例の検討	宮崎瑞明・盛克己ほか	(45)1361	2015(平成27)年・第62巻・第8号
ー漢方講演ノートよりー② 副鼻腔炎の種々の合併症に対する漢方治療について	織部和宏	(54)1370	2015(平成27)年・第62巻・第8号
睡眠時無呼吸症候群(SAS)に対する木防已湯の可能性	久保重喜	(57)1373	2015(平成27)年・第62巻・第8号
無門塾治験雑録(57) めまいと胃痛・吐き気に茯苓飲と柴胡桂枝湯が奏効した一例	斉藤明美ほか	(65)1381	2015(平成27)年・第62巻・第8号
北里東医研診療録から(138) 多汗症に茯苓甘草湯が有効であった1例	及川哲郎・小田口浩・花輪壽彦ほか	(72)1388	2015(平成27)年・第62巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(133) ムチウチの症例 柴胡桂枝湯加葛根 桂茯丸	千田五月ほか	(76)1392	2015(平成27)年・第62巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算43) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(28)	前田ひろみ・田原英一ほか	(83)1399	2015(平成27)年・第62巻・第8号
漢方牛歩録(324) ▽慢性頭痛に桂姜棗草黄辛附湯▽止血と湿潤性の創部に狗背末▽痛風発作に越婢加朮湯兼黄連解毒湯	中村謙介	(89)1405	2015(平成27)年・第62巻・第8号
東洋堂経験余話(269) ▽回転性の目まいに苓桂朮甘湯▽腰痛ヘルニアに桂姜棗草黄辛附湯	松本一男	(92)1408	2015(平成27)年・第62巻・第8号
漢方研究室(27) 2015年8月号出題 第28問	出題:伊藤隆	(96)1412	2015(平成27)年・第62巻・第8号
『漢方の臨床』アンコール論文／四つの瀉心湯	大塚敬節	(98)1414	2015(平成27)年・第62巻・第8号
リアル傷寒論(39)	齋藤謙一	(102)1418	2015(平成27)年・第62巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(49)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(107)1423	2015(平成27)年・第62巻・第8号
『春秋繁露』(中)	吉元昭治	(113)1429	2015(平成27)年・第62巻・第8号
『漢方の臨床』アンコール論文/小柴胡湯を愛用する	相見三郎	(120)1436	2015(平成27)年・第62巻・第8号
ちょっと考えれば分かる医史学の間違い～医史学を一緒に学びませんか～	桒谷圭二	(124)1440	2015(平成27)年・第62巻・第8号
第3回ISJKM印象記(上)	小川恵子・高村光幸・安井廣迪	(128)1444	2015(平成27)年・第62巻・第8号
図書紹介／真柳誠著『黄帝医籍研究』	猪飼祥夫	(133)1449	2015(平成27)年・第62巻・第8号
津谷喜一郎氏、東大退任及び有明医療大就任記念祝賀会／和漢医薬学会、一般社団法人に		(138)1454	2015(平成27)年・第62巻・第8号
韓国韓医学通信(第66報)	金成俊	(140)1456	2015(平成27)年・第62巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(143)1459	2015(平成27)年・第62巻・第8号
2015(平成27)年・第62巻・第9号			2015(平成27)年・第62巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(325) 『新刊黄帝明堂灸経鈔』	天野陽介	(2)1470	2015(平成27)年・第62巻・第9号
巻頭言／古典の医書を読む	福田佳弘	(11)1479	2015(平成27)年・第62巻・第9号
一般論文／肺中冷や脾気虚の改善がCOPDの呼吸症状軽快に寄与した2例の検討	阿南栄一朗・織部和宏	(13)1481	2015(平成27)年・第62巻・第9号
一般論文／当初、投与していた当帰芍薬散単独では治療に難渋した月経不順と月経困難症3症例ーその臨床背景と治療の実際ー	清水正彦・織部和宏	(23)1491	2015(平成27)年・第62巻・第9号
のどのつかえ感に利膈湯を用いた一例	沢井かおり・渡辺賢治	(33)1501	2015(平成27)年・第62巻・第9号

意外と多いね、腎性の咳－五蔵六府皆令人咳、非独肺也－②	織部和宏	(38)1506	2015(平成27)年・第62巻・第9号
慢性疾患に対する漢方エキス剤加牡蛎末・当帰末　有効例の検討－漢方エキス剤学の発展のために－	盛克己ほか	(41)1509	2015(平成27)年・第62巻・第9号
成城漢方雑話(7)　抑肝散の3症例	盛岡頼子	(48)1516	2015(平成27)年・第62巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算44)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(29)	土倉潤一郎・田原英一ほか	(52)1520	2015(平成27)年・第62巻・第9号
北里東医研診療録から(139)　妊娠中に出現した唾液過多に五苓散料が有効であった一例	川鍋伊晃・小田口浩・花輪壽彦ほか	(58)1526	2015(平成27)年・第62巻・第9号
無門塾治験雑録(58)　眼底黄斑部の出血と浮腫に対する漢方治療	田中まち子ほか	(63)1531	2015(平成27)年・第62巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(134)　滝行と子連れポニー	田畑隆一郎ほか	(73)1541	2015(平成27)年・第62巻・第9号
東洋堂経験余話(270)　▽こじれた漢方に調胃承気湯▽湿疹に温清飲加柴胡、甘草、連翹	松本一男	(79)1547	2015(平成27)年・第62巻・第9号
漢方牛歩録(325)　▽肩甲部痛に疎経活血湯▽打撲後の腫痛に越婢加朮湯▽副鼻腔炎に葛根湯加川芎辛夷	中村謙介	(82)1550	2015(平成27)年・第62巻・第9号
アンコール随想／求真医談(抜粋1)	湯本一雄	(85)1553	2015(平成27)年・第62巻・第9号
リアル傷寒論(40)	齋藤謙一	(87)1555	2015(平成27)年・第62巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(50)	奥田隆司・鶴博生ほか	(95)1563	2015(平成27)年・第62巻・第9号
『春秋繁露』(下)	吉元昭治	(101)1569	2015(平成27)年・第62巻・第9号
『新刊黄帝明堂灸経鈔』(1)	天野陽介	(109)1577	2015(平成27)年・第62巻・第9号
薬剤師＆鍼灸師が行う”温故知新漢方”の『漢方総合療法』(7)　『冷え』は「諸悪の根源」「万病のもと」①陰陽説と応用法の実例(その4)「冷やす」の適否	古村和子	(119)1587	2015(平成27)年・第62巻・第9号
第3回ISJKM印象記(下)	小川恵子・高村光幸・安井廣迪	(127)1595	2015(平成27)年・第62巻・第9号
図書紹介／大形徹著『胎産書・雑禁方・天下至道談・合陰陽方・十問』(馬王堆出土文献約注叢書)	猪飼祥夫	(133)1601	2015(平成27)年・第62巻・第9号
図書紹介／今井秀著『近世の医療史－京洛・大坂ゆかりの名医－』	黒川達郎	(136)1604	2015(平成27)年・第62巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(143)1459	2015(平成27)年・第62巻・第9号
2015(平成27)年・第62巻・第10号			2015(平成27)年・第62巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(326)　『吉益東洞の詩が載った田能村竹田の河豚図』	黒川達郎	(2)1622	2015(平成27)年・第62巻・第10号
巻頭言／運動と漢方	松田邦夫	(11)1631	2015(平成27)年・第62巻・第10号
一般論文／難治性の肩頸部痛に四逆散合香蘇散が著効した1例	石川理恵・光畑裕正	(13)1633	2015(平成27)年・第62巻・第10号
一般論文／長年続いた帯状疱疹後の眼窩上神経痛(PHN)が荊芥連翹湯エキス服用で短期間に消失した一例	大関潤一・奈良範子・山田宏之	(21)1641	2015(平成27)年・第62巻・第10号
一般論文／更年期婦人に見られた慢性咳に対する漢方治療の奏効例～アンチエイジング的側面からの検討～	清水正彦・織部和宏	(29)1649	2015(平成27)年・第62巻・第10号
先生は病名漢方だけで満足しますか　その2	織部和宏	(34)1654	2015(平成27)年・第62巻・第10号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(7)運動機能と皮膚機能の関係	二宮文乃・伊藤康雄・酒井直美	(39)1659	2015(平成27)年・第62巻・第10号
慢性疾患に対する桂枝茯苓丸合小建中湯の治療効果	宮崎瑞明・盛克己ほか	(49)1669	2015(平成27)年・第62巻・第10号
帯下への蛇床子、苦参煎じ湯湿布の治療報告	新富義侯・織部和宏	(59)1679	2015(平成27)年・第62巻・第10号
大地震が心的外傷となって生じた胸脇痛に大柴胡湯と四逆散との併用が奏効した1症例	赤澤訓	(65)1685	2015(平成27)年・第62巻・第10号
いわゆる「こむら返り」に芍薬甘草湯に無効だった一例	桜井謙介	(71)1691	2015(平成27)年・第62巻・第10号
東海鍼灸医案(53)　帯状疱疹後神経痛(3)	髙士将典・荒井勝彦	(73)1693	2015(平成27)年・第62巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(135)　腰部脊椎漢狭窄症そのほかの痛みに治打撲一方合通導散が有効であった症例	蓮村幸兌ほか	(77)1697	2015(平成27)年・第62巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算45)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(30)	矢野博美ほか	(84)1704	2015(平成27)年・第62巻・第10号
北里東医研診療録から(140)　四逆散が奏効した片頭痛の症例	鈴木邦彦・小田口浩・花輪壽彦ほか	(91)1711	2015(平成27)年・第62巻・第10号
東洋堂経験余話(271)　▽ダイエット希望の女性に桃核承気湯△長期間の夜間頻尿に八味丸料	松本一男	(99)1719	2015(平成27)年・第62巻・第10号
漢方牛歩録(326)　▽鬱滞性皮膚炎の硬結に五苓散加枳実梔子▽麦粒腫に十味敗毒湯▽変形性頸椎症に疎経活血湯	中村謙介	(102)1722	2015(平成27)年・第62巻・第10号
漢方研究室(28)　2015年8月号回答・講評　第28問	出題:伊藤隆	(104)1724	2015(平成27)年・第62巻・第10号
無門塾治験雑録(59)　甘草の考察	北川寛ほか	(113)1733	2015(平成27)年・第62巻・第10号
リアル傷寒論(41)	齋藤謙一	(122)1742	2015(平成27)年・第62巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(51)	鶴博生・樋口理ほか	(127)1747	2015(平成27)年・第62巻・第10号
『白虎通』	吉元昭治	(133)1753	2015(平成27)年・第62巻・第10号
風に立つ南涯	黒川達郎	(141)1761	2015(平成27)年・第62巻・第10号
韓国韓医学通信(第67報)	金成俊	(150)1770	2015(平成27)年・第62巻・第10号
アンコール随想／求真医談(抜粋2)	湯本一雄	(152)1772	2015(平成27)年・第62巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(154)1774	2015(平成27)年・第62巻・第10号
2015(平成27)年・第62巻・第11号			2015(平成27)年・第62巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(327)　【腹診】を初出する『工埜肚胗集』(一六五二年成書)	長野仁	(2)1782	2015(平成27)年・第62巻・第11号

巻頭言／『皇漢医学』に思う	山田享弘	(11)1791	2015(平成27)年・第62巻・第11号
一般論文／便秘を伴うパーキンソン病に対し、抑肝散加芍薬厚朴をエキス製剤で作成し奏効した1例	大平征宏・秋葉哲生	(13)1793	2015(平成27)年・第62巻・第11号
一般論文／当帰建中湯と香蘇散の併用が著効した慢性外陰部痛の病態に関する検討	清水正彦・織部和宏	(19)1799	2015(平成27)年・第62巻・第11号
一般論文／「失恋処方」甘草瀉心湯加減内服後、すぐに著効の得られた2症例－病機背景及び鍼灸併用療法の実際－	原譲	(25)1805	2015(平成27)年・第62巻・第11号
一般論文／『経穴彙解』にみられる「奇穴」について－『東医宝鑑』の「別穴」との比較	吉田和裕	(33)1813	2015(平成27)年・第62巻・第11号
反復流産に対して四逆散で妊娠に至った1例	糸賀知子・田中耕一郎	(42)1822	2015(平成27)年・第62巻・第11号
男性の悩みと漢方	織部和宏	(47)1827	2015(平成27)年・第62巻・第11号
無門塾治験雑録(60) 眼病	飯田敏雄ほか	(53)1833	2015(平成27)年・第62巻・第11号
北里東医研診療録から(141) 好酸球性中耳炎に柴朴湯エキスが有用であった1例	石毛達也・小田口浩・花輪壽彦ほか	(59)1839	2015(平成27)年・第62巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算46)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(31)	井上博喜・田原英一ほか	(64)1844	2015(平成27)年・第62巻・第11号
漢方牛歩録(327) ▽頸椎捻挫に疎経活血湯▽下腿静脈血栓症に温清飲兼桂苓丸など	中村謙介	(70)1850	2015(平成27)年・第62巻・第11号
東洋堂経験余話(272) ▽独身女性の夢交に桂枝加竜骨牡蠣湯▽尾骶骨の打撲に桂枝茯苓丸料加大黄	松本一男	(72)1852	2015(平成27)年・第62巻・第11号
大阪府下に産する張仲景使用薬物	濱口昭宏	(77)1857	2015(平成27)年・第62巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(136) 桃仁の薬徴	佐藤知嗣ほか	(89)1868	2015(平成27)年・第62巻・第11号
日本における仲景医書関連年表(付・神農本草経関連年表)(1)	真柳誠	(99)1879	2015(平成27)年・第62巻・第11号
陶弘景と『養生延命録』(1)	吉元昭治	(105)1885	2015(平成27)年・第62巻・第11号
『新刊黄帝明堂灸経鈔』(2)	天野陽介	(115)1895	2015(平成27)年・第62巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(52)	樋口理・竹山泰雄ほか	(123)1903	2015(平成27)年・第62巻・第11号
リアル傷寒論(42)	齋藤謙一	(128)1908	2015(平成27)年・第62巻・第11号
中医薬大留学日記(1)	静貴生	(134)1914	2015(平成27)年・第62巻・第11号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(8) 鍼灸師 古村和子流「追いかけ療法」(その1)	古村和子	(137)1917	2015(平成27)年・第62巻・第11号
東洞祭—広島二〇一五秋	小曽戸明子	(143)1923	2015(平成27)年・第62巻・第11号
とある休日にふと思ったこと	來村華隆	(144)1924	2015(平成27)年・第62巻・第11号
第25回漢方治療研究会、慶應義塾大学で開催	編集部	(146)1926	2015(平成27)年・第62巻・第11号
第43回日本伝統鍼灸学会 総会・学術大会開催	編集部	(153)1933	2015(平成27)年・第62巻・第11号
第21回吉益東洞顕彰会	山崎正寿	(155)1935	2015(平成27)年・第62巻・第11号
韓国韓医学通信(第68報)	金成俊	(157)1937	2015(平成27)年・第62巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(158)1938	2015(平成27)年・第62巻・第11号
2015(平成27)年・第62巻・第12号			2015(平成27)年・第62巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(328) 浅田宗伯と浅田飴	黒川達郎	(2)1950	2015(平成27)年・第62巻・第12号
巻頭言／漢方医学の真の復興を願って	山本昇吾	(11)1959	2015(平成27)年・第62巻・第12号
一般論文／葛根湯の油溶出成分により肩こりの効果	今井淳	(13)1961	2015(平成27)年・第62巻・第12号
一般論文／若年中年女性の胸部症状に対する半夏厚朴湯の有効性	山崎武俊	(20)1968	2015(平成27)年・第62巻・第12号
一般論文／更年期障害に伴うほてり感と頻尿に対し大承気湯が有効であった症例についての考察	清水正彦・織部和宏	(27)1975	2015(平成27)年・第62巻・第12号
吉益東洞の言葉と禅の言葉の類似性について－寺澤捷年と鈴木大拙の著書より	萬谷直樹	(33)1981	2015(平成27)年・第62巻・第12号
座談会／浅田宗伯から細野一門へ学統を繋いだ医人－新妻荘五郎の足跡を訪ねて－	和智リウ・山崎正寿・渡辺浩二・和智明彦 報告:黒川達郎	(41)1989	2015(平成27)年・第62巻・第12号
新妻家の家系図について	渡辺浩二	(53)2001	2015(平成27)年・第62巻・第12号
浅田宗伯彰徳碑を訪ねて	渡辺浩二	(57)2005	2015(平成27)年・第62巻・第12号
浅田宗伯書幅(浅田飴所蔵)の解説	町泉寿郎	(62)2010	2015(平成27)年・第62巻・第12号
黄連阿膠湯が著効した一例	織部和宏	(68)2016	2015(平成27)年・第62巻・第12号
桂枝加芍薬湯、小建中湯の薬名について考える	小林瑞	(73)2021	2015(平成27)年・第62巻・第12号
白通湯で改善した長年続いた難治性下利の一症例	大関潤一	(79)2027	2015(平成27)年・第62巻・第12号
前立腺癌術後に漢方治療を用い、症状の改善とPSA値の良好なコントロールを認めた1例	荘明仁ほか	(84)2032	2015(平成27)年・第62巻・第12号
柴胡桂枝乾姜湯の有効例	竹村敦子	(87)2035	2015(平成27)年・第62巻・第12号
北里東医研診療録から(142) インフルエンザ後の体調不良に小柴胡湯が有効であった一例	青木ゆかり・小田口浩・花輪壽彦ほか	(90)2038	2015(平成27)年・第62巻・第12号
無門塾治験雑録(61) 気診と漢方－噛みしめと"眠れない"－	小倉才子ほか	(95)2043	2015(平成27)年・第62巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算47)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(32)	吉永亮・田原英一ほか	(99)2047	2015(平成27)年・第62巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(137) アトピー性皮膚炎の標治と本治(越婢加朮湯、白虎加人参湯、荊芥連翹湯)	千田五月ほか	(106)2054	2015(平成27)年・第62巻・第12号

成城漢方雑話(8)黄連解毒湯の3症例	盛岡頼子	(109)2057	2015(平成27)年・第62巻・第12号
東洋堂経験余話(273) ▽突発性難聴からメニエール氏病になり、耳鳴に苦しむ人に苓桂朮甘湯加川芎、大黄△慢性の尋常性疣贅に薏苡仁煎	松本一男	(113)2061	2015(平成27)年・第62巻・第12号
漢方牛歩録(328) ▽頸部の不随意運動に甘麦大棗湯▽頸椎捻挫に伴う自律神経症状に苓桂朮甘湯	中村謙介	(116)2064	2015(平成27)年・第62巻・第12号
漢方研究室(29) 2015年12月号出題 第29問	出題:村松慎一	(118)2066	2015(平成27)年・第62巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(53)	竹山泰雄・益田龍彦ほか	(121)2069	2015(平成27)年・第62巻・第12号
日本における仲景医書関連年表(付・神農本草経関連年表(2))	真柳誠	(127)2075	2015(平成27)年・第62巻・第12号
陶弘景と『養生延命録』(2)	吉元昭治	(139)2087	2015(平成27)年・第62巻・第12号
リアル傷寒論(43)	齋藤謙一	(146)2094	2015(平成27)年・第62巻・第12号
小曽戸明子先生の短歌に対する返歌	桒谷圭二	(152)2100	2015(平成27)年・第62巻・第12号
薬剤師＆鍼灸師が行う"温故知新漢方"の『漢方総合療法』(9) 鍼灸師 古村和子流「追いかけ療法」(その2)	古村和子	(153)2101	2015(平成27)年・第62巻・第12号
中医薬大留学日記(2)	静貴生	(159)2107	2015(平成27)年・第62巻・第12号
NHK歴史秘話ヒストリアの秘話－曲直瀬道三の兄弟弟子「一鴎斉・学習」－	長野仁	(164)2112	2015(平成27)年・第62巻・第12号
麻生飯塚漢方診療研究会200回記念講演	土倉潤一郎	(166)2114	2015(平成27)年・第62巻・第12号
「醫譚賞」表彰式	松岡尚則	(168)2116	2015(平成27)年・第62巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(169)2117	2015(平成27)年・第62巻・第12号
2016(平成28)年・第63巻・第1号			2016(平成28)年・第63巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(329) 神農・張仲景・銭乙三幅対	小曽戸洋	(2)2	2016(平成28)年・第63巻・第1号
平成28年(2016年) 新年のことば 〔127名〕		(9)9	2016(平成28)年・第63巻・第1号
一般論文／月経に随伴する再発性外陰部湿疹に漢方治療が奏効した一例	清水正彦・織部和宏	(103)103	2016(平成28)年・第63巻・第1号
蘇子降気湯により改善した痔疾の1経験例	阿南栄一朗・織部和宏	(108)108	2016(平成28)年・第63巻・第1号
頭痛を認めない繰り返すめまい発作に呉茱萸湯が奏効した1例	桒谷圭二	(111)111	2016(平成28)年・第63巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算48) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(33) 不登校に四逆散、後鼻漏に八味丸合人参湯	前田ひろみ・田原英一ほか	(115)115	2016(平成28)年・第63巻・第1号
北里東医研診療録から(143) 背部の冷えに清湿化痰湯が奏効した1例	星野卓之・小田口浩・花輪壽彦	(121)121	2016(平成28)年・第63巻・第1号
漢方牛歩録(329) ▽膝部滑液包炎に越婢加朮湯▽男性の自律神経失調症に柴胡剤兼桂苓丸	中村謙介	(126)126	2016(平成28)年・第63巻・第1号
東洋堂経験余話(274) ▽子供の熱中症に五苓散料▽アトピー性皮膚炎に九味柴胡湯	松本一男	(129)129	2016(平成28)年・第63巻・第1号
漢方研究室(30) 2016年1月号出題 第30問	出題:中島正光	(132)132	2016(平成28)年・第63巻・第1号
アイヌ民族の生薬と東洋医学(3) 北方の生薬群	田中耕一郎	(134)134	2016(平成28)年・第63巻・第1号
辰砂を求めて	濱口昭宏	(143)143	2016(平成28)年・第63巻・第1号
無門塾治験雑録(62) 薬草園へようこそ～秋から春～	熊井啓子ほか	(149)149	2016(平成28)年・第63巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(54)	佐藤眞弓・松藤英正ほか	(159)159	2016(平成28)年・第63巻・第1号
リアル傷寒論(44)	齋藤謙一	(165)165	2016(平成28)年・第63巻・第1号
陶弘景と『養生延命録』(3)	吉元昭治	(171)171	2016(平成28)年・第63巻・第1号
日本における仲景医書関連年表(付・神農本草経関連年表(3))	真柳誠	(177)177	2016(平成28)年・第63巻・第1号
中医薬大留学日記(3)	静貴生	(186)186	2016(平成28)年・第63巻・第1号
韓国韓医学通信(第69報)	金成俊	(188)188	2016(平成28)年・第63巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(190)190	2016(平成28)年・第63巻・第1号
2016(平成28)年・第63巻・第2号			2016(平成28)年・第63巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(330) 久野玄越後裔・雪湖の顕彰碑と墓碑(南禅寺天授庵)	長野仁	(2)202	2016(平成28)年・第63巻・第2号
巻頭言／漢方治療、三つの共鳴	大野修嗣	(11)211	2016(平成28)年・第63巻・第2号
第18回国際東洋医学会へのお誘い	大野修嗣	(13)213	2016(平成28)年・第63巻・第2号
総説／漢方薬抽出自動包装機を用いた煎剤の品質に関する最近の研究(1)	太田美里ほか	(15)215	2016(平成28)年・第63巻・第2号
一般論文／呉茱萸軟膏の応用	原譲・村上裕彦	(23)223	2016(平成28)年・第63巻・第2号
一般論文／夜間の下肢有痛性筋肉痙攣に対する柴胡桂枝湯の効果	東儀洋・三橋牧	(31)231	2016(平成28)年・第63巻・第2号
一般論文／月経困難症に伴う手掌乾燥症に桂枝茯苓丸料合二陳湯が奏効した一例	清水正彦・織部和宏	(45)245	2016(平成28)年・第63巻・第2号
高齢者の頑固な腰痛症に対する漢方治療－独活寄生湯と補陰湯の使い分け－	織部和宏	(50)250	2016(平成28)年・第63巻・第2号
自閉症、精神発達遅滞の患者の精神症状への脾虚からのアプローチ	田中耕一郎ほか	(56)256	2016(平成28)年・第63巻・第2号
『類聚方広義』の頭注が処方の決め手になった3症例	桒谷圭二	(61)261	2016(平成28)年・第63巻・第2号
当帰芍薬散が咳嗽に有効であった慢性気管支炎の1症例	垣迫真一・織部和宏	(64)264	2016(平成28)年・第63巻・第2号
肩周辺運動不可となった急性痛に即効治療	村田昭人・土方康世	(67)267	2016(平成28)年・第63巻・第2号
生脈散の3倍量が2度房室ブロックに効果があった可能性がある1例	長瀬千秋	(72)272	2016(平成28)年・第63巻・第2号
東洋堂経験余話(275) ▽激しい咳嗽に麦門冬湯加五味子、桑白皮▽難病の患者さんの左の親知らずの痛みに桂枝五物湯	松本一男	(74)274	2016(平成28)年・第63巻・第2号

漢方牛歩録(330) ▽下顎の過緊張に甘麦大棗湯▽腰部脊柱管狭窄症に伴う坐骨神経痛に疎経活血湯▽吃逆に柿蒂一味	中村謙介	(77)277	2016(平成28)年・第63巻・第2号
無門塾治験雑録(63) 気のせい	山下耕司・斉藤明美ほか	(79)279	2016(平成28)年・第63巻・第2号
北里東医研診療録から(144) 全身痛に附子湯が有効であった一例	小田口浩・花輪壽彦	(85)285	2016(平成28)年・第63巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算49) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(34) 食う・寝る・出す・動く(遊ぶ)を可能治療で整えて排尿障害が改善した一例	矢野博美・田原英一ほか	(89)289	2016(平成28)年・第63巻・第2号
東海鍼灸医案(54) 上下肢痛	髙士将典・荒井勝彦	(95)295	2016(平成28)年・第63巻・第2号
弾発指(Spring Finger)=ばね指の治療	吉本悟	(99)299	2016(平成28)年・第63巻・第2号
漢方研究室(29) 2015年12月号回答・講評 第29問	出題:村松慎一	(105)305	2016(平成28)年・第63巻・第2号
編集企画委員長の撰ぶ”重要記事ふたたび”	秋葉哲生	(115)315	2016(平成28)年・第63巻・第2号
編集企画委員長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(1)／ 「證(証)を語る(上)」	秋葉哲生	(116)316	2016(平成28)年・第63巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(138) 薬徴提要「茯苓」	鈴木寛彦ほか	(126)326	2016(平成28)年・第63巻・第2号
アンコール随想／医と禅	湯本求真	(134)334	2016(平成28)年・第63巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(55)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(135)335	2016(平成28)年・第63巻・第2号
道教と医学の接点	吉元昭治	(141)341	2016(平成28)年・第63巻・第2号
アンコール随想／求真医談(抜粋3)	湯本一雄	(146)346	2016(平成28)年・第63巻・第2号
千葉県山武郡横芝光町の、湯本求眞先生の墓域に小変更	秋葉哲生	(148)348	2016(平成28)年・第63巻・第2号
織部塾～織部和宏先生の東亜医学協会賞の受賞記念講演会に参加して～	清水正彦	(149)349	2016(平成28)年・第63巻・第2号
中医薬大留学日記(4)	静貴生	(152)352	2016(平成28)年・第63巻・第2号
韓国韓医学通信(第70報)	金成俊	(159)359	2016(平成28)年・第63巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(161)361	2016(平成28)年・第63巻・第2号
2016(平成28)年・第63巻・第3号			2016(平成28)年・第63巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(331) 冬の京都薬用植物園	黒川達郎	(2)370	2016(平成28)年・第63巻・第3号
巻頭言／漢方診療標準化プロジェクト	小田口浩	(11)379	2016(平成28)年・第63巻・第3号
四川成都老官山の医学資料概観(上)	猪飼祥夫	(13)381	2016(平成28)年・第63巻・第3号
一般論文／駆瘀血剤が奏効した更年期症候群に伴う鼻アレルギー症例～その病態と治療経緯からの考察～	清水正彦・織部和宏	(23)391	2016(平成28)年・第63巻・第3号
心電図異常を有する熱中症に炙甘草湯が奏効した3症例	桒谷圭二	(29)397	2016(平成28)年・第63巻・第3号
難治性薬物乱用頭痛(MOH)3症例の漢方治療経験	盛克己・宮崎瑞明ほか	(33)401	2016(平成28)年・第63巻・第3号
高齢者の頑固な便秘に対する漢方治療の試み	織部和宏	(41)409	2016(平成28)年・第63巻・第3号
〝憑きもの〟と東洋医学、その〝精神療法的側面〟過去、現在、未来(上)	田中耕一郎・塚原美穂子	(47)415	2016(平成28)年・第63巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算50) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(35) 研修医の担当した入院症例	田原英一ほか	(53)421	2016(平成28)年・第63巻・第3号
北里東医研診療録から(145) 不眠症・社会不安障害・月経前症候群に大柴胡湯が奏効した一例	風戸陽子・小田口浩・花輪壽彦	(63)431	2016(平成28)年・第63巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(139) いのち燃ゆ	田畑隆一郎ほか	(68)436	2016(平成28)年・第63巻・第3号
無門塾治験雑録(64) 八味丸の兼用が奏効したと思われる症例	斉藤明美・北川寛ほか	(75)443	2016(平成28)年・第63巻・第3号
漢方牛歩録(331) ▽肩凝りに疎経活血湯▽ベーカー嚢腫に五苓散加枳実梔子▽高齢者の頭痛に釣藤散	中村謙介	(81)449	2016(平成28)年・第63巻・第3号
東洋堂経験余話(276) ▽ホルモンのアンバランスに加味逍遙散料▽アレルギー性鼻炎に荊芥連翹湯	松本一男	(84)452	2016(平成28)年・第63巻・第3号
医科大附属病院の鍼灸の役割－東洋医学科における鍼灸外来について－(上)	吉田和裕ほか	(89)457	2016(平成28)年・第63巻・第3号
漢方研究室(30) 2016年1月号回答・講評 第30問	出題:中島正光	(100)468	2016(平成28)年・第63巻・第3号
編集企画委員長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(1)／ 「證(証)を語る(下)」	秋葉哲生	(111)479	2016(平成28)年・第63巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(56)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(125)493	2016(平成28)年・第63巻・第3号
道教に魅せられて	吉元昭治	(131)499	2016(平成28)年・第63巻・第3号
中医薬大留学日記(5)	静貴生	(139)507	2016(平成28)年・第63巻・第3号
医史学の交差点広島～日本医史学会へのお誘い～	桒谷圭二	(144)512	2016(平成28)年・第63巻・第3号
第10回小倉記念木更津アカデミー／小倉重成先生生誕100周年記念会に参加して	薗田将樹	(147)515	2016(平成28)年・第63巻・第3号
韓国韓医学通信(第71報)	金成俊	(149)517	2016(平成28)年・第63巻・第3号
図書紹介／川口恵子著『イラストで優しく学ぶ 素敵な漢方の世界』	織部和宏	(151)519	2016(平成28)年・第63巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(152)520	2016(平成28)年・第63巻・第3号
2016(平成28)年・第63巻・第4号			2016(平成28)年・第63巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(332) 岡藩黒川家由来の平次郎臓図	黒川達郎	(2)530	2016(平成28)年・第63巻・第4号
巻頭言／儒学と日本漢方	山崎正寿	(11)539	2016(平成28)年・第63巻・第4号
四川成都老官山の医学資料概観(下)	猪飼祥夫	(13)541	2016(平成28)年・第63巻・第4号

一般論文／多汗に対して四物湯が奏効した2例	八木明男・並木隆雄ほか	(27)555	2016(平成28)年・第63巻・第4号
一般論文／熱中症の経絡現象学的アプローチ	上枡次郎・十河孝博	(35)563	2016(平成28)年・第63巻・第4号
一般論文／「呉茱萸軟膏の応用」のその後(第2報)	原譲・村上裕彦	(41)569	2016(平成28)年・第63巻・第4号
一般論文／柴胡桂枝湯が奏効した難治性の下腹部痛を伴う骨盤内鬱血症候群～その診断と治療に際しての留意点～	清水正彦・織部和宏	(45)573	2016(平成28)年・第63巻・第4号
〝憑きもの〟と東洋医学、その〝精神療法的側面〟過去、現在、未来(下)	田中耕一郎・塚原美穂子	(52)580	2016(平成28)年・第63巻・第4号
日々の臨床における傷寒論医学の応用	織部和宏	(61)589	2016(平成28)年・第63巻・第4号
奔豚湯(金匱要略)の治験と考察	新富義侯・織部和宏	(65)593	2016(平成28)年・第63巻・第4号
葛根湯が無効な肩こりに葛根湯合三黄瀉心湯が有効と考えられた1症例	桒谷圭二	(73)601	2016(平成28)年・第63巻・第4号
北里東医研診療録から(146) 独活寄生湯が有効であった冷え症の一例	堀田広満・小田口浩・花輪壽彦	(76)604	2016(平成28)年・第63巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(140) 自分のカゼ―治せず悪戦苦闘の纏末	蓮村幸兌ほか	(80)608	2016(平成28)年・第63巻・第4号
無門塾治験雑録(65) 一味の妙	北川寛ほか	(89)617	2016(平成28)年・第63巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算51) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(36) 「上熱中寒」から展開する黄連湯の応用 続々編	土倉潤一郎・田原英一ほか	(97)625	2016(平成28)年・第63巻・第4号
漢方診療日誌(2) 括呂薤白白酒湯の経験1例	長瀬千秋	(104)632	2016(平成28)年・第63巻・第4号
漢方牛歩録(332) ▽項頸部の激痛に葛根湯合芍薬甘草湯▽ホルモン療法の副作用に白虎加人参湯▽高齢者の頭痛に釣藤散	中村謙介	(106)634	2016(平成28)年・第63巻・第4号
東洋堂経験余話(277) ▽多病のため体力が低下し、下腹部痛と下痢に桂枝加芍薬乾姜湯▽老人の声嗄れに、麦門冬湯加阿膠・地黄	松本一男	(108)636	2016(平成28)年・第63巻・第4号
ヨツユビハリネズミの陰部からの出血に桂枝茯苓丸が有効であったと考えらえた一例	阿部理	(111)639	2016(平成28)年・第63巻・第4号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(2)／「診療余話(前)」	秋葉哲生	(113)641	2016(平成28)年・第63巻・第4号
医科大附属病院の鍼灸の役割－東洋医学科における鍼灸外来について－(下)	吉田和裕ほか	(121)649	2016(平成28)年・第63巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(57)	福田知顕・益田龍彦ほか	(133)661	2016(平成28)年・第63巻・第4号
『黄帝内経章句索引』に見る主要文字出現頻度について	吉元昭治	(139)667	2016(平成28)年・第63巻・第4号
中医薬大留学日記(6)	静貴生	(142)670	2016(平成28)年・第63巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(147)675	2016(平成28)年・第63巻・第4号
2016(平成28)年・第63巻・第5号			2016(平成28)年・第63巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(333) 八木下勝之助先生の遺品(上)	宮川浩也	(2)686	2016(平成28)年・第63巻・第5号
巻頭言／パラダイムの継承とその未来－多様な漢方に橋をかける－	清水寛	(11)695	2016(平成28)年・第63巻・第5号
インタビュー／漢方道を一筋に 山田光胤先生	山田光胤 聞き手：土屋伊磋雄	(13)697	2016(平成28)年・第63巻・第5号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その2)	織部和宏	(27)711	2016(平成28)年・第63巻・第5号
黄芩非含有方剤により間質性肺炎の憎悪が疑われた関節リウマチの一例	龍興一・並木隆雄ほか	(31)715	2016(平成28)年・第63巻・第5号
桂枝加竜骨牡蛎湯が奏功し肢端紅痛症の一例	室賀一宏	(41)725	2016(平成28)年・第63巻・第5号
浅田宗伯が愛した条文の意図を気付かせてくれた1症例	桒谷圭二	(47)731	2016(平成28)年・第63巻・第5号
温疫論について	阿部勝利・福原恵子	(51)735	2016(平成28)年・第63巻・第5号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(3)／「診療余話(後)」	秋葉哲生	(65)749	2016(平成28)年・第63巻・第5号
北里東医研診療録から(147) 独活寄生湯にて下肢の冷えが改善した下半身型冷えの2症例	伊藤剛・小田口浩・花輪壽彦	(73)757	2016(平成28)年・第63巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算52) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(37) めまい3症例	井上博喜・田原英一ほか	(81)765	2016(平成28)年・第63巻・第5号
無門塾治験雑録(66) しもやけと棒灸	飯田敏雄ほか	(87)771	2016(平成28)年・第63巻・第5号
東洋堂経験余話(278) ▽体温感覚が狂って寝汗をかく人に芍薬甘草附子湯▽感冒に桔梗湯合半夏散及湯	松本一男	(95)779	2016(平成28)年・第63巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(141) 芍薬の薬徴	佐藤知嗣ほか	(99)783	2016(平成28)年・第63巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(58)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(111)795	2016(平成28)年・第63巻・第5号
リアル傷寒論(45)	齋藤謙一	(116)800	2016(平成28)年・第63巻・第5号
『東医宝鑑』と道教医学(1)	吉元昭治	(123)807	2016(平成28)年・第63巻・第5号
日本薬学会第一三六年会に参加して	澁谷惠子	(133)817	2016(平成28)年・第63巻・第5号
中医薬大留学日記(7)	静貴生	(134)818	2016(平成28)年・第63巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(136)820	2016(平成28)年・第63巻・第5号
2016(平成28)年・第63巻・第6号			2016(平成28)年・第63巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(334) 八木下勝之助先生の遺品(下)	宮川浩也	(2)834	2016(平成28)年・第63巻・第6号
巻頭言／愛人知人	金成俊	(11)843	2016(平成28)年・第63巻・第6号
表裏の気の調和と桂枝湯の周辺	山田光胤	(13)845	2016(平成28)年・第63巻・第6号
くしゃみに対する漢方治療	今中政支	(19)851	2016(平成28)年・第63巻・第6号
『古典に生きるエキス漢方方剤学』の諸論点(上)－日本東洋医学会 奈良県教育講演会より－	小山誠次	(23)855	2016(平成28)年・第63巻・第6号

日々の臨床における傷寒論医学の応用(その3)	織部和宏	(34)866	2016(平成28)年・第63巻・第6号
香りが奏効したと思われる藿香正気散の症例3例	細野美佐子ほか	(39)871	2016(平成28)年・第63巻・第6号
北里東医研診療録から(148) 脱毛に葛根湯が有効だった1例	森裕紀子・小田口浩・花輪壽彦	(45)877	2016(平成28)年・第63巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算53) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(38) 緩和ケアにおける半夏厚朴湯の活用	吉永亮・田原英一ほか	(50)882	2016(平成28)年・第63巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(142) 疎経活血湯の症例	千田五月ほか	(58)890	2016(平成28)年・第63巻・第6号
東洋堂経験余話(279) ▽気管支炎に竹葉石膏湯▽胸の圧迫と痛みに桂枝生姜枳実湯	松本一男	(66)898	2016(平成28)年・第63巻・第6号
漢方牛歩録(333) ▽膝蓋骨骨折に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽白鮮症にお酢療法▽間欠跛行にオパルモン兼疎経活血湯	中村謙介	(69)901	2016(平成28)年・第63巻・第6号
無門塾治験雑録(67) 気診と漢方－口呼吸と言葉が話せない	小倉才子ほか	(71)903	2016(平成28)年・第63巻・第6号
東海鍼灸医案(55) 嘔気	髙士将典・荒井勝彦	(75)907	2016(平成28)年・第63巻・第6号
総説／漢方薬抽出自動包装機を用いた煎剤の品質に関する最近の研究(2)	太田美里ほか	(79)911	2016(平成28)年・第63巻・第6号
漢方研究室(31) 2016年6月号出題 第31問	出題:田原英一	(88)920	2016(平成28)年・第63巻・第6号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(4)／半夏瀉心湯治験	和田正系 秋葉哲生	(90)922	2016(平成28)年・第63巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(59)	奥田隆司・鶴博生ほか	(95)927	2016(平成28)年・第63巻・第6号
リアル傷寒論(46)	齋藤謙一	(100)932	2016(平成28)年・第63巻・第6号
『東医宝鑑』と道教医学(2)	吉元昭治	(107)939	2016(平成28)年・第63巻・第6号
韓国韓医学通信(第72報)	金成俊	(117)949	2016(平成28)年・第63巻・第6号
国際東洋医学会印象記	室賀一宏	(119)951	2016(平成28)年・第63巻・第6号
国際東洋医学会と中華民国 顔焜榮 先生	秋葉哲生	(121)953	2016(平成28)年・第63巻・第6号
第1回日独漢方・鍼灸シンポジウム報告	元雄良治	(123)955	2016(平成28)年・第63巻・第6号
第117回日本医史学会総会・学術大会に参加して	星野卓之	(126)958	2016(平成28)年・第63巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(128)960	2016(平成28)年・第63巻・第6号
編集長のつぶやき…投稿される会員にお願い	秋葉哲生	(131)963	2016(平成28)年・第63巻・第6号
2016(平成28)年・第63巻・第7号			2016(平成28)年・第63巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(335) 和田東郭の「医則」	小曽戸洋	(2)970	2016(平成28)年・第63巻・第7号
巻頭言／第33回和漢医薬学会学術大会の開催にあたって	杉山清	(11)979	2016(平成28)年・第63巻・第7号
ウコギ科トチバニンジン属の分布地域の特殊性と植物の進化における一考察	田中耕一郎	(13)981	2016(平成28)年・第63巻・第7号
桂枝湯合麻黄附子細辛湯が慢性副鼻腔炎に奏功した1症例～桂枝湯に関する一考察～	桒谷圭二	(23)991	2016(平成28)年・第63巻・第7号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その4)	織部和宏	(26)994	2016(平成28)年・第63巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算54) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(39) 思春期の漢方治療～ふくろう症候群とめまい	矢野博美・田原英一ほか	(31)999	2016(平成28)年・第63巻・第7号
北里東医研診療録から(149) 会陰部痛を訴え慢性前立腺炎と考えられた3症例	及川哲郎・小田口浩・花輪壽彦	(37)1005	2016(平成28)年・第63巻・第7号
漢方牛歩録(334) ▽足関節部滑液包炎に加減涼膈散のちに五苓散加枳実梔子▽不眠と慢性気管支炎に柴胡加竜骨牡蠣湯兼桂枝加厚朴杏仁湯 他	中村謙介	(42)1010	2016(平成28)年・第63巻・第7号
東洋堂経験余話(280) ▽書痙に抑肝散料合甘麦大棗湯▽左下肢の麻痺に桂枝加朮附湯	松本一男	(44)1012	2016(平成28)年・第63巻・第7号
『古典に生きるエキス漢方方剤学』の諸論点(下)－日本東洋医学会 奈良県教育講演会より－	小山誠次	(47)1015	2016(平成28)年・第63巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(143) 畑の中の三陰三陽(太陽病)	鈴木寛彦ほか	(59)1027	2016(平成28)年・第63巻・第7号
無門塾治験雑録(68) 薬草園へようこそ～初夏から初秋～	熊井啓子ほか	(67)1035	2016(平成28)年・第63巻・第7号
漢方研究室(32) 2016年7月号出題 第32問	出題:山崎正寿	(76)1044	2016(平成28)年・第63巻・第7号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(5)／座談会 故人を語る(上)	大塚敬節・矢数道明・細野史郎・石原明・安西安周・気賀林一	(79)1047	2016(平成28)年・第63巻・第7号
医史学への知られざる貢献者 寺田貞次先生	濱口昭宏	(91)1059	2016(平成28)年・第63巻・第7号
和田啓十郎先生没後100年「証」の定義を確認したい	中村謙介	(102)1070	2016(平成28)年・第63巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(60)	鶴博生・樋口理ほか	(103)1071	2016(平成28)年・第63巻・第7号
『東医宝鑑』と道教医学(3)	吉元昭治	(109)1077	2016(平成28)年・第63巻・第7号
韓国韓医学通信(第73報)	金成俊	(121)1089	2016(平成28)年・第63巻・第7号
脈を診ない漢方医なんて	折角二世	(123)1091	2016(平成28)年・第63巻・第7号
さまざまな機縁	寺師睦宗	(124)1092	2016(平成28)年・第63巻・第7号
本誌第62巻12号(2015年12月)巻頭言・山本昇吾先生の文章を読んで	垣迫真一	(126)1094	2016(平成28)年・第63巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(127)1095	2016(平成28)年・第63巻・第7号
2016(平成28)年・第63巻・第8号			2016(平成28)年・第63巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(336) 浅田宗伯の書跡(1)	小曽戸洋	(2)1106	2016(平成28)年・第63巻・第8号

巻頭言／東亜医学協会の発展を期して	花輪壽彦	(11)1115	2016(平成28)年・第63巻・第8号
北里東医研診療録から(150) 肺癌再発に対して漢方薬が有効と思われた1例	花輪壽彦	(13)1117	2016(平成28)年・第63巻・第8号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その5)	織部和宏	(19)1123	2016(平成28)年・第63巻・第8号
成城漢方雑話(9) 腰痛に五積散が著効した2症例	盛岡頼子	(22)1126	2016(平成28)年・第63巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(144) 生姜瀉心湯にみる幼・老ショウガの効	田畑隆一郎ほか	(25)1129	2016(平成28)年・第63巻・第8号
漢方牛歩録(335) ▽坐骨神経痛に疎経活血湯▽太腿筋膜内出血に越婢加朮湯▽倦怠感「風邪ひいたのかな」	中村謙介	(32)1136	2016(平成28)年・第63巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算55) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(40) 茯苓四逆湯・真武湯合人参湯が奏功した三症例	高橋佑一朗・田原英一ほか	(35)1139	2016(平成28)年・第63巻・第8号
無門塾治験雑録(69) 言うは易し行うは難し	山下耕司ほか	(41)1145	2016(平成28)年・第63巻・第8号
東洋堂経験余話(281) ▽疲労からの下痢に真武湯▽多忙な人の長引く下痢に真武湯合芍薬乾姜	松本一男	(47)1151	2016(平成28)年・第63巻・第8号
漢方研究室(31) 2016年6月号回答・講評 第31問	出題:田原英一	(51)1155	2016(平成28)年・第63巻・第8号
論説／日本近代医学の功労者としての杉田玄白への異常なまでの称賛は何を隠しているのか？	桒谷圭二	(59)1163	2016(平成28)年・第63巻・第8号
東海鍼灸医案(56) 打撲痛(2)	髙士将典・荒井勝彦	(65)1169	2016(平成28)年・第63巻・第8号
新発見の岡本玄治供養墓	濱口昭宏	(69)1173	2016(平成28)年・第63巻・第8号
亨徳院曲直瀬家の系譜について～一渓道三の来歴に関する新資料の報告(上)	今井秀	(74)1178	2016(平成28)年・第63巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(61)	樋口理・竹山泰雄ほか	(83)1187	2016(平成28)年・第63巻・第8号
リアル傷寒論(47)	齋藤謙一	(88)1192	2016(平成28)年・第63巻・第8号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(6)／橘黄座談会	大塚敬節・藤平健・相見三郎・山田照胤・気賀林一	(95)1199	2016(平成28)年・第63巻・第8号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(5)／座談会 故人を語る(下)	大塚敬節・矢数道明・細野史郎・石原明・安西安周・気賀林一	(108)1212	2016(平成28)年・第63巻・第8号
『医断』、陰陽五行説、板倉武(前)	秋葉哲生	(115)1219	2016(平成28)年・第63巻・第8号
図書紹介／王興伊・段逸山編著『新疆出土沙醫文書輯校』	小曽戸洋	(118)1222	2016(平成28)年・第63巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(121)1225	2016(平成28)年・第63巻・第8号
2016(平成28)年・第63巻・第9号			2016(平成28)年・第63巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(337) 浅田宗伯の書跡(2)	小曽戸洋	(2)1234	2016(平成28)年・第63巻・第9号
巻頭言／「浅田宗伯生誕200年に学ぶ」に寄せて	和智明彦	(11)1243	2016(平成28)年・第63巻・第9号
慢性疲労症候群に対する漢方治療有効例の検討－その2(2014年度)－	盛克己・宮崎瑞明ほか	(13)1245	2016(平成28)年・第63巻・第9号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その6)	織部和宏	(22)1254	2016(平成28)年・第63巻・第9号
成城漢方雑話(10) 女神散が著効した3症例	盛岡頼子	(27)1259	2016(平成28)年・第63巻・第9号
腹直筋の極端な左右差を認めた2症例	桒谷圭二	(31)1263	2016(平成28)年・第63巻・第9号
一般論文／インフルエンザと経絡治療	上桝次郎・十河孝博	(35)1267	2016(平成28)年・第63巻・第9号
北里東医研診療録から(151) 乳癌術後のホルモン療法の導入に伴って出現した外陰部痛に温経湯が有効であった一例	川鍋伊晃・小田口浩・花輪壽彦ほか	(41)1273	2016(平成28)年・第63巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算56) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(41) 皮膚疾患～本治の重要性～	土倉潤一郎・田原英一ほか	(46)1278	2016(平成28)年・第63巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(145) 黄連阿膠湯の治験例	蓮村幸兌ほか	(55)1287	2016(平成28)年・第63巻・第9号
東洋堂経験余話(282) ▽胸痛に桂枝生姜枳実湯▽鬱病か？ひどい疲労に真武湯	松本一男	(62)1294	2016(平成28)年・第63巻・第9号
漢方牛歩録(336) ▽弾撥指に薏苡仁湯 ▽嗄声に百合固金湯	中村謙介	(65)1297	2016(平成28)年・第63巻・第9号
漢方研究室(32) 2016年7月号回答・講評 第32問	出題:山崎正寿	(67)1299	2016(平成28)年・第63巻・第9号
亨徳院曲直瀬家の系譜について～一渓道三の来歴に関する新資料の報告(下)	今井秀	(76)1308	2016(平成28)年・第63巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(62)	竹山泰雄・佐藤眞弓ほか	(85)1317	2016(平成28)年・第63巻・第9号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(7)／座談会 漢薬を語る	栗原廣三・浅野正義・武藤留吉・土田茂雄・矢数道明・建林宰亮・大塚敬節・今井達彌・気賀林一・深澤孤一	(91)1323	2016(平成28)年・第63巻・第9号
「千葉古方」の特徴	中村謙介	(102)1334	2016(平成28)年・第63巻・第9号
第一回中華民国・日本東洋医学研究会開催される	宮田圭	(105)1337	2016(平成28)年・第63巻・第9号
図書紹介／寺澤捷年『和漢診療学 あたらしい漢方』	喜多敏明	(107)1339	2016(平成28)年・第63巻・第9号
図書紹介／中村節子訳注『小児必用養育草』	小曽戸洋	(108)1340	2016(平成28)年・第63巻・第9号
図書紹介／待望の一冊『金匱要略を読もう』上梓される	小池加能	(109)1341	2016(平成28)年・第63巻・第9号
オランダ商館長の日記より／江戸初期の医事を知ろう(1)	好古亭亭主	(110)1342	2016(平成28)年・第63巻・第9号
『医断』、陰陽五行説、板倉武(後)	秋葉哲生	(112)1344	2016(平成28)年・第63巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(115)1347	2016(平成28)年・第63巻・第9号
2016(平成28)年・第63巻・第10号			2016(平成28)年・第63巻・第10号

〔口絵〕目でみる漢方史料館(338) 『東洞翁詠草』の収戴する新出の一四首	大浦宏勝	(2)1362	2016(平成28)年・第63巻・第10号
巻頭言／「浅田宗伯生誕200年に学ぶ」に寄せて	渡辺浩二	(11)1371	2016(平成28)年・第63巻・第10号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その7)	織部和宏	(13)1373	2016(平成28)年・第63巻・第10号
〝修・破・離〟		(16)1376	2016(平成28)年・第63巻・第10号
東洋堂経験余話(283) ▽子供の便秘症に柴胡加芒硝湯▽自律神経失調症に半夏厚朴湯	松本一男	(17)1377	2016(平成28)年・第63巻・第10号
浅草寺の大提灯(ちょうちん)		(20)1380	2016(平成28)年・第63巻・第10号
漢方牛歩録(337) ▽ベーカー嚢腫に五苓散加枳実梔子▽大腿四頭筋皮下損傷に越婢加朮湯▽便秘傾向の腕神経不全麻痺に疎経活血湯	中村謙介	(21)1381	2016(平成28)年・第63巻・第10号
半夏白朮天麻湯を通じて知る陽気と水の関係－ホットフラッシュを題材に－	宮澤裕治	(25)1385	2016(平成28)年・第63巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算57) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(42) 補中益気湯が奏功した、味覚異常、ネフローゼ症候群の二症例	久保田正樹・田原英一ほか	(31)1391	2016(平成28)年・第63巻・第10号
北里東医研診療録から(152) 四肢から体幹におよぶ有痛性筋痙攣に対して当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効であった一症例	五野由佳理・小田口浩・花輪壽彦ほか	(37)1397	2016(平成28)年・第63巻・第10号
無門塾治験雑録(70) 眼科領域における漢方薬の有用性	田中まち子ほか	(43)1403	2016(平成28)年・第63巻・第10号
漢方研究室(33) 2016年10月号出題 第33問	出題:三潴忠道	(53)1412	2016(平成28)年・第63巻・第10号
『東洞翁遺草』未収の和歌一四首－新出の『東洞翁詠草』所載分－	大浦宏勝	(54)1414	2016(平成28)年・第63巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(63)	佐藤眞弓・松藤英正ほか	(57)1417	2016(平成28)年・第63巻・第10号
リアル傷寒論(48)	齋藤謙一	(62)1422	2016(平成28)年・第63巻・第10号
漢方は人間を診る医学		(68)1428	2016(平成28)年・第63巻・第10号
内蒙古医科大学とモンゴル医薬博物館	松岡尚則ほか	(69)1429	2016(平成28)年・第63巻・第10号
第8回2016年台北国際中医薬学術論壇に参加して	杉山友彦	(75)1435	2016(平成28)年・第63巻・第10号
韓国韓医学通信(第74報)	金成俊	(79)1439	2016(平成28)年・第63巻・第10号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(8)／座談会 便秘を語る	馬場辰二・和田正系・矢数道明・大塚敬節・気賀林一	(81)1441	2016(平成28)年・第63巻・第10号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(9)／漢法時言－体質論の展開を－	木村佐京	(90)1450	2016(平成28)年・第63巻・第10号
〔編集長のつぶやき〕「体質医学」の復興を願う	秋葉哲生	(95)1455	2016(平成28)年・第63巻・第10号
オランダ商館長の日記より／江戸初期の医事を知ろう(2)	好古亭亭主	(96)1456	2016(平成28)年・第63巻・第10号
図書紹介／山田業精原著・寺澤捷年編著『井見集 附録』	小曽戸洋	(98)1458	2016(平成28)年・第63巻・第10号
図書紹介／吉元昭治著『内経・神農本草経分析』	小曽戸洋	(99)1459	2016(平成28)年・第63巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(100)1460	2016(平成28)年・第63巻・第10号
2016(平成28)年・第63巻・第11号			2016(平成28)年・第63巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(339) 中山蘭渚の肖像と筆跡	小曽戸洋	(2)1474	2016(平成28)年・第63巻・第11号
巻頭言／もっと寄り添うて。漢方、更なる発展のために。	田畑隆一郎	(11)1483	2016(平成28)年・第63巻・第11号
【第26回漢方治療研究会・特別講演1】 浅田宗伯と『傷寒論』について	山崎正寿	(13)1485	2016(平成28)年・第63巻・第11号
蠥虫を求めて	濱口昭宏	(21)1493	2016(平成28)年・第63巻・第11号
抑肝散加味－人参と黄連	佐藤田實	(27)1499	2016(平成28)年・第63巻・第11号
桂枝茯苓丸加薏苡仁が有効であった手のこわばりの4例について	永井良樹	(33)1505	2016(平成28)年・第63巻・第11号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その8)	織部和宏	(37)1509	2016(平成28)年・第63巻・第11号
成城漢方雑話(11) 牛車腎気丸の2症例	盛岡頼子	(40)1512	2016(平成28)年・第63巻・第11号
東洋堂経験余話(284) ▽疲労性の不眠に抑肝散料加芍薬黄連酸棗仁▽狭心症に合併した目まいに苓桂朮甘湯	松本一男	(43)1515	2016(平成28)年・第63巻・第11号
漢方牛歩録(338) ▽腰部脊柱管狭窄症に疎経活血湯▽足趾関節炎に越婢加朮湯▽大腿四頭筋痛に麻杏薏甘湯	中村謙介	(46)1518	2016(平成28)年・第63巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算58) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(43) ひね生姜を使用した2症例(生姜瀉心湯・生姜半夏湯)	井上博喜・田原英一ほか	(48)1520	2016(平成28)年・第63巻・第11号
北里東医研診療録から(153) 八味丸料でうつ状態が改善した一例	青木ゆかり・小田口浩・花輪壽彦ほか	(55)1527	2016(平成28)年・第63巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(146) 厚朴七物湯の症例・脈数のこと	千田五月ほか	(60)1532	2016(平成28)年・第63巻・第11号
無門塾治験雑録(71) 温経湯が奏功した症例	斉藤明美ほか	(64)1536	2016(平成28)年・第63巻・第11号
『傷寒論』の傷寒とは、腸チフスに擬するのが妥当か	折角二世	(69)1541	2016(平成28)年・第63巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(64)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(71)1543	2016(平成28)年・第63巻・第11号
リアル傷寒論(49)	齋藤謙一	(76)1548	2016(平成28)年・第63巻・第11号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(10)／座談会 桂枝湯を語る	細野史郎・大塚敬節・和田正系・藤平健・矢数道明・気賀林一	(83)1555	2016(平成28)年・第63巻・第11号
多紀元堅の『時還読我書』を読みて	秋葉哲生	(92)1564	2016(平成28)年・第63巻・第11号
「國立自然科學博物館(National Museum of Natural Science)」見学記－第1回中華民国・日本東洋医学研究会参加に付随して－	尾崎和成・首藤達哉・蔭山充	(95)1567	2016(平成28)年・第63巻・第11号
尾台榕堂記念碑建立五周年懇談会	小曽戸洋	(98)1570	2016(平成28)年・第63巻・第11号

第26回漢方治療研究会、北里大学で開催		(99)1571	2016(平成28)年・第63巻・第11号
寺澤捷年著『井見集付録』を読んで	村松慎一	(105)1577	2016(平成28)年・第63巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(107)1579	2016(平成28)年・第63巻・第11号
2016(平成28)年・第63巻・第12号			2016(平成28)年・第63巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(340) 後藤艮山の門人帳『儒医姓名録』	長野仁	(2)1590	2016(平成28)年・第63巻・第12号
巻頭言／卒前教育における東洋医学と西洋医学の〝融合〟とは	松田隆秀	(11)1599	2016(平成28)年・第63巻・第12号
シリーズ企画／"生薬の品質とは？"ー 臨床医が語る"生薬の品質とは？"(上)	丁宗鐵・花輪壽彦・金成俊・秋葉哲生 司会:山田享弘	(13)1601	2016(平成28)年・第63巻・第12号
北里東医研診療録から(154) 正気天香湯が有効であった月経困難症の3症例	齋藤絵美・小田口浩・花輪壽彦ほか	(27)1615	2016(平成28)年・第63巻・第12号
〈素問・咳論〉五臓六腑みな人をして咳せしむ、独り肺のみにあらざるなりー肺疾患治療薬無効な難治性肺疾患を、肝、心、脾、腎用薬で治療ー	土方康世	(33)1621	2016(平成28)年・第63巻・第12号
「効かせる漢方」冷えの第一選択に、真武湯と芩姜朮甘湯併用はいかが？	蔭山充	(41)1629	2016(平成28)年・第63巻・第12号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その9)	織部和宏	(44)1632	2016(平成28)年・第63巻・第12号
漢方研究室(33) 2016年10月号回答・講評 第33問	出題:三潴忠道	(49)1637	2016(平成28)年・第63巻・第12号
漢方研究室(34) 2016年12月号出題 第34問	出題:盛克己・宮崎瑞明	(59)1647	2016(平成28)年・第63巻・第12号
東洋堂経験余話(285) ▽老人性皮膚炎に梔子柏皮湯▽食欲不振と嘔吐に黄芩加半夏生姜湯	松本一男	(61)1649	2016(平成28)年・第63巻・第12号
漢方牛歩録(339) ▽腰部柱管狭窄症に疎経活血湯▽白鮮症にお酢療法▽変形性膝関節症兼ベーカー嚢腫に五苓散加枳実梔子	中村謙介	(64)1652	2016(平成28)年・第63巻・第12号
一般論文／解表剤にて発汗せず、利尿があり改善した腎盂腎炎の二例	野上達也	(67)1655	2016(平成28)年・第63巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算59) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(44) 呉茱萸湯が奏功した三症例	後藤雄輔・田原英一ほか	(71)1659	2016(平成28)年・第63巻・第12号
無門塾治験雑録(72) 重鎮安神剤「竜骨・牡蠣」	北川寛	(77)1665	2016(平成28)年・第63巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(147) 大棗の薬徴	佐藤知嗣ほか	(85)1673	2016(平成28)年・第63巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(65)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(95)1683	2016(平成28)年・第63巻・第12号
世界針灸連合会学術大会(WFAS)開催さる	安井廣迪	(101)1689	2016(平成28)年・第63巻・第12号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(11)／温知荘雑筆	矢数道明	(105)1693	2016(平成28)年・第63巻・第12号
オランダ商館長の日記より／江戸初期の医事を知ろう(3)	好古亭亭主	(111)1699	2016(平成28)年・第63巻・第12号
「醫譚賞」表彰式	松岡尚則	(114)1702	2016(平成28)年・第63巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(114)1702	2016(平成28)年・第63巻・第12号
2017(平成29)年・第64巻・第1号			2017(平成29)年・第64巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(341) 狩野芳崖筆の神農像他	小曽戸洋	(2)2	2017(平成29)年・第64巻・第1号
平成29年(2017年) 新年のことば 〔121名〕		(9)9	2017(平成29)年・第64巻・第1号
シリーズ企画／"生薬の品質とは？"ー 臨床医が語る"生薬の品質とは？"(下)	丁宗鐵・花輪壽彦・金成俊・秋葉哲生 司会:山田享弘	(91)91	2017(平成29)年・第64巻・第1号
一般論文／アフタ性口内炎に桂枝茯苓丸が奏功した1例	村井政史ほか	(105)105	2017(平成29)年・第64巻・第1号
慢性呼吸器疾患に対する柴胡桂枝湯を中心とする合方の検討	宮崎瑞明・盛克己ほか	(111)111	2017(平成29)年・第64巻・第1号
北里東医研診療録から(155) 胸椎圧迫骨折の疼痛に対し大黄附子湯が奏効した1例	鈴木邦彦・小田口浩・花輪壽彦	(121)121	2017(平成29)年・第64巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算60) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(45) ～皮膚疾患の3例～	田原英一ほか	(127)127	2017(平成29)年・第64巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(148) Oさんが30年持薬としている温経湯	田畑隆一郎ほか	(133)133	2017(平成29)年・第64巻・第1号
リアル傷寒論(50)	齋藤謙一	(139)139	2017(平成29)年・第64巻・第1号
展覧会「描かれた花々ー小磯良平の植物画を中心にーを見学して	久保重喜	(145)145	2017(平成29)年・第64巻・第1号
韓国韓医学通信(75)	金成俊	(148)148	2017(平成29)年・第64巻・第1号
江戸時代の漢方にみるオランダ医学の影響(1)	好古亭亭主	(150)150	2017(平成29)年・第64巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(151)151	2017(平成29)年・第64巻・第1号
2017(平成29)年・第64巻・第2号			2017(平成29)年・第64巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(342) 小田海僊筆の神農像	小曽戸洋	(2)162	2017(平成29)年・第64巻・第2号
巻頭言／ヒポクラテスに学ぶ東・西両医学の統合	本間行彦	(11)171	2017(平成29)年・第64巻・第2号
一般論文／エントロピー原理 生命系、東洋医学における意義(1)	岩崎勲	(13)173	2017(平成29)年・第64巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録A(149) 両手背の湿潤性湿疹に桂枝五物湯加石膏・黄耆・大黄が著効し その後は桂枝加黄耆湯合四物湯加荊芥地骨皮で仕上げた症例	蓮村幸兌ほか	(21)181	2017(平成29)年・第64巻・第2号
平凡な1症例が教えてくれた浅田宗伯が解き放った地黄の呪縛	桒谷圭二	(27)187	2017(平成29)年・第64巻・第2号
二次性口腔内灼熱症候群に対し梔子柏皮湯が奏功した1症例	小原洋昭ほか	(31)191	2017(平成29)年・第64巻・第2号
増液湯加味により治療し得た結節性甲状腺腫の二例	荘明仁・平崎能郎	(35)195	2017(平成29)年・第64巻・第2号

玉屏風散の服用にてアレルギー性鼻炎および夏場の多汗が改善された症例～表虚に対する黄耆の応用～	細野美佐子ほか	(43)203	2017(平成29)年・第64巻・第2号
北里東医研診療録から(156) 頭頸部の多愁訴に柴胡桂枝湯エキスが奏効した1症例	石毛達也・小田口浩・花輪壽彦	(47)207	2017(平成29)年・第64巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算61) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(46) ～治打撲一方の打撲・外傷の症例以外への活用～	吉永亮・田原英一ほか	(53)213	2017(平成29)年・第64巻・第2号
東洋堂経験余話(286) ▽感冒後の激しい咳嗽に麦門冬湯加五味子、桑白皮▽ノロウィルスに麻黄湯	松本一男	(59)219	2017(平成29)年・第64巻・第2号
漢方牛歩録(340) ▽炎症を伴うムカスに五苓散加枳実梔子▽慢性頭痛に呉茱萸湯▽頻尿・尿失禁に清心蓮子飲	中村謙介	(62)222	2017(平成29)年・第64巻・第2号
漢方研究室(34) 2016年12月号回答・講評 第34問	出題:盛克己・宮崎瑞明	(65)225	2017(平成29)年・第64巻・第2号
『勿誤薬室方函口訣』の出典調査から	堀田広満	(72)232	2017(平成29)年・第64巻・第2号
リアル傷寒論(51)	齋藤謙一	(74)234	2017(平成29)年・第64巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(66)	福田知顕・益田龍彦ほか	(81)241	2017(平成29)年・第64巻・第2号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(12)／座談会 小建中湯を語る	大塚敬節・藤平健・矢数道明・気賀林一	(89)249	2017(平成29)年・第64巻・第2号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(13)／河童随筆〈表彰状〉	間中喜雄	(100)260	2017(平成29)年・第64巻・第2号
内蒙古国際蒙医医院と蒙医薬博物館	松岡尚則ほか	(102)262	2017(平成29)年・第64巻・第2号
韓国韓医学通信(76)	金成俊	(106)266	2017(平成29)年・第64巻・第2号
江戸時代の漢方にみるオランダ医学の影響(2)	好古亭亭主	(108)268	2017(平成29)年・第64巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(109)269	2017(平成29)年・第64巻・第2号
2017(平成29)年・第64巻・第3号			2017(平成29)年・第64巻・第3号
[口絵]目でみる漢方史料館(343) 『針刺枢要之歌』の真相	長野仁	(2)278	2017(平成29)年・第64巻・第3号
巻頭言／チーム四物湯	三谷和男	(11)287	2017(平成29)年・第64巻・第3号
東亜医学協会理事長就任にあたって	秋葉哲生	(13)289	2017(平成29)年・第64巻・第3号
高齢男性の認知症周辺症状に桃核承気湯が奏功した1例	桒谷圭二	(15)291	2017(平成29)年・第64巻・第3号
北里東医研診療録から(157) 会陰痛に附子湯が奏効した1例	星野卓之・小田口浩・花輪壽彦	(19)295	2017(平成29)年・第64巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算62) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(47) 桂枝加竜骨牡蛎湯の漢方治療	矢野博美・田原英一ほか	(25)301	2017(平成29)年・第64巻・第3号
東洋堂経験余話(287) ▽胃のカルチノイド手術後の後遺症に旋復花代赭石湯▽鼻血および月経血過多に芎帰膠艾湯	松本一男	(31)307	2017(平成29)年・第64巻・第3号
漢方牛歩録(341) ▽腓腹筋痛に疎経活血湯▽頭痛に当帰芍薬散など▽蟻走感に薏苡仁湯	中村謙介	(34)310	2017(平成29)年・第64巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録B(150) 漢方と鍼灸	山下耕司ほか	(37)313	2017(平成29)年・第64巻・第3号
東海鍼灸医案(57) 急性腰痛(2)	髙士将典・荒井勝彦	(41)317	2017(平成29)年・第64巻・第3号
漢方研究室(35) 2017年3月号出題 第35問	出題:織部和宏	(46)322	2017(平成29)年・第64巻・第3号
一般論文／エントロピー原理 生命系、東洋医学における意義(2)	岩崎勲	(49)325	2017(平成29)年・第64巻・第3号
「関前の短脈」への処方－抑肝散(加陳皮半夏)の使用目標－	小髙修司	(55)331	2017(平成29)年・第64巻・第3号
宋以前『傷寒論』考える:悪寒の桂枝湯	岡田研吉ほか	(63)339	2017(平成29)年・第64巻・第3号
浅井国幹の遺志を現代に活かす(1)	伊藤嘉紀	(75)351	2017(平成29)年・第64巻・第3号
奥田謙藏『皇漢医学要方解説』第二版は刊行されたのか	宮田圭	(81)357	2017(平成29)年・第64巻・第3号
江戸時代の漢方にみるオランダ医学の影響(3)	好古亭亭主	(83)359	2017(平成29)年・第64巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(67)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(85)361	2017(平成29)年・第64巻・第3号
リアル傷寒論(52)	齋藤謙一	(90)366	2017(平成29)年・第64巻・第3号
『漢方と最新治療』第100号発刊記念シンポジウム開催		(95)371	2017(平成29)年・第64巻・第3号
韓国韓医学通信(77)	金成俊	(97)373	2017(平成29)年・第64巻・第3号
木下優子先生を偲んで	杉山友彦	(100)376	2017(平成29)年・第64巻・第3号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(14)／河童随筆〈匠気〉	間中喜雄	(102)378	2017(平成29)年・第64巻・第3号
寺澤富山大名誉教授全日本学士会アカデミア賞を受賞		(104)380	2017(平成29)年・第64巻・第3号
図書紹介／小根山隆祥・佐藤知嗣・飛奈良治著『神農本草経の植物』	森由雄	(104)380	2017(平成29)年・第64巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(105)381	2017(平成29)年・第64巻・第3号
2017(平成29)年・第64巻・第4号			2017(平成29)年・第64巻・第4号
[口絵]目でみる漢方史料館(344) 村井琴山の肖像と墨跡	小曽戸洋	(2)390	2017(平成29)年・第64巻・第4号
巻頭言／第68回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって	金子幸夫	(11)399	2017(平成29)年・第64巻・第4号
一般論文／桂枝湯を通じて考える表裏の構造Ⅰ 桂枝湯は何を動かすのか－めまいと桂枝湯－	宮澤裕治	(13)401	2017(平成29)年・第64巻・第4号
一般論文／エントロピー原理 生命系、東洋医学における意義(3)	岩崎勲	(21)409	2017(平成29)年・第64巻・第4号
津田玄仙の口訣を参考に補中益気湯が奏功した慢性めまいの1症例	桒谷圭二	(31)419	2017(平成29)年・第64巻・第4号
帯状疱疹＆帯状疱疹後神経痛へのアプローチ－それからわかった2～3の事柄－	樋口理	(35)423	2017(平成29)年・第64巻・第4号

北里東医研診療録から(158) 味覚異常と倦怠感を目標に投与した補中益気湯で心不全が心不全症状が改善した一例	小田口浩・花輪壽彦	(43)431	2017(平成29)年・第64巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録B(151) 当帰の代わりに川芎を入れ、川芎建中湯を作ってみた	飯田敏雄ほか	(47)435	2017(平成29)年・第64巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算63) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(48) 〝漢方とポリファーマシー〟について考える	土倉潤一郎・田原英一ほか	(53)441	2017(平成29)年・第64巻・第4号
一次性頭痛に対する漢方治療有効例の検討	盛克己・宮崎瑞明ほか	(59)447	2017(平成29)年・第64巻・第4号
原典版「神仙太乙膏」の試作－処方中の黄丹(鉛丹)でゴマ油は樹脂状に硬化する－	笛木司ほか	(65)453	2017(平成29)年・第64巻・第4号
東洋堂経験余話(288) ▽原因不明の慢性の下痢に桂枝湯加芍薬乾姜湯▽インフルエンザに白虎湯	松本一男	(71)459	2017(平成29)年・第64巻・第4号
漢方牛歩録(342) ▽慢性気管支喘息を伴う老人性皮膚瘙痒症▽腰痛椎間板ヘルニアに疎活血湯など▽膝関節炎に越婢加朮湯	中村謙介	(74)462	2017(平成29)年・第64巻・第4号
漢方研究室(36) 2017年4月号出題 第36問	出題:花輪壽彦	(77)465	2017(平成29)年・第64巻・第4号
浅井国幹の遺志を現代に活かす(2)	伊藤嘉紀	(81)469	2017(平成29)年・第64巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(68)	奥田隆司・鶴博生ほか	(95)483	2017(平成29)年・第64巻・第4号
リアル傷寒論(53)	齋藤謙一	(100)488	2017(平成29)年・第64巻・第4号
中国・宮廷医列伝(1)	静貴生	(106)494	2017(平成29)年・第64巻・第4号
先生の視線の先にあったもの－松本克彦先生を偲んで－	西本隆	(109)497	2017(平成29)年・第64巻・第4号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(15)／漢方における脈診の正しい概念	陳居霖 訳:石原明	(111)499	2017(平成29)年・第64巻・第4号
編集長のつぶやき－湯液家の脈診には定型が無い？－	秋葉哲生	(114)502	2017(平成29)年・第64巻・第4号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(16)／温知荘雑筆－人名・書名のこと－	矢数道明	(115)503	2017(平成29)年・第64巻・第4号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(17)／河童随筆〈文字と事実〉	間中喜雄	(118)506	2017(平成29)年・第64巻・第4号
図書紹介／小根山隆祥・佐藤知嗣・飛奈良治著『神農本草経の植物』	秋葉哲生	(120)508	2017(平成29)年・第64巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(120)508	2017(平成29)年・第64巻・第4号
2017(平成29)年・第64巻・第5号			2017(平成29)年・第64巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(345) 村井琴山『傷寒論講録』『類聚方議』	星野卓之・小曽戸洋	(2)518	2017(平成29)年・第64巻・第5号
巻頭言／漢方と蘭方	真柳誠	(11)527	2017(平成29)年・第64巻・第5号
座談会／医療用漢方製剤秘話	小根山隆祥・三上正利・ 佐々木博・中島実・ 秋葉哲生 司会:金成俊	(13)529	2017(平成29)年・第64巻・第5号
一般論文／訪問診療における疼痛管理に漢方が有効的であった3症例の検討	阿南栄一朗・織部和宏	(33)549	2017(平成29)年・第64巻・第5号
一般論文／桂枝湯を通じて考える表裏の構造Ⅱ 桂枝湯により裏が動く理由－肝炎の治療例－	宮澤裕治	(39)555	2017(平成29)年・第64巻・第5号
北里東医研診療録から(159) 清熱補気湯が有効であった舌痛症例とその舌証について	伊藤剛・小田口浩・花輪壽彦	(47)563	2017(平成29)年・第64巻・第5号
手のひえ、ほてりを簡易型サーモグラフィで診ると－方法と症例の報告－	久保重喜	(53)569	2017(平成29)年・第64巻・第5号
成城漢方雑話(12) 八味丸、補中益気湯の投与により、尿道バルーンカテーテルの抜去に成功した高齢者の1症例	盛岡頼子	(59)575	2017(平成29)年・第64巻・第5号
中気下陥により非結核性抗酸菌症(NTM)と子宮脱を併発した症例	大関潤一ほか	(63)579	2017(平成29)年・第64巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算64) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(49)漢方治療により夫婦関係が良好になった3症例	井上博喜・田原英一ほか	(69)585	2017(平成29)年・第64巻・第5号
東洋堂経験余話(289) ▽婦人の腹痛に枳実芍薬散料▽長く続く腹痛下痢に胃風湯	松本一男	(74)590	2017(平成29)年・第64巻・第5号
漢方研究室(35) 2017年3月号回答・解答・講評 第35問	出題:織部和宏	(77)593	2017(平成29)年・第64巻・第5号
浅井国幹の遺志を現代に活かす(3)	伊藤嘉紀	(87)603	2017(平成29)年・第64巻・第5号
伝統医学が国際疾病分類(ICD)に入る意義 その1	渡辺賢治	(97)613	2017(平成29)年・第64巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(69)	鶴博生・樋口理ほか	(107)623	2017(平成29)年・第64巻・第5号
中国・宮廷医列伝(2)	静貴生	(113)629	2017(平成29)年・第64巻・第5号
江戸時代の漢方にみるオランダ医学の影響(4)	好古亭亭主	(117)633	2017(平成29)年・第64巻・第5号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(18)／河童随筆〈針灸術の命運〉	間中喜雄	(119)635	2017(平成29)年・第64巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(121)637	2017(平成29)年・第64巻・第5号
2017(平成29)年・第64巻・第6号			2017(平成29)年・第64巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(346) 森徹山画の張仲景像	小曽戸洋・町泉寿郎	(2)650	2017(平成29)年・第64巻・第6号
巻頭言／第34回和漢医薬学会学術大会の開催にあたって	岩崎克典	(11)659	2017(平成29)年・第64巻・第6号
北里東医研診療録から(160) 右下腹部痛を繰り返した腸間膜静脈硬化症の1例とその経過	森裕紀子・小田口浩・花輪壽彦	(13)661	2017(平成29)年・第64巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算65) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(50)	後藤雄輔・田原英一ほか	(21)669	2017(平成29)年・第64巻・第6号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その10)	織部和宏	(27)675	2017(平成29)年・第64巻・第6号
過敏性腸症候群(下痢型)に女神散が奏効した1例	桒谷圭二	(33)681	2017(平成29)年・第64巻・第6号

東洋堂経験余話(290) ▽右三叉神経痛に大黄黄連瀉心湯▽アレルギー性咳嗽に小柴胡湯合麦門冬湯加五味子	松本一男	(36)684	2017(平成29)年・第64巻・第6号
漢方牛歩録(343) ▽痛風発作に越婢加朮湯及び薏苡仁湯▽腰椎麻酔後の頭痛に五苓散	中村謙介	(40)688	2017(平成29)年・第64巻・第6号
慢性疾患に対する真武湯合小建中湯エキス剤の治療効果	宮崎瑞明・盛克己ほか	(43)691	2017(平成29)年・第64巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録B(152) 皮膚病二題－アトピー性皮膚炎と乾癬症皮膚炎－	北川寛ほか	(49)697	2017(平成29)年・第64巻・第6号
女神散と「命の母A」	山崎由佳里	(55)703	2017(平成29)年・第64巻・第6号
母親による施灸が夜尿症に有用で合った一症例	田宮大介・菊地学・伊藤隆ほか	(63)711	2017(平成29)年・第64巻・第6号
漢方研究室(36) 2017年4月号回答・解答・講評 第36問	出題:花輪壽彦	(69)717	2017(平成29)年・第64巻・第6号
漢方研究室(37) 2017年6月号出題 第37問	出題:大野修嗣	(82)730	2017(平成29)年・第64巻・第6号
伝統医学が国際疾病分類(ICD)に入る意義 その2	渡辺賢治	(85)733	2017(平成29)年・第64巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(70)	樋口理・竹山泰雄ほか	(95)743	2017(平成29)年・第64巻・第6号
西脇平士先生を悼む	濱口昭宏	(100)748	2017(平成29)年・第64巻・第6号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(19)／座談会 漢方の診療を語る	大塚敬節・矢数道明・藤平健・山田光胤	(103)751	2017(平成29)年・第64巻・第6号
江戸時代の漢方にみるオランダ医学の影響(5)	好古亭亭主	(124)772	2017(平成29)年・第64巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(125)773	2017(平成29)年・第64巻・第6号
2017(平成29)年・第64巻・第7号			2017(平成29)年・第64巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(347) 湯島聖堂神農像の由来	小曽戸洋	(2)782	2017(平成29)年・第64巻・第7号
巻頭言／漢方医学の今日的課題	白頭翁	(11)791	2017(平成29)年・第64巻・第7号
顔面を中心とした小児アトピー性皮膚炎に涼膈散が有効であった1例	中田真司・南澤潔	(13)793	2017(平成29)年・第64巻・第7号
北里東医研診療録から(161) 桂枝甘草竜骨牡蛎湯合半夏厚朴湯が奏効した3症例	及川哲郎・小田口浩・花輪壽彦	(19)799	2017(平成29)年・第64巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算66)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(51)	吉永亮・田原英一ほか	(25)805	2017(平成29)年・第64巻・第7号
東洋堂経験余話(291) ▽頭髪の抜けに大柴胡湯加竜骨牡蛎▽原因不明のノボセに黄連解毒湯加大黄	松本一男	(31)811	2017(平成29)年・第64巻・第7号
漢方牛歩録(344) ▽鬱滞性皮膚炎に疎経活血湯▽生理痛及び坐骨神経痛▽帯下に温経湯	中村謙介	(34)814	2017(平成29)年・第64巻・第7号
漢方研究室(38) 2017年7月号出題 第38問	出題:長瀬千秋	(36)816	2017(平成29)年・第64巻・第7号
東海鍼灸医案(58) 眼精疲労	髙士将典・荒井勝彦	(39)819	2017(平成29)年・第64巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録B(153) 白朮と蒼朮について	熊井啓子ほか	(43)823	2017(平成29)年・第64巻・第7号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(20)／座談会 漢薬を語る	丸山昌郎・和田正系・清水藤太郎・小林芳人・矢数道明・馬場辰二・細野史郎・大塚敬節	(51)831	2017(平成29)年・第64巻・第7号
産業保健に漢方の叡智を	杉山(針田)伸子・蔭山充	(63)843	2017(平成29)年・第64巻・第7号
伝統医学が国際疾病分類(ICD)に入る意義 その3	渡辺賢治	(69)849	2017(平成29)年・第64巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(71)	竹山泰雄・佐藤眞弓ほか	(79)859	2017(平成29)年・第64巻・第7号
漢方製剤の薬能解析〈生薬ユニットにもとづく隠れた効能・効果の推論〉(上)	秋葉哲生	(85)865	2017(平成29)年・第64巻・第7号
『五雲子腹診法』の作者はだれか？	川又正之	(89)869	2017(平成29)年・第64巻・第7号
中国・宮廷医列伝(3)	静貴生	(96)876	2017(平成29)年・第64巻・第7号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(21)／河童随筆(5)〈腎経の走向〉	間中喜雄	(99)879	2017(平成29)年・第64巻・第7号
韓国韓医学通信(77)	金成俊	(101)881	2017(平成29)年・第64巻・第7号
第68回 日本東洋医学会 学術総会 報告	篠原宣	(103)883	2017(平成29)年・第64巻・第7号
第68回 日本東洋医学会学術総会に参加して	澁谷惠子	(106)886	2017(平成29)年・第64巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(107)887	2017(平成29)年・第64巻・第7号
2017(平成29)年・第64巻・第8号			2017(平成29)年・第64巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(348) 変わった薬祖神像二点	小曽戸洋	(2)902	2017(平成29)年・第64巻・第8号
巻頭言／漢方治療研究会の存在意義を考える	三豬忠道	(11)911	2017(平成29)年・第64巻・第8号
『第27回漢方治療研究会・福島大会』に参加しよう！	花輪壽彦	(14)914	2017(平成29)年・第64巻・第8号
第1回 漢方湯液治療研究会 思い出の写真(平成3年11月10日)		(16)916	2017(平成29)年・第64巻・第8号
一般論文／四逆散合桂枝茯苓丸料が奏効しているスティッフパーソン症候群の1例	野上達也・嶋田豊	(19)919	2017(平成29)年・第64巻・第8号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その11)	織部和宏	(25)925	2017(平成29)年・第64巻・第8号
北里東医研診療録から(162) 血管運動性鼻炎に加味逍遙散料が有効であった一例	川鍋伊晃・小田口浩・花輪壽彦ほか	(28)928	2017(平成29)年・第64巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算67)『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(52)	矢野博美・田原英一ほか	(33)933	2017(平成29)年・第64巻・第8号
東洋堂経験余話(292) ▽右膝痛の芍甘黄辛附湯▽感冒ばかり良くひく人に、小柴胡湯加五味子	松本一男	(38)938	2017(平成29)年・第64巻・第8号
漢方牛歩録(345) ▽腕神経不全麻痺に疎経活血湯▽結晶性手関節炎に越婢加朮湯▽足関節部滑液包炎に五苓散加枳実梔子	中村謙介	(41)941	2017(平成29)年・第64巻・第8号

漢方研究室(39) 2017年8月号出題 第39問	出題:西田愼二	(43)943	2017(平成29)年・第64巻・第8号
漢方研究室(37) 2017年6月号回答・解答・講評 第37問	出題:大野修嗣	(46)946	2017(平成29)年・第64巻・第8号
二〇一七夏・名古屋	小曽戸明子	(54)954	2017(平成29)年・第64巻・第8号
鍼治療で改善した突発性難聴の一例	藤井まゆみ	(55)955	2017(平成29)年・第64巻・第8号
伝統医学が国際疾病分類(ICD)に入る意義 その四	渡辺賢治	(59)959	2017(平成29)年・第64巻・第8号
現代社会における「漢方」の持つイメージの検討ー新聞記事の検索・分析からー	久保重喜	(71)971	2017(平成29)年・第64巻・第8号
図書紹介／クリスチャン・ラルセン他 人体らせん原理とハタヨーガの融合『メディカルヨーガ』	松橋俊夫	(87)987	2017(平成29)年・第64巻・第8号
漢方製剤の薬能解析〈生薬ユニットにもとづく隠れた効能・効果の推論〉(下)	秋葉哲生	(78)978	2017(平成29)年・第64巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(72)	佐藤眞弓・松藤英正ほか	(81)981	2017(平成29)年・第64巻・第8号
中国・宮廷医列伝(4)	静貴生	(88)988	2017(平成29)年・第64巻・第8号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(22)／座談会 鍼灸対談編 編集雑話	山崎廣熊・岡部素道 気賀林一〔聞き手〕	(93)993	2017(平成29)年・第64巻・第8号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(23)／河童随筆(6)〈木に竹をつぐ〉	間中喜雄	(106)1006	2017(平成29)年・第64巻・第8号
東亜医学協会 役員一覧(平成29年4月より)		(108)1008	2017(平成29)年・第64巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(109)1009	2017(平成29)年・第64巻・第8号
2017(平成29)年・第64巻・第9号			2017(平成29)年・第64巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(349) 『普済本事方』の宋刊本	小曽戸洋	(2)1018	2017(平成29)年・第64巻・第9号
巻頭言／伝統医学は常に流動的なものである～温知会600会記念・公開講演会	矢数芳英	(11)1027	2017(平成29)年・第64巻・第9号
一般論文／ブレンド茶の原材料と漢方薬の関連性について	三澤心・小田口浩・花輪壽彦ほか	(13)1029	2017(平成29)年・第64巻・第9号
成城漢方雑話(13) パニック障害と思われる症状に苓桂甘棗湯が有効であった一症例～合方に注意～	盛岡頼子	(26)1042	2017(平成29)年・第64巻・第9号
北里東医研診療録から(163) 大承気湯加味方で酒サが改善した一症例	五野由佳里・小田口浩・花輪壽彦ほか	(29)1045	2017(平成29)年・第64巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算68) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(53)	矢野博美・田原英一ほか	(35)1051	2017(平成29)年・第64巻・第9号
東洋堂経験余話(293) ▽感冒後の背痛に小陥胸湯▽胃が弱い人の感冒に桂枝加厚朴杏仁湯	松本一男	(40)1056	2017(平成29)年・第64巻・第9号
漢方牛歩録(346) ▽変形性頚椎症兼腕神経麻痺に疎経活血湯▽肩凝りに五苓散	中村謙介	(43)1059	2017(平成29)年・第64巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録B(154) 畑の中の三陰三陽(少陰病)	鈴木寛彦ほか	(45)1061	2017(平成29)年・第64巻・第9号
背部棘下筋硬結(寺澤穴)と胸脇部の苦満感・圧痛・筋緊張との関連性の研究	藤井理恵・伊藤隆ほか	(53)1069	2017(平成29)年・第64巻・第9号
東海鍼灸医案(59) 腰部脊柱管狭窄症	髙士将典・荒井勝彦	(59)1075	2017(平成29)年・第64巻・第9号
漢方研究室(38) 2017年7月号回答・解答・講評 第38問	出題:長瀬千秋	(64)1080	2017(平成29)年・第64巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(73)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(71)1087	2017(平成29)年・第64巻・第9号
二〇一七・八・十四 延岡	小曽戸明子	(77)1093	2017(平成29)年・第64巻・第9号
著名医家居宅跡探訪記／楽しいイエマイル(上)	濱口昭宏・平地治美	(79)1095	2017(平成29)年・第64巻・第9号
中国・宮廷医列伝(5)	静貴生	(85)1101	2017(平成29)年・第64巻・第9号
図書紹介／吉元昭治著『中・近世の傑人と医療』	吉川澄美	(91)1107	2017(平成29)年・第64巻・第9号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(24)／「常陸紀行」を読んで	高橋道史	(93)1109	2017(平成29)年・第64巻・第9号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(25)／河童随筆(7)〈天狗と河童〉	間中喜雄	(99)1115	2017(平成29)年・第64巻・第9号
旧稿拝見シリーズ／(「本草」第五号より)シャボンと石鹸	久内清孝	(101)1117	2017(平成29)年・第64巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(104)1120	2017(平成29)年・第64巻・第9号
2017(平成29)年・第64巻・第10号			2017(平成29)年・第64巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(350) 清原宣条の神農画賛	小曽戸洋	(2)1130	2017(平成29)年・第64巻・第10号
巻頭言／漢方の剤形について	今井淳	(11)1139	2017(平成29)年・第64巻・第10号
賀川玄悦の学統～賀川嫡家と大阪賀川家との関係について(上)	今井秀	(13)1141	2017(平成29)年・第64巻・第10号
皮膚という臓器(東洋医学をベースとして考える)(8)	二宮文乃ほか	(25)1153	2017(平成29)年・第64巻・第10号
一般論文/アルツハイマー病に対する半夏白朮天麻湯長期投与の効果	中江啓晴ほか	(37)1165	2017(平成29)年・第64巻・第10号
一般論文／耳管狭窄症に半夏厚朴湯と柴胡桂枝湯の併用が有効であったパニック障害の一例	正山勝	(43)1171	2017(平成29)年・第64巻・第10号
一般論文／桂枝人参湯合麻黄附子細辛湯による21治療例の検討ー表証治療の意義を問うー	宮澤裕治	(51)1179	2017(平成29)年・第64巻・第10号
北里東医研診療録から(164) 動悸に八味地黄丸が有効だった一症例	伊東秀憲・花輪壽彦・小田口浩	(62)1190	2017(平成29)年・第64巻・第10号
台風十八号	小曽戸明子	(68)1196	2017(平成29)年・第64巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算69) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(54) コリン性蕁麻疹に桂枝麻黄各半夏、抑うつ症状に八味地黄丸	前田ひろみ・田原英一ほか	(69)1197	2017(平成29)年・第64巻・第10号
臓腑経絡治療現象を簡易型サーモグラフィでみるとー症例報告ー	久保重喜	(75)1203	2017(平成29)年・第64巻・第10号

東洋堂経験余話(294) ▽原因不明の血尿に八味丸料加滑石▽左下腹部痛と頭痛、嘔吐に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	松本一男	(82)1210	2017(平成29)年・第64巻・第10号
漢方牛歩録(347) ガングリオンに五苓散加味方	中村謙介	(85)1213	2017(平成29)年・第64巻・第10号
漢方研究室(39) 2017年8月号回答・解答・講評 第39問	出題:西田愼二	(87)1215	2017(平成29)年・第64巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(74)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(97)1225	2017(平成29)年・第64巻・第10号
漢方を通して見たる四季の摂養(冬編)	田中吉左衛門	(101)1229	2017(平成29)年・第64巻・第10号
著名医家居宅跡探訪記／楽しいイエマイル(下)	濱口昭宏・平地治美	(103)1231	2017(平成29)年・第64巻・第10号
図書紹介／菅原健判読校註・織部和宏監修校註『有持桂里 方輿輗解説』	森由雄	(110)1238	2017(平成29)年・第64巻・第10号
中国・宮廷医列伝(6)	静貴生	(111)1239	2017(平成29)年・第64巻・第10号
第22回吉益東洞顕彰会報告	山崎正寿	(113)1241	2017(平成29)年・第64巻・第10号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(26)／供養の日	気賀林一	(116)1244	2017(平成29)年・第64巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(121)1249	2017(平成29)年・第64巻・第10号
2017(平成29)年・第64巻・第11号			2017(平成29)年・第64巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(351) 丹波敬三と神農像	小曽戸洋	(2)1258	2017(平成29)年・第64巻・第11号
巻頭言／コペンハーゲン精神と官立脚気病院	久保田達也	(11)1267	2017(平成29)年・第64巻・第11号
一般論文／奥田謙蔵『傷寒論梗概』における證の捉え方(前)	石島秀紀	(13)1269	2017(平成29)年・第64巻・第11号
寝汗に芍薬甘草附子湯が奏効した一症例	桜井みち代	(21)1277	2017(平成29)年・第64巻・第11号
高齢者の後鼻漏に排膿散及湯が有効であった2例	山本佳乃子・小暮敏明ほか	(25)1281	2017(平成29)年・第64巻・第11号
一般論文／加味帰脾湯エキスが奏効した高齢者の遅発性Tourette症候群の一例	野上達也・嶋田豊ほか	(33)1289	2017(平成29)年・第64巻・第11号
認知症の徘徊に防已地黄湯	福島辨造	(39)1295	2017(平成29)年・第64巻・第11号
温知会600回記念大会	小曽戸明子	(42)1298	2017(平成29)年・第64巻・第11号
烏梅丸料の使用経験	中田真司・小林豊	(43)1299	2017(平成29)年・第64巻・第11号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その12)－休作有時と往来寒熱－	織部和宏	(52)1308	2017(平成29)年・第64巻・第11号
北里東医研診療録から(165) 抑うつを伴う不眠を主訴に来院した患者に対して四逆散が有効であった2症例	遠藤大輔・花輪壽彦・小田口浩ほか	(55)1311	2017(平成29)年・第64巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算70) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(55) 運動によって誘発されたと思われる附子中毒疑い例	田原英一ほか	(61)1317	2017(平成29)年・第64巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録A(155) 竜胆瀉肝湯の症例	千田五月ほか	(65)1321	2017(平成29)年・第64巻・第11号
東洋堂経験余話(295) ▽頚椎の変形で左上肢がズキズキ痛むのに葛根加苓朮附湯▽頭が冴えて眠れない人に三黄瀉心湯	松本一男	(72)1328	2017(平成29)年・第64巻・第11号
漢方牛歩録(348) 頚椎症兼胸郭出口症候群に疎経活血湯▽膝関節血症に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽肘頭部滑液包炎に越婢加朮湯	中村謙介	(75)1331	2017(平成29)年・第64巻・第11号
賀川玄悦の学統～賀川嫡家と大阪賀川家との関係について(下)	今井秀	(77)1333	2017(平成29)年・第64巻・第11号
一芸にこり固まって患者に誠を尽くす	大塚敬節	(86)1342	2017(平成29)年・第64巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(75)	福田知顕・益田龍彦ほか	(87)1343	2017(平成29)年・第64巻・第11号
追悼 室賀昭三先生	大貫進	(94)1350	2017(平成29)年・第64巻・第11号
図書紹介／医方集解研究会編『医方集解学習ノート』		(95)1351	2017(平成29)年・第64巻・第11号
中国・宮廷医列伝(7)	静貴生	(96)1352	2017(平成29)年・第64巻・第11号
第27回漢方治療研究会、福島で開催	篠原宣	(100)1356	2017(平成29)年・第64巻・第11号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(27)生薬今昔ばなし(1)	長倉音蔵	(104)1360	2017(平成29)年・第64巻・第11号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(28)／河童随筆(8)〈予言者〉	ちぐあん(間中喜雄)	(107)1363	2017(平成29)年・第64巻・第11号
編集長の目	秋葉哲生	(109)1365	2017(平成29)年・第64巻・第11号
過去注目記事ダイジェスト(2)	白頭翁	(110)1366	2017(平成29)年・第64巻・第11号
旧稿拝見シリーズ(『本草』13号質問欄より)〇ナンジャモンジャ〇女青、冬青、杓骨	なんじゃ生	(111)1367	2017(平成29)年・第64巻・第11号
温知会600回記念会 開催		(112)1368	2017(平成29)年・第64巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(113)1369	2017(平成29)年・第64巻・第11号
2017(平成29)年・第64巻・第12号			2017(平成29)年・第64巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(352) 香川修庵自筆の「一本堂誓約書」	小曽戸洋	(2)1378	2017(平成29)年・第64巻・第12号
巻頭言／古代中国人の死生観について	新井信	(11)1387	2017(平成29)年・第64巻・第12号
漢方薬が奏効した尋常性疣贅の3症例	桜井みち代	(13)1389	2017(平成29)年・第64巻・第12号
一般論文／桂枝加竜骨牡蛎湯と鍼灸治療を併用し有効であった円形脱毛症の1例	山本昇伯・伊藤隆ほか	(19)1395	2017(平成29)年・第64巻・第12号
括蔞薤白白酒湯及びその類縁方剤の使用目標について	中田真司	(29)1405	2017(平成29)年・第64巻・第12号
北里東医研診療録から(166) 抑うつ症状に女神散が有効であった2症例	森瑛子・小田口浩・花輪壽彦ほか	(37)1413	2017(平成29)年・第64巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算71) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(56) 勉強会 四物湯類について	溝口孝輔・田原英一ほか	(43)1419	2017(平成29)年・第64巻・第12号

漢方牛歩録(349) ▽「身体が硬くなる」に抑肝散加陳皮半夏▽圧迫で誘発される蕁麻疹に十味敗毒湯	中村謙介	(48)1424	2017(平成29)年・第64巻・第12号
東洋堂経験余話(296) ▽原因不明の血便に黄土湯加大黄▽熱中症に五苓散料	松本一男	(50)1426	2017(平成29)年・第64巻・第12号
東洞の高弟・村井琴山	今井秀	(53)1429	2017(平成29)年・第64巻・第12号
一般論文／宇津木昆台の風寒熱病	松岡尚則・永塚憲治	(65)1441	2017(平成29)年・第64巻・第12号
一般論文／奥田謙蔵『傷寒論梗概』における證の捉え方(後)	石島秀紀	(73)1449	2017(平成29)年・第64巻・第12号
漢方研究室(40) 2017年12月号出題 第40問	出題:小林瑞	(79)1455	2017(平成29)年・第64巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(76)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(81)1457	2017(平成29)年・第64巻・第12号
東福寺荘厳院にある中西深斎の墓の現状とその回復について	庄子昇	(85)1461	2017(平成29)年・第64巻・第12号
韓国韓医学通信(79)	金成俊	(87)1463	2017(平成29)年・第64巻・第12号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(29)／往く年・来る年の漢方方談	大塚敬節・矢数道明・気賀林一	(89)1465	2017(平成29)年・第64巻・第12号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(30)生薬今昔ばなし(2)	長倉音蔵	(105)1481	2017(平成29)年・第64巻・第12号
旧稿拝見シリーズ／(「本草」第五号伝説欄より)本草一夕話	不崩畫史	(108)1484	2017(平成29)年・第64巻・第12号
神農祭	小曽戸明子	(109)1485	2017(平成29)年・第64巻・第12号
2017年「醫譚賞」表彰式	松岡尚則	(110)1486	2017(平成29)年・第64巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(111)1487	2017(平成29)年・第64巻・第12号
2018(平成30)年・第65巻・第1号			2018(平成30)年・第65巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(353) 多紀元堅の神農画賛	小曽戸洋	(2)2	2018(平成30)年・第65巻・第1号
平成30年(2018年)新年のことば		(9)9	2018(平成30)年・第65巻・第1号
新年のことば(番外編)／診薬連携と香蘇散の1例	山内浩	(89)89	2018(平成30)年・第65巻・第1号
新年のことば(番外編)／繊維筋痛症の一漢方治療例から	宮崎瑞明	(92)92	2018(平成30)年・第65巻・第1号
インタビュー／平潟紀行 田畑隆一郎先生	宮崎瑞明	(95)95	2018(平成30)年・第65巻・第1号
月経異常に対して六君子湯類が有効であった2例	中田真司	(101)101	2018(平成30)年・第65巻・第1号
一般論文／抑肝散証の考察(1)－「怒り」にとらわれず抑肝散証を読み解く－	宮澤裕治	(107)107	2018(平成30)年・第65巻・第1号
北里東医研診療録から(167) 茯苓桂枝甘草大棗湯が奏効した「胃から食道の痙攣」の1例	鈴木邦彦・小田口浩・花輪壽彦	(114)114	2018(平成30)年・第65巻・第1号
3症例を通じた五積散口訣の考察	小田口浩・星野卓之・花輪壽彦	(119)119	2018(平成30)年・第65巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算72) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(57) 『傷寒論』を参考に感染症を治療した3症例	井上博喜・田原英一ほか	(125)125	2018(平成30)年・第65巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録A(156) 寒さと傷み	田畑隆一郎ほか	(129)129	2018(平成30)年・第65巻・第1号
漢方研究室(41) 2018年1月号出題 第41問	出題:谷川聖明	(135)135	2018(平成30)年・第65巻・第1号
新聞記事の中で「漢方」がどのように扱われるか －テキストマイニングによる分析－	久保重喜	(137)137	2018(平成30)年・第65巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(77)	奥田隆司・鶴博生ほか	(147)147	2018(平成30)年・第65巻・第1号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(31)生薬今昔ばなし(3)	長倉音蔵	(151)151	2018(平成30)年・第65巻・第1号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(32)／河童随筆(9)〈分類〉	ちぐあん(間中喜雄)	(154)154	2018(平成30)年・第65巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(156)156	2018(平成30)年・第65巻・第1号
2018(平成30)年・第65巻・第2号			2018(平成30)年・第65巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(354) 香川修庵『一本堂薬選』『一本堂行余医言』	星野卓之	(2)166	2018(平成30)年・第65巻・第2号
巻頭言／症例報告の重要性	村松慎一	(11)175	2018(平成30)年・第65巻・第2号
頭痛2題 柴胡加竜骨牡蠣湯と加味逍遙散合抑肝散	桜井みち代	(13)177	2018(平成30)年・第65巻・第2号
アレルギー性鼻炎に対する甘草乾姜湯加桂皮末(散剤)有効例の検討	盛克己・宮崎瑞明	(17)181	2018(平成30)年・第65巻・第2号
成城漢方雑話(14) 手足の強い冷えを訴える患者の精神症状、めまい、冷えに黄連解毒湯が有効だった1症例	盛岡頼子	(23)187	2018(平成30)年・第65巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算73) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(58) 高齢者の便通異常に大承気湯を使用した2症例	後藤雄輔・田原英一ほか	(27)191	2018(平成30)年・第65巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録A(157) 約5か月間・一日の大半を寝たきりでいた頑固な瞑眩…格闘記録	蓮村幸兌ほか	(31)195	2018(平成30)年・第65巻・第2号
臍上の赤い腫れ物に桂枝附子湯を用いた1例	大野佳織	(39)203	2018(平成30)年・第65巻・第2号
柴胡桂枝湯を主とした処方により良好な経過が得られた多発性関節痛を伴う潰瘍性大腸炎の一例	荘明仁	(45)209	2018(平成30)年・第65巻・第2号
東洋堂経験余話(297) ▽糖尿病と肝機能障害及び痛風の改善に防風通聖散料合桂枝茯苓丸料▽急性胃炎に黄連湯加茯苓	松本一男	(52)216	2018(平成30)年・第65巻・第2号
漢方牛歩録(350) ▽肩凝りと不眠に疎経活血湯兼抑肝散加陳半▽肥満患者の変形性膝関節症に防已黄耆湯▽腹診と腹部大動脈瘤	中村謙介	(55)219	2018(平成30)年・第65巻・第2号
漢方研究室(40) 2017年12月号 第40問 回答・解答・講評	出題:小林瑞	(57)221	2018(平成30)年・第65巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(78)	鶴博生・樋口理ほか	(67)231	2018(平成30)年・第65巻・第2号
新聞記事「WHOが漢方を医学に認定」をどう読むか	長瀬千秋	(71)235	2018(平成30)年・第65巻・第2号
韓国韓医学通信(80)	金成俊	(72)236	2018(平成30)年・第65巻・第2号

第2回中華民国 日本東洋医学研究会学術総会参加記	尾崎和成・原田潤・蔭山充	(79)243	2018(平成30)年・第65巻・第2号
顔焜熒先生のご逝去を悼む	秋葉哲生	(82)246	2018(平成30)年・第65巻・第2号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(33)生薬今昔ばなし(4)	長倉音蔵	(84)248	2018(平成30)年・第65巻・第2号
追悼　土方康世先生	小曽戸明子	(87)251	2018(平成30)年・第65巻・第2号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(34)／河童随筆(10)〈ふたたび分類について〉	ちぐあん(間中喜雄)	(88)252	2018(平成30)年・第65巻・第2号
『本草』創刊号より(昭和7年8月刊行)諸侯の本草道楽	市島春城	(90)254	2018(平成30)年・第65巻・第2号
編集長の目／”『医心方』校刻と医学館”	秋葉哲生	(93)257	2018(平成30)年・第65巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(96)260	2018(平成30)年・第65巻・第2号
2018(平成30)年・第65巻・第3号			2018(平成30)年・第65巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(355) 昭和五十年代の記念写真2枚	小曽戸洋	(2)270	2018(平成30)年・第65巻・第3号
巻頭言／新米開業医の戯言	室賀一宏	(11)279	2018(平成30)年・第65巻・第3号
シリーズ企画－〝生薬の品質とは〟－ 薬剤師が語る”生薬の品質とは？”	坂田幸治・佐橋佳郎・ 飛奈良治・針ヶ谷哲也・ 秋葉哲生・金成俊〔司会〕	(13)281	2018(平成30)年・第65巻・第3号
石島秀紀氏の「奥田謙蔵『傷寒論梗概』における證の捉え方」を読んで	中村謙介	(31)299	2018(平成30)年・第65巻・第3号
北里東医研診療録から(168)　堅中湯の2症例	石毛達也・花輪壽彦・小田口浩	(34)302	2018(平成30)年・第65巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算74) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(59) 頭痛や気分不良などの諸症状を呈した重症水毒の一例	吉永亮・田原英一ほか	(39)307	2018(平成30)年・第65巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(158)　夜ドキドキする、おしっこが溜まるとドキドキする	山下耕司ほか	(45)313	2018(平成30)年・第65巻・第3号
東洋堂経験余話(298)　▽当帰拈痛湯で予想外の足のカビを防止▽副鼻腔炎に防風通聖散料加辛夷	松本一男	(48)316	2018(平成30)年・第65巻・第3号
漢方牛歩録(351)　▽腰痛症に当帰建中湯▽変形性頚椎症兼手根管症候群に疎経活血湯▽項背部部痛に葛根加朮附湯合芍薬甘草湯	中村謙介	(52)320	2018(平成30)年・第65巻・第3号
漢方研究室(41)　2018年1月号　第41問 回答・解答・講評	出題:谷川聖明	(54)322	2018(平成30)年・第65巻・第3号
一般論文／看護専門学校生の漢方に対する意識調査	中江啓晴ほか	(63)331	2018(平成30)年・第65巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(79)	樋口理・竹山泰雄ほか	(69)337	2018(平成30)年・第65巻・第3号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(35)生薬今昔ばなし(5)	長倉音蔵	(74)342	2018(平成30)年・第65巻・第3号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(36)／河童随筆(11)〈うそから出たまこと〉	ちぐあん(間中喜雄)	(78)346	2018(平成30)年・第65巻・第3号
寺師睦宗先生のご逝去を悼む	小曽戸洋	(80)348	2018(平成30)年・第65巻・第3号
薩摩隼人・寺師睦宗先生を追慕する	土屋伊磋雄	(81)349	2018(平成30)年・第65巻・第3号
土方康世先生のご逝去を悼む	峯尚志	(84)352	2018(平成30)年・第65巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(87)355	2018(平成30)年・第65巻・第3号
2018(平成30)年・第65巻・第4号			2018(平成30)年・第65巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(356) 『医家千字文註』影古鈔本の出現	小曽戸洋	(2)366	2018(平成30)年・第65巻・第4号
巻頭言／第69回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって	後山尚久	(11)375	2018(平成30)年・第65巻・第4号
『傷寒論』『金匱要略』から学ぶ附子・烏頭剤の運用	福田佳弘	(13)377	2018(平成30)年・第65巻・第4号
関節リウマチによる続発性アミロイドーシスが疑われた、頭痛、嘔吐、下痢に対して桂枝人参湯と半夏白朮天麻湯の合方が有効であった一例	長瀬千秋	(29)393	2018(平成30)年・第65巻・第4号
精神疾患治療薬が減薬・廃薬できた、精神疾患漢方治療有効例の検討	盛克己・宮崎瑞明	(33)397	2018(平成30)年・第65巻・第4号
北里東医研診療録から(169)　機能性消化管障害に寛中湯が奏効した2例	星野卓之・小田口浩・花輪壽彦	(40)404	2018(平成30)年・第65巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算75) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(60) リウマチ性多発筋痛症に桂枝二越婢一湯加朮附が有効であった一例	久保田正樹・田原英一ほか	(45)409	2018(平成30)年・第65巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(159)　原因不明のような風邪の症状　括蔞桂枝湯	飯田敏雄ほか	(51)415	2018(平成30)年・第65巻・第4号
東洋堂経験余話(299)　▽関節リウマチに薏苡仁湯▽咽頭痛に半夏散及湯合桔梗湯	松本一男	(57)421	2018(平成30)年・第65巻・第4号
漢方牛歩録(352)　▽足関節部滑液包炎に越婢加朮湯▽変形性頚椎症に小建中湯▽閉塞性動脈硬化症による膝部痛に四逆湯加味	中村謙介	(60)424	2018(平成30)年・第65巻・第4号
鼈甲を求めて	濱口昭宏	(63)427	2018(平成30)年・第65巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(80)	竹山泰雄・佐藤眞弓ほか	(69)433	2018(平成30)年・第65巻・第4号
美の求道者たち～宮廷の美容術～	静貴生	(74)438	2018(平成30)年・第65巻・第4号
漢方もチームで・二〇一八品川	小曽戸明子	(79)443	2018(平成30)年・第65巻・第4号
寺澤捷年先生の受賞をお祝いする会	八木明男	(80)444	2018(平成30)年・第65巻・第4号
東福寺荘厳院法要報告	庄子昇	(81)445	2018(平成30)年・第65巻・第4号
”編集長の目”『漢方と漢薬』記事から　昭和十五年の葛根湯エキス散について	秋葉哲生	(82)446	2018(平成30)年・第65巻・第4号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(37)／河童随筆(12)〈整党〉	ちぐあん(間中喜雄)	(85)449	2018(平成30)年・第65巻・第4号
寺師睦宗先生を偲ぶ	蓮村幸兌	(87)451	2018(平成30)年・第65巻・第4号
寺師睦宗先生と沖縄の漢方	仲原靖夫	(87)451	2018(平成30)年・第65巻・第4号

漢方関係学会・研究会予定(5月)		(92)456	2018(平成30)年・第65巻・第4号
2018(平成30)年・第65巻・第5号			2018(平成30)年・第65巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(357) 森立之自筆本『金匱要略攷注』	小曽戸洋	(2)466	2018(平成30)年・第65巻・第5号
巻頭言／ようこそ！　漢方三昧へ！　漢方治療研究会 in 九州	田原英一	(11)475	2018(平成30)年・第65巻・第5号
第27回 漢方治療研究会 特別企画 シンポジウム　医案を語る	司会:伊藤隆 石毛達也・阿南栄一朗 吉永亮・津嶋伸彦 高崎朗	(13)477	2018(平成30)年・第65巻・第5号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その13)	織部和宏	(38)502	2018(平成30)年・第65巻・第5号
北里東医研診療録から(170)　断痢湯で抑うつ、不安症状が改善した一例	小田口浩・花輪壽彦	(41)505	2018(平成30)年・第65巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算76) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(61) 誤嚥性肺炎治療後に発熱が遷延し便秘を認めた症例に乙字湯の使用経験	溝口孝輔・田原英一ほか	(45)509	2018(平成30)年・第65巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(160)　括楼枳実湯の症例	千田五月ほか	(49)513	2018(平成30)年・第65巻・第5号
一般論文／抑肝散証の考察(2)－肝気高ぶり、下焦陰虚、そして抑肝散証の本質とは？－	宮澤裕治	(53)517	2018(平成30)年・第65巻・第5号
反復性偽性腸閉塞による入院回数が鍼治療、井穴刺絡(浅見鉄男法)導入で激減した一症例	西勝久	(59)523	2018(平成30)年・第65巻・第5号
東洋堂経験余話(300)　▽原因不明の頭重に白朮附子湯▽疲労から来る咽嗄れに柴胡去半夏加栝楼湯	松本一男	(65)529	2018(平成30)年・第65巻・第5号
漢方牛歩録(353)　▽チックに甘麦大棗湯▽肩関節周囲炎に二朮湯▽蕁麻疹に十味敗毒湯	中村謙介	(68)532	2018(平成30)年・第65巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(81)	佐藤眞弓・松藤英正ほか	(71)535	2018(平成30)年・第65巻・第5号
第10回 台北国際中医薬学術フォーラム2018に参加して	並木隆雄・松岡尚則	(75)539	2018(平成30)年・第65巻・第5号
奥田謙蔵と湯本求真の旧居を訪ねて	宮田圭	(79)543	2018(平成30)年・第65巻・第5号
十河孝博先生との出会い	上桝次郎	(85)549	2018(平成30)年・第65巻・第5号
寺師睦宗先生との想い出 出逢いと別れ	小池加能	(87)551	2018(平成30)年・第65巻・第5号
故 寺師睦宗先生 お別れの会ご案内		(89)553	2018(平成30)年・第65巻・第5号
第69回 日本東洋医学会学術総会 主要プログラム		(90)554	2018(平成30)年・第65巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(94)558	2018(平成30)年・第65巻・第5号
2018(平成30)年・第65巻・第6号			2018(平成30)年・第65巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(358) 谷文晁画・多紀元堅賛の神農像	小曽戸洋	(2)574	2018(平成30)年・第65巻・第6号
巻頭言／第35回和漢医薬学会学術大会開催にあたって	稲垣直樹	(11)583	2018(平成30)年・第65巻・第6号
症例に基づく薬方の病態　柴胡桂枝乾姜湯・四逆散・逍遥散・疎経活血湯・温胆湯について	山崎正寿	(13)585	2018(平成30)年・第65巻・第6号
養腎降濁湯の投与により良好な経過を辿っている慢性腎不全の2症例	大関潤一ほか	(25)597	2018(平成30)年・第65巻・第6号
北里東医研診療録から(171)　性転換手術後の難治性慢性腹膜炎症状が大黄牡丹皮湯にて改善した一症例	伊藤剛・花輪壽彦・小田口浩	(32)604	2018(平成30)年・第65巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算77) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(62) 漢方治療により頭痛及び自立神経バランスの改善を確認した水毒症状	溝口孝輔・田原英一ほか	(37)609	2018(平成30)年・第65巻・第6号
東洋堂経験余話(301)　▽ストレスからの心下部の膨満と痛みに柴胡桂枝湯加枳実▽永年の偏頭痛に呉茱萸湯	松本一男	(41)613	2018(平成30)年・第65巻・第6号
漢方牛歩録(354)　▽大腿四頭筋炎に越婢加朮湯▽腹満感に大建中湯▽ガングリオンに五苓散加枳実梔子	中村謙介	(44)616	2018(平成30)年・第65巻・第6号
操体法のお勧め－日常診療の友に－	須永隆夫	(46)618	2018(平成30)年・第65巻・第6号
「黄斑下部の繊維増殖症」の治療について	伊藤文彌	(49)621	2018(平成30)年・第65巻・第6号
会員の独り言－椎間板ヘルニアに対する桂枝加朮附湯の3例－	三原孝典	(51)623	2018(平成30)年・第65巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(161)　蜀漆について	熊井啓子ほか	(57)629	2018(平成30)年・第65巻・第6号
書評／山田光胤著『千金翼方と傷寒論』	森由雄	(63)635	2018(平成30)年・第65巻・第6号
漢方研究室(42)　2018年6月号出題　第42問	出題:岩崎勲	(64)636	2018(平成30)年・第65巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(82)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(67)639	2018(平成30)年・第65巻・第6号
美の求道者たち～宮廷の美容術～　～則天武皇后の美容術～	静貴生	(71)643	2018(平成30)年・第65巻・第6号
寺師睦宗先生の思い出	平地治美	(76)648	2018(平成30)年・第65巻・第6号
中華民国生薬学会　第九届第三次会員大会に参加して	宮田圭	(80)652	2018(平成30)年・第65巻・第6号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(38)／河童随筆(13)〈わが道を行く〉	ちぐあん(間中喜雄)	(83)655	2018(平成30)年・第65巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(86)658	2018(平成30)年・第65巻・第6号
2018(平成30)年・第65巻・第7号			2018(平成30)年・第65巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(359) 『啓迪集』自序	小曽戸洋	(2)670	2018(平成30)年・第65巻・第7号
巻頭言／私が語り得るもの	中川良隆	(11)679	2018(平成30)年・第65巻・第7号
発達障害の症例で経験した麻杏薏甘湯の向精神作用	垣迫真一・織部和宏	(15)683	2018(平成30)年・第65巻・第7号
北里東医研診療録から(172)　挙児希望を主訴に漢方外来を受診した患者の検討	森裕紀子・花輪壽彦・小田口浩	(19)687	2018(平成30)年・第65巻・第7号

飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算78) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(63) 動悸に炙甘草湯を使用した3症例	後藤雄輔・田原英一ほか	(27)695	2018(平成30)年・第65巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(162)　過度の緊張に伴う多汗に四逆散と竜胆瀉肝湯の併用が奏功した症例	斉藤明美ほか	(33)701	2018(平成30)年・第65巻・第7号
東洋堂経験余話(302)　▽長期間におけるヘルペス後遺症に葛根加苓朮附湯▽睡眠障害に柴胡加竜骨牡蛎湯	松本一男	(38)706	2018(平成30)年・第65巻・第7号
漢方牛歩録(355)　▽手指腱鞘炎に薏苡仁湯▽心因性の背部痛に半夏厚朴湯▽下腿の倦怠感に疎経活血湯	中村謙介	(42)710	2018(平成30)年・第65巻・第7号
慢性疾患に対する柴胡桂枝湯合小建中湯エキス剤の治療効果	宮崎瑞明・盛克己ほか	(45)713	2018(平成30)年・第65巻・第7号
一般論文／宇津木昆台の字	松岡尚則ほか	(53)721	2018(平成30)年・第65巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(83)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(59)727	2018(平成30)年・第65巻・第7号
日本の医学思想はいかに変遷したか	秋葉哲生	(65)733	2018(平成30)年・第65巻・第7号
美の求道者たち～宮廷の美容術、最後の輝き!?～　西太后の美容法～	静貴生	(79)747	2018(平成30)年・第65巻・第7号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(39)／河童随筆(14)〈見たこと・聞いたこと〉	ちぐあん(間中喜雄)	(82)750	2018(平成30)年・第65巻・第7号
寺師睦宗先生の訃音に接して	中村謙介	(84)752	2018(平成30)年・第65巻・第7号
畏敬する山ノ内慎一先生の死を悼む	福田佳弘	(86)754	2018(平成30)年・第65巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(87)755	2018(平成30)年・第65巻・第7号
2018(平成30)年・第65巻・第8号			2018(平成30)年・第65巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(360) 浅田宗伯と何如璋の交遊	小曽戸洋	(2)766	2018(平成30)年・第65巻・第8号
巻頭言／第28回 漢方治療研究会の開催にあたって	木村豪雄	(11)775	2018(平成30)年・第65巻・第8号
一般論文／上腹部症状(GERD、FDなど)に対する茯苓飲合半夏厚朴湯有効症例の心理的特徴	石島秀紀	(13)777	2018(平成30)年・第65巻・第8号
薬疹と思われた皮膚疾患に乙字湯が有効であった3症例	久保重喜	(25)789	2018(平成30)年・第65巻・第8号
漢方薬によりベンゾジアゼピン系抗不安薬から離脱できた2例	藤井まゆみ	(31)795	2018(平成30)年・第65巻・第8号
先生！　これは漢方薬の副作用なのでしょうか？	織部和宏	(35)799	2018(平成30)年・第65巻・第8号
北里東医研診療録から(173)　響声破笛丸料の使用経験	及川哲郎・花輪壽彦・小田口浩ほか	(39)803	2018(平成30)年・第65巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算79) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(64) 乳がんサバイバーの倦怠感に通脈四逆湯が奏効した一症例	吉永亮・田原英一ほか	(43)807	2018(平成30)年・第65巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(163)　白通湯が効いた下痢	蓮村幸兌ほか	(47)811	2018(平成30)年・第65巻・第8号
東洋堂経験余話(303)　▽婦人科の手術後のホルモン補充療法に起因する悪心嘔吐に小柴胡湯加味▽なかなか治らない感冒に桂枝二越婢一湯	松本一男	(52)816	2018(平成30)年・第65巻・第8号
漢方牛歩録(356)　▽臀部打撲に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽アレルギー性鼻炎兼咽喉部痞塞感▽下腿倦怠感に疎経活血湯	中村謙介	(56)820	2018(平成30)年・第65巻・第8号
操体法のお勧め(2)－日常診療の友に－	須永隆夫	(58)822	2018(平成30)年・第65巻・第8号
漢方研究室(43)　2018年8月号出題　第43問	出題:石野尚吾	(62)826	2018(平成30)年・第65巻・第8号
漢方研究室(42)　2018年6月号 回答・解答・講評　第42問	出題:岩崎勲	(64)828	2018(平成30)年・第65巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(84)	福田知顕・益田龍彦ほか	(73)837	2018(平成30)年・第65巻・第8号
第69回 日本東洋医学会学術総会 報告	篠原宣	(79)843	2018(平成30)年・第65巻・第8号
寺師睦宗先生お別れ会 ご報告	須賀久美子	(82)846	2018(平成30)年・第65巻・第8号
山本昇吾先生を偲んで	樋口和子	(85)849	2018(平成30)年・第65巻・第8号
山ノ内慎一先生の『お別れ会・偲ぶ会』報告	渡辺方乃ほか	(87)851	2018(平成30)年・第65巻・第8号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(40)／河童随筆(15)〈明治百年〉	ちぐあん(間中喜雄)	(89)853	2018(平成30)年・第65巻・第8号
書評／山崎光夫著『小説　曲直瀬道三 乱世を医やす人』	上総陣一	(91)855	2018(平成30)年・第65巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(92)856	2018(平成30)年・第65巻・第8号
2018(平成30)年・第65巻・第9号			2018(平成30)年・第65巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(361) 松岡玄達の肖像と所用印	小曽戸洋	(2)866	2018(平成30)年・第65巻・第9号
巻頭言／漢方薬の保険外しにも備えよう	丁宗鐵	(11)875	2018(平成30)年・第65巻・第9号
インタビュー／九十九里紀行　針生雄吉先生	針生雄吉 〔聞き手〕秋葉哲生	(13)877	2018(平成30)年・第65巻・第9号
一般論文／歯のクレンチング(噛みしめ)に対する釣藤鈎後煎の加味の有効性について	新美知子ほか	(21)885	2018(平成30)年・第65巻・第9号
北里東医研診療録から(174)　腸脛靭帯炎に伴う膝痛に八物降下湯が有効で有った一例	川鍋伊晃・小田口浩・花輪壽彦	(29)893	2018(平成30)年・第65巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算80) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(65) 慢性疾患治療中に急性疾患を合併した5例	田原英一ほか	(35)899	2018(平成30)年・第65巻・第9号
成城漢方雑話(15)　清暑益気湯の4症例	盛岡頼子	(43)907	2018(平成30)年・第65巻・第9号
東洋堂経験余話(304)　▽中学受験対策に桂枝加竜骨牡蠣湯▽熱中症に五苓散料	松本一男	(47)911	2018(平成30)年・第65巻・第9号
漢方牛歩録(357)　▽石灰沈着性上腕骨外顆炎に越婢加朮湯▽ガングリオンに五苓散加枳実梔子▽朝の眩暈感に釣藤散	中村謙介	(50)914	2018(平成30)年・第65巻・第9号

医師・薬剤師リレー治験録(164)　畑の中の三陰三陽(少陽病)	鈴木寛彦ほか	(53)917	2018(平成30)年・第65巻・第9号
操体法のお勧め(3)－日常診療の友に－	須永隆夫	(59)923	2018(平成30)年・第65巻・第9号
漢方研究室(44)　2018年9月号出題　第44問	出題:木村豪雄	(64)928	2018(平成30)年・第65巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(85)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(67)931	2018(平成30)年・第65巻・第9号
書評／津谷喜一郎・長澤道行著『医療にみる伝統と近代－生きている伝統医学－』	髙久史麿	(71)935	2018(平成30)年・第65巻・第9号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(41)／河童随筆(16)〈誤訳〉	ちぐあん(間中喜雄)	(73)937	2018(平成30)年・第65巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(75)939	2018(平成30)年・第65巻・第9号
2018(平成30)年・第65巻・第10号			2018(平成30)年・第65巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(362) 小野蘭山とその書跡	小曽戸洋	(2)950	2018(平成30)年・第65巻・第10号
巻頭言／散木の魂	伊藤剛	(11)959	2018(平成30)年・第65巻・第10号
漢方不妊治療の本質～五臓六腑みな妊娠せしむ、ひとり子宮のみに非ず～	寺師碩甫	(13)961	2018(平成30)年・第65巻・第10号
慢性頭痛の治療例	堀野雅子	(27)975	2018(平成30)年・第65巻・第10号
東洋堂経験余話(305)　▽睡眠時無呼吸症候群に真武湯合半夏厚朴湯加桔梗▽気管支喘息と感冒の悪寒に麻黄細辛附子湯加甘草	松本一男	(30)978	2018(平成30)年・第65巻・第10号
漢方牛歩録(358)　▽下腿倦怠感に九味檳榔湯▽前腕の鈍重感に抑肝散	中村謙介	(34)982	2018(平成30)年・第65巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(165)　治打撲一方の症例	千田五月ほか	(36)984	2018(平成30)年・第65巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算81) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(66) 飯塚病院における3ヵ月の漢方研修の実際と課題	秋山裕太郎・田原英一ほか	(41)989	2018(平成30)年・第65巻・第10号
漢方研究室(43)　2018年8月号　回答・解答・解説　第43問	出題:石野尚吾	(46)994	2018(平成30)年・第65巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(86)	奥田隆司・鶴博生ほか	(51)999	2018(平成30)年・第65巻・第10号
第23回 吉益東洞顕彰会 報告	山崎正寿	(55)1003	2018(平成30)年・第65巻・第10号
佐藤喜和子先生を悼む	伊藤敦之	(58)1006	2018(平成30)年・第65巻・第10号
〔協会創立80周年記念〕 高橋道史氏訪問の記(1)(2)	気賀林一	(59)1007	2018(平成30)年・第65巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(90)1038	2018(平成30)年・第65巻・第10号
2018(平成30)年・第65巻・第11号＜東亜医学協会創立80周年記念号＞			2018(平成30)年・第65巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(363) 大塚敬節・矢数道明先生の往時の書簡類	小曽戸洋	(2)1046	2018(平成30)年・第65巻・第11号
巻頭言／陰陽虚実の重要性－NHK特番を見て－	伊藤隆	(15)1059	2018(平成30)年・第65巻・第11号
東亜医学協会創立80周年記念号			2018(平成30)年・第65巻・第11号
東亜医学協会が創立八十年を迎えました	秋葉哲生	(17)1061	2018(平成30)年・第65巻・第11号
東亜医学協会創立80周年を祝す　『漢方の臨床』と伴に	山田光胤	(19)1063	2018(平成30)年・第65巻・第11号
大塚敬節先生は『傷寒論』『金匱要略』とどう向き合ったか	花輪壽彦	(23)1067	2018(平成30)年・第65巻・第11号
矢数道明について	矢数芳英	(35)1079	2018(平成30)年・第65巻・第11号
龍野一雄	龍野佐知子	(41)1085	2018(平成30)年・第65巻・第11号
日本漢方史上最高級の医師　国医 浅田宗伯－自家所蔵の診療録を中心に－	松本一男	(59)1103	2018(平成30)年・第65巻・第11号
馬場辰二を実学へ向かわせたものは何か？　－和田啓十郎宛書簡から考える－	徳留一博	(91)1135	2018(平成30)年・第65巻・第11号
隠れ漢方医の日々(長谷川弥人)	長谷川篤彦	(97)1141	2018(平成30)年・第65巻・第11号
『傷寒論演習』の藤平健先生	中村謙介	(101)1145	2018(平成30)年・第65巻・第11号
小倉重成先生と私…現象論から意味論へ…	中村謙介	(107)1151	2018(平成30)年・第65巻・第11号
坂口弘先生について	中田敬吾	(117)1161	2018(平成30)年・第65巻・第11号
桂枝加竜骨牡蛎湯証について	福田佳弘	(125)1169	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方の臨床』32巻1号より 江戸医学における『医心方』の影写と校刻事業	矢数道明・小曽戸洋	(144)1188	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方の臨床』13巻3号より 薬能の追求－古典医学の方法論－	龍野一雄	(170)1214	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方と漢薬』2巻11号より 真武湯証について	矢数有道	(185)1229	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方の臨床』25巻11号・12号 越婢加朮湯と桂枝越婢湯の話－とくに痛風について－	細野史郎	(199)1243	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方と漢薬』5巻4号より 最近の鍼灸治験例より　・肘関節屈伸困難の鍼法・五ヶ年動かぬ関節強直症治験・いわゆる五十腕治験	柳谷素霊	(204)1248	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方と漢薬』5巻1号より 浅田宗伯先生について	木村長久	(207)1251	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方と漢薬』6巻11号 中支の医薬事情見聞記	清水藤太郎	(212)1256	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方と漢薬』8巻4号 漢方入門者の疑義	間中喜雄	(218)1262	2018(平成30)年・第65巻・第11号

アンコール論文／『漢方と漢薬』7巻2号 香川修庵と導引按キョウ	石原保秀	(225)1269	2018(平成30)年・第65巻・第11号
アンコール論文／『漢方の臨床』1巻3号 あの頃　大阪に於ける漢方医界の黎明期	森田幸門	(231)1275	2018(平成30)年・第65巻・第11号
『漢方と漢薬』『漢方の臨床』主要著者　生没年一覧		(237)1281	2018(平成30)年・第65巻・第11号
北里東医研診療録から(175)　頚椎後縦靭帯骨化症に鍼灸治療が有効であった一例	伊東秀憲・小田口浩・花輪壽彦	(241)1285	2018(平成30)年・第65巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算82) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(67) 脳腫瘍術後の嘔気・嘔吐に五苓散が奏効した2例	矢野博美・田原英一ほか	(247)1291	2018(平成30)年・第65巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(166)　膝関節痛で旧寒ある者に防已黄耆湯加細辛	塚田健一ほか	(255)1299	2018(平成30)年・第65巻・第11号
漢方研究室(44)　2018年9月号　回答・解答・解説　第44問	出題:木村豪雄	(261)1305	2018(平成30)年・第65巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(271)1315	2018(平成30)年・第65巻・第11号
2018(平成30)年・第65巻・第12号			2018(平成30)年・第65巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(364) 浅田宗伯筆『三体詩』七言絶句法帖	小曽戸洋	(2)1322	2018(平成30)年・第65巻・第12号
巻頭言／日本薬剤師会「漢方業務指針」の改訂	三上正利	(11)1331	2018(平成30)年・第65巻・第12号
特別座談会／歯科口腔領域の漢方(上)	品川隆・新美知子・ 安田卓史・室賀一宏 山口孝二郎〔司会〕	(13)1333	2018(平成30)年・第65巻・第12号
一般論文／麻黄煎液中のタンニンは時間の経過とともに減少する可能性がある	萬谷直樹・岡洋志	(33)1353	2018(平成30)年・第65巻・第12号
随証療法により、輸血を中止できていると考えられた骨髄異形成症候群、赤芽球癆の一例(第一報)	松田知雄	(41)1361	2018(平成30)年・第65巻・第12号
北里東医研診療録から(176)　百合固金湯が口乾と夜間頻尿に著効した1症例	遠藤大輔・花輪壽彦・小田口浩ほか	(46)1366	2018(平成30)年・第65巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算83) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(68) 漢方治療研究会特別企画「筑豊の変」～パート①～	井上博喜・田原英一ほか	(53)1373	2018(平成30)年・第65巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(167)　眼科領域における漢方薬の有用性(2)	田中まち子ほか	(61)1381	2018(平成30)年・第65巻・第12号
東洋堂経験余話(306)　▽両肩の痛みに附子瀉心湯▽感冒のため、食欲不振と微熱に補中益気湯加附子	松本一男	(71)1391	2018(平成30)年・第65巻・第12号
漢方牛歩録(359)　▽打撲の腫痛に越婢加朮湯▽アキレス腱炎に皮内鍼と薏苡仁湯▽手指関節炎に越婢加朮湯等▽白斑(鬱滞性乳腺炎)に越婢加朮湯	中村謙介	(74)1394	2018(平成30)年・第65巻・第12号
操体法のお勧め(4)－日常診療の友に－	須永隆夫	(76)1396	2018(平成30)年・第65巻・第12号
猪苓を求めて	濱口昭宏	(81)1401	2018(平成30)年・第65巻・第12号
福井藩医の吉田一貞と『蟲書(鍼口伝書)』に思うこと	久世彩歌・小原洋昭ほか	(87)1407	2018(平成30)年・第65巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(87)	鶴博生・樋口理ほか	(91)1411	2018(平成30)年・第65巻・第12号
多留淳文先生を偲ぶ	小曽戸洋	(95)1415	2018(平成30)年・第65巻・第12号
多留淳文先生を偲んで	新谷壽久	(102)1422	2018(平成30)年・第65巻・第12号
第28回 漢方治療研究会、博多で開催	篠原宣	(104)1424	2018(平成30)年・第65巻・第12号
尾台榕堂顕彰講演会十日町で開催		(108)1428	2018(平成30)年・第65巻・第12号
図書紹介／外郎まち子著『ういらう 東洋神秘思想と共に二千年』	田中耕一郎	(109)1429	2018(平成30)年・第65巻・第12号
図書紹介／鈴木達彦著『生薬とからだをつなぐ』		(109)1429	2018(平成30)年・第65巻・第12号
図書紹介／許志泉著『漢方求真　体質・症候・病から探究する薬方の証』	許志泉	(110)1430	2018(平成30)年・第65巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(110)1430	2018(平成30)年・第65巻・第12号
2019(平成31)年・第66巻・第1号			2019(平成31)年・第66巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(365) 小野蘭山の神農賛二軸	小曽戸洋	(2)2	2019(平成31)年・第66巻・第1号
平成31年(2019年)新年のことば		(9)9	2019(平成31)年・第66巻・第1号
原著／半夏厚朴湯および香蘇散処方症例における漢方医学的所見の比較検討	及川哲郎・花輪壽彦・小田口浩ほか	(85)85	2019(平成31)年・第66巻・第1号
特別座談会／歯科口腔領域の漢方(下)	品川隆・新美知子・ 安田卓史・室賀一宏 山口孝二郎〔司会〕	(103)103	2019(平成31)年・第66巻・第1号
北里東医研診療録から(177)　慢性湿疹に父子同服の竜胆瀉肝湯症例	五野由佳里・小田口浩・花輪壽彦ほか	(119)119	2019(平成31)年・第66巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算84) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(69) 漢方治療研究会特別企画「筑豊の変」～パート②～	井上博喜・田原英一ほか	(125)125	2019(平成31)年・第66巻・第1号
難治性の胸骨部痛、心窩部痛、胃症状に延年半夏湯加減が有効であった1例	山崎武俊	(135)135	2019(平成31)年・第66巻・第1号
東洋堂経験余話(307)　▽三叉神経痛に十便附子細辛湯▽心臓病が原因か、背中の痛みに当帰四逆加呉茱萸生姜湯	松本一男	(140)140	2019(平成31)年・第66巻・第1号
漢方牛歩録(360)　▽石灰沈着性手関節炎に越婢加朮湯▽打撲腫脹に越婢加朮湯兼黄連解毒湯▽瘭疽に抗生物質兼越婢加朮湯・排膿散及湯	中村謙介	(143)143	2019(平成31)年・第66巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(168)　非結核性抗酸菌症に対する漢方薬	北川寛ほか	(145)145	2019(平成31)年・第66巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(88)	樋口理・竹山泰雄ほか	(151)151	2019(平成31)年・第66巻・第1号

東亜医学協会創立80周年記念パーティー開催	篠原宣	(155)155	2019(平成31)年・第66巻・第1号
寺澤捷年先生、文学博士の学位授与	八木明男	(158)158	2019(平成31)年・第66巻・第1号
永富独嘯庵252回忌の法要報告	庄子昇	(159)159	2019(平成31)年・第66巻・第1号
各務文献先生二百回忌法要の報告	今井秀	(160)160	2019(平成31)年・第66巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(171)171	2019(平成31)年・第66巻・第1号
2019(平成31)年・第66巻・第2号			2019(平成31)年・第66巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(366) 萩野元凱賛の張仲景像	小曽戸洋	(2)178	2019(平成31)年・第66巻・第2号
巻頭言／現代医学と漢方医学との真の統合医療	並木隆雄	(11)187	2019(平成31)年・第66巻・第2号
三焦論と『解体発蒙』	山崎正寿	(13)189	2019(平成31)年・第66巻・第2号
荊芥連翹湯(一貫堂)が有効であった頭瘡3例	永井良樹	(23)199	2019(平成31)年・第66巻・第2号
貧血のない鉄不足(潜在性鉄欠乏)を伴う関節痛の2例	宮西圭太・平田道彦・織部和宏	(27)203	2019(平成31)年・第66巻・第2号
脳出血後の頻用症例から清心蓮子飲の心火を考える	小林瑞	(34)210	2019(平成31)年・第66巻・第2号
北里東医研診療録から(178) 眼精疲労を伴う更年期障害に茯苓甘草湯が有効であった1例	森瑛子・小田口浩・花輪壽彦ほか	(40)216	2019(平成31)年・第66巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算85) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(70) 漢方治療研究会特別企画「筑豊の変」～パート③～	井上博喜・田原英一ほか	(45)221	2019(平成31)年・第66巻・第2号
東洋堂経験余話(308) ▽一年前からの湿疹に温経湯▽めまいに白虎加人参湯加味	松本一男	(56)232	2019(平成31)年・第66巻・第2号
漢方牛歩録(361) ▽慢性気管支炎の喀痰に甘草乾姜湯▽手関節炎に薏苡仁湯及び桂枝加朮附湯	中村謙介	(60)236	2019(平成31)年・第66巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(169) 理中と建中	田畑隆一郎ほか	(63)239	2019(平成31)年・第66巻・第2号
疼痛治療と気・血・水の関わり	秋葉哲生	(69)245	2019(平成31)年・第66巻・第2号
操体法のお勧め(5)－日常診療の友に－	須永隆夫	(73)249	2019(平成31)年・第66巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(89)	竹山泰雄・佐藤眞弓ほか	(79)255	2019(平成31)年・第66巻・第2号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(42)／浅田宗伯先生と直孫豊麿先生	重田学	(83)259	2019(平成31)年・第66巻・第2号
平成31年(2019年)新年のことば(続)		(88)264	2019(平成31)年・第66巻・第2号
土方康世先生の思い出	小曽戸明子	(92)268	2019(平成31)年・第66巻・第2号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(43)／河童随筆(17)〈日本の政治〉	ちぐあん(間中喜雄)	(93)269	2019(平成31)年・第66巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(95)271	2019(平成31)年・第66巻・第2号
2019(平成31)年・第66巻・第3号			2019(平成31)年・第66巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(367) 余雲岫と『霊素商兌』	小曽戸洋	(2)278	2019(平成31)年・第66巻・第3号
巻頭言／薬剤耐性菌の増加と漢方	福澤素子	(11)287	2019(平成31)年・第66巻・第3号
座談会／シリーズ企画－”生薬の品質とは？”－ 製造販売者が語る”生薬の品質とは？”(上)	浅間宏志・佐藤公紀 武田修己・秋葉哲生 金成俊〔司会〕	(13)289	2019(平成31)年・第66巻・第3号
一般論文／本治に至るということ(前編)－何故標治を積み重ねる必要があるのか－	宮澤裕治	(31)307	2019(平成31)年・第66巻・第3号
升麻葛根湯の臨床応用	桒谷圭二	(39)315	2019(平成31)年・第66巻・第3号
北里東医研診療録から(179) 咽喉頭異常感症に通導散が有用であった自験例	丸山泰貴・小田口浩・花輪壽彦ほか	(45)321	2019(平成31)年・第66巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(170) 目じりと頬の湿疹に白虎加桂枝湯と黄連阿膠湯(自験例)の交互療法	蓮村幸兌ほか	(51)327	2019(平成31)年・第66巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算86) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(71) 難治性アトピー性皮膚炎に通脈四逆湯が奏効した一症例	後藤雄輔・田原英一ほか	(57)333	2019(平成31)年・第66巻・第3号
東洋堂経験余話(309) ▽尿崩症に八味丸料加竜骨、牡蛎▽急性腰痛に三味腰痛方	松本一男	(61)337	2019(平成31)年・第66巻・第3号
漢方牛歩録(362) ▽疎経活血湯で無効な倦怠感に九味檳榔湯▽疎経活血湯で不十分な肩凝りに葛根湯	中村謙介	(64)340	2019(平成31)年・第66巻・第3号
小柴胡湯加騰竜湯加減による化膿性汗腺炎の有効的コントロール治療の一例報告	荘明仁	(67)343	2019(平成31)年・第66巻・第3号
漢方研究室(45) 2019年3月号出題 第45問	出題:久保田達也	(74)350	2019(平成31)年・第66巻・第3号
漢方の効かせ方－排膿散の逸話	秋葉哲生	(77)353	2019(平成31)年・第66巻・第3号
操体法のお勧め(6)－日常診療の友に－	須永隆夫	(80)356	2019(平成31)年・第66巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(90)	佐藤眞弓・松藤英正ほか	(83)359	2019(平成31)年・第66巻・第3号
症例記載の中の元号の意義	小曽戸明子	(87)363	2019(平成31)年・第66巻・第3号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(44)／忘れ得ぬ人々(1)	高橋道史	(88)364	2019(平成31)年・第66巻・第3号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(45)／河童随筆(18)〈冷え症〉	ちぐあん(間中喜雄)	(93)369	2019(平成31)年・第66巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(95)371	2019(平成31)年・第66巻・第3号
2019(平成31)年・第66巻・第4号			2019(平成31)年・第66巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(368) 老官山漢墓の医簡	小曽戸洋	(2)378	2019(平成31)年・第66巻・第4号
巻頭言／第70回日本東洋医学会学術総会の開催にあたって	花輪壽彦	(11)387	2019(平成31)年・第66巻・第4号

座談会／シリーズ企画－”生薬の品質とは？”－ 製造販売者が語る”生薬の品質とは？”（下）	浅間宏志・佐藤公紀 武田修己・秋葉哲生 金成俊〔司会〕	(13)389	2019（平成31）年・第66巻・第4号
一般論文／本治に至るということ（後編）－二元論+1のススメ－	宮澤裕治	(35)411	2019（平成31）年・第66巻・第4号
北里東医研診療録から(180) 突発性難聴に漢方・鍼灸の併用治療が奏効した1例	鈴木邦彦・小田口浩・花輪壽彦 ほか	(42)418	2019（平成31）年・第66巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／（通算87） 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ（72） リウマチ性多発筋痛症に対して漢方治療が単独で有効であった一例	吉永亮・田原英一ほか	(47)423	2019（平成31）年・第66巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(171) 不登校	山下耕司ほか	(53)429	2019（平成31）年・第66巻・第4号
東洋堂経験余話(310) ▽尿蛋白強陽性に柴苓湯加黄連、茯苓▽多病の人の右膝痛に甘草附子湯	松本一男	(58)434	2019（平成31）年・第66巻・第4号
漢方牛歩録(363) ▽骨粗鬆症に伴う脚倦怠感に疎経活血湯▽ヘバーデン結節痛に薏苡仁湯▽下腿蜂窩織炎に抗生物質兼越婢加朮湯	中村謙介	(61)437	2019（平成31）年・第66巻・第4号
漢方研究室(46) 2019年4月号出題 第46問	出題：長坂和彦	(64)440	2019（平成31）年・第66巻・第4号
印籠および根付の意匠としてあらわれた炎帝神農氏	濱口昭宏	(67)443	2019（平成31）年・第66巻・第4号
『素問』と『類経図翼』における陰陽説・五行説間の相互関係論	権藤寿昭・江藤公則	(71)447	2019（平成31）年・第66巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(91)	松藤英正・貝沼茂三郎ほか	(79)455	2019（平成31）年・第66巻・第4号
先哲誕生日＆命日 1月編 ～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(85)461	2019（平成31）年・第66巻・第4号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(46)／忘れ得ぬ人々（2）	高橋道史	(93)469	2019（平成31）年・第66巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(98)474	2019（平成31）年・第66巻・第4号
2019(令和元)年・第66巻・第5号			2019（令和元年）年・第66巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（369） 後漢時代の藥匙	猪飼祥夫	(2)486	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
巻頭言／「先生、今や漢方専門医は絶滅危惧種なのでしょうか」	織部和宏	(11)495	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
月経痛に対する枳実勺薬散加甘草末・当帰末（散剤）有効例の検討	盛克己・宮崎瑞明ほか	(13)497	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
日々の臨床における傷寒論医学の応用（その14）	織部和宏	(19)503	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
高齢男性のBPSDに大黄牡丹皮湯が奏功した1例	桒谷圭二	(23)507	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
北里東医研診療録から(181) 頑固な頭頸部の愁訴に大柴胡湯去大黄（煎じ）が有用であった3症例	石毛達也・小田口浩 花輪壽彦	(27)511	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
治療目標と時間経過	小曽戸明子	(34)518	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／（通算88） 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ（73） 甲状腺機能亢進症の皮膚瀉痒感に柴胡加竜骨牡蛎湯が著効した一例	矢野博美・牧俊允ほか	(37)521	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
東洋堂経験余話(311) ▽アトピー性皮膚炎に温清飲加石膏▽クインケの浮腫に五苓散料	松本一男	(42)526	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
漢方牛歩録(364) ▽坐骨神経痛に疎経活血湯▽生理時自律神経障害に桂枝茯苓丸	中村謙介	(46)530	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(172) 「もう看取りです」と言われて	飯田敏雄ほか	(49)533	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
漢方研究室(45) 2019年3月号 回答・解答・講評 第45問	出題：久保田達也	(55)539	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
熊長云先生の「東漢銘文薬量与漢代薬物量制」を読む	猪飼祥夫	(65)549	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(92)	貝沼茂三郎・福田知顕ほか	(69)553	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(47)／漢方対談を読んで感あり	高橋道史	(75)558	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(48)／田代三喜の代表的著書「三帰廻翁医書」（三喜十巻書）の復刊について	矢数道明	(79)563	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
図書紹介／田畑隆一郎著『現代類聚方』	鈴木寛彦	(82)566	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(49)／河童随筆（19）＜対照試験＞	間中喜雄	(83)567	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
過去注目記事ダイジェスト（4）	白頭翁	(85)569	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(89)573	2019（令和元年）年・第66巻・第5号
2019(令和元)年・第66巻・第6号			2019（令和元年）年・第66巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（370） 惲鉄樵と『薬盦医学叢書』	小曽戸洋	(2)586	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
巻頭言／「漢方治療研究会」成立の経緯	山崎正寿	(11)595	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
北里東医研診療録から(182) 睡眠障害・頭痛に対し釣藤散料から高枕無憂散料に転方し奏功した1症	星野卓之・小田口浩 花輪壽彦	(13)597	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／（通算89） 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ（74） 呼吸器疾患に桂枝加芍薬湯加減が奏効した2症例	井上博喜・牧俊允ほか	(19)603	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
インフルエンザを麻黄附子細辛湯単独で治療した例	森由雄	(24)608	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
東洋堂経験余話(312) ▽首下り病に葛根加朮附湯▽高齢者の感冒に小柴胡湯	松本一男	(26)610	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
漢方牛歩録(365) ▽手指中節骨骨折に越婢加朮湯▽皮下腫瘤に五苓散加枳実梔子▽膝蓋靭帯炎に置鍼と越婢加朮湯	中村謙介	(30)614	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
漢方研究室(46) 2019年4月号 回答・解答・講評 第46問（再掲）	出題：長坂和彦	(32)616	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(173) 附子について	熊井啓子ほか	(39)623	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
治療目標と時間経過（続）	小曽戸明子	(47)631	2019（令和元年）年・第66巻・第6号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(93)	福田知顕・益田龍彦ほか	(49)633	2019（令和元年）年・第66巻・第6号

先哲誕生日＆命日　2月編～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(57)641	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
誌上質疑応答　第1問	編集企画委員会	(63)647	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(50)／道は近きにあり	高橋道史	(65)649	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(51)／細迫陽三先生訪問の記(上)	気賀林一	(71)655	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(52)／東洋医学と脈診	土屋喜志郎	(77)661	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(53)／河童随筆(20)＜対照試験＞	間中喜雄	(80)664	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(82)666	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
第29回漢方治療研究会演題募集		(89)673	2019(令和元年)年・第66巻・第6号
2019(令和元)年・第66巻・第7号			2019(令和元年)年・第66巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(371) 七卿落ち図	小曽戸洋	(2)678	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
巻頭言／AIは人類の未来を豊かにしてくれるだろうか	岩崎勲	(11)687	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
インタビュー／大岡山に漢方平和堂あり！　根本幸夫先生	根本幸夫　〔聞き手〕金成俊	(15)691	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
北里東医研診療録から(183)　肺の冷えをベースにした冷え症に甘草乾姜湯が奏効した1例	小田口浩・花輪壽彦	(27)703	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算90) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(75) 乙字湯が奏功したストーマ周囲のびらんの1例	田原栄一・後藤雄輔ほか	(31)707	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
令和と五苓散	桒谷圭二	(37)713	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
東洋堂経験余話(313)　▽長い期間の胃痛に八味丸料▽慢性蕁麻疹に温清飲加石膏	松本一男	(40)716	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
漢方牛歩録(366)　▽両大腿四頭筋炎に麻杏薏甘湯▽舌痛症に温清飲	中村謙介	(43)719	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(174)　呉茱萸湯の併用が奏効したと思われる症例	斉藤明美ほか	(45)721	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
漢方研究室(47)　2019年7月号出題　第47問　多汗、冷えのぼせ	出題:盛岡頼子	(50)726	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(94)	益田龍彦・奥田隆司ほか	(53)729	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
伝統医学を含む国際疾病分類が第72回世界保健総会で承認	渡辺賢治	(58)734	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
北島政樹先生のご逝去を悼んで	渡辺賢治	(63)739	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
会員からの感想　「今や漢方専門医は絶滅危惧種なのでしょうか？」と書かれた織部和宏先生へ	王瑞雲	(64)740	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
書評　織部和宏著『漢方診療　ワザとコツ』	森由雄	(65)741	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(54)／細迫陽三先生訪問の記(下)	気賀林一	(67)743	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(55)／河童随筆(21)　＜すがたとかたち＞	間中喜雄	(76)752	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(78)754	2019(令和元年)年・第66巻・第7号
2019(令和元)年・第66巻・第8号			2019(令和元年)年・第66巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(372) 神農鐸と神農印籠	小曽戸洋	(2)762	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
巻頭言／人間の成長と老衰 五体と経絡の関係	二宮文乃	(11)771	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
めまいと漢方薬による治療	藤井まゆみ	(15)775	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
非結核性抗酸菌症(NTM)に補中益気湯を投与し良好な経過を辿っている2症例	大関潤一ほか	(21)781	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算91) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(76) 慢性下痢症に漢方治療が奏効した2症例	後藤雄輔ほか	(31)791	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
東洋堂経験余話(314)　▽左腎臓結石が原因か? ひどい血尿に猪苓湯加甘草▽ストレスか？　感冒か？　不明熱に小柴胡湯	松本一男	(35)795	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
漢方牛歩録(367)　▽変形性膝関節症に越婢加朮湯兼防已黄耆湯▽腹満に誘発された腰痛に大建中湯	中村謙介	(38)798	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(175)　間質性肺炎と漢方薬	鈴木寛彦ほか	(41)801	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
治療目標と時間経過(3)	小曽戸明子	(46)806	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
漢方研究室(48)　2019年8月号出題　第48問　噫気	出題:西村甲	(47)807	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(95)	奥田隆司ほか	(49)809	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
成都を訪ねて　―中国出土医学文献与文物国際研究会議及び北里オリジナル健康茶の材料視察―	緒方千秋	(55)815	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
第70回日本東洋医学会学術総会に参加して	澁谷恵子	(59)819	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
先哲誕生日&命日　3月編　～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(61)821	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(56)／土佐医談(上)	語る人:北村静夫　聞く人:大塚敬節	(68)828	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
編集長の撰ぶ”重要記事ふたたび”(57)／河童随筆(22)　＜続・誤訳＞	間中喜雄	(77)837	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(79)839	2019(令和元年)年・第66巻・第8号
2019(令和元)年・第66巻・第9号			2019(令和元年)年・第66巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(373) 杉山和一彫像の出現	大浦宏勝	(2)846	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
巻頭言／第29回漢方治療研究会を関西で開催するにあたり、思い出すこと	中島正光	(11)855	2019(令和元年)年・第66巻・第9号

舌咽神経痛に五苓散と六君子湯の合方が奏功した1症例	赤澤訓	(15)859	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
北里東医研診療録から(184) 下腹部痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯が奏功した寒疝の1例と、疝・七疝・寒疝について	伊藤剛ほか	(21)865	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算92) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(77) 軽度外傷性脳損傷患者の過眠に対して漢方治療が奏功した1例	吉永亮ほか	(29)873	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(176)　坐骨神経痛に抑肝散加芍薬	千田五月ほか	(34)878	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
東洋堂経験余話(315)　▽環境の急激な変化の頭冒に沢瀉湯▽生来の胃弱な人の感冒に桂枝人参湯	松本一男	(39)883	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
漢方牛歩録(368)　▽腸炎に真武湯合人参湯▽50年来の便秘に大承気湯	中村謙介	(42)886	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
漢方研究室(47)　2019年7月号出題　第47問(再掲)　会員からの回答　出題解答及び解説	出題:盛岡頼子	(44)888	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
中神琴渓と永富独嘯庵の頻用方剤から考える古方派の本質	桒谷圭二	(53)897	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
太陽病は「表熱証」か KLUGER氏の「Fever and Survival」を読んで	中村謙介	(58)902	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(96)	鶴博生ほか	(61)905	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
新刊紹介　山崎光夫著『漢方植物物語』	安宅慶人	(65)909	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
新刊紹介　友部和弘著『刺絡の道―三輪東朔から工藤訓正』	真柳誠	(66)910	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
編集長の撰ぶ"重要記事ふたたび"(58)／土佐医談(下)	語る人:北村静夫　聞く人:大塚敬節	(68)828	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(78)922	2019(令和元年)年・第66巻・第9号
2019(令和元)年・第66巻・第10号			2019(令和元年)年・第66巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(374) 雪舟の描いた神農	小曽戸洋	(2)934	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
巻頭言／巻頭言にかえて	小曽戸洋	(11)943	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
『傷寒論』の薬七(方寸匕・銭匕)の量値	笛木司ほか	(13)945	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
北里東医研診療録から(185)　漢方 治療の併用が有効だった難治不妊2症例	森裕紀子ほか	(22)954	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算93) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(78) 漢方治療が奏功した腹部症状の乳児3例と学童1例	上田晃三ほか	(27)959	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(177)　食欲不振の改善には胃の寒熱のバランスが重要	蓮村幸兌ほか	(35)967	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
東洋堂経験余話(316)　▽間質性膀胱炎の経験▽嘔吐下痢症に半夏瀉心湯	松本一男	(41)973	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
漢方牛歩録(369)　▽腱鞘炎に薏苡仁湯▽疎経活血湯が無効な肩凝りに大柴胡湯去大黄	中村謙介	(44)976	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
漢方研究室(48)　2019年8月号出題　第48問(再掲)　会員からの回答　出題解答及び解説	出題:西村甲	(46)978	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
先哲誕生日＆命日　4月編～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(55)987	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(97)	樋口理ほか	(61)993	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
「母子同室」考	小曽戸明子	(65)997	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
〝ひかり北地〟に　藤平健先生の馨香をたずねて	藤門医林会	(66)998	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
第24回吉益東洞顕彰会報告	山崎正寿	(73)1005	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(59)／駿河紀行(前)	気賀林一	(76)1008	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(89)1021	2019(令和元年)年・第66巻・第10号
2019(令和元)年・第66巻・第11号			2019(令和元年)年・第66巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(375) 張仲景像―桂川国瑞賛	小曽戸洋	(2)1030	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
巻頭言／失語症に対する処方	中田敬吾	(11)1039	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
習慣性扁桃炎に　一貫 堂竜胆瀉肝湯が有効と考えられた2例	桒谷圭二	(13)1041	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
左胸脇部帯状疱疹後神経痛に 疎肝湯を用いて改善した症例	大関潤一ほか	(17)1045	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
随証療法により、輸血を中止できていると考えられた骨髄異形成症候群、赤芽球癆の一例のその後(第二報)	松田知雄	(21)1049	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
北里東医研診療録から(186)　血分 腫と考えられた下肢浮腫に桂枝茯苓丸料加薏苡仁が著効した一例	及川哲郎ほか	(29)1057	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算94) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(79) 漢方研修開始半年間で経験し、印象に残った2症例	牧俊允ほか	(35)1063	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(178)　いずれが主証か客証か	田畑隆一郎ほか	(40)1068	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
東洋堂経験余話(317)　▽両下肢のつりに芍薬甘草附子湯　▽空腹時の激しい胃痛に黄連湯加茯苓	松本一男	(44)1072	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
漢方牛歩録(370)　▽椎間板ヘルニア術後の麻痺に黄耆桂枝五物湯　▽風邪の倦怠感に麻杏薏甘湯　▽心筋梗塞発作に炙甘草湯合生脈散(或る漢方党の媼の思い出)	中村謙介	(47)1075	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(98)	竹山泰雄ほか	(53)1081	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
東京薬科大学史料館から	山田陽城	(59)1087	2019(令和元年)年・第66巻・第11号

第29回漢方治療研究会開催記	坂田幸治	(61)1089	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
第29回漢方治療研究会に参加して～「医案を語る」を語る～	山本昇伯	(67)1095	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
第52回日本薬剤師会学術大会への参加と 下関の文化について	緒方千秋	(69)1097	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(60)／駿河紀行(後)	気賀林一	(73)1101	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(84)1112	2019(令和元年)年・第66巻・第11号
2019(令和元)年・第66巻・第12号			2019(令和元年)年・第66巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(376) 常泉寺の張仲景碑	小曽戸洋	(2)1118	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
巻頭言／オーラルフレイル・口腔機能低下症と東洋医学	山口孝二郎	(11)1127	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
抑肝散　その目標と証	佐藤田實	(13)1129	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
新しい「証」への挑戦	柳原茂人	(25)1141	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
北里東医研診療録から(187)　統合 失調症に漢方治療の併用が有効であった2症例	遠藤大輔ほか	(30)1146	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算95) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(80) 飯塚病院漢方診療科入院患者の心理テスト(SDSとSTAI)の検討	矢野博美ほか	(38)1154	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(179)　五苓散と苓桂朮甘湯の併用の意義	北川寛ほか	(43)1159	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
東洋堂経験余話(318)　▽肺炎に竹葉石膏湯　▽長年の疲労倦怠感に茯苓飲	松本一男	(49)1165	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
漢方牛歩録(371)　▽変形性脊椎症の下肢のしびれ脱力に黄耆桂枝五物湯加味　▽激しい咳に越碑加半夏湯　▽肩関節周囲炎に麻杏薏甘湯	中村謙介	(52)1168	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
漢方研究室(49)　2019年12月号出題　第49問	村松慎一	(55)1171	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
先哲誕生日＆命日　5月編　～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(57)1173	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(99)	佐藤眞弓ほか	(65)1181	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
第70回日本東洋医学会学術総会報告	篠原宣	(70)1186	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(61)／常陸紀行(上)	気賀林一	(73)1189	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(62)／河童随筆(23)<桃核承気湯>	ちぐあん(間中喜雄)	(79)1195	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(81)1197	2019(令和元年)年・第66巻・第12号
2020(令和2)年・第67巻・第1号			2020(令和2年)年・第67巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(377) 神農の画賛(月僊・宗伯)と根付	小曽戸洋	(2)2	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
令和2年(2020年)新年のことば		(9)9	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
多剤無効の感染増悪した気管支喘息治療に漢方が有効であった4例の検討	阿南栄一朗ほか	(89)89	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
日常診療の何気ない一コマで四苓湯を活用した1例	桒谷圭二	(97)97	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
北里東医研診療録から(188) 口臭の自覚が大柴胡湯により改善した1例	森瑛子ほか	(101)101	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算96) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(81) 帯状疱疹後神経痛に漢方治療が奏効した2症例	井上博喜ほか	(105)105	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(180)　帰耆建中湯の症例	千田五月ほか	(109)109	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
東洋堂経験余話(319)　▽花粉症に小青竜湯加大黄　▽感冒の後遺症である口渇、小便不利に五苓散料	松本一男	(114)114	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
漢方牛歩録(372)　▽多発性関節痛に疎経活血湯　▽関節リュウマチに麻杏薏甘湯加味	中村謙介	(117)117	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(100)	松藤英正ほか	(121)121	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
「水」という病理概念の整理について	秋葉哲生	(126)126	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(63)／常陸紀行(中)	気賀林一	(131)131	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(144)144	2020(令和2年)年・第67巻・第1号
2020(令和2)年・第67巻・第2号			2020(令和2年)年・第67巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(378) 湯島聖堂の神農祭	小曽戸洋	(2)154	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
巻頭言／卒前教育における東洋医学と西洋医学の〝融合〟とは(Ⅱ)	松田隆秀	(11)163	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
半夏白朮天麻湯証を特徴付ける左胸脇周辺部位の症候 －半夏白朮天麻湯証に関する新たな知見の可能性－	宮澤裕治	(13)165	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
凝視時の気分不良、発作性の臍部痛・下痢、口苦感・胸やけ感、動悸、全身倦怠感に対して四逆散加減が有効であった症例	山崎武俊	(19)171	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
静かな水、冷えた血、連珠飲の一症例	田中秀一	(25)177	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
北里東医研診療録から(189)　月経 過多に加え下痢にも有効であった芎帰膠艾湯の1例	丸山泰貴ほか	(29)181	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算97) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(82) 飯塚病院職員の風邪症状における漢方医学的症候と治療経過について	吉永亮ほか	(33)185	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(181)　キモが冷えるに呉茱萸湯	蓮村幸兌ほか	(39)191	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
東洋堂経験余話(320)　▽突然の高熱に調胃承気湯　▽頭冒に沢瀉湯	松本一男	(46)198	2020(令和2年)年・第67巻・第2号

漢方牛歩録(373) ▽腰部脊柱管狭窄症に四逆湯合芍薬甘草附子湯 ▽顔面の皮膚炎に越婢加朮湯	中村謙介	(49)201	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
漢方研究室(49) 2019年12月号出題 第49問(再掲)	村松慎一	(51)203	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
〝こころ〟の淵源を索めて(Ⅰ)	岩崎勲	(57)209	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(101)	貝沼茂三郎ほか	(63)215	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
先哲誕生日＆命日 6月編 ～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(67)219	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
成都・重慶生薬探訪記	笛木司ほか	(73)225	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(64)／常陸紀行(下)	気賀林一	(80)232	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(65)／河童随筆(24)〈理論だおれ〉〈前提のまちがい〉	ちぐあん(間中喜雄)	(89)241	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(92)244	2020(令和2年)年・第67巻・第2号
2020(令和2)年・第67巻・第3号			2020(令和2年)年・第67巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(379) 祥雲寺の医家名墓―大変貌	小曽戸洋	(2)252	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
巻頭言／大学における漢方専門施設の役割	木村容子	(11)261	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
一般論文／妊娠中での柴苓湯投与の過去5年間における安全性の検討	今井幸ほか	(13)263	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
一般論文／真武湯加乾姜が有効であった3症例	小島梓ほか	(21)271	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
夏型過敏性肺炎による遷延性咳嗽に小柴胡湯加桔梗石膏などが有効であった2症例	長瀬千秋	(29)279	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
陰吹に気付けなかった1症例 ～自戒を込めて～	桒谷圭二	(35)285	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
東洋堂経験余話(321) ▽仕事のストレスのための悪心に小半夏加茯苓湯 ▽心室性期外収縮に炙甘草湯	松本一男	(39)289	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
漢方牛歩録(374) ▽慢性頭痛に当帰芍薬散兼呉茱萸湯 ▽手指痛に薏苡仁湯 ▽下腿の激痛にNSAIĐs兼疎経活血湯	中村謙介	(42)292	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
仁熟散を主としたパニック障害の治療に有効だった1例報告	荘 明仁	(45)295	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
北里東医研診療録から(190) 小柴胡湯にて耳下腺腫瘍消失を認めた1例	水野友理ほか	(51)301	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算98) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(83) 冷えを訴える小児の2症例と多汗症の1乳児例	上田晃三ほか	(55)305	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(182) 問診の大切さ「もしもし、〇〇です」	山下耕司ほか	(61)311	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
後藤艮山を始祖とする「医家後藤家」の系譜と墓所の現状	今井秀	(65)315	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
〝こころ〟の淵源を索めて(Ⅱ)	岩崎勲	(76)326	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
漢方研究室(50) 2020年3月号出題 第50問	秋葉哲生	(83)333	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(102)	福田知顕ほか	(85)335	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
知る者は言わず言う者は知らず	松田知雄	(91)341	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
湯本先生の処方の秘密に迫る!!《細迫陽三先生の著書から》	古訓於伝	(95)345	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
第29回漢方治療研究会 エクスカーション 道修町ツアーのご報告	光野彩子	(97)347	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
感謝のご挨拶	土屋伊磋雄	(102)352	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(104)354	2020(令和2年)年・第67巻・第3号
2020(令和2)年・第67巻・第4号			2020(令和2年)年・第67巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(380) 曲直瀬今大路家の旧墓石	小曽戸洋	(2)360	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
巻頭言／漢方を活かした新たな医療体系の構築を目指して	三潴忠道	(11)369	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
編集長訪問記／湧水の都、三島に中川先生を訪問する(その1)	秋葉哲生	(13)371	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
緊急企画／新型コロナウイルス感染症の治療について ～漢方医学の側から考えられる具体的戦略～	秋葉哲生ほか	(18)376	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
慢性疾患に対する甘麦大棗湯有効例の検討	宮崎瑞明ほか	(43)401	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
五苓散無効の低気圧で悪化する冒に苓桂味甘湯を用いた2例	大野佳織	(49)407	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
北里東医研診療録から(191) 左体幹部の疼痛を伴う全身倦怠感に疎肝湯が有効であった1例	市山進ほか	(53)411	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算99) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(84) 便秘を伴う発熱に大承気湯が奏効した2症例	後藤雄輔ほか	(61)419	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
東洋堂経験余話(322) ▽右耳下腺腫瘍に小柴胡湯加夏枯草、枳実、山梔子 ▽熱中症に白虎湯	松本一男	(67)425	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
漢方牛歩録(375) ▽SLEに桃核承気湯処方中の妊娠	中村謙介	(70)428	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
成城漢方雑話(16) 当帰四逆加呉茱萸生姜湯で便秘が改善した父と娘の症例	盛岡頼子	(73)431	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
漢方研究室(51) 2020年4月号出題 第51問	井上博喜	(79)437	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
先哲誕生日＆命日 7月編～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(81)439	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(103)	益田龍彦ほか	(87)445	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
さようなら大貫さん	小曽戸洋	(97)455	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(103)461	2020(令和2年)年・第67巻・第4号
2020(令和2)年・第67巻・第5号			2020(令和2年)年・第67巻・第5号

〔口絵〕目でみる漢方史料館(381) 後藤艮山一族の墓所整備	今井秀	(2)466	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
巻頭言／第71回日本東洋医学会学術総会の延期と新型コロナウイルス感染症	中村東一郎	(11)475	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
漢方の立場からみたパンデミック感染症	長瀬千秋	(12)476	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
随筆・新型コロナウイルス感染症？ 自験例　COVID-19ものがたり	小池加能	(15)479	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
「悲」ではなく「喜」を契機に発症した症候に対する甘麦大棗湯の効用	桒谷圭二	(19)483	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
ポリファーマシー患者に対する漢方治療有効例の検討	盛克己ほか	(23)487	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
荊芥連翹湯加減により免疫抑制剤の減量が可能となった難治性多形日光疹の1例	大橋範之ほか	(29)493	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
北里東医研診療録から(192) 舌痛症に七物降下湯が有効であった1例	川鍋伊晃ほか	(38)502	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算100) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(85) 長い治療経過で社会復帰に向けている1例	田原英一ほか	(43)507	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(183) 漢方屋敷に住む人たち	田畑隆一郎ほか	(49)513	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
漢方牛歩録(376)　▽身体痛に抑肝散▽ガングリオンに五苓散▽弾撥指に薏苡仁湯	中村謙介	(55)519	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
健康サポート薬局における漢方　腎機能の症例	細野美佐子	(57)521	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
東洋堂経験余話(323)　▽左腕のシビレ感に烏薬順気散料▽気管支喘息に半夏厚朴湯加桔梗、玄参、紫苑	松本一男	(60)524	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
漢方研究室(50)　2020年3月号出題　第50問(再掲)	秋葉哲生	(63)527	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
編集長訪問記／湧水の都、三島に中川先生を訪問する(その2)	秋葉哲生	(71)535	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
〝こころ〟の淵源を索めて(Ⅲ)	岩崎勲	(77)541	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
韓国韓医学通信(第81報)	金成俊	(86)550	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
『新 一般用漢方処方の手引き』にみる生薬量の範囲について	秋葉哲生	(89)553	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
新刊紹介／『證&二味の薬徴』田畑隆一郎 著	鈴木寛彦	(98)562	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(100)564	2020(令和2年)年・第67巻・第5号
2020(令和2)年・第67巻・第6号			2020(令和2年)年・第67巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(382) 長井長義の書跡	小曽戸洋	(2)570	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
巻頭言／今こそ『傷寒論』	長坂和彦	(11)579	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
中国名医解説(1)	小曽戸洋	(12)580	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
新型コロナウイルス肺炎に対する漢方治療案 ～過去のインフルエンザウイルスパンデミック経験から～	中島正光	(17)585	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その15)	織部和宏	(24)592	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
北里東医研診療録から(193) 季節性の咳嗽に滋陰至宝湯が有効であった1症例	五野由佳理ほか	(29)597	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算101) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(86) 口腔灼熱症候群に対して黄連湯が奏効した1症例	牧俊允ほか	(35)603	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
子宮頸癌術後患者の卵巣機能低下に伴う愁訴に対して柴胡加竜骨牡蛎湯と女神散の併用が有用であった1 例	糸賀知子ほか	(39)607	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(184) 十味敗毒湯加連翹の症例	千田五月ほか	(47)615	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
東洋堂経験余話(324)　▽胸痛に利膈湯合甘草乾姜湯▽更年期の目まいに苓桂朮甘湯	松本一男	(52)620	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
漢方牛歩録(377)　▽雨期の腰痛症に麻杏薏甘湯▽顎関節痛に大柴胡湯去大黄	中村謙介	(55)623	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
成城漢方雑話(17)　補剤が劇的に効いた2症例	盛岡頼子	(57)625	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
漢方研究室(51)　2020年4月号出題　第51問(再掲)	井上博喜	(61)629	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
編集長訪問記／湧水の都、三島に中川先生を訪問する(その3)	秋葉哲生	(68)636	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
先哲誕生日＆命日8月編　～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(77)645	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
韓国韓医学通信(第82報)	金成俊	(84)652	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
新刊紹介／『佐藤元萇日記』安藤昌益と千住宿の関係を調べる会	町泉寿郎	(88)656	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
新刊紹介／『漢方とは何か　人間とは何か　経絡・蔵象・三焦の真実』二宮文乃著	秋葉哲生	(91)659	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
〈編集長の目〉〝『漢方医学の新研究』の著者　中山忠直氏の逝去を悼む〟	秋葉哲生	(92)660	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(94)662	2020(令和2年)年・第67巻・第6号
2020(令和2)年・第67巻・第7号			2020(令和2年)年・第67巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(383) 森立之の『本草経攷注』	小曽戸洋	(2)670	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
巻頭言／新型コロナウイルス感染症による影響のなか、学術大会を開催するにあたり思うこと	松田久司	(11)679	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
原著／不思議な漢方用語「六病位」の出自を探る	勝野達郎ほか	(13)681	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
一般論文／大・小承気湯合四逆湯類、白通湯加減の高齢者の便秘、下痢への運用	福田佳弘ほか	(21)689	2020(令和2年)年・第67巻・第7号

一般論文／29例の膝関節術後の薏苡仁湯の効果	河合知則	(39)707	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
北里東医研診療録から(194) 非定型顔面痛・舌痛に鍼灸および漢方治療を行い疼痛コントロールに有効だった1例	伊東秀憲ほか	(47)715	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算102) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(87) 人生に関わるような漢方治療を行うことができた2症例	吉永亮ほか	(59)727	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(185) 芍薬について	熊井啓子ほか	(65)733	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
大柴胡湯合四苓湯がダイエットに有効と考えられた1例	桒谷圭二	(75)743	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
東洋堂経験余話(325) ▽頻繁に起こす夜間の口中乾燥に滋陰降火湯▽青年性疣贅に荊芥連翹湯加味	松本一男	(79)747	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
漢方牛歩録(378) ▽薬疹に消風散▽変形性膝関節症に越婢加朮湯▽ガングリオンに五苓散加枳実梔子▽大腿二頭筋炎に麻杏薏甘湯	中村謙介	(82)750	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
中国名医解説(2)	小曽戸洋	(84)752	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
韓国韓医学通信(第83報)	金成俊	(93)761	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
〈編集長の目〉〝奥田謙藏先生著『傷寒論講義』の刊行にあたって〟	秋葉哲生	(96)764	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(99)767	2020(令和2年)年・第67巻・第7号
2020(令和2)年・第67巻・第8号			2020(令和2年)年・第67巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(384) 『病草紙』	小曽戸洋	(2)774	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
巻頭言／第30回漢方治療研究会(千葉大会)開催のお知らせとCOVID-19に対する臨床研究への協力のご依頼―漢方医学に対するコロナ禍の影響	並木隆雄	(11)783	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
清肺排毒湯による新型コロナ感染症の治療経験	渡辺賢治ほか	(13)785	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
新型コロナウイルス感染症と断捨離について	織部和宏	(19)791	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
新型コロナを含め、今後も出現すると思われる新型ウイルスに対する免疫機能(免疫力)を高める漢方補剤の活用～未病を治す	寺師碩甫	(21)793	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
漢方治療の併用で周産期急性化膿性乳腺炎が著効した1例	岸本圭永子ほか	(25)797	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
北里東医研診療録から(195) 神効湯が有効だった子宮内膜症による難治性慢性下腹部痛	森裕紀子ほか	(33)805	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算103) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(88) 右手の第2指から5指挫滅切断後の夜間疼痛に漢方治療が奏効した1例	矢野博美ほか	(39)811	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(186) 半夏厚朴湯が奏効した症例	斉藤明美ほか	(45)817	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
東洋堂経験余話(326) ▽精神不安による咽喉部の不安に半夏厚朴湯加桔梗▽心下部がムカムカして、息苦しくドキドキする人に茯苓杏仁甘草湯加桂枝	松本一男	(51)823	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
漢方牛歩録(379) ▽変形性膝関節症に薏苡仁湯兼防風通聖散▽手関節炎に越婢加朮湯▽ムズムズ感に麻杏薏甘湯	中村謙介	(54)826	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
会員の独り言―最近の症例から―	三原孝典	(57)829	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
中国名医解説(3)	小曽戸洋	(64)836	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
先哲誕生日＆命日　9月編 ～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(73)845	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
論説／気の醫学における診察と診断についての一考察	柿田秀明ほか	(79)851	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
和田東郭の『蕉窓雑話』を読む(104)	奥田隆司ほか	(83)855	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
追悼／鍋谷欣市先生のご逝去を悼む	並木隆雄	(88)860	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
随想／岡西為人博士をご存知ですか？	秋葉哲生	(91)863	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
生薬配合の新生面 〝料理の術で柴甘し〟	秋葉哲生	(95)867	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
新刊紹介／ 『日英対照 漢方用語辞書(基本用語)』	植田圭吾	(97)869	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
韓国韓医学通信(第84報)	金成俊	(98)870	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(101)873	2020(令和2年)年・第67巻・第8号
2020(令和2)年・第67巻・第9号			2020(令和2年)年・第67巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(385) 孫思邈像	小曽戸洋ほか	(2)878	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
巻頭言／第30回漢方治療研究会「会頭指定ディベート」に思う	勝野達郎	(11)887	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
一般論文／大承気湯条の「陽明少陽合病、必下利」を考える	福田佳弘ほか	(13)889	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
小児の長引く中耳炎・鼻炎と黄耆建中湯	今中政支	(29)905	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その16)	織部和宏	(39)915	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
北里東医研診療録から(196) 不眠に白虎加黄連湯が有用であった1例	石毛達也ほか	(43)919	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算104) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(89) 西洋医学的治療や処置により陰虚症に陥った2症例	井上博喜ほか	(47)923	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(187) 午後になると調子が悪くなる方の茯苓沢瀉湯	鈴木寛彦ほか	(51)927	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
東洋堂経験余話(327) ▽右頬部の疼痛に葛根加朮附湯▽両下肢の化膿に十味敗毒湯加石膏・大黄	松本一男	(57)933	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
漢方牛歩録(380) ▽痛風発作に越婢加朮湯▽頸椎捻挫に麻杏薏甘湯▽変形性頸椎症に補中益気湯	中村謙介	(60)936	2020(令和2年)年・第67巻・第9号

原因不明の発熱にいたぶられるの記	村井政史	(63)939	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
中国名医解説(4)	小曽戸洋	(67)943	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
新型コロナウイルス感染症における漢方治療39例報告	許志泉	(77)953	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
〈編集長の目〉細野史郎先生の旧稿紹介	秋葉哲生	(88)964	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(66)／東洋医学のものの考え方(第1回)	増永静人	(91)967	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(98)974	2020(令和2年)年・第67巻・第9号
2020(令和2)年・第67巻・第10号			2020(令和2年)年・第67巻・第10号
[口絵]目でみる漢方史料館(386) 佐藤元萇の遺墨	町泉寿郎	(2)982	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
巻頭言／第71回日本東洋医学会学術総会 特企画「次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育」	高山真	(11)991	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
新型コロナウイルス感染症に麻杏甘石湯、胃苓湯、小柴胡湯加桔梗石膏による治療を行った2症例	山崎玄蔵	(13)993	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
頭痛と眩暈に対する掌善医院方函雑方「藿香湯」の使用経験	野上達也ほか	(19)999	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
北里東医研診療録から(197) 機能性胃腸障害に啓脾湯、帰耆建中湯が奏効した1例	星野卓之ほか	(25)1005	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算105) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(90) 救急外来で漢方薬が奏効した2症例	後藤雄輔ほか	(29)1009	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(188) その時の気持ち(感情)に寄り添った漢方薬の選択	蓮村幸兌ほか	(34)1014	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
東洋堂経験余話(328) ▽不眠と胃の不調に甘草瀉心湯▽花粉症に荊芥連翹湯	松本一男	(45)1025	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
漢方牛歩録(381) ▽足底腱膜炎に越婢加朮湯▽動悸に桂枝加竜骨牡蛎湯▽頭痛を伴う胃腸型カゼに桂枝人参湯	中村謙介	(49)1029	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
佐藤元萇とその遺墨	町泉寿郎	(51)1031	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
中国名医解説(5)	小曽戸洋	(62)1042	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
先哲誕生日＆命日　10月編 ～医史学と臨床の懸け橋～	桒谷圭二	(73)1053	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
茂吉の「はやりかぜ」のうた	小曽戸明子	(79)1059	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(67)／東洋医学のものの考え方(第2回)	増永静人	(80)1060	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
〈編集長の目〉道明先生の旧稿紹介	秋葉哲生	(88)1068	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
菊谷豊彦先生のご逝去を悼む	原桃介	(91)1071	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(92)1072	2020(令和2年)年・第67巻・第10号
2020(令和2)年・第67巻・第11号			2020(令和2年)年・第67巻・第11号
[口絵]目でみる漢方史料館(387) 『列仙伝絵巻』―神仙の世界	小曽戸洋	(2)1078	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
巻頭言／中国最古の医論	真柳誠	(11)1087	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
漢方治療が奏功した陽気虚を伴う味覚障害の2症例	黒木悟ほか	(13)1089	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
北里東医研診療録から(198) 啓脾湯と参苓白朮散の鑑別が問題となった1例	小田口浩ほか	(19)1095	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算106) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(91) 睡眠障害に桂枝加竜骨牡蛎湯と酸棗仁湯が有効であった1例 ～ Silmee™ Bar type Liteを用いた検討～	牧俊允ほか	(25)1101	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(189) 柴胡疎肝湯(『医学統旨』)の症例	千田五月ほか	(33)1109	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
慢性疾患に対する当帰建中湯・小建中湯加当帰末有効例の検討	宮崎瑞明ほか	(39)1115	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
東洋堂経験余話(329) ▽尿路結石に桂枝茯苓丸料加薏苡仁▽原因不明の首と肩の痛みに括楼桂枝湯	松本一男	(47)1123	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
漢方牛歩録(382) ▽変形性膝関節症に伴う顔面痙攣に防已黄耆湯▽変形性頸椎症に伴う不眠に柴胡桂枝乾姜湯	中村謙介	(51)1127	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
漢方研究室(52) 2020年11月号出題　第52問	及川哲郎	(53)1129	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
中国名医解説(6)	小曽戸洋	(55)1131	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
千葉古方に言わせれば	中村謙介	(65)1141	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
第30回漢方治療研究会―印象記	伊藤隆	(70)1146	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
第30回漢方治療研究会にWeb参加して	貝沼茂三郎	(71)1147	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
第30回漢方治療研究会の御礼とコロナ後の新たな会運営の経験	並木隆雄	(72)1148	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
第30回 漢方治療研究会、千葉で開催	篠原宣	(75)1151	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
細野八郎先生を偲んで	中田敬吾	(80)1156	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
細野八郎先生を偲んで	山崎正寿	(84)1160	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
細野八郎先生を偲ぶ	三谷和男	(87)1163	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(68)／東洋医学のものの考え方(第3回)	増永静人	(91)1167	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(99)1175	2020(令和2年)年・第67巻・第11号
2020(令和2)年・第67巻・第12号			2020(令和2年)年・第67巻・第12号

〔口絵〕目でみる漢方史料館(388) 『万病回春』初版本の出現	小曽戸洋	(2)1182	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
巻頭言／東京医科大学病院漢方医学センターのご紹介	及川哲郎	(11)1191	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
一般論文／当帰生姜羊肉湯の病態考察	福田佳弘ほか	(13)1193	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
随証療法により、輸血を中止できていると考えられた骨髄異形成症候群、赤芽球癆の1例(最終報告)	松田知雄	(21)1201	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
日々の臨床における傷寒論医学の応用(その18)	織部和宏	(29)1209	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
北里東医研診療録から(199) 剥脱性口唇炎に対し黄連と黄耆を加味した柴芍六君子湯が有効であった1症例	伊藤剛ほか	(33)1213	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算107) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(92) 鎮痛剤の効果が乏しい尿路結石の疼痛に対して芍薬甘草湯が有効であった2 例	吉永亮ほか	(39)1219	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(190) 肺癌手術と王不留行散、烏頭赤石脂丸・自験例	田中まち子ほか	(45)1225	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
東洋堂経験余話(330) ▽朝の胃のムカムカに乾姜人参半夏丸料加生姜▽平素から胃が弱い人の頭痛と小便不利に桂枝去桂加茯苓白朮湯	松本一男	(51)1231	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
漢方牛歩録(383) ▽腰部脊柱管狭窄症に疎経活血湯▽胸廓出口症候群に桂枝茯苓丸▽身体の引きつれに柴胡桂枝湯	中村謙介	(54)1234	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
一般論文／福山藩医員 森立之の失禄期間について	福嶋裕造ほか	(57)1237	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
中国名医解説(7)	小曽戸洋	(69)1249	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
編集長の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(69)／東洋医学のものの考え方(第4回)	増永静人	(79)1259	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
〈編集長の目〉道明先生の旧稿再見	秋葉哲生	(89)1269	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
図書紹介／『方劑輯要〈上・下〉』を座右におく	松橋俊夫	(96)1276	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
韓国韓医学通信(第85報)	金成俊	(92)1272	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(98)1278	2020(令和2年)年・第67巻・第12号
2021(令和3)年・第68巻・第1号			2021(令和3年)年・第68巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(389) 陽旦湯の図	小曽戸洋ほか	(2)2	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
令和3年(2021年) 新年のことば		(9)9	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
成城漢方雑話(18) 桂枝茯苓丸が著効した3症例	盛岡頼子	(86)86	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
「脾約」としての便秘に対して漢方治療が有効であった1症例	福嶋裕造	(91)91	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
北里東医研診療録から(200) 非定型歯痛に立効散料が有効であった1例	及川哲郎ほか	(95)95	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算108) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(93) 成人パルボウイルスB19感染症の入院症例	矢野博美ほか	(101)101	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(191) 「母と娘」 生理前の高血圧とおねしょ	飯田敏雄ほか	(109)109	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
東洋堂経験余話(331) ▽声が出づらい人に、百合固金湯加桔梗薏苡仁▽夏季の感冒に柴胡桂枝乾姜湯加五味子	松本一男	(113)113	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
漢方牛歩録(384) ▽生理前の体調不良に当帰芍薬散▽肥満・高血圧に防風通聖散兼八味丸	中村謙介	(116)116	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
漢方研究室(52) 2020年11号出題 第52問(再掲)	及川哲郎	(118)118	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
中国名医解説(8)	小曽戸洋	(126)126	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
〈編集長の目〉旧稿再見	秋葉哲生	(137)137	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
韓国韓医学通信(第86報)	金成俊	(139)139	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(141)141	2021(令和3年)年・第68巻・第1号
2021(令和3)年・第68巻・第2号			2021(令和3年)年・第68巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(390) 下山順一郎と生薬学	小曽戸洋ほか	(2)146	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
巻頭言／コロナ後の更なる日・中の相補の進展に期待して	笛木司	(11)155	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
補中益気湯との併用療法が有効であった治療経験	福嶋裕造	(13)157	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
重度の慢性疲労に、2種類の漢方薬の隔日交互服用が効果を示した症例	山崎由佳里	(25)169	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算109) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(94) COVID-19に対する不安と不眠に加味帰脾湯が有効であった2症例	井上博喜ほか	(33)177	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
東洋堂経験余話(332) ▽40℃の夏風邪に小柴胡湯▽夏アレルギー性鼻炎後による咳嗽に麦門冬湯加五味子桑白皮	松本一男	(39)183	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
漢方牛歩録(385) ▽関節リウマチに桂枝加朮附湯▽変形性脊椎症兼膝関節症▽萎縮性胃炎患者の坐骨神経痛に小建中湯	中村謙介	(42)186	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
一般論文／『傷寒論』と『金匱要略』に基づく「凡病若発汗、若吐、若下、若亡血、亡津液、陰陽自和者、必自愈」の意義に関する検討	陳暁明	(45)189	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
漢方研究室(53) 2021年2号出題 第53問	安井廣迪	(54)198	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
〈編集長の目〉旧稿再見	秋葉哲生	(56)200	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
修琴堂・大塚医院での思い出(1)	吉本悟	(57)201	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
中国名医解説(9)	小曽戸洋	(63)207	2021(令和3年)年・第68巻・第2号

編集長(秋葉哲生)の撰ぶ〝重要記事ふたたび〟(70)／秋田魁新報記事に見る1918年から1919年にかけてのスペイン風邪流行状況	秋葉哲生ほか	(73)217	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(85)229	2021(令和3年)年・第68巻・第2号
2021(令和3)年・第68巻・第3号			2021(令和3年)年・第68巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(391) 和田啓十郎の一族の顕彰碑	町泉寿郎	(2)234	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
巻頭言／「GPS」よりも「北極星」を	田中耕一郎	(11)243	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
特別座談会／精神科領域における漢方(上)ーうつ状態・不眠ー	杵渕　彰・天野雅夫・佐藤田實・井口博登・矢数芳英・山田和男〔司会〕	(13)245	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
アンケート／東亜医学協会会員における新型コロナウイルス感染対応の現況と未来に対する意識調査	東亜医学協会 編集企画委員会	(35)267	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
顕著な小腹急結を認めた桃核承気湯証の1例	上野裕美ほか	(47)279	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
台湾のRespire Aid(清冠一号・NRICM101)加減、板藍根を使った症例について	内藤雪ほか	(51)283	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算110) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(95) 桂枝加竜骨牡蛎湯の4例(不眠・尿漏れ・目の疲れ・性的逸脱行動).	田原英一ほか	(57)289	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
一般論文／二陳湯加減の症例から考察する左胸脇の機能	宮澤裕治	(63)295	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
異常発汗に対して柴胡加竜骨牡蛎湯が有効であった1例	福嶋裕造	(71)303	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
東洋堂経験余話(333)　▽両腓腹筋のつりに呉茱萸湯加木瓜▽疲労が原因か、フラツキに真武湯	松本一男	(78)310	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
漢方牛歩録(386)　▽緊張傾向の老人の腰背痛▽掌蹠膿疱症に温清飲	中村謙介	(81)313	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
中国名医解説(10)	小曽戸洋	(83)315	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
眠り姫は蚊帳の枕カバーを使っていたって本当？	山本馨	(90)322	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
修琴堂・大塚医院での思い出(2)	吉本悟	(91)323	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
〈編集長の目〉旧稿再見	秋葉哲生	(99)331	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(101)333	2021(令和3年)年・第68巻・第3号
2021(令和3)年・第68巻・第4号			2021(令和3年)年・第68巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(392) 矢数有道の『中国医学初桃』	小曽戸洋	(2)338	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(393) 布施美術館蔵の『俗解難経』越前版と古活字版	宮川浩也	(6)342	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
巻頭言／『漢方の臨床』創刊八〇〇号記念号発刊に際して	秋葉哲生	(13)349	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
誌上対談／創刊800号記念『漢方の臨床』誌を振り返る	秋葉哲生・花輪壽彦・小曽戸洋・土屋伊磋雄・坂田幸治〔司会〕	(15)351	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／漢方の臨床、創刊八〇〇号出版を祝う	山田光胤	(28)364	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／植物園を歩いて	小根山隆祥	(29)365	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』八〇〇号の発刊を祝す	寺澤捷年	(32)368	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／漢方の臨床800号記念に寄せて	中田敬吾	(35)371	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／遠田裕政先生の論考について	中村謙介	(38)374	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』創刊800号記念号の発刊を祝す	原桃介	(40)376	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』創刊八〇〇号記念に寄せて	山崎正寿	(42)378	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／本誌創刊八〇〇号記念に寄せて	真柳誠	(45)381	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／漢方を学び続けて30年～松田邦夫『症例による漢方治療の実際』を読む～	新井信	(46)382	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／この書を薦める！ 山本巌著『東医雑録』全3巻(燎原)	中島正光	(50)386	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／私の漢方の成長ごとに、支えてくれた図書群―私の漢方医学の推薦図書	並木隆雄	(53)389	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／この書を薦める！ 細野史郎先生著『漢方医学十講』	三谷和男	(56)392	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／『傷寒論』に付き添われて	三潴忠道	(60)396	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／日本漢方の課題と夢	今井淳	(63)399	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／志合えば胡越も昆弟たり 『漢書』鄒陽伝	小池加能	(65)401	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／昭和・平成・令和の時代に漢方に携わって思うこと	嶋田豊	(68)404	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』に育てていただいている	盛岡頼子	(71)407	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
創刊800号記念企画／創刊八〇〇号記念に寄せて	小曽戸明子	(72)408	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
アンケート　私の愛用処方ベスト5 (1)	編集企画委員会	(73)409	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
統合医療から見た漢方医学の形	安井廣迪	(89)425	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
東京医大漢方医学センターだより (1)　最近のカルテから　漢方医学センターへ紹介された筋肉のぴくつき・しびれの2症例	及川哲郎ほか	(103)439	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算111) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(96) 冷えに伴う諸症状に四逆輩を使用した2症例	後藤雄輔ほか	(107)443	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(192) 高齢者の低栄養状態に対する漢方処方とMCTオイルの併用	蓮村幸兌ほか	(113)449	2021(令和3年)年・第68巻・第4号

東洋堂経験余話(334) ▽老人の腰痛に八味丸料は無効で、補陰湯が効果があった症例▽体調不良のための腹痛と下痢に甘草瀉心湯	松本一男	(118)454	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
漢方牛歩録(387) ▽首下がり病の項部痛に葛根湯▽顔面のむくみに桂枝加黄耆湯▽石灰沈着性腱板炎に越婢加朮湯.	中村謙介	(121)457	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
漢方研究室(53) 2021年2月号出題 第53問(再掲)	安井廣迪	(123)459	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
特別座談会／精神科領域における漢方(下)ーうつ状態・不眠ー	杵渕 彰・天野雅夫・佐藤田實・井口博登・矢数芳英・山田和男〔司会〕	(136)472	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
韓国韓医学通信(第87報)	金成俊	(149)485	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
3月号巻頭言を読みて	親米老人	(152)488	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
修琴堂・大塚医院での思い出(3)	吉本悟	(153)489	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
図書紹介／ウンシュルト英訳注『本草綱目』シリーズ	真柳誠	(161)497	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
編集長の選ぶ〝旧稿拝見〟シリーズ／『京都木屋町での、七時間に及ぶ座談会』WEB版	秋葉哲生	(163)499	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(164)500	2021(令和3年)年・第68巻・第4号
2021(令和3)年・第68巻・第5号			2021(令和3年)年・第68巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(394) 香川修庵の書簡	町泉寿郎	(2)506	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(395) 赤松金芳と『和漢薬』	小曽戸洋ほか	(6)510	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
巻頭言／理事長・編集長就任あいさつ	花輪壽彦	(13)517	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
『漢方の臨床』創刊及び東亜医学協会創立記念号 目次一覧	編集局	(15)519	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／800号に寄せて	及川哲郎	(43)547	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／「チバニアン」と伝統医学の病態論	勝野達郎	(46)550	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／漢方における今後の医史学研究に向けて	鈴木達彦	(49)553	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』誌は私の灯台	千田五月	(51)555	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／現代刺絡療法の普及を願う	友部和弘	(54)558	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／〈湯液、鍼灸、薬膳、気功、手技療法〉統合医療の行方	根本幸夫	(56)560	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／これからの漢方に期待すること ―多層性を保持した科学的把握―	笛木司	(61)565	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／今後の漢方薬の研究について	牧野利明	(63)567	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／漢方と漢学―学問の断絶・再編・変容について思うこと	町泉寿郎	(66)570	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』誌への期待	村松慎一	(69)573	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』は「多彩であれ！」	宮川浩也	(71)575	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／エキス漢方には、エキス漢方の道がある	松田知雄	(74)578	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』誌と漢方に思うこと	澁谷惠子	(75)579	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／創刊800号記念に寄せて	伊藤康雄	(76)580	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／『漢方の臨床』創刊八〇〇号記念に寄せて	吉田和裕	(76)580	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／官民を挙げて日本文化遺産の漢方医学を守って欲しい	片桐平智	(78)582	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／新生存学の構築を！―『漢方の臨床』誌創刊八〇〇号を祝す	王瑞雲	(79)583	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
創刊800号記念企画／かかりつけ医としての漢方の役割	渡辺賢治	(80)584	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
アンケート 私の愛用処方ベスト5 (2)	編集企画委員会	(82)586	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
一般論文／現代医学の中での漢方治療 はじめに(上)	井上淳子ほか	(101)605	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
肺虚万病論	柿田秀明ほか	(113)617	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
新型コロナウイルス感染後嗅覚消失に麗沢通気湯加味が有効であった1例	陳暁明	(123)627	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
不安神経症の諸症状に苓桂甘棗湯加紅花が有効であった1症例	中尾桂子ほか	(128)632	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
左・後鼻漏に半夏白朮天麻湯	松橋俊夫	(133)637	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算112) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(97) 慢性陰嚢痛・鼠径部痛に桂枝茯苓丸加薏苡仁が有効であった1 症例	牧俊允ほか	(135)639	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(193) 漢方の役割「人と時間の方程式」	山下耕司ほか	(141)645	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
東洋堂経験余話(335) ▽多病の人の頭のふらつきに白虎加桂枝湯▽新薬の副作用か、胃の不調に旋覆花代赭石湯	松本一男	(145)649	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
漢方牛歩録(388) ▽抜歯後の歯齦回復の遅延に当帰建中湯▽肩背痛に葛根湯兼芍薬甘草湯▽臀部痛に駆瘀血丸▽変形性脊椎症の腰痛・肩凝り	中村謙介	(148)652	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
成城漢方雑話(19) 半夏厚朴湯により身体症状が劇的に改善した若年男性の3 症例	盛岡頼子	(151)655	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
漢方研究室(54) 2021年5月号出題 第54問	加島雅之	(156)660	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
準公定書における漢方処方調剤の最初の記載―千葉大学医学部附属病院の処方集について	寺澤捷年	(159)663	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
〝腹診〟の漢方入門セミナーが大人気!!	蔭山充	(163)667	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
先人は語る	親米老人	(169)673	2021(令和3年)年・第68巻・第5号

漢方関係学会・研究会予定(6月)		(172)676	2021(令和3年)年・第68巻・第5号
2021(令和3)年・第68巻・第6号			2021(令和3年)年・第68巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(396) 三医聖(神農・董奉・陶弘景)林鵞峰賛	小曽戸洋ほか	(2)682	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(397) 間中喜雄先生の絵	小曽戸洋	(6)686	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
巻頭言／開催延期の陰と陽　第71回日本東洋医学会学術総会の延期	三潴忠道	(13)693	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
一般論文／江戸時代のブレインフォグ	安井廣迪ほか	(15)695	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
一般論文／新型コロナウイルス感染後の後遺症(Long COVID)に人参養栄湯が奏効した1症例	矢数芳英ほか	(29)709	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
論説／気的醫学(形と意識)	柿田秀明	(43)723	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算113) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(98) 不登校の思春期女児に柴胡剤が有効であった2症例	吉永亮ほか	(51)731	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(194) 四物湯との合方薬	千田五月ほか	(57)737	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
東京医大漢方医学センターだより(２) 最近のカルテから コロナ禍における呼吸困難感に柴胡桂枝乾姜湯が奏効した3症例―いわゆるコロナ疲れ・PTSD様症状に対する漢方治療	矢数芳英ほか	(63)743	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
漢方牛歩録(389)　▽不食症に伴う便秘に小建中湯▽変形性脊椎症の項頸部痛と尾骨部痛▽ガングリオンに五苓散加枳実梔子	中村謙介	(70)750	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
東洋堂経験余話(336)　▽子供の頑固な便秘に桂枝麻黄各半湯▽両下肢の浮腫と右膝痛に防已黄耆湯加麻黄	松本一男	(73)753	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
一般論文／現代医学の中での漢方治療　はじめに(下)	井上淳子ほか	(77)757	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
随想／巨魁栗園浅田先生の世評	親米老人	(87)767	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
中国出土医学文献与文物研究院学術委員会が成都で開催	小曽戸洋	(92)772	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
図書紹介／『明治維新・漢方撲滅の実相』―告発の史書	真柳誠	(93)773	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(96)776	2021(令和3年)年・第68巻・第6号
2021(令和3)年・第68巻・第7号			2021(令和3年)年・第68巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(398) 丹波緑川画の神農像	小曽戸洋	(2)786	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(399) 華岡流『治術図識』絵巻	小曽戸洋	(5)789	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
巻頭言／第38回和漢医薬学会学術大会	元雄良治	(13)797	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
陽虚の感冒に対する麻黄附子細辛湯の治療経験	福嶋裕造	(15)799	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
昇陽益胃湯加味がCOVID-19感染後に倦怠感が続く症状に有効と考えられた1例	陳暁明	(25)809	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
釣藤鈎のセロトニン作用が有効であった不登校の3例	藤原二郎	(29)813	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
東京医大漢方医学センターだより(３) 最近のカルテから 六君子湯と半夏厚朴湯の併用が有効であった機能性ディスペプシアの1例	及川哲郎ほか	(33)817	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算114) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(99) 漢方研修2カ月で印象に残った2症例	中尾真一郎ほか	(39)823	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(195) 柴胡について	熊井啓子ほか	(45)829	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
漢方牛歩録(390)　▽下垂足に八味丸兼桂枝茯苓丸▽膝部滑液包炎に越婢加朮湯▽乳房痛に葛根湯	中村謙介	(52)836	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
東洋堂経験余話(337)　▽左腎結石に防風通聖散料▽舌痛症に凉膈散料	松本一男	(54)838	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
漢方研究室(54)　2021年5月号出題　第54問(再掲)	加島雅之	(57)841	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
論説／アナトミー・トレイン(筋筋膜経線)と経脈―似て非なるもの―	上桝次郎	(67)851	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
随想／「鶏子いかがでしょう」	松田知雄	(75)859	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
図書紹介／『和田啓十郎・漢方復興不屈の魂』『明治維新・漢方撲滅の実相』	花輪壽彦	(78)862	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
韓国韓医学通信(第88報)	金成俊	(82)866	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(86)870	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
第71回 日本東洋医学会学術総会 主要プログラム		(87)871	2021(令和3年)年・第68巻・第7号
2021(令和3)年・第68巻・第8号			2021(令和3年)年・第68巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(400) 扁鵲画像―吉田意庵宗愉賛	小曽戸洋ほか	(2)878	2021(令和3年)年・第68巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(401) 張仲景画賛―狩野常信画・姥柳有莘賛	町泉寿郎ほか	(5)881	2021(令和3年)年・第68巻・第8号
巻頭言／コロナ禍での「第31回漢方治療研究会」開催にあたって	新井信	(11)887	2021(令和3年)年・第68巻・第8号
臨床経験 当帰四逆加呉茱萸生姜湯の向精神作用について	幾嶋泰郎	(13)889	2021(令和3年)年・第68巻・第8号
Comirnaty接種後のベル麻痺に鍼治療が有効であった1例	陳暁明	(19)895	2021(令和3年)年・第68巻・第8号
知覚異常性大腿痛に対して漢方治療が有効であった1例	福嶋裕造	(25)901	2021(令和3年)年・第68巻・第8号

東京医大漢方医学センターだより（４） 最近のカルテから 片頭痛の予防薬としての呉茱萸湯を考える ～呉茱萸湯のレスポンダー：臨床研究の再検討	矢数芳英ほか	(31)907	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録（196） 食欲不振・倦怠感を伴う下痢には人参湯、 ワクチン接種後には茯苓四逆湯が奏功した症例	斉藤明美ほか	(39)915	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／（通算115） 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ（100） 水毒患者に対する小豆スープの取り組み	井上博喜ほか	(45)921	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
東洋堂経験余話(338)　▽異常発汗と悪寒に芍薬甘草附子湯▽家庭内の重圧に桂枝甘草竜骨牡蛎湯	松本一男	(50)926	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
漢方牛歩録(391)　治療に失敗した骨粗鬆症	中村謙介	(53)929	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
漢方研究室（55）　2021年8月号出題　第55問	矢数芳英	(56)932	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
論説／夏目漱石の俳句　「桃咲くやいまだに流行る漢方医」をめぐって	寺澤捷年	(59)935	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
連載400回記念　「目でみる漢方史料館」掲載タイトル一覧	編集局	(64)940	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
第31回漢方治療研究会　プログラム		(77)953	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定（9月）		(81)957	2021（令和3年）年・第68巻・第8号
2021(令和3)年・第68巻・第9号			2021（令和3年）年・第68巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（402） 張仲景画像賛―半井成美賛	小曽戸洋ほか	(2)966	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（403） 孫思邈像（その2）	小曽戸洋	(5)969	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
巻頭言／「漢方テキスト複合検索データベース」の序に	星野卓之	(11)975	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
軽症COVID-19に伴ってアトピー性皮膚炎様皮膚病変の見られた1例 ― COVID-19 の病態における陰病の重要性―	宮澤裕治	(13)977	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
鍼治療で軽快した帯状疱疹後神経痛	藤井まゆみ	(17)981	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／（通算116） 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ（101） 漢方治療が奏功した交通事故後のパニック障害・フラッシュバックの症例	矢口綾子ほか	(21)985	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
東京医大漢方医学センターだより（５） 最近のカルテから 機能性高体温症と思われる微熱に苓桂朮甘湯が有効であった2症例	及川哲郎ほか	(27)991	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
漢方牛歩録(392)　▽ギブスの痒みに桂枝二越婢一湯▽肥満者の腰痛に防風通聖散▽便失禁に真武湯	中村謙介	(33)997	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
東洋堂経験余話(339)　▽血の道症に甲字湯▽首と肩の凝りと腰痛に桃核承気湯加附子	松本一男	(36)1000	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
論説／肺胆相関理論の発掘と検討	陳暁明	(39)1003	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
一般論文／白虎湯、白虎加人参湯証における鬱熱の考察 白虎湯合小柴胡湯、白虎加人参湯による三陽合病の治験を礎に	福田佳弘ほか	(47)1011	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
一般論文／現代医学の中での漢方治療　―いわゆる自律神経失調症に対して―	井上淳子ほか	(73)1037	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
新刊図書紹介／『福島県立医科大学　会津医療センター　漢方処方集　運用の実際』	並木隆雄	(86)1050	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
新刊図書紹介／『本草和名―影印・翻刻と研究―』	小曽戸洋	(88)1052	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
新刊図書紹介／『漢方で感染症からカラダを守る！』	編集局	(90)1054	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
第71回日本東洋医学会学術総会報告	篠原宣	(92)1056	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定（10月）		(97)1061	2021（令和3年）年・第68巻・第9号
2021(令和3)年・第68巻・第10号			2021（令和3年）年・第68巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（404） 岑少翁賛の神農画像	小曽戸洋	(2)1070	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館（405） 孫思邈像（その３）富岡鉄斎か	小曽戸洋	(4)1072	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
巻頭言／RawDataとしての症例報告を	矢数芳英	(11)1079	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
一般論文／漢方医学からみたファクターX	安井廣迪	(15)1083	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
一貫堂荊芥連翹湯加味が奏効した帯状疱疹の2症例と考察	陳暁明	(25)1093	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録（197） 高温多湿時にむくみやすい女性の症例	蓮村幸兌ほか	(33)1101	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／（通算117） 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ（102） 入院高齢患者の精神疾患に漢方薬が有効だった3症例	後藤雄輔ほか	(37)1105	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
漢方牛歩録(393)　▽頻尿に当帰芍薬散▽胸焼けに大建中湯▽石灰沈着性手関節炎に越婢加朮湯▽咽喉に貼りついた痰に梔子豉湯	中村謙介	(42)1110	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
東京医大漢方医学センターだより（６） 研究のご紹介　男性不妊症と漢方	伊藤正裕ほか	(45)1113	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
東洋堂経験余話(340)　▽夜尿症に柴胡桂枝湯加芍薬▽激しい頭痛に清上蠲痛湯	松本一男	(50)1118	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
総説／中国医学における流行性感染症に関する史料の紹介	町泉寿郎	(53)1121	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
総説／10カ月間の不明熱に　白虎加人参湯合大承気湯の著効例から見る証の診断	許志泉	(61)1129	2021（令和3年）年・第68巻・第10号
論説／張仲景以前の中国医療（１）	真柳誠	(69)1137	2021（令和3年）年・第68巻・第10号

漢方研究室(55)　2021年8月号出題　第55問(再掲)	矢数芳英	(75)1143	2021(令和3年)年・第68巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(87)1155	2021(令和3年)年・第68巻・第10号
2021(令和3)年・第68巻・第11号			2021(令和3年)年・第68巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(406) 森共之述『老子経国語解』	宮川浩也	(2)1162	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(407) 曲直瀬道三自筆の養生和歌	小曽戸洋ほか	(5)1165	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
巻頭言／漢方を伝える、医療が伝わる	大野修嗣	(11)1171	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
慢性外陰部痛の2症例の検討―足厥陰肝経と衝任虚損について―	山崎由佳里	(13)1173	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
釣藤鈎にはセロトニン作用の他にノルアドレナリン作用も併存するのではないかと思わせる症例	藤原二郎	(21)1181	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
ドセタキセルで治療中に生じた下腿浮腫と体のピリピリした痛みに苓姜朮甘湯加附子が有効であった症例	中田佳延	(25)1185	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算118) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(103) 入院治療を要した腹痛の2例	原田直之ほか	(31)1191	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
東京医大漢方医学センターだより(７) 最近のカルテから　骨盤内の慢性炎症に腸癰湯が奏効した3症例 ～慢性前立腺炎、鼠径ヘルニア術後、急性虫垂炎後	矢数芳英ほか	(39)1199	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(198) 桂枝五物湯と黄耆桂枝五物湯	千田五月ほか	(49)1209	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
東洋堂経験余話(341)　▽気管支が弱い人の、感冒からの痰のからむ咳嗽に麦門冬湯加桔梗玄参紫苑▽涙腺の異常に苓桂朮甘湯加車前子	松本一男	(54)1214	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
漢方牛歩録(394)　▽腰部脊柱管狭窄症に牛車腎気丸▽外傷性の手根管症候群に越婢加朮湯▽アレルギー性鼻炎に小青竜湯合越婢加朮湯	中村謙介	(57)1217	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
一般論文／吉益東洞「万病一毒論」―エントロピー的意義―	岩崎勲	(61)1221	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
論説／張仲景以前の中国医療(２)	真柳誠	(73)1233	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
図書紹介／『千葉漢方の伝統を紡ぐ ～私の傷寒論～』を読んで	三潴忠道	(80)1240	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
追悼／わが師、山田光胤先生	森由雄	(82)1242	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
追悼／山田光胤先生の訃音に接して	中村謙介	(83)1243	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
韓国韓医学通信(第89報)	金成俊	(85)1245	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
杏雨書屋特別展示会「医聖たちの姿」開催	小曽戸洋	(88)1248	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
第31回漢方治療研究会、オンラインで開催	篠原宣	(90)1250	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
第31回漢方治療研究会雑記	事務局	(96)1256	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(97)1257	2021(令和3年)年・第68巻・第11号
2021(令和3)年・第68巻・第12号			2021(令和3年)年・第68巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(408) 神農―曲直瀬元勲賛・小川破笠画	小曽戸洋	(2)1266	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(409) 新妻荘五郎と新妻家蔵書	小曽戸洋	(4)1268	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
巻頭言／健康法、食養生、そして漢方	山内浩	(11)1275	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
座談会／細野流を語る(その1)	中田敬吾・山崎正寿・中島正光〔司会〕	(15)1279	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
特別報告／日本東洋医学会主導新型コロナウイルス感染症の臨床研究、背景と進捗について	高山真	(27)1291	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
一般論文／Comirnaty(復必泰)ワクチン接種後の副反応に漢方薬治療が有効であった症例と考察	陳暁明	(31)1295	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
石灰沈着性頚長筋炎に対して漢方治療が有効であった1例	福嶋裕造	(49)1313	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
慢性咽喉頭炎に対し駆風解毒散料加桔梗石膏を投与し著効した1例	三橋成輝ほか	(55)1319	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(199) 当帰四逆加呉茱萸生姜湯の症例報告	田中まち子ほか	(61)1325	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算119) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(104) 2型糖尿病患者に対する八味地黄丸の減量効果	牧俊允ほか	(65)1329	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
東洋堂経験余話(342)　▽咳嗽がなかなか止まらない感冒に、小柴胡湯去人参・生姜・大棗加五味子・乾姜▽舌先の痛みに清熱補気湯	松本一男	(72)1336	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
東京医大漢方医学センターだより(８) 東京医大漢方道場　東京医科大学臨床漢方セミナーから 消化器疾患に対する漢方治療～下部消化管領域を中心に～	及川哲郎ほか	(75)1339	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
漢方牛歩録(395)　▽胸部痛に大柴胡湯去大黄▽中途覚醒に加味帰脾湯▽ふくらはぎのムズムズに麻杏薏甘湯	中村謙介	(85)1349	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
漢方研究室(56)　2021年12月号出題　第56問	田中耕一郎	(87)1351	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
論説／張仲景以前の中国医療(３)	真柳誠	(89)1353	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
追悼／山田光胤先生を偲ぶ	大友一夫	(95)1359	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
追悼／師恩	松田知雄	(99)1363	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(101)1365	2021(令和3年)年・第68巻・第12号
2022(令和4)年・第69巻・第1号			2022(令和4年)年・第69巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(410) 吉益東洞賛の神農画像	小曽戸洋	(2)2	2022(令和4年)年・第69巻・第1号

〔口絵〕目でみる漢方史料館(411) 少彦名命像賛―丹波敬三・緑川父子の共作	小曽戸洋	(5)5	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
令和4年(2022年) 新年のことば		(9)9	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
新型コロナ感染症の後遺症としてのブレインフォグの治療経験	渡辺賢治ほか	(85)85	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
鍼灸と漢方の併用が奏功した睡眠障害の1例	井田剛人ほか	(95)95	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
麻黄湯が新型コロナワクチン接種後の強い副反応軽減に寄与した1例	光野彩子ほか	(101)101	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算120) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(105) 頭汗に茵蔯蒿湯が奏効した2例	田原英一ほか	(109)109	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(200) 桂枝加竜骨牡蛎湯の症例報告	永田和也ほか	(115)115	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
漢方牛歩録(396) ▽桂枝二越婢一湯による大発汗▽術後鬱血による疼痛に乙字湯合桂苓丸▽胃腸型の感冒に葛根加半夏湯	中村謙介	(120)120	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
東洋堂経験余話(343) ▽疲労からの悪心嘔吐に柴胡桂枝湯加生姜半夏▽下痢と咳嗽に附子理中湯	松本一男	(122)122	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
一般論文／現代医学の中での漢方治療 ―アトピー性皮膚炎に代表される慢性的湿疹に対して―	井上淳子ほか	(125)125	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
総説／傷寒を鉄代謝から考察する	薗田将樹	(137)137	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
論説／張仲景以前の中国医療(４)	真柳誠	(143)143	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
座談会／細野流を語る(その2)	中田敬吾・山崎正寿・中島正光〔司会〕	(150)150	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
日本刺絡学会第29回学術大会報告	編集局	(159)159	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
中国出土医学文献与文物研究院 第二次学術委員会開催	小曽戸洋	(160)160	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(162)162	2022(令和4年)年・第69巻・第1号
2022(令和4)年・第69巻・第2号			2022(令和4年)年・第69巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(412) 能美友庵著『六診提要』	宮川浩也	(2)170	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(413) 白沢図	小曽戸洋	(4)172	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(414) 名古屋玄医『医経溯洄集抄』と『金匱要略註解』	小曽戸洋	(6)174	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
巻頭言／コロナ禍と生薬“標準処方”の必要性	南澤 潔	(11)179	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)後に生じた症状に対して漢方薬と鍼灸治療を併用した1例	山中一星ほか	(15)183	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
漢方薬が奏効した科興ワクチン(CoronaVac)3回目接種後帯状疱疹の1症例と考察	陳暁明	(21)189	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
上腹部痛に対して小柴胡湯が有効であった1例	福嶋裕造	(29)197	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
左肩凝りに半夏白朮天麻湯が著効した1例	松橋俊夫ほか	(35)203	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
著明な頻尿・夜間頻尿に対し、漢方治療が有効だった1例	小松歩	(39)207	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
東京医大漢方医学センターだより(９) 最近のカルテから 頭部違和感に半夏厚朴湯と釣藤散が有効であった症例	及川哲郎ほか	(45)213	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算121) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(106) 痔核を伴う肛門部の激しい疼痛に芍薬甘草湯の溶解液が奏効した1例	吉永亮ほか	(51)219	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
東洋堂経験余話(344) ▽熱中症に五苓散料▽咽がかすれて声が出ない人に、滋陰降火湯	松本一男	(58)226	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(201) 子供に大人気 小建中湯	飯田敏雄ほか	(61)229	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
漢方牛歩録(397) ▽動悸を主とした自律神経症状に苓桂甘棗湯▽声帯ポリープに麦門冬湯▽全身の瘙痒感に三物黄芩湯	中村謙介	(67)235	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
漢方研究室(56) 2021年12月号出題 第56問(再掲)	田中耕一郎	(70)238	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
論説／張仲景以前の中国医療(５)	真柳誠	(80)248	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
随想／もしもジョージ・ワシントンが漢方治療を受けたなら……	村井政史	(84)252	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
座談会／細野流を語る(その3)	中田敬吾・山崎正寿・中島正光〔司会〕	(88)256	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
新刊図書紹介／本多義昭著『生薬学ノート』	小曽戸洋	(98)266	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
新年のことば(続)		(99)267	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(100)268	2022(令和4年)年・第69巻・第2号
2022(令和4)年・第69巻・第3号			2022(令和4年)年・第69巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(415) 道三『切紙』医工宜諷熟	小曽戸洋	(2)274	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(416) 吉益北洲の書画	小曽戸洋ほか	(4)276	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
巻頭言／ポストコロナ禍の人生100年時代をどう生きるか	鈴木邦彦	(11)283	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
インタビュー/日本漢方における薬剤師の役割、及び漢方製剤の現状と未来	三上正利 〔聞き手〕金成俊	(13)285	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
一般論文／超高齢者における厥陰病	小林瑞	(25)297	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
睡眠時無呼吸症候群を合併した正常眼圧緑内障に八味地黄丸が有効であった症例 ～眼科領域における漢方医学の形～	山本昇伯	(39)311	2022(令和4年)年・第69巻・第3号

釣藤鈎(煎じ)が奏功した強迫性障害の2例	藤原二郎	(47)319	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(202) 最後の愛犬甲ちゃんの看取り期に真武湯の効果	蓮村幸兌ほか	(51)323	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
東京医大漢方医学センターだより(10) 最近のカルテから HBOC(遺伝性乳癌卵巣癌症候群)の更年期症状(発汗過多・盗汗)に滋陰降火湯が奏効した1症例	矢数芳英ほか	(55)327	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より/(通算122) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(107) 小柴胡湯と小柴胡湯加桔梗石膏の症例	矢野博美ほか	(65)337	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
漢方牛歩録(398) ▽睡眠薬を併用し1年間に18kgの減量▽手根管症候群に桂枝茯苓丸兼メチコバール	中村謙介	(72)344	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
東洋堂経験余話(345) ▽紫外線過敏症に梔子柏皮湯▽後鼻漏に葛根湯加桔梗辛夷	松本一男	(74)346	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
漢方研究室(57) 2022年3月号出題 第57問	田原英一	(78)350	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
論説/張仲景以前の中国医療(6)	真柳誠	(81)353	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
追悼/矢数圭堂先生を想う	小曽戸洋	(93)365	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
追悼/矢数圭堂先生との永別を悼む	真柳誠	(94)366	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
追悼/矢数圭堂先生を偲んで	中島正光	(96)368	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
追悼/「形影相伴う」矢数道明先生と矢数圭堂先生	編集局	(98)370	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
新刊図書紹介/寇華勝著『中医昇降学― 昇降・出入理論とその診断治療体系』を読んで	高橋宏和	(99)371	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(101)373	2022(令和4年)年・第69巻・第3号
2022(令和4)年・第69巻・第4号			2022(令和4年)年・第69巻・第4号
[口絵]目でみる漢方史料館(417) 国宝東博本『医心方』の修理完了	小曽戸洋	(2)378	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
巻頭言/第72回日本東洋医学会学術総会について	八重樫稔	(11)387	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
苓桂朮甘湯が有効だった機能性ディスペプシアの1例	山崎玄蔵	(13)389	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より/(通算123) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(108) ジストニアに漢方治療が奏効した2症例	井上博喜ほか	(19)395	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
東京医大漢方医学センターだより(11) 東京医大漢方道場 東京医科大学臨床漢方セミナーから 感染症における漢方薬の役割 ～COVID-19 流行下において～	渡邉秀裕ほか	(25)401	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(203) 保険調剤と漢方相談の狭間で	山下耕司ほか	(31)407	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
東洋堂経験余話(346) ▽右肘痛に葛根湯加蒼朮、附子▽難病の人の咽喉痛に麦門冬湯加玄参、紫苑、桔梗	松本一男	(36)412	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
漢方牛歩録(399) ▽舌炎に黄連解毒湯・三黄瀉心湯▽頸椎捻挫に大柴胡湯去大黄兼八味丸▽咽喉に絡まる粘痰に茯苓飲	中村謙介	(40)416	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
一般論文/現代医学の中での漢方治療―老人に対して―	井上淳子ほか	(43)419	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
康平傷寒論の研究(四) 蓼喰う虫も好き好き	大友一夫	(53)429	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
論説/張仲景以前の中国医療(7)	真柳誠	(83)459	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
追悼/矢数圭堂先生を思う	安井廣迪	(91)467	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
追悼/矢数圭堂先生を偲ぶ	原桃介	(92)468	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
追悼/矢数圭堂先生へ	張仁彰	(93)469	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
報告/日本最古の医学書・国宝『医心方』の世界 見学報告	編集局	(94)470	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(97)473	2022(令和4年)年・第69巻・第4号
2022(令和4)年・第69巻・第5号			2022(令和4年)年・第69巻・第5号
[口絵]目でみる漢方史料館(418) 多紀元堅の書跡	小曽戸洋	(2)482	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
[口絵]目でみる漢方史料館(419) 神農の薬籠	小曽戸洋	(5)485	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
巻頭言/薬用作物(生薬)の質を臨床の現場に問う	三谷和男	(11)491	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
一般論文/六君子湯再考	宮澤裕治	(13)493	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
新 女子医大雑話(1) コロナ禍での漢方治療 ―人参養栄湯よりも十全大補湯が有効であった易疲労感の2症例―	木村容子ほか	(21)501	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
克爾来福(CoronaVac)ワクチン接種後の舌麻痺に葛根湯加味が有効であった1症例と考察	陳暁明	(25)505	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
会員の独り言 最近の症例から	三原孝典	(33)513	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
成城漢方雑話(20) 麻黄附子細辛湯、桂枝湯で易感染が改善し、その後、麻黄附子細辛湯を続け、50年来の日光過敏が改善した症例	盛岡頼子	(41)521	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
東京医大漢方医学センターだより(12) 東京医大漢方道場 東京医科大学臨床漢方セミナーから 消化器疾患に対する漢方治療 ～上部消化管領域を中心に～	及川哲郎ほか	(45)525	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(204) 温胆湯加味方の症例	千田五月ほか	(53)533	2022(令和4年)年・第69巻・第5号

飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算124) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(109) 高齢者施設で続けて発症した大腿骨頸部骨折と脳梗塞の症例	原田直之ほか	(59)539	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
漢方牛歩録(400) ▽桂枝加朮附湯加黄耆で改善した強皮症	中村謙介	(67)547	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
東洋堂経験余話(347) ▽胃腸虚弱の人の頭重に白朮附子湯▽胃が弱い人の首と肩の痛みに桂枝去桂加茯苓白朮湯	松本一男	(70)550	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
漢方研究室(57) 2022年3 月号出題 第57問(再掲)	田原英一	(74)554	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
論説／張仲景以前の中国医療(8)	真柳誠	(82)562	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
報告／馬場辰二の青山内科時代の漢方による虫垂炎治療について、二、三の考察	徳留一博	(89)569	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
追悼／恬淡虚無 真気従之	中村謙介	(93)573	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(96)576	2022(令和4年)年・第69巻・第5号
2022(令和4)年・第69巻・第6号			2022(令和4年)年・第69巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(420) 多紀元堅の書跡(その2)	小曽戸洋	(2)586	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(421) 杏雨書屋の蔵書と展示	小曽戸洋	(5)589	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
巻頭言／第1回漢方医学国際シンポジウム(日本東洋医学会主催)の意義	伊藤隆	(11)595	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
座談会／眼科領域における漢方(その1)	黒木悟・藤東祥子・春日井真理・山本昇伯〔司会〕・竹田眞〔司会〕・秋葉哲生	(13)597	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
一般論文／天雄散の病態とその運用	福田佳弘	(25)609	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
心因性頻尿への二種の漢方薬(柴胡桂枝乾姜湯、小建中湯)の隔日交互服用	山崎由佳里	(33)617	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算125) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(110) 母・長女・次女に漢方治療が有効であった3症例	吉永亮ほか	(41)625	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
東京医大漢方医学センターだより(13) 最近のカルテから 更年期障害の関節痛・手指のこわばり・倦怠感・不眠に大防風湯が奏効した1症例	矢数芳英ほか	(47)631	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
新 女子医大雑話(2) 新型コロナ感染症罹患後症状としての呼吸器症状(息苦しさ)に対して炙甘草湯で改善した2症例	津嶋伸彦ほか	(55)639	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
東洋堂経験余話(348) ▽肺炎に竹葉石膏湯▽ストレスの為の肩凝りに葛根黄芩黄連湯	松本一男	(61)645	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
漢方牛歩録(401) ▽側胸部の痙攣に四逆散▽易疲労に黄耆建中湯	中村謙介	(64)648	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
漢方研究室(58) 2022年6 月号出題 第58問	貝沼茂三郎	(66)650	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(205) 御種人参の由来について	熊井啓子ほか	(69)653	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
随想／随筆・新型コロナウイルス感染症？ 自験例 COVID-19 ものがたり、その後抗体が無くても後遺症に悩む	小池加能	(77)661	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
論説／張仲景以前の中国医療(9)	真柳誠	(86)670	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
追悼／漢方入門の切っ掛けと及第点をくださった両師との惜別	小池加能	(93)677	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
報告／第123回日本医史学会総会・学術大会 開催記	坂田幸治	(96)680	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(98)682	2022(令和4年)年・第69巻・第6号
2022(令和4)年・第69巻・第7号			2022(令和4年)年・第69巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(422) 大洲の少彦名神社	坂田幸治ほか	(2)690	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(423) 曲直瀬玄鑑の墓―早雲寺と祥雲寺	小曽戸洋	(5)693	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
巻頭言／第39回和漢医薬学会学術大会について	矢久保修嗣	(11)699	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
総説／吉益南涯の『気血水薬徴』と時代背景	秋葉哲生	(13)701	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
二陳湯により改善した舌炎の1症例	千葉浩輝ほか	(21)709	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
味覚障害を伴う新型コロナウイルス感染症～ 5症例の経験と考察～	陳暁明	(25)713	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(206) 高齢者の食欲不振や体重減少などに漢方薬が奏功した症例	斉藤明美ほか	(33)721	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算126) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(111) コロナ禍における院内職員に対する漢方外来受診の勧めの試み	矢野博美ほか	(39)727	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
東京医大漢方医学センターだより(14) 最近のカルテから 腎気丸類が有効であった高齢者のめまい	平澤一浩ほか	(47)735	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
新 女子医大雑話(3) 抑肝散が無効であった精神症状に対して甘麦大棗湯が有効であった3症例	田中香代子ほか	(53)741	2022(令和4年)年・第69巻・第7号

漢方牛歩録(402) ▽動悸・眩暈感に炙甘草湯▽頸腕症候群に半夏白朮天麻湯▽自律神経失調症に柴胡桂枝乾姜湯	中村謙介	(59)747	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
東洋堂経験余話(349) ▽腰の張りと痛みに附子湯▽舌先の痛みに凉膈散料	松本一男	(62)750	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
古典／石原保秀翻字版『六診提要』「中略」「下略」の補正	宮川浩也	(65)753	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
座談会／眼科領域における漢方(その2)	黒木悟・藤東祥子・春日井真理・山本昇伯〔司会〕・竹田眞〔司会〕・秋葉哲生	(73)761	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
論説／張仲景以前の中国医療(10)	真柳誠	(89)777	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
報告／ホームページのリニューアルのお知らせ	東亜医学協会	(96)784	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(98)786	2022(令和4年)年・第69巻・第7号
2022(令和4)年・第69巻・第8号			2022(令和4年)年・第69巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(424) 『医学正伝』慶長古活字の一版種	小曽戸洋	(2)794	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(425) 神農の刀剣柄頭	小曽戸洋	(5)797	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
巻頭言／第32回漢方治療研究会開催にあたって	及川哲郎	(11)803	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
甘麦大棗湯の煎液が初期治療に奏功した13例の検討	石橋見季ほか	(13)805	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
下部直腸癌術後の頻便、便漏れに対して縮泉丸料合昇陥湯加減が有効であった症例	岡田誠ほか	(23)815	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算127) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(112) 腹中の寒気雷鳴切痛を伴う下痢型過敏性腸症候群に麦門冬湯エキスとブシ末の併用投与が奏功した3症例	井上博喜ほか	(31)823	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
新　女子医大雑話(4) 古来からの症状を再発見する契機となった陰吹の治療例	大谷かほりほか	(39)831	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
東京医大漢方医学センターだより(15) 最近のカルテから 便秘、下腹痛、イライラに桃核承気湯が奏効した症例	一木昭人ほか	(47)839	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
間質性膀胱炎に腸癰湯が有効であった1例	中尾真一郎	(54)846	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
東洋堂経験余話(350) ▽花粉症に四逆散料加荊芥、連翹、紅花、大黄▽感冒の咳嗽が抜けない人に半夏厚朴湯加桔梗	松本一男	(58)850	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
漢方牛歩録(403) ▽外傷性膝蓋部滑液包炎に越婢加朮湯▽偏頭痛に呉茱萸湯▽指の止血に狗脊末	中村謙介	(61)853	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
漢方研究室(58) 2022年6月号出題　第58問(再掲)	貝沼茂三郎	(63)855	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
座談会／眼科領域における漢方(その3)	黒木悟・藤東祥子・春日井真理・山本昇伯〔司会〕・竹田眞〔司会〕・秋葉哲生	(70)862	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
論説／張仲景以前の中国医療(11)	真柳誠	(83)875	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
報告／竹の櫛によるアトピー治療	山本馨	(91)883	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
報告／第30回日本刺絡学会学術大会　開催報告	編集局	(93)885	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
第32回漢方治療研究会プログラム		(95)887	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(99)891	2022(令和4年)年・第69巻・第8号
2022(令和4)年・第69巻・第9号			2022(令和4年)年・第69巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(426) 『万病回春』あれこれ	小曽戸洋	(2)898	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(427) 海昏侯劉賀前漢墓出土の医工杯	小曽戸洋	(6)902	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
巻頭言／COVID-19の時代とWeb講演会のあゆみ～東洋医学会福岡県部会の闘争	田原英一	(11)907	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
総説／井筒俊彦と東洋哲学、そして医学― 意識の階層構造	田中耕一郎	(13)909	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
一般論文／現代医学の中での漢方治療―女性に対して―	井上淳子ほか	(27)923	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
痺れの漢方的診断と治療	河合知則	(39)935	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
起立性調節障害に伴う不登校と就労不能の劇的改善例	加藤広美ほか	(45)941	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
東京医大漢方医学センターだより(16) 最近のカルテから 「新型コロナワクチン接種後の不調」で紹介され、漢方薬が奏効した4例	山口佳子ほか	(55)951	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算128) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(113) 精神的ストレスに伴い漢方医学的所見が顕著に変化した身体表現性障害の女児2例	上田晃三ほか	(61)957	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
医師・薬剤師リレー治験録(207) 加味帰脾湯の1例	蓮村幸兌ほか	(69)965	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
漢方牛歩録(404) ▽ガスと腸液の下痢に啓脾湯▽変形性脊椎症に桂枝茯苓丸▽石灰沈着性関節炎に越婢加朮湯	中村謙介	(73)969	2022(令和4年)年・第69巻・第9号

東洋堂経験余話(351) ▽頭重と鼻閉に白朮附子湯▽胸部の違和感に柴胡桂枝乾姜湯加呉茱萸、茯苓	松本一男	(75)971	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
新　女子医大雑話(５) 大建中湯の使用目標の変化～ 2回のパラダイムシフトを経て～	宮川亨平ほか	(79)975	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
漢方研究室(59) 2022年9月号出題　第59問	織部和宏	(88)984	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
漢方研究室(58) 追加	貝沼茂三郎	(90)986	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
報告／趙国芳女史が東亜医学協会を表敬訪問	小曽戸洋	(91)987	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
報告／第72回日本東洋医学会学術総会　報告	篠原宣	(92)988	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
報告／尾台榕堂顕彰碑の移動	編集局	(97)993	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(98)994	2022(令和4年)年・第69巻・第9号
2022(令和4)年・第69巻・第10号			2022(令和4年)年・第69巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(428) 拓殖大学漢方医学講座に関する資料	町泉寿郎	(2)1002	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(429) 『皇漢医学叢書』と陳存仁	小曽戸洋	(5)1005	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
巻頭言／〝あらためて実臨床から学ぶ〟を考える	中島正光	(11)1011	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
漢方治療が有効であったと考えられる脱毛症の2例	藤田昌弘ほか	(13)1013	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
黄連解毒湯64有効例の検討	宮崎瑞明ほか	(19)1019	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
半夏厚朴湯が有用であった咽喉頭異常感症の1例	皆川智子ほか	(25)1025	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
パニック発作に対する不安症状に温経湯が有効であった1例	中尾桂子ほか	(29)1029	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)重症に対する漢方薬が奏効した4症例	陳暁明	(35)1035	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算129) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(114) 小児のチックに抑肝散・芍薬甘草湯の併用が著効し、抑肝散の子母同服で母の精神も安定した症例	前田ひろみほか	(47)1047	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
新　女子医大雑話(６) 更年期の血圧異常に漢方治療が効果を認めた3症例	陣内厚子ほか	(53)1053	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
東京医大漢方医学センターだより(17) 最近のカルテから 補腎をベースとした治療が有効であった微熱や背中のほてりを訴える2症例	及川哲郎ほか	(65)1065	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(208) ストーマ装着者の胸腹満に厚朴生姜半夏甘草人参湯の症例(同時にあった胃痛・胸脇痛には柴胡桂枝湯加茴香牡蛎)	千田五月ほか	(69)1069	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
東洋堂経験余話(352) ▽長年の胃の重い感じに茯苓沢瀉湯▽口の周囲の炎症に葛根紅花湯	松本一男	(75)1075	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
漢方牛歩録(405) ▽腰部脊柱管狭窄症兼変形性足関節症▽更年期不定愁訴に大柴胡湯兼桂苓丸	中村謙介	(78)1078	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
古典／馬場辰二の和田啓十郎宛書簡全文の実像と活字化	徳留一博	(81)1081	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
随想／鈴木真海師から石野信安先生のこと、八月号を読みて	秋葉哲生	(87)1087	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
随想／近年の感染症に思うこと	王瑞雲	(89)1089	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
新刊図書紹介／『新解釈　山本巌の漢方クリニカルQ＆A　入門編』	吉永亮	(93)1093	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
第39回 和漢医薬学会学術大会 報告	事務局	(94)1094	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(96)1096	2022(令和4年)年・第69巻・第10号
2022(令和4)年・第69巻・第11号			2022(令和4年)年・第69巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(430) 安西安周の墨跡	小曽戸洋	(2)1106	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(431) 丹波家三系の墨跡	小曽戸洋	(5)1109	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
巻頭言／「いろいろ考えて」	花輪壽彦	(11)1115	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
一般論文／真寒假熱について	福田佳弘	(13)1117	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
論説／気の診断をどのように行うか(１)	宮澤裕治	(37)1141	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
ストレスに起因する多汗症に四逆散が有効であった1症例	玉野雅裕ほか	(41)1145	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
新　女子医大雑話(７) 抗精神病薬による遅発性ジストニアに対するボツリヌス療法の効果が延長した加味帰脾湯の1例	森永明倫ほか	(47)1151	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算130) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(115) 後世方ばかり3例：梨状筋症候群に疎経活血湯、再発性副鼻腔炎に人参養栄湯(聖済総録)、婦人科的下腹部痛に通導散	田原英一ほか	(53)1157	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
東京医大漢方医学センターだより(18) 最近のカルテから 難治性の再発性口内炎に四逆散が奏効した1例	安田卓史ほか	(59)1163	2022(令和4年)年・第69巻・第11号

漢方牛歩録　号外1　▽常染色体優性多発性嚢胞腎に五苓散加枳実梔子	中村謙介	(65)1169	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
東洋堂経験余話(353)　▽長びく寝汗に柴胡桂枝乾姜湯加黄耆、茯苓▽咽頭部の炎症に駆風解毒湯加桔梗、石膏	松本一男	(68)1172	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
漢方研究室(59)　2022年9 月号出題　第59問(再掲)	織部和宏	(71)1175	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
随想／漢方人生五十年　来た道、行く道(その1)	伊藤嘉紀	(79)1183	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
報告／矢数・大塚家への墓参	小曽戸洋	(86)1190	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
報告／第25回吉益東洞顕彰会記	山崎正寿	(87)1191	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
第32回漢方治療研究会、オンラインで開催	編集局	(90)1194	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
第32回漢方治療研究会雑記	事務局	(96)1200	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(97)1201	2022(令和4年)年・第69巻・第11号
2022(令和4)年・第69巻・第12号			2022(令和4年)年・第69巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(432) 戦後の漢方針灸界の歴々	小曽戸洋	(2)1210	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
巻頭言／漢方医学を繋いでいくために	久永明人	(11)1219	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
一般論文／旋覆花代赭石湯による「噫気不除」の治験について	福安悠介	(13)1221	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
不定愁訴とフェリチン	加藤広美ほか	(19)1227	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
コロナ感染症の治験	高木嘉子	(29)1237	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
デルタ株による新型コロナウイルス感染症における漢方治療20例報告	許志泉	(37)1245	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算131) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(116) 五苓散エキス製剤では効果不十分であった頭痛、めまい感に自家製五苓散生薬末が奏効した1例	中尾桂子ほか	(47)1255	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
東京医大漢方医学センターだより(19) 最近のカルテから ベーチェット病の陰部潰瘍・口内炎・発疹・発熱・下痢・不眠に半夏瀉心湯が奏効した1症例 ～狐惑病を再考する～	矢数芳英ほか	(53)1261	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
新　女子医大雑話(8) 難治性皮膚症状(かゆみ、ほてり、違和感)に対して加味帰脾湯が有効であった2症例	岡林麻子ほか	(67)1275	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
医師・薬剤師リレー治験録(209) 沢瀉湯によるめまいの症例からの検討	永田和也ほか	(75)1283	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
東洋堂経験余話(354)　▽頑固な不眠に黄連解毒湯加酸棗仁、甘草▽新型コロナウイルス感染症か？ 麻黄湯から新清肺排毒湯	松本一男	(81)1289	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
漢方牛歩録(406)　▽大後頭神経痛に葛根湯合芍薬甘草湯▽切り傷の出血に狗脊末▽急性腸炎に黄芩湯	中村謙介	(85)1293	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
漢方研究室(60)　2022年12月号出題　第60問	新井信	(87)1295	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
随想／漢方人生五十年　来た道、行く道(その2)	伊藤嘉紀	(89)1297	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
図書紹介／『漢法葯』	鈴木寛彦	(99)1307	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
報告／湯島聖堂神農廟の開陳	編集局	(100)1308	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(101)1309	2022(令和4年)年・第69巻・第12号
2023(令和5)年・第70巻・第1号			2023(令和5年)年・第70巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(433) 三医聖と神農	小曽戸洋ほか	(2)2	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
令和5年(2023年)　新年のことば		(9)9	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
三叉神経領域の初期単純疱疹と帯状疱疹に五苓散が有効であった4症例	竹田眞ほか	(95)95	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
芎帰膠艾湯が有効であった加齢黄斑変性の1例	山本昇伯	(99)99	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
通明利気湯の治験例	山崎正寿	(105)105	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
新　女子医大雑話(9) 抑肝散が有効であった皮膚科患者3例	麻生悠子ほか	(109)109	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
医師・薬剤師リレー治験録(210) 三黄瀉心湯の症例	田中まち子ほか	(115)115	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算132) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(117) COVID-19罹患後の遷延する腰痛に五苓散末自家製剤が奏効した1症例	原田直之ほか	(121)121	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
東京医大漢方医学センターだより(20) 最近のカルテから 女神散により薬物性肝障害ならびに薬剤性肺障害をきたした1例	班目有加ほか	(127)127	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
漢方牛歩録(407)　▽疲労倦怠感に大柴胡湯▽指の外傷痛に越婢加朮湯▽頸腕症候群に苓桂朮甘湯兼加味逍遙散	中村謙介	(135)135	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
東洋堂経験余話(355)　▽急性湿疹に葛根湯加石膏、大黄▽後鼻漏に桂姜棗草黄辛附湯	松本一男	(138)138	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
論説／経絡上の圧痛点検索を加味した馬場辰二の腹診についての検討	徳留一博	(141)141	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
随想／私の「四つん這い歩行」という言葉との接触	王瑞雲	(147)147	2023(令和5年)年・第70巻・第1号

新刊図書紹介／『中国伝統医学　名医・名著小百科』	緒方千秋	(150)150	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(154)154	2023(令和5年)年・第70巻・第1号
2023(令和5)年・第70巻・第2号			2023(令和5年)年・第70巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(434) 『天回医簡』の書体	小曽戸洋	(2)158	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
巻頭言／『古訓医伝』	金成俊	(11)167	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
療養病院に於ける「厥陰病期」の最期の一言	加藤広美ほか	(13)169	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(211) それは皮膚病ですか？	飯田敏雄ほか	(23)179	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
東京医大漢方医学センターだより(21) 研究のご紹介 東京医科大学病院漢方医学センター初診患者の検討	及川哲郎ほか	(27)183	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算133) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(118) 典型的な真武湯証3症例	吉永亮ほか	(35)191	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
新　女子医大雑話(10) 漢方による皮膚病治療　～皮疹が先か、それとも背景か	磯村知子ほか	(41)197	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
東洋堂経験余話(356)　▽原因不明の夜間の寝汗と悪寒に芍薬甘草附子湯▽夜間になると腹が張る人に厚朴生姜半夏甘草人参湯	松本一男	(54)210	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
漢方牛歩録(408)　▽頸腕症候群・貧血に当帰芍薬散▽変形性頸椎症にプレガバリン	中村謙介	(58)214	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
一般論文／現代医学の中での漢方治療 −咳・痰・喘息に対して−	井上淳子ほか	(61)217	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
漢方研究室(60)　2022年12月号出題　第60問(再掲)	新井信	(71)227	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
論説／張仲景以前の中国医療(12)	真柳誠	(79)235	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
論説／一気留滞論における気と万病一毒論における気　～気と東洋医学の基本概念に関する考察～	鈴木斉観	(87)243	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
新年のことば(続)	二宮文乃	(91)247	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(92)248	2023(令和5年)年・第70巻・第2号
2023(令和5)年・第70巻・第3号			2023(令和5年)年・第70巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(435) 伊尹と湯王と湯液	小曽戸洋	(2)258	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(436) 染谷奉道～矢数有道	小曽戸洋	(4)260	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
巻頭言／漢方の未来予想図	花輪壽彦	(11)267	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
一般論文／高齢者、虚弱者の〝夏バテ〟に有効な生脈散合四逆湯について	福田佳弘	(13)269	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
東京医大漢方医学センターだより(22) 最近のカルテから 小建中湯で制御しえた小児反復性鼻出血の2例	平澤一浩ほか	(25)281	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
新　女子医大雑話(11) 多汗の漢方治療について　～印象に残った症例と古典文献からの考察	黒川貴代ほか	(31)287	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
医師・薬剤師リレー治験録(212) リウマチ性多発性筋痛症(PMR)に罹患してステロイド剤と漢方薬の併用	蓮村幸兌ほか	(41)297	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算134) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(119) 重症COPDのADLと呼吸困難感が八味地黄丸合半夏厚朴湯合葶藶大棗瀉肺湯で改善した1例	矢野博美ほか	(47)303	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
漢方牛歩録(409)　▽過敏性腸症候群に真武湯兼人参湯▽慢性副鼻腔炎に葛根湯加川芎辛夷	中村謙介	(54)310	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
東洋堂経験余話(357)　▽シャックリに呉茱萸湯▽股関節の痛みに五積散料加附子	松本一男	(57)313	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
漢方研究室(61)　2023年3月号出題　第61問	山崎正寿	(61)317	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
報告／生薬の包み方について	渡辺浩二	(63)319	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
論説／気の診断をどのように行うか(2)	宮澤裕治	(73)329	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
論説／日本、中国、イスラームの思惟的特徴から見る日本漢方と中医学(前編) ～本居宣長にみる中国哲学への懐疑～	田中耕一郎	(79)329	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
論説／張仲景以前の中国医療(13)	真柳誠	(89)345	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
新刊図書紹介／『江戸の漢方名医　北山寿安の思想研究』	小曽戸洋	(98)354	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(101)357	2023(令和5年)年・第70巻・第3号
2023(令和5)年・第70巻・第4号			2023(令和5年)年・第70巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(437) 浅田宗伯の元冠図詩	小曽戸洋ほか	(2)366	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(438) 『百味主能師言鈔』	小曽戸洋	(5)369	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
巻頭言／理事長就任挨拶	中島正光	(11)375	2023(令和5年)年・第70巻・第4号

一般論文／『勿誤薬室方函口訣』に引用された『療治経験筆記』	堀田広満	(13)377	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
正心湯の治験	高木嘉子	(21)385	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
大腸がん末期の患者に活血化瘀剤が著効した1症例	山口竜司	(27)391	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
救急車で何度も病院に搬送される女性に半夏厚朴湯	野上達也ほか	(33)397	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算135) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(120) 半夏厚朴湯が無効であった咽喉頭異常感症と十全大補湯が無効であった白血球減少症	井上博喜ほか	(39)403	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
東京医大漢方医学センターだより(23) 最近のカルテから 女神散が効かなくなった乳癌ホルモン療法後のホットフラッシュに六味丸の併用が奏効した1症例　～更年期における補腎の重要性～	矢数芳英ほか	(45)409	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
新　女子医大雑話(12) 消化器症状以外に六君子湯が有効であった3症例	山﨑麻由子ほか	(53)417	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
医師・薬剤師リレー治験録(213) 心配な人たち	山下耕司ほか	(61)425	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
東洋堂経験余話(358)　▽受験勉強中の情緒不安定と食欲不振に、加味帰脾湯合甘麦大棗湯と抑肝扶脾散料▽アトピー性皮膚炎に柴胡清肝散料	松本一男	(66)430	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
漢方牛歩録(410)　▽ムカスに枳実梔子末▽急性気管支炎に人参排毒湯	中村謙介	(69)433	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
論説／独活葛根湯の原典について	福嶋裕造	(71)435	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
論説／日本、中国、イスラームの思惟的特徴から見る日本漢方と中医学(後編)～イスラム哲学にみるダブルスタンダード～	田中耕一郎	(77)441	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
論説／張仲景以前の中国医療(14)	真柳誠	(86)450	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
随想／蚊帳の枕カバー使用による睡眠に対する効果	山本馨	(93)457	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
新刊図書紹介／『霊樞講義』	小曽戸洋	(96)460	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
漢方関係学会・研究会予定(5月)		(97)461	2023(令和5年)年・第70巻・第4号
2023(令和5)年・第70巻・第5号			2023(令和5年)年・第70巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(439) 『黄帝内経太素』残巻の出現	小曽戸洋	(2)470	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
巻頭言／博多でお待ちしております！	栗山一道	(11)479	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
一般論文／補中益気湯の構成生薬に関する一考察	中江啓晴ほか	(13)481	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
釣藤鉤のセロトニン作用で生じた賦活症候群の1例	藤原二郎	(19)487	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
新　女子医大雑話(13) 補脾が治療の要になった症例について	新桂一ほか	(23)491	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(214) 真武湯の症例《異病同治》	千田五月ほか	(35)503	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
東京医大漢方医学センターだより(24) 最近のカルテから コロナ罹患体験記	及川哲郎ほか	(41)509	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算136) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(121) うつ病に伴う睡眠障害、倦怠感に茯苓四逆湯と梔子剤の併用が有効であった1例	中尾桂子ほか	(47)515	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
漢方牛歩録(411)　▽カゼに伴う眩暈感に苓桂朮甘湯兼桂枝湯▽挫創の出血に狗脊末▽打撲の腫脹に越婢加朮湯	中村謙介	(56)524	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
東洋堂経験余話(359)　▽過敏性腸症候群に厚朴生姜半夏甘草人参湯加蜀椒▽胃腸の不調に半夏厚朴湯合茯苓飲	松本一男	(58)526	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
漢方研究室(61)　2023年3月号出題　第61問(再掲)	山崎正寿	(61)529	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
論説／気・真気・正気・精気～気と東洋医学の基本概念に関する考察～	鈴木斉観	(71)539	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
論説／張仲景以前の中国医療(15)	真柳誠	(78)546	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
随想／黄芩による肝障害・間質性肺炎について	宮澤裕治	(87)555	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
随想／寺師睦宗先師と北里大学東洋医学総合研究所～漢方道を共に歩んだ50年	小池加能	(89)557	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
新刊図書紹介／『天回医簡』上・下冊	小曽戸洋	(96)564	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
報告／公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋　第76回 特別展示会・第47回 研究講演会の報告	編集局	(98)566	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(97)567	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
第73回日本東洋医学会学術総会 主要プログラム		(101)569	2023(令和5年)年・第70巻・第5号
2023(令和5)年・第70巻・第6号			2023(令和5年)年・第70巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(440) 楽器を奏でる仙人達	小曽戸洋	(2)578	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
巻頭言／証は症候群ではない	小林瑞	(11)587	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
総説／ハンゲのイガイガについての最近の知見　－生姜で本当にイガイガは治るのか－	笛木司ほか	(13)589	2023(令和5年)年・第70巻・第6号

一般論文／後縦隔腫瘤を伴う線維筋痛症の1症例	黒木悟ほか	(25)601	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
オミクロン変異体によるCOVID-19クラスターにおける和漢診療学的治験	関矢信康	(37)613	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
半夏瀉心湯がアフタ性口内炎とともに鼻症状にも奏効した透析患者の1症例	福原慎也ほか	(43)619	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
漢方治療が有効であった痛痺の膝関節痛の3症例	福嶋裕造	(53)629	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算137) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(122) 上部消化管術後の食欲不振に対して漢方治療が有効であった2症例	吉永亮ほか	(59)635	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
新　女子医大雑話(14) 四物湯加減方が有効であった関節リウマチの2症例	滝沢健司ほか	(65)641	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
東京医大漢方医学センターだより(25) 最近のカルテから 漢方治療が奏効したものの薬物性肝障害をきたした2症例～黄芩の副作用:清肺湯・柴胡桂枝乾姜湯～	矢数芳英ほか	(69)645	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
東洋堂経験余話(360)　▽ストレスか、腹満に大承気湯▽疲労からの腰痛に桂姜棗草黄辛附湯	松本一男	(79)655	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
漢方牛歩録(412)　▽石灰沈着性の肩鎖関節炎に越婢加朮湯▽下腿潰瘍に黄耆建中湯▽胆石症に大柴胡湯去大黄兼茵蔯蒿湯	中村謙介	(82)658	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
漢方研究室(62)　2023年6月号出題　第62問	三谷和男	(84)660	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
医師・薬剤師リレー治験録(215) 麻黄について	熊井啓子ほか	(87)663	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
論説／張仲景以前の中国医療(16)	真柳誠	(96)671	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
新刊図書紹介／『医談抄』『医学と儒学』	小曽戸洋	(105)681	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(109)685	2023(令和5年)年・第70巻・第6号
2023(令和5)年・第70巻・第7号			2023(令和5年)年・第70巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(441) 大井玄洞と「生薬学」	小曽戸洋	(2)694	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(442) 日本初のWHO伝統医学研究協力センター認定	小曽戸洋	(6)698	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
巻頭言／第40回和漢医薬学会学術大会の開催	柴原直利	(11)703	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
特別寄稿／孔版印刷時代の『漢方通信』(上)	秋葉哲生	(13)705	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
総説／脳神経外科編・治打撲一方に就いて	原田佳尚	(21)713	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
半夏厚朴湯単剤では効果不十分であった咽喉頭異常感症に対し加味帰脾湯を併用することで劇的に改善した1例	松野美幸ほか	(27)719	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
精神医療はどうあるべきか—漢方薬が著効した感情障害の1 女性患者を通しての考察—	松橋俊夫ほか	(31)723	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
香砂六君子湯と川芎茶調散の併用が高眼圧に作用、手術を免れた高齢緑内障1例	許志泉	(35)727	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
新型コロナウイルス感染症を2回感染し漢方治療が有効と考えられた2症例	陳暁明	(41)733	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
東京医大漢方医学センターだより(26) 最近のカルテから 牛車腎気丸が無効であった化学療法に伴う末梢神経障害の2症例～ファーストチョイスは痺症の基本処方:疎経活血湯をベースに～	矢数芳英ほか	(49)741	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算138) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(123) 耳鳴り・聴覚過敏に桂枝加竜骨牡蛎湯加減が著効した1症例	原田直之ほか	(59)751	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(216) めまいに小半夏加茯苓湯、その後の腹部膨満感に厚朴生姜半夏甘草人参湯が奏効した症例	斉藤明美ほか	(65)757	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
漢方牛歩録(413)　▽C型慢性肝炎に小柴胡湯加味方の経験	中村謙介	(70)762	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
東洋堂経験余話(361)　▽体調不良から来る、食欲不振に半夏瀉心湯▽右肩の激痛に二朮湯	松本一男	(73)765	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
一般論文／現代医学の中での漢方治療—足・腰・膝などの痛みに対して—	井上淳子ほか	(77)769	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
論説／張仲景以前の中国医療(17)	真柳誠	(86)778	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
論説／陰気・陽気・陰陽・寒熱～気と東洋医学の基本概念に関する考察～	鈴木斉観	(93)785	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
報告／第73回日本東洋医学会学術総会に参加して	坂田幸治	(101)793	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(104)796	2023(令和5年)年・第70巻・第7号
2023(令和5)年・第70巻・第8号			2023(令和5年)年・第70巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(443) 汪昂の『医方集解』『素霊類纂』『湯頭歌訣』『本草備要』	小曽戸洋	(2)802	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(444) 切手になった張仲景	小曽戸洋	(7)807	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
巻頭言／富山で初の漢方治療研究会開催！	貝沼茂三郎	(11)811	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
COVID-19症例に対する和漢診療学的治療経験	関矢信康	(13)813	2023(令和5年)年・第70巻・第8号

低血糖様症状を伴った糖尿病神経症に八味地黄丸が有効だった1例	山崎玄蔵	(19)819	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
潜証と思われる目眩の自験症例 ー 9割の正証よりも1割の矛盾証を重視するー	伊藤康雄	(25)825	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
漢方治療が有効であった化学物質過敏症家族3症例	盛克己ほか	(35)835	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
ADHD(注意欠如・多動症)の症状軽減に三黄瀉心湯が有効であった1例	長瀬眞彦	(43)843	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
“冷え”に対する附子・附子剤の使用経験	横山浩一	(49)849	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算139) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(124) わたしの師匠　栗山一八先生と一道先生	矢野博美ほか	(57)857	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
東京医大漢方医学センターだより(27) 最近のカルテから 呑気症に伴う腹部膨満感や腹部不快感に半夏厚朴湯が著効した2症例	及川哲郎ほか	(65)865	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
医師・薬剤師リレー治験録(217) 柴苓湯の応用	永田和也ほか	(71)871	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
東洋堂経験余話(362)　▽貧血で冷え症の便秘に温脾湯▽人工透析患者さんの右肩痛に葛根加朮附湯	松本一男	(77)877	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
漢方牛歩録(414)　▽自律神経失調症に三物黄芩湯▽下腿挫創に黄耆建中湯▽爪周囲炎に井穴刺絡と桔梗石膏エキス	中村謙介	(80)880	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
漢方研究室(62)　2023年6月号出題　第62問(再掲)	三谷和男	(82)882	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
特別寄稿／孔版印刷時代の『漢方通信』(中)	秋葉哲生	(91)891	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
論説／張仲景以前の中国医療(18)	真柳誠	(97)897	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
漢方関係学会・研究会予定(9月)		(102)902	2023(令和5年)年・第70巻・第8号
2023(令和5)年・第70巻・第9号			2023(令和5年)年・第70巻・第9号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(445) 足利学校と明版『政和本草』	野澤隆幸ほか	(2)910	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
巻頭言／創刊70周年を記念して	中島正光	(11)919	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／創刊70年おめでとうございます	織部和宏	(13)921	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』創刊70年記念に寄せて	福澤素子	(14)922	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／本誌創刊七〇年を祝賀する	真柳誠	(15)923	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』創刊70年のお祝いとご挨拶 ーいわゆる学会雑誌とは異なる学術と、急性期漢方への思いー	加島雅之	(15)923	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』誌創刊70年記念に寄せて	坂田雅浩	(17)925	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』創刊70周年記念に寄せて	野上達也	(18)926	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』誌創刊70年記念に寄せて	原田佳尚	(19)927	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』誌創刊70年に向けて	松田和也	(20)928	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／「漢方研究室」に魅せられて	村井政史	(21)929	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／薬能から薬理へ	村松慎一	(22)930	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／症例経験の蓄積と現代における活用、臨床研究への発展	高山真	(23)931	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／イマジン	西本　隆	(24)932	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』誌 創刊70年に寄せて	室賀一宏	(25)933	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』誌創刊70年記念に寄せて ～福岡医師漢方研究会の紹介～	鶴博生	(26)934	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／漢方医学は本当に普及したのか？ コロナ騒動から考える	西田愼二	(29)937	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／歯科口腔領域における漢方の臨床・教育の現状と今後について	山口孝二郎	(32)940	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／漢方と総合内科	山崎武俊	(33)941	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／創刊70周年に寄せて	山本昇伯	(34)942	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／漢方とご縁を結んで	長井篤	(36)944	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／最近の様々な出来事と始まり	光野彩子	(37)945	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／出会いに感謝	橋本直樹	(39)947	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／『漢方の臨床』創刊70年記念	陳　暁明	(41)949	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／ICD-11の活用についての緊急提言	寺澤捷年	(42)950	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／「病人さん 患者さん」	三谷和男	(43)951	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／藤平健先生の『 傷寒論演習』のすすめ	中村謙介	(45)953	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／向静静氏の『 医学と儒学』を読んで	山崎正寿	(47)955	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／故 小川新先生の診察風景	菊本修	(49)957	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／私の人生と漢方	喜多敏明	(51)959	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／電脳資料庫	小林健二	(52)960	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／管理されるべきものと、管理されないもの	田中秀一	(54)962	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／「まだまだやりますよ！」	蔭山充	(56)964	2023(令和5年)年・第70巻・第9号

記念企画／次の世代に薬系漢方の面白さを伝えたい	笛木司	(57)965	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念企画／治療のあり方	松橋俊夫	(59)967	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
記念特別企画／薬局漢方の近現代史と現状	西島啓晃	(60)968	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
体重減少に対して漢方薬を補助的に用いた3 症例	福嶋裕造	(75)983	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
長年の瘀血を伴う尋常性痤瘡の1 例	山崎由佳里	(87)995	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
浸出液分泌を伴ったアトピー性皮膚炎に解労散加味が奏効した1例	和泉裕子ほか	(93)1001	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算140) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(125) 消化器症状の覚書：半夏瀉心湯、真武湯、桂枝加芍薬大黄湯、柴胡桂枝湯、黄連湯、附子瀉心湯、桃核承気湯	田原英一ほか	(101)1009	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
東京医大漢方医学センターだより(28) 最近のカルテから 血液凝固異常症を持つ女性への月経対応	一木昭人ほか	(111)1019	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
漢方牛歩録(415) ▽17年付き合って神経症を脱した1 例	中村謙介	(118)1026	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
東洋堂経験余話(363) ▽胃癌に紫根牡蛎湯加附子・茯苓・白朮・生姜と田七末▽右坐骨神経痛に牛車腎気丸料	松本一男	(121)1029	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
漢方研究室(63) 2023年9月号出題 第63問	並木隆雄	(124)1032	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
特別寄稿／孔版印刷時代の『漢方通信』(下)	秋葉哲生	(127)1035	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
論説／張仲景以前の中国医療(19)	真柳誠	(133)1041	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
論説／頸椎捻挫治療：西洋医学治療と漢方医学治療の相違点 ー症状固定あるいは後遺症診断にいたらないコツ〈私見〉ー	樋口理	(141)1049	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
追悼／遠藤次郎先生と小曽戸川	小曽戸洋	(147)1055	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
追悼／遠藤次郎先生を偲んで	鈴木達彦	(149)1057	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
随想／煎薬の「 自由自在」とは	宮澤裕治	(152)1060	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
報告／日本薬史学会 第14回柴田フォーラム参加報告	髙際麻奈未	(153)1061	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
漢方関係学会・研究会予定(10月)		(159)1067	2023(令和5年)年・第70巻・第9号
2023(令和5)年・第70巻・第10号			2023(令和5年)年・第70巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(446) 富岡鉄斎の神農画賛	小曽戸洋	(2)1074	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(447) 古医書流転の一例	小曽戸洋	(6)1078	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
巻頭言／日本東洋医学会会長に就任して	三谷和男	(11)1083	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／漢方医学教育へのeラーニングの開発と評価	新井信	(13)1085	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／現代医学からみた口訣・証の妥当性の検証について	及川哲郎	(16)1088	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／生薬の真の薬性	小根山隆祥	(19)1091	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／和製漢語「漢方」の生成と変遷	長野仁ほか	(27)1099	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／『医法新話』にみる概念分析	西巻明彦	(38)1110	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／浅田宗伯編輯『皇朝医叢』目次	渡辺浩二	(43)1115	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／臨床経方書《金匱要略》の探究	陳麒方	(60)1132	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／猛暑の中の近況報告	中川良隆	(62)1134	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／陰火の症例に補中益気湯	浮田徹也	(65)1137	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／祝辞	鉄村努	(71)1143	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／ヒステリー発作を伴う5類コロナ感染症に対する桂枝湯が奏功した1症例	宮崎瑞明	(73)1145	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／漢方はやはり凄い	小澤夏生	(75)1147	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／駆瘀血剤の巾が広がる《医林改錯》に学ぶ	小池加能	(77)1149	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／『漢方の臨床』創刊70年記念企画に寄せて	盛克己	(90)1162	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／漢方医学の国際化と研究の狭間で	奥見裕邦	(91)1163	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／コロナ感染症と発熱外来	伏見章	(93)1165	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／第1回伝統医学グローバルサミットに参加して	渡辺賢治	(95)1167	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念企画／祝 創刊70周年	松田隆秀	(100)1172	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
記念特別企画／編集長が撰ぶ”重要記事ふたたび” 「一貫堂医学」について	松本克彦	(101)1173	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
令和の治験例より(眩暈の症例、新型コロナウイルス感染症の症例)	森由雄	(115)1187	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
プラセンタ経穴注射と漢方エキス製剤の併用が奏効した重度腰椎椎間板ヘルニアの1例	石東麻里子ほか	(119)1191	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
病位・病期を考慮し、治療したことにより軽快した吃逆の1症例	藤井まゆみ	(123)1195	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
DMSO膀胱内注入療法と五淋散が著効した間質性膀胱炎の1例	小松歩	(129)1201	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
医師・薬剤師リレー治験録(218) 抑肝散加芍薬黄連の症例	千田五月ほか	(137)1209	2023(令和5年)年・第70巻・第10号

東京医大漢方医学センターだより(29) 最近のカルテから 口唇の痛み・違和感に対して抑肝散が奏効した1例	安田卓史ほか	(143)1215	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算141) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(126) 腱板不全断裂と関節可動域制限に対して漢方治療が有効であった1例	川野綾子ほか	(149)1221	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
東洋堂経験余話(364) ▽寝冷えからの軽い咳嗽に柴胡桂枝湯加桔梗・附子▽繰りかえされる両手のシビレに続命湯	松本一男	(154)1226	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
漢方牛歩録(416) ▽自律神経失調症に桂苓丸兼清心蓮子飲▽間欠跛行に疎経活血湯	中村謙介	(158)1230	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
論説／張仲景以前の中国医療(20)	真柳誠	(160)1232	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
図書紹介／『傷寒・金匱を学びて(続)福田佳弘論考集』を読ませて頂いて!!	高木嘉子	(167)1239	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
漢方関係学会・研究会予定(11月)		(169)1241	2023(令和5年)年・第70巻・第10号
2023(令和5)年・第70巻・第11号			2023(令和5年)年・第70巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(448) 浅田宗伯と森立之の七絶詩二首	小曽戸洋	(2)1250	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(449) 「薬剤師」と柴田承桂	小曽戸洋	(5)1253	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
巻頭言／今を伝える	横山浩一	(11)1259	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
一般論文／パーキンソン病患者の腹診所見	中江啓晴ほか	(13)1261	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
半夏厚朴湯が奏効した胸内苦悶を訴える超高齢期の2症例	関矢信康	(17)1265	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
アファチニブマレイン酸塩の副作用である爪囲炎、皮膚乾燥亀裂、下痢に対して十全大補湯が有効であった1例	北田智子ほか	(23)1271	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
更年期の発作性多汗症に女神散が有効であった1症例	玉野雅裕ほか	(33)1281	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
新　女子医大雑話(15) 頭痛の漢方治療	石田和之ほか	(39)1287	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算142) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(127) COVID-19 クラスター体験記ーマッスーのなんちゃって漢方古典解説	増山浩一ほか	(51)1299	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
東京医大漢方医学センターだより(30) 最近のカルテから 顎関節症由来の慢性耳痛に気剤が奏効した2例	平澤一浩ほか	(59)1307	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
漢方牛歩録(417) ▽「腎虚」「脾胃の虚」を伴う頭重感に釣藤散▽怒りっぽいアルツハイマー型認知症に抑肝散	中村謙介	(65)1313	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
東洋堂経験余話(365) ▽新型コロナウイルス感染症に対する1回目のワクチン接種後の激しい悪心に、香蘇散料加半夏・茯苓・白朮▽転倒後の激しい全身の痒みに当帰飲子加大黄・芒硝	松本一男	(68)1316	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
漢方研究室(63) 2023年9 月号出題　第63問(再掲)	並木隆雄	(71)1319	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
医師・薬剤師リレー治験録(219) 家康公の漢方薬	鈴木寛彦ほか	(85)1333	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
論説／小林秀雄と漢方　解体、変容を受ける日本の伝統的側面	田中耕一郎	(91)1339	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
論説／気血の循環・津液～気と東洋医学の基本概念に関する考察～	鈴木斉観	(103)1351	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
論説／張仲景以前の中国医療(21)	真柳誠	(109)1357	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
報告／第73回日本東洋医学会学術総会 報告	編集局	(115)1363	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
図書紹介／『山本巌の漢方症例＆144処方 臨床解説適応病態／適応疾患』	惠紙英昭	(118)1366	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
追悼／篠原宣氏の逝去を悼む	小曽戸洋ほか	(119)1367	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
漢方関係学会・研究会予定(12月)		(121)1369	2023(令和5年)年・第70巻・第11号
2023(令和5)年・第70巻・第12号			2023(令和5年)年・第70巻・第12号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(450) 屠蘇の由来	小曽戸洋	(2)1374	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
巻頭言／漢方薬の選択とその拠り所	高山真	(11)1383	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)デルタ株疑い例に対するオンライン診療の経験 -柴葛解肌湯加減法を用いた3 例の有効例-	長瀬眞彦	(13)1385	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
膀胱癌術後の再発を疑う腫瘍マーカー上昇が、解急蜀椒湯加霊芝で正常化した1例	桂井隆明ほか	(20)1392	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
熱傷後瘢痕の痛みに対し漢方併用が奏効した1症例	杉本真理子	(25)1397	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
起立性調節障害(OD)を伴う不登校児に四逆散が有効であった8症例	堀江延和ほか	(32)1404	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
東京医大漢方医学センターだより(31) 東京医大漢方道場　東京医科大学臨床漢方セミナーから 冷え症の漢方治療	及川哲郎ほか	(39)1411	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算143) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(128) 小脳出血による嘔気・嘔吐、めまいに五苓散料加半夏生姜が著効した1例	中尾桂子ほか	(47)1419	2023(令和5年)年・第70巻・第12号

東洋堂経験余話(366) ▽左手中指の腫脹に桂枝茯苓丸料加薏苡仁・大黄▽咽カゼに桔梗湯合半夏散及湯	松本一男	(52)1424	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
漢方牛歩録(418) ▽イレウス術後の胃腸虚弱に中建中湯▽進行する認知症高齢者の下痢に真武湯	中村謙介	(55)1427	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
論説／論理を追求しない日本漢方 -正法眼蔵からの視点-	萬谷直樹	(59)1431	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
論説／桂枝湯の周辺理論(１) -表機能-	宮澤裕治	(63)1435	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
論説／張仲景以前の中国医療(22)	真柳誠	(69)1441	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
祝文／寺澤捷年先生の叙勲を祝す	地野充時	(75)1447	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
祝文／寺澤捷年先生の画期的な叙勲を祝す	山本昇伯	(77)1449	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
報告／第26回吉益東洞顕彰会記 ―没後250年記念顕彰会―	山崎正寿	(78)1450	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
報告／第33回漢方治療研究会、ハイブリットで開催	編集局	(82)1454	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
報告／救心製薬・山梨工場 資料展示室を訪れて	坂田幸治	(89)1461	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
報告／片桐棲龍堂漢方資料館を訪ねて	小曽戸洋	(92)1464	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
報告／湯島聖堂、神農刻像の拝観	編集局	(95)1467	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
漢方関係学会・研究会予定(1月)		(96)1468	2023(令和5年)年・第70巻・第12号
2024(令和6)年・第71巻・第1号			2024(令和6年)年・第71巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(451) 三医聖の像	小曽戸洋	(2)2	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(452) 大槻磐渓賛の神農像	小曽戸洋	(4)4	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(453) 伊藤坦庵賛の神農像	小曽戸洋	(6)6	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
令和6年(2024年) 新年のことば		(9)9	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
大建中湯治験	関矢信康	(91)91	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
芍薬甘草湯、疎経活血湯が無効の有痛性筋痙攣に防已黄耆湯が奏功した1例	中尾真一郎	(99)99	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
漢方治療により末期腎不全に伴う浮腫を改善させ透析導入遅延に有効であった1例	村井政史	(103)103	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算144) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(129) 小児のアレルギー性皮膚疾患2症例－陰陽なくして漢方はない－	吉永亮ほか	(113)113	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
東京医大漢方医学センターだより(32) 最近のカルテから 繰り返す嘔気・嘔吐に麻黄附子細辛湯が有効であった症例	及川哲郎ほか	(119)119	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
漢方牛歩録(419) ▽変形性頸椎症に疎経活血湯・桂枝加朮附湯▽間欠跛行に疎経活血湯・桂苓丸・八味丸▽脊椎過敏症に鍼と葛根加朮附湯	中村謙介	(123)123	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
東洋堂経験余話(367) ▽腰痛ヘルニアからの右坐骨神経痛に芍甘黄辛附湯▽顔面のノボセに苓桂味甘湯	松本一男	(126)126	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
漢方研究室(64) 2024年1月号出題 第64問	谷川聖明	(130)130	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
論説／桂枝湯の周辺理論(２) -表機能と経脈・気血水-	宮澤裕治	(133)133	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
論説／邪気・毒 ～気と東洋医学の基本概念に関する考察～	鈴木斉観	(141)141	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
報告／張如青教授ら東亜医学協会本部を訪問	小曽戸洋	(152)152	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
漢方関係学会・研究会予定(2月)		(153)153	2024(令和6年)年・第71巻・第1号
2024(令和6)年・第71巻・第2号			2024(令和6年)年・第71巻・第2号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(454) 明版『丹渓心法附余』	小曽戸洋	(2)162	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
巻頭言／「先生、漢方薬がありません」	織部和宏	(11)171	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
温知会 症例検討録(001) FD・EPSのファーストチョイスに柴胡桂枝湯(その1)～六君子湯の効かない機能性ディスペプシア・心窩部痛症候群～	矢数芳英ほか	(13)173	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算145) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(130) 排ガス過多に半夏瀉心湯が奏効した1症例	原田直之ほか	(27)187	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
東京医大漢方医学センターだより(33) 最近のカルテから 難治性の貨幣状湿疹・自家感作性皮膚炎に竜胆瀉肝湯が奏効した1症例 ～一貫堂竜胆瀉肝湯 皮膚疾患への応用～	矢数芳英ほか	(33)193	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
医師・薬剤師リレー治験録(220) 象形薬理論と性質がわかりにくい防已	飯田敏雄ほか	(43)203	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
釣藤鈎のセロトニン作用 ―学童の不登校に著効した2症例	藤原二郎	(49)209	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
東洋堂経験余話(368) ▽コロナワクチン接種後の長びく微熱に小柴胡湯加黄耆・別甲▽左尿管の腫瘍による血尿に四物湯合猪苓湯	松本一男	(54)214	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
漢方牛歩録(420) ▽腰部脊柱管狭窄症にリマプロストと疎経活血湯など▽カゼに伴う倦怠感に麻杏薏甘湯	中村謙介	(57)217	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
一般論文／新型コロナウイルス感染症の罹患後症状(Long COVID)に対する漢方治療	井上淳子ほか	(59)219	2024(令和6年)年・第71巻・第2号

総説／プラセンタ療法の変遷　～日本と中国での臨床応用と最新知見～	石東麻里子ほか	(67)227	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
論説／防風通聖散の創成当時における構成生薬の産地について	堀田広満	(77)237	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
報告／中国出土医学文献与文物研究院　学術委員会会議がオンラインで開催	小曽戸洋	(90)250	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
報告／大塚敬節記念東洋医学賞 受賞者 織部和宏氏が講演	編集局	(91)251	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
その他／漢方医界のMEMO		(92)252	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
漢方関係学会・研究会予定(3月)		(99)259	2024(令和6年)年・第71巻・第2号
2024(令和6)年・第71巻・第3号			2024(令和6年)年・第71巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(455) 張仲景墓碑帖帳(木版本)	小曽戸洋	(2)266	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(456) 「漢長沙太守医聖張仲景墓」石碑	小曽戸洋	(6)270	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
巻頭言／意識下に残り続ける漢方教育とは	西本隆	(11)275	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
分かりません江部経方(１) 連載開始に当たって／ 臨床に必要な江部経方の基礎1 気の流れの基本的知識／ 症例検討編1 「後通の衛気不足」の症例	灰本元ほか	(13)277	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
東京医大漢方医学センターだより(34) 最近のカルテから 乳癌術後のホルモン療法による更年期症状に滋陰降火湯が奏効した1症例　～桂枝茯苓丸・加味逍遙散・桃核承気湯の無効例～	矢数芳英ほか	(31)295	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算146) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(131) 異臭症に桃核承気湯と柴胡加竜骨牡蛎湯が奏功した1例	竹内肇ほか	(41)305	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
温知会 症例検討録(002) FD・EPSのファーストチョイスに柴胡桂枝湯(その2)　～臨床の実際・柴胡桂枝湯加牡蛎小茴香～	矢数芳英ほか	(47)311	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
漢方牛歩録(番外1)『傷寒論演習』のおススメ	中村謙介	(58)322	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
東洋堂経験余話(369)　▽腰痛から両下肢の痛みとシビレに牛車腎気丸料▽原因不明の背痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯	松本一男	(61)325	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
一般論文／生薬から考える心療内科・精神科の漢方治療	半田容子	(65)329	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
漢方研究室(64)　2024年1 月号出題　第64問(再掲)	谷川聖明	(76)340	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
論説／桂枝湯の周辺理論(３)　－気と経脈、東洋医学と現代物理学の架け橋－	宮澤裕治	(89)353	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
論説／張仲景以前の中国医療(23)	真柳誠	(96)360	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
報告／中川修亭の墓、発見さる！	濱口昭宏	(103)367	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
漢方関係学会・研究会予定(4月)		(109)373	2024(令和6年)年・第71巻・第3号
2024(令和6)年・第71巻・第4号			2024(令和6年)年・第71巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(457) 『医方考縄愆』と北山友松子	小曽戸洋	(2)382	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(458) 一九五五年の「アサヒグラフ」	小曽戸洋	(6)386	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
巻頭言／東洋医学を通した和の構築　～病人さんに還る～	三谷和男	(11)391	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
「渇して水漿を引く者」を想起させた再発性アフタの症例	小澤夏生	(13)393	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
更年期の多汗症状に漢方治療が有用であった5症例	根津優子ほか	(17)397	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
左・片頭痛に半夏白朮天麻湯が有効であった1例	松橋俊夫	(28)408	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
東京医大漢方医学センターだより(35) 最近のカルテから イソソルビドにより制御不良で、八味地黄丸が奏効した高齢メニエール病例	平澤一浩ほか	(31)411	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算147) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(132) 「守」「破」 そして「離」	井上博喜ほか	(35)415	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
温知会 症例検討録(003) FD・EPSのファーストチョイスに柴胡桂枝湯(その3)　～日常で注意すべき甘草と黄芩の副作用、まれな小茴香の副作用～	矢数芳英ほか	(41)421	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
東洋堂経験余話(370)　▽糖尿病からの動悸に炙甘草湯加牡蛎▽気管支喘息に五苓散料	松本一男	(55)435	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
漢方牛歩録(番外2)『傷寒論演習』のおススメ　千葉古方の「証」の定義の変遷	中村謙介	(58)438	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
漢方研究室(65)　2024年4月号出題　第65問	鈴木朋子	(61)441	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
論説／張仲景以前の中国医療(24)	真柳誠	(64)444	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
論説／言葉をもていふことなかれ　―儒仏と日本漢方―	萬谷直樹	(71)451	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
論説／東洞の医説と著作の成り立ち　～吉益東洞再考～	鈴木斉観	(79)459	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
随想／漢方薬不足に対処する方法	王瑞雲	(89)469	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
報告／第6回ISJKM(国際日本漢方医学シンポジウム)参加記	尾崎和成ほか	(91)471	2024(令和6年)年・第71巻・第4号

漢方関係学会・研究会予定(5月)		(102)482	2024(令和6年)年・第71巻・第4号
2024(令和6)年・第71巻・第5号			2024(令和6年)年・第71巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(459) 多紀元堅の書と『外科正宗』	小曽戸洋	(2)494	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(460) 浅田宗伯の「少女売花図」詩	小曽戸洋	(5)467	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
巻頭言／次世代の漢方	星野卓之	(11)503	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
COPDの労作時息切れに対する補腎剤の恩恵	橋本進一ほか	(13)505	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
口唇炎に漢方薬が有効であった2症例	垣迫真一ほか	(19)511	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
漢方治療が朝の嘔吐に著効した、多発合併症の慢性腎臓病の1例	奥野綾子ほか	(23)515	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
東京医大漢方医学センターだより(36) 最近のカルテから 陰陽虚実を取り違えた2症例	及川哲郎ほか	(29)521	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
医師・薬剤師リレー治験録(221) あれこれ迷って	山下耕司ほか	(34)526	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
温知会 症例検討録(004) コリン作動性蕁麻疹を伴う特発性後天性全身性無汗症に対して桂枝麻黄各半湯が奏効した1例	野上達也ほか	(39)531	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算148) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(133) 小児の起立性調節障害に漢方治療を行った2例	中尾桂子ほか	(49)541	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
分かりません江部経方(2) 臨床に必要な江部経方の基礎2 気と陰液の流れ／症例検討編2「抗癌剤による下肢の浮腫」の症例	灰本元ほか	(57)549	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
漢方牛歩録(番外3) 『傷寒論演習』のおススメ 「陰陽」は寒熱・虚実・表裏を含む	中村謙介	(69)561	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
東洋堂経験余話(371) ▽足のムズムズ症候群に黄耆桂枝五物湯▽花粉症に小青竜湯加茯苓	松本一男	(71)563	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
論説／医療用漢方製剤と保険診療の問題点	秋葉哲生	(75)567	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
論説／張仲景以前の中国医療(25)	真柳誠	(78)570	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
追悼／田畑隆一郎先生を偲んで	蓮村幸兌	(85)577	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
追悼／田畑隆一郎先生に感謝をこめて	千田五月	(86)578	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
追悼／小曽戸明子先生ご逝去	小曽戸洋	(87)579	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
報告／オックスフォード大学関連病院の見学記	尾﨑和成ほか	(89)581	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
報告／公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋 第78回 特別展示会・第49回 研究講演会の報告	坂田幸治	(96)588	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
その他／漢方医界のMEMO		(97)589	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
漢方関係学会・研究会予定(6月)		(101)593	2024(令和6年)年・第71巻・第5号
2024(令和6)年・第71巻・第6号			2024(令和6年)年・第71巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(461) 渡辺崋山画・市河米庵賛の神農像	小曽戸洋	(2)602	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(462) 浅田宗伯の「少女売花図」詩(その二)	小曽戸洋	(5)605	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
〔口絵〕岡本一抱の肖像		(6)606	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
巻頭言／生薬の使える漢方医という絶滅危惧種	田原英一	(11)611	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
自験、新型コロナウイルス感染奮闘記 ～〈麻黄湯〉の威力と〈柴胡桂枝乾姜湯〉の手応え～	寺師碩甫	(13)613	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
癇癪を起しやすい12歳女児の片頭痛に柴胡清肝湯および抑肝散加陳皮半夏が奏効した1例	村井政史ほか	(19)619	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
高齢者診療における真武湯治験	関矢信康	(27)627	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算149) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(134) 難治性の吃逆に大柴胡湯が有効であった症例	吉永亮ほか	(33)633	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
分かりません江部経方(3) 臨床に必要な江部経方の基礎3 気が上に行き過ぎる／症例検討編「20年来繰り返す口内炎」の症例	灰本元ほか	(37)637	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
東京医大漢方医学センターだより(37) 最近のカルテから 長期にわたる小青竜湯・葛根湯の投与が無効であったアレルギー性鼻炎・慢性咳嗽に荊芥連翹湯が奏効した1症例 ～SBS(副鼻腔気管支炎症候群)は一貫堂の解毒証体質の1つ～	矢数芳英ほか	(51)651	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
温知会 症例検討録(005) 非特異的頸部リンパ節腫大が瘻瘤であったと考えられた1例	原田佳尚ほか	(63)663	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
東洋堂経験余話(372) ▽口内炎とヘルペスに十全大補湯加当帰▽鬱状態に抑肝散料加陳皮半夏	松本一男	(71)671	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
漢方牛歩録(番外4) 『傷寒論演習』のおススメ 「実とは邪実を云い、虚とは精気の衰脱を云う」は正しいのか	中村謙介	(74)674	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
漢方研究室(65) 2024年4月号出題 第65問(再掲)	鈴木朋子	(76)676	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
論説／東洞の医説の検討(万病一毒論)～吉益東洞再考～	鈴木斉観	(91)691	2024(令和6年)年・第71巻・第6号

随想／「毒性問題」小柴胡湯の副作用問題を思い出す	王瑞雲	(101)701	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
追悼／故・小曽戸明子先生と知りあえて	熊井啓子	(104)704	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
報告／岡本一抱肖像画の再発見	濱口昭宏	(105)705	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
報告／鍼灸祭、行われる	編集局	(110)710	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
漢方関係学会・研究会予定(7月)		(111)711	2024(令和6年)年・第71巻・第6号
2024(令和6)年・第71巻・第7号			2024(令和6年)年・第71巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(463) 難波抱節の肖像ー新出品	小曽戸洋ほか	(2)718	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
〔口絵〕目でみる漢方史料館(464) 五銖銭	小曽戸洋	(5)721	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
巻頭言／二刀流を極めるー第41回和漢医薬学会学術大会開催(千葉大会)について	並木隆雄ほか	(11)727	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
38例の新型コロナウイルス感染症罹患後症状に対する伝統医学的病態把握に基づく漢方薬の処方傾向について	長瀬眞彦	(15)731	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
漢方治療が有効と考えられた糖尿病黄斑浮腫の6症例	黒木悟	(21)737	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
会員の独り言　正証と思われる症例	三原孝典	(31)747	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
温知会 症例検討録(006) 静脈うっ滞性皮膚潰瘍に十全大補湯が有効だった超高齢在宅患者の1例	遠藤光史ほか	(39)755	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
飯塚病院月曜カンファレンス臨床経験報告会より／(通算150) 『最近の治験・知見・事件!?』パートⅡ(135) 動悸や不眠・不安感に桂枝加竜骨牡蛎湯としたが再燃し、苓桂甘棗湯の方意で症状改善を認めた1例	竹内肇ほか	(49)765	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
東京医大漢方医学センターだより(38) 東京医大漢方道場　東京医科大学臨床漢方セミナーから 疲労・夏バテに対する漢方治療	及川哲郎ほか	(57)773	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
医師・薬剤師リレー治験録(222) 定悸飲の症例	千田五月ほか	(65)781	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
漢方牛歩録(番外5)『傷寒論演習』のおススメ　太陽病は「表熱証」か「表寒証」か	中村謙介	(69)785	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
東洋堂経験余話(373)　▽月経困難症に桂枝茯苓丸料加白芷・川芎 ▽高齢者の胃酸過多に安中散料加茯苓	松本一男	(72)788	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
漢方研究室(66)　2024年7月号出題　第66問	三潴忠道	(75)791	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
追悼／三度目のお約束を果たせぬままに小曽戸明子先生との早過ぎるお別れ	小池加能	(77)793	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
報告／台湾探訪　弾丸視察記	坂江沙月ほか	(79)795	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
その他／漢方医界のMEMO		(88)804	2024(令和6年)年・第71巻・第7号
漢方関係学会・研究会予定(8月)		(91)807	2024(令和6年)年・第71巻・第7号